



平成31年・令和元年（2019年）福島県立医科大学業績集

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2021-05-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001034

福島県立医科大学業績集

平成 31 年 ・ 令和 元年

福島県立医科大学

目 次

I 福島県立医科大学業績	1

論文・著書・研究発表等

II 受賞学術賞一覧	615

III 受託・共同研究・補助等実績一覧	633

IV 知的財産権の設定の登録一覧	735

平成 31 年・令和元年掲載内容件数

理事長業績	10 件
医学部業績	4,771 件
看護学部業績	144 件
附属病院，他業績	1,953 件
受賞学術賞	76 件
受託・共同研究・補助等実績	670 件
知的財産権の設定の登録	8 件
総計	7,632 件

I 福島県立医科大学業績

論文・著書・研究発表等

福島県立医科大学業績 論文・著書・研究発表等

理事長	1
常任顧問.....	2

医学部

神経解剖・発生学講座.....	8
解剖・組織学講座	10
細胞統合生理学講座.....	11
システム神経科学講座.....	12
生化学講座.....	13
免疫学講座.....	15
病態制御薬理医学講座.....	16
微生物学講座.....	19
基礎病理学講座.....	20
衛生学・予防医学講座.....	22
公衆衛生学講座.....	27
法医学講座.....	32
放射線生命科学講座.....	34
疫学講座.....	36
放射線物理化学講座.....	45
健康リスクコミュニケーション学講座.....	48
循環器内科学講座	53
血液内科学講座	79
消化器内科学講座	86
リウマチ膠原病内科学講座.....	103
腎臓高血圧内科学講座.....	109
糖尿病内分泌代謝内科学講座	117
脳神経内科学講座	125
呼吸器内科学講座	127
消化管外科学講座	135
肝胆膵・移植外科学講座.....	151

呼吸器外科学講座.....	160
乳腺外科学講座	170
心臓血管外科学講座.....	175
外科研修支援担当.....	179
脳神経外科学講座.....	185
整形外科学講座	192
形成外科学講座	216
産科婦人科学講座.....	219
小児科学講座	222
眼科学講座.....	226
皮膚科学講座	232
泌尿器科学講座	242
耳鼻咽喉科学講座.....	255
神経精神医学講座.....	266
放射線医学講座	274
麻酔科学講座	277
救急医療学講座	284
病理病態診断学講座.....	287
臨床検査医学講座.....	289
感染制御医学講座.....	293
輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部.....	295
地域・家庭医療学講座.....	304
放射線健康管理学講座.....	306
甲状腺内分泌学講座.....	315
災害こころの医学講座.....	320
放射線腫瘍学講座.....	323
腫瘍内科学講座	325
放射線災害医療学講座.....	331
リハビリテーション医学講座 ／リハビリテーションセンター.....	333
人間科学講座 生命倫理学分野.....	334
人間科学講座 言語学分野	335

自然科学講座 数理情報学分野	335
自然科学講座 先端化学分野	336
自然科学講座 分子細胞生物学分野	337
自然科学講座 数理物質科学分野	337
生体情報伝達研究所 生体物質研究部門	338
生体情報伝達研究所 細胞科学研究部門	339
生体情報伝達研究所 生体機能研究部門	340
放射性同位元素研究施設	341
実験動物研究施設	342
教育評価室	345
国際被ばく公衆衛生看護学講座	345
地域救急医療支援講座	346
地域産婦人科支援講座	349
白河総合診療アカデミー	350
肺高血圧先進医療学講座	350
生活習慣病・慢性腎臓病(CKD)病態治療学講座	358
東白川整形外科アカデミー	360
疼痛医学講座	361
周産期・小児地域医療支援講座	365
地域整形外科支援講座	366
外傷学講座	367
消化器内視鏡先端医療支援講座	374
スポーツ医学講座	375
外傷再建学講座	377
生体機能イメージング講座	380
多発性硬化症治療学講座	381
医療エレクトロニクス研究講座	387
心臓調律制御医学講座	387
心臓病先進治療学講座	392
先端癌免疫治療研究講座	404
神経再生医療学講座	410
低侵襲腫瘍制御学講座	412
プログレッシブ DOHaD 研究講座	417
災害医療支援講座	418
肥満・体内炎症解析研究講座	418

運動器骨代謝学講座	420

看護学部

総合科学部門 言語学分野	422
総合科学部門 行動科学分野（心理学）	422
総合科学部門 行動科学分野（社会学）	423
総合科学部門 保健情報学・疫学分野	424
生命科学部門	427
基礎看護学部門	428
療養支援看護学部門	431
家族看護学部門	433
地域・在宅看護学部門	435
母性看護学・助産学部門	436

附属病院, 他

附属病院長	436
医療安全管理部	445
医療情報部	445
ふたば救急総合医療支援センター	454
総合内科	458
小児外科	459
小児腫瘍内科	463
歯科口腔外科	467
検査部	470
放射線部	472
手術部	474
集中治療部	478
総合周産期母子医療センター	485
病理部	486
内視鏡診療部	487
臨床腫瘍センター	495

臨床工学センター	496
痛み緩和医療センター.....	497
脳疾患センター.....	498
臨床研究教育推進部.....	499
性差医療センター	502
臨床研究センター	504
薬剤部	504
総合科学教育研究センター 人文社会科学系領域	506
総合科学教育研究センター 自然科学系領域.....	508
医療人育成・支援センター.....	513
看護師特定行為研修センター	526
医療研究推進センター.....	532
放射線医学県民健康管理センター.....	533
健康増進センター	539
甲状腺・内分泌センター	540
先端臨床研究センター.....	542
医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター..	550
ふくしま子ども・女性医療支援センター	552
臨床研究イノベーションセンター.....	560
大学健康管理センター.....	561
新医療系学部設置準備室.....	562

会津医療センター

総合内科学講座	577
漢方医学講座	578
循環器内科学講座.....	582
血液内科学講座	582
消化器内科学講座.....	583
糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座	585
感染症・呼吸器内科学講座	588
精神医学講座	589
小腸・大腸・肛門科学講座	594
外科学講座	601
整形外科・脊椎外科学講座	604
耳鼻咽喉科学講座.....	611
臨床医学部門	613

凡 例

1. 本業績集は、平成 31・令和元（2019）年に発表された論文、著書、研究発表等を収録した。
2. 収録は、所属別とし、業績の種類により、
 - 1) 論文 ①原著 ②総説等 ③症例報告 ④研究報告書 ⑤その他
 - 2) 著書・訳書
 - 3) 研究発表等 ①研究発表 ②シンポジウム ③特別講演 ④招待講演 ⑤その他
 - 4) その他の業績・作品等 の順に記載した。
3. 記載方法
 - (1) 論文については、著者名、標題、掲載誌名、出版年月、巻（号）、頁の順に記載した。
 - (2) 著書・訳書については、著者名、書名、出版地、出版者名、出版年の順に記載した。ただし、分担執筆の場合は、担当論題、頁を記入した。
 - (3) 研究発表等については、発表者名、発表題名、発表会議名、発表年月日、開催地、掲載資料名、巻（号）、頁の順に記載した。

理事長

論文

〔原 著〕

Shibata M, Mimura K, Shimura T, Kono K, Ohto H, Takenoshita S. IL-17A in oncology. *Annals of Cancer Research and Therapy*. 201901; 27(2):59-63.

Satake S, Shimura T, Ono T, Shimomura K, Takenoshita S, Kono K. Noninvasive continuous blood pressure monitoring using microelectromechanical system technology. *Blood Pressure Monitoring*. 201906; 24(3):155-159.

Maejima Y, Kato S, Horita S, Ueta Y, Takenoshita S, Kobayashi K, Shimomura K. The hypothalamus to brainstem circuit suppresses late-onset body weight gain. *Scientific Reports*. 201912; 9(1):18360.

〔症例報告〕

Gonda K, Akama Y, Nakamura T, Hashimoto E, Kyoya N, Rokkaku Y, Maejima Y, Horita S, Tachibana K, Abe N, Ohtake T, Shimomura K, Kono K, Saji S, Takenoshita S, Higashihara E. Cluster of differentiation 8 and programmed cell death ligand 1 expression in triple-negative breast cancer combined with autosomal dominant polycystic kidney disease and tuberous sclerosis complex: a case report. *Journal of Medical Case Reports*. 201912; 13(1):381.

研究発表等

〔研究発表〕

Tan C, Zhao S, Ukon N, Shimoyama S, Aoki M, Horita S, Imai R, Maejima Y, Takenoshita S, Shimomura K. Evaluation of the potential of organ glucose metabolism by 18F-FDG accumulation with insulin loading in older mice compared with younger normal mice. 66th Society of Nuclear Medicine Annual Meeting (SNMMI 2019); 20190623; Anaheim, USA.

Shibata M, Nakajima T, Mimura K, Shimura T, Kono K, Takenoshita S. MDSC is an important immunosuppressing factor and functionally related with VEGF and IL-17 in patients with gastrointestinal cancer. ESMO Immuno-Oncology Congress 2019; 20191211-12; Geneva, Switzerland.

柴田昌彦, 権田憲士, 岩館 学, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 志村龍男, 大竹 徹, 河野浩二, 鈴木眞一, 竹之下誠一. 外科における癌患者の Host Factor 研究の重要性. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

齋藤元伸, 小野澤寿志, 松本拓朗, 芦澤 舞, 菊池智宏, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 竹之下誠一, 河野浩二. 大腸癌の進展と転移における ANXA1 遺伝子の役割.

第 26 回日本がん転移学会学術集会・総会; 20190727; 大阪.

柴田昌彦, 権田憲士, 中島隆宏, 三村耕作, 志村龍男, 河野浩二, 大戸 齊, 竹之下誠一. VEGF と IL-17 の制御を併用した癌免疫療法. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

柴田昌彦, 権田憲士, 中島隆宏, 齋藤元伸, 岩館 学, 鈴木 聡, 門馬智之, 三村耕作, 志村龍男, 大竹徹, 河野浩二, 櫻本信一, 山口茂樹, 小山 勇, 竹之下誠一. 癌治療アウトカムからの炎症と宿主要因を考慮する. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

常任顧問

論 文

〔原 著〕

Kamitani T, Yamamoto Y, Fukuma S, Ikenoue T, Kimachi M, Shimizu S, Yamamoto S, Otani K, Sekiguchi M, Onishi Y, Takegami M, Ono R, Yamazaki S, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. Association Between the Discrepancy in Self-Reported and Performance-Based Physical Functioning Levels and Risk of Future Falls Among Community-Dwelling Older Adults: The Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). *Journal of the American Medical Directors Association*. 201902; 20(2):195-200.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Tominaga R, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S; DISTO project working group. Reference values of the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis and characteristics of deterioration of QOL: Lumbar Spinal Stenosis Diagnosis Support Tool: DISTO project. *Journal of Orthopaedic Science*. 201907; 24(4):584-589.

Kawamata M, Iseki M, Kawakami M, Yabuki S, Sasaki T, Ishida M, Nishiyori A, Hida H, Kikuchi S. Efficacy and safety of controlled-release oxycodone for the management of moderate-to-severe chronic low back pain in Japan: results of an enriched enrollment randomized withdrawal study followed by an open-label extension study. *Journal of Pain Research*. 201901; 12:363-375.

Kawamata M, Iseki M, Kawakami M, Yabuki S, Sasaki T, Ishida M, Nishiyori A, Hida H, Kikuchi S. Efficacy and safety of controlled-release oxycodone for the management of moderate-to-severe chronic non-cancer pain in Japanese patients: Results from an open-label study. *Journal of Pain Research*. 201912; 12:3423-3436.

Otoshi K, Kikuchi S, Kato K, Kaneko Y, Mashiko R, Sato R, Igari T, Kaga T, Konno S. Sufficient duration of off-season decreases elbow disorders in elementary school-aged baseball players. *Journal of Shoulder and Elbow Surgery*. 201906; 28(6):1098-1103.

Kimachi K, Kimachi M, Takegami M, Ono R, Yamazaki S, Goto Y, Onishi Y, Sekiguchi M, Otani K, Konno

S, Kikuchi S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Level of Low Back Pain-Related Disability is Associated with Risk of Subsequent Falls in an Older Population: Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). Pain Medicine. 201912; 20(12):2377-2384.

Kikuchi S. 2019 ISSLS Wiltse Lifetime Achievement Award. Spine. 201906; 44(11):753-754.

過年業績

Otani K, Iwabuchi M, Sato K, Konno S, Kikuchi S. Postoperative neck symptoms of posterior approach for cervical compressive myelopathy: Expansive open-door laminoplasty vs. segmental partial laminectomy. Fukushima Journal of Medical Science. 201808; 64(2):54-59.

〔その他〕

菊地臣一. Close Up 腰痛のとらえ方が変わってきているのを知っていますか? Primaria. 201902; 34:20-21.

菊地臣一. Message 自分に関係のないことでも、「打てば響く」ような対応を! Primaria. 201908; 37:14-15.

菊地臣一. Message 原点を忘れるな! Primaria. 201910; 38:14-15.

菊地臣一. Message 「絆」の大切さを忘れてはいないか. Primaria. 201912; 39:14-15.

菊地臣一. 福島の悲劇を福島の奇跡へ 新医療系学部の新設ー福島県民にとっての意義ー〈後編〉. 財界ふくしま. 201901; 2月号:94-98.

菊地臣一. 福島の悲劇を福島の奇跡へ 福島県民の健康と医療ー未来に向けての行政と県立医科大学の挑戦ー〈前編〉. 財界ふくしま. 201902; 3月号:80-83.

菊地臣一. 福島の悲劇を福島の奇跡へ 福島県民の健康と医療ー未来に向けての行政と県立医科大学の挑戦ー〈後編〉. 財界ふくしま. 201903; 4月号:94-97.

菊地臣一. 診断されたら最低限知っておきたい 脊柱管狭窄症の基礎知識. 脊柱管狭窄症克服マガジン 腰らく塾. 201903; 10:6-7.

菊地臣一. 特集2 2019年 Wiltse Lifetime Achievement Award 受賞記念 2019 Wiltse Lifetime Achievement Award. 福島県立医科大学医学部整形外科同門会誌. 2019; 31:27-28.

菊地臣一. 特集2 2019年 Wiltse Lifetime Achievement Award 受賞記念 国際腰椎学会(The International Society for the Study of the Lumbar Spine, ISSLS)ウィルジー・ライフタイム・アチーブメント賞(Wiltse Lifetime Achievement Award)を受賞して. 福島県立医科大学医学部整形外科同門会誌. 2019; 31:29-32.

菊地臣一. 特集3 「理事長からの花だより」、「学長からの手紙」出版記念 「理事長室からの花だより」出版に寄せて. 福島県立医科大学医学部整形外科同門会誌. 2019; 31:33-34.

菊地臣一．特集3「理事長からの花だより」、「学長からの手紙」出版記念「学長からの手紙」発刊に寄せて．福島県立医科大学医学部整形外科同門会誌. 2019; 31:34-35.

菊地臣一．特集4「G20 サミットでの講演を記念して」 G20 サミットでの講演を記念して．福島県立医科大学医学部整形外科同門会誌. 2019; 31:38-39.

著 書・訳 書

菊地臣一．＜各論＞私はこうして怒りをマネジメントしている・若い頃の自分はどうか考えたか考える. In: 日本医事新報社 編. 医師のためのアンガーマネジメント. 東京: 日本医事新報社; 201905. p.196.

菊地臣一．学長からの手紙 上・下巻. 福島: 学長からの手紙編集委員会; 201901.

菊地臣一．腰痛をめぐる常識の嘘【電子版】．東京: 金原出版; 201908.

菊地臣一．続・腰痛をめぐる常識のウソ【電子版】．東京: 金原出版; 201908.

菊地臣一．脊柱手术入路与解剖（脊椎手術解剖アトラス 中国語版）．瀋陽, 中華人民共和國: 遼寧科学技術出版社; 201904.

研究発表等

〔研究発表〕

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Kikuchi S, Konno S. Association between core stability and low back pain in high-school baseball players. 46th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Kikuchi S, Konno S. Development and enlargement of ossification of the ligamentum flavum in the thoraco-lumbar spine in Asian professional baseball players: comparison with age- and sex-matched control subjects. 46th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Kikuchi S, Konno S. Lumbar spine facet joint osteoarthritis in professional athletes. 46th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Quantitative evaluation of motor function of the lower extremity using the foot tapping test: Part 2 Five-year follow-up. 46th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Nikaido T, Otani K, Sekiguchi M, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Characteristics of neuropathic pain due to lumbar spine disorders: Relationship with recognition of pain,

psychiatric problems, and HR-QOL. 46th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Nikaido T, Otani K, Sekiguchi M, Igari T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Relationship between degenerative changes in paraspinal muscles and lumbar spinal stenosis in the community. 46th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Otani K, Kikuchi S, Nikaido T, Konno S. Does magnitude of dural tube compression induce fall? - A prospective one-year follow-up in the community -. 46th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Otani K, Kikuchi S, Nikaido T, Yabuki S, Konno S. Cross-sectional and one-year follow-up study for the relationship between lumbar spinal stenosis and low back pain in the community. 46th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Otani K, Kikuchi S, Nikaido T, Konno S. Does dural sac cross-sectional area predict the presence of subjective lumbar spinal stenosis symptoms after 10-year follow-up? 46th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Five-year results of lumbar spinal stenosis with degenerative spondylolisthesis treated with decompression alone. 46th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Pre-operative evaluation by the Brief Scale for Psychiatric problems in Orthopaedic Patients (BS-POP) relates to poor surgical outcomes of lumbar decompression surgery. 46th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Tominaga R, Otani K, Iwabuchi M, Kikuchi S, Shirado O, Konno S. 地域住民の脊柱・骨盤矢状面アライメントと QOL の関連—運動器と健康アウトカムとの関連性を分析する会津コホート研究(LOHAS)—. 第 22 回脊椎と神経を語る会(SGNS); 20190309; 東京. ABSTRACTS. 8-9.

紺野慎一, 菊地臣一. 慢性疼痛の病態と治療. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):153.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手の腰痛—メディカルサポートは有効か—. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):430.

大谷晃司, 二階堂琢也, 菊地臣一, 紺野慎一. 地域住民における腰部脊柱管狭窄の実態—硬膜管の横断面積は 10 年後の腰部脊柱管狭窄症状の存在を予測できるか—. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):547.

大谷晃司, 二階堂琢也, 菊地臣一, 紺野慎一. 腰部硬膜管面積と転倒との関係ー縦断研究ー. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):612.

大谷晃司, 菊地臣一, 紺野慎一. ロコモティブシンドロームの経年的変化. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

大谷晃司, 菊地臣一, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 一般住民における腰部脊柱管狭窄症と腰痛との関係ー南会津スタディよりー. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

富永亮司, 大谷晃司, 岩淵真澄, 菊地臣一, 白土 修, 紺野慎一. 一般地域住民における脊柱・骨盤矢状面アライメントと QOL の関連性の検討. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1727.

過年業績

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Dural tear during endoscopic posterior lumbar decompression surgery. PSMISS 2018; 20180719; Kaohsiung, Taiwan.

大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 富永亮司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄は転倒の危険因子となるのかー縦断研究ー. 第 47 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20180412; 神戸.

加藤欽志, 大谷晃司, 関口美穂, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 富永亮司, 菊地臣一, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄患者に対する保存治療は自然経過と比較して QOL を改善するか. 第 47 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20180412; 神戸.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 富永亮司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 10 秒テストと握力を組み合わせた、新しい頸部脊髄症スクリーニングツールの開発ー南会津スタディー. 第 47 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20180412; 神戸.

二階堂琢也, 大谷晃司, 関口美穂, 猪狩貴弘, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 富永亮司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 地域住民における傍脊柱筋の退行性変化と腰部脊柱管狭窄との関係ー南会津スタディー. 第 91 回日本整形外科学会総会; 20180524; 神戸.

〔シンポジウム〕

大谷晃司, 菊地臣一, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 一般住民における腰部脊柱管狭窄症と腰痛との関係ー南会津スタディよりー. 第 92 回日本整形外科学会学術集会; 20190509-12; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(2):S309.

大谷晃司, 菊地臣一, 紺野慎一. ロコモティブシンドロームの経年的変化. 第 92 回日本整形外科学会学術集会; 20190509-12; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(2):S809.

〔特別講演〕

菊地臣一．腰痛疾患この30年の進歩とこれから～慢性疼痛を含めて～．第30回腰痛シンポジウム; 20190302; 東京.

菊地臣一．次代を担う君達へー腰痛を通じての考察ー．福島県立医科大学整形外科新人講習会; 20190406; 福島.

菊地臣一．危機管理とリーダーシップ～大学のトップ、研究者、教師として～．福島県建設業協会第8回定時社員総会・講演会; 20190524; 福島.

菊地臣一．若き医療従事者のためにー変化を続ける医療の道．無刀流整形外科臨床医学セミナー～腰部、骨盤帯の痛みに対して～; 20190623; 東京.

菊地臣一．腰部脊椎管狭窄の病態と治療．第42回東北鍼灸マッサージ学術大会; 20190707; 猪苗代町.

菊地臣一．慢性疼痛診療の危機. NeP Academy 我が国の慢性疼痛治療の今後を考える～現状から見えてくる課題と展開; 20190825; 東京.

菊地臣一．腰痛の危機ーわが国の整形外科は乗り切れるかー．第34回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1796.

〔招待講演〕

Kikuchi S. Fukushima Eight Years Later, What We Learned. Neuroscience N20/G20; 20190627-28; Osaka.

〔その他〕

菊地臣一．腰痛の危機ー先進国を襲っている腰痛診療の課題. 慢性の痛み対策議員連盟 基本法制定に向けてのワーキンググループ第3回ヒアリング; 20190614; 東京.

菊地臣一（日本語版監修）. AAOS Orthopaedic Knowledge Update Self-Assessment Examination 2018 No.5 米国整形外科学会生涯教育支援問題集（提供：アステラス製薬株式会社 日本語版発行：株式会社メディアート）; 201902.

菊地臣一（日本語版監修）. AAOS Orthopaedic Knowledge Update Self-Assessment Examination 2018 No.6 米国整形外科学会生涯教育支援問題集（提供：アステラス製薬株式会社 日本語版発行：株式会社メディアート）; 201906.

菊地臣一（日本語版監修）. AAOS Orthopaedic Knowledge Update Self-Assessment Examination 2018 No.7 米国整形外科学会生涯教育支援問題集（提供：アステラス製薬株式会社 日本語版発行：株式会社メディアート）; 201909.

菊地臣一（日本語版監修）. AAOS Orthopaedic Knowledge Update Self-Assessment Examination 2018 No.8 米国整形外科学会生涯教育支援問題集（提供：アステラス製薬株式会社 日本語版発行：株式会社メディアート）; 201910.

菊地臣一．監修のことば. AAOS Orthopaedic Surgery DVD Library No.91 腰部硬膜内脱出椎間板ヘルニア切除と硬膜修復; 201907.

菊地臣一（映像提供）．ギックリ腰の予防は“日常の姿勢”から！ 201903; NHK ガッテン！「家事」「暮らし」がラクで楽しくなる科学の黄金ワザ 100 永久保存版. 67.

菊地臣一．祝辞 福島県理学療法士会設立 50 周年～これからの 50 年に向かって～. 2019. 福島県理学療法士会設立 50 周年記念誌. 11.

菊地臣一．泌尿器科学講座開講 50 周年に寄せて. 2019. 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座開講 50 周年記念誌. 34.

花岡一雄，伊関雅子，小川節郎，菊地臣一，紺野慎一，鈴木 勉，丹羽真一，細川豊史（監修）．ノルスパン®テープ適正使用ガイドブック（製造販売元ムンディファーマ株式会社）. 201903.

菊地臣一（監修）．THE BACKLETTER No.28. 201903.

菊地臣一（監修）．THE BACKLETTER No.29. 201906.

菊地臣一（監修）．THE BACKLETTER No.30. 201909.

菊地臣一（監修）．THE BACKLETTER No.31. 201912.

神経解剖・発生学講座

論 文

〔原 著〕

Nakamichi Yu, Okubo Kai, Sato Takayuki, Hashimoto Mitsuhiro, Tanifuji Manabu. Optical intrinsic signal imaging with optogenetics reveals functional cortico-cortical connectivity at the columnar level in living macaques. Scientific Reports. 201904; 9(1):6466.

〔総説等〕

向笠勝貴，八木沼洋行．多様な転写因子による脊髄神経の分化運命決定. Clinical Neuroscience. 201906; 37(6):642-645.

著 書・訳 書

八木沼洋行 訳. 脊髄と脊髄神経. In: Tortora GJ, Derrickson B 著 桑木共之, 黒澤美枝子, 高橋研一, 細谷安彦 編訳. トートラ人体の構造と機能 第5版. 東京: 丸善出版; 201903. p.463-494.

八木沼洋行 訳. 2 神経細胞とグリア細胞の組織学, 4 脳と脊髄の髄膜, 5 脳室系と脳脊髄液, 6 終脳. In: Schünke M, Schulte E, Schumacher U 著 坂井建雄, 河田光博 監訳. プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第3版. 東京: 医学書院; 201903. p.292-295,306-337.

研究発表等

〔研究発表〕

佐藤洋一, 八木沼洋行. CST 実施のボトルネックとその解決策—アンケートの結果から—. 第124回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

橋本光広, 八木沼洋行. ウイルスベクターを用いた、新たな小脳の神経回路の解析. 第124回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

向笠勝貴, 佐久間千恵, 八木沼洋行. Foxp1 転写制御領域におけるレチノイン酸応答配列の探索と種間比較. 第124回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

渡邊裕二, 佐久間千恵, 八木沼洋行. 視蓋円形核投射を形成する視蓋遠心路ニューロンの発生と移動. 第124回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

向笠勝貴, 佐久間千恵, 八木沼洋行. Foxp1 シス制御領域におけるレチノイン酸応答配列の解析. 第52回日本発生活物学会大会; 20190514-17; 大阪.

橋本光広, 加藤茂樹, 小林和人, 八木沼洋行. ウイルスベクターを用いた、新たな小脳の神経回路の解明. 福島医学会第476回学術研究集会; 20190523; 福島.

向笠勝貴, 佐久間千恵, 八木沼洋行. Foxp1 遺伝子座に位置するレチノイン酸応答配列の機能解析と種間比較. 第9回 Tokyo Vertebrate Morphology Meeting; 20190720; 東京.

橋本光広, 八木沼洋行. 視床下部外側野から小脳虫部へのオレキシン入力. 第42回日本神経科学大会/第62回日本神経化学学会大会; 20190727; 新潟.

本間俊作, 島田孝子, 八木沼洋行. 発生学的な筋分化コンパートメントに基づく脊髄神経分岐パターンの新しいモデル. 第42回日本神経科学大会/第62回日本神経化学学会大会; 20190727; 新潟.

渡邊裕二, 佐久間千恵, 八木沼洋行. 盲視を支える視蓋円形核ニューロンの発生. 第65回東北・北海道連合支部学術集会; 20190907-08; 江別.

向笠勝貴, 佐久間千恵, 八木沼洋行. V3 インターニューロンの発生過程で SIM1 は ROBO3 を抑制し MIR9 により抑制される. 第42回日本分子生物学会年会; 20191203-06; 福岡.

〔シンポジウム〕

八木沼洋行. 我が国における献体を使用した手術手技研修の現状と課題. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017; 横浜.

解剖・組織学講座

論文

〔原著〕

Kashiwazaki J, Yoneda Y, Mutoh T, Arai R, Yoshida M, Mabuchi I. A unique kinesin-like protein, Klp8, is involved in mitosis and cell morphology through microtubule stabilization. *Cytoskeleton*. 201905; 76(5):355-367.

Segawa K, Tamura N, Mima J. Homotypic and heterotypic trans-assembly of human Rab-family small GTPases in reconstituted membrane tethering. *Journal of Biological Chemistry*. 201905; 294(19):7722-7739.

Tamura N, Kageyama S, Komatsu M, Waguri S. Hyperosmotic Stress Induces Unconventional Autophagy Independent of the Ulk1 Complex. *Molecular and Cellular Biology*. 201907; 39(16):e00024-19.

Saito T, Kuma A, Sugiura Y, Ichimura Y, Obata M, Kitamura H, Okuda S, Lee HC, Ikeda K, Kanegae Y, Saito I, Auwerx J, Motohashi H, Suematsu M, Soga T, Yokomizo T, Waguri S, Mizushima N, Komatsu M. Autophagy regulates lipid metabolism through selective turnover of NCoR1. *Nature Communications*. 201904; 10(1):1567.

〔総説等〕

Arai R, Waguri S. Improved Electron Microscopy Fixation Methods for Tracking Autophagy-Associated Membranes in Cultured Mammalian Cells. *Methods in Molecular Biology*. 201901; 1880:211-221.

研究発表等

〔研究発表〕

荒井律子, 山下俊一, 神吉智文, 和栗 聡. ミトコンドリア構造の一部分を自食するマイトファジープロセスの微細形態学的解析. 第124回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

植村武文. メンブレントラフィックの機能・形態. 第124回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

植村武文, 和栗 聡. Clathrin adaptor complex-1 regulates the endosomal sorting of EGFR and cell growth. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

鈴木倫毅, Wang L, Barker JR, Gopalakrishnan AM, Ko DC, Valdivia RH. クラミジア感染に影響を及ぼす宿主細胞因子 CBX1 の解析. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

田村直輝, 和栗 聡. 高浸透圧ストレス下における WIPI2 の後期エンドソーム局在について. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

荒井律子, 山下俊一, 神吉智文, 和栗 聡. ミトコンドリア構造の一部を隔離するマイトファジーの微細形態学的プロセス. 第 12 回オートファジー研究会・第 1 回新学術領域研究「マルチモードオートファジー」班会議プログラム; 20191025-26; 掛川.

〔シンポジウム〕

和栗 聡, 荒井律子. マイトファジー隔離膜の微細構造解析. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

田村直輝. 高浸透圧ストレス下におけるオートファジー分子の機能解析. 第 61 回日本脂質生化学会; 20190704-05; 札幌.

細胞統合生理学講座

論 文

〔原 著〕

Nakano Yuko, Kobayashi Daisuke, Miyake Masao, Kanno Ryoko, Murakawa Masahiro, Hazama Akihiro. The cytotoxic effects of geranylgeranylacetone are attenuated in the high-glucose condition. *BioResearch Open Access*. 201910; 8(1):162-168.

Yoshie S, Omori K, Hazama A. Airway regeneration using iPS cell-derived airway epithelial cells with Cl⁻ channel function. *Channels*. 201912; 13(1):227-234.

Yoshie S, Nakamura R, Kobayashi D, Miyake M, Omori K, Hazama A. Functional characterization of various channel-expressing central airway epithelial cells from mouse induced pluripotent stem cells. *Journal of Cellular Physiology*. 201902; 234(9):15951-15962.

Prasedya Eka, Martyasari Wayan Riyani, Hamdin Candra, Miyake Masao, Kobayashi Daisuke, Widyastuti Sri, Hazama Akihiro, Sunarpi Haji. Effectiveness of methanol solvent extraction for red macroalgae *Acanthophora spicifera* antitumor activity. *Pharmacognosy Journal*. 201905; 11(3):450-454.

〔総説等〕

勝田新一郎. 血圧の生理学. 動物の循環器. 201909; 52(1):1-10.

研究発表等

〔研究発表〕

Katsuda Shin-ichiro, Horikoshi Yuko, Fujikura Yuko, Hazama Akihiro, Shimizu Tsuyoshi, Shirai Kohji. Different effects of α and β_1 blockers on Beta in the elastic and muscular arteries in rabbits. 9th FAOPS Congress in conjunction with the 96th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan Oceanian Physiological Societies Congress; 20190328-31; Kobe. Journal of the Physiological Science. 69(Suppl. 1):S114.

Kobayashi Daisuke, Yoshida Keisuke, Tsuji Shingo, Nagae Tomoki, Hazama Akihiro. Evaluation of cell damage during cold-stress and re-warming. 9th FAOPS Congress; 20190328-31; Kobe. Journal of Physiological Sciences. 69(Suppl. 1):S178.

勝田新一郎, 宮下 洋, 清水 強. 末梢動脈血圧から中心動脈血圧の簡便な推定法の検討 ―粥状硬化が進行した KHC ウサギにおける有用性―. 第 29 回日本病態生理学会大会; 20190803-04; 大阪. 日本病態生理学会雑誌. 28(2):55.

〔シンポジウム〕

勝田新一郎. 超高感度圧電センサで計測した脈波速度による WHHLMi ウサギ動脈硬化の評価. 第 56 回日本臨床生理学会総会; 20191026-27; さいたま. 日本臨床生理学会雑誌. 49(4):85.

勝田新一郎. 妊娠高血圧症候群における動脈弾性能 CAVI の変化. 第 56 回日本臨床生理学会総会; 20191026-27; さいたま. 日本臨床生理学会雑誌. 49(4):85.

勝田新一郎, 石黒 隆. 超高感度スマート圧電振動センサー(AYA-P). 第 19 回日本血管血流学会学術集会; 20191103; 東京. 抄録集. 23.

システム神経科学講座

論 文

〔原 著〕

Nakazono T, Takahashi S, Sakurai Y. Enhanced Theta and High-Gamma Coupling during Late Stage of Rule Switching Task in Rat Hippocampus. Neuroscience. 201908; 412:216-232.

Jodo E, Inaba H, Narihara I, Sotoyama H, Kitayama E, Yabe H, Namba H, Eifuku S, Nawa H. Neonatal exposure to an inflammatory cytokine, epidermal growth factor, results in the deficits of mismatch negativity in rats. Scientific Reports. 201905; 9(1):7503.

Sekiryu T, Sugano Y, Ojima A, Mori T, Furuta M, Okamoto M, Eifuku S. Hybrid Three-Dimensional Visualization of Choroidal Vasculature Imaged by Swept-Source Optical Coherence Tomography. Translational Vision Science & Technology. 201910; 8(5):31.

〔その他〕

永福智志. 医学部低学年における PBL(Problem-based Learning)テュートリアル教育 アクティブ・ラーニングとプロフェッショナルリズム教育. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):51-58.

研究発表等

〔研究発表〕

Okamoto M, Eifuku S. Extracting actions associated with specific personality traits for modeling of the social knowledge. Cognitive Neuroscience Society 26th Annual Meeting; 20190323-26; San Francisco, USA.

Fujiwara J, Tobler PN, Eifuku S. Being in a social majority enhances decision confidence and activates frontostriatal neuroarchitecture. Society for Neuroscience; 20191019-23; Chicago, USA.

高橋和巳, 永福智志. 覚醒・睡眠時のラット視床背内側核ニューロン活動記録と覚醒刺激に対する応答. 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会; 20190627-28; 名古屋.

Jodo E, Yoshiaki S, Kenyo H, Eifuku S. Firing characteristics of the auditory cortex neurons during elicitation of mismatch negativity (MMN) in freely-moving rats. 第 62 回日本神経科学学会; 20190726; 新潟.

中国智晶, 浄土英一, 永福智志. Phencyclidine 投与ラットにおける腹側海馬ネットワーク活動の障害. 第 28 回海馬と高次脳機能学会; 20190928; 東京.

生化学講座

論 文

〔原 著〕

Sato DX, Ishii Y, Nagai T, Ohashi K, Kawata M. Human-specific mutations in VMAT1 confer functional changes and multi-directional evolution in the regulation of monoamine circuits. BMC Evolutionary Biology.

201912; 19(1):220.

Aoki T, Nishita M, Sonoda J, Ikeda T, Kakeji Y, Minami Y. Intraflagellar transport 20 promotes collective cancer cell invasion by regulating polarized organization of Golgi-associated microtubules. *Cancer Science*. 201904; 110(4):1306-1316.

Miao W, Sakai K, Sato H, Imamura R, Jangphattananont N, Takagi J, Nishita M, Minami Y, Matsumoto K. Impaired ligand-dependent MET activation caused by an extracellular SEMA domain missense mutation in lung cancer. *Cancer Science*. 201910; 110(10):3340-3349.

Weissenböck M, Latham R, Nishita M, Wolff LI, Ho HH, Minami Y, Hartmann C. Genetic interactions between Ror2 and Wnt9a, Ror1 and Wnt9a and Ror2 and Ror1: Phenotypic analysis of the limb skeleton and palate in compound mutants. *Genes to Cells*. 201904; 24(4):307-317.

Yuichi Suzuki, Koichi Hashimoto, Kyoka Hoshi, Hiromi Ito, Yoshinobu Kariya, Kyohei Miyazaki, Masatoki Sato, Yukihiko Kawasaki, Mari Yoshida, Takashi Honda, Yasuhiro Hashimoto, Mitsuaki Hosoya. Ratio of Alpha 2-Macroglobulin Levels in Cerebrospinal Fluid and Serum: An Expression of Neuroinflammation in Acute Disseminated Encephalomyelitis. *Pediatric Neurology*. 201909; 98:61-67.

Murakami Yuta, Saito Kiyoshi, Ito Hiromi, Hashimoto Yasuhiro. Transferrin isoforms in cerebrospinal fluid and their relation to neurological diseases. *Proceedings of the Japan Academy. Series B, Physical and biological sciences*. 201905; 95(5):198-210.

〔総説等〕

西田 満, 佐事 武, 南 康博. 【Wnt シグナルと骨】非古典的 Wnt シグナルと細胞応答. *Clinical Calcium*. 201902; 29(3):291-297.

〔その他〕

橋本康弘, 星 京香, 伊藤浩美. “脳型” トランスフェリンは特発性正常圧水頭症の診断及び認知症の予後マーカーとなる. *神経治療学*. 201910; 36(6):S113.

著 書・訳 書

西田 満, 他 共訳. In: Ferrier DR 著 石崎泰樹, 丸山 敬 監訳. リッピンコットシリーズ イラストレイテッド生化学 原書 7 版. 東京: 丸善出版; 201901.

研究発表等

〔研究発表〕

Nishita Michiru, Kamizaki Koki, Nishikaku Ikumi, Shibuya Hiroshi, Matsumoto Kunio, Minami Yasuhiro.

Ror1 signaling through Dvl and Rif promotes invasion of lung adenocarcinoma cells. ASCB/EMBO 2019 Meeting; 20191207-11; Washington, DC, USA.

苅谷慶喜, 大山 翠, 西田 満, 苅谷由貴子. リン酸化オステオポンチンによる癌細胞の浸潤・転移への影響. 第7回マトリセルフォーラム at 仙台; 20190831; 仙台.

Kariya Yoshinobu, Oyama Midori. $\alpha v \beta 3$ integrin induces epithelial-mesenchymal transition (EMT) through TGF- β -independent pathway. 第78回日本癌学会学術総会; 20190927; 京都.

西田 満, 松本邦夫, 南 康博. Wnt5a-Ror1 シグナルは Rif を介した糸状突起形成によって肺腺がん細胞の浸潤を促進する. 第78回日本癌学会学術総会; 20190927; 京都.

〔シンポジウム〕

Nishita Michiru, Minami Yasuhiro. Wnt5a-Ror signaling in cancer cell proliferation and invasion. 第19回日本蛋白質科学会年会・第71回日本細胞生物学会大会合同年次大会; 20190626; 神戸.

免疫学講座

論 文

〔原 著〕

Hayashi M, Machida T, Ishida Y, Ogata Y, Omori T, Takasumi M, Endo Y, Suzuki T, Sekimata M, Homma Y, Ikawa M, Ohira H, Fujita T, Sekine H. Cutting Edge: Role of MASP-3 in the Physiological Activation of Factor D of the Alternative Complement Pathway. *Journal of Immunology*. 201909; 203(6):1411-1416.

Machida T, Hayashi M, Fujita T, Sekine H. Response to Comment on “Cutting Edge: Role of MASP-3 in the Physiological Activation of Factor D of the Alternative Complement Pathway”. *Journal of Immunology*. 201912; 203(12):3091-3092.

Hata J, Machida T, Matsuoka K, Hoshi S, Akaihata H, Hiraki H, Suzuki T, Ogawa S, Kataoka M, Haga N, Ishibashi K, Homma Y, Sekine H, Kojima Y. Complement activation by autoantigen recognition in the growth process of benign prostatic hyperplasia. *Scientific Reports*. 201912; 9:20357.

研究発表等

〔研究発表〕

Kato Y, Sekiryu T, Oguchi Y, Omori T, Machida T, Sekine H. Complement activation product levels in aqueous humor of patients with age-related macular degeneration. ARVO Annual Meeting 2019; 20190428-

0502; Vancouver, Canada.

Takasumi M, Omori T, Machida T, Ishida Y, Fujita T, Sekine H. A Fusion protein of sMAP and factor H inhibits both the lectin and alternative complement pathways in vivo. 17th European Meeting on Complement in Human Disease; 20190914-17; Madrid, Spain.

大森智子, 大口泰治, 町田 豪, 石田由美, 加藤 寛, 石龍鉄樹, 関根英治. 加齢黄斑変性の病態におけるレクチン経路の関与の可能性. 第56回日本補体学会学術集会; 20190823; 東京. 補体. 56(1):42-43.

大森智子, 大口泰治, 町田 豪, 加藤 寛, 石田由美, 小島 彰, 板垣可奈子, 新竹広晃, 富田隆太郎, 笠井晓仁, 菅野幸紀, 小笠原雅, 関根英治, 石龍鉄樹. 滲出型加齢黄斑変性患者の眼内における補体レクチン経路および古典経路活性化のエビデンス. 研究連携セミナーポスター発表会 2019; 20191217; 福島.

病態制御薬理医学講座

論 文

〔原 著〕

Imai R, Yokota S, Horita S, Ueta Y, Maejima Y, Shimomura K. Excitability of oxytocin neurons in paraventricular nucleus is regulated by voltage-gated potassium channels Kv4.2 and Kv4.3. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry. 201902; 83(2):202-211.

Horita S, Kataoka M, Kitamura N, Miyakawa T, Ohtsuka J, Maejima Y, Shimomura K, Nagata K, Shimizu S, Tanokura M. Structural basis of different substrate preferences of two old yellow enzymes from yeasts in the asymmetric reduction of enone compounds. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry. 201903; 83(3):456-462.

Otsuka A, Jinguji A, Maejima Y, Kasahara Y, Shimomura K, Hidema S, Nishimori K. LGR4 is essential for R-spondin1-mediated suppression of food intake via pro-opiomelanocortin. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry. 201907; 83(7):1336-1342.

Satake S, Shimura T, Ono T, Shimomura K, Takenoshita S, Kono K. Noninvasive continuous blood pressure monitoring using microelectromechanical system technology. Blood Pressure Monitoring. 201906; 24(3):155-159.

Momma T, Gonda K, Akama Y, Endo E, Ujiie D, Fujita S, Maejima Y, Horita S, Shimomura K, Saji S, Kono K, Yashima R, Watanabe F, Sugano K, Nomizu T. MLH1 germline mutation associated with Lynch syndrome in a family followed for more than 45 years. BMC Medical Genetics. 201905; 20(1):67.

Gonda K, Yaginuma K, Rokkaku Y, Horita S, Maejima Y, Shimomura K. Association between cognitive

impairment patient with solid cancer and insulin resistance. *BMC Research Notes*. 201910; 12(1):705.

Takahashi N, Hoshi H, Higa A, Hiyama G, Tamura H, Ogawa M, Takagi K, Goda K, Okabe N, Muto S, Suzuki H, Shimomura K, Watanabe S, Takagi M. An In Vitro System for Evaluating Molecular Targeted Drugs Using Lung Patient-Derived Tumor Organoids. *Cells*. 201905; 8(5):481.

Maejima Y, Yokota S, O'Hashi R, Aoyama M, Shimomura K. The effect of avertin anesthesia and a mixture of three types of anesthetic agents on food intake and body weight in high fat-induced obese male and female mice. *Experimental Animals*. 201902; 68(1):57-69.

Horie K, Inoue K, Suzuki S, Adachi S, Yada S, Hirayama T, Hidema S, Young LJ, Nishimori K. Oxytocin receptor knockout prairie voles generated by CRISPR/Cas9 editing show reduced preference for social novelty and exaggerated repetitive behaviors. *Hormones and Behavior*. 201905; 111:60-69.

Nagata K, Okada A, Ohtsuka J, Ohkuri T, Akama Y, Sakiyama Y, Miyazaki E, Horita S, Katayama T, Ueda T, Tanokura M. Crystal structure of the complex of the interaction domains of *Escherichia coli* DnaB helicase and DnaC helicase loader: structural basis implying a distortion-accumulation mechanism for the DnaB ring opening caused by DnaC binding. *Journal of Biochemistry*. 201910; 167(1):1-14.

Aso Y, Kato K, Sakurai S, Kishi H, Shimizu M, Jojima T, Iijima T, Maejima Y, Shimomura K, Usui I. Impact of dapagliflozin, an SGLT2 inhibitor, on serum levels of soluble dipeptidyl peptidase-4 in patients with type 2 diabetes and non-alcoholic fatty liver disease. *International Journal of Clinical Practice*. 201905; 73(5):e13335.

Jojima T, Wakamatsu S, Kase M, Iijima T, Maejima Y, Shimomura K, Kogai T, Tomaru T, Usui I, Aso Y. The SGLT2 Inhibitor Canagliflozin Prevents Carcinogenesis in a Mouse Model of Diabetes and Non-Alcoholic Steatohepatitis-Related Hepatocarcinogenesis: Association with SGLT2 Expression in Hepatocellular Carcinoma. *International Journal of Molecular Sciences*. 201910; 20(20):5237.

Gonda K, Akama Y, Nakamura T, Hashimoto E, Kyoya N, Rokkaku Y, Maejima Y, Horita S, Tachibana K, Abe N, Ohtake T, Shimomura K, Kono K, Saji S, Takenoshita S, Higashihara E. Cluster of differentiation 8 and programmed cell death ligand 1 expression in triple-negative breast cancer combined with autosomal dominant polycystic kidney disease and tuberous sclerosis complex: a case report. *Journal of Medical Case Reports*. 201912; 13(1):381.

Toyoda Y, Morimoto K, Suno R, Horita S, Yamashita K, Hirata K, Sekiguchi Y, Yasuda S, Shiroishi M, Shimizu T, Urushibata Y, Kajiwara Y, Inazumi T, Hotta Y, Asada H, Nakane T, Shiimura Y, Nakagita T, Tsuge K, Yoshida S, Kuribara T, Hosoya T, Sugimoto Y, Nomura N, Sato M, Hirokawa T, Kinoshita M, Murata T, Takayama K, Yamamoto M, Narumiya S, Iwata S, Kobayashi T. Ligand binding to human prostaglandin E receptor EP₄ at the lipid-bilayer interface. *Nature Chemical Biology*. 201901; 15(1):18-26.

Kinjo T, Terai K, Horita S, Nomura N, Sumiyama K, Togashi K, Iwata S, Matsuda M. FRET-assisted photoactivation of flavoproteins for in vivo two-photon optogenetics. *Nature Methods*. 201909; 16:1029-1036.

Maejima Y, Kato S, Horita S, Ueta Y, Takenoshita S, Kobayashi K, Shimomura K. The hypothalamus to

brainstem circuit suppresses late-onset body weight gain. Scientific Reports. 201912; 9(1):18360.

Maejima Y, Yokota S, Horita S, Shimomura K. The undeveloped properties of GABA neurons in the ventral tegmental area promote energy intake for growth in juvenile rats. Scientific Reports. 201908; 9(1):11848.

三坂眞元. 緑茶と薬物の相互作用. 機能的食品と薬理栄養. 201908; 13(1):35-43.

前島裕子, 堀田彰一郎, 下村健寿. 漢方薬によるストレス対策 加味帰脾湯による脳視床下部オキシトシンニューロンに対する作用. 日本東洋心身医学研究. 201912; 34(1-2):16-19,iv-v.

前島裕子, 下村健寿. 【オキシトシンー基礎と臨床】オキシトシンの心と身体における役割. 脳神経内科. 201903; 90(3):230-238.

前島裕子, 下村健寿. 糖尿病の療養指導 Q&A オキシトシンと肥満の関係 オキシトシンと肥満との関係について、人での成績も含めて教えてください. プラクティス. 201903; 36(2):234-236.

研究発表等

〔研究発表〕

Misaka S, Ono Y, Ono T, Ogata H, Shimomura K. Influence of green tea on pharmacokinetics of fexofenadine in healthy volunteers. 14th Congress of the European Association for Clinical Pharmacology and Therapeutics; 20190701; Stockholm, Sweden. European Journal of Clinical Pharmacology. 75(suppl. 1):S37.

三坂眞元, 大野雄康, 小野委成, 尾形 浩, 下村健寿. 健康人において緑茶カテキンがフェキソフェナジンの体内動態に及ぼす影響. 第3回日本臨床薬理学会北海道・東北地方会; 20190608; 福島.

嶋崎 翔, 和泉啓司郎, 下村健寿, 三坂眞元. ナドロールの尿中排泄量を指標とするトランスポーターを介した薬物相互作用評価. 第40回日本臨床薬理学会学術集会; 20191204; 東京. 臨床薬理. 50(suppl.):S283.

〔招待講演〕

三坂眞元. 緑茶と薬物の相互作用. 第24回静岡健康・長寿学術フォーラム; 20191110; 静岡. フォーラム記録集. 24:69-74.

微生物学講座

論文

〔原 著〕

Uemura M, Hayashi F, Ishioka K, Ihara K, Yasuda K, Okazaki K, Omata J, Suzutani T, Hirakawa Y, Chiang C, Aoyama A, Ohira T. Obesity and mental health improvement following nutritional education focusing on gut microbiota composition in Japanese women: a randomised controlled trial. *European Journal of Nutrition*. 2019; 58(8):3291-3302.

Sekizawa H, Ikuta K, Ohnishi-Kameyama M, Nishiyama K, Suzutani T. Identification of the Components in a *Vaccinium oldhamii* Extract Showing Inhibitory Activity against Influenza Virus Adsorption. *Foods*. 2019; 8(5):172.

Ikuta K, Koshizuka T, Kanno R, Inoue N, Kubo T, Koyano S, Suzutani T. Evaluation of the indirect and IgM-capture anti-human cytomegalovirus IgM ELISA methods as confirmed by cytomegalovirus IgG avidity. *Microbiology and Immunology*. 2019; 63(5):172-178.

Koshizuka T, Matsuda Y, Suzuki H, Kanno R, Ikuta K, Kobayashi T, Kondo T, Okada Y, Suzutani T. Detection of engraftment of donor-derived antibody producing cells in a lung transplant recipient by anti-cytomegalovirus IgG avidity test. *Transplant Immunology*. 2019; 53:34-37.

河俣貴也, 佐藤 俊, 東川隆一, 平井健一郎, 二階堂雄文, 金沢賢也, 谷野功典, 西山恭子, 錫谷達夫, 柴田陽光. FDG 集積を示した縦隔リンパ節に対する超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)によって診断した播種性クリプトコッカス症の1例. *気管支学*. 2019; 41(5):430-435.

〔その他〕

甲谷秀子, 松原圭一, 錫谷達夫, 金子久恵, 田坂美恵, 腰塚哲朗, 西山恭子, 杉山 隆. 膈分泌液ヒトβデフェンシン2濃度の有用性の検討. *現代産婦人科*. 2019; 68(Suppl.):S57.

著 書・訳 書

錫谷達夫. ウイルス感染症. In: 岡庭 豊, 荒瀬康司, 三角和雄 編. *Year Note 内科・外科等編 2020(第29版)*. 東京: メディックメディア; 2019. p.H-85-H-94.

研究発表等

〔研究発表〕

錫谷達夫. マウスサイトメガロウイルスを用いた聴覚障害モデルの作製と解析. *東北乳酸菌研究会*; 2019. 仙

台.

管野良子, 腰塚哲朗, 宮崎 希, 小林敬広, 石岡 賢, 千葉英樹, 錫谷達夫. 味噌と味噌玉による抗肥満作用と脂肪肝の予防. 第73回日本細菌学会東北支部総会; 20190822-23; 盛岡.

佐藤祐子, 小林 誠, 石岡 賢, 錫谷達夫. アメナメビル耐性ヒト単純ヘルペスウイルスと野生株の混合感染. 第73回日本細菌学会東北支部総会; 20190822-23; 盛岡.

〔特別講演〕

錫谷達夫. 移植とサイトメガロウイルス. 感染症インターネット講演会. 20190530. Web 配信.

基礎病理学講座

論 文

〔原 著〕

Stephenson RE, Higashi T, Erofeev IS, Arnold TR, Leda M, Goryachev AB, Miller AL. Rho flares repair local tight junction leaks. *Developmental Cell*. 201902; 48(4):445-459.

Arnold TR, Shawky JH, Stephenson RE, Dinshaw KM, Higashi T, Huq F, Davidson LA, Miller AL. Anillin regulates epithelial cell mechanics by structuring the medial-apical actomyosin network. *Elife*. 201901; 8:e39065.

Higashi AY, Aronow BJ, Dressler GR. Expression Profiling of Fibroblasts in Chronic and Acute Disease Models Reveals Novel Pathways in Kidney Fibrosis. *Journal of the American Society of Nephrology*. 201901; 30(1):80-94.

Higashi T, Stephenson R, Miller A. Comprehensive analysis of formin localization in *Xenopus* epithelial cells. *Molecular Biology of the Cell*. 201901; 30(1):82-95.

Sugimoto K, Ichikawa-Tomikawa N, Kashiwagi K, Endo C, Tanaka S, Sawada N, Watabe T, Higashi T, Chiba H. Cell adhesion signals regulate the nuclear receptor activity. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*. 201912; 116(49):24600-24609.

〔総説等〕

Higashi T, Chiba H. Molecular organization, regulation and function of tricellular junctions. *Biochimica et Biophysica Acta (BBA) - Biomembranes*. 201912; 1862(2):183143.

〔症例報告〕

Sugimoto K, Tanaka M, Chiba H. Myocardial Rupture Due to Metastasis of Urothelial Carcinoma. Circulation Journal. 201903; 83(4):839.

研究発表等

〔研究発表〕

伊藤沙恵, 富川直樹, 杉本幸太郎, 東 淳子, 東 智仁, 千葉英樹. タイト結合分子クローディン-2 特異的ラットモノクローナル抗体の有用性. 第 108 回日本病理学会総会; 20190509-11; 東京.

齋藤優衣, 杉本幸太郎, 田中瑞子, 千葉英樹. 肺腫瘍塞栓症で死亡した尿路上皮癌の一例. 第 108 回日本病理学会総会; 20190509-11; 東京.

杉本幸太郎, 東 淳子, 東 智仁, 千葉英樹. タイト結合分子クローディンに対するモノクローナル抗体の樹立とその応用. 第 108 回日本病理学会総会; 20190509-11; 東京.

辰田功顕, 宮澤公輔, 柏木維人, 矢澤華子, 石井 順, 岩本雅美, 正和明哲, 太田昌幸, 千葉英樹, 矢澤卓也. Liver X receptor(LXR) β は小細胞肺癌治療の新規標的分子になり得る. 第 108 回日本病理学会総会; 20190509-11; 東京.

山下莉奈, 杉本幸太郎, 山崎森里生, 井村徹也, 千葉英樹. JAM-C 部分ペプチドを活用した新規幹細胞培養法. 第 108 回日本病理学会総会; 20190509-11; 東京.

千葉英樹, 杉本幸太郎. 幹細胞培養補助剤: JAM-C 部分ペプチドは間葉系幹細胞の培養補助剤として有用である. ファーマラボ EXPO; 20190703-05; 東京.

千葉英樹, 杉本幸太郎. 子宮体癌患者の予後予測バイオマーカー. ファーマラボ EXPO; 20190703-05; 東京.

千葉英樹. ラットモノクローナル抗体の樹立と有用性—子宮体癌予後予測と悪性中皮腫の新規マーカーを例に—. 新技術説明会; 20191128; 東京.

大関佳奈, 東 淳子, 東 智仁, 千葉英樹. 脳下垂体前葉の濾胞星状細胞が形成するタイトジャンクションにおける Claudin-9 の発現解析. 第 42 回日本分子生物学会年会; 20191203; 福岡.

齋藤 明, 東 智仁, 杉本幸太郎, 東 淳子, 菅野雄耶, 千葉英樹. タイト結合分子オクルディン／トリセルリンのノックアウト細胞株樹立と機能解析. 第 42 回日本分子生物学会年会; 20191203; 福岡.

東 智仁, 古瀬幹夫, 千葉英樹. プロテアーゼによるタイトジャンクションストランドの形成. 第 42 回日本分子生物学会年会; 20191203; 福岡.

矢吹峻也, 齋藤 明, 東 智仁, 橋本知樹, 杉本幸太郎, 東 淳子, 菅野雄耶, 千葉英樹. Cingulin および Paracingulin ノックアウト細胞の Phenotype について. 第 42 回日本分子生物学会年会; 20191203; 福岡.

衛生学・予防医学講座

論文

〔原 著〕

Sugaya N, Shirasaka T, Takahashi K, Kanda H. Bio-psychosocial factors of children and adolescents with internet gaming disorder: A systematic review. *Biopsychosocial Medicine*. 201902; 13:3.

Hidaka T, Kakamu T, Endo S, Kasuga H, Masuishi Y, Kumagai T, Sato S, Sasaki T, Fukushima T. Factors associated with possession of accurate knowledge regarding occupational health management among operations leaders of radiation decontamination workers in Fukushima, Japan: A cross-sectional study. *BMJ Open*. 201905; 9(5):e025729.

Hidaka T, Endo S, Kasuga H, Masuishi Y, Kakamu T, Kumagai T, Fukushima T. Associations of presence or absence of exercise and/or physical activity with non-restorative sleep by gender and age: a cross-sectional study. *BMJ Open*. 201905; 9(5):e025730.

Hidaka T, Endo S, Kasuga H, Masuishi Y, Kakamu T, Kumagai T, Saito K, Abe K, Fukushima T. Disparity in pre-emptive end-of-life conversation experience caused by subjective economic status among general Japanese elderly people: a cross-sectional study with stratified random sampling. *BMJ Open*. 201910; 9(10):e031681.

Iwaibara A, Fukuda M, Tsumura H, Kanda H. At-risk Internet addiction and related factors among junior high schoolteachers-based on a nationwide cross-sectional study in Japan. *Environmental Health and Preventive Medicine*. 201901; 24(1):3.

Hisamatsu T, Miura K, Fujiyoshi A, Kunimura A, Ito T, Miyazawa I, Torii S, Shiino A, Nozaki K, Kanda H, Arima H, Ohkubo T, Ueshima H; Shiga Epidemiological Study of Subclinical Atherosclerosis (SESSA) Research Group. Association between excessive supraventricular ectopy and subclinical cerebrovascular disease: a population-based study. *European Journal of Neurology*. 201909; 26(9):1219-1225.

Kinoshita M, Takeda H, Yamada C, Kumagai T, Kakamu T, Hidaka T, Masuishi Y, Endo S, Hashimoto S, Fukushima T. Characteristics of awareness and behavior of medical staff for prevention of falling accidents among inpatients. *Fukushima Journal of Medical Science*. 201904; 65(1):13-23.

Kakamu T, Hidaka T, Kumagai T, Jinnouchi T, Sato S, Masuishi Y, Endo S, Nakano S, Koyama K, Fukushima T. Characteristics of anxiety and the factors associated with presence or absence of each anxiety among radiation decontamination workers in Fukushima. *Industrial Health*. 201909; 57(5):580.

Tsuboi S, Mine T, Kanke S, Ohira T. Who needs care? - The long-term trends and geographical distribution of deaths due to acute myocardial infarction in Fukushima Prefecture following the Great East Japan Earthquake. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 201912; 41:101318.

Hidaka T, Kakamu T, Endo S, Kasuga H, Masuishi Y, Kumagai T, Sato S, Sasaki T, Fukushima T. Association of Anxiety over Radiation Exposure and Acquisition of Knowledge Regarding Occupational Health Management in Operation Leader Candidates of Radioactivity Decontamination Workers in Fukushima, Japan: A Cross-Sectional Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 201912; 17(1):228.

Tsuboi S, Mine T, Tomioka Y, Shiraishi S, Fukushima F, Ikaga T. Are cold extremities an issue in women's health? Epidemiological evaluation of cold extremities among Japanese women. *International Journal of Women's Health*. 201901; 11:31-39.

Saito A, Matsumoto M, Hyakutake A, Saito M, Okamoto N, Tsuji M. The frequency of cooking dinner at home and its association with nutrient intake adequacy among married young-to-middle-aged Japanese women: the POTATO Study. *Journal of Nutritional Science*. 201904; 8:e14.

Kawazoe M, Arima H, Maeda T, Tsuji M, Mishima T, Fujioka S, Tsugawa J, Tsuboi Y. Sensitivity and specificity of cardiac 123I-MIBG scintigraphy for diagnosis of early-phase Parkinson's disease. *Journal of the Neurological Sciences*. 201912; 407:116409.

Yamanokuchi T, Nakagawa T, Yamaura K, Yoshimura C, Maeda T, Tsuji M, Kawazoe M, Satoh A, Arima H. Predictors of prolonged time of operation using general anesthesia in a teaching hospital. *Medical Bulletin of Fukuoka University*. 201903; 46(1):55-61.

Kakamu T, Hidaka T, Kumagai T, Masuishi Y, Kasuga H, Endo S, Sato S, Takeda A, Koizumi M, Fukushima T. Unhealthy changes in eating habits cause acute onset hypertension in the normotensive community-dwelling elderly-3 years cohort study. *Medicine*. 201904; 98(15):e15071.

Kikuchi K, Lee K, Ueno H, Tomari K, Kobori S, Kaetsu A, Matsui M, Suzuki S, Sekizuka T, Kuroda M, Miyazaki M, Ohnishi M. Enterohaemorrhagic *Escherichia coli* O121:H19 acquired an extended-spectrum β -lactamase gene during the development of an outbreak in two nurseries. *Microbial Genomics*. 201907; 5(7):e000278.

亀井克之, 尾久裕紀, 金子信也. 中小企業における健康経営と経営者の健康 日仏比較研究より. 危険と管理. 201906; 50:33-39.

小島有里子, 西川将巳, 塚本 忠, 坂本 崇, 村田美穂, 福島哲仁. パーキンソン病及び、認知症を含むパーキンソン病関連疾患等における表情認知機能の特徴. 川村学園女子大学研究年報. 201901; 8:1-14.

岡 達郎, 牧野由美子, 大城 等, 谷口栄作, 神田秀幸. 島根県における血圧管理状況の現状とその課題. 島根医学. 201912; 39(3):134-140.

橋村康二, 福田茉莉, 鈴木 哲, 木村愛子, 佐藤利栄, 津村秀樹, 嘉数直樹, 神田秀幸. 中山間地域在住の家族介護者における介護負担感に関連する要因 ソーシャルサポートに焦点を当てて. 島根大学医学部紀要. 201903; 41:23-28.

菅家智史, 森 冬人, 坪井 聡, 若山 隆, 葛西龍樹. 受診目安ハンドブックの住民全戸配布は住民の時間外診療件数に影響を与えるか 中断時系列分析. 日本プライマリ・ケア連合学会誌. 201912; 42(4):191-197.

〔総説等〕

辻 雅善, 船越駿介, 神田秀幸. 文献レビューによる未成年の飲酒が脳に及ぼす影響. 近畿大学九州短期大学研究紀要. 201912; 49:9-19.

〔研究報告書〕

日高友郎. 除染作業指揮者における業務に係る労働衛生知識の実態. 公益財団法人福島県労働保健センター平成29年度事業年報. 201903; 60-71.

〔その他〕

菅原亜紀子, 諸井陽子, 小林 元, 大谷晃司, 石川和信. 医学生の医学用語に対する認知と理解の習熟過程. 医学教育. 201912; 50(6):563-567.

辻 雅善, 有馬久富. 血圧変動と糖尿病性足潰瘍. 血圧. 201905; 26(5):252-253.

辻 雅善. 和食を世界に認められる健康食にするためには. 公衆衛生. 201905; 83(5):326-327.

鈴木陽一, 山田一郎, 吉村純一, 佐藤 洋, 今泉博之, 高橋幸雄, 山崎隆志, 桑野園子, 藤坂洋一, 君塚郁夫, 下田康平, 白橋良宏, 永幡幸司, 増田 潔, 杉江 聡, 古賀貴士, 鈴木航輔, 平光厚雄, 代田仁孝, 川井敬二. ISO/TC43・ISO/TC43/SC1・ISO TC43/SC2 総会 一音響に関する国際規格の審議状況: 2018 松江会議一. 騒音制御. 201908; 43(4):154-161.

永幡幸司. 音環境の調査法: 一ISO 12913 シリーズに基づくサウンドスケープの調査法一. 日本音響学会誌. 201908; 75(8):473-480.

鈴木陽一, 桑野園子, 君塚郁夫, 下田康平, 白橋良宏, 永幡幸司, 増田 潔, 古賀貴士, 鈴木航輔, 平光厚雄, 代田仁孝, 山田一郎, 川井敬二, 吉村純一, 杉江 聡, 佐藤 洋, 今泉博之, 高橋幸雄, 山崎隆志, 藤坂洋一. ISO/TC 43・ISO/TC 43/SC1・ISO TC 43/SC2 総会 一音響に関する国際規格の審議状況: 2018 松江会議一. 日本音響学会誌. 201908; 75(8):487-494.

著 書・訳 書

日高友郎. 2章 構造×実存性 記述のコード化 2-4 オープンコーディング. In: サトウタツヤ, 春日秀朗, 神崎真実 編. 質的研究法マッピングー特徴をつかみ活用するために. 東京: 新曜社; 201909. p.72-79.

春日秀朗. 5章 質的研究の方法論的基礎 5-5 質的研究の倫理. In: サトウタツヤ, 春日秀朗, 神崎真実 編. 質的研究法マッピングー特徴をつかみ活用するために. 東京: 新曜社; 201909. p.224-229.

神田秀幸. I 漢方総論 5 公衆衛生と漢方. In: 加藤士郎 編. 西洋医学と東洋医学の W 専門医が指南! 臨床力を本
当にアップする漢方. 東京: 中山書店; 201902. p.32-37.

日高友郎. 第 6 章 文化心理学×移行 ②震災から見る文化／文化から見る震災. In: 木戸彩恵, サトウタツヤ 編.
文化心理学—理論・各論・方法論. 東京: ちとせプレス; 201903. p.191-207.

研究発表等

〔研究発表〕

Tanaka M. Season and Indoor Air Conditions in Housing. UTCI - assessment measure in human
bioclimatology - 10 years of application and 1st European Biometeorologist Regional Meeting; 20190522-24;
Warsaw, Poland.

Nagahata K. Examination of Soundscape-Quality Protocols in Japanese. INTER-NOISE 2019; 20190616-19;
Madrid, Spain. Proceedings. 437-446.

Kinoshita M, Horiuchi T, Abe N. Endeavor and Challenges for Medical Safety Promoters to Reduce Fall
Accident Prevention of In-Patients. 8th World Congress of Clinical Safety; 20191003; Prague, Czech Republic.
Proceedings. 46.

辻 雅善, 今本 彩, ウォーターズ・ブライアン, 原 健二, 久保真一, 尾崎米厚. 新生児毛髪からの Fatty
Acid Ethyl Esters の測定方法の検討: 胎児のアルコール曝露の証明. 第 89 回日本衛生学会学術総会; 20190201-
03; 名古屋. 日本衛生学雑誌. 74(Suppl.):s149.

石田康二, 永幡幸司, 森長 誠, 川井敬二. 社会音響調査データアーカイブの持つ可能性: 音環境デザインの視
点から. 日本騒音制御工学会平成 31(2019)年春季研究発表会; 20190417; 東京. 講演論文集. 33-36.

永幡幸司. 環境施策としてのフィールド録音. 日本騒音制御工学会平成 31(2019)年春季研究発表会; 20190417; 東
京.

各務竹康, 日高友郎, 増石有佑, 春日秀朗, 遠藤翔太, 福島哲仁. 主治医の指示を認識していない労働者への
治療継続介入のタイミングと産業医の立ち位置. 第 92 回日本産業衛生学会; 20190522-25; 名古屋.

辻 雅善, 船越駿介, 神田秀幸. 文献レビューによる未成年の飲酒が脳に及ぼす影響. 第 17 回日本予防医学学会
学術総会; 20190629-30; 宇都. プログラム・抄録集. 38.

佐藤 勢, 各務竹康, 早川岳人, 日高友郎, 熊谷智広, 増石有佑, 遠藤翔太, 春日秀朗, 森 弥生, 福島哲
仁. 介護老人保健施設入所者における時間帯別にみた転倒の個人要因. 日本予防理学療法学会 第 5 回サテライト
集会; 20190818; 東京.

森 弥生, 日高友郎, 各務竹康, 永幡幸司, 福島哲仁. 一般大学生と比較した青年期吃音当事者の心理的・精神
的健康の特徴. 日本吃音・流暢性障害学会第 7 回大会; 20190830-31; 相模原. プログラム・抄録集. 35.

日高友郎. 町の私、私の町：放射性廃棄物の中間貯蔵施設建設に対する住民の意味づけ. 日本心理学会第 83 回大会; 20190911; 大阪.

木下美佐子, 堀内輝子, 脇屋友美子. 看護基礎教育における災害看護の教育内容の検討ー震災後の福島県の看護教員への調査からー. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190929; 福島. 抄録集. 152.

堀内輝子, 木下美佐子, 脇屋友美子, 佐藤利憲, 安村誠司. 全国の看護基礎教育機関における放射線看護実施施設の特徴と課題ー東日本大震災前後の比較ー. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190929; 福島. 抄録集. 153.

辻 雅善, 船越駿介, 川添美紀, 吉村 力, 前田俊樹, 佐藤 敦, 有馬久富. 高血圧治療ガイドライン 2019 の血圧分類別にみた食塩摂取量と減塩の意義: ISSA-CKD. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生学雑誌. 66(10 特別附録):219.

川添美紀, 船越駿介, 吉村 力, 前田俊樹, 佐藤 敦, 辻 雅善, 有馬久富. 高尿酸血症と高血圧発症との関連: ISSA-CKD. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生学雑誌. 66(10 特別附録):355.

金子信也. 養護教諭特別明科生者の精神健康調査. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191024; 高知. 日本公衆衛生学雑誌. 66(10 特別附録):469.

遠藤翔太, 日高友郎, 増石有佑, 各務竹康, 齊藤恵子, 阿部孝一, 福島哲仁. 地域居住高齢者の延命治療希望に対する社会的・個人的交流の影響. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知.

各務竹康, 日高友郎, 増石有佑, 春日秀朗, 遠藤翔太, 福島哲仁. 家庭健康管理テュートリアル実習により医学生が得られた経験と学習意識への影響. 第 78 回日本公衆衛生学会; 20191023-25; 高知.

日高友郎, 高橋典子, 井上真理子, 太田悠太, 遠藤翔太, 各務竹康, 鈴木理恵子, 志村泰知, 佐野貴紀, 山内望美, Simon Collier, 福島哲仁, 阿部孝一. 福島県郡山市における産・学・官協働糖尿病対策: 第三報ーリスク認知分析と実践的提案. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191024; 高知.

船越駿介, 吉村 力, 前田俊樹, 川添美紀, 佐藤 敦, 辻 雅善, 多田和弘, 高橋宏治, 伊藤建二, 安野哲彦, 升谷耕介, 中島 衡, 向原茂明, 有馬久富. 寝る前の食事が高血圧発症におよぼす影響: ISSA-CKD 研究. 第 42 回日本高血圧学会総会; 20191025-27; 東京.

船越駿介, 前田俊樹, 川添美紀, 佐藤 敦, 吉村 力, 辻 雅善, 多田和弘, 高橋宏治, 伊藤健二, 安野哲彦, 升谷耕介, 中島 衡, 向原茂明, 有馬久富. 一般住民における高血圧発症の危険因子: ISSA-CKD 研究. 第 31 回血圧管理研究会; 20191130; 京都.

星 千歳, 伊藤央奈, 高橋麻美, 田中美咲, 西間木穂乃花. 社員食堂利用者の食事選択傾向と疾病との関係について. 第 31 回福島県栄養士会研究発表会; 20191207; 郡山.

佐藤 勢, 各務竹康, 早川岳人, 日高友郎, 増石有佑, 遠藤翔太, 春日秀朗, 福島哲仁. 施設に入所している認知症高齢者の行動心理症状は、転倒の予測因子になりうるか. 第 6 回日本地域理学療法学会学術大会 (第 54 回

日本理学療法学会) ; 20191215; 京都.

宮河彩乃, 永幡幸司. 日本語版サウンドスケープの印象評価尺度に関する基礎的検討. 東北地区音響学研究会; 20191130; 福島. 講演資料. 1-4.

〔シンポジウム〕

Sachkouskaya A, Sharshakova T, Lyzikov A, Voropaev E, Kumagai A, Murakami M, Fukushima T, Yabe H, Takahashi J, Yoshida K, Takamura N. Comparative analysis of the anxiety level of mothers in the Gomel region and Fukushima. 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science 'Cooperative wisdom among communities for disaster preparedness and response'; 20190113-14; Fukushima.

Hidaka T. Sustainable Community. Sustainable Brands 2019; 20190307; Detroit, USA.

木下美佐子, 阿部夏樹, 酒井仁子, 中村みゆき. 医療現場における多様な安全への取り組み. 第5回日本医療安全学会学術総会; 20190210; 東京. 抄録集. 62.

日高友郎. 意味への一方的なアプローチを超えて: トランスビューで変容しているもの. 日本心理学会第83回大会; 20190911; 大阪.

福島哲仁, 木下美佐子. メインシンポジウムー原発事故から8年ーすべての人々の Well-Being をめざす放射線看護. 日本放射線看護学会第8回学術集会; 20190928; 福島. 抄録集. 47.

〔招待講演〕

Nagahata K, Manabe T, Okada S. A pilot study on the analysis of soundwalk data. ICA 2019 and EAA Euroregion; 20190909-13; Aachen, Germany. Proceedings. 6123-6128.

〔その他〕

日高友郎. 【短信】低活動だと睡眠の質が悪化 (医療健康) . 苫小牧民報 (新聞) . 20190731.

公衆衛生学講座

論 文

〔原 著〕

Fukasawa M, Kawakami N, Nakayama C, Yasumura S. Relationship Between Use of Media and Radiation Anxiety Among the Residents of Fukushima 5.5 Years After the Nuclear Power Plant Accident. Disaster

Medicine and Public Health Preparedness. 2019;11(29); doi: 10.1017/dmp.2019.132.

Iwasa H, Moriyama N, Kuroda Y, Nakayama C, Orui M, Horiuchi T, Nakayama T, Sugita M, Yasumura S. Recovery from radiation anxiety and posttraumatic growth among community dwellers after the nuclear disaster in Fukushima. *Cogent Psychology*. 2019;4(1):1602970.

Ohira T, Ohtsuru A, Midorikawa S, Takahashi H, Yasumura S, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ishikawa T, Sakai A, Suzuki S, Yamashita S, Yokoya S, Tanigawa K, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. External Radiation Dose, Obesity, and Risk of Childhood Thyroid Cancer After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: The Fukushima Health Management Survey. *Epidemiology*. 2019;30(6):853-860.

Nonaka K, Fujiwara Y, Watanabe S, Ishizaki T, Iwasa H, Amano H, Yoshida Y, Kobayashi E, Sakurai R, Suzuki H, Kumagai S, Shinkai S, Suzuki T. Is unwilling volunteering protective for functional decline? The interactive effects of volunteer willingness and engagement on health in a 3-year longitudinal study of Japanese older adults. *Geriatrics & Gerontology International*. 2019;19(7):673-678.

Takiguchi M, Ohira T, Nakano H, Yumiya Y, Yamaki T, Yoshihisa A, Nakazato K, Suzuki H, Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K, Takeishi Y. Trends in the Incidence of Sudden Deaths and Heart Diseases in Fukushima After the Great East Japan Earthquake. *International Heart Journal*. 2019;60(6):1253-1258.

Nakano H, Ishii K, Goto A, Yasumura S, Ohira T, Fujimori K. Development and Implementation of an Internet Survey to Assess Community Health in the Face of a Health Crisis: Data from the Pregnancy and Birth Survey of the Fukushima Health Management Survey, 2016. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 2019;16(11):1946.

Moriyama N, Iwasa H, Tsubokura M, Kuroda Y, Yasumura S. Living in the Restoration Public Housing after the Great East Japan Earthquake Correlates with Lower Subjective Well-Being of Older Adults. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 2019;16(15):2696.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahashi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki S, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K. Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan, Screened with 2 Rounds of Ultrasonography Within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *JAMA Otolaryngology - Head and Neck Surgery*. 2019;145(1):4-11.

Orui M, Yasumura S. The association between effective workplace communication with superiors and lower psychological distress among workers in the evacuation area after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Journal of Occupational Health*. 2019;61(6):471-480.

Iwasa H, Takebayashi Y, Suzuki Y, Yagi A, Zhang W, Harigane M, Maeda M, Ohira T, Yabe H, Yasumura S; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Psychometric evaluation of the simplified Japanese version of the Athens Insomnia Scale: The Fukushima Health Management Survey. *Journal of Sleep Research*. 2019;28(2):e12771.

Nakayama C, Sato O, Sugita M, Nakayama T, Kuroda Y, Orui M, Iwasa H, Yasumura S, Rudd RE. Lingering health-related anxiety about radiation among Fukushima residents as correlated with media information following the accident at Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant. PLOS ONE. 201905; 14(5):e0217285.

Moriyama N, Iwasa H, Orui M, Kuroda Y, Ono M, Okazaki K, Takamura M, Sato N, Yasumura S. Efficacy of group intervention involving physical activity on subjective well-being of elderly returnees after evacuation following the Great East Japan Earthquake. Psychogeriatrics. 201905; 19(3):246-254.

Ueda Y, Murakami M, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Orui M, Yasumura S, Ohira T; Fukushima Health Management Survey Group. Risk Factors for Problem Drinking among Evacuees in Fukushima following the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 201908; 248(4):239-252.

岩佐 一, 吉田祐子, 鈴鴨よしみ. 地域高齢者における「食事関連 QOL 尺度」とその短縮版の計量心理学的特性. 日本公衆衛生雑誌. 201903; 66(3):151-160.

大類真嗣, 黒田佑次郎, 安村誠司. 福島第一原子力発電所事故による避難指示解除後の自殺死亡率モニタリングと被災自治体と協働した自殺・メンタルヘルス対策の実践. 日本公衆衛生雑誌. 201908; 66(8):407-416.

岩佐 一, 吉田祐子, 石岡良子, 鈴鴨よしみ. 地域高齢者における「現代高齢者版余暇活動尺度」の開発 認知機能との関連の検討. 日本公衆衛生雑誌. 201910; 66(10):617-628.

新井猛浩, 後藤あや, 小松美津子, 安村誠司. 福島市における乳幼児を持つ母親の不適切な育児行動とその関連要因. 福島県保健衛生雑誌. 201903; 33:10-15.

池田ゆき, 黒田佑次郎, 森山信彰, 岩佐 一, 安村誠司. 災害後の主観的健康感良好者に特徴的な要因 東日本大震災および福島第一原発事故の避難者における検討. 福島県保健衛生雑誌. 201903; 33:16-21.

西間木ます子, 大類真嗣, 安村誠司. 原子力発電所事故後の労働者の身体的健康度を保持する要因の検討. 福島県保健衛生雑誌. 201903; 33:39-44.

吉田祐子, 鈴鴨よしみ, 岩佐 一. 地域高齢者における性別・居住形態別にみた食行動の実態. 老年社会科学. 201901; 40(4):384-392.

過年業績

Orui M, Suzuki Y, Goto A, Yasumura S. Factors Associated with Maintaining the Mental Health of Employees after the Fukushima Nuclear Disaster: Findings from Companies Located in the Evacuation Area. International Journal of Environmental Research and Public Health. 201801; 15(1):53.

〔その他〕

森山信彰, 安村誠司, 西間木ます子, 大類真嗣, 岩佐 一, 黒田佑次郎, 小野道子, 佐藤紀子, 岡崎可奈子, 高村元章. 災害による避難を経験した地域在住高齢者の精神的健康度に関連する因子の探索: 一身体活動および身体活動規定因子に着目して. 理学療法学. 201908; 46(Suppl.1):O-8-1.

著 書・訳 書

Miyabayashi I, Washio M, Yanagimoto T, Fortin E, Yasumura S. Population Aging and Health of Older People in Japan: Introduction of Health Issues and Care System for the Elderly. In: Washio M, Kiyohara C, editors. Health Issues and Care System for the Elderly. Singapore: Springer Nature Singapore; 2019. p.1-16.

Yasumura S. The Great East Japan Earthquake, the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident, and Elderly Health. In: Washio M, Kiyohara C, editors. Health Issues and Care System for the Elderly. Singapore: Springer Nature Singapore; 2019. p.185-196.

安村誠司 編著. 福島原発事故における公衆衛生課題とその対応—甲状腺検査と保健活動—. 東京: 日本公衆衛生協会; 201910.

安村誠司. 高齢者の保健・医療. In: 南学正臣 総編集. 内科学書 改訂第9版 Vol.1 内科学総論 臨床症状. 東京都: 中山書店; 201906. p.314-315.

研究発表等

〔研究発表〕

岩佐 一, 石井佳世子, 吉田祐子, 安村誠司. 子育て期の女性における認知的失敗と主観的幸福感の関連. 第29回日本疫学会学術総会; 20190130-0201; 東京. 講演集. 138.

大類真嗣, 安村誠司. 原子力発電所事故による避難指示が解除された後の自殺死亡率の動向. 第29回日本疫学会学術総会; 20190130-0201; 東京. 講演集. 149.

森山信彰, 中山千尋, 大類真嗣, 岩佐 一, 黒田佑次郎, 堀内輝子, 中山健夫, 杉田 稔, 安村誠司. 原子力災害後の福島県民の受診行動に関連する要因. 第29回日本疫学会学術総会; 20190130-0201; 東京. 講演集. 149.

森山信彰, 岩佐 一, 坪倉正治, 安村誠司. 福島県内の復興公営住宅居住高齢者の健康状態および関連因子. 第68回東北公衆衛生学会; 20190726; 盛岡.

小野道子, 岩佐 一, 勝山邦子, 安村誠司. 健康への放射線の影響による不安と食・生活習慣との関連『福島市民の健康と生活習慣調査』による検討. 第48回福島県保健衛生学会; 20190830; 郡山.

森山信彰, 小俣純一, 佐藤竜太, 岡崎可奈子, 安村誠司. 福島県内の復興公営住宅に居住する高齢者を対象とした運動教室型介入プログラムが精神的健康度に与える効果. 第37回東北理学療法学術学会; 20190914-15; 福島.

江口依里, 大平哲也, 舟久保徳美, 中野裕紀, 林 史和, 前田正治, 安村誠司, 鈴木友理子, 矢部博興, 萩

野景規, 神谷研二. 東日本大震災後の笑いの頻度と生活習慣病及び循環器疾患との関連. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):218.

佐藤俊紀, 江口依里, 大平哲也, 前田正治, 安村誠司, 鈴木友理子, 矢部博興, 萩野景規, 神谷研二. 放射線災害後の心理社会的因子と循環器疾患との関連. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):218.

森山信彰, 岩佐 一, 坪倉正治, 黒田佑次郎, 安村誠司. 福島県内の復興公営住宅に居住する高齢者の主観的幸福感とソーシャルキャピタルの関連. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):237.

安村誠司, 大平哲也, 坂井 晃, 高橋敦史, 後藤紗織, 桃井真帆, 針金まゆみ, 堀越直子, 前田正治, 矢部博興, 岩佐 一, 鈴木友理子, 神谷研二. 東日本大震災時に避難区域等に居住の高齢者の6年後の健康状態: 福島「県民健康調査」. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):251.

中野裕紀, 林 史和, 岡崎可奈子, 長尾匡則, 吉田知克, 弓屋 結, 梅澤光政, 小橋 元, 大平哲也, 安村誠司, 神谷研二. 福島県脳卒中発症登録に関する報告: 東日本大震災の影響. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):306.

岡崎可奈子, 高橋敦史, 大平哲也, 中野裕紀, 林 史和, 坂井 晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災直後の避難区域住民のメタボリックシンドロームに関連する心理社会的要因. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):338.

林 史和, 大平哲也, 中野裕紀, 岡崎可奈子, 針金まゆみ, 安村誠司, 前田正治, 高橋敦史, 矢部博興, 鈴木友理子, 神谷研二. 東日本大震災後の骨折の頻度に関連する危険因子についての検討: 福島県県民健康調査. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):429.

堀越直子, 前田正治, 岩佐 一, 桃井真帆, 及川祐一, 音地美穂, 柏崎佑哉, 針金まゆみ, 矢部博興, 安村誠司. 福島県県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」電話支援の有用性. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):513.

〔シンポジウム〕

安村誠司. 被災地福島の人々の心身の健康状況とその対応について. 日本学術会議公開シンポジウム 復興の「いま」と「これから」—社会的モニタリングと震災アーカイブの役割—; 20190810; 仙台.

森山信彰. 福島第一原子力発電所事故による被災者への健康影響と予防理学療法学の現場応用. 第6回日本予防理学療学会学術大会; 20191019-20; 広島.

〔その他〕

安村誠司. 災害対応から考える健康支援—東京電力福島第一原子力発電所事故を例に—. 第30回日本医学会総会 2019 中部; 20190427-29; 名古屋.

安村誠司. 長生きが怖い、というあなたへ ひざ・腰が痛い→歩きたくない→認知症→死亡が増えているのをご存知ですか (コメント). 週刊現代. 20190511.

安村誠司. 世界禁煙デー 「健康な街」発信 (コメント). 福島民友 (新聞); 20190605.

安村誠司. 家の中で転んで死ぬことになった 60 代以上の人たち なぜ転ぶことは、がんより怖いと言われるのか (コメント). 週刊現代. 20190928.

安村誠司. 高齢者の地域活動 (コメント). 読売新聞 (新聞); 20191113. 15 面.

その他の業績・作品等

安村誠司. 第 78 回日本公衆衛生学会総会 シンポジウム座長. 高知から考える南海トラフ地震等広域災害への備え. 20191023-25.

安村誠司. 広島大学医学部連携教授. 20171001-.

安村誠司. 飯舘村健康福祉アドバイザー. 20190513-.

法医学講座

論文

〔原 著〕

西形里絵, 加藤菜穂, 須藤美和子, 林王真美, 黒田直人. 先天性横隔膜ヘルニアおよび腸回転異常がみられた絞頸殺の一部検例. 法医学の実際と研究. 201911; 62:107-112.

加藤菜穂, 西形里絵, 武田紗希, 林王真美, 須藤美和子, 黒田直人. 頭蓋骨縫合早期癒合症と喉頭形態異常の合併した若年者就寝中急死の一部検例. 法医学の実際と研究. 201911; 62:113-118.

〔その他〕

黒田直人. 乳児剖検肺のホルマリン注入固定法に関する注意点 (Cautionary note on fixation of infant lungs by injection of formalin solution). 法医学の実際と研究. 201911; 62:207-208.

研究発表等

〔研究発表〕

Kuroda N, Nishikata R, Kato N, Miki I, Horiuchi M. An autopsy case of an infant died from diffuse white matter injuries of the brain without hemorrhage. 13th INPALMS CONGRESS 2019; 20191209; Dhaka, Bangladesh.

西形里絵, 加藤菜穂, 須藤美和子, 林王真美, 黒田直人. 徐放性ナイアシン製剤中毒による薬剤性肝障害が疑われた一部検例. 第103次日本法医学会学術全国集会; 20190614; 仙台. 日本法医学雑誌. 73(1):98.

加藤菜穂, 嶋貫佳奈子, 高橋平安彦, 須藤美和子, 林王真美, 西形里絵, 黒田直人. HbA1c 測定用 POCT 機器 (HemoCue®HbA1c501 アナライザ) の死体血への適用について. 第103次日本法医学会学術全国集会; 20190614; 仙台. 日本法医学雑誌. 73(1):107.

黒田直人, 加藤菜穂, 西形里絵, 武田紗希. 乳児頭部外傷剖検例と矛盾した保護者の受傷経緯説明. 第2回日本法医病理学会学術全国集会; 20190906; 鹿児島. 法医病理. 25(2):75-76.

〔特別講演〕

黒田直人. 法医学解剖における脳検査の課題. 第103次日本法医学会学術全国集会; 20190613; 仙台. 日本法医学雑誌. 73(1):38-39.

黒田直人. 死亡診断書の書き方と死亡診断のチェックポイント. 第79回福島県診療情報管理研究会; 20190726; 郡山.

〔その他〕

西形里絵. タバコの害と禁煙について～法医学からみたタバコ問題～. 山川印刷所セミナー; 20190105; 福島.

黒田直人. 死亡診断書の書き方について. 福島県立医科大学光が丘協議会ステップアップセミナー; 20190424; 福島.

黒田直人. 死体検案書の書き方. 福島県医師会第1回死体検案講習会; 20191109; 福島.

黒田直人. 死亡診断書 (死体検案書) の書き方. 福島県医師会第2回死体検案講習会; 20191116; 郡山.

黒田直人. 死亡診断書の書き方. 福島県立医科大学光が丘協議会ステップアップセミナー; 20191122; 会津若松.

西形里絵. 知っておきたいタバコの害～法医学の視点からみたタバコ問題～. 福島商工会議所セミナー; 20191209; 福島.

西形里絵. アサヒ電子の喫煙率ゼロを目指して～法医学からみたタバコ問題～. アサヒ電子セミナー; 20191221; 福島.

放射線生命科学講座

論文

〔原 著〕

Ohira T, Ohtsuru A, Midorikawa S, Takahashi H, Yasumura S, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ishikawa T, Sakai A, Suzuki S, Yamashita S, Yokoya S, Tanigawa K, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. External Radiation Dose, Obesity, and Risk of Childhood Thyroid Cancer After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: The Fukushima Health Management Survey. *Epidemiology*. 2019; 30(6):853-860.

Goh VST, Fujishima Y, Abe Y, Sakai A, Yoshida MA, Ariyoshi K, Kasai K, Wilkins RC, Blakely WF, Miura T. Construction of fluorescence in situ hybridization (FISH) translocation dose-response calibration curve with multiple donor data sets using R, based on ISO 20046:2019 recommendations. *International Journal of Radiation Biology*. 2019; 95(12):1668-1684.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahashi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki SI, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K. Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan, Screened With 2 Rounds of Ultrasonography Within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 2019; 145(1):4-11.

Abe Y, Noji H, Miura T, Sugai M, Kurosu Y, Ujiie R, Tsuyama N, Yanagi A, Yanai Y, Ohba T, Ishikawa T, Kamiya K, Yoshida MA, Sakai A. Investigation of the cumulative number of chromosome aberrations induced by three consecutive CT examinations in eight patients. *Journal of Radiation Research*. 2019; 60(6):729-739.

Tsuyama N, Abe Y, Yanagi A, Yanai Y, Sugai M, Katafuchi A, Kawamura F, Kamiya K, Sakai A. Induction of t(11;14) IgH enhancer/promoter-*cyclin D1* gene translocation using CRISPR/Cas9. *Oncology Letters*. 2019; 18(1):275-282.

Ishikawa T, Yasumura S, Sakai A, Ohtsuru A, Miyazaki M, Hosoya M, Ohira T, Kamiya K. Experience in Individual Dose Estimation after the Fukushima Nuclear Accident Using Self-administered Questionnaires: Activities to Encourage Responses to the Questionnaires and Resulting Response Rate. *Radiation Environment and Medicine*. 2019; 8(2):118-126.

Jang S, Suto Y, Liu J, Liu Q, Zuo Y, Duy PN, Miura T, Abe Y, Hamasaki K, Suzuki K, Kodama S. Capabilities OF THE ARADOS-WG03 REGIONAL NETWORK FOR LARGE-SCALE RADIOLOGICAL AND NUCLEAR EMERGENCY SITUATIONS IN AISA. *Radiation Protection Dosimetry*. 2019; 186(1):139-142.

Ishikawa T, Yasumura S, Akahane K, Yonai S, Ohtsuru A, Sakai A, Sakata R, Ohira T, Kamiya K. The latest update on individual external doses in an early stage after the Fukushima nuclear accident. *Radiation*

Protection Dosimetry. 201912; 187(3):402-406.

大津留晶, 緑川早苗, 熊谷敦史, 安井清孝, 大葉 隆, 千葉靖子, 宮崎 真, 佐藤久志, 長谷川有史, 津山尚宏, 坂井 晃, 石川徹夫. 放射線健康リスク科学教育の医学教育における潮流と本学での取り組み. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):85-94.

福田俊章, 坂井 晃, 挟間章博, 岡田達也, 志村清仁, 永福智志, 長谷川有史, 藤野美都子. 医学セミナーの試み. 2018. 福島医学雑誌. 2019; 69(3):203-204.

研究発表等

〔研究発表〕

Tsuyama N, Abe Y, Yanagi A, Sugai M, Kamiya K, Sakai A. Induction of t(11;14) IgH enhancer/promoter-cyclin D1 gene translocation using CRISPR/Cas9. 放射線災害・医科学研究拠点第3回国際シンポジウム Cooperative wisdom among communities for disaster preparedness and response; 20190113; Fukushima.

Abe Y, Noji H, Sugai M, Kurosu Y, Tsuyama N, Yanagi A, Yanai Y, Ohba T, Ishikawa T, Miura T, Kamiya K, Yoshida MA, Sakai A. Analysis of the number of chromosome aberrations induced by three consecutive CT examinations. 放射線災害・医科学研究拠点第3回国際シンポジウム Cooperative wisdom among communities for disaster preparedness and response; 20190113; Fukushima.

Abe Y, Noji H, Miura T, Fujioka K, Sugai M, Kurosu Y, Ujiie R, Tsuyama N, Yanagi A, Yanai Y, Ohba T, Ishikawa T, Inaba T, Kamiya K, Yoshida MA, Sakai A. Difficulty in dose evaluation following low-dose ionizing radiation exposure by analyzing chromosome aberrations. The International Symposium on Chromosomal Aberrations (ISCA) in ICRR 2019; 20190827; Manchester, UK.

Yanagi A, Tsuyama N, Sugai M, Abe Y, Azami Y, Yanai Y, Ota A, Sivasundaram K, Muramatsu M, Shigemura T, Sasatani M, Hashimoto Y, Kamiya K, Hanamura I, Ikezoe T, Onodera M, Sakai A. Introduction of Chromosomal Translocation t(11; 14) and a p53 Deletion into Normal B Cell-derived iPSCs to Elucidate the Cellular Origin of Myeloma Cells. 61th ASH Annual Meeting; 20191208; Orlando, USA.

坂井 晃, 柳 亜希, 津山尚宏, 菅井美咲, 阿部 悠, 柳井祐佳理, 太田明伸, Kaman Sivasundaram, 重村倫成, 笹谷 恵, 神谷研二, 花村一郎, 池添隆之, 小野寺雅史. 正常Bリンパ球由来iPS細胞を用いた多発性骨髄腫の発生機序の解明に向けて (Attempt to elucidate the mechanism of development of multiple myeloma using iPS cells derived from normal B cells). 第44回日本骨髄腫学会学術集会; 20190601; 名古屋.

菅井美咲, 津山尚宏, 阿部 悠, 柳 亜希, 坂井 晃. ゲノム編集による正常Bリンパ球由来iPS細胞への染色体転座 t(11;14)の誘発. 第51回福島医学検査学会; 20190601; 郡山.

津山尚宏, 阿部 悠, 柳 亜紀, 菅井美咲, 神谷研二, 坂井 晃. CRISPR/Cas9を用いた染色体転座 t(11;14)誘導系の作製と染色体異常解析への応用. 第4回放射線災害・医科学研究拠点カンファレンス; 20190601; 広島.

Yanagi A, Tsuyama N, Sugai M, Abe Y, Yanai Y, Ota A, Sivasundaram K, Alkebsi L, Muramatsu M,

Shigemura T, Sasatani M, Hashimoto Y, Kamiya K, Hanamura I, Ikezoe T, Onodera M, Sakai A.

Chromosomal translocation t(11;14) and p53 deletion in B cell-derived iPS cells by CRISPR/Cas9

(CRISPR/Cas9による正常Bリンパ球由来iPS細胞への染色体転座t(11;14)とp53欠失の誘導). 第81回日本血液学会学術集会; 20191013; 東京.

岡崎可奈子, 高橋敦史, 大平哲也, 中野裕紀, 林 史和, 坂井 晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災直後の避難区域住民のメタボリックシンドロームに関連する心理社会的要因. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知.

安村誠司, 大平哲也, 坂井 晃, 高橋敦史, 後藤紗織, 桃井真帆, 針金まゆみ, 堀越直子, 前田正治, 矢部博興, 岩佐 一, 鈴木友理子, 神谷研二. 東日本大震災時に避難区域等に居住の高齢者の6年後の健康状態: 福島「県民健康調査」. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知.

Tsuyama N, Abe Y, Yanagi A, Sugai M, Kamiya K, Sakai A. CRISPR/Cas9を用いた配列特異的DNA二本鎖切断と染色体異常の解析. 第62回日本放射線影響学会; 20191114-16; 京都.

〔シンポジウム〕

Abe Y, Miura T, Yoshida MA, Liu M, Zheng B, Ishiwata K, Sugai M, Tsuyama N, Yanagi A, Kamiya K, Sakai A. 染色体分析工程のオートメーション化と染色体異常解析ソフトによる解析効率の向上. 第62回日本放射線影響学会; 20191114-16; 京都.

疫学講座

論 文

〔原 著〕

Tsuji T, Yamamoto K, Yamasaki K, Hayashi F, Momoki C, Yasui Y, Ohfuji S, Fukushima W, Habu D. Lower dietary variety is a relevant factor for malnutrition in older Japanese home-care recipients: a cross-sectional study. BMC Geriatrics. 201907; 19(1):197.

Satoh H, Ohira T, Nagai M, Hosoya M, Sakai A, Yasumura S, Ohtsuru A, Kawasaki Y, Suzuki H, Takahashi A, Sugiura Y, Shishido H, Hayashi Y, Takahashi H, Kobashi G, Ozasa K, Hashimoto S, Ohto H, Abe M, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Evacuation is a risk factor for diabetes development among evacuees of the Great East Japan earthquake: A 4-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Diabetes & Metabolism. 201906; 45(3):312-315.

Iwai-Takano M, Watanabe T, Ohira T. Common carotid artery kinking is a predictor of cardiovascular events: A long-term follow-up study using carotid ultrasonography. Echocardiography. 201912; 36(12):2227-2233.

Ohira T, Takahashi H, Yasumura S. The Authors Respond (Re: Associations between childhood thyroid cancer and external radiation dose after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident). *Epidemiology*. 201903; 30(2):e11.

Ohira T, Ohtsuru A, Midorikawa S, Takahashi H, Yasumura S, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ishikawa T, Sakai A, Suzuki S, Yamashita S, Yokoya S, Tanigawa K, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. External Radiation Dose, Obesity, and Risk of Childhood Thyroid Cancer after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: The Fukushima Health Management Survey. *Epidemiology*. 201911; 30(6):853-860.

Uemura M, Hayashi F, Ishioka K, Ihara K, Yasuda K, Okazaki K, Omata J, Suzutani T, Hirakawa Y, Chiang C, Aoyama A, Ohira T. Obesity and mental health improvement following nutritional education focusing on gut microbiota composition in Japanese women: a randomised controlled trial. *European Journal of Nutrition*. 201912; 58(8):3291-3302.

Oe M, Maeda M, Ohira T, Itagaki S, Harigane M, Suzuki Y, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Ohto H. Parental Recognition of Bullying and Associated Factors Among Children After the Fukushima Nuclear Disaster: A 3-Year Follow-Up Study from the Fukushima Health Management Survey. *Frontiers in Psychiatry*. 201905; 10:283.

Takiguchi M, Ohira T, Nakano H, Yumiya Y, Yamaki T, Yoshihisa A, Nakazato K, Suzuki H, Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K, Takeishi Y. Trends in the Incidence of Sudden Deaths and Heart Diseases in Fukushima After the Great East Japan Earthquake. *International Heart Journal*. 201911; 60(6):1253-1258.

Matsumi H, Nakamura K, Eguchi E, Miyoshi T, Nakagawa K, Nishii N, Watanabe A, Ueoka A, Yoshida M, Tokunaga N, Amioka N, Yamada N, Saito D, Morita H, Ogino K, Ito H, Ibara-AF Investigators. Low Consultation Rate of General Population with Atrial Fibrillation. *International Heart Journal*. 201911; 60(6):1303-1307.

Tsuboi S, Mine T, Kanke S, Ohira T. Who needs care? - The long-term trends and geographical distribution of deaths due to acute myocardial infarction in Fukushima Prefecture following the Great East Japan Earthquake. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 201912; 41:101318.

Nakano H, Ishii K, Goto A, Yasumura S, Ohira T, Fujimori K. Development and Implementation of an Internet Survey to Assess Community Health in the Face of a Health Crisis: Data from the Pregnancy and Birth Survey of the Fukushima Health Management Survey, 2016. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 201906; 16(11):1946.

Tsuboi S, Mine T, Tomioka Y, Shiraishi S, Fukushima F, Ikaga T. Are cold extremities an issue in women's health? Epidemiological evaluation of cold extremities among Japanese women. *International Journal of Women's Health*. 201901; 11:31-39.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahashi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki SI, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K.

Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan, Screened With 2 Rounds of Ultrasonography Within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 201901; 145(1):4-11.

Okada C, Imano H, Yamagishi K, Cui R, Umesawa M, Maruyama K, Muraki I, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Sankai T, Okada T, Kiyama M, Kitamura A, Iso H, Sato S, Koyama I, Nakamura M, Nagao M, Ohira T, Saito I, Ikeda A, Tanigawa T. Dietary intake of energy and nutrients from breakfast and risk of stroke in the Japanese population: The circulatory risk in communities study (CIRCS). *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 201901; 26(2):145-153.

Maruyama K, Eshak E, Kinuta M, Nagao M, Cui R, Imano H, Ohira T, Iso H. Association between Vitamin B group supplementation with changes in % flow mediated dilatation and plasma homocysteine levels: A randomized controlled trial. *Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition*. 201901; 64(3):243-249.

Nishioka S, Maruyama K, Tanigawa T, Miyoshi N, Eguchi E, Nishida W, Osawa H, Saito I. Effect of non-surgical periodontal therapy on insulin resistance and insulin sensitivity among individuals with borderline diabetes: A randomized controlled trial. *Journal of Dentistry*. 201906; 85:18-24.

Nyamasege C, Kimani-Murage E, Wanjohi M, Kaindi D, Ma E, Fukushige M, Wagatsuma Y. Determinants of low birth weight in the context of maternal nutrition education in urban informal settlements, Kenya. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 201904; 10(2):237-245.

Goto R, Tanigawa T, Maruyama K, Tomooka K, Eguchi E, Osawa H, Saito I. Associations of snoring frequency with blood pressure among the lean Japanese population: the Toon Health Study. *Journal of Human Hypertension*. 201901; 34(4):271-277.

Iwasa H, Takebayashi Y, Suzuki Y, Yagi A, Zhang W, Harigane M, Maeda M, Ohira T, Yabe H, Yasumura S; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Psychometric evaluation of the simplified Japanese version of the Athens Insomnia Scale: The Fukushima Health Management Survey. *Journal of Sleep Research*. 201904; 28(2):e12771.

Hamanishi S, Eguchi E, Ito T, Nagaoka K, Ogino K. Head cooling during sleep improves sleep quality in the luteal phase in female university students: A randomized crossover-controlled pilot study. *PLOS ONE*. 201903; 14(3):e0213706.

Morishima T, Miyashiro I, Inoue N, Kitasaka M, Akazawa T, Higano A, Idota A, Sato A, Ohira T, Sakon M, Matsuura N. Effects of laughter therapy on quality of life in patients with cancer: An open-label, randomized controlled trial. *PLOS ONE*. 201906; 14(6):e0219065.

Ishikawa T, Yasumura S, Sakai A, Ohtsuru A, Miyazaki M, Hosoya M, Ohira T, Kamiya K. Experience in Individual Dose Estimation after the Fukushima Nuclear Accident Using Self-administered Questionnaires: Activities to Encourage Responses to the Questionnaires and Resulting Response Rate. *Radiation Environment and Medicine*. 201909; 8(2):118-126.

Ishikawa T, Yasumura S, Akahane K, Yonai S, Ohtsuru A, Sakai A, Sakata R, Ohira T, Kamiya K. The latest update on individual external doses in an early stage after the Fukushima nuclear accident. *Radiation Protection Dosimetry*. 201912; 187(3):402-406.

Fujimiya T, Iwai-Takano M(Equal Contributor), Igarashi T, Shinjo H, Ishida K, Takase S, Yokoyama H. Late Gadolinium Enhancement Predicts Improvement in Global Longitudinal Strain after Aortic Valve Replacement in Aortic Stenosis. *Scientific Reports*. 201910; 9(1):15688.

Takabayashi A, Maruyama K, Tanno Y, Sakurai S, Eguchi E, Wada H, Shirahama R, Saito I, Tanigawa T. The association of coffee consumption and oxygen desaturation index during sleep among Japanese male workers. *Sleep & Breathing = Schlaf & Atmung*. 201902; 23(4):1027-1031.

Jinnouchi H, Matsudaira K, Kitamura A, Kakihana H, Oka H, Hayama-Terada M, Muraki I, Honda E, Imano H, Yamagishi K, Ohira T, Okada T, Kiyama M, Iso H. Effects of Low-Dose Therapist-Led Self-Exercise Education on the Management of Chronic Low Back Pain: Protocol for a Community-Based, Randomized, 6-Month Parallel-Group Study. *Spine Surgery and Related Research*. 201910; 3(4):377-384.

Ueda Y, Murakami M, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Orui M, Yasumura S, Ohira T; Fukushima Health Management Survey Group. Risk Factors for Problem Drinking among Evacuees in Fukushima following the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201908; 248(4):239-252.

Yumiya Y, Murakami M, Takebayashi Y, Suzuki S, Ohira T. Unreliable Information as a Risk Factor for Worse Mental Fatigue among Residents in Fukushima after the Nuclear Power Station Accident. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201908; 248(4):261-272.

Takaoka N, Sairenchi T, Irie F, Matsushita M, Nagao M, Umesawa M, Haruyama Y, Watanabe H, Yamagishi K, Iso H, Kobashi G, Ota H. High Hematocrit Levels Are Associated with Risk of Cardiovascular Mortality among Middle-Aged Japanese Women: The Ibaraki Prefectural Health Study (IPHS). *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201909; 249(1):65-73.

大平哲也. ライフコースと健康 笑いとストレス・生活習慣病との関連. *Comprehensive Medicine*. 201903; 17(1):20-27.

大平哲也. 笑い与健康 心と身体を癒す笑いの効果. *板橋区医師会医学会誌*. 201907; 23:12-35.

富士佳弘, 岡崎可奈子, 中野裕紀, 章 雯, 上村真由, 広崎真弓, 大平哲也, 磯 博康. 東日本大震災後の仮設住宅生活者に対する社会参加型の身体活動介入が不活動の高齢者に及ぼす効果に関する予備的検討. *運動疫学研究*. 201909; 21(2):104-112.

大平哲也. 【活き活きと過ごして、イキイキと働く】心と体を癒す 笑いの力 働く人の健康増進に生かす. *健康管理*. 201904; 778:2-25.

大平哲也. 笑いと心臓病に関するエビデンス. *心臓*. 201911; 51(11):1217-1221.

菅家智史, 森 冬人, 坪井 聡, 若山 隆, 葛西龍樹. 受診目安ハンドブックの住民全戸配布は住民の時間外診療件数に影響を与えるか 中断時系列分析. 日本プライマリ・ケア連合学会誌. 201912; 42(4):191-197.

廣川空美, 大脇多美代, 大平哲也, 茂松茂人. 「大阪版事業場のこころの健康専門家ガイド」試用に至る事業場のメンタルヘルス対策状況. 労働安全衛生研究. 201909; 12(3):145-151.

〔総説等〕

大平哲也. 「笑い」のパワー～ストレスをやわらげる身近な存在～. へるすあつぷ 21. 2019; 414:22-23.

大平哲也. 「笑い」のパワー～日常生活で笑いを増やす法～. へるすあつぷ 21. 2019; 415:22-23.

大平哲也. 町へ出て、人と会い、日常に笑いを増やそう. べんちのひと. 2019; 30(1):16-17.

大平哲也. 笑み 心と身体を癒し、健康寿命を延ばす. 文 : MON next. 2019; 118:2-4.

著 書・訳 書

大平哲也. 福島県における甲状腺検査の現状と課題～福島県県民健康調査～ In: 安村誠司 編. 福島原発事故における公衆衛生課題とその対応－甲状腺検査と保健活動－. 東京: 日本公衆衛生協会; 201910. p.43-52.

研究発表等

〔研究発表〕

Ohba T, Lyamzina Y, Goto A, Nakano H, Murakami M, Kuroda Y, Miyazaki M, Kumagai A, Ohira T, Liutsko L, Sarukhan A, Tanigawa K, Cardis E. SHAMISEN-SINGS project: Review of mobile phone application for citizen health and well-being assessment following the Fukushima accident. 3rd International Symposium of the Network-Type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20190113; Fukushima.

Ma E, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yasumura S, Kamiya K. Stability of dietary pattern in Fukushima residents after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima Health Management Survey 2011-2013. World Nutrition Conference 2019; 20190225-26; Prague, Czech Republic.

Ohba T, Lyamzina Y, Goto A, Murakami M, Nakano H, Kuroda Y, Miyazaki M, Kumagai A, Ohira T, Liutsko L, Sarukhan A, Tanigawa K, Cardis E. Development of a mobile phone application for interactive support of residents returning after a nuclear accident. RICOMET 2019; 20190701; Barcelona, Spain.

Eguchi E, Kawakami M, Yamazaki R, Funakubo N, Hayashi R, Shirai K, Ito T, Nagaoka K, Ohira T, Ogino K. The effects of laughter therapy on cardiovascular risks among community-dwelling Japanese: a randomized controlled trial. 33rd Annual Conference of the European Health Psychology Society; 20190904; Dubrovnik,

Croatia.

Ohira T, Eguchi E, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Kamiya K. Daily laughter and risk of cardiovascular diseases among residents after the Great East Japan Earthquake. 33rd Annual Conference of the European Health Psychology Society; 20190904; Dubrovnik, Croatia.

Shimura H, Matsuzuka T, Suzuki S, Suzuki S, Iwadata M, Midorikawa S, Ohtsuru A, Yokoya S, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K. Management of thyroid nodules in children and adolescents based on the Japanese guidelines for thyroid nodules: The Fukushima Health Management Survey. 89th Annual Meeting of the American Thyroid Association; 20191102; Chicago, USA.

Ma E, Takahashi H. Changes of suicide rates in Fukushima and neighbor prefectures after the Great East Japan Earthquake. 第29回日本疫学会学術総会; 20190130; 東京.

田中麻理, 今野弘規, 村木 功, 久保田康彦, 手塚一秀, 羽山実奈, 清水悠路, 岡田武夫, 木山昌彦, 山岸良匡, 梅澤光政, 大平哲也, 崔 仁哲, 山海知子, 谷川 武, 北村明彦, 佐藤眞一, 磯 博康. 高感度CRP濃度と心房細動発症リスク: CIRCS. 第29回日本疫学会学術総会; 20190131-0201; 東京.

廣川空美, 大平哲也, 長尾匡則, 永吉真子, 梶浦 貢, 今野弘規, 北村明彦, 木山昌彦, 岡田武夫, 磯 博康. 唾液中コルチゾール値の変動における職位、仕事のストレスとの関連. 第29回日本疫学会学術総会; 20190131-0201; 東京.

舟久保徳美, 林 利恵, 江口依里, 岡崎可奈子, 中野裕紀, 林 史和, 小俣純一, 磯 博康, 大平哲也. 笑って健康教室で肥満とストレスを解消! いきいき健康フォーラム; 20190224; 白河.

山岸良匡, 北村明彦, 岡田武夫, 山海知子, 谷川 武, 今野弘規, 大平哲也, 崔 仁哲, 池田 愛, 野田博之, 梅澤光政, 村木 功, 清水悠路, 羽山実奈, 久保田康彦, 木山昌彦, 磯 博康. コホート研究から得られた認知症に関する最近の知見 CIRCS 研究における認知症研究. 第55回日本循環器予防学会学術集会; 20190511-12; 久留米. 日本循環器病予防学会誌. 54(2):101.

舟久保徳美, 林 利恵, 江口依里, 磯 博康, 大平哲也. 笑いプログラムが脂肪-脳関連に及ぼす効果: 無作為化比較試験. 第55回日本循環器病予防学会学術集会; 20190511-12; 久留米. 日本循環器病予防学会誌. 54(2):127.

手塚一秀, 久保田康彦, 大平哲也, 清水悠路, 今野弘規, 岡田武夫, 木山昌彦, 磯 博康. 怒りと関連した脳卒中発症リスクの増加は家族や友人からのサポートで修飾される: CIRCS 研究. 第55回日本循環器病予防学会; 20190511-12; 久留米.

二宮浩世, 片上直人, 高原充佳, 松岡孝明, 大平哲也, 下村伊一郎. 日本人2型糖尿病患者における心理・社会的因子と腎症進展との関連. 第62回日本糖尿病学会年次学術集会; 20190523-25; 仙台. 糖尿病. 62(Suppl.1):S-170.

江口依里, 大平哲也, 舟久保徳美, 中野裕紀, 林 史和, 前田正治, 安村誠司, 鈴木友理子, 矢部博興, 神谷研二. 東日本大震災後の生活習慣病に与える笑いの影響. 第68回東北公衆衛生学会; 20190726; 盛岡.

藤原理佐子, 高野真澄, 大手信之. アルツハイマー病患者において, 高血圧既往に関連しない左室壁厚増加が生じる. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913; 名古屋.

金澤晃子, 高野真澄. 軽度二次性三尖弁逆流は弁輪拡大を伴わない場合においても遠隔期に増悪する. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190914; 名古屋.

藤宮 剛, 高野真澄, 横山 斉. 術前栄養状態指標 PNI score は開心術後周術期在院日数と関連する. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190915; 名古屋.

高野真澄, 藤宮 剛, 石田圭一, 横山 斉. 大動脈瘤患者に対するステントグラフト内挿術後の心機能変化: 収縮後期における左室への逆流血流の存在と wall stress の増加. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190915; 名古屋.

渡部朋幸, 高野真澄. CH2PEF score を用いた拡張不全診断: 日本人における左房圧上昇同定の試み. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190915; 名古屋.

丹治麻衣子, 小室和子, 須藤詩乃, 高田佳奈, 金内あかね, 金澤晃子, 高野真澄. 高齢者の軽度左室壁肥厚を伴う進行性心不全例において野生型 ATTR アミロイドーシスと診断した一例. 日本超音波医学会第 58 回東北地方学術集会; 20190929; 山形.

舟久保徳美. 要介護高齢者におけるセサミオイルによる口腔ケアの症例報告. 第 41 回日本アーユルヴェーダ学会; 20191013-14; 東京.

陣内裕成, 柿花宏信, 北村明彦, 松平 浩, 羽山実奈, 村木 功, 本田瑛子, 山岸良匡, 今野弘規, 大平哲也, 岡田武夫, 木山昌彦, 齋藤多聞, 磯 博康. 慢性腰痛・ひざ痛の重症化予防と住民健診におけるブリーフインタビューの開発. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録). 185, 224.

手塚一秀, 久保田康彦, 大平哲也, 高田 碧, 清水悠路, 今野弘規, 岡田武夫, 木山昌彦, 磯 博康. 怒りと関連した循環器疾患リスクの増加は定年後の就労状況で修飾される CIRCS 研究. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録). 218.

安岡実佳子, 村木 功, 今野弘規, 陣内裕成, 久保田康彦, 羽山実奈, 梅澤光政, 山岸良匡, 崔 仁哲, 大平哲也, 北村明彦, 岡田武夫, 木山昌彦, 磯 博康. 中年における筋肉量及び腹囲と糖尿病との関連 CIRCS 研究. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録). 219.

安村誠司, 大平哲也, 坂井 晃, 高橋敦史, 後藤紗織, 桃井真帆, 針金まゆみ, 堀越直子, 前田正治, 矢部博興, 岩佐 一, 鈴木友理子, 神谷研二. 東日本大震災時に避難区域等に居住の高齢者の 6 年後の健康状態 福島「県民健康調査」. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録). 251.

舟久保徳美, 鈴木健悟, 奥口大充, 西間木ます子, 江口依里, 大平哲也. 車の色と信号無視違反との関連について. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):313.

李 嘉奇, 今野弘規, 崔 仁哲, 山岸良匡, 梅澤光政, 村木 功, 羽山実奈, 大平哲也, 木山昌彦, 岡田武夫, 山海知子, 谷川 武, 北村明彦, 磯 博康. 地域住民における白血球数と循環器疾患発症リスクとの関連 (CIRCS). 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録). 354.

石井三千花, 大平哲也, 坪井 聡. 日本と中国の医学生における統合失調症患者に対する態度に関する横断研究. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録). 469.

長尾匡則, 春山康夫, 小橋 元, 磯 博康, 大平哲也. 食事の東洋医学的性質を評価する為に必要な食品の選択に関する検討. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知.

岡崎可奈子, 高橋敦史, 大平哲也, 中野裕紀, 林 史和, 坂井 晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災直後の避難区域住民のメタボリックシンドロームに関連する心理社会的要因. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023; 高知.

江口依里, 大平哲也, 舟久保徳美, 中野裕紀, 林 史和, 前田正治, 安村誠司, 鈴木友理子, 矢部博興, 荻野景規, 神谷研二. 東日本大震災後の笑いの頻度と生活習慣病及び循環器疾患との関連. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191024; 高知.

佐能俊紀, 江口依里, 大平哲也, 前田正治, 安村誠司, 鈴木友理子, 矢部博興, 荻野景規, 神谷研二. 放射線災害後の心理社会的因子と循環器疾患との関連. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191024; 高知.

中野裕紀, 林 史和, 岡崎可奈子, 長尾匡則, 吉田知克, 弓屋 結, 梅澤光政, 小橋 元, 大平哲也, 安村誠司, 神谷研二. 福島県脳卒中発症登録に関する報告: 東日本大震災の影響. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191024; 高知.

米城 陽, 長尾匡則, 中野裕紀, 村上道夫, 大平哲也. 心理状態と音楽嗜好に関する横断研究. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191024; 高知.

林 史和, 大平哲也, 中野裕紀, 岡崎可奈子, 針金まゆみ, 安村誠司, 前田正治, 高橋敦史, 矢部博興, 鈴木友理子, 神谷研二. 東日本大震災後の骨折の頻度に関連する危険因子についての検討: 福島県県民健康調査. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191025; 高知.

橋本重厚, 永井雅人, 大平哲也, 細矢光亮, 安村誠司, 林 義満, 佐藤博亮, 鈴木 均, 坂井 晃, 小橋元, 小笹昇太郎, 大津留晶, 神谷研二, 大戸 斉. 福島県「県民健康管理調査」東日本大震災における避難による心理的・社会的背景が血中尿酸レベルに及ぼす影響. 第 42 回日本高血圧学会総会; 20191025-29; 東京. プログラム・抄録集. 299.

中野裕紀, 後藤あや, 石井佳世子, 森美由紀, 藤森敬也, 大平哲也, 安村誠司, 鈴木孝太, 神谷研二. 妊産婦における妊娠中から出産までの喫煙状況の変化との関連: 福島県県民健康調査妊産婦に関する調査. 第 13 回日本禁煙学会学術総会; 20191103; 山形.

河野恭彦, 服部隆利, 山口一郎, 横山須美, 中野裕紀, 佐藤紀子, 工藤ひろみ, 野村直希, 迫田晃弘, 内藤航, 黒田佑次郎, 吉田浩子. 福島事故後に住民に提供された資料の分析とその評価方法の検討〜SG1 の取り組み.

日本保健物理学会第 52 回研究発表会; 20191206; 仙台.

〔シンポジウム〕

大平哲也. 日常における笑いを論文化する 日常的なライフスタイルを如何に論文化するか? (教育セミナー). 第 55 回日本循環器病予防学会; 20190511; 久留米.

大平哲也. 笑いと精神医療 ～こころと身体を癒す笑いの効果～ シンポジウム 2 笑いと精神医療. 第 19 回日本外来精神医療学会; 20190720-21. 福岡.

高野真澄, 金澤晃子, 高橋皇基, 丹治雅博. 僧帽弁形成術後における心房性僧帽弁逆流の再発は, 左室後壁の内方への bending と僧帽弁後尖の tethering に関連する. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190915; 名古屋.

藤原理佐子, 高野真澄, 大手信之. アルツハイマー病患者における心機能障害. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190915; 名古屋.

大平哲也. 東日本大震災後の避難住民のこころと身体健康状態の推移～福島県県民健康調査～ シンポジウム 10 災害と健康影響. 第 67 回日本職業・災害医学会学術大会; 20191110; 東京.

〔特別講演〕

大平哲也. 笑いと医療～こころと身体を癒す笑いの効果～ (市民公開講座). 日本薬学会第 139 年会; 20190323; 千葉.

大平哲也. 笑いと健康～医学が明らかにする笑いの抗加齢効果～ (記念講演). 第 1 回日本抗加齢医学会九州地方会; 20190317; 福岡.

高野真澄. いつ・どこで・どんな時、超音波を役立てるか. 令和元年度福島県レジデント・スキルアップセミナー; 20190928; 福島.

高野真澄. 心不全のチェックポイント. 令和元年度福島県レジデント・スキルアップセミナー; 20190928; 福島.

高野真澄. スタートアップ Strain : 解析法と臨床での使い方. ECHO TOHOKU 2019; 20191130; 仙台.

〔招待講演〕

Ohira T, Shirai K. Psycho-social determinants for health aging in Japan (Panel Discussion). 9th International Conference of Traditional and Complementary Medicine (INTRACOM); 20190803; Selangor, Malaysia.

Ohira T. Laughter is the best therapy for happiness and healthy life expectancy (Symposium 2). 9th International Conference of Traditional and Complementary Medicine (INTRACOM); 20190804; Selangor, Malaysia.

舟久保徳美. 笑いと口腔機能 ～笑って未病対策～. 第 3 回国際アーユルヴェーダシンポジウム; 20191123; 東京.

〔その他〕

藤宮 剛, 高野真澄. (メディア報道) 最適な手術時期見極め「大動脈弁狭窄症患者 画像解析で機能回復予測」 福医大研究グループ発表. 福島民報 (新聞) ; 20191122.

藤宮 剛, 高野真澄. (メディア報道) 術後の「心臓機能改善」予測法発見 福島医大、英国科学誌掲載. 福島民報 (新聞) ; 20191122.

放射線物理化学講座

論 文

〔原 著〕

Nakahara A, Takagi K, Sorimachi A, Katata G, Matsuda K. Enhancement of dry deposition of PM_{2.5} nitrate in a cool-temperate forest. *Atmospheric Environment*. 201909; 212:136-141.

Omori Y, Sorimachi A, Gun-Aajav M, Enkhgerel N, Munkherdene G, Oyunbolor G, Shajbalidir A, Palam E, Yamada C. Gamma dose rate distribution in the Unegt subbasin, a uranium deposit area in Dornogobi Province, southeastern Mongolia. *Environmental Science and Pollution Research*. 201911; 26(32):33494-33506.

Kierepko R, Sahoo SK, Hosoda M, Tokonami S, Sorimachi A, Kim E, Ohno M. ²³⁸Pu/(²³⁹+²⁴⁰)Pu activity ratio as an indicator of Pu originating from the FDNPP accident in the terrestrial environment of Fukushima Prefecture. *Journal of Environmental Radioactivity*. 201901; 196:133-140.

Abe Y, Noji H, Miura T, Sugai M, Kurosu Y, Ujiie R, Tsuyama N, Yanagi A, Yanai Y, Ohba T, Ishikawa T, Kamiya K, Yoshida MA, Sakai A. Investigation of the cumulative number of chromosome aberrations induced by three consecutive CT examinations in eight patients. *Journal of Radiation Research*. 201910; 60(6):729-739.

Omori Y, Ishikawa T, Sorimachi A, Ishikawa T. Distributions of indoor gamma dose rates in relation to gamma-ray emissions from building materials: case study of high-rise concrete building in Fukushima. *Radiation Protection Dosimetry*. 201907; 184(1):116-126.

Omori Y, Sorimachi A, Gun-Aajav M, Enkhgerel N, Oyunbolor G, Palam E, Yamada C. Elevation of gamma dose rate by construction of the Asian Highway 3 (AH3) between Ulaanbaatar and Sainshand, Mongolia. *Radiation Protection Dosimetry*. 201907; 184(1):127-134.

Ishikawa T, Yasumura S, Akahane K, Yonai S, Ohtsuru A, Sakai A, Sakata R, Ohira T, Kamiya K. The latest update on individual external doses in an early stage after the Fukushima nuclear accident. *Radiation Protection Dosimetry*. 201912; 187(3):402-406.

Sorimachi A, Tokonami S, Omori Y, Janik M, Iwaoka K, Ishikawa T, Sun Q. Characteristics of indoor radon and thoron concentrations in cave dwellings in Gansu province, China. *Radiation Protection Dosimetry*. 201910; 184(3-4):457-462.

Omori Y, Inoue S, Otsuka T, Nagamatsu Y, Sorimachi A, Ishikawa T. Reduction in ambient gamma dose rate from radiocesium due to snow cover. *Radiation Protection Dosimetry*. 201910; 184(3-4):510-513.

Igarashi Y, Kita K, Maki T, Kinase T, Hayashi N, Hosaka K, Adachi K, Kajino M, Ishizuka M, Sekiyama TT, Zaizen Y, Takenaka C, Ninomiya K, Okochi H, Sorimachi A. Fungal spore involvement in the resuspension of radiocaesium in summer. *Scientific Reports*. 201902; 9(1):1954.

〔総説等〕

Kojima Y, Yokoya S, Kurita N, Idaka T, Ishikawa T, Tanaka H, Ezawa Y, Ohto H. Cryptorchidism after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: causation or coincidence? *Fukushima Journal of Medical Science*. 201912; 65(3):76-98.

Ishikawa T, Yasumura Y, Sakai A, Ohtsuru A, Miyazaki M, Hosoya M, Ohira T, Kamiya K. Experience in individual dose estimation after the Fukushima nuclear accident using self-administered questionnaires - activities to encourage responses to the questionnaires and resulting response rate-. *Radiation Environment and Medicine*. 201909; 8(2):118-126.

大津留晶, 緑川早苗, 熊谷敦史, 安井清孝, 大葉 隆, 千葉靖子, 宮崎 真, 佐藤久志, 長谷川有史, 津山尚宏, 坂井 晃, 石川徹夫. 放射線健康リスク科学教育の医学教育における潮流と本学での取り組み. *福島医学雑誌*. 201904; 69(1):85-94.

研究発表等

〔研究発表〕

Abe Y, Noji H, Miura T, Fujioka K, Sugai M, Kurosu Y, Ujiie R, Tsuyama N, Yanagi A, Yanai Y, Ohba T, Ishikawa T, Inaba T, Kamiya K, Yoshida M, Sakai A. Difficulty in dose evaluation following low-dose ionizing radiation exposure by analyzing chromosome aberrations. 16th International Congress of Radiation Research (ICRR 2019); 20190825-29; Manchester, UK.

Suzuki G, Ohba T, Hasegawa A, Ishikawa T, Miyatake H, Yoshizawa N, Nagai H, Kurihara O, Kusuhara Y. Reconstruction of early internal doses for residents after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station accident. 16th International Congress of Radiation Research (ICRR 2019); 20190825-29; Manchester, UK.

Gotoh Y, Okochi H, Gotoh K, Kinno S, Kuroshima H, Sorimachi A, Tokonami S, Kita K, Igarashi Y. Distribution of the atmospherically deposited radioactive cesium in forest in Fukushima prefecture and development of eco-friendly technology for its decontamination (4). 第28回環境化学討論会; 20190612-14; さいたま.

井上 椋太, 山口高志, 野口 泉, 反町篤行, 松田和秀. EANET フィルターパック法における NH_4NO_3 粒子のアーティファクト補正法の開発. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

井上 椋太, 山口高志, 野口 泉, 反町篤行, 松田和秀. EANET フィルターパック法の窒素成分測定精度の評価と乾性沈着量推定に与える影響. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

笠原健太, 反町篤行, 堅田元喜, 松田和秀. 緩和渦集積法を用いた東京郊外の森林における硝酸ガスフラックスの季節変化. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

笠原健太, 反町篤行, 堅田元喜, 松田和秀. 森林における硝酸ガスの沈着速度抵抗モデルの検証. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

南光太郎, 堅田元喜, 北 和之, 反町篤行, 保坂健太郎. 多層陸面モデルを用いた真菌胞子の森林上空への乱流輸送過程の解析. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

和田龍一, 松見 豊, 高梨 聡, 深山貴文, 望月智貴, 谷 晃, 米村正一郎, 植山雅仁, 高木健太郎, 堅田元喜, 中野隆志, 反町篤行. 富士山麓森林におけるオゾンフラックスの季節変化とその要因の解明. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

反町篤行, 松田和秀, 和田龍一, 堅田元喜, 高木健太郎. 森林におけるエアロゾル個数濃度の鉛直分布測定. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

反町篤行, 北 和之, 南光太郎, 保坂健太郎, 堅田元喜, 五十嵐康人. 緩和渦集積法を用いたバイオエアロゾルフラックスの測定. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

大葉 隆, 石川徹夫, 永井晴康, 床次眞司, 長谷川有史, 鈴木 元. 福島第一原発事故時の小児における避難パターンと吸入による甲状腺等価線量の再評価. 第 2 回日本保健物理学会・日本放射線安全管理学会 合同大会; 20191205-07; 仙台.

反町篤行, Sahoo Sarata Kumar, 大森康孝. ラドンを用いた屋内換気率の推定方法の検討. 日本保健物理学会第 52 回研究発表会; 20191206; 仙台.

大森康孝, 反町篤行, Gun-Aajav Manlaijav, Enkhgerel Nyamdavaa, Munkherdene Ganbat, Oyunbolor Galnemekh, Shajbalidir Amarbileg, Palam Enkhtuya, 山田智恵里. モンゴル国ドルノゴビ県のウラン鉱床分布域における大地放射線調査. 日本保健物理学会第 52 回研究発表会; 20191206; 仙台.

大森康孝, 玉熊佑紀, 鈴木崇仁, Nugraha Eka Djatnika, Saputra Miki Arian, 細田正洋, 床次眞司. 拡散型ラドン・トロン測定器に使用される子孫核種除去フィルタのトロン浸透特性. 日本保健物理学会第 52 回研究発表会; 20191206; 仙台.

反町篤行, 大森康孝, 石川徹夫. 屋内におけるエアロゾル粒子とラドン壊変生成物の粒径分布の関係. 福島県立医科大学研究連携セミナー2019 年度ポスター発表会; 20191217; 福島.

大森康孝, 反町篤行, Gun-Aajav Manlaijav, Enkhgerel Nyamdavaa, Munkherdene Ganbat, Oyunbolor Galnemekh, Shajbalidir Amarbileg, Palam Enkhtuya, 山田智恵里. モンゴル国ドルノゴビ県のウラン鉱床分布域における大地放射線調査. 福島県立医科大学研究連携セミナー2019年度ポスター発表会; 20191219; 福島.

〔その他〕

大森康孝. 天然放射性核種ラドン測定に対する放射性同位体トロンの干渉. 放射性物質環境動態・環境および生物への影響に関する学際共同研究 2018年度最終報告会; 20190214; 弘前.

健康リスクコミュニケーション学講座

論 文

〔原 著〕

Hori A, Takebayashi Y, Tsubokura M, Kim Y. Efficacy of prolonged exposure therapy for a patient with late-onset PTSD affected by evacuation due to the Fukushima nuclear power plant accident. *BMJ Case Reports*. 201912; 12(12):e231960.

Yamamoto K, Nomura S, Tsubokura M, Murakami M, Ozaki A, Leppold C, Sawano T, Takita M, Kato S, Kanazawa Y, Anbe H. Internal exposure risk due to radiocesium and the consuming behaviour of local foodstuffs among pregnant women in Minamisoma City near the Fukushima nuclear power plant: a retrospective observational study. *BMJ Open*. 201907; 9(7):e023654.

Kobayashi T, Yoshida K, Takebayashi Y, Goto A, Kumagai A, Murakami M. Social identity threats following the Fukushima nuclear accident and its influence on psychological distress. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 201907; 37:101171.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahashi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki S, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K. Incidence of thyroid cancer among children and young adults in Fukushima, Japan, screened with 2 rounds of ultrasonography within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 201901; 145(1):4-11.

Ito M, Takebayashi Y, Suzuki Y, Horikoshi M. Posttraumatic stress disorder checklist for DSM-5: Psychometric properties in a Japanese population. *Journal of Affective Disorders*. 201903; 247:11-19. (Corrigendum 2020; 260:745).

Tsubokura M, Murakami M, Takebayashi Y, Nomura S, Ono K, Ozaki A, Sawano T, Kobashi Y, Oikawa T. Impact of decontamination on individual radiation doses from external exposure among residents of Minamisoma City after the 2011 Fukushima Daiichi nuclear power plant incident in Japan: a retrospective

observational study. *Journal of Radiological Protection*. 201906; 39(3):854-871.

Murakami M, Nomura S, Tsubokura M, Takebayashi Y, Yamamoto K, Oikawa T. Radiation doses and decontamination effects in Minamisoma city: airborne and individual monitoring after the Fukushima nuclear accident. *Journal of Radiological Protection*. 201910; 39(4):N27-N35.

Asanuma YF, Aizaki Y, Noma H, Yokota K, Matsuda M, Koza N, Takebayashi Y, Nakatani H, Hasunuma T, Kawai S, Mimura T. Plasma pentraxin 3 is associated with progression of radiographic joint damage, but not carotid atherosclerosis, in female rheumatoid arthritis patients: 3-year prospective study. *Modern Rheumatology*. 20191030; doi: 10.1080/14397595.2019.1681583.

Shirai K, Yoshizawa N, Takebayashi Y, Murakami M. Modeling reconstruction-related behavior and evaluation of influences of major information sources. *PLOS ONE*. 201908; 14(8):e0221561.

Murakami M, Takebayashi Y, Tsubokura M. Lower Psychological Distress Levels among Returnees Compared with Evacuees after the Fukushima Nuclear Accident. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201901; 247(1):13-17.

Hasegawa M, Murakami M, Nomura S, Takebayashi Y, Tsubokura M. Worsening Health Status among Evacuees: Analysis of Medical Expenditures after the 2011 Great East Japan Earthquake and Nuclear Disaster in Fukushima. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201906; 248(2):115-123.

Ueda Y, Murakami M, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Orui M, Yasumura S, Ohira T. Risk factors for problem drinking among evacuees in Fukushima following the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201908; 248(4):239-252.

Yumiya Y, Murakami M, Takebayashi Y, Suzuki S, Ohira T. Unreliable Information as a Risk Factor for Worse Mental Fatigue among Residents in Fukushima after the Nuclear Power Station Accident. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201908; 248(4):261-272.

小林智之, 村上道夫, 吉田和樹, 熊谷敦史, 安井清孝, 後藤あや, 竹林由武, 黒田佑次郎, 末永カツ子, 小宮ひろみ. 災害関連健康リスクに対するコミュニケーションと協働. *安全工学*. 201912; 58(6):387-393.

吉田和樹, 小林智之, 後藤あや, 竹林由武, 熊谷敦史, 安井清孝, 黒田佑次郎, 末永カツ子, 小宮ひろみ, 前田 香, 村上道夫. 地域住民と健康リスクを考える 東日本大震災後の保健活動の向上を目指したリスクコミュニケーション支援事業. *保健師ジャーナル*. 201901; 75(1):54-59.

〔総説等〕

村上道夫. 福島原発事故によってもたらされた住民の健康リスクの現状と課題. *日本リスク研究学会誌*. 201904; 28(2):63-66.

〔その他〕

Midorikawa S, Murakami M, Ohtsuru A. Harm of overdiagnosis or extremely early diagnosis behind trends in pediatric thyroid cancer. *Cancer*. 2019; 125(22):4108-4109.

Murakami M, Kumagai A, Stojarov AN, Tsubokura M. Radiation is not a political tool. *Science*. 2019; 366(6465):581-582.

村上道夫. 【緊急被ばく医療】経験を将来に伝える 福島第一原発事故後の健康リスク、放射線不安およびリスクコミュニケーション. *救急医学*. 2019; 43(6):849-855.

村上道夫. 福島レポート リスクと価値—福島での経験から. シノドス. 2019; Available from: https://synodos.jp/fukushima_report/22635.

村上道夫. 住民対話と協働活動の必要性と意義. *水環境学会誌*. 2019; 42A(3):82-83.

村上道夫. 設計科学としての福島リスク学. *日本リスク研究学会誌*. 2019; 28(2):61-62.

村上道夫. 書評『リスク学事典（日本リスク研究学会編, 丸善出版, 2019 年）』. *日本リスク研究学会誌*. 2019; 29(2):147-149.

村上道夫, 後藤あや. 地域にいきる医療人育成：原子力災害後における健康コミュニケーション教育の構築. *福島医学雑誌*. 2019; 69(1):77-83.

著 書・訳 書

村上道夫. 9 章 規制科学を支える予測モデル—放射線被ばくと化学物質のリスク予測. In: 山口富子, 福島真人 編. 予測がつくる社会: 「科学の言葉」の使われ方. 東京: 東京大学出版会; 2019. p.223-248.

村上道夫, 平井祐介. 第一部 第 1 章[1-5] 私たちを取り巻くリスク(2): 身近に隠れた日常生活リスク. In: 日本リスク研究学会 編. リスク学事典. 東京: 丸善出版; 2019. p.24-25.

村上道夫. 第 6 編 3.2 面源負荷と物質循環, 3.3 点源負荷. In: 土木学会水工学委員会水理公式集編集小委員会 編. 水理公式集【2018 年版】. 東京: 丸善出版; 2019. p.818-822.

研究発表等

〔研究発表〕

Takebayashi Y, Honda K, Murakami M. Structural topic modeling of risk communication research. 3rd International Symposium of the Network-Type Joint Usage/Research Center for Radio Disaster Medical Science; 2019; 11-14; Fukushima.

Sachkouskaya A, Sharshakova T, Lyzikov A, Voropaev E, Kumagai A, Murakami M, Fukushima T, Yabe H, Takahashi J, Yoshida K, Takamura N. Comparative analysis of the anxiety level of mothers in the Gomel

region and Fukushima. 3rd International Symposium of the Network-Type Joint Usage/Research Center for Radio Disaster Medical Science; 20190113-14; Fukushima.

Murakami M. Radiation risk perception and cooperative wisdom among stakeholders. International Symposium of Radiation Medical Science Center of Fukushima Medical University: Build Back Better - from the World to Fukushima, from Fukushima to the World; 20190114-15; Fukushima.

Murakami M. Discussion - Suggestion & Summarization. Consultancy Meeting on STS Education Support on Return in the Context of Low-Dose Radiation; 20190116-17; Fukushima.

Kobayashi T, Yoshida K, Takebayashi Y, Goto A, Kumagai A, Murakami M. The Buffering Effect of Beliefs in Group Interdependence on Intergroup Conflict in the Aftermath of the Fukushima Disaster. 20th Annual Meeting for Society for Personality and Social Psychology; 20190207-09; Portland, USA.

Murakami M. Perspective for book chapters. Technical Meeting on Communication on Low-Dose Radiation - the Role of Science, Technology and Society; 20190528-30; Fukushima.

Murakami M. Radiation risk perception and risk communication activities after the Fukushima nuclear disaster. IAEA Consultancy Meeting on STS communication of low-dose radiation - the way forward; 20191211-12; Vienna, Austria.

Murakami M, Osuga K. Perspective for book chapters. IAEA Consultancy Meeting on STS communication of low-dose radiation - the way forward; 20191211-12; Vienna, Austria.

Ohba T, Lyamzina Y, Goto A, Murakami M, Nakano H, Kuroda Y, Miyazaki M, Kumagai A, Ohira T, Liutsko L, Sarukhan A, Tanigawa K, Cardis E. Development of a mobile phone application for interactive support of residents returning after a nuclear accident. RICOMET 2019; 20190701-03; Barcelona, Spain.

Kato N, Ito M, Nakagawa A, Toyota A, Nishimura T, Miyamae M, Takebayashi Y, Horikoshi M. Feasibility study of unified protocol of transdiagnostic group treatment for emotional disorders among Japanese population with depressive and anxiety disorders. 9th World Congress of Behavioral and Cognitive Therapy; 20190717-20; Berlin, Germany.

Midorikawa S, Murakami M, Ohtsuru A. Toward the establishment of radiation health risk science: The effect of education on radiation risk perception among young people. International Congress of Radiation Research 2019; 20190825-29; Manchester, UK.

Murakami M. Health Risks and Values: Support for Evidence- and Norm-Based Decisions. ICRP-QST Symposium on Radiological Protection of People and the Environment in the Event of a Large Nuclear Accident; 20191025; Tokyo.

Ohba T, Goto A, Nollet KE, Murakami M, Nakano H, Kuroda Y, Miyazaki M, Kumagai A, Ohira T, Liutsko L, Sarukhan A, Tanigawa K, Cardis E. Adaptation of an EU-initiated mobile phone application interface for interactive support of returnees after the Fukushima nuclear accident. 4th European Radiation Protection

Week 2019; 20191014-18; Stockholm, Sweden.

吉田和樹, 照井俊宏, 町田宗仁, 竹林由武, 後藤あや. カンボジアの農村地域の教員を対象とした健康教育のスキル向上を目指したワークショップ. 日本国際保健医療学会第34回東日本地方会; 20190713; 青森.

山口慶子, 竹林由武, 伊藤正哉, 堀越 勝. 不安症に対する曝露療法の研究動向—トピックモデリングによる検討—. 第11回日本不安症学会学術大会; 20190301-02; 岐阜.

長谷川有史, 高橋宏之, 高橋真菜美, 山田裕美子, 安斎秀律, 村上道夫. 原子力災害に対応する人の意識に影響を与える因子の検討: コミュニケーションの視点から. 第24回日本災害医学会総会・学術集会; 20190318-20; 米子.

安井清孝, 村上道夫. 感情の模擬体験としての災害避難所机上演習. 第24回日本災害医学会総会・学術集会; 20190318-20; 米子.

丹羽真一, 前田正治, 星野 大, 國井泰人, 竹林由武. 福島県における震災関連自殺予防の手掛かりを求めて. 第115回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟.

小林由季, 蟹江絢子, 中川敦夫, 竹林由武, 新明一星, 中山孝子, 山口慶子, 中山千秋, 平林直次, 三村将, 堀越 勝. 強迫性障害に対する認知行動療法と家族介入併用プログラムの実施可能性と有効性の検討. 第19回日本認知療法・認知行動療法学会大会; 20190830-0901; 東京.

大葉 隆, 稲葉洋平, 津山尚宏, 坪倉正治, 村上道夫, 千田浩一, 大津留晶. 高校生における放射線に関する知識の特徴と放射線防護へ向けた教育. 第35回日本診療放射線技師学術大会; 20190914-16; さいたま.

本田香織, 五十嵐泰正, 村上道夫. 福島第一原子力発電所事故以降になされたリスクコミュニケーションの活動内容と目的の解析. 日本放射線看護学会第8回学術集会; 20190928-29; 福島.

吉田和樹, 小林智之, 庄司綾子, 片寄美由紀, 大橋亜希子, 後藤あや, 末永カツ子, 村上道夫. 被災地における災害健康関連リスク対策に関する研修会の評価: 福島県いわき市の地域包括支援センターと大学との2年間の取り組み. 日本放射線看護学会第8回学術集会; 20190928-29; 福島.

中野裕紀, 前田正治, 針金まゆみ, 水木理恵, 村上道夫, 大平哲也, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. こころの健康度・生活習慣に関する調査におけるインターネット調査による回答群の特徴: 福島県県民健康調査. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知.

米城 陽, 長尾匡則, 中野裕紀, 村上道夫, 大平哲也. 心理状態と音楽嗜好に関する研究調査. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知.

黒田佑次郎, 金井裕美子, 栗原モモ, 村上道夫, 保高徹生. 原子力災害による農村地域への社会的影響と復興に向けた課題の探索的研究. 2019年度日本リスク研究学会第32回年次大会; 20191122-24; 東京.

栗原モモ, 黒田佑次郎, 村上道夫, 金井裕美子, 保高徹生. 原子力災害による森林及び里山の利用状況の変遷要因の検討. 2019年度日本リスク研究学会 第32回年次大会; 20191122-24; 東京.

鈴木 聡, 村上道夫, 原田茂樹. 東日本大震災による福島県民の水とのふれあい方の変化とその要因. 2019 年度日本リスク研究学会 第 32 回年次大会; 20191122-24; 東京.

〔特別講演〕

竹林由武. 自律訓練学会認定ワークショップ 介入研究におけるポイントおよび近年の動向. 日本自律訓練学会第 42 回大会; 20191011; 東京.

〔招待講演〕

竹林由武. 社会心理学者のための時系列分析入門 時系列データの Granger 因果. 日本社会心理学会第 6 回春の方法論セミナー; 20190321; 東京.

竹林由武. 講習会 しなやかな因子分析モデル：非正規データを扱う Tips. 日本パーソナリティ心理学会 28 回大会; 20190828-29; 東京.

〔その他〕

竹林由武. ワークショップ WS08 実践に生きる患者報告式アウトカム尺度の選び方・作り方. 日本認知・行動療法学会第 45 回大会; 20190830-0901; 名古屋.

循環器内科学講座

論 文

〔原 著〕

Chen S, Chung F, Chao T, Hu Y, Lin Y, Chang S, Lo L, Tuan T, Te ALD, Yamada S, Prabhu A, Chang T, Lin C, Chen S. A link between bilirubin levels and atrial fibrillation recurrence after catheter ablation. *Journal of the Chinese Medical*. 2019; 82(3):175-178.

Yoshihisa A. Altered gut flora and gut microbiome-derived metabolites in heart failure patients in the compensated and decompensated phases. *Circulation Journal*. 2019; 83(1):30-31.

Ohwada T, Sakamoto T, Kanno Y, Yokokawa S, Amami K, Nakazato K, Takeishi Y, Watanabe K. Apolipoprotein B correlates with intra-plaque necrotic core volume in stable coronary artery disease. *PLOS ONE*. 2019; 14(2):e0212539.

Takahashi T, Shishido T, Kinoshita D, Watanabe K, Toshima T, Sugai T, Narumi T, Otaki Y, Tamura H, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Miyamoto T, Watanabe T, Woo C, Abe J, Takeishi Y, Kubota I,

Watanabe M. Cardiac nuclear high-mobility group box 1 ameliorates pathological cardiac hypertrophy by inhibiting DNA damage response. *JACC: Basic to Translational Science*. 2019; 4(2):234-247.

Yokokawa T, Ichimura S, Hijioka N, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Suzuki O, Ohno S, Aiba T, Ohtani H, Takeishi Y. Case reports of a c.475G>T, p.E159* lamin A/C mutation with a family history of conduction disorder, dilated cardiomyopathy and sudden cardiac death. *BMC Cardiovascular Disorders*. 2019; 19(1):298.

Lin C, Chung F, Kuo L, Lin Y, Chang S, Lo L, Hu Y, Tuan T, Chao T, Liao J, Chang T, Yamada S, Te ALD, Huang T, Chen S. Characteristics of recurrent ventricular tachyarrhythmia after catheter ablation in patients with arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 2019; 30(4):582-592.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Kanno Y, Abe S, Misaka T, Yamada S, Kaneshiro T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Circulating acetoacetate is associated with poor prognosis in heart failure patients. *International Journal of Cardiology Heart & Vasculture*. 2019; 25:100432.

Hijioka N, Kamioka M, Matsumoto Y, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical impact of insulin resistance on pulmonary vein isolation outcome in patients with paroxysmal atrial fibrillation. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 2019; 30(4):479-486.

Yamada S, Kaneshiro T, Kamioka M, Onuma H, Yamadera Y, Takeishi Y. Clinical impact of speckle tracking echocardiography for detecting the origin of posterior papillary muscle ventricular arrhythmia. *Europace*. 2019; 21(6):917.

Walia R, Chang S, Lin Y, Lo L, Hu YF, Chao T, Chung F, Liao J, Lin C, Chang Y, Lin C, Te ALD, Yamada S, Chen S, Tsao H. Early detection of electromechanical dysfunction in patients with idiopathic premature ventricular contractions. *Pacing and Clinical Electrophysiology*. 2019; 42(6):637-645.

Yokokawa T, Sugimoto K, Nakazato K, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Electrocardiographic criteria of right ventricular hypertrophy in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension after balloon pulmonary angioplasty. *Internal Medicine*. 2019; 58(15):2139-2144.

Huang T, Lo L, Yamada S, Chou Y, Lin W, Chang S, Lin Y, Liu S, Cheng W, Tsai T, Liu P, Chen S. Gastroesophageal reflux disease and atrial fibrillation: Insight from autonomic cardiogastric neural interaction. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 2019; 30(11):2262-2270.

Yoshihisa A, Sato T, Kajimoto K, Sato N, Takeishi Y; Acute Decompensated Heart Failure Syndromes (ATTEND) investigators. Heterogeneous impact of the body mass index on in-hospital mortality in acute heart failure syndromes: An analysis from the ATTEND Registry. *European Heart Journal: Acute Cardiovascular Care*. 2019; 8(7):589-598.

Aimo A, Januzzi JL Jr, Vergaro G, Ripoli A, Latini R, Masson S, Magnoli M, Anand IS, Cohn JN, Tavazzi L,

Tognoni G, Gravning J, Ueland T, Nymo SH, Rocca HB, Bayes-Genis A, Lupón J, de Boer RA, Yoshihisa A, Takeishi Y, Egstrup M, Gustafsson I, Gaggin HK, Eggers KM, Huber K, Tentzeris I, Wilson Tang WH, Grodin JL, Passino C, Emdin M. High-sensitivity troponin T, NT-proBNP and glomerular filtration rate: A multimarker strategy for risk stratification in chronic heart failure. *International Journal of Cardiology*. 2019; 277:166-172.

Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Hyponatremia at discharge is associated with adverse prognosis in acute heart failure syndromes with preserved ejection fraction: a report from the JASPER registry. *European Heart Journal: Acute Cardiovascular Care*. 2019; 8(7):623-633.

Uekita H, Ishibashi T, Shiomi M, Koyama H, Ohtsuka S, Yamamoto H, Yamagishi S, Inoue H, Itabe H, Sugimoto K, Kamioka M, Ohkawara H, Wada I, Takeishi Y. Integral role of receptor for advanced glycation end products (RAGE) in nondiabetic atherosclerosis. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2019; 65(3):109-121.

Yokoyama H, Tobaru T, Muto Y, Hagiya K, Higuchi R, Saji M, Takamisawa I, Shimizu J, Takanashi S, Takayama M, Tomita H, Tamura H, Doi S, Okazaki S, Isobe M. Long-term outcomes in Japanese nonagenarians undergoing transcatheter aortic valve implantation: A multi-center analysis. *Clinical Cardiology*. 2019; 42(6):605-611.

Sato Y, Yoshihisa A, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Low T3 syndrome is associated with high mortality in hospitalized patients with heart failure. *Journal of Cardiac Failure*. 2019; 25(3):195-203.

Misaka T, Yoshihisa A, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Sugimoto K, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Plasma levels of melatonin in dilated cardiomyopathy. *Journal of Pineal Research*. 2019; 66(4):e12564.

Matsumoto Y, Kaneshiro T, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Yoshihisa A, Ohkawara H, Hikichi T, Suzuki H, Takeishi Y. Predicting factors of transmural thermal injury after cryoballoon pulmonary vein isolation. *Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology*. 2019; 54(2):101-108.

Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Sato Y, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Prior history and incidence of cancer impacts on cardiac prognosis in hospitalized patients with heart failure. *Circulation Journal*. 2019; 83(8):1709-1717.

Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Prognostic impact of chronic obstructive pulmonary disease on adverse prognosis in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction - A report from the JASPER registry. *Journal of Cardiology*. 2019; 73(6):459-465.

Yoshihisa A, Misaka T, Kanno Y, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Takeishi

Y. Prognostic impact of restless legs syndrome on patients with heart failure. *International Heart Journal*. 2019; 60(5):1098-1105.

Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Prognostic impact of worsening renal function in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction: A report from the JASPER Registry. *Journal of Cardiac Failure*. 2019; 25(8):631-642.

Muramatsu T, Nishimura S, Takeishi Y, Nishimura T. Prognostic risk stratification of cardiac events evaluated by aortic calcification in elderly patients with chronic kidney disease: Sub-analysis of a J-ACCESS 3 Study. *Annals of Nuclear Cardiology*. 2019; 51(1):35-43.

Yamada S, Yoshihisa A, Sato T, Kamioka M, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic significance of premature ventricular complex burden on hospitalized patients with heart failure. *Journal of Arrhythmia*. 2019; 36(1):134-142.

Nakamura S, Kawano Y, Nakajima K, Hase H, Joki N, Hatta T, Nishimura S, Moroi M, Nakagawa S, Kasai T, Kusuoka H, Takeishi Y, Momose M, Takehana K, Nanasato M, Yoda S, Nishina H, Matsumoto N, Nishimura T. Prognostic study of cardiac events in Japanese patients with chronic kidney disease using ECG-gated myocardial perfusion imaging: Final 3-year report of the J-ACCESS 3 study. *Journal of Nuclear Cardiology*. 2019; 26(2):431-440.

Kagiyama N, Kitai T, Hayashida A, Yamaguchi T, Okumura T, Kida K, Mizuno A, Oishi S, Inuzuka Y, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Shimizu A, Urakami Y, Toki M, Aritaka S, Matsumoto K, Nagano N, Yamamoto K, Matsue Y. Prognostic value of BNP reduction during hospitalization in patients with acute heart failure. *Journal of Cardiac Failure*. 2019; 25(9):712-721.

Yokokawa T, Kunii H, Kaneshiro T, Ichimura S, Yoshihisa A, Yashiro-Furuya M, Asano T, Nakazato K, Ishida T, Migita K, Takeishi Y. Regressed coronary ostial stenosis in a young female with Takayasu arteritis: a case report. *BMC Cardiovascular Disorders*. 2019; 19(1):79.

Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Relation of systolic blood pressure on the following day with post-discharge mortality in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction -A Report from the JASPER Registry-. *International Heart Journal*. 2019; 60(4):876-885.

Aimo A, Januzzi JL Jr, Vergaro G, Clerico A, Latini R, Meessen J, Anand IS, Cohn JN, Gravning J, Ueland T, Nymo SH, Rocca HB, Bayes-Genis A, Lupón J, De Boer RA, Yoshihisa A, Takeishi Y, Egstrup M, Gustafsson I, Gaggin HK, Eggers KM, Huber K, Huber K, Tentzeris I, Ripoli A, Ripoli A, Passino C, Emdin M. Revisiting the obesity paradox in heart failure: Per cent body fat as predictor of biomarkers and outcome. *European Journal of Preventive Cardiology*. 2019; 26(16):1751-1759.

Yoshioka K, Matsue Y, Yamaguchi T, Kitai T, Kagiyama N, Okumura T, Kida K, Oishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Kuroda S, Matsumura A, Hirao K. Safety and prognostic impact of early treatment with angiotensin-converting enzyme inhibitors or angiotensin receptor blockers in patients with acute heart failure.

American Journal of Cardiovascular Drugs. 2019; 19(6):597-605.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Senescence marker protein 30 deficiency exacerbates pulmonary hypertension in hypoxia-exposed mice. *International Heart Journal*. 2019; 60(6):1430-1434.

Sato A, Kijima M, Ichimura S, Yaegashi D, Anzai F, Shimizu T, Matsui Y, Kaneko H, Sakamoto K, Seino Y, Maruyama Y, Takeishi Y. Short-term outcome of percutaneous coronary intervention with directional coronary atherectomy followed by drug-coated balloon: a preliminary report. *Cardiovascular Intervention and Therapeutics*. 2019; 34(2):149-154.

Pan K, Hsiao Y, Lin Y, Lo L, Hu Y, Chung F, Tsai Y, Chao T, Liao J, Lin C, Jhuo S, Lin C, Suresh A, Walia R, Te ALD, Yamada S, Chang Y, Chang S, Chen S. Shorter leukocyte telomere length is associated with atrial remodeling and predicts recurrence in younger patients with paroxysmal atrial fibrillation after radiofrequency ablation. *Circulation Journal*. 2019; 83(7):1449-1455.

Yoshihisa A, Yokokawa T, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Sugimoto K, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Soluble neprilysin does not correlate with prognosis in pulmonary hypertension. *ESC Heart Failure*. 2019; 6(2):291-296.

Kondo T, Okumura T, Matsue Y, Shiraishi A, Kagiya N, Yamaguchi T, Kuroda S, Kida K, Mizuno A, Oishi S, Inuzuka Y, Akiyama E, Matsukawa R, Kato K, Suzuki S, Naruke T, Yoshioka K, Miyoshi T, Baba Y, Yamamoto M, Murai K, Mizutani K, Yoshida K, Yoshida K, Kitai T, Murohara T. Specialty-related differences in the acute-phase treatment and prognosis in patients with acute heart failure - insights from REALITY-AHF. *Circulation Journal*. 2019; 83(1):174-181.

Nehashi T, Oikawa M, Amami K, Kanno Y, Yokokawa T, Misaka T, Yamada S, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Sporadic cardiac amyloidosis by amyloidogenic transthyretin V122I variant. *International Heart Journal*. 2019; 60(6):1441-1443.

Kiko T, Sato T, Yokokawa T, Misaka T, Takeishi Y. Subacute constrictive pericarditis postcardiac surgery evaluated by ¹⁸F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/magnetic resonance imaging. *Circulation: Cardiovascular Imaging*. 2019; 12(11):e009764.

Kokubun T, Saitoh S, Miura S, Ishida T, Takeishi Y. Telomerase plays a pivotal role in collateral growth under ischemia by suppressing age-induced oxidative stress, expression of p53, and pro-apoptotic proteins. *International Heart Journal*. 2019; 60(3):736-745.

Yamada S, Lo L, Lin Y, Chang S, Chung F, Hu Y, Tuan T, Chao T, Liao J, Lin C, Chen S. The accuracy and clinical applicability of a sensor based electromagnetic non-fluoroscopic catheter tracking system. *Korean Circulation Journal*. 2019; 49(1):84-96.

Yokokawa T, Sugimoto K, Yoshihisa A, Goto T, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The fibrosis-4 index is useful for predicting mortality in patients with

pulmonary hypertension due to left heart disease. *International Heart Journal*. 2019; 60(5):1147-1153.

Chang T, Lo L, Te ALD, Lin Y, Hu Y, Chung F, Chao T, Liao J, Tuan T, Lin C, Vicera JJ, Huang T, Hoang MQ, Yamada S, Chen S. The importance of extrapulmonary vein triggers and atypical atrial flutter in atrial fibrillation recurrence after cryoablation: Insights from repeat ablation procedures. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 2019; 30(1):16-24.

Takiguchi M, Ohira T, Nakano H, Yumiya Y, Yamaki T, Yoshihisa A, Nakazato K, Suzuki H, Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K, Takeishi Y. Trends in the incidence of sudden deaths and heart diseases in Fukushima after the Great East Japan Earthquake. *International Heart Journal*. 2019; 60(6):1253-1258.

Kimishima Y, Yoshihisa A, Kiko T, Yokokawa T, Miyata-Tatsumi M, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Utility of B-type natriuretic peptide for detecting cardiac involvement in immunoglobulin amyloidosis. *International Heart Journal*. 2019; 60(5):1106-1112.

Sato A, Yoshihisa A, Miyata-Tatsumi M, Oikawa M, Kobayashi A, Ishida T, Ohtake T, Takeishi Y. Valvular heart disease as a possible predictor of trastuzumab-induced cardiotoxicity in patients with breast cancer. *Molecular and Clinical Oncology*. 2019; 10(1):37-42.

Kuroda S, Damman K, Ter Maaten JM, Voors AA, Okumura T, Kida K, Oishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Kitai T, Yoshida K, Matsumura A, Matsue Y. Very early diuretic response after admission for acute heart failure. *Journal of Cardiac Failure*. 2019; 25(1):12-19.

〔総説等〕

Ishida T, Ishida M, Tashiro S, Takeishi Y. DNA damage and senescence-associated inflammation in cardiovascular disease. *Biological and Pharmaceutical Bulletin*. 2019; 42(4):531-537.

Yoshihisa A, Takeishi Y. Sleep disordered breathing and cardiovascular diseases. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 2019; 26(4):315-327.

Misaka T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Titin in muscular dystrophy and cardiomyopathy: Urinary titin as a novel marker. *Clinica Chimica Acta*. 2019; 495:123-128.

三阪智史, 竹石恭知. II. 心筋疾患 23. 膠原病に伴う心筋症. 別冊日本臨牀 領域別症候群シリーズ. 2019; 5:211-214.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. II. 睡眠時無呼吸と生活習慣病: OSA, CSA と冠動脈疾患, 心房細動, 心不全. 呼吸器ジャーナル. 2019; 67(3):448-453.

鈴木 聡, 竹石恭知. X. 薬物治療概論 心房性ナトリウム利尿ペプチド 心房性ナトリウム利尿ペプチドの使い方. 日本臨牀 心不全 (第2版) 中. 2019; 77 (増刊 1):358-361.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. XVI. 非薬物療法 心不全における呼吸補助療法. 日本臨牀 心不全 (第2版)

中. 2019; 77(増刊 1):567-572.

喜古崇豊, 竹石恭知. 第 4 章 循環器 サルコイドーシス患者における新規の心室内伝導障害. 内科. 2019; 123(4):701-702.

三阪智史, 竹石恭知. 特集 拡張型心筋症のすべて—遺伝子診断から緩和ケアまで バイオマーカーを使いこなす. 循環器内科. 2019; 85(2):173-178.

竹石恭知. 特集 冠動脈疾患のリスク管理のフロントライン 冠動脈疾患合併症をどう管理する? 心不全をどう防ぎ治療する? 循環器ジャーナル. 2019; 67(4):644-654.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. 特集 心不全に対する陽圧呼吸治療の発展の歴史 3. 心不全に対する ASV 治療 (大規模 RCT 以前の報告). 循環制御. 2019; 40(2):82-85.

石田隆史. 放射線治療による心血管合併症. BIO Clinica. 2019; 34(10):1009-1013.

〔研究報告書〕

田代 聡, 岡田守人, 工藤 崇, 竹石恭知, 石田隆史. 平成 30 年度トライアングルプロジェクト研究成果報告 低線量被ばく影響とリスク研究 医療放射線被ばくの人体影響評価. 平成 30 年度共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト研究成果報告集. 2019; 197-199.

東 幸仁, 竹石恭知, 石田隆史, 李 桃生. 平成 30 年度トライアングルプロジェクト研究成果報告 放射線障害医療 緊急被ばくに対する再生医療体制の確立. 平成 30 年度共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト研究成果報告集. 2019; 259-270.

〔その他〕

Yoshihisa A. Editorial Statistics and Best Reviewers Award for 2018. Circulation Journal. 2019; 83(2):249-251.

Yamada S. Cover Image (Yamada S et al. Clinical impact of speckle tracking echocardiography for detecting the origin of posterior papillary muscle ventricular arrhythmia, Figure 1). Europace. 2019; 21(6):表紙.

竹石恭知. インタビュー: 不適切入試で志望者数が減少「医学部入試」どう変わる? 週刊東洋経済. 2019; 1130: 80-81.

竹石恭知. ごあいさつ. コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム. 2019; 3:2019.

石田隆史. 減塩へ福島宣言. 福島民友 (新聞). 2019; 1223: 1-2.

石田隆史. 社説 減塩の推進. 福島民友 (新聞). 2019; 1227: 5.

義久精臣. 心不全入院患者におけるがんが予後に与える影響. TCROSS NEWS (ウェブサイト). 2019; Available from: <https://www.tcross.co.jp/node/9754>.

竹石恭知. 第8回光翔祭の開催に寄せて. 第8回福島医大光翔祭～前人未踏～. 2019; プログラム:4.

竹石恭知. 日本循環器学会専門医試験について. 循環器専門医. 2019; 28:155.

竹石恭知. 理事長メッセージ. 日本心臓核医学会誌. 2019; 21(1):1.

著 書・訳 書

竹石恭知. 6 循環器疾患 急性心膜炎, 収縮性心膜炎. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 編. 今日の治療指針 2019 年版. 東京: 医学書院; 2019. p.429-430.

義久精臣 (策定編集委員). In: 日本心不全学会 編. 急性・慢性心不全診療ガイドライン かかりつけ医向けガイドランス. 東京: ライフサイエンス出版; 2019. p.1-87.

研究発表等

〔研究発表〕

Lo L, Chou Y, Liu S, Tsai TY, Cheng W, Lin W, Peng T, Lin P, Yamada S, Chen S. Angiotensin receptor neprilysin inhibition decreases AF arrhythmogenesis resulting from atrial natriuretic peptide reduction following left atrial appendage occlusion: Concept of neurohormonal modulation in heart failure model. 40th Annual Heart Rhythm Scientific Sessions; 20190508-11; San Francisco, USA. Heart Rhythm. 16(5-suppl):S341.

Yamada S, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Clinical significance of premature ventricular complex burden on prognosis in hospitalized patients with heart failure. 40th Annual Heart Rhythm Scientific Sessions; 20190508-11; San Francisco, USA. Heart Rhythm. 16(5-suppl):S317.

Chou Y, Yamada S, Lo L, Lin W, Chang S, Lin Y, Liu S, Cheng W, Tsai TY, Chen S. The beneficial effect of renal denervation on sympathetic neural remodeling in obesity and heart failure. 40th Annual Heart Rhythm Scientific Sessions; 20190508-11; San Francisco, USA. Heart Rhythm. 16(5-suppl):S156.

Yamada S, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Usefulness of speckle tracking echocardiography for detecting the origin of posterior papillary muscle ventricular arrhythmia. 40th Annual Heart Rhythm Scientific Sessions; 20190508-11; San Francisco, USA. Heart Rhythm. 16(5-suppl):S45.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Breath and skin acetone in cardiovascular diseases. 2019 XXIII ISHR World Congress; 20190603-06; Beijing, China.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Minakawa K, Sugimoto K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 2019 XXIII ISHR World Congress; 20190603-06; Beijing, China.

Oikawa M, Nodera M, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Sympathetic nervous remodeling in the intermediolateral nucleus after myocardial infarction via BDNF-TrkB axis. 2019 XXIII ISHR World Congress; 20190603-06; Beijing, China.

Amami K, Hijioka N, Kaneshiro T, Yamada S, Kamioka M, Ishida T, Takeishi Y. A case of atrioventricular reentry tachycardia circuiting between left and right accessory pathway. The 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRS 2019); 20191024-27; Bangkok, Thailand.

Yamada S, Yoshihisa A, Hijioka N, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Clinical significance of cardiac arrhythmias on readmission and cardiac death in hospitalized patients with heart failure. The 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRS 2019); 20191024-24; Bangkok, Thailand.

Kamioka M, Yoshihisa A, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Combination impact of transcatheter atrial septal defects closure and radiofrequency catheter ablation on atrial fibrillation recurrence through bi-atrial reverse remodeling. The 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRS 2019); 20191024-27; Bangkok, Thailand.

Amami K, Hijioka N, Kaneshiro T, Yamada S, Kamioka M, Ishida T, Takeishi Y. Reduction of radiation exposure during catheter ablation by changing the setting of fluoroscopic system. The 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRS 2019); 20191024-27; Bangkok, Thailand.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Kanno Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Acetoacetate is associated with poor prognosis in heart failure patients. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10079.

Hijioka N, Kaneshiro T, Matsumoto Y, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Takeishi Y. Association between balloon temperature profile and outcome of pulmonary vein isolation with 2nd-generation cryoballoon. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11800.

Sato Y, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Atrial fibrillation is associated with impaired exercise capacity and adverse prognosis in heart failure patients with mid-range ejection fraction. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10199.

Sato Y, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Benzodiazepine is associated with adverse prognosis in heart failure patients with insomnia. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10198.

Sato T, Yoshihisa A, Kanno Y, Ishida T, Takeishi Y. Cardiopulmonary exercise testing as a prognostic

indicator in patients with preserved exercise capacity. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10367.

Abe S, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical implications of hepatic hemodynamic evaluation by ultrasonography in patients with heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10769.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical implications of intrarenal hemodynamic evaluation by ultrasonography in patients with heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10799.

Misaka T, Yoshihisa A, Niimura Y, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Sato T, Kobayashi A, Takeishi Y. Clinical utility of pulse-transit-time for continuous blood pressure monitoring in patient with sleep disordered breathing. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10106.

Kiko T, Takeishi Y. Comparison of diagnostic performance of relative flow reserve with coronary flow reserve by ¹³N-ammonia positron emission tomography to detect coronary artery disease. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11749.

Kanno Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Sato Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Comparisons of clinical features and prognosis of heart failure patients with reduced ejection fraction between Japanese women and men. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A12789.

Hijioka N, Yamada S, Amami K, Kamioka M, Kaneshiro T, Ishida T, Takeishi Y. Differentiation of cardiac amyloidosis from other causes of left ventricular hypertrophy based on holter monitoring. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A14346.

Kiko T, Takeishi Y. Direct comparisons of left ventricular volume and function by simultaneous cardiac magnetic resonance imaging and gated ¹³N-ammonia positron emission tomography. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11746.

Ando T, Nakazato K, Kiko T, Shimizu T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Impact of geriatric nutrition risk index on long-term prognosis in patients with acute myocardial infarction. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11305.

Ando T, Nakazato K, Kiko T, Shimizu T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Impact of PRECISE-DAPT score on long-term prognosis in patients with acute myocardial infarction. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11446.

Ando T, Nakazato K, Kiko T, Shimizu T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Impact of prognostic nutritional index on patients with acute myocardial infarction. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11967.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. Janus activating kinase 2 V617f mutation promotes hypoxia induced pulmonary hypertension in mice. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10084.

Sato Y, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic factors in heart failure patients with cardiac cachexia. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10197.

Misaka T, Yoshihisa A, Kono S, Ichijo Y, Oikawa M, Kaneshiro T, Miura I, Yabe H, Ishida T, Takeishi Y. Reduced brain activity is associated with anxiety status and cognitive function in patients with heart failure as measured by near-infrared spectroscopy. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10733.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Ando T, Kiko T, Shimizu T, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Residual gensini score is associated with long term cardiac mortality in patients with ischemic heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10075.

Kiko T, Takeishi Y. Simultaneous evaluation of myocardial viability between late gadolinium enhancement transmuralitity and ¹⁸F-fluorodeoxyglucose uptake in patients with chronic total occlusion using by hybrid positron emission tomography/magnetic resonance imaging. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11744.

Abe S, Yoshihisa A, Kimishima Y, Sato Y, Kanno Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. TRACP5b is associated with high mortality in hospitalized patients with heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10789.

Hijioka N, Kamioka M, Amami K, Yamada S, Kaneshiro T, Ishida T, Takeishi Y. Visit-to-visit blood pressure variability predicts recurrence of atrial fibrillation in patients with hypertension. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11808.

Minakawa K, Ueda K, Nakajima O, Yokokawa T, Kimishima Y, Misaka T, Ogawa K, Ikezoe T, Takeishi Y, Ikeda K. Knock-ins of type-2 calr mutants cause myeloproliferative neoplasm (MPN)-like hematopoiesis in mice. 61st ASH Annual Meeting and Exposition; 20191207-10; Orlando, Florida, USA. Blood. 134(Suppl 1):2964.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of circulating cardiomyocyte-specific cell-free DNA in patients with heart failure. Cardiovascular and Metabolic Week 2019: International Society for Heart Research (ISHR), The 36th Annual Meeting of the Japanese Section; 20191214-15; Kobe.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. Cardiovascular and Metabolic Week 2019: International Society for Heart Research (ISHR), The 36th Annual Meeting of the Japanese Section; 20191214-15; Kobe.

羽田俊裕, 松本幸夫, 上北洋徳, 渡邊孝一郎. 持続濾過透析中に後腹膜出血を来したレジオネラ肺炎の症例. 第46回日本集中治療医学会学術集会; 20190301-03; 京都.

Kobayashi A, Oikawa M, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Association between left ventricular septal bulge and bradyarrhythmias in patients with pacemaker implantation. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

横川哲朗, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Associations of soluble neprilysin with cardiac function and outcome in patients with hypertrophic cardiomyopathy. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

佐藤崇匡, 義久精臣, 菅野優紀, 一條靖洋, 石田隆史, 竹石恭知. Cardiopulmonary exercise testing as a prognostic indicator: comparisons between heart failure patients with reduced and preserved exercise capacity. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Kimishima Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Sato Y, Kiko T, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Change in left ventricular ejection fraction and its impact on prognosis in heart failure patients with mid-range ejection fraction. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

一條靖洋, 義久精臣, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Characteristics and outcomes of heart failure patients with mid-range left ventricular ejection fraction. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Kimishima Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Sato Y, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Characteristics and outcomes of recovered left ventricular ejection fraction in heart failure patients with reduced ejection fraction. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

及川雅啓, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Characteristics and outcomes of worsening left ventricular ejection fraction in heart failure patients with preserved ejection

fraction. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

赤間 浄, 嘉納寛人, 松野俊介, 及川裕二, 有田卓人, 八木直治, 仙波宏章, 鈴木信也, 大塚崇之, 加藤祐子, 上嶋徳久, 松濱 稔, 矢嶋純二, 山下武志. Decreased serum albumin level predicts intracranial bleeding events in patients after percutaneous coronary intervention. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Endothelin-1 upregulates activin receptor-like kinase-1 (ALK-1) expression through Gi-RhoA dependent pathway in human pulmonary arterial endothelial cells. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

武藤雄紀, 樋口亮介, 桃原哲也, 萩谷健一, 横山公章, 佐地真育, 馬原啓太郎, 高見澤格, 井口信雄, 高梨秀一郎, 高山守正, 磯部光章. Home discharge after transcatheter aortic valve implantation. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Kanno Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Sato Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Impact of gastro-intestinal bleeding on the later prognosis in patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Yamada S, Yoshihisa A, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Impact of premature ventricular complex burden on re-admission and cardiac death in hospitalized patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

佐藤 悠, 義久精臣, 君島勇輔, 喜古崇豊, 菅野優紀, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. Low T3 syndrome is associated with high mortality and impaired exercise capacity in hospitalized patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Sato Y, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Plasma levels of melatonin in dilated and hypertrophic cardiomyopathies. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

一條靖洋, 義久精臣, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Prior history and incidence of cancer impacts on cardiac prognosis in hospitalized patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

佐藤 悠, 義久精臣, 及川雅啓, 永井利幸, 吉川 勉, 斎藤能彦, 山本一博, 竹石恭知, 安齊俊久. Prognostic impact of chronic obstructive pulmonary disease on adverse prognosis in heart failure patients with preserved ejection fraction: the JASPER registry. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Oikawa M, Yoshihisa A, Sato Y, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Prognostic impact of moderate mitral regurgitation on heart failure patients with preserved ejection fraction: a report from the JASPER registry. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

菅野優紀, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic impact of periodic leg movements during sleep on patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

三阪智史, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic impact of restless legs syndrome on patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

佐藤 悠, 義久精臣, 及川雅啓, 永井利幸, 吉川 勉, 斎藤能彦, 山本一博, 竹石恭知, 安斉俊久. Prognostic impact of worsening renal function in heart failure patients with preserved ejection fraction: a report from the JASPER registry. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Oikawa M, Yokokawa T, Misaka T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Red cell distribution width is a predictor of cardiac troponin I elevation after anthracycline treatment. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Relation of systolic blood pressure on the following day with mortality in heart failure patients with preserved ejection fraction: JASPER registry. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Sugimoto K, Yoshihisa A, Nakazato K, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Relationship between treatment effect of riociguat and methemoglobin in patients with pulmonary hypertension. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

金城貴士, 脇岡奈保子, 松本善幸, 山田慎哉, 上岡正志, 竹石恭知. Temperature profile of cryoballoon reflects the outcome of pulmonary vein isolation with 2nd-generation cryoballoon. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

脇岡奈保子, 上岡正志, 松本善幸, 山田慎哉, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. The utility of multipolar catheter for detection of triggered ventricular premature beat of electrical storm in patients with sub-acute myocardial infarction. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

新村裕子, 義久精臣, 横川哲朗, 三阪智史, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己, 竹石恭知. 睡眠時無呼吸症候群患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性に関する検討. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

工藤明宏, 待井典剛, 小野利夫, 大城義人, 高橋 隆, 種田嘉信, 比嘉盛丈, 八木秀介, 仲地 健, 小林 淳, 及川雅啓, 山田博胤, 竹石恭知, 佐田政隆, 島袋充生. 時効型インスリン療法中の 2 型糖尿病患者におけるダパグリフロジンの血糖日内変動に及ぼす効果. 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190509-11; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):436.

小林 淳, 及川雅啓, 義久精臣, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. ペースメーカー植え込み患者における S 字状中隔と徐脈性不整脈の関連性の検討. 日本心エコー図学会第 30 回学術集会; 20190510-12; 松本.

中里和彦, 天海一明, 喜古崇豊, 菅野優紀, 山田慎哉, 及川雅啓, 杉本浩一, 竹石恭知. 治療に難渋している combined post- and pre-capillary PH の一例. 第 4 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20190621-22; 浜松.

三阪智史, 義久精臣, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 杉本浩一, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. Plasma levels of melatonin in dilated cardiomyopathy. 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会; 20190627-28; 名古屋.

新村裕子, 義久精臣, 横川哲朗, 三阪智史, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己, 竹石恭知. 睡眠時無呼吸症候群患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性に関する検討. 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会; 20190627-28; 名古屋.

坂井千恵美, 石田万里, 上田桂太郎, 田代 聡, 吉栖正生, 石田隆史. タバコ煙抽出物の DNA 損傷および細胞老化への関与. 第 51 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20190711-12; 京都.

喜古崇豊, 根本彩香, 竹石恭知. ^{13}N -ammonia PET による虚血性心疾患に対する診断能の比較. 第 29 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20190712-13; 函館. 心臓核医学. 21(2):99.

喜古崇豊, 竹石恭知. ^{18}F -FDG PET/MRI を用いて僧帽弁置換術後の亜急性性収縮性心膜炎を診断し得た 1 例. 第 29 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20190712-13; 函館.

渡邊秋江, 渡辺祐樹, 高野純一, 久保田智之, 小野洋子, 大井直往, 菅野優紀, 一條靖洋, 佐藤崇匡, 義久精臣, 竹石恭知. サルコペニアと栄養状態に関する検討. 第 25 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会; 20190713-14; 大阪.

Kaneshiro T, Hijioaka N, Matsumoto Y, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Takeishi Y. Association between cryoballoon temperature profile and outcome of pulmonary vein isolation with 2nd-generation cryoballoon. 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会; 20190724-27; 横浜.

Yamada S, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Clinical impact of cardiac arrhythmias on the prognosis of chronic heart failure patient. 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会; 20190724-27; 横浜.

Kamioka M, Hijioaka N, Matsumoto Y, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Electrophysiological characteristics of intramural focus in patients with ventricular tachyarrhythmia originating from left ventricular outflow tract. 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会; 20190724-27; 横浜.

Hijioaka N, Kamioka M, Kunii H, Kobayashi A, Matsumoto Y, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Ishida T, Takeishi Y. Favorable clinical outcome of a transcatheter atrial septal defect closure following pulmonary vein isolation as a combination therapy. 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会; 20190724-27; 横浜.

青木俊太郎, 色摩弥生, 安井清孝, 諸井陽子, 坂本信雄, 末永博紀, 唐 尊一, 千葉靖子, 大谷晃司. SP 参加型医療面接実習での学生の自己効力感に対するフィードバックの影響. 第 51 回日本医学教育学会大会;

20190726-27; 京都.

諸井陽子, 色摩弥生, 安井清孝, 青木俊太郎, 千葉靖子, 坂本信雄, 唐 尊一, 末永博紀, 大谷晃司. 医学部におけるチーム基盤型学習(TBL)の導入に関する全国調査. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190726-27; 京都.

安井清孝, 色摩弥生, 坂本信雄, 青木俊太郎, 諸井陽子, 末永博紀, 唐 尊一, 千葉靖子, 大谷晃司. 鑑別疾患想起能力に対する症候論講義と TBL 授業の比較. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190726-27; 京都.

色摩弥生, 青木俊太郎, 坂本信雄, 末永博紀, 唐 尊一, 千葉靖子, 諸井陽子, 安井清孝, 大谷晃司. 早期臨床体験実習のバックヤード見学が学生に与える影響. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190726-27; 京都.

坂本信雄, 唐 尊一, 色摩弥生, 大谷晃司. 臨床実習へのモデル・コア・カリキュラムの活用と自己評価表の導入 ～国際認証受審に向けた本学の取組み～. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190726-27; 京都.

Anzai F, Watanabe S, Kimura H, Kamata R, Karasawa T, Komada T, Takeishi Y, Takahashi M. Crucial role of NLRP3 inflammasome in a mouse model of Kawasaki disease. 第 3 回日本循環器学会基礎研究フォーラム(The 3rd JCS Council Forum on Basic CardioVascular Research); 20190906-08; 東京.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第 3 回日本循環器学会基礎研究フォーラム(The 3rd JCS Council Forum on Basic CardioVascular Research); 20190906-08; 東京.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Ishida T, Takeishi Y. Significance of circulating cell-free DNA in patients with heart failure. 第 3 回日本循環器学会基礎研究フォーラム(The 3rd JCS Council Forum on Basic CardioVascular Research); 20190906-08; 東京.

小河原峻, 小林 淳, 喜古崇豊, 上岡正志, 及川雅啓, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. Stretched patent foramen ovale と肺高血圧症を認めた洞不全症候群の 1 例. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

小林 淳, 及川雅啓, 義久精臣, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. ペースメーカー植え込み患者における房室伝導障害と S 字状中隔の関連. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

富田湧介, 佐藤崇匡, 喜古崇豊, 松本善幸, 小林 淳, 竹石恭知. ミルリノンが奏功した亜急性収縮性心膜炎の一例. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

佐藤崇匡, 義久精臣, 竹石恭知. 運動耐容能が保持された慢性心不全患者における予後予測因子について. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

義久精臣, 渡邊孝一郎, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 石田隆史, 竹石恭知. 心不全患者におけるがん既往と予後および新規がん罹患に関する検討. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

及川雅啓, 横川哲朗, 三阪智史, 小林 淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 赤血球容積粒度分布幅によるアントラサイクリン化学療法誘発性トロポニン I 値上昇の予測. 第 67 回日本心臓病学会学術集会;

20190913-15; 名古屋.

関根虎之介, 及川雅啓, 根橋 健, 天海一明, 菅野優紀, 山田慎哉, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 著明な心肥大を呈した V122I 変異によるトランスサイレチン型心アミロイドーシスの一例. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

岡 洋佑, 矢嶋純二, 及川裕二, 松野俊介, 嘉納寛人, 岸 幹夫, 赤間 浄, 大塩博子, 福本勝文. PCI 施行患者における低栄養と予後の関係性. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

嘉納寛人, 矢嶋純二, 及川裕二, 松野俊介, 岸 幹夫, 赤間 浄, 岡 洋佑, 相澤忠範. PCI 施行患者における慢性期の C-reactive protein と心血管イベントの関係. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

佐久間裕也, 國井浩行, 片平正隆, 武藤雄紀, 阿部諭史, 山田慎哉, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Rotablator による ablation 後も balloon rupture を繰り返す病変に Wolverine が有効だった一例. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

八巻尚洋, 安藤卓也, 喜古崇豊, 及川雅啓, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. ガイドエクステンションカテ使用時に生じた長軸方向ステント延長からペイルアウトした一例. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

清水竹史, 佐藤彰彦, 坂本主司, 清野義胤, 木島幹博, 竹石恭知. 冠動脈孤発性かつ非入口部病変を呈した高安動脈炎の血管内超音波所見. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

中村裕一, 根橋 健, 大原妃美佳, 横川沙代子, 三浦俊輔, 横川哲朗, 竹石恭知. 急性心筋梗塞患者における Geriatric Nutritional Risk Index の検討. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

赤間 浄, 矢嶋純二, 及川裕二, 松野俊介, 嘉納寛人, 岸 幹夫, 岡 洋佑, 大塩博子, 福本勝文. 経皮的冠動脈形成術後の性別による予後比較. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

横川沙代子, 中村裕一, 根橋 健, 大原妃美佳, 鈴木 聡, 竹石恭知. 左前下行枝近位部への SES 留置後 14 年間再狭窄なく経過したがステント遠位部への PCI 施行後 6 か月で再狭窄をきたした一例. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

市村祥平, 國井浩行, 大原妃美佳, 富田湧介, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 進行する心原性ショックに対して、CTO である腸骨動脈を通して IABP を留置し救命しえた ACS の一例. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

瀧澤 栞, 國井浩行, 根橋 健, 安藤卓也, 神雄一郎, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 腎動脈瘤に対して VIABAHN ステントグラフトを用いて治療した一例. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会

(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

及川雅啓, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 小林 淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 赤血球容積粒度分布幅によるアントラサイクリン化学療法誘発性心筋障害の予測. 第2回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20190921-22; 旭川.

Okochi S, Oikawa M, Yaegashi D, Kanno Y, Kamioka M, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. A case of cardiac involvement in transthyretin amyloidosis. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Sakuma M, Kobayashi A, Kiko T, Kamioka M, Oikawa M, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. A case of sick sinus syndrome with stretched patent foramen ovale and pulmonary hypertension. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Kobayashi A, Oikawa M, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Association between the anatomical changes and bradyarrhythmias in patients with pacemaker implantation. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Sato T, Yoshihisa A, Kanno Y, Ishida T, Takeishi Y. Cardiopulmonary exercise testing as a prognostic indicator in patients with preserved exercise capacity. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical impact of circulating melatonin in dilated cardiomyopathy. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of restless legs syndrome in heart failure patients. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Kanno Y, Yoshihisa A, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Ishida T, Takeishi Y. Comparisons of prognosis with periodic leg movements during sleep in heart failure patients. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Yoshihisa A, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Prior history and incidence of cancer impacts on cardiac prognosis in patients with heart failure. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Oikawa M, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Red blood cell distribution width is a predictor of cardiac troponin I elevation after anthracycline treatment. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Sato Y, Kanno Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Soluble neprilysin is not associated with mortality in patients with pulmonary hypertension. 第 23 回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

金城貴士, 脇岡奈保子, 山田慎哉, 上岡正志, 竹石恭知. クライオバルーンアブレーションにおける復温相 “temperature drop” の durability および慢性期効果に対する有用性について. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2019; 20191107-09; 金沢.

脇岡奈保子, 金城貴士, 天海一明, 山田慎哉, 上岡正志, 竹石恭知. 左右副伝導路間を巡回する房室回帰性頻脈を認めた 1 例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2019; 20191107-09; 金沢.

坂井千恵美, 石田万里, 田代 聡, 吉栖正生, 石田隆史. DNA 損傷修復不全による動脈硬化進展メカニズムの探索. 第 42 回日本分子生物学会年会; 20191203-06; 福岡.

片平正隆, 横川沙代子, 中村裕一, 鈴木 聡. Double RCA に合併した、急性下壁梗塞の 1 例. 第 45 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20190202; 仙台.

安藤卓也, 水上浩行, 谷川俊了, 金澤正晴, 竹石恭知. 下腿分岐部病変の血栓性閉塞病変に対し治療に難渋した一例. 第 45 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20190202; 仙台.

中里和彦, 喜古崇豊, 及川雅啓, 八巻尚洋, 國井浩行, 竹石恭知. 冠動脈起始異常症例に対する造影および PCI に関する一提案. 第 45 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20190202; 仙台.

西浦司人, 小松宣夫, 遠藤圭一郎, 和田健斗, 金澤晃子, 石田悟朗, 神山美之, 武田寛人, 竹石恭知. 左下肢の FP バイパス術後に人工血管と浅大腿動脈の吻合部に SMART stent が留置された症例に対して TruePath™ CTO devise を使用し、左浅大腿動脈慢性閉塞病変の血行再建術に成功した 1 例. 第 45 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20190202; 仙台.

市村祥平, 國井浩行, 大原妃美佳, 富田湧介, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 進行する心原性ショックに対して、CTO である外腸骨動脈を通して IABP を留置し、救命しえた ACS の一例. 第 45 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20190202; 仙台.

瀧澤 栞, 國井浩行, 根橋 健, 安藤卓也, 神雄一朗, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 腎動脈瘤に対して VIABAHN ステントグラフトを用いて治療した一例. 第 45 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20190202; 仙台.

佐久間裕也, 國井浩行, 大原妃美佳, 富田湧介, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 当院における逆行性用イノウエバルーンの使用経験. 第 45 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20190202; 仙台.

富田湧介, 國井浩行, 大原妃美佳, 安藤卓也, 神雄一朗, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 当院における方向性粥腫切除術(DCA)施行症例の検討. 第 45 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20190202; 仙台.

谷 哲矢, 山田慎哉, 金城貴士, 上岡正志, 脇岡奈保子, 及川雅啓, 小林 淳, 中里和彦, 竹石恭知. 2D 左

室心筋長軸ストレイン解析にて起源同定が可能であった後乳頭筋起源心室性期外収縮の一例. 第 168 回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡.

千葉直貴, 中村裕一, 片平正隆, 根橋 健, 横川沙代子, 三浦俊輔, 横川哲朗, 山口佳子, 鈴木 聡. トランスサイレチン型心アミロイドーシスの一例. 第 168 回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡.

関根虎之介, 上岡正志, 金城貴士, 富田湧介, 渡邊孝一郎, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 右室流出路起源心室性期外収縮をトリガーとして頻発した非持続性/持続性心室頻拍の一例. 第 168 回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡.

大河内諭, 小野正博, 矢野奈美子, 土川幹史, 永沼和香子, 川村敬一, 大杉 拓, 武藤 満. 甲状腺機能亢進症により甲状腺心(thyroid heart)をきたした 1 例. 第 168 回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡.

瀧澤 栞, 喜古崇豊, 佐久間裕也, 松本善幸, 佐藤崇匡, 小林 淳, 中里和彦, 竹石恭知. 高安静脈炎による左前下行枝狭窄をきたした狭心症に対して DCB を用いて経皮的冠動脈形成術を施行した一例. 第 168 回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡.

天海一明, 脇岡奈保子, 金城貴士, 山田慎哉, 上岡正志, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 左右副伝導路間を旋回する房室回帰性頻拍を認めた 1 例. 第 168 回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡.

八重樫大輝, 神雄一朗, 石田隆史, 渡邊俊介, 横川哲朗, 脇岡奈保子, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. 心臓カテーテル検査による放射線被ばくの DNA 損傷とサイトカイン発現に及ぼす影響—患者と術者における検討. 第 168 回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡.

矢澤里穂, 武田由紀子, 大和田尊之, 渡部研一, 阪本貴之, 竹石恭知, 籠島彰人, 五十嵐崇, 横山 斉. 突然発症した僧帽弁腱索断裂による急性心不全の一例. 第 168 回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡.

小河原峻, 八巻尚洋, 関根虎之介, 武藤雄紀, 佐藤崇匡, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. リウマチ熱による非代償性心不全を生じた一例. 第 169 回日本循環器学会東北地方会; 20191207; 仙台.

堀北有希, 中村裕一, 根橋 健, 大原妃美佳, 横川沙代子, 齋藤正博, 川島 大, 鈴木 聡. 経皮的コイル塞栓術で軽快しえた冠動脈瘤による狭心症の 1 例. 第 169 回日本循環器学会東北地方会; 20191207; 仙台.

武藤雄紀, 國井浩行, 片平正隆, 阿部諭史, 山田慎哉, 及川雅啓, 小林 淳, 石田隆史, 竹石恭知, 藤宮剛, 瀬戸夕輝, 高瀬信弥, 横山 斉. 重症大動脈弁狭窄症に対する TAVI 後も濃厚な心不全管理を要した ATTR 型心アミロイドーシス合併例. 第 169 回日本循環器学会東北地方会; 20191207; 仙台.

和田健斗, 義久精臣, 一條靖洋, 三阪智史, 金城貴士, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 心不全患者における脳活動性と不安・抑うつ・認知機能に関する検討. 第 169 回日本循環器学会東北地方会; 20191207; 仙台.

佐久間真悠, 上岡正志, 脇岡奈保子, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 多彩な心房性不整脈を呈した心アミロイドーシスの一例. 第 169 回日本循環器学会東北地方会; 20191207; 仙台.

磯松大介, 及川雅啓, 武藤雄紀, 菅野優紀, 清水竹史, 小林 淳, 國井浩行, 高瀬信弥, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 大動脈四尖弁に経カテーテル大動脈弁留置術を施行した一例. 第 169 回日本循環器学会東北地方会; 20191207; 仙台.

佐藤崇匡, 山本晃裕, 出羽 仁, 竹石恭知, 横山 齊. 成人女性植込型補助人工心臓装着患者における月経周期による血液出血凝固系検査の変動について. 第 47 回人工心臓と補助循環懇話会学術集会; 20190201-02; 嬉野.

三阪智史, 義久精臣, 新村裕子, 横川哲朗, 竹石恭知. 睡眠時無呼吸症候群患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性. 第 3 回 PTT 血圧・SAS 研究会; 20190615; 東京.

片平正隆, 横川沙代子, 中村裕一, 鈴木 聡, 竹石恭知. Double RCA に合併した急性下壁梗塞の 1 例. 第 9 回豊橋ライブデモンストレーションコース; 20190620-22; 豊橋.

安藤卓也, 水上浩行, 谷川俊了, 金澤正晴, 竹石恭知. 下腿分岐部の血栓性閉塞病変に対し治療に難渋した一例. 第 9 回豊橋ライブデモンストレーションコース; 20190620-22; 豊橋.

中里和彦, 安藤卓也, 喜古崇豊, 及川雅啓, 八巻尚洋, 國井浩行, 竹石恭知. 冠動脈起始異常症例に対する造影および PCI に関する一提案. 第 9 回豊橋ライブデモンストレーションコース; 20190620-22; 豊橋.

市村祥平, 大原妃美佳, 富田湧介, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 進行する心原性ショックに対して、CTO である外腸骨動脈を通して IABP を留置し、救命しえた ACS の一例. 第 9 回豊橋ライブデモンストレーションコース; 20190620-22; 豊橋.

瀧澤 栞, 國井浩行, 根橋 健, 安藤卓也, 神雄一朗, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 腎動脈瘤に対して VIABAHN ステントグラフを用いて治療した一例. 第 9 回豊橋ライブデモンストレーションコース; 20190620-22; 豊橋.

横川哲朗, 市村祥平, 金城貴士, 義久精臣, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 鈴木 理, 大野聖子, 相庭武司, 大谷 弘, 竹石恭知. Cases of a c.475G>T, p.E159* lamin A/C mutation with dilated cardiomyopathy and sudden cardiac death. 第 5 回日本心筋症研究会; 20190713; 札幌.

三阪智史, 義久精臣, 佐藤 悠, 喜古崇豊, 君島勇輔, 菅野優紀, 横川哲朗, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Urinary N-terminal fragment of titin predicts mortality in patients with dilated cardiomyopathy. 第 5 回日本心筋症研究会; 20190713; 札幌.

小林 淳, 及川雅啓, 義久精臣, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. 左室流出路圧較差の変化を認めた症候性ヘテロ接合体ファブリー病の一例. 第 5 回日本心筋症研究会; 20190713; 札幌.

及川雅啓, 根橋 健, 菅野優紀, 天海一明, 山田慎哉, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 著明な心肥大を呈した V122I 変異によるトランスサイレチン型心アミロイドーシスの一例. 第 5 回日本心筋症研究会; 20190713; 札幌.

石田万里, 坂井千恵美, 石田隆史. 喫煙習慣による DNA 損傷の炎症惹起・活性化を起因とした動脈硬化発症における役割. 2019 年度喫煙科学研究発表会; 20190723; 東京.

三阪智史, 義久精臣, 竹石恭知. 尿中 Titin N-Fragment は拡張型心筋症患者の予後予測に有用である. 第 6 回 iHF フォーラム; 20190803-04; 東京.

横川哲朗, 義久精臣, 三阪智史, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 肥大型心筋症における血中ネプリライシン濃度の検討. 第 6 回 iHF フォーラム; 20190803-04; 東京.

Ando T, Yamaki T, Kiko T, Shimizu T, Kunii H, Nakazato K, Komatsu N, Takeda H, Yokoyama H, Takeishi Y. Two cases of coronary ostial stenosis after aortic valve replacement. *Complex Cardiovascular Therapeutics (CCT)* 2019; 20191024-26; 神戸.

神雄一朗, 石田隆史, 時 林, 坂井千恵美, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田万里, 田代 聡, 竹石恭知. 心臓カテーテル検査における放射線被ばくのゲノム DNA に及ぼす影響—患者と術者における検討—. 脳心血管抗加齢研究会 2019; 20191220-21; 東京. *Anti-aging Science*. 11(1):62.

安齋文弥, 渡邊幸子, 木村博昭, 鎌田 諒, 唐澤直義, 駒田敬則, 竹石恭知, 高橋将文. 川崎病疾患モデルにおける NLRP3 インフラマソームの役割. 脳心血管抗加齢研究会 2019; 20191220-21; 東京. *Anti-aging Science*. 11(1):61.

横川哲朗, 義久精臣, 三阪智史, 石田隆史, 竹石恭知. 超高齢心不全患者の特徴. 脳心血管抗加齢研究会 2019; 20191220-21; 東京. *Anti-aging Science*. 11(1):62.

坂本和哉, 及川雅啓, 佐久間真悠, 杉本浩一, 中里和彦, 竹石恭知. 周産期の心拍数コントロールに難渋した Senning 術後の一症例. 日本成人先天性心疾患学会第 21 回成人先天性心疾患セミナー; 20191109; 仙台.

八巻尚洋. 福島県急性心筋梗塞発症登録調査・2018 年集計結果. 第 50 回 Cardiovascular Intervention Conference (CIC); 20190302; 福島.

脇岡奈保子, 石田隆史, 神雄一朗, 横川哲朗, 及川雅啓, 竹石恭知, 菊田 敦, 佐野秀樹. 小児がん経験者の心血管機能および動脈硬化リスク. 第 1 回福島 Onco-Cardiology 研究会; 20190315; 福島.

高橋英紀, 五十嵐芙美, 本名拓哉, 小林祥子, 佐藤雅彦, 藤麻衣子, 星 勇喜, 高田直樹, 鈴木 聡. 心臓超音波検査を契機に発見されたバルサルバ洞動脈瘤の 2 例. 第 28 回ふくしま心エコー研究会; 20190406; 福島. 福島医学雑誌. 69(3):246.

君島勇輔, 三阪智史, 横川哲朗, 杉本浩一, 皆川敬治, 石田隆史, 池田和彦, 竹石恭知. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第 476 回福島医学会学術研究会; 20190523; 福島.

片平正隆, 武藤雄紀, 阿部諭史, 山田慎哉, 及川雅啓, 小林 淳, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 心原性ショックとなった高度大動脈弁狭窄症患者に対して緊急 BAV を行い、待機的に TAVI を施行し救命し得た超高齢女性の 1 例. 第 39 回福島心疾患治療談話会; 20190615; 福島.

根橋 健, 大原妃美佳, 横川沙代子, 中村裕一, 鈴木 聡. 薬物療法にて治癒が得られた特発性冠動脈解離の

一例. 第 39 回福島心疾患治療談話会; 20190615; 福島.

天海一明, 脇岡奈保子, 金城貴士, 山田慎哉, 上岡正志, 中里和彦, 石田隆史, 紺野慎一, 竹石恭知. 左副伝導路を順伝導し、右副伝導路を逆伝導した房室回帰性頻拍の 1 例. 第 16 回福島不整脈懇話会; 20190718; 福島.

西浦司人, 八巻尚洋, 坂本和哉, 関根虎之介, 安藤卓也, 脇岡奈保子, 佐藤崇匡, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. AVR 後に右冠動脈入口部狭窄をきたし PCI を施行した一例. 第 51 回 Cardiovascular Intervention Conference (CIC); 20190928; 郡山.

横川沙代子, 中村裕一, 根橋 健, 大原妃美佳, 鈴木 聡, 竹石恭知. 左前下行枝近位部への SES 留置後 14 年間再狭窄なく経過したがステント遠位部への PCI 施行後 6 か月で再狭窄をきたした一例. 第 51 回 Cardiovascular Intervention Conference (CIC); 20190928; 郡山.

大河内諭, 及川雅啓, 八重樫大輝, 菅野優紀, 上岡正志, 義久精臣, 中里和彦, 竹石恭知. トランスサイレチン心筋沈着と Ⅱ型 B₂JP を認めた心アミロイドーシスの一例. 第 9 回福島心不全研究会; 20191011; 福島.

〔シンポジウム〕

Takeishi Y. JHFS-TSOC joint session: Imaging in heart failure: Cardiac PET/MRI imaging in heart failure. The 49th Annual Convention & Scientific Session of the Taiwan Society of Cardiology, 2019(TSOC2019); 20190518-19; Taipei, Taiwan.

Misaka T. Cardioprotective role of FKBP8 during pressure overload by preventing accumulation of misfolded proteins and ER - associated apoptosis. 2019 XXIII ISHR World Congress; 20190603-06; Beijing, China.

Takeishi Y. Fibrosis and cardiac dysfunction. 2019 XXIII ISHR World Congress; 20190603-06; Beijing, China.

Sato T, Tomita Y, Kiko T, Matsumoto Y, Kobayashi A, Takeishi Y. Doctor JCS - Asian Championship: A case of refractory right sided heart failure after mitral valve surgery. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

及川雅啓. 心エコー図検査による CTRCD の診断: 全例 GLS を測るべきか? 日本心エコー図学会第 30 回学術集会; 20190510-12; 松本.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. 簡易 SAS 診断の現状と展望: 循環器診療における簡易 SAS 診断の意義と特殊性. 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会; 20190627-28; 名古屋.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. 循環器疾患患者の睡眠・睡眠障害: 心不全の睡眠・睡眠障害. 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会; 20190627-28; 名古屋.

石田万里, 坂井千恵美, 吉栖正生, 石田隆史. 合同シンポジウム 4 臓器障害としての動脈硬化症と血管炎症: ゲノム損傷と炎症・動脈硬化. 第 51 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20190711-12; 京都.

中里和彦. JCC ケースカンファレンス 地域医療/実地医家活動委員会企画 2. 東北チーム (虚血性心疾患) (ミ

ニレクチャー) . 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

義久精臣, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 竹石恭知. 会長特別企画 全身を診る・心臓をみる 1 HFpEF 診療における治療ターゲットを再考する: HFpEF 治療ターゲットにおける睡眠呼吸障害について再考する. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. 会長特別企画 全身を診る・心臓をみる 3 心臓病における睡眠時呼吸動態と治療介入: 心不全に合併する睡眠呼吸障害管理. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

義久精臣, 三阪智史, 石田隆史, 竹石恭知. 症例から深く学ぶ 5 2 次性高血圧症の診断と治療: 睡眠時無呼吸症候群合併高血圧患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性に関する検討. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

佐藤崇匡. 心臓リハビリテーションの医師卒前・卒後教育の現状と課題: 福島県立医科大学・福島県における卒前・卒後教育の現況と課題. 日本心臓リハビリテーション学会第 4 回東北支部地方会; 20191208; 仙台.

菅野優紀. 地域連携における心臓リハビリテーションの実践: 福島市とその周辺地域の心臓リハビリテーションの現状と今後の展望. 日本心臓リハビリテーション学会第 4 回東北支部地方会; 20191208; 仙台.

石田隆史, 石田万里, 竹石恭知. DNA 損傷と動脈硬化. 脳心血管抗加齢研究会 2019; 20191220-21; 東京. Anti-aging Science. 11(1):48.

三阪智史, 竹石恭知. 加齢に関連した新しい心不全のメカニズム. 脳心血管抗加齢研究会 2019; 20191220-21; 東京. Anti-aging Science. 11(1):43.

〔特別講演〕

竹石恭知. 薬剤性心筋症: 腫瘍循環器学の展開. いわき市中心不全学術講演会; 20190207; いわき.

金城貴士. AF 治療のアルゴリズム. DOAC Forum In Fukushima; 20190221; 福島.

坂本信雄. 循環器疾患の病態生理および心電図. 消防学校 特別講話; 20190221; 福島.

金城貴士. クライオアブレーションの適応と合併症への対策. CryoConsole Hands-on And Meeting Program (CHAMP); 20190222; 郡山.

義久精臣. 心房細動の包括的管理—DOAC を生かすための睡眠呼吸障害治療—. 会津医学会学術講演会; 20190418; 会津若松.

中村裕一. VTE の急性期治療. 会津医学会学術集会; 20190419; 会津若松.

中里和彦. なかなかとれない、その息切れは? ~慢性血栓塞栓性肺高血圧症の診断と治療の進歩~. 会津医学会学術集会; 20190419; 会津若松.

國井浩行. 大動脈弁狭窄症(Aortic stenosis: AS)の現状と最新治療. 相双循環器カンファレンス; 20190524; 相馬.

義久精臣. 心不全患者における消化管保護の重要性～抗血小板薬服用患者への対応～. GI WEB セミナー;
20190527; 福島.

國井浩行. モーニングセミナー：TAVI 治療の現状. ADATARA LIVE DEMONSTRATION 2019; 20190605-07;
郡山.

國井浩行. 大動脈弁狭窄症の現状とカテーテルを用いた最新治療. ふくしま最新治療カンファレンス; 20190613;
福島.

中里和彦. 肺高血圧症診療の過去・現在・未来～難治性疾患と地域でどう向き合うか～. 相馬肺高血圧症研究会;
20190619; 相馬.

國井浩行. 大動脈弁狭窄症(Aortic stenosis: AS)の現状と最新治療について. AIZU Intervention Conference;
20190628; 会津若松.

金城貴士. 基調講演：心房細動の治療：カテーテルアブレーションの進歩. 心房細動トータルケアセミナー～発見
から QOL 改善までの最速治療～; 20190630; 福島.

國井浩行. カテーテルで行う低侵襲大動脈弁治療；TAVI～診断・適応から抗血栓療法まで～. 循環器疾患セミナー;
20190708; 福島.

及川雅啓. 変化する循環器疾患管理－脂質低下療法から TAVI、アミロイド、onco-cardiology まで－. 第 51 回如
山会郡山・県南地区フォーラム「夏の集い」; 20190801; 郡山.

國井浩行. カテーテルで行う低侵襲大動脈弁治療；TAVI～診断・適応から抗血栓療法まで～. 循環器 Up to Date;
20190828; 郡山.

義久精臣. 急性増悪期の心不全の病態と治療. ふくしま心不全ケア勉強会 2019 年度第 1 回勉強会; 20190831;
福島.

義久精臣. 講義：代表的な疾患の診断等について＜②循環器疾患＞. 令和元年度福島県難病指定医研修; 20190901;
郡山.

金城貴士. 心房細動アブレーションと周術期抗凝固療法の現状. イグザレト WEB カンファレンス; 20190912;
Web 配信.

中里和彦. 教育セミナー：PCI の適応－待機的 PCI. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会
(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

金城貴士. 心房細動アブレーションの進歩と抗凝固療法の現状. 安達地区循環器医療連携講演会; 20190920; 二本
松.

義久精臣. ランチョンセミナー：心不全の睡眠呼吸障害管理－過去・現在・未来－. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

義久精臣, 竹石恭知. 教育講演：心不全における陽圧呼吸療法－いま ASV をどう活用すべきか－. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

石田万里, 田代 聡, 吉栖正生, 石田隆史. 教育講演：脈管疾患と医療放射線被ばく. 第60回日本脈管学会総会; 20191010-12; 東京. 脈管学. 50(supplement):S102.

國井浩行. 内科系レクチャー：当院における TAVI 治療. 第228回県北循環器疾患研究会; 20191017; 福島.

佐藤崇匡. 予防医学・包括的プログラムとしての心臓リハビリテーションと抗血栓療法. ふくしま心臓と血管を守る会; 20191029; 福島.

金城貴士. 心房細動アブレーションの進歩と抗凝固療法の現状. 第29回福島内科フォーラム; 20191109; 福島.

國井浩行. カテーテルで行う低侵襲大動脈弁治療；TAVI 診断・適応から今後の展望. 第10回会津 心臓病・心血管疾患研究会; 20191116; 会津若松.

及川雅啓. 教育講演：心肥大診療のポイントと地域医療連携. 心アミロイドーシス連携講演会 in 福島; 20191121; 福島.

八重樫大輝, 及川雅啓, 石田隆史, 竹石恭知. 基調講演：当院における腫瘍循環器外来の現状. Fukushima Onco-Cardiology Seminar; 20191122; 福島.

竹石恭知. 腫瘍循環器病学の展開－がん関連血栓症(CAT)を含めて－. イグザレイト WEB カンファレンス; 20191122; Web 配信.

金城貴士. ランチョンセミナー：心房細動マネジメントにおけるカテーテルアブレーションの役割. 第62回日本脳循環代謝学会学術集会; 20191129-30; 仙台.

金城貴士. 心房細動に伴う抗凝固療法のトピックス. エリキュース エリア WEB セミナー; 20191209; 福島.

石田隆史. 基調講演：塩と人と病へ減塩の根拠から実践まで. 減塩サミット 2019 in 福島; 20191222; 福島.

〔招待講演〕

竹石恭知. 腫瘍循環器病学の展開. 岩手循環器講演会; 20190131; 盛岡.

義久精臣. 心房細動合併心不全の包括的管理－DOAC を生かす睡眠呼吸障害管理－. 第3回心疾患フォーラム in Nagoya; 20190307; 名古屋.

義久精臣. 基調講演：睡眠障害と生活習慣病・心血管病. Sleep Forum; 20190426; 仙台.

竹石恭知. 腫瘍循環器学の展開. 若手循環器医師セミナー; 20190516; 橿原.

中里和彦. 肺高血圧症の過去・現在・未来～地方都市でいかに肺高血圧症と向き合うか～. 第 18 回長野県肺高血圧症フォーラム; 20190601; 長野.

竹石恭知. Onco-Cardiology の診断と治療に対する取り組み. Onco-Cardiology Seminar; 20190614; 弘前.

義久精臣. 心不全の睡眠呼吸障害管理ー過去・現在・未来ー. 第 16 回 Dream Heart カンファレンス; 20190706; 福岡.

竹石恭知. PET/MRI を循環器診療に活かす. 第 23 回宮城県心臓核医学研究会; 20190719; 仙台.

竹石恭知. PET/MRI を循環器診療に活かす. 浜松心臓核医学セミナー2019; 20190802; 浜松.

竹石恭知. Onco-Cardiology の診断と治療に対する取り組み. がんと循環器を考える会; 20190917; 宮崎.

竹石恭知. Cardiac PET/MRI の循環器診療への活用. 第 30 回 21 世紀心臓核医学カンファレンス; 20190927; 大阪.

血液内科学講座

論文

〔原 著〕

Matsumoto Y, Kaneshiro T, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Yoshihisa A, Ohkawara H, Hikichi T, Suzuki H, Takeishi Y. Predicting factors of transmural thermal injury after cryoballoon pulmonary vein isolation. *Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology*. 2019; 54(2):101-108.

Yakushijin K, Ikezoe T, Ohwada C, Kudo K, Okamura H, Goto H, Yabe H, Yasumoto A, Kuwabara H, Fujii S, Kagawa K, Ogata M, Onishi Y, Kohno A, Watamoto K, Uoshima N, Nakamura D, Ota S, Ueda Y, Oyake T, Koike K, Mizuno I, Iida H, Katayama Y, Ago H, Kato K, Okamura A, Kikuta A, Fukuda T. Clinical effects of recombinant thrombomodulin and defibrotide on sinusoidal obstruction syndrome after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Bone Marrow Transplantation*. 2019; 54(5):674-680.

Furukawa M, Wang X, Ohkawara H, Fukatsu M, Alkebsi L, Takahashi H, Harada-Shirado K, Shichishima-Nakamura A, Kimura S, Ogawa K, Ikezoe T. A critical role of the Gas6-Mer axis in endothelial dysfunction contributing to TA-TMA associated with GVHD. *Blood Advances*. 2019; 3(14):2128-2143.

Farge D, Frere C, Connors JM, Ay C, Khorana AA, Munoz A, Brenner B, Kakkar A, Rafii H, Solymoss S, Brilhante D, Monreal M, Bounameaux H, Pabinger I, Douketis J; International Initiative on Thrombosis and

Cancer (ITAC) advisory panel (Ikezoe T, et al.). 2019 international clinical practice guidelines for the treatment and prophylaxis of venous thromboembolism in patients with cancer. Lancet Oncology. 2019; 20(10):e566-581.

Asano T, Sato S, Furuta M, Takahashi H, Shichishima-Nakamura A, Ohkawara H, Fujiwara T, Gunji N, Hashimoto C, Monma T, Saito M, Nakano H, Watanaba G, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Kobayashi H, Watanabe H, Mouri M, Mashiyama F, Sakuma H, Ohira H, Mori M, Ikezoe T, Migita K. Intestinal Behcet disease associated with myelodysplastic syndrome accompanying trisomy 8 successfully treated with abdominal surgery followed by hematopoietic stem cell transplantation: A case report. Medicine. 2019; 98(46):e17979.

Uekita H, Ishibashi T, Shiomi M, Koyama H, Ohtsuka S, Yamamoto H, Yamagishi S, Inoue H, Itabe H, Sugimoto K, Kamioka M, Ohkawara H, Wada I, Takeishi Y. Integral role of receptor for advanced glycation end products (RAGE) in nondiabetic atherosclerosis. Fukushima Journal of Medical Science. 2019; 65(3):109-121.

池添隆之. DIC の治療 (1) 基本となる考え方. 日本血栓止血学会誌. 2019; 30(1):214-217.

〔総説等〕

原田佳代, 池添隆之. 高齢者の凝固異常症. 血液フロンティア. 2019; 29(1):71-79.

池添隆之. 特集 臨床医学ーゲノム医療の深化と今後の展望 2019 (血小板・凝固・線溶系疾患)ーオーバービュー. 臨床血液. 2019; 60(6):646.

大河原浩, 池添隆之. 造血幹細胞移植後の免疫凝固異常. Thrombosis Medicine. 2019; 9(1):60-66.

池添隆之. 播腫性血液内凝固(DIC). 日本医事新報. 2019; 4966:49.

原田佳代, 池添隆之. 解説 悪性腫瘍の静脈血栓塞栓症予防における経口抗凝固薬の有用性. 血液内科. 2019; 79(2):252-258.

池添隆之. 造血細胞移植ガイドライン SOS/TA-TMA. Thrombosis Medicine. 2019; 9(3):72-77.

池添隆之. 出血傾向を主訴に来院した高齢患者への対応. Medical Practice. 2019; 36(11):1761.

〔その他〕

池添隆之. Introduce My Article. 臨床血液. 2019; 59(3):350.

池添隆之. 日本新薬 SOS/VOD HANDBOOK 第2版 (小冊子). 2019.

池添隆之. 海外留学のすすめ リレーエッセイ. Hematopaseo. 2019; 4:65.

池添隆之. DIC 部会「DIC の新たな診断法と治療法の確立を目指して」. 日本血栓止血学会誌. 2019; 30(5):749.

著 書・訳 書

池添隆之. 血栓性血小板減少性紫斑病. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2019 年版 私
はこう治療している. 東京: 医学書院; 2019. p.702-704.

池添隆之. 病態と治療 DIC と鑑別が必要な疾患 血栓性微小血管症(TMA). In: 丸山征郎 編. ファーマナビゲーター DIC 編 改訂版. 大阪: メディカルレビュー社; 2019. p.94-105.

池添隆之. トピックス 類洞閉塞症候群(SOS). In: 丸山征郎 編. ファーマナビゲーター DIC 編 改訂版: 大阪:
メディカルレビュー社; 2019. p.186-196.

池添隆之. SOS/VOD に対するデフィブロチドナトリウムの作用機序 肝類洞閉塞症候群治療剤 (デファイテリオ
静注 200mg パンフレット) . 京都: 日本新薬; 2019.

研究発表等

〔研究発表〕

Mori H, Sukegawa M, Fukatsu M, Harada K, Mita M, Nakamura K, Hamasaki Y, Ohta M, Ikezoe T. The link
between IL-1 β and acute myocardial infarction in CML patients treated with TKI. 10th JSH International
Symposium 2019; 20190517-18; Toba.

Harada K, Wang X, Mori H, Fukatsu M, Takahashi H, Shichishima A, Kimura S, Ohkawara H, Ikezoe T.
The utility of revised diagnostic criteria for DIC in development of coagulopathy with hematological
malignancies. 10th JSH International Symposium 2019; 20190517-18; Toba.

Ueda Y, Hosokawa K, Ishiyama K, Takamori H, Yonemura Y, Obara N, Noji H, Takahashi H, Shirasugi Y,
Matsuda T, Ando K, Shichishima T, Ikezoe T, Chiba S, Ninomiya H, Kawaguchi T, Nishimura J, Kanakura
Y, Nakao S. The relationship between the pretreatment PNH clone size and clinical course in patients with
bone marrow failure syndromes: Interim analysis of Japanese multicenter prospective study. 24th European
Hematology Association (EHA); 20190613-16; Amsterdam, Netherlands.

Murai K, Kimura S, Imagawa J, Hino M, Kitawaki T, Okada M, Tanaka H, Shindo M, Kumagai T, Ikezoe T,
Uoshima N, Sato T, Watanabe R, Kowata S, Hayakawa M, Hosoki T, Ikeda K, Kobayashi T, Kakinoki Y,
Nishimoto T, Takezako N, Shibayama H, Takaori-Kondo A, Nakamae H, Kawaguchi A, Ureshino H,
Sakamoto J, Ishida Y. Treatment-free remission in patients with chronic myelogenous leukemia following
first-Line Dasatinib: results from the 1st DADI. 24th European Hematology Association (EHA); 20190613-16;
Amsterdam, Netherlands.

Harada-Shirado K, Wang X, Fukatsu M, Takahashi H, Shichishima-Nakamura A, Kimura S, Ohkawara H,
Yamada S, Ito T, Ikezoe T. Circulating intranuclear proteins may play a role in development of disseminated

intravascular coagulation in individuals with acute leukemia. 65th International Society on Thrombosis and Haemostasis (ISTH); 20190706-10; Melbourne, Australia.

Fukatsu M, Wang X, Alkebsi L, Ohkawara H, Honda G, Ikezoe T. Stimulation of GPR15 on vascular endothelial cells mediates angiogenesis and cytoprotective function. 65th International Society on Thrombosis and Haemostasis (ISTH); 20190706-10; Melbourne, Australia.

Yanagi A, Tsuyama N, Sugai M, Abe Y, Azami Y, Yanai Y, Ota A, Sivasundaram K, Muramatsu M, Shigemura T, Sasatani M, Hashimoto Y, Kamiya K, Hanamura I, Ikezoe T, Onodera M, Sakai A. Introduction of chromosomal translocation t(11; 14) and a p53 deletion into normal B Cell-Derived iPSCs to elucidate the cellular origin of myeloma cells. 61st American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition ASH2019; 20191207-10; Orlando, USA.

原田佳代, 王 新涛, 深津真彦, 高橋裕志, 七島晶子, 木村 哲, 大河原浩, 山田晋吾, 伊藤隆史, 池添隆之. 腫瘍崩壊症候群にDICを合併し、核内タンパクのHMGB-1やhistoneH3が高値を示した急性白血病症例についての検討. 第41回日本血栓止血学会学術集会; 20190620-22; 三重.

Taniguchi A, Takeuchi A, Ikezoe T, Kojima K, Yokoyama A, Miyamura M, Doi S, Udaka K. A phase I clinical study of WT1 immunotherapy against myelodysplastic syndrome. 第23回日本がん免疫学会総会; 20190821-23; 高知.

深津真彦, 大河原浩, 森 博隆, 佐野隆浩, 原田佳代, 高橋裕志, 七島晶子, 木村 哲, 八巻尚洋, 小川一英, 竹石恭知, 池添隆之. 心不全合併ALアミロイドーシスに対する自家造血幹細胞移植併用大量化学療法により著明な心機能の改善を得た1例. 第2回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20190921-22; 旭川.

森 博隆, 助川真純, 深津真彦, 原田佳代, 大河原浩, 三田正行, 中村研一, 浜崎洋一, 大田雅嗣, 池添隆之. ABLチロキシンナーゼ阻害剤で加療中の慢性骨髄性白血病患者における心血管病変とIL-1 β との関連性について. 第2回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20190921-22; 旭川.

Alkebsi L, Wang X, Ohkawara H, Fukatsu M, Ikezoe T. Dasatinib induces endothelial to mesenchymal transition in human endothelial cells. 第81回日本血液学会学術集会; 20191011-13; 東京.

古川末希, 王 新涛, 大河原浩, 深津真彦, Alkebsi Lobna, 小川一英, 池添隆之. ARDSの新規治療ターゲット: Gas6-Mer シグナル. 第81回日本血液学会学術集会; 20191011-13; 東京.

皆川敬治, 植田航希, 中島 修, 横川哲朗, 君島勇輔, 三阪智史, 池添隆之, 竹石恭知, 池田和彦. Calreticulin 変異マウスの骨髄増殖性表現型. 第81回日本血液学会学術集会; 20191011-13; 東京.

原田佳代, 王 新涛, 森 博隆, 深津真彦, 高橋裕志, 七島晶子, 木村 哲, 大河原浩, 山田晋吾, 伊藤隆史, 池添隆之. 抗がん化学療法に発症する凝固異常症への核内蛋白の関与. 第81回日本血液学会学術集会; 20191011-13; 東京.

柳 亜希, 津山尚宏, 菅井美咲, 阿部 悠, 柳井祐佳里, 太田明伸, シバスンダラン カルナン, アルケブシ ロブナ, 村松 萌, 重村倫成, 笹谷めぐみ, 橋本優子, 神谷研二, 花村一郎, 池添隆之, 小野寺雅史, 坂

井 晃. CRISPR/Cas9 による正常 B リンパ球由来 iPS 細胞への染色体転座 t(11;14) と p53 欠失の誘導. 第 81 回日本血液学会学術集会; 20191011-13; 東京.

濱崎洋一, 阿久津和子, 齋 敏明, 小澤大樹, 池添隆之. エミシズマブが奏効した後天性血友病 A の一例. 第 81 回日本血液学会学術集会; 20191011-13; 東京.

王 新涛, 大河原浩, Lobna Alkebsi, 深津真彦, 池添隆之. Thrombomodulin ameliorates LTA-induced inflammation in vitro and in vivo. 第 81 回日本血液学会学術集会; 20191011-13; 東京.

深津真彦, 木村 哲, 原田佳代, 森 博隆, 佐野隆浩, 高橋裕志, 七島晶子, 大河原浩, 添田智子, 小川一英, 池添隆之. ステロイド抵抗性、抗 DNA 抗体陽性の筋炎を合併した慢性 GVHD の 1 例. 第 81 回日本血液学会学術集会; 20191011-13; 東京.

高橋裕志, 七島晶子, 大河原浩, 深津真彦, 原田佳代, 木村 哲, 佐藤秀三, 池添隆之. 末梢血幹細胞移植により寛解を得られている骨髓異形成症候群とパーチェット病の一例. 第 127 回日本血液学会東北地方会; 20190217; 仙台.

森 博隆, 深津真彦, 原田佳代, 木村 哲, 佐野隆浩, 高橋裕志, 大河原浩, 池添隆之, 喜古雄一郎. Bortezomib-EPOCH 併用療法で奏効が得られた形質芽球性リンパ腫の一例. 第 128 回日本血液学会東北地方会; 20190928; 青森.

木村 哲, 大河原浩, 皆川敬治, 川畑絹代, 森 博隆, 深津真彦, 高橋裕志, 原田佳代, 佐野秀樹, 小川一英, 大戸 斉, 菊田 敦, Kenneth E Nollet, 池田和彦, 池添隆之. G-CSF の投与法による末梢血幹細胞採取効率の検討. 第 32 回東北 BMT 研究会; 20190727; 仙台.

古川未希. GVHD および TA-TMA の病態に寄与する血管内皮障害 : Gas-Mer6 シグナルの役割. 東北ヘマトロジーネットワークセミナー 2019; 20190901; 仙台.

佐野隆浩. 再発急性骨髄性白血病に対して臍帯血移植を実施し、HHV-6 脳炎を発症した一例. 南東北若手移植の会; 20190907; 仙台.

〔シンポジウム〕

原田佳代, 王 新涛, 深津真彦, 高橋裕志, 七島晶子, 木村 哲, 大河原浩, 山田晋吾, 伊藤隆史, 池添隆之. 腫瘍崩壊症候群に合併する DIC における核内タンパクの関与. 第 13 回日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム; 20190216; 東京.

池添隆之. ジョイントシンポジウム 1 新しい DIC 診療ガイドライン作成への問題点 造血器腫瘍に合併した DIC における基本的な考え方. 第 41 回日本血栓止血学会学術集会; 20190620-22; 三重.

池添隆之, 小原 直, 川口辰哉, 後藤明彦, 中尾眞二, 西村純一 (司会/発表). セッション 1~3. アレクシオンファーマ PNH エキスパート会議 20190728; 東京.

深津真彦. Gas6/Mer を目的とした新規 ARDS 治療法の開発. 日本血液学会東北地方会主催血液学シンポジウム;

20190928; 青森.

池添隆之. Industry Session : PNH 治療最前線～終末補体治療 Next Step～. 第 81 回日本血液学会学術集会; 20191011-13; 東京.

〔特別講演〕

池添隆之. 知っておきたい血液凝固検査値異常. 竹田綜合病院 池添隆之教授講演会; 20190214; 会津若松.

池添隆之. 血液内科領域における rTM の使用経験について. 横浜血栓止血勉強会; 20190215; 横浜.

池添隆之. 移植後の血栓性合併症の診断と治療. 協和発酵キリン株式会社 学術講演会; 20190218; 倉敷.

池添隆之. 後天性血栓性疾患における新規診断マーカーの提案. 第 32 回 OFC 研究会講演会; 20190406; 大阪.

池添隆之. Special Lecture : 移植後に合併する血栓性疾患の新規バイオマーカーの探索. 愛媛血液凝固セミナー; 20190425; 愛媛.

池添隆之. DIC の病態と治療に関して. 協和発酵キリン株式会社社員研修会; 20190508; 福島.

池添隆之. 血液がん診療の最前線. 常磐病院 院内勉強会; 20190513; いわき.

池添隆之. 血液がん領域における新規薬剤に関する意見聴取. 血液がん領域における新規薬剤に関する意見聴取; 20190515; 福島.

池添隆之. 血液がんとはどのような病気か. NPO 法人血液情報広場・つばさフォーラム in 東北; 20190622; 仙台.

池添隆之. 血液内科医が遭遇する血栓性疾患における新規バイオマーカーの探索. 第 111 回近畿血液学地方会; 20190629; 大阪.

池添隆之. MDS 診療の最前線. 第 6 回福山 MDS セミナーのご案内; 20190712; 広島.

池添隆之. SOS の病態と診断. 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会イブニングセミナー21; 20190719; 京都.

池添隆之. 見逃してはいけない血液疾患エマージェンシー. 大原綜合病院研修医向け講義; 20190801; 福島.

池添隆之. 知っておきたい血液凝固検査値異常. 星綜合病院 診療部勉強会; 20190828; 郡山.

大河原浩. 当院におけるアミロイドーシス症例の検討. 多発性骨髄腫勉強会; 20190920; 福島.

池添隆之. ベスポンサ治療における VOD/SOS のマネジメント. 栃木県 LEUKEMIA フォーラム 2019; 20191003; 宇都宮.

池添隆之. 移植後の血栓性疾患の病態解明と新規治療法の開発. Iwate Thrombosis Seminar; 20191031; 盛岡.

池添隆之. 基調講演 : SOS 治療薬デフィプロチドの作用機序. デファイテリオ発売記念講演会; 20191109; 東京.

池添隆之. 移植後の血栓性疾患の病態解明と新規治療法の開発. 福岡血液免疫セミナー; 20191121; 福岡.

池添隆之. MDS 診療におけるアザシチジンの位置づけ. 第 9 回山口 MDS セミナー; 20191126; 山口.

大河原浩. 敗血症性 ARDS に対する受容体型チロシキナーゼ Mer 阻害剤の効果. 2019 年度第 2 回血液内科学講座リサーチセミナー; 20191219; 福島.

〔その他〕

深津真彦, 植田航希, 原田佳代, 高橋裕志, 七島晶子, 木村 哲, 大河原浩, 小川一英, 池添隆之. 同種造血幹細胞移植におけるポリコナゾールおよびキャンディン系抗真菌薬予防投与の有効性に関する後方視的解析. 第 25 回造血器腫瘍研究会; 20190323; 福島.

佐野隆浩. 地固め療法中に脳膿瘍を発症し抗菌薬で保存的に治療し得た急性骨髄性白血病の 1 例. 第 25 回造血器腫瘍研究会; 20190323; 福島.

木村 哲. 多発性骨髄腫の基礎と臨床. セルジーン株式会社 社外講師勉強会; 20190522; 福島.

高橋裕志, 佐野隆浩, 七島晶子, 大河原浩, 森 博隆, 深津真彦, 原田佳代, 木村 哲, 池添隆之. 造血幹細胞移植で寛解を維持している、ペーチェット病に骨髄異形成症候群を合併した 2 症例. 第 66 回福島血液研究会; 20190525; 福島.

深津真彦. 再生不良性貧血に対するエルトロンボパグ : 当院での使用経験から. Novartis Hematology Seminar in Fukushima; 20190530; 郡山.

大河原浩. CLL/MCL に対するイブルチニブの使用経験. Myeloma&Lymphoma Clinical Meeting in 福島; 20190607; 福島.

深津真彦. 初期診察で役立つ血液内科的診かた・考えかた. 第 2 回福島血液セミナー for 若手医師; 20190608; 福島.

原田佳代. ワークライフバランスとキャリア形成ー後悔しない診療科選択ー. 第 2 回福島血液セミナー for 若手医師; 20190608; 福島.

深津真彦, 森 博隆, 原田佳代, 木村 哲, 佐野隆浩, 高橋裕志, 大河原浩, 田崎和洋, 橋本優子, 小川一英, 池添隆之. Aggressive な臨床経過を示した MYC 転座を有するマントル細胞リンパ腫 blastoid variant の 1 例. 悪性リンパ腫(M.L.)研究会; 20191102; 郡山.

深津真彦. 福島県における造血幹細胞移植の現状 (成人) と福島医大血液内科の取り組み. 厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業 令和元年度第 2 回造血幹細胞移植推進拠点病院セミナー「移植前から移植後まで、患者

を支える」；20191124；福島。

高橋裕志．血友病診療について．中外製薬 社外講師勉強会；20191218；福島。

志賀 隆，甲斐龍幸，池添隆之．知っていますか？血液のがん～急性白血病の治療法の進歩と命をつなぐ骨髄バンク～．福島県医師会シリーズ No.79（テレビ番組）；20191109；福島。

消化器内科学講座

論 文

〔原 著〕

Hitomi Y, Ueno K, Kawai Y, Nishida N, Kojima K, Kawashima M, Aiba Y, Nakamura H, Kouno H, Kouno H, Ohta H, Sugi K, Nikami T, Yamashita T, Katsushima S, Komeda T, Ario K, Naganuma A, Shimada M, Hirashima N, Yoshizawa K, Makita F, Furuta K, Kikuchi M, Naeshiro N, Takahashi H, Mano Y, Yamashita H, Matsushita K, Tsunematsu S, Yabuuchi I, Nishimura H, Shimada Y, Yamauchi K, Komatsu T, Sugimoto R, Sakai H, Mita E, Koda M, Nakamura Y, Kamitsukasa H, Sato T, Nakamuta M, Masaki N, Takikawa H, Tanaka A, Ohira H, Zeniya M, Abe M, Kaneko S, Honda M, Arai K, Arinaga-Hino T, Hashimoto E, Tani ai M, Umemura T, Joshita S, Nakao K, Ichikawa T, Shibata H, Takaki A, Yamagiwa S, Seike M, Sakisaka S, Takeyama Y, Harada M, Senju M, Yokosuka O, Kanda T, Ueno Y, Ebinuma H, Himoto T, Murata K, Shimoda S, Nagaoka S, Abiru S, Komori A, Migita K, Ito M, Yatsuhashi H, Maehara Y, Uemoto S, Kokudo N, Nagasaki M, Tokunaga K, Nakamura M. POGUT1, the putative effector gene driven by rs2293370 in primary biliary cholangitis susceptibility locus chromosome 3q13.33. *Scientific Reports*. 2019; 9(1):102.

Suda G, Kurosaki M, Itakura J, Izumi N, Uchida Y, Mochida S, Hasebe C, Abe M, Haga H, Ueno Y, Masakane I, Abe K, Takahashi A, Ohira H, Furuya K, Baba M, Yamamoto Y, Kobayashi T, Kawakami A, Kumagai K, Terasita K, Ohara M, Kawagishi N, Umemura M, Nakai M, Sho T, Natsuizaka M, Morikawa K, Ogawa K, Sakamoto N; NORTE Study Group. Safety and efficacy of elbasvir and grazoprevir in Japanese hemodialysis patients with genotype 1b hepatitis C virus infection. *Journal of gastroenterology*. 2019; 54(1):78-86.

Aiso M, Takikawa H, Tsuji K, Kagawa T, Watanabe M, Tanaka A, Sato K, Sakisaka S, Hiasa Y, Takei Y, Ohira H, Ayada M, Hashimoto E, Kaneko S, Ueno Y, Ohmoto K, Takaki A, Torimura T, Matsuzaki Y, Tajiri K, Yoneda M, Ito T, Kato N, Ikejima K, Mochida S, Yasuda H, Sakamoto N. Analysis of 307 cases with drug-induced liver injury between 2010 and 2018 in Japan. *Hepatology Research*. 2019; 49(1):105-110.

Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Nakamura M, Komori A, Abiru S, Hashimoto S, Shimada M, Yoshizawa K, Kouno H, Naganuma A, Ario K, Kaneyoshi T, Yamashita H, Takahashi H, Makita F, Yatsuhashi H, Ohira H, Migita K. Role of deleterious single nucleotide variants in the coding regions of TNFAIP3 for Japanese autoimmune hepatitis with cirrhosis. *Scientific Reports*. 2019; 9(1):7925.

Suda G, Hasebe C, Abe M, Kurosaki M, Itakura J, Izumi N, Uchida Y, Mochida S, Haga H, Ueno Y, Abe K, Takahashi A, Ohira H, Tsukuda Y, Furuya K, Baba M, Yamamoto Y, Kobayashi T, Inoue J, Terasita K, Ohara M, Kawagishi N, Izumi T, Nakai M, Sho T, Natsuizaka M, Morikawa K, Ogawa K, Sakamoto N; NORTE Study Group. Safety and efficacy of glecaprevir and pibrentasvir in Japanese hemodialysis patients with genotype 2 hepatitis C virus infection. *Journal of Gastroenterology*. 2019; 54(7):641-649.

Tanaka A, Mori M, Matsumoto K, Ohira H, Tazuma S, Takikawa H. Increase trend in the prevalence and male-to-female ratio of primary biliary cholangitis, autoimmune hepatitis, and primary sclerosing cholangitis in Japan. *Hepatology Research*. 2019; 49(8):881-889.

Matsuoka N, Kozuru H, Koga T, Abiru S, Yamasaki K, Komori A, Fujita Y, Tenmoku J, Asano T, Sato S, Suzuki E, Furuya M, Kobayashi H, Watanabe H, Naganuma A, Yoshizawa K, Shimada M, Ario K, Yamashita H, Kohno H, Kaneyoshi T, Nakamura M, Furukawa H, Takahashi A, Kawakami A, Ohira H, Yatsuhashi H, Migita K. Galectin-9 in autoimmune hepatitis: Correlation between serum levels of galectin-9 and M2BPGi in patients with autoimmune hepatitis. *Medicine*. 2019; 98(35):e16924.

Honda A, Tanaka A, Kaneko T, Komori A, Abe M, Inao M, Namisaki T, Hashimoto N, Kawata K, Takahashi A, Ninomiya M, Kang JH, Arakawa M, Yamagiwa S, Joshita S, Umemura T, Sato K, Kaneko A, Kikuchi K, Itakura J, Nomura T, Kakisaka K, Fujii H, Kawada N, Takikawa Y, Masaki T, Ohira H, Mochida S, Yoshiji H, Imuro S, Matsuzaki Y, Takikawa H; Japan PBC Study Group (JPBCSG). Bezafibrate improves GLOBE and UK-PBC scores and long-term outcomes in patients with primary biliary cholangitis. *Hepatology*. 2019; 70(6):2035-2046.

Miyata M, Kuroda M, Unakami M, Tasaki K, Migita K, Ohira H. Validation of the Fibrosis-4 (FIB-4) index in the diagnosis of liver disease of rheumatoid arthritis patients treated with methotrexate. *Modern Rheumatology*. 2019; 29(6):936-942.

Asano T, Sato S, Furuya MY, Takahashi H, Shichishima-Nakamura A, Ohkawara H, Fujiwara T, Gunji N, Hashimoto C, Momma T, Saito M, Nakano H, Watanabe G, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Kobayashi H, Watanabe H, Mouri M, Mashiyama F, Sakuma H, Ohira H, Mori M, Ikezoe T, Migita K. Intestinal Behçet disease associated with myelodysplastic syndrome accompanying trisomy 8 successfully treated with abdominal surgery followed by hematopoietic stem cell transplantation: A case report. *Medicine*. 2019; 98(46):e17979.

Kato M, Uedo N, Nagahama T, Yao K, Doyama H, Tsuji S, Gotoda T, Kawamura T, Ebi M, Yamamoto K, Akasaka T, Takatori H, Handa O, Akamatsu T, Nishikawa J, Hikichi T, Yamashina T, Imoto A, Kitamura Y, Mikami T, Koike T, Ohara S, Kitamura S, Yamaguchi T, Kinjo T, Inoue T, Suzuki S, Kaneko A, Hirasawa K, Tanaka K, Kotachi T, Miwa K, Toya Y, Kayaba S, Ikehata A, Minami S, Mizukami K, Oya H, Ara N, Fukumoto Y, Komura T, Yoshio T, Morizono R, Yamazaki K, Shimodate Y, Yamanouchi K, Kawata N, Kumagai M, Sato Y, Umeki K, Kawai D, Tanuma T, Kishino M, Konishi J, Sumiyoshi T, Oka S, Kono M, Sakamoto T, Horikawa Y, Ohyauchi M, Hashiguchi K, Waseda Y, Kasai T, Aoyagi H, Oyamada H, Shoji M, Kiyotoki S, Asonuma S, Orikasa S, Akaishi C, Nagami Y, Nakata S, Iida F, Nomura T, Tominaga K, Oka K, Morita Y, Suzuki H, Ozeki K, Kuribayashi S, Akazawa Y, Sasaki S, Mikami T, Miki G, Sano T, Satoh H,

Nakamura M, Iwai W, Tawa H, Wada M, Yoshimura D, Hisanaga Y, Shimokawa T, Ishikawa H. Self-study of the non-extension sign in an e-learning program improves diagnostic accuracy of invasion depth of early gastric cancer. *Endoscopy International Open*. 2019; 7:E871-E882.

Suzuki H, Takizawa K, Hirasawa T, Takeuchi Y, Ishido K, Hoteya S, Yano T, Tanaka S, Endo M, Nakagawa M, Toyonaga T, Doyama H, Hirasawa K, Matsuda M, Yamamoto H, Fujishiro M, Hashimoto S, Maeda Y, Oyama T, Takenaka R, Yamamoto Y, Naito Y, Michida T, Kobayashi N, Kawahara Y, Hirano M, Jin M, Hori S, Niwa Y, Hikichi T, Shimazu T, Ono H, Tanabe S, Kondo H, Iishi H, Ninomiya M, Oda I (J-WEB/EGC group). Short-term outcomes of multicenter prospective cohort study of gastric endoscopic resection: 'Real-world evidence' in Japan. *Digestive Endoscopy*. 2019; 31(1):30-39.

Matsumoto Y, Kaneshiro T, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Yoshihisa A, Ohkawara H, Hikichi T, Suzuki H, Takeishi Y. Predicting factors of transmural thermal injury after cryoballoon pulmonary vein isolation. *Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology*. 2019; 54(2):101-108.

Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Takasumi M, Hikichi T, Ohira H. Non-specific elevation of serum Mac-2 binding protein glycosylation isomer levels in patients with biliary disease. *Molecular and Clinical Oncology*. 2019; 10(1):168-172.

Takagi T, Sugimoto M, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Hikichi T, Ohira H. Appropriate number of biliary biopsies and endoscopic retrograde cholangiopancreatography sessions for diagnosing biliary tract cancer. *World Journal of Gastrointestinal Endoscopy*. 2019; 11(3):231-238.

Satoh H, Ohira T, Nagai M, Hosoya M, Sakai A, Yasumura S, Ohtsuru A, Kawasaki Y, Suzuki H, Takahashi A, Sugiura Y, Shishido H, Hayashi Y, Takahashi H, Kobashi G, Ozasa K, Hashimoto S, Ohto H, Abe M, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Evacuation is a risk factor for diabetes development among evacuees of the Great East Japan earthquake: A 4-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. *Diabetes & Metabolism*. 2019; 45(3):312-315.

Abe K, Takahashi A, Fujita M, Hayashi M, Okai K, Nozawa Y, Ohira H. Interleukin-33/ST2-Mediated Inflammation Plays a Critical Role in the Pathogenesis and Severity of Type I Autoimmune Hepatitis. *Hepatology Communications*. 2019; 3(5):670-684.

Suzuki R, Takagi T, Hikichi T, Sugimoto M, Konno N, Asama H, Watanabe K, Nakamura J, Marubashi S, Ohira H. An observation study of the prognostic effect of waiting times in the management of pancreatic ductal adenocarcinoma. *Oncology Letters*. 2019; 17(1):587-593.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Hikichi T, Ohira H. Present state of endoscopicultrasonography-guided fine needle aspiration for the diagnosis of autoimmune pancreatitis type 1. *World Journal of Meta-Analysis*. 2019; 7(5):218-223.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H,

Takasumi M, Hashimoto M, Hikichi T, Ohira H. Prevention of post-endoscopic retrograde cholangiopancreatography pancreatitis using pancreatic stents: A review of efficacy, diameter and length. *World Journal of Meta-Analysis*. 2019; 7(6):259-268.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Hikichi T, Ohira H. Pancreatic stents to prevent post-endoscopic retrograde cholangiopancreatography pancreatitis: A meta-analysis. *World Journal of Meta-Analysis*. 2019; 7(5):249-258.

Bechara R, Woo M, Hookey L, Chung W, Grimes K, Ikeda H, Onimaru M, Sumi K, Nakamura J, Hata Y, Maruyama S, Gomi K, Shimamura Y, Inoue H. Peroral endoscopic myotomy (POEM) for complex achalasia and the POEM difficulty score. *Digestive Endoscopy*. 2019; 31(2):148-155.

Watanabe K, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Kikuchi H, Konno N, Takasumi M, Sato Y, Irie H, Obara K, Ohira H. Clinical Outcomes and Adverse Events of Endoscopic Submucosal Dissection for Gastric Tube Cancer after Esophagectomy. *Gastroenterology Research and Practice*. 2019; 2019:2836860.

Hayashi M, Machida T, Ishida Y, Ogata Y, Omori T, Takasumi M, Endo Y, Suzuki T, Sekimata M, Homma Y, Ikawa M, Ohira H, Fujita T, Sekine H. Cutting Edge: Role of MASP-3 in the Physiological Activation of Factor D of the Alternative Complement Pathway. *Journal of Immunology*. 2019; 203(6):1411-1416.

Hayashi M, Abe K, Fujita M, Okai K, Takahashi A, Ohira H. Changes in serum levels of leucine-rich α 2-glycoprotein predict prognosis in primary biliary cholangitis. *Hepatology Research*. 2019; 49(4):385-393.

Asama H, Suzuki R, Hikichi T, Takagi T, Masamune A, Ohira H. MicroRNA let-7d targets thrombospondin-1 and inhibits the activation of human pancreatic stellate cells. *Pancreatology*. 2019; 19(1):196-203.

Fujita M, Takahashi A, Hayashi M, Okai K, Abe K, Ohira H. Skeletal muscle volume loss during transarterial chemoembolization predicts poor prognosis in patients with hepatocellular carcinoma. *Hepatology Research*. 2019; 49(7):778-786.

〔総説等〕

Takahashi A, Ohira H. Autoimmune hepatitis, fatty liver, and Fukushima. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2019; 65(2):25-29.

大平弘正, 阿部和道, 高橋敦史. 【肝と免疫 2019】自己免疫性肝炎 自己免疫性肝炎の治療と予後. *臨床消化器内科*. 2019; 34(5):495-501.

大平弘正. 【指定難病ペディア 2019】自己免疫性肝炎. *日本医師会雑誌*. 2019; 148(特別 1):227-228.

引地拓人, 高住美香, 中村 純, 橋本 陽, 加藤恒孝. 【消化管症候群(第3版)】胃神経原性腫瘍. 別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ. 2019; No.9:328-331.

引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽. 化学放射線療法あるいは放射線療法後の局所遺残再発食道癌に対する光線力学的療法(PDT)の実際. 光アライアンス. 2019; 30(1):10-14.

高木忠之, 小原勝敏, 大平弘正. 【消化管症候群(第3版)】胃 炎症性・非腫瘍性 門脈圧亢進症性胃症(PHG). 別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ. 2019; No.9:121-125.

阿部和道, 藤田将史, 林 学, 岡井 研, 高橋敦史, 大平弘正. 【肝性脳症治療の変遷】肝臓と消化管 腸・肝・脳相関をベースに 肝性脳症と腸内細菌叢の関連 SIBO, PPI 服用による脳症再発頻度の変化. 肝胆膵. 2019; 78(3):447-454.

阿部和道, 藤田将史, 林 学, 高橋敦史, 大平弘正. 【内科医が知っておくべき妊娠合併者の対応】妊娠と自己免疫性肝疾患. 消化器・肝臓内科. 2019; 6(2):165-169.

阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. これからの肝疾患を再考する AIH の発症機序と展望. 消化器病学サイエンス. 2019; 3(4):224-230.

鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄記, 入江大樹, 大平弘正. 【肝胆膵の線維化 up-to-date】胆膵の線維化 基礎・病理 膵線維化とエクソソーム・マイクロ RNA. 肝胆膵. 2019; 79(5):919-925.

渡辺 晃, 引地拓人. ESD の実際 胃管癌に対する ESD の工夫. 消化器の臨床. 2019; 22(3):244-248.

岡井 研, 大平弘正. 新しい診断・薬の情報 肝疾患において分子標的薬をうまく使うために(副作用マネジメント). 肝臓クリニカルアップデート. 2019; 5(1):95-99.

浅間宏之, 上野 誠. 【内分泌症候群(第3版)IV】 腫瘍とホルモン 消化管神経内分泌腫瘍 ソマトスタチノーム. 別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ. 2019; No.4:383-385.

〔症例報告〕

Kawashima K, Fujiwara T, Katakura K, Gunji N, Yokokawa A, Sakamoto A, Hikichi T, Kono K, Ohira H. Anisakiasis in the Small Intestine with Excessive Bleeding That was Difficult to Diagnose Endoscopically. Internal Medicine. 2019; 58(1):63-66.

Hayashi M, Abe K, Fujita M, Okai K, Takahashi A, Ohira H. Hepatitis B Virus Reactivation in a Patient with Nonalcoholic Steatohepatitis 41 Months after Rituximab-containing Chemotherapy: A Case Report. Internal Medicine. 2019; 58(3):375-380.

Fujita M, Okai K, Hayashi M, Abe K, Takahashi A, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S, Hashimoto Y, Ohira H. Huge Hepatocellular Carcinoma Treated with Radical Hepatectomy after Drug-eluting Bead Transarterial Chemoembolization. Internal Medicine. 2019; 58(8):1103-1110.

Fujita M, Takahashi A, Imaizumi H, Hayashi M, Okai K, Abe K, Ohira H. Endogenous Endophthalmitis Associated with Pyogenic Liver Abscess Caused by Klebsiella pneumoniae. Internal Medicine. 2019; 58(17):2507-2514.

Watahiki Y, Hikichi T, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Hashimoto M, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Sato Y, Irie H, Ohira H. A case of inflammatory fibroid polyp of the stomach with an "erect penis like appearance" successfully removed by endoscopic submucosal dissection. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 2019; 12(3):279-284.

斎藤桂悦, 松岡直紀, 綿引 優, 山野辺邦美, 佐川恵一, 阿部和道, 大平弘正. 脾腫を認めたクローン病の一例. *福島県農村医学会雑誌*. 2019; 59(1):20-22.

著 書・訳 書

Ohira H, Migita K, editors. *Gastrointestinal and Hepatic Manifestations of Rheumatic Diseases*. Singapore: Springer Nature; 201904.

Takahashi A, Ohira H. Liver involvement of rheumatic diseases. In: Ohira H, Migita K, editors. *Gastrointestinal and Hepatic Manifestations of Rheumatic Diseases*. Singapore: Springer Nature; 201904. p.1-22.

Abe K, Ohira H. PBC-CREST syndrome. In: Ohira H, Migita K, editors. *Gastrointestinal and Hepatic Manifestations of Rheumatic Diseases*. Singapore: Springer Nature; 201904. p.23-34.

Okai K, Abe K, Takahashi A, Ohira H. Hepatitis B virus reactivation. In: Ohira H, Migita K, editors. *Gastrointestinal and Hepatic Manifestations of Rheumatic Diseases*. Singapore: Springer Nature; 201904. p.35-50.

Suzuki R, Hikichi T, Ohira H. DM and gastrointestinal cancer. In: Ohira H, Migita K, editors. *Gastrointestinal and Hepatic Manifestations of Rheumatic Diseases*. Singapore: Springer Nature; 201904. p.51-64.

Takagi T, Ohira H. Portal hypertension in rheumatic diseases. In: Ohira H, Migita K, editors. *Gastrointestinal and Hepatic Manifestations of Rheumatic Diseases*. Singapore: Springer Nature; 201904. p.65-82.

Fujiwara T, Katakura K, Ohira H. Gastrointestinal involvement of rheumatic diseases. In: Ohira H, Migita K, editors. *Gastrointestinal and Hepatic Manifestations of Rheumatic Diseases*. Singapore: Springer Nature; 201904. p.97-122.

Sugimoto M, Suzuki E, Tasaki K, Hashimoto Y, Ohira H. Gastrointestinal involvement in IgG4-related disease. In: Ohira H, Migita K, editors. *Gastrointestinal and Hepatic Manifestations of Rheumatic Diseases*. Singapore: Springer Nature; 201904. p.169-190.

Katakura K, Migita K, Ohira H. Immunosuppressive agents and intestinal involvement. In: Ohira H, Migita K, editors. *Gastrointestinal and Hepatic Manifestations of Rheumatic Diseases*. Singapore: Springer Nature; 201904. p.191-197.

大平弘正. 自己免疫疾患による肝硬変(AIH、PBC). In: 吉治 仁 編. 肝硬変治療マニュアル. 東京: 南江堂; 2019. p.96-103.

大平弘正. 自己免疫性肝炎. In: 南学正臣 総編集. 内科学書 改訂第9版. 東京: 中山書店; 2019. p.341-344.

研究発表等

〔研究発表〕

Hikichi T, Kikuchi H, Watanabe K, Nakamura J, Hashimoto M, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Sato Y, Irie H, Ohira H, Obara K. Usefulness of spraying L-menthol for endoscopic border diagnosis of early gastric cancer: verification by color difference. DDW2019; 20190518; San Diego, USA.

Hikichi T, Nakamura J, Konno N. EIS for esophageal varices and a gastric varix. "Endoscopic injection sclerotherapy (EIS) treatment of esophagogastric varices" Hands on training course 2019 Mongolia. Mongolian Society of Interventional GI Endoscopy and Mongolian Gastroenterology Association; 20190723-24; Ulaanbaatar, Mongolia.

Takahashi A, Arinaga-Hino T, Ohira H. Non-alcoholic fatty liver disease in patients with autoimmune Hepatitis. APASL Single Topic Conference on Liver Immunology and Genetics; 20190418; Tokyo.

Takahashi A, Ohira H, Abe K, Arinaga T, Zeniya M, Abe M, Yoshizawa K, Takaki A, Suzuki Y, Kang JH, Nakamoto N, Inui A, Tanaka A, Takikawa H; Japan AIH Study Group (JAIHSG). Autoimmune hepatitis with acute hepatitis in Japan: a nationwide survey. AASLD The Liver Meeting 2019; 20191110; Boston, USA.

Abe K, Fujita M, Hayashi M, Okai K, Takahashi A, Ohira H. Correlation between the oral and gut microbiota in patients with autoimmune liver disease. APASL STC 2019; 20190418; Tokyo.

Nakamura J, Hikichi T, Konno N. Patient management before and after EIS. "Endoscopic injection sclerotherapy (EIS) treatment of esophagogastric varices" Hands on training course 2019 Mongolia. Mongolian Society of Interventional GI Endoscopy and Mongolian Gastroenterology Association; 20190723; Ulaanbaatar, Mongolia.

Konno N. Endoscopic treatment for gastric varices. Mongolian Society of Interventional GI Endoscopy and Mongolian Gastroenterology Association; 20190723; Ulaanbaatar, Mongolia.

Hayashi M, Abe K, Fujita M, Okai K, Takahashi A, Ohira H. Association between serum leucine-rich α 2-glycoprotein predict and the prognosis in primary biliary cholangitis. APASL STC 2019 Tokyo on Liver Immunology and Genetics; 20190418; Tokyo.

Kawashima K, Saito Y, Mizuguchi Y, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T. Invasive recurrence rate and clinicopathological features after endoscopic resection for 591 T1 colorectal cancers. European Society of Gastrointestinal Endoscopy; 20190406; Prague, Czech.

Kawashima K, Abe S, Koga M, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y. Optimal selection of endoscopic resection in patients with esophageal squamous cell carcinoma: endoscopic mucosal resection vs endoscopic submucosal dissection according to lesion size. DDW2019; 20190518; San Diego, USA.

Fujita M, Takahashi A, Hayashi M, Okai K, Abe K, Ohira H. The negative impact of skeletal muscle volume loss during transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma. EASL The International Liver Conference; 20190413; Vienna, Austria.

引地拓人, 中村 純, 橋本 陽, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 入江大樹, 武藤 学. JCOG 消化器内視鏡グループの食道癌関連研究の紹介. 第 39 回福島県食道癌胃癌研究会; 20191019; 福島.

高木忠之, 紺野直紀, 鈴木 玲, 杉本 充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 大平弘正. 総胆管結石を有した高齢者における内視鏡的治療の現状. 第 61 回日本老年医学会総会; 20190607; 仙台.

高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 入江大樹, 志村龍男, 見城 明, 木村 隆, 岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 丸橋 繁, 大平弘正. MCN を疑い膵切除を施行した 8 例の検討. 第 50 回日本膵臓学会大会; 20190705; 東京.

高木忠之, 引地拓人, 鈴木 玲, 杉本 充, 中村 純, 入江大樹, 加藤恒孝, 橋本 陽, 高住美香, 小原勝敏, 大平弘正. ATIII 製剤を用いた門脈血栓治療の現状. 第 26 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20190913; 下関.

高木忠之, 紺野直紀, 鈴木 玲, 杉本 充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 大平弘正. 総胆管結石を有した高齢者における内視鏡的治療の現状. 第 55 回日本胆道学会総会; 20191003; 名古屋.

高橋敦史, 阿部和道, 大平弘正. 非アルコール性脂肪性肝疾患における睡眠障害の影響. 第 105 回日本消化器病学会総会; 20190423; 金沢.

高橋敦史, 阿部和道, 大平弘正. 炎症の局在から見た自己免疫性肝炎の特徴. 第 51 回日本臨床分子形態学会総会; 20190920; 久留米.

高橋敦史, 高木忠之, 大平弘正. 高齢自己免疫性肝炎の特徴. 日本老年医学会東北地方会; 20191005; 山形.

阿部和道, 藤田将史, 林 学, 岡井 研, 高橋敦史, 大平弘正. 肝硬変患者の疲労症状に対するカルニチンの有用性. 第 105 回消化器病学会総会; 20190511; 金沢.

阿部和道, 藤田将史, 林 学, 岡井 研, 高橋敦史, 大平弘正. 自己免疫性肝炎の病態における IL-33 / ST2 の重要性. 第 56 回消化器免疫学会総会; 20190302; 京都.

阿部和道, 藤田将史, 林 学, 高橋敦史, 大平弘正. 肝線維化における自然免疫を介した古典的樹状細胞の役割. 臨床分子形態学会; 20190920; 久留米.

阿部和道, 工藤明宏, 待井典剛, 幕田倫子, 松田美津子, 山寺幸雄, 林 学, 高橋敦史, 島袋充生, 大平弘

正. 糖尿病患者の脂肪肝評価における Shear Wave Elastography と Attenuation Imaging の有用性. 日本超音波医学会第 58 回東北地方会学術集会; 20190929; 山形.

鈴木英二, 菅野 孝, 大平弘正, 右田清志. 当科における高齢関節リウマチ患者の発症年齢による差の検討. 第 61 回日本老年医学会学術集会; 20190608; 仙台.

鬼澤道夫. クロウン病に対する抗 TNF 抗体療法の現状と高安動脈炎を合併したクロウン病の 1 例. 第 33 回福島県炎症性腸疾患研究会; 20191005; 郡山.

鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 渡辺 晃, 中村 純, 佐藤雄紀, 入江大樹, 橋本 陽, 小原勝敏, 引地拓人, 大平弘正. 膵癌術前 EUS-FNA の安全性について再考する. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190511; 東京.

鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 入江大樹, 引地拓人, 大平弘正. 切除不能膵癌における膵消化酵素補充療法の治療成績. 第 50 回日本膵臓学会総会; 20190712; 東京.

鈴木 玲. マイクロアレイ血液検査を用いた膵嚢胞性腫瘍の良悪性診断法の開発. 第 27 回若手膵臓研究会; 20191120; 神戸.

渡辺 晃, 引地拓人, 中村 純, 橋本 陽, 大平弘正. 併存疾患の治療を優先後に ESD を施行された早期胃癌症例の検討. 第 162 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190208; 仙台.

渡辺 晃, 引地拓人, 中村 純, 橋本 陽, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 入江大樹, 舟窪 彰, 大平弘正. 診断から 6 か月以降に ESD を施行された早期胃癌症例の検討. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190301; 沼津.

渡辺 晃, 引地拓人, 中村 純, 橋本 陽, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 高住美香, 佐藤雄紀, 入江大樹, 加藤恒孝, 小原勝敏, 大平弘正. ESD 適応と診断されながら併存疾患の治療を優先後に治療された早期胃癌症例の検討. JDDW2019; 20191122; 神戸.

郡司直彦, 片倉響子, 鬼澤道夫, 引地拓人, 大平弘正. S 状結腸軸捻転に対するシングルバルーン小腸内視鏡を用いた整復についての検討. 第 97 回日本内視鏡学会総会; 20190602; 東京.

杉本 充, 高木忠之, 大平弘正, 鈴木 玲, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 入江大樹, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 引地拓人, 小原勝敏. 悪性肝門部胆管狭窄に対する内視鏡的 stent in stent メタリックステント留置困難の予測因子の検討. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190530; 東京.

杉本 充, 高木忠之, 鈴木 玲, 紺野直紀, 浅間宏之, 佐藤雄紀, 入江大樹, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 高住美香, 橋本 陽, 引地拓人, 大平弘正. 胆道癌診断における Macrophage inhibitory cytokine 1 の有用性. 第 61 回日本消化器病学会大会; 20191121; 神戸.

杉本 充, 高木忠之, 鈴木 玲, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 中村 純, 加藤恒孝, 橋本 陽, 引地拓人, 大平弘正. 胆嚢隆起性病変に対する造影超音波内視鏡の有用性. 第 32 回東北膵胆道癌研究会; 20190923; 仙台.

中村 純, 引地拓人, 渡辺 晃, 橋本 陽, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術(POEM)の有用性と安全性. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190601; 東京.

中村 純, 引地拓人, 橋本 陽, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 高住美香, 加藤恒孝, 入江大樹, 大平弘正. 高齢者の食道アカラシアに対し経口内視鏡的筋層切開術(POEM)が有用であった 1 例. 第 30 回日本老年医学会東北地方会; 20191005; 山形.

中村 純, 引地拓人, 大平弘正. 福島市における対策型胃がん内視鏡検診の現状と取り組み. JDDW2019; 20191122; 神戸.

紺野直紀, 杉本 充, 高木忠之, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 小林浩子, 右田清志, 大平弘正, 渡辺浩志. IgG4 関連疾患患者における IgG4 の糖鎖解析および低補体血症・臓器障害との関連について. 第 116 回日本内科学会総会; 20190427; 名古屋.

紺野直紀, 鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本陽, 大平弘正. 膝頭部領域癌の術前における遷延性閉塞性黄疸の検討. 第 50 回日本肝臓学会大会; 20190712; 東京.

林 学, 阿部和道, 藤田将史, 岡井 研, 高橋敦史, 大平弘正. 原発性胆汁性胆管炎の病態予測マーカーとしての血清 leucine-rich alpha2-glycoprotein の有用性についての検討. 第 105 回消化器病学会総会; 20190510; 金沢.

林 学, 藤田将史, 岡井 研, 阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. 血清 leucine-rich alpha2-glycoprotein の変化と原発性胆汁性胆管炎の予後の関連. 第 55 回日本肝臓学会総会; 20190530; 東京.

藁谷雄一, 黒田聖仁, 寺島久美子, 菅野有紀子, 児玉健太, 宮田昌之. 高齢者における H.pylori 除菌の実践と課題. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190301; 静岡.

藁谷雄一, 黒田聖仁, 児玉健太, 菅野有紀子, 寺島久美子, 宮田昌之. 80 歳以上の高齢者における H. pylori 除菌の後方視的検討. 第 105 回日本消化器病学会総会; 20190511; 石川.

藁谷雄一, 黒田聖仁, 児玉健太, 菅野有紀子, 寺島久美子, 宮田昌之. 当院における胃 ESD 後のセカンドルックの必要性の検討. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190601; 東京.

藁谷雄一. 高齢者における H.pylori 感染関連疾患に対する除菌治療の現状. タケキャブ錠発売 4 周年記念講演会; 20190611; 福島.

藁谷雄一, 黒田聖仁, 児玉健太, 菅野有紀子, 寺島久美子, 宮田昌之. 当院 ESD における HP 陽性未除菌胃癌と HP 除菌後発見胃癌の臨床病理学的検討. 第 163 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190706; 秋田.

藁谷雄一. 当院での便秘症治療の現状について. 慢性便秘症を考える会; 20190919; 福島.

浅間宏之. ASCO annual meeting 2019 report: Pancreatic cancer and Neuroendocrine neoplasm. 2019 年度第 1

回 JCOG 肝胆膵グループ定例会議; 20190615; 東京.

浅間宏之, 上野 誠, 小林 智, 福島泰斗, 河野邦幸, 佐野裕亮, 田中 聡, 長島周平, 森本 学. GEM+nab-PTX 療法を施行した切除不能膵癌の予後と骨格筋量の関連に着いての検討. 第 50 回日本膵臓学会学術集会; 20190713; 東京.

浅間宏之, 上野 誠, 小林 智, 福島泰斗, 田中 聡, 河野邦幸, 佐野裕亮, 長島周平, 横瀬智之, 山本直人, 森永聡一郎, 森本 学. 切除検体にて異所性肝細胞癌の重複が確認された膵頭部癌の一例. 第 357 回日本消化器病学会関東支部例会; 20191207; 東京.

川島一公, 高丸博之, 水口康彦, 関口正宇, 山田真善, 坂本 琢, 松田尚久, 斎藤 豊. 内視鏡治療された大腸 pT1b 癌における同時性/異時性転移再発の転移リスク因子解析. JDDW2019; 20191122; 神戸.

川島一公, 山田真善, 関口正宇, 高丸博之, 坂本 琢, 松田尚久, 斎藤 豊. 超拡大内視鏡観察が深達度診断に有用であった 0-Is-IIa (LST-NG) の 1 例. 第 32 回早期大腸癌研究会; 20191116; 仙台.

高住美香, 佐藤雄紀, 入江大樹, 加藤恒孝, 小原勝敏, 大平弘正. ESD 適応と診断されながら併存疾患の治療を優先後に治療された早期胃癌症例の検討. JDDW2019; 20191122; 神戸.

佐藤雄紀, 鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 入江大樹, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 小原勝敏, 引地拓人, 丸橋 繁, 橋本優子, 大平弘正. 腹部超音波検診による膵管拡張を契機に診断されたセロトニン陽性膵神経内分泌腫瘍の 1 例. 第 364 回福島消化器病研究会; 20190305; 福島.

佐藤雄紀, 鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 入江大樹, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 高住美香, 橋本 陽, 小原勝敏, 大平弘正. 膵神経内分泌腫瘍(PanNENs)に対する EUS-FNA の検討. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190531; 東京.

藤田将史, 林 学, 岡井 研, 阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. 当院での自己免疫性肝炎による急性肝不全の現状. 第 206 回日本消化器病学会東北支部例会; 20190209; 仙台.

藤田将史, 高橋敦史, 大平弘正. 非アルコール性脂肪性肝疾患と不眠症. TREND; 20190309; 仙台.

藤田将史, 高橋敦史, 林 学, 岡井 研, 阿部和道, 大平弘正. 肝動脈化学塞栓療法における骨格筋量低下の影響. 第 55 回日本肝臓学会総会; 20190531; 大阪.

藤田将史, 佐藤賢太郎, 林 学, 阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. 原因不明の肝障害に続いて難治性腹水をきたした症例. 第 23 回福島肝疾患勉強会; 20190907; 福島.

藤田将史, 林 学, 阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. カルニチン製剤で治療された肝疾患患者における治療成績と骨格筋量減少について. Otsuka Liver Forum; 20191025; 福島.

藤田将史, 林 学, 阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. ソラフェニブで治療された肝細胞癌患者における骨格筋減少と予後の関連. 福島肝癌治療フォーラム; 20191101; 郡山.

藤田将史, 林 学, 阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. 当院での急性肝不全における検討. 第 27 回日本消化器関連学会週間; 20191122; 神戸.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 大平弘正. 当院での外傷性脾損傷における内視鏡治療経験. 第 53 回東北脾臓研究会; 20190208; 仙台.

入江大樹, 杉本 充, 高木忠之, 鈴木 玲, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 引地拓人, 大平弘正. 悪性胆管狭窄に対する内視鏡的 stent in stent メタリックステント留置困難の予測因子の検討. 第 162 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190208; 仙台.

入江大樹, 鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 引地拓人, 大平弘正. 内視鏡的乳頭切除術の有用性と安全性に関する検討 (A clinical study on the usefulness and safety of endoscopic papillectomy). 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190602; 東京.

入江大樹, 杉本 充, 高木忠之, 鈴木 玲, 中村 純, 橋本 陽, 加藤恒孝, 引地拓人, 大平弘正. 膀胱癌腹膜播種再発に対して十二指腸ステント留置後に EUS-AGS/HGS を施行した 1 例. 第 43 回福島県消化器治療内視鏡研究会; 20190622; 福島.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 大平弘正. 治療困難な胆管結石における EHL の使用経験. 日本消化器病学会東北支部第 207 回例会; 20190705; 秋田.

入江大樹, 杉本 充, 高木忠之, 鈴木 玲, 大平弘正. 自己免疫性膵炎診断における Wet Suction Technique (WEST 法) の有用性に関する検討. 第 163 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190706; 秋田.

入江大樹, 鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 引地拓人, 大平弘正. 膵癌に対する gemcitabine+nab-paclitaxel 併用療法使用時の間質性肺疾患に関する後方視的検討. 第 50 回日本脾臓学会大会; 20190712; 東京.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 中村 純, 橋本 陽, 加藤恒孝, 引地拓人, 大平弘正. 膀胱癌腹膜播種再発に対して十二指腸ステント留置後に EUS-AGS/HGS を施行した 1 例. 福島消化器疾患セミナー; 20190910; 福島.

入江大樹, 高木忠之, 引地拓人, 鈴木 玲, 渡辺 晃, 中村 純, 杉本 充, 紺野直紀, 橋本 陽, 加藤恒孝, 大平弘正, 小原勝敏. 先天性胆道閉鎖症術後の門脈圧亢進症による食道胃静脈瘤に対し内視鏡治療を繰り返した一例. 第 26 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20190912; 山口.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 引地拓人, 中村 純, 高住美香, 橋本 陽, 加藤恒孝, 小原勝敏, 大平弘正. 膵神経内分泌腫瘍(PanNENs)に対する EUS-FNA の検討. 第 23 回福島県超音波内視鏡研究会; 20191026; 福島.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 引地拓人, 田中秀明, 丸橋 繁, 大平弘正. 外傷性脾損傷における ERP の有用性に関する検討. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 (JDDW2019) ; 20191123; 兵庫.

加藤恒孝, 引地拓人, 高木忠之, 片倉響子, 鬼澤道夫, 鈴木 玲, 中村 純, 郡司直彦, 杉本 充, 橋本陽, 入江大樹, 大平弘正. DOAC 内服者の消化器内視鏡診療におけるフィブリンモノマー複合体(FMC)測定の意義. 第 163 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190706; 秋田.

加藤恒孝, 引地拓人, 高木忠之, 鈴木 玲, 中村 純, 杉本 充, 橋本 陽, 入江大樹, 大平弘正, 小原勝敏. 食道静脈瘤診断におけるゼリー充填法を用いた EUS の実際. 第 26 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20190913; 下関.

加藤恒孝, 引地拓人, 高木忠之, 鈴木 玲, 中村 純, 杉本 充, 橋本 陽, 入江大樹, 大平弘正, 小原勝敏. 食道胃静脈瘤に対する内視鏡治療における有害事象の検討. 第 3 回東北門脈圧亢進症研究会; 20190928; 福島.

加藤恒孝, 引地拓人, 高木忠之, 鈴木 玲, 中村 純, 杉本 充, 橋本 陽, 入江大樹, 大平弘正, 小原勝敏. 食道静脈瘤診断におけるゼリー充填法を用いた EUS の実際. 第 23 回福島超音波内視鏡研究会; 20191026; 福島.

橋本 陽, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 高住美香, 佐藤雄紀, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 胃 GIST に対する EUS-FNA の現状と手技の工夫. 第 105 回日本消化器病学会総会; 20190509-11; 金沢.

橋本 陽, 引地拓人, 中村 純, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 高住美香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法(PDT)の現状. 第 163 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190706; 秋田.

橋本 陽, 引地拓人, 中村 純, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 高住美香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法(PDT)の現状. JDDW2019; 20191121; 神戸.

橋本 陽, 引地拓人, 中村 純, 渡辺 晃, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 高住美香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法(PDT)の現状. FUJIFILM MEDICAL SEMINAR 2019 in 福島; 20190406; 福島.

橋本 陽, 引地拓人, 中村 純, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 高住美香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法(PDT)の現状. 第 39 回福島県食道癌胃癌研究会; 20191019; 福島.

橋本 陽, 引地拓人, 中村 純, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 高住美香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法(PDT)の現状. 第 366 回福島消化器病研究会; 20190726; 福島.

小橋亮一郎, 高橋裕太, 佐久間千陽, 今泉博道, 國分政樹, 吉田直衛, 熊川宏美. 門脈の退縮の経過が追えた肝外門脈閉塞症の一例. 日本消化器病学会東北支部第 207 回例会; 20190705; 秋田.

小橋亮一郎, 高橋裕太, 阿部直人, 持丸友昭, 藁谷雄一, 熊川宏美. 十二指腸メタリックステント留置時にトラブルをきたした一例. 第 1 回福島県メタリックステント研究会; 20190629; 郡山.

小橋亮一郎, 高橋裕太, 阿部直人, 持丸友昭, 藁谷雄一, 熊川宏美. Y脚の悪性狭窄に対し消化管ステントを留置した一例. 第2回福島県メタリックステント研究会; 20191214; 福島.

柳田拓実, 猪狩 剛, 間 浩正, 橋本健明, 今村秀道, 迎 慎二. 胃癌による悪性胃十二指腸狭窄に対する胃十二指腸用ステント治療の有用性の検討. 第91回日本胃癌学会総会; 20190301; 静岡.

柳田拓実, 佐久間千陽, 間 浩正, 橋本健明, 今村秀道, 迎 慎二. 当院における早期胃癌に対する内視鏡治療の現状. 第39回福島県食道癌研究会; 20191019; 福島.

高畑陽介, 松橋暢生, 市井 統, 田井真弓, 鈴木智浩, 江尻 豊. 消化管アミロイドーシスから診断・加療に至ったキャッスルマン病の1例. 日本消化器病学会東北支部第206回例会; 20190209; 仙台.

高畑陽介, 鈴木智浩, 松橋暢生, 市井 統, 田井真弓, 江尻 豊. 当院におけるレンパチニブの治療の現状. レンパマクリニカルカンファレンスセミナー; 20190206; 郡山.

高畑陽介, 鈴木智浩, 清水 広, 篠原暢彦, 秀島宏典, 横川裕子, 松橋暢生, 市井 統, 田井真弓, 江尻 豊. 腓神経内分泌腫瘍の1例. いわき腹部画像研究会; 20190115; いわき.

高畑陽介, 鈴木智浩, 清水 広, 篠原暢彦, 秀島宏典, 横川裕子, 松橋暢生, 市井 統, 田井真弓, 江尻 豊. 肝腫瘍の1例. いわき腹部画像研究会; 20190729; いわき.

高畑陽介, 鈴木智浩, 松橋暢生, 市井 統, 田井真弓, 江尻 豊. 当院の肝細胞癌に対するレンパチニブの治療成績と副作用, ALBI-gradeを用いた検討. JDDW2019; 20191122; 神戸.

綿引 優, 石崎優斗, 小嶋祐紀, 斎藤桂悦, 山野辺邦美, 佐川恵一, 大平弘正. 繰り返す大腸憩室出血に対して内視鏡的バンド結紮術が有効であった1例. 福島県農村医学会学術集会; 20190615; 福島.

綿引 優, 石崎優斗, 小嶋祐紀, 斎藤桂悦, 山野辺邦美, 佐川恵一, 大平弘正. 急性アルコール性肝炎の経過中に虚血性腸炎を発症し, 狭窄型に進展した1例. 日本消化器病学会東北支部第207回例会; 20190705; 秋田.

綿引 優, 今村秀道, 佐久間千陽, 間 浩正, 橋本健明, 迎 慎二. 悪性胆道狭窄に対するメタリックステント留置後における胆嚢炎の検討. 第2回福島県メタリックステント研究会; 20191214; 福島.

清水 広, 鈴木智浩, 高畑陽介, 佐々島朋美, 江尻 豊. 腸管ペーチェットに貧血と染色体異常を合併した1例. 日本消化器病学会東北支部第207回例会; 20190705; 秋田.

竹田悠太郎, 横山健介, 佐藤秀紀, 石野 淳, 牛尾 純, 大平弘正. 当院における Spy Glass DSTM の使用経験. 第55回日本胆道学会学術集会; 20191003; 名古屋.

石崎優斗, 郡司直彦, 片倉響子, 藤原達雄, 舟窪 彰, 引地拓人, 大平弘正. 妊娠を契機に増悪した潰瘍性大腸炎の一例. 日本消化器病学会東北支部第206回例会; 20190209; 仙台.

石崎優斗, 郡司直彦, 片倉響子, 鬼澤道夫, 浅野智之, 佐藤秀三, 引地拓人, 大平弘正. アダリムマブ投与後

に高安動脈炎の合併が明らかになったクローン病の一例. 日本消化器病学会東北支部第 207 回例会; 20190705; 秋田.

橋本長一朗, 郡司直彦, 片倉響子, 鬼澤道夫, 加藤恒孝, 引地拓人, 大平弘正. 関節炎を伴った高齢発症潰瘍性大腸炎の 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 207 回例会; 20190705; 秋田.

橋本 舞, 黒田聖仁, 大久保義徳, 紺野直紀, 児玉健太, 菅野有紀子, 寺島久美子, 宮田昌之, 田崎和洋. 診断に苦慮した肝原発メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の一例. 日本消化器病学会東北支部第 207 回例会; 20190705; 秋田.

和田 淳, 郡司直彦, 片倉響子, 鬼澤道夫, 引地拓人, 大平弘正. 診断に苦慮した小児の腸管型ベーチェット病と考えられる一例. 日本消化器病学会東北支部第 207 回例会; 20190705; 秋田.

錫谷 研, 郡司直彦, 片倉響子, 鬼澤道夫, 引地拓人, 大平弘正. ベドリズムマブにてサイトメガロウイルス腸炎が再燃した潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 218 回日本内科学会東北地方会; 20190928; 青森.

〔シンポジウム〕

高橋敦史, 阿部和道, 大平弘正. 自己免疫性肝炎における急性発症病態の相違. 第 55 回日本肝臓学会総会 (ワークショップ); 20190523; 東京.

高橋敦史, 阿部和道, 大平弘正. 自己免疫性肝炎全国調査. 第 23 回日本肝臓学会大会 JDDW2019 (ワークショップ); 20191121; 神戸.

阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. 抗核抗体陰性または低力価である自己免疫性肝炎の臨床的特徴. 第 55 回肝臓学会総会 (ワークショップ); 20190531; 東京.

中村 純, 引地拓人, 橋本 陽, 小原勝敏, 大平弘正. 胃・十二指腸潰瘍出血症例の臨床的特徴の検討. 第 163 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会 (パネルディスカッション); 20190706; 秋田.

中村 純, 引地拓人, 大平弘正. 福島市における対策型胃がん内視鏡検診の現状と新たな取り組み (パネルディスカッション). 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190531; 東京.

中村 純, 引地拓人, 大平弘正. 福島市と川俣町における対策型胃がん検診の現状と将来展望 (パネルディスカッション). 第 105 回日本消化器病学会総会; 20190512; 金沢.

中村 純, 引地拓人, 大平弘正. 食道・胃 ESD 時の穿孔に対するトラブルシューティング (ワークショップ). JDDW2019; 20191123; 神戸.

紺野直紀, 小原勝敏, 大平弘正. 胃静脈瘤治療に対する最近の進歩～HA/EO 併用法導入後 5 年間の治療成績～ (パネルディスカッション). 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190601; 東京.

川島一公, 山田真善, 関口正宇, 高丸博之, 坂本 琢, 松田尚久, 斎藤 豊. 大腸癌の確実な内視鏡診断における当院の工夫 (ビデオワークショップ 1). 第 109 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会; 20191215; 東京.

橋本 陽, 引地拓人, 大平弘正. Current status of EUS-FNA and LECS for gastric subepithelial lesions (パネルディスカッション). 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190602; 東京.

柳田拓実, 佐久間千陽, 間浩 正, 橋本健明, 今村秀道, 迎 慎二. 当院における上部消化管出血に対する緊急内視鏡の現状 (パネルディスカッション). 第 163 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190706; 秋田.

〔特別講演〕

大平弘正. 新たな時代を迎えた肝疾患診療. レミッチ in いわき; 20190320; いわき.

大平弘正. 自己免疫肝炎 (特別企画 2). 第 55 回日本肝臓学会総会; 20190513; 東京.

大平弘正. 新たな時代を迎えた肝疾患診療. 第 8 回四国門脈圧亢進症研究会; 20190831; 香川.

大平弘正. 肝疾患診療の進歩. 令和元年度健康教育研究会; 20190924; 郡山.

大平弘正. 自己免疫性肝炎の話題ーアザチオプリンの位置づけ. イムラン WEB セミナー; 20190625; 福島.

大平弘正. 自己免疫性肝疾患の理解のために. 難治性の肝・胆道の病気に関する講演会; 20190626; 山形.

大平弘正. 自己免疫性肝炎の患者さんへ. AIH・PBC・PSC 医療講演会; 20191215; 東京.

高木忠之. 脾疾患に対する集学的治療〜ソナゾイドによる診断を含めて〜. 第 15 回いわき肝胆脾研究会; 20190906; いわき.

高橋敦史. 非アルコール性脂肪性肝疾患と不眠症. 生活習慣病と消化器疾患フォーラム; 20190215; 福島.

高橋敦史. 肝臓から糖尿病治療を考える. 第 4 回いわき糖尿病研究会; 20190708; いわき.

高橋敦史. 脂質管理からみた非アルコール性脂肪性肝疾患の治療戦略. 鷹巣医師団定例医談会; 20190712; 北秋田市.

高橋敦史. メタボリックシンドロームとしての脂肪肝診療. 生活習慣病セミナー; 20190607; 郡山.

高橋敦史. 非アルコール性脂肪性肝疾患における糖・脂質管理. 脂質の未来を考える; 20190913; 福島.

阿部和道. 肝疾患と腸内細菌叢. 福島県腸内細菌学術講演会; 20191018; 福島.

阿部和道. カルニチンと筋症状/疲労. 東北肝疾患 WEB セミナー; 20191023; 山形.

阿部和道. 福島からの発信! C 型肝炎に対する DAA 治療による SVR 後発癌と予後ーFukushima Liver Academic Group (FLAG)のデータを中心にー. 肝炎・腹腔内感染症インターネット講演会; 20191025; 東京.

鬼澤道夫. 炎症性腸疾患とその治療法開発の歴史. ゼルヤンツ潰瘍性大腸炎適正使用講演会; 20191115; 郡山.

鬼澤道夫. TNF の過去・現在・未来. Fukushima IBD Forum 2019; 20191130; 福島.

郡司直彦. 大学病院における便秘診療. 相馬郡医師会講演会; 20190911; 相馬.

大平弘正. 自己免疫肝疾患の最新知見 (教育講演). 2019 年度日本肝臓学会前期教育講演会; 20190601; 東京.

大平弘正. 自己免疫肝疾患の up to date (教育講演). 第 56 回日本消化器免疫総会; 20190801; 京都.

大平弘正. 自己免疫肝疾患の話題 (教育講演). 第 29 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20191102; 青森.

高橋敦史. 肝臓から糖尿病を予防する! 健康づくりセミナー (教育講演). いきいき健康づくりフォーラム in 白河; 20190224; 白河.

阿部和道. 肝臓からみたメタボとサルコペニア (教育講演). 第 57 回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会; 20190725; 福島.

阿部和道. ウイルス性肝炎 肝硬変 肝がん (教育講演). 福島県肝炎医療コーディネーター養成研修会; 20191001; 郡山.

紺野直紀. 胃がんの最近の内科的治療法～早期胃癌に対する内視鏡的治療を中心に～ (教育講演). 第 80 回日本消化器病学会東北支部市民公開講座; 20191110; 福島.

林 学. 当科における進行肝細胞癌治療の現状. 福島県 C 型肝炎学術講演会; 20190927; 郡山.

藁谷雄一. 当院におけるルビプロストン使用状況 ～高齢者を中心に～. 福島市学術講演会; 20190305; 福島.

藁谷雄一. 当院における便秘症治療の現状 ～リナクロチドの使用経験を踏まえて～. 相馬郡医師会講演会; 20190911; 福島.

〔その他〕

片倉響子. 厚生労働省医系技官を経験して. FMU キャリアサポート交流会; 20190125; 福島.

片倉響子. 難病対策の動向と地域連携について. エンタイビオ講演会 in Fukushima; 20190405; 福島.

阿部和道. 肝疾患と腸内細菌. 持田製薬社内勉強会; 20190626; 福島.

リウマチ膠原病内科学講座

論文

〔原 著〕

Nariai Y, Kamino H, Obayashi E, Kato H, Sakashita G, Sugiura T, Migita K, Koga T, Kawakami A, Sakamoto K, Kadomatsu K, Nakakido M, Tsumoto K, Urano T. Generation and characterization of antagonistic anti-human interleukin (IL)-18 monoclonal antibodies with high affinity: Two types of monoclonal antibodies against full-length IL-18 and the neopeptide of inflammatory caspase-cleaved active IL-18. *Archives of Biochemistry and Biophysics*. 201903; 663:71-82.

Fujita Y, Matsuoka N, Temmoku J, Furuya MY, Asano T, Sato S, Kobayashi H, Watanabe H, Suzuki E, Urano T, Kozuru H, Yatsushashi H, Koga T, Kawakami A, Migita K. Hydroxychloroquine inhibits IL-1 β production from amyloid-stimulated human neutrophils. *Arthritis Research & Therapy*. 201908; 21(1):250.

van der Heijde D, Strand V, Tanaka Y, Keystone E, Kremer J, Zerbini CAF, Cardiel MH, Cohen S, Nash P, Song YW, Tegzová D, Gruben D, Wallenstein G, Connell CA, Fleischmann R; ORAL Scan Investigators (Migita K). Tofacitinib in Combination with Methotrexate in Patients with Rheumatoid Arthritis: Clinical Efficacy, Radiographic, and Safety Outcomes from a Twenty-Four-Month, Phase III Study. *Arthritis & Rheumatology*. 201908; 71(6):878-891.

Matsuoka N, Asano T, Sato S, Sasajima S, Fujita Y, Temmoku J, Furuya MY, Matsumoto H, Suzuki E, Kobayashi H, Watanabe H, Migita K. A case of dermatomyositis complicated with pleural effusion and massive ascites. *Fukushima Journal of Medical Science*. 201912; 65(3):1-6.

Matsumoto H, Sato S, Fujita Y, Yashiro-Furuya M, Matsuoka N, Asano T, Kobayashi H, Watanabe H, Migita K. Rheumatoid Arthritis Complicated with Anti-melanoma Differentiation-associated Gene 5 Antibody-positive Interstitial Pneumonia. *Internal Medicine*. 201903; 58(5):737-742.

Nakamichi S, Origuchi T, Fukui S, Yoda A, Matsubara H, Nagaura Y, Nishikomori R, Abe K, Migita K, Sakamoto N, Kawakami A, Ozono Y, Maeda T. A Rare Case of Cryopyrin-associated Periodic Syndrome in an Elderly Woman with NLRP3 and MEFV Mutations. *Internal Medicine*. 201904; 58(7):1017-1022.

Fujita Y, Asano T, Sato S, Furuya MY, Temmoku J, Matsuoka N, Kobayashi H, Watanabe H, Suzuki E, Koga T, Endo Y, Kawakami A, Migita K. Coexistence of Mixed Connective Tissue Disease and Familial Mediterranean Fever in a Japanese Patient. *Internal Medicine*. 201908; 58(15):2235-2240.

Takeuchi Y, Shigemura T, Kobayashi N, Nagumo H, Furumoto M, Ogasawara K, Fujii H, Takizawa M, Soga T, Matoba H, Masumoto J, Fukushima K, Migita K, Ojima T, Umeda Y, Agematsu K. Clinical features and new diagnostic criteria for the syndrome of periodic fever, aphthous stomatitis, pharyngitis, and cervical adenitis. *International Journal of Rheumatic Diseases*. 201908; 22(8):1489-1497.

Imai S, Yamana H, Inoue N, Akazawa M, Horiguchi H, Fushimi K, Migita K, Yatsushashi H, Sugiyama M, Mizokami M. Validity of administrative database detection of previously resolved hepatitis B virus in Japan. *Journal of Medical Virology*. 201908; 91(11):1944-1948.

Temmoku J, Sato S, Fujita Y, Asano T, Suzuki E, Kanno T, Furuya MY, Matsuoka N, Kobayashi H, Watanabe H, Koga T, Shimizu T, Kawakami A, Migita K. Clinical significance of myositis-specific autoantibody profiles in Japanese patients with polymyositis/dermatomyositis. *Medicine*. 201908; 98(20):e15578.

Matsuoka N, Kozuru H, Koga T, Abiru S, Yamasaki K, Komori A, Fujita Y, Tenmoku J, Asano T, Sato S, Suzuki E, Furuya M, Kobayashi H, Watanabe H, Naganuma A, Yoshizawa K, Shimada M, Ario K, Yamashita H, Kohno H, Kaneyoshi T, Nakamura M, Furukawa H, Takahashi A, Kawakami A, Ohira H, Yatsushashi H, Migita K. Galectin-9 in autoimmune hepatitis: Correlation between serum levels of galectin-9 and M2BPGi in patients with autoimmune hepatitis. *Medicine*. 201911; 98(35):e16924.

Oka S, Furukawa H, Shimada K, Hashimoto A, Komiya A, Tsunoda S, Saisho K, Tsuchiya N, Katayama M, Shinohara S, Matsui T, Fukui N, Sano H, Migita K, Tohma S. Association of HLA-DRB1 genotype with younger age onset and elder age onset rheumatoid arthritis in Japanese populations. *Medicine*. 201911; 98(48):e18218.

Fujita Y, Furukawa H, Asano T, Sato S, Yashiro-Furuya M, Kobayashi H, Watanabe H, Suzuki E, Koga T, Shimizu T, Ueki Y, Eguchi K, Tsuchiya N, Kawakami A, Migita K. HLA-DQB1 DPB1 alleles in Japanese patients with adult-onset Still's disease. *Modern Rheumatology*. 201908; 29(5):843-847.

Miyata M, Kuroda M, Unakami M, Tasaki K, Migita K, Ohira H. Validation of the fibrosis-4 (FIB-4) index in the diagnosis of liver disease of rheumatoid arthritis patients treated with methotrexate. *Modern Rheumatology*. 201908; 29(6):936-942.

Yasuda R, Mizuochi T, Kitamura M, Migita K, Yamashita Y. Canakinumab eliminates resistant familial Mediterranean fever in a Japanese girl. *Pediatrics International*. 201911; 61(11):1173-1174.

Hitomi Y, Ueno K, Kawai Y, Nishida N, Kojima K, Kawashima M, Aiba Y, Nakamura H, Kouno H, Kouno H, Ohta H, Sugi K, Nikami T, Yamashita T, Katsushima S, Komeda T, Ario K, Naganuma A, Shimada M, Hirashima N, Yoshizawa K, Makita F, Furuta K, Kikuchi M, Naeshiro N, Takahashi H, Mano Y, Yamashita H, Matsushita K, Tsunematsu S, Yabuuchi I, Nishimura H, Shimada Y, Yamauchi K, Komatsu T, Sugimoto R, Sakai H, Mita E, Koda M, Nakamura Y, Kamitsukasa H, Sato T, Nakamura M, Masaki N, Takikawa H, Tanaka A, Ohira H, Zeniya M, Abe M, Kaneko S, Honda M, Arai K, Arinaga-Hino T, Hashimoto E, Taniiai M, Umemura T, Joshita S, Nakao K, Ichikawa T, Shibata H, Takaki A, Yamagiwa S, Seike M, Sakisaka S, Takeyama Y, Harada M, Senju M, Yokosuka O, Kanda T, Ueno Y, Ebinuma H, Himoto T, Murata K, Shimoda S, Nagaoka S, Abiru S, Komori A, Migita K, Ito M, Yatsushashi H, Maehara Y, Uemoto S, Kokudo N, Nagasaki M, Tokunaga K, Nakamura M. POGUT1, the putative effector gene driven by rs2293370 in primary biliary cholangitis susceptibility locus chromosome 3q13.33. *Scientific Reports*. 201901; 9(1):102.

Fukui S, Kuwahara-Takaki A, Ono N, Sato S, Koga T, Kawashiri SY, Iwanaga N, Iwamoto N, Ichinose K,

Tamai M, Nakamura H, Origuchi T, Migita K, Arinobu Y, Niino H, Tada Y, Akashi K, Maeda T, Kawakami A. Serum levels of fibroblast growth factor-2 distinguish Takayasu arteritis from giant cell arteritis independent of age at diagnosis. *Scientific Reports*. 201901; 9(1):688.

Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Nakamura M, Komori A, Abiru S, Hashimoto S, Shimada M, Yoshizawa K, Kouno H, Naganuma A, Ario K, Kaneyoshi T, Yamashita H, Takahashi H, Makita F, Yatsuhashi H, Ohira H, Migita K. Role of deleterious single nucleotide variants in the coding regions of TNFAIP3 for Japanese autoimmune hepatitis with cirrhosis. *Scientific Reports*. 201905; 9(1):7925.

Yokoyama N, Kawasaki A, Matsushita T, Furukawa H, Kondo Y, Hirano F, Sada KE, Matsumoto I, Kusaoi M, Amano H, Nagaoka S, Setoguchi K, Nagai T, Shimada K, Sugii S, Hashimoto A, Matsui T, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Ohno S, Katayama M, Migita K, Kono H, Hasegawa M, Kobayashi S, Yamada H, Nagasaka K, Sugihara T, Yamagata K, Ozaki S, Tamura N, Takasaki Y, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Sato S, Sumida T, Tohma S, Takehara K, Tsuchiya N. Association of NCF1 polymorphism with systemic lupus erythematosus and systemic sclerosis but not with ANCA-associated vasculitis in a Japanese population. *Scientific Reports*. 201911; 9(1):16366.

斎藤桂悦, 松岡直紀, 綿引 優, 山野辺邦美, 佐川恵一, 阿部和道, 大平弘正. 脾腫を認めたクローン病の1例. 福島県農村医学会雑誌. 201908; 59(1):20-22.

〔総説等〕

右田清志, 古賀智裕, 川上 純. 家族性地中海熱の診断と治療. 日本内科学会雑誌. 201908; 108(9):1918-1925.

右田清志, 浅野智之, 佐藤秀三, 藤田雄也, 古賀智裕, 川上 純. 生物学的製剤を用いた自己炎症性疾患の治療. 分子リウマチ治療. 201908; 12(1):16-20.

右田清志, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之. JAK 阻害薬の滑膜細胞に対する作用. リウマチ科. 201907; 62(1):11-16.

右田清志, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀. 全身性エリテマトーデス. 臨床検査. 201908; 63(4):529-531.

右田清志, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直樹, 中村 正. リウマチ性類縁5疾患の最新知識 家族性地中海熱の基礎と臨床. 臨床リウマチ. 201903; 31(1):68-74.

〔症例報告〕

Yokokawa T, Kunii H, Kaneshiro T, Ichimura S, Yoshihisa A, Yashiro-Furuya M, Asano T, Nakazato K, Ishida T, Migita K, Takeishi Y. Regressed coronary ostial stenosis in a young female with Takayasu arteritis: a case report. *BMC Cardiovascular Disorders*. 201904; 19(1):79.

Furuya MY, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Kobayashi H, Watanabe H, Migita K. Vasculo- Behçet disease complicated by conversion disorder diagnosed with 18F-fluoro-deoxy-glucose positron emission tomography combined with computed tomography (PET/CT). *Fukushima Journal of Medical Science*.

201903; 65(2):55-60.

Asano T, Sato S, Furuya MY, Takahashi H, Shichishima-Nakamura A, Ohkawara H, Fujiwara T, Gunji N, Hashimoto C, Momma T, Saito M, Nakano H, Watanabe G, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Kobayashi H, Watanabe H, Mouri M, Mashiyama F, Sakuma H, Ohira H, Mori M, Ikezoe T, Migita K. Intestinal Behçet disease associated with myelodysplastic syndrome accompanying trisomy 8 successfully treated with abdominal surgery followed by hematopoietic stem cell transplantation: A case report. *Medicine*. 201911; 98(46):e17979.

著 書・訳 書

右田清志. 強直性脊椎炎. In: 浦部晶夫, 島田和幸, 川合眞一 総編集. 今日の処方 改訂第6版. 東京: 南江堂; 201903. p.508-511.

小林浩子. 膠原病の消化器病変にまつわるトピックスは? In: 三村俊英 編. むかしの頭で診ていませんか? 膠原病診療をスッキリまとめました〜リウマチ、アレルギーも載ってます! 東京: 南江堂; 201910. p.132-137.

浅野智之, 古谷牧子, 右田清志. SAPHO 症候群とその類縁疾患. In: 南学正臣 総編集. 内科学書 改訂第9版. 東京: 中山書店; 201908. p.289-292.

研究発表等

〔研究発表〕

藤田雄也, 古谷牧子, 松岡直紀, 小林浩子, 渡辺浩志, 鈴木英二, 古賀智裕, 遠藤友志郎, 川上 純, 右田清志. 家族性地中海熱に混合性結合組織病とシェーグレン症候群を合併した一例. 第2回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会; 20190202-03; 東京.

天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志, 齋藤浩孝, 風間順一郎. TAFRO 症候群の一例. 第21回福島腎フォーラム; 20190209; 福島.

市村拓哉, 鈴木英二, 菅野 孝, 右田清志. 難治性腹水および血小板減少を合併した原発性シェーグレン症候群の1例. 第216回日本内科学会東北地方会; 20190216; 仙台.

渡辺浩志. リウマチ医の記憶遺産ー若手に遺したい私の経験ー. 第20回東北リウマチ医の会; 20190303; 青森.

Fujita Y, Furukawa H, Temmoku J, Furuya MY, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Kobayashi H, Watanabe H, Suzuki E, Koga T, Shimizu T, Ueki Y, Eguchi K, Tsuchiya N, Kawakami A, Migita K. Autoinflammation and autoimmunity in Adult-onset Still's disease (AOSD): The relationship between HLA-Class II and MEFV genes in AOSD. 第63回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20190415-17; 京都.

Koga T, Migita K, Sumiyoshi R, Nonaka F, Kawashiri S, Iwamoto N, Ichinose K, Tamai M, Nakamura H, Origuchi T, Agematsu K, Masumoto J, Yachie A, Eguchi K, Kawakami A. Next-generation sequencing of the

whole MEFV gene in Japanese patients with familial Mediterranean fever: A case-control association study. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20190415; 京都.

浅野智之, 古谷牧子, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 佐藤秀三, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志. 急速に高度な動脈狭窄をきたした高安動脈炎症例に対する生物学的製剤の治療効果. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20190415-17; 京都.

岡 笑美, 古川 宏, 島田浩太, 橋本 篤, 小宮明子, 角田慎一郎, 税所幸一郎, 土屋尚之, 片山雅夫, 篠原 聡, 松井利浩, 福井尚志, 佐野 統, 右田清志, 當間重人. 若年発症および高齢発症関節リウマチと DRB1 遺伝型との関連. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20190415-17; 京都.

佐藤秀三, Xian Zhang, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 古谷牧子, 浅野智之, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志. 転写因子 Fli-1 は腎組織における IL-17 発現を制御するが, CXCL1 発現には影響しない. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20190415-17; 京都.

鈴木英二, 菅野 孝, 間 桃子, 浅野智之, 右田清志. 当科におけるループス腎炎の再発に関する検討. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20190415-17; 京都.

天目純平, 古谷牧子, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 鈴木英二, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志. JAK 阻害薬は GM-CSF による自然免疫細胞のインフラマソーム活性化をブロックする. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20190415-17; 京都.

中野直子, 上松一永, 谷内江昭宏, 右田清志, 浦野 健, 古賀智裕, 川上 純, 増本純也. ヒト組織における MEFV 遺伝子の mRNA 発現の定量的評価. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20190415-17; 京都.

藤田雄也, 上松一永, 天目純平, 古谷牧子, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 小林浩子, 渡辺浩志, 古賀智裕, 川上 純, 右田清志. 新規遺伝子変異(Cys200Alafsx16)を認めた A20 ハプロ不全(HA20)症例の末梢血単核球の機能解析. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20190415-17; 京都.

松岡直紀, 天目純平, 藤田雄也, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志. 当院 SLE 患者におけるヒドロキシクロロキン投与に関する後方視的観察からの考察. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20190415-17; 京都.

渡辺浩志, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 小林浩子, 右田清志. 抗 IgG 抗体は IgG4 関連疾患における補体活性化に関与するか? 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20190415-17; 京都.

古賀智裕, 右田清志, 遠藤友志郎, 住吉玲美, 野中文陽, 江口勝美, 川上 純. 次世代シーケンサーを用いた日本全域の家族性地中海熱患者における MEFV 遺伝子の包括的解析. 第 116 回日本内科学会総会・講演会; 20190427-28; 名古屋.

松本聖生, 浅野智之, 天目純平, 藤田雄也, 古谷牧子, 佐藤秀三, 小林浩子, 渡辺浩志, 榎本 雪, 右田清志. 意識障害と膀胱直腸障害を呈した IgG4 関連疾患の一例. 日本内科学会第 217 回東北地方会; 20190622; 仙台.

小林浩子. 内科医から見たリウマチ性疾患の移行期医療. Juvenile Idiopathic Arthritis; 20190713; 仙台.

浦野 健, 成相裕子, 尾林栄治, 加美野宏樹, 右田清志, 川上 純. 成人スチル病患者血清中における活性型炎症性サイトカイン IL-18 の可視化を可能とした新規モノクローナル抗体の作製. 第 40 回日本炎症・再生医学会; 20190716-17; 神戸.

藤田雄也, 天目純平, 松岡直紀, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志. 関節リウマチにおける抗 CCP 抗体価と補助シグナル伝達分子についての検討. 29 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20191102-03; 青森.

松岡直紀, 天目純平, 藤田雄也, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志. SLE の疾患活動性・臓器障害を反映する biomarker の探索. 第 29 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20191102-03; 青森.

渡邊 凱, 浅野智之, 佐藤秀三, 古谷牧子, 藤田雄也, 天目純平, 松岡直紀, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志. 末梢血幹細胞移植で寛解に至った Trisomy8 陽性の腸管ペーチェットの一例. 第 29 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20191102-03; 青森.

藤田雄也, 天目純平, 松岡直紀, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志. 関節リウマチにおける抗 CCP 抗体価と補助シグナル伝達分子についての検討. 第 34 回日本臨床リウマチ学会; 20191102-03; 名古屋.

〔シンポジウム〕

川上 純, 遠藤友志郎, 古賀智裕, 田中義正, 右田清志, 吉浦孝一郎, 佐藤俊太郎, 上松一永, 谷内江明宏, 増本純也, 浦野 健. 家族性地中海熱の精密医療の実現への試み. 第 40 回日本炎症・再生医学会; 20190716-17; 神戸.

〔特別講演〕

右田清志. 家族性地中海熱の診断と治療. 第 116 回日本内科学会総会・講演会; 20190427-27; 名古屋.

小林浩子. 関節リウマチ診療の進歩と病診連携. Primary Care Ladies Seminar in Fukushima; 20190628; 福島.

右田清志. リウマチ診療の最近の動向. 福島県北地域医療連携ネットワーク共同勉強会; 20190904; 福島.

右田清志. 自己炎症性疾患の診断と治療. 自己免疫疾患セミナー; 20190912; 福島.

右田清志. ステロイド性骨粗鬆症の診断・治療について. 福島 Total Care Forum; 20191112; 福島.

右田清志. ステロイド治療の留意点～ステロイド性骨粗鬆症を中心に～. 第 8 回東北小児膠原病研究会; 20191207; 福島.

〔招待講演〕

右田清志. IL-6 から炎症病態を考える. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017; 横浜.

〔その他〕

右田清志. 福島県立医科大学での RA 治療方針について. エーザイ株式会社 MR 研修会; 20190412; 福島.

右田清志. IL-6 から見たリウマチ性疾患の病態. 第 13 回福島小児血液・腫瘍研究会; 20190511; 福島.

右田清志. リウマチの新しい治療. 北福島医療センター 第 103 回地域けんこう講座; 20190518; 伊達.

藤田雄也. 関節リウマチにおける T 細胞活性化調節因子の検討. 第 5 回 Academy of Clinical Immunology, one step further; 20190629; 福島.

浅野智之. 関節リウマチ最新の知見に関して～関節エコーを含む～. アステラス製薬株式会社社内研修会; 20190821; 福島.

松岡直紀. 視力低下を来した MPO-ANCA 陽性の一例. 第 18 回東北臨床免疫研究会; 20190824; 山形.

佐藤秀三. 当科における高齢リウマチの治療選択について：アバタセプトを中心に. 第 4 回福島県 RA セミナー; 20190831; 郡山.

小林浩子. 代表的な疾患の診断等について<①リウマチ・膠原病>. 令和元年度福島県難病指定医研修; 20190901; 郡山.

右田清志. 自己炎症性疾患の診断と治療. Interactive Meeting in Fukushima; 20190906; 福島.

藤田雄也. 自己炎症性疾患：当施設の取り組み. Interactive Meeting in Fukushima; 20190906; 福島.

右田清志. 自己炎症症候群の診断と治療. 第 5 回郡山自己免疫セミナー～自己炎症症候群～; 20190925; 郡山.

佐藤秀三. 実臨床におけるアバタセプトの立ち位置. ABatacept Communication Meeting; 20191109; 郡山.

腎臓高血圧内科学講座

論 文

〔原 著〕

Yamamoto S, Ito T, Sato M, Goto S, Kazama JJ, Gejyo F, Narita I. Adsorption of Protein-Bound Uremic Toxins Using Activated Carbon through Direct Hemoperfusion in vitro. Blood Purification. 201905; 48(3):215-

Saito H, Tanaka K, Fujiwara M, Iwasaki T, Numata T, Oda A, Kanno M, Tanaka M, Eiro M, Satoh M, Kazama JJ. Pathological findings of progressive renal involvement in a patient with TAFRO syndrome. *CEN Case Reports*. 201911; 8(4):239-245.

Okada H, Yasuda Y, Kashihara N, Asahi K, Ito T, Kaname S, Kanda E, Kanno Y, Shikata K, Shibagaki Y, Tsuchiya K, Tsuruya K, Nagata D, Narita I, Nangaku M, Hattori M, Hamano T, Fujimoto S, Moriyama T, Yamagata K, Yamamoto R, Wakasugi M, Ashida A, Ashida A, Usui J, Kawamura K, Kawamura K, Kitamura K, Konta T, Suzuki Y, Tsuruoka S, Nishio S, Fujii N, Fujii H, Wada T, Yokoyama H, Aoki K, Akiyama D, Araki S, Arima H, Ishikawa E, Ishikura K, Ishizuka K, Ishimoto T, Ishimoto Y, Iseki K, Itabashi M, Ichioka S, Ichikawa K, Ichikawa D, Inoue S, Imai T, Imamura H, Iwata Y, Iwazu Y, Usui T, Uchida K, Egawa M, Ohara S, Omori N, Okada R, Okuda Y. Essential points from Evidence-based Clinical Practice Guidelines for Chronic Kidney Disease 2018. *Clinical and Experimental Nephrology*. 201901; 23(1):1-15.

Sato T, Kikkawa Y, Yamamoto S, Tanaka Y, Kazama JJ, Tominaga Y, Ichimori T, Okada M, Hiramitsu T, Fukagawa M. Disrupted tubular parathyroid hormone/parathyroid hormone receptor signaling and damaged tubular cell viability possibly trigger postsurgical kidney injury in patients with advanced hyperparathyroidism. *Clinical Kidney Journal*. 201910; 12(5):686-692.

Kazama S, Kazama JJ, Ando N. Eye diseases in women. *Fukushima Journal of Medical Science*. 201908; 65(2):30-36.

Hirai H, Asahi K, Yamaguchi S, Mori H, Satoh H, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Watanabe T, Shimabukuro M. New risk prediction model of coronary heart disease in participants with and without diabetes: Assessments of the Framingham risk and Suita scores in 3-year longitudinal database in a Japanese population. *Scientific Reports*. 201902; 9(1):2813.

Wakasugi M, Kazama JJ, Kikuchi K, Yasuda K, Wada A, Hamano T, Masakane I, Narita I. Hemodialysis Product and Hip Fracture in Hemodialysis Patients: A Nationwide Cohort Study in Japan. *Therapeutic Apheresis and Dialysis*. 201912; 23(6):507-517.

風間順一郎. 【透析関連の整形外科疾患—病態と治療—】慢性腎臓病患者・透析患者の骨ミネラル代謝異常と治療. 関節外科. 201905; 38(5):450-454.

風間順一郎, 小田 朗, 青柳佳子, 中島 彩, 田中健一, 社本 博, 及川友好. 遠隔医療による維持透析診療支援. 日本遠隔医療学会誌. 201906; 15(1):39-42.

風間順一郎. 地域安全保障型透析施設. 日本透析医会雑誌. 201904; 34(1):117-121.

〔総説等〕

風間順一郎. 【病態と薬剤からわかる 水・電解質・酸塩基平衡】(第7章) 電解質異常を生じやすい薬剤 骨粗

鬆症治療薬. 月刊薬事. 201905; 61(7):1308-1313.

著 書・訳 書

風間順一郎. Reno-Skeetal syndrom (腎骨症候群). In: 中西 健 監修. 知りたいこと. 知るべきこと. 透析患者の管理. 東京: 東京医学社; 201907. p.87-93.

研究発表等

〔研究発表〕

Kimura H, Okuda Y, Rhee C, Kovesdy CP, Streja E, Kalantar-Zadeh K. A Rapid Decline of Residual Kidney Function and Anemia in Incident Hemodialysis Patients. American Society of Nephrology Kidney Week 2019; 20191109; Washington, DC, USA.

Kimura H, Okuda Y, Rhee C, Kovesdy CP, Streja E, Kalantar-Zadeh K. A Faster Decline of Residual Kidney Function and Erythropoietin Hyporesponsiveness in Incident Hemodialysis Patients. American Society of Nephrology Kidney Week 2019; 20191109; Washington, DC, USA.

風間順一郎. 人口減少社会における腎不全医療のあり方. 新潟腹膜透析検討会 かぐやシェアソース発売記念 ～透析医療の展望を考える～; 20190131; 新潟.

齋藤浩孝. CKD 患者のリスク管理における高尿酸血症の意義. 福山会 (腎・透析医療連携研究会); 20190207; 福島.

田中健一. CKD 診療の現状と今後の課題～CKD 重症化予防のために～. 第 16 回倉敷腎臓病談話会; 20190212; 倉敷.

風間順一郎. 作用機序から考える経ロリン吸着薬. 第 5 回 Tama Nephrologist Dialysis Meeting; 20190214; 立川.

田中健一. CKD 患者のイベントリスク低減のための高血圧管理. 第 88 回県北腎泌尿器疾患研究会; 20190214; 福島.

風間順一郎. 透析患者の骨はなぜ折れやすいのか. 第 6 回臨床骨ネットワーク研究会; 20190217; 東京.

風間順一郎. CKD 患者におけるフレイル. 富山透析エキスパートミーティング; 20190221; 富山.

風間順一郎. 脆弱性骨折予防のためにかかりつけ医が出来ること. 久慈医師会薬剤師会学術講演会; 20190227; 久慈.

田中健一, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 青柳佳子, 菅野真理, 風間順一郎. 染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKR)に対するトルバプタンの腎容積増大抑制効果の検討. 第 62 回日本腎臓学会学術総

会; 20190621; 名古屋.

齋藤浩孝, 田中健一, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 菅野真理, 島袋充生, 旭 浩一, 渡辺 毅, 風間順一郎. キサンチンオキシダーゼ阻害薬は透析導入前 CKD の心疾患リスク減少と関連する. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 20190621; 名古屋.

岩崎剛史, 田中健一, 齋藤浩孝, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 小針英理, 青柳佳子, 菅野真理, 島袋充生, 旭 浩一, 渡辺 毅, 風間順一郎. 糖尿病性腎症患者における腎予後と尿蛋白の関連について. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 20190622; 名古屋.

小田 朗, 田中健一, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 中島 彩, 青柳佳子, 菅野真理, 島袋充生, 旭 浩一, 渡辺 毅, 風間順一郎. proton pump inhibitors(PPD)内服と CKD 患者の腎予後との関連. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 20190622; 名古屋.

小田 朗, 田中健一, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 中島 彩, 青柳佳子, 菅野真理, 島袋充生, 旭 浩一, 渡辺 毅, 風間順一郎. ポリファーマシーと CKD 患者の予後との関連. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 20190622; 名古屋.

小田 朗, 田中健一, 中島 彩, 青柳佳子, 風間順一郎. 維持透析診療における遠隔医療での支援体制構築の試み. 第 64 回日本透析医学会学術集会・総会; 20190628; 横浜. 日本透析医学会雑誌. 52(Suppl.1):449.

江尻博紀, 藤原もも子, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 小田 朗, 中島 彩, 菅野真理, 風間順一郎. サング状結石に腸腰筋膿瘍、化膿性脊椎炎を合併した慢性腎不全患者の一例. 第 49 回日本腎臓学会学術大会; 20191004; 東京.

藤原もも子, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 菅野真理, 田中健一, 風間順一郎. 血管炎との鑑別に苦慮した感染関連腎炎の一例. 第 49 回日本腎臓学会学術大会; 20191004; 東京.

齋藤浩孝, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 青柳佳子, 菅野真理, 田中健一, 風間順一郎. 抗 GBM 抗体と MPO-ANCA が共陽性であった急速進行性糸球体腎炎の一例. 第 49 回日本腎臓学会学術大会; 20191004; 東京.

〔特別講演〕

風間順一郎. Future peritoneal dialysis therapy pioneered by telemedical system. APCM-ISPDP2019; 20190905; Nagoya.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. CKD-MDB 学術講演会 in NARA; 20190117; 橿原.

風間順一郎. 医師として、また研究者として働く喜びと覚悟. 新潟第一高等学校 特別進学講演会; 20190125; 新潟.

田中健一. CKD 診療の現状と今後の課題 ～CKD 重症化予防のために～. 倉敷腎臓病談話会; 20190212; 倉敷.

風間順一郎. 遠隔医療が拓く近未来透析医療. 日本医工学治療学会第 35 回学術集会; 20190224; 東京.

田中健一. CKD 診療における心腎イベントリスク. いわき心腎連関フォーラム; 20190228; いわき.

田中健一. 透析診療における遠隔医療システムの導入～震災後のふくしまにおける試み～. 第 12 回日本医療マネジメント学会大阪支部; 20190302; 大阪.

田中健一. 腎臓内科医からみた糖尿病治療—stop CKD—. 第 5 回糖尿病合併症フォーラム; 20190312; 郡山.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. CKD-MBD 講演会; 20190314; 札幌.

田中健一. 「腎臓と血管の老化との意外な関係」～血管を若く保つための心がけとは～. 腎臓を守るための講演会; 20190314; 福島.

風間順一郎. どうして骨折予防するの? 済生会福島総合病院 地域医療連携勉強会; 20190319; 福島.

風間順一郎. 新しい時代を迎える二次性副甲状腺機能亢進症治療. パーサビブ発売記念 2 周年記念講演会; 20190328; 高崎.

風間順一郎. CKD-MBD じゃねえよ reno skeletal syndrome だよ♥. 第 5 回東尾張透析塾; 20190425; 名古屋.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. オルケディア錠発売 1 周年記念講演会 in 吉備; 20190509; 総社.

風間順一郎. 新しい時代を迎える二次性副甲状腺機能亢進症治療. CKD-MBD 学術講演会; 20190511; 岡山.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. 第 19 回新潟腎と透析セミナー; 20190516; 新潟.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. 第 29 回日本臨床工学会および 2019 年度公益社団法人日本臨床工学会技士会総会 ランチョンセミナー; 20190518; 盛岡.

田中健一. 福島地区での CKD 連携の取り組み. 福島そらまめサミット 2019; 20190525; 福島.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. オルケディア錠発売 1 周年記念講演会; 20190530; 越谷.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. オルケディア錠発売 1 周年記念講演会; 20190605; 松戸.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. オルケディア錠発売 1 周年記念講演会 in 千葉; 20190609; 千葉.

田中健一. 地域に根ざした糖尿病重症化予防対策～福島における現状と課題～. 田村市医師会 学術講演会; 20190611; 田村.

風間順一郎. ふくしまを慢性腎臓病から守る. 公益財団法人星総合病院 第 95 回集談会; 20190613; 郡山.

田中健一. 生活習慣病予防連携システムにおける尿酸値の取り扱いについて. 生活習慣病予防連携システムにおける尿酸値の取り扱い研修会; 20190626; 福島.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. 第 64 回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー; 20190628; 横浜.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. 中西讃 CKD-MBD カンファレンス; 20190704; 香川県綾歌郡.

風間順一郎. 作用機序から考える経ロリン吸着薬. CKD-MBD 学術講演会; 20190711; 越谷.

風間順一郎. CKD-MBD じゃねえよ reno skeletal syndrome だぜ♥. オルケディア発売 1 周年記念講演会; 20190716; 相模原.

風間順一郎. 作用機序から考える経ロリン吸着薬. Dialysis Forum in SAITAMA; 20190718; さいたま.

田中健一. 糖尿病性腎症予防化プログラムを踏まえた糖尿病治療. 地域で進める糖尿病性腎症重症化予防プログラム in 郡山; 20190719; 郡山.

藤原もも子. 血管炎との鑑別に苦慮した感染関連腎炎の一例. 第 30 回東北腎フォーラム; 20190720; 仙台.

風間順一郎. 作用機序から考える経ロリン吸着薬. ピートル顆粒発売記念講演会; 20190723; 盛岡.

風間順一郎. 透析アミロイドーシス関連骨症. 透析アミロイドーシスの治療戦略; 20190725; つくば.

風間順一郎. 新しい時代を迎える二次性副甲状腺機能亢進症治療. CKD-MBD を考える会 in HIROSAKI; 20190730; 弘前.

田中健一. 目指そう！健康長寿～血圧管理と生活習慣～. 鏡石町講演会; 20190730; 鏡石町.

田中健一. 慢性腎臓病診療における血圧管理－MRB をどう活用するか－. ミネプロ発売記念講演会; 20190801; 福島.

風間順一郎. 作用機序から考える経ロリン吸着薬. 上越透析診療 Up to date; 20190820; 上越.

田中健一. 慢性腎臓病重症化予防を見据えた保健指導～福島における問題と課題～. いわき市保健師のための CKD 講演会; 20190829; いわき.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. オルケディア錠発売 1 周年記念講演会; 20190831; 東京.

風間順一郎. 遠隔システムが拓く、腹膜透析治療の未来. 第 9 回国際腹膜透析学会アジア・太平洋大会; 20190905; 名古屋.

田中健一. 腎臓内科医から見た糖尿病治療 糖尿病性腎臓病の予後とその要因－福島コホート研究－. 第 8 回花北

糖尿病を考える会; 20190906; 花巻.

風間順一郎. コンセプトから考える CKD-MBD. 第 40 回 ROD-21 研究会; 20190907; 新潟.

田中健一. 腎臓内科医から見た糖尿病治療 糖尿病性腎臓病の予後とその要因ー福島コホート研究ー. 盛岡市医師会内科医会; 20190910; 盛岡.

風間順一郎. 勤労者のための糖尿病性腎症重症化予防ーぶっちゃけ、糖尿病と慢性腎臓病はどうよ？ー. 相馬郡医師会学術講演会; 20190910; 相馬.

風間順一郎. ぶっちゃけ、糖尿病と慢性腎臓病はどうよ？ 糖尿病と腎臓病を考える福島セミナー; 20190911; 福島.

風間順一郎. 作用機序から考える経ロリン吸着薬. 東濃透析研究会; 20190912; 多治見.

風間順一郎. 透析患者の骨粗鬆症はどーよ？ 郡山透析セミナー; 20190917; 郡山.

風間順一郎. ぶっちゃけ、糖尿病と慢性腎臓病はどうよ？ 腎疾患フォーラム in 秋田ベイエリア; 20190925; 秋田.

風間順一郎. 新しい時代を迎える二次性副甲状腺機能亢進症治療. 第 2 回太白区透析診療を考える会; 20190926; 仙台.

田中健一. 糖尿病性腎臓病の予後とその要因ー福島 CKD コホートー. 第 6 回白河糖尿病チーム医療セミナー; 20190927; 白河.

風間順一郎. 遠隔医療の維持透析診療への導入. 第 61 回全日本病院学会 in 愛知; 20190928; 名古屋.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. 第 15 回秋田県透析セミナー; 20190929; 秋田.

風間順一郎. 遠隔医療の維持血液透析診療への導入. 第 61 回全日本病院学会; 20190929; 名古屋.

風間順一郎. 透析アミロイドーシス関連症とリクセルの新展開. 福島市アミロイドーシス治療戦略; 20191001; 福島.

風間順一郎. レグパさんが語る私が歩んできた道. 透析合併症対策講演会; 20191010; 磐田.

田中健一. 腎機能低下例に対する高血圧治療ー臓器保護を目的とした降圧管理ー. 第 376 回県北如山会; 20191015; 福島.

風間順一郎. IoT を用いた維持血液透析の遠隔診療サポート. 透析診療 WEB カンファレンス; 20191023; 福島.

風間順一郎. 人口減少社会の腎不全医療. 第 10 回福島県腎不全看護研究会; 20191027; 郡山.

風間順一郎. 新しい時代を迎える二次性副甲状腺機能亢進症治療. パーサビブ発売 1 周年記念講演会 in 福島; 20191029; 福島.

風間順一郎. ガチで考える CKD-MBD. 岩手カルシミティクスを再考する会; 20191031; 盛岡.

田中健一. 福島における腎不全対策の現状と課題. 相双地区透析施設連絡協議会; 20191031; 南相馬.

田中健一. CKD 診療における貧血管理の現状と課題～福島 CKD コホート研究～. 福島糖尿病フォーラム; 20191113; 福島.

小田 朗. 慢性腎臓病診療の現状と問題点. Scientific Exchange Meeting in 福島; 20191114; 福島.

中島 彩. 慢性地蔵病患者における血圧管理の実態―福島 CKD コホート研究―. 第 90 回県北腎泌尿器疾患研究会; 20191114; 福島.

田中健一. 透析導入前 CKD における血圧管理状況と腎予後の関連―福島 CKD コホート―. 第 28 回腎とエリスロポエチン研究会; 20191116; 東京.

田中健一. 慢性腎臓病重症化予防の現状と課題～福島における取組～. 石川郡内における糖尿病腎症重症化予防勉強会; 20191121; 石川町.

風間順一郎. 新しい時代を迎える二次性副甲状腺機能亢進症治療. 透析治療セミナー in 札幌; 20191121; 札幌.

風間順一郎. クリーデンス博士が展望するカナグルの未来. いわき南部地区の糖尿病を考える会; 20191122; いわき.

風間順一郎. 骨粗鬆症治療の考え方～何を求め何を避けるべきか～. 二本松薬剤師会特別講演会; 20191126; 二本松.

中島 彩. 慢性地蔵病患者における血圧管理の実態―福島 CKD コホート研究―. 東北 N 型 Ca チャネル研究会; 20191130; 郡山.

風間順一郎. ガチで考える CKD-MBD. CKD-MBD を考える会; 20191215; 秋田.

風間順一郎. 目指そう！健康長寿～脳を守るための血圧管理と生活習慣～. 大玉村講演会; 20191217; 大玉村.

渡辺秀平. 長期に良好な経過を観察し得た Catsleman 病による AA アミロイドーシスの検討. 第 5 回福島県 IL-6 講演会; 20191220; 福島.

〔その他〕

風間順一郎. 透析と遠隔医療. 第 64 回日本透析医学会学術集会・総会; 20190628; 横浜.

岩崎剛史. CKD 患者のリスク管理に高尿酸血症治療は必要か―福島 CKD コホート研究―. KIDNEY Summer

糖尿病内分泌代謝内科学講座

論 文

〔原 著〕

Chihara A, Tanaka A, Morimoto T, Sakuma M, Shimabukuro Michio, Nomiya T, Arasaki O, Ueda S, Node K. Differences in lipid metabolism between anagliptin and sitagliptin in patients with type 2 diabetes on statin therapy: a secondary analysis of the REASON trial. *Cardiovascular Diabetology*. 2019; 18(1):158.

Yamaguchi S, Shimabukuro Michio, Abe M, Arakaki T, Arasaki O, Ueda S. Comparison of the prognostic values of three calculation methods for echocardiographic relative wall thickness in acute decompensated heart failure. *Cardiovascular Ultrasound*. 2019; 17(1):30.

Yamaguchi S, Abe M, Arakaki T, Arasaki O, Shimabukuro Michio. Incremental Prognostic Value of Platelet Count in Patients with Acute Heart Failure - A Retrospective Observational Study. *Circulation Journal*. 2019; 83(3):576-583.

Tanaka A, Shimabukuro Michio, Machii Noritaka, Teragawa H, Okada Y, Shima KR, Takamura T, Taguchi I, Hisauchi I, Toyoda S, Matsuzawa Y, Tomiyama H, Yamaoka-Tojo M, Yoshida H, Sato Y, Ikehara Y, Ueda S, Higashi Y, Node K; EMBLEM Investigators. Effect of Empagliflozin on Endothelial Function in Patients with Type 2 Diabetes and Cardiovascular Disease: Results from the Multicenter, Randomized, Placebo-Controlled, Double-Blind EMBLEM Trial. *Diabetes Care*. 2019; 42(10):e159-e161.

Hokama N, Shirakura T, Sunagawa S, Morishima S, Nakachi S, Nishi Y, Murayama Y, Matsui C, Hase N, Tamura M, Okamoto S, Shimabukuro Michio, Nakamura K, Masuzaki H. A pilot assessment of xanthine oxidase activity in plasma from patients with hematological malignancies using a highly sensitive assay. *Hematological Oncology*. 2019; 37(4):527-530.

Yamaguchi S, Abe M, Arasaki O, Shimabukuro Michio, Ueda S. The prognostic impact of a concentric left ventricular structure evaluated by transthoracic echocardiography in patients with acute decompensated heart failure: A retrospective study. *International Journal of Cardiology*. 2019; 287:73-80.

Yagi S, Kondo D, Ise T, Fukuda D, Yamaguchi K, Wakatsuki T, Kawabata Y, Ito H, Saijo Y, Seno H, Sutou K, Ueno R, Todoroki T, Kusunose K, Matsuura T, Tobiume T, Yamada H, Soeki T, Shimabukuro Michio, Aihara K, Akaike M, Sata M. Association of Decreased Docosahexaenoic Acid Level After Statin Therapy and Low Eicosapentaenoic Acid Level with In-Stent Restenosis in Patients with Acute Coronary Syndrome. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 2019; 26(3):272-281.

Hirai Hiroyuki, Higa M, Morimoto T, Sakuma M, Arasaki O, Nomiyama T, Node K, Ueda S, Shimabukuro Michio. Dissimilar Effects of Anagliptin and Sitagliptin on Lipoprotein Subclass in Standard or Strong Statin-Treated Patients with Type-2 Diabetes Mellitus: A Subanalysis of the REASON (Randomized Evaluation of Anagliptin versus Sitagliptin on Low-Density Lipoprotein Cholesterol in Diabetes) Trial. *Journal of Clinical Medicine*. 2019; 9(1):93.

Masuzaki H, Kozuka C, Okamoto S, Yonamine M, Tanaka H, Shimabukuro Michio. Brown rice-specific γ -oryzanol as a promising prophylactic avenue to protect against diabetes mellitus and obesity in humans. *Journal of Diabetes Investigation*. 2019; 10(1):18-25.

Sunagawa S, Shirakura T, Hokama N, Kozuka C, Yonamine M, Namba T, Morishima S, Nakachi S, Nishi Y, Ikema T, Okamoto S, Matsui C, Hase N, Tamura M, Shimabukuro Michio, Masuzaki H. Activity of xanthine oxidase in plasma correlates with indices of insulin resistance and liver dysfunction in patients with type 2 diabetes mellitus and metabolic syndrome: A pilot exploratory study. *Journal of Diabetes Investigation*. 2019; 10(1):94-103.

Sugasawa N, Katagi A, Kurobe H, Nakayama T, Nishio C, Takumi H, Higashiguchi F, Aihara KI, Shimabukuro Michio, Sata M, Kitagawa T. Inhibition of Atherosclerotic Plaque Development by Oral Administration of α -Glucosyl Hesperidin and Water-Dispersible Hesperetin in Apolipoprotein E Knockout Mice. *Journal of the American College of Nutrition*. 2019; 38(1):15-22.

Fukuda D, Nishimoto S, Aini K, Tanaka A, Nishiguchi T, Kim-Kaneyama JR, Lei XF, Masuda K, Naruto T, Tanaka K, Higashikuni Y, Hirata Y, Yagi S, Kusunose K, Yamada H, Soeki T, Imoto I, Akasaka T, Shimabukuro Michio, Sata M. Toll-Like Receptor 9 Plays a Pivotal Role in Angiotensin II-Induced Atherosclerosis. *Journal of the American Heart Association*. 2019; 8(7):e010860.

Pham PT, Fukuda D, Yagi S, Kusunose K, Yamada H, Soeki T, Shimabukuro Michio, Sata M. Rivaroxaban, a specific FXa inhibitor, improved endothelium-dependent relaxation of aortic segments in diabetic mice. *Scientific Reports*. 2019; 9(1):11206.

Hirai Hiroyuki, Asahi K, Yamaguchi S, Mori H, Satoh H, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Watanabe T, Shimabukuro Michio. New risk prediction model of coronary heart disease in participants with and without diabetes: Assessments of the Framingham risk and Suita scores in 3-year longitudinal database in a Japanese population. *Scientific Reports*. 2019; 9(1):2813.

Kudo Akihiro, Asahi K, Satoh H, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Watanabe T, Shimabukuro Michio. Fast eating is a strong risk factor for new-onset diabetes among the Japanese general population. *Scientific Reports*. 2019; 9(1):8210.

Morimoto T, Sakuma I, Sakuma M, Tokushige A, Natsuaki M, Asahi T, Shimabukuro Michio, Nomiyama T, Arasaki O, Node K, Ueda S. Randomized Evaluation of Anagliptin vs Sitagliptin on low-density lipoprotein cholesterol in diabetes (REASON) Trial: A 52-week, open-label, randomized clinical trial. *Scientific Reports*. 2019; 9(1):8537.

〔総説等〕

島袋充生, 益崎裕章. 【冠動脈疾患のリスク管理のフロントライン】冠動脈疾患リスクファクターをどう管理する? 肥満の是正はどうする? 循環器ジャーナル. 201910; 67(4):619-623.

島袋充生. 【心不全と糖尿病: 基礎と臨床—膨らむ知見と大きな期待—】糖・脂質代謝異常からみた心不全. 循環器内科. 201903; 85(3):388-394.

益崎裕章, 岡本土毅, 小塚智沙代, 山崎 聡, 尾形絵美, 島袋充生. 【脳機能活性化や健康長寿の鍵となる機能性食品素材・農産物 (前編)】玄米機能成分を活用する脳機能改善 人生 100 年時代を生き抜く健康脳づくりのアプローチ. 生物工学会誌. 201910; 97(10):606-609.

益崎裕章, 小塚智沙代, Millman Jasmine F, 與那嶺正人, 尾形絵美, 山崎 聡, 島袋充生, 岡本土毅. 健康・長寿を目指す体質と生活を考える 健康長寿社会に求められる食と行動の科学 沖縄の取り組みから. 日本体質医学会雑誌. 201902; 81(1):48-54.

島袋充生. 【循環器症候群(第3版)—その他の循環器疾患を含めて—】心膜疾患 心臓周囲脂肪・血管周囲脂肪. 日本臨床 別冊. 201909; 循環器症候群 I:583-587.

山崎 聡, 尾形絵美, 島袋充生, 益崎裕章. 【肥満症: 最新の治療】肥満と脳科学. 臨床と研究. 201906; 96(6):635-640.

著 書・訳 書

島袋充生. 4 SPPARM α の幅広い使い方 3) 肥満・メタボリックシンドローム. In: 山下静也 編. 選択的 PPAR α モジュレーター SPPARM α への期待 新しい脂質改善薬の位置付けと役割. 大阪: フジメディカル出版; 201906. p.138-147.

研究発表等

〔研究発表〕

Shimabukuro Michio. Obesity, obesity disease & ectopic fat deposition New critical paradigm in life-style related medicine. 2nd Surabaya International Health Conference (SIHC 2019); 20190713-14; Surabaya, Indonesia.

Maimaituxun G, Fukuda D, Yagi S, Takao S, Hirata Y, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M, Shimabukuro Michio. Adipose tissue surrounding the kidney and its impact on coronary artery disease. ESC Congress 2019 together with the World Congress of Cardiology; 20190831-0904; Paris, France.

Maimaituxun G, Kusunose K, Fukuda D, Yagi S, Torii Y, Hirata Y, Nishio S, Yamada N, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M, Shimabukuro Michio. Impact of epicardial adipose tissue on global longitudinal strain: a

study in patients with normal left ventricular ejection fraction. ESC Congress 2019 together with the World Congress of Cardiology; 20190831-0904; Paris, France.

Shimabukuro Michio. Ectopic fat depots and cardiometabolic disease: how food factors are linked? 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019); 20191201-05; Kobe.

工藤明宏. 当科外来における食行動質問表の検討と薬物療法の現状. カーボカウントを考える会 新しい糖尿病治療薬の登場を踏まえて; 20190128; 福島.

植田真一郎, 佐久間一郎, 作間未織, 徳重明央, 夏秋政浩, 旭 朝弘, 島袋充生, 野見山崇, 新崎 修, 野出孝一, 森本 剛. 脂質異常および心血管リスクを有する 2 型糖尿病患者の LDL cholesterol に対する anagliptin と sitagliptin の効果 Reason 試験からの結果. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜. 抄録集. PJ018-1.

Maimaituxun G, Fukuda D, Yagi S, Hirata Y, Iwase T, Matsuura T, Ise T, Kusunose K, Tobiume T, Yamaguchi K, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M, Shimabukuro Michio. Epicardial Adipose Tissue Thickness is Gender Specific and Linked to Coronary Atherosclerosis in Men. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Pham PT, Fukuda D, Yagi S, Kusunose K, Yamada H, Soeki T, Shimabukuro Michio, Sata M. Rivaroxaban, A Direct Inhibitor of FXa, Attenuated Diabetes-induced Endothelial Dysfunction by Inhibiting FXa-protease Activated Receptor 2 Signaling. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Yamaguchi S, Abe M, Arakaki T, Arasaki O, Shimabukuro Michio, Ueda S. The Prognostic Impact of a Concentric Left Ventricular Structure Evaluated by Transthoracic Echocardiography in Patients with Acute Decompensated Heart Failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

山崎 聡, 尾形絵美, 與那嶺正人, 工藤明宏, 岡本土毅, 益崎裕章, 島袋充生. 若年期ニコチン暴露がもたらす成獣マウスの食行動異常・肥満症の新規脳内分子メカニズムの解明. 第 56 回日本臨床分子医学会学術総会; 20190426; 名古屋. プログラム・抄録集. 66.

工藤明宏, 鴻野央征, 待井典剛, 島袋充生. 周術期血糖管理における術後高血糖・低血糖の背景要因. 第 116 回日本内科学会総会・講演会; 20190428; 仙台. 日本内科学会雑誌. 108(Suppl.):184.

砂川澄人, 外間 登, 白倉 尚, 與那嶺正人, 仲地佐和子, 池間朋己, 森島聡子, 岡本土毅, 島袋充生, 益崎裕章. 血漿キサンチンオキシダーゼ活性の臨床的意義. 第 116 回日本内科学会総会・講演会; 20190427; 仙台. 日本内科学会雑誌. 108(Suppl.):271.

Maimaituxun G, Fukuda D, Yagi S, Hirata Y, Iwase T, Takao S, Matsuura T, Ise T, Kusunose K, Tobiume T, Yamaguchi K, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Harada M, Sata M, Shimabukuro Michio. Kidney fat and its impact on coronary artery disease. 第 4 回日本血管不全学会学術集会・総会; 20190429; 名古屋.

Maimaituxun G, Fukuda D, Yagi S, Hirata Y, Iwase T, Takao S, Matsuura T, Ise T, Kusunose K, Tobiume T, Yamaguchi K, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Harada M, Sata M, Shimabukuro Michio. Peri-renal fat

volume is negatively associated with the adiponectin expression in human. 第4回日本血管不全学会学術集会・総会; 20190429; 名古屋.

工藤明宏, 待井典剛, 小野利夫, 大城義人, 高橋 隆, 種田嘉信, 比嘉盛文, 八木秀介, 仲地 健, 小林 淳, 及川雅啓, 山田博胤, 竹石恭知, 佐田政隆, 島袋充生. 時効型インスリン療法中の2型糖尿病患者におけるダパグリフロジンの血糖日内変動に及ぼす効果. 第92回日本内分泌学会学術総会; 20190509; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):436.

比嘉盛文, 座覇明子, 島袋充生, 眞境名豊文, 澤紙亜希子, 盛島菜美, 當眞 武, 益崎裕章. 先天性副腎低形成症と重症成人成長ホルモン分泌不全症を併発し新規奇形が疑われた女性. 第92回日本内分泌学会学術総会; 20190509; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):441.

岩崎麻里子, 下地桐子, 武田光樹, 五十嵐彩華, 田辺隼人, 鴻野央征, 金成文平, 尾形絵美, 山崎 聡, 菅谷芳幸, 平井裕之, 待井典剛, 工藤明宏, 田中健一, 旭 浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 歩行速度が低下した糖尿病患者の臨床的特徴. 第92回日本内分泌学会学術総会; 20190510; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):453.

盛島菜美, 當眞 武, 座覇明子, 眞境名豊文, 澤紙亜希子, 島袋充生, 比嘉盛文. 低K血症性周期性四肢麻痺を呈したバセドウ病の1例. 第92回日本内分泌学会学術総会; 20190511; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):479.

平井裕之, 旭 浩一, 山口 怜, 森 博隆, 佐藤博亮, 井関邦敏, 守山敏樹, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 藤元昭一, 成田一衛, 今田恒夫, 近藤正英, 柴垣有吾, 笠原正登, 渡辺 毅, 島袋充生, 厚労科研「特定健診による個人リスク評価に基づく保健指導と連結した効果的なCKD地域医療連携システムの制度設計」. 特定健診における糖尿病参加者の冠動脈疾患発症モデル(フラミンガムスコア及び吹田スコア)についての検討. 第92回日本内分泌学会学術総会; 20190511; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):480.

待井典剛, 下地桐子, 五十嵐彩華, 田辺隼人, 金成文平, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 尾形絵美, 山崎 聡, 菅谷芳幸, 平井裕之, 風間順一郎, 島袋充生. 歩行速度は糖尿病患者における軽度認知障害(MCI: Mild Cognitive Impairment)の予測マーカーである. 第62回日本糖尿病学会年次学術集会; 20190523; 仙台. 糖尿病. 62(Suppl.1):S-148.

盛島菜美, 座覇明子, 當眞 武, 玉寄しおり, 小祿雅人, 大城拓巳, 眞境名豊文, 澤紙亜希子, 島袋充生, 比嘉盛文. 糖尿病性ケトアシドーシスに併発した著明な高中性脂肪血症による急性膵炎の治療に血漿交換が有用であった1A型糖尿病の1例. 第62回日本糖尿病学会年次学術集会; 20190523; 仙台. 糖尿病. 62(Suppl.1):S-177.

齋藤 悠, 大橋裕子, 佐藤柳子, 下地桐子, 五十嵐彩華, 田辺隼人, 金成文平, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 尾形絵美, 山崎 聡, 菅谷芳幸, 待井典剛, 平井裕之, 工藤明宏, 田中健一, 旭 浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 2型糖尿病患者の慢性腎臓病と肝線維化マーカーFIB4 index の関わり. 第62回日本糖尿病学会年次学術集会; 20190524; 仙台. 糖尿病. 62(Suppl.1):S-199.

田辺隼人, 大橋裕子, 佐藤柳子, 下地桐子, 齋藤 悠, 五十嵐彩華, 金成文平, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 尾形絵美, 山崎 聡, 菅谷芳幸, 待井典剛, 平井裕之, 工藤明宏, 田中健一, 旭 浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 真の糖尿病発症時期の明瞭さと臨床像の関連. 第62回日本糖尿病学会年次学術集会; 20190525; 仙台. 糖尿病. 62(Suppl.1):S-316.

下地桐子, 齋藤 悠, 五十嵐彩華, 田辺隼人, 鴻野央征, 金成文平, 岩崎麻里子, 待井典剛, 工藤明宏, 比嘉盛文, 長谷川正, 佐田政隆, 益崎裕章, 島袋充生. 日本国内における耐糖能の地域性 沖縄県, 長野県, 徳島県, 福島県での比較. 第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20190525; 仙台. 糖尿病. 62(Suppl.1):S-317.

金成文平, 工藤明宏, 下地桐子, 齋藤 悠, 五十嵐彩華, 田辺隼人, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 尾形絵美, 山崎 聡, 菅谷芳幸, 待井典剛, 平井裕之, 田中健一, 旭 浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 糖尿病薬剤数と臨床データの実態. 第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20190525; 仙台. 糖尿病. 62(Suppl.1):S-324.

齋藤浩孝, 田中健一, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 青柳佳子, 菅野真理, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺 毅, 風間順一郎. キサンチンオキシダーゼ阻害薬は透析導入前 CKD の心血管リスク減少と関連する. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 20190621-23; 名古屋. 日本腎臓学会誌. 61(3):288.

岩崎剛史, 田中健一, 齋藤浩孝, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 青柳佳子, 菅野真理, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺 毅, 風間順一郎. 糖尿病性腎臓病患者における腎予後と尿蛋白の関連について. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 20190621-23; 名古屋. 日本腎臓学会誌. 61(3):361.

鈴木 聡, 松本佳子, 大河内千代, 中野恵一, 岩館 学, 中村 泉, 水沼 廣, 工藤明宏, 島袋充生, 小林靖幸, 橋本優子, 山崎有人, 笹野公伸, 鈴木眞一. 副腎原発 inflammatory myofibroblastic tumor の 1 例. 第 31 回日本内分秘外科学会総会; 20190614; 東京. 日本内分秘外科学会雑誌. 36(Suppl.1):S157.

Maimaituxun Gulinu, 福田大受, 八木秀介, 平田有紀奈, 岩瀬 俊, 松浦朋美, 伊勢孝之, 楠瀬賢也, 山口浩司, 山田博胤, 添木 武, 若槻哲三, 佐田政隆, 島袋充生. 冠動脈疾患に対する心外膜脂肪組織肥厚度の性別特異的影響. 第 19 回日本抗加齢医学会総会; 20190614-16; 横浜. プログラム・抄録集. 254.

千原敦子, 田中敦史, 森本 剛, 作間未織, 島袋充生, 新崎 修, 野見山崇, 植田真一郎, 野出孝一. アナグリプチンとシタグリプチンの脂質代謝に及ぼす影響の比較検討 多施設共同前向き無作為化比較試験(REASON 試験)より. 第 51 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20190711-12; 京都. プログラム・抄録集. 2-P-2-3.

島袋充生. 心血管病を防ぐ効果的な保健指導を考える 何を予防しようとしているのか. 第 51 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20190711; 京都. プログラム・抄録集. MS2-1.

田辺隼人. 外来データベース解析から見た糖尿病性神経障害の臨床像. 第 4 回県北糖尿病合併症を学ぶ会; 20190731; 福島.

比嘉盛文, 澤紙亜希子, 眞境名豊文, 盛島菜美, 當眞 武, 益崎裕章, 島袋充生, 座覇明子. 糖尿病の病型別に比較した血糖変動の特徴. 第 19 回日本内分秘学会九州支部学術集会; 20190907; 宮崎. プログラム・抄録集. 43.

陶山友里恵, 田辺隼人, 菅谷芳幸, 滝口善規, 山口瑞希, 下地桐子, 五十嵐彩華, 照屋太輝, 金成文平, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 待井典剛, 緑川早苗, 鈴木 悟, 横谷 進, 喜古雄一郎, 橋本優子, 島袋充生. 急激な経過を示した巨大副腎皮質癌の 1 例. 第 39 回日本内分秘学会東北地方会; 20191019; 福島.

照屋太輝, 金成文平, 陶山友里恵, 山口瑞希, 滝口善規, 下地桐子, 五十嵐彩華, 田辺隼人, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 待井典剛, 島袋充生. 妊娠中にインスリンノーマの診断がついた MEN1 型の症例. 第 39 回日本内分秘学会東北地方会; 20191019; 福島.

滝口善規, 田辺隼人, 陶山友里恵, 山口瑞希, 下地桐子, 五十嵐彩華, 金成文平, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 待井典剛, 島袋充生. 血糖コントロール増悪を契機に診断し得た巨大褐色細胞腫の1例. 日本糖尿病学会第57回東北地方会; 20191102; 仙台.

山口瑞希, 金成文平, 陶山友里恵, 滝口善規, 下地桐子, 五十嵐彩華, 田辺隼人, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 待井典剛, 島袋充生. カフェイン中毒に糖尿病ケトアシドーシスを合併した1例. 日本糖尿病学会第57回東北地方会; 20191102; 仙台.

齋藤 悠, 田辺隼人, 待井典剛, 佐藤柳子, 大橋裕子, Maimaituxun Gulinu, 下地桐子, 五十嵐彩華, 金成文平, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 平井裕之, 工藤明宏, 田中健一, 旭 浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 2型糖尿病患者における慢性腎臓病と肝線維化指標 FIB4 index の関連. 第40回日本肥満学会・第37回日本肥満症治療学会学術集会; 20191103; 東京. 肥満研究. 25(Suppl.):304.

山崎 聡, 尾形絵美, 岡本土毅, 島袋充生, 益崎裕章. 幼若期の生活習慣によって決定される成人期肥満のマウス病態モデルの確立と脳内分子機構の解明. 第40回日本肥満学会・第37回日本肥満症治療学会学術集会; 20191103; 東京. 肥満研究. 25(Suppl.):304.

〔特別講演〕

島袋充生. 糖尿病治療に役立つ腎機能のみかた・考え方. 明日からの実践に役立つ糖尿病セミナー in 福島; 20190207; 福島.

島袋充生. 糖尿病治療のエビデンスとプラクティス 4つのポイント. エビデンスに基づく糖尿病治療戦略; 20190212; 埼玉.

待井典剛. 異所性脂肪分布と糖尿病 外来データベースによる解析. 生涯教育講座 県北肝・代謝疾患研究会; 20190212; 福島.

工藤明宏. インスリン抵抗性と脂肪性肝疾患の関わりについて. 生活習慣病と消化器疾患フォーラム; 20190215; 福島.

島袋充生. 糖尿病治療のエビデンスとプラクティス 心臓血管病・癌・生命予後. 進化する糖尿病治療 in 山形 最新の経口血糖降下薬を臨床で使いこなすために; 20190306; 山形.

島袋充生. 糖尿病治療薬の使い方 心臓血管病・癌・生命予後を考える. 学術講演 第151回八戸糖尿病談話会; 20190314; 青森.

島袋充生. 糖尿病治療薬のエビデンスとプラクティス 心臓血管病・癌・生命予後. 第92回日本内分泌学会学術総会; 20190509; 仙台.

島袋充生. 明日からの診療に役立つ生活習慣病の診かた、考え方 心臓血管病・癌・認知症. 北部地区糖尿病連携バス特別講演会; 20190517; 沖縄.

島袋 充生. 【教育講演】糖尿病大血管症の概念, 病態, 治療戦略. 第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20190524; 仙台. 糖尿病. 62(Suppl.1):S-90.

島袋 充生. 糖尿病と心不全 日常診療での診かた、考え方. 二本松地域学術講演会; 20190530; 二本松.

島袋 充生. 脂質異常症の新たな治療標的 異所性脂肪と選択的 PPAR α モデュレーター. 脂質異常症フォーラム in 仙台; 20190531; 仙台.

島袋 充生. 糖尿病治療薬の使い方 心臓血管病・癌・生命予後を考える. 糖尿病カレントフォーラム in 弘前; 20190606; 青森.

島袋 充生. 糖尿病治療薬の使い方 心臓血管病・癌・生命予後を考える. 糖尿病カレントフォーラム in いわき; 20190606; いわき.

島袋 充生. 糖尿病と心血管合併症・生命予後 up-to-date. Endocrine & Diabetes Seminar in Yokohama; 20190610; 横浜.

島袋 充生. 福島県における糖尿病治療の課題とその対策. 地域で進める糖尿病性腎症重症化予防プログラム in 郡山; 20190719; 郡山.

島袋 充生. 糖尿病と心不全 日常診療での診かた、考え方. 第 5 回石巻糖尿病療養指導研修会; 20190720; 石巻.

島袋 充生. 福島県における糖尿病治療の課題とその対策. 地域医療を考える会 in いわき 2019; 20190723; いわき.

島袋 充生. 糖尿病と病診連携 生命予後を考えたいアプローチ. 糖尿病治療 Update セミナー; 20190724; 山形.

待井典剛. 福島県民の健康寿命における課題と福島地域の取り組み. Aizu Diabetes Meeting; 20190919; 福島.

島袋 充生. 糖尿病専門医が考える NASH/NAFLD 合併糖尿病へのアプローチ. 糖尿病と脂肪性肝疾患を考える会 2019; 20191004; 福島.

齋藤 悠. 2 型糖尿病における CKD-FIB4 index の意義. 第 6 回福島腎と代謝研究会; 20191026; 郡山.

島袋 充生. 糖尿病と心筋梗塞・脳梗塞 メカニズムから考える予防と治療. 第 60 回弘前糖尿病研究会; 20191112; 青森.

島袋 充生. 糖尿病と心臓血管病・生命予後 糖尿病診療への展開. JAD Diabetes Web Conference; 20191120; Web 配信.

田辺隼人. 福島県立医大糖尿病外来における FreeStyle リブレの活用例. 福島糖尿病を考える会; 20191126; 福島.

島袋 充生. 糖尿病治療薬の使い方 心臓血管病・癌・生命予後を考える. 糖尿病カレントフォーラム in 大館; 20191127; 大館.

待井典剛. 糖尿病治療の最新の話題 福島県民の健康寿命における課題と地域の取り組み. 白河糖尿病セミナー; 20191209; 白河.

〔招待講演〕

島袋充生. 【糖尿病診療に必要な知識】糖尿病患者における大血管障害のリスクマネジメント 病態・実践・予後. 第53回糖尿病学の進歩; 20190301; 青森.

脳神経内科学講座

論 文

〔原 著〕

Kamo H, Hatano T, Kanai K, Aoki N, Kamiyama D, Yokoyama K, Takanashi M, Yamashita Y, Shimo Y, Hattori N. Pembrolizumab-related systemic myositis involving ocular and hindneck muscles resembling myasthenic gravis: a case report. BMC Neurology. 201908; 19(1):184.

Lee J, Kanai K, Suzuki M, Kim W, Yoo H, Fu Y, Kim D, Jung B, Choi M, Oh K, Li Y, Nakatani M, Nakazato T, Sekimoto S, Funayama M, Yoshino H, Kubo S, Nishioka K, Sakai R, Ueyama M, Mochizuki H, Lee H, Sardi S, Halliday G, Nagai Y, Lee P, Hattori N, Lee S. Arylsulfatase A, a genetic modifier of Parkinson's disease, is an α -synuclein chaperone. Brain. 201909; 142(9):2845-2859.

Satoh H, Ohira T, Nagai M, Hosoya M, Sakai A, Yasumura S, Ohtsuru A, Kawasaki Y, Suzuki H, Takahashi A, Sugiura Y, Shishido H, Hayashi Y, Takahashi H, Kobashi G, Ozasa K, Hashimoto S, Ohto H, Abe M, Kamiya K. Evacuation is a risk factor for diabetes development among evacuees of the Great East Japan earthquake: A 4-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Diabetes and Metabolism. 201906; 45(3):312-315.

Hashizume A, Katsuno M, Suzuki K, Banno H, Takeuchi Y, Kawashima M, Suga N, Mano T, Araki A, Hijikata Y, Hirakawa A, Sobue G, Sasaki H, Aoki M, Nakano I, Ito S, Mizusawa H, Yamamoto T, Hasegawa K, Miyajima H, Sobue G, Kanda N, Nakajima K, Tsujino A, Uchino M, Morita M, Kanai K, Yamamoto T, Mizusawa H, Yamamoto T, Sobue G. Efficacy and safety of leuprorelin acetate for subjects with spinal and bulbar muscular atrophy: pooled analyses of two randomized-controlled trials. Journal of Neurology. 201905; 266(5):1211-1221.

Merkies ISJ, van Schaik IN, Léger JM, Bril V, van Geloven N, Hartung HP, Lewis RA, Sobue G, Lawo JP, Durn BL, Cornblath DR, De Bleecker JL, Sommer C, Robberecht W, Saarela M, Kamienowski J, Stelmasiak Z, Tackenberg B, Mielke O; PRIMA Trial Investigators and the PATH Study Group (Kanai K et al.). Efficacy and safety of IVIG in CIDP: Combined data of the PRIMA and PATH studies. Journal of the

Peripheral Nervous System. 201903; 24(1):48-55.

Mielke O, Bril V, Cornblath DR, Lawo JP, van Geloven N, Hartung HP, Lewis RA, Merkies ISJ, Sobue G, Durn B, Shebl A, van Schaik IN; PATH study group (Kanai K et al.). Restabilization treatment after intravenous immunoglobulin withdrawal in chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy: Results from the pre-randomization phase of the Polyneuropathy and Treatment with Hizentra study. Journal of the Peripheral Nervous System. 201903; 24(1):72-79.

杉浦嘉泰. 各種疾患 機能性疾患 てんかん診療ガイドライン 2018 の改訂点. Annual Review 神経. 201903; 2019:299-303.

星 明彦. 【Glymphatic system—脳のゴミ処理とその異常】 Glymphatic system におけるアクアポリンの役割 アルツハイマー病、パーキンソン病、脳血管障害. Clinical Neuroscience. 201901; 37(1):52-55.

松原知康, 井口正寛. 【外来マネジメント】認知症 ホスピタリストの対応範囲を意識しながら Pros×Cons で迫る! Hospitalist. 201903; 7(1):99-106.

時村 瞭, 井口正寛. 【一人でも慌てない! —「こんなときどうする?」の処方箋 85】どうする? 神経 Parkinson 病かな? Medicina. 201904; 56(4):272-276.

時村 瞭, 井口正寛. 【プライマリ・ケアのための—ポリファーマシー「超」整理法】プライマリ・ケアで困るポリファーマシー症例 各診療科からのオススメ整理法を教えます 神経内科 Parkinson 病症例. Medicina. 201912; 56(13):2126-2129.

杉浦嘉泰. 続編 てんかんを分かり易く理解するための神経科学 イオンチャネル. てんかん研究. 201906; 37(1):73-77.

小林俊輔. 【前頭前野研究の拡がり】前頭前野研究の過去と未来(Past and Future of the Prefrontal Research). 認知神経科学. 201904; 21(1):40-46.

時村 瞭, 井口正寛, 伊藤英一, 村上文伸, 宇川義一. 化膿性脳室炎を合併した細菌性髄膜炎における抗菌薬治療 自験例と症例報告の検討. 臨床神経学. 201903; 59(3):133-138.

松田 希, 小林俊輔, 宇川義一. 絵画制作に没頭したパーキンソン病の1例. 臨床神経心理. 201912; 30:41-45.

過年業績

Çan M, Laakso I, Nieminen J, Murakami T, Ugawa Y. Coil model comparison for cerebellar transcranial magnetic stimulation. Biomedical Physics and Engineering Express. 201811; 5:15020.

下郡 佳, 井口正寛. 【膠原病・血管炎】膠原病・血管炎による中枢神経障害 よりよい神経予後のために. Intensivist. 201810; 10(4):811-825.

井口正寛, 岩田 誠, 武田貴裕, 伊藤英一. 【じっくりじんわり神経診察—実臨床での胆力をつけるために】自

分の症候学を築いていくために. 内科. 201812; 122(6):1195-1206.

研究発表等

〔研究発表〕

吉原章王, 生田目禎子, 松田 希, 添田智子, 斎藤直史, 宇川義一, 金井数明. 脊髄内造影剤性脊髄症. 第 217 回日本内科学会東北地方会; 20190216; 仙台.

松田 希, 大槻好史, 小林俊輔, 根本彩香, 久保 均, 宇佐美真一, 宇川義一, 金井数明. Charcot-Marie-Tooth 病 1A 型と Warrendburg 症候群 2 型を合併した 1 例. 第 60 回日本神経学会学術大会; 20190525; 大阪.

吉原章王, 佐々木貴史, 大平俊一郎, 添田智子, 斎藤直史, 安齋高穂. 「高齢発症てんかん」を想起する門脈大循環シャント脳症. 第 218 回日本内科学会東北地方会; 20190928; 青森.

松田 希, 丹治由美子, 服部香寿美, 塚田泰彦, 小林俊輔, 金井数明, 宇川義一. H 波二重刺激検査による脊髄内抑制機構の評価—破傷風, stiff person 症候群における検討—. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術大会; 20191128; 福島.

呼吸器内科学講座

論 文

〔原 著〕

Brown P; RELISH Consortium (Tanino Y et al.), Zhou Y. Large expert-curated database for benchmarking document similarity in biomedical literature search. Database: The Journal of Biological Databases and Curation. 201910; 2019:baz085.

Nakano H, Inoue S, Shibata Y, Abe K, Murano H, Yang S, Machida H, Sato K, Sato C, Nemoto T, Nishiwaki M, Kimura T, Yamauchi K, Sato M, Igarashi A, Tokairin Y, Watanabe M. E-selectin as a prognostic factor of patients hospitalized due to acute inflammatory respiratory diseases: A single institutional study. EXCLI Journal. 201911; 18:1062-1070.

Tanino Y, Wang X, Nikaido T, Misa K, Sato Y, Togawa R, Kawamata T, Kikuchi M, Frevert C, Tanino M, Kojima T, Shibata Y. Syndecan-4 inhibits the development of pulmonary fibrosis by attenuating TGF- β signaling. International Journal of Molecular Sciences. 201910; 20(20):4989.

Gono T, Tanino Y, Nishikawa A, Kawamata T, Hirai K, Okazaki Y, Shibata Y, Kuwana M. Two cases with autoantibodies to small ubiquitin-like modifier activating enzyme: A potential unique subset of dermatomyositis-associated interstitial lung disease. International Journal of Rheumatic Diseases. 201908;

Paz-Ares L, Dvorkin M, Chen Y, Reinmuth N, Hotta K, Trukhin D, Statsenko G, Hochmair MJ, Özgüroğlu M, Ji JH, Voitto O, Poltoratskiy A, Ponce S, Verderame F, Havel L, Bondarenko I, Kazarnowicz A, Losonczy G, Conev NV, Armstrong J, Byrne N, Shire N, Jiang H, Goldman JW; CASPIAN investigators (Kanazawa K et al.). Durvalumab plus platinum-etoposide versus platinum-etoposide in first-line treatment of extensive-stage small-cell lung cancer (CASPIAN): a randomised, controlled, open-label, phase 3 trial. *Lancet*. 201911; 394(10212):1929-1939.

Suzuki Y, Kanazawa K, Kanai R, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Morimoto J, Umeda T, Kawamata T, Rikimaru M, Koizumi T, Togawa R, Sato Y, Hirai K, Uematsu M, Minemura H, Nikaido T, Fukuhara A, Sato S, Saito J, Tanino Y, Mori K, Shibata Y. A case of primary lung squamous cell carcinoma mimicking malignant mesothelioma producing granulocyte colony stimulating factor with chemotherapy (cisplatin and gemcitabine)-associated thrombotic thrombocytopenic purpura (TTP); An autopsy case report. *Lung Cancer*. 201910; 136:105-108.

Asahina H, Oizumi S, Takamura K, Harada T, Harada M, Yokouchi H, Kanazawa K, Fujita Y, Kojima T, Sugaya F, Tanaka H, Honda R, Kikuchi E, Ikari T, Ogi T, Shimizu K, Suzuki M, Konno S, Dosaka-Akita H, Isobe H, Nishimura M; Hokkaido Lung Cancer Clinical Study Group. A prospective phase II study of carboplatin and nab-paclitaxel in patients with advanced non-small cell lung cancer and concomitant interstitial lung disease (HOT1302). *Lung Cancer*. 201912; 138:65-71.

Furuta M, Sakakibara-Konishi J, Kikuchi H, Yokouchi H, Nishihara H, Minemura H, Harada M, Yamazaki S, Akie K, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Harada T, Minami Y, Watanabe N, Oizumi S, Suzuki H, Nishimura M, Dosaka-Akita H, Isobe H; Hokkaido Lung Cancer Clinical Study Group. Analysis of DLL3 and ASCL1 in Surgically Resected Small Cell Lung Cancer (HOT1702). *Oncologist*. 201911; 24(11):e1172-e1179.

Minegishi Y, Inoue S, Sato K, Abe K, Murano H, Furuyama K, Yang S, Machida H, Nakano H, Sato M, Nemoto T, Sato C, Nishiwaki M, Kimura T, Yamauchi K, Igarashi A, Tokairin Y, Shibata Y, Watanabe M. Smaller erector spinae muscle size is associated with inability to recover activities of daily living after pneumonia treatment. *Respiratory investigation*. 201903; 57(2):191-197.

Shibata Y. Mysterious link between the restrictive ventilatory impairment in spirometry and cardiovascular disease. *Respiratory investigation*. 201905; 57(3):199-200.

Shibata Y, Inoue S, Watanabe M. Impact of reduced pulmonary function in the Japanese general population: Lessons from the Yamagata-Takahata study. *Respiratory investigation*. 201905; 57(3):220-226.

梅田隆志, 棟方 充, 横内 浩, 小泉達彦, 平井健一郎, 工藤聖美, 峯村浩之, 植木禎弘, 金沢賢也, 谷野功典. 口腔ケア導入を契機に肺炎による再入院を回避できたステント留置後の気管原発多発神経線維腫の1例. *気管支学*. 201901; 41(1):11-16.

河俣貴也, 柴田陽光, 佐藤 俊, 東川隆一, 平井健一郎, 二階堂雄文, 金沢賢也, 谷野功典, 西山恭子, 錫谷達夫. FDG 集積を示した縦隔リンパ節に対する超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)によって診断し

た播種性クリプトコッカス症の1例. 気管支学. 201909; 41(5):430-435.

柴田陽光. 【喘息・COPD一病態の多様性の捉えかたと最適な治療選択】COPD病態の多様性と最適な治療アプローチ 増悪がCOPDにもたらすインパクト. 呼吸器ジャーナル. 201905; 67(2):262-268.

山谷睦雄, 須田隆文, 磯部 威, 今泉和良, 大平徹郎, 長内 忍, 川山智隆, 國近尚美, 佐野博幸, 柴田陽光, 新海正晴, 多賀谷悦子, 千葉弘文, 松本久子, 金子 猛, 日本呼吸器学会将来計画委員会. 呼吸器内科勤務医の勤務環境の現状:平成21年度調査との比較. 日本呼吸器学会誌. 201903; 8(2):81-90.

梅田隆志, 谷野功典, 美佐健一, 福原敦朗, 金成文平, 柴田陽光. 自己免疫性肺炎の寛解中に口渇、多尿とともに肺病変が出現したIgG4関連疾患の1例. 日本呼吸器学会誌. 201907; 8(4):288-292.

須田隆文, 山谷睦雄, 磯部 威, 今泉和良, 大平徹郎, 長内 忍, 川山智隆, 國近尚美, 佐野博幸, 柴田陽光, 新海正晴, 多賀谷悦子, 千葉弘文, 松本久子, 金子 猛, 日本呼吸器学会将来計画委員会. 日本呼吸器学会の会員、専門医の最近の動向に関する検討. 日本呼吸器学会誌. 201911; 8(6):375-385.

鈴木康仁, 柴田陽光, 福原敦朗, 東川隆一, 峯村浩之, 植松 学, 佐藤 俊, 齋藤純平, 谷野功典, 棟方充. 検診を契機に発見された遺伝性出血性末梢血管拡張症(HHT)に伴う肺動静脈瘻の1例. 日本内科学会雑誌. 201901; 108(1):93-99.

柴田陽光, 梅田隆志, 平井健一郎, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 谷野功典. COPD合併肺癌の成因. 肺癌. 201910; 59(5):447-452.

佐藤佑樹, 谷野功典, Sand Jannie MB, Karsdal Morten A, 二階堂雄文, 東川隆一, Leeming Diana J, 柴田陽光. 特発性間質性肺炎急性増悪における血中細胞外マトリックス分解産物濃度の検討. 分子呼吸器病. 201903; 23(1):73-80.

〔総説等〕

齋藤純平. 【耳鼻咽喉科医が頻用する内服・外用薬一選び方・上手な使い方】他科専門医から耳鼻咽喉科医へ耳鼻咽喉科医が知っておくべき気管支喘息の吸入・内服・貼付薬. ENTONI. 201904; 231:133-143.

佐藤 俊, 齋藤純平. 【気管支喘息 喘息診療アップデート 基本を固め、最新治療を知る】～気管支喘息診療のアップデート レベルアップに役立つポイント FeNO測定の意義と実践～. Medical Practice. 201912; 36(12):1841-1846.

齋藤純平. 【呼吸器病学 TOPICS 2018-2019】アレルギー・免疫・炎症 気道炎症と硫化水素. 分子呼吸器病学. 201903; 23(1):13-17.

〔症例報告〕

過年業績

河俣貴也, 谷野功典, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 鈴木康仁, 渡邊菜摘, 齋藤美加子, 力丸真美, 梅

田隆志, 小泉達彦, 平井健一郎, 植松 学, 峯村浩之, 福原敦朗, 佐藤 俊, 斎藤純平, 金沢賢也, 蛇沢晶, 柴田陽光. 汎下垂体機能低下症を伴い自然軽快した急性サルコイドーシスの一例. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌. 201810; 38(Sup.):78.

〔研究報告書〕

結核療法研究協議会（委員：谷野功典）. 日本国内における結核菌の薬剤耐性状況に関する研究：2012-2013. 結核. 201908; 94(8):439-449.

著 書・訳 書

Nikaido T, Tanino Y, Sato Y, Togawa R, Wang X, Shibata Y. Syndecans in Pulmonary Diseases. In: Berhardt LV editor. *Advances in Medicine and Biology (Series Vol.138)*. New York, USA: Nova Science Publishers; 201903. p.171-193.

谷野功典. 気管支拡張症. In: 門田淳一, 弦間昭彦, 西岡安彦 編. *呼吸器疾患最新の治療 2019-2020*. 東京: 南江堂; 201904. p.198-201.

谷野功典. 「岡本敏記念肺線維症研究基金」を受賞して. In: 公益信託「岡本敏記念肺線維症研究基金」運営委員会 編. 公益信託「岡本敏記念肺線維症研究基金」記念誌—27年のあゆみ—. 東京: 呼吸臨床編集室; 201911. p.44.

谷野功典. 急性肺損傷, 急性呼吸窮迫症候群. In: 浦部晶夫, 島田和幸, 川合眞一 編. *今日の処方 改訂第6版*. 東京: 南江堂; 201903. p.198-199.

峯村浩之. 不整脈. In: 倉田宝保, 吉岡弘鎮, 金田俊彦 編. *肺がん化学療法 副作用マネジメント プロのコツ*. 東京: メジカルビュー社; 201907. p.237-243.

研究発表等

〔研究発表〕

Togawa R, Tanino Y, Nikaido T, Sato Y, Kawamata T, Saito M, Watanabe N, Umeda T, Rikimaru M, Suzuki Y, Uematsu M, Minemura H, Fukuhara A, Sato S, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Are the Autoantibodies Associated with The Distinctive Clinical Characteristics in Interstitial Pneumonia Patients with Systemic Sclerosis? 2019 ATS International Conference; 20190519; Dallas, USA.

Enomoto N, Homma S, Inase N, Takizawa H, Inoue Y, Ishii H, Taguchi Y, Izumi S, Yamano Y, Tanino Y, Nishioka Y, Toyoshima M, Yokomura K, Imokawa S, Koshimizu N, Suda T. Prognostic analysis of idiopathic interstitial pneumonias with rheumatologic features: A prospective multicenter cohort study (PAIR cohort study). 2019 ATS International Conference; 20190520; Dallas, USA.

Nikaido T, Tanino Y, Sato Y, Togawa R, Kawamata T, Saito M, Watanabe N, Umeda T, Rikimaru M, Suzuki Y, Uematsu M, Minemura H, Fukuhara A, Sato S, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Baseline Serum Lactate

Dehydrogenase and %VC may Predict the Short Time Decline of FVC in Patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis. 2019 ATS International Conference; 20190520; Dallas, USA.

Sato Y, Tanino Y, Nikaido T, Togawa R, Kawamata T, Saito M, Watanabe N, Umeda T, Rikimaru M, Suzuki Y, Uematsu M, Minemura H, Fukuhara A, Sato S, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Clinical Significance of Desaturation during a 6-minute Walk Test in Patients with Idiopathic Interstitial Pneumonia without Hypoxemia at Rest. 2019 ATS International Conference; 20190520; Dallas, USA.

Suzuki T, Wang X, Nikaido T, Tanino Y, Saitou M, Munakata M, Shibata Y, Niitsuma K. PAR-2 antagonist inhibits BLM-induced lung fibrosis. ERS International Conference; 20190929; Madrid, Spain.

Suzuki Y, Saito J, Rikimaru M, Uematsu M, Fukuhara A, Sato S, Kawamata T, Togawa R, Nikaido T, Fukuhara N, Tanino Y, Shibata Y. Clinical application of sputum hydrogen sulfide and YKL-40 in Asthma, ACO and COPD. ERS International Conference; 20190929; Madrid, Spain.

Uematsu M, Saito J, Sato S, Fukuhara A, Suzuki Y, Rikimaru M, Tomita H, Watanabe N, Umeda T, Kawamata T, Togawa Y, Sato Y, Minemura H, Nikaido T, Kanazawa K, Tanino Y, Shibata Y. Usefulness of fraction of exhaled nitric oxide and asthma management questionnaires in predicting a future risk of asthma exacerbation. Congress of European Respiratory Society; 20190930; Madrid, Spain.

Saito J, Fukuhara A, Birring SS, Sato S, Uematsu M, Suzuki Y, Rikimaru M, Watanabe N, Saito M, Kawamata T, Umeda T, Togawa R, Sato Y, Hirai K, Minemura H, Nikaido T, Kanazawa K, Tanino Y, Munakata M, Shibata Y. Clinical characteristics of cough frequency patterns in patients with and without asthma. Annual Congress of European Respiratory Society; 20191001; Madrid, Spain.

Nikaido T, Tanino Y, Wang X, Sato Y, Togawa R, Kawamata T, Kikuchi M, Frevert CW, Tanino M, Kojima T, Shibata Y. Syndecan-4 inhibits the development of pulmonary fibrosis by attenuating TGF- β signaling. 11th International Conference on Proteoglycan; 20191002; Kanazawa.

Kawamata T, Tanino Y, Nikaido T, Sato Y, Togawa R, Tomita H, Watanabe N, Umeda T, Rikimaru M, Suzuki Y, Uematsu M, Minemura H, Fukuhara A, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Clinical Characteristics of Idiopathic Interstitial Pneumonia with Anti-ARS Antibody. WASOG/JSSOG 2019; 20191011; Yokohama.

Gono T, Masui K, Nishina N, Sato S, Kuwana M; JAMI investigators. Predictive factors for mortality in anti-melanoma-associated gene 5 antibody-associated interstitial lung disease. ACR/ARP Annual Meeting; 20191112; Atlanta, USA.

鈴木康仁, 齋藤純平, 富田ひかる, 渡邊菜摘, 梅田隆志, 河俣貴也, 東川隆一, 佐藤佑樹, 峯村浩之, 二階堂雄文, 金沢賢也, 力丸真美, 植松 学, 福原敦朗, 谷野功典, 柴田陽光. 気管支喘息, ACO, COPD 患者における喀痰中硫化水素(H₂S)および YKL-40 の臨床的検討. 第 68 回日本アレルギー学会学術大会; 20190614; 東京.

河俣貴也. 同時診断できた慢性進行性肺アスペルギルス症を合併したアレルギー性気管支肺アスペルギルス症の一例. 日本内科学会第 216 回東北地方会; 20190216; 仙台.

鈴木康仁, 佐藤 俊, 力丸真美, 二階堂雄文, 植松 学, 福原敦朗, 齋藤純平, 谷野功典, 柴田陽光. 重症難治性気管支喘息に対して気管支サーモプラスティ(BT)を施行した当科での2症例. 第1回日本アレルギー学会東北地方会; 20190223; 仙台.

東川隆一, 谷野功典, 佐藤佑樹, 二階堂雄文, 鈴木康仁, 植松 学, 峯村浩之, 福原敦朗, 佐藤 俊, 金沢賢也, 齋藤純平, 柴田陽光. 強皮症を合併した間質性肺炎における臨床的検討. 第59回日本呼吸器学会; 20190413; 東京.

佐藤佑樹, 谷野功典, 二階堂雄文, 東川隆一, 鈴木康仁, 植松 学, 福原敦朗, 佐藤 俊, 齋藤純平, 柴田陽光. 特発性間質性肺炎における6分間歩行時 desaturation と予後の検討. 第59回日本呼吸器学会; 20190414; 東京.

二階堂雄文, 谷野功典, 佐藤佑樹, 東川隆一, 河俣貴也, 梅田隆志, 力丸真美, 鈴木康仁, 植松 学, 峯村浩之, 福原敦朗, 佐藤 俊, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. 特発性肺線維症安定症例の臨床的特徴の検討. 第59回日本呼吸器学会; 20190414; 東京.

佐藤佑樹, 谷野功典, 二階堂雄文, 東川隆一, 河俣貴也, 福原奈緒子, 富田ひかる, 渡邊菜摘, 力丸真美, 梅田隆志, 鈴木康仁, 植松 学, 峯村浩之, 福原敦朗, 齋藤純平, 金沢賢也, 王 新濤, 柴田陽光. Syndecan-4 は poly(I:C)による肺の炎症を抑制する. 第18回肺サーファクタント分子病態研究会; 20190601; 札幌.

福原敦朗, 齋藤純平, パーリング スリンダーエス, 佐藤 俊, 植松 学, 鈴木康仁, 力丸真美, 二階堂雄文, 谷野功典, 柴田陽光. 喘息コントロールと客観的咳嗽評価指標との関連. 第68回日本アレルギー学会学術大会; 20190614; 東京.

鈴木康仁, 齋藤純平, 力丸真美, 植松 学, 福原敦朗, 佐藤 俊, 谷野功典, 柴田陽光. 気管支喘息、ACO、COPD 患者における喀痰中硫化水素(H₂S)およびYKL-40の臨床的検討. 第68回日本アレルギー学会学術大会; 20190614; 東京.

植松 学, 齋藤純平, 佐藤 俊, 福原敦朗, 鈴木康仁, 力丸真美, 二階堂雄文, 谷野功典, 柴田陽光. 喘息増悪予測におけるFeNO, ACT, ACQの有用性の検討. 第68回日本アレルギー学会学術大会; 20190616; 東京.

佐藤 俊, 齋藤純平, 福原敦朗, 植松 学, 鈴木康仁, 力丸真美, 東川隆一, 佐藤佑樹, 二階堂雄文, 谷野功典, 柴田陽光. 喘息患者における喀痰中の神経栄養因子Neurturinの検討. 第68回日本アレルギー学会学術大会; 20190616; 東京.

梅田隆志, 峯村浩之, 東川隆一, 佐藤佑樹, 小泉達彦, 平井健一郎, 二階堂雄文, 金沢賢也, 谷野功典, 棟方 充, 柴田陽光. サルコイドーシスの診断におけるBAL/TBLBとEBUS-TBNAの有用性の検討. 第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20190705; 東京.

金沢賢也, 朝比奈肇, 大泉聡史, 高村 圭, 原田敏之, 原田眞雄, 藤田結花, 小島哲弥, 菅谷文子, 田中寿志, 本田亮一, 荻喬 博, 猪狩智生, 横内 浩, 菊地英毅, 秋田弘俊, 磯部 宏, 西村正治. A phase II study of carboplatin and nab-paclitaxel in advanced non-small cell lung cancer with interstitial lung disease. 第17回

日本臨床腫瘍学会学術集会; 20190719; 京都.

二階堂雄文, 谷野功典, 峯村浩之, 柴田陽光. 慢性呼吸器疾患への応用の検討. 第2回X線動態画像セミナー; 20191102; 東京.

梅田隆志, 峯村浩之, 金沢賢也, 平井健一郎, 小泉達彦, 齋藤純平, 谷野功典, 柴田陽光. 血栓症を発症した肺癌患者のリスク評価に関する検討. 第60回日本肺癌学会学術集会; 20191207; 大阪.

峯村浩之, 今井久雄, 山口 央, 鈴木健介, 和佐本諭, 梅田幸寛, 大崎 隆, 笠原礼光, 内野順治, 杉山智英, 石原真一, 石井 尚, 成清一郎, 金沢賢也, 武藤哲史, 湊 浩一, 各務 博, 解良恭一. 高齢者に対する免疫チェックポイント阻害薬の有効性と安全性に関する後ろ向き解析. 第60回日本肺癌学会学術集会; 20191207; 大阪.

〔シンポジウム〕

齋藤純平. COPDにおける硫化水素測定の意味. 第59回日本呼吸器学会総会; 20190412; 東京.

榎本紀之, 本間 栄, 稲瀬直彦, 滝澤 始, 井上義一, 石井 寛, 田口善夫, 泉 信有, 山野泰彦, 谷野功典, 西岡安彦, 豊嶋幹生, 横村光司, 妹川史朗, 小清水直樹, 須田隆文. 膠原病的背景を有する特発性間質性肺炎の予後に関する検討: 多施設共同, 前向きコホート研究. 第59回日本呼吸器学会; 20190414; 東京.

齋藤純平. 成人における喘息管理と検査. 第39回六甲カンファランス; 20190810-11; 大阪.

〔特別講演〕

齋藤純平. 喘息長期管理における気道炎症モニタリング〜呼気NOを中心に〜. 第59回日本呼吸器学会総会; 20190413; 東京.

齋藤純平. 喘息管理におけるバイオマーカー〜FeNOを中心に〜. グラクソスミスクライン Web 講演; 20190423; Web 配信.

齋藤純平. Type2 炎症に起因する IL-4/IL-13 の役割とバイオマーカー〜呼気NOを中心に〜. 第68回日本アレルギー学会総会; 20190614; 東京.

齋藤純平. 当院における Omalizumab の使用経験. 第1回南東北 IgE フォーラム; 20190714; 仙台.

齋藤純平. 難治性喘息の更なるコントロールを目指して〜生物学的製剤導入で可能となる治療とは〜. Minato Airway Conference; 20191030; 横浜.

齋藤純平. 難治性喘息の更なるコントロールを目指して〜生物学的製剤導入で可能となる治療とは〜. 喘息セミナー・喘息治療最前線 in 岩見沢; 20191114; 岩見沢.

齋藤純平. Type2 炎症のバイオマーカーを用いた生物学的製剤の使い方. サノフィ e-MR 喘息電波通信; 20191120; Web 配信.

齋藤純平. 好酸球形喘息における FeNO の活用法～診断を中心に～. Scientific Exchange Meeting in Gunma; 20191204; 前橋.

齋藤純平. Type2 炎症のバイオマーカーを用いた生物学的製剤の使い方. Asthma Type2 Inflammation Seminar in Fukuoka; 20191211; 福岡.

〔招待講演〕

齋藤純平. 咳嗽モニタリングは気管支喘息の新たな診断・管理指標となるか? Scientific Exchange Meeting in AZtium 2018; 20190109; 東京.

齋藤純平. 咳嗽症状に注目した喘息・咳喘息の診断と治療へのアプローチ～呼気 NO をを中心に～. Respiratory Symposium in Akashi; 20190306; 明石.

齋藤純平. 重症喘息と生物学的製剤. スウェーデン大使館重症喘息会議; 20190324; 東京.

齋藤純平. 呼気 NO 測定値の解釈 ～喘息の診断・管理に呼気 NO をどう使うか. サノフィ社内講演会; 20191016; 東京.

〔その他〕

齋藤純平. 生物学的製剤に関するアドバイザーボード. グラクソスミスクラインアドバイザーボードミーティング; 20190624; Madrid, Spain.

渡邊菜摘, 二階堂雄文, 東川隆一, 齋藤美加子, 梅田隆志, 鈴木康仁, 佐藤 俊, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. 肺門病変に対する EBUS-TBNA 後、急性肺炎像を呈した肺アスペルギルス症の 1 例. 第 108 回日本呼吸器学会東北地方会; 20190302; 盛岡.

齋藤美加子, 二階堂雄文, 小泉達彦, 金沢賢也, 長谷川剛生, 佐藤佑樹, 鈴木康仁, 谷野功典, 鈴木弘行, 柴田陽光. Paradoxical response による胸壁腫瘍が疑われた肺結核の 1 例. 第 108 回日本呼吸器学会東北地方会; 20190302; 盛岡.

東川隆一, 谷野功典, 富田ひかる, 渡邊菜摘, 梅田隆志, 河俣貴也, 力丸真美, 佐藤佑樹, 鈴木康仁, 植松学, 峯村浩之, 二階堂雄文, 福原敦朗, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. 血管拡張薬投与後に低酸素血症が増悪した間質性肺炎の 1 例. 福島肺高血圧症研究会; 20190612; 福島.

齋藤純平. 咳嗽研究に関するアドバイザーボード. グラクソスミスクラインアドバイザーボードミーティング; 20190616; 東京.

渡邊菜摘, 福原敦朗, 金沢賢也, 佐藤佑樹, 二階堂雄文, 佐藤 俊, 齋藤純平, 谷野功典, 柴田陽光. 外国人労働者に発症した感染経路不明の肺吸虫症の 1 例. 第 217 回日本内科学会東北地方会; 20190622; 仙台.

谷野功典. 間質性肺炎の診断と IPF の治療の変遷. 呼吸器疾患地域連携セミナー. 20190626; 伊達.

谷野功典. 間質性肺炎の診断. 特発性肺線維症(IPF)地域連携セミナー. 20190702; 福島.

齋藤純平. 吸入ステロイドに関するアドバイザリーボード. 杏林アドバイザリーボードミーティング; 20190719; 福島.

梅田隆志, 峯村浩之, 金沢賢也, 平井健一郎, 内海康文, 小泉達彦, 谷野功典, 柴田陽光. 免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法を使用した肺癌腫瘍の 1 例. 第 11 回福島県肺癌研究会; 20190720; 盛岡.

梅田隆志, 峯村浩之, 金沢賢也, 平井健一郎, 内海康文, 小泉達彦, 谷野功典, 柴田陽光. 免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法が奏功した肺癌腫瘍の 1 例. 第 58 回日本肺癌学会東北支部会・第 45 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20190727; 盛岡.

谷野功典. 線維化性肺胞蛋白症 FRAP 2 FMU. 第 12 回大阪呼吸器疾患シンポジウム; 20190830; 大阪.

佐藤佑樹, 二階堂雄文, 富田ひかる, 斉藤美加子, 渡邊菜摘, 梅田隆志, 河俣貴也, 力丸真美, 小泉達彦, 東川隆一, 鈴木康仁, 植松 学, 峯村浩之, 福原敦朗, 齋藤純平, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. 全身性強皮症に伴う間質性肺炎に合併した自己免疫性肺胞蛋白症の 1 例. 第 109 回日本呼吸器学会東北地方会; 20190914; 青森.

富田ひかる, 東川隆一, 福原敦朗, 鈴木康仁, 植松 学, 渡邊菜摘, 力丸真美, 二階堂雄文, 谷野功典, 柴田陽光. 血管拡張薬投与後に低酸素血症が増悪した間質性肺炎の 1 例. 第 218 回日本内科学会東北地方会; 20190928; 青森.

齋藤純平. 当院における重症喘息患者に対する Dupilumab の使用経験. Dupixent Expert Meeting in Koriyama; 20191023; 郡山.

梅田隆志, 谷野功典, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 福原奈緒子, 富田ひかる, 渡邊菜摘, 力丸真美, 河俣貴也, 森本樹里亜, 小泉達彦, 鈴木康仁, 植松 学, 峯村浩之, 福原敦朗, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. ステロイド内服加療中に肺野浸潤影と縦隔リンパ節腫大が改善・増悪を繰り返した 1 例. 第 19 回東北びまん性肺疾患研究会; 20191124; 福島.

消化管外科学講座

論 文

〔原 著〕

Yamada L, Saito M, Aung Kyi Thar Min, Saito K, Kase K, Onozawa H, Okayama H, Fujita S, Endo H, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. Explore the correlation between ARID1A and ANXA1 expressions in gastric cancer. Annals of Cancer Research and Therapy. 201901; 27(2):46-51.

Shibata M, Mimura K, Shimura T, Kono K, Ohto H, Takenoshita S. IL-17A in Oncology. *Annals of Cancer Research and Therapy*. 201901; 27(2):59-63.

Soeda S, Furukawa S, Sato T, Ueda M, Kamo N, Endo Y, Kojima M, Nomura S, Kataoka M, Fujita S, Endo H, Takahashi T, Watanabe T, Yamada H, Fujimori K. Pelvic Exenteration as Potential Cure and Symptom Relief in Advanced and Recurrent Gynaecological Cancer. *Anticancer Research*. 201910; 39(10):5631-5637.

Satake S, Shimura T, Ono T, Shimomura K, Takenoshita S, Kono K. Noninvasive continuous blood pressure monitoring using microelectromechanical system technology. *Blood Pressure Monitoring*. 201906; 24(3):155-159.

Momma T, Gonda K, Akama Y, Endo E, Ujiie D, Fujita S, Maejima Y, Horita S, Shimomura K, Saji S, Kono K, Yashima R, Watanabe F, Sugano K, Nomizu T. MLH1 germline mutation associated with Lynch syndrome in a family followed for more than 45 years. *BMC Medical Genetics*. 201905; 20(1):67.

Hayase S, Yamada L, Ujiie D, Nirei A, Tada T, Hanayama H, Momma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. Clinical usefulness of ramucirumab plus paclitaxel for unresectable and recurrent gastric cancer. *Fukushima Journal of Medical Science*. 201904; 65(1):6-12.

Okano M, Oshi M, Butash AL, Katsuta E, Tachibana K, Saito K, Okayama H, Peng X, Yan L, Kono K, Ohtake T, Takabe K. Triple-Negative Breast Cancer with High Levels of Annexin A1 Expression is Associated with Mast Cell Infiltration, Inflammation, and Angiogenesis. *International Journal of Molecular Sciences*. 201908; 20(17):4197.

Nakayama Y, Mimura K, Tamaki T, Shiraishi K, Kua LF, Koh V, Ohmori M, Kimura A, Inoue S, Okayama H, Suzuki Y, Nakazawa T, Ichikawa D, Kono K. Phospho-STAT1 expression as a potential biomarker for anti-PD-1/anti-PD-L1 immunotherapy for breast cancer. *International Journal of Oncology*. 201906; 54(6):2030-2038.

Gonda K, Akama Y, Nakamura T, Hashimoto E, Kyoya N, Rokkaku Y, Maejima Y, Horita S, Tachibana K, Abe N, Ohtake T, Shimomura K, Kono K, Saji S, Takenoshita S, Higashihara E. Cluster of differentiation 8 and programmed cell death ligand 1 expression in triple-negative breast cancer combined with autosomal dominant polycystic kidney disease and tuberous sclerosis complex: a case report. *Journal of Medical Case Reports*. 201912; 13(1):381.

Sakamoto W, Yamada L, Suzuki O, Kikuchi T, Okayama H, Endo H, Fujita S, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. Microanatomy of inferior mesenteric artery sheath in colorectal cancer surgery. *Journal of the Anus, Rectum and Colon*. 201910; 3(4):167-174.

Asano T, Sato S, Furuya MY, Takahashi H, Shichishima-Nakamura A, Ohkawara H, Fujiwara T, Gunji N, Hashimoto C, Momma T, Saito M, Nakano H, Watanabe G, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Kobayashi H, Watanabe H, Mouri M, Mashiyama F, Sakuma H, Ohira H, Mori M, Ikezoe T, Migita K. Intestinal Behçet

disease associated with myelodysplastic syndrome accompanying trisomy 8 successfully treated with abdominal surgery followed by hematopoietic stem cell transplantation: A case report. *Medicine*. 201911; 98(46):e17979.

Ashizawa M, Okayama H, Ishigame T, Aung Kyi Thar Min, Saito K, Ujiie D, Murakami Y, Kikuchi T, Nakayama Y, Noda M, Tada T, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. miRNA-148a-3p Regulates Immunosuppression in DNA Mismatch Repair-Deficient Colorectal Cancer by Targeting PD-L1. *Molecular Cancer Research*. 201906; 17(6):1403-1413.

Pydi SP, Jain S, Tung W, Cui Y, Zhu L, Sakamoto W, Jain S, Abel BS, Skarulis MC, Liu J, Huynh T, Pacak K, Caron MG, Gavrilova O, Finkel T, Wess J. Adipocyte β -arrestin-2 is essential for maintaining whole body glucose and energy homeostasis. *Nature Communications*. 201907; 10(1):2936.

Kanke Y, Saito M, Abe N, Saito K, Goto A, Ohtake T, Murakami Y, Kono K. Expression profile of CADM1 and CADM4 in triple negative breast cancer with primary systemic therapy. *Oncology Letters*. 201901; 17(1):921-926.

Kikuchi T, Mimura K, Okayama H, Nakayama Y, Saito K, Yamada L, Endo E, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. A subset of patients with MSS/MSI-low colorectal cancer showed increased CD8(+) TILs together with up-regulated IFN- γ . *Oncology Letters*. 201912; 18(6):5977-5985.

Ashizawa M, Saito M, Aung Kyi Thar Min, Ujiie D, Saito K, Sato T, Kikuchi T, Okayama H, Fujita S, Endo H, Sakamoto W, Momma T, Ohki S, Goto A, Kono K. Prognostic role of ARID1A negative expression in gastric cancer. *Scientific Reports*. 201905; 9(1):6769.

Nakajima S, Ishimaru K, Kobayashi A, Yu G, Nakamura Y, Oh-Oka K, Suzuki-Inoue K, Kono K, Nakao A. Resveratrol inhibits IL-33-mediated mast cell activation by targeting the MK2/3-PI3K/Akt axis. *Scientific Reports*. 201912; 9(1):18423.

河野浩二, 南川一夫, 富樫順一, 長谷川潔, 國土典宏. 【医療機器・介護機器開発を正しくおこなうための関連法とガイドラインの理解】高難度新規医療技術の導入プロセスが制度化された背景について. *医療機器学*. 201908; 89(4):383-387.

藤田正太郎, 門馬智之, 遠藤英成, 加瀬晃志, 氏家大輔, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 坂本 渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 直腸癌術後の直腸腔瘻に対しエストリオール腔錠と腔洗浄にて治癒した1例. *癌と化学療法*. 201912; 46(13):2078-2080.

中山裕子, 三村耕作, 河野浩二. 【がんにおけるPD-L1分子の発現調節】IFN- γ の観点からみたPD-L1発現機構と抗PD-1/抗PD-L1抗体のバイオマーカー開発. *癌と化学療法*. 201905; 46(5):838-840.

河野浩二, 柴田昌彦. 癌免疫カンファレンスルーム (最終回) 連載を終えるにあたって. *消化器外科*. 201910; 42(11):1610-1611.

大木進司, 氏家大輔, 松本拓朗, 仲野 宏, 河野浩二. 【消化管症候群(第3版)—その他の消化管疾患を含めて

一】胃 腫瘍性疾患 EB ウイルス関連胃癌. 日本臨床. 201912; 別冊(消化管症候群 D):284-287.

佐瀬善一郎, 菅家康之, 山田玲央, 遠藤英成, 河野浩二. 【消化管症候群(第3版)―その他の消化管疾患を含めて―】胃 腫瘍性疾患 Krukenberg 腫瘍. 日本臨床. 201912; 別冊(消化管症候群 D):304-307.

〔症例報告〕

Kawashima K, Fujiwara T, Katakura K, Gunji N, Yokokawa A, Sakamoto A, Hikichi T, Kono K, Ohira H. Anisakiasis in the Small Intestine with Excessive Bleeding That was Difficult to Diagnose Endoscopically. Internal Medicine. 201901; 58(1):63-66.

松本拓朗, 圓谷秀哲, 伊藤泰輔, 石井芳正, 小田島肇, 河野浩二. 胃びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫に併存した胃 GIST の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌. 201911; 80(11):2006-2012.

松本拓朗, 大木進司, 門馬智之, 喜古雄一郎, 田崎和洋, 河野浩二. 小網原発 GIST の 2 例. 日本臨床外科学会雑誌. 201912; 80(12):2175-2182.

〔その他〕

佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道癌リンパ節転移診断の進歩. 日本外科学会雑誌. 201905; 120(3):343-344.

木村 隆, 横山 斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明. 外科医となる自信を涵養する外科臨床実習 時代にマッチした外科医のリクルート. 日本外科学会雑誌. 201911; 120(6):713-715.

研究発表等

〔研究発表〕

Mimura K, Kono K. How to exploit Immunogenic cell death Mechanism in Radiotherapy. ESTRO 38 Conference 2019; 20190426-30; Milan, Italy.

Saze Z, Sato T, Ujiie D, Kikuchi T, Tada T, Watanabe Y, Hanayama H, Gonda K, Momma T, Ohki S, Kono K. Efficacy of Double Flaps reconstruction after Proximal gastrectomy -in terms of functional preservation-. 13th International Gastric Cancer Congress 2019 (IGCC 2019); 20190508; Prague, Czech Republic.

Hanayama H, Ohki S, Sato T, Ujiie D, Nirei A, Kikuchi T, Tada T, Watanabe Y, Gonda K, Momma T, Saze Z, Kono K. Prognostic factors in advanced gastric cancer with peritoneal dissemination(P1cy0/1) and intraperitoneal free cancer cells(P0cy1). 13th International Gastric Cancer Congress 2019 (IGCC 2019); 20190508-11; Prague, Czech Republic.

Kaneta A, Honda M, Hori S, Waragai M, Takano Y, Teranishi Y. The prognostic impact of tumor location on patients with resectable gastric cancer. 13th International Gastric Cancer Congress 2019 (IGCC 2019); 20190508-11; Prague, Czech Republic.

Onozawa H, Ito M, Saito M, Ami H, Koyama Y, Kono K. Juvenilegastric polyposis which performed laparoscopic total gastrectomy: a case report. EAES2019(27th European Association for Endoscopic Surgery); 20190612-15; Sevilla, Spain.

Shibata M, Nakajima T, Mimura K, Shimura T, Kono K, Takenoshita S. MDSC is an important immunosuppressing factor and functionally related with VEGF and IL-17 in patients with gastrointestinal cancer. ESMO Immuno-Oncology Congress 2019; 20191211-12; Geneva, Switzerland.

志村龍男, 柴田昌彦, 権田憲士, 早瀬 傑, 坂本 渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌予後因子としての Lymphocyte-to-Monocyte Ratio の有用性 : myeloid-derived suppressor cells との関連において. 第 15 回日本消化管学会総会学術集会; 20190201-03; 佐賀.

Hanayama H, Saze Z, Endo E, Ujiie D, Nirei A, Aoto K, Tada T, Watanabe Y, Gonda K, Hikichi T, Ohki S, Kono K. Laparoscopy and endoscopy cooperative surgery for gastric GISTs in our hospital. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190227-0301; 沼津.

Kaneta A, Honda M, Ogayama Y, Hori S, Todate Y, Waragai M, Suzuki N, Sato A, Takano Y, Abe T, Terashima Y. Nivolumab for unresectable or recurrent gastric cancer. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190227-0301; 沼津.

Ohki S, Endo E, Ujiie D, Nirei A, Tada T, Watanabe Y, Hanayama H, Gonda K, Saze Z, Kono K. The value of preoperative NLR to recurrence after adjuvant chemotherapy of S-1 for gastric cancer. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190227-0301; 沼津.

Saze Z, Endo E, Ujiie D, Aoto K, Tada T, Watanabe Y, Hanayama H, Gonda K, Momma T, Ohki S, Kono K. Advantages of Double Flap Technique for Proximal Gastrectomy. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190227-0301; 沼津.

Watanabe Y, Endo E, Ujiie D, Nirei A, Aoto K, Tada T, Hanayama H, Saito M, Gonda K, Momma T, Saze Z, Mimura K, Ohki S, Kono K. The significance of preoperative Prognostic Nutrition Index(PNI) in patients with gastric cancer. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190227-0301; 沼津.

東 孝泰, 菊池智宏, 三村耕作, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 遠藤久仁, 坂本 渉, 藤田正太郎, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌における腫瘍浸潤マクロファージ(TAM)の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

今井朝太郎, 氏家大輔, 佐藤孝洋, 加瀬晃志, 遠藤英成, 菊池智宏, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 権田憲士, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 食道癌術後骨格筋転移再発を来した 1 例. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

氏家大輔, 岡山洋和, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 坂本 渉, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 権田憲士, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 柴田昌彦, 河野浩二. Stage II 大腸癌における根治切除後再発予測バイオマーカーの同定. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

遠藤英成, 岡山洋和, 佐藤孝洋, 菊池智宏, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌間質に基づく個別化治療の可能性. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴木野聖子, 月田茂之, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 河野浩二, 丸橋 繁. インスリンノーマ手術における術中インスリン値・血糖値モニタリング. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

加瀬晃志, 氏家大輔, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 千田 峻, 菊池智宏, 楡井 東, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 坂本 渉, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. Stage II 大腸癌における脈管侵襲とミスマッチ修復タンパク欠損の意義. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

片方雅紀, 氏家大輔, 遠藤英成, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. EBV 関連胃癌の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

金田晃尚, 佐瀬善一郎, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 松井田元, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬 傑, 権田憲士, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 頭頸部癌に対する遊離空腸再建術の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

菊池智宏, 三村耕作, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 遠藤久仁, 坂本 渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌における MSI status と, PD-L1 発現および CD8 陽性細胞浸潤数の関連. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

木村 隆, 鈴木眞一, 横山 斉, 河野浩二, 鈴木弘行, 大竹 徹, 丸橋 繁, 田中秀明. 外科医となる自信を涵養する外科臨床実習一時代にマッチした外科医のリクルーター. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

権田憲士, 柴田昌彦, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 胃癌患者における免疫抑制と予後の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

齋藤元伸, 芦澤 舞, 佐藤孝洋, 菊池智宏, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. ARID1A 変異胃癌に対する標的治療の可能性. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

佐瀬善一郎, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 噴門側胃切除術における再建による術後栄養状態および機能温存に関する検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

佐藤孝洋, 山田玲央, 菊池智宏, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 下部消化管穿孔の治療成績の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会;

20190418-20; 大阪.

柴田昌彦, 権田憲士, 岩舘 学, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 志村龍男, 大竹 徹, 河野浩二, 鈴木眞一, 竹之下誠一. 外科における癌患者の Host Factor 研究の重要性. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

圓谷秀哲, Aung Kyi Thar Min, 三村耕作, 岡山洋和, 齋藤元伸, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 食道扁平上皮癌における上皮間葉移行 EMT と PD-L1 発現との関連. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

楡井 東, 遠藤英成, 氏家大輔, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 食道癌術後乳癌胸に対するリピオドールリンパ管造影の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

花山寛之, 大木進司, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 権田憲士, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 術前補助化学/化学放射線療法を施行した Stage II/III 食道癌患者においてサルコペニアが術後短期成績に与える影響. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

深井智司, 中山裕子, 三村耕作, 氏家大輔, 遠藤英成, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 胃癌細胞における PD-L2 発現について. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

藤田正太郎, 門馬智之, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 氏家大輔, 青砥慶太, 菊池智宏, 楡井 東, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 岡山洋和, 坂本 渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 結腸・直腸癌に対する FOLFIRI+Ramucirumab 療法を施行した 15 例の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

褓主正太郎, 氏家大輔, 佐藤孝洋, 加瀬晃志, 遠藤英成, 菊池智宏, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 権田憲士, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. IgG4 関連疾患に合併した胃癌の 1 例. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

松井田元, 佐瀬善一郎, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 金田晃尚, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬 傑, 権田憲士, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 特発性食道破裂 17 例の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

三村耕作, 中山裕子, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 胃癌微小環境から検討した胃癌における抗 PD-1 抗体の適応について. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

門馬智之, 深井智司, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 菊池智宏, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本 渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. PET-MRI を用いた直腸癌, 側方リンパ節転移の診断. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

渡辺洋平, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 菊池智宏, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 中山裕子, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 胃癌患者における術前好中球／リンパ球比の予後的意義. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

中山裕子, 三村耕作, 岡山洋和, 齋藤元伸, アウンチーターミン, 斎藤勝治, 氏家大輔, 遠藤英成, 渡辺洋平, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 市川大輔, 河野浩二. 胃癌微小環境における PD-L2 発現について. 第 40 回癌免疫外科研究会; 20190516-17; 金沢.

三村耕作, 中山裕子, 氏家大輔, 菊池智宏, 渡辺洋平, 花山寛之, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. PD-L1 の発現機構から検討した胃癌における抗 PD-1 抗体の適応について. 第 40 回癌免疫外科研究会; 20190516-17; 金沢.

遠藤英成, 多田武志, 氏家大輔, 菊池智宏, 花山寛之, 渡辺洋平, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 食道アカラシアに合併した表在型食道癌の 1 手術例. 第 73 回日本食道学会学術集会; 20190606-07; 福岡.

大木進司, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 佐藤孝洋, 氏家大輔, 楡井 東, 菊池智宏, 渡辺洋平, 門馬智之, 河野浩二. 術前化学療法施行食道癌切除例における予後因子の検討. 第 73 回日本食道学会学術集会; 20190606-07; 福岡.

本多通孝, 鈴木伸康, 藁谷 暢, 堀 創史, 小林拓史, 河村英恭, 金田晃尚, 佐瀬善一郎, 高野祥直, 寺西寧. 市中病院における腹臥位胸腔鏡・腹腔鏡併用食道切除術の導入と成績. 第 73 回日本食道学会学術集会; 20190606-07; 福岡.

藤田正太郎, 門馬智之, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 加瀬晃志, 氏家大輔, 菊池智宏, 楡井 東, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 坂本 渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 直腸癌術後の直腸腔瘻に対し、エストリオール腔錠と腔洗浄にて治癒した 1 例. 第 41 回癌局所療法研究会; 20190621; 岡山.

小野澤寿志, 伊藤美郷, 斎藤 勝, 阿美弘文, 小山善久, 河野浩二. 胃限局性若年性ポリポーシスの 1 例. 第 28 回日本癌病態治療研究会; 20190627-28; 川越.

菊池智宏, 三村耕作, 岡山洋和, 中山裕子, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌における MSI status と腫瘍浸潤 CD8 陽性リンパ球数の検討. 第 28 回日本癌病態治療研究会; 20190627-28; 川越.

齋藤元伸, 芦澤 舞, 山田玲央, 菊池智宏, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. ゲノム解析研究を基にした ARID1A 変異消化器癌に対する標的治療の開発. 第 28 回日本癌病態治療研究会; 20190627-28; 川越.

東 孝泰, 野田 勝, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 急速増大をきたし悪性が疑われた稀な乳腺巨大腫瘍の 2 例. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711-13; 東京.

阿部貞彦, 野田 勝, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 乳癌との鑑別が困難であったセンチネルリンパ節に ITC を有した乳管腺腫の 1 例. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711-13; 東京.

阿部宣子, 立花和之進, 野田 勝, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹 徹. 当院における palbociclib の使用経験. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711-13; 東京.

片方雅紀, 村上祐子, 東 孝泰, 佐藤孝洋, 仲野 宏, 阿部貞彦, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 周囲浸潤形態の異なる被包型乳頭状癌の 2 例. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711-13; 東京.

佐藤孝洋, 星 信大, 村上祐子, 阿部宣子, 片方雅紀, 東 孝泰, 阿部貞彦, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 同時性両側性神経内分泌型非浸潤性乳管癌の 1 例. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711-13; 東京.

中山裕子, 三村耕作, 井上正行, 中田晴夏, 大森征人, 木村亜矢子, 高橋ひふみ, 國友和善, 中込 博, 中澤匡男, 井上慎吾, 市川大輔. 乳癌における PD-L1 発現機構. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711-13; 東京.

村上祐子, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 佐治重衡, 大竹 徹. 乳癌におけるクローディン 4 発現の分子生物学的検討. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711-13; 東京.

東 孝泰, 菊池智宏, 河野浩二. 大腸癌における腫瘍浸潤マクロファージ(TAM)と抑制性 T 細胞の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

氏家大輔, 齋藤元伸, 菊池智宏, 渡辺洋平, 花山寛之, 中山裕子, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. Microsatellite instability を有する胃癌の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

遠藤英成, 加瀬晃志, 菊池智宏, 岡山洋和, 遠藤久仁, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 手術介入を要した結腸憩室炎症例の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

遠藤久仁, 菊池智宏, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 腹腔鏡補助下直腸切除術時の峽骨盤にかかわる因子の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

大木進司, 千田 峻, 岡山和洋, 藤田正太郎, 坂本 渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. Stage II, III 大腸癌に対する複合バイオマーカーを用いた新規予後予測スコアの開発. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

大須賀文彦, 武藤 淳, 又吉一仁, 宮澤正紹, 石井 恒. 当施設における胃癌手術への HALS 導入の検討【Examination of HALS (hand-assisted laparoscopic surgery) for the gastric cancer to introduction in our facility】. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

加瀬晃志, 坂本 渉, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌術後補助療法としての UFT/LV, Capecitabine の完遂率の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

金田晃尚, 本多通孝, 堀 創史, 外館幸敏, 藁谷 暢, 鈴木伸康, 佐藤 直, 高野祥直, 阿部 幹, 寺西 寧. 胃癌術後補助化学療法の開始および継続を妨げる因子の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

河村英恭, 本多通孝, 滝口光一, 神賀貴大, 齋藤賢将, 山崎 繁, 岩尾年康, 河野浩二. 切除不能 Stage IV 大腸癌における原発切除と臨床予後の関連: 多施設共同過去起点コホート研究. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

菊池智宏, 岡山洋和, 遠藤久仁, 坂本 渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. Colitic Cancer の手術症例 14 例の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

齋藤元伸, 芦澤 舞, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 胃癌における ARID1A 遺伝子変異の特徴とバイオマーカーとしての有用性. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

佐久間芽衣, 菊池智宏, 三村耕作, 岡山洋和, 齋藤元伸, 藤田正太郎, 坂本 渉, 遠藤久仁, 門馬智之, 河野浩二. pMMR 大腸癌と dMMR 大腸癌における腫瘍浸潤 CD8 細胞と PD-L1 発現の比較検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

佐瀬善一郎, 佐藤孝洋, 氏家大輔, 菊池智宏, 楡井 東, 渡辺洋平, 花山寛之, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 腹腔鏡下噴門側胃切除術における再建方法の変遷とその進歩. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

佐藤孝洋, 大木進司, 河野浩二. 食道癌術後, 食道-左総頸動脈瘻を発症し心肺停止に至ったが救命し得た一例. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

滝口光一, 本多通孝, 河村英恭, 神賀貴大, 齋藤賢将, 山崎 繁, 岩尾年康, 絹田俊爾, 興石直樹, 河野浩二. 大腸癌 Stage IV における肝転移同時切除と異時切除の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

圓谷秀哲, Aung Kyi Thar Min, 三村耕作, 岡山洋和, 齋藤元伸, 渡辺洋平, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 食道扁平上皮癌 ESCC における上皮間葉移行 EMT と PD-L1 発現との関連. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717; 東京.

花山寛之, 大木進司, 佐藤孝洋, 氏家大輔, 楡井 東, 菊池智宏, 渡辺洋平, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当院における胃 GIST に対する LECS の適応に関する検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

藤田正太郎, 門馬智之, 加瀬晃志, 遠藤英成, 岡山洋和, 遠藤久仁, 坂本 渉, 齋藤元伸, 大木進司, 河野浩二. 潰瘍性大腸炎に対する至適手術介入. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

門馬智之, 加瀬晃志, 遠藤英成, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 大木進司, 河野浩二. 大腸全摘・回腸囊肛門吻合後の排便機能の評価. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

渡辺洋平, 氏家大輔, 菊池智宏, 楡井 東, 花山寛之, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 胃癌に対するNivolumabの治療成績. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717; 東京.

齋藤元伸, 小野澤寿志, 松本拓朗, 芦澤 舞, 菊池智宏, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 竹之下誠一, 河野浩二. 大腸癌の進展と転移におけるANXA1遺伝子の役割. 第26回日本がん転移学会学術集会・総会; 20190727; 大阪.

小野澤寿志, 佐藤孝洋, 伊藤美郷, 斎藤 勝, 阿美弘文, 小山善久, 河野浩二. 当院における閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後の腹腔鏡下手術症例の検討. 第74回日本大腸肛門病学会学術集会; 20191011-12; 東京.

芦澤 舞, 岡山洋和, 石亀輝英, Aung Kyi Thar Min, 斎藤勝治, 中山裕子, 氏家大輔, 野田 勝, 坂本 渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 三村耕作, 河野浩二. dMMR大腸癌におけるmiR-148a-3pによるPDL1を標的とした免疫抑制状態への制御機構. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

氏家大輔, 岡山洋和, 遠藤英成, 山田玲央, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. Stage II大腸癌における再発予後予測因子としてのKRT17. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

遠田晶生, 氏家大輔, 遠藤英成, 山田玲央, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 食道癌骨格筋転移の2例. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

遠藤英成, 加瀬晃志, 仲野 宏, 山田玲央, 氏家大輔, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌における腫瘍血管新生の評価. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

遠藤久仁, 氏家大輔, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 柴田昌彦, 河野浩二. 再発大腸がん治療中、複数の膠原病が発症した1例. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

大木進司, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 柴田昌彦, 河野浩二. Barrett食道癌の臨床病理学的特徴と治療戦略. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

岡山洋和, 遠藤英成, 加瀬晃志, 山田玲央, 山内直人, 氏家大輔, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 坂本 渉, 齋藤元伸, 三村耕作, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 直腸癌の術前放射線化学療法抵抗性を予測するバイオマーカーの作成と検証. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

小野澤寿志, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 渡辺洋平, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 残胃癌の発生時期による特徴. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

加瀬晃志, 坂本 渉, 佐藤孝洋, 山内直人, 氏家大輔, 岡山洋和, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 腹壁浸潤を伴う S 状結腸癌に対し腹壁合併ハルトマン術および腹壁再建を行った 1 例. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

片方雅紀, 三村耕作, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 加瀬晃志, 氏家大輔, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 胃癌に対する NK 細胞を用いた免疫治療の可能性. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

叶多 諒, Aung Kyi Thar Min, 岡山洋和, 齋藤元伸, 早瀬 傑, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 三村耕作, 河野浩二. 食道扁平上皮癌の EMT phenotype における PDL1 発現に関する検討. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

齋藤元伸, 芦澤 舞, 山田玲央, 遠藤英成, 加瀬晃志, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. ARID1A 変異胃癌に対する標的治療法の探索と開発. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

佐藤正樹, 氏家大輔, 遠藤英成, 山田玲央, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. IgG4 関連疾患に合併した Barret 食道癌の 1 例. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

坂本 渉, 大木進司, 滝口千晶, 加瀬晃志, 山内直人, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 腹腔鏡補助下低位前方切除術における縫合不全リスク因子解析. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

佐瀬善一郎, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 渡辺洋平, 花山寛之, 小野澤寿志, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. ロボット支援下胃切除術導入期における安全性の検討. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

柴田昌彦, 権田憲士, 中島隆宏, 三村耕作, 志村龍男, 河野浩二, 大戸 斉, 竹之下誠一. VEGF と IL-17 の制御を併用した癌免疫療法. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

滝口千晶, 大木進司, 加瀬晃志, 山内直人, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 門馬智之, 三村耕作, 柴田昌彦, 河野浩二. 直腸原発 gastrointestinal stromal tumor の 3 切除例. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

仲野 宏, 宮本康太郎, 菅野英和, 中山浩一, 浦住幸治郎, 河野浩二. 直腸肛門部悪性黒色腫に対し腹会陰式直腸切断術を行った 1 例. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

中山裕子, 三村耕作, 白石謙介, 井上正行, 中澤匡男, 井上慎吾, 河野浩二, 市川大輔. p-STAT1 は乳癌における抗 PD-1/抗 PD-L1 抗体のバイオマーカーとなりうる. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

花山寛之, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 進行食道癌の術前管理における経管栄養が与える影響. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

平田公一，河野浩二，弦間昭彦，柴田亜希子，袴田健一，水島恒和，竹政伊知朗，清家正博，石戸圭之輔，及能大輔，鶴間哲弘，及能依子．推奨医療の提案と検証の新たな体制を考える．第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

藤田正太郎，門馬智之，佐々木栄作，加瀬晃志，山内直人，岡山洋和，遠藤久仁，齋藤元伸，大木進司，佐治重衡，河野浩二．結腸・直腸癌に対する FOLFIRI+Aflibercept 療法を施行した 10 例の治療成績．第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

松石 彬，菊池智宏，三村耕作，岡山洋和，藤田正太郎，遠藤久仁，坂本 渉，齋藤元伸，門馬智之，大木進司，河野浩二．大腸癌における腫瘍関連マクロファージの分布．第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

丸山裕也，菊池智宏，三村耕作，岡山洋和，藤田正太郎，遠藤久仁，坂本 渉，齋藤元伸，門馬智之，大木進司，河野浩二．dMMR/MSI-high 大腸癌患者における CD4, CD8T 細胞の腫瘍への浸潤度．第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

門馬智之，野水 整，河野浩二，石岡千加史．東北家族性腫瘍研究会の活動からみた遺伝性腫．第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

三村耕作，仲野 宏，遠藤英成，山田玲央，氏家大輔，花山寛之，渡辺洋平，小野澤寿志，佐瀬善一郎，門馬智之，大木進司，河野浩二．放射線治療と免疫チェックポイント阻害剤併用療法の可能性．第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

山内直人，坂本 渉，遠藤英成，加瀬晃志，岡山洋和，藤田正太郎，遠藤久仁，齋藤元伸，門馬智之，大木進司，河野浩二．3.0T 造影 MRI にて術前に痔瘻癌と診断された 1 例．第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

渡辺洋平，仲野 宏，遠藤英成，山田玲央，氏家大輔，花山寛之，小野澤寿志，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，三村耕作，大木進司，河野浩二．胃癌術後化学療法後の再発における術前 Prognostic Nutritional Index(PNI)の意義．第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

芦澤 舞，齋藤元伸，山田玲央，Aung Kyi Thar Min，氏家大輔，斎藤勝治，菊池智宏，岡山洋和，藤田正太郎，遠藤久仁，坂本 渉，門馬智之，大木進司，後藤明輝，河野浩二．ARID1A 変異胃癌の分子生物学・臨床病理学的特徴の解析．第 30 回日本消化器癌発生学会総会; 20191107-08; 横浜.

猪狩翔吾，松井田元，大須賀文彦，郡司崇志，遠藤豪一，今野 修．肝床への炎症性進展により胆嚢癌との鑑別に苦慮した FDG-PET 陽性黄色肉芽腫性胆嚢炎の 1 例．第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

遠藤豪一，松井田元，大須賀文彦，郡司崇志，今野 修．術後合併症に苦しんだ症例～糖尿病を有し早期胃癌、早期大腸癌術直後心筋梗塞にて心肺停止となった 1 例～．第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

遠藤英成，坂本 渉，加瀬晃志，仲野 宏，氏家大輔，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，大木進司，河野浩二．糖尿病性ケトアシドーシス昏睡に非閉塞性腸管虚血を合併した一例．第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

叶多 諒, 坂本 渉, 加瀬晃志, 山内直人, 岡山洋和, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 上行結腸巨大憩室内で発育したゴルフボール様硬便により腸管穿孔をきたした1例. 第81回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

河野浩二, 大木進司, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 氏家大輔, 菅家康之, 山田玲央, 遠藤英成, 仲野 宏, 丸山裕也, 叶多 諒, 滝口千晶, 圓谷秀哲. 食道癌手術における呼吸器合併症と反回神経麻痺の軽減を目指した手術手技の工夫. 第81回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

柴田昌彦, 権田憲士, 中島隆宏, 齋藤元伸, 岩舘 学, 鈴木 聡, 門馬智之, 三村耕作, 志村龍男, 大竹徹, 河野浩二, 櫻本信一, 山口茂樹, 小山 勇, 竹之下誠一. 癌治療アウトカムからの炎症と宿主要因を考慮する. 第81回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

大木進司, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道癌手術侵襲および周術期因子が予後に与える影響と治療戦略に関する検討. 第17回日本消化器外科学会大会(JDDW); 20191121-24; 神戸.

坂本 渉, 加瀬晃志, 遠藤英成, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 古くて新しい手術—経仙骨アプローチによる低位骨盤内手術—. 第17回日本消化器外科学会大会(JDDW); 20191121-24; 神戸.

河野浩二, 藤原俊義, 碓 彰一, 有賀 淳, 玉田耕治, 山口佳之, 奥村晃子, 飯沼久恵, 柴田昌彦, 石原幹也, 三村耕作. 科学的根拠に基づいたがん免疫療法の評価と Publicity (班の活動報告). 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山.

中嶋正太郎, 遠藤英成, 山田玲央, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 放射線照射が誘導する食道癌微小環境でのM2マクロファージの変化—複合がん免疫療法の発展を目指して—. 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山.

山田玲央, 齋藤元伸, 遠藤英成, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 胃癌発生に関与するCDX2とIL-6/STAT3シグナルの検討. 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山.

大木進司, 佐瀬善一郎, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 胸腔鏡下食道切除術における予後予測因子に関する検討. 第32回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

金田晃尚, 東 孝泰, 芦澤 舞, 八島 玲. 閉鎖孔ヘルニア嵌頓に対して腹腔鏡下ヘルニア修復術(TAPP)を施行した1例. 第32回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

郡司崇志, 松井田元, 遠藤豪一, 大須賀文彦. 子宮全摘術後の膣脱に伴う小腸腸断端瘻に対し腹腔鏡補助下に手術を施行した1例. 第32回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

佐瀬善一郎, 仲野 宏, 氏家大輔, 渡辺洋平, 花山寛之, 小野澤寿志, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 胃癌に対するロボット支援下胃切除術導入期における安全性の評価. 第32回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

花山寛之, 仲野 宏, 遠藤英成, 菅家康之, 氏家大輔, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 高度肥満(BMI41)患者に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の経験. 第32回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

早瀬 傑, 大木進司, 佐久間芽衣, 千田 峻, 齋藤 勝, 阿美弘文, 小山善久. 潰瘍を伴う粘膜下異所性胃腺に対して CLEAN-NET を施行した1例. 第32回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

松井田元, 大須賀文彦, 郡司崇志, 遠藤豪一. 腸重積を契機に発見された多発性小腸悪性リンパ腫を術前診断し腹腔鏡補助下手術を行った1例. 第32回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

〔シンポジウム〕

Kono K, Ujiie D, Okayama H, Sato T, Endo E, Kikuchi T, Hanayama H, Watanabe Y, Saze Z, Ohki S. Circulating tumor cells by a top-notch technique in esophageal cancer patients receiving NAC. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

Mimura K, Nakayama Y, Watanabe Y, Hanayama H, Okayama H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. Clinical indication of anti-PD-1 mAb in gastric cancer in terms of mechanism of PD-L2 expression. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

Okayama H, Endo E, Ujiie D, Kikuchi T, Saito M, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Kono K. Multi-omics approaches towards precision medicine in colorectal cancer. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

河野浩二, 岡山洋和, 三村耕作, 遠藤英成, 芦澤 舞, Aung Kyi Thar Min, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司. 消化管癌における免疫抑制機序と複合免疫療法の開発. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

河野浩二, 北川雄光. 会長企画シンポジウム9 がん治療国際化 AOS 設立記念講演(司会). 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191025; 福岡.

河野浩二, 平田公一. がん診療ガイドライン統括・連絡委員企画シンポジウム がん診療ガイドラインのさらなる進歩と今後(開会・閉会の挨拶・司会). 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191026; 福岡.

河野浩二. 日本癌治療学会「がん診療ガイドラインホームページ [jscor-cpg.jp](https://www.jscor-cpg.jp)」運営とアクセス状況. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191026; 福岡.

遠藤英成, 山田玲央, 中嶋正太郎, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 腫瘍微小環境に着目した MSI-H 大腸癌予後不良群の同定. 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山.

三村耕作, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 上部消化管癌における複合免疫療法の開発. 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山.

〔特別講演〕

河野浩二. 教育講演 消化器領域における MSI-High Cancers～キイトルーダの登場がもたらす意味～. 第 40 回 癌免疫外科研究会; 20190516-17; 金沢.

〔招待講演〕

佐瀬善一郎. 胃癌治療の現状と展望. 福島県北胃癌治療懇話会; 20190329; 福島.

河野浩二. 消化器癌におけるがん免疫療法の最前線. 免疫療法のクロスオーバー～関節リウマチとがん～; 20190521; 五所川原.

河野浩二. 胃癌における免疫療法の位置づけ. 会津地区胃癌治療セミナー; 20190611; 会津若松.

河野浩二. 胃癌における免疫療法の位置づけ. 西那須野・塩原地区医師会 定例会・学術講演会; 20190613; 那須塩原.

河野浩二. 消化器がんにおける最新の治療戦略. 学術講演会; 20190620; 会津若松.

河野浩二. 胃癌における免疫療法の位置づけ. Tochigi-standard cancer treatment study meeting; 20190628; 下野.

河野浩二. 消化器癌の集学的治療の最前線. 第 17 回鹿児島腫瘍制御フォーラム; 20190705; 鹿児島.

遠藤久仁. 消化器外科領域での癒着防止剤の使用法. 消化器外科専門医を目指すセミナー in Fukushima, 2019 夏; 20190706; 福島.

遠藤久仁. FOLFIRI+affibercept 療法の検討. Colorectal Cancer Lecture; 20190726; 郡山.

花山寛之. 当科における胃癌化学療法の実状. Gastric cancer meeting 2019 in TOHOKU; 20190803; 仙台.

河野浩二. フォーラム がんと生きる. 「フォーラム がんと生きる」～こころとからだ 私らしく～; 20190804; 郡山.

大木進司. 消化管がんに対する低侵襲外科治療. 吉田富三博士功績記念講演会; 20190824; 福島.

渡辺洋平. 当科におけるニボルマブの治療成績. 福島消化器・免疫セミナー; 20190830; 福島.

大木進司. がんを正しく学ぶ～胃がん・大腸癌の最新情報. 町民健康づくり講演会; 20190905; 三春町.

河野浩二. 胃癌における免疫療法の位置づけ. 胃癌 I-O セミナー in 北上; 20190913; 北上.

河野浩二. 食道がん周術期のリハビリについて. 第 9 回がんのリハビリテーション勉強会～食道がん～; 20190918; 福島.

渡辺洋平. 2 次治療における nab-PTX+RAM の現状. UTSUKUSHIMA G・I SEMINAR 2019; 20191004; 郡山.

河野浩二. 消化器癌における最新の薬物治療. 相馬郡医師会学術講演会; 20191106; 南相馬.

大須賀文彦. 大腸癌の治療法（外科的治療）. 第 80 回日本消化器病学会東北支部市民公開講座; 20191110; 福島.

佐瀬善一郎. 胃癌の最近の治療法（外科的治療）. 第 80 回日本消化器病学会東北支部市民公開講座; 20191110; 福島.

河野浩二. 消化器癌にもっとがん免疫療法を効かせるには？ 第 17 回日本消化器外科学会大会(JDDW); 20191121-24; 神戸.

河野浩二. 消化器癌免疫療法の最前線. The 8th Chugai Oncology Seminar in SHINANOMACHI; 20191125; 東京.

〔その他〕

河野浩二. 胃癌化学療法における Clinical Question（術後早期再発、MSI-High）. Gastric cancer Meeting 2019 in TOHOKU; 20190803; 仙台.

河野浩二. 胃癌における免疫療法の位置づけ. オプジーボ WEB ライブセミナー; 20190820; 福島.

肝胆膵・移植外科学講座

論 文

〔原 著〕

Marubashi S, Ichihara N, Kakeji Y, Miyata H, Taketomi A, Egawa H, Takada Y, Umeshita K, Seto Y, Gotoh M. "Real-time" risk models of postoperative morbidity and mortality for liver transplants. Annals of Gastroenterological Surgery. 201901; 3(1):75-95.

Marubashi S, Liu JY, Miyata H, Cohen ME, Ko CY, Seto Y, Gotoh M. Surgical quality improvement programs in Japan and USA: Report from the collaborative projects between Japanese Society of Gastroenterological Surgery and American College of Surgeons National Surgical Quality Improvement Program. Annals of Gastroenterological Surgery. 201904; 3(4):343-351.

Hasegawa H, Takahashi A, Kakeji Y, Ueno H, Eguchi S, Endo I, Sasaki A, Takiguchi S, Takeuchi H, Hashimoto M, Horiguchi A, Masaki T, Marubashi S, Yoshida K, Konno H, Gotoh M, Miyata H, Seto Y. Surgical outcomes of gastroenterological surgery in Japan: Report of the National Clinical Database 2011-2017. Annals of Gastroenterological Surgery. 201904; 3(4):426-450.

Soeda S, Watanabe T, Nomura S, Kojima M, Furukawa S, Endo H, Saze Z, Ozeki T, Nishiyama H, Kenjo A, Takahashi T, Yamada H, Fujimori K,. Surgical management of recurrent gynecological cancer: Complete resection is the key to longer survival. *European Journal of Gynaecological Oncology*. 201901; 40(1):28-35.

Fujita M, Okai K, Hayashi M, Abe K, Takahashi A, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S, Hashimoto Y, Ohira H. Huge Hepatocellular Carcinoma Treated with Radical Hepatectomy after Drug-eluting Bead Transarterial Chemoembolization. *Internal Medicine*. 201904; 58(8):1103-1110.

Ashizawa M, Okayama H, Ishigame T, Thar Min AK, Saito K, Ujiie D, Murakami Y, Kikuchi T, Nakayama Y, Noda M, Tada T, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. miRNA-148a-3p Regulates Immunosuppression in DNA Mismatch Repair-Deficient Colorectal Cancer by Targeting PD-L1. *Molecular Cancer Research*. 201906; 17(6):1403-1413.

Suzuki R, Takagi T, Hikichi T, Sugimoto M, Konno N, Asama H, Watanabe K, Nakamura J, Marubashi S, Ohira H. An observation study of the prognostic effect of waiting times in the management of pancreatic ductal adenocarcinoma. *Oncology Letters*. 201901; 17(1):587-593.

Kanaji S, Takahashi A, Miyata H, Marubashi S, Kakeji Y, Konno H, Gotoh M, Seto Y. Initial verification of data from a clinical database of gastroenterological surgery in Japan. *Surgery Today*. 201904; 49(4):328-333.

Sato N, Shimura T, Kenjo A, Kimura T, Watanabe J, Muto M, Marubashi S. Pancreaticobiliary maljunction diagnosed long after laparotomy in the neonatal period for annular pancreas: report of a case. *Surgical Case Reports*. 201902; 5(1):16.

Matsumoto K, Noda T, Eguchi H, Iwagami Y, Akita H, Asaoka T, Gotoh K, Kobayashi S, Marubashi S, Umeshita K, Mori M, Doki Y. Atrophy of the Rectus Abdominis After Left-Side Donor Hepatectomy: Comparison of Upper Abdominal Midline vs Mercedes Incision. *Transplantation Proceedings*. 201906; 51(5):1496-1501.

石亀輝英, 木村 隆, 月田茂之, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 高リスク UGT1A1 遺伝子多型を有する治癒切除不能膵癌に対し FOLFIRINOX 療法を施行した2例. 癌と化学療法. 201904; 46(4):754-756.

見城 明, 丸橋 繁. 肝腫瘍および肝機能診断の進歩. *日本外科学会雑誌*. 201905; 120(3):347-349.

木村 隆, 横山 斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明. 外科医となる自信を涵養する外科臨床実習 時代にマッチした外科医のリクルート. *日本外科学会雑誌*. 201911; 120(6):713-715.

佐藤 哲, 見城 明, 吉田宗平, 菊池節夫, 津浦幸夫, 丸橋 繁. 軸捻転による腸閉塞で発見された小腸 GIST の1例. *福島医学雑誌*. 201904; 69(1):13-18.

研究発表等

〔研究発表〕

Kofunato Y, Marubashi S, Miyata H, Ko CY, Cohen M, Kakeji Y, Seto Y, Gotoh M. Collaborative Projects of NCD and American College of Surgeons National Surgical Quality Improvement Program (ACS NSQIP) for Quality Improvement in the Field of Gastroenterological Surgery. ACS Quality and Safety Conference; 20190719-22; Washington, DC, USA.

Ishigame T, Nishimagi A, Suzushino S, Muto M, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Strategy for advanced laparoscopic hepatectomy (ALH); an initial experience of three ALH cases. 7th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association(A-PHPBA2019); 20190904-07; Seoul, Korea.

佐藤直哉, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 術前胆道ドレナージと術後早期腹腔内感染症について. 第 53 回東北膵臓研究会; 20190208; 仙台.

鈴志野聖子, 月田茂之, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 当科における局所進行切除不能膵癌に対する conversion surgery についての検討. 第 53 回東北膵臓研究会; 20190208; 仙台.

西間木淳, 土屋貴男, 塩 功貴, 齋藤敬弘, 大谷 聡, 伊藤藤男, 三浦純一. Stage IA 膵癌に対して腹腔鏡下膵体尾部切除術を施行した 1 例. 第 53 回東北膵臓研究会; 20190208; 仙台.

渡邊淳一郎, 阿部 幹, 鈴木優也, 金田晃尚, 阿佐見亜矢佳, 鈴木伸康, 佐藤 直, 寺西 寧. 術後膵液瘻による仮性肝動脈瘤に対しステントを留置した 2 例. 第 53 回東北膵臓研究会; 20190208; 仙台.

小船戸康英, 町野 翔, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 転移性膵癌 4 症例の検討. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会; 20190209; 仙台.

月田茂之, 小船戸康英, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腸回転異常を伴った膵癌に対し膵全摘術を施行した 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会; 20190209; 仙台.

武藤 亮, 小船戸康英, 月田茂之, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腎細胞癌胆嚢転移に対して胆嚢摘出術を施行した 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会; 20190209; 仙台.

岡田 良, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝癌・肝切除の取り組みについて. 生活習慣病と消化器疾患フォーラム; 20190215; 福島.

石亀輝英, 月田茂之, 岡田 良, 見城 明, 丸橋 繁. 肝胆膵外科領域における遺伝子組み換えトロンボモジュリンの有用性に関する検討. 第 55 回日本腹部救急医学会総会; 20190307-08; 仙台.

岡田 良, 石亀輝英, 月田茂之, 見城 明, 丸橋 繁. 肝動脈塞栓術後に腹腔鏡下肝切除術を施行した破裂肝細胞癌の2例. 第55回日本腹部救急医学会総会; 20190307-08; 仙台.

月田茂之, 岡田 良, 石亀輝英, 見城 明, 丸橋 繁. EST 後十二指腸穿孔により生じた後腹膜膿瘍に1例. 第55回日本腹部救急医学会総会; 20190307-08; 仙台.

楡井 東, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 脂肪由来幹細胞(ADSC)および臍島細胞の積層化シート移植の効果. 第46回日本臍・臍島移植研究会; 20190308-09; 名古屋.

月田茂之, 小船戸康英, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 低用量CDDPの長期投与により、著明な抗腫瘍効果を示した再発MiNENの1例. 第52回制癌剤適応研究会; 20190315; 神戸.

田中秀明, 後藤悠大, 清水裕史, 見城 明, 桃井伸緒. 先天性門脈大循環シャントに対する絞扼術—当院における2例の経験. 第30回東北小児肝胆膵消化管研究会; 20190316; 仙台.

月田茂之. 臍頭十二指腸切除後の栄養管理における高力価パンクレリパーゼ製剤の有用性の検討. 福島市医師会学術講演会; 20190412; 福島.

石亀輝英, 木村 隆, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 丸橋 繁. 胆嚢癌縮小手術の功罪に関する検討. 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 河野浩二, 丸橋 繁. インスリンノーマ手術における術中インスリン値・血糖値モニタリング. 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

木村 隆, 鈴木眞一, 横山 斉, 河野浩二, 鈴木弘行, 大竹 徹, 丸橋 繁, 田中秀明. 時代にマッチした外科医の育成(特別企画). 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

見城 明, 丸橋 繁, 遠藤俊吾, 鈴木弘行. 外科医にとっての働き方改革とは(特別企画). 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

佐藤直哉, 岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 膵癌に対する術前化学放射線治療の忍容性と安全性に関する検討. 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

塩 功貴, 土屋貴男, 大谷 聡, 斎藤敬弘, 西間木淳, 伊東藤男, 三浦純一. 早期診断膵癌に対し腹腔鏡下膵体尾部切除術を施行した1例. 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

月田茂之, 小船戸康英, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 楡井 東, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆. 肝切除症例における術後呼吸器合併症の危険因子の検討. 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

武藤 亮, 木村 隆, 月田茂之, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志

村龍男, 丸橋 繁. 臍頭十二指腸切除術後における晩期胆道合併症の危険因子解析. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

鈴志野聖子, 佐藤直哉, 月田茂之, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 当科における局所進行切除不能膵癌に対する Conversion surgery 実施 4 例の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

石亀輝英, 木村 隆, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. AIS コーディングに基づく腹部外傷アウトカム評価の検討. 日本臨床外科学会第 6 回福島県支部学術集会東北支部会; 20190427; 福島.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. IPMN における至適術式の検討. 日本臨床外科学会第 6 回福島県支部学術集会東北支部会; 20190427; 福島.

武藤 亮. ウォータージェットメスを用いて完全に肝切除を施行しえた悪性褐色細胞腫肝転移の 1 例. 2019 年度第 1 回県北肝・代謝疾患研究会; 20190514; 福島.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 西間木淳, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. WHO 分類改訂により診断・治療方針を再考した膵神経内分泌腫瘍の一例. 第 11 回 Tohoku-NET WORK; 20190518; 仙台.

田中秀明, 後藤悠大, 清水裕史, 見城 明, 桃井伸緒. 尾状葉の実質内を走行する門脈大循環シャントに対する絞扼術を施行した 1 例. 第 56 回日本小児外科学会学術集会; 20190523-25; 久留米. 日本小児外科学会雑誌. 55(3):508.

青木剛志, 渡邊淳一郎, 鈴木優也, 金田晃尚, 阿左見垂矢佳, 鈴木伸康, 佐藤 値, 阿部 幹, 寺西 寧. Meckel 憩室の捻転・壊死により腸閉塞を来した 1 例. 第 177 回東北外科集談会; 20190608; 仙台.

及川 孔, 後藤悠大, 滝口和暁, 三森浩太郎, 清水裕史, 高木忠之, 見城 明, 田中秀明. 腹腔鏡下ドレナージ術により膵温存が可能であった主膵管損傷を伴う小児膵外傷の 1 例. 第 92 回日本小児外科学会東北地方会; 20190608; 仙台.

Ishigame T, Kimura T, Tsukita S, Suzushino S, Muto M, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Clinical Significance of Assessment on Lymphatic and Blood Vessel invasion in Ampullary Cancer. 第 31 回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Kakuta K, Sato N, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. A case of teicoplanin-induced hemophagocytic syndrome after pancreaticoduodenectomy. 第 31 回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Kenjo A, Tsukita S, Suzushino S, Muto M, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Shimura T, Marubashi S. Treatment Outcomes for Patients with Recurrent Intrahepatic Cholangiocarcinoma. 第 31 回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Kimura T, Tsukita S, Suzushino S, Muto M, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. A Simple and Low-cost Surgery Training Simulator for Pancreaticojejunostomy. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Kofunato Y, Kimura T, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. The size of mural nodule is associated with malignant alteration and lymph node metastasis in IPMN. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Muto M, Kimura T, Tsukida S, Suzushino S, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Treatment strategy for type III pancreatic injury; 3 case reports of children. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Nishimagi A, Tsuchiya T, Saito T, Ohtani S, Ito F, Miura J. A case of neuroendocrine carcinoma of the gallbladder. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Sato N, Muto M, Suzushino S, Tsukida S, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Optimal range of lymph node dissection for pancreatic neuroendocrine tumor. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Sato N, Kimura T, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Muto M, Suzushino S, Tsukida S, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Comparison of diagnostic performance in detecting liver fibrosis between MR elastography and novel serum fibrosis markers. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Suzushino S, Sato N, Tsukida S, Muto M, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Evaluation of real-time ICG clearance meter for predicting postoperative liver dysfunction after major hepatectomy. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Tsukida S, Kofunato Y, Suzushino S, Muto M, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. An adult case of pancreatotomy for pancreatic cancer with intestinal malrotation. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Watanabe J, Abe T, Suzuki N. Two cases in which a stent was placed in a pseudoaneurysm due to postoperative pancreatic fistula. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

木村 隆, 佐藤直哉, 見城 明, 岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 志村龍男, 丸橋 繁. 切除可能膵癌に対する術前放射線化学療法の免疫学的側面の検討. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

見城 明, 佐藤直哉, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 丸橋 繁. 生体肝移植後の胆道合併症の低減に向けた Open-up 法の有用性に関する検討. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

後藤悠大, 滝口和暁, 三森浩太郎, 尾形誠弥, 清水裕史, 高木忠之, 見城 明, 田中秀明. 小児重症膵外傷に

における保存的療法の有用性と外科的介入の必要性. 第 33 回日本小児救急医学会学術集会; 20190621-22; さいたま.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝内胆管癌の予後予測マーカーとしての Lymphocyte-to-Monocyte Ratio の有用性. 第 55 回日本肝癌研究会; 20190704-05; 東京.

鈴志野聖子, 佐藤直哉, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 当科における pStage I の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

月田茂之, 岡田 良, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 膵頭十二指腸切除術後の栄養管理における高力価バンクレリパーゼ製剤の有用性. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

土屋貴男, 西間木淳, 斎藤敬弘, 大谷 聡, 伊東藤男, 塩 功貴, 三浦純一. 慢性膵炎に対する外科治療の問題点. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

西間木淳, 土屋貴男, 斎藤敬弘, 大谷 聡, 伊東藤男, 三浦純一. 集学的治療により根治術が得られた多発肝転移を伴う若年性 AFP 産生胃癌の一切除例. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

武藤 亮, 木村 隆, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝細胞癌に対する肝切除における 1mm 以下の切除断端距離と術後再発に関する解析. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

西間木淳, 見城 明, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 丸橋 繁. 生体肝移植術後 de novo 膀胱・食道異時性重複癌の 1 例. 第 37 回日本肝移植学会; 20190725-26; 京都.

石亀輝英. 臍仮性嚢胞・Walled-off Necrosis(WON)に対する外科治療の検討. 福島消化器疾患セミナー; 20190910; 福島.

土佐太朗, 角田圭一, 渡邊淳一郎, 平井文子, 平井 恒, 宮澤正紹, 又吉一仁, 武藤 淳. 義歯誤飲による小腸異物に対し腹腔鏡補助下小腸部分切除術を施行した 1 例. 第 178 回東北外科集談会; 20190914; 青森.

武藤 亮, 木村 隆, 西間木淳, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下肝外胆管切除術を実施した先天性胆道拡張症の 2 例. 第 55 回日本胆道学会学術集会; 20191003-04; 名古屋.

石亀輝英. 当院における膵癌薬物療法の使用経験. うつくしま肝胆膵外科フォーラム 2019; 20191005; 福島.

岡田 良, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 膵移植後に生じたグラフト血栓症に対して保存的治療を行った症例. 第 55 回日本移植学会総会; 20191010-12; 広島.

田中秀明, 角田圭一, 町野 翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 佐藤晶論, 木村 隆, 見城 明, 丸橋 繁. 小児肝移植患者における PCR 法を用いた human herpes virus 6 のモニタリング. 第 55 回日本移

植学会総会; 20191010-12; 広島. 移植. 54:255.

西間木淳, 見城 明, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 後藤悠大, 清水裕史, 田中秀明, 丸橋 繁. 当科における肝移植後 de novo 悪性腫瘍に関する検討. 第55回日本移植学会総会; 20191010-12; 広島.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 西間木淳, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 脾全摘術の治療成績. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

小船戸康英. BR/UR 脾癌の治療成績向上を目指して. 福島消化器病セミナー; 20191029; 福島.

小船戸康英, 木村 隆, 塩 功貴, 滝口千晶, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. BR/UR 脾癌に対する治療戦略および治療成績. 第32回東北脾・胆道癌研究会; 20191102; 仙台.

石亀輝英. 当科における脾脾領域疾患に対する腹腔鏡下手術の現状. 第367回福島消化器病研究会; 20191108; 福島.

鈴志野聖子, 小船戸康英, 西間木淳, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 外傷性主膵管損傷による膵液瘻にて重症膵炎を発症し緊急手術にて救命しえた一例. 第81回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

松石 彬, 小船戸康英, 見城 明, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 丸橋 繁. エタノール注入法が有効であった有症状の難治性腹腔内嚢胞の一例. 第81回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

石亀輝英, 木村 隆, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 切除不能脾癌に対する FOLFIRINOX 療法および GnP 療法の意義. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 引地拓人, 田中秀明, 丸橋 繁, 大平弘正. 外傷性脾損傷における ERP の有用性に関する検討. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下肝切除術において術前フレイルが術後栄養状態に与える影響. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

小船戸康英, 木村 隆, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. Lymphocyte-to-Monocyte Ratio を用いた肝内胆管癌の予後予測. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

月田茂之, 小船戸康英, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 脾癌根治切除後症例における早期再発予測マーカーの検討. JDDW2019 KOBE; 20191121-

24; 神戸.

武藤 亮, 小船戸康英, 月田茂之, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腎細胞癌胆嚢転移に対して胆嚢摘出術を施行した 1 例. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

石亀輝英, 岡田 良, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. EUS-FNA で診断された若年男性の膵 solid-pseudopapillary neoplasm の 1 例. 第 11 回膵臓内視鏡外科研究会; 20191204; 横浜.

岡田 良, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下分流手術を行った肝動脈走行異常を伴った成人先天性胆道拡張症の 1 例. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

西間木淳, 小船戸康英, 木村 隆, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝嚢胞に対し ICG を用いた腹腔鏡下開窓術及び大網充填術が有効であった 1 例. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

〔シンポジウム〕

丸橋 繁, 木村 隆, 見城 明. 我が国における肝移植の現状と課題. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会; 20190209; 仙台.

佐藤直哉, 岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝胆膵外科手術における術中偶発する血行障害・再建について. 第 55 回日本腹部救急医学会総会; 20190307-08; 仙台.

小船戸康英, 丸橋 繁, 宮田裕章, Ko Clifford, 掛地吉弘, 瀬戸泰之, 後藤満一. Collaborative projects of NCD and NSQIP for quality improvement of gastroenterological surgery. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

Kofunato Y, Marubashi S, Miyata H, Kakeji Y, Seto Y, Gotoh M. Study of morbidity and mortality in pancreaticoduodenectomy: Collaborative projects of NCD and NSQIP. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

石亀輝英, 木村 隆, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 非大腸癌肝転移に対する肝切除の現状とその意義. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

丸橋 繁, 見城 明, 木村 隆, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 志村龍男, 江口英利, 永野浩昭. 肝移植における挑戦と達成: 肝移植術後死亡リスク因子の検討と, 術後成績の向上をめざした手術手技の工夫. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

丸橋 繁, 木村 隆, 見城 明. 肝細胞癌に対する肝移植の腫瘍条件の再考: ミラノ基準からの適応拡大の是非. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

岡田 良, 西間木淳, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下肝切除における若手外科医執刀に向けての取り組み. 第13回肝臓内視鏡外科研究会; 20191205-07; 横浜.

〔特別講演〕

丸橋 繁. 脾臓移植と、保険収載を目指した脾臓移植の現況. 第13回移植治療研究会; 20190424; 京都.

丸橋 繁. 肝胆脾外科における腹腔内感染症の診断と治療. 福島腹腔内感染症懇話会; 20190626; 福島.

岡田 良. 脾神経内分泌腫瘍治療のupdate. 脾・消化管神経内分泌腫瘍セミナー in いわき; 20191108; いわき.

〔招待講演〕

丸橋 繁. 消化器外科ってどんなところ? 福島赤十字病院 研修医レクチャー; 20190125; 福島.

〔その他〕

丸橋 繁. 安全な腹腔鏡下肝切除を目指した取り組みと工夫 (学術共催セミナー). 第55回日本腹部救急医学会総会; 20190307-08; 仙台.

木村 隆. 肝葉切除で肝胆脾高度技能医を獲得するためのコツとピットホール. 日本肝胆脾外科学会地域教育セミナー東北地区; 20190608; 仙台.

岡田 良. みんなで学ぼう胃癌・大腸癌・肝臓癌 ～最近の治療方法～ 「肝臓癌の外科的治療」. 日本消化器病学会東北支部第80回市民公開講座; 20191110; 福島.

呼吸器外科学講座

論 文

〔原 著〕

Takahashi N, Hoshi H, Higa A, Hiyama G, Tamura H, Ogawa M, Takagi K, Goda K, Okabe N, Muto S, Suzuki H, Shimomura K, Watanabe S, Takagi M. An In Vitro System for Evaluating Molecular Targeted Drugs Using Lung Patient-Derived Tumor Organoids. Cells. 201905; 8(5):481.

Shimura T, Shibata M, Inoue T, Owada-Ozaki Y, Yamaura T, Muto S, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H. Prognostic impact of serum transthyretin in patients with non-small cell lung cancer. Molecular and Clinical Oncology. 201906; 10(6):597-604.

Matsumura Y, Stiles KM, Reid J, Frenk EZ, Cronin S, Pagovich OE, Crystal RG. Gene Therapy Correction of Aldehyde Dehydrogenase 2 Deficiency. *Molecular Therapy Methods & Clinical Development*. 2019; 15:72-82.

Furuta M, Sakakibara-Konishi J, Kikuchi H, Yokouchi H, Nishihara H, Minemura H, Harada M, Yamazaki S, Akie K, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Harada T, Minami Y, Watanabe N, Oizumi S, Suzuki H, Nishimura M, Dosaka-Akita H, Isobe H; Hokkaido Lung Cancer Clinical Study Group. Analysis of DLL3 and ASCL1 in Surgically Resected Small Cell Lung Cancer (HOT1702). *Oncologist*. 2019; 24(11):e1172-e1179.

〔総説等〕

樋口光徳, 鈴木弘行. 【特集】胸部外科手術の基本手技とコツ up to date II. 呼吸器領域 10. 臍胸における開窓術と有茎筋弁・大網充填術. *胸部外科*. 2019; 72(10):854-858.

木村 隆, 横山 斉, 鈴木真一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明. 第119回日本外科学会定期学術集会特別企画(4)「時代にマッチした外科医の育成」4. 外科医となる自信を涵養する外科臨床実習—時代にマッチした外科医のリクルーター—. *日本外科学会雑誌*. 2019; 120(6):713-715.

〔症例報告〕

Fujiu K, Fukaya Y, Kamimoto M, Miyamoto H, Cong Y, Suzuki H. Combined Application of Nivolumab and Intravesical Bacillus Calmette-Guérin Led to Acute-Onset Type 1 Diabetes. *Case Reports in Oncology*. 2019; 12(2):430-433.

Higuchi M, Watanabe M, Endo K, Oshibe I, Soeta N, Saito T, Hojo H, Suzuki H. Wine cup stoma anastomosis after extended sleeve lobectomy for central-type squamous cell lung cancer. *Journal of Cardiothoracic Surgery*. 2019; 14(1):36.

Hasegawa T, Ozaki Y, Inoue T, Watanabe Y, Fukuhara M, Yamaura T, Muto S, Okabe N, Higuchi M, Shio Y, Suzuki H. Nivolumab-related severe thrombocytopenia in a patient with relapsed lung adenocarcinoma: a case report and review of the literature. *Journal of Medical Case Reports*. 2019; 13(1):316.

渡部晶之, 齋藤拓朗, 添田暢俊, 押部郁朗, 樋口光徳, 根本鉄太郎, 歌野健一, 五十畑則之, 高柳大輔, 遠藤俊吾, 角田三郎, 大田雅嗣. 下部胆管癌に対する膵頭十二指腸切除術後に後天性血友病を併発した一例. *Japanese Journal of Acute Care Surgery*. 2019; 8(2):221-226.

武藤哲史, 尾崎有紀, 井上卓哉, 山浦 匠, 福原光朗, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 右B¹⁺³転位気管支を伴う右上葉肺癌に対して胸腔鏡下肺葉切除術を行った1例. *気管支学*. 2019; 41(3):293-297.

樋口光徳, 渡部晶之, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 両側後縦隔原発の髄外造血巣の1手術例. *日本呼吸器外科学会雑誌*. 2019; 33(4):413-419.

樋口光徳, 歌野健一, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 術前3D-CTでAdamkiewicz動脈を確認し, 術中に温存し得た後縦隔腫瘍の1例. *日本呼吸器外科学会雑誌*. 2019; 33(6):667-671.

峯 勇人, 岡部直行, 高木玄教, 深井智司, 山口佳子, 鈴木弘行. 重症筋無力症合併硬化性胸腺腫の1切除例. 肺癌. 201910; 59(5):467-470.

〔その他〕

鈴木弘行. 編集後記. 日本免疫治療学会誌. 201911; 7:34.

研究発表等

〔研究発表〕

Matsumura Y, Hart F, Pagovich OE, Stiles KM, Crystal RG. AAV-Mediated Gene Therapy for Aldehyde Dehydrogenase 2 Deficiency Reduces Acetaldehyde-Related DNA Adduct and Damage of Esophagus. American Society of Gene and Cell Therapy 22nd Annual Meeting; 20190429-0502; Washington, DC, USA. Molecular Therapy. 27(4 S1):373-374.

Suzuki H, Inoue T, Takagi H, Watanabe M, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Hasegawa T, Shio Y, Minemura H, Kanazawa K, Ohbuchi K, Fukushima T. Metabolites as mediator for alleviating adverse effects in chemotherapy: A new finding from a recent study of Japanese traditional Kampo medicine, rikkunshito (RKT). 2019 ASCO Annual Meeting; 20190531-0604; Chicago, USA. Journal of Clinical Oncology. 37(15 suppl):e18292.

Takagi H, Zhao S, Muto S, Mine H, Watanabe M, Ozaki Y, Okabe N, Hasegawa T, Shio Y, Aoki M, Tan C, Shimoyama S, Nakamura K, Inano A, Suzuki H. Delta-Like 1 Homolog (DLK1) Expression in Non-Small-Cell Lung Cancer and the Development of Radioimmunotherapy Targeting DLK1. IASLC 2019 World Conference on Lung Cancer; 20190907-10; Barcelona, Spain. Journal of Thoracic Oncology. 14(10, Supplement):S426-S427.

Watanabe M, Higashi T, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Hasegawa T, Shio Y, Sugimoto K, Chiba H, Suzuki H. Characterization of Claudin15 as a New Diagnostic Marker for Malignant Pleural Mesotheliomas. IASLC 2019 World Conference on Lung Cancer; 20190907-10; Barcelona, Spain. Journal of Thoracic Oncology. 14(10, Supplement):S762-S763.

Okabe N, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Muto S, Hasegawa T, Shio Y, Park W, Lopes G, Suzuki H. iSEND Model as a Predictor of Efficacy in Immune Checkpoint Inhibitors for Non-Small Cell Lung Cancer: Fukushima Cohort. IASLC 2019 World Conference on Lung Cancer; 20190907-10; Barcelona, Spain. Journal of Thoracic Oncology. 14(10, Supplement):S935.

高木玄教, 武藤哲史, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. リンパ上皮腫様癌に類似の病理像を呈した肺腫瘍の一切除例. 第35回東北肺癌研究談話会; 20190202; 仙台.

武藤哲史. 当科における Nivolumab の使用経験. Surgical Immunology Conference 2019; 20190309; 福島.

高木玄教, 鈴木弘行, 塩 豊, 長谷川剛生, 岡部直行, 武藤哲史, 渡部晶之, 峯 勇人. リンパ上皮腫様癌に類似の病理像を呈した肺腫瘍の一切除例. 第29回三地区合同肺癌・呼吸器疾患研究会; 20190406; 郡山.

塩 豊, 高木玄教, 井上卓哉, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 武藤哲史, 長谷川剛生, 鈴木弘行. 治療支援アプリ導入による有用性の検討～肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤による治療開始時における介入試験の概要報告. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌術後再発症例における PD-1/PD-L1 阻害薬の効果予測因子としての iSEND モデルの有用性. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

見城 明, 丸橋 繁, 遠藤俊吾, 鈴木弘行. 外科医の働き方改革: 特定行為研修修了者の活用に向けた課題と対応策. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

山浦 匠, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 肺腺癌切除検体における PD-L1 発現. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

樋口光徳, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 微小肺髄膜細胞様結節(MPMN)における Neurofibromatosis(NF)-2 遺伝子変異の検索. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

武藤哲史, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌における β -catenin の発現と, 樹状細胞・リンパ球の腫瘍浸潤との関係. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

木村 隆, 鈴木眞一, 横山 斉, 河野浩二, 鈴木弘行, 大竹 徹, 丸橋 繁, 田中秀明. 外科医となる自信を涵養する外科臨床実習一時代にマッチした外科医のリクルーター. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

高木玄教, 鈴木弘行, 塩 豊, 長谷川剛生, 岡部直行, 武藤哲史, 井上卓哉, 尾崎有紀, 渡部晶之. 当院での臨床病期 IA 期肺癌における消極的縮小手術の予後因子の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

高木玄教. 当科における EGFR-TKI 耐性獲得後 re-biopsy を行った非小細胞肺癌の検討. 日本臨床外科学会第 6 回福島県支部学術集会; 20190427; 福島.

峯 勇人. 気管支内発生 of 肺多形癌の一例. 日本臨床外科学会第 6 回福島県支部学術集会; 20190427; 福島.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 肺癌術後再発に対する免疫チェックポイント阻害薬投与の検討～効果予測因子 iSEND モデルの検討～. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):O17-3.

樋口光徳, 歌野健一, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 術前 3D-CT で Adamkiewicz 動脈を確認し, 温存し得た後縦隔腫瘍の 1 手術例. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):P25-3.

高木玄教, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 原発性肺

癌における Delta-like 1 homolog(DLK1)の臨床的意義. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):P62-1.

武藤哲史, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌における, β -catenin の発現と, 樹状細胞・リンパ球の腫瘍浸潤を介した免疫編集. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):RO1-2.

塩 豊, 渡邊 譲, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦 匠, 松村勇輝, 岡部直行, 武藤哲史, 長谷川剛生, 鈴木弘行. 治療支援アプリの構築および外来への導入により広域な医療圏の診療を補助する試み. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):RO6-2.

渡部晶之, 東 智仁, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 杉本幸太郎, 千葉英樹, 鈴木弘行. 胸膜悪性中皮腫診断における抗 Cldn15 抗体の有用性. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):RO14-3.

峯 勇人, 長谷川剛生, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩 豊, 鈴木弘行. 臍胸手術症例の臨床的検討. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):RO18-1.

長谷川剛生, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩 豊, 鈴木弘行. 左肺尖部肺癌に対する根治的放射線化学療法後のサルベージ手術. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):RV10-1.

塩 豊, 高木玄教, 渡部晶之, 井上卓哉, 山浦 匠, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 鈴木弘行. 当院における呼吸器外科領域に対するロボット支援下手術導入の経験. 第 30 回内視鏡外科フォーラム in 仙台; 20190518; 仙台.

渡部晶之. 悪性胸膜中皮腫診断における抗 Cldn15 抗体の有用性. 第 4 回温熱化学療法研究会; 20190525; 福島.

丸谷慶将, 渡部晶之, 峯 勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. エストロゲンレセプター抗体陽性の肺嚢胞上皮を認めた月経随伴性気胸の一例. 第 103 回日本胸部外科学会東北地方会; 20190608; 仙台.

峯 勇人, 渡部晶之, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 気管支鏡生検検体と手術摘出検体における PD-L1 発現率の比較. 第 103 回日本胸部外科学会東北地方会; 20190608; 仙台.

長谷川剛生, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩 豊, 鈴木弘行. 消化器外科手術歴を有する肺癌切除症例の臨床的検討. 第 28 回日本癌病態治療研究会; 20190627-28; 川越.

高木玄教, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 原発性肺癌における Delta-like 1 homolog(DLK1)の臨床的意義の検討. 第 28 回日本癌病態治療研究会; 20190627-28; 川越.

渡部晶之, 武藤哲史, 高木玄教, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 気管支鏡生検検体と手術摘出検体における PD-L1 発現率の比較. 第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20190704-05; 東京. 気管

支学. 41(Suppl):S234.

高木玄教, 趙 松吉, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 粟生木美穂, 稲野彰洋, 鈴木弘行. 原発性肺癌における治療標的としての Delta-like 1 homolog(DLK1)検索. 第 11 回福島県肺癌研究会; 20190720; 郡山. 福島医学雑誌. 69(3):253.

武藤哲史, 山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 二次治療以降における免疫チェックポイント阻害薬の投与経験. 第 11 回福島県肺癌研究会; 20190720; 郡山. 福島医学雑誌. 69(3):254.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. ペンブロリツマブが著効した, 大細胞肺癌の一例. 第 58 回日本肺癌学会東北支部会・第 45 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20190727; 盛岡.

武藤哲史, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌患者の PBMC を用いた, 腫瘍浸潤リンパ球数のモニタリング. 第 23 回日本がん免疫学会総会; 20190821-23; 高知.

渡部晶之. 周術期診断に苦慮した気管支断端瘻の一例. 第 4 回東北胸部疾患研究会; 20190831; 山形.

佐藤宏樹, 岡部直行, 山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 頻回な肺炎を契機に発見された先天性嚢胞状腺腫様形成異常(CCAM)の一切除例. 第 104 回日本胸部外科学会東北地方会; 20190914; 青森.

山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. TBLB で肺扁平上皮癌と診断されたが, 術前に腫瘍が自然消退した 1 例. 第 104 回日本胸部外科学会東北地方会; 20190914; 青森.

川又崇弘, 樋口光徳, 押部郁朗, 町野 翔, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. Pembrolizumab にて病理学的寛解が得られた進行非小細胞肺癌の 1 例. 第 104 回日本胸部外科学会東北地方会; 20190914; 青森.

武藤哲史. チーム医療ワークショップ参加後の自施設での取り組み. 福島県肺がんチーム医療ワークショップフォローアップ講演会; 20190921; 郡山.

岡部直行. 肺癌化学療法に起因する食欲不振に対する六君子湯の有効性を検討する二重盲検無作為化並行群間比較試験-RICH study の報告一. 第 11 回福島県立医大東洋医学研究会; 20191017; 福島.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対する ICI による治療経験: 効果予測因子としての iSEND モデルの検討. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

渡部晶之, 東 智仁, 峯 勇人, 高木玄教, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 杉本幸太郎, 千葉英樹, 鈴木弘行. 胸膜悪性中皮腫診断における抗 Cldn15 抗体の有用性. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 当科における胸腺癌治療の検討. 第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191030-1102; 京都.

武藤哲史, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌患者における、末梢血を用いた腫瘍浸潤リンパ球数モニタリング. 第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191030-1102; 京都.

渡部晶之, 峯 勇人, 高木玄教, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 診断に難渋した肺癌術後気管支断端瘻の一例. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知. 日本臨床外科学会雑誌. 80(Supplement):S680.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. ペンブロリツマブが著効した、肺大細胞癌の一例. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知. 日本臨床外科学会雑誌. 80(Supplement):S821.

高木玄教, 趙 松吉, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 松村勇輝, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 栗生木美穂, 稲野彰洋, 鈴木弘行. Delta-like 1 homolog(DLK1)を標的とした治療開発および臨床的意義. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):52.

長谷川剛生, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩 豊, 鈴木弘行. 局所進行肺癌に対するペンブロリツマブ併用化学療法後サルベージ手術の経験. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):62.

渡部晶之, 峯 勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. ICI 投与後に irAE を認めたため単回投与にて終了した 3 症例の検討. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):63.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌 1 次治療に対する免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法の使用経験. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):64.

武藤哲史, 松石 彬, 山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. β -catenin を発現する非小細胞肺癌における、樹状細胞・リンパ球の腫瘍内浸潤低下による免疫逃避メカニズム. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):577.

渡部晶之, 東 智仁, 峯 勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 杉本幸太郎, 千葉英樹, 鈴木弘行. 胸膜悪性中皮腫診断における抗 Claudin15 抗体の有用性. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):666.

高木玄教, 趙 松吉, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 栗生木美穂, 稲野彰洋, 鈴木弘行. Delta-like 1 homolog(DLK1)を標的とした治療開発および臨床的意義の検討. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):683.

峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. EGFR 遺伝子変異陽性肺癌においても, TP53 変異陽性例では Tumor Mutation Burden が高い. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):692.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌 1 次治療における免疫チェックポイント阻害薬と化学療法併用レジメンの検討. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):793.

大杉 純. 免疫チェックポイント阻害剤投与後の進行・再発非小細胞肺癌に対するドセタキセル+ラムシルマブの使用経験. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):797.

樋口光徳, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 北條 洋, 山田壮亮, 浦本秀隆, 鈴木弘行. 集学的治療で長期 CR が得られた, 胸膜播種を伴った未分化多型肉腫の 1 例. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):806.

猪俣 頌, 山浦 匠, 穴沢予識, 鈴木弘行. 有害事象により Pembrolizumab 療法を中止した以降も長期奏功を得られている再発非小細胞肺癌 2 例の経験. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):815.

松石 彬, 岡部直行, 山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. Pembrolizumab と Pemetrexed+Platinum 製剤併用療法治療中に副腎不全を発症した 1 例. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):820.

山浦 匠, 猪俣 頌, 穴沢予識, 鈴木弘行. 当院における局所進行非小細胞肺癌に対する Durvalumab の治療成績. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):867.

山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. ニボルマブと局所放射線治療を併用して長期間の病勢制御を得た症例. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):901.

〔シンポジウム〕

武藤哲史. Panel discussion パネリスト. I-O Next Steps Seminar; 20190511; 東京.

長谷川剛生, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩 豊, 鈴木弘行. 消化器外科手術歴を有する非小細胞肺癌手術症例の解析. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):PD3-5.

鈴木弘行. 胸部悪性腫瘍に対する免疫療法の現状と課題. 第 26 回 HAB 研究機構学術年会; 20190620-22; 東京.

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害薬の臨床開発の現状と課題. 第 23 回日本がん免疫学会総会; 20190821-23; 高知.

長谷川剛生. 総合討論「肺癌化学療法での FN マネジメントの重要性を考える」 ディスカッション. 肺癌診療ガイドライン 2018 を踏まえたがん化学療法と FN マネジメントを考える; 20191005; 福島.

鈴木弘行, 塩 豊, 長谷川剛生, 松村勇輝, 岡部直行, 武藤哲史, 山浦 匠, 福原光朗, 井上卓哉, 渡部晶之, 尾崎有紀, 高木玄教, 峯 勇人, 山口 光. 腫瘍微小環境から読み解く ICI 併用療法における課題. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):37.

武藤哲史, 山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 肺癌の腫瘍浸潤リンパ球数を PBMC でモニタリングする試み. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):45.

〔特別講演〕

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害剤の将来像. 第 5 回肺がん免疫療法研究会; 20190125; 秋田.

鈴木弘行. 腫瘍免疫研究における基礎と展望. 多摩・相模原 Immuno-Oncology Seminar; 20190201; 東京.

鈴木弘行. 免疫療法による癌治療のパラダイムシフト. 第 24 回頭頸部癌化学療法研究会; 20190301; 東京.

鈴木弘行. 非小細胞肺癌における免疫療法の新展開. 小樽肺がん診療セミナー; 20190314; 小樽.

鈴木弘行. 腫瘍免疫の進歩と今後の課題. 第 45 回 LOGIK 九州肺癌セミナー; 20190406; 福岡.

鈴木弘行. 一般診療医にも知ってもらいたい呼吸器外科疾患. 南相馬市立総合病院第 1 回月例医学勉強会; 20190606; 南相馬.

鈴木弘行. 最新の肺癌治療シーケンス. 仙台肺癌講演会; 20190614; 仙台.

鈴木弘行. がん免疫療法の新展開～コンビネーション治療を考える～. 第 4 回東北腫瘍免疫シンポジウム; 20190622; 仙台.

鈴木弘行. 非小細胞肺癌における免疫療法の進歩. 第 37 回岩手肺癌懇話会; 20190628; 盛岡.

鈴木弘行. 肺癌に対する免疫療法の新展開. 第 24 回三重肺癌キモセラピー研究会; 20190712; 津.

鈴木弘行. 基礎から考える免疫療法の今後の展望. HANSHIN Thoracic Immuno-Oncology Seminar; 20190802; 西宮.

鈴木弘行. 免疫と薬物療法の進歩は肺癌外科治療を変えるか? 第 17 回 FIT 呼吸器外科研究会; 20190928; 金沢.

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害剤と外科治療の進歩. 第 34 回関東呼吸器研究会 (チェストカンファレンス); 20191002; さいたま.

鈴木弘行. 肺癌治療の新たな潮流～ロボット支援手術と免疫療法の進歩～. 南部徳洲会病院医療講演会; 20191024; 八重瀬町.

鈴木弘行. 肺癌治療の新たな潮流. 会津若松市肺癌講演会; 20191106; 会津若松.

鈴木弘行. 肺がん治療における新たな潮流. Lung Cancer エリア WEB セミナー; 20191212; 浜松(Web 配信).

〔招待講演〕

鈴木弘行. 外科医が知っておきたい腫瘍免疫の知識. 第 187 回熊本外科集談会; 20190113; 熊本.

大杉 純. 呼吸器疾患の臨床について (検査から治療まで). 平成 30 年度福島県臨床検査技師会県南支部病理検査研究班研修会; 20190126; 白河.

鈴木弘行. 腫瘍免疫の進歩と今後の課題. 第 1393 回千葉医学会 平成 30 年度第 18 回千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室例会; 20190209; 千葉.

鈴木弘行. 呼吸器外科医が考える癌免疫療法. 第 10 回七隈呼吸器外科フォーラム; 20190412; 福岡.

鈴木弘行. がん免疫療法を理解する上で知っておくべき腫瘍免疫の基礎. I-O Next Steps Seminar; 20190511; 東京.

鈴木弘行. III 期非小細胞肺癌治療におけるパラダイムシフト～呼吸器外科から見た PACIFIC レジメンの意義～. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪.

鈴木弘行. オブジーボの臨床データから紐解く今後の免疫療法の可能性. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪.

鈴木弘行, 尾崎有紀, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 岡部直行, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊. 肺癌における Tumor mutation burden (TMB) の腫瘍微小環境, ゲノム異常との関連. 第 28 回日本癌病態治療研究会; 20190627-28; 川越.

鈴木弘行. 免疫療法における VEGF 阻害剤のインパクト. 第 2 回 AIR in Sapporo -Angiogenesis & Immunology Research; 20190706; 札幌.

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害薬の効果予測バイオマーカー研究の Up to date. J-TAIL 研究 Investigator & coordinator's meeting; 20190727; 盛岡.

岡部直行. 当院における Stage III NSCLC 治療について. Scientific Exchange Meeting in South Tohoku For Surgery; 20190803; 仙台.

鈴木弘行. 免疫と薬物療法の進歩は肺癌外科治療を変えるか? 呼吸器外科医のための肺癌治療 Seminar; 20190914; 東京.

鈴木弘行. 福島から発信する最新の医療. 2019 年度福島学院大学福島駅前キャンパス人材寄付講座; 20191008; 福島.

武藤哲史. 期待されるがん免疫療法ーがん治療における免疫療法の未来ー. 市民公開講座「がん免疫療法のいま」を知る; 20191013; 福島.

武藤哲史. Discussion 肺癌治療戦略について (コメンテーター). 第4回 NSCLC Expert Meeting〜呼吸器外科医の立場から診る NSCLC〜; 20191113; 仙台.

武藤哲史. 肺がん治療シーケンス. 第4回 NSCLC Expert Meeting〜呼吸器外科医の立場から診る NSCLC〜; 20191113; 仙台.

鈴木弘行. ここまで進歩した肺癌に対する免疫療法. 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会市民公開講座; 20191129; 岡山.

塩 豊. ロボット手術を安全に実施するための VINCENT を用いた 3D 画像構築. 肺切除手術の最前線 3〜SYNAPSE VINCENT の有用性〜; 20191214; 郡山.

〔その他〕

鈴木弘行. 病院長と語ろう！ 令和元年度福島県立医科大学男女共同参画支援室 FMU カフェ; 20191209; 福島.

その他の業績・作品等

鈴木弘行. MSD 株式会社「キイトルーダ®」有害事象記録支援アプリ「KEY+YOU e ダイアリー」監修.

乳腺外科学講座

論 文

〔原 著〕

Okano M, Oshi M, Butash AL, Katsuta E, Tachibana K, Saito K, Okayama H, Peng X, Yan L, Kono K, Ohtake T, Takabe K. Triple-Negative Breast Cancer with High Levels of Annexin A1 Expression is Associated with Mast Cell Infiltration, Inflammation, and Angiogenesis. International Journal of Molecular Sciences. 201908; 20(17):4197.

Gonda K, Akama Y, Nakamura T, Hashimoto E, Kyoya N, Rokkaku Y, Maejima Y, Horita S, Tachibana K, Abe N, Ohtake T, Shimomura K, Kono K, Saji S, Takenoshita S, Higashihara E. Cluster of differentiation 8 and programmed cell death ligand 1 expression in triple-negative breast cancer combined with autosomal dominant polycystic kidney disease and tuberous sclerosis complex: a case report. Journal of Medical Case Reports. 201912; 13(1):381.

Ashizawa M, Okayama H, Ishigame T, Thar Min AK, Saito K, Ujiie D, Murakami Y, Kikuchi T, Nakayama Y, Noda M, Tada T, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. miRNA-148a-3p Regulates Immunosuppression in DNA Mismatch Repair-Deficient Colorectal Cancer by Targeting PD-L1. *Molecular Cancer Research*. 201906; 17(6):1403-1413.

Sato A, Yoshihisa A, Miyata-Tatsumi M, Oikawa M, Kobayashi A, Ishida T, Ohtake T, Takeishi Y. Valvular heart disease as a possible predictor of trastuzumab-induced cardiotoxicity in patients with breast cancer. *Molecular and Clinical Oncology*. 201901; 10(1):37-42.

Shimura T, Shibata M, Gonda K, Murakami Y, Noda M, Tachibana K, Abe N, Ohtake T. Prognostic impact of interleukin-6 and C-reactive protein on patients with breast cancer. *Oncology Letters*. 201906; 17(6):5139-5146.

Arinaga Y, Piller N, Sato F, Ishida T, Ohtake T, Kikuchi K, Sato A, Tada H, Miyashita M. The 10-min holistic self-care for patients with breast cancer-related lymphedema: pilot randomized controlled study. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201902; 247(2):139-147.

〔総説等〕

木村 隆, 横山 斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明. 外科医となる自信を涵養する外科臨床実習 時代にマッチした外科医のリクルート. *日本外科学会雑誌*. 201911; 120(6):713-715.

過年業績

木村 隆, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明, 横山 斉, 後藤満一, 竹之下誠一. 若き外科医からの提言 わたしたちの将来の外科医療を見据えて 新米外科教授からの提言 医学生教育、外科専門医研修に主眼をおいた外科学講座再編 福島の新たな挑戦. *日本外科学会雑誌*. 201709; 118(5):593-596.

〔症例報告〕

星 信大, 阿部宣子, 立花和之進, 野田 勝, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 阿部貞彦, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 同時性両側性神経内分泌型非浸潤性乳管癌の1例. 癌と化学療法. 201912; 46(13):2222-2224.

阿左美亜矢佳, 鈴木伸康, 高野祥直, 寺西 寧, 立花和之進, 大竹 徹. 遠隔転移切除により長期生存が得られた浸潤性小葉癌の1自験例. *福島医学雑誌*. 20190213; 69(2):137-142.

著 書・訳 書

大竹 徹. LH-RH アナログ. In: 佐治重衡 編. 乳がん薬物療法ハンドブック. 東京: 南江堂; 201901. p.331.

研究発表等

〔研究発表〕

Nemoto T, Endo S, Isohata N, Takayanagi D, Hoshi N, Nemoto D, Aizawa M, Utano K, Togashi K. High-dose Barium Impaction Therapy for Colonic Diverticular Bleeding. 14th Japan-Bolivia International Symposium on Medicine and Gastroenterology; 20191024; Santa Cruz, Bolivia.

Saji S, Kitada M, Takano T, Takada M, Ohtake T, Toyama T, Kikawa Y, Hasegawa Y, Fujisawa T, Kashiwaba M, Ishida T, Nakamura R, Yamamoto Y, Toh U, Iwata H, Masuda N, Taira N, Morita S, Ohno S, Toi M. A randomized, multicenter, phase II study evaluating the efficacy of interventional maintenance endocrine therapy with Bevacizumab following fixed cycles of Bevacizumab plus Paclitaxel in advanced/metastatic ER-positive HER2-negative breast cancer: JBCRG-M04 BOOSTER trial. San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191212; San Antonio, USA.

村上祐子, 阿部宣子, 作山美郷, 仲野 宏, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 被包型乳頭状癌の2例. 第10回DCIS研究会; 20190126; 長崎.

片方雅紀, 村上祐子, 立花和之進, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 多発皮膚結節で発見された乳房の浸潤性小葉癌を疑う1例. 第16回日本乳癌学会東北地方会; 20190302; 仙台.

野田 勝, 阿部宣子, 村上祐子, 星 信大, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 3次元病理画像解析をもとにした乳癌手術の縮小化と長期臨床成績. 第119回日本外科学会; 2019420; 大阪.

片方雅紀, 村上祐子, 立花和之進, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 多発皮膚結節で発見された乳房の浸潤性小葉癌を疑う1例. 第6回臨床外科学会福島支部会; 20190427; 郡山.

星 信大, 阿部宣子, 立花和之進, 野田 勝, 村上祐子, 阿部貞彦, 岡野舞子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 同時性両側性神経内分泌型非浸潤性乳管癌の1例. 第41回癌局所療法研究会; 20190621; 岡山.

東 孝泰, 野田 勝, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 急速増大をきたし悪性が疑われた稀な乳腺巨大腫瘍の2例. 第27回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

阿部貞彦, 野田 勝, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 乳癌との鑑別が困難であったセンチネルリンパ節にITCを有した乳管腺腫の1例. 第27回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

阿部宣子, 立花和之進, 野田 勝, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹 徹. 当院におけるpalbociclibの使用経験. 第27回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

佐藤孝洋, 星 信大, 村上祐子, 阿部宣子, 片方雅紀, 東 孝泰, 阿部貞彦, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 同時性両側性神経内分泌型非浸潤性乳管癌の1例. 第27回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

立花和之進, 野水 整, 赤間孝典, 大竹 徹, 横山士郎, 新井正美, 中村清吾. BRCA 変異家系の乳癌における年齢因子の検討—HBOC コンソーシアムデータベースの解析から—, 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

野田 勝, 阿部宣子, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 近赤外光カメラシステム LIGHTVISION を用いたセンチネルリンパ節生検の評価. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

村上祐子, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 佐治重衡, 大竹 徹. 乳癌におけるクローディン 4 発現の分子生物学的検討. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

岡野舞子, 浅岡真理子, 勝田絵里子, 大竹 徹, 高部和明. 米国ロズウェルパーク癌研究所におけるがんゲノム医療の現状と今後の展望. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190712; 東京.

片方雅紀, 村上祐子, 東 孝泰, 佐藤孝洋, 仲野 宏, 阿部貞彦, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 周囲浸潤形態の異なる被胞型乳頭状癌の 2 例. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190713; 東京.

山口 光, 阿部宣子, 野田 勝, 立花和之進, 星 信大, 村上祐子, 中村 泉, 大竹 徹. 乳腺偽血管腫様過形成再発の 1 例. 第 81 回臨床外科学会総会; 20191114; 高知.

〔シンポジウム〕

野田 勝, 阿部宣子, 片方雅紀, 村上祐子, 立花和之進, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. センチネルリンパ節に ITC を有し診断に苦慮した乳管腺腫の 1 例. 第 25 回日本乳腺疾患研究会; 20190215; 東京.

立花和之進. ER 陽性 HER2 陰性再発乳癌における Clinical Question を議論する. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

大竹 徹. 患者プログラム 2 乳がん診断の意義と問題点 マンモグラフィ 特徴とピットフォール. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190713; 東京.

〔特別講演〕

大竹 徹. マンモグラフィで発見すべき乳癌—画像と病理—. 第 38 回東北地区集検放射線技師会研修会; 20190125; 福島.

大竹 徹. 乳がんの早期発見と外科治療. 平成 30 年度安達医師会講演会; 20190127; 二本松.

大竹 徹. 乳癌検診の動向と精度管理. 平成 30 年度福島県医師会乳がん検診ドクター講習会; 20190202; 郡山.

大竹 徹. 乳がんの外科治療. 平成 30 年度福島県立医科大学同窓会宮城県支部総会; 20190216; 仙台.

立花和之進. 乳がんを学ぶ. 福島民報社 福島県民健康セミナー; 20190317; 郡山.

大竹 徹. 乳癌の早期発見と外科治療. 平成 30 年度須賀川市医師会がん研究事業（乳がん）研修会; 20190322; 須賀川.

大竹 徹. マンモグラフィ検診で発見すべき乳癌. 山形県医師会平成 30 年度乳がん検診研修会; 20190323; 山形.

大竹 徹. 転移・再発乳癌の薬物療法. 南東北乳がん看護ネットワーク 第 10 回看護セミナー; 20190601; 福島.

阿部宣子, 大竹 徹. 平成 29 年度福島市検診発見乳がんのマンモグラフィ読影解説. 平成 31 年度福島市医師会乳がん検診精度管理研修会; 20190611; 福島.

大竹 徹. がん対策推進基本計画と乳がん診療の話題. 第 2 回福島県がんシンポジウム; 20190629; 福島.

立花和之進. 乳がんを学ぶ. 福島県 学生がん予防サポーター養成セミナー; 20190729; いわき.

大竹 徹. 乳がんを学ぼう. 南相馬市立病院勉強会; 20190822; 南相馬.

大竹 徹. 外科医として生きる. 大学模擬授業; 20190928; 郡山.

村上祐子. 乳がん予防、早期発見の重要性. 福島県 学生がん予防サポーター養成セミナー; 20190930; 会津若松.

立花和之進. がんを知り、がんを予防し、がんになっても自分らしく安心して生きよう. 令和元年度福島県がん教育実践事業; 20191029; 会津若松.

大竹 徹. HER2 陰性乳癌の治療変遷. いわき乳腺疾患研究会; 20191115; いわき.

大竹 徹. もっと知りたい！乳がんのこと. 福島県市民公開講座 若い女性で増えているがん 予防するためには; 20191117; 福島.

大竹 徹. HER2 陰性乳癌の治療変遷. 会津乳がん治療セミナー; 20191119; 会津若松.

大竹 徹. 乳癌の臨床と研究. 福島県立医科大学男女共同参画支援室 キャリアアップセミナー; 20191128; 福島.

〔招待講演〕

立花和之進. 乳癌の基礎と骨粗鬆症. 旭化成 社内講演会; 20190108; 福島.

心臓血管外科学講座

論 文

〔原 著〕

Fujimiya T, Iwai-Takano M, Igarashi T, Shinjo H, Ishida K, Takase S, Yokoyama H. Late Gadolinium Enhancement Predicts Improvement in Global Longitudinal Strain after Aortic Valve Replacement in Aortic Stenosis. Scientific Reports. 201909; 9:15688.

Satokawa H, Takase S, Wakamatsu H, Seto Y, Kurosawa H, Yamamoto A, Fujimiya T, Ishida K, Yokoyama H. Long-Term Outcomes of Spontaneous Isolated Superior Mesenteric Artery Dissection. AVD. 201912; 12(4):456-459.

〔その他〕

The Japanese Society for Vascular Surgery Databass Management Committee Member, NCD Vascular Data Analysis Team (Satokawa H et al.). Vascular Surgery in Japan: 2012 Annual Report by the Japanese Society for Vascular Surgery. Annals of Vascular Diseases. 201906; 12(2):260-279.

横山 斉. 外科医育成のための Off-the-job training(Off-JT)の現状と将来 2 心臓血管外科領域の Off-JT の現状. 日本外科学会雑誌. 201909; 120(5):500-506.

山田典一, 佐戸川弘之. VTE ガイドライン (肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン) . 静脈学会 News Letter. 201911; 13:13-14.

過年業績

Irie Y, Kondo S, Rokkaku K, Tsuboi E, Takano H, Yokoyama H. Obturator foramen bypass for infective groin caused by closure device. Asian Cardiovascular & Thoracic Annals. 201702; 25(2):131-133.

村松賢一, 渡辺正明, 三澤幸辰, 横山 斉. 成人期に発症した急性リウマチ熱による弁破壊のために弁置換術を施行した 1 例. 日本心臓血管外科学会雑誌. 201703; 46(2):79-83.

著 書・訳 書

佐戸川弘之 (統括委員) . In: 日本静脈学会ガイドライン委員会 編. 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術のガイドライン 2019. 東京: 日本医事新報社; 201907.

佐戸川弘之, 若松大樹, 横山 斉. 末梢動脈・静脈疾患 下肢静脈瘤. In: 循環器症候群 第 3 版 II (別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ No.6) . 東京: 日本臨床社; 2019. p.543-547.

高瀬信弥. A. 静脈の発生と解剖 ③静脈壁, 静脈弁, vasa vasorum. In: 岩井武尚 監修. 新臨床静脈学. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.10-11.

研究発表等

〔研究発表〕

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 五十嵐崇, 山本晃裕, 藤宮 剛, 石田圭一, 横山 斉. 非解離性大動脈弓部瘤に対する治療選択と成績—Zonal TEVAR 妥当性の検討—. 第 47 回日本血管外科学会学術総会; 20190522; 名古屋.

瀬戸夕輝, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 五十嵐崇, 山本晃裕, 藤宮 剛, 石田圭一, 横山 斉. 当院における大動脈解離に対する企業性ステントグラフト(TEVAR)の中期成績. 第 48 回日本血管外科学会学術総会; 20190523; 名古屋.

藤宮 剛, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 山本晃裕, 佐藤善之, 石田圭一, 横山 斉. 静脈穿孔を伴う破裂性腹部大動脈瘤及び腸骨動脈瘤症例の検討. 第 49 回日本血管外科学会学術総会; 20190523; 名古屋.

黒澤博之, 若松大樹, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 山本晃裕, 藤宮 剛, 石田圭一, 横山 斉. TCPC 術後に IVC-HV shunt による低酸素血症を呈した左肝静脈還流異常を合併した無脾症候群の一例. 第 103 回日本胸部外科学会東北地方会; 20190608; 仙台.

五十嵐崇, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 藤宮 剛, 石田圭一, 横山 斉. Remodeling 法を用いた大動脈弁形成術の一例. 第 104 回日本胸部外科学会東北地方会; 20190608; 仙台.

黒澤博之, 若松大樹, 佐戸川弘之, 桃井伸緒, 青柳良倫, 富田陽一. 気管圧迫による呼吸器症状を呈した血管輪 4 手術例の検討. 第 55 回小児循環器学会総会・学術集会; 20190627; 札幌.

若松大樹, 佐戸川弘之, 黒澤博之, 横山 斉, 桃井伸緒, 青柳良倫, 富田陽一, 久米庸平. Transverse arch の低形成を伴う CoA complex に対する鎖骨下動脈フラップ法の成績. 第 56 回小児循環器学会総会・学術集会; 20190628; 札幌.

石田圭一, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 五十嵐崇, 山本晃裕, 藤宮 剛, 横山 斉. (要旨演題) 上大静脈再建術を施行した胸部悪性腫瘍の 3 例. 第 39 回日本静脈学会総会; 20190704; 名古屋.

山田典一, 佐戸川弘之, 孟 真, 白石恭史, 田淵 篤, 西武俊哉, 橋山直樹, 八巻 隆. 我が国における上肢深部静脈血栓症に関する調査報告～静脈疾患サーベイ調査～. 第 39 回日本静脈学会総会; 20190705; 名古屋.

藤宮 剛, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 石田圭一, 横山 斉. 静脈穿破を伴った腹部大動脈瘤／腸骨動脈瘤に対する腹部ステントグラフト内挿術. 第 39 回日本静脈学会総会; 20190705; 名古屋.

高瀬信弥, 横山 斉, 佐戸川弘之, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 山本晃裕, 藤宮 剛, 石田圭一. 多枝病変に対する冠動脈バイパス手術において2本以上の動脈グラフトを使用することの重要性. 第24回日本冠動脈外科学会学術集会; 20190711; 金沢.

高瀬信弥. 非解離性大動脈弓部瘤に対する治療選択. 第25回日本血管内治療学会学術総会; 20190820; 東京.

新城宏治, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 藤宮 剛, 石田圭一, 横山 斉. EVAR 後 type II エンドリークに対する外科的治療の1治験例. 第178回東北外科集談会; 20190914; 青森.

藤宮 剛, 高野真澄, 横山 斉. 術前栄養状態指標 Prognostic Nutritional Index score は開心術後周術期在院日数と関連する. 第67回日本心臓病学会学術集会; 20190915; 名古屋.

高野真澄, 藤宮 剛, 石田圭一, 横山 斉. 大動脈瘤患者に対するステントグラフト内挿術後の心機能変化: 収縮後期における左室への逆流血流の存在と wall stress の増加. 第67回日本心臓病学会学術集会; 20190915; 名古屋.

若松大樹, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 藤宮 剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山 斉. 当院における小児 Cardiac ECMO 例の経験. 第72回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191031; 京都.

五十嵐崇, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 藤宮 剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山 斉. 急性A型解離に対する年代に応じた治療戦略—18年の経験から—. 第72回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191101; 京都.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 藤宮 剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山 斉. 非解離性弓部大動脈瘤に対する治療戦略と成績—従来手術とTEVER との比較—. 第72回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191101; 京都.

黒澤博之, 若松大樹, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 藤宮 剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山 斉. 肝静脈還流異常を合併した内臓錯位症候群に対する治療戦略. 第72回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191102; 京都.

五十嵐崇. 大動脈基部手術 (外科セッション). 会津心臓病・心血管疾患研究会; 20191115; 会津若松.

佐戸川弘之. 慢性静脈不全とは. 末梢血管インターベンション; 20191130; 愛知.

黒澤博之, 若松大樹, 佐戸川弘之, 富田陽一, 林真理子, 青柳良倫, 桃井伸緒, 横山 斉. 当院における無脾症候群症例の検討. 第23回福島小児循環研究会; 20191130; 福島.

五十嵐崇. 大動脈弁形成術: 新しい治療法と術前評価. ECHO TOHOKU2019; 20191130; 仙台.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 藤宮 剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山 斉. 冠動脈バイパス術における RITA は LITA と同等の結果を期待する. 第33回日本冠疾患学会学術集会;

20191213; 岡山.

五十嵐崇. Remodeling 法を用いた大動脈弁形成術の一例. 第 39 回福島心疾患治療談話会; 20190615; 福島.

〔シンポジウム〕

高瀬信弥, 福田幾夫, 孟 真, 相川志都, 岩田英理子, 植田信策, 諸國眞太郎, 榛沢和彦, 星野祐二, 保田知生. 災害時の静脈血栓塞栓症予防啓活動におけるインターネット上での啓蒙活動ー日本静脈学会としての取り組みー. 第 39 回日本静脈学会総会; 20190704; 名古屋.

若松大樹, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 横山 斉. 下大静脈フィルターの有効性と合併症 (パネルディスカッション). 第 39 回日本静脈学会総会; 20190705; 名古屋.

佐戸川弘之 (座長). シンポジウム 4 VTE ガイドライン (肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断, 治療, 予防に関するガイドライン). 第 39 回日本静脈学会総会; 20190705; 名古屋.

佐戸川弘之 (座長). パネルディスカッション 6 血管内治療による下肢静脈瘤に対する治療戦略. 第 60 回日本脈管学会総会; 20191011; 東京.

佐戸川弘之 (座長). シンポジウム 7 末梢血管領域 (下肢静脈瘤レーザー治療を含む) における進歩と課題. 第 40 回日本レーザー医学会総会; 20191020; 静岡.

〔特別講演〕

高瀬信弥. 心臓大血管手術と糖尿病. 第 6 回福島 SUNRISE 研究会; 20190406; 郡山.

横山 斉. 虚血性心疾患の今日の治療戦略. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190420; 大阪.

横山 斉. 教育講演 いかに実力ある外科医を育てるかーoff the job Trainingー導入の現況と課題. HOPEES2019 第 3 回北海道外科関連学会機構合同学術集会; 20190920; 札幌.

横山 斉. 特別企画〜大規模災害から学ぶ〜 東日本大震災・原発事故のリスクマネジメント. HOPEES2019 第 3 回北海道外科関連学会機構合同学術集会; 20190920; 札幌.

高瀬信弥. 下肢深部静脈血栓症の診断と治療. 足といのちを救う会; 20191119; 郡山.

高瀬信弥. SGLT2 阻害薬と心血管イベント. 興和株式会社社内研修会; 20191209; 福島.

〔その他〕

Takase S (座長). THORACIC Round-Table Session in Nagoya; 20190523; Nagoya.

高瀬信弥 (座長). 一般演題. 東北ステントグラフト研究会; 20190607; 仙台.

若松大樹（座長）．先天性疾患．第 103 回日本胸部外科学会東北地方会; 20190608; 仙台.

横山 斉（座長）．一般演題．第 4 回日本低侵襲心臓手術学会学術集会; 20190720; 東京.

高瀬信弥（座長）．一般演題 7「腹部大動脈瘤 2」．第 25 回日本血管内治療学会学術総会; 20190820; 東京.

横山 斉（座長）．クリニカルビデオセッション 2 虚血性・その他．第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191031; 京都.

横山 斉（座長）．心臓血管外科 Advance コース 先天性・冠動脈．第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191102; 京都.

横山 斉（座長）．ランチョンセミナー 心大血管手術と脳合併症．会津心臓病・心血管疾患研究会; 20191115; 会津若松.

横山 斉（座長）．外科ビデオセッション New technique．第 33 回日本冠疾患学会学術集会; 20191213; 岡山.

外科研修支援担当

論 文

〔原 著〕

Sato N, Shimura T, Kenjo A, Kimura T, Watanabe J, Muto M, Marubashi S. Pancreaticobiliary maljunction diagnosed long after laparotomy in the neonatal period for annular pancreas: report of a case. Surgical Case Reports. 201902; 5(1):16.

石亀輝英, 木村 隆, 月田茂之, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 高リスク UGT1A1 遺伝子多型を有する治癒切除不能膵癌に対し FOLFIRINOX 療法を施行した 2 例. 癌と化学療法. 201904; 46(4):754-756.

木村 隆, 横山 斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明. 外科医となる自信を涵養する外科臨床実習 時代にマッチした外科医のリクルート. 日本外科学会雑誌. 201911; 120(6):713-715.

過年業績

木村 隆, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明, 横山 斉, 後藤満一, 竹之下誠一. 若き外科医からの提言 わたしたちの将来の外科医療を見据えて 新米外科教授からの提言 医学生教育、外科専門医研修に主眼をおいた外科学講座再編 福島の新たな挑戦. 日本外科学会雑誌. 201709; 118(5):593-596.

研究発表等

〔研究発表〕

Ishigame T, Nishimagi A, Suzushino S, Muto M, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Strategy for advanced laparoscopic hepatectomy (ALH); an initial experience of three ALH cases. 7th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association(A-PHPBA2019); 20190904-07; Seoul, Korea.

佐藤直哉, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 術前胆道ドレナージと術後早期腹腔内感染症について. 第 53 回東北膵臓研究会; 20190208; 仙台.

鈴志野聖子, 月田茂之, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 当科における局所進行切除不能膵癌に対する conversion surgery についての検討. 第 53 回東北膵臓研究会; 20190208; 仙台.

小船戸康英, 町野 翔, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 転移性膵癌 4 症例の検討. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会; 20190209; 仙台.

月田茂之, 小船戸康英, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腸回転異常を伴った膵癌に対し膵全摘術を施行した 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会; 20190209; 仙台.

武藤 亮, 小船戸康英, 月田茂之, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腎細胞癌胆嚢転移に対して胆嚢摘出術を施行した 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会; 20190209; 仙台.

岡田 良, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝癌・肝切除の取り組みについて. 生活習慣病と消化器疾患フォーラム; 20190215; 福島.

佐藤直哉, 岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝胆膵外科手術における術中偶発する血行障害・再建について. 第 55 回日本腹部救急医学会総会; 20190307-08; 仙台.

楡井 東, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 脂肪由来幹細胞(ADSC)および膵島細胞の積層化シート移植の効果. 第 46 回日本膵・膵島移植研究会; 20190308-09; 名古屋.

月田茂之, 小船戸康英, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 低用量 CDDP の長期投与により、著明な抗腫瘍効果を示した再発 MiNEN の 1 例. 第 52 回制癌剤適応研究会; 20190315; 神戸.

石亀輝英, 木村 隆, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 丸

橋 繁. 胆嚢癌縮小手術の功罪に関する検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 河野浩二, 丸橋 繁. インスリンノーマ手術における術中インスリン値・血糖値モニタリング. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

木村 隆, 鈴木眞一, 横山 斉, 河野浩二, 鈴木弘行, 大竹 徹, 丸橋 繁, 田中秀明. 時代にマッチした外科医の育成. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

佐藤直哉, 岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 膵癌に対する術前化学放射線治療の忍容性と安全性に関する検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

鈴志野聖子, 佐藤直哉, 月田茂之, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 当科における局所進行切除不能膵癌に対する Conversion surgery 実施 4 例の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

月田茂之, 小船戸康英, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 楡井 東, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆. 肝切除症例における術後呼吸器合併症の危険因子の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

武藤 亮, 木村 隆, 月田茂之, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 膵頭十二指腸切除術後における晩期胆道合併症の危険因子解析. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. IPMN における至適術式の検討. 日本臨床外科学会第 6 回福島県支部学術集会東北支部会; 20190427; 福島.

石亀輝英, 木村 隆, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. AIS コーディングに基づく腹部外傷アウトカム評価の検討. 日本臨床外科学会第 6 回福島県支部学術集会東北支部会; 20190427; 福島.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 西間木淳, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. WHO 分類改訂により診断・治療方針を再考した膵神経内分泌腫瘍の一例. 第 11 回 Tohoku-NET WORK; 20190518; 仙台.

Ishigame T, Kimura T, Tsukita S, Suzushino S, Muto M, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Clinical Significance of Assessment on Lymphatic and Blood Vessel invasion in Ampullary Cancer. 第 31 回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Kakuta K, Sato N, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. A case of teicoplanin-induced hemophagocytic syndrome after pancreaticoduodenectomy. 第 31 回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Kimura T, Tsukita S, Suzushino S, Muto M, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. A Simple and Low-cost Surgery Training Simulator for Pancreaticojejunostomy. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Kofunato Y, Kimura T, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. The size of mural nodule is associated with malignant alteration and lymph node metastasis in IPMN. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Muto M, Kimura T, Tsukida S, Suzushino S, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Treatment strategy for type III pancreatic injury; 3 case reports of children. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Sato N, Muto M, Suzushino S, Tsukida S, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Optimal range of lymph node dissection for pancreatic neuroendocrine tumor. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Suzushino S, Sato N, Tsukida S, Muto M, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Evaluation of real-time ICG clearance meter for predicting postoperative liver dysfunction after major hepatectomy. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Tsukida S, Kofunato Y, Suzushino S, Muto M, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. An adult case of pancreatectomy for pancreatic cancer with intestinal malrotation. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝内胆管癌の予後予測マーカーとしての Lymphocyte-to-Monocyte Ratio の有用性. 第55回日本肝臓研究会; 20190704-05; 東京.

木村 隆, 佐藤直哉, 見城 明, 岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 志村龍男, 丸橋 繁. 切除可能膵癌に対する術前放射線化学療法免疫学的側面の検討. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

見城 明, 佐藤直哉, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 丸橋 繁. 生体肝移植後の胆道合併症の低減に向けた Open-up 法の有用性に関する検討. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

鈴志野聖子, 佐藤直哉, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 当科における pStage I の検討. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

月田茂之, 岡田 良, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 膵頭十二指腸切除術後の栄養管理における高力価パンクレリパーゼ製剤の有用性. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

武藤 亮, 木村 隆, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸

橋 繁. 肝細胞癌に対する肝切除における 1mm 以下の切除断端距離と術後再発に関する解析. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

西間木淳, 見城 明, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 丸橋 繁. 生体肝移植術後 de novo 膀胱・食道異時性重複癌の 1 例. 第 37 回日本肝移植学会; 20190725-26; 京都.

武藤 亮, 木村 隆, 西間木淳, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下肝外胆管切除術を実施した先天性胆道拡張症の 2 例. 第 55 回日本胆道学会学術集会; 20191003-04; 名古屋.

岡田 良, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 脾移植後に生じたグラフト血栓症に対して保存的治療を行った症例. 第 55 回日本移植学会総会; 20191010-12; 広島.

田中秀明, 角田圭一, 町野 翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 佐藤晶論, 木村 隆, 見城 明, 丸橋 繁. 小児肝移植患者における PCR 法を用いた human herpes virus 6 のモニタリング. 第 55 回日本移植学会総会; 20191010-12; 広島. 移植. 54(総会臨時):255.

角田圭一, 町野 翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 佐藤晶論, 木村 隆, 見城 明, 丸橋 繁, 田中秀明. 小児肝移植患者における PCR 法を用いた human herpes virus 6 のモニタリング. 第 55 回日本移植学会総会; 20191010-12; 広島.

西間木淳, 見城 明, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 後藤悠大, 清水裕史, 田中秀明, 丸橋 繁. 当科における肝移植後 de novo 悪性腫瘍に関する検討. 第 55 回日本移植学会総会; 20191010-12; 広島.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 西間木淳, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 脾全摘術の治療成績. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

小船戸康英, 木村 隆, 塩 功貴, 滝口千晶, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. BR/UR 脾癌に対する治療戦略および治療成績. 第 32 回東北脾・胆道癌研究会; 20191102; 仙台.

鈴志野聖子, 小船戸康英, 西間木淳, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 外傷性主膵管損傷による膵液瘻にて重症膵炎を発症し緊急手術にて救命しえた一例. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

松石 彬, 小船戸康英, 見城 明, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 丸橋 繁. エタノール注入法が有効であった有症状の難治性腹腔内嚢胞の一例. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

月田茂之, 小船戸康英, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 脾癌根治切除後症例における早期再発予測マーカーの検討. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

武藤 亮, 小船戸康英, 月田茂之, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腎細胞癌胆嚢転移に対して胆嚢摘出術を施行した 1 例. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

小船戸康英, 木村 隆, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. Lymphocyte-to-Monocyte Ratio を用いた肝内胆管癌の予後予測. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

石亀輝英, 木村 隆, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 切除不能膵癌に対する FOLFIRINOX 療法および GnP 療法の意義. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下肝切除術において術前フレイルが術後栄養状態に与える影響. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

石亀輝英, 岡田 良, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. EUS-FNA で診断された若年男性の膵 solid-pseudopapillary neoplasm の 1 例. 第 11 回膵臓内視鏡外科研究会; 20191204; 横浜.

岡田 良, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下分流手術を行った肝動脈走行異常を伴った成人先天性胆道拡張症の 1 例. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

西間木淳, 小船戸康英, 木村 隆, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝嚢胞に対し ICG を用いた腹腔鏡下開窓術及び大網充填術が有効であった 1 例. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

〔シンポジウム〕

丸橋 繁, 木村 隆, 見城 明. 我が国における肝移植の現状と課題. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会; 20190209; 仙台.

石亀輝英, 木村 隆, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 非大腸癌肝転移に対する肝切除の現状とその意義. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

丸橋 繁, 見城 明, 木村 隆, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 志村龍男, 江口英利, 永野浩昭. 肝移植における挑戦と達成: 肝移植術後死亡リスク因子の検討と, 術後成績の向上をめざした手術手技の工夫. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

丸橋 繁, 木村 隆, 見城 明. 肝細胞癌に対する肝移植の腫瘍条件の再考: ミラノ基準からの適応拡大の是非. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

岡田 良, 西間木淳, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下肝切除における若手外科医執刀に向けての取り組み. 第13回肝臓内視鏡外科研究会; 20191205-07; 横浜.

脳神経外科学講座

論 文

〔原 著〕

Sato T, Matsushige T, Chen B, Gembruch O, Dammann P, Jabbarli R, Forsting M, Junker A, Maderwald S, Quick HH, Ladd ME, Sure U, Wrede KH. Wall Contrast Enhancement of Thrombosed Intracranial Aneurysms at 7T MRI. *AJNR. American Journal of Neuroradiology*. 201907; 40(7):1106-1111.

Tanei T, Fujii M, Takebayashi S, Nakahara N, Wakabayashi T. Simultaneous multiple craniotomies in the management of multifocal malignant brain lesions: case reports. *Fukushima Journal of Medical Science*. 201908; 65(2):43-49.

Iwami K, Fujii M, Kishida Y, Jinguji S, Yamada M, Mudathir B, Nishio N, Fujimoto Y, Ogawa T, Takanari K, Kamei Y, Saito K. Role of transcranial sphenoidotomy in skull base surgery: classification of surgical techniques based on the surgical anatomy of the sphenoid sinus. *Journal of Neurosurgery*. 201911; 131(5):1658-1667.

Murakami Y, Kobayashi T, Naruse Y, Watanabe F, Ishino A, Kanai R, Goto T, Saito K. Exclusive Cerebellar and Leptomeningeal Metastases from Early Gastric Cancer 14 Months after Proximal Gastrectomy: An Autopsy Case Report. *NMC Case Report Journal*. 201904; 6(2):65-70.

Ito Y, Suzuki K, Ichikawa T, Watanabe Y, Sato T, Sakuma J, Saito K. Intraoperative Fluorescence Cerebral Angiography by Laser Surgical Microscopy: Comparison with Xenon Microscopy and Simultaneous Observation of Cerebral Blood Flow and Surrounding Structures. *Operative Neurosurgery*. 201906; 16(6):700-706.

Murakami Y, Saito K, Ito H, Hashimoto Y. Transferrin isoforms in cerebrospinal fluid and their relation to neurological diseases. *Proceedings of the Japan Academy. Series B, Physical and Biological Sciences*. 201905; 95(5):198-210.

Hiruta R, Jinguji S, Sato T, Murakami Y, Bakhit M, Kuromi Y, Oda K, Fujii M, Sakuma J, Saito K. Acute paradoxical brain herniation after decompressive craniectomy for severe traumatic brain injury: A case report. *Surgical Neurology International*. 201905; 10:79.

Kawabata T, Takeuchi K, Nagata Y, Ishikawa T, Choo J, Sato Y, Tambara M, Teranishi M, Wakabayashi T. Preservation of Olfactory Function Following Endoscopic Single-Nostril Transseptal Transsphenoidal Surgery.

World Neurosurgery. 2019; 132:e665-e669.

齋藤 清, 藤井正純. 特集 神経線維腫症Ⅰ型 (Recklinghausen 病) の病態と治療: 小児外科医のかかわり・役割 中枢神経系の病変に対する治療. 小児外科. 2019; 52(2):1192-1196.

藤井正純. 解剖を中心とした脳神経手術手技 言語の神経基盤に基づいた覚醒下手術. 脳神経外科. 2019; 47(3):309-319.

村上友太, 小林 亨, 鳴瀬 悠, 後藤 健, 齋藤 清. 尿管癌による転移性脳腫瘍. 脳神経外科. 2019; 47(12):1269-1274.

佐藤 拓, 齋藤 清. 手術用レーザー光源と蛍光血管撮影システムの開発と臨床応用. 福島医学雑誌. 2019; 69(2):115-120.

〔総説等〕

村上友太, 齋藤 清, 高橋浩一, 荒木信夫, 橋本康弘. 髄液バイオマーカーとしての“脳型”トランスフェリン. 自律神経. 2019; 56(3):109-117.

〔その他〕

飯島綾子, 井原 哲, 津田恭治, 師田延人. 反復性尿路感染症で発症した脊髄硬膜外くも膜のう胞の1例. 小児の脳神経. 2019; 44(4):350-353.

著 書・訳 書

齋藤 清. 神経線維腫症Ⅱ型. In: 水澤英洋, 五十嵐隆, 北川泰久, 高橋和久, 弓倉 整 監修・編集. 指定難病ペディア 2019 (日本医師会雑誌. 148 巻特別号 1). 東京: 日本医師会; 2019. p. S139.

藤井正純. 大脳白質解剖概論. In: 藤井正純, 森健太郎 編. 大脳白質解剖入門—Cadaver/Tractography・Illustration で描く、神経科学の温故知新. 大阪: メディカ出版; 2019. p. 2-10.

藤井正純, BAKHIT Mudathir. 大脳白質解剖に必要な基礎知識. In: 藤井正純, 森健太郎 編. 大脳白質解剖入門—Cadaver/Tractography・Illustration で描く、神経科学の温故知新. 大阪: メディカ出版; 2019. p. 22-38.

藤井正純. 大脳白質解剖基本編②脳表解剖 (脳回・脳溝). In: 藤井正純, 森健太郎 編. 大脳白質解剖入門—Cadaver/Tractography・Illustration で描く、神経科学の温故知新. 大阪: メディカ出版; 2019. p. 59-75.

岩味健一郎, 藤井正純. 大脳白質解剖応用編. In: 藤井正純, 森健太郎 編. 大脳白質解剖入門—Cadaver/Tractography・Illustration で描く、神経科学の温故知新. 大阪: メディカ出版; 2019. p. 116-123.

藤井正純. 大脳の機能解剖に基づく手術①言語のネットワークと覚醒下手術. In: 藤井正純, 森健太郎 編. 大脳白質解剖入門—Cadaver/Tractography・Illustration で描く、神経科学の温故知新. 大阪: メディカ出版; 2019.

p.126-145.

齋藤 清, 藤井正純. 神経皮膚症候群. In: 南学正臣, 小澤敬也, 田中章景 編. 内科学書 改訂第9版 vol.6: 血液・造血管疾患、神経疾患. 東京: 中山書店; 201908. p.463-471.

岩味健一郎, 齋藤 清. 前頭蓋底腫瘍 Transbasal approach. In: 中尾直之, 井川房夫 編. 脳腫瘍外科 経験したい手術 16 スタンダードからアドバンス. 東京: メジカルビュー社; 201903. p.206-225.

渡邊 督, 齋藤 清. 頭蓋底腫瘍. In: 松谷雅生, 田村 晃, 藤巻高光, 森田明夫 編. 脳神経外科周術期管理のすべて 改訂第5版. 東京: メジカルビュー社; 201905. p.228-237.

蛭田 亮, 藤井正純, 古川佑哉, 市川 剛, 鈴木恭一, 渡部洋一, 根本未緒, 佐藤 拓, 佐久間潤, 齋藤 清. 皮質・白質刺激強度相対値を用いた皮質下刺激運動誘発電位による錐体路マッピング. In: 松谷雅生, 田村 晃, 藤巻高光, 森田明夫 編. 脳神経外科周術期管理のすべて 改訂第5版. 東京: メジカルビュー社; 201905. p.957-960.

研究発表等

〔研究発表〕

Chen B, Sato T, Dammann P, Jabbarli R, Quick HH, Sure U, Wrede K. Wall enhancement patterns of thrombosed intracranial aneurysms in 7T MRI - insights into pathophysiology of aneurysm stability. 70. Jahrestagung der Deutschen Gesellschaft für Neurochirurgie; 20190512-15; Würzburg, Germany.

Murakami Y, Ichikawa M, Mudathir B, Sato T, Fujii M, Sakuma J, Saito K. Palliative Shunt Operation for Patients with Leptomeningeal Metastasis. Hydrocephalus 2019; 20190913-16; Vancouver, Canada.

Ito Y, Suzuki K, Sato T, Ikeda T, Saito K, Kurita H. Intraoperative Fluorescence Cerebral Angiography By Laser Surgical Microscopy: Simultaneous Observation Of Cerebral Blood Flow And Surrounding Structures. Asia Pacific Stroke Conference 2019; 20191004; Manila, Philippines.

Tambara M. Endoscopic surgery for intracranial tumors. 18th ASEAN Neurosurgical Meeting; 20191115-17; Hanoi, Vietnam.

Tambara M. Endoscopic assisted or fully endoscopic microneurosurgery for resection of intracranial tumors. 18th ASEAN Neurosurgical Meeting; 20191115-17; Hanoi, Vietnam.

Tambara M. Endoscopic surgery for resection of intracranial tumors. Endoscopic Transsphenoidal Surgery Hands on Workshop; 20191125; Chandigarh, India.

Saito K, Ohtsuru A, Ohba T, Osuga K, Kenneth N, Goto A, Murakami M, Kamiya K. Build back better: Activities of the Fukushima Global Medical Science Center in support of our prefecture and the world. IAEA Consultancy Meeting: Science, Technology and Society Communication of Low-Dose Radiation - The Way Forward -; 20191211-12; Vienna, Austria.

齋藤 清, 岩楯兼尚, 小祝 萌, 長井健一郎, 蛭田 亮, 飯島綾子, 小島隆生, 山田昌幸, 市川優寛, 佐藤 祐介, 藤井正純, 佐久間潤. Wet field での脳室内腫瘍摘出術. 第 35 回白馬脳神経外科セミナー; 20190117-19; 長野.

村上友太, 市川優寛, Mudathir Bakhit, 佐藤 拓, 藤井正純, 佐久間潤, 齋藤 清. 髄膜癌腫症に伴う水頭対する緩和的シャント手術の意義. 第 20 回日本正常圧水頭症学会; 20190223-24; 大阪.

佐久間潤, 根本未緒, 飯島綾子, 市川優寛, 小島隆生, 藤井正純, 齋藤 清. 虐待ではなかった乳児頭蓋内出血の 2 例. 第 42 回日本脳神経外傷学会; 20190308-09; 淡路.

佐久間潤, 小島隆生, 齋藤 清, 弓屋 結, 中野裕紀, 大平哲也. 福島県における脳卒中登録データベースの現状—第 2 報—. 第 44 回日本脳卒中学会学術集会; 20190321-23; 横浜.

市川優寛, 藤井正純, 齋藤 清. 放射線誘発脳腫瘍 2019. 第 52 回東北脳腫瘍研究会; 20190330; 仙台.

佐藤祐介, 渡邊 督, 岸田悠吾, 神宮字伸哉, 佐藤 拓, 佐久間潤, 齋藤 清. 自覚的な視機能障害を伴わない下垂体機能低下症を呈する下垂体腫瘍に対する内視鏡下経鼻手術の有用性. 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190509-11; 仙台.

黒見洋介, 長井健一郎, 佐久間潤, 岩楯兼尚, 原 政人, 齋藤 清. 神経線維腫症 2 型に発生した腕神経叢神経鞘腫の 1 例. 第 3 回末梢神経の外科研究会; 20190511; 東京.

小祝 萌, 小島隆生, 村上友太, 佐久間潤, 齋藤 清. 頸動脈ステント留置術亜急性期血栓症の 1 例. 第 24 回福島脳血管障害治療研究会; 20190608; 福島.

藤井正純, 齋藤 清, 栗栖 薫, 後藤剛夫, 田宮 隆, 中富浩文, 長谷川光広, 武笠晃文, 森田明夫, 山口 秀. 神経線維腫症 2 型に対するベバシズマブ治療. 第 28 回日本聴神経腫瘍研究会; 20190608; 東京.

佐久間潤, 飯島綾子, 根本未緒, 齋藤 清, 小山明彦. クローバーリーフ頭蓋症例の治療経験—第 1 報—. 第 47 回日本小児神経外科学会学術集会; 20190614-15; 新潟.

佐々木寛人, 藤井正純, 蛭田 亮, 山ノ井優, 二村美也子, 岩楯兼尚, 山田昌幸, 市川優寛, 佐藤 拓, 小島隆生, 佐久間潤, 齋藤 清, 小野美穂, 板倉 毅, 八木沼洋行. 副神経延髄根に対する術中モニタリング. 第 25 回日本脳神経モニタリング学会; 20190629; 東京.

伊藤裕平, 鈴木海馬, 吉田馨次郎, 渡部寛史, 氏原匡樹, 亀井孝昌, 池上方基, 上出智也, 池田俊貴, 栗田 浩樹. 延髄海綿状血管腫に対する手術戦略. 第 268 回埼玉脳神経外科懇話会; 20190703; 大宮.

市川優寛. 痛み治療にも関連する新規抗てんかん薬について. 第 38 回運動器と痛み研究会; 20190704; 福島.

黒見洋介, 市川優寛, 齋藤 清. Glioblastoma 摘出の際のカルムスチンウェハー留置後の脳浮腫により痙攣重積に至った 1 例. 第 13 回日本てんかん学会東北地方会; 20190713; 仙台.

根本末緒, 佐久間潤, 小島隆生, 村上友太, 佐藤祐介, 市川優寛, 藤井正純. けいれんで発症した脳動静脈瘻の一例. 第 57 回日本脳神経外科学会東北支部会; 20190907; 弘前.

蛭田 亮, 藤井正純, 二村美也子, 岩楯兼尚, 市川優寛, 根本末緒, 山ノ井優, 小祝 萌, 黒見洋介, 佐藤拓, 小島隆生, 佐久間潤, 齋藤 清. 優位半球上側頭回の語音認知処理覚醒下手術における復唱課題の重要性. 第 57 回日本脳神経外科学会東北支部会; 20190907; 弘前.

菊田春彦, 松本由香, 前田卓哉, 川上雅久. craniostosis の一例. 第 83 回福島脳神経外科談話会; 20191005; 郡山.

橋野洗平, 佐藤昌宏, 平 敏. 術前診断に苦慮した脳腫瘍の 1 例. 第 83 回福島脳神経外科談話会; 20191005; 郡山.

飯島綾子, 小島隆生, 山田昌幸, 岩楯兼尚, 藤井正純, 齋藤 清. 髄膜腫塞栓術の pitfall. 第 83 回福島脳神経外科談話会; 20191005; 郡山.

伊藤裕平, 上出智也, 渡部寛史, 吉田馨次郎, 氏原匡樹, 池上方基, 亀井孝昌, 鈴木海馬, 池田俊貴, 栗田浩樹. 腎機能障害を伴う患者に対する未破裂脳動脈瘤治療; 開頭術による侵襲が腎機能に与える影響について. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 78 回学術総会; 20191010; 大阪.

伊藤裕平, 鈴木海馬, 吉田馨次郎, 渡部寛史, 氏原匡樹. 延髄海綿状血管腫に対する手術戦略. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 78 回学術総会; 20191010; 大阪.

黒見洋介, 市川優寛, 蛭田 亮, 岩楯兼尚, 佐藤 拓, 齋藤 清. ペランパネルの使用経験有効例と副作用例の検討. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 78 回学術総会; 20191010; 大阪.

佐久間潤, 中野裕紀, 小島隆生, 弓屋 結, 齋藤 清, 大平哲也. 福島県の脳卒中発症登録調査から見えてきたもの-2013 年の遡り調査結果から-. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 78 回学術総会; 20191010; 大阪.

藤井正純, 齋藤 清, 山口 秀, 森田明夫, 中富浩文, 長谷川光広, 後藤剛夫, 栗栖 薫, 田宮 隆, 武笠晃文. 神経線維腫症 II 型に対するベバシブマブの有効性及び安全性を検討する医師主導治験. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 78 回学術総会; 20191010; 大阪.

蛭田 亮, 佐藤 拓, 板倉 毅, 岩楯兼尚, 村上友太, 黒見洋介, 山田昌幸, 市川優寛, 小島隆生, 藤井正純, 佐久間潤, 齋藤 清. 経頭蓋刺激顔面神経モニタリングによる術後早期および長期の顔面神経機能予測. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 78 回学術総会; 20191010; 大阪.

黒見洋介, 市川優寛, 蛭田 亮, 岩楯兼尚, 齋藤 清. 当院におけるペランパネルの使用経験. 第 53 回日本てんかん学会学術集会; 20191031; 神戸.

村上友太, 二村美也子, 藤井正純, 市川優寛, 岩楯兼尚, 齋藤 清. 楔前部・後部帯状回・海馬傍回神経膠腫に伴う地誌的見当識障害. 第 38 回日本認知症学会学術集会; 20191107-09; 東京.

丹原正夫, 有馬 徹. 経過観察中に交通性水頭症を発症した再発頭蓋咽頭腫の一例. 第 26 回日本神経内視鏡学会;

20191107-08; 横浜.

飯島綾子, 佐藤祐介, 小島隆生, 伊藤裕平, 鳴瀬 悠, 佐久間潤, 齋藤 清. 破裂脳動静脈奇形による脳室内出血に対し内視鏡下血腫除去術と第3脳室底開窓術を行い良好な転帰を得た2例. 第26回日本神経内視鏡学会; 20191107-08; 横浜.

飯島綾子, 小島隆生, 蛭田 亮, 岩楯兼尚, 横田麻央, 佐久間潤, 齋藤 清. 医源性椎骨動脈損傷の治療経験. 福島脳血管内治療カンファレンス 2019; 20191109; 郡山.

村上友太, 小島隆生, 佐久間潤, 齋藤 清. 椎骨脳底動脈系の急性閉塞症に対する血栓回収療法の治療成績～福島県立医科大学および関連施設での検討～. 第35回日本脳神経血管内治療学会学術総会; 20191121-23; 福岡.

岩楯兼尚, 佐々木寛人, 蛭田 亮, Dilip Bhandari, Mudathir Bakhit, 村上友太, 山田昌幸, 黒見洋介, 丹原正夫, 市川優寛, 佐藤 拓, 小島隆生, 藤井正純, 佐久間潤, 齋藤 清, 板倉 毅. 脳神経外科手術におけるVEP: 連続26症例の検討. 第49回日本臨床神経生理学学会学術大会; 20191128-30; 福島.

齋藤 清, 佐藤祐介, 藤井正純. Bevacizumab 医師主導治験の開始とNF2 ホームページの作成. 令和元年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)「神経皮膚症候群に関する診療科横断的な診療体制の確立」班会議; 20191129; 東京.

〔シンポジウム〕

Sakuma J, Sato T, Suzuki K, Bakhit MS, Fujii M, Kanno T, Saito K. Utility of a novel surgical microscope laser light source and its application with integrated dual-image videoangiography (DIVA). 14th Korea-Japan Joint Conference on Surgery for Cerebral Stroke; 20190426-28; Sapporo.

佐久間潤, 佐藤祐介, 小島隆生, 飯島綾子, 伊藤裕平, 鳴瀬 悠, 齋藤 清. 脳動静脈奇形破裂による脳室内出血に対する内視鏡下血腫除去と第3脳室底開窓術. 第24回日本脳神経外科救急学会; 20190202; 大阪.

岩楯兼尚, 佐々木寛人, 蛭田 亮, Dilip Bhandari, Mudathir Bakhit, 山田昌幸, 黒見洋介, 村上友太, 佐藤祐介, 市川優寛, 佐藤 拓, 小島隆生, 藤井正純, 佐久間潤, 齋藤 清, 板倉 毅. 脳神経外科手術におけるVEP: 連続19症例の検討. 第31回日本頭蓋底外科学会; 20190711-12; 神戸.

蛭田 亮, 板倉 毅, 岩楯兼尚, 山田昌幸, 市川優寛, 佐藤 拓, 小島隆生, 藤井正純, 佐久間潤, 齋藤 清. Biphasic 刺激を用いた経頭蓋 facial MEP モニタリングの有用性. 第31回日本頭蓋底外科学会; 20190711-12; 神戸.

藤井正純, Dilip Bhandari, 林 雄一郎, 森 健策, 蛭田 亮, 二村美也子, 齋藤 清. マルチモーダルな光学・放射線画像統合による4次元手術情報プラットフォーム開発. 第24回日本脳腫瘍の外科学会; 20190913-14; 浜松.

藤井正純, 二村美也子, 蛭田 亮, 市川優寛, 岩楯兼尚, 前澤 聡, 齋藤 清. 頭頂葉グリオーマに対する挑戦ー覚醒下手術の役割と課題ー. 第24回日本脳腫瘍の外科学会; 20190913-14; 浜松.

蛭田 亮, 藤井正純, 神宮字伸哉, 小祝 萌, 二村美也子, 市川優寛, 佐藤 拓, 佐久間潤, 齋藤 清. 重度な水頭症を伴う頭蓋咽頭腫術後に PRES を発症し意識障害が遷延した小児例. 第 24 回日本脳腫瘍の外科学会; 20190913-14; 浜松.

佐藤 拓, 松重俊憲, Wrede Karsten, Sure Ulrich, 栗栖 薫, 齋藤 清. 造影 7T MRI による血栓化脳動脈瘤壁のイメージングー病理組織像による考察ー. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 78 回学術総会; 20191010; 大阪.

佐藤 拓, 神宮字伸哉, 佐藤祐介, 岸田悠吾, 渡邊 督, 佐久間潤, 齋藤 清. 神経内視鏡用の光源としてのレーザー光の臨床応用. 第 26 回日本神経内視鏡学会; 20191108; 横浜.

〔特別講演〕

Saito K. Prof. DR Gulati Oration: Fukushima Medical University and skull base surgery. Endoscopic Transsphenoidal Surgery Hands on Workshop; 20191125; Chandigarh, India.

市川優寛. 痙縮治療の実際. F-S.T.R. Medical Conference; 20190326; 福島.

市川優寛. 脳卒中とてんかんとは. 生涯教育学術講演会ー脳卒中とてんかんー; 20190418; 福島.

市川優寛. 脳卒中とてんかん. Total Care Forum in SHIRAKAWAー脳卒中とてんかんー; 20190423; 白河.

佐久間潤. 脳卒中ーおかしいな? と思ったらすぐ受診ー. 志らぎく会総会; 20190521; 福島.

市川優寛. 福島県での痙縮治療の実際. 第 1 回中央あいち医療福祉セミナー; 20190601; 愛知.

藤井正純. 白質解剖と言語の神経基盤ーより良いグリオーマ手術を目指してー. 第 25 回北海道脳腫瘍治療研究会; 20190629; 札幌.

藤井正純. 覚醒下手術の最前線. 第 38 回運動器と痛み研究会; 20190704; 福島.

齋藤 清. 私はなぜ脳神経外科医になったのか? 福島赤十字病院講演会; 20190709; 福島.

齋藤 清. 合併症を起こさない頭蓋底再建のポイント. 第 31 回日本頭蓋底外科学会; 20190711-12; 神戸.

齋藤 清. 頭蓋底外科手術の基本. 第 13 回杉田記念フォーラム; 20190816-17; 五泉.

齋藤 清. ドリルの使用方法. 第 13 回杉田記念フォーラム; 20190816-17; 五泉.

黒見洋介. 当院におけるイーケブラ点滴静注の使用経験からの考察. 第 10 回福島神経内視鏡手術研究会; 20190921; 福島.

藤井正純. 神経科学の温故知新ー大脳白質解剖と覚醒下手術ー. 第 41 回東海脳腫瘍病理検討会; 20190928; 名古屋.

市川優寛. 臓器提供に関する選択枝提示について. 第46回日本臓器保存生物医学会学術集会; 20191108; 郡山.

市川優寛. 脳死について. 第46回日本臓器保存生物医学会学術集会; 20191108; 郡山.

市川優寛. てんかんについてー司法関係者に伝えたい事. 刑事鑑定研究会; 20191225; 福島.

〔招待講演〕

Saito K, Watanabe T, Kishida Y, Sato Y, Tambara M, Fujii M, Sato T, Sakuma J. Combined microscopic and endonasal endoscopic skull base surgery. 2019 Annual Meeting of Taiwan Neurosurgical Society; 20191130; Taipei, Taiwan.

整形外科科学講座

論文

〔原著〕

Yabuki S, Ip AKK, Tam CK, Murakami T, Ushida T, Wang JH, Shin HK, Sun WZ, Williamson OD. Evidence-based recommendations on the pharmacological management of osteoarthritis and chronic low back pain: An Asian consensus. *Asian Journal of Anesthesiology*. 201906; 57(2):37-54.

Kondo T, Okumura T, Matsue Y, Shiraishi A, Kagiya N, Yamaguchi T, Kuroda S, Kida K, Mizuno A, Oishi S, Inuzuka Y, Akiyama E, Matsukawa R, Kato K, Suzuki S, Naruke T, Yoshioka K, Miyoshi T, Baba Y, Yamamoto M, Murai K, Mizutani K, Yoshida K, Kitai T, Murohara T. Specialty-related differences in the acute-phase treatment and prognosis in patients with acute heart failure - Insights from REALITY-AHF -. *Circulation Journal*. 201901; 83(1):174-181.

Kodaira S, Kikuchi T, Hakozaki M, Konno S. Total knee arthroplasty in Japanese patients aged 80 years or older. *Clinical Interventions in Aging*. 201904; 14:681-688.

Cai WS, Li HH, Konno S, Numazaki H, Zhou SQ, Zhang YB, Han GT. Patellofemoral MRI Alterations Following Single Bundle ACL Reconstruction with Hamstring Autografts are Associated with Quadriceps Femoris Atrophy. *Current Medical Science*. 201912; 39(6):1029-1036.

Tsuda Y, Lowe M, Evans S, Parry MC, Stevenson JD, Fujiwara T, Kaneuchi Y, Le Nail LR, Jeys LM. Surgical outcomes and prognostic factors of non-metastatic radiation-induced sarcoma of bone. *European Journal of Surgical Oncology*. 201910; 46(2):293-298.

Orth MF, Gerke JS, Knösel T, Altendorf-Hofmann A, Musa J, Alba-Rubio R, Stein S, Hölting TLB, Cidre-

Aranaz F, Romero-Pérez L, Dallmayer M, Baldauf MC, Marchetto A, Sannino G, Knott MML, Wehweck F, Ohmura S, Li J, Hakozaiki M, Kirchner T, Dandekar T, Butt E, Grünwald TGP. Functional genomics identifies AMPD2 as a new prognostic marker for undifferentiated pleomorphic sarcoma. *International Journal of Cancer*. 201902; 144(4):859-867.

Kameda T, Zvick J, Vuk M, Sadowska A, Tam WK, Leung VY, Bölskei K, Helyes Z, Applegate LA, Hausmann ON, Klasen J, Krupkova O, Wuertz-Kozak K. Expression and Activity of TRPA1 and TRPV1 in the Intervertebral Disc: Association with Inflammation and Matrix Remodeling. *International Journal of Molecular Sciences*. 201904; 20(7):1767.

Kamitani T, Yamamoto Y, Kurita N, Yamazaki S, Fukuma S, Otani K, Sekiguchi M, Onishi Y, Takegami M, Ono R, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. Longitudinal Association Between Subjective Fatigue and Future Falls in Community-Dwelling Older Adults: The Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). *Journal of Aging and Health*. 201901; 31(1):67-84.

Kamitani T, Yamamoto Y, Fukuma S, Ikenoue T, Kimachi M, Shimizu S, Yamamoto S, Otani K, Onishi Y, Takegami M, Ono R, Yamazaki S, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. Association Between the Discrepancy in Self-Reported and Performance-Based Physical Functioning Levels and Risk of Future Falls Among Community-Dwelling Older Adults: The Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). *Journal of the American Medical Directors Association*. 201902; 20(2):195-200.e1.

Murata S, Ono R, Omata J, Endo T, Otani K. Coexistence of chronic musculoskeletal pain and depressive symptoms and their combined and individual effects on onset of disability in older adults: A cohort study. *Journal of the American Medical Directors Association*. 201910; 20(10):1263-1267.e3.

Kato T, Inose H, Ichimura S, Tokuhashi Y, Nakamura H, Hoshino M, Togawa D, Hirano T, Haro H, Ohba T, Tsuji T, Sato K, Sasano Y, Takahata M, Otnai K, Momoshima S, Tateishi U, Tomita M, Takemasa R, Yuasa M, Hirai T, Yoshii T, Okawa A. Comparison of rigid and soft-brace treatments for acute osteoporotic vertebral compression fracture: A prospective, randomized multicenter study. *Journal of Clinical Medicine*. 201902; 8(2):198.

Wada E, Fukui M, Takahashi K, Takeuchi D, Hashizume H, Kanamori M, Hosono N, Kanchiku T, Kasai Y, Sekiguchi M, Konno S, Kawakami M, Yonenobu K. Japanese orthopaedic association cervical myelopathy evaluation questionnaire (JOACMEQ): Part 5. Determination of responsiveness. *Journal of Orthopaedic Science*. 201901; 24(1):57-61.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Tominaga R, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S; DISTO project working group. Reference values of the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis and characteristics of deterioration of QOL: Lumbar Spinal Stenosis Diagnosis Support Tool: DISTO project. *Journal of Orthopaedic Science*. 201907; 24(4):584-589.

Konno S. Integrating basic knowledge and clinical ability. *Journal of Orthopaedic Science*. 201909; 24(5):763.

Kawamata M, Iseki M, Kawakami M, Yabuki S, Sasaki T, Ishida M, Nishiyori A, Hida H, Kikuchi S. Efficacy and safety of controlled-release oxycodone for the management of moderate-to-severe chronic low back pain in Japan: results of an enriched enrollment randomized withdrawal study followed by an open-label extension study. *Journal of Pain Research*. 201901; 12:363-375.

Takahashi N, Takatsuki K, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary pain management program for patients with chronic musculoskeletal pain in Japan: a cohort study. *Journal of Pain Research*. 201908; 12:2563-2576.

Ouchi K, Watanabe M, Tomiyama C, Nikaido T, Oh Z, Hirano T, Akazawa K, Mandai N. Emotional Effects on Factors Associated with Chronic Low Back Pain. *Journal of Pain Research*. 201912; 12:3343-3353.

Kawamata M, Iseki M, Kawakami M, Yabuki S, Sasaki T, Ishida M, Nishiyori A, Hida H, Konno S. Efficacy and safety of controlled-release oxycodone for the management of moderate-to-severe chronic non-cancer pain in Japanese patients: Results from an open-label study. *Journal of Pain Research*. 201912; 12:3423-3436.

Otoshi K, Kikuchi S, Kato K, Kaneko Y, Mashiko R, Sato R, Igari T, Kaga T, Konno S. Sufficient duration of off-season decreases elbow disorders in elementary school-aged baseball players. *Journal of Shoulder and Elbow Surgery*. 201906; 28(6):1098-1103.

Asahina H, Oizumi S, Takamura K, Harada T, Harada M, Yokouchi H, Kanazawa K, Fujita Y, Kojima T, Sugaya F, Tanaka H, Honda R, Kikuchi E, Ikari T, Ogi T, Shimizu K, Suzuki M, Konno S, Dosaka-Akita H, Isobe H, Nishimura M. A prospective phase II study of carboplatin and nab-paclitaxel in patients with advanced non-small cell lung cancer and concomitant interstitial lung disease (HOT1302). *Lung Cancer*. 201912; 138:65-71.

Konno S, Alev L, Oda N, Ochiai T, Enomoto H. An Open-Label, 52-Week, Phase III Trial of Duloxetine in Japanese Patients with Chronic Low Back Pain. *Pain Medicine*. 201908; 20(8):1479-1488.

Kimachi K, Kimachi M, Takegami M, Ono R, Yamazaki S, Goto Y, Onishi Y, Sekiguchi M, Otani K, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Level of Low Back Pain-Related Disability is Associated with Risk of Subsequent Falls in an Older Population: Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). *Pain Medicine*. 201912; 20(12):2377-2384.

Fukuda M, Uni S, Igari T, Utsumi Y, Otsuka Y, Nakatani J, Uga S, Hara T, Hasegawa H, Takaoka H. Human case of *Onchocerca dewitiei japonica* infection in Fukushima, Northeastern Honshu, Japan. *Parasitology International*. 201910; 72:101943.

Mochizuki K, Kawana S, Yamada S, Muramatsu M, Sano H, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Hakozaiki M, Yamada H, Hashimoto Y, Kikuta A. Various checkpoint molecules, and tumor-infiltrating lymphocytes in common pediatric solid tumors: Possibilities for novel immunotherapy. *Pediatric Hematology and Oncology*. 201902; 36(1):17-27.

Baasanjav U, Ito N, Kurano M, Saigusa D, Saito R, Uruno A, Kano K, Ikeda H, Yamada Y, Sumitani M, Sekiguchi M, Aoki J, Yatomi Y. Alteration of the lysophosphatidic acid and its precursor

lysophosphatidylcholine levels in spinal cord stenosis: A study using rat cauda equina compression model. Scientific Reports. 201911; 9(1):16578.

Kameda T, Ejiri S, Yokota T, Konno S. Restoration of Elbow Flexion with a Pedicled Latissimus Dorsi Myocutaneous Flap to a Brachial Plexus Injury at the Terminal Nerve Level. Plastic and Reconstructive Surgery. Global Open. 201910; 7(10):e2472.

Kaneuchi Y, Sekiguchi M, Kameda T, Kobayashi Y, Konno S. Temporal and Spatial Changes of μ -Opioid Receptors in the Brain, Spinal Cord and Dorsal Root Ganglion in a Rat Lumbar Disc Herniation Model. Spine. 201901; 44(2):85-95.

菊地忠志, 高橋洋二郎, 新田夢鷹, 紺野慎一. ABO 式血液型と TKA における出血量との関係. 日本人工関節学会誌. 201912; 49:637-638.

畑下 智, 川上亮一, 江尻荘一, 紺野慎一, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑. 四肢の主幹動脈損傷に対する temporary intravascular shunt を用いた治療戦略. 日本マイクロサージャリー学会会誌. 201903; 32(1):18-24.

加賀孝弘, 大歳憲一, 加藤欽志, 増子遼介, 佐藤亮平, 猪狩貴弘, 沼崎広法, 紺野慎一. 陳旧性上腕骨内側上顆下端障害が高校野球選手の肘内側障害の発症に与える影響. 日本臨床スポーツ医学会誌. 201901; 27(1):41-46.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 加賀孝弘, 矢戸裕章, 紺野慎一, 伊藤恵康, 古島弘三, 古賀龍二. 成長期野球選手における上肢神経障害の有病割合. 臨床整形外科. 201908; 54(8):805-810.

過年業績

Otani K, Iwabuchi M, Sato K, Konno S, Kikuchi S. Postoperative neck symptoms of posterior approach for cervical compressive myelopathy: Expansive open-door laminoplasty vs. segmental partial laminectomy. Fukushima Journal of Medical Science. 201808; 64(2):54-59.

Itoh N, Tsuji T, Ishida M, Ochiai T, Konno S, Uchio Y. Response to duloxetine in patients with knee pain due to osteoarthritis: an exploratory post hoc analysis of a Japanese Phase III randomized study. Journal of Pain Research. 201810; 11:2603-2616.

大橋寛憲, 青田恵郎, 紺野慎一. 【大腿骨頸部骨折 アプローチ法を極める】主要なアプローチ法 External Rotator Preservation Procedure(ERP)後方侵入法 短外旋筋温存法. 整形外科 Surgical Technique. 201808; 8(4):431-437.

佐藤俊介, 畑下 智, 伊藤雅之, 小林秀男, 紺野慎一. TKA 後の大腿骨頸部骨折に対し大腿骨遠位外側用ロッキングプレートと脛骨近位外側用ロッキングプレートで治療した 1 例. 東北整形災害外科学会雑誌. 201806; 61(1):128-131.

大歳憲一, 猪狩貴弘, 加賀孝弘, 加藤欽志, 紺野慎一. 高校野球選手の手関節痛 有病割合と特徴. 日本整形外科学スポーツ医学会雑誌. 201803; 38(1):70-73.

畑下 智, 川上亮一, 江尻莊一, 紺野慎一, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑. 外傷性橈尺骨癒合症に対する橈側前腕脂肪筋膜弁による治療 2 例報告. 日本マイクロサージャリー学会会誌. 201809; 31(3):164-170.

吉田勝浩, 紺野慎一. 【スポーツ障害の予防・診断・治療】部位別各論 膝 半月板損傷に対する縫合術. 別冊整形外科. 201804; 73:159-163.

〔総説等〕

紺野慎一. 【脊柱と脊髄】病態編 病態と治療 脊柱管狭窄症の馬尾・神経根障害. Clinical Neuroscience. 201906; 37(6):696-698.

岩崎 稔, 高橋直人, 二瓶健司, 笠原 諭, 矢吹省司. テーマ新時代への挑戦：日本人にあったチーム医療、集学的治療、慢性痛に対する運動療法の自己管理法. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 201910; 11(3):295-302.

紺野慎一, 菊地臣一. 慢性疼痛の病態と治療. Journal of Spine Research. 201903; 10(3):153.

高橋直人, 矢吹省司. 入院による集学的治療におけるリハビリテーション診療の意義. Monthly Book Medical Rehabilitation. 201911; 242:68-76.

加藤欽志, 紺野慎一. 【整形外科医が知っておきたい薬の知識－私はこう使う－】病態からみた治療薬 腰部脊柱管狭窄. Orthopaedics. 201905; 32(5):25-30.

高橋直人, 笠原 諭, 矢吹省司. 運動器慢性痛に対する集学的痛み治療 －入院型ペインマネジメントプログラム－. PAIN RESEARCH. 201903; 34(1):44-56.

二階堂琢也. X 線診断 Q&A. 整形外科. 201908; 70(9):971-972.

小林 洋. 【患者さんが笑顔で過ごせるために あなたが解決！痛みとしびれ みんなの対応法を一挙公開！】原因不明の痛みとしびれ 原因がはっきりしない痛みとしびれ. 整形外科看護. 201908; 24(8):780-782.

高橋直人. 【患者さんが笑顔で過ごせるために あなたが解決！痛みとしびれ みんなの対応法を一挙公開！】周術期の痛みとしびれ対策 周術期の看護師のかかわり. 整形外科看護. 201908; 24(8):783-786.

青田恵郎, 大橋憲寛, 山岸栄紀, 紺野慎一. 骨付き外閉鎖筋採取器具の開発－脱臼抵抗性を高める外閉鎖筋縫合の工夫－. 日本人工関節学会雑誌. 201912; 49:111-112.

小林 洋, 紺野慎一. 【慢性疼痛 update－実地診療に役立つ最新知見－】慢性腰下肢痛. 日本臨床. 201912; 77(12):2020-2026.

大谷晃司. 福島県全体の臨床医学教育アップに向けた取り組み. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):43-49.

渡邊和之, 紺野慎一. 【臨床からみた難治性疾患の機序】脊椎手術後疼痛症候群. ペインクリニック. 201909;

40(3):327-334.

関口美穂, 紺野慎一. 【整形外科診療における最先端技術】診断、評価 新しい画像・機能診断 腰痛の解明
脳イメージングを用いて. 別冊整形外科. 201904; 75:20-22.

半田隼一, 矢吹省司. 加齢に伴う運動器の変化と理学療法 加齢に伴う腰椎の変化 1. 理学療法. 201912;
36(12):1129-1138.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 加藤欽志, 紺野慎一. 【スポーツ障害評価・治療の新たな手法】スポーツ障害の評価 ア
スリートの心理ストレス その実態と評価法. 臨床スポーツ医学. 201901; 36(1):48-51.

小林 洋, 紺野慎一. 【臨床麻酔誌上セミナー'19】腰痛診療の最新知識. 臨床麻酔. 201903; 43(臨増):347-355.

〔症例報告〕

Hakozaki M, Sekine T, Otani K, Konno S. Acute pseudogout lumbar discitis resembling acute pyelonephritis
in an elderly woman. Internal Medicine Journal. 201908; 49(8):1048-1050.

Kawasaki Y, Ejiri S, Hakozaki M, Konno S. Impaired Extension of the Digits due to Bilateral Idiopathic
Intrinsic Contracture: A Case Report. Journal of Hand Surgery Asian-Pacific volume. 201909; 24(3):383-385.

園部 樹, 小平俊介, 吉田勝浩, 沼崎広法, 紺野慎一. 大腿骨骨幹部前面に生じた外骨腫に合併した反復性膝蓋
骨脱臼の1例. 東北膝関節研究会会誌. 201907; 28:3-6.

新田夢鷹, 青田恵郎, 小林秀男, 山岸栄紀, 佐藤法義, 紺野慎一. 脆弱な寛骨臼骨移植によりカップ脱転をき
たした高位脱臼股の2例. 東日本整形災害外科学会雑誌. 201903; 31(1):129-132.

嶋崎 睦, 山田 仁, 渡邊一男, 荒 博文, 紺野慎一. 超高齢者に発生した皮下原発組織球肉腫の1例. 臨床整
形外科. 201909; 54(9):955-959.

著 書・訳 書

青田恵郎. DSA(Direct Superior Approach)の臨床成績. In: 日本ストライカー 編. DSA BOOK. 東京: 日本ストラ
イカー; 201912. p.8-112.

矢吹省司. 腰痛症. In: 泉 孝英 編. ガイドライン外来診療 2019. 東京: 日経メディカル開発; 2019. p.267-272.

二階堂琢也. 破裂骨折: MIST. In: 西良浩一, 石井 賢 編. 匠が伝える低侵襲脊椎外科の奥義. 東京: メジカルビ
ュー社; 201912. p.254-260.

二階堂琢也, 紺野慎一. 脊椎の解剖. In: 紺野慎一 編. 整形外科 日常診療のエッセンス 脊椎. 東京: メジカル
ビュー社; 201903. p.2-14.

二階堂琢也, 紺野慎一. 腰痛. In: 大川 淳, 平田 仁 編. 整形外科診療のためのガイドライン活用術. 東京: 中山書店; 2019. p.15-21.

矢吹省司. 腰痛、背部痛. In: 伴信太郎, 山本和利 編. 内科学書 改訂第9版 Vol.1. 東京: 中山書店; 2019. p.442-445.

矢吹省司. 四肢痛. In: 伴信太郎, 山本和利 編. 内科学書 改訂第9版 Vol.1. 東京: 中山書店; 2019. p.445-447.

研究発表等

〔研究発表〕

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Kikuchi S, Konno S.
Association between core stability and low back pain in high-school baseball players. 46th ISSLS 2019; 20190603; Kyoto.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Kikuchi S, Konno S.
Development and enlargement of ossification of the ligamentum flavum in the thoraco-lumbar spine in Asian professional baseball players: comparison with age-and sex-matched control subjects. 46th ISSLS 2019; 20190603; Kyoto.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Kikuchi S, Konno S. Lumbar spine facet joint osteoarthritis in professional athletes. 46th ISSLS 2019; 20190603; Kyoto.

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Quantitative evaluation of motor function of the lower extremity using the foot tapping test: Part 2: Five-year follow-up. 46th ISSLS 2019; 20190603; Kyoto.

Nikaido T, Otani K, Sekiguchi M, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S.
Characteristics of neuropathic pain due to lumbar spine disorders: Relationship with recognition of pain, psychiatric problems, and HR-QoL. 46th ISSLS Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Otani K, Kikuchi S, Nikaido T, Konno S. Cross-sectional and one-year follow-up study for the relationship between lumbar spinal stenosis and low back pain in the community. 46th ISSLS 2019; 20190603; Kyoto.

Otani K, Kikuchi S, Nikaido T, Konno S. Dose dural sac cross-sectional area predict the presence of subjective lumbar spinal stenosis symptoms after 10-years follow-up? 46th ISSLS 2019; 20190603; Kyoto.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Five-year result of lumbar spinal stenosis with degenerative spondylolisthesis treated with decompression alone. 46th ISSLS 2019; 20190603; Kyoto.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Pre-operative evaluation by the Brief Scale for Psychiatric problems in Orthopaedic Patients (BS-POP) relates to poor

surgical outcomes of lumbar decompression surgery. 46th ISSLS 2019; 20190603; Kyoto.

Takahashi N, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary pain management program for the patients with chronic low back pain japan. 46th ISSLS Annual Meeting; 20190703-08; Kyoto.

Kobayashi H, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Handa J, Otani K, Yabuki S, Konno S. Surgical outcome of posterior minimum invasive surgery using spinal instruments for pelvic ring injury. 19th Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery; 20190807-11; Suzhou, China.

Aota S, Ohashi H, Sato N, Yamagishi E, Shinden Y, Konno S. Short-term results of total hip arthroplasty with short external rotator preservation using a posterior approach: comparison of posteroinferior and posterosuperior approaches. 2019 Annual Meeting of Taiwan Orthopaedic Association; 20191026-27; Taipei, Taiwan.

草野敬悟, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 幼児環軸関節亜脱臼の治療経験－1 例報告－. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

國島麻実子, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 転移性髄内腫瘍の治療経験－1 例報告－. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

波入雄大, 岩渕真澄, 福田宏成, 富永亮司, 白土 修. 環椎弓低形成を伴う環軸関節亜脱臼により頸髄症を呈した 1 例. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

結城拓也, 大谷晃司, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎砂時計腫術後 15 年で頸椎砂時計腫を発症した 1 例. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

山田 仁, 大瀧 遥, 風間順一郎, 水沼英樹, 紺野慎一. 福島県北医療圏における骨粗鬆症診療実態. 第 40 回東北骨代謝・骨粗鬆症研究会; 20190202; 仙台.

Igari T, Otoshi K, Kaneko Y, Mashiko R, Sato R, Kaga T, Konno S. Relation of stress response to shoulder and elbow pain in high school baseball players. 第 31 回日本肘関節学会学術集会; 20190208-09; 小樽.

Kaga T, Otoshi K, Kaneko Y, Igari T, Konno S. Anatomically based surgery for refractory medical epicondylitis. 第 31 回日本肘関節学会学術集会; 20190208-09; 小樽.

青田恵郎, 大橋寛憲, 山岸栄紀, 紺野慎一, 佐藤法義, 荒 文博. 筋腱温存による後方アプローチ THA の短期成績－ERP, DSA, 従来法の比較－. 第 49 回日本人工関節学会; 20190215-16; 東京.

佐藤法義, 青田恵郎, 大橋寛憲, 山岸栄紀, 荒 文博. 後方アプローチ人工股関節置換術後の梨状筋の変化－温存, 再縫合, 切離後の MRI による変化－. 第 49 回日本人工関節学会; 20190215-16; 東京.

伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 畑下 智. 寛骨臼骨折後の人工股関節置換術. 第 49 回日本人工関節学会; 20190215-16; 東京. プログラム・抄録集. 451.

青田恵郎, 大橋寛憲, 山岸栄紀, 紺野慎一, 佐藤法義, 荒 文博. 骨付き外閉鎖筋による後方軟修復—後方アプローチにおける脱臼抵抗性を高める工夫と. 第 49 回日本人工関節学会; 20190215-16; 東京.

大橋寛憲, 青田恵郎, 山岸栄紀, 紺野慎一. Direct Superior approach による人工股関節置換術のラーニングカーブ—2 人の術者による検討—. 第 49 回日本人工関節学会; 20190215; 東京.

波入雄大, 岩渕真澄, 富永亮司, 高橋洋二郎, 猪股洋平, 田口浩子, 白土 修. 腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内注射療法: コンドリナーゼの使用経験. 会津整形外科医会学術講演会; 20190222; 会津若松.

佐々木信幸, 川上亮一, 利木成広, 草野敬悟, 紺野慎一. 片側が開放骨折であった脛骨天蓋骨折の一例. 第 32 回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋佑, 鈴木敏之, 伊藤雅之, 川上亮一, 紺野慎一. 超高齢者の Pilon 骨折に対する段階的 MATILDA 法—1 例報告—. 第 32 回日本創外固定・骨延長学会学術集会学術集会; 20190301-02; 秋田.

川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 紺野慎一, 畑下 智. Chipping Corrective Osteotomy の治療経験. 第 32 回日本創外固定・骨延長学会学術集会学術集会; 20190301; 秋田.

利木成広, 川上亮一, 佐々木信幸, 紺野慎一. PIP 関節再建に所軟骨を使用した治療経験—1 例報告—. 第 32 回日本創外固定・骨延長学会学術集会学術集会; 20190301; 秋田.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 紺野慎一. 上腕骨近位端骨折遷延治癒に対する体外衝撃波治療—1 例報告—. 第 46 回生体電気・物理刺激研究会; 20190309; 福島.

Sekiguchi M, Nikaido T, Konno S. Development and validation of spine painDETECT questionnaire ～A screening tool for neuropathic pain caused by spinal disorders～. 第 22 回脊椎と神経を語る会(SGNS); 20190309-11; 東京.

Tominaga R, Otani K, Iwabuchi M, Kikuchi S, Shirado O, Konno S. Association between spino-pelvic alignment and QOL in community-dwelling adults -The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study (LOHAS)-. 第 22 回脊椎と神経を語る会(SGNS); 20190309-11; 東京.

佐々木信幸, 川上亮一, 利木成広, 紺野慎一. 河川の汚染を伴った高所墜落外傷による両側 Pilon 骨折の治療—1 例報告—. 第 24 回救急整形外傷シンポジウム(EOTS); 20190322-23; 北谷町.

二階堂琢也, 大谷晃司, 関口美穂, 猪狩貴弘, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 地域住民における傍脊柱筋の脂肪変性と腰部脊柱管狭窄との関係—南会津スタディ—. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):545.

大瀧 遥, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. MRI による頸椎椎間板変性の各種評価法の比較. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

大谷晃司, 二階堂琢也, 菊地臣一, 紺野慎一. 地域住民における腰部脊柱管狭窄の実態—硬膜間の横断面積は

10年後の腰部脊柱管狭窄症状の存在を予測できるか. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

大谷晃司, 二階堂琢也, 菊地臣一, 紺野慎一. 腰部部硬膜間面積と転倒との関係—縦断研究—. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

加藤欽志, 大歳憲一, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 紺野慎一. 野球選手における腰椎終末期分離の存在は競技生活に影響するのか? 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 矢吹省司, 紺野慎一. 足10秒テストを用いた腰仙椎部疾患における下肢運動機能の定量評価—第2報: 術後5年フォローアップによる経時的変化の検討. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手の腰痛—メディカルサポートは有用か—. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

亀田拓哉, 江尻荘一, 横田武尊, 紺野慎一. 舟上骨折偽関節に対する遊離腸骨移植と血管柄付き第2中手骨基部移植術(牧野法)の併用によるDISI矯正効果の検討. 第62回日本手外科学会学術集会; 20190418-19; 札幌.

畑下 智, 伊藤雅之, 川上亮一, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 高橋洋二郎, 新田夢鷹, 紺野慎一. 橈骨遠位端骨折後の早期握力回復は可能か? 第62回日本手外科学会学術集会; 20190418-19; 札幌.

堀金 尚, 佐藤真理子, 渡邊謙治, 畑下 智. 橈骨遠位端骨折後の早期握力回復に向けたプロトコールの検討. 第31回日本ハンドセラピー学会学術集会; 20190419-20; 札幌.

田地野崇宏, 佐藤弘一郎. 一般病院での骨軟部腫瘍専門診療が病院にもたらす利益について. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190509; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(2):S64.

二階堂琢也, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎疾患による神経障害性疼痛の特徴 痛みの認知, 心理的問題, QOL との関係. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(2):S122.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 兼子陽太, 増子遼介, 佐藤亮平, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 紺野慎一. 成長期野球選手における運動器の痛みとストレス反応の関係. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

大瀧 遥, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. MRIによる頸椎椎間板変性の評価—各種評価法の比較—. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

大谷晃司, 菊地臣一, 紺野慎一. ロコモティブシンドロームの経年的変化. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

大谷晃司, 菊地臣一, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 一般住民における腰部脊柱管狭窄症と腰痛との関係—南会津スタディより—. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

菊地忠志, 高橋洋二郎, 新田夢鷹, 紺野慎一. 感染人工膝関節に対するインプラント温存の治療成績. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

小林 洋, 大谷晃司, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 10 秒テストと握力を用いた頸髄症スクリーニングツールの開発ー利き手と左右差を用いたスコアリングシステムー. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

畑下 智, 伊藤雅之, 川上亮一, 朝熊英也, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 紺野慎一. 小児大腿骨骨幹部骨折の牽引治療は回旋変形や過成長に注意する必要があるー牽引群と手術群の比較検討ー. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

山岸栄紀, 青田恵郎, 大橋寛憲, 紺野慎一. 人工股関節置換術(THA)後の短外施筋は強固な縫合法で温存される. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

渡邊和之, 大歳憲一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手に対するメディカルサポートの有用性の検討. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

大瀧 遥, 渡邊剛広, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. Comparison of Various Evaluation Methods of Cervical Intervertebral Disc Degeneration by Magnetic Resonance Imaging -Minami Aizu Study-. NEST; 20190525; 福島.

矢吹省司. 運動器慢性痛に対するリハビリテーション医療. 第 56 回リハビリテーション医学会学術集会; 20190612-16; 神戸.

吉田勝浩, 小平俊介, 沼崎広法, 紺野慎一. Ramp lesion に対する FasT-Fix を用いた縫合術の治療成績. 第 11 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会; 20190613-15; 札幌.

Otaki H, Otani K, Sekiguchi M, Watanabe T, Konno S. Comparison of Various Evaluation Methods of Cervical Intervertebral Disc Degeneration by Magnetic Resonance Imaging. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

秋山優人, 江尻荘一, 亀田拓哉, 横田武尊, 紺野慎一. 両肘頭の難治性皮膚潰瘍に対して骨切除と局所回転皮弁を行った Werner 症候群の 1 例. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

石川圭佑, 半田隼一, 笹島功一, 相澤利武, 半田隼一, 二階堂琢也, 渡邊和之, 大谷晃司. 腰部脊柱管狭窄症における認知症が術後疼痛と機能に与える影響について. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

大瀧 遥, 渡邊剛広, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. Comparison of Various Evaluation Methods of Cervical Intervertebral Disc Degeneration by Magnetic Resonance Imaging. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

上村周平, 裏主正太郎, 結城拓也, 猪狩貴弘, 加藤欽志, 紺野慎一. 医学部ラグビー部員における頭頸部外傷についてのアンケート調査. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋佑, 伊藤雅之. 骨短縮を施行した上腕開放骨折 Gustilo IIIC の 1 例. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

佐藤法義, 青田恵郎, 大橋寛憲, 山岸栄紀, 紺野慎一, 荒 文博, 新田夢鷹. 大腿骨システム周囲骨折に対する治療法の検討. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

菅原崇寛, 佐藤勝彦, 朝熊英也, 長倉 栄, 関根拓未, 川原田圭, 関 敬大. 腰椎固定術後の Hip Spine Syndrome-THA 術後翌日に両下肢麻痺を来した腰椎固定術後隣接椎間障害の 1 例. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

関 敬大, 佐藤勝彦, 朝熊英也, 長倉 栄, 関根拓未, 川原田圭. 腰椎後方除圧術後に努責により硬膜管破裂をきたした症例—1 例報告—. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

増子遼介, 伊藤雅之, 畑下 智, 佐藤俊介, 水野洋佑. 鎖骨骨折に伴う胸郭出口部の腋窩動脈損傷に対する緊急手術の 1 例. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

猪股洋平, 高橋直人, 遠藤康二郎, 高橋洋子, 立石 琢, 矢吹省司. 運動器慢性痛に対し多職種による入院型集学的痛み治療により奏功した 1 例. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190622; 盛岡.

増子遼介, 伊藤雅之, 畑下 智, 佐藤俊介, 水野洋佑. 大腿骨転子下骨折髓内釘固定時の工夫—スモールプレートによる選考固定について—. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡. 骨折. 41(Suppl.):S106.

増子遼介, 伊藤雅之, 畑下 智, 佐藤俊介, 水野洋佑. 踵骨骨折に対し、大本法を施行した症例の検討. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡. 骨折. 41(Suppl.):S125.

水野洋佑, 伊藤雅之, 鈴木敏之, 佐藤俊介, 増子遼介, 畑下 智. 外傷再建センター専属麻酔科医師赴任後の大腿骨近位部骨折に対する治療効果の検討. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡. 骨折. 41(Suppl.):S184.

畑下 智, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 鈴木敏之, 川上亮一, 朝熊英也. 小児大腿骨骨幹部骨折の長期経過. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡. 骨折. 41(Suppl.):S374.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋佑, 伊藤雅之, 川上亮一, 紺野慎一. 当センターにおける大腿骨複合骨折の治療. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡. 骨折. 41(Suppl.):S386.

亀田拓哉, 江尻荘一, 横田武尊, 紺野慎一. 遊離腸骨移植と血管柄付き第 2 中手骨基部骨移植術 (牧野方) の併用法を用いた舟上骨偽関節治療成績の検討. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡.

佐々木信幸, 川上亮一, 利木成広, 紺野慎一. Masquelet 法による骨再建 2 年後に脛骨の変形が進行し、インプラント折損を来した Gustilo IIIB 下腿開放骨折の一例. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡.

箱崎道之, 山田 仁, 川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 金内洋一, 紺野慎一. 病的骨折で発症した大腿骨近位部軟骨肉腫に対する広範切除後の Masquelet 法による骨欠損再建. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡.

結城拓也, 川上亮一, 佐々木信幸, 紺野慎一. 閉鎖性大腿骨骨幹部骨折に合併した大腿動脈静脈損傷—1 例報告—. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡.

川前恵史, 箱崎道之, 山田 仁, 金内洋一, 紺野慎一. 骨端線閉鎖前に大腿骨二次性軟骨肉腫を生じた多発性骨軟骨腫瘍. 第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学会; 20190711-12; 川越.

高橋直人, 久保 均, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 集学的痛み治療を受けた運動器慢性痛患者における MR スペクトロコピーを用いた網羅的解析. 第 41 回日本疼痛学会; 20190712; 名古屋.

田地野崇宏, 渡邊一男, 箱崎道之, 山田 仁, 金内洋一, 紺野慎一. 高齢女性の大腿骨に発生した皮質骨内骨肉腫—1 例報告—. 第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20190711; 川越. 日本整形外科学会雑誌. 93(6):S1433.

箱崎道之, 山田 仁, 川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 金内洋一, 紺野慎一. 病的骨折で発症した大腿骨近位部軟骨肉腫に対する広範切除後の Masquelet 法による骨欠損再建. 第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学会; 20190711-12; 川越.

佐々木信幸, 川上亮一, 利木成広, 小林一貴, 紺野慎一. Bridle 法による足関節背屈機能再建. 第 6 回日本重度四肢外傷シンポジウム; 20190713-14; 札幌.

大瀧 遥, 渡邊剛広, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. MRI による頸椎椎間板変性の評価 —南会津スタディー—. 整形外科痛みを語る会; 20190720; 山口.

渡邊和之, 大歳憲一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手に対するメディカルサポートの有用性の検討—足関節捻挫を減らせるか—. 第 45 回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会; 20190830-31; 大阪.

猪狩貴弘, 加藤欽志, 結城拓也, 新田夢鷹, 紺野慎一. 医学部ラグビー選手における頭頸部外傷についてのアンケート調査. 第 68 回東日本整形災害外科学会; 20190905-06; 東京.

横田武尊, 江尻莊一, 安永 亨, 亀田拓哉, 紺野慎一. 内側開大型高位脛骨骨切り術の感染性偽関節に対して創外固定器を用いた Masquelet 法を行った 1 例. 第 68 回東日本整形災害外科学会; 20190905-06; 東京.

大瀧 遥, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. MRI による腰椎椎間板変性分類法と頸椎椎間板変性分類法の頸椎における比較. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 足 10 秒テストを用いた腰仙椎部疾患における下肢運動機能の定量評価—第 2 報: 術後 5 年フォローアップによる経時的変化の検討—. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

高橋直人, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 慢性腰痛に対する集学的痛み治療—入院型ペインマネジメントプログラム後の追跡調査—. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913; 神戸.

小林一貴, 川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 佐久間洋太. ロッキングプレートを用いた母指 CM 関節固定術.

第 33 回福島手外科研究会; 20191005; 福島.

長谷川美規, 山田 仁, 大谷晃司, 紺野慎一. テリパラチド週 1 回製剤投与における有害事象発生の実態と治療継続への影響. 第 21 回日本骨粗鬆症学会; 20191011; 神戸. 日本骨粗鬆症学会雑誌. 5(2):297.

大瀧 遥, 渡邊剛広, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. 頸椎椎間板変性の MRI による評価と疼痛. 福島運動器疼痛セミナー; 20191012; 福島.

蓬田翔太, 関口美穂, 紺野慎一. ラット髄核留置モデルにおける疼痛関連行動と社会的ストレスとの関与. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1638.

平井 亨, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. 地域住民における頸髄圧迫と臨床症状の疫学調査. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1727.

高橋直人, 久保 均, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 集学的痛み治療を受けた運動器慢性痛患者における MR スペクトロスコピーを用いた網羅的解析. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017; 横浜.

大瀧 遥, 渡邊剛広, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. 頸椎椎間板変性の MRI による各種評価法の再現性の比較. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

富永亮司, 大谷晃司, 岩淵真澄, 菊地臣一, 白土 修, 紺野慎一. 一般地域住民における脊椎・骨盤矢状面アラメントと QOL の関連性の検討. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

加賀孝弘, 兼子陽太, 増子遼介, 佐藤亮平, 猪狩貴弘, 穴戸裕章, 紺野慎一. 70 歳以上の上腕骨近位端骨折に対する人工骨頭置換術の治療成績. 第 46 回日本肩関節学会; 20191025-26; 長野.

新田夢鷹, 青田恵郎, 大橋寛憲, 荒 文博, 山岸栄紀, 佐藤法義. ロッキングスーチャーによる切離短外修復は大転子部痛を起こさないか. 第 46 回日本股関節学会学術集会; 20191025-26; 宮崎.

渡邊謙治, 畑下 智. 外傷性腕神経叢損傷に対し麻痺肩再建術後の後療法の経験. 第 46 回日本肩関節学会; 20191025-26; 長野.

田地野崇宏, 佐藤弘一郎. 大学病院の専門医が一般病院に就職後, 新たに専門診療を行うことは病院に利益をもたらすことができるのか? STR 医学会; 20191102; 郡山.

兼子陽太, 加藤欽志, 猪狩貴弘, 増子遼介, 紺野慎一, 大歳憲一, 加賀孝弘, 沼崎広法, 嶋原智彦, 鈴木秀基, 今野裕樹. 高校野球選手の運動器の疼痛が睡眠に与える影響. 第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜. 日本臨床スポーツ医学会誌. 27(4):S193.

加藤欽志, 大歳憲一, 紺野慎一. プロ野球選手における腰椎集束期分離の存在は腰痛による競技離脱を増加させるか? 第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

嶋原智彦, 猪狩貴弘, 今野裕樹, 鈴木秀基, 加賀孝弘, 兼子陽太, 加藤欽志, 沼崎広法, 大歳憲一, 紺野慎一. 福島県における高校野球選手に対するサポート 第 3 報. 第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会;

20191116-17; 横浜.

大戸明文, 嶋原智彦, 三澤辰也, 猪狩貴弘, 今野裕樹, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 大歳憲一, 紺野慎一. 高校野球選手の睡眠障害と生活環境との関係. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 兼子陽太, 増子遼介, 嶋原智彦, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 紺野慎一. 高校野球選手における尺骨神経脱臼の有病割合と尺骨神経障害との関連. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

渡邊和之, 大歳憲一, 桎村孝憲, 津田清美, 紺野慎一. 小中学生バスケットボール選手に対するメディカルチェックー足関節捻挫の受傷年齢と超音波検査所見の検討. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. アスリートにおける腰椎椎間関節障害の診断. 第22回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会; 20191128-29; 高松.

佐々木信幸, 川上亮一, 山田 仁, 箱崎道之, 利木成広, 小林一貴, 紺野慎一. 弓道選手に対する血管柄付き腓骨移植による部分手関節固定 橈骨遠位部骨肉腫広範切除後の1再建例. 第46回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20191128-29; 東京.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋佑, 伊藤雅之, 紺野慎一. 超音波エコーによる指動脈中節部横連合技の位置の検討ー第2報ー. 第46回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20191128-29; 東京.

戸田 亘, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤浩, 紺野慎一, 矢部博興. 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化. 第49回日本臨床神経生理学会学術集会; 20191128-30; 福島. 臨床神経生理学. 47(5):448.

佐藤弘一郎, 大瀧 遙, 田地野崇宏. KL-6 が高値を示した悪性腫瘍合併関節リウマチの2症例. 第34回日本臨床リウマチ学会; 20191130-1201; 名古屋.

高橋直人, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 運動器慢性痛の誘因の有無が入院型ペインマネジメントプログラムの効果に及ぼす影響. 第12回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S62.

岩崎 稔, 高橋直人, 大内美穂, 二瓶健司, 恩田 啓, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 強直性脊椎炎による安静時仙腸関節痛に対し体幹筋力向上トレーニングが奏功した症例. 第12回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S106.

二瓶健司, 高橋直人, 松平 浩, 岩崎 稔, 大内美穂, 恩田 啓, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 第4腰椎変性すべり症による神経根障害に対し水中運動療法が奏功した一例. 第12回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S106.

高橋直人, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 運動器慢性痛の誘因の有無が入院型ペインマネジメントプログラムの効果に及ぼす影響. 第11回日本運動器疼痛学会; 20191201; 東京.

過年業績

Watanabe K, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Spinal deformity and depression symptoms -Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). 45th ISSLS 2018; 20180514; Banff, Canada.

Nikaido T, Kikuchi S, Igari T, Sekiguchi M, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Yabuki S, Konno S. Intermittent claudication due to low back pain in the community: the Minami Aizu Study. 45th ISSLS 2018; 20180514; Banff, Canada.

Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Low back pain related disability and MRI finding in the elderly: a cross-section and prospective one-year follow-up in the community. 45th ISSLS 2018; 20180514; Banff, Canada.

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Tominaga R, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Population-based study of medical resource usage by patients with lumbar spinal stenosis. 45th ISSLS 2018; 20180514; Banff, Canada.

Aota S, Ohashi H, Sato N, Yamagishi E, Konno S. Total Hip arthroplasty with external rotator preservation needs to take care of anterior impingement. EFFORT 2018; 20180530; Barcelona, Spain.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Dural tear during endoscopic posterior lumbar decompression surgery. PSMISS 2018; 20180719; Kaohsiung, Taiwan.

Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Yamada H, Tajino T, Konno S. Long-term survival of synchronous multicentric osteosarcoma by multimodality treatment: a case report. Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society 2018; 20181004; Jaipur, India.

富永亮司, 矢吹省司, 小林 洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 大谷晃司, 紺野慎一. 腰椎分離症に対する O-arm と脊椎内視鏡を用いた最小侵襲分離部修復術について. 第 28 回東北脊椎外科研究会; 20180127; 仙台.

富永亮司, 矢吹省司, 兼子陽太, 小林 洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 大谷晃司, 紺野慎一. 多発椎体骨折を契機に発見された続発性骨粗鬆症の 1 例. 第 39 回東北骨代謝・骨粗鬆症研究会; 20180203; 仙台.

猪狩貴弘, 加藤欽志, 紺野慎一, 加賀孝弘, 大歳憲一, 沼崎広法. 成長期野球選手の肘頭疲労骨折に対する体外衝撃波治療について. 第 30 回日本肘関節学会; 20180216; 東京.

加賀孝弘, 大歳憲一, 兼子陽太, 増子遼介, 佐藤亮平, 猪狩貴弘, 沼崎広法, 紺野慎一. 小頭離断性骨折軟骨炎 (小頭 OCD) に対する鏡視下郭清術の治療成績. 第 30 回日本肘関節学会; 20180216; 東京.

兼子陽太, 大歳憲一, 猪狩貴弘, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 鴨原智彦, 紺野慎一. 肘離断性骨軟骨炎と肘痛の関係. 第 30 回日本肘関節学会; 20180216; 東京.

加藤欽志, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 富永亮司, 紺野慎一. 椎間関節性腰痛の病態と診断のポイント. 腰痛シンポジウム; 20180303; 東京.

猪狩貴弘, 紺野慎一. 難治性上腕骨外側上顆炎に対する体外衝撃波治療. 第 45 回日本生体電気・物理刺激研究会; 20180310; 札幌.

兼子陽太, 大歳憲一, 猪狩貴弘, 加賀孝弘, 加藤欽志, 嶋原智彦, 今野裕樹, 紺野慎一. 高校野球選手の障害年間発生状況. 第 8 回福島スポーツ研究会特別講演会; 20180329; 福島.

大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 富永亮司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄は転倒の危険因子となるのかー縦断研究ー. 第 47 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20180412; 神戸.

加藤欽志, 大谷晃司, 関口美穂, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 富永亮司, 菊地臣一, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄患者に対する保存治療は自然経過と比較して QOL を改善するか. 第 47 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20180412; 神戸.

加藤欽志, 大歳憲一, 加賀孝弘, 猪狩貴弘, 金内洋一, 増子遼介, 紺野慎一. 高校野球選手における腰痛と体幹安定性評価. 第 47 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20180412; 神戸.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 富永亮司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 10 秒テストと握力を組み合わせた、新しい頸部脊髄症スクリーニングツールの開発ー南会津スタディー. 第 47 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20180412; 神戸.

二階堂琢也, 大谷晃司, 関口美穂, 猪狩貴弘, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 富永亮司, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰部傍脊柱筋の退行性変化と神経性間欠跛行との関係ー南会津スタディー. 第 47 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20180412; 神戸.

渡邊和之, 大谷晃司, 関口美穂, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 富永亮司, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊柱アライメントと疼痛ー脊柱矢状面アライメントと頸部愁訴との関連ー Locomotive syndrome and health outcome in Aizu cohort study(LOHAS). 第 47 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20180412; 神戸.

Kaneko Y, Igari T, Otoshi K, Shishido H, Konno S. The use of three-dimensional MRI evaluating the articular cartilage after osteochondral transplantation for osteochondritis dissecans of the humeral capitellum. 第 115 回東北整形災害外科学会; 20180427; 青森.

Yoshida K, Kodaira S, Kobayashi H, Numazaki H, Konno S. The graft elongation deformity by cyclic knee flexion-extension motion graft fixation in anterior cruciate ligament reconstruction. 第 115 回東北整形災害外科学会; 20180427; 青森.

富永亮司, 矢吹省司, 兼子陽太, 小林 洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 大谷晃司, 紺野慎一. 多発椎体骨折を契機に発見された続発性骨粗鬆症の 1 例. 第 115 回東北整形災害外科学会; 20180427; 青森.

内村 啓, 渡邊和之, 富永亮司, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 椎骨動脈走行異常による頸髄症ー1 例報告ー. 第 115 回東北整形災害外科学会; 20180427; 青森.

青田恵郎, 大橋寛憲, 佐藤法義, 新田夢鷹, 紺野慎一. 短外施筋温存法(ERP)による THA 術後脱臼の防止効果—従来法 THA との比較—. 第 91 回日本整形外科学会総会; 20180524; 神戸.

大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 富永亮司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. ロコモティブシンドロームと認知機能との関係. 第 91 回日本整形外科学会総会; 20180524; 神戸.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 増子遼介, 佐藤亮平, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 紺野慎一. 高校野球選手における肩肘痛による投球支障度と心理的ストレスの関係. 第 91 回日本整形外科学会総会; 20180524; 神戸.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 富永亮司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 一般住民における肩こりと頸部痛の差異—健康関連 QOL の検討—. 第 91 回日本整形外科学会総会; 20180524; 神戸.

二階堂琢也, 菊地臣一, 大谷晃司, 関口美穂, 猪狩貴弘, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 富永亮司, 矢吹省司, 紺野慎一. 一般住民における腰痛性間欠跛行に関連する因子の検討—南会津スタディー—. 第 91 回日本整形外科学会総会; 20180524; 神戸.

二階堂琢也, 大谷晃司, 関口美穂, 猪狩貴弘, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 富永亮司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 地域住民における傍脊柱筋の退行性変化と腰部脊柱管狭窄との関係—南会津スタディー—. 第 91 回日本整形外科学会総会; 20180524; 神戸.

山岸栄紀, 青田恵郎, 大橋寛憲, 荒 文博, 佐藤法義, 紺野慎一. Direct Superior Approach(DSA)におけるカップ設置角の検討. 第 91 回日本整形外科学会総会; 20180524; 神戸.

富永亮司, 福井 聖, 亀田拓也, 関口美穂, 岩下成人, 伊藤一樹, 田中佐智子, 紺野慎一. Voxel-based morphometry を用いた慢性腰痛患者の全脳形態評価. 第 91 回日本整形外科学会総会; 20180524; 神戸.

吉田勝浩, 小平俊介, 小林秀男, 沼崎広法, 紺野慎一. 前十字靭帯再建術後の疼痛管理. 第 10 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会; 20180614; 福岡.

猪狩貴弘, 吉田勝浩, 加藤欽志, 紺野慎一. 難治性筋・腱付着部症に対する体外衝撃派治療の治療経験. 第 10 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会; 20180614; 福岡.

立石 拓, 吉田勝浩, 沼崎広法, 紺野慎一. 半月板損傷に対する体外衝撃派治療法の治療経験. 第 10 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会; 20180614; 福岡.

蓬田翔太, 関口美穂, 紺野慎一. ラット髄核留置モデルにおける疼痛関連行動と社会的ストレスとの関与. 第 40 回日本疼痛学会; 20180615; 長崎.

平井 亨, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. 地域住民における頸髄圧迫と臨床症状との関係. 第 16 回整形外科痛みを語る会; 20180623; 三重.

佐々木信幸, 川上亮一, 利木成広, 紺野慎一. 小児上腕骨顆上骨折後内反肘の矯正骨切り術に足用ロッキングブレートを使用した 3 例. 第 44 回骨折治療学会; 20180706; 岡山.

川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 畑下 智, 江尻莊一, 紺野慎一. 若年女性の PIP 関節再建に肋軟骨をしようした治療経験—2 例報告—. 第 44 回骨折治療学会; 20180706; 岡山.

箱崎道之, 山田 仁, 江尻莊一, 川上亮一, 佐々木信幸, 紺野慎一. 大腿骨頸部骨腫瘍の切迫骨折例に対する血管柄付き腸骨移植術. 第 44 回骨折治療学会; 20180706; 岡山.

金内洋一, 箱崎道之, 山田 仁, 田地野崇宏, 紺野慎一. 集学的治療を行い長期生存が得られた同時性多中心性骨肉腫—1 例報告—. 第 51 回日整会骨軟部腫瘍学術集会; 20180712; 静岡.

箱崎道之, 山田 仁, 田地野崇宏, 武田 明, 江尻莊一, 川上亮一, 佐々木信幸, 金内洋一, 紺野慎一. 大腿骨頸部骨腫瘍に対する有茎血管柄付き腸骨移植術. 第 51 回日整会骨軟部腫瘍学術集会; 20180712; 静岡.

山田 仁, 箱崎道之, 紺野慎一. 悪性骨軟部腫瘍診療における医療連携 —The Significance of Medical Cooperation for Diagnosis and Treatment for Malignant Bone and Soft-Tissue Tumors—. 第 51 回日整会骨軟部腫瘍学術集会; 20180712; 静岡.

園部 樹, 小平俊介, 吉田勝浩, 沼崎広法. 大腿骨骨幹部前面に生じた外骨腫に合併した反復性膝蓋骨脱臼の 1 例. 第 41 回東北膝関節研究会; 20180721; 仙台.

川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 紺野慎一. Gustilo type3C 急性期深部感染に対する masquelet 法と遊離皮弁での治療経験 Masquelet technique and free flap for the deep infection of Gustilo type 3C fracture at the acute phase. 第 31 回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20180803; 弘前.

小林 洋, 二階堂琢也, 富永亮司, 加藤欽志, 渡邊和之, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 胸椎化膿性脊椎炎に対する胸腔鏡を用いた低襲前方固定術—2 例報告—. 第 6 回 Japan Association of Spine surgeons with Ambition; 20180804; 東京.

Kato K, Otoshi K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Konno S. Diagnosis and management of lumbar spinal facet joint pain in professional athletes. 第 44 回日本整形外科スポーツ医学会; 20180907; 徳島.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Hironori N, Konno S. Characteristics of Thoracic Ossification of the ligamentum flavum in professional baseball players: comparison with age-and sex-matched control subjects. 第 44 回日本整形外科スポーツ医学会; 20180907; 徳島.

渡邊和之, 二階堂琢也, 樫村孝憲, 津田清美, 紺野慎一. 小中学生バスケットボール選手における腰痛調査—腰痛と股関節周囲筋力との関係—. 第 44 回日本整形外科スポーツ医学会; 20180907; 徳島.

新田夢鷹, 青田恵郎, 小林秀男, 山岸栄紀, 佐藤法義, 紺野慎一. 脆弱な寛骨臼骨移植によりカップ脱転を来した脱臼性股関節の 2 例. 第 67 回東日本整形災害外科学会; 20180921; 秋田.

猪狩貴弘, 矢野裕章, 佐藤亮平, 加賀孝弘, 大歳憲一, 紺野慎一. Arthroscopic treatment of acromioclavicular joint cyst—a case report—, 肩鎖関節ガングリオンに対する鏡視下手術—1 例報告—. 第 45 回日本肩関節学会; 20181019; 大阪.

加藤欽志, 大歳憲一, 沼崎広法, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 加賀孝弘, 猪狩貴弘, 金内洋一, 増子遼介, 兼子陽太, 紺野慎一. 高校野球選手の腰痛と下肢タイトネスー前向きコホートによる検討ー. 第 26 回日本腰痛学会; 20181026; 静岡.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 紺野慎一. 慢性腰痛に対する集学的治療の現状ー診療科間連携と地域連携における課題ー. 第 26 回日本腰痛学会; 20181026; 静岡.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 紺野慎一. 慢性腰痛に対するリエゾンアプローチの実践. 第 26 回日本腰痛学会; 20181026; 静岡.

関口美穂, 紺野慎一. 慢性腰痛の可視化ー脳イメージングで見えるものー. 第 26 回日本腰痛学会; 20181026; 静岡.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 増子遼介, 佐藤亮平, 嶋原智彦, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 紺野慎一. 高校野球選手における運動器の痛みとストレス反応の関係. 第 29 回日本臨床スポーツ医学会; 20181102; 札幌.

加賀孝弘, 兼子陽太, 佐藤亮平, 猪狩貴弘, 大歳憲一, 宍戸裕章, 紺野慎一. ストレッチで発症したハムストリングの近位付着物損傷: 1 例報告. 第 29 回日本臨床スポーツ医学会; 20181102; 札幌.

加藤欽志, 大歳憲一, 紺野慎一. アスリートにおける椎間関節性腰痛の特徴. 第 29 回日本臨床スポーツ医学会; 20181102; 札幌.

兼子陽太, 加藤欽志, 嶋原智彦, 猪狩貴弘, 大歳憲一, 紺野慎一. 高校野球選手の休養日と運動器疼痛の関連. 第 29 回日本臨床スポーツ医学会; 20181102; 札幌.

草野敬悟, 渡邊和之, 桎村孝憲, 津田清美, 大歳憲一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手に対するメディカルチェックの有用性ーオスグット病を減らせるかー. 第 29 回日本臨床スポーツ医学会; 20181102; 札幌.

國島麻実子, 加藤欽志, 大歳憲一, 紺野慎一. 野球選手に生じた胸椎椎間板ヘルニア: 1 例報告. 第 29 回日本臨床スポーツ医学会; 20181102; 札幌.

渡邊和之, 大歳憲一, 桎村孝憲, 津田清美, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手に対するメディカルサポートの有用性ー腰痛の経年的変化に着目してー. 第 29 回日本臨床スポーツ医学会; 20181102; 札幌.

結城拓也, 加藤欽志, 兼子陽太, 増子遼介, 佐藤亮平, 金内洋一, 猪狩貴弘, 加賀孝弘, 大歳憲一, 嶋原智彦, 今野裕樹, 沼崎広法, 紺野慎一. 高校野球選手と医療機関の受診状況と障害の理解度. 第 29 回日本臨床スポーツ医学会; 20181102; 札幌.

二階堂琢也, 矢吹省司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 紺野慎一. 頸椎疾患における脊椎内視鏡と O-arm ナビゲーション併用手術の有用性. 第 21 回日本低襲脊椎外科学会学術集会; 20181129; 東京.

蓬田翔太, 関口美穂, 紺野慎一. ラット随核留置モデルにおける疼痛関連行動と社会的ストレスとの関与. 第 11 回日本運動器疼痛学会; 20181201; 滋賀.

畑下 智, 川上亮一, 伊藤雅之, 鈴木敏之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 紺野慎一. Werner 症候群による両側アキレス腱部難治性皮膚潰瘍を Flap で治療した 1 例. 第 45 回日本マイクロサージャリー学会集會; 20181206; 大阪.

〔シンポジウム〕

二階堂琢也, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 福島県における脊椎外科手術レジストリの現状. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台. 東北整形災害外科学会雑誌. 62(1):201.

二階堂琢也, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎外科レジストリの成果と今後の課題. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 骨粗鬆症性椎体骨折偽関節に対する手術療法—平成における当科の治療法の変遷—. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

二階堂琢也, 矢吹省司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 大谷晃司, 紺野慎一. 頸椎疾患に対する脊椎内視鏡と O-arm ナビゲーション併用手術の有用性. 第 68 回東日本整形災害外科学会; 20190905; 東京. 東日本整形災害外科学会雑誌. 31(3):241.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 野球選手における腰痛の診断と治療. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

加藤欽志, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 椎間関節性腰痛の診断と治療. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 慢性腰痛に対するリエゾンアプローチ. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手における腰痛調査の結果から. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

二瓶健司, 高橋直人, 松平 浩, 岩崎 稔, 春山祐樹, 大内美穂, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 慢性腰痛治療に対する多職種アプローチ—慢性腰痛に対する多職種での集学的治療における運動療法の実践—. 第 27 回日本腰痛学会; 20190914; 兵庫.

大内一夫, 川原田圭, 紺野慎一. 拘縮のある重度扁平足に対する治療戦略. 第 44 回日本足の外科学会シンポジウム; 20190926-27; 札幌.

箱崎道之, 土橋 悠, 山田 仁, 田地野崇宏, 金内洋一, 片平清昭, 今井順一, 渡辺慎哉, 紺野慎一. 希少がんの研究材料—骨・軟部肉腫細胞株と PDX モデルの樹立—患者由来骨・軟部肉腫マウスモデル (PDX モデル) の樹立と網羅的遺伝子発現解析を用いた系統維持. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集會; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1820.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 増子博文, 矢部博興, 紺野慎一. 疼痛と神経科学 慢性腰痛の診断と治療 集学的アプローチの現状と課題. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術集会; 20191128; 福島. 臨床神経生理学. 47(6):349.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 野球選手の脊椎障害に対するメディカルサポート. 第 138 回西日本整形・災害外科学会学術集会; 20191130-1201; 佐賀. 整形外科と災害外科. 68(2):35.

〔特別講演〕

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 第 25 回高知痛みの研究会セミナー; 20190112; 高知.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 神経障害性疼痛学術講演会; 20190514; 福山.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. タリージェ発売記念講演会 in Sagamihara; 20190515; 相模原.

紺野慎一. 慢性腰痛の病態と治療. 会津慢性腰痛セミナー; 20190524; 会津若松.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 新潟県臨床整形外科医会; 20190613; 新潟.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 神経障害性疼痛を考える会 in 佐賀; 20190626; 佐賀.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 第 52 回昭和に学び平成を語る会; 20190702; 郡山.

青田恵郎. DSA(Direct Superior Approach)による THA. DSA Champion Lecture; 20190703; 福島.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 痛みの治療セミナー in 米子; 20190704; 米子.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 疼痛治療を考える会; 20190705; いわき.

青田恵郎. 骨付き短外旋筋採取の器具を作りました. 福島股関節研究会; 20190713; 福島.

紺野慎一. 神経障害性疼痛に対する診断の治療とポイント. 第 144 回盛岡臨床整形外科医会学術講演会; 20190718; 盛岡.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 金沢整形外科セミナー; 20190725; 金沢.

青田恵郎. DSA(Direct Superior Approach)におけるレトラクターの掛け方. DSA User's Meeting; 20190823; 大阪.

青田恵郎. DSA(Direct Superior Approach)の成績. DSA User's Meeting; 20190823; 大阪.

青田恵郎. DSA(Direct Superior Approach)の成績と手技. 北陸整形外科会; 20190823; 福井.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 喜多方医師会学術講演会; 20190827; 喜多方.

紺野慎一. 慢性疼痛に対する新しい治療. 米沢市医師会学術講演会; 20190828; 米沢.

紺野慎一. 脊椎疾患の神経障害性疼痛. 久慈医師会薬剤師会学術講演会; 20190829; 久慈.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 唐津東松浦医師会学術講演会; 20190830; 唐津.

青田恵郎. DSA一手法・ピットホール・術後疼痛一. 第5回北海道若手股関節医を育てる会; 20190921; 札幌.

青田恵郎. 術後、アセトアミノフェンで楽になろうー看護師さんと定時投与の工夫ー. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017; 横浜.

菊地臣一. 腰痛の危機ーわが国の整形外科は乗り切れるかー. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

倉田二郎, 紺野慎一. MRIによる慢性腰痛内メカニズムの解明. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

紺野慎一. 基礎と臨床の融合. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

関口美穂. 脊椎疾患の長引く痛みの病態は？ー基礎と臨床研究の融合と倫理面からのエビデンスー. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

関口美穂, 紺野慎一. 慢性腰痛に対する脳機能画像. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

半場道子. 慢性炎症と整形外科. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 南会津郡医師会講演会; 20191029; 南会津町.

青田恵郎. DSA(Direct Superior Approach)のOverviewと手法. 第16回関節外科懇話会; 20191110; 福井.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. 第8回倉敷腰痛セミナー; 20191121 倉敷.

紺野慎一. 慢性腰痛に対する新しい治療. かかりつけ医のための痛みの治療 Up To Date; 20191130; 名古屋.

紺野慎一. 慢性腰痛の病態と治療. リハビリテーション科における疼痛医療研究会 in 和歌山; 20191206; 和歌山.

紺野慎一. 骨折と骨粗鬆症. 第2回横浜運動器未来創生セミナー; 20191207; 横浜.

過年業績

Konno S. Lumbar spinal stenosis and locomotive syndrome. Symposium for Experts in Spinal Surgery; 20180616-17; Jeju, Korea.

紺野慎一. 慢性腰痛と神経障害性疼痛. リリカエキスパートセミナー; 20180121; 東京.

紺野慎一. 慢性腰痛の病態. 第5回しらかみ疼痛セミナー; 20180209; 秋田.

紺野慎一. 慢性疼痛のサイエンス～神経障害性疼痛を含む～. 脊椎の痛みを学ぶ会 in SAPPRO 2018; 20180714; 札幌.

紺野慎一. 腰痛のエビデンス～神経障害性疼痛を含む～. 浜松整形外科セミナー; 20180804; 浜松.

紺野慎一. 慢性腰痛の診断と治療 神経障害性疼痛の関与. 第67回東日本整形災害外科学会; 20180922; 秋田.

紺野慎一. 痛みのメカニズムをいかに見極めるか～脊椎関連神経障害性疼痛スクリーニングの新たな船出～. リリカ全国公演; 20181021; 東京.

紺野慎一. 神経障害性疼痛に対する診断と治療のポイント. Chronic Pain Management Seminar; 20181022; 東京.

〔招待講演〕

二階堂琢也. 脊椎の痛みを考える～Mechanism Based Treatment 実践のために～. 第43回青森市脊椎カンファレンス; 20190201; 青森.

青田恵郎. 後方アプローチ THA の夜明け. 日本整形外科学会; 20190510; 横浜.

二階堂琢也. 脊椎の痛みを考える～Mechanism Based Treatment 実践のために～. 第40回運動器の評価と治療を考える会; 20190517; 佐賀.

二階堂琢也. 腰椎変性疾患における固定・非固定を再考する～エビデンスに基づいた術式選択のために～. 第6回青森骨軟骨シンポジウム; 20190608; 青森.

二階堂琢也. 腰痛診療ガイドライン 2019 から見た腰痛の薬物療法. 第17回整形外科痛みを語る会; 20190720; 山口.

二階堂琢也. 腰痛の保存療法～腰痛診療ガイドライン 2019 を解く～. 愛知県整形外科医会教育講演会; 20190907; 愛知.

二階堂琢也. 産業界として知っておくべき腰痛症の話題～腰痛診療ガイドライン 2019 からみた最新の治療選択～. 須賀川産業医学研修会; 20190925; 須賀川.

二階堂琢也. プライマリケア医のための腰痛診療 Update 腰痛診療ガイドライン 2019 に基づく最新の薬物療法. 第33回日本臨床内科医学会; 20191013; 広島. 日本臨床内科医会会誌. 34(3):s98.

〔その他〕

青田恵郎. DSA(Direct Superior Approach) -DSA への経緯、成績-. 日本整形外科学会; 20190126; 福島.

形成外科学講座

論 文

〔原 著〕

Ito R, Osawa M, Yamamoto Y, Murao N, Hayashi T, Maeda T, Ishikawa K, Oyama A, Funayama E. Oculo-Auriculo-Fronto-Nasal Syndrome with Duane Retraction Syndrome and Dysplastic Bony Structure in the Midline of Nose. Journal of Craniofacial Surgery. 201909; 30(6):e576-e578.

Ishikawa K, Funayama E, Maeda T, Hayashi T, Murao N, Osawa M, Ito R, Furukawa H, Oyama A, Yamamoto Y. Changes in high endothelial venules in lymph nodes after vascularized and nonvascularized lymph node transfer in a murine autograft model. Journal of Surgical Oncology. 201905; 119(6):700-707.

Funayama E, Yamamoto Y, Oyama A, Murao N, Hayashi T, Maeda T, Furukawa H, Osawa M. Combination laser therapy as a non-surgical method for treating congenital melanocytic nevi from cosmetically sensitive locations on the body. Lasers in Medical Science. 201912; 34(9):1925-1928.

Ishikawa K, Maeda T, Funayama E, Hayashi T, Murao N, Osawa M, Furukawa H, Oyama A, Yamamoto Y. Feasibility of pedicled vascularized inguinal lymph node transfer in a mouse model: A preliminary study. Microsurgery. 201903; 39(3):247-254.

古川杏奈, 堀切 将, 田崎和洋, 上田和毅, 小山明彦. 追加広範囲切除を施行した low-grade fibromyxoid sarcoma の 1 例. 形成外科. 201902; 62(2):201-207.

藤田宗純, 佐々木了. 【形成外科の治療指針 update 2019】皮膚・軟部組織疾患 血管腫・血管奇形 静脈奇形. 形成外科. 201906; 62(増刊):S82.

小山明彦. 【形成外科の治療指針 update 2019】頭頸部疾患 顔面片側萎縮症. 形成外科. 201906; 62(増刊):S98.

小山明彦. 【形成外科の治療指針 update 2019】頭頸部疾患 そのほかの耳介先天異常. 形成外科. 201906; 62(増刊):S111.

〔症例報告〕

北村成紀, 齋藤昌美, 小山明彦. 左第 1 趾に発生した Superficial Arcal Fibromyxoma の 1 例. 日形会誌.

201912; 39(12):616-622.

著 書・訳 書

齋藤昌美. 各論 4) 眼瞼の外傷 3, 薬物障害 (3)眼瞼外傷 ⑦眼瞼異物 b.ポリアクリルアミド. In: 大鹿哲郎 監修. 眼疾患アトラスシリーズ 第3巻 外眼部アトラス. 東京: 総合医学社; 201910. p.138-139.

研究発表等

〔研究発表〕

Oyama A, Funayama E, Okamoto T, Yamamoto Y. Single-stage direct repair for unilateral cleft lip, alveolus and palate: Pre-surgical orthodontics and surgical procedure. 18th Congress of International Society of Craniofacial Surgery; 20190916-19; Paris, France.

Kitamura S, Saito M, Kuramochi D, Oyama A, Kimura N. 6 Cases of Iliac Bone Perforator Flap. 20th International Course on Perforator Flaps; 20191113-16; Hong Kong, China.

Saito M, Kimura N, Sakaba T, Oyama A. A case of the intraoral and cervical defects reconstruction with the combined flap of the anterolateral thigh flap and the tensor fasciae latae perforator flap. 20th International Course on Perforator Flaps; 20191113-16; Hong Kong, China.

齋藤昌美, 音田正光, 小山明彦. 当クリニックにおけるメガセッション植毛症例についての検討. 第62回日本形成外科学会総会学術集会; 20190515-17; 札幌.

加藤美野里, 木村眞之介, 齋藤昌美, 小山明彦. 制御困難な感染創へ植皮術とプロントザン®を併用した経験. 第11回日本創傷外科学会総会・学術集会; 20190704-05; 長崎.

佐藤順紀, 齋藤昌美, 阪場貴夫, 堀切 将, 木村眞之介, 古川杏奈, 小山明彦. 歩行機能を温存し得た乳児の深達性両下肢熱傷の1例. 第11回日本創傷外科学会総会・学術集会; 20190704-05; 長崎.

藤田宗純, 村尾尚規, 林 利彦, 小山明彦, 山本有平. ケロイド遺伝子と慢性炎症病態の解析へケロイド形成を制御できるかへ. 第11回日本創傷外科学会総会・学術集会; 20190704-05; 長崎.

齋藤昌美, 小山明彦, 木村眞之介, 古川杏奈. 毛包単位移植による植毛手術で治療した瘢痕性禿髪の1例. 第11回日本創傷外科学会総会・学術集会; 20190704-05; 長崎.

藤田宗純, 三田村真太郎, 竹田朋宏, 石川耕資, 小山田ゆみ子, 佐々木了. GLUT1免疫染色が診断に有効であった症例の検討. 第16回日本血管腫血管奇形学会学術集会; 20190712-13; 津.

曾根良子, 古川杏奈, 北村成紀, 根本末緒, 佐久間潤, 小山明彦. 高度な clover-leaf 頭蓋を呈した Pfeiffer 症候群 II 型 1 例の治療経験. 第15回 Craniosynostosis 研究会; 20190720; 東京.

永峰恵介, 齋藤昌美, 小山明彦. 熱傷における wound bed preparation 人工真皮で手足の機能を救う. 人工真皮と WOUND BED PREPARATION 研究会; 20190928; 札幌.

齋藤昌美, 音田正光, 小山明彦. 毛包単位採取植毛手術におけるドナーのダウンタイムの短縮と自毛のみによる被覆法の工夫. 第 42 回日本美容外科学会学術集会; 20191003-04; 東京.

佐藤順紀, 齋藤昌美, 阪場貴夫, 木村眞之介, 古川杏奈, 小山明彦. 歩行機能を獲得した乳児深達性両下肢熱傷の 1 例. 第 25 回熱傷学会東北地方会; 20191116; 福島.

永峰恵介, 齋藤昌美, 曾根良子, 前田 藍, 木村眞之介, 藤田宗純, 小山明彦. 熱傷における Wound Bed Preparation ～人工真皮で手足の機能を救う～. 第 25 回日本熱傷学会東北地方学術集会; 20191116; 福島.

前田 藍, 齋藤昌美, 藤田宗純, 木村眞之介, 古川杏奈, 北村成紀, 永峰恵介, 曾根良子, 加藤美野里, 小山明彦. 腋窩部熱傷瘢痕拘縮に対する Thin Free Flap の有用性と当科での thinning 法. 第 25 回日本熱傷学会東北地方学術集会; 20191106; 福島.

北村成紀, 齋藤昌美, 蔵持大介, 小山明彦, 木村直弘. 腸骨穿通枝骨弁による下顎再建の 1 例. 第 46 回マイクロサージャリー学会学術集会; 20191128-29; 東京.

永峰恵介, 齋藤昌美, 北村成紀, 小山明彦, 木村直弘. 動脈血栓救済時における静脈移植の一工夫. 第 46 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20191128-29; 東京.

小山明彦. 当科における唇顎口蓋裂の術前矯正と一期手術～医科歯科合同特殊外来開設による新展開. 第 15 回福島県形成外科研究会; 20191207; 郡山.

佐藤順紀, 上田和毅. ストーマ閉鎖とステロイド外用により速やかに治癒したストーマ周囲壊疽性膿皮症の 1 例. 第 15 回福島県形成外科研究会; 20191207; 郡山.

佐藤順紀, 齋藤昌美, 阪場貴夫, 木村眞之介, 古川杏奈, 小山明彦. 歩行機能を獲得した乳児深達性両下肢熱傷の 1 例. 第 15 回福島県形成外科研究会; 20191207; 郡山.

曾根良子, 加藤美野里, 前田 藍, 永峰恵介, 北村成紀, 古川杏奈, 木村眞之介, 藤田宗純, 齋藤昌美, 小山明彦. 新たに開設した「赤ちゃんの頭の形外来」の実績報告. 第 15 回福島県形成外科研究会; 20191207; 郡山.

永峰恵介, 齋藤昌美, 藤田宗純, 木村眞之介, 古川杏奈, 曾根良子, 前田 藍, 小山明彦. 熱傷における wound bed preparation～人工真皮で手足の機能を救う～. 第 15 回福島県形成外科研究会; 20191207; 郡山.

藤田宗純, 齋藤昌美, 木村眞之介, 古川杏奈, 北村成紀, 永峰恵介, 前田 藍, 曾根良子, 加藤美野里, 小山明彦. 当科における血管腫・血管奇形専門外来の開設について. 第 15 回福島県形成外科研究会; 20191207; 郡山.

前田 藍, 齋藤昌美, 藤田宗純, 木村眞之介, 古川杏奈, 北村成紀, 永峰恵介, 曾根良子, 加藤美野里, 小山明彦. 腋窩部熱傷瘢痕拘縮に対する thin free flap の有用性と当科での thinning 法. 第 15 回福島県形成外科研究会; 20191207; 郡山.

望月靖史, 上野紫穂, 小山明彦. CABG 後胸骨骨髓炎掻爬後の胸郭動揺を伴う創離開に対し上方茎腹直筋皮弁で被覆しえた 1 例. 第 15 回福島県形成外科研究会; 20191207; 郡山.

〔シンポジウム〕

小山明彦, 舟山恵美, 岡本 亨, 山本有平. 特別企画 4 学術フォーラム「遠友学舎 ～北大同門アカデミア～」唇裂・口蓋裂治療の新展開 第 1 部／唇顎口蓋裂一期手術～治療の実際と成績と展望. われわれの唇顎口蓋裂一期手術：術式の詳細およびこれまでの結果の概要. 第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会; 20190515-17; 札幌.

小山明彦. 特別企画 4 学術フォーラム「遠友学舎 ～北大同門アカデミア～」唇裂・口蓋裂治療の新展開 第 2 部／チーム医療の理想と現実～形成外科の本音. 唇裂・口蓋裂チーム医療の理想と現実：2 施設での統括の経験から. 第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会; 20190515-17; 札幌.

〔特別講演〕

齋藤昌美, 木村直弘. Microdissection に基づく advanced free flap. 昭和大学九州同門会学術集会 形成外科領域講習会; 20190202; 博多.

小山明彦. 福島における小児形成外科の新展開：これまでの取組と今後の展望. 第 131 回日本小児科学会福島地方会; 20190519; 福島.

産科婦人科学講座

論 文

〔原 著〕

Yamaguchi A, Kyojuka H, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Yokoyama T, Sato A, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study Group. Risk of preterm birth, low birthweight and small-for-gestational-age infants in pregnancies with adenomyosis: A cohort study of the Japan Environment and Children's Study. *Acta Obstetrica et Gynecologica Scandinavica*. 201903; 98(3):359-364.

Soeda S, Furukawa S, Sato T, Ueda M, Kamo N, Endo Y, Kojima M, Nomura S, Kataoka M, Fujita S, Endo H, Takahashi T, Watanabe T, Yamada H, Fujimori K. Pelvic Exenteration as Potential Cure and Symptom Relief in Advanced and Recurrent Gynaecological Cancer. *Anticancer Research*. 201910; 39(10):5631-5637.

Kyojuka H, Yamaguchi A, Suzuki D, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Yokoyama T, Sato A, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Risk factors for placenta accreta spectrum: findings from the Japan environment and Children's study. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 201911; 19(1):447.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Hiraiwa T, Yamaguchi A, Fujimori K. Incisional pyoderma gangrenosum after caesarean section: Two case reports. *Case Reports in Women's Health*. 201907; 23:e00128.

Watanabe T, Nomura S, Kojima M, Furukawa S, Endo H, Saze Z, Ozeki T, Nishiyama H, Kenjo A, Takahashi T, Yamada H, Fujimori K, Soeda S. Surgical management of recurrent gynecological cancer: Complete resection is the key to longer survival. *European Journal of Gynaecological Oncology*. 201901; 40(1):28-35.

Nakano H, Ishii K, Goto A, Yasumura S, Ohira T, Fujimori K. Development and Implementation of an Internet Survey to Assess Community Health in the Face of a Health Crisis: Data from the Pregnancy and Birth Survey of the Fukushima Health Management Survey, 2016. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 201906; 16(11):1946.

Kyojuka H, Murata T, Sato T, Suzuki S, Yamaguchi A, Fujimori K. Utility of cervical length and quantitative fetal fibronectin for predicting spontaneous preterm delivery among symptomatic nulliparous women. *International Journal of Gynaecology and Obstetrics*. 201906; 145(3):331-336.

Goto A, Tsugawa Y, Fujimori K. Factors Associated with Intention of Future pregnancy among women affected by the Fukushima Nuclear Accident: analysis of Fukushima Health Management Survey data from 2012 to 2014. *Journal of Epidemiology*. 201908; 29(8):308-314.

Kyojuka H, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Yokoyama T, Sato A, Hashimoto K; the Japan Environment and Children's Study(JECS) Group. The Effect of Maternal Age at the First Childbirth on Gestational Age and Birth Weight: The Japan Environment and Children's Study(JECS). *Journal of Epidemiology*. 201906; 29(5-6):187-191.

Hasegawa J, Ikeda T, Toyokawa S, Jojima E, Satoh S, Ichizuka K, Tamiya N, Nakai A, Fujimori K, Maeda T, Takeda S, Suzuki H, Ueda S, Iwashita M, Ikenoue T. Obstetric factors associated with uterine rupture in mothers who deliver infants with cerebral palsy. *Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine*. 20190523; doi: 10.1080/14767058.2019.1611775.

Kyojuka H, Murata T, Yasuda S, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Abe M; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. The effect of the Great East Japan Earthquake on hypertensive disorders during pregnancy: a study from the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine*. 20190401; doi: 10.1080/14767058.2019.1594763.

Watanabe T, Honma R, Kojima M, Nomura S, Furukawa S, Soeda S, Watanabe S, Fujimori K. Prediction of lymphovascular space invasion in endometrial cancer using the 55-gene signature selected by DNA microarray analysis. *PLOS ONE*. 201909; 14(9):e0223178.

Soeda S, Kyojuka H, Kato A, Fukuda T, Isogami H, Wada M, Murata T, Hiraiwa T, Yasuda S, Suzuki D, Yamaguchi A, Hasegawa O, Nomura Y, Jimbo M, Takahashi T, Watanabe T, Mizunuma H, Fujimori K. Establishing a Treatment Algorithm for Puerperal Genital Hematoma Based on the Clinical Findings. *Tohoku*

Journal of Experimental Medicine. 201910; 249(2):135-142.

安田 俊, 水沼英樹. 【妊娠・授乳と骨・カルシウム代謝】妊娠・授乳と骨・カルシウム代謝. Clinical Calcium. 201901; 29(1):19-26.

山口明子, 水沼英樹. ホルモン Q&A 自律神経失調症の既往と GnRH アゴニストの副作用の関係を教えてください. HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY. 201912; 26(4):316-317.

村田強志, 西山 浩, 磯上弘貴, 三瓶 稔, 赤津賢彦, 浅野重之, 本多つよし. 赤血球増多症を呈したエリスロポエチン産生子宮平滑筋腫の 1 例 免疫染色の有用性. 産婦人科の実験. 201903; 68(3):323-326.

添田 周, 小宮ひろみ, 三猪忠道, 藤森敬也. 難治性尖圭コンジローマに漢方薬が有効であったアラジール症候群の 1 例. 産婦人科漢方研究のあゆみ. 201905; 36:90-93.

村田強志, 藤森敬也, 大戸 齊. 【新生児黄疸を再び考える】血液型不適合溶血性疾患 血液型不適合による溶血性疾患. 周産期医学. 201902; 49(2):202-205.

村田強志, 藤森敬也. 【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第 3 版】産科編 分娩 出生届、死産届はいつ、どこへ届けるのですか? 周産期医学. 201912; 49(増刊):322-323.

藤森敬也. 【周産期相談 310 お母さんへの回答マニュアル 第 3 版】産科編 分娩 産科医療補償制度について教えてください. 周産期医学. 201912; 49(増刊):328-330.

森村 豊, 栗田和香子, 寅磐亮子, 塚原 孝, 佐藤奈美, 佐藤美賀子, 石橋真輝帆, 添田 周, 渡辺尚文, 藤森敬也. 子宮頸がん集団検診における ASC-H (高度病変を除外できない異型扁平上皮細胞) 判定例への HPV 検査の意義. 日本がん検診・診断学会誌. 201901; 26(2):165-170.

平岩 幹, 大関健治, 金 彰午, 藤森敬也. 急速に増大し短期間で胎児に心不全、低酸素性虚血性脳症を来した胎盤血管腫の 1 例. 日本周産期・新生児医学会雑誌. 201909; 55(3):790-794.

藤森敬也. 産科医療補償制度からみた胎児心拍数モニタリング. 日本助産診断実践学会誌. 201903; 1(2):25-30.

太田 操, 服部 桜, 新井昌子, 清水川由美子, 石井佳世子, 後藤あや, 安村誠司, 藤森敬也. 東日本大震災による妊産婦の避難生活とうつ傾向に関する検討. 日本母子看護学会誌. 201902; 12(2):21-31.

藤森敬也, 経塚 標. 【医薬品副作用学(第 3 版) (上) 一薬剤の安全使用アップデート】特に注意すべき患者・病態への対応 妊産婦・授乳婦. 日本臨床. 201906; 77(増刊 3):385-390.

小島 学, 加藤麻美, 渡邊健史, 岡部慈子, 佐藤 哲, 三浦秀樹, 植田牧子, 加茂矩士, 大原美希, 野村真司, 鈴木 聡, 古川茂宜, 添田 周, 渡辺尚文, 藤森敬也. 卵巣未熟奇形腫の治療後に発生した Growing Teratoma Syndrome を腹腔鏡下手術で治療した 1 例. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):7-12.

小元敬大, 添田 周, 佐藤 哲, 加茂矩士, 植田牧子, 小島 学, 野村真司, 古川茂宜, 渡辺尚文, 藤森敬也. 化学療法抵抗性となった進行子宮体癌の多発肺転移病変に対して MPA 療法が奏功した一例. 福島医学雑誌.

201908; 69(2):149-154.

野村真司, 渡邊尚文, 鈴木 理, 加藤麻美, 佐藤 哲, 小島 学, 古川茂宜, 添田 周, 藤森敬也. 直腸内膜症から発症したと考えられる未分化子宮内膜間質肉腫の1例. 福島医学雑誌. 201912; 69(3):197-201.

経塚 標, 三浦秀樹, 藤森敬也. 【胎児心拍数陣痛図よみ方講座 基本からのブレイクスルー 定義がわかると対応できる!】サイナソイダルパターン/チェックマークパターンとは? ペリネイタルケア. 201904; 38(4):366-371.

〔症例報告〕

坪 敏仁, 宇仁田明奈, 古田大河, 鈴木雅雄, 上野孝治, 鈴木朋子, 秋葉秀一郎, 小宮ひろみ, 佐橋佳郎, 三瀧忠道. 桂枝去芍薬加皂莢湯を用いた湯液治療と鍼治療が有用であったびまん性汎細気管支炎の1症例. 日本東洋医学雑誌. 201904; 70(2):99-105.

小児科学講座

論 文

〔原 著〕

Yamaguchi A, Kyojuka H, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Yokoyama T, Sato A, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study Group. Risk of preterm birth, low birthweight and small-for-gestational-age infants in pregnancies with adenomyosis: A cohort study of the Japan Environment and Children's Study. *Acta Obstetrica et Gynecologica Scandinavica*. 201903; 98(3):359-364.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Kashiwabara N, Ogasawara K, Chishiki M, Miyazaki K, Sato K, Sato M, Kawasaki Y, Momoi N, Hosoya M. Perinatal Factors Affecting Coagulation Parameters at Birth in Preterm and Term Neonates: A Retrospective Cohort Study. *American Journal of Perinatology*. 201912; 36(14):1464-1470.

Maeda R, Kawasaki Y, Kume Y, Go H, Suyama K, Hosoya M. Involvement of high mobility group box 1 in the pathogenesis of severe hemolytic uremic syndrome in a murine model. *American Journal of Physiology. Renal Physiology*. 201912; 317(6):F1420-F1429.

Isojima T, Kato N, Yokoya S, Ono A, Tanaka T, Yokomichi H, Yamagata Z, Tanaka S, Matsubara H, Ishikuro M, Kikuya M, Chida S, Hosoya M, Kuriyama S, Kure S. Early excessive growth with distinct seasonality in preschool obesity. *Archives of Disease in Childhood*. 201901; 104(1):53-57.

Nagamitsu S, Fukai Y, Uchida S, Matsuoka M, Iguchi T, Okada A, Sakuta R, Inoue T, Otani R, Kitayama S, Koyanagi K, Suzuki Y, Suzuki Y, Sumi Y, Takamiya S, Fujii C, Tsurumaru Y, Ishii R, Kakuma T, Yamashita

Y. Validation of a childhood eating disorder outcome scale. *BioPsychoSocial Medicine*. 201909; 13(1):21.

Kyozuka H, Yamaguchi A, Suzuki D, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Yokoyama T, Sato A, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Risk factors for placenta accreta spectrum: findings from the Japan environment and Children's study. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 201911; 19(1):447.

Yaginuma K, Watanabe M, Miyazaki K, Ono A, Murai H, Nodera M, Suzuki Y, Suyama K, Kawasaki Y, Hosoya M. Haloperidol-Induced Dystonia due to Sedation for Upper Gastrointestinal Endoscopy: A Pediatric Case Report. *Case Reports in Emergency Medicine*. 201903; 2019:3591258.

Satoh H, Ohira T, Nagai M, Hosoya M, Sakai A, Yasumura S, Ohtsuru A, Kawasaki Y, Suzuki H, Takahashi A, Sugiura Y, Shishido H, Hayashi Y, Takahashi H, Kobashi G, Ozasa K, Hashimoto S, Ohto H, Abe M, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Evacuation is a Risk Factor for Diabetes Development Among Evacuees of the Great East Japan Earthquake: A 4-year Follow-Up of the Fukushima Health Management Survey. *Diabetes & Metabolism*. 201906; 45(3):312-315.

Kyozuka H, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Yokoyama T, Sato A, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. The Effect of Maternal Age at the First Childbirth on Gestational Age and Birth Weight: The Japan Environment and Children's Study (JECS). *Journal of Epidemiology*. 201905; 29(5):187-191.

Ishibashi M, Kyozuka H, Yamaguchi A, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Masahito K, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Effect of proinflammatory diet before pregnancy on gestational age and birthweight: The Japan Environment and Children's Study. *Maternal & Child Nutrition*. 201911; 16(2):e12899.

Akaihashi M, Shikama Y, Matsumoto Y, Ono T, Kimura J, Hosoya M. Glucocorticoids attenuate the sensitivity of glucocorticoid-resistant lymphoid cells to doxorubicin via reduction in OCTN2. *Molecular and Cellular Biochemistry*. 201909; 459(1-2):49-59.

Mochizuki K, Kawana S, Yamada S, Muramatsu M, Sano H, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Hakozaiki M, Yamada H, Hashimoto Y, Kikuta A. Various checkpoint molecules, and tumor-infiltrating lymphocytes in common pediatric solid tumors: Possibilities for novel immunotherapy. *Pediatric Hematology and Oncology*. 201902; 36(1):17-27.

Miyazaki K, Hashimoto K, Suyama K, Sato M, Abe Y, Watanabe M, Kanno S, Maeda H, Kawasaki Y, Hosoya M. Maintaining Concentration of Ribavirin in Cerebrospinal Fluid by a New Dosage Method: 3 Cases of Subacute Sclerosing Panencephalitis Treated Using a Subcutaneous Continuous Infusion Pump. *Pediatric Infectious Disease Journal*. 201905; 38(5):496-499.

Suzuki Y, Hashimoto K, Hoshi K, Ito H, Kariya Y, Miyazaki K, Sato M, Kawasaki Y, Yoshida M, Honda T, Hashimoto Y, Hosoya M. Ratio of Alpha 2-Macroglobulin Levels in Cerebrospinal Fluid and Serum: An Expression of Neuroinflammation in Acute Disseminated Encephalomyelitis. *Pediatric Neurology*. 201909; 98:61-67.

Ogasawara K, Honda Y, Maeda H, Sato M, Nakano H, Hosoya M. Corticosteroid Therapy in Neonatal Incontinentia Pigmenti With Asymptomatic Cerebral Lesions. *Pediatric Neurology*. 201910; 99:85-87.

Kanno S, Kume Y, Maeda R, Ono A, Suyama K, Kawasaki Y, Hosoya M. Ectopic expression of CLDN2 in podocytes is associated with childhood onset nephrotic syndrome. *Pediatric Research*. 201910; 86(4):485-491.

Kawasaki Y, Suyama K, Go H, Hosoya M. Clinical manifestations of respiratory syncytial virus-associated encephalopathy in Fukushima, Japan. *Pediatrics International*. 201908; 61(8):802-806.

Ishikawa T, Yasumura S, Sakai A, Ohtsuru A, Miyazaki M, Hosoya M, Ohira T, Kamiya K. Experience in Individual Dose Estimation after the Fukushima Nuclear Accident Using Self-administered Questionnaires: Activities to Encourage Responses to the Questionnaires and Resulting Response Rate. *Radiation Environment and Medicine*. 201909; 8(2):118-126.

Yaginuma K, Watanabe M, Saito Y, Takahashi N, Ohara Y, Kobayashi S, Mochizuki K, Suyama K, Sato M, Sano H, Hashimoto K, Kikuta A, Hosoya M. Pneumorrhachis in children: A report of two cases and review of the literature. *Radiology Case Reports*. 201911; 14(11):1325-1329.

Goto Y, Takiguchi K, Shimizu H, Go H, Tanaka H. Congenital perianal lipoma: a case report and review of the literature. *Surgical Case Reports*. 201910; 16(5):199.

多屋馨子, 吉良龍太郎, チョン・ピンフィー, 鳥巢浩幸, 安元佐和, 細矢光亮, 八代将登, 奥村彰久, 森壘, 清水博之, 新橋玲子, 新井 智, 花岡 希, 藤本嗣人. 「急性弛緩性麻痺の新たな動向」 急性弛緩性麻痺 (AFP)サーベイランス. *NEUROINFECTION*. 201904; 24(1):58-66.

山下大輔, 向井隆代, 千葉比呂美, 櫻井利恵子, 松岡美智子, 石井隆大, 須田正勇, 下村 豪, 須見よし乃, 鈴木雄一, 深井善光, 内田 創, 作田亮一, 井上 建, 大谷良子, 井口敏之, 鈴木由紀, 高宮静男, 北山真次, 鶴丸靖子, 藤井智香子, 岡田あゆみ, 小柳憲司, 山下裕史朗, 角間辰之, 永光信一郎. 小児摂食態度調査票(ChEAT-26)の有用性について 神経性やせ症と回避・制限性食物摂取症との比較から. 子どもの心とからだ. 201905; 28(1):51-57.

橋本浩一. 【小児感染症のいまを読み解く】流行の変化を読み解く RS ウイルス感染症 最近の疫学の変化. 小児科診療. 201906; 82(6):689-694.

山田美香, 鈴木雄一, 野寺真樹, 加藤朝子, 細矢光亮. aEEG が非けいれん性てんかん重積の診断に有効であった片側けいれん片麻痺症候群の1例. 小児科臨床. 201910; 72(10):1563-1568.

細矢光亮. 【小児の気道感染症—症状からどこまで原因を探れるか?】総論 気道感染症診療における季節・流行疫学情報の利用法. 小児内科. 201902; 51(2):177-183.

細矢光亮. 【指定難病ペディア 2019】個別の指定難病 神経・筋系 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)[指定難病 24]. 日本医師会雑誌. 201906; 148(特別 1):S105.

細矢光亮. 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 突発性発疹 (小児). 日本医事新報. 201911; 4987:56.

増山 郁, 佐藤真紀, 氏家二郎. NICU 卒業生交流キャンプ『すくすくキャンプ』5年間の活動報告. 日本新生児成育医学会雑誌. 201902; 31(1):57-60.

久米庸平, 有賀裕道, 小野貴志, 柳沼和史, 澁川靖子, 福田 豊, 藤木伴男, 長澤克俊. 不均衡転座を有する一絨毛膜性異性双胎. 日本小児科学会雑誌. 201912; 123(12):1800-1805.

尾形優香, 佐藤晶子, 橋本浩一. 大規模出生コホート調査における精神神経発達検査の実施状況と課題 エコチル調査福島ユニットセンターでの取り組みから. 福島県保健衛生雑誌. 201903; 33:52-57.

細矢光亮. 保育保健の基礎知識 保育園における消毒. 保育と保健. 201901; 25(1):135-137.

浅野裕一郎, 細矢光亮. 【検査項目と異常値からみた一緊急・重要疾患レッドページ】(2章) 脳神経・筋疾患 髄膜炎. 臨床検査. 201904; 63(4):390-391.

福山賀子, 橋本浩一, 則藤桜子, 宮地一樹, 石井 健, 武下文彦. RSV グループ B 臨床分離株を用いたマウス感染モデル. 臨床とウイルス. 201912; 47(5):427-434.

〔症例報告〕

渡邊涼介, 知識美奈, 佐藤賢一, 柏原祥曜, 宮崎恭平, 清水裕美, 小笠原啓, 郷 勇人, 佐藤真紀, 桃井伸緒. 胎児母体間輸血症候群を契機に胎盤内絨毛癌の診断に至った1女児例. 日本産婦人科・新生児血液学会誌. 201905; 29(1):29-30.

〔その他〕

佐藤晶論. 巻頭言 臨床医からみた「インフルエンザ学」の現状と課題. インフルエンザ. 201908; 20(3):5-6.

著 書・訳 書

佐藤晶論. Chapter6 インフルエンザ治療薬. In: 菅谷憲夫 編著. インフルエンザ診療ガイド 2019-20. 東京: 日本医事新報社; 201910. p.134-144.

佐藤晶論. V 病態と疾患. 9 感染症. インフルエンザ. In: 『小児内科』『小児外科』編集委員会 編. 小児の救急・搬送医療 (小児内科 51 巻増刊). 東京: 東京医学社; 201911. p.722-726.

過年業績

佐藤晶論. (第2部) 疾患 神経・筋疾患 無菌性(ウイルス性) 髄膜炎. In: 『小児内科』『小児外科』編集委員会 編. 小児疾患の診断治療基準 (小児内科 50 巻増刊). 東京: 東京医学社; 201811. p.730-731.

研究発表等

〔研究発表〕

Sato M, Takashita E, Katayose M, Nemoto K, Sakai N, Hashimoto K, Hosoya M. Clinical and virological efficacy of baloxavir marboxil in children with influenza A. Options X for the Control of Influenza; 20190828-0901; Singapore.

佐藤晶論, 高下恵美, 片寄雅彦, 根本健二, 酒井信子, 橋本浩一, 細矢光亮. バロキサビルの臨床的・ウイルス学的効果の検討. 第51回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20191026-27; 旭川.

眼科学講座

論文

〔原 著〕

Kaneko H, Hanaoka N, Konagaya M, Tsukahara-Kawamura T, Kobayashi M, Nakagawa H, Hatano H, Ikuta K, Fujimoto T. Conjunctivitis Due to the Human Adenovirus Type 2 Variant Identified during Epidemic Keratoconjunctivitis Surveillance in Japan. Japanese Journal of Infectious Diseases. 2019; 72:353-355.

Sagara H, Sekiryu T, Imaizumi K, Shintake H, Sugiyama U, Maehara H. Impact of tear metrics on the reliability of perimetry in patients with dry eye. PLOS ONE. 2019; 14:e0222467.

Sekiryu T, Sugano Y, Ojima A, Mori T, Furuta M, Okamoto M, Eifuku S. Hybrid Three-Dimensional Visualization of Choroidal Vasculature Imaged by Swept-Source Optical Coherence Tomography. Translational Vision Science & Technology. 2019; 8:31.

Balikova I, Postelmans L, Pasteels B, Coquelet P, Catherine J, Efendic A, Hosoda Y, Miyake M, Yamashiro K; ANGEL study group members, Thienpont B, Lambrechts D. Genetic biomarkers in the VEGF pathway predicting response to anti-VEGF therapy in age-related macular degeneration. BMJ Open Ophthalmology. 2019; 4:e000273.

Yasukawa T, Mori R, Sawa M, Shinojima A, Hara C, Sekiryu T, Oshima Y, Saito M, Sugano Y, Kato A, Ashikari M, Hirano Y, Asato H, Nakamura M, Matsuno K, Kuno N, Kimura E, Nishiyama T, Yuzawa M, Ishibashi T, Ogura Y, Iida T, Gomi F. Fundus autofluorescence and retinal sensitivity in fellow eyes of age-related macular degeneration in Japan. PLOS ONE. 2019; 14:e0213161.

Kunimoto D, Ohji M, Maturi RK, Sekiryu T, Wang Y, Pan G, Li XY, Schneider S; BAMBOO and CYPRESS Study Groups. Evaluation of abicipar pegol (an anti-VEGF DARPIN therapeutic) in patients with neovascular age-related macular degeneration: Studies in Japan and the United States. Ophthalmic Surgery Lasers and

Imaging Retina. 2019; 50:E10-E22.

Maehara H, Sekiryu T, Sugano Y, Maruko I. Choroidal thickness changes in acute zonal occult outer retinopathy. Retina. 2019; 39:202-209.

森 隆史, 松野希望, 比金真菜, 笠井彩香, 新田美和, 橋本禎子, 八子恵子, 石龍鉄樹. 弱視治療年齢の調節麻痺下屈折値を眼軸長と角膜曲率半径から求める推測式. 眼科臨床紀要. 2019; 12:129-133.

高橋信久, 佐野秀樹, 望月一弘, 小林正悟, 大原喜裕, 古田 実, 菊田 敦. 前房蓄膿を初発症状として診断された小児急性リンパ性白血病の1例. 日本小児血液・がん学会雑誌. 2019; 56:57-60.

森 隆史, 松野希望, 比金真菜, 笠井彩香, 新田美和, 橋本禎子, 八子恵子, 石龍鉄樹. 眼球形態検査を用いた調節麻痺下球面屈折値の推測 月齢を考慮した予測式. 眼科臨床紀要. 2019; 12:392-395.

杉山 麗, 森 隆史, 古田 実, 石龍鉄樹. 両眼性黄斑円孔を合併した Stargardt 病の1例. 日本眼科学会雑誌. 2019; 123:608-613.

林 思音, 仁科幸子, 森 隆史, 清水ふき, 南雲 幹, 臼井千恵, 杉山能子, 八子恵子. 三歳児眼科健診における屈折検査の有用性 システマティックレビュー. 眼科臨床紀要. 2019; 12:373-377.

高間奏映, 笠井暁仁, 小島 彰, 石龍鉄樹. 糖尿病黄斑浮腫に対する閾値下レーザーの短期成績. 臨床眼科. 2019; 73:878-883.

森 隆史, 西戸知佳, 渡辺愛美, 鈴木美加, 柿沼光希, 佐藤千尋, 笠井彩香, 石龍鉄樹. 学童期の眼軸長の変化. 臨床眼科. 2019; 73:1197-1201.

梯 瑞葉, 丸子一郎, 古田 実, 飯田知弘. 高齢で発見された脈絡膜骨腫の1例. 臨床眼科. 2019; 73:1259-1265.

比金真菜, 鈴木美加, 渡辺愛美, 西戸知佳, 森 隆史, 齋藤章子, 石龍鉄樹. レチノマックスと Spot Vision Screener で測定した小学校1年生の屈折値. 日本視能訓練士協会誌. 2019; 48:145-151.

深津有佳里, 渡辺愛美, 関向秀樹, 加藤 寛, 新竹広晃, 今泉公宏, 石龍鉄樹. 光干渉層血管撮影による脈絡膜毛細血管板血管密度と血管径の計測. 日本視能訓練士協会誌. 2019; 48:111-116.

〔総説等〕

石龍鉄樹. 【眼底イメージングの最新情報】 Multimodal Imaging. 眼科. 2019; 61:593-600.

菅野幸紀, 石龍鉄樹. 抗 VEGF 治療セミナー 加齢黄斑変性と自発蛍光. あたらしい眼科. 2019; 36:663-664.

古田 実. 【マルチモーダルイメージング】網膜絡膜腫瘍. Retina Medicine. 2019; 8:68-73.

小島 彰. 【自発蛍光で読み解く 眼底疾患】眼底自発蛍光の原理と撮影機器. 眼科グラフィック. 2019; 8:530-

535.

石龍鉄樹. 【眼科と薬剤】(第2部) 薬物治療の副作用 黄斑浮腫を生じる薬剤. 眼科. 2019; 61:1217-1221.

古田 実. 【中途失明の可能性のある疾患 Q&A】中途失明の可能性のある疾患とその検査／治療 網膜硝子体 最新の網膜芽細胞腫の診断と治療について教えてください. あたらしい眼科. 2019; 36(臨増):158-162.

石龍鉄樹. 【中途失明の可能性のある疾患 Q&A】中途失明の可能性のある疾患とその検査／治療 網膜硝子体 OCT による黄斑部の代表的な異常所見について教えてください. あたらしい眼科. 2019; 36(臨増):91-96.

古田 実. 【実戦 メディカル眼科治療アップデート】メディカル眼科治療 眼窩疾患およびその周辺部領域 涙腺炎. 臨床眼科. 2019; 73:156-161.

森 隆史. 【わかる！子どもの眼疾患】よくみられる眼疾患 鼻涙管閉塞. チャイルドヘルス. 2019; 22:425-427.

著 書・訳 書

大口泰治, 飯田知弘. 眼虚血症候群と高安病. In: 飯田知弘 編. 蛍光眼底造影ケーススタディー. 東京: 医学書院; 2019. p.105-112.

小笠原雅, 齋藤昌晃. 脈絡膜新生血管. In: 飯田知弘 編. 蛍光眼底造影ケーススタディー. 東京: 医学書院; 2019. p.171-184.

長谷川泰司, 石龍鉄樹. Stargardt 病とその他の遺伝性網膜変性. In: 飯田知弘 編. 蛍光眼底造影ケーススタディー. 東京: 医学書院; 2019. p.185-192.

菅野幸紀, 丸子一郎. Vogt-小柳-原田病. In: 飯田知弘 編. 蛍光眼底造影ケーススタディー. 東京: 医学書院; 2019. p.205-220.

今泉公宏, 石龍鉄樹. 多発性消失白点症候群. In: 飯田知弘 編. 蛍光眼底造影ケーススタディー. 東京: 医学書院; 2019. p.233-243.

古田 実. 網膜腫瘍. In: 飯田知弘 編. 蛍光眼底造影ケーススタディー. 東京: 医学書院; 2019. p.257-270.

森 隆史, 古田 実. 脈絡膜腫瘍. In: 飯田知弘 編. 蛍光眼底造影ケーススタディー. 東京: 医学書院; 2019. p.271-280.

伊勢重之, 石龍鉄樹. 視神経乳頭. In: 飯田知弘 編. 蛍光眼底造影ケーススタディー. 東京: 医学書院; 2019. p.281-293.

石龍鉄樹. 正常所見. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.2-9.

石龍鉄樹. 基本所見. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.10-13.

石龍鉄樹. アーチファクト. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.14-17.

小島 彰. 視神経乳頭腫脹. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.72-73.

大口泰治. 視神経萎縮. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.74-81.

大口泰治, 長谷川泰司. 乳頭小窩黄斑症候群. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.82-87.

菅野幸紀. intrachoroidal cavitation. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.260-263.

田中啓一郎, 石橋誠一. 強度近視に合併する網膜血管周囲異常. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.264-267.

菅野幸紀. 先天網膜分離症. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.278-281.

石龍鉄樹. Stargardt 病. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.286-289.

今泉公宏, 小島 彰. 急性帯状潜存性網膜外層症. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.294-297.

菅野幸紀, 丸子一郎. 多発消失性白点症候群. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.298-301.

古田 実. 脈絡膜血管腫. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.318-321.

古田 実. 脈絡膜悪性黒色腫. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.322-329.

古田 実. 移転性脈絡膜腫瘍. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.330-335.

古田 実. 脈絡膜骨折. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.336-339.

古田 実. 眼内悪性リンパ腫. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.340-343.

菅野幸紀. focal choroidal excavation. In: 白神史雄, 飯田知弘 編. 新 OCT・OCTA 読影トレーニング. 東京: メジカルビュー社; 2019. p.362-367.

森 隆史. 眼瞼外反症. In: 大橋裕一, 村上 晶 編. 眼窩疾患最新の治療 Current Therapy in Eye Diseases. 東京: 南江堂; 2019. p.85.

石龍鉄樹. 加齢黄斑変性. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2019 年版 わたしはこう治療している. 東京: 医学書院; 2019. p.1525-1526.

研究発表等

〔研究発表〕

Kato Y. Complement activation product levels in aqueous humor of patients with age-related macular degeneration. ARVO Annual Meeting 2019; 20190428-0502; Vancouver, Canada.

Ojima A. Twelve-month result of anti-VEGF therapy for macula edema secondary to branch retinal vein occlusion monotherapy v.s combined with laser; a prospective study. ARVO Annual Meeting 2019; 20190428-0502; Vancouver, Canada.

Sekiryu T. Hybrid three-dimensional models of the choroidal vessel reconstructed from swept-source OCT Angiography. ARVO Annual Meeting 2019; 20190428-0502; Vancouver, Canada.

Tanaka K. Void-like findings in The Choroid Detected in Optical Coherence Tomography Angiography. ARVO Annual Meeting 2019; 20190428-0502; Vancouver, Canada.

Furuta M. Mystery case—peripheral retinal tumor in a 17y.o. Japanese boy. AAO2019; 20191012-15; San Francisco, USA.

Sekiryu T. Automated choroidal segmentation of SS-OCT images by using deep learning. IOCS Conference 2019; 20190809-10; Portland, USA.

今泉公宏. Spectral-domain OCT による正常眼の脈絡膜毛細血管板の評価. 第 123 回日本眼科学会; 20190418-21; 東京.

関田秀樹. 光干渉断層血管造影による中心窩網膜血管の 3 次元画像解析. 第 123 回日本眼科学会; 20190418-21; 東京.

石龍鉄樹. 日本人 wAMD 又は DME 患者を対象とした Faricimab の国内第 I 相試験. 第 123 回日本眼科学会; 20190418-21; 東京.

森 隆史. 3歳から就学時（弱視、斜視）. 第123回日本眼科学会; 20190418-21; 東京.

森 隆史. 光学的生体測定装置による幼児の調節麻痺前後の屈折要素の変化. 第75回日本弱視斜視学会; 20190614-15; 浜松.

大口泰治. 両眼眼内レンズ挿入眼に多焦点ハードコンタクトレンズを処方した5例. フォーサム 2019; 20190705-07; 京都.

則川晃希. 感冒症状後に発症した Acute macular neuroretinopathy の2例. 第36回日本眼循環学会; 20190719-20; 札幌.

前田駿介. Classic CNV を有する加齢黄斑変性の治療後10年間の脈絡膜厚の変化. 第36回日本眼循環学会; 20190719-20; 札幌.

大口泰治. 原発性眼内NK/T-cell lymphoma の1例. 第37回日本眼腫瘍学会; 20190928-29; 東京.

佐藤大介. 転移性虹彩腫瘍に対するレーザー光凝固(PC)とレーザー温熱療法(TTT). 第37回日本眼腫瘍学会; 20190928-29; 東京.

田中啓一郎. IgG4 関連眼疾患による視力低下. 第37回日本眼腫瘍学会; 20190928-29; 東京.

古田 実. 「視神経腫瘍」視神経乳頭腫瘍. 第37回日本眼腫瘍学会; 20190928-29; 東京.

板垣可奈子. 抗 VEGF 治療を50回以上うけた滲出型加齢黄斑変性の検討. 第73回日本臨床眼科学会; 20191024-27; 京都.

大口泰治. 硝子体界面症候群の眼内アナフィラトキシン濃度. 第73回日本臨床眼科学会; 20191024-27; 京都.

小笠原雅. AI によるポリープ状脈絡膜血管症の脈絡膜厚マップと病変との関連. 第73回日本臨床眼科学会; 20191024-27; 京都.

笠井暁仁. 急性中心性漿液性脈絡網膜症に対する閾値下ナビゲーションレーザー治療の検討. 第73回日本臨床眼科学会; 20191024-27; 京都.

加藤 寛. ポリープ状脈絡膜血管症における脈絡膜厚と前房内アナフィラトキシン濃度. 第73回日本臨床眼科学会; 20191024-27; 京都.

菅野幸紀. 中心性漿液性脈絡網膜症の脈絡膜厚マップによる形態解析. 第73回日本臨床眼科学会; 20191024-27; 京都.

新竹広晃. ポリープ状脈絡膜血管症に対するランビズマブ硝子体注射併用光線力学的療法の5年成績. 第73回日本臨床眼科学会; 20191024-27; 京都.

石龍鉄樹. 眼底自発蛍光を使いこなす. 第 73 回日本臨床眼科学会; 20191024-27; 京都.

田中啓一郎. 光干渉断層血管撮影による trickling 型萎縮型加齢黄斑変性の観察. 第 73 回日本臨床眼科学会; 20191024-27; 京都.

前原紘基. 抗 VEGF 治療を施行したポリープ状脈絡膜血管症の 10 年間の脈絡膜厚変化. 第 73 回日本臨床眼科学会; 20191024-27; 京都.

森 隆史. 遠視性不同視弱視における弱視治療中の眼軸長の変化. 第 73 回日本臨床眼科学会; 20191024-27; 京都.

古田 実. クマによる眼部外傷の 3 例. 第 34 回日本眼窩疾患シンポジウム; 20191109; 新潟.

佐藤千尋. 遠視矯正眼鏡装用幼児の中心窩下脈絡膜厚と眼軸長の変化. 第 60 回日本視能矯正学会; 20191130-1201; 福岡.

小笠原雅. 滲出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト 4 週毎 treat and extend 法の予後予測因子. 第 58 回日本網膜硝子体学会; 20191206-08; 長崎.

小島 彰. 網膜静脈分枝閉塞症への抗 VEGF 単独療法とレーザー併用療法での網膜感度. 第 58 回日本網膜硝子体学会; 20191206-08; 長崎.

小島裕花. 眼底自発蛍光で trickling 型を示した黄斑変性の網膜電図所見の検討. 第 58 回日本網膜硝子体学会; 20191206-08; 長崎.

加藤 寛. 滲出型加齢黄斑変性患者の前房水中における補体因子とサイトカインの関係. 第 58 回日本網膜硝子体学会; 20191206-08; 長崎.

田中啓一郎. 中心性漿液性脈絡網膜症における脈絡膜体積と脈絡膜血管容積の経過. 第 58 回日本網膜硝子体学会; 20191206-08; 長崎.

富田隆太郎. 網膜疾患眼の前房フレア値の検討. 第 58 回日本網膜硝子体学会; 20191206-08; 長崎.

皮膚科学講座

論文

〔原著〕

Miura T, Kato Y, Yamamoto T. Granulocyte colony stimulating factor (G-CSF) producing giant squamous cell carcinoma of the scrotum. Actas Dermo-Sifiliográficas. 201901; 110(1):57-59.

Korekawa A, Akasaka E, Rokunohe D, Fukui T, Kaneko T, Sawamura D, Ishikawa M, Yamamoto T, Nakano H. Nagashima-type palmoplantar keratoderma and malignant melanoma in Japanese patients. *British Journal of Dermatology*. 201902; 180(2):415-416.

Yamamoto T. Clinical characteristics of Japanese patients with palmoplantar pustulosis. *Clinical Drug Investigation*. 201903; 39(3):241-252.

Hanami Y, Mori T, Kikuchi N, Yamamoto T. Association of pyoderma gangrenosum, erythema nodosum, and aseptic liver abscess without significant underlying diseases. *Clinical and Experimental Dermatology*. 201905; 44(2):e16-e17.

Ohashi T, Matsumura N, Yamamoto T. Successful treatment with dapsone for lupus profundus accompanied by xanthomatous reaction. *Clinical and Experimental Dermatology*. 201905; 44(2):e3-e4.

Miura T, Kikuchi N, Ito T, Kato Y, Yamamoto T. Lupus erythematosus profundus in a patient with dermatomyositis. *Clinical and Experimental Dermatology*. 201904; 44(3):e47-e48.

Matsumura N, Furukawa A, Ueda K, Oyama A, Yamamoto T. Pigmented Basal-cell carcinoma of the upper lip: A report of a case and review of the literature. *Dermatologica Sinica*. 2019; 37:53-55.

Yamamoto T, Okabe H, Hoshi M. Alopecia totalis sparing congenital melanocytic nevus. *Dermatologica Sinica*. 2019; 37:176-177.

Igari S, Ohtsuka M, Yamamoto T. Imiquimod-induced widespread psoriasiform eruptions. *European Journal of Dermatology*. 201904; 29(2):225-227.

Kikuchi N, Ohashi T, Yamamoto T. Periorbital xanthoma-like amyloidosis in a patient with multiple myeloma-associated systemic amyloidosis. *European Journal of Dermatology*. 2019; 29:566-567.

Ohashi T, Yamamoto T. Exacerbation of psoriasis with pustulation by sorafenib in a patient with metastatic hepatocellular carcinoma. *Indian Journal of Dermatology*. 201901; 64(1):75-77.

Kato Y, Ohashi T, Yamamoto T. Two cases of lupus arteritis: a rare type of cutaneous lupus vasculitis. *International Journal of Dermatology*. 201904; 58(4):E85-E87.

Ishikawa M, Yamamoto T. Radiation-induced Köbner phenomenon in the induction of skin lesions of dermatomyositis. *International Journal of Dermatology*. 2019; 58:e155-e156.

Kato Y, Yamamoto T. Severe pustular lesions induced by topical immunotherapy with squaric acid dibutylester for alopecia totalis. *Journal of Cutaneous Immunology and Allergy*. 2019; 2:113-114.

Yamamoto T, Ohtsuki M, Sano S, Morita A, Igarashi A, Okuyama R, Kawada A. Late-onset psoriatic arthritis in Japanese patients. *Journal of Dermatology*. 201902; 46(2):169-170.

Yamamoto T, Ohtsuki M, Sano S, Igarashi A, Morita A, Okuyama R, Wada M, Katoh N, Kawada A. Switching biologics in the treatment of psoriatic arthritis in Japan. *Journal of Dermatology*. 2019; 46(3):e113-114.

Hiraiwa T, Yamamoto T. Bone scintigraphy analysis of 44 cases of pustulotic arthro-osteitis associated with palmoplantar pustulosis. *Journal of Dermatology*. 201904; 46(4):e122-e123.

Miura T, Yamamoto T. Epidermal mast cells in Bowenoid papulosis during topical imiquimod therapy. *Journal of Dermatology*. 201904; 46(4):e137-e138.

Yamamoto T. Epidemiology of pyoderma gangrenosum in Japanese patients by questionnaire survey. *Journal of Dermatology*. 201904; 46(4):e145-e146.

Masuda-Kuroki K, Murakami M, Kishibe M, Kobayashi S, Ohkubo Y, Yamamoto T, Terui T, Sayama K. Diagnostic histopathological features distinguishing palmoplantar pustulosis from pompholyx. *Journal of Dermatology*. 201905; 46(5):399-408.

Hamada T, Tokura Y, Sugaya M, Ohtsuka M, Tsuboi R, Nagatani T, Kiyohara E, Tani M, Setoyama M, Matsushita S, Kawai K, Yonekura K, Saida T, Iwatsuki K. Long-term efficacy and safety of bexarotene for Japanese patients with cutaneous T-cell lymphoma: The results of a phase 2 study (B-1201). *Journal of Dermatology*. 201907; 46(7):557-563.

Mori T, Yamamoto T. Bullous pemphigoid developed on nummular eczema lesions. *Journal of Dermatology*. 201911; 46(11):e426-e427.

Yamamoto M, Ohtsuka M, Ito T, Ishikawa M, Kikuchi N, Yamamoto T. Malignant melanoma occurring on the chronic ulcer following surgical operation due to a traffic accident. *Journal of Dermatology*. 201912; 46(12):e459-e460.

Yamamoto T. Köbner phenomenon in systemic lupus erythematosus. *Our Dermatology Online*. 2019; 10:101-102.

Mori T, Yamamoto T. Extra-genital lichen sclerosus in a patient with anti-SS-A antibody. *Our Dermatology Online*. 2019; 10:310-311.

Ishikawa M, Mori T, Hanami Y, Yamamoto T. Childhood acute generalized exanthematous pustulosis. *Our Dermatol Online*. 2019; 10:396-397.

山本俊幸. 紅皮症の臨床. *Monthly Book Derma*. 2019; 284:1-7.

大塚幹夫. 【紅皮症 迷った時にこの1冊!】紅皮症をきたす代表的疾患 皮膚リンパ腫. *Monthly Book Derma*. 201906; 284:65-74.

朝比奈昭彦, 梅澤慶紀, 大槻マミ太郎, 奥山隆平, 加藤則人, 金子敦史, 亀田秀人, 岸本暢将, 佐野栄紀,

多田弥生, 照井 正, 長谷川友紀, 福田国彦, 森田明理, 山本俊幸, 中川秀己. 乾癬性関節炎の患者診療における医師間連携の実態調査. 日本皮膚科学会誌. 2019; 129:1887-1899.

山本俊幸. Early PsA を疑うポイントと、早期治療におけるアプレミラストの可能性. 日本臨床皮膚科医会雑誌. 2019; 36:630-631.

菊池信之, 森 龍彦, 山本俊幸. drug-induced hypersensitivity syndrome 略治後に心筋梗塞で死亡した例. 皮膚病診療. 2019; 41(3):249-252.

山本俊幸. 掌跖膿疱症の治療の進歩とアンメットニーズ. 皮膚病診療. 2019; 41(8):702-707.

大塚幹夫, 山本俊幸. 免疫チェックポイント阻害薬による白斑と臨床効果の関連. 皮膚病診療. 2019; 41(11):998-1004.

山本俊幸. 膠原病に共通してみられる皮膚症状. 皮膚病診療. 2019; 41(Suppl.):7-14.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】エリテマトーデス 凍瘡状狼瘡(chilblain lupus). 皮膚病診療. 2019; 41(Suppl.1):27.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】エリテマトーデス SLE の上眼瞼浮腫(periorbital edema). 皮膚病診療. 2019; 41(Suppl.1):28.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】エリテマトーデス 水疱性エリテマトーデス(bullous lupus erythematosus). 皮膚病診療. 2019; 41(Suppl.1):29.

花見由華. 【膠原病の皮膚症状】エリテマトーデス 粘膜ループス. 皮膚病診療. 2019; 41(Suppl.1):30.

大塚幹夫. 【膠原病の皮膚症状】エリテマトーデス 腫脹性エリテマトーデス(lupus erythematosus tumidus). 皮膚病診療. 2019; 41(Suppl.1):31.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】エリテマトーデス ループス血管炎(lupus vasculitis). 皮膚病診療. 2019; 41(Suppl.1):32.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】臨床 エリテマトーデス 亜急性エリテマトーデス(subacute lupus erythematosus). 皮膚病診療. 2019; 41(Suppl.1):33.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】エリテマトーデス 結節性皮膚ループススムチノーシス(nodular cutaneous lupus mucinosis). 皮膚病診療. 2019; 41(Suppl.1):34.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】エリテマトーデス 肥大型エリテマトーデス(hypertrophic lupus erythematosus). 皮膚病診療. 2019; 41(Suppl.1):35.

森 龍彦, 山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 皮膚筋炎 ポイキロデルマ. 皮膚病診療. 2019; 41(Suppl.):39.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 皮膚筋炎 Shawl sign. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):40.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 皮膚筋炎 V neck sign. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):41.

森 龍彦, 山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 皮膚筋炎 皮膚筋炎の光線過敏. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.):42.

森 龍彦, 山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 皮膚筋炎 メカニックスハンド. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.):43.

森 龍彦, 山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 皮膚筋炎 皮膚筋炎の脂漏性皮膚炎様皮疹. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.):44.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 皮膚筋炎 逆 Gottron 徴候(inverse Gottron sign). 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):45.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 皮膚筋炎 Bullous dermatomyositis. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):46.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 皮膚筋炎 小児皮膚筋炎. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):47.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 皮膚筋炎 脂肪織炎. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):48.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 皮膚筋炎 体幹のびまん性紅斑(malignant erythema). 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):49.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 強皮症 強皮症の石灰沈着症. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):63.

平岩朋子. 【膠原病の皮膚症状】 強皮症 強皮症の指趾潰瘍. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):64.

森 龍彦, 山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 シェーグレン症候群 Sjögren 症候群患者にみられた蛇行状脱毛症. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.):68.

森 龍彦, 山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 シェーグレン症候群 高 γ グロブリン血症性紫斑を呈した Sjögren 症候群. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.):69.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 シェーグレン症候群 Sjögren 症候群の環状紅斑. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):70.

石川真郷. 【膠原病の皮膚症状】 シェーグレン症候群 Sjögren 症候群にみられた扁平苔癬. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.):71.

森 龍彦, 山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 シェーグレン症候群 Sjögren 症候群にみられた硬化性萎縮性苔癬. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.):72.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 MCTD/overlap 膠原線維アタック型反応を呈した混合性結合組織病. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):79.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 好酸球性筋膜炎 好酸球性筋膜炎の groove sign. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):81.

花見由華. 【膠原病の皮膚症状】 好酸球性筋膜炎 広範囲に尋常性白斑を合併した好酸球性筋膜炎. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):82.

花見由華. 【膠原病の皮膚症状】 好酸球性筋膜炎 好酸球性筋膜炎の orange-peel-like appearance. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):83.

花見由華. 【膠原病の皮膚症状】 好酸球性筋膜炎 morphea を合併した好酸球性筋膜炎. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):84.

平岩朋子. 【膠原病の皮膚症状】 好酸球性筋膜炎 関節拘縮を伴った好酸球性筋膜炎. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):85.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 関節リウマチ リウマチ結節. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):87.

花見由華. 【膠原病の皮膚症状】 関節リウマチ 関節リウマチに伴う nodular fat necrosis. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):88.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 関節リウマチ リウマトイド血管炎(rheumatoid vasculitis). 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):89.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 関節リウマチ リウマトイド丘疹. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):90.

菊池信之. 関節リウマチに合併した壊疽性膿皮症. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):91.

山本俊幸. 【膠原病の皮膚症状】 関節リウマチ rheumatoid neutrophilic dermatosis. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):92.

平岩朋子. 【膠原病の皮膚症状】 ベーチェット病 Behcet 病に伴う結節性紅斑. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):96.

平岩朋子. 【膠原病の皮膚症状】 ベーチェット病 Behcet 病に伴う結節性紅斑様皮疹. 皮膚病診療. 201912; 41(Suppl.1):97.

大塚幹夫, 山本俊幸. 【救急外来で役に立つ皮膚診療の極意】 救急受診の消化器疾患を見抜く皮膚のサイン. レジデント. 201912; 12(1):81-88.

著 書・訳 書

山本俊幸. 限局性強皮症. In: 古川福実, 佐伯秀久 編. 皮膚疾患最新の治療 2019-2020. 東京: 南江堂; 201901. p.85.

大塚幹夫. 局面状類乾癬. In: 古川福実, 佐伯秀久 編. 皮膚疾患最新の治療 2019-2020. 東京: 南江堂; 201901. p.143.

大塚幹夫. ペーチェット病. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 編. 今日の治療指針 2019 年版. 東京: 医学書院; 201901. p.1269-1270.

山本俊幸. サルコイドーシス. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 編. 今日の治療指針 2019 年版. 東京: 医学書院; 201901. p.1270.

研究発表等

〔研究発表〕

森 龍彦, 遠藤麻衣, 山本美友貴, 猪狩翔平, 菊池信之, 山本俊幸. 幼児にみられた線状 IgA 水疱性皮膚症の 1 例. 第 40 回水疱症研究会; 20190111-12; 大阪.

Ishikawa M, Hanami Y, Yamamoto T. Pediatric case of severe acne and osteitis without palmoplantar pustulosis: Subtype of chronic recurrent multifocal osteomyelitis (CRMO)? Scientific Conference by PPP Experts 2019; 20190126; 東京.

石川真郷, 山本俊幸. プレオマイシン誘導皮膚硬化モデルマウスにおける CCR2 拮抗薬の抗線維化効果の検討. 強皮症研究会合同会議; 20190126; 東京.

遠藤麻衣, 渡邊幸奈, 山本美友貴, 猪狩翔平, 菊池信之, 山本俊幸. 紅皮症を呈した水疱性類天疱瘡の 1 例. 第 15 回加齢皮膚医学研究会; 20190309; 熊本.

大塚幹夫, 森 龍彦, 渡邊幸奈, 佐藤真由, 伊藤 崇, 菊池信之, 山本俊幸. 類乾癬として光線療法中の患者に生じた結節性病変. 第 35 回日本皮膚病理組織学会; 20190420-21; 東京.

森 龍彦, 山本俊幸. リンパ腫に合併した Eosinophilic eruption of hematoproliferative disease. 第 35 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会; 20190420-21; 松山.

遠藤麻衣, 山本俊幸. サルコイドーシス患者に発症した NCFN の 2 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 385 回例会; 20190427; 福島.

石川真郷, 猪狩翔平, 花見由華, 大塚幹夫, 山本俊幸. 皮下型環状肉芽腫の小児例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 385 回例会・118 回福島臨床皮膚科集談会; 20190428; 福島.

佐藤真由, 渡邊幸奈, 大塚幹夫, 山本俊幸. clear cell acanthoma の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 385 回例会・118 回福島臨床皮膚科集談会; 20190428; 福島.

花見由華, 山本俊幸. 皮膚科初診し上大静脈症候群から肺癌が判明した 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 385 回例会・118 回福島臨床皮膚科集談会; 20190428; 福島.

森 龍彦, 伊藤 崇, 大塚幹夫, 山本俊幸. Kyrle 病の 2 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 385 回例会・118 回福島臨床皮膚科集談会; 20190428; 福島.

猪狩翔平, 渡邊幸奈, 遠藤麻衣, 山本美友貴, 菊池信之, 加藤保信, 大塚幹夫, 山本俊幸. 悪性黒色腫に対してペムブロリズマブ投与中に肝転移破裂が認められた 1 例. 第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20190524-25; 神戸.

遠藤麻衣, 渡邊幸奈, 山本美友貴, 猪狩翔平, 菊池信之, 大塚幹夫, 山本俊幸, 竹原由佳, 佐藤久志. 高齢者の下腿に生じた precursor B-cell lymphoma の 1 例. 第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20190524-25; 神戸.

大塚幹夫, 森 龍彦, 平岩朋子, 遠藤麻衣, 佐藤真由, 山本俊幸. 非小細胞肺癌に対してペムブロリズマブ投与中に発症した水疱性類天疱瘡. 第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会; 20190524-25; 神戸.

佐藤真由, 渡邊幸奈, 入江絹子, 伊藤 崇, 森 龍彦, 大塚幹夫, 山本俊幸. 水疱症様の外観を呈した原発性皮膚 CD8 陽性急速進行性表皮向性細胞傷害性 T 細胞リンパ腫の 1 例. 第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会; 20190524-25; 神戸.

佐藤真由, 山本俊幸. 当科で経験した成人発症 Still 病 18 例の皮疹のまとめ. 第 118 回日本皮膚科学会総会; 20190606-09; 名古屋.

森 龍彦, 山本俊幸. 当科における全身性強皮症のまとめ. 第 118 回日本皮膚科学会総会; 20190606-09; 名古屋.

猪狩翔平, 三浦貴子, 山本俊幸. 高齢発症の generalized morphea. 日本皮膚科学会東北 6 県合同地方会学術大会第 386 回例会; 20190629-30; 仙台.

花見由華, 山本俊幸. 外方向性に隆起した臨床像を呈した仙骨部毛巣洞の 1 例. 日本皮膚科学会東北 6 県合同地方会学術大会第 386 回例会; 20190629-30; 仙台.

佐藤真由, 山本俊幸. 水疱性類天疱瘡における口腔粘膜病変について. 日本皮膚科学会東北 6 県合同地方会学術大会第 386 回例会; 20190629-30; 仙台.

則川菜摘, 入江絹子, 石川真郷, 平岩朋子, 花見由華, 山本俊幸, 西江 渉, 泉健太郎. 掻痒性疾患で加療中に水疱性類天疱瘡と診断した 1 例. 日本皮膚科学会東北 6 県合同地方会学術大会第 386 回例会; 20190629-30; 仙台.

山本美友貴, 山本俊幸, 長谷川隆哉. 顕著な手背苔癬化を伴うアトピー性皮膚炎にデュピルマブが有効であった 1 例. 日本皮膚科学会東北 6 県合同地方会; 20190630-0701; 仙台.

佐藤真由, 猪狩翔平, 山本俊幸. 血汗症と考えた 1 例. 第 27 回日本発汗学会総会; 20190726; 浜松.

森 龍彦, 石川真郷, 本多 皓, 山本俊幸. 二分脊椎症に生じた踵部褥瘡の治療例. 第 21 回日本褥瘡学会学術集会; 20190823-24; 京都.

大塚幹夫, 菊池信之, 山本美友貴, 加藤保信, 佐藤真由, 山本俊幸. 当科で経験した乾癬に合併した悪性黒色腫の 4 例. 第 34 回日本乾癬学会; 20190830-31; 京都.

佐藤真由, 遠藤麻衣, 森 龍彦, 平岩朋子, 菊池信之, 大塚幹夫, 山本俊幸. 後腹膜膿瘍の治療により劇的に改善した難治性乾癬の 1 例. 第 34 回日本乾癬学会; 20190830-31; 京都.

森 龍彦, 猪狩翔平, 伊藤 崇, 平岩朋子, 花見由華, 大塚幹夫, 山本俊幸. 呼吸不全を合併した汎発性膿疱性乾癬の 1 例. 第 34 回日本乾癬学会学術大会; 20190830-31; 京都.

遠藤麻衣, 大塚幹夫, 山本俊幸. 当教室において過去 10 年間に皮膚悪性腫瘍を複数診断された患者の集計. 第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会; 20190907-08; 高知.

菊池信之, 入江絹子, 遠藤麻衣, 山本美友貴, 伊藤 崇, 猪狩翔平, 石川真郷, 森 龍彦, 平岩朋子, 本多皓, 花見由華, 大塚幹夫, 山本俊幸. 当科で経験した化膿性汗腺炎 13 例の検討. 第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会; 20190908-09; 高知.

佐藤真由, 桑川宗之, 草野美沙希, 山本俊幸, 遊佐志乃. 顔面に悪性腫瘍を疑う結節状病変を呈した菌性感染症の 1 例. 日本皮膚科学会 宮城・福島・山形 3 県合同地方会学術大会第 387 回例会; 20190929; 仙台.

桑川宗之, 山本俊幸. 発症にリセドロンが関与したと考えられた後天性反応性穿孔性膠原線維症の 1 例. 日本皮膚科学会 宮城・山形・福島 3 県合同地方会学術大会第 387 回例会; 20190929; 仙台.

則川菜摘, 大塚幹夫, 山本俊幸. adenoma of the nipple の 1 例. 日本皮膚科学会 宮城・福島・山形 3 県合同地方会学術大会第 387 回例会; 20190929; 仙台.

遠藤麻衣, 山本俊幸. Perforating pilomatricoma の 2 例. 日本皮膚科学会 宮城・福島・山形 3 県合同地方会学術大会第 387 回例会; 20190929; 仙台.

猪狩翔平, 渡邊幸奈, 入江絹子, 石川真郷, 本多 皓, 菊池信之, 山本俊幸. Hypertrophic lichen planus の 2 例. 第 70 回日本皮膚科学会中部支部大会; 20191005-06; 金沢.

Igari S, Yamamoto T. Effect of decanoic acid on skin inflammation in a mouse model of contact hypersensitivity. 44th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology; 20191108-10; 青森.

遠藤麻衣, 山本俊幸, 中野 創. 新規の遺伝子変異を認めた Werner 症候群の 1 例. 第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会; 20191116-17; 東京.

大塚幹夫, 菊池信之, 花見由華, 山本俊幸. 多発衛星病変を生じた耳介部悪性黒色腫の 3 例. 第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会; 20191116-17; 東京.

菊池信之, 入江絹子, 遠藤麻衣, 山本美友貴, 伊藤 崇, 猪狩翔平, 石川真郷, 森 龍彦, 平岩朋子, 本多 皓, 花見由華, 大塚幹夫, 山本俊幸. 当科で経験した壞疽性膿皮症の予後についての検討. 第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会; 20191116-17; 東京.

佐藤真由, 本多 皓, 森 龍彦, 花見由華, 大塚幹夫, 山本俊幸. 血栓性静脈炎がみられたベーチェット病の 4 例. 第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会; 20191116-17; 東京.

則川菜摘, 伊藤 崇, 森 龍彦, 大塚幹夫, 山本俊幸. 過去 10 年間に当科で経験した pigmented poroma のまとめ. 第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会; 20191116-17; 東京.

花見由華, 大塚幹夫, 山本俊幸. 家族性良慢性天疱瘡を疑った Amicrobial Pustulosis of the Folds の 1 例. 第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会; 20191116-17; 東京.

則川菜摘, 入江絹子, 花見由華, 山本俊幸. 脂漏性角化症様のダーモスコピー像を呈した皮膚線維腫の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 388 回例会; 20191123; 郡山.

森 龍彦, 山本俊幸. Superficial Granulomatous Pyoderma の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 388 回例会; 20191123; 郡山.

佐藤真由, 猪狩翔平, 石川真郷, 森 龍彦, 菊池信之, 山本俊幸. 尋常性白斑を合併した掌蹠膿疱症の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 388 回例会; 20191123; 郡山.

遠藤麻衣, 石川真郷, 大塚幹夫, 山本俊幸. 顔面に生じた trichilemmal cyst の 2 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 388 回例会; 20191123; 郡山.

猪狩翔平, 佐藤真由, 山本俊幸. 熱傷部位から生じたリポイド類壊死症の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 388 回例会; 20191123; 郡山.

大塚幹夫, 平岩朋子, 石川真郷, 佐藤真由, 草野美沙希, 山本俊幸. 発熱と紅斑を繰り返したシェーグレン症候群. 第 49 回日本皮膚免疫アレルギー学会; 20191129-1201; 横浜.

佐藤真由, 大塚幹夫, 山本俊幸. 非典型的な臨床像を呈した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の 1 例. 第 49 回日本皮膚免疫アレルギー学会; 20191129-1201; 横浜.

花見由華, 則川菜摘, 佐藤真由, 入江絹子, 伊藤 崇, 猪狩翔平, 石川真郷, 森 龍彦, 平岩朋子, 大塚幹夫, 山本俊幸. 筋弛緩剤によるアナフィラキシーショックの 4 例. 第 49 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会; 20191129-1201; 横浜.

〔特別講演〕

大塚幹夫. 皮膚 T 細胞性リンパ腫と鑑別を要する高齢者紅皮症の診断. 第 15 回加齢皮膚医学研究会モーニングセミナー; 20190309-10; 熊本.

大塚幹夫. 菌状息肉症・セザリー症候群の治療概論. 第 71 回日本皮膚科学会西部支部総会ランチョンセミナー; 20190907-08; 高知.

大塚幹夫. 診療ガイドラインにみるエビデンスに基づいた皮膚 T 細胞性リンパ腫の治療戦略. 第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会ランチョンセミナー; 20191116-17; 東京.

泌尿器科学講座

論 文

〔原 著〕

Tanase-Nakao Kanako, Mizuno Kentaro, Hayashi Yutaro, Kojima Yoshiyuki, Hara Mariko, Matsumoto Kenji, Matsubara Yoichi, Igarashi Maki, Miyado Mami, Fukami Maki. Dihydrotestosterone induces minor transcriptional alterations in genital skin fibroblasts of children with and without androgen insensitivity. *Endocrine Journal*. 201904; 66(4):387-393.

Koguchi Tomoyuki, Haga Nobuhiro, Matsuoka Kanako, Yabe Michihiro, Hoshi Seiji, Ogawa Soichiro, Kataoka Masao, Akaihata Hidenori, Sato Yuichi, Hata Junya, Ishibashi Kei, Kojima Yoshiyuki. Atherosclerosis as a predictor of transient exacerbation of overactive bladder symptoms after robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy. *International Journal of Urology*. 201902; 26(2):234-240.

Aiba Toshiki, Saito Toshiyuki, Hayashi Akiko, Sato Shinji, Yunokawa Harunobu, Fukami Maki, Hayashi Yutaro, Mizuno Kentaro, Sato Yuichi, Kojima Yoshiyuki, Ohsako Seiichiroh. Exploring disease-specific methylated CpGs in human male genital abnormalities by using methylated-site display-amplified fragment length polymorphism (MSD-AFLP). *Journal of Reproduction and Development*. 201912; 65(6):491-497.

Kojima Yoshiyuki, Koguchi Tomoyuki, Mizuno Kentaro, Sato Yuichi, Hoshi Seiji, Hata Junya, Nishio Hidenori, Hashimoto Daiki, Matsushita Shoko, Suzuki Kentaro, Miyagawa Shinichi, Hui Chi Chung, Tanikawa Chizu, Murakami Yoshimori, Yamada Gen, Hayashi Yutaro, Matsuda Koichi. Single Nucleotide Polymorphisms of HAAO and IRX6 Genes as Risk Factors for Hypospadias. *Journal of Urology*. 201902; 201(2):386-392.

Onoda Mitsutaka, Haga Nobuhiro, Kurimura Yoshimasa, Tanji Ryo, Onagi Akifumi, Honda Ruriko, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Obara Wataru, Kojima Yoshiyuki. Usefulness of a novel classification based on perioperative changes of membranous urethral length using hierarchical cluster analysis of urinary incontinence and overactive bladder symptoms after robot-assisted radical prostatectomy: A prospective observational study. *Neurourology and Urodynamics*. 201911; 38(8):2200-2208.

Haga Nobuhiro, Akaihata Hidenori, Hata Junya, Hiraki Hiroyuki, Honda Ruriko, Tanji Ryo, Onagi Akifumi,

Koguchi Tomoyuki, Hoshi Seiji, Ogawa Soichiro, Kataoka Masao, Sato Yuichi, Ishibashi Kei, Kojima Yoshiyuki. The association between local arteriosclerosis of the prostatic arteries and chronic inflammation in human benign prostatic enlargement. Prostate. 201905; 79(6):574-582.

Hata Junya, Machida Takeshi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Akaihata Hidenori, Hiraki Hiroyuki, Suzuki Toshiyuki, Ogawa Soichiro, Kataoka Masao, Haga Nobuhiro, Ishibashi Kei, Homma Yoshimi, Sekine Hideharu, Kojima Yoshiyuki. Complement activation by autoantigen recognition in the growth process of benign prostatic hyperplasia. Scientific Reports. 201912; 9(1):20357.

小島祥敬, 佐藤雄一, 丹治 亮, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星 誠二, 胡口智之, 秦 淳也, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博. 腹腔鏡下腎盂形成術のポイント. Japanese Journal of Endourology. 201904; 32(1):77-81.

小島祥敬, 松岡香菜子, 星 誠二, 秦 淳也, 赤井畑秀則. 【頻尿と排尿障害: トイレが近い、尿が出にくい—どうしよう?】男性下部尿路症状の診断と治療 治療 前立腺肥大症に対する手術療法. 腎と透析. 201912; 87(6):873-877.

秦 淳也, 本田瑠璃子, 丹治 亮, 小名木彰史, 松岡香菜子, 星 誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 【Pros and Cons 1「 $\alpha 1$ 遮断薬 vs PDE5 阻害薬」】前立腺肥大症の薬物治療 $\alpha 1$ 遮断薬 vs PDE5 阻害薬 $\alpha 1$ 遮断薬の有用性. 日本排尿機能学会誌. 201906; 29(2):365-368.

小川総一郎, 佐藤雄一, 小島祥敬. 【泌尿器科周術期パーフェクト管理】男性不妊・性功能障害関連の手術 精索静脈瘤根治術. 臨床泌尿器科. 201904; 73(4):238-240.

過年業績

Igarashi Maki, Mizuno Kentaro, Kon Masafumi, Narumi Satoshi, Kojima Yoshiyuki, Hayashi Yutaro, Ogata Tsutomu, Fukami Maki. GATA4 mutations are uncommon in patients with 46,XY disorders of sex development without heart anomaly. Asian Journal of Andrology. 201811; 20(6):629-631.

〔総説等〕

Kojima Yoshiyuki, Yokoya Susumu, Kurita Noriaki, Idaka Takayuki, Ishikawa Tetsuo, Tanaka Hideaki, Ezawa Yoshiko, Ohto Hitoshi. Cryptorchidism after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: causation or coincidence? Fukushima Journal of Medical Science. 2019; 65(3):76-98.

羽賀宣博, 赤井畑秀則, 松岡香菜子, 小島祥敬. 尿流動態検査. Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure. 201906; 24(3):270-271.

寺島 愛, 渡辺聖子, 羽賀宣博, 小島祥敬, 相澤昌子. 問診票 (IPSS など) の記入法. Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure. 201906; 24(3):287-288.

浅野由香里, 貝沼 純, 片岡政雄, 羽賀宣博. 手術室における看護. Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure. 201910; 24(5):528-531.

羽賀宣博, 秦 淳也, 小島祥敬. 腹腔鏡下ドナー腎摘除術 (生体腎移植). Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure. 201910; 24(5):543-547.

片岡政雄, 今井仁美, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 小島祥敬. 腹腔鏡下仙骨腔固定術(LSC). Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure. 201910; 24(5):606-609.

小島祥敬, 目黒 了, 松岡優太, 吉田祐樹, 今井仁美, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 佐藤雄一. 小児泌尿器科疾患に対するロボット支援手術の現況と未来展望. 小児科. 201911; 60(12):1683-1689.

小島祥敬. 前立腺肥大症. 日本医事新報. 201909; 4979:54.

羽賀宣博, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 【循環器症候群(第3版)II—その他の循環器疾患を含めて—】VIII 末梢動脈・静脈疾患 17 腎梗塞. 別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ. 201910; 6:471-476.

赤井畑秀則. 学会賞受賞演題・論文解説 第107回日本泌尿器科学会総会 排尿障害 基礎部門 内皮型 NOS uncoupling に対する下部尿路生体反応の解明とそれを標的とした下部尿路機能障害の新規予防薬開発にむけた基礎的研究. 排尿障害プラクティス. 201912; 27(2):183-184.

片岡政雄, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 経腔メッシュ(TVM)手術. 臨床泌尿器科. 201902; 73(2):141-145.

羽賀宣博, 小名木彰文, 小川総一郎. 【泌尿器科周術期パーフェクト管理】腫瘍関連の手術: 前立腺 ロボット支援前立腺全摘除術. 臨床泌尿器科. 201904; 73(4):113-116.

片岡政雄, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 骨盤臓器脱に対する手術(TVM). 臨床泌尿器科. 201904; 73(4):225-228.

赤井畑秀則, 秦 淳也, 小島祥敬. 低活動膀胱. 臨床泌尿器科. 201906; 73(7):482-485.

過年業績

Mizuno Kentaro, Kojima Yoshiyuki, Nishio Hidenori, Hoshi Seiji, Sato Yuichi, Hayashi Yutaro. Robotic surgery in pediatric urology: Current status. Asian Journal of Endoscopic Surgery. 201811; 11(4):308-317.

〔症例報告〕

Wang Lu, Ogawa Soichiro, Onagi Akifumi, Tanji Ryo, Honda Ruriko, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Kurimura Yoshimasa, Onoda Mitsutaka, Hata Junya, Yabe Michihiro, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Haga Nobuhiro, Ishibashi Kei, Kojima Yoshiyuki. Delayed diagnosis of intraperitoneal bladder perforation after blunt trauma. IJU Case Reports. 201903; 2(2):83-85.

目黒 了, 青木大志, 高橋拓大, 大原英一郎, 木村信吾, 渋谷里絵, 長沼 廣, 渡辺徹雄, 石戸谷滋人. 腎静脈内腫瘍塞栓を合併し自然破裂をきたした淡明細胞型腎細胞癌の1例. 泌尿器外科. 201905; 32(5):497-500.

〔その他〕

小川総一郎. コメント「尿失禁の重症度が女性の生活の質に及ぼす影響」. Broad View of Urology Topics. 201904; 1(6):2-3.

小川総一郎. コメント「根治的前立腺摘除術後の大規模な患者コホートを対象とした長期機能的転帰の分析」. Broad View of Urology Topics. 201904; 1(6):4-5.

佐藤雄一. コメント「成人夜尿症：原因，共通因子，生活の質への影響の特定」. Broad View of Urology Topics. 201904; 1(6):6-7.

佐藤雄一. コメント「気候パラメータが急性尿閉の発症に及ぼす影響」. Broad View of Urology Topics. 201904; 1(6):8-9.

小島祥敬. 編集後記. Broad View of Urology Topics. 201904; 1(6):22.

小川総一郎. コメント「周術期の超音波ガイド下骨盤底筋トレーニングはロボット支援根治的前立腺摘除術後の尿禁制の早期改善を促進するか」. Broad View of Urology Topics. 201908; 2(2):2-3.

小川総一郎. コメント「18 歳以上の男女における下部尿路症状および過活動膀胱の有病率:Colombian overactive bladder and lower urinary tract symptoms(COBaLT) 研究」. Broad View of Urology Topics. 201908; 2(2):4-5.

羽賀宣博. コメント「前立腺肥大症に対するモノポーラ TURP，バイポーラ TURP および光選択的前立腺蒸散術が勃起機能に及ぼす影響」. Broad View of Urology Topics. 201908; 2(2):6-7.

羽賀宣博. コメント「術前の最大尿流率が 10mL/s 未満の男性におけるロボット支援前立腺摘除術後の最大尿流率の長期にわたる改善遅延と高リスク前立腺癌との関連」. Broad View of Urology Topics. 201908; 2(2):8-9.

片岡政雄. コメント「骨盤臓器脱修復術後の腹圧性尿失禁：ストレステスト使用・非使用の予測モデルの作成と内的妥当性確認」. Broad View of Urology Topics. 201912; 2(4):2-3.

片岡政雄. コメント「根治的前立腺摘除術が不随意骨盤底筋収縮に及ぼす影響」. Broad View of Urology Topics. 201912; 2(4):4-5.

赤井畑秀則. コメント「排尿筋過活動患者における切迫性尿失禁発症に近位尿道の求心性 C 線維の感受性低下が果たす潜在的役割」. Broad View of Urology Topics. 201912; 2(4):6-7.

赤井畑秀則. コメント「下部尿路症状を有する男性患者における夜間多尿と夜間血圧降下との関連性」. Broad View of Urology Topics. 201912; 2(4):8-9.

赤井畑秀則. 無尿をきたす疾患. Kyorin Medical Bridge 泌尿器科サイト. 201910; Available from: <https://www.kyorin-medicalbridge.jp/>

小島祥敬. 特集 まるごと患者説明に使える図解シート付き！保存版 泌尿器内視鏡手術 プランナー. Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure. 201910; 24(5):11-14.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 201903; 73(3):252.

小島祥敬. 特集 メディカルスタッフとともに診る高齢者の排尿マネジメント 企画にあたって. 臨床泌尿器科. 201906; 73(7):431.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 201906; 73(7):504.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 201909; 73(10):780.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 201912; 73(13):1012.

著 書・訳 書

Mizuno Kentaro, Hayashi Yutaro, Kojima Yoshiyuki. Bladder, bladder neck, ureteral anatomy and innervations. In: Gundeti MS. Surgical Techniques in Pediatric and Adolescent Urology. New Delhi, India: Jaypee Brothers Medical Publishers; 2019. p.657-664.

小島祥敬. 泌尿器科領域のプライマリケア 今日の治療方針. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2019 年版. 東京: 医学書院; 2019. p.1229-1230.

研究発表等

〔研究発表〕

Akaihashi Hidenori, Onagi Akifumi, Tanji Ryo, Honda Ruriko, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Ogawa Soichiro, Kataoka Masao, Haga Nobuhiro, Kojima Yoshiyuki. Tetrahydrobiopterin protects lower urinary tract function in a rat model of chronic bladder ischemia. International Continence Society 2019 Meeting; 20190906; Gothenburg, Sweden.

Kataoka Masao, Matsuoka Kanako, Honda-Takinami Ruriko, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihashi Hidenori, Ogawa Soichiro, Haga Nobuhiro, Kojima Yoshiyuki. Predictive factors in overactive bladder improvement after pelvic organ prolapse repair. International Continence Society 2019 Meeting; 20190906; Gothenburg, Sweden.

Kataoka Masao, Matsuoka Kanako, Honda-Takinami Ruriko, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihashi Hidenori, Ogawa Soichiro, Haga Nobuhiro, Kojima Yoshiyuki. The number of factors for metabolic syndrome are the risk factors for de novo OAB after pelvic organ prolapse repair. International Continence Society 2019 Meeting; 20190906; Gothenburg, Sweden.

Matsuoka Kanako, Onagi Akifumi, Tanji Ryo, Honda Ruriko, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihashi Hidenori, Ogawa Soichiro, Kataoka Masao, Haga Nobuhiro, Kojima Yoshiyuki. Benign prostatic enlargement affects vesical adaptation response to diuresis in men with overactive bladder. International

Continence Society 2019 Meeting; 20190906; Gothenburg, Sweden.

Matsuoka Kanako, Akaihata Hidenori, Imai Hitomi, Yuta Matsuoka, Yoshida Yuki, Meguro Satoru, Onagi Akifumi, Tanji Ryo, Honda Ruriko, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Ogawa Soichiro, Kataoka Masao, Haga Nobuhiro, Kojima Yoshiyuki. Benign prostatic enlargement affects vesical adaptation response to diuresis in men with overactive bladder. Nagoya Shinshu Forum 2019; 20190914; Tokyo.

栗村嘉昌, 羽賀宣博, 丹治 亮, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星 誠二, 小野田充敬, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 石橋 啓, 松原昭郎, 小島祥敬. パッドテストを用いた術前尿失禁の評価とロボット支援前立腺全摘除術後の尿失禁と QOL の予測. 第 11 回日本ロボット外科学会学術集会; 20190126; 名古屋.

小名木彰史, 片岡政雄, 丹治 亮, 本田瑠璃子, 星 誠二, 小野田充敬, 栗村嘉昌, 佐藤雄一, 小川総一郎, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後の腸閉塞発症リスク因子の探索. 第 11 回日本ロボット外科学会学術集会; 20190126; 名古屋.

小野田充敬, 羽賀宣博, 栗村嘉昌, 丹治 亮, 小名木彰史, 松岡香菜子, 本田瑠璃子, 星 誠二, 胡口智之, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 石橋 啓, 小原 航, 小島祥敬. クラスタ分析によるロボット支援前立腺全摘除術患者の術前後膀胱部尿道長に基づく分類法の開発と術後早期尿禁制獲得への影響. 第 11 回日本ロボット外科学会学術集会; 20190126; 名古屋.

千代清美, 佐藤加代子, 斎藤和江, 秦 淳也, 赤井畑秀則, 細井隆之, 小島祥敬. 新術式導入の際の先行施設見学的重要性. 第 11 回日本ロボット外科学会学術集会; 20190126; 名古屋.

丹治 亮, 羽賀宣博, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星 誠二, 秦 淳也, 栗村嘉昌, 小野田充敬, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 石橋 啓, 村上房夫, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後に発症する重症尿失禁遷延予測因子の探索. 第 11 回日本ロボット外科学会学術集会; 20190126; 名古屋.

相場俊樹, 齋藤俊行, 林 昭子, 佐藤伸司, 湯野川春信, 深見真紀, 林祐太郎, 水野健太郎, 小島祥敬, 大迫誠一郎. 男児生殖器異常症とエピゲノム変化: MSD-AFLP 法を用いたパイロット研究. 第 89 回日本衛生学会学術総会; 20190202; 名古屋.

本田 (滝浪) 瑠璃子, 赤井畑秀則, 松岡香菜子, 佐藤雄一, 片岡政雄, 栗村嘉昌, 小野田充敬, 小川総一郎, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. 急性弛緩性脊髄炎後に残存した下部尿路機能障害. 第 9 回 UDS フォーラム; 20190216; 高知.

胡口智之. 一塩基遺伝子多型(SNP)解析による日本人尿道下裂発症リスク関連遺伝子の同定と発現機能解析. IFO Urology Forum; 20190323; 郡山.

小野田充敬. クラスタ分析によるロボット支援前立腺全摘除術患者の術前後膀胱部尿道長に基づく分類法の開発と術後尿失禁および下部尿路症状への影響. IFO Urology Forum; 20190323; 郡山.

赤井畑秀則. テトラヒドロビオプテリン合成再生経路を介した膀胱組織防御機構への関与と下部尿路機能障害の

予防効果. IFO Urology Forum; 20190323; 郡山.

片岡政雄, 小名木彰史, 丹治 亮, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星 誠二, 小野田充敬, 栗村嘉昌, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. TVT 術後の膀胱内メッシュ露出に対する経尿道的摘除術の工夫. 第 13 回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会; 20190323; 沖縄.

羽賀宣博, 本田瑠璃子, 小名木彰史, 片岡政雄, 小川総一郎, 佐藤雄一, 石橋 啓, 小島祥敬. 骨盤内動脈硬化による慢性炎症を介したヒト前立腺腫大発生機序の解明. 第 107 回日本泌尿器科学会総会; 20190418; 名古屋.

佐藤雄一, 丹治 亮, 胡口智之, 小野田充敬, 栗村嘉昌, 秦 淳也, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. 術前 MRI+腹腔鏡手術により診断・治療を行った非触知精巣症例から検討した MRI の有用性. 第 107 回日本泌尿器科学会総会; 20190418; 名古屋.

小野田充敬, 羽賀宣博, 栗村嘉昌, 丹治 亮, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 星 誠二, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 石橋 啓, 小原 航, 小島祥敬. クラスター分析によるロボット支援前立腺全摘除術患者の術前後模様部尿道長に基づく分類法の開発と術後尿失禁および下部尿路症状への影響. 第 107 回日本泌尿器科学会総会; 20190418; 名古屋.

星 誠二, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. mpMRI 拡散強調画像所見による筋層非浸潤性膀胱癌の膀胱内再発の予測. 第 107 回日本泌尿器科学会総会; 20190418; 名古屋.

石橋 啓, 松岡香菜子, 胡口智之, 小名木彰史, 栗村嘉昌, 星 誠二, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 腎癌における術後予後および TKI 耐性予測因子としての MET 発現の意義. 第 107 回日本泌尿器科学会総会; 20190418; 名古屋.

赤井畑秀則, 小名木彰史, 秦 淳也, 細井隆之. 内皮型 NOS uncoupling に対する下部尿路生体反応の解明とそれを標的とした下部尿路機能障害の新規予防薬開発にむけた基礎的研究. 第 107 回日本泌尿器科学会総会; 20190418; 名古屋.

栗村嘉昌, 羽賀宣博, 丹治 亮, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 星 誠二, 小野田充敬, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 石橋 啓, 松原昭郎, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後に発症する尿失禁における QOL を低下させる患者要因の探究. 第 107 回日本泌尿器科学会総会; 20190419; 名古屋.

小川総一郎, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星 誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. 効果と有害事象からみた高齢者高リスク筋層非浸潤性膀胱癌に対する BCG 膀胱内注入療法回避の可能性. 第 107 回日本泌尿器科学会総会; 20190419; 名古屋.

小名木彰史, 片岡政雄, 星 誠二, 松岡香菜子, 本田瑠璃子, 胡口智之, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後のイレウス・腸閉塞発症リスク因子. 第 107 回日本泌尿器科学会総会; 20190419; 名古屋.

胡口智之, 羽賀宣博, 丹治 亮, 松岡香菜子, 星 誠二, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 村上房夫, 石橋 啓, 小島祥敬. Cardio-ankle vascular index(CAVI)を用いたロボット支援前立腺全

摘術後の過活動膀胱症状の予測. 第 107 回日本泌尿器科学会総会; 20190420; 名古屋.

片岡政雄, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星 誠二, 胡口智之, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. 術前パッドテストとストレステストは骨盤臓器脱修復術後の腹圧性尿失禁を予測できる簡便な検査である. 第 107 回日本泌尿器科学会総会; 20190420; 名古屋.

本田瑠璃子, 小川総一郎, 小名木彰史, 丹治 亮, 松岡香菜子, 星 誠二, 胡口智之, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. 多発骨転移を契機に発見された後天性嚢胞随伴小径腎細胞癌の一例. 第 259 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20190427; 山形.

松岡香菜子, 片岡政雄, 本田瑠璃子, 星 誠二, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 尿道後壁再建術にて尿禁制も改善した尿道損傷、膀胱内反の 1 例. 第 29 回骨盤外科機能温存研究会; 20190601; 東京.

片岡政雄, 松岡香菜子, 本田瑠璃子, 星 誠二, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 腹腔鏡下 paravaginal defect repair と前壁壁形成術により修復し得た化学繊維アレルギーを伴う膀胱瘤の 1 例. 第 29 回骨盤外科機能温存研究会; 20190601; 東京.

片岡政雄, 松岡香菜子, 本田瑠璃子, 星 誠二, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. Kelly 縫合を併用した尿道後壁再建術にて尿禁制も改善した尿道裂傷、膀胱内反の 1 例. 第 16 回泌尿器科再建再生研究会; 20190608; 横浜.

星 誠二, 今井仁美, 松岡優太, 吉田祐樹, 目黒 了, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 片側副腎摘除術により心不全の改善を得た両側性アルドステロン症の一例. 第 86 回福島泌尿器科研究会; 20190622; 郡山.

大澤賢人, 横山 純, 櫛田信博, 吉田純也. 当科における Ho:YAG レーザーを用いた内視鏡的尿道切開術の経験. 第 86 回福島泌尿器科研究会; 20190622; 郡山.

松岡香菜子, 佐藤雄一, 小名木彰史, 丹治 亮, 本田瑠璃子, 星 誠二, 胡口智之, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. 46,XY 先天性副腎リポイド過形成症: 精巣内テストステロン合成に着目した病態の考察. 日本アンドロロジー学会第 38 回学術大会; 20190622; 大阪.

丹治 亮, 小川総一郎, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星 誠二, 胡口智之, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 羽賀宣博, 石橋 啓, 村上房夫, 小島祥敬. 男性不妊を契機に発見された前立腺セミノーマ. 日本アンドロロジー学会第 38 回学術大会; 20190622; 大阪.

相場俊樹, 齋藤俊行, 林 昭子, 佐藤伸司, 湯野川春信, 深見真紀, 林祐太郎, 水野健太郎, 小島祥敬, 大迫誠一郎. MSD-AFLP 法を用いた尿道下裂のメチル化バイオマーカー探索. 第 46 回日本毒性学会学術年会; 20190628; 徳島.

松岡香菜子, 佐藤雄一, 本田瑠璃子, 星 誠二, 胡口智之, 小川総一郎, 羽賀宣博, 村上房夫, 小島祥敬. 小児傍外尿道口尖圭コンジローマの 2 例. 第 28 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20190704; 佐賀.

本田（滝浪）瑠璃子，佐藤雄一，松岡香菜子，星 誠二，胡口智之，小川総一郎，羽賀宣博，小島祥敬．急性弛緩性脊髄炎を起因とし排尿筋低活動から排尿筋過活動への移行を呈した下部尿路機能障害の1例．第28回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会；20190705；佐賀．

片岡政雄，松岡香菜子，本田瑠璃子，星 誠二，秦 淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，小川総一郎，羽賀宣博，小島祥敬．メタボリック症候群は骨盤臓器脱修復術後の de novo OAB のリスク因子となる．第21回日本女性骨盤底医学会；20190720；名古屋．

片岡政雄，松岡香菜子，本田瑠璃子，星 誠二，秦 淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，小川総一郎，羽賀宣博，小島祥敬．腹腔鏡下 paravaginal defect repair と前壁形成術により修復し得た化学繊維アレルギーを伴う膀胱瘤の1例．第21回日本女性骨盤底医学会；20190720；名古屋．

胡口智之，羽賀宣博，目黒 了，丹治 亮，松岡香菜子，赤井畑秀則，片岡政雄，小川総一郎，柳田知彦，村上房夫，小島祥敬．動脈硬化の術前評価によるロボット支援前立腺全摘術後の過活動膀胱症状の出現予測．第26回日本排尿機能学会；20190912；東京．

松岡優太，赤井畑秀則，丹治 亮，小名木彰史，本田瑠璃子，松岡香菜子，秦 淳也，片岡政雄，小川総一郎，羽賀宣博，小島祥敬．間欠式経尿道の留置カテーテルが有効であった神経因性下部尿路機能障害．第26回日本排尿機能学会；20190912；東京．

小野田充敬，羽賀宣博，栗村嘉昌，本田瑠璃子，松岡香菜子，秦 淳也，赤井畑秀則，片岡政雄，小川総一郎，小原 航，小島祥敬．ロボット支援前立腺全摘除術患者の術前後膜様部尿道長に基づくクラスター分析による分類法の開発と術後尿失禁および下部尿路症状の評価の有用性．第26回日本排尿機能学会；20190913；東京．

松岡香菜子，今井仁美，本田瑠璃子，星 誠二，秦 淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小川総一郎，羽賀宣博，小島祥敬．男性下部尿路症状患者における利尿適応性を障害する因子の同定と発症機序の解明．第26回日本排尿機能学会；20190913；東京．

赤井畑秀則，吉田祐樹，本田瑠璃子，松岡香菜子，星 誠二，秦 淳也，佐藤雄一，片岡政雄，小川総一郎，羽賀宣博，小島祥敬．下部尿路機能保護における尿路上皮バリア機構の重要性の解明－膀胱尿路上皮バリア機構障害を介した慢性虚血による下部尿路機能障害－．第26回日本排尿機能学会；20190913；東京．

大前憲史，栗田宜明，竹島太郎，長沼 透，高橋 世，大西剛史，吉岡貴史，赤井畑秀則，大槻和之，小島祥敬，福原俊一．ADL の自立した健康高齢者における過活動膀胱罹患指標としての身体的フレイル測定の意義：地域住民の健康医療データベースを用いた分析的横断研究．第26回日本排尿機能学会；20190913；東京．

片岡政雄，吉田祐樹，本田瑠璃子，松岡香菜子，秦 淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，小川総一郎，羽賀宣博，小島祥敬．骨盤臓器脱修復術後の腹圧性尿失禁(SUI)残存および de novo SUI 予測における cine MRI による vesical neck movement 評価の意義．第26回日本排尿機能学会；20190913；東京．

小川総一郎，今井仁美，松岡優太，吉田祐樹，目黒 了，本田瑠璃子，松岡香菜子，星 誠二，秦 淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，羽賀宣博，小島祥敬．不妊症患者における男性因子スクリーニングの重要性．第22回福島リプロダクション研究会；20190914；福島．

亀岡 浩, 小林正人, 片岡政雄, 小島祥敬, 鈴木一裕, 入澤千晴, 入澤千晶, 嘉村康邦. 膀胱へ迷入した異物の3例. 第84回日本泌尿器科学会東部総会; 20191004; 東京.

今井仁美, 赤井畑秀則, 松岡優太, 吉田祐樹, 目黒 了, 丹治 亮, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 秦 淳也, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 神経核内封入体病に伴う下部尿路機能障害. 第84回日本泌尿器科学会東部総会; 20191004; 東京.

矢部通弘, 千葉茂寿, 百瀬昭志, 熊川健二郎, 白岩康夫, 小島祥敬. 転移性前立腺癌の局所浸潤に対して放射線療法が著効した一例. 第84回日本泌尿器科学会東部総会; 20191004; 東京.

星 誠二, 今井仁美, 松岡優太, 吉田祐樹, 目黒 了, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 傾斜スコアを用いた mpMRI 拡散強調画像所見による筋層非浸潤性膀胱癌の膀胱内再発の予測. 日本泌尿器腫瘍学会第5回学術集会; 20191026; 福岡.

小川総一郎, 今井仁美, 松岡優太, 吉田祐樹, 目黒 了, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星 誠二, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 羽賀宣博, 小島祥敬. 精巣腫瘍患者における精子凍結保存の実態と治療後造精機能に寄与する因子. 第64回日本生殖医学会学術講演会・総会; 20191107; 神戸.

今井仁美, 赤井畑秀則, 松岡優太, 吉田祐樹, 目黒 了, 丹治 亮, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 秦 淳也, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 神経核内封入大病に発症した排尿筋低活動. 第260回日本泌尿器科学会東北地方会; 20191109; 仙台.

目黒 了, 片岡政雄, 今井仁美, 松岡優太, 吉田祐樹, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星 誠二, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 常染色体優性遺伝多発腎嚢胞と結節性硬化症を合併した両側性腎癌の一例. 第260回日本泌尿器科学会東北地方会; 20191109; 仙台.

佐藤雄一. 小児泌尿器疾患の診断と治療. 第90回県北腎泌尿器疾患研究会; 20191114; 福島.

秦 淳也, 松岡優太, 目黒 了, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 腎部分切除術における MAP スコアの術後腎機能予測因子としての有用性. 第33回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20191121; 京都.

亀岡 浩, 花井一也, 川喜田睦司, 熊谷 伸, 小島祥敬. 当院における Neoadjuvant 化学療法後の腹腔鏡下膀胱全摘除術の検討. 第33回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20191122; 京都.

松岡優太, 羽賀宣博, 今井仁美, 吉田祐樹, 本田瑠璃子, 秦 淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後の尿道膀胱吻合不全の危険因子探索と術後尿失禁への影響. 第33回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20191122; 京都.

羽賀宣博, 赤井畑秀則, 本田瑠璃子, 吉田祐樹, 松岡優太, 今井仁美, 目黒 了, 小川総一郎, 片岡政雄, 小島祥敬. 馬蹄腎に発症した腎腫瘍に対する腹腔鏡下半腎摘除術. 第33回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20191123; 京都.

吉田祐樹, 今井仁美, 松岡優太, 本田瑠璃子, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 羽賀宣博, 小

島祥敬. BMI 高値は腹腔鏡下腎摘除術及び腎尿管全摘除術後の健側腎 GFR 低下のリスク因子となる. 第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20191123; 京都.

細井隆之, 小名木彰史, 秦 淳也, 赤井畑秀則, 胡口智之, 小島祥敬. TKI 投与により根治切除可能となった腎癌の 2 症例. 第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20191123; 京都.

赤井畑秀則, 今井仁美, 松岡香菜子, 星 誠二, 秦 淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 術前排尿効率低下・加齢のロボット支援前立腺全摘除術後に持続する過活動膀胱への関与. 第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20191123; 京都.

片岡政雄, 目黒 了, 松岡香菜子, 星 誠二, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 腹腔鏡下仙骨膣固定術後に認める蓄尿症状の困窮度増悪因子の解明. 第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20191123; 京都.

目黒 了, 羽賀宣博, 吉田祐樹, 本田瑠璃子, 星 誠二, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後の切除断端陽性例における PSA 再発因子. 第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20191123; 京都.

佐藤雄一, 本田瑠璃子, 秦 淳也, 片岡政雄, 羽賀宣博, 小島祥敬. 腹腔鏡下腎盂形成術 経腹膜アプローチ. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205; 横浜.

小川総一郎, 小名木彰史, 丹治 亮, 本田瑠璃子, 星 誠二, 佐藤雄一, 片岡政雄, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. 温存・再建・補強による術後尿禁制保持のための工夫. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191207; 横浜.

秦 淳也, 関根英治, 吉田祐樹, 今井仁美, 松岡優太, 目黒 了, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星 誠二, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 片岡政雄, 羽賀宣博, 小島祥敬. 前立腺肥大症増殖過程における筋線維芽細胞の経時的変化. 第 35 回前立腺シンポジウム; 20191214; 東京.

柳田知彦. ミニレクチャー 去勢抵抗性前立腺癌に対する薬物治療の実際. 第 20 回泌尿器疾患懇話会; 20191219; 郡山.

丹治 亮. 症例報告 近医の PSA 検診でみつかった前立腺癌の動向. 第 20 回泌尿器疾患懇話会; 20191219; 郡山.

〔シンポジウム〕

小島祥敬. 前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘除術における機能温存の工夫. 第 11 回日本ロボット外科学会学術集会; 20190126; 名古屋.

羽賀宣博. 腹腔鏡下腎摘除—若手医師に泌尿器腹腔鏡技術認定を合格させるコッソー. IFO Urology Forum 2019 in Fukushima; 20190323; 郡山.

佐藤雄一, 丹治 亮, 松岡香菜子, 本田瑠璃子, 星 誠二, 胡口智之, 秦 淳也, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬. 腹腔鏡下腎盂形成術の有用性とロボット支援手術の展望. 第 107

回日本泌尿器科学会総会; 20190420; 名古屋.

小島祥敬. 前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘除術—機能温存の癌治療—. 第 29 回骨盤外科機能温存研究会; 20190601; 東京.

松岡香菜子, 星 誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 海外留学の意義はあるのか? 若手医師の立場から. 第 28 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20190704; 佐賀.

秦 淳也. 下部尿路機能の観点からみた HoLEP の有用性. 第 26 回日本排尿機能学会; 20190912; 東京.

羽賀宣博, 佐藤雄一, 今井仁美, 本田瑠璃子, 小島祥敬. 腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術. 第 84 回日本泌尿器科学会東部総会; 20191004; 東京.

小島祥敬, 本田 (滝浪) 瑠璃子, 松岡香菜子, 星 誠二, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博. ロボット支援根治的前立腺全摘除術における尿禁制温存の工夫. 第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20191122; 京都.

〔特別講演〕

Kojima Yoshiyuki. Translational Pharmacology in Benign Prostatic Hyperplasia. CHINA LUTS DIALOGUE; 20190412; Suzhou, China.

Kojima Yoshiyuki. Subtypes of alpha1-adrenoceptors in BPH. 17th Continence Panel Annual Conference of the Chinese Urological Association; 20190413; Suzhou, China.

本田瑠璃子. 地域医療の現場を経験して. 福島県地域医療を考える懇談会; 20190215; 福島.

小島祥敬. 性と排尿障害. 岐阜泌尿器科フォーラム; 20190228; 岐阜.

小島祥敬. 前立腺肥大症の細胞増殖機構解明に向けた基礎的研究. 日本アンドロロジー学会第 38 回学術大会; 20190621; 大阪.

羽賀宣博. クラスタ分析によるロボット支援前立腺全摘除術患者の術前後模様部尿道長に基づく分類法の開発と術後尿失禁への影響. 第 60 回うつくしま泌尿器科研究会・第 11 回福島県泌尿器手術手技研究会; 20190713; 郡山.

矢部通弘. 当院における HoLEP の初期治療成績. 第 60 回うつくしま泌尿器科研究会・第 11 回福島県泌尿器手術手技研究会; 20190713; 郡山.

小島祥敬. あなたは大丈夫ですか? 「男性」にも「女性」にもひそむ泌尿器科の病気のおはなし. 福島県立医科大学・福島民友新聞社 健康講座; 20190727; 郡山.

小島祥敬. 小児泌尿器科領域における腹腔鏡手術. 42nd Takeda Expert TV Conference in Urology; 20190920; Web 配信.

星 誠二. Ra223 治療中病変進行における 18F FDG-PET/MRI の有用性. 第 62 回うつくしま泌尿器科研究会; 20191007; 福島.

小島祥敬. 下部尿路機能障害と性. 栃木・埼玉泌尿器疾患セミナー; 20191108; 宇都宮.

小島祥敬. 前立腺肥大症と過活動膀胱に対する薬物治療. 函館泌尿器科医会学術講演会; 20191129; 函館.

小島祥敬. 泌尿器科疾患における最新医療と病診連携. 第 20 回泌尿器疾患懇話会; 20191219; 郡山.

〔招待講演〕

小島祥敬. 将来の医学・医療を担うために ふくしまから最先端医療を！！ 福島県立福島高等学校医学部志望者対象講演会; 20190618; 福島.

小島祥敬. 前立腺肥大症・老年泌尿器科. 第 4 回日本泌尿器科学会サマースクール 2019; 20190727; 東京.

小島祥敬. ロボット支援手術による医療革命. 会津大学講座; 20191116; 会津若松.

小島祥敬. プロクター制度の運用状況. 第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20191123; 京都.

〔その他〕

Haga Nobuhiro, Yamada Yuta, Inoue Syogo. Partial Nephrectomy; Open, lap or Robotic? How do you treat them? JUA/AUA Joint Symposium; 20190418; Nagoya.

小島祥敬. 泌尿器救急疾患とその対処法. 星総合病院研修医勉強会; 20190128; 郡山.

小島祥敬. 福島医大泌尿器科学講座 50 周年 記念誌、会報を発行（コメント）. 福島民報; 20190222; 3 面.

小島祥敬. 前立腺がんロボット手術（寄稿）. 福島民友; 20190225; 12 面.

小島祥敬. 泌尿器科学講座の 50 周年記念誌発行（コメント）. 福島民友; 20190228; 3 面.

小島祥敬. ロボット支援手術による前立腺がん治療. 平成 30 年度福島県立医科大学医学部教育体験学習会; 20190310; 福島.

大森 聡, 小川総一郎, 福原慎一郎. 共同研究進捗報告. IFO Urology Forum; 20190323; 郡山.

秦 淳也. コメンテーター. ビデオシンポジウム. IFO Urology Forum; 20190323; 郡山.

小島祥敬. 泌尿器科救急疾患とその対処法. 福島赤十字病院研修医勉強会; 20190509; 福島.

小島祥敬. 泌尿器科救急疾患とその対処法. 太田西ノ内病院ベッドサイドレクチャー; 20190529; 郡山.

松岡優太. 福島県立医科大学泌尿器科学講座医局紹介. 太田西ノ内病院ベッドサイドレクチャー; 20190529; 郡山.

泌尿器科・副腎内分泌外科. 女性向け外来を強化 福島医大病院泌尿器科 (新聞報道). 福島民報; 20190618; 2面.

泌尿器科・副腎内分泌外科. 女性のための泌尿器外来科を開設 (テレビ報道). NHK 福島ニュース; 20190626.

小島祥敬. 来月 27 日郡山で健康講座 (新聞報道). 福島民友; 20190628; 26 面.

泌尿器科・副腎内分泌外科. 女性のための泌尿器外来開設 (新聞報道). 福島医大病院泌尿器科. 朝日新聞; 20190702; 18 面.

吉田祐樹. 福島県立医科大学泌尿器科学講座医局紹介. 大原総合病院泌尿器科勉強会; 20190711; 福島.

小島祥敬. 泌尿器科救急疾患とその対処法. 大原総合病院泌尿器科勉強会; 20190711; 福島.

佐藤雄一, 松岡優太, 今井仁美. 手術支援システム da Vinci (ダヴィンチ) の見学. 福島県立医科大学医学部オープンキャンパス; 20190727; 福島.

小島祥敬. 尿トラブル大丈夫? (新聞報道). 福島民友; 20190728; 2 面.

小島祥敬. 男性にも女性にもひそむ泌尿器科の病気 (新聞報道). 福島民友; 20190828; 11 面.

小島祥敬. 泌尿器科救急疾患とその対処法. 公立岩瀬病院ステップアップセミナー; 20191111; 須賀川.

耳鼻咽喉科学講座

論 文

〔原 著〕

Matsuzuka T, Kiyota N, Mizusawa J, Akimoto T, Fujii M, Hasegawa Y, Iwae S, Monden N, Matsuura K, Onozawa Y, Hayashi R, Tahara M. Clinical impact of cachexia in unresectable locally advanced head and neck cancer: supplementary analysis of a phase II trial (JCOG0706-S2). Japanese Journal of Clinical Oncology. 201901; 49(1):37-41.

Suzuki M, Nakaegawa Y, Kobayashi T, Kawase T, Matsuzuka T, Murono S. The role of frozen section biopsy for parotid gland tumour with benign fine-needle aspiration cytology. Journal of Laryngology and Otology. 201903; 133(3):227-229.

Imaizumi M, Suzuki T, Matsuzuka T, Murono S, Omori K. Low-risk assessment of swallowing impairment

using flexible endoscopy without food or liquid. Laryngoscope. 201910; 129(10):2249-2252.

松見文晶. Extended endaural approach で内視鏡下に外耳道前壁再建を施行した顎関節ヘルニア例. Otology Japan. 201902; 29(1):74-80.

今泉光雅, 松井隆道, 大槻好史, 菊地大介, 佐久間潤, 室野重之. 聴性脳幹インプラント埋め込み術: 術後1年の経過について. Otology Japan. 201909; 29(3):245-251.

松見文晶, 野本幸男. 顔面神経麻痺重症例に対する早期減荷術の有効性. 耳鼻咽喉科臨床. 201903; 112(3):151-156.

松見文晶, ミツ井瑞季. 涙嚢鼻腔吻合術後の難治性慢性涙嚢炎に対する涙嚢内抗菌眼軟膏注入療法. 耳鼻咽喉科臨床. 201912; 112(12):795-800.

松塚 崇, 鈴木賢二, 宮本直哉, 杉山庸一郎, 齋藤康一郎, 室野重之, 大森孝一. 「耳鼻咽喉科内視鏡の感染制御に関する手引き」に沿った耳鼻咽喉科観察内視鏡の洗浄・消毒効果. 日本耳鼻咽喉科感染症エアロゾル会誌. 201905; 7(2):83-87.

小野美穂, 松塚 崇, 黒田令子, 小川 洋, 室野重之. 耳管開放症疑い例に対するルゴールジェル注入療法. 福島医学雑誌. 201912; 69(3):189-195.

〔総説等〕

鹿野真人. <特集 多職種から考える医療安全ー小児, 高齢者の誤嚥・窒息リスクの評価とその対応ー> 高齢者の食物による窒息事故対応. 嚥下医学. 201903; 8(1):21-27.

室野重之. <特集 小児の反復性症例にどう対応するか>再発を繰り返す小児喉頭乳頭腫にどう対応するか. ENTONI. 201901; 227:47-53.

仲江川雄太, 松塚 崇. <特集 耳鼻咽喉科医が頻用する内服・外用薬ー選び方・上手な使い方ー>IV. がん治療の支持療法 1. 化学放射線療法による口内炎への内服・外用薬の使い方. ENTONI. 201904; 231:109-113.

室野重之. <特集 せき・たんー鑑別診断のポイントと治療戦略ー>免疫疾患・免疫低下と関連するせき・たん. ENTONI. 201905; 232:50-54.

多田靖宏, 谷亜希子, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 大河内幸男. 当科で行っている内視鏡下喉頭手術における口腔・咽喉頭麻酔の工夫. 音声言語医学. 201901; 60(1):11-15.

仲江川雄太, 松塚 崇, 川瀬友貴, 小林徹郎, 池田雅一, 鈴木政博, 室野重之. 福島県立医科大学における下咽頭癌の治療成績と導入化学療法の有用性について. 耳鼻咽喉科展望. 201906; 62(補 1):30-31.

小林徹郎, 松塚 崇, 鈴木政博, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 鈴木康士, 室野重之. 福島県立医科大学における口腔癌(舌癌以外)の治療成績. 耳鼻咽喉科展望. 201906; 62(補 1):56-57.

小川 洋, 山内智彦, 小針健大, 小野美穂, 横山秀二, 野本美香. 鼻副鼻腔領域におけるコーンビーム CT の活用. 耳鼻咽喉科展望. 201908; 62(4):154-161.

室野重之. 上咽頭癌および中咽頭癌におけるバイオマーカーとしてのウイルス DNA. 耳鼻咽喉科展望. 201912; 62(6):252-260.

池田雅一, 林 隆一. <特集 ここまできた! 頭頸部希少癌の治療戦略>粘膜悪性黒色腫. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 201902; 91(2):116-121.

室野重之. <特集 初診時に必要十分な問診・検査オーダー虎の巻>《口腔・咽喉頭・頸部領域》喉頭の腫瘍性病変. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 201904; 91(4):380-382.

松塚 崇. <特集 細菌感染に立ち向かうー抗菌薬使用の新常識>《感染症予防マニュアル》耳鼻咽喉科実地診療における感染対策. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 201905; 91(6):437-441.

小林徹郎, 松塚 崇. <特集 舌がん・口腔がん治療の最前線>《治療》超選択的動注化学療法手技の実践はどのようなもの? 最新の治療成績は? 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 201912; 91(13):1146-1150.

多田靖宏. <特集 わかりやすく伝えるインフォームド・コンセント>局所麻酔のインフォームド・コンセント. JOHNS. 201902; 35(2):153-157.

鹿野真人. <特集 外来における嚥下のみかた>評価や治療の適応外と判断した場合の対応. JOHNS. 201903; 35(3):343-346.

多田靖宏. <特集 私はこうしているー口腔咽喉頭頸部手術編>《喉頭・気管手術》喉頭腫瘍手術ー経口的声門型喉頭良性腫瘍手術ー. JOHNS. 201909; 35(9):1199-1202.

室野重之. <特集 私はこうしているー口腔咽喉頭頸部手術編>《喉頭・気管手術》気管切開術. JOHNS. 201909; 35(9):1223-1226.

鈴木政博, 後藤悠大, 清水裕史, 田中秀明. <特集 手術に必要な画像診断ー頭頸部編>嚢胞状リンパ管腫の手術. JOHNS. 201912; 35(12):1720-1724.

多田靖宏. <連載 外来診療における私の処置>咽喉頭の処置 8 間接喉頭鏡, 内視鏡による声門部の処置. JOHNS. 201912; 35(12):1785-1787.

室野重之. <乳頭腫ウイルスをめぐる諸問題>喉頭乳頭腫. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 201902; 122(2):99-104.

松塚 崇. 耳鼻咽喉科内視鏡の洗浄・消毒ー「耳鼻咽喉科内視鏡感染制御の手引き」とその使い方ー. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 201908; 122(8):1091-1096.

〔症例報告〕

小林徹郎, 室野重之. 慢性 GVHD 患者に発症した口腔・咽頭異時性多重癌の 1 例. 口腔・咽頭科. 201906;

32(2):121-125.

仲江川雄太, 中村宏舞, 川瀬友貴, 多田靖宏, 室野重之. 声帯異形成として経過観察中に未分化多形肉腫を生じた1例. 頭頸部外科. 201910; 29(2):193-196.

〔その他〕

松塚 崇. 頭頸部におけるセンチネルリンパ節ナビゲーション手術. 日本気管食道科学会会報. 201904; 70(2):89.

岸本 曜, 中村達雄, 多田靖宏, 大森孝一. <講座>人工気管による再生医療(気道狭窄の疾患登録を含めて). 日本気管食道科学会専門医通信. 201908; 58:21-26.

鹿野真人. <専門医通信>輪状軟骨鉗徐による気管孔形成術の実際と適応. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 201909; 122(9):1254-1256.

室野重之. HPV 関連中咽頭癌のバイオマーカーとしてのうがい液中 HPV DNA 検出. 福島県立医科大学研究シリーズ集 2019 (Ver.5). 201905; 28.

室野重之, 鈴木 亮, 星 利之, 小林徹郎, 川瀬友貴, 小針健大. スギ花粉症に対する効率的な予防をめざした花粉飛散開始日の予測. 福島県労働保健センター事業年報. 201901; 16:41-46.

室野重之. <耳の日>耳を大切に. 福島民報(新聞). 20190303.

室野重之. <耳の日>耳を大切に. 福島民友(新聞). 20190303.

研究発表等

〔研究発表〕

Imaizumi M, Suzuki T, Matsuzuka T, Murono S, Omori K. Low-risk assessment of swallowing impairment using flexible endoscopy without food or liquid. 99th Annual Meeting of the American Broncho-Esophagological Association-COSM 2019: Combined Otolaryngology Spring Meetings; 20190501-05; Austin, TX, USA.

Suzuki T, Imaizumi M, Kikuchi D, Sato K, Murono S. Creating a pathway using the larynx is the last resort for oral intake in a hypopharyngeal cancer patient with severe complications. 99th Annual Meeting of the American Broncho-Esophagological Association-COSM 2019: Combined Otolaryngology Spring Meetings; 20190501-05; Austin, TX, USA.

Otsuki K, Imaizumi M, Murono S. Novel scoring systems for preoperative evaluation of tympanic membrane perforation. 122nd The Triological Society-COSM 2019: Combined Otolaryngology Spring Meetings; 20190501-05; Austin, TX, USA.

鈴木政博, 仲江川雄太, 小林徹郎, 川瀬友貴, 室野重之. 当科における耳下腺浅葉手術時の顔面神経アプローチについての検討. 第29回日本頭頸部外科学会; 20190124-25; 仙台. 予稿集. 205.

松塚 崇, 上村裕和, 吉本世一, 三浦弘規, 塩谷彰浩, 菅澤 正, 本間明宏, 横山純吉, 塚原清彰, 吉崎智一, 小針健大, 室野重之, 長谷川泰久. センチネルリンパ節ナビゲーション頸部郭清術における口腔癌のリンパ節転移巣の大きさの検討. 第 29 回日本頭頸部外科学会; 20190124-25; 仙台. 予稿集. 225.

仲江川雄太, 鈴木政博, 川瀬友貴, 小林徹郎, 室野重之. 当科における植え込み型ポート作成の現状. 第 29 回日本頭頸部外科学会; 20190124-25; 仙台. 予稿集. 255.

小林徹郎, 鈴木政博, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 室野重之. 当科における中咽頭癌の治療成績の検討. 第 29 回日本頭頸部外科学会; 20190124-25; 仙台. 予稿集. 263.

鹿野真人, 野本幸男, 高取 隆. 重症心身障害児・者に対する気管切開術と誤嚥防止術での気管孔の位置の検討. 第 31 回日本喉頭科学会; 20190307-08; 久留米. 予稿集. 110.

多田靖宏, 谷亜希子, 松井隆道, 大河内幸男. 入院時の摂食・嚥下アセスメント試行後のアンケート結果. 第 31 回日本喉頭科学会; 20190307-08; 久留米. 予稿集. 116.

川瀬友貴, 仲江川雄太, 今泉光雅, 室野重之. 5 年間交換されなかった気管孔レティナによる長期気道管理症例. 第 31 回日本喉頭科学会; 20190307-08; 久留米. 予稿集. 123.

鈴木俊彦, 今泉光雅, 鈴木 亮, 佐藤和則, 室野重之. 気管食道吻合術を行い経口摂取可能となった下咽頭癌例. 第 42 回日本嚥下医学会; 20190308-09; 久留米. 予稿集. 185.

今泉光雅, 鈴木 亮, 鈴木俊彦, 川瀬友貴, 室野重之. 当科における嚥下機能改善手術・誤嚥防止術の手術件数の推移について. 第 42 回日本嚥下医学会; 20190308-09; 久留米. 予稿集. 187.

鈴木雪恵, 今泉光雅, 馬場陽子, 鈴木輝久, 黒田令子, 大槻好史, 菊地大介, 小川 洋. 福島県総合療育センターにおける新生児聴覚スクリーニング 13 年間の調査 (原因因子). 第 132 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20190324; 福島. 抄録. 2.

湯田孝之, 鈴木俊彦, 中村宏舞, 山辺 習. シリコンシート使用による鼻中隔矯正術後の穿孔予防. 第 132 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20190324; 福島. 抄録. 2.

三ッ井瑞季, 松見文晶, 鶴岡美果. 左外頸静脈と左鎖骨下静脈に多発した静脈瘤の 1 例. 第 132 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20190324; 福島. 抄録. 3.

斎藤友紀子, 今泉光雅, 鈴木 亮, 鈴木俊彦, 室野重之. 高度な摂食嚥下障害および睡眠時無呼吸症候群をきたした Klippel Trenaunay Weber 症候群の 1 例. 第 132 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20190324; 福島. 抄録. 3.

三浦智広, 橋本英樹, 中村宏舞, 佐藤 聡, 佐藤和則. 気管穿孔をきたした 2 症例. 第 132 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20190324; 福島. 抄録. 3.

小林徹郎, 鈴木政博, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 室野重之. 当科における中咽頭癌の治療成績の検討. 第 132 回

日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20190324; 福島. 抄録. 3.

尾股千里. 当科で経験した切開排膿術を必要とした小児の頸部重症感染症の検討. 第3回福島県こどもの感染症研究会; 20190413; 福島.

斎藤友紀子. 高度な摂食嚥下障害および睡眠時無呼吸症候群をきたした Klippel Trenaunay Weber 症候群の1例. 第3回福島県こどもの感染症研究会; 20190413; 福島.

鈴木政博, 小林徹郎, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 室野重之. 細胞診において耳下腺内嚢胞性病変が疑われ手術を施行した症例の検討. 第120回日本耳鼻咽喉科学会; 20190509-11; 大阪. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 122(4):667.

大槻好史, 今泉光雅, 菊地大介, 野本美香, 室野重之. 急性中耳炎に続発し高度な Otitic hydrocephalus を呈した結果、網膜剥離を発症した小児例. 第120回日本耳鼻咽喉科学会; 20190509-11; 大阪. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 122(4):696.

小林徹郎, 鈴木政博, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 室野重之. 当科における原発不明頸部転移癌の検討. 第120回日本耳鼻咽喉科学会; 20190509-11; 大阪. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 122(4):708.

川瀬友貴, 小林徹郎, 仲江川雄太, 鈴木政博, 室野重之. 当科における超高齢者頭頸部癌根治手術症例についての検討. 第43回日本頭頸部癌学会; 20190613-14; 金沢. 頭頸部癌. 45(2):128.

仲江川雄太, 鈴木政博, 川瀬友貴, 小林徹郎, 池田雅一, 室野重之. 当科における高用量シスプラチンを用いた化学放射線療法の現状. 第43回日本頭頸部癌学会; 20190613-14; 金沢. 頭頸部癌. 45(2):136.

鈴木政博, 小林徹郎, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 室野重之. 頭頸部扁平上皮癌における患側V領域の潜在的リンパ節転移の予後への影響について. 第43回日本頭頸部癌学会; 20190613-14; 金沢. 頭頸部癌. 45(2):164.

小林徹郎, 鈴木政博, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 室野重之. 術前動注を行った進行口腔癌の腫瘍残存様式の検討. 第43回日本頭頸部癌学会; 20190613-14; 金沢. 頭頸部癌. 45(2):171.

菅野千敬, 金子哲治, 遠藤 学, 長谷川博, 鹿野真人. T3/T4 進行舌癌症例における術前多剤動注化学療法の有用性. 第43回日本頭頸部癌学会; 20190613-14; 金沢. 頭頸部癌. 45(2):172.

鹿野真人, 野本幸男. 喉頭癌放射線治療例の声門閉鎖術後の瘻孔に対する DP 皮弁による閉鎖. 第43回日本頭頸部癌学会; 20190613-14; 金沢. 頭頸部癌. 45(2):226.

橋本英樹, 三浦智広, 佐藤和則. 扁桃出血を契機に診断された G-CSF 産生中咽頭癌の1例. 第81回耳鼻咽喉科臨床学会; 20190627-28; 名古屋. 耳鼻咽喉科臨床. (補 154):57.

野本美香, 鈴木 亮, 佐藤廣仁, 鈴木俊彦, 垣野内景, 室野重之. 副鼻腔疾患から眼窩内合併症をきたした9例. 第81回耳鼻咽喉科臨床学会; 20190627-28; 名古屋. 耳鼻咽喉科臨床. (補 154):88.

仲江川雄太, 鈴木政博, 室野重之. 耳下腺筋上皮腫切除術時に止血に難渋した神経線維腫症の1例. 第81回耳鼻咽喉科臨床学会; 20190627-28; 名古屋. 耳鼻咽喉科臨床. (補 154):93.

尾股千里, 鹿野真人, 野本幸男. 当科で経験した小児の頸部腫瘍の検討. 第 81 回耳鼻咽喉科臨床学会; 20190627-28; 名古屋. 耳鼻咽喉科臨床. (補 154):126.

鈴木俊彦, 野本美香, 鈴木 亮, 佐藤廣仁, 多田靖宏, 室野重之. 骨髓異形成症候群による血小板減少を合併し急速に増大した上顎血瘤腫の 1 例. 第 81 回耳鼻咽喉科臨床学会; 20190627-28; 名古屋. 耳鼻咽喉科臨床. (補 154):133.

斎藤友紀子, 鹿野真人, 野本幸男, 鈴木 亮. 輪状軟骨切開術後の気管孔狭窄に対し甲状軟骨下縁を鉗徐し改善得られた例. 第 67 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20190720-21; 弘前. 抄録集. 29.

鈴木聡崇, 仲江川雄太, 松塚 崇, 鈴木政博, 池田雅一, 小林徹郎, 川瀬友貴, 室野重之. 当科で頸部リンパ節生検を施行された症例の検討. 第 67 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20190720-21; 弘前. 抄録集. 33.

菊地大介, 今泉光雅, 大槻好史, 室野重之. 残存聴力活用型人工内耳を施行した CDH23 遺伝子変異例. 第 67 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20190720-21; 弘前. 抄録集. 36.

佐藤廣仁, 野本美香, 鈴木 亮, 鈴木俊彦, 室野重之. 急性副鼻腔炎を契機に眼窩内側壁整復部に感染した 1 例. 第 67 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20190720-21; 弘前. 抄録集. 44.

菊地大介. 当科における頭頸部癌再建術後の過活動型せん妄と鎮静時間. 第 47 回心身医学・リエゾン精神医学セミナー; 20190724; 福島.

室野重之. EB ウイルス抗体価測定が補助診断となり得た鼻性 NK/T 細胞リンパ腫の 1 例. 第 7 回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会; 20190905-06; 津. 抄録集. 62.

五十嵐佳代子, 鈴木雪恵, 松尾洋平, 森田浩之, 今泉光雅. 福島県総合療育センターにおける必要栄養量確保に向けた小児嚥下調整食の改良の取り組み. 第 25 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会; 20190906-07; 新潟. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会誌. 23(3):S137.

今泉光雅. 検査食を用いない嚥下内視鏡評価の提案. 第 25 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会; 20190906-07; 新潟. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会誌. 23(3):S202.

川瀬友貴. 当科における声帯ポリープ手術症例についての検討. 第 27 回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会; 20190907; 郡山.

多田靖宏. 当科における経皮的ステロイド声帯注入. 第 27 回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会; 20190907; 郡山.

橋本英樹, 佐藤和則, 室野重之. 多数の石灰化物を伴った頬部小唾液腺唾石症の 1 例. 第 32 回日本口腔・咽頭科学会; 20190912-13; 大分. 口腔・咽頭科. 32(3):244.

室野重之, 吉崎智一, 橋本英樹. 梨状陥凹瘻に対する化学焼灼療法. 第 32 回日本口腔・咽頭科学会; 20190912-13; 大分. 口腔・咽頭科. 32(3):248.

野本美香, 佐藤廣仁, 鈴木俊彦, 鈴木 亮, 室野重之. 当科で治療を行った副鼻腔真菌症症例. 第 58 回日本鼻科学会; 20191003-05; 東京. 日本鼻科学会会誌. 58(3):609.

鈴木俊彦, 野本美香, 佐藤廣仁, 鈴木 亮, 室野重之. 内視鏡下に摘出した Glomangiopericytoma の 1 例. 第 58 回日本鼻科学会; 20191003-05; 東京. 日本鼻科学会会誌. 58(3):621.

佐藤廣仁, 野本美香, 鈴木俊彦, 鈴木 亮, 室野重之. 急性副鼻腔炎に合併した眼窩内側壁骨折整復術部の膿瘍形成例. 第 58 回日本鼻科学会; 20191003-05; 東京. 日本鼻科学会会誌. 58(3):631.

松塚 崇. 下咽頭梨状窩瘻の 2 例. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005-06; 福島.

菊地大介, 今泉光雅, 大槻好史, 室野重之. 先天性真珠腫における遺残性再発リスク因子と術式選択の境界線. 第 29 回日本耳科学会; 20191010-12; 山形. 抄録集. 260.

大槻好史, 今泉光雅, 菊地大介, 室野重之. Charcot-Marie-Tooth 病と Warrendburg 症候群を合併し内耳奇形と顔面神経高度肥厚を呈した例への人工内耳手術. 第 29 回日本耳科学会; 20191010-12; 山形. 抄録集. 333.

今泉光雅, 大槻好史, 菊地大介, 室野重之. Cavity problem を伴う追加手術困難症例に対する自己洗浄フィードバック法の導入経験. 第 29 回日本耳科学会; 20191010-12; 山形. 抄録集. 500.

川瀬友貴, 菅野和広, 室野重之. 嚥声を契機に発見された Charcot-Marie-Tooth 病疑い症例. 第 64 回日本音声言語医学会; 20191017-18; さいたま; 予稿集. 114.

菅野和広, 今泉光雅, 大槻好史, 大井直往, 室野重之. 聴性脳幹インプラントを行った 1 例の聴取能成績と主観的評価. 第 64 回日本音声言語医学会; 20191017-18; さいたま; 予稿集. 120.

齋藤隆徳, 多田靖宏, 佐藤藍里, 角田祐実, 谷亜希子, 大河内幸男. 当院での疾患別の VHI, V-RQOL の比較. 第 64 回日本音声言語医学会; 20191017-18; さいたま; 予稿集. 125.

三浦弘規, 塚原清彰, 吉本世一, 横山純吉, 平野 滋, 上村裕和, 菅澤 正, 吉崎智一, 本間明宏, 近松一朗, 鈴木幹男, 塩谷彰浩, 松塚 崇, 甲能直幸, 尾瀬 功, 松尾恵太郎, 小須田茂, 谷田部恭, 長谷川泰久. 早期口腔癌におけるセンチネルリンパ節ナビゲーション手術と予防的頸部郭清術: 多施設共同無作為化比較試験. 第 21 回 SNNS 研究会学術集会; 20191018-19; 仙台. 抄録集. 33.

池田雅一, 鈴木政博, 小林徹郎, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 松塚 崇, 室野重之. 術前動注放射線治療を行った上顎洞扁平上皮癌症例の治療成績の検討. 第 25 回北日本頭頸部癌治療研究会; 20191019; 札幌. 抄録集. 18-19.

鈴木雪恵, 今泉光雅, 馬場陽子, 鈴木輝久, 黒田令子, 大槻好史, 菊地大介, 小川 洋. 福島県総合療育センターにおける新生児聴覚スクリーニング 13 年間の調査: 発達障害合併例に関する検討. 第 134 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20191027; 福島. 抄録. 2.

鈴木聡崇, 川瀬友貴, 室野重之. 扁桃周囲膿瘍を伴った伝染性単核球症の 1 例. 第 134 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20191027; 福島. 抄録. 2.

中村宏舞, 多田靖宏, 谷亜希子, 松井隆道, 大河内幸男. 当院での音声外来の状況と音声治療について. 第 134 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20191027; 福島. 抄録. 3.

松見文晶, ミツ井瑞季, 鶴岡美果, 室野重之. 耳鼻咽喉科単独で行う涙道外・経内眼角ライトガイド下ステントレス DCR 鼻内法: リノストミー所見比較. 第 134 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20191027; 福島. 抄録. 3.

斎藤友紀子, 鈴木 亮, 野本幸男, 鹿野真人. 上顎洞内に生じたコレステリン肉芽腫の一例. 第 134 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20191027; 福島. 抄録. 3.

ミツ井瑞季, 松見文晶, 鶴岡美果, 室野重之. 篩骨洞放線菌症の 1 例. 第 134 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20191027; 福島. 抄録. 3.

鈴木聡明. スギ花粉飛散状況と患者動向について—10 年分のデータから—. 第 134 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20191027; 福島. 抄録. 3.

仲江川雄太, 川瀬友貴, 小林徹郎, 池田雅一, 鈴木政博, 室野重之. 当科における Nivolumab (オプジーボ®) の使用状況について. 第 134 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20191027; 福島. 抄録. 4.

中村宏舞, 橋本千織, 佐藤 聡, 三浦智広, 佐藤和則. 当科での中咽頭・下咽頭・喉頭癌の治療症例検討報告. 第 134 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20191027; 福島. 抄録. 4.

川瀬友貴. 小児喉頭乳頭腫例の気管孔閉鎖について. 第 6 回北日本喉頭音声研究会; 20191102; 新潟県湯沢町.

鈴木雪恵, 今泉光雅, 鈴木輝久, 馬場陽子, 山田奈保子, 原田 綾, 大槻好正, 菊地大介, 小川 洋. 福島県における人工内耳・補聴器装用児の中学校での学習環境の実態調査平成 24 年と平成 29 年の比較. 第 64 回日本聴覚医学会; 20191106-08; 大阪. AUDIOLOGY JAPAN. 62(5):387.

菊地大介, 今泉光雅, 大槻好史, 室野重之. CDH23 遺伝子変異への残存聴力活用型人工内耳術後の聴力経過と人工聴覚器選択における遺伝子検査の有用性. 第 64 回日本聴覚医学会; 20191106-08; 大阪. AUDIOLOGY JAPAN. 62(5):499.

三浦智広, 佐藤和則, 佐藤 聡, 垣野内景, 中村宏舞. 咽頭癌治療後に発症した気管食道瘻の 2 例. 第 71 回日本気管食道科学会; 20191128-29; 宇都宮.

川瀬友貴, 仲江川雄太, 今泉光雅, 室野重之. 生体内に長期留置された気管孔レティナの物性に関する検討. 第 71 回日本気管食道科学会; 20191128-29; 宇都宮.

鹿野真人. 喉頭蓋管形成術後の機能維持・改善のための追加手術. 第 71 回日本気管食道科学会; 20191128-29; 宇都宮.

谷亜希子, 今泉光雅, 多田靖宏. 経腸栄養患者の肺炎罹患と喉頭機能. 第 71 回日本気管食道科学会; 20191128-29; 宇都宮.

仲江川雄太, 川瀬友貴, 今泉光雅, 室野重之. 咽頭・喉頭に多発するワルチン腫瘍を認めた1例. 第71回日本気管食道科学会; 20191128-29; 宇都宮.

橋本千織, 松見文晶, 清水雅子, 平林秀樹, 室野重之. 病変部減量により気管孔を閉鎖し得た喉頭サルコイドーシスの1例. 第71回日本気管食道科学会; 20191128-29; 宇都宮.

過年業績

川瀬友貴. 反復する喉頭浮腫症例. 第5回北日本喉頭音声研究会; 20181020; 青森.

今泉光雅, 鈴木 亮, 鈴木俊彦, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 室野重之. 嚥下障害および術後縫合不全評価に対する嚥下造影 Cone Beam CT (CBCT) の有用性の検討. 第70回日本気管食道科学会; 20181108-09; 東京. 予稿集. 113.

多田靖宏, 谷亜希子, 松井隆道, 大河内幸男. 誤嚥・窒息予防を目的とした入院時の摂食・嚥下アセスメントの試み. 第70回日本気管食道科学会; 20181108-09; 東京. 予稿集. 115.

鹿野真人, 野本幸男. 気管カニューレトラブル症例に対するカニューレフリーを目的とした輪状軟骨切開術の有用性. 第70回日本気管食道科学会; 20181108-09; 東京. 予稿集. 152.

川瀬友貴, 仲江川雄太, 鈴木 亮, 今泉光雅, 室野重之. 咽頭サルコイドーシスに対し、副腎皮質ステロイドの局所注入術を施行した2症例. 第70回日本気管食道科学会; 20181108-09; 東京. 予稿集. 190.

〔シンポジウム〕

Matsuzuka T. <Symposium 11 Head and Neck Benign> Percutaneous ethanol injection therapy in the treatment of thyroid cyst. 15th Japan-Taiwan Conference on Otolaryngology-Head and Neck Surgery; 20191206-07; Fukuoka. Abstracts. 74.

鹿野真人, 高取 隆, 木田雅彦. <公募シンポジウム 嚥下障害診療の社会還元> 声門閉鎖術症例の退院後の介護生活継続に対する地域ネットワーク構築. 第42回日本嚥下医学会; 20190308-09; 久留米. 予稿集. 163.

吉崎智一, 塩谷彰浩, 松塚 崇, 脇坂尚宏, 荒木幸仁, 吉本世一, 本間明宏, 横山純吉, 近松一朗, 鈴木基之, 三浦弘規, 菅澤 正, 鈴木幹男, 北村守夫, 篠崎 剛, 塚原清彰, 小須田茂, 尾瀬 功, 村上善子, 甲野直幸, 長谷川泰久. <多施設共同研究進捗状況> 頭頸部癌センチネルリンパ節生検術臨床試験. 第21回 SNNS 研究会学術集会; 20191018-19; 仙台. 抄録集. 29.

松塚 崇. <スポンサードシンポジウム SNNS の現状と普及に向けた戦略> 頭頸部がんにおける現状と戦略. 第21回 SNNS 研究会学術集会; 20191018-19; 仙台. 抄録集. 31.

鹿野真人. <シンポジウム1 安全な気管切開の方法とその管理(成人)> 外科的気道確保術の新たな選択肢ー輪状軟骨開窓術ー. 第71回日本気管食道科学会; 20191128-29; 宇都宮.

今泉光雅. <日本呼吸ケア・リハビリテーション学会ジョイントパネルディスカッション 嚥下障害患者の連携医療 病院、診療所、在宅>嚥下障害患者の連携医療：大学病院としての取り組み. 第 71 回日本気管食道科学会; 20191128-29; 宇都宮.

多田靖宏. <パネルディスカッション 2 咽喉頭診療の最近の話題>Office surgery としての内視鏡下喉頭手術へ成功するためのコツへ. 第 71 回日本気管食道科学会; 20191128-29; 宇都宮.

過年業績

松塚 崇. <シンポジウム 4 気管食道領域におけるセンチネルリンパ節ナビゲーション手術>頭頸部におけるセンチネルリンパ節ナビゲーション手術. 第 70 回日本気管食道科学会; 20181108-09; 東京. 予稿集. 69.

〔特別講演〕

室野重之. <特別講演 2>耳鼻咽喉科これを知りたい. 第 157 回県北臨床懇話会; 20190627; 福島.

松塚 崇. <特別講演>耳鼻咽喉科診療におけるアレルギー：アレルギー性鼻炎からアナフィラキシーショック. いわき市耳鼻科医会学術講演会; 20190704; いわき.

松塚 崇. <特別講演>緩和ケアと睡眠障害. 第 47 回心身医学・リエゾン精神医学セミナー; 20190724; 福島.

室野重之. <特別講演>性感染症と咽頭癌：新たなリスク因子としての HPV. 福島医学会第 478 回学術研究集会; 20191024; 福島.

室野重之. <特別講演 1>ウイルスからみた耳鼻咽喉科の腫瘍. 第 95 回北海道耳鼻咽喉科懇話会; 20191109; 旭川.

室野重之. <特別講演>ウイルス・アレルギーと頭頸部癌. 第 6 回大橋 ENT 研究会; 20191114; 東京.

室野重之. <特別講演 耳鼻咽喉科領域講習>高齢化社会と喉頭科診療. 第 23 回マレウスの会; 20191121; 富山.

〔招待講演〕

松塚 崇. <ランチョンセミナー22 耳鼻咽喉科内視鏡の洗浄と医療安全>「耳鼻咽喉科内視鏡感染制御の手引き」とその使い方. 第 120 回日本耳鼻咽喉科学会; 20190509-11; 大阪. 予稿集. 561.

仲江川雄太. <症例報告>当科における Nivolumab の使用状況. FUKUSHIMA Head & Neck Cancer Meeting 2019; 20190607; 郡山.

野本美香. <症例提示 II>視力障害をきたした副鼻腔アスペルギルス症の 1 例. 真菌感染症勉強会; 20190625; 福島.

清水雅子, 室野重之. <Research Forum III>キセノン光星状神経節近傍照射療法による耳鳴苦痛度の変化. 第 67 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20190720-21; 弘前. 抄録集. 23.

室野重之. <指定講演>福島市におけるスギ花粉飛散予測の試み 2019. 第 27 回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会; 20190907; 郡山.

仲江川雄太. <講演>気管カニューレについて. 会津中央病院勉強会; 20190927; 会津若松.

今泉光雅. <(全要研) 講演>援助者として理解すべき聴覚障害・知っておくべき心がけ. 2019 年度全難聴・全要研東北ブロック大会 in 福島; 20190928-29; 福島.

今泉光雅. <(全体会) 講演>聴覚再獲得への道: 現状と未来に向けて 最新の聴覚情報. 2019 年度全難聴・全要研東北ブロック大会 in 福島; 20190928-29; 福島.

多田靖宏. <教育講演 4>入院中の誤嚥・窒息予防を目的とした Eat assistance team (EAT) 結成までの道のり. 第 64 回日本音声言語医学会; 20191017-18; さいたま; 予稿集. 42.

松塚 崇. <グループ演習>全人的苦痛に対する緩和ケア. 太田西ノ内病院 2019 年度がん診療医師緩和ケア研修会; 20191221; 郡山.

〔その他〕

鹿野真人. <セミナー講師>声門閉鎖 (鹿野式). 第 6 回耳鼻咽喉・頭頸部外科手術手技研修 (第 29 回日本頭頸部外科学会サテライトセミナー). 厚生労働省「平成 30 年度手術手技向上研修事業補助金」; 20190124-26; 仙台.

室野重之, 鈴木政博, 野本美香, 今泉光雅, 黒田令子, 大槻好史, 鈴木 亮, 仲江川雄太, 小林徹郎, 菊地大介, 川瀬友貴. 手術手技実習講師. 第 1 回耳鼻咽喉科手術手技実習. 厚生労働省「平成 30 年度手術手技向上研修事業補助金」; 20190216; 福島.

小林徹郎. ラジオ福島 お母さん教室へラジオドクター; 201903; 福島.

神経精神医学講座

論 文

〔原 著〕

Ohnishi T, Balan S, Toyoshima M, Maekawa M, Ohba H, Watanabe A, Iwayama Y, Fujita Y, Tan Y, Hisano Y, Shimamoto-Mitsuyama C, Nozaki Y, Esaki K, Nagaoka A, Matsumoto J, Hino M, Mataga N, Hayashi-Takagi A, Hashimoto K, Kunii Y, Kakita A, Yabe H, Yoshikawa T. Investigation of betaine as a novel psychotherapeutic for schizophrenia. EBioMedicine. 201907; 45:432-446.

Ide M, Ohnishi T, Toyoshima M, Balan S, Maekawa M, Shimamoto-Mitsuyama C, Iwayama Y, Ohba H,

Watanabe A, Ishii T, Shibuya N, Kimura Y, Hisano Y, Murata Y, Hara T, Morikawa M, Hashimoto K, Nozaki Y, Toyota T, Wada Y, Tanaka Y, Kato T, Nishi A, Fujisawa S, Okano H, Itokawa M, Hirokawa N, Kunii Y, Kakita A, Yabe H, Iwamoto K, Meno K, Katagiri T, Dean B, Uchida K, Kimura H, Yoshikawa T. Excess hydrogen sulfide and polysulfides production underlies a schizophrenia pathophysiology. *EMBO Molecular Medicine*. 2019;12; 11(12):e10695.

Oe M, Maeda M, Ohira T, Itagaki S, Harigane M, Suzuki Y, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Ohto H. Parental Recognition of Bullying and Associated Factors Among Children After the Fukushima Nuclear Disaster: A 3-Year Follow-Up Study from the Fukushima Health Management Survey. *Frontiers in Psychiatry*. 2019;10:283.

Itagaki S, Wada T, Yokokura S, Ise Y, Sato A, Matsumoto T, Mashiko H, Niwa SI, Yabe H. Study of developmental disorders among newborns in Fukushima City after the Great East Japan Earthquake and nuclear power plant accident: an adjunct study of the Fukushima Regional Center of the Japan Environmental and Children's Study (JECS). *Fukushima Journal of Medical Science*. 2019;65(1):1-5. Erratum: 65(2):68-69.

Horikoshi S, Miura I, Ichinose M, Yamamoto S, Ito M, Watanabe K, Kanno-Nozaki K, Kaneko H, Yabe H. Low- and high-dose aripiprazole augmentation and plasma levels of homovanillic acid in major depressive disorder: A randomized, open-label study. *Human Psychopharmacology*. 2019;34(3):e2696.

Hayashi F, Sanpei M, Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Yasumura S, Nakajima S, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Changes in the mental health status of adolescents following the Fukushima Daiichi nuclear accident and related factors: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Affective Disorders*. 2019;260:432-439.

Iwasa H, Takebayashi Y, Suzuki Y, Yagi A, Zhang W, Harigane M, Maeda M, Ohira T, Yabe H, Yasumura S; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Psychometric evaluation of the simplified Japanese version of the Athens Insomnia Scale: The Fukushima Health Management Survey. *Journal of Sleep Research*. 2019;28(2):e12771.

Horikoshi S, Shiga T, Hoshino H, Ochiai H, Kanno-Nozaki K, Kanno K, Kaneko H, Kunii Y, Miura I, Yabe H. The Relationship between Mismatch Negativity and the COMT Val108/158Met Genotype in Schizophrenia. *Neuropsychobiology*. 2019;77(4):192-196.

Katsumi A, Hoshino H, Fujimoto S, Yabe H, Ikebuchi E, Nakagome K, Niwa SI. Effects of cognitive remediation on cognitive and social functions in individuals with schizophrenia. *Neuropsychological Rehabilitation*. 2019;29(9):1475-1487.

Ono CT, Yu Z, Kikuchi Y, Kunii Y, Hino M, Matsumoto J, Nagaoka A, Ito J, Iwasaki Y, Hagihara H, Miyakawa T, Yoshida M, Saito Y, Niwa SI, Yabe H, Kakita A, Tomita H. Minimal amount of tissue-based pH measurement to improve quality control in neuropsychiatric post-mortem brain studies. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. 2019;73(9):566-573.

Kosugi N, Oshiyama C, Kodama N, Niwa SI. Incorporating music therapy into cognitive remediation to

improve both cognitive dysfunction and negative symptoms in schizophrenia. Schizophrenia Research. 201902; 204:423-424.

Jodo E, Inaba H, Narihara I, Sotoyama H, Kitayama E, Yabe H, Namba H, Eifuku S, Nawa H. Neonatal exposure to an inflammatory cytokine, epidermal growth factor, results in the deficits of mismatch negativity in rats. Scientific Reports. 201905; 9(1):7503.

Kunii Y, Hino M, Matsumoto J, Nagaoka A, Nawa H, Kakita A, Akatsu H, Hashizume Y, Yabe H. Differential protein expression of DARPP-32 versus Calcineurin in the prefrontal cortex and nucleus accumbens in schizophrenia and bipolar disorder. Scientific Reports. 201910; 9(1):14877.

Ueda Y, Murakami M, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Orui M, Yasumura S, Ohira T; Fukushima Health Management Survey Group. Risk Factors for Problem Drinking among Evacuees in Fukushima following the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 201908; 248(4):239-252.

色摩弥生[亀岡], 刑部有祐, 大谷晃司. 医学生のアンプロフェッショナルな行動を防ぐための特別授業の報告
飲酒と性暴力. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):19-30.

〔その他〕

阿部 理, 國井泰人, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 甲状腺ホルモンの気分安定化作用についての考察
経過中に甲状腺全摘除を施行された双極性障害の一例から. 心身医学. 201901; 59(1):78-79.

林 薫, 志賀可奈子, 松本貴智, 山岸良平, 本谷 亮, 畠山 毅, 堀越 翔, 矢部博興. 描画療法と治療者交
代が治療転帰となった摂食障害患者との心理療法. 心身医学. 201901; 59(1):81.

堀越 翔, 三浦 至, 大島洋和, 竹内 賢, 本田教一, 熊倉徹雄, 沼田吉彦, 丹羽真一, 矢部博興. 震災スト
レスによる抑うつ、消化器症状に mirtazapine が有効であった 2 症例. 心身医学. 201901; 59(1):82.

落合晴香, 國井泰人, 板垣俊太郎, 畠山 毅, 古川 大, 三浦 至, 矢部博興. 肝硬変による代謝障害を背景
にした非けいれん性てんかん重積状態の一例. 心身医学. 201901; 59(3):266-267.

戸田 亘, 松本純弥, 志賀哲也, 堀越 翔, 三浦 至, 矢部博興, 戸田 亘, 松本純弥, 志賀哲也, 堀越
翔, 三浦 至, 矢部博興. 非定型精神病の発症後長期間経過してからてんかん発作を初発した 1 例. 精神神経学
雑誌. 201906; 121(6):509.

浅野太志, 松本純弥, 板垣俊太郎, 刑部有祐, 戸田 亘, 森 湧平, 三浦 至, 矢部博興. 発症後の社会適応
が維持されたゆえに処遇困難となった統合失調症の 1 例. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):509-510.

穂積宏俊, 野崎途也, 堀越 翔, 一瀬瑞絵, 泉 竜太, 三浦 至, 矢部博興. アカシア茶とモクロベミドを服
用し幻覚妄想状態を呈した 1 例. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):510-511.

森 湧平, 松本純弥, 刑部有祐, 戸田 亘, 浅野太志, 三浦 至, 矢部博興. mECT による抑うつ症状の改善

後も食欲不振が遷延したうつ病の1例. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):511-512.

泉 竜太, 堀越 翔, 國井泰人, 松本純弥, 野崎途也, 一瀬瑞絵, 穂積宏俊, 三浦 至, 矢部博興. 記憶回復後に SPECT で脳血流の改善を認めた全生活史健忘の1例. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):512-513.

青木俊太郎, 成瀬麻夕, 堀内 聡, 矢部博興. うつ病患者の治療期間と家族からの批判の関係性. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):512.

一瀬瑞絵, 堀越 翔, 板垣俊太郎, 松本純弥, 刑部有祐, 平尾美枝子, 三浦 至, 矢部博興. うつ状態を呈する医療従事者に対する治療の困難さについて. 精神神経学雑誌. 201906; 121(6):512.

齊藤祐子, 柿田明美, 吉田真理, 村山繁雄, 入谷修二, 寺田修司, 大島健一, 矢部博興, 井上悠輔, 田中紀子. 臓器病理学の最近の進歩 脳・神経 日本ブレインバンクネットの構築. 日本病理学会会誌. 201904; 8(1):219.

泉 竜太, 刑部有祐, 松本純弥, 三浦 至, 矢部博興. てんかん重積発作後に突然呼吸抑制及び心静止に至った sudden unexpected death in epilepsy(SUDEP)の一例. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):167.

森 湧平, 松本純弥, 刑部有祐, 戸田 亘, 浅野太志, 三浦 至, 矢部博興. 精神症状のため身体的治療介入への意向確認に難渋した一例を通して, 精神科患者における身体的治療に対する同意への考察. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):167.

堀越 翔, 國井泰人, 松本純弥, 平尾美枝子, 後藤大介, 三浦 至, 矢部博興. アルツハイマー型認知症の長期予後に与えるベースライン時の因子について. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):168.

穂積宏俊, 野崎途也, 堀越 翔, 戸田 亘, 浅野太志, 矢部博興. 食思振の原因検索に上部消化管内視鏡を必要とした一例. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):168.

和田知紘, 板垣俊太郎, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 横倉俊也, 佐藤亜希子, 松本貴智, 伊瀬陽子, 増子博文, 矢部博興. 精神科における主治医交代の影響と対策 愛着障害の思春期女性症例を通して. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):168.

戸田 亘, 堀越 翔, 刑部有祐, 松本純弥, 浅野太志, 森 湧平, 三浦 至, 矢部博興. クロザピン誘発性無顆粒球症を発症した高齢治療抵抗性統合失調症の1例. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):171.

浅野太志, 堀越 翔, 松本純弥, 野崎途也, 戸田 亘, 穂積宏俊, 三浦 至, 矢部博興. 福島県立医科大学附属病院における作用機序別の睡眠薬使用状況について. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):172.

石山あかね, 堀越 翔, 大西真央, 菊地 潤, 志賀可奈子, 上田由桂, 松本貴智, 高橋雄一, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 大学病院での集団心理教育の試み. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):174.

矢部博興. Berger の夢の先にある認知脳波の一つの形 ミスマッチ陰性電位(MMN). 臨床神経生理学. 201910; 47(5):312.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 増子博文, 矢部博興, 紺野慎一. 疼痛と神経科学 慢性腰痛の診断と治療

集学的アプローチの現状と課題. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):349.

青木俊太郎, 戸田 亘, 菅野和子, 大谷晃司, 本谷 亮, 横倉俊也, 松本純弥, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 疼痛と神経科学 疼痛と認知行動療法の研究. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):350.

板垣俊太郎, 戸田 亘, 松本純弥, 大西 隆, 伊藤 浩, 志賀哲也, 松本貴智, 青木俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 成人の神経発達症のバイオマーカー 発達障害における Mismatch Negativity(MMN)と脳画像解析の統合の試み. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):382.

星野 大, 志賀哲也, 菅野和子, 野崎途也, 刑部有祐, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 松岡貴志, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位の基礎 聴覚ミスマッチ陰性電位の発生にかかわる聴覚処理と感覚記憶について. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):395.

志賀哲也, 落合晴香, 星野 大, 堀越 翔, 菅野和子, 大島洋和, 三浦 至, 松岡貴志, 矢部博興. 統合失調症の病と MMN 統合失調症治療とミスマッチ陰性電位(MMN). 臨床神経生理学. 2019; 47(5):417.

高橋雄一, 星野 大, 刑部有祐, 吉田久美, 松本貴智, 青田美穂, 今野 嶺, 藤井進也, 青木俊太郎, 菅野和子, 各務竹康, 森 湧平, 和田知紘, 志賀哲也, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 三浦 至, 大井直往, 福島哲仁, 矢部博興. 統合失調症に対するリズム改善プログラムがミスマッチ陰性電位に及ぼす影響. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):425.

森 湧平, 星野 大, 志賀哲也, 菅野和子, 野崎途也, 刑部有祐, 疋田雅之, 浅野聡子, 和田知紘, 高橋雄一, 大西真央, 板垣俊太郎, 松岡貴志, 矢部博興. 統合失調症患者における言語音連続刺激の欠部落在ミスマッチ陰性電位に与える影響. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):425.

和田知紘, 板垣俊太郎, 星野 大, 刑部有祐, 菅野和子, 高橋雄一, 大西真央, 浅野聡子, 森 湧平, 野崎途也, 疋田雅之, 志賀哲也, 松岡貴志, 矢部博興. 神経性やせ症における体重回復前後でのミスマッチ陰性電位の変化についての中間報告. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):425.

落合晴香, 志賀哲也, 菅野和子, 星野 大, 和田知紘, 刑部有祐, 堀越 翔, 三浦 至, 矢部博興. 統合失調症の認知機能障害に対するオキシトシン点鼻薬の効果. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):426.

星野 大, 高橋雄一, 藤井進也, 今野 嶺, 刑部有祐, 野崎途也, 菅野和子, 疋田雅之, 和田知紘, 森 湧平, 大西真央, 志賀哲也, 板垣俊太郎, 松岡貴志, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位とリズム能力の関連性についての検討. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):428.

菅野和子, 星野 大, 刑部有祐, 大西真央, 高橋雄一, 森 湧平, 和田知紘, 野崎途也, 志賀哲也, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 三浦 至, 松岡貴志, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位における覚醒水準の影響について. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):429.

星野 大, 野崎途也, 刑部有祐, 菅野和子, 疋田雅之, 和田知紘, 森 湧平, 大西真央, 高橋雄一, 志賀哲也, 板垣俊太郎, 松岡貴志, 矢部博興. 刺激中の音の欠部落在ミスマッチ陰性電位(MMN)に与える影響. 臨床神経生理学. 2019; 47(5):429.

刑部有祐, 星野 大, 菅野和子, 志賀哲也, 高橋雄一, 大西真央, 森 湧平, 和田知紘, 伊藤典和, 野崎途也, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 三浦 至, 松岡貴志, 矢部博興. 中間潜時反応は持続長変化課題に対する自動的な認知を反映するか. 臨床神経生理学. 201910; 47(5):429.

青木俊太郎, 戸田 亘, 菅野和子, 大谷晃司, 本谷 亮, 横倉俊也, 松本純弥, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 疼痛性障害に対する集団行動活性化の「痛み度」の変化に関する予備調査. 臨床神経生理学. 201910; 47(5):447.

戸田 亘, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤浩, 紺野慎一, 矢部博興. 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化. 臨床神経生理学. 201910; 47(5):448.

研究発表等

〔研究発表〕

Miura I, Nosaka T, Yabe H, Hagi K. Anti-Depressive Effect of Antipsychotics in the Treatment of Schizophrenia: Meta-Analysis of Randomized Placebo-Controlled Trials. 2019 Annual Meeting of the American Psychiatric Association; 20190518-22; San Francisco, USA.

三浦 至, 野坂忠史, 矢部博興, 萩 勝彦. 統合失調症患者に対する抗精神病薬の抗うつ作用の検討: ランダム化比較試験の系統的レビューとメタ解析. 第 29 回日本臨床精神神経薬理学会; 20190518-22; 福岡.

矢部博興. 精神医学診断に望まれる科学と力動的視点 (福島医大の研究の取り組み) . Psychiatrist Forward; 20190529; 札幌.

湯川尊行, 岩倉百合子, 武井延之, 斎藤摩美, 渡部雄一郎, 豊岡和彦, 五十嵐道弘, 新里和弘, 大島健一, 國井泰人, 矢部博興, 松本純弥, 和田 明, 日野瑞城, 入谷修司, 丹羽真一, 竹内亮子, 高橋 均, 柿田明美, 染矢俊幸, 那波宏之. 統合失調症患者における脳内コンドロイチン硫酸鎖の変化. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S410.

戸田 亘, 松本純弥, 板垣俊太郎, 大西 隆, 伊藤 浩, 石井士朗, 志賀哲也, 松本貴智, 青木俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 自閉スペクトラム症の傾向と白質線維束における関連解析の試み. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S467.

一瀬瑞絵, 松本純弥, 板垣俊太郎, 刑部有祐, 山本慎之助, 三浦 至, 矢部博興. 解離性幻聴が強くみられた強迫性障害の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S477.

泉 竜太, 松本純弥, 國井泰人, 戸田 亘, 石井士朗, 伊藤 浩, 三浦 至, 矢部博興. 解離性健忘における脳血流 SPECT 画像の 3D-SRT 解析における検討 ケースシリーズ. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S477.

志賀哲也, 堀越 翔, 穂積宏俊, 森 湧平, 和田知紘, 落合晴香, 星野 大, 菅野和子, 刑部有祐, 野崎途

也, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 三浦 至, 松岡貴志, 矢部博興. 統合失調症バイオマーカーとしての Mismatch negativity(MMN) 統合失調症のドーパミンシステムとミスマッチ陰性電位(MMN). 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S524.

浅野太志, 堀越 翔, 松本純弥, 野崎途也, 戸田 亘, 穂積宏俊, 三浦 至, 矢部博興. 福島県立医科大学附属病院における診療科別の睡眠薬使用状況について. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S592.

坂井美和子, 渡部雄一郎, 染矢俊幸, 荒木一明, 澁谷雅子, 新里和弘, 大島健一, 國井泰人, 矢部博興, 松本純弥, 和田 明, 日野瑞城, 橋本健志, 菱本明豊, 北村 登, 入谷修司, 白川 治, 前田 潔, 宮下哲典, 丹羽真一, 高橋 均, 柿田明美, 桑野良三, 那波宏之. 統合失調症患者の脳内ゲノムにおけるコピー数変異の評価. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S603.

堀越 翔, 國井泰人, 松本純弥, 平尾美枝子, 後藤大介, 三浦 至, 矢部博興. 抗認知症薬の 6 ヶ月後の治療反応性はその後の転帰に影響するか. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S617.

穂積宏俊, 三浦 至, 野崎途也, 刑部有祐, 高橋信久, 菊田 敦, 矢部博興. セフェピムにより急性の精神・行動症状をきたした抗菌薬関連脳症の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S647.

森 湧平, 松本純弥, 刑部有祐, 堀越 翔, 戸田 亘, 浅野太志, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 抗アレルギー薬投与を契機に体系的な妄想が出現・持続したパーキンソン病患者の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S647.

松本純弥, 刑部有祐, 戸田 亘, 泉 竜太, 一瀬瑞絵, 森 湧平, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. ビフィズス菌腸剤の過量服薬を繰り返した境界性パーソナリティ障害の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟. 精神神経学雑誌. 121(特別):S649.

三浦 至, 金子春香, 堀越 翔, 伊藤雅史, 山本慎之助, 一瀬瑞絵, 浅野太志, 山本ちひろ, 渡辺研弥, 野崎啓子, 矢部博興. 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座の研究 精神薬理・Genetics 研究. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟.

一瀬瑞絵, 三浦 至, 浅野太志, 山本慎之助, 伊藤雅史, 堀越 翔, 金子春香, 渡辺研弥, 山本ちひろ, 野崎啓子, 矢部博興. 急性期統合失調症における brexpiprazole の有効性. 第 29 回日本臨床精神神経薬理学会・第 49 回日本神経精神薬理学会合同年会; 20191011-12; 福岡. プログラム・抄録集 149.

渡辺研弥, 野崎啓子, 三浦 至, 森田直希, 陣野大輔, 山本ちひろ, 浅野太志, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 落合晴香, 伊藤雅史, 堀越 翔, 金子春香, 和泉啓司郎, 矢部博興. クロザピン血漿中濃度高値での治療にけいれん発作が出現した治療抵抗性統合失調症の一例. 第 29 回日本臨床精神神経薬理学会・第 49 回日本神経精神薬理学会合同年会; 20191011-12; 福岡. プログラム・抄録集 152.

三浦 至, 野坂忠史, 矢部博興, 萩 勝彦. 統合失調症患者に対する抗精神病薬の抗うつ作用の検討 ランダム化比較試験の系統的レビューとメタ解析. 第 29 回日本臨床精神神経薬理学会・第 49 回日本神経精神薬理学会合同

年会; 20191011-12; 福岡. プログラム・抄録集 157.

江口依里, 大平哲也, 舟久保徳美, 中野裕紀, 林 史和, 前田正治, 安村誠司, 鈴木友理子, 矢部博興, 荻野景規, 神谷研二. 東日本大震災後の笑いの頻度と生活習慣病及び循環器疾患との関連. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):218.

安村誠司, 大平哲也, 坂井 晃, 高橋敦史, 後藤紗織, 桃井真帆, 針金まゆみ, 堀越直子, 前田正治, 矢部博興, 岩佐 一, 鈴木友理子, 神谷研二. 東日本大震災時に避難区域等に居住の高齢者の6年後の健康状態 福島「県民健康調査」. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):251.

岡崎可奈子, 高橋敦史, 大平哲也, 中野裕紀, 林 史和, 坂井 晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災直後の避難区域住民のメタボリックシンドロームに関連する心理社会的要因. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):338.

林 史和, 大平哲也, 中野裕紀, 岡崎可奈子, 針金まゆみ, 安村誠司, 前田正治, 高橋敦史, 矢部博興, 鈴木友理子, 神谷研二. 東日本大震災後の骨折の頻度に関連する危険因子についての検討 福島県県民健康調査. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):429.

堀越直子, 前田正治, 岩佐 一, 桃井真帆, 及川祐一, 音地美穂, 柏崎佑哉, 針金まゆみ, 矢部博興, 安村誠司. 福島県県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」電話支援の有用性. 第78回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):513.

板垣俊太郎, 浅野太志, 和田知紘, 横倉俊也, 伊瀬陽子, 佐藤亜希子, 松本貴智, 増子博文, 矢部博興. グアンファシンにより多剤併用療法を解消出来た発達障害の一例. 第60回日本児童青年精神医学会総会; 20191205-07; 宜野湾. 抄録集. O2-4.

浅野太志, 板垣俊太郎, 佐藤亜希子, 横倉俊也, 和田知紘, 伊瀬陽子, 松本貴智, 増子博文, 矢部博興. 家族全員が強迫性障害であり巻き込み行為によって症状が悪化した強迫性障害の一例. 第60回日本児童青年精神医学会; 20191205-07; 宜野湾. 抄録集. O6-4.

和田知紘, 板垣俊太郎, 松本貴智, 浅野太志, 横倉俊也, 佐藤亜希子, 伊瀬陽子, 増子博文, 矢部博興. 神経性やせ症における体重回復前後での認知機能変化についての中間報告 青年期の1例について. 第60回日本児童青年精神医学会; 20191205-07; 宜野湾. 抄録集. P17-2.

佐藤亜希子, 板垣俊太郎, 松本貴智, 浅野太志, 横倉俊也, 和田知紘, 伊瀬陽子, 國井泰人, 増子博文, 矢部博興. セリアック病と診断した素行障害の一例. 第60回日本児童青年精神医学会; 20191205-07; 宜野湾. 抄録集. P23-3.

〔シンポジウム〕

三浦 至. 統合失調症薬物治療ガイドライン改訂版の狙いと範囲 「統合失調症薬物治療ガイドライン改訂版：特殊な病態」. 第29回日本臨床精神神経薬理学会; 20190518-22; 福岡.

矢部博興. 統合失調症のミスマッチ陰性電位(MMN)発生異常. 第41回日本生物学的精神医学会; 20190622-23;

新潟.

三浦 至. 統合失調症薬物療法の多様な課題にどう対応するか 「統合失調症維持期の薬物療法」. 第 49 回日本神経精神薬理学会; 20191013; 福岡.

三浦 至. 今日の統合失調症研究 「今日の統合失調症研究：精神薬理学」. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術大会; 20191128-30; 福島.

〔特別講演〕

矢部博興. 福島医大における統合失調症研究. Psychiatrist Forward in Hakodate; 20190511; 函館.

矢部博興. 生きづらさを生む人間関係からの覚醒. いのちの電話講演会; 20190601; 郡山.

放射線医学講座

論 文

〔原 著〕

Inomata T, Watanuki S, Odagiri H, Nambu T, Karakatsanis NA, Ito H, Watabe H, Tashiro M, Shidahara M. A systematic performance evaluation of head motion correction techniques for 3 commercial PET scanners using a reproducible experimental acquisition protocol. Annals of Nuclear Medicine. 201907; 33(7):459-470.

Ikoma Y, Kimura Y, Yamada M, Obata T, Ito H, Suhara T. Correction of head movement by frame-to-frame image realignment for receptor imaging in positron emission tomography studies with [¹¹C]raclopride and [¹¹C]FLB 457. Annals of Nuclear Medicine. 201912; 33(12):916-929.

Ishii S, Miyajima M, Suenaga H, Sugawara S, Nemoto A, Ukon N, Nambu T, Kubo H, Oriuchi N, Ito H. Detectability of malignant lesions by whole-body magnetic resonance imaging using whole-body integrated positron emission tomography/magnetic resonance imaging. Journal of Computer Assisted Tomography. 201907; 43(4):664-670.

Soeda S, Kyozuka H, Kato A, Fukuda T, Isogami H, Wada M, Murata T, Hiraiwa T, Yasuda S, Suzuki D, Yamaguchi A, Hasegawa O, Nomura Y, Jimbo M, Takahashi T, Watanabe T, Mizunuma H, Fujimori K. Establishing a Treatment Algorithm for Puerperal Genital Hematoma Based on the Clinical Findings. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 201910; 249(2):135-142.

Sudo H, Tsuji AB, Sugyo A, Nagatsu K, Minegishi K, Ishioka NS, Ito H, Yoshinaga K, Higashi T. Preclinical evaluation of the acute radiotoxicity of the α -emitting molecular-targeted therapeutic agent ²¹¹At-MABG for the treatment of malignant pheochromocytoma in normal mice. Translational Oncology. 201907; 12(7):879-888.

黒岩大地. 【腹部 CT の読み方がわかる！】腸閉塞・消化管穿孔の CT の読み方がわかる. レジデントノート. 201907; 21(6):1089-1094.

〔研究報告書〕

山國 遼, 戸村則昭, 藤巻秀樹, 青島雅人, 三浦由啓, 鷺野谷利幸, 中里龍彦, 今井茂樹, 宗近宏次, 竹川 鉦一, 國分美加, 渡邊善一郎. 脳血管もやもや病の血管描出における, Silent-MRA と TOF-MRA の比較検討. Japanese Journal of Radiology. 201902; 37(Suppl.):4.

小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 赤谷憲一, 藤巻秀樹, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 長谷川靖, 石井士朗, 織内 昇, 伊藤 浩. MIBG が集積した GIST 症例の検討. 核医学. 201907; 56(1):100.

石井士朗, 渡邊宏剛, 山國 遼, 箱崎元晴, 末永博紀, 菅原茂耕, 藤巻秀樹, 黒岩大地, 関野啓史, 織内 昇, 伊藤 浩. 副甲状腺 Tc-99mMIBI シンチグラフィ偽陰性所見の検討. 核医学. 201910; 56(Suppl.):S168.

箱崎元晴, 伊藤 浩, 石井士朗, 菅原茂耕, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 山國 遼, 末永博紀, 藤巻秀樹, 黒岩大地, 関野啓史, 久保 均, 村上文伸, 阿部十成, 金井数明. [F-18]FDG-PET/MRI を用いた脳糖代謝画像の計測における減弱補正および体動補正の検討. 脳循環代謝. 201911; 31(1):140.

戸田 亘, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤 浩, 紺野慎一, 矢部博興. 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化. 臨床神経生理学. 201910; 47(5):448.

〔その他〕

伊藤 浩. 第 5 土曜日特集 脳機能イメージングの最前線 総論 【最新の技術】マルチモーダルイメージングの動向. 医学のあゆみ. 201908; 270(9):707-711.

研究発表等

〔研究発表〕

関野啓史, 石井士朗, 小檜山歩那美, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 黒岩大地, 伊藤 浩. バルーン併用で塞栓術を施行した腎血管筋脂肪腫の検討. 第 28 回福島県 IVR 研究会; 20190126; 福島.

高斉英彰, 石井士朗, 及川雅啓, 益田淳朗, 山國 遼, 清野真也, 樵 勝幸, 石川寛延, 金澤崇史, 佐藤孝則, 伊藤 浩. Magnetic resonance imaging(MRI)を用いた非侵襲的心筋線維化診断に関する新たな解析手法の提案 Native T1 myocardial mapping の histogram 解析. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190330; 横浜. 抄録集. CP21-4.

Ishii S, Kobiyama H, Hiruta M, Yaginuma Y, Watanabe H, Yamakuni R, Suenaga H, Kuroiwa D, Sugawara

S, Fujimaki H, Sekino H, Hasegawa O, Oriuchi N, Ito H. Courses of renal cysts that ruptured or showed rapid morphological change. 第 78 回日本医学放射線学会総会; 20190412; 横浜.

石井士朗. 後腹膜脂肪肉腫が疑われた 1 例. 第 61 回北日本核医学談話会; 20190620; 弘前.

山國 遼, 小檜山歩那美, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 末永博紀, 藤巻秀樹, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 長谷川靖, 石井士朗, 織内 昇, 伊藤 浩. Angiocentric glioma with signet ring cell ependymoma component の一例. 第 140 回日本医学放射線学会北日本地方会; 20190621-22; 弘前.

伊藤 浩, 石井士朗, 菅原茂耕, 末永博紀, 関野啓史, 黒岩大地, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 藤巻秀樹, 山國 遼, 小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼佑基, 長谷川靖, 久保 均, 高橋和弘, 西嶋剣一, 粟生木美穂, 右近直之, 根本彩香, 佐藤良信. 15O 標識ガスおよび PET/MRI 装置を用いた脳循環代謝諸量の測定. 第 34 回福島県核医学研究会; 20190803; 郡山.

関野啓史, 長谷川靖, 柳沼裕基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 末永博紀, 菅原茂耕, 黒岩大地, 石井士朗, 織内 昇, 伊藤 浩. 偶発的に指摘された後頸部褐色脂肪腫の 1 例. 第 48 回断層映像研究会; 20191004; 高崎.

藤巻秀樹, 柳沼佑基, 小檜山歩那美, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 長谷川靖, 石井士朗, 伊藤 浩. 診断に苦慮した副腎腫瘍の一例. 核医学談話会; 20191011-12; 仙台.

柳沼佑基, 伊藤 浩, 石井士朗, 長谷川靖, 関野啓史, 黒岩大地, 菅原茂耕, 藤巻秀樹, 末永博紀, 箱崎元晴, 山國 遼, 渡邊宏剛. 偶発的に発見されたフィリピン出身者の日本住血吸虫症の 2 例. 第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20191018-20; 名古屋. 抄録集. S478.

石井士朗, 小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼祐基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 黒岩大地, 菅原茂耕, 藤巻秀樹, 関野啓史, 長谷川靖, 伊藤 浩. 心アミロイドーシスの CT 所見の検討. 第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20191018-20; 名古屋. 抄録集. S495.

末永博紀, 石井士朗, 小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 藤巻秀樹, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 長谷川靖, 織内 昇, 伊藤 浩. GI-BONE を用いた SPECT 単体機における骨 SPECT 画像の定量値データベースの作成. 第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20191018-20; 名古屋. 抄録集. S503.

石井士朗, 小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼祐基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 黒岩大地, 菅原茂耕, 藤巻秀樹, 関野啓史, 長谷川靖, 伊藤 浩, 廣政 智, 菅原茂耕, 織内 昇. Investigation of false negative cases of Tc-99m sestamibi SPECT for hyperparathyroidism. 第 59 回日本核医学会学術総会; 20191101; 松山.

伊藤 浩, 久保 均, 高橋和弘, 西嶋剣一, 粟生木美穂, 右近直之, 根本彩香, 佐藤良信, 菅原茂耕, 石井士朗. O-15 標識ガスおよび統合型 PET/MRI 装置を用いた脳循環代謝諸量の測定. 第 59 回日本核医学会学術総会; 20191101-03; 松山.

伊藤 浩, 久保 均, 高橋和弘, 西嶋剣一, 粟生木美穂, 右近直之, 根本彩香, 佐藤良信, 菅原茂耕, 石井士朗. PET/MRI 装置および O-15 標識ガスをを用いた脳血流量、脳血液量、脳酸素摂取率、脳酸素消費量の測定. 第

62 回日本脳循環代謝学会学術集会; 20191129-30; 仙台.

〔シンポジウム〕

伊藤 浩. 認知症に関する最近の話題認知症の核医学画像診断. 第 38 回日本画像医学会; 20190309; 東京.

〔招待講演〕

Ito H, Suenaga H, Sugawara S, Kuroiwa D, Sekino H, Nambu T, Kubo H, Ishii S. Brain perfusion SPECT and FDG-PET studies in dementia. 4th Cognitive Impairment Symposium/13th Asia Oceania Congress of Nuclear Medicine and Biology; 20190509-12; Shanghai, China.

石井士朗. 胸部レントゲンの画像診断. 平成 30 年度生理機能検査部門呼吸機能検査分野研修会; 20190302; 福島.

伊藤 浩. PET 核医学エキスパートセミナー 臨床 1 脳神経. 第 19 回日本核医学会春季大会; 20190427-28; 東京.

伊藤 浩. 大会長講演 「被災地の今」 ―福島県浪江町視察―. PET サマーセミナー2019 in 福島; 20190823-25; 福島.

伊藤 浩. PET/MRI でできること. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928-29; 福島.

伊藤 浩. 「認知症」 アミロイドイメージング. 第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20191018-20; 名古屋.

〔その他〕

石井士朗. 呼吸器核医学の基礎と臨床. 第 19 回日本核医学会春季大会; 20190428; 東京.

麻酔科学講座

論 文

〔原 著〕

Nakano Y, Kobayashi D, Miyake M, Kanno R, Murakawa M, Hazama A. The Cytotoxic Effects of Geranylgeranylacetone Are Attenuated in the High-Glucose Condition. BioResearch Open Access. 201910; 8(1):162-168.

Liou JY, Tsou MY, Obara S, Yu L, Ting CK. Plasma concentration based response surface model predict better than effect-site concentration based model for wake-up time during gastrointestinal endoscopy sedation.

Journal of the Formosan Medical Association = Taiwan yi zhi. 201901; 118(1 Pt 2):291-298.

大石理江子, 井石雄三, 今泉 剛, 細野敦之, 大橋 智, 箱崎貴大, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 東日本大震災時に施行されていた腹部大動脈分枝再建術の報告. Cardiovascular Anesthesia. 201908; 23(1):89-92.

小原伸樹. 【2019 のシェヘラザードたち】(第6夜) ふぁ～まこ KD 外伝 (気道トラブル編). LiSA. 201904; 26(別冊19 春号):33-37.

松塚 崇, 小原伸樹, 武田治美, 戸澤香織, 佐藤美恵子, 鳥羽 衛, 成田 将, 黒澤 伸, 大内一夫. 3月に総手術数が増え手術延長数も増える 当院手術部におけるオカレンスレポートの後ろ向き解析. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):121-125.

中野裕子, 大石理江子, 花山千恵, 佐藤 薫, 小原伸樹, 村川雅洋. トラムセットによるワルファリンの作用増強をきたした精巣腫瘍化学療法後上肢痛の1症例. ペインクリニック. 201909; 40(9):1219-1222.

島津勇三, 細野敦之, 大槻理恵, 服部尚士, 小西晃生, 管 桂一. 長時間の腹腔鏡下直腸切断術後に肺水腫を来した2症例. 麻酔. 201901; 68(1):66-69.

〔総説等〕

村川雅洋. 特集手術室危機管理 1. 手術室危機管理～最近の動向～. 臨床麻酔. 201903; 43(3):409-413.

〔症例報告〕

Obara S, Kakinouchi K, Honda J, Noji Y, Hanayama C, Murakawa M. Dexmedetomidine administration in a patient with status epilepticus under color density spectral array monitoring. JA Clinical Reports. 201902; 5:12. Collection: 5(1):26.

Matsuda H, Nemoto C, Sekine T, Sato K, Tanaka Y, Murakawa M. Emergency operation for spontaneous spinal epidural hematoma in a patient with severe back pain, which made it difficult to evaluate neurological deficits: a case report. JA Clinical Reports. 201903; 5:25.

Obara S, Noji Y, Hasegawa T, Hanayama C, Oishi R, Murakawa M. A patient with intraoperative awareness history requiring high propofol effect-site concentrations for general anesthesia. JA Clinical Reports. 201911; 5:71.

Yoshida K, Noji Y, Ebana H, Imaizumi T, Obara S, Murakawa M. Respiratory depression after intraoperative opioid-containing periarticular multimodal drug injection for total hip and total knee arthroplasty. Journal of Clinical Anesthesia. 201905; 54:147-148.

Yoshida K, Isosu T, Imaizumi T, Obara S, Murakawa M. Oxygen Reserve Index (ORi™) as an alarm for oxygenation deterioration in pediatric tracheostomoplasty: a case report. Pediatric Anesthesia. 201911; 29(11):1151-1153.

Oishi R, Hasegawa M, Hakozaiki T, Obara S, Isosu T, Murakawa M. A exatidão da mensuração não invasiva de hemoglobina total em pacientes gravemente enfermos [The accuracy of noninvasive total hemoglobin measurement in critically ill patients]. Revista Brasileira de Anestesiologia. 201909; 69(5):527-528.

長谷川真貴子, 小原伸樹, 大石理江子, 今泉 剛, 江花英朗, 村川雅洋. 肺胞タンパク症患者に早期の全肺洗浄で対処できた ECMO 困難症例. 日本臨床麻酔学会誌. 201911; 39(7):631-635.

佐藤優紀, 箱崎貴大, 高木麻美, 花山千恵, 小原伸樹, 村川雅洋. デクスメデトミジン投与下の末梢神経ブロックによる重症大動脈弁狭窄症患者の人工骨頭置換術の麻酔管理. 臨床麻酔. 201906; 43(6):896-898.

〔その他〕

Hattori H, Saitoh Y, Nakajima H, Sanbe N, Akatu M, Murakawa M. Retraction notice to "Visual evaluation of fade in response to facial nerve stimulation at the eyelid" [JCA 17/4 (2005) 276-280]. Journal of Clinical Anesthesia. 201912; 58:134.

著 書・訳 書

Obara S, Egan TD. Chapter2 Pharmacokinetic and Pharmacodynamic Principles for Intravenous Anesthetics. In: Hemmings HC Jr, Egan TD, editors. Pharmacology and Physiology for Anesthesia, 2nd Edition. Philadelphia, USA: Elsevier; 2019. p.20-43.

Kim KT, Obara S, Johnson BK. Volume 1: 18. Basic Principles of Pharmacology. In: Gropper MA et al. editors. Miller's Anesthesia, 9th Edition. Philadelphia, USA: Elsevier; 2019. p.462-486.

小原伸樹. 術中管理目標 4 POCD 予防に鎮痛は比較的深いほうがよい? ～抗炎症作用の観点からも考える必要があるのですね～. In: 国沢卓之 編. 一歩進んだ麻酔管理～常識は常に真実か?～. 東京: 克誠堂出版; 201905. p.10-12.

小原伸樹. 麻酔薬・鎮痛薬・拮抗薬 5 フルマゼニルの効果 ～えっ!! プロポフォールや吸入麻酔まで?～. In: 国沢卓之 編. 一歩進んだ麻酔管理～常識は常に真実か?～. 東京: 克誠堂出版; 201905. p.13-14.

小原伸樹. 27. 全静脈麻酔(TIVA)、鎮静(MAC). In: 山蔭道明, 廣田和美 監修. 最新主要文献とガイドラインでみる 麻酔科学レビュー2019. 東京: 総合医学社; 201905. p.154-158.

黒澤 伸. 28. 手術室危機管理・安全対策. In: 山蔭道明, 廣田和美 監修. 最新主要文献とガイドラインでみる 麻酔科学レビュー2019. 東京: 総合医学社; 201905. p.159-162.

研究発表等

〔研究発表〕

Sato Y, Hanayama C, Oishi R, Imaizumi T, Obara S, Murakawa M. Incidence and risk factors for

subcutaneous emphysema in general laparoscopic surgery. THE EUROPEAN ANAESTHESIOLOGY CONGRESS 2019; 20190601-03; Vienna, Austria.

Endo C, Imaizumi T, Oishi R, Obara S, Isosu T, Murakawa M. Use of Vasopressin for The Management of Hypotension During Cesarean Section in A Patient with Severe Pulmonary Hypertension. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191020; Orlando, USA.

Obara S, Noji Y, Ebana H, Oishi R, Nakano Y, Murakawa M. Effect of Updating the Sedline(R) Algorithm on the Patient State Index During General Anesthesia. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191021; Orlando, USA.

Oishi R, Obara S, Honda J, Kurosawa S, Imaizumi T, Murakawa M. A Comparison of the Incidence of Hypotension Between Two Phases in Awake Craniotomy. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191022; Orlando, USA.

Hosono A, Hakozaiki T, Obara S, Murakawa M, Kobayashi D, Hazama A. Effects of Prolonged Propofol Administration on The Messenger RNA Transcript Levels of The Cannabinoid Receptor Type 1 In Rat Brain. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191022; Orlando, USA.

野地善恵, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 超高齢者に対する大動脈弁バルーン拡張術治療直後の緊急対応の経験. 第31回日本老年麻酔学会; 20190202; 東京. プログラム・抄録集. 44.

松田浩直, 根本千秋, 関根拓未, 最上 翠, 武藤茉莉子, 佐藤勝彦, 田中洋一. 入院後に麻痺を認め、緊急で血腫除去術を施行し良好な経過をたどった特発性脊髄硬膜外血腫の1例. 第46回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. プログラム. 112.

吉田圭佑, 佐藤優紀, 住吉美穂, 金子敏和, 武市和之, 渡部和弘. 産科的DICにより2000mL以上の大量出血をきたした1例から当院における大量出血時の対応を見直した経験. 第46回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. プログラム. 162.

野地善恵, 眞鍋奈緒美, 本田 潤, 井石雄三, 大石理江子, 箱崎貴大, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 収縮性心外膜炎を疑われていた左総腸骨動脈瘤静脈穿破の一例. 第46回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. プログラム. 163.

三部徳恵, 江花英朗, 箱崎貴大, 五十洲剛, 黒澤 伸, 村川雅洋, 小原伸樹, 井石雄三, 本田 潤, 細野敦之. 気道管理に難渋した再発性多発軟骨炎による気管気管支軟化症の1例. 第46回日本集中治療医学会学術集会; 20190302; 京都. プログラム. 174.

小原伸樹, 大石理江子, 五十洲剛, 村川雅洋. SedLine®のアルゴリズム改善が全身麻酔患者の Patient State Index に与える影響の検証. 第23回日本神経麻酔集中治療学会; 20190316; 奈良. 抄録集. 175.

大石理江子, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 覚醒下頭蓋内腫瘍摘出術における血圧低下の発生頻度. 第23回日本神経麻酔集中治療学会; 20190316; 奈良. 抄録集. 178.

大槻 学, 森本一生. むずむず脚症候群（下肢静止不能症候群）を知っていますか？ 第43回東北ペインクリニック学会; 20190321; 岩手. プログラム抄録集. 16.

中野裕子, 大石理江子, 三部徳恵, 佐藤 薫, 五十洲剛, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川雅洋. 神経根症状に対しブレガバリンが有用であった結核性脊椎炎の一例. 第43回東北ペインクリニック学会; 20190321; 岩手.

五十洲剛, 村川雅洋, 今泉 剛, 野地善恵, 本田 潤, 江花英朗. 小児症例に対する Oxygen Reserve Index(ORi™)のモニタリング. 第30回日本臨床モニター学会総会; 20190412; 木更津. 臨床モニター. 30(Supplement):49.

大石理江子, 箱崎貴大, 三部徳恵, 小原伸樹, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川雅洋. 上肢の閉塞性動脈硬化症に対し胸鎖乳突筋深部の fascia リリースで血流増加を図った一例. 日本区域麻酔学会第6回学術集会; 20190419; 高知. プログラム・抄録集. 242.

箱崎貴大, 野地善恵, 大石理江子, 小原伸樹, 黒澤 伸, 村川雅洋. 開胸術後縦隔炎に対する持続洗浄中の鎮痛として、Retrolaminar block を行った1例. 日本区域麻酔学会第6回学術集会; 20190420; 高知. プログラム・抄録集. 264.

大石理江子, 本田 潤, 井石雄三, 中野裕子, 小原伸樹, 村川雅洋. 全身麻酔導入時の血圧低下に影響する因子についての検討. 日本麻酔科学会第66回学術集会; 20190531; 神戸. 麻酔. 68(増刊):60.

江花英朗, 長谷川貴之, 田中詩織, 野地善恵, 細野敦之, 黒澤 伸. 特発性脊柱側弯症患者における術後悪心・嘔吐発生の寄与因子についての検討. 日本麻酔科学会第66回学術集会; 20190530; 神戸. 麻酔. 68(増刊):120.

佐藤 薫, 花山千恵, 大森あゆみ, 松塚 崇, 村川雅洋, 菅野奈緒美. ヒドロモルフォンが鎮咳に有用であった2症例. 第24回日本緩和医療学会学術大会; 20190621; 横浜. プログラム. S55.

橋本孝太郎, 矢野順子, 佐藤恵子, 加藤光彦, 鈴木雅夫. 当院における非がん疾患患者の訪問診療の実態. 第24回日本緩和医療学会学術大会; 20190622; 横浜. プログラム. S95.

桑名圭祐, 小原伸樹, 田中詩織, 佐藤優紀, 箱崎貴大, 村川雅洋. ファイバースコープ下気管挿管施行時にサヌキエアウェイを使用した3例. 第16回麻酔科学サマーセミナー; 20190629; 沖縄. プログラム・抄録集. 39.

長谷川貴之, 小原伸樹, 城田さつき, 本田 潤, 大石理江子, 村川雅洋. 気管支鏡挿入で気管狭窄を拡張し、換気困難を改善させた巨大縦隔腫瘍の一例. 日本集中治療医学会第3回東北支部学術集会; 20190706; 秋田. プログラム・抄録集. 46.

眞鍋奈緒美, 箱崎貴大, 細野敦之, 今泉 剛, 井石雄三, 五十洲剛. ニボルマブ投与により重症筋無力症を発症したが免疫療法により救命できた一症例. 日本集中治療医学会第3回東北支部学術集会; 20190706; 秋田. プログラム・抄録集. 50.

遠藤千麻, 大石理江子, 中野裕子, 星野 一, 三部徳恵, 佐藤 薫, 五十洲剛, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川雅洋. 特発性前骨間神経麻痺の1例. 日本ペインクリニック学会第53回大会; 20190719; 熊本. 日本ペインクリニック学会誌. 26(3):221.

佐藤友彦, 長谷川貴之, 石堂瑛美, 赤津賢彦. 呼吸器外科手術での傍脊柱管ブロックで、血腫により局所麻酔薬の浸潤範囲を確認できた一例. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会; 20190907; 東京. プログラム. 92.

篠原一彰, 平野貴規, 薄竜太郎, 石田時也, 横山秀之, 熊田芳文. 交通外傷におけるシートベルトの有効性～救命の連鎖の「第 1 の輪」にスポットライトを当てよう～. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 37.

今泉 剛, 桑名圭祐, 江花英朗, 三部徳恵, 五十洲剛, 村川雅洋. 成人アイゼンメンゲル症候群患者に対する全身麻酔経験. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 38.

平野貴規, 佐々木徹, 篠原一彰, 横山秀之, 熊田芳文. 軟骨無形成症合併妊婦の帝王切開に対する全身麻酔 2 例の麻酔経験. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 39.

長谷川貴之, 佐藤友彦, 島田久美, 若原志保, 土田英昭, 赤津賢彦. 帝王切開後に肺動脈塞栓症と診断され、治療中に腹壁血腫による出血性ショックをきたした一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 47.

渡部祐衣, 石田時也, 横山秀之, 篠原一彰, 熊田芳文. 重症熱傷におけるデブリードマン術式による出血量の検討. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 42.

村山隆紀. 超低流量麻酔時にはデスフルラン気化器から得られる麻酔ガス濃度は低下する. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 43.

薬師寺たつみ, 井石雄三, 垣野内航, 田中彩織, 野地善恵, 黒澤 伸. BMI46 の高度肥満患者に対する脳下垂体手術の麻酔経験. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 47.

時村聡子, 小原伸樹, 佐藤優紀, 細野敦之, 箱崎貴大, 村川雅洋. 腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術後に高度肝機能障害を認めた一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 48.

花山千恵, 佐藤 薫, 中野裕子, 平田日向子, 遠藤千麻, 大石理江子. 術前から大量にオピオイドを服用していた患者の周術期鎮痛. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 48.

石堂瑛美, 長谷川貴之, 島田久美, 若原志保, 土田英昭, 藤田喜久, 西川光一, 赤津賢彦. 硬膜外カテーテル抜去後に坐骨神経痛が顕在化し、硬膜外血腫との鑑別を要した症例. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会; 20191107; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S246.

三部徳恵, 薬師寺たつみ, 佐藤優紀, 遠藤千麻, 黒澤 伸, 村川雅洋. 脊柱起立筋面ブロックの鎮痛効果が実感できた腹部手術 3 例. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会; 20191108; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S257.

垣野内航, 三部徳恵, 桑名圭祐, 佐藤優紀, 花山千恵, 今泉 剛, 小原伸樹, 黒澤 伸. SLE に続発した肺高血圧症を呈する脳腫瘍患者の MRI 併用開頭腫瘍摘出術の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会; 20191108; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S274.

平田日向子, 江花英朗, 薬師寺たつみ, 遠藤千麻, 井石雄三, 中野裕子, 佐藤 薫, 村川雅洋. 胸郭運動と呼吸音の左右差のため、初期段階での鑑別に苦慮したアナフィラキシーショックの一例. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会; 20191107; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S309.

細野敦之, 時村聡子, 田中彩織, 野地善恵, 大石理江子, 箱崎貴大, 五十洲剛. 先天性心疾患の麻酔導入時に誤嚥による窒息を生じた一例. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会; 20191107; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S309.

高月沙織, 安達 守, 出羽明子. 自動麻酔記録システムを導入して. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会; 20191108; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S326.

野地善恵, 今泉 剛, 小原伸樹, 五十洲剛, 黒澤 伸, 村川雅洋. 気道確保困難が予想された甲状腺腫摘出術に際し、全身麻酔導入前に VV-ECMO を施行した一例. 日本蘇生学会第 38 回大会; 20191115; 長崎. 日本蘇生学会雑誌. 38(3):183.

小原伸樹. 企業共催セミナー 明日につながる PK/PD. 第 26 回日本静脈麻酔学会; 20191123; 東京.

田中彩織, 小原伸樹, 今泉 剛, 大石理江子, 五十洲剛, 村川雅洋. 術中覚醒の既往のある患者における全身麻酔の一例. 第 26 回日本静脈麻酔学会; 20191123; 東京.

〔シンポジウム〕

五十洲剛. 大胆予測 : 2020 年、気道管理はこう変わる ! Oxygen reserve index を用いた酸素化の工夫. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190530; 神戸. 麻酔. 68(増刊):64.

小原伸樹. シンポジウム 2 「実用化したいテクノロジー」麻酔・集中治療とマンマシンインターフェイス. 第 37 回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会; 20191130; 大阪. プログラム・抄録集. 22.

〔特別講演〕

村川雅洋. 麻酔の砦～患者を手術侵襲から守る～. 学術講演会; 20190105; 宮崎.

〔招待講演〕

小原伸樹. 薬物動態のいろは. 第 19 回麻酔科学ウィンターセミナー; 20190201; 富良野. プログラム抄録集. 26.

〔その他〕

小原伸樹. 第 12 回周術期管理チームセミナー 3.薬の効く仕組み. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190601; 神戸. 麻酔. 68(増刊):27.

箱崎貴大. PBLD 大災害時の手術室危機管理. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190531; 神戸. 麻酔. 68(増刊):106.

小原伸樹. 共催セミナー Perseus A500 新ソフトウェアを用いた術中肺リクルートメントの症例報告 特殊な状況下における術中肺リクルートメントの臨床経験～肥満患者・腹腔鏡手術・分離肺換気～. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190531; 神戸. 麻酔. 68(増刊):147.

小原伸樹. バトルオンセミナー 新時代の麻酔コクピット 麻酔科医のワークフローに留意した生体情報モニタの設計. 第 16 回麻酔科学サマーセミナー; 20190629; 沖縄. プログラム・抄録集. 25.

中川雅之. 領域講習 神経障害性疼痛に対するインターベンショナル治療. 日本ペインクリニック学会第 53 回大会; 20190718; 熊本. 日本ペインクリニック学会誌. 26(3):190.

小原伸樹. 周術期管理チームセミナー 手術室の効率的な運用. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会; 20190907; 東京.

小原伸樹. 周術期管理チームセミナー 手術室の効率的な運用. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台.

救急医療学講座

論 文

〔原 著〕

Abe Y, Yamamoto N, Nakamura K, Arai K, Sakurai C, Hatsuzawa K, Ogura Y, Iseki K, Tase C, Kanemitsu K. IL-13 attenuates early local CXCL2-dependent neutrophil recruitment for *Candida albicans* clearance during a severe murine systemic infection. *Immunobiology*. 201901; 224(1):15-29.

反町光太郎, 伊関 憲. 【救急医療の現状と課題ー病院前から ER、ICU まで】救急集中治療の最前線. 医学と薬学. 201909; 76(9):1283-1291.

伊関 憲. 【救急科専門研修プログラム紹介】人気研修プログラム紹介 福島 福島県立医科大学附属病院救急科専門研修プログラム. 救急医学. 201901; 43(1):36-37.

伊関 憲. 救急医学 現状と課題(Vol.3) 中毒医療における現在の問題点. 医学のあゆみ. 201903; 263(10):875-881.

佐藤ルブナ, 伊関 憲. トンネル内での溶接機による集団一酸化炭素中毒. 産業医学ジャーナル. 201903; 42(2):37-40.

三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 塚田泰彦, 伊関 憲. 口腔内腫瘍に対して C-MAC ビデオ喉頭鏡を用いて気管挿管を施行した 1 症例. 臨床麻酔. 201908; 43(8):1131-1133.

研究発表等

〔研究発表〕

Zenda R, Sorimachi K. Extremely emergent transfusion therapy at our emergency outpatient unit including two case reports of full recovery from cardiopulmonary arrest. National Immunohaematology Continuing Education: NICE 2019; 20191013; Adelaide, Australia. Abstract. 79.

全田吏栄, 上野智史, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 霧視や眼瞼下垂を呈したマムシ咬傷に対し、抗毒素血清投与によりアナフィラキシーショックが生じた 1 例. 第 33 回日本中毒学会東日本地方会; 20190126; 東京. 中毒研究. 32(3):359.

上野智史, 全田吏栄, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 初期治療は奏効したが救命し得なかった Septic Pulmonary Embolism の 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P9-3.

武藤憲哉, 佐藤ルブナ, 全田吏栄, 三澤友誉, 反町光太郎, 小野寺誠, 伊関 憲. 特徴的な神経学的所見から Wernicke-korsakoff 症候群と診断した 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P22-3.

全田吏栄, 上野智史, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 消化管穿孔を契機に受診に至った甲状腺クリーゼの 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P41-6.

鈴木 剛, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 呼吸不全に対する VV-ECMO 管理中に右心不全を合併し VAV-ECMO へ変更し救命し得た 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190302; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P73-4.

佐藤ルブナ. 毒性アルコール中毒における血液浄化法とホメピゾール. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190303; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):JSY6-4.

和田 淳, 全田吏栄, 佐藤ルブナ, 伊関 憲. リチウム誘発性腎性尿崩症の 1 例. 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190601; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):357.

原 純子, 全田吏栄, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 小野寺誠, 伊関 憲. 造影 CT 検査が診断に有用だった無症候性胆嚢炎の 1 例. 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190601; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):358.

佐藤ルブナ, 全田吏栄, 伊関 憲. 成人患者に生じた環軸関節回旋位固定の 1 例. 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190531; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):380.

全田吏栄, 上野智史, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 洗濯用パック型液体洗剤の誤飲により界面活性剤中毒及び 2 次的な呼吸不全を呈した 1 例. 第 22 回日本

臨床救急医学会総会・学術集会; 20190601; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):390.

反町光太郎, 鈴木 剛, 小野寺誠, 伊関 憲. スキー場におけるドクターヘリ要請事案についての傾向と対策. 第 33 回日本外傷学会; 20190606; 八戸. 日本外傷学会雑誌. 33(2):207.

鈴木 剛, 上野智史, 反町光太郎, 小野寺誠, 伊関 憲. 当センターにおける重症外傷への超緊急輸血療法の取り組み. 第 33 回日本外傷学会; 20190607; 八戸. 日本外傷学会雑誌. 33(2):274.

伊関 憲, 反町光太郎, 全田吏栄, 鈴木 剛, 塚田泰彦, 小野寺誠. 急性パラコート中毒治療における問題点. 日本集中治療医学会第 3 回東北支部学術集会; 20190706; 秋田. プログラム・抄録集. 49.

全田吏栄, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 小野寺誠, 伊関 憲. 造影 CT 検査を繰り返すことにより診断および手術治療に至った外傷性腸間膜損傷の 1 例. 日本集中治療医学会第 3 回東北支部学術集会; 20190706; 秋田. プログラム・抄録集. 51.

上野智史, 佐藤ルブナ, 鈴木 剛, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 救急外来で緊急挿管を行い、後に筋萎縮性側索硬化症と診断された 1 例. 第 33 回東北救急医学会総会学術集会; 20190706; 仙台. プログラム・抄録集. 77.

三澤友誉, 反町光太郎, 上野智史, 全田吏栄, 佐藤ルブナ, 鈴木 剛, 大野雄康, 小野寺誠, 伊関 憲. 膝周囲骨折後、血流評価を繰り返し行うことで膝窩動脈閉塞を診断し得た一例. 第 33 回東北救急医学会総会学術集会; 20190706; 仙台. プログラム・抄録集. 80.

年名 悠, 小野寺誠, 伊関 憲. 医学部新入学者に一次救命処置教育は必要か? 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会; 20191003; 東京. 日本救急医学会雑誌. 30(9):638.

山崎武瑠, 年名 悠, 伊関 憲. 平成 31 年度福島医大入学生の救急災害医療に関する知識調査. 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会; 20191003; 東京. 日本救急医学会雑誌. 30(9):638.

反町光太郎, 佐藤ルブナ, 小野寺誠, 伊関 憲. ハチ刺傷症例に対してドクターヘリの対応は利点があるのか. 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会; 20191004; 東京. 日本救急医学会雑誌. 30(9):720.

佐藤ルブナ, 伊関 憲, 菅谷一樹, 全田吏栄, 反町光太郎, 小野寺誠. 重症低体温症患者の心室細動発症状況の検討. 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会; 20191004; 東京. 日本救急医学会雑誌. 30(9):749.

上野智史, 塚田泰彦, 全田吏栄, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 小野寺誠, 伊関 憲. 左内頸静脈から中心静脈カテーテルを挿入し、誤留置となった 2 例. 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会; 20191004; 東京. 日本救急医学会雑誌. 30(9):848.

反町光太郎, 塚田泰彦, 伊関 憲. 防災ヘリとの連携により救命ができた山岳部発症の心筋梗塞の一例. 第 26 回日本航空医療学会総会; 20191108; 富山. 日本航空医療学会雑誌. 20(2):102.

鈴木 剛, 菅谷一樹, 上野智史, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 公立大学病院附属救命救急センターと近隣消防におけるピックアップ方式ドクターカー運用の現状と課題. 第 14 回日本病院前救急診療医学会総会・学術集会; 20191208; 富山. 日本病院前救急診療医学会誌. 14(1):44.

〔シンポジウム〕

塚田泰彦. 東京オリンピック福島開催における大規模人為災害に対する救急医療の備え. 第33回東北救急医学会総会学術集会; 20190706; 仙台. プログラム・抄録集. 37.

病理病態診断学講座

論 文

〔原 著〕

Ogura M, Kikuchi H, Shakespear N, Suzuki T, Yamaki J, Homma MK, Oshima Y, Homma Y. Prenylated quinolinecarboxylic acid derivative prevents neuronal cell death through inhibition of MKK4. *Biochemical Pharmacology*. 201904; 162:109-122.

Suzuki S, Bogdanova TI, Saenko VA, Hashimoto Y, Ito M, Iwadate M, Rogounovitch TI, Tronko MD, Yamashita S. Histopathological analysis of papillary thyroid carcinoma detected during ultrasound screening examinations in Fukushima. *Cancer Science*. 201902; 110(2):817-827.

Fujita M, Okai K, Hayashi M, Abe K, Takahashi A, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S, Hashimoto Y, Ohira H. Huge Hepatocellular Carcinoma Treated with Radical Hepatectomy after Drug-eluting Bead Transarterial Chemoembolization. *Internal Medicine*. 201904; 58(8):1103-1110.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahashi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki SI, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K. Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan, Screened With 2 Rounds of Ultrasonography Within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 201901; 145(1):4-11.

Suzuki O. Glycosylation in lymphoma: Biology and glycotherapy. *Pathology International*. 201908; 69(8):441-449.

Mochizuki K, Kawana S, Yamada S, Muramatsu M, Sano H, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Hakozaiki M, Yamada H, Hashimoto Y, Kikuta A. Various checkpoint molecules, and tumor-infiltrating lymphocytes in common pediatric solid tumors: Possibilities for novel immunotherapy. *Pediatric Hematology and Oncology*. 201902; 36(1):17-27.

Suzuki Y, Hashimoto K, Hoshi K, Ito H, Kariya Y, Miyazaki K, Sato M, Kawasaki Y, Yoshida M, Honda T, Hashimoto Y, Hosoya M. Ratio of Alpha 2-Macroglobulin Levels in Cerebrospinal Fluid and Serum: An Expression of Neuroinflammation in Acute Disseminated Encephalomyelitis. *Pediatric Neurology*. 201909;

98:61-67.

Murakami Y, Saito K, Ito H, Hashimoto Y. Transferrin isoforms in cerebrospinal fluid and their relation to neurological diseases. Proceedings of the Japan Academy Series B: Physical and Biological Sciences. 201905; 95(5):198-210.

星 信大, 阿部宣子, 立花和之進, 野田 勝, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 阿部貞彦, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 同時性両側性神経内分泌型非浸潤性乳管癌の 1 例. 癌と化学療法. 201912; 46(13):2222-2224.

岡野由典, 遠山裕一, 梅田 隆, 趙 成済, 橋本優子, 須山太助, 五十嵐尚子, 前川正信, 清水弘文, 岡田栄子. 尿管ステント留置中、ステント内結石による閉塞の有無 評価に対し Dual-energy CT が有用であった 1 例. 泌尿器外科. 201907; 32(7):963-966.

Yoshida H, Hashimoto Y, Fukushima T, Tanji K, Matsumiya T, Seya K, Kawaguchi S, Imaizumi T. Effect of low-concentration amyloid- β 1-42(A β 342) on human neuroblastoma SH-SY5Y cell viability: neuroprotective potential of combination use with carnosic acid, rebamipide, edaravone, and resveratrol. 弘前医学. 201911; 70(1):24-38.

橋本優子. 【病理医育成の新時代】基礎研究医養成活性化プログラム 福島関東病理法医連携プログラム『つなが』東大、順天、福島. 病理と臨床. 201901; 37(1):53-56.

中村 泉, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 喜古雄一郎, 野水 整. 4 世代にわたる乳癌発症をみた家族性乳癌の 1 家系. 日本臨床外科学会雑誌. 201905; 80(5):848-853.

松本拓朗, 大木進司, 門馬智之, 喜古雄一郎, 田崎和洋, 河野浩二. 小網原発 GIST の 2 例. 日本臨床外科学会雑誌. 201912; 80(12):2175-2182.

著 書・訳 書

Sugimoto M, Suzuki E, Tasaki K, Hashimoto Y, Ohira H. Gastrointestinal involvement in IgG4-related disease. In: Ohira H, Migita K, editors. Gastrointestinal and Hepatic Manifestations of Rheumatic Diseases. Singapore: Springer Nature; 201904. p.169-190.

橋本優子. 第 9 章 腫瘍 A 定義と分類～E 腫瘍の診断と治療・予後. In: 北川昌伸, 仁木利郎 編. 標準病理学 第 6 版. 東京: 医学書院; 201903. p.248-270.

研究発表等

〔研究発表〕

鈴木 理, 橋本優子. びまん性大細胞型 B リンパ腫における糖鎖のシアル化による galectin への細胞接着調節と IgM との関連. 第 108 回日本病理学会総会; 20190510; 東京.

臨床検査医学講座

論文

〔原著〕

Suzuki Y, Endo S, Nakano R, Nakano A, Saito K, Kakuta R, Kakuta N, Horiuchi S, Yano H, Kaku M. Emergence of IMP-34- and OXA-58-Producing Carbapenem-Resistant *Acinetobacter colistiniresistens*. *Antimicrobial Agents and Chemotherapy*. 201905; 63(6):e02633-18.

Ohira T, Ohtsuru A, Midorikawa S, Takahashi H, Yasumura S, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ishimawa T, Sakai A, Suzuki S, Yamashita S, Yokoya S, Tanigawa K, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. External Radiation Dose, Obesity, and Risk of Childhood Thyroid Cancer After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: The Fukushima Health Management Survey. *Epidemiology*. 201911; 30(6):853-860.

Saito K, Nakamura K, Harada R, Nakano R, Yano H, Kanemitsu K. Indication of Minimum Inhibitory Concentration of β -Lactam Antimicrobials for the Primary Extraction of IMP-Producing Enterobacteriaceae. *Japanese Journal of Infectious Diseases*. 201901; 72(1):68-70.

Tanno D, Yokoyama R, Kawamura K, Kitai Y, Yuan X, Ishii K, De Jesus M, Yamamoto H, Sato K, Miyasaka T, Shimura H, Shibata N, Adachi Y, Ohno N, Yamasaki S, Kawakami K. Dectin-2-mediated signaling triggered by the cell wall polysaccharides of *Cryptococcus neoformans*. *Microbiology and Immunology*. 201909; 63:500-512.

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の現状報告. 乳腺甲状腺超音波医学. 201901; 8(1):3-7.

著書・訳書

志村浩己. III NIFTP をめぐる諸問題 6 超音波専門医からみた NIFTP. In: 坂本穆彦 編. 甲状腺細胞診アトラス 報告様式運用の実際. 東京: 医学書院; 201906. p.226-231.

志村浩己. 甲状腺腫瘍. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 編. 今日の治療指針 2019 年版 Vol.61 私はこう治療している. 東京: 医学書院; 201901. p.780-781.

研究発表等

〔研究発表〕

Saito K, Yui S, Yokoyama K, Sato M, Suzuki Y, Izumi K, Nakamura K, Endo S, Kanemitsu K. Validation and new findings in acute renal disorder related with combined use of vancomycin and tazobactam-piperacillin. 29th ECCMID; 20190413-16; Amsterdam, Netherlands.

Shimura H, Matsuzuka T, Suzuki S, Suzuki S, Iwadata M, Midorikawa S, Ohtsuru A, Yokoya S, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K. Management of thyroid nodules in children and adolescents based on the Japanese guidelines for thyroid nodules: The Fukushima Health Management Survey. 89th Annual Meeting of the American Thyroid Association; 20191030-1104; Chicago, USA.

本田睦子, 大花 昇, 庄司龍弥, 丹野大樹, 高野由喜子, 大橋一孝, 霜島正浩, 豊川真弘, 志村浩己. MALDI-TOF MS による *Nocardia* 属菌の同定精度に関する検討. 第 30 回日本臨床微生物学会総会・学術集会; 20190202; 東京. 日本臨床微生物学会雑誌. 29(Suppl1):384.

大花 昇, 庄司龍弥, 丹野大樹, 本田睦子, 高野由喜子, 大橋一孝, 霜島正浩, 豊川真弘, 志村浩己. 国内分離 *Nocardia* 属菌の薬剤感受性および ST 合剤耐性遺伝子の保有状況に関する検討. 第 30 回日本臨床微生物学会総会・学術集会; 20190202; 東京. 日本臨床微生物学会雑誌. 29(Suppl1):435.

新村裕子, 義久精臣, 横川哲郎, 三阪佑光, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己, 竹石恭知. 睡眠時無呼吸症候群患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性に関する検討. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜. 抄録集. CP09-6.

伊藤祐子, 古屋文彦, 滝 克己, 志村浩己. TTF-1 非発現甲状腺癌細胞の細胞死誘導における ARG2 遺伝子の役割. 第 92 回日本内分泌学会学術集会; 20190509-11; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):448.

丹野大樹, 庄司龍弥, 坂本有子, 豊川真弘, 山寺幸雄, 志村浩己. 新規 GBS 増菌培地とラテックス凝集反応を用いた妊婦 GBS スクリーニング法の有用性. 第 68 回日本医学検査学会; 20190518; 下関. 医学検査. 68(別冊):5.

只野光彦, 菅野喜久子, 渡辺洋子, 渡部聖子, 嶋田有里, 遠藤武尊, 山寺幸雄, 志村浩己. 血液検査におけるパニック値報告. 第 68 回日本医学検査学会; 20190518-19; 下関. 抄録集. 121.

大沼秀知, 金子亜矢, 熊谷麻子, 佐藤ゆかり, 山田慎哉, 山寺幸雄, 竹石恭知, 志村浩己. 心室性期外収縮の起源推定に心筋ストレイン法が有用であった一症例. 第 68 回日本医学検査学会; 20190518-19; 下関. 抄録集. 285.

高野希美, 川畑絹代, 只野光彦, 菅野喜久子, 志村浩己, 大戸 齊, 池田和彦. 乾式装置による新鮮冷凍血漿解凍時の凝固因子活性の推移. 第 67 回日本輸血細胞治療学会; 20190523-26; 熊本. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(2):490.

大橋直人, 佐藤康子, 河合裕美, 鈴木律子, 大矢みどり, 羽田良子, 山寺幸雄, 志村浩己. 当院で経験したアメルバ赤痢の 2 症例. 第 51 回福島医学検査学会; 20190601-02; 郡山. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 57(90):25.

早川莉沙, 幕田倫子, 石橋伸治, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. 腹部超音波検査が有用であった先天性胆道拡張症の 1 例. 第 51 回福島医学検査学会; 20190601-02; 郡山. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 57(90):27.

遠藤武尊, 只野光彦, 伊藤真弘, 渡辺洋子, 菅野喜久子, 山寺幸雄, 池添隆之, 志村浩己. 急性硬膜下血腫を伴い末梢血に異常細胞を認めなかった急性前骨髓球性白血病の 1 症例. 第 51 回福島医学検査学会; 20190601-02;

郡山. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 57(90):35.

高野由喜子, 大橋一孝, 山寺幸雄, 志村浩己. 福島県立医科大学附属病院検査部における微生物検査の精度管理. 第 51 回福島医学検査学会; 20190601-02; 郡山. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 57(90):55.

新村裕子, 義久精臣, 横川哲郎, 三阪佑光, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己, 竹石恭知. 睡眠時無呼吸症候群患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性に関する検討. 第 44 回日本睡眠学会定期学術集会; 20190627-28; 名古屋. プログラム・抄録集. 279.

堀越裕子, 勝田新一郎, 藤倉佑光, 志村浩己, 狭間章博, 清水 強, 白井厚治. ニカルジピン投与に対する弾性動脈と筋性動脈における PWV および Beta の応答の比較検討—ウサギを用いた実験的検討—. 第 51 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20190711-12; 京都.

西山翔子, 高橋智里, 黒須由美子, 佐藤吉子, 長嶺夏希, 坂上敏江, 佐藤綾子, 山谷幸恵, 鈴木英明, 堀越裕子, 大石 学, 鈴木 聡, 岩館 学, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 超音波診断装置におけるプローブ間差と機器間差の検討. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005-06; 福島. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(4):119.

高橋智里, 黒須由美子, 西山翔子, 佐藤綾子, 長嶺夏希, 山谷幸恵, 坂上敏江, 佐藤吉子, 鈴木英明, 堀越裕子, 大石 学, 鈴木 聡, 岩館 学, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 超音波診断装置におけるプローブの経時的変化. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005-06; 福島. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(4):120.

佐藤綾子, 坂上敏江, 高橋智里, 黒須由美子, 大石 学, 堀越裕子, 岩館 学, 鈴木 聡, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 福島県甲状腺超音波検査サポートの評価結果とその改善点. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005-06; 福島. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(4):121.

志村浩己, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木 聡, 岩館 学, 緑川早苗, 大津留晶, 横谷 進, 大平哲也, 安村誠司, 大戸 斉, 鈴木眞一, 神谷研二. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の二次検査における穿刺吸引細胞診の実施率の解析. 第 62 回日本甲状腺学会学術集会; 20191010-12; 前橋. プログラム・抄録集. 73.

志村浩己. 甲状腺検査データの読み方. FUJIREBIO Forum 2019; 20191109; 仙台.

石橋伸治, 松田美津子, 幕田倫子, 岡井 研, 阿部和道, 山寺幸雄, 志村浩己. Shear Wave で経過観察し得た急性肝炎の 2 例. 第 66 回日本臨床検査医学会学術集会; 20191121-24; 岡山. 臨床病理. 67(補冊):212.

〔シンポジウム〕

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の現状報告. 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター主催国際シンポジウム; 20190114-15; 福島.

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」のこれまでの歩みとこれからの課題. 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190509-11; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):241.

志村浩己. 機能性甲状腺結節による潜在性甲状腺機能亢進症の内科的リスク. 第42回乳腺甲状腺超音波医学会学会術集会; 20190525-26; 東京. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(2):74.

松本佳子, 大河内千代, 岩館 学, 鈴木 聡, 中野恵一, 中村 泉, 福島俊彦, 伊藤祐子, 志村浩己, 鈴木眞一. 自律性機能性甲状腺結節の超音波診断. 第42回乳腺甲状腺超音波医学会学会術集会; 20190525-26; 東京. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(2):75.

志村浩己. 小児における各甲状腺超音波所見の疫学. 第42回乳腺甲状腺超音波医学会学会術集会; 20190525-26; 東京. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(2):151.

岩館 学, 志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺結節血流評価の多施設研究. 第42回乳腺甲状腺超音波医学会学会術集会; 20190525-26; 東京. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(2):168.

鈴木眞一, 岩館 学, 松本佳子, 鈴木 聡, 大河内千代, 中野恵一, 中村 泉, 福島俊彦, 志村浩己. 甲状腺結節の鑑別診断に対する超音波組織弾性評価の歴史的変遷とその有用性について. 第42回乳腺甲状腺超音波医学会学会術集会; 20190525-26; 東京. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(2):171.

佐々木義和, 阿部紀和, 宮原涼馬, 中山麻衣, 遠藤さゆり, 山本詩子, 岡崎恵美, 吉田詠子, 山寺幸雄, 伊藤祐子, 志村浩己. 当院（生化学免疫血清検査室）におけるパニック値報告の手順. 第51回日本臨床検査医学会東北支部総会; 20190727; 仙台. プログラム・抄録集. 12.

松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. 診療支援を目指した超音波検査体制の構築. 第43回日本乳腺甲状腺超音波医学会学会術集会; 20191005-06; 福島. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(4):52.

岩館 学, 松本佳子, 長谷川翔, 鈴木 聡, 水沼 廣, 中野恵一, 中村 泉, 福島俊彦, 志村浩己, 鈴木眞一. 日常よく遭遇する疾患シリーズ第3回[甲状腺嚢胞性病変] 甲状腺嚢胞性病変の超音波画像. 第43回日本乳腺甲状腺超音波医学会学会術集会; 20191005-06; 福島. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(4):58.

岩館 学, 松本佳子, 長谷川翔, 鈴木 聡, 水沼 廣, 中野恵一, 中村 泉, 福島俊彦, 志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺疾患における shear wave elastography. 第43回日本乳腺甲状腺超音波医学会学会術集会; 20191005-06; 福島. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(4):64.

〔特別講演〕

大花 昇, 豊川真弘, 山寺幸雄, 志村浩己. Nocardia 属菌の迅速菌種同定法と薬剤感受性試験. 第51回日本臨床検査医学会東北支部総会; 20190727; 仙台. プログラム・抄録集. 8.

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」への JABTS の貢献. 第43回日本乳腺甲状腺超音波医学会学会術集会; 20191005-06; 福島. 乳腺甲状腺超音波医学. 8(4):34.

感染制御医学講座

論文

〔原著〕

Abe Y, Yamamoto N, Nakamura K, Arai K, Sakurai C, Hatsuzawa K, Ogura Y, Iseki K, Tase C, Kanemitsu K. IL-13 attenuates early local CXCL2-dependent neutrophil recruitment for *Candida albicans* clearance during a severe murine systemic infection. *Immunobiology*. 201901; 224(1):15-29.

Saito K, Nakamura K, Harada R, Nakano R, Yano H, Kanemitsu K. Indication of Minimum Inhibitory Concentration of β -Lactam Antimicrobials for the Primary Extraction of IMP-Producing Enterobacteriaceae. *Japanese Journal of Infectious Diseases*. 201901; 72(1):68-70.

Abe Y, Nakamura K, Kaji D, Takahashi H, Aoki K, Kuse H, Okada H, Ohta K, Ohashi K, Takano Y, Ishii Y, Kanemitsu K. Analysis of clinical isolates of extended-spectrum β -lactamase-producing bacteria with developed primer and probe sets to detect *bla*_{CTX-M}, *bla*_{TEM}, and *bla*_{SHV} using a fully automated gene detection system. *Japanese Journal of Infectious Diseases*. 201906; 72(6):381-386.

〔総説等〕

金光敬二. 実践的感染症診断 III 主な感染症に対する治療の実際 2 中枢 髄膜炎. *Medical Practice*. 201904; 36(臨増):126-130.

金光敬二. 実践的感染症診断 III 主な感染症に対する治療の実際 2 中枢 脳炎. *Medical Practice*. 201904; 36(臨増):131-132.

〔その他〕

金光敬二. 環境汚染と消毒 自験例も踏まえて. *日本化学療法学会雑誌*. 201901; 67(1):76-77.

斎藤恭一, 仲村 究, 金光敬二. 薬剤耐性菌の院内伝播事例から学ぶ 当院におけるバンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) のアウトブレイク事例. *日本化学療法学会雑誌*. 201901; 67(1):103.

斎藤恭一, 仲村 究, 中野竜一, 矢野寿一, 金光敬二. カルバペネマーゼ産生腸内細菌科の薬剤感受性によるスクリーニング基準. *日本化学療法学会雑誌*. 201901; 67(1):126-127.

研究発表等

〔研究発表〕

仲村 究. 医療機関における院内感染対策について. 平成 30 年度県中地域医療安全研修会; 20190122; 須賀川.

仲村 究. 新型インフルエンザ等対策について. 平成 30 年度新型インフルエンザ等対応訓練 (病院実動訓練); 20190129; 相馬.

仲村 究. 全自動遺伝子解析装置 BD MAX を用いた blaCTX-M, blaTEM, blaSHV 遺伝子の検出. 第 30 回日本臨床微生物学会総会・学術集会; 20190202; 東京.

原田莉衣. 薬剤感受性によるカルバペネマーゼ産生腸内細菌科のスクリーニング基準. 第 30 回日本臨床微生物学会総会・学術集会; 20190203; 東京.

金光敬二. 新興感染症について. 第 11 回ふくしま市民フォーラム; 20190211; 福島.

仲村 究, 森 浩子, 小針朱子, 北畠光希, 原田莉衣, 斎藤恭一, 金光敬二. オゾン水による手指消毒効果の検討. 第 34 回日本環境感染学会総会; 20190222; 神戸. 抄録集. 34 回:P-156.

横山和博, 油井 優, 佐藤真澄, 斎藤恭一, 仲村 究, 金光敬二. TAZ/PIPC と VCM の併用による腎機能への影響について. 第 67 回日本化学療法学会総会; 20190511; 東京. 日本化学療法学会雑誌. 67(Suppl.A):268.

仲村 究. 診断治療と感染対策. 第 68 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 66 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会; 20191017; 仙台.

仲村 究. 福島県郡山市太田西ノ内病院におけるつつが虫病症例の血清診断状況について. 第 65 回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会 北日本支部合同大会; 20191026; 盛岡.

〔シンポジウム〕

仲村 究. 耐性グラム陰性菌の治療について. 第 68 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 66 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会; 20191018; 仙台.

金光敬二. オリパラにおける医療機関の対応. 第 19 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会; 20191119; 東京.

〔特別講演〕

仲村 究. 感染制御・管理について. 福島県病院薬剤師会郡山支部研修会; 20190320; 郡山.

仲村 究. 薬剤師が尿路感染症の診療支援を行うポイント. 第 4 回福島県薬剤師感染制御・抗菌化学療法研究会; 20190519; 郡山.

仲村 究. 様々な耐性菌とその感染対策. 第 21 回 Macnab Memorial Lecture; 20191214; 郡山.

〔招待講演〕

金光敬二. ESBL 産生菌とその動向. 福島腹腔内感染症懇話会; 20190626; 福島.

金光敬二. 感染対策について. 第6回福島県感染看護研究会; 20191109; 郡山.

〔その他〕

金光敬二. 血液（体液）媒介感染症と職業感染対策. 平成30年度院内感染対策講習会; 20190130; 東京.

金光敬二. かかりつけ医の感染対策. 令和元年度 日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修会; 20190929; 郡山.

仲村 究. 保育所等における感染症対策について. 保育所等における感染症予防研修会; 20191025; 南相馬.

仲村 究. 医療機関における新型インフルエンザ等対策のポイントについて. 令和元年度相双地域新型インフルエンザ等対策訓練; 20191127; 双葉郡.

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部

論 文

〔原 著〕

Go H, Ohto H, Nollet KE, Kashiwabara N, Ogasawara K, Chishiki M, Miyazaki K, Sato K, Sato M, Kawasaki Y, Momoi N, Hosoya M. Perinatal factors affecting coagulation parameters at birth in preterm and term neonates: A retrospective cohort study. *American Journal of Perinatology*. 201912; 36(14):1464-1470.

Yamada L, Saito M, Min A, Saito K, Kase K, Onozawa H, Okayama H, Fujita S, Endo H, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. Explore the correlation between ARID1A and ANXA1 expressions in gastric cancer. *Annals of Cancer Research and Therapy*. 201901; 27(2):46-51.

Shibata M, Mimura K, Shimura T, Kono K, Ohto H, Takenoshita S. IL-17A in oncology. *Annals of Cancer Research and Therapy*. 201911; 27(2):59-63.

Kikuchi T, Mimura K, Ashizawa M, Okayama H, Endo E, Saito K, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Shimada K, Yoshimura K, Tsunoda T, Kono K. Characterization of tumor-infiltrating immune cells in relation to microbiota in colorectal cancers. *Cancer Immunology, Immunotherapy*. 201911; 69(1):23-32.

Ohira T, Ohtsuru A, Mifotikses S, Takahashi H, Yasumura S, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ishikawa T, Sakai A, Suzuki S, Yamashita S, Yokoya S, Tanigawa K, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. External Radiation Dose, Obesity, and Risk of Childhood Thyroid Cancer after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: The Fukushima Health Management Survey. *Epidemiology*. 201911; 30(6):853-860.

Oe M, Maeda M, Ohira T, Itagaki S, Harigane M, Suzuki Y, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Ohto H. Parental Recognition of Bullying and Associated Factors Among Children After the Fukushima Nuclear Disaster: A 3-Year Follow-Up Study from the Fukushima Health Management Survey. *Frontiers in Psychiatry*. 2019; 10:283.

Nakayama Y, Mimura K, Tamaki T, Shiraishi K, Kua LF, Koh V, Ohmori M, Kimura A, Inoue S, Okayama H, Suzuki Y, Nakazawa T, Ichikawa D, Kono K. Phospho-STAT1 expression as a potential biomarker for anti-PD-1/anti-PD-L1 immunotherapy for breast cancer. *International Journal of Oncology*. 2019; 54(6):2030-2038.

Ogiyama Y, Ito S, Irino M, Hishinuma T, Asano T, Ooyama M, Shimizu H, Nakagawa K, Minegishi M, Osabe I, Ogasawara K, Wada I, Ohto H. Variations of three single nucleotide polymorphisms in *ABCG2* modify J_r expression. *International Journal of Blood Transfusion and Immunohematology*. 2019; 9:100047Z02 YO2019.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahashi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki S, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K. Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan, Screened With 2 Rounds of Ultrasonography Within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 2019; 145(1):4-11.

Nakayama Y, Mimura K, Kono K. The mechanism of PD-L1 expression and the development of biomarker of anti-PD-1/anti-PD-L1 monoclonal antibody from the viewpoint of IFN- γ . *Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy*. 2019; 46(5):838-840.

Ashizawa M, Okayama H, Ishigame T, Thar Min AK, Saito K, Ujiie D, Murakami Y, Kikuchi T, Nakayama Y, Noda M, Tada T, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. miRNA-148a-3p Regulates Immunosuppression in DNA Mismatch Repair-Deficient Colorectal Cancer by Targeting PD-L1. *Molecular Cancer Research*. 2019; 17(6):1403-1413.

Kikuchi T, Mimura K, Okayama H, Nakayama Y, Saito K, Yamada L, Endo E, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. A subset of patients with MSS/MSI-low colorectal cancer showed increased CD8(+) TILs together with up-regulated IFN- γ . *Oncology Letters*. 2019; 18(6):5977-5985.

Ikebe E, Matsuoka S, Tanaka A, Yonemura Y, Fujii Y, Ohsaka A, Okazaki H, Kitazawa J, Ohtani S, Nakayama T, Momose SY, Miwa I, Taira R, Toyota K, Kino S, Kato H, Hamaguchi I. Reduction in adverse transfusion reactions with increased use of washed platelet concentrates in Japan-A retrospective multicenter study. *Transfusion and Apheresis Science*. 2019; 58(2):162-168.

Omae Y, Ito S, Takeuchi M, Isa K, Ogasawara K, Kawabata K, Oda A, Kaito S, Tsuneyama H, Uchikawa M, Wada I, Ohto H, Tokunaga K. Integrative genome analysis identified the KANNO blood group antigen as prion protein. *Transfusion*. 2019; 59(7):2429-2435.

Takeuchi-Baba C, Ito S, Kinjo R, Miyagi H, Yasuda H, Ogasawara K, Ohto H. Production of RBC

autoantibody mimicking anti-D specificity following transfusion in a patient with weak D Type 15. *Transfusion*. 201904; 59(4):1190-1195.

中山裕子, 三村耕作, 河野浩二. 【がんにおける PD-L1 分子の発現調節】 IFN- γ の観点からみた PD-L1 発現機構と抗 PD-1/抗 PD-L1 抗体のバイオマーカー開発. *癌と化学療法*. 201905; 46(5):838-840.

松岡佐保子, 池辺詠美, 大谷慎一, 北澤淳一, 藤井康彦, 米村雄士, 田中朝志, 中山享之, 岡崎 仁, 百瀬俊也, 三輪 泉, 後藤直子, 平 力造, 遠藤正浩, 根本圭一, 大坂顯通, 紀野修一, 加藤栄史, 浜口 功. 輸血医療におけるトレーサビリティ確保—医療施設で収集すべきチェック項目の設定—. *日本輸血細胞治療学会誌*. 201912; 65:876-881.

〔総説等〕

Kojima Y, Yokoya S, Kurita N, Idaka T, Ishikawa T, Tanaka H, Ezawa Y, Ohto H. Cryptorchidism after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: causation or coincidence? *Fukushima Journal of Medical Science*. 2019; 65(3):76-98.

Ngoma AM, Mutombo PB, Omokoko MD, Mvika ES, Nollet KE, Ohto H. Prevalence and Molecular Epidemiology of Human T-Lymphotropic Virus Type 1 among Women Attending Antenatal Clinics in Sub-Saharan Africa: A Systematic Review and Meta-Analysis. *American Journal of Tropical Medicine and Hygiene*. 201910; 101(4):908-915.

Katsuragi S, Ohto H, Yoshida A, Otake A, Tsuneyama H, Ogasawara K, Isa K, Ikeda T. Anemic Disease of the Newborn with Little Increase in Hemolysis and Erythropoiesis Due to Maternal Anti-Jr^a: A Case Study and Review of the Literature. *Transfusion Medicine Reviews*. 201907; 33(3):183-188.

Ngoma AM, Omokoko MD, Mutombo PB, Mvika ES, Muwonga JM, Nollet KE, Ohto H. Population-based prevalence of human T-lymphotropic virus type I in sub-Saharan Africa: a systematic review and meta-analysis. *Tropical Medicine and International Health*. 201911; 24(11):1277-1290.

Ngoma AM, Omokoko MD, Mutombo PB, Nollet KE, Ohto H. Seroprevalence of human T-lymphotropic virus (HTLV) in blood donors in sub-Saharan Africa: a systematic review and meta-analysis. *Vox Sanguinis*. 201907; 114(5):413-425.

北澤淳一. 【明日からできる！在宅輸血マニュアル】ガイド解説 在宅赤血球輸血ガイドの解説. *在宅新療 0→100*. 201909; 4(9):819-822.

村田強志, 藤森敬也, 大戸 斉. 【新生児黄疸を再び考える】血液型不適合溶血性疾患 血液型不適合による溶血性疾患. *周産期医学*. 201902; 49(2):202-205.

北澤淳一. 輸血療法. *日本小児血液・がん学会雑誌*. 201902; 56(5):436-440.

室井一男, 池田和彦, 奥山美樹, 田野崎隆二, 藤原慎一郎, 長村登紀子, 横濱章彦, 大戸 斉, 松下 正. 院内採血の過去, 現状, 将来展望. *日本輸血・細胞治療学会誌*. 201902; 65(1):103-107.

〔その他〕

Okonogi N, Suzuki Y, Sato H, Oike T, Yoshimoto Y, Mimura K, Noda S, Okamoto M, Tamaki T, Morokoshi Y, Hasegawa S, Ohgaki H, Yokoo H, Nakano T. In Reply to Minhas and Tran. International journal of radiation oncology, biology, physics. 201905; 104(1):223-224.

池田和彦. 編集後記. 日本輸血細胞治療学会誌. 201908; 65(4):巻末.

著 書・訳 書

池田和彦. VI. 主な診断方法・治療法. 4 輸血療法 (分画製剤を含む) . In: 血液疾患最新の治療 2020-2022. 東京: 南江堂; 201910. p.4.

池田和彦. 1. 骨髄増殖性腫瘍(MPN) 共通 Q&A. In: 骨髄増殖性腫瘍について 第7版 (パンフレット) . 松戸: 骨髄増殖性腫瘍患者・家族会 MPN JAPAN; 201903. p.11-18.

池田和彦. 10 血液疾患. 慢性骨髄性白血病. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2019 年版. 私是这样治療している Vol.61. 東京: 医学書院; 201901. p.680-682.

池田和彦. VI. 輸血療法. VI-2. 血液製剤の特性と適応. VI-2-2. 顆粒球. In: 日本輸血・細胞治療学会 認定医制度審議会カリキュラム委員会 編. 日本輸血・細胞治療学会 認定医制度指定カリキュラム 改訂第4版. 東京: 一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会; 201905. p.148-150.

池田和彦. VI. 輸血療法. VI-3. 疾患病態別の輸血療法. VI-3-14. 重症感染症－顆粒球輸血を含む. In: 日本輸血・細胞治療学会 認定医制度審議会カリキュラム委員会 編. 日本輸血・細胞治療学会 認定医制度指定カリキュラム 改訂第4版. 東京: 一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会; 201905. p.202-204.

研究発表等

〔研究発表〕

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Minakawa K, Sugimoto K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 2019 XXIII ISHR World Congress; 20190603-06; Beijing, China.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. Janus activating kinase 2 V617F mutation promotes hypoxia induced pulmonary hypertension in mice. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA.

Minakawa K, Ueda K, Nakajima O, Yokokawa T, Kinishima Y, Misaka T, Ogawa K, Ikezoe T, Takeishi Y, Ikeda K. Knock-Ins of Type-2 Calr Mutants Cause Myeloproliferative Neoplasm (MPN)-like Hematopoiesis in Mice. 61st American Society of Hematology Annual Meeting & Exposition; 20191207-10; Orlando, USA.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. Cardiovascular and Metabolic Week 2019: International Society for Heart Research (ISHR), The 36th Annual Meeting of the Japanese Section; 20191214-15; Kobe.

皆川敬治, 大戸 斉, 奥山美樹, 藤原実名美, 金森平和, 藤原慎一郎, 室井一男, 森 毅彦, 笠間絹代, 井関 徹, 長村登紀子, 藤井伸治, 芦田隆司, 亀田和明, 諫田淳也, 廣瀬朝生, 高橋 勉, 長井一浩, 田野崎隆二, 池田和彦. 造血細胞輸注に伴う有害事象に関する前向き研究: 小児および低体重症例解析. 第 114 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20190302; 山形.

力丸峻也, 高野希美, 川畑絹代, 小野 智, 皆川敬治, 渡邊万央, 鈴木裕恵, 佐々木睦美, 高橋沙樹, 安田広康, 木村 哲, 池添隆之, 池田和彦. 末梢血造血幹細胞移植後に Passenger Lymphocyte Syndrome を起こした一例. 第 114 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20190302; 山形.

渡邊範彦, 樫村 誠, 齋藤絵梨子, 渡部和也, 大戸 斉, 峯岸正好, 須田 滉, 管 桂一, 笹木恵美子, 渡辺隆幸, 塩川秀樹, 山田朋美, 味戸一宏, 木村隆弘, 池田和彦. 福島県合同輸血療法委員会と小規模医療機関の関わり. 第 114 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20190302; 山形.

高橋信久, 望月一弘, 大原喜裕, 小林正悟, 佐野秀樹, 池田和彦, 大戸 斉, 菊田 敦. 小児 T 細胞非除去ハプロ移植後の急性 GVHD 重症化に係わるバイオマーカー. 第 41 回日本造血細胞移植学会総会; 20190307-09; 大阪.

池田和彦, 大戸 斉, 奥山美樹, 藤原実名美, 金森平和, 藤原慎一郎, 室井一男, 森 毅彦, 笠間絹代, 井関 徹, 長村登紀子, 藤井伸治, 芦田隆司, 亀田和明, 諫田淳也, 廣瀬朝生, 高橋 勉, 長井一浩, 皆川敬治, 田野崎隆二. 造血細胞輸注に伴う有害事象に関する前向き研究: 小児・低体重患者の解析. 第 41 回日本造血細胞移植学会総会; 20190307-09; 大阪.

三村耕作, 中山裕子, 氏家大輔, 菊池智弘, 渡辺洋平, 花山寛之, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. PD-L1 の発現機構から検討した胃癌における抗 PD-1 抗体の適応について. 第 40 回癌免疫外科研究会; 20190516-17; 金沢.

君島勇輔, 三阪智史, 横川哲朗, 杉本浩一, 皆川敬治, 石田隆史, 池田和彦, 竹石恭知. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第 476 回福島医学会学術研究会; 20190523; 福島.

Nollet K, 鈴木裕恵, 佐々木睦美, 池田和彦. 医学教育変革における輸血教育と災害経験伝達の取り組み. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(2):384.

小野 智, 大原喜裕, 川畑絹代, 高野希美, 渡邊万央, 佐々木睦美, 力丸峻也, 皆川敬治, 深津真彦, 高橋裕志, 木村 哲, 大河原浩, 高橋信久, 小林正悟, 佐野秀樹, 池添隆之, 菊田 敦, 池田和彦. プレリキサホル投与とアフエレーシス可否の決定における採取前日の末梢血中 CD34 陽性細胞数測定. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会総会; 20190523-25; 熊本. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(2):349.

北澤淳一. 学会認定・臨床輸血看護師が果たす院内・院外看護師教育について. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

北澤淳一, 三根 堂, 石田 明, 遠藤輝夫, 松崎浩史, 長井一浩, 福吉葉子, 末岡榮三朗, 加藤陽子, 藤田浩, 奥田 誠, 高梨一夫, 中津留敏也, 大城戸秀樹, 田中朝志. 病床数 100 床未満医療機関における輸血療法の実態調査報告. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

北澤淳一, 米村雄士, 藤井康彦, 牧野茂義. 2011 年から 2016 年の血液製剤使用実態調査に報告された過誤輸血のまとめ. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

佐々木睦美, 城田さつき, 大石理江子, 長谷川貴之, 川畑絹代, 渡邊万央, 力丸峻也, 横川京子, 鈴木 聡, 村田強志, 藤森敬也, 村川雅洋, 池田和彦. 自己血貯血製剤保存中の凝血塊の発生とアレルギー様反応. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会総会; 20190523-25; 熊本. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(2):454.

白戸研一, 北澤淳一, 玉井佳子, 岡本道孝, 相馬文彦, 寺井康詞郎, 田辺 健, 柴崎 至, 立花直樹, 大山力. 血液透析患者における輸血療法の実態 青森県合同輸血療法委員会アンケート調査より. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

田中朝志, 横濱章彦, 藤原慎一郎, 藤井康彦, 金子 誠, 上田恭典, 阿部 崇, 池田和彦, 紀野修一, 長谷川雄一, 藤野惠三, 牧野茂義, 松本真弓, 竹下明裕, 室井和彦. 日本における TACO の実態調査. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20190523-25; 熊本.

玉井佳子, 大戸 斉, 北澤淳一. 小児・新生児輸血 未成年者 (1~19 歳) の赤血球同種抗体に関する多施設共同研究. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

田中朝志, 北澤淳一, 高梨一夫, 長井一浩, 藤田 浩, 石田 明, 奥田 誠. 小規模施設および在宅における輸血医療体制の構築に向けて 小規模医療機関における輸血医療の現状. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

高野希美, 川畑絹代, 只野光彦, 菅野喜久子, 志村浩己, 大戸 斉, 池田和彦. 乾式装置による新鮮凍結血漿解凍時の凝固因子活性の推移. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20190523-25; 熊本.

塗谷智子, 中田陽子, 西塚和美, 乗田生子, 小笠原圭子, 境 峰子, 鶴谷博美, 玉井佳子, 立花直樹, 北澤淳一. 小規模医療機関・診療所勤務看護師を対象とした輸血教育の実践(第 2 報) 青森県合同輸血療法委員会認定輸血看護師部会の活動. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

藤原慎一郎, 池田和彦, 紀野修一, 田中朝志, 長谷川雄一, 藤野惠三, 牧野茂義, 松本真弓, 横濱章彦, 竹下明裕, 室井一男. 非血縁ドナーからの骨髓採取時の自己血輸血の検討. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20190523-25; 熊本.

藤原実名美, 池田和彦, 大戸 斉, 奥山美樹, 金森平和, 藤原慎一郎, 室井一男, 森 毅彦, 笠間絹代, 井関 徹, 長村登紀子, 藤井伸治, 芦田隆司, 亀田和明, 諫田淳也, 廣瀬朝生, 高橋 勉, 長井一浩, 皆川敬治, 田野崎隆二. 造血細胞輸注に伴う有害事象に関する前向き研究 小児・低体重患者についての解析. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20190523-25; 熊本.

横濱章彦, 奥山美樹, 上田恭典, 伊藤真澄, 藤原慎一郎, 長井一浩, 荒川仁香, 牧田雅典, 宮崎浩二, 池田和彦, 紀野修一, 田中朝志, 長谷川雄一, 藤野惠三, 牧野茂義, 松本真弓, 竹下明裕, 室井一男. 本邦における造血器疾患患者に対する赤血球輸血のヘモグロビン閾値の現状. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20190523-25; 熊本.

力丸峻也, 高野希美, 大戸 齊, 池田和彦. 新たな乾式装置を使用した新鮮凍結血漿融解時の凝固因子生活の推移. 第 29 回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会; 20190607-08; 名古屋.

中山裕子, 三村耕作, 白石謙介, 井上正行, 中田晴夏, 大森征人, 木村亜矢子, 高橋ひふみ, 國友和善, 中込 博, 中澤匡男, 井上慎吾, 市川大輔. 乳癌における PD-L1 発現機構. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711-13; 東京.

渡邊万央, 高橋沙樹, 力丸峻也, 佐々木睦美, 山田舞衣子, 皆川敬治, 高野希美, 小野 智, 川畑絹代, 高橋信久, 大原喜裕, 小林正悟, 佐野秀樹, 菊田 敦, 池田和彦. 当院におけるヒト体性幹細胞加工製品の使用実績. 第 115 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20190831; 青森. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(6):905.

高橋沙樹, 力丸峻也, 佐々木睦美, 渡邊万央, 山田舞衣子, 皆川敬治, 高野希美, 小野 智, 川畑絹代, 鈴木 剛, 池田和彦. 当院における超緊急輸血の現状. 第 115 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20190831; 青森.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第 3 回日本循環器学会基礎研究フォーラム; 20190906-08; 東京.

渡邊万央, 高橋沙樹, 力丸峻也, 佐々木睦美, 山田舞衣子, 高野希美, 川畑絹代, 高橋信久, 大原喜裕, 小林正悟, 佐野秀樹, 菊田 敦, 池田和彦. 当院におけるヒト体性幹細胞加工製品の使用実績. 第 32 回福島県輸血懇話会; 20190914; いわき. 福島医学雑誌. 70(1):80.

小野 智, 皆川敬治, 渡邊万央, 川畑絹代, 高橋信久, 大原喜裕, 小林正悟, 望月一弘, 佐野秀樹, 菊田敦, 池田和彦. HLA-KMR assay を用いた HLA 半合致造血細胞移植後再発症例における患者特異的 HLA 欠失の 1 症例. 第 28 回日本組織適合性学会大会; 20190921-23; 名古屋. 日本組織適合性学会誌. 26(2 Suppl):114.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第 23 回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

菅野隆浩. 採血副作用の現状とその対応 転倒防止対策の検討. 第 43 回日本血液事業学会総会; 20191002-04; 仙台. 血液事業. 42(2):382.

齋藤和枝, 渡邊美奈, 澤田浩幸, 富山 豊, 菅野隆浩, 氏家二郎, 峯岸正好. 移動採血における認定インタビュー制度の導入について. 第 43 回日本血液事業学会総会; 20191002-04; 仙台. 血液事業. 42(2):485.

菅野隆浩, 芳賀 健, 渡邊美奈, 齋藤和枝, 森戸 茂, 矢吹亜矢, 高木勝広, 渡邊マキ, 堀川次男, 玉川和

子, 斎藤年光, 澤田浩幸, 富山 豊, 氏家二郎. 外国語指導助手による集団献血の経験. 第 43 回日本血液事業学会総会; 20191002-04; 仙台. 血液事業. 42(2):493.

渡邊美奈, 齋藤和枝, 渡邊マキ, 玉川和子, 矢吹亜矢, 鈴木香織, 渡辺樹里, 嶋原花織, 渡邊範彦, 長谷川修, 菅野隆浩, 富山 豊, 氏家二郎, 峯岸正好. 看護師の人材育成の取り組み. 第 43 回日本血液事業学会総会; 20191002-04; 仙台. 血液事業. 42(2):520.

皆川敬治, 植田航希, 中島 修, 横川哲郎, 君島勇輔, 三阪智史, 池添隆之, 竹石恭知, 池田和彦. Calreticulin 変異マウスの骨髄増殖性表現型. 第 81 回日本血液学会学術集会; 20191011-13; 東京.

北澤淳一. 科学的根拠に基づいた小児輸血のガイドライン 新生児・小児への血小板輸血のトリガー. 第 26 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム; 20191115; 東京.

〔シンポジウム〕

三村耕作, 中山裕子, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 胃癌微小環境から検討した胃癌における抗 PD-1 抗体の適応について (ワークショップ). 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

池田和彦. MPN におけるエピジェネティクスの役割. 第 29 回サイトメトリー学会学術集会; 20190525-26; 東京.

川畑絹代. 予期せぬ抗体への対処法「移行抗体」. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会総会; 20190523-25; 熊本. 日本輸血・細胞治療学会誌. 65(2):254.

北澤淳一. ヘモビジュランス トレーサビリティから見えてくる医療施設への効果. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

北澤淳一. 小規模施設および在宅における輸血医療体制の構築に向けて 在宅医療における輸血医療のガイドライン策定に向けて. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

北澤淳一. 小児・新生児輸血 小児の輸血療法. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

三村耕作, 中山裕子, 氏家大輔, 渡辺洋平, 花山寛之, 岡山洋和, 齋藤元信, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. Clinical indication of anti-PD-1 mAb in gastric cancer in terms of the mechanism of PD-L2 expression. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

三村耕作, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田怜央, 氏家大輔, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. Potentiality of combining radiotherapy with immune checkpoint inhibitors (パネルディスカッション). 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

三村耕作, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 上部消化管癌における複合免疫療法の開発. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山.

〔招待講演〕

Mimura K. Immunogenic tumor cell death induced by chemoradiotherapy: a clinical point of view. ESTRO38 (Symposium); 20190426-30; Milano, Italy.

池田和彦. MPN の病態と治療. 山梨臨床血液カンファレンス; 20190412; 甲府.

池田和彦. 骨髄増殖性腫瘍の診断と治療. Hematology Web Seminar; 20190510; Web 中継.

池田和彦. 慢性骨髄性白血病・MPN (真性多血症、骨髄線維症、本能性血小板血症等). NPO 法人血液情報広場・つばさフォーラム in 東北; 20190622; 仙台.

池田和彦. Clinical debate 7 MPN. 第 81 回日本血液学会学術集会; 20191011-13; 東京.

川畑絹代. 日常検査に潜む新発見. 長野県輸血研究班研修会; 20191109; 松本.

〔その他〕

大原喜裕, 佐野秀樹, 高橋信久, 小林正悟, 望月一弘, 大戸 齊, 池田和彦, 菊田 敦. 初回採取不良のためプレリキサホル併用にて再度抹消血幹細胞採取を施行した小児固形腫瘍の 3 例. 第 41 回日本造血細胞移植学会総会; 20190307-09; 大阪.

渡辺洋平, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 菊池智宏, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 中山裕子, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 胃癌患者における術前好中球／リンパ球比の予後的意義. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

三村耕作. 胃癌における免疫チェックポイント阻害剤の基礎と使用経験. The Latest Gastric Cancer Seminar 2019; 20190604; 仙台.

三村耕作. 胃癌における免疫チェックポイント阻害剤の基礎と使用経験. 空知 Immuno-Oncology 講演会; 20190627; 砂川.

三村耕作. 手の届くようになったがん免疫療法—がん免疫療法の現状—. 市民公開講座「がん免疫療法のいま」を知る; 20191013-14; 福島.

川畑絹代. 輸血検査：予期せぬ検査結果への対応. 令和元年度北日本支部輸血細胞治療部門研修会; 20191123-24; 福島.

地域・家庭医療学講座

論 文

〔原 著〕

Tsuboi S, Mine T, Kanke S, Ohira T. Who needs care? - The long-term trends and geographical distribution of deaths due to acute myocardial infarction in Fukushima Prefecture following the Great East Japan Earthquake. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 201912; 41:101318.

北村俊晴, 葛西龍樹, 菅家智史, 中村光輝, 若山 隆, 森 冬人. 【地域包括ケアシステムの構築 総合診療専門医に期待される役割】 福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座の多彩な取り組み 質の高いプライマリ・ヘルス・ケアの整備を目指して. *医療と社会*. 201905; 29(1):45-58.

菅家智史. プライマリ・ケアの研究は必要か? *日本プライマリ・ケア連合学会誌*. 201903; 42(1):1.

菅家智史, 森 冬人, 坪井 聡, 若山 隆, 葛西龍樹. 受診目安ハンドブックの住民全戸配布は住民の時間外診療件数に影響を与えるか 中断時系列分析. *日本プライマリ・ケア連合学会誌*. 201912; 42(4):191-197.

〔総説等〕

葛西龍樹. 総合診療専門医 期待と課題 総合診療専門医育成へのグローバルな取り組み. *医療と社会*. 201903; 28(4):408-413.

〔その他〕

吉田一隆, 森蘭健太郎, Hwang Seo Eun, Tsukagoshi Sonia, 井伊雅子, 葛西龍樹. オーストラリアの Medicare と家庭医専門研修プログラム〜家庭医療先進国研修ツアー報告〜. *日本プライマリ・ケア連合学会誌*. 201906; 42(2):127-129.

著 書・訳 書

葛西龍樹. アカデミック家庭医の役割. In: 名郷直樹 編. スーパー総合医 総合診療医の果たす役割. 東京: 中山書店; 201904. p.54-58.

研究発表等

〔研究発表〕

中村光輝, 菅家智史, 星 吾朗, 豊田喜弘, 吉田一隆, 葛西龍樹. A pre-post study evaluating the impact of family medicine clerkships in Japanese undergraduate medical education. *WONCA Asia Pacific Region Conference 2019*; 20190517; Kyoto.

Stanyon M, Kanke S, Kitamura T, Nakamura K, Kassai R. Identity development during specialty training in the figured world of family medicine: a cross cultural analysis. NAPCRG Annual Meeting; 20191119; Toronto, Canada.

〔シンポジウム〕

葛西龍樹. ヘルスリテラシーのギャップは埋まるのか？患者中心の医療の方法の臨床エビデンス. 只見フォーラム (プロジェクト研究発表会) ; 20191026; 只見町.

〔招待講演〕

Kassai R. Implementing primary care policy in Japan: a mission impossible? La Mina Primary Health Care Academic Centre Special Lecture; 20190205; Barcelona, Spain.

Kassai R. Primary mental health care in Asia-Pacific: challenges and opportunities - Family doctors and depression: The Japanese Train-the-trainers Programme [background]. WONCAAsia Pacific Regional Conference 2019; 20190516; Kyoto.

Kassai R. Primary mental health care in Asia-Pacific: challenges and opportunities - Family doctors and depression: The Japanese Train-the-trainers Programme [evaluation]. WONCAAsia Pacific Regional Conference 2019; 20190516; Kyoto.

Tsukagoshi S. Talk beyond the boundaries about Young Doctors Movement: To find out the light for younger generations. WONCAAsia Pacific Regional Conference 2019; 20190518; Kyoto.

Kassai R. Japanese primary health care and the aftermath of the nuclear disaster in Fukushima. Unison Health & Community Services Special Lecture; 20191120; Toronto, Canada.

菅家智史. オンコ・ジェネラリスト. 総合診療スキルアップセミナー; 20190421; 東京.

塚越麗奈. UK General Practice. 広島大学医学部ふるさと枠セミナー; 20190424; 広島.

塚越麗奈. UK General Practice. 長崎大学熱帯医学研究所大学院生セミナー; 20190508; 長崎.

葛西龍樹. プライマリ・ヘルス・ケアと地域包括ケアシステム. 2019 年度日本内科学会生涯教育講演会 A セッション (大阪会場) ; 20190602; 大阪.

葛西龍樹. 総合診療専門医育成へのグローバルな取り組み. 上川医療センター多職種セミナー; 20190605; 上川町.

菅家智史. いよいよになって慌てないために私達ができること. 令和元年度地域包括ケアを支える伊達ネットワーク委員会研修会; 20190608; 伊達.

菅家智史. カルテの書き方 大学ではこう教えています. ステップアップセミナー; 20190814; 福島.

葛西龍樹. プライマリ・ヘルス・ケアとプライマリ・ケア：家庭医・総合診療専門医の視点. 信州医療センター特別セミナー; 20190821; 須坂.

菅家智史. 行動変容を導くコミュニケーション法. 福島県看護協会一般研修; 20190906; 郡山.

菅家智史. 行動変容. 総合医育成プログラム 診療実践コース; 20190916; 東京.

葛西龍樹. プライマリ・ヘルス・ケアと地域包括ケアシステム. 2019 年度日本内科学会生涯教育講演会 A セッション (横浜会場); 20190922; 横浜.

菅家智史. 行動変容を引き出すコミュニケーション. 新潟県看護協会研修会; 20191004; 新潟.

菅家智史. A・C・P (アドバンス・ケア・プランニング)「人生会議」について. 市民講演会; 20191109; 会津若松.

菅家智史. 地域医療 医療者に必要なことって何だろう. スーパーサイエンスハイスクール事業; 20191220; 会津若松.

〔その他〕

Kasai R, Dowrick C. Improving Our Care of Patients with Depression and Anxiety: Assessment of Anxiety and Depression. WONCA Asia Pacific Regional Conference 2019; 20190515; Kyoto.

中村光輝. 家庭医・総合診療医が病院で実践する！患者中心の医療の方法. 第 31 回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー; 20190803; 熱海.

葛西龍樹. プライマリ・ケアでのうつ病と不安障害マネジメント. 第 9 回東北ブロック支部学術集会; 20190908; 青森.

中村光輝. 自宅で最期を迎えるために～知っておきたい家族の心得とは. 喜多方市市民公開講座; 20191116; 喜多方.

放射線健康管理学講座

論 文

〔原 著〕

Midorikawa S, Murakami M, Ohtsuru A. Harm of overdiagnosis or extremely early diagnosis behind trends in pediatric thyroid cancer. Cancer. 201911; 125(22):4108-4109.

Katai M, Sakurai K, Fujita M, Yamamoto M, Hotta-Suzuki M; Japan Endocrine Society Women Endocrinologists Association (JES-We-Can). Reducing the gender gap in academic activities: a 10-year progress report by the Japan Endocrine Society Women Endocrinologists Association (JES-We-Can). *Endocrine Journal*. 201905; 66(4):359-368.

Ohira T, Ohtsuru A, Midorikawa S, Takahashi H, Yasumura S, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ishikawa T, Sakai A, Suzuki S, Yamashita S, Yokoya S, Tanigawa K, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. External Radiation Dose, Obesity, and Risk of Childhood Thyroid Cancer After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: The Fukushima Health Management Survey. *Epidemiology*. 201911; 30(6):853-860.

Ohba T, Hasegawa A, Suzuki G. Estimated Thyroid Inhalation doses Based on Body Surface Contamination Levels of Evacuees After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. *Health Physics*. 201907; 117(1):1-12.

Kobayashi T, Yoshida K, Takebayashi Y, Goto A, Kumagai A, Murakami M. Social identity threats following the Fukushima nuclear accident and its influence on psychological distress. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 201907; 37:101171.

Suzuki K, Akita S, Yoshimoto H, Ohtsuru A, Hirano A, Yamashita S. Biological Features Implies Potential Use of Autologous Adipose-Derived Stem/Progenitor Cells in Wound Repair and Regenerations for the Patients with Lipodystrophy. *International Journal of Molecular Sciences*. 201911; 20(21):5505.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahashi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki SI, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K. Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan, Screened With 2 Rounds of Ultrasonography Within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 201901; 145(1):4-11.

Ohtsuru A, Takahashi H, Kamiya K. Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan-Reply. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 20190613; doi: 10.1001/jamaoto.2019.1102.

Abe Y, Noji H, Miura T, Sugai M, Kurosu Y, Ujiie R, Tsuyama N, Yanagi A, Yanai Y, Ohba T, Ishikawa T, Kamiya K, Yoshida MA, Sakai A. Investigation of the cumulative number of chromosome aberrations induced by three consecutive CT examinations in eight patients. *Journal of Radiation Research*. 201907; 60(6):729-739.

Ishikawa T, Yasumura S, Akahane K, Yonai S, Ohtsuru A, Sakai A, Sakata R, Ohira T, Kamiya K. The latest update on individual external doses in an early stage after the Fukushima nuclear accident. *Radiation Protection Dosimetry*. 201912; 187(3):402-406.

Murakami M, Kumagai A, Stojarov AN, Tsubokura M. Radiation is not a political tool. *Science*. 201911; 366(6465):581-582.

小林智之, 村上道夫, 吉田和樹, 熊谷敦史, 安井清孝, 後藤あや, 竹林由武, 黒田佑次郎, 末永カツ子, 小宮ひろみ. 災害関連健康リスクに対するコミュニケーションと協働. 安全工学. 201912; 58(6):387-393.

松田尚樹, 浦田芳重, 北川昌伸, 青木昌彦, 細井義夫, 根本建二, 大津留晶, 磯辺智範, 櫻井英幸, 宮川清, 吉村亮一, 神田玲子, 近藤 隆, 武田俊一, 藤堂 剛, 栗井和夫, 續 輝久, 永安 武. 放射線健康リスク科学教育の現状と課題 全国実態調査の結果より. 医学教育. 201911; 50(6):581-587.

大津留晶. 環境放射線汚染と健康リスク認知. 心身医学. 201901; 59(1):78.

安井清孝. 福島県でのリスクコミュニケーションの重要性. 日本放射線看護学会誌. 201903; 7(1):45.

大葉 隆. 東日本大震災, 原子力事故の経験から. 日本放射線技術学会雑誌. 201907; 75(7):661-668.

大津留晶, 緑川早苗, 熊谷敦史, 安井清孝, 大葉 隆, 千葉靖子, 宮崎 真, 佐藤久志, 長谷川有史, 津山尚宏, 坂井 晃, 石川徹夫. 放射線健康リスク科学教育の医学教育における潮流と本学での取り組み. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):85-94.

〔総説等〕

吉田和樹, 小林智之, 後藤あや, 竹林由武, 熊谷敦史, 安井清孝, 黒田佑次郎, 末永カツ子, 小宮ひろみ, 前田 香, 村上道夫. 地域住民と健康リスクを考える 東日本大震災後の保健活動の向上を目指したリスクコミュニケーション支援事業. 保健師ジャーナル. 201901; 75(1):54-59.

緑川早苗, 大津留晶. 原発時事故後に福島で行われている甲状腺検査の心理社会的影響について. 内分泌・糖尿病・代謝内科. 201901; 48(1):65-70.

〔その他〕

大葉 隆. 学術激励賞を受賞して. 公益社団法人福島県診療放射線技師会会報. 201905; 55:20-21.

中島理沙子, 後藤あや, 熊谷敦史, 錫谷達夫. ベラルーシ共和国への留学経験～男女共同参画の国際比較～. 福島県保健衛生雑誌. 201906; 33:49-51.

著 書・訳 書

Midorikawa S, Ohtsuru A. How to Be Considerate to Patients with Thyroid Nodules: Lessons from the Pediatric Thyroid Cancer Screening Program in Fukushima After the Nuclear Plant Accident. In: Kakudo K editor. Thyroid FNA Cytology. Singapore: Springer; 201906. p.95-99.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Suzuki S, Shimura H, Matsuzuka T, Yamashita S. Thyroid Cancer Screening Program for Young People in Fukushima After the Nuclear Plant Accident. In: Kakudo K editor. Thyroid FNA Cytology. Singapore: Springer; 201906. p.519-523.

熊谷敦史. 9 現在、甲状腺検査の検査対象はどのようになっているのでしょうか？ In: 暮らしの手引き作成ワーキンググループ. 暮らしの手引き+（プラス）. 東京: 環境省; 201903. p.35-36.

熊谷敦史. 10 がんになるのが心配です。事故後の福島で何に気をつければいいですか？ In: 暮らしの手引き作成ワーキンググループ. 暮らしの手引き+（プラス）. 東京: 環境省; 201903. p.37-38.

研究発表等

〔研究発表〕

Abe Y, Noji H, Sugai M, Kurosu Y, Tsuyama N, Yanagi A, Yanai Y, Ohba T, Ishikawa T, Miura T, Kamiya K, Yoshida AM, Sakai A. Analysis of the number of chromosome aberrations induced by three consecutive CT examinations. 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20190113-14; Fukushima.

Kanno S, Ohba T, Mabune K, Hasegawa A. The survey of management conditions for users at the facility equipped whole body counter in Fukushima Prefecture. 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20190113-14; Fukushima.

Mabune K, Kanno S, Ohba T, Midorikawa S, Hasegawa A, Ohtsuru A. New radiation education is required for radiological technologists: Based on a questionnaire 7 years after the nuclear accident. 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20190113-14; Fukushima.

Ohba T, Lyamzina Y, Goto A, Murakami M, Kuroda Y, Miyazaki M, Kumagai A, Ohira T, Liutsko L, Sarukhan A, Tanigawa K, Cardis E. SHAMISEN-SINGS project: Review of mobile phone applications for citizen health and well-being assessment following the Fukushima accident. 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20190113-14; Fukushima.

Sachkouskaya A, Sharshakova T, Lyzikov A, Voropaev E, Kumagai A, Murakami M, Fukushima T, Yabe H, Takahashi J, Yoshida K, Takamura N. Comparative analysis of the anxiety level of mothers in the Gomel region and Fukushima. 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20190113-14; Fukushima.

Kumagai A. Medical doctors can be bridge between divided people and improve their health. Consultancy Meeting on STS Education Support on Return in the Context of Low-dose Radiation; 20190116-17; Fukushima.

Liutsko L, Fattibene P, Della Monaca S, Tanigawa K, Ohba T, Goto A, Lyamzina Y, Chumak V, Novikava N, Pirard P, Charron S, Oughton D, Tomkiv Y, Croûail P, Maître M, Schneider T, Van Nieuwenhuysse A, Sarukhan A, Cardis E; SHAMISEN SINGS Consortium. Stakeholders feedback on mobile Apps and devices for dose and health measurements after nuclear accident (SHAMISEN SINGS project). NERIS2019;

20190403-05; Roskilde, Denmark.

Liutsko L, Ohba T, Goto A, Lyamzina Y, Tanigawa K, Fattibene P, Monaca SD, Novikava N, Chumak V, Maître M, Croûail P, Schneider T, Tomkiv Y, Oughton D, Charron S, Pirard P, Sarukhan A, Cardis E; SHAMISEN SINGS Consortium. Radiation protection culture in practice: Insights from People's behaviour in areas contaminated by the Chernobyl and Fukushima accidents. RICOMET2019 - Social Science and Humanities in Ionising Radiation Research; 20190701-03; Barcelona, Spain.

Ohba T, Lyamzina Y, Goto A, Murakami M, Nakano H, Kuroda Y, Miyazaki M, Kumagai A, Ohira T, Liutsko L, Sarukhan A, Tanigawa K, Cardis E. Development of a mobile phone application for interactive support of residents returning after a nuclear accident. RICOMET2019 - Social Science and Humanities in Ionising Radiation Research; 20190701-03; Barcelona, Spain.

Liutsko L, Tanigawa K, Ohba T, Goto A, Lyamzina Y, Fattibene P, Della Monaca S, Novikava N, Chumak V, Maître M, Croûail P, Schneider T, Tomkiv Y, Oughton D, Charron S, Pirard P, Sarukhan A, Cardis E; SHAMISEN SINGS Consortium. Individual differences in preferences on mobile APPS for dose and health measurements in case of a nuclear accident. ISSID 2019 Conference; 20190729-0802; Florence, Italy.

Abe Y, Noji H, Miura T, Fujioka K, Sugai M, Kurosu Y, Ujiie R, Tsuyama N, Yanagi A, Yanai Y, Ohba T, Ishikawa T, Inaba T, Kamiya K, Yoshida MA, Sakai A. Difficulty in dose evaluation following low-dose ionizing radiation exposure by analyzing chromosome aberrations. 16th International Congress of Radiation Research; 20190825-29; Manchester, UK.

Midorikawa S, Murakami M, Ohtsuru A. Toward the establishment of radiation health risk science: The effect of education on radiation risk perception among young people. 16th International Congress of Radiation Research; 20190825-29; Manchester, UK.

Suzuki G, Ohba T, Hasegawa A, Ishikawa T, Miyatake H, Yoshizawa N, Nagai H, Kurihara O, Kusuvara H. Reconstruction of early internal doses for residents after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station accident. 16th International Congress of Radiation Research; 20190825-29; Manchester, UK.

Liutsko L, Sarukhan A, Fattibene P, Della Monaca S, Charron S, Chumak V, Ohba T, Goto A, Tanigawa K, Tomkiv Y, Oughton D, Pirard P, Novikava N, Maître M, Croûail P, Shneider T, Cardis E; SHAMISEN SINGS Consortium. SHAMISEN SINGS project - Benefits & challenges by using apps for dose and health monitoring after a nuclear accident. 4th European Radiation Protection Week; 20191014-18; Stockholm, Sweden.

Ohba T, Goto A, Nollet KE, Murakami M, Nakano H, Kuroda Y, Miyazaki M, Kumagai A, Ohira T, Liutsko L, Sarukhan A, Tanigawa K, Cardis E. Adaptation of an EU-initiated mobile phone application interface for interactive support of returnees after the Fukushima nuclear accident. 4th European Radiation Protection Week; 20191014-18; Stockholm, Sweden.

Hasegawa A, Sugaya K, Ohba T, Sato H. Experience of Fukushima Medical University in radiation emergency response exercise -to date and to come-. 2019 Unified Radiological Emergency Response Exercise Observation & Seminar KIRAMS; 20191030; Seoul, Korea.

安井清孝, 村上道夫. 感情の模擬体験としての災害避難所机上演習. 第24回日本災害医学会総会・学術集会; 20190318; 米子.

佐藤文俊, 田中知明, 宇治原誠, 緑川早苗, 金子朋美, 武田珠美, 鈴木明菜, 島津 章. Safety/tolerability and efficacy of osilodrostat in Japanese patients with endogenous Cushing syndrome except Cushing disease: Results from a phase 2 study. 第92回日本内分泌学会学術総会; 20190511; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):402.

上野大介, 松尾友貴, 水川葉月, 稲波 修, 山本久美子, 菅木洋一, 長坂洋光, 水谷 太, 相場俊樹, 大葉 隆, 渡邊 泉, 龍田 希, 仲井邦彦. トビケラウオッチ (第4報) 水生昆虫を用いた河川環境の放射性セシウムモニタリング. 第8回環境放射能除染研究発表会; 20190710-11; 郡山.

安井清孝, 色摩弥生, 坂本信雄, 青木俊太郎, 諸井陽子, 末永博紀, 唐 尊一, 千葉靖子, 大谷晃司. 鑑別疾患想起能力に対する症候論講義とTBL授業の比較. 第51回日本医学教育学会大会; 20190726-27; 京都. 医学教育. 50(補冊):112-113.

大葉 隆, 稲葉洋平, 津山尚宏, 坪倉正治, 村上道夫, 千田浩一, 大津留晶. 高校生における放射線に関する知識の特徴と放射線防護へ向けた教育. 第35回日本診療放射線技師学術大会; 20190914-16; さいたま. JART 日本診療放射線技師会誌. 66(9):120.

志村浩己, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木 聡, 岩舘 学, 緑川早苗, 大津留晶, 横谷 進, 大平哲也, 安村誠司, 大戸 齊, 鈴木眞一, 神谷研二. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の二次検査における穿刺吸引細胞診の実施率の解析. 第62回日本甲状腺学会学術集会; 20191010-12; 前橋.

陶山友里恵, 田辺隼人, 菅谷芳幸, 滝口善規, 山口瑞希, 下地桐子, 五十嵐彩華, 照屋太輝, 金成文平, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 待井典剛, 緑川早苗, 鈴木 悟, 横谷 進, 喜古雄一郎, 橋本優子, 島袋充生. 急激な経過を示した巨大副腎皮質癌の1例. 第27回東北内分泌研究会・第39回日本内分泌学会東北地方会; 20191019; 福島.

大葉 隆. 専門講座4 放射線防護部会 放射線防護で扱う量. 第47回日本放射線技術学会秋季学術大会; 20191019; 大阪.

真船浩一, 菅野修一, 大葉 隆, 緑川早苗, 大津留晶. 「原子力災害時に診療放射線技師が担った多様な役割についての意識調査」最終報告. 令和元年度診療放射線技師学術大会; 20191110; 郡山. プログラム・抄録集. 11-12.

菅野修一, 真船浩一, 大葉 隆, 長谷川有史. ホールボディカウンタ設置施設におけるユーザー管理状況の調査. 令和元年度診療放射線技師学術大会; 20191110; 郡山. プログラム・抄録集. 12.

大葉 隆, 石川徹夫, 永井晴康, 床次眞司, 長谷川有史, 鈴木 元. 福島第一原発事故時の小児における避難パターンと吸入による甲状腺等価線量の再評価. 第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会; 20191204-07; 仙台.

菅野修一, 真船浩一, 大葉 隆, 長谷川有史, 大津留晶. ホールボディカウンタ設置施設におけるユーザーによる管理状況の調査. 第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会; 20191204-07; 仙台.

松田尚樹, 浦田芳重, 永安 武, 栗井和夫, 大津留晶. 医学教育における放射線健康リスク科学人材養成プログラムの開発. 第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会; 20191204-07; 仙台.

真船浩一, 大葉 隆, 菅野修一, 緑川早苗, 大津留晶. 福島県内の診療放射線技師を対象とした原子力災害対応に関する意識調査. 第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会; 20191204-07; 仙台.

〔シンポジウム〕

Ohtsuru A. Hybrid session (Chair). 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20190113; Fukushima.

Ohtsuru A, Oughton D. Session1: Social impact of a radiation disaster and radiological protection studies: Science with community (Chair). 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20190113; Fukushima.

Ohba T; ISGlobal, IRSN, WIV-ISP, NMBU, CEPN, Ph Pirard (expert). SHAMISEN-SINGS project WP3 Recommendations - development of apps on health & well-being measurements of affected populations by a nuclear accident. 4th European Radiation Protection Week; 20191014-18; Stockholm, Sweden.

緑川早苗. 原発事故後の甲状腺がんスクリーニングに関する住民との対話. 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター主催国際シンポジウム Build Back Better: from the World to Fukushima, from Fukushima to the World; 20190115; Fukushima.

Ohtsuru A, Ohba T, Yasui K, Kumagai A, Midorikawa S. What is expected in NA/39 project from the viewpoint of radiation health literacy. IAEA Consultancy Meeting for NA9_39 Project; 20190116; Fukushima.

大葉 隆. 原子力災害訓練の動向と診療放射線技師への期待. 第35回日本診療放射線技師学術大会; 20190914-16; さいたま. JART 日本診療放射線技師会誌. 66(9):64.

熊谷敦史. 分科会企画3(放射線管理士分科会)「東日本大震災から8年過ぎた福島の現状」講演「震災から8年過ぎた福島の現状」. 第35回日本診療放射線技師学術大会; 20190915; さいたま.

大葉 隆, 真船浩一, 緑川早苗, 大津留晶. 原子力事故における診療放射線技師への教育のフロンティア～教育の現状と勘案すべきポイント～. 第62回日本放射線影響学会大会; 20191114; 京都.

Ohba T, Mabune K, Midorikawa S, Ohtsuru A. The frontier of educations for Radiological Technologists in a nuclear accident - Current status of educations and points to be considered -. 日本放射線影響学会第62回大会; 20191114; 京都.

緑川早苗. 放射線健康リスク科学教育科学教育におけるコミュニケーションと意思決定支援の教育の試み. 第62回日本放射線影響学会大会; 20191114-16; 京都.

〔特別講演〕

熊谷敦史. 原子力発電所の事故における医療体制及び災害救助活動. 福島県外における放射線に係る健康影響等に関するリスクコミュニケーション事業; 20190109; 鹿児島.

熊谷敦史. 暮らしと放射線～広野町の今～. 第9回放射線と健康に関する講演会; 20190209; 広野町.

熊谷敦史. リスクコミュニケーションと医療者の役割. 上級放射線ファーマシストフォローアップ研修; 20190210; 郡山.

熊谷敦史. 原発事故後の相談事例から. 佐賀県原子力災害医療ネットワーク構築支援事業; 20190301; 佐賀.

大葉 隆. 「原子力災害と診療放射線技師の役割 ～福島第一原発事故の経験を通して～」. 第74回一般社団法人新潟県診療放射線技師会総会並びに学会大会; 20190519; 新潟. 一般社団法人新潟県診療放射線技師会々報. 90:4.

〔招待講演〕

熊谷敦史. 福島の暮らしと放射線. 放射線の影響に関する研修会; 20190419; 福島.

〔その他〕

Kumagai A, Hibbert K. Debate and Discussion for training. Technical Meeting on Communication on Low-Dose Radiation- the Role of Science, Technology and Society; 20190530; Fukushima.

Ohba T. Mobile Apps and protocols for measuring health & well-being indicators after unclear accidents (Fukushima example). SHAMISEN SINGS Stakeholders feedback_RICOMET2019; 20190702; Barcelona, Spain.

大津留晶. 福島県立医大における被ばく医療演習. 平成30年度（2018年度）東北医科薬科大学 被ばく医療演習; 20181213-20190108; 福島. 報告書. 1-312.

緑川早苗. 講義「福島における原発事故後の健康調査」, プロブレムマッピング. 平成30年度（2018年度）東北医科薬科大学 被ばく医療演習; 20181213-20190108; 福島. 報告書. 第5章, 第6章.

大葉 隆. プロブレムマッピング, ホールボディカウンター実習. 平成30年度（2018年度）東北医科薬科大学 被ばく医療演習; 20181213-20190108; 福島. 報告書. 第6章, 第7章.

熊谷敦史. それでもたばこ吸いますか? 福島県警察学校禁煙教室; 20190121; 福島.

熊谷敦史. 実習. 平成30年度「福島県原子力災害医療連携ネットワーク会議」主催フォローアップ研修会; 20190303; 福島.

熊谷敦史. 放射線の基礎知識 福島の今. 平成31年度臨床研修医オリエンテーション; 20190401; 福島.

熊谷敦史. 原子力災害医療派遣チームの活動. 原子力災害医療派遣チーム研修; 20190511; 千葉.

緑川早苗. 教育講演 25 (座長). 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190511; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):71.

鯉淵典之, 大津留晶. 研究奨励賞受賞講演 (座長). 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190511; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):80.

波多野雅子, 緑川早苗. 一般演題口演 29 : 副腎 5 (座長). 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190511; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):152.

菅原 明, 緑川早苗. 一般演題口演 38 : KO Rounds3 (座長). 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190511; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):152.

熊谷敦史. それでもたばこ吸いますか? 福島県警禁煙教室; 20190515; 福島.

大葉 隆, 千田浩一, 稲葉洋平, 坪倉正治, 村上道夫, 津山尚宏, 大津留晶. 原子力災害における次世代への放射線防護に関する防災教育の在り方. 平成 30 年度共同研究成果報告会 兼 プロジェクトエリア・ユニット報告会; 20190720; 仙台.

大葉 隆. 避難退域時検査場における原子力災害緊急対応ユニットの紹介. 第 6 回福島県放射線管理士セミナー; 20190824; 郡山.

大戸 実, 山田智恵理, 大津留晶. 放射線災害に遭遇した福島県内 2 地区の看護師で見られた自主避難決定の要因. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928-29; 福島. 講演集. 110.

橋本重厚, 永井雅人, 大平哲也, 細谷光亮, 安村誠司, 林 義満, 佐藤博亮, 鈴木 均, 坂井 晃, 小橋元, 小笹昇太郎, 大津留晶, 神谷研二, 大戸 齊. 福島県「県民健康管理調査」東日本大震災における避難による心理的・社会的背景が血中尿酸レベルに及ぼす影響. 第 42 回日本高血圧学会総会; 20191025-27; 東京. プログラム・抄録集. 299.

大津留晶, 栗政明弘. シンポジウム 3 原子力災害の経験からみた放射線健康リスク科学教育の新たな展望 (座長). 第 62 回日本放射線影響学会大会; 20191114; 京都.

緑川早苗. 特殊な副腎病態 2 (座長). 第 29 回日本内分泌学会 臨床内分泌代謝 Update; 20191129-30; 高知.

大葉 隆. 講演 4 放射線事故・災害時の行動の実際. 令和元年度 市民公開講座 専門家と学ぼう! 放射線事故・災害時に自分でできる放射線防護; 20191130; 出雲.

甲状腺内分泌学講座

論文

〔原 著〕

Suzuki S, Bogdanova TI, Saenko VA, Hashimoto Y, Ito M, Iwadata M, Rogounovitch TI, Tronko MD, Yamashita S. Histopathological analysis of papillary thyroid carcinoma detected during ultrasound screening examinations in Fukushima. *Cancer Science*. 201902; 110(2):817-827.

Ohira T, Ohtsuru A, Midorikawa S, Takahashi H, Yasumura S, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ishikawa T, Sakai A, Suzuki S, Yamashita S, Yokoya S, Tanigawa K, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. External Radiation Dose, Obesity, and Risk of Childhood Thyroid Cancer after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: The Fukushima Health Management Survey. *Epidemiology*. 201911; 30(6):853-860.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahashi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki SI, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K. Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan, Screened With 2 Rounds of Ultrasonography Within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 201901; 145(1):4-11.

Sugitani I, Ito Y, Miyauchi A, Imai T, Suzuki S. Active Surveillance Versus Immediate Surgery: Questionnaire Survey on the Current Treatment Strategy for Adult Patients with Low-Risk Papillary Thyroid Microcarcinoma in Japan. *Thyroid*. 201911; 29(11):1563-1571.

岩館 学, 鈴木眞一. 【甲状腺・副甲状腺—知りたいこと・知っておかぬばならないこと】甲状腺濾胞腺腫と濾胞癌の鑑別. *JOHNS*. 201906; 35(6):695-698.

内野眞也, 櫻井晃洋, 鈴木眞一, 今井常夫, 小杉眞司, 岡本高宏. MEN コンソーシアム. 家族性腫瘍. 201909; 19(1):40-44.

鈴木眞一. 甲状腺腫瘍の超音波診断～良悪性の鑑別に超音波を生かす～. 月刊インナービジョン. 201912; 35(1):98-100.

鈴木眞一. WHO の新病理分類改訂について—外科医の立場から—. 乳腺甲状腺超音波医学. 201901; 8(1):13-17.

岩館 学, 廣川満良, 鈴木眞一. 『腺腫様甲状腺腫』遺伝子異常による甲状腺腫. 乳腺甲状腺超音波医学. 201907; 8(3):44-47.

著 書・訳 書

鈴木眞一. 内分泌外科専門医からみた NIFTP. In: 坂本穆彦 編. 甲状腺細胞診アトラスー報告様式運用の実際. 東京: 医学書院; 201906. p.232-236.

研究発表等

〔研究発表〕

Suzuki Shinichi. Surgical treatment of childhood, adolescent and young adult thyroid cancers detected by the ultrasound screening after the Fukushima's power plant accident. World Congress of Surgery WCS 2019; 20190814; Krakow, Poland.

Iwade M, Mitsutake N, Matsuse M, Suzuki S, Mizunuma H, Matsumoto Y, Hasegawa S, Nakano K, Nakamura I, Fukushima T, Yamashita S, Suzuki S. BRAF(V600E) mutation is highly prevalent in the young population in Fukushima. 13th Asia & Oceania Thyroid Association (AOTA) Congress; 20190818-21; Sydney, Australia.

Suzuki Shinichi, Iwade M, Hasegawa S, Matsumoto Y, Suzuki S, Mizunuma H. Is Childhood, Adolescent and Young Adult Thyroid Cancer in Fukushima after Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident different from Chernobyl's Thyroid Cancer after the accident? 13th Asia & Oceania Thyroid Association (AOTA) Congress; 20190819; Sydney, Australia.

Iwade M, Mitsutake N, Matsuse M, Suzuki S, Mizunuma H, Matsumoto Y, Hasegawa S, Yamashita S, Suzuki S. The Clinicopathological results of the thyroid cancer with BRAF mutation in the young population in Fukushima. 89th Annual Meeting of the American Thyroid Association; 20191030-1103; Chicago, USA.

鈴木 聡, 松本佳子, 大河内千代, 中野恵一, 岩館 学, 中村 泉, 水沼 廣, 工藤明宏, 島袋充生, 小林靖幸, 橋本優子, 鈴木眞一. 副腎原発 inflammatory myofibroblastic tumor の 1 例. 第 32 回東北副腎研究会; 20190126; 仙台.

松本佳子, 大河内千代, 岩館 学, 鈴木 聡, 中野恵一, 中村 泉, 福島俊彦, 水沼 廣, 鈴木眞一. 甲状腺内埋没副甲状腺の 6 例. 第 57 回日本超音波医学会東北地方会学術集会; 20190303; 仙台.

松本佳子, 鈴木 聡, 大河内千代, 中野恵一, 岩館 学, 水沼 廣, 菅原茂耕, 廣 正智, 織内 昇, 鈴木眞一. 当科における甲状腺分化癌に対する放射性内用療法の経験について. 第 31 回東北甲状腺談話会; 20190309; 仙台.

鈴木 聡, 鈴木眞一, 松本佳子, 大河内千代, 中野恵一, 岩館 学, 中村 泉, 水沼 廣, 福島俊彦. 当科における進行再発甲状腺分化癌に対する TKI 投与症例の検討. 第 119 回日本外科学会; 20190420; 大阪.

松本佳子, 大河内千代, 岩館 学, 鈴木 聡, 中野恵一, 水沼 廣, 鈴木眞一. 縦隔内異所性副甲状腺腫の 2 例. 第 6 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20190427; 福島.

鈴木 聡, 松本佳子, 大河内千代, 中野恵一, 岩館 学, 中村 泉, 水沼 廣, 工藤明宏, 島袋充生, 小林靖幸, 橋本優子, 笹野公伸, 鈴木眞一. 副腎原発 inflammatory myofibroblastic tumor の 1 例. 第 6 回日本臨床

外科学会福島支部学術集会; 20190427; 福島.

鈴木 聡, 松本佳子, 大河内千代, 中野恵一, 岩館 学, 中村 泉, 水沼 廣, 鈴木眞一. 当科で経験した甲状腺髄様癌超音波所見の検討. 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190509; 仙台.

岩館 学, 志村浩己, 鈴木慎一. 甲状腺結節血流評価の多施設研究. 日本超音波医学会第 92 回学術集会; 20190524-26; 東京.

岩館 学, 松本佳子, 大河内千代, 鈴木 聡, 水沼 廣, 中野恵一, 中村 泉, 福島俊彦, 鈴木慎一. 小児における良性結節の超音波所見. 日本超音波医学会第 92 回学術集会; 20190524-26; 東京.

岩館 学, 松本佳子, 大河内千代, 鈴木 聡, 水沼 廣, 中野恵一, 中村 泉, 福島俊彦, 鈴木慎一. 甲状腺結節に対する血流評価とエラストグラフィを組み合わせた鑑別診断. 第 42 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20190525-26; 東京.

松本佳子, 大河内千代, 岩館 学, 鈴木 聡, 中野恵一, 中村 泉, 福島俊彦, 水沼 廣, 伊藤祐子, 志村浩己, 鈴木眞一. 自律性機能性甲状腺結節の超音波診断. 第 42 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20190525-26; 東京.

松本佳子, 大河内千代, 岩館 学, 鈴木 聡, 中野恵一, 水沼 廣, 鈴木眞一. 副甲状腺癌の 2 例. 第 42 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20190525-26; 東京.

岩館 学, 松本佳子, 大河内千代, 鈴木 聡, 水沼 廣, 中野恵一, 鈴木眞一. RET 遺伝子変異部位からみた MEN2 の予防的甲状腺全摘術の検討. 第 31 回日本内分泌外科学会総会; 20190613-14; 東京.

松本佳子, 峯 勇人, 大河内千代, 岩館 学, 鈴木 聡, 中野恵一, 水沼 廣, 鈴木眞一. 縦隔内 (異所性) 副甲状腺腫による原発性副甲状腺機能亢進症 6 例の検討. 第 31 回日本内分泌外科学会総会; 20190613-14; 東京.

鈴木 聡, 松本佳子, 大河内千代, 中野恵一, 岩館 学, 中村 泉, 水沼 廣, 工藤明宏, 島袋充生, 小林靖幸, 橋本優子, 山崎有人, 笹野公伸, 鈴木眞一. 副腎原発 inflammatory myofibroblastic tumor の一例. 第 31 回日本内分泌外科学会総会; 20190614; 東京.

松本佳子, 鈴木 聡, 岩館 学, 鈴木眞一. 多発性内分泌腫瘍症 1 型の胸腺 NEC の 1 例. 第 25 回日本家族性腫瘍学会学術集会; 20190614-15; 東京.

岩館 学, 光武範吏, 松瀬美智子, 鈴木 聡, 水沼 廣, 大河内千代, 松本佳子, 長谷川翔, 斎藤勝治, 山谷幸恵, 山下俊一, 鈴木眞一. 福島第一原発事故後の小児若年者甲状腺癌について. 第 78 回日本癌学会学術総会; 20190926-28; 京都.

鈴木 聡, 長谷川翔, 松本佳子, 大河内千代, 岩館 学, 中野恵一, 中村 泉, 水沼 廣, 鈴木眞一. 甲状腺リンパ腫疑い病変に針生検を施行し甲状腺びまん性腫大を来した一例. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191006; 福島.

鈴木 聡, 長谷川翔, 松本佳子, 大河内千代, 岩館 学, 中野恵一, 中村 泉, 水沼 廣, 鈴木眞一. 過去

14年間の当科における縦隔内甲状腺腫手術症例の臨床的検討. 第52回日本甲状腺学会; 20191009; 前橋.

松本佳子, 長谷川翔, 中野恵一, 鈴木 聡, 岩舘 学, 水沼 廣, 鈴木眞一. 自律性機能性甲状腺結節の検討. 第62回日本甲状腺学会学術集会; 20191010-12; 前橋.

松本佳子, 大河内千代, 岩舘 学, 鈴木 聡, 中野恵一, 水沼 廣, 橋本優子, 鈴木眞一. 副甲状腺癌の2例. 第52回日本内分泌外科学会学術大会; 20191017-18; 東京.

鈴木 聡, 佐久間芽衣, 松本佳子, 大河内千代, 岩舘 学, 中野恵一, 中村 泉, 水沼 廣, 大石理江子, 五十嵐崇, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木眞一. 経過中に窒息を呈し救命し得た難治性パセドウ病の一例. 第81回日本臨床外科学会; 20191114; 高知.

〔シンポジウム〕

鈴木眞一（座長）. 甲状腺結節の診断基準-TI-RADS. 日本超音波医学会第92回学術集会; 20190524; 東京.

鈴木眞一. 本邦の甲状腺結節診断基準について. 日本超音波医学会第92回学術集会; 20190524; 東京.

鈴木眞一. MENに対する手術療法. 第25回日本家族性腫瘍学会学術集会; 20190615; 東京.

鈴木眞一. 福島における小児甲状腺癌の臨床像. 第43回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191006; 福島.

鈴木 聡. 篩型乳頭癌の臨床的特徴と超音波像. 第43回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191006; 福島.

〔特別講演〕

鈴木眞一. 福島第一原発事故後の福島甲状腺超音波検診による小児若年者甲状腺癌について. 第92回日本内分泌学会学術総会; 20190511; 仙台.

鈴木眞一. 福島原発における甲状腺疾患. 第1回昭和大学甲状腺フォーラム学術集会; 20190518; 横浜.

鈴木眞一. 骨粗鬆症の日常診療. 第19回臨床・基礎研究交流会; 20190724; 福島.

鈴木眞一. 東日本大震災8年を経た福島における小児若年者甲状腺癌について. 第27回特定非営利活動法人東北内分泌研究会・第39回日本内分泌学会東北地方会; 20191019; 福島.

〔招待講演〕

Suzuki Shinichi. Ultrasound Diagnosis of Thyroid lesions Using Ultrasound to distinguish between benign and malignant. 2019年度日中青年甲状腺フォーラム; 20191116; Beijing, China.

Suzuki Shinichi. US screening of children in Fukushima. IAEA 小児核医学 workshop; 20191206; 金沢.

鈴木眞一. 福島第一原発事故の甲状腺の影響と甲状腺癌の治療～新ガイドラインのポイント～. Meet The Expert

in いわき; 20190913; いわき.

鈴木真一. 福島第一原発事故の甲状腺の影響と甲状腺癌の治療～新ガイドラインのポイント～. Meet The Expert in 会津; 20190924; 会津若松.

〔その他〕

鈴木真一（座長）. 甲状腺癌の治療、甲状腺腫瘍診療ガイドライン改訂版を中心に（特別講演）. 第 20 回うつくしま甲状腺フォーラム; 20190222; 郡山.

鈴木真一（座長）. 乳腺・甲状腺・小児・筋肉・血液. 日本超音波医学会第 57 回東北地方会学術集会; 20190303; 仙台.

鈴木真一, 加藤良平（発表, 座長）. 甲状腺腫瘍の臨床・病理－最新的话题 「外科医の立場から」. 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190510; 仙台.

鈴木真一. 甲状腺結節の鑑別診断に対する超音波組織弾性評価の歴史的変遷とその有用性について. 日本超音波医学会第 92 回学術集会; 20190524; 東京.

鈴木真一（座長）. 甲状腺疾患における組織弾性評価. 日本超音波医学会第 92 回学術集会; 20190524; 東京.

鈴木真一（座長）. マルチキナーゼ阻害薬による皮膚障害の予防、治療対策～甲状腺がんで使用する薬剤を中心に～（ランチョンセミナー）. 第 31 回日本内分泌外科学会総会; 20190613; 東京.

鈴木真一（座長）. Understanding the thyroid cancer epidemic and managing it: Team science as a path to descovery（特別講演）. 第 31 回日本内分泌外科学会総会; 20190613; 東京.

鈴木真一（座長）. 平成とともに歩んだ内分泌外科医の想い（学会賞受賞講演）. 第 31 回日本内分泌外科学会総会; 20190613; 東京.

鈴木真一（座長）. がんゲノム医療時代に甲状腺癌分子標的治療を再考する－シグナル伝達から考察する Treatment Strategy－（ランチョンセミナー）. 第 31 回日本内分泌外科学会総会; 20190614; 東京.

鈴木真一. 福島における超音波スクリーニングによって発見された甲状腺乳頭癌の病理組織学的検討（厳選演題）. 第 31 回日本内分泌外科学会総会; 20190614; 東京.

鈴木真一（座長）. 一般社団法人化後の JABTS の将来（パネルディスカッション）. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005; 福島.

鈴木真一. 甲状腺腫瘍の超音波診断～良悪性の鑑別に超音波を活かす～. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005; 福島.

鈴木真一（教育セミナー, 座長）. 穿刺吸引細胞診の適応. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005; 福島.

鈴木真一（座長）．県民健康調査「甲状腺検査」の現状と課題（会長講演）．第43回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191006; 福島.

鈴木真一（座長）．再発性甲状腺乳頭癌の臨床上的特徴と治療戦略. 第43回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191006; 福島.

鈴木真一（座長）．特別企画 JABTS JOINT セッション「超音波診断における乳腺・甲状腺疾患の良・悪性識別のキポイント」．第52回日本内分泌外科学会学術大会; 20191017; 東京.

鈴木真一（座長）．甲状腺治療最前線～最新デバイスを用いた Zero Complications に向けた取り組み～. 第52回日本内分泌外科学会学術大会; 20191018; 東京.

鈴木真一．遺伝性甲状腺癌. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191026; 福岡.

鈴木真一．Professional Surgeon を目指して：若き臨床外科医たちへの提言 乳腺内分泌外科（総会特別企画）．第81回日本臨床外科学会総会; 20191115; 高知.

鈴木真一（座長）．南海トラフ地震も含めた大規模災害対策：臨床外科医の果たすべき役割（総会特別企画）．第81回日本臨床外科学会総会; 20191115; 高知.

災害こころの医学講座

論 文

〔原 著〕

Oe M, Maeda M, Ohira T, Itagaki S, Harigane M, Suzuki Y, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Ohto H. Parental Recognition of Bullying and Associated Factors Among Children After the Fukushima Nuclear Disaster: A 3-Year Follow-Up Study from the Fukushima Health Management Survey. *Frontiers in Psychiatry*. 201905; 10:283.

Ito R, Kobayashi N, Yokoyama S, Irino H, Takebayashi Y, Suzuki SI. Interaction Effects of Behavioral Inhibition System/Behavioral Activation System and Cost/Probability Biases on Social Anxiety. *Frontiers in Psychology*. 201911; 10:2536.

Ueda Y, Murakami M, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Orui M, Yasumura S, Ohira T; Fukushima Health Management Survey Group. Risk Factors for Problem Drinking among Evacuees in Fukushima following the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201908; 248(4):239-252.

前田正治. ト라우マ臨床の明日 ト라우マ臨床のこれまでとこれから ト라우マ臨床の現在 この四半世紀を振り返って. こころの科学. 201911; 208:14-18.

竹林 唯, 前田正治. 【自殺の対策と予防】災害と自殺 その関連と予防・ケアについて. 最新精神医学. 201901; 24(1):35-42.

大江美佐里, 前田正治. 【ICD-11 のチェックポイント】PTSD 関連疾患 DSM-5 との比較を軸に. 精神医学. 201903; 61(3):255-260.

前田正治. 【医療現場での怒りーどのように評価しどのように対応するべきか】PTSD と怒り. 精神医学. 201911; 61(11):1267-1275.

瀬藤乃理子, 前田正治. 【生と死の交互作用 グリーフワークとソーシャルワーク】災害とグリーフワーク. 精神療法. 201904; 45(2):193-199.

前田正治. 【国際疾病分類第 11 回改訂版(ICD-11)の社会精神医学的意義】ICD-11 における急性ストレス反応その臨床的意義と有用性について. 日本社会精神医学会雑誌. 201905; 28(2):193-197.

〔総説等〕

瀬藤乃理子. ト라우マ臨床の明日 ト라우マケアの現場から 遺族のトラウマケア. こころの科学. 201911; 208:53-57.

瀬藤乃理子, 前田正治. 災害とグリーフワーク. 精神療法. 201904; 45(2):39-45.

〔その他〕

前田正治. 被災者の声に耳を傾けてみよう. こころの元気 plus. 201904; 13(4):4-7.

著 書・訳 書

Maeda M, Murakami M, Oe M. Fukushima nuclear disaster: Multidimensional psychosocial issues and challenges to overcome them. In: Nriagu J editor. Encyclopedia of Environmental Health 2nd Edition. Amsterdam: Elsevier; 201908. p.121-131.

高橋聡美, 瀬藤乃理子. 第3章 子どものあいまいな喪失. In: 黒川雅代子, 石井千賀子, 中島聡美, 瀬藤乃理子 編著. あいまいな喪失と家族のレジリエンス～災害支援の新しいアプローチ～. 東京: 誠信書房; 201903. p.63-84.

瀬藤乃理子. 第5章 あいまいな喪失を支援する人のケア. In: 黒川雅代子, 石井千賀子, 中島聡美, 瀬藤乃理子 編著. あいまいな喪失と家族のレジリエンス～災害支援の新しいアプローチ～. 東京: 誠信書房; 201903. p.126-146.

竹林 唯. パニック症の認知行動療法. In: 下山晴彦, 他 編. 公認心理師技法ガイドー臨床の場で役立つ実践のす

べてー. 東京: 文光堂; 201903. p.528-534.

竹林 唯. パニック症の認知行動療法の基盤となる研究. In: 日本認知・行動療法学会. 認知行動療法事典. 東京: 丸善出版; 201908. p.86-87.

研究発表等

〔研究発表〕

Maeda M. Mental Health Consequences and psychosocial issues after the accident. The international symposium of radiation medical science center of Fukushima Medical University. Build Back Better: from the World to Fukushima, from Fukushima to the World; 20190114; Fukushima.

前田正治. 放射線事故時のメンタルヘルス. 平成 30 年第 6 回原子力災害時医療中核人材研修; 20190123; 長崎.

前田正治. 「深める、高める、広める」心理教育. 日本心理教育・家族教室ネットワーク第 22 回研修集会大阪大会; 20190208; 大阪.

瀬藤乃理子. 災害時の女性支援者特有のストレス. 第 30 回福島県精神医学会学術大会; 20190217; 福島.

前田正治. 被災者心理の基礎的理解. 災害支援活動者養成研修; 20190228; 福島.

伊藤亜希子, 岩崎 香, 前田正治. 福島第一原発事故後の原発災害スティグマおよびセルフスティグマの実態と取組み ～避難者コミュニティにおける聴き取り調査から～. 第 38 回日本社会精神医学会; 20190228-0301; 東京.

瀬藤乃理子. 小児がん医療の終末期・グリーフケアに関わる看護師のケア. 小児医療における中間施設の役割を考える研究会; 20190316; 神戸.

前田正治. 原子力災害の心理社会的影響. 平成 30 年度原子力規制人材育成事業 第 2 回防護健康影響課程; 20190319; 千葉.

伊藤亜希子, 岩崎 香, 前田正治. 原発避難者に対するスティグマ低減に効果を発したある小都市における取組み ～避難当事者を含む支援者への聴き取り調査から～. 第 18 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20190615-16; 京都.

竹林 唯, 前田正治, 瀬藤乃理子. 福島県で就労している行政職員のメンタルヘルスの経年. 第 115 回日本精神神経学会; 20190620; 新潟.

瀬藤乃理子. 災害における「喪失と悲嘆」の支援. 日本家族療法学会第 36 回北海道大会; 20190630; 札幌.

瀬藤乃理子. 内丹修煉法を活用した「セルフケア・プログラム」の有用性の検討～演習中の気分変化と心拍変動等の生理的指標に着目して～. マインドフルネス学会第 6 回大会; 20190824; 大阪.

伊藤亜希子. 東日本大震災復興支援委員会の取組みの軌跡 ～成果と課題の検証～に向けて～. 第 55 回日本精神保健福祉士協会全国大会・第 18 回日本精神保健福祉士学会学術集会; 20190831; 名古屋.

瀬藤乃理子, 坂口幸弘, 丸山総一郎. 一次予防をめざした「セルフケア・プログラム」の試み〜プログラムの有用性の検証〜. 第 27 回産業ストレス学会; 20191129; 大阪.

〔シンポジウム〕

瀬藤乃理子. 死別（喪失）と人間の成長. 第 18 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20190615; 京都.

瀬藤乃理子. 震災 8 年〜福島におけるあいまいな喪失〜. 日本家族療法学会第 36 回北海道大会; 20190629; 札幌.

瀬藤乃理子. あいまいな喪失における儀式の意味. 日本心理学会第 83 回大会; 20190912; 大阪.

放射線腫瘍学講座

論 文

〔原 著〕

Nakayama Y, Mimura K, Tamaki T, Shiraishi K, Kua LF, Koh V, Ohmori M, Kimura A, Inoue S, Okayama H, Suzuki Y, Nakazawa T, Ichikawa D, Kono K. Phospho-STAT1 expression as a potential biomarker for anti-PD-1/anti-PD-L1 immunotherapy for breast cancer. International Journal of Oncology. 201906; 54(6):2030-2038.

大津留晶, 緑川早苗, 熊谷敦史, 安井清孝, 大葉 隆, 千葉靖子, 宮崎 真, 佐藤久志, 長谷川有史, 津山尚宏, 坂井 晃, 石川徹夫. 放射線健康リスク科学教育の医学教育における潮流と本学での取り組み. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):85-94.

〔総説等〕

小此木範之, 佐藤浩央, 吉本由哉, 田巻倫明, 竹原由佳, 鈴木義行. varian RT REPORT がん医療における放射線治療最前線(No.1) 免疫放射線治療の理論的背景と現状・今後の可能性. INNERVISION. 201901; 34(1):84-85.

佐藤浩央, 小此木範之, 吉本由哉, 田巻倫明, 鈴木義行. 【がんにおける PD-L1 分子の発現調節】放射線治療と PD-L1 発現. 癌と化学療法. 201905; 46(5):845-849.

小此木範之, 鈴木義行, 佐藤浩央, 吉本由哉, 田巻倫明. 【放射線療法と免疫療法との併用療法を考える】免疫放射線療法 放射線療法と免疫療法との併用療法. 臨床放射線. 201910; 64(11):1325-1329.

〔その他〕

Okonogi N, Suzuki Y, Sato H, Oike T, Yoshimoto Y, Mimura K, Noda SE, Okamoto M, Tamaki T, Morokoshi Y, Hasegawa S, Ohgaki H, Yokoo H, Nakano T. In Reply to Minhas and Tran. International Journal of Radiation Oncology • Biology • Physics. 201907; 104(1):223-224.

研究発表等

〔研究発表〕

Suzuki Y, Okonogi N, Sato H, Oike T, Yoshimoto Y, Mimura K, Noda SE, Okamoto M, Tamaki T, Morokoshi Y, Hasegawa S, Ohgaki H, Yokoo H, Nakano Y. Combination Therapy of Intravenously Injected Microglia and Radiation Therapy Prolongs Survival in a Rat Model of Spontaneous Malignant Glioma. European Society of Therapeutic Radiology and Oncology's 38th Annual Meeting; 20190426-28; Milano, Italy.

竹原由佳. 免疫チェックポイント阻害薬と放射線治療の併用に関する初期経験（安全性に関する検討）. 第16回日本免疫治療学会学術集会; 20190223; 東京.

鈴木義行. 免疫放射線治療(Immuno-Radiotherapy)の基礎と臨床. 臨床医のための腫瘍免疫セミナー; 20190523; 東温.

〔特別講演〕

鈴木義行. 放射線治療による抗腫瘍免疫増強の理論と臨床（免疫放射線療法）. 第21回菅原・大西記念癌治療増感シンポジウム in 奈良; 20190202-03; 奈良.

鈴木義行. 癌免疫と放射線治療～放射線治療と免疫療法を併用すると、1+1=3?～. 第54回RI・放射線利用促進セミナー中部原子力懇話会; 20190215; 名古屋.

鈴木義行. 免疫放射線治療の理論的背景と現状・未来. 第25回近畿Medical Oncology研究会; 20190216; 大阪.

鈴木義行. Combination therapy of Radiotherapy and Immunotherapy (Immuno-Radiotherapy): Basic and Clinical aspects. 第78回日本医学放射線学会総会; 20190411-14; 横浜.

鈴木義行. 免疫放射線治療(Immuno-Radiotherapy)の理論的背景と現状・未来. 放射線治療あすなろ会 第4回総合学術セミナー; 20190629; 福島.

鈴木義行. 免疫放射線治療. 2019年度全国自治体病院協議会放射線部会研修会; 20190705; 東京.

鈴木義行. 免疫放射線治療(Immuno-Radiotherapy)の基礎と臨床. 第7回泌尿器画像診断・治療技術研究会; 20190913-14; 京都.

鈴木義行. 免疫放射線治療 (Immuno-Radiotherapy). Lung Cancer Young Opinions Meeting; 20191206-08; 大阪.

〔招待講演〕

鈴木義行. The Basics of Immuno-Radiotherapy (combination therapy of Radiotherapy and Immunotherapy). 第 32 回日本放射線腫瘍学会学術大会; 20191121-23; 名古屋.

〔その他〕

鈴木義行. 免疫放射線治療(Immuno-Radiotherapy)の理論的背景. 第 9 回日本放射線腫瘍学放射生物学セミナー; 20190216; 京都.

鈴木義行. The Basics of Immuno-Radiotherapy. 第 78 回日本医学放射線学会総会; 20190411-14; 横浜.

腫瘍内科学講座

論 文

〔原 著〕

Momma T, Gonda K, Akama Y, Endo E, Ujiie D, Fujita S, Maejima Y, Horita S, Shimomura K, Saji S, Kono K, Yashima R, Watanabe F, Sugano K, Nomizu T. MLH1 germline mutation associated with Lynch syndrome in a family followed for more than 45 years. BMC Medical Genetics. 201905; 20(1):67.

Sato N, Masuda N, Morimoto T, Ueno T, Kanbayashi C, Kaneko K, Yasojima H, Saji S, Sasano H, Morita S, Ohno S, Toi M. Neoadjuvant exemestane or exemestane plus docetaxel and cyclophosphamide tailored by clinicopathological response to 12 weeks' exemestane exposure in patients with estrogen receptor-positive breast cancer: A multicenter, open-label, phase II study. Cancer Medicine. 201909; 8(12):5468-5481.

Ueno T, Saji S, Masuda N, Iwata H, Kuroi K, Sato N, Takei H, Yamamoto Y, Ohno S, Yamashita H, Hisamatsu K, Aogi K, Sasano H, Toi M. Changes in Recurrence Score by neoadjuvant endocrine therapy of breast cancer and their prognostic implication. ESMO Open. 201902; 4(1):e000476.

Hasegawa J, Jebri I, Yamamoto H, Tsujita K, Tokuda E, Shibata H, Maki M, Itoh T. SH3YL1 cooperates with ESCRT-I in the sorting and degradation of the EGF receptor. Journal of Cell Science. 201910; 132(19):jcs229179.

Ueno T, Masuda N, Kamigaki S, Morimoto T, Saji S, Imoto S, Sasano H, Toi M. Differential Involvement of Autophagy and Apoptosis in Response to Chemoendocrine and Endocrine Therapy in Breast Cancer: JBCRG-07TR. International Journal of Molecular Sciences. 201902; 20(4):E984-1-E984-13.

Gonda K, Akama Y, Nakamura T, Hashimoto E, Kyoya N, Rokkaku Y, Maejima Y, Horita S, Tachibana K, Abe N, Ohtake T, Shimomura K, Kono K, Saji S, Takenoshita S, Higashihara E. Cluster of differentiation 8 and programmed cell death ligand 1 expression in triple-negative breast cancer combined with autosomal

dominant polycystic kidney disease and tuberous sclerosis complex: a case report. Journal of Medical Case Reports. 201912; 13(1):381.

Abe Y, Noji H, Miura T, Sugai M, Kurosu Y, Ujiie R, Tsuyama N, Yanagi A, Yanai Y, Ohba T, Ishikawa T, Kamiya K, Yoshida MA, Sakai A. Investigation of the cumulative number of chromosome aberrations induced by three consecutive CT examinations in eight patients. Journal of Radiation Research. 201911; 60(6):729-739.

Ito M, Horimoto Y, Tokuda E, Murakami F, Uomori T, Himuro T, Nakai K, Orihata G, Iijima K, Saito M. Impact of circulating tumour cells on survival of eribulin-treated patients with metastatic breast cancer. Medical Oncology. 201909; 36(10):89.

Iida M, Nakamura M, Tokuda E, Toyosawa D, Niwa T, Ohuchi N, Ishida T, Hayashi SI. The p21 levels have the potential to be a monitoring marker for ribociclib in breast cancer. Oncotarget. 201908; 10(47):4907-4918.

Iwamoto T, Niikura N, Ogiya R, Yasojima H, Watanabe KI, Kanbayashi C, Tsuneizumi M, Matsui A, Fujisawa T, Iwasa T, Shien T, Saji S, Masuda N, Iwata H. Distinct gene expression profiles between primary breast cancers and brain metastases from pair-matched samples. Scientific Reports. 201909; 9(1):13343.

Honma N, Makita M, Saji S, Mikami T, Ogata H, Horii R, Akiyama F, Iwase T, Ohno S. Characteristics of adverse events of endocrine therapies among older patients with breast cancer. Supportive Care in Cancer. 201910; 27(10):3813-3822.

〔総説等〕

阿左見祐介, 佐治重衡. 誌上ディベート 40歳以上の閉経前ホルモン受容体陽性乳癌患者の術後ホルモン治療に LHRH-A は併用すべきか「すべきである」とする立場から. CANCER BOARD of the BREAST. 201903; 5(1):40-45.

佐々木栄作. 【逸脱症例から学ぶ がん薬物療法 標準治療の実践!】(第1章) がん薬物治療 食道がん. 月刊薬事. 201907; 61(10):1737-1740.

名取 穰, 佐治重衡. 【新しい抗体薬 ; ADC】乳がんに対する ADC. がん分子標的治療. 201912; 17(2):128-132.

徳田恵美, 佐治重衡. 【エストロゲン受容体陽性転移乳癌の薬物療法】CDK4/6 阻害薬. 日本内分泌外科学会誌. 201906; 36(2):101-106.

名取 穰, 佐治重衡. 【医薬品副作用学(第3版)上—薬剤の安全使用アップデート—】薬効群別副作用 抗がん薬ホルモン療法薬(乳癌・前立腺癌・子宮体癌のホルモン療法薬). 日本臨床. 201906; 77(増刊 3):94-99.

〔症例報告〕

魚森俊喬, 徳田恵美, 堀本義哉, 齊藤光江. 食道狭窄をきたした高齢者転移性乳癌に集学的治療が著効した1例. 日本外科系連合学会誌. 201912; 44(6):1031-1035.

著 書・訳 書

佐治重衡（編集）．乳がん薬物療法ハンドブック．東京：南江堂；2019．

佐治重衡（患者向けガイドライン小委員会委員長）．患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2019 年版．
In: 日本乳癌学会 編．東京：金原出版；2019．

研究発表等

〔研究発表〕

Shimomura A, Tamura K, Mizutani T, Shibata T, Hara F, Fujisawa T, Niikura N, Hojo T, Kanbayashi C, Saji S, Masuda N, Sawaki M, Yamamoto N, Nagashima F, Shien T, Iwata H. A phase III study comparing trastuzumab emtansine with trastuzumab, pertuzumab, and docetaxel in elderly patients with advanced stage HER2-positive breast cancer: (JCOG1607 HERB TEA study). 55th 2019 American Society of Clinical Oncology Annual Meeting; 20190602; Chicago, USA.

Sawaki M, Yamada A, Kumamaru H, Miyata H, Shimizu C, Miyashita M, Honma N, Taira N, Saji S. Elderly patients in the Japanese breast cancer registry. European Society of Medical Oncology 2019 Congress; 20190929; Barcelona, Spain.

Krop I, Masuda N, Kogawa T, Takahashi S, Yonemori K, Inoue K, Nakayama T, Yamamoto Y, Alvarez R, Toyama T, Osaki A, Takahashi M, O'Shaughnessy J, Sagara Y, Saji S, Kaklamani V, Oh SY, Gradishar W, Haley B, Tsutomu T, Traina T, Ueno N, Isakoff S, Ohwada S, Tanaka Y, Mekan S, Onuma H, Sharma O, Iwata H. Phase 1/2 first-in-human study of U3-1402, an anti-human epidermal growth factor receptor 3 (HER3) antibody-drug conjugate, in HER3-expressing advanced/unresectable or metastatic breast cancer, including those with triple negative breast cancer (TNBC) or HER3-low disease. 2019 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191211; San Antonio, USA.

Toi M, Imoto S, Ishida T, Ito Y, Iwata H, Masuda N, Mukai H, Saji S, Shimizu A, Ikeda T, Haga H, Saeki T, Aogi K, Sugie T, Ueno T, Kinoshita T, Kai Y, Kitada M, Sato Y, Jimbo K, Sato N, Ishiguro H, Takada M, Ohashi Y, Ohno S. Addition of S-1 to endocrine therapy in the post-operative adjuvant treatment of hormone receptor-positive and human epidermal growth factor receptor 2-negative primary breast cancer: A multicenter, open-label, phase 3 randomized trial (POTENT trial). 2019 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191211; San Antonio, USA.

Aogi K, Kawaguchi H, Masuda N, Nakayama T, Anan K, Ito Y, Ohtani S, Sato N, Saji S, Takano T, Tokunaga E, Nakamura S, Hasegawa Y, Hattori M, Fujisawa T, Morita S, Yamaguchi M, Yamashita H, Yamashita T, Yamamoto Y, Yotsumoto D, Toi M, Ohno S. Factors associated with prolonged post-recurrence survival in patients with postmenopausal estrogen receptor-positive breast cancer taking fulvestrant: A follow-up data of the JBCRG-C06 Safari study. 2019 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191212; San Antonio, USA.

Kobayashi K, Niikura N, Saji S, Iwamoto T, Iwakuma N, Kikawa Y, Masuda N, Watanabe K, Takeshita T, Oba M, Ohno S. Fulvestrant with additional palbociclib in advanced or metastatic hormone receptor-positive HER2-negative breast cancer after progression to fulvestrant monotherapy: JBCRG- M07 (FUTURE trial). 2019 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191212; San Antonio, USA.

Saji S, Kitada M, Takano T, Takada M, Ohtake T, Toyama T, Kikawa Y, Hasegawa Y, Fujisawa T, Kashiwaba M, Ishida T, Nakamura R, Yamamoto Y, Toh U, Iwata H, Masuda N, Taira N, Morita S, Ohno S, Toi M. A randomized, multicenter, phase II study evaluating the efficacy of interventional maintenance endocrine therapy with bevacizumab following fixed cycles of bevacizumab plus paclitaxel in advanced/metastatic ER-positive HER2-negative breast cancer: JBCRG-M04 BOOSTER trial. 2019 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191212; San Antonio, USA.

Saji S, Ohno S, Masuda N, Tsuda H, Akiyama F, Kurosumi M, Shimomura A, Sato N, Takao S, Ohsumi S, Tokuda Y, Inaji H, Watanabe T, Ohashi Y. Pooled analysis of long-term outcome of patients enrolled in two trials comparing the efficacy of oral tegafur-uracil with CMF (N-SAS-BC01 and CUBC trials). 2019 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191212; San Antonio, USA.

Yamada A, Sawaki M, Kumamaru H, Miyata H, Nakayama K, Shimizu C, Miyashita M, Honma N, Endo I, Taira N, Saji S. Systemic therapy for and prognosis of older stage II and III breast cancer patients: Evaluation of data from the Japanese breast cancer registry. 2019 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191212; San Antonio, USA.

Nakayama T, Kawaguchi H, Masuda N, Aogi K, Anan K, Ito Y, Ohtani S, Sato N, Saji S, Takano T, Tokunaga E, Nakamura S, Hasegawa Y, Hattori M, Fujisawa T, Morita S, Yamaguchi M, Yamashita H, Yamashita T, Yamamoto Y, Yotsumoto D, Toi M, Ohno S. Influence of the adjuvant hormonal therapy on hormone sensitivity and survival outcomes in ER+ and HER2-advanced breast cancer: A subgroup analysis of the JBCRG-C06 Safari study. 2019 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191213; San Antonio, USA.

Hagi M, Kawaguchi H, Masuda N, Saji S, Yamamoto Y, Nakayama T, Aogi K, Anan K, Ito Y, Ohtani S, Sato N, Takano T, Tokunaga E, Nakamura S, Hasegawa Y, Hattori M, Fujisawa T, Yamaguchi M, Yamashita H, Yamashita T, Yotsumoto D, Morita S, Toi M, Ohno S. Outcomes of fulvestrant therapy among Japanese women with ER-positive HER2-positive advanced or metastatic breast cancer: A subgroup analysis of the JBCRG-C06 safari study. 2019 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191213; San Antonio, USA.

Iwatani T, Hara F, Iwata H, Shien T, Hojo T, Sagara Y, Masuda N, Takahashi M, Saji S, Fujisawa T, Kondo N, Shimomura A. Estimation of willingness-to-pay for breast cancer treatments through contingent valuation method in Japanese breast cancer patients (JCOG1709A). 2019 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191213; San Antonio, USA.

Tokuda E, Sasaki S, Tsuboi K, Iida M, Niwa T, Saji S, Hayashi SI. PI3K inhibitors restored the sensitivity to anti-estrogen drugs in endocrine therapy resistant cell lines. 2019 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191214; San Antonio, USA.

岩本高行, 新倉直樹, 扇谷りん, 八十島宏行, 渡邊健一, 神林智寿子, 常泉道子, 松井 哲, 藤澤知己, 岩

朝 勤, 枝園忠彦, 佐治重衡, 増田慎三, 岩田広治. 乳がん原発・脳転移巣の遺伝子発現から探る脳転移機序の検討. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

村上祐子, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 佐治重衡, 大竹 徹. 乳癌におけるクローデイン 4 発現の分子生物学的検討. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

木曾末厘乃, 田中 直, 佐治重衡, 戸井雅和, 佐藤史顕. 乳癌において VEGF は NRP1/ARHGAP17/Cdc42 のネットワークを通じて filopodia 形成を促進し migration を誘導する. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

徳田恵美, 佐々木駿太, 坪井洸樹, 丹羽俊文, 佐治重衡, 林 慎一. PI3K-mTOR 経路阻害薬は ER が陰転化した内分泌療法耐性乳癌細胞株の抗エストロゲン薬の感受性を回復させる. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190712; 東京.

近藤千紘, 市成陽子, 森田 一, 陶山久司, 吉井由美, 江面美緒, 藤澤陽子, 飯原大稔, 苅谷三月, 松本奈都美, 中嶋早苗, 大里洋一, 寺崎史浩, 山上睦実, 二村 学, 佐治重衡, Ueno NT. がんチーム医療ワークショップへの期待と課題. 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20190718; 京都.

佐々木栄作, 佐治重衡, 野地秀義, 徳田恵美, 阿左見祐介, 名取 穰, 安村誠司, 大類真嗣, 祖父江友孝, 松田智大, 雑賀公美子. 東日本大震災前後における福島県の部位別年齢階級別罹患率の動向～がん検診を行っている 5 部位について～ (第 2 報). 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20190718; 京都.

Saji S, Ohtani S, Bardia A, Andre F, Cescon DW, McArthur H, Telli M, Loi S, Cortes J, Schmid P, Harbeck N, Denkert C, Jackisch C, Jia L, Hirshfield KM, Karantzis V, Cardoso F. KEYNOTE-756: randomized, double-blind, phase 3 study of pembrolizumab + neoadjuvant CT + adjuvant ET for ER+/HER2- BC. 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20190719; 京都.

名取 穰, 佐治重衡, 野地秀義, 徳田恵美, 佐々木栄作, 阿左見祐介, 鈴木弘之, 長谷川剛生. ニボルマブ治療中に免疫性血小板減少性紫斑病を発症し治療に難渋した一例. 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20190719; 京都.

徳田恵美, 宮本若葉, 中村美紗都, 坪井洸樹, 飯田雅史, 丹羽俊文, 佐治重衡, 林 慎一. CDK4/6 阻害剤耐性となった各種内分泌療法耐性乳癌細胞の細胞内リン酸化シグナルの変化と阻害剤耐性獲得後に有効な薬剤についての検討. 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20190720; 京都.

Suga J, Tanaka N, Saji S. Estradiol regulates half life time of HER3 protein in ER-positive breast cancer (ER 陽性乳癌におけるエストロゲン刺激は HER3 の分解を促進する). 第 78 回日本癌学会学術総会; 20190926; 京都.

近藤千紘, 市成陽子, 森田 一, 陶山久司, 吉井由美, 江面美緒, 藤澤陽子, 飯原大稔, 苅谷三月, 中嶋早苗, 大里洋一, 寺崎史浩, 二村 学, 佐治重衡, 上野直人. チームオンコロジーワークショップの職種別課題. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024; 福岡.

藤田正太郎, 門馬智之, 佐々木栄作, 加瀬晃志, 山内直人, 岡山洋和, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 大木進司, 佐

佐治重衡, 河野浩二. 結腸・直腸癌に対する FOLFIRI+Aflibercept 療法を施行した 10 例の治療成績. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024; 福岡.

河村英恭, 本多通孝, 滝口光一, 神賀貴大, 齋藤賢将, 山崎 繁, 武藤 淳, 白相 悟, 山下直行, 岩尾年康, 佐治重衡, 河野浩二. ステージ IV 期大腸癌における、原発占拠部位と転移様式、予後の関連. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191025; 福岡.

〔シンポジウム〕

重松英朗, 藤澤知巳, 枝園忠彦, 増田慎三, 佐治重衡, 北條 隆, 木下貴之, 田村研治, 新倉直樹, 神林知寿子, 近藤直人, 原 文堅, 吉村通央, 椋本宜学, 鹿間直人, 高橋侑子, 水谷友紀, 柴田大朗, 福田治彦, 岩田広治. 薬物療法が著効した HER2 陽性乳癌に対する非切除療法の有用性に関する単群検証的試験. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

鈴木礼子, 佐治重衡, 堀部敬三, 清水千佳子. 乳がん患者の抱える栄養と運動についての課題～AYA 世代を含むライフステージ別の視点から (AYA がんの医療と支援のあり方研究会 共催シンポジウム 2) . 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190712; 東京.

佐治重衡, 徳田恵美, 佐々木栄作. 耐性機序を想定した乳癌ホルモン療法. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191025; 福岡.

〔特別講演〕

佐治重衡. 新規抗がん薬のグローバル臨床開発における日本の役割. 福島医学会第 476 回学術研究集会; 20190523; 福島.

佐治重衡. がん免疫療法の時代の到来と、これからの乳癌診療 (ランチョンセミナー) . 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190712; 東京.

佐治重衡. HER2 陽性 EBC をめぐる、ドイツ・日本のガイドラインを読み解く (ランチョンセミナー) . 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190713; 東京.

佐治重衡. ガイドライン改定. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190713; 東京.

佐治重衡. 乳癌 (周術期薬物療法) 教育講演 22 応用編. 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20190719; 京都.

放射線災害医療学講座

論 文

〔原 著〕

Iyama K, Inokuma T, Sato S, Yamano S, Tajima G, Hirao T, Tasaki O. Novel screening criteria for post-traumatic venous thromboembolism by using D-dimer. *Acute Medicine & Surgery*. 201901; 6(1):40-48.

Tsujiguchi T, Ito K, Sato D, Mikami J, Shiroma Y, Hasegawa A, Yamamura H, Kashiwakura I. The Development of an Active Learning Program for the Medical Responders in a Nuclear Disaster. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 201912; 13(5-6):853-858.

Ohba T, Hasegawa A, Suzuki G. Estimated Thyroid Inhalation Doses Based on Body Surface Contamination Levels of Evacuees After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. *Health Physics*. 201907; 117(1):1-12.

Matsunaga H, Orita M, Iyama K, Sato N, Aso S, Tateishi F, Taira Y, Kudo T, Yamashita S, Takamura N. Intention to return to the town of Tomioka in residents 7 years after the accident at Fukushima Daiichi Nuclear Power Station: a cross-sectional study. *Journal of Radiation Research*. 201901; 60(1):51-58.

長谷川有史. 【緊急被ばく医療】緊急被ばく医療の実際について考える 医療機関における緊急被ばく医療の診療手順. *救急医学*. 201905; 43(6):743-752.

岡崎龍史, 林 卓哉, 松田尚樹, 長谷川有史, 佐藤健一, 加藤尊秋, 神田玲子, 島田義也, 立石清一郎, 森晃爾. 産業医に役立つ最新の研究報告 放射線教育プログラムによる福島原発作業員の知識向上と不安低減の定量的解析. *産業医学ジャーナル*. 201911; 42(6):61-66.

長谷川有史. 【医療の近未来予想図】大変化の先に幸福あり. *日本医事新報*. 201905; 4958:55.

大津留晶, 緑川早苗, 熊谷敦史, 安井清孝, 大葉 隆, 千葉靖子, 宮崎 真, 佐藤久志, 長谷川有史, 津山尚宏, 坂井 晃, 石川徹夫. 放射線健康リスク科学教育の医学教育における潮流と本学での取り組み. *福島医学雑誌*. 201904; 69(1):85-94.

研究発表等

〔研究発表〕

長谷川有史. 緊急被ばく医療－基礎の基礎－. 福井大学緊急被ばく医療総合シミュレーション基礎コース; 20190309; 福井.

長谷川有史. 原子力災害のBCP策定において考慮すべき項目－福島第一原子力発電所事故の経験を踏まえて－. 第24回日本災害医学会総会学術集会; 20190318-20; 米子.

長谷川有史. 原子力災害に対応する人の意識に影響を与える因子の検討：コミュニケーションの視点から. 第24回日本災害医学会総会学術集会; 20190318-20; 米子.

長谷川有史, 大葉 隆, 大津留晶, 佐藤健一. フォーカスグループインタビューにおける頻出語句とインタビュー対象者の社会的背景に関する検討—原子力災害の放射線健康不安調査から—. 第4回放射線災害・医科学研究拠点カンファレンス; 20190601; 広島. 抄録集. 57-59.

林 卓哉, 立石清一郎, 松田尚樹, 長谷川有史, 佐藤健一, 加藤尊秋, 神田玲子, 島田義也, 蓑原里奈, 森晃爾, 岡崎龍史. 放射線教育プログラムによる福島原子力発電所作業員の意識向上と不安低下度の定量的解析. 2019年度日本産業衛生学会九州地方会; 20190712-13; 福岡.

長谷川有史, 佐藤良信, 山田裕美子, 大戸 実, 柴田久美, 山田浩司. 医療職が積極的に原子力災害に関わる意識を啓発するためには?—意識に影響を与える因子の検討—. 日本放射線看護学会第8回学術集会; 20190928-29; 福島. 抄録集. 98.

〔シンポジウム〕

Kanno S, Ohba T, Mabune K, Hasegawa A. The survey of management conditions for users at the facility equipped whole body counter in Fukushima Prefecture. 放射線災害・医科学研究拠点第3回国際シンポジウム; 20190113-14; 福島. 抄録集. 69.

長谷川有史. 原子力事故後の放射線リスクとその認知：医療従事者の視点から. 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター主催 国際シンポジウム; 20190114-15; 福島. 抄録集. 16.

Hasegawa A. Methodology of Monitoring Environment & Agriculture. Consultancy Meeting on STS Education Support on Return in the Context of Low-dose Radiation; 20190116-17; 福島. 抄録集. 29.

長谷川有史. 原子力事故後の災害医療対応について～福島の経験から～. 国際シンポジウム 原子力事故後の甲状腺健康モニタリングの在り方について～WHO 国際がん研究機関の報告より～; 20190307; 東京. 公開資料. 26.

Hasegawa A. Living in the region as an educator: how to pass the lessons learned to the future medical professionals. Technical Meeting on Communication on Low-Dose Radiation the Role of Science, Technology and Society; 20190328-30; 福島. 抄録集. 21-22.

〔特別講演〕

Hasegawa A. Experience of Fukushima Medical University in radiation emergency response exercise. Radiological Emergency Response Exercise in South Korea; 20191030; Seoul, Korea.

長谷川有史. 原子力災害医療派遣チーム講習 机上演習 派遣先での活動基盤の確立. 平成30年度原子力災害医療派遣チームに関わる専門研修; 20190218; 静岡.

長谷川有史. 地震、津波、原発事故と福島県のいま. 第18回東北地区介護老人保健施設大会 in 福島; 20190831;

福島.

長谷川有史. 救急医療の視点から見た原子力災害と放射線リスクー私たちが学んだリスク相場観ー. 第20回日本法医学会学術北日本地方集会 法医学談話会 106 回例会; 20191108-09; 福島. 抄録集. 8.

〔その他〕

井山慶大. 突然の胸痛と呼吸困難に襲われた男子高校生. 第9回豊橋ライブデモンストレーションコース; 20190620-22; 豊橋.

長谷川有史. 霧と摩擦の中で～福島事故で医療対応にあたった医師の反省～. 放射線災害医療サマーセミナー 2019; 20190805-09; 福島, 檜葉町.

長谷川有史. 原子力発電所内の被ばく医療体制. 第7回日本放射線事故・災害医学会年次学術集会; 20190921; 仙台. 抄録集. 10.

リハビリテーション医学講座／リハビリテーションセンター

論 文

〔原 著〕

松塚 崇, 小原伸樹, 武田治美, 戸澤香織, 佐藤美恵子, 鳥羽 衛, 成田 将, 黒澤 伸, 大内一夫. 3月に総手術数が増え手術延長数も増える 当院手術部におけるオカレンスレポートの後ろ向き解析. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):121-125.

著 書・訳 書

大内一夫. 治療法の選択. In: 須田康文 編. 外反母趾 病態を理解し, 正しい治療選択ができる. 東京: メジカルビュー社; 201911. p.241.

研究発表等

〔研究発表〕

渡辺祐樹, 二階堂琢也, 阿部純平, 小林寛崇, 鈴木秀基, 長峯沙紀子, 小野洋子, 佐藤真理, 矢吹省司, 大井直往. 腰痛を有する腰部脊柱管患者の QOL に影響を及ぼす因子の検討. 第24回ペインリハビリテーション学会学術集会; 20190921-22; 名古屋.

大内一夫, 武田治美, 鷹木真由美, 戸澤香織, 鳥羽 衛, 成田 将, 長谷川結花, 小司和里, 菅野千代子,

松塚 崇. 薬品有効期限確認についての職員の意識調査. 第 14 回医療の質・安全学会学術集会; 20191129; 京都.

〔シンポジウム〕

大内一夫, 川原田圭, 紺野慎一. 拘縮のある重度扁平足に対する治療戦略. 第 44 回日本足の外科学会学術集会; 20190927; 札幌. 日本足の外科学会雑誌. 40(2):S154.

人間科学講座 生命倫理学分野

論 文

〔原 著〕

末永恵子. 731 部隊を訪問した医学研究者. 15 年戦争と日本の医学医療研究会会誌. 201902; 19(1):10-19.

〔その他〕

末永恵子. 福島県立医科大学略史. 光が丘 : 福島県立医科大学医学部同窓会報. 201902; 48:16-19.

藤野美都子. 人権保障から考える原発政策. 中央大学 人権問題講演会講演集. 201903; 2019 年度版:21-37.

藤野美都子. 福島県立医科大学における被災地学習会の取り組み その意義と課題について. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):67-76.

著 書・訳 書

藤野美都子. パリテ再考—多様性からの問いかけ. In: 藤野美都子, 佐藤信行 編著. 憲法理論の再構築. 東京: 敬文堂; 201901. p.29-48.

藤野美都子. 福島の事故から考える原子力発電. In: 杉原泰雄, 吉田善明, 笹川紀勝 編著. 日本国憲法の力. 東京: 三省堂; 201906. p.140-147.

末永恵子. In: 福島県立医科大学企画広報連絡会議 編. 福島県立医科大学の歴史 増補改訂版. 福島: 福島県立医科大学; 201901. p.1-41.

研究発表等

〔研究発表〕

末永恵子. 医学研究と人体資源の収集—731 部隊にいたる道. 東北史学会大会; 20191006; 仙台.

〔特別講演〕

藤野美都子. 福島から考える原子力発電. 憲法ネット 103 2 周年記念シンポジウム; 20191208; 東京.

人間科学講座 言語学分野

論 文

〔原 著〕

Martin P. Healing Heroes: surveying the Greek text of the Hippocratic Oath (Part I: Comments on sections 1.i.-2.ii.). 福島県立医科大学総合科学教育研究センター紀要. 20191015; 8:1-35.

研究発表等

〔研究発表〕

ポール マーティン. A Textual Examination of the Oath of Hippocrates. 福島県立医科大学 研究連携セミナー 2019 年度ポスター発表会; 20191216; 福島.

自然科学講座 数理情報学分野

研究発表等

〔研究発表〕

岡田達也. 算法助術公式 55 (デカルトの円定理) の応用. Workshop 「マルチンゲールとその応用～again～」; 20190830; 二本松.

自然科学講座 先端化学分野

論文

〔原 著〕

Taniguchi N, Kitayama K. Dihydrosulfenylation of Alkynes by Thiols Using a Nickel Catalyst through a Radical Process. *Asian Journal of Organic Chemistry*. 201908; 8(8):1468-1471.

Taniguchi N. Copper-Catalyzed Monochalcogenation of Terminal Alkyne Using Dichalcogenide Compound via Cleavage of the Dichalcogenide Bond. 福島県立医科大学総合科学教育研究センター紀要. 201910; 8:36-44.

〔その他〕

Taniguchi N, Kitayama K. Zn-catalyzed dihydrosulfenylation of alkynes using thiols (Proceeding of 28th ISOCs). *Phosphorus, Sulfur, and Silicon and the Related Elements*. 201907; 194(7):739-741.

研究発表等

〔研究発表〕

Taniguchi N, Kitayama K. Convenient Synthesis of Dithioacetals via Metal-Catalyzed Dihydrosulfenylation of Alkynes by Thiols. 20th International Symposium on Organometallic Chemistry Directed Towards Organic Synthesis; 20190721-25; Heidelberg, Germany. Abstract. 341.

谷口暢一, 北山健司. ニッケル触媒によるアルキンとチオールからのジチオアセタールの合成. 第99 日本化学会春季年会; 20190316-19; 神戸. 講演要旨集(DVD-ROM). 3H5-04.

谷口暢一. チオスルホナートを用いた非対称ジスルフィドとスルフェンアミドの合成. 第30 回万有仙台シンポジウム; 20190629; 仙台. アブストラクト. 54.

谷口暢一. 酸化的条件下におけるコバルト触媒を用いたアルキンの立体選択的ヨードスルホニル化. 第66 回有機金属化学討論会; 20190914-16; 東京. Abstracts. 90.

谷口暢一, 北山健司. 金属触媒によるラジカル反応を経由したアルキンのジヒドロスルフェニル化. 第116 回有機合成シンポジウム; 20191031-1101; 東京. 講演予稿集. 40.

自然科学講座 分子細胞生物学分野

研究発表等

〔研究発表〕

西山学即, 松岡有樹, 山内清志. ガンギエイ(*Leucoraja erinacea*)トランスサイレチン結晶化条件の検討. 日本動物学会東北支部会; 20190720-21; 盛岡.

二田研人, 五十嵐城太郎, 松岡有樹. 組換えヒトヘモグロビンの作製. 日本動物学会第 90 回大阪大会 2019; 20190912-14; 大阪.

五十嵐城太郎, 松岡有樹. *Candida* 属フラボヘモグロビンの安定性と構造基盤. 第 92 回日本生化学会大会; 20190919; 横浜.

〔招待講演〕

五十嵐城太郎. 一酸化窒素, 一酸化炭素によるヘムタンパク質の機能調節: 翻訳開始因子キナーゼとジグアニル酸シクラーゼについて. 第 32 回生物無機化学夏季セミナー; 20190909-10; 大津.

自然科学講座 数理物質科学分野

論文

〔原 著〕

Sari D, Hiraki K, Nakano T, Hagiwara M, Nozue Y, Kusakawa T, Hori A, Yamamoto A, Watanabe I, Ishii Y. Magnetic study of the lower critical field of organic superconductor λ -(BETS)₂GaCl₄. Materials Science Forum. 201901; 966 MSF:296-301.

生体物質研究部門

論文

〔原著〕

Ogura M, Kikuchi H, Shakespear N, Suzuki T, Yamaki J, Homma MK, Oshima Y, Homma Y. Prenylated quinolinecarboxylic acid derivative prevents neuronal cell death through inhibition of MKK4. *Biochemical Pharmacology*. 201904; 162(4):109-122.

Tanaka M, Osaka T, Homma Y, Hanada K, Okumura K, Tomita H. IQGAP1 activates PLC- δ 1 by direct binding and moving along microtubule with DLC-1 to cell surface. *FASEB BioAdvances*. 201905; 1:465-480.

Tanaka T, Onuma H, Shigihara T, Kimura E, Fukuta Y, Shirasaka N, Moriyama T, Homma Y. Anti-osteoporotic effects of syringic acid and vanilic acid in the extracts of waste beds after mushroom cultivation. *Journal of Bioscience and Bioengineering*. 201911; 128(5):622-629.

Hayashi M, Machida T, Ishida Y, Ogata Y, Omori T, Takasumi M, Endo Y, Suzuki T, Sekimata M, Homma Y, Ikawa M, Ohira H, Fujita T, Sekine H. Role of MASP-3 in the physiological activation of factor D of the alternative complement pathway. *Journal of Immunology*. 201909; 203:1411-1416.

Hata J, Machida T, Matsuoka K, Hoshi S, Akaihata H, Hiraki H, Suzuki T, Ogawa S, Kataoka M, Haga N, Ishibashi K, Homma Y, Sekina H, Kojima Y. Complement activation by autoantigen recognition in the growth process of benign prostatic hyperplasia. *Scientific Reports*. 201912; 9:20357.

研究発表等

〔研究発表〕

Ogura M, Kikuchi H, Shakespear N, Suzuki T, Yamaki J, Homma K, Oshima Y, Homma Y. Prenylated quinolinecarboxylic acid derivative prevents neuronal cell death through inhibition of MKK4. 第 92 回日本薬理学会年会; 20190314-16; 大阪.

Homma MK, Mashiko R, Homma Y. Alterations of intracellular signal transduction system in a rare liver carcinoma. (Oral in English) 第 78 回日本癌学会学術総会; 20190927; 大阪.

細胞科学研究部門

論 文

〔原 著〕

Saito T, Wada I, Inoue N. Sperm IZUMO1-Dependent Gamete Fusion Influences Male Fertility in Mice. *International Journal of Molecular Sciences*. 201909; 20(19):4809.

Hanafusa K, Wada I, Hosokawa N. SDF2-like protein 1 (SDF2L1) regulates the endoplasmic reticulum localization and chaperone activity of ERdj3 protein. *Journal of Biological Chemistry*. 201912; 294(50):19335-19348.

Tanabe Y, Arai S, Wada I, Adachi H, Kamakura T, Yoda K, Noda Y. Svp26 facilitates ER exit of mannosyltransferases Mnt2 and Mnt3 in *Saccharomyces cerevisiae*. *Journal of General and Applied Microbiology*. 201909; 65(4):180-187.

Noda Y, Arai S, Wada I, Yoda K. Both Svp26 and Mnn6 are required for the efficient ER exit of Mnn4 in *Saccharomyces cerevisiae*. *Journal of General and Applied Microbiology*. 201912; 65(5):215-224.

Saito T, Wada I, Inoue N. Alternative splicing of the Izumo1 gene ensures triggering gamete fusion in mice. *Scientific Reports*. 201902; 9(1):3151.

Omae Y, Ito S, Takeuchi M, Isa K, Ogasawara K, Kawabata K, Oda A, Kaito S, Tsuneyama H, Uchikawa M, Wada I, Ohto H, Tokunaga K. Integrative genome analysis identified the KANNO blood group antigen as prion protein. *Transfusion*. 201907; 59(7):2429-2435.

研究発表等

〔研究発表〕

中村亮介, 吉江 進, 勝野達也, 挟間章博, 和田郁夫, 中村達雄, 大森孝一. 蛍光標識による再生気管上皮の線毛運動観察. 第18回日本再生医療学会; 20190321; 神戸.

平田幸大, 松井優人, 和田郁夫, 細川暢子. ライブイメージング法を用いた III 型コラーゲン細胞内輸送メカニズムの解析. 第19回日本蛋白質科学会年会・第71回日本細胞生物学会大会; 20190624; 神戸.

生体機能研究部門

論 文

〔原 著〕

Fukabori R, Iguchi Y, Kato S, Takahashi K, Eifuku S, Tsuji S, Hazama A, Uchigashima M, Watanabe M, Mizuma H, Cui Y, Onoe H, Hikishima K, Yasoshima Y, Osanai M, Inagaki R, Fukunaga K, Nishijo T, Momiyama T, Benton R, Kobayashi K. Enhanced emotional memory retrieval by chemogenetic activation of locus coeruleus norepinephrine neurons. *bioRxiv*. 20191105; doi: <https://doi.org/10.1101/831313>.

Hirata T, Shioi G, Abe T, Kiyonari H, Kato S, Kobayashi K, Mori K, Kawasaki T. A Novel Birthdate-Labeling Method Reveals Segregated Parallel Projections of Mitral and External Tufted Cells in the Main Olfactory System. *eNeuro*. 201911; 6(6):ENEURO.0234-19.2019.

Kikuta S, Iguchi Y, Kakizaki T, Kobayashi K, Yanagawa Y, Takada M, Osanai M. Store-operated calcium channels are involved in spontaneous slow calcium oscillations in striatal neurons. *Frontiers in Cellular Neuroscience-Cellular Neurophysiology*. 201912; 13:547.

Soma S, Yoshida J, Kato S, Takahashi Y, Nonomura S, Sugimura YK, Ríos A, Kawabata M, Kobayashi K, Kato F, Sakai Y, Isomura Y. Ipsilateral-Dominant Control of Limb Movements in Rodent Posterior Parietal Cortex. *Journal of Neuroscience*. 201901; 39(3):485-502.

Kato S, Sugawara M, Kobayashi K, Kimura K, Inoue KI, Takada M, Kobayashi K. Enhancement of the transduction efficiency of a lentiviral vector for neuron-specific retrograde gene delivery through the point mutation of fusion glycoprotein type E. *Journal of Neuroscience Methods*. 201901; 311:147-155.

Sakayori N, Kato S, Sugawara M, Setogawa S, Fukushima H, Ishikawa R, Kida S, Kobayashi K. Motor skills mediated through cerebellothalamic tracts projecting to the central lateral nucleus. *Molecular Brain*. 201902; 12(1):13.

Kamiya A, Hayama Y, Kato S, Shimomura A, Shimomura T, Irie K, Kaneko R, Yanagawa Y, Kobayashi K, Ochiya T. Genetic manipulation of autonomic nerve fiber innervation and activity and its effect on breast cancer progression. *Nature Neuroscience*. 201908; 22(8):1289-1305.

Tanabe S, Uezono S, Tsuge H, Fujiwara M, Miwa M, Kato S, Nakamura K, Kobayashi K, Inoue KI, Takada M. A note on retrograde gene transfer efficiency and inflammatory response of lentiviral vectors pseudotyped with FuG-E vs FuG-B2 glycoproteins. *Scientific Reports*. 201903; 9(1):3567.

Maejima Y, Kato S, Horita S, Ueta Y, Takenoshita S, Kobayashi K, Shimomura K. The hypothalamus to brainstem circuit suppresses late-onset body weight gain. *Scientific Reports*. 201912; 9(1):18360.

研究発表等

〔研究発表〕

Kato S, Fukabori R, Nishizawa K, Okada K, Yoshioka N, Sugawara M, Maejima Y, Shimomura K, Okamoto M, Eifuku S, Kobayashi K. Intralaminar thalamic neuron plays the action selection and flexible behavioral controls. Neuroscience 2019; 20191023; Chicago, USA.

菅原正晃, 加藤成樹, 木村 慧, 井上謙一, 高田昌彦, 小林和人. 融合糖タンパク質 E 型変異体を用いた神経特異的逆行性ウイルスベクターによるマーモセット脳内への遺伝子導入効率の向上. 第 8 回マーモセット研究会; 20190206-07; 東京.

Kato S, Sugawara M, Kobayashi K. Behavioral regulation through molecular genetic manipulation of selective neural circuit. 第 42 回日本神経科学大会; 20190726; 新潟.

加藤成樹, 小林和人. 特定神経標識のための新しいベクター開発とその応用 / Development and application of new type vector for neural circuitry labeling. 第 42 回日本分子生物学会; 20191204; 福岡.

〔シンポジウム〕

Iguchi Y, Kobayashi K. Enhanced retrieval of learned emotional memory by chemogenetic activation of locus coeruleus noradrenergic neurons. Symposium: Diverse Physiological and Pathophysiological Roles in Noradrenergic Neurons; The 19th Annual Meeting of JSNP; 20191011-12; Fukuoka.

加藤成樹, 小林和人. 学習行動の獲得および行動柔軟性を司る神経回路の機能制御. 第 92 回日本薬理学会年会; 20190316; 大阪.

放射性同位元素研究施設

論文

〔原 著〕

Ogura M, Kikuchi H, Shakespear N, Suzuki T, Yamaki J, Homma MK, Oshima Y, Homma Y. Prenylated quinolinecarboxylic acid derivative prevents neuronal cell death through inhibition of MKK4. Biochemical Pharmacology. 201904; 162:109-122.

Sekimata M, Yoshida D, Araki A, Asao H, Iseki K, Murakami-Sekimata A. Runx1 and ROR γ t cooperate to upregulate IL-22 expression in Th cells through its distal enhancer. Journal of Immunology. 201906; 202(11):3198-3210.

Hayashi M, Machida T, Ishida Y, Ogata Y, Omori T, Takasumi M, Endo Y, Suzuki T, Sekimata M, Homma Y, Ikawa M, Ohira H, Fujita T, Sekine H. Cutting edge: Role of MASP-3 in the physiological activation of factor D of the alternative complement pathway. *Journal of Immunology*. 201909; 203(6):1411-1416.

Hata J, Machida T, Matsuoka K, Hoshi S, Akaihata H, Hiraki H, Suzuki T, Ogawa S, Kataoka M, Haga N, Ishibashi K, Homma Y, Sekine H, Kojima Y. Complement activation by autoantigen recognition in the growth process of benign prostatic hyperplasia. *Scientific Reports*. 201912; 9(1):20357.

研究発表等

〔研究発表〕

関亦明子, 推名祐美, 牧野貴大, 関亦正幸. マウス胎児顎下腺(ME-SMG)上皮細胞の無血清培養の試みにおける増殖因子と低分子化合物の検索. 第42回日本分子生物学会年会; 20191203-06; 福岡.

実験動物研究施設

論文

〔原 著〕

Kamitani T, Yamamoto Y, Fukuma S, Ikemoue T, Kimachi M, Shimizu S, Tamamoto S, Otani K, Sekiguchi M, Onishi Y, Takegami M, Ono R, Tamazaki S, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. Association Between the Discrepancy in Self-Reported and Performance-Based Physical Functioning Levels and Risk of Future Falls Among Community-Dwelling Older Adults: The Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). *Journal of the American Medical Directors Association*. 201902; 20(2):195-200.e.1.

Wada E, Fukui M, Takahashi K, Takeuchi D, Hashizume H, Kanamori M, Hosono N, Kanchiku T, Kasai Y, Sekiguchi M, Konno S, Kawakami M, Yonenobu K. Japanese orthopaedic association cervical myelopathy evaluation questionnaire (JOACMEQ): Part 5. Determination of responsiveness. *Journal of Orthopaedic Science*. 201901; 24(1):57-61.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Tomonaga T, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Reference values of the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis and characteristics of deterioration of QOL: Lumbar Spinal stenosis diagnosis support tool: DISTO project. *Journal of Orthopaedic Science*. 201907; 24(4):584-589.

Kimachi K, Kimachi M, Takegami M, Ono R, Yamazaki S, Goto Y, Onichi Y, Sekiguchi M, Otani K, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Level of low back pain-related disability is associated with risk of subsequent falls in an older population: Locomotive syndrome and health outcome in Aizu Cohort Study

(LOHAS). Pain Medicine. 201912; 20(2):2377-2384.

Uranbileg B, Ito M, Kurano M, Saigusa D, Saito R, Uruno A, Kano K, Ileda H, Yamada Y, Sumitani M, Sekiguchi M, Aoki J, Yatomi Y. Alteration of the lysophosphatidic acid and its precursor lysophosphatidylcholine levels in spinal cord stenosis: A study using a rat cauda equina compression model. Scientific Reports. 201911; 9(1):16578.

Kaneuchi Y, Sekiguchi M, Kameda T, Kobayashi Y, Konno S. Temporal and spatial changed of μ -opioid receptors in the brain, spinal cord and dorsal root ganglion in a rat lumbar disc herniation model. Spine. 201901; 44(2):85-95.

土橋 悠, 岡田 綾, 山本裕子, 樋口はづき, 長谷川久美子, 小澤和典, 渡辺慎哉, 片平清昭. 複合型免疫不全マウスを用いた PDX モデルの作製. 実験動物技術. 201912; 54(2):55-62.

片平清昭, 土橋 悠, 小澤和典, 渡辺慎哉. PDX(Patient-derived xenograft)モデル作製のための実験施設. 実験動物技術. 201912; 54(2):63-70.

〔総説等〕

関口美穂, 紺野慎一. 腰痛の解明－脳イメージングを用いて. 別冊整形外科. 201904; 75:20-22.

〔その他〕

Miki K, Ikemoto T, Hayashi K, Arai YC, Sekiguchi M, Shi K, Ushida T. Reply to letter to the editor by Toda. Journal of Orthopaedic Science. 201901; 24(1):190-191.

研究発表等

〔研究発表〕

Sekiguchi M, Nikaido T, Konno S. Development and validation of spine painDETECT questionnaire ～A screening tool for neuropathic pain caused by spinal disorders～. 22nd the Study Group for Nerve and Spine (SGNS); 20190309-10; Tokyo.

Otaki H, Otani K, Sekiguchi M, Watanabe T, Konno S. Comparison of Various Evaluation Methods of Cervical Intervertebral Disc Degeneration by Magnetic Resonance Imaging -Minami Aizu Study-. 5th North-East Spine Surgeons of Tomorrow; 20190525; Fukushima.

Nikaido T, Otani K, Sekiguchi M, Igari T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Relationship between degeneration changes in paraspinal muscle and lumbar spinal stenosis in community. ISSLS 46th Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

大瀧 遥, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. MRI による頸椎椎間板変性の各種評価法の比較. 第 48 回日本脊椎病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

二階堂琢也, 大谷晃司, 関口美穂, 猪狩貴弘, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 富永亮司, 矢吹省司, 紺野慎一. 地域住民における腰部傍脊柱筋と腰部脊柱管狭窄との関係 ―南会津スタディー. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

川田耕司, 鈴木崇斗, 小澤和典, 関口美穂. ガラクトース誘発亜急性老化モデルおよび老化促進モデルマウス SAMP1 における濾胞ヘルパーT 様細胞の数的動態. 第 66 回日本実験動物学会総会; 20190515-17; 福岡.

小澤和典, 土橋 悠, 片平清昭, 渡辺慎哉. PDX(Patient-derived tumor xenograft)モデル作製における X-SCID ラットの有用性. 第 66 回日本実験動物学会総会; 20190515-17; 福岡.

Otaki H, Otani K, Sekiguchi M, Watanabe T, Konno S. Comparison of Various Evaluation Methods of Cervical Intervertebral Disc Degeneration by Magnetic Resonance Imaging. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

大瀧 遥, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. MRI による頸椎椎間板変性の評価―南会津スタディー. 第 17 回整形外科痛みを語る会; 20190720-21; 宇部.

大瀧 遥, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. MRI による腰椎椎間板変性分類法と頸椎椎間板変性分類法の頸椎における比較. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

大瀧 遥, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. 頸椎椎間板変性の MRI による評価と疼痛. 福島運動器疼痛セミナー; 20190921; 福島.

蓬田翔太, 関口美穂, 紺野慎一. ラット髄核留置モデルにおける疼痛関連行動と社会的ストレスとの関与. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1638.

大瀧 遥, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. 頸椎椎間板変性の MRI による各種評価法の再現性の比較. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1646.

平井 亨, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. 地域住民における頸髄圧迫と臨床症状の疫学調査. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1727.

鈴木崇斗, 川田耕司, 小澤和典, 関口美穂. Helicobacter hepaticus 感染事故対応と課題. 第 53 回日本実験動物技術者協会総会; 20191024-26; 松山.

〔シンポジウム〕

小澤和典. X 連鎖重症複合免疫不全症(X-SCID)ラットの新規ウイルス感染症. 第 45 回国立大学法人動物実験施設協議会施設長・教員・技術職員・事務職員合同懇談会; 20190531; 大阪.

関口美穂, 紺野慎一. 運動器疾患の病態を捉えるイメージング 慢性腰痛に対する脳機能画像. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191018-19; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1800.

〔特別講演〕

関口美穂. 慢性腰痛の病態と EBM からみた評価と治療. 札幌市整形外科医会学術講演会; 20190705; 札幌.

関口美穂. 脊椎疾患の神経障害性疼痛を考える ～EBM からみた病態と評価～. 第 3 回北九州運動器カンフェレンス; 20190807; 北九州.

関口美穂. ランチョンセミナー脊椎疾患の長引く痛みの病態は? ―基礎と臨床の融合からのエビデンス―. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191018-19; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1796.

関口美穂. 脊椎疾患に伴う神経障害性疼痛～基礎からの病態と評価のための質問票～. 痛みの治療セミナー in Fukushima; 20191025; 福島.

関口美穂. 脊椎疾患の痛みはどこから? ～その病態と治療選択のための評価～. 第 10 回ペインフォーラムおきなわ; 20191127; 那覇.

教育評価室

研究発表等

〔研究発表〕

Kinoshita L, Goto A, Kashimura M, Nollet KE. Generational Giving: Ensuring the Future of Blood Donation. NICE (National Immunohaematology Continuing Education) 2019; 20191011-13; Adelaide, Australia.

国際被ばく公衆衛生看護学講座

論 文

〔原 著〕

Omori Y, Sorimachi A, Gun-Aajav M, Enkhgerel N, Munkherdene G, Oyunbolor G, Shajbalidir A, Palam E, Yamada C. Gamma dose rate distribution in the Unegt subbasin, a uranium deposit area in Dornogobi Province, southeastern Mongolia. Environmental Science and Pollution Research International. 201911; 26(32):33494-33506.

Kinoshita M, Takeda H, Yamada C, Kumagai T, Kakamu T, Hidaka T, Masuishi Y, Endo S, Hashimoto S, Fukushima T. Characteristics of awareness and behavior of medical staff for prevention of falling accidents

among inpatients. Fukushima Journal of Medical Science. 201904; 65(1):13-23.

山田智恵里. 放射線看護を世界へ発信する モンゴル 1 地区での被ばく・緊急対策確立の過程で地域と個人の健康とレジリエンスを強化する. 日本放射線看護学会誌. 201903; 7(1):50.

著 書・訳 書

森 淑江, 山田智恵里, 正木治恵 編. 看護学テキスト NiCE 国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために. 東京: 南江堂; 201904.

研究発表等

〔研究発表〕

Chiba Y, Yamada C. Survey on Actual Situation and Preparation of Disaster Preparedness at Visiting Nursing Stations. From the Experiences of the Great East Japan Earthquake. 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science - Cooperative wisdom among communities for disaster preparedness and response -. 20190113-14. Fukushima.

Yamada C. An interim report: an action research for community initiative radiation and disaster risk management in Mongolia. 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science - Cooperative wisdom among communities for disaster preparedness and response -. 20190113-14. Fukushima.

大戸 実, 山田智恵里, 大津留晶. 放射線災害に遭遇した福島県内 2 地区の看護師で見られた自主避難決定の要因. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928-29; 福島. 抄録集. 110.

山口真知子, 山田智恵里. 放射線災害 7 年後の福島県中学生の放射線に関する意識と学校での教育・支援の分析. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928-29; 福島. 抄録集. 154.

地域救急医療支援講座

論 文

〔総説等〕

小野寺誠, 織田 順. 質疑応答プロからプロへ 急性中毒患者への適切な初期対応は? 初期対応で安定したあとでも全身状態の変化を見逃さないことが大切. 日本医事新報. 201903; 4953:61.

著 書・訳 書

小野寺 誠. 中毒性疾患 毒キノコ中毒. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2019 年版. 東京: 医学書院; 201901. p.154-155.

研究発表等

〔研究発表〕

Zenda R, Sorimachi K. Extremely emergent transfusion therapy at our emergency outpatient unit including two case reports of full recovery from cardiopulmonary arrest. National Immunohaematology Continuing Education: NICE 2019; 20191013; Adelaide, Australia. Abstract. 79.

全田 史栄, 上野智史, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺 誠, 伊関 憲. 霧視や眼瞼下垂を呈したマムシ咬傷に対し、抗毒素血清投与によりアナフィラキシーショックが生じた 1 例. 第 33 回日本中毒学会東日本地方会; 20190126; 東京. 抄録集. 34.

上野智史, 全田 史栄, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺 誠, 伊関 憲. 初期治療は奏功したが救命し得なかった Septic Pulmonary Embolism の 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P9-3.

武藤憲哉, 佐藤ルブナ, 全田 史栄, 三澤友誉, 反町光太郎, 小野寺 誠, 伊関 憲. 特徴的な神経学的所見から Wernicke-Korsakoff 症候群と診断した 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P22-3.

全田 史栄, 上野智史, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺 誠, 伊関 憲. 消化管穿孔を契機に受診に至った甲状腺クリーゼの 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P41-6.

鈴木 剛, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 塚田泰彦, 小野寺 誠, 伊関 憲. 呼吸不全に対する VV-ECMO 管理中に右心不全を合併し VAV-ECMO へ変更し救命し得た 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190302; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P73-4.

和田 淳, 全田 史栄, 佐藤ルブナ, 伊関 憲. リチウム誘発性腎性尿崩症の 1 例. 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190601; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):357.

原 純子, 全田 史栄, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 小野寺 誠, 伊関 憲. 造影 CT 検査が診断に有用だった無症候性胆嚢炎の 1 例. 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190601; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):358.

佐藤ルブナ, 全田 史栄, 伊関 憲. 成人患者に生じた環軸関節回旋位固定の 1 例. 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190531; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):380.

全田吏栄, 上野智史, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 洗濯用パック型液体洗剤の誤飲により界面活性剤中毒および2次的な呼吸不全を呈した1例. 第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190601; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):390.

反町光太郎, 鈴木 剛, 小野寺誠, 伊関 憲. スキー場におけるドクターヘリ要請事案についての傾向と対策. 第33回日本外傷学会; 20190606; 八戸. 日本外傷学会雑誌. 33(2):207.

鈴木 剛, 上野智史, 反町光太郎, 小野寺誠, 伊関 憲. 当センターにおける重症外傷への超緊急輸血療法の取り組み. 第33回日本外傷学会; 20190607; 八戸. 日本外傷学会雑誌. 33(2):274.

伊関 憲, 反町光太郎, 全田吏栄, 鈴木 剛, 塚田泰彦, 小野寺誠. 急性パラコート中毒治療における問題点. 日本集中治療医学会第3回東北支部学術集会; 20190706; 秋田. プログラム・抄録集. 49.

全田吏栄, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 小野寺誠, 伊関 憲. 造影CT検査を繰り返すことにより診断および手術治療に至った外傷性腸間膜損傷の1例. 日本集中治療医学会第3回東北支部学術集会; 20190706; 秋田. プログラム・抄録集. 51.

上野智史, 佐藤ルブナ, 鈴木 剛, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 救急外来で緊急挿管を行い、後に筋萎縮性側索硬化症と診断された一例. 第33回東北救急医学会総会・学術集会/第29回日本救急医学会東北地方会; 20190706; 仙台. プログラム・抄録集. 77.

三澤友誉, 反町光太郎, 上野智史, 全田吏栄, 佐藤ルブナ, 鈴木 剛, 大野雄康, 小野寺誠, 伊関 憲. 膝周囲骨折後、血流評価を繰り返す行いことで膝窩動脈閉塞を診断し得た一例. 第33回東北救急医学会総会・学術集会/第29回日本救急医学会東北地方会; 20190706; 仙台. プログラム・抄録集. 80.

年名 悠, 小野寺誠, 伊関 憲. 医学部新入学者に一次救命処置教育は必要か? 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 20191003; 東京. 抄録. 638.

反町光太郎, 佐藤ルブナ, 小野寺誠, 伊関 憲. ハチ刺傷症例に対してドクターヘリの対応は利点があるのか. 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 20191004; 東京. 抄録. 720.

佐藤ルブナ, 伊関 憲, 菅谷一樹, 全田吏栄, 反町光太郎, 小野寺誠. 重症低体温症患者の心室細動発症状況の検討. 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 20191004; 東京. 抄録. 749.

上野智史, 塚田泰彦, 全田吏栄, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 小野寺誠, 伊関 憲. 左内頸静脈から中心静脈カテーテルを挿入し、誤留置となった2例. 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 20191004; 東京. 抄録. 848.

〔シンポジウム〕

小野寺誠. 救急医療機関を受診する急性中毒患者に対する救急診療の問題点—精神科医との連携が重要であった症例を経験して—. 第41回日本中毒学会総会・学術集会; 20190720; 川越. プログラム・抄録集. 172.

〔その他〕

鈴木 剛, 菅谷一樹, 上野智史, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 公立大学病院附属救命救急センターと近隣消防におけるピックアップ方式ドクターカー運用の現状と課題. 第 14 回日本病院前救急診療医学会総会・学術集会; 20191208; 富山. 日本病院前救急診療医学会誌. 14(1):44.

地域産婦人科支援講座

論 文

〔原 著〕

Soeda S, Furukawa S, Sato T, Ueda M, Kamo N, Endo Y, Kojima M, Nomura S, Kataoka M, Fujita S, Endo H, Takahashi T, Watanabe T, Yamada H, Fujimori K. Pelvic Exenteration as Potential Cure and Symptom Relief in Advanced and Recurrent Gynaecological Cancer. *Anticancer Research*. 201910; 39(10):5631-5637.

Watanabe T, Nomura S, Kojima M, Furukawa S, Endo H, Saze Z, Ozeki T, Nishiyama H, Kenjo A, Takahashi T, Yamada H, Fujimori K, Soeda S. Surgical management of recurrent gynecological cancer: Complete resection is the key to longer survival. *European Journal of Gynaecological Oncology*. 201901; 40(1):28-35.

Watanabe T, Honma R, Kojima M, Nomura S, Furukawa S, Soeda S, Watanabe S, Fujimori K. Prediction of lymphovascular space invasion in endometrial cancer using the 55-gene signature selected by DNA microarray analysis. *PLOS ONE*. 201909; 14(9):e0223178.

村田強志, 西山 浩, 磯上弘貴, 三瓶 稔, 赤津賢彦, 浅野重之, 本多つよし. 赤血球増多症を呈したエリスロポエチン産生子宮平滑筋腫の 1 例 免疫染色の有用性. 産婦人科の実際. 201903; 68(3):323-326.

小島 学, 加藤麻美, 渡邊健史, 岡部慈子, 佐藤 哲, 三浦秀樹, 植田牧子, 加茂矩士, 大原美希, 野村真司, 鈴木 聡, 古川茂宜, 添田 周, 渡辺尚文, 藤森敬也. 卵巣未熟奇形腫の治療後に発生した Growing Teratoma Syndrome を腹腔鏡下手術で治療した 1 例. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):7-12.

小元敬大, 添田 周, 佐藤 哲, 加茂矩士, 植田牧子, 小島 学, 野村真司, 古川茂宜, 渡辺尚文, 藤森敬也. 化学療法抵抗性となった進行子宮体癌の多発肺転移病変に対して MPA 療法が奏功した一例. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):149-154.

野村真司, 渡辺尚文, 鈴木 理, 加藤麻美, 佐藤 哲, 小島 学, 古川茂宜, 添田 周, 藤森敬也. 直腸内膜炎から発症したと考えられる未分化子宮内膜間質肉腫の 1 例. 福島医学雑誌. 201912; 69(3):197-201.

白河総合診療アカデミー

論 文

〔原 著〕

Takada T, Fukuma S, Yamamoto Y, Shimizu S, Nihata K, Miyashita J, Azuma T, Hayashi M, Fukuhara S. Determinants of incentive preferences for health behavior change in Japan. *Health Promotion International*. 201908; 34(4):760-769.

Kataoka Y, Ikegaki S, Kato D, Takada T, Tsujimoto Y, Sasaki S, Takahashi S. Scholarly Activity Support Systems in Internal Medicine Residency Programs: A National Representative Survey in Japan. *Internal Medicine*. 201907; 58(13):1859-1864.

Omae K, Yamamoto Y, Kurita N, Takeshima T, Naganuma T, Takahashi S, Ohnishi T, Ito F, Yoshioka T, Fukuhara S. Gait speed and overactive bladder in the healthy community-dwelling super elderly: The Sukagawa Study. *Neurourology and Urodynamics*. 201911; 38(8):2324-2332.

Miyashita J, Yamamoto Y, Shimizu S, Aoki T, Azuma T, Takada T, Hayashi M, Kimachi M, Ikenoue T, Fukuma S, Fukuhara S. Association between social networks and discussions regarding advance care planning among Japanese older adults. *PLOS ONE*. 201903; 14(3):e0213894.

Takayama A, Takeshima T, Nakashima Y, Yoshidomi T, Nagamine T, Kotani K. A comparison of single breathing cycle time measurement with 15 second quadruple. *Respiratory Care*. 201905; 64(5):555-563.

肺高血圧先進医療学講座

論 文

〔原 著〕

Yokokawa T, Ichimura S, Hijioka N, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Suzuki O, Ohno S, Aiba T, Ohtani H, Takeishi Y. Case reports of a c.475G>T, p.E159* lamin A/C mutation with a family history of conduction disorder, dilated cardiomyopathy and sudden cardiac death. *BMC Cardiovascular Disorders*. 2019; 19(1):298.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Kanno Y, Abe S, Misaka T, Yamada S, Kaneshiro T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Circulating acetoacetate is associated with poor prognosis in heart failure patients. *International Journal of Cardiology Heart & Vasculture*. 2019; 25:100432.

Yokokawa T, Sugimoto K, Nakazato K, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Electrocardiographic criteria of right ventricular hypertrophy in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension after balloon pulmonary angioplasty. *Internal Medicine*. 2019; 58(15):2139-2144.

Uekita H, Ishibashi T, Shiomi M, Koyama H, Ohtsuka S, Yamamoto H, Yamagishi S, Inoue H, Itabe H, Sugimoto K, Kamioka M, Ohkawara H, Wada I, Takeishi Y. Integral role of receptor for advanced glycation end products (RAGE) in nondiabetic atherosclerosis. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2019; 65(3):109-121.

Sato Y, Yoshihisa A, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Low T3 syndrome is associated with high mortality in hospitalized patients with heart failure. *Journal of Cardiac Failure*. 2019; 25(3):195-203.

Misaka T, Yoshihisa A, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Sugimoto K, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Plasma levels of melatonin in dilated cardiomyopathy. *Journal of Pineal Research*. 2019; 66(4):e12564.

Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Sato Y, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Prior history and incidence of cancer impacts on cardiac prognosis in hospitalized patients with heart failure. *Circulation Journal*. 2019; 83(8):1709-1717.

Yoshihisa A, Misaka T, Kanno Y, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Takeishi Y. Prognostic impact of restless legs syndrome on patients with heart failure. *International Heart Journal*. 2019; 60(5):1098-1105.

Yokokawa T, Kunii H, Kaneshiro T, Ichimura S, Yoshihisa A, Yashiro-Furuya M, Asano T, Nakazato K, Ishida T, Migita K, Takeishi Y. Regressed coronary ostial stenosis in a young female with Takayasu arteritis: a case report. *BMC Cardiovascular Disorders*. 2019; 19(1):79.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Senescence marker protein 30 deficiency exacerbates pulmonary hypertension in hypoxia-exposed mice. *International Heart Journal*. 2019; 60(6):1430-1434.

Yoshihisa A, Yokokawa T, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Sugimoto K, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Soluble neprilysin does not correlate with prognosis in pulmonary hypertension. *ESC Heart Failure*. 2019; 6(2):291-296.

Nehashi T, Oikawa M, Amami K, Kanno Y, Yokokawa T, Misaka T, Yamada S, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Sporadic cardiac amyloidosis by amyloidogenic transthyretin V122I variant. *International Heart Journal*. 2019; 60(6):1441-1443.

Kiko T, Sato T, Yokokawa T, Misaka T, Takeishi Y. Subacute constrictive pericarditis postcardiac surgery

evaluated by ^{18}F -fluorodeoxyglucose positron emission tomography/magnetic resonance imaging. *Circulation: Cardiovascular Imaging*. 2019; 12(11):e009764.

Yokokawa T, Sugimoto K, Yoshihisa A, Goto T, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The fibrosis-4 index is useful for predicting mortality in patients with pulmonary hypertension due to left heart disease. *International Heart Journal*. 2019; 60(5):1147-1153.

Kimishima Y, Yoshihisa A, Kiko T, Yokokawa T, Miyata-Tatsumi M, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Utility of B-type natriuretic peptide for detecting cardiac involvement in immunoglobulin amyloidosis. *International Heart Journal*. 2019; 60(5):1106-1112.

研究発表等

〔研究発表〕

Yokokawa T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Breath and skin acetone in cardiovascular diseases. 2019 XXIII ISHR World Congress; 20190603-06; Beijing, China.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Minakawa K, Sugimoto K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 2019 XXIII ISHR World Congress; 20190603-06; Beijing, China.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Kanno Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Acetoacetate is associated with poor prognosis in heart failure patients. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. *Circulation*. 140(Suppl 1):A10079.

Sato Y, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Atrial fibrillation is associated with impaired exercise capacity and adverse prognosis in heart failure patients with mid-range ejection fraction. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. *Circulation*. 140(Suppl 1):A10199.

Sato Y, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Benzodiazepine is associated with adverse prognosis in heart failure patients with insomnia. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. *Circulation*. 140(Suppl 1):A10198.

Abe S, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical implications of hepatic hemodynamic evaluation by ultrasonography in patients with heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. *Circulation*. 140(Suppl 1):A10769.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi

A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical implications of intrarenal hemodynamic evaluation by ultrasonography in patients with heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10799.

Misaka T, Yoshihisa A, Niimura Y, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Sato T, Kobayashi A, Takeishi Y. Clinical utility of pulse-transit-time for continuous blood pressure monitoring in patient with sleep disordered breathing. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10106.

Kanno Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Sato Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Comparisons of clinical features and prognosis of heart failure patients with reduced ejection fraction between Japanese women and men. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A12789.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. Janus activating kinase 2 V617F mutation promotes hypoxia induced pulmonary hypertension in mice. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10084.

Sato Y, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic factors in heart failure patients with cardiac cachexia. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10197.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Ando T, Kiko T, Shimizu T, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Residual ginsini score is associated with long term cardiac mortality in patients with ischemic heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10075.

Abe S, Yoshihisa A, Kimishima Y, Sato Y, Kanno Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. TRACP5b is associated with high mortality in hospitalized patients with heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10789.

Minakawa K, Ueda K, Nakajima O, Yokokawa T, Kimishima Y, Misaka T, Ogawa K, Ikezoe T, Takeishi Y, Ikeda K. Knock-ins of type-2 calr mutants cause myeloproliferative neoplasm (MPN)-like hematopoiesis in mice. 61st ASH Annual Meeting and Exposition; 20191207-10; Orlando, Florida, USA. Blood. 134(Suppl 1):2964.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of circulating cardiomyocyte-specific cell-free DNA in patients with heart failure. Cardiovascular and Metabolic Week 2019: International Society for Heart Research (ISHR), The 36th Annual Meeting of the Japanese Section; 20191214-15; Kobe.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. Cardiovascular and Metabolic Week 2019: International Society for Heart Research (ISHR), The 36th Annual Meeting of the Japanese Section; 20191214-15; Kobe.

横川哲朗, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Associations of soluble neprilysin with cardiac function and outcome in patients with hypertrophic cardiomyopathy. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Kimishima Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Sato Y, Kiko T, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Change in left ventricular ejection fraction and its impact on prognosis in heart failure patients with mid-range ejection fraction. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

一條靖洋, 義久精臣, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Characteristics and outcomes of heart failure patients with mid-range left ventricular ejection fraction. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Kimishima Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Sato Y, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Characteristics and outcomes of recovered left ventricular ejection fraction in heart failure patients with reduced ejection fraction. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

及川雅啓, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Characteristics and outcomes of worsening left ventricular ejection fraction in heart failure patients with preserved ejection fraction. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Endothelin-1 upregulates activin receptor-like kinase-1 (ALK-1) expression through Gi-RhoA dependent pathway in human pulmonary arterial endothelial cells. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Kanno Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Sato Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Impact of gastro-intestinal bleeding on the later prognosis in patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

佐藤 悠, 義久精臣, 君島勇輔, 喜古崇豊, 菅野優紀, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. Low T3 syndrome is associated with high mortality and impaired exercise capacity in hospitalized patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Sato Y, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Plasma levels of melatonin in dilated and hypertrophic cardiomyopathies. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

一條靖洋, 義久精臣, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Prior history and incidence of cancer impacts on cardiac prognosis in hospitalized patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

菅野優紀, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic impact of periodic leg movements during sleep on patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

三阪智史, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic impact of restless legs syndrome on patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Oikawa M, Yokokawa T, Misaka T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Red cell distribution width is a predictor of cardiac troponin I elevation after anthracycline treatment. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Sugimoto K, Yoshihisa A, Nakazato K, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Relationship between treatment effect of riociguat and methemoglobin in patients with pulmonary hypertension. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

新村裕子, 義久精臣, 横川哲朗, 三阪智史, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己, 竹石恭知. 睡眠時無呼吸症候群患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性に関する検討. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

中里和彦, 天海一明, 喜古崇豊, 菅野優紀, 山田慎哉, 及川雅啓, 杉本浩一, 竹石恭知. 治療に難渋している combined post- and pre-capillary PH の一例. 第 4 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20190621-22; 浜松.

三阪智史, 義久精臣, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 杉本浩一, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. Plasma levels of melatonin in dilated cardiomyopathy. 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会; 20190627-28; 名古屋.

新村裕子, 義久精臣, 横川哲朗, 三阪智史, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己, 竹石恭知. 睡眠時無呼吸症候群患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性に関する検討. 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会; 20190627-28; 名古屋.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第 3 回日本循環器学会基礎研究フォーラム

△(The 3rd JCS Council Forum on Basic CardioVascular Research); 20190906-08; 東京.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Ishida T, Takeishi Y. Significance of circulating cell-free DNA in patients with heart failure. 第3回日本循環器学会基礎研究フォーラム(The 3rd JCS Council Forum on Basic CardioVascular Research); 20190906-08; 東京.

及川雅啓, 横川哲朗, 三阪智史, 小林 淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 赤血球容積粒度分布幅によるアントラサイクリン化学療法誘発性トロポニンI値上昇の予測. 第67回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

中村裕一, 根橋 健, 大原妃美佳, 横川沙代子, 三浦俊輔, 横川哲朗, 竹石恭知. 急性心筋梗塞患者における Geriatric Nutritional Risk Index の検討. 第28回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋.

及川雅啓, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 小林 淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 赤血球容積粒度分布幅によるアントラサイクリン化学療法誘発性心筋障害の予測. 第2回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20190921-22; 旭川.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical impact of circulating melatonin in dilated cardiomyopathy. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of restless legs syndrome in heart failure patients. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Kanno Y, Yoshihisa A, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Ishida T, Takeishi Y. Comparisons of prognosis with periodic leg movements during sleep in heart failure patients. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Yoshihisa A, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Prior history and incidence of cancer impacts on cardiac prognosis in patients with heart failure. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Oikawa M, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Red blood cell distribution width is a predictor of cardiac troponin I elevation after anthracycline treatment. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Sato Y, Kanno Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Soluble neprilysin is not associated with mortality in patients with pulmonary hypertension. 第23

回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

千葉直貴, 中村裕一, 片平正隆, 根橋 健, 横川沙代子, 三浦俊輔, 横川哲朗, 山口佳子, 鈴木 聡. トランスサイレチン型心アミロイドーシスの一例. 第 168 回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡.

八重樫大輝, 神雄一郎, 石田隆史, 渡邊俊介, 横川哲朗, 脇岡奈保子, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. 心臓カテーテル検査による放射線被ばくの DNA 損傷とサイトカイン発現に及ぼす影響—患者と術者における検討. 第 168 回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡.

三阪智史, 義久精臣, 新村裕子, 横川哲朗, 竹石恭知. 睡眠時無呼吸症候群患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性. 第 3 回 PTT 血圧・SAS 研究会; 20190615; 東京.

横川哲朗, 市村祥平, 金城貴士, 義久精臣, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 鈴木 理, 大野聖子, 相庭武司, 大谷 弘, 竹石恭知. Cases of a c.475G>T, p.E159* lamin A/C mutation with dilated cardiomyopathy and sudden cardiac death. 第 5 回日本心筋症研究会; 20190713; 札幌.

三阪智史, 義久精臣, 佐藤 悠, 喜古崇豊, 君島勇輔, 菅野優紀, 横川哲朗, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Urinary N-terminal fragment of titin predicts mortality in patients with dilated cardiomyopathy. 第 5 回日本心筋症研究会; 20190713; 札幌.

横川哲朗, 義久精臣, 三阪智史, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 肥大型心筋症における血中ネプリライシン濃度の検討. 第 6 回 iHF フォーラム; 20190803-04; 東京.

横川哲朗, 義久精臣, 三阪智史, 石田隆史, 竹石恭知. 超高齢心不全患者の特徴. 脳心血管抗加齢研究会 2019; 20191220-21; 東京. Anti-aging Science. 11(1):62.

坂本和哉, 及川雅啓, 佐久間真悠, 杉本浩一, 中里和彦, 竹石恭知. 周産期の心拍数コントロールに難渋した Senning 術後の一症例. 日本成人先天性心疾患学会第 21 回成人先天性心疾患セミナー; 20191109; 仙台.

脇岡奈保子, 石田隆史, 神雄一郎, 横川哲朗, 及川雅啓, 竹石恭知, 菊田 敦, 佐野秀樹. 小児がん経験者の心血管機能および動脈硬化リスク. 第 1 回福島 Onco-Cardiology 研究会; 20190315; 福島.

君島勇輔, 三阪智史, 横川哲朗, 杉本浩一, 皆川敬治, 石田隆史, 池田和彦, 竹石恭知. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第 476 回福島医学会学術研究会; 20190523; 福島.

生活習慣病・慢性腎臓病(CKD)病態治療学講座

論文

〔原著〕

Saito H, Tanaka K, Fujiwara M, Iwasaki T, Numata T, Oda A, Kanno M, Tanaka M, Eiro M, Satoh M, Kazama JJ. Pathological findings of progressive renal involvement in a patient with TAFRO syndrome. CEN Case Reports. 2019; 8(4):239-245.

Okada H, Yasuda Y, Kashihara N, Asahi K, Ito T, Kaname S, Kanda E, Kanno Y, Shikata K, Shibagaki Y, Tsuchiya K, Tsuruya K, Nagata D, Narita I, Nangaku M, Hattori M, Hamano T, Fujimoto S, Moriyama T, Yamagata K, Yamamoto R, Wakasugi M, Ashida A, Ashida A, Usui J, Kawamura K, Kawamura K, Kitamura K, Konta T, Suzuki Y, Tsuruoka S, Nishio S, Fujii N, Fujii H, Wada T, Yokoyama H, Aoki K, Akiyama D, Araki S, Arima H, Ishikawa E, Ishikura K, Ishizuka K, Ishimoto T, Ishimoto Y, Iseki K, Itabashi M, Ichioka S, Ichikawa K, Ichikawa D, Inoue S, Imai T, Imamura H, Iwata Y, Iwazu Y, Usui T, Uchida K, Egawa M, Ohara S, Omori N, Okada R, Okuda Y. Essential points from Evidence-based Clinical Practice Guidelines for Chronic Kidney Disease 2018. Clinical and Experimental Nephrology. 2019; 23(1):1-15.

Hirai H, Asahi K, Yamaguchi S, Mori H, Satoh H, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Watanabe T, Shimabukuro M. New risk prediction model of coronary heart disease in participants with and without diabetes: Assessments of the Framingham risk and Suita scores in 3-year longitudinal database in a Japanese population. Scientific Reports. 2019; 9(1):2813.

Kudo A, Asahi K, Satoh H, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Watanabe T, Shimabukuro M. Fast eating is a strong risk factor for new-onset diabetes among the Japanese general population. Scientific Reports. 2019; 9(1):8210.

研究発表等

〔研究発表〕

岩崎麻里子, 下地桐子, 武田光樹, 五十嵐彩華, 田辺隼人, 鴻野央征, 金成文平, 尾形絵美, 山崎 聡, 菅谷芳幸, 平井裕之, 待井典剛, 工藤明宏, 田中健一, 旭 浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 歩行速度が低下した糖尿病患者の臨床的特徴. 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190510; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):453.

平井裕之, 旭 浩一, 山口 怜, 森 博隆, 佐藤博亮, 井関邦敏, 守山敏樹, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 藤元昭一, 成田一衛, 今田恒夫, 近藤正英, 柴垣有吾, 笠原正登, 渡辺 毅, 島袋充生, 厚労科研「特定健診による個人リスク評価に基づく保健指導と連結した効果的な CKD 地域医療連携システムの制度設計」. 特定健診における糖尿病参加者の冠動脈疾患発症モデル (フラミンガムスコア及び吹田スコア) についての検討. 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190511; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):480.

齋藤 悠, 大橋裕子, 佐藤柳子, 下地桐子, 五十嵐彩華, 田辺隼人, 金成文平, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 尾形絵美, 山崎 聡, 菅谷芳幸, 待井典剛, 平井裕之, 工藤明宏, 田中健一, 旭 浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 2 型糖尿病患者の慢性腎臓病と肝線維化マーカーFIB4 index の関わり. 第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20190524; 仙台. 糖尿病. 62(Suppl.1):S-199.

田辺隼人, 大橋裕子, 佐藤柳子, 下地桐子, 齋藤 悠, 五十嵐彩華, 金成文平, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 尾形絵美, 山崎 聡, 菅谷芳幸, 待井典剛, 平井裕之, 工藤明宏, 田中健一, 旭 浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 真の糖尿病発症時期の明瞭さと臨床像の関連. 第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20190525; 仙台. 糖尿病. 62(Suppl.1):S-316.

金成文平, 工藤明宏, 下地桐子, 齋藤 悠, 五十嵐彩華, 田辺隼人, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 尾形絵美, 山崎 聡, 菅谷芳幸, 待井典剛, 平井裕之, 田中健一, 旭 浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 糖尿病薬剤数と臨床データの実態. 第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20190525; 仙台. 糖尿病. 62(Suppl.1):S-324.

田中健一, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 青柳佳子, 菅野真理, 風間順一郎. 染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKR)に対するトルバプタンの腎容積増大抑制効果の検討. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 20190621; 名古屋.

齋藤浩孝, 田中健一, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 菅野真理, 島袋充生, 旭 浩一, 渡辺 毅, 風間順一郎. キサンチンオキシダーゼ阻害薬は透析導入前 CKD の心疾患リスク減少と関連する. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 20190621; 名古屋.

岩崎剛史, 田中健一, 齋藤浩孝, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 小針英理, 青柳佳子, 菅野真理, 島袋充生, 旭 浩一, 渡辺 毅, 風間順一郎. 糖尿病性腎症患者における腎予後と尿蛋白の関連について. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 20190622; 名古屋.

小田 朗, 田中健一, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 中島 彩, 青柳佳子, 菅野真理, 島袋充生, 旭 浩一, 渡辺 毅, 風間順一郎. proton pump inhibitors(PPD)内服と CKD 患者の腎予後との関連. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 20190622; 名古屋.

小田 朗, 田中健一, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 中島 彩, 青柳佳子, 菅野真理, 島袋充生, 旭 浩一, 渡辺 毅, 風間順一郎. ポリファーマシーと CKD 患者の予後との関連. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 20190622; 名古屋.

江尻博紀, 藤原もも子, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 小田 朗, 中島 彩, 菅野真理, 風間順一郎. サンゴ状結石に腸腰筋膿瘍、化膿性脊椎炎を合併した慢性腎不全患者の一例. 第 49 回日本腎臓学会学東部学術大会; 20191004; 東京.

藤原もも子, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 菅野真理, 田中健一, 風間順一郎. 血管炎との鑑別に苦慮した感染関連腎炎の一例. 第 49 回日本腎臓学会学東部学術大会; 20191004; 東京.

齋藤浩孝, 岩崎剛史, 沼田徳太郎, 小田 朗, 中島 彩, 青柳佳子, 菅野真理, 田中健一, 風間順一郎. 抗 GBM 抗体と MPO-ANCA が共陽性であった急速進行性糸球体腎炎の一例. 第 49 回日本腎臓学会学東部学術大会; 20191004; 東京.

齋藤 悠, 田辺隼人, 待井典剛, 佐藤柳子, 大橋裕子, Maimaituxun Gulinu, 下地桐子, 五十嵐彩華, 金成文平, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 平井裕之, 工藤明宏, 田中健一, 旭 浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 2 型糖尿病患者における慢性腎臓病と肝線維化指標 FIB4 index の関連. 第 40 回日本肥満学会・第 37 回日本肥満症治療学会学術集会; 20191103; 東京. 肥満研究. 25(Suppl.):304.

東白川整形外科アカデミー

論 文

〔原 著〕

Otoshi K, Kikuchi S, Kato K, Kaneko Y, Mashiko R, Sato R, Igari T, Kaga T, Konno S. Sufficient duration of off-season decreases elbow disorders in elementary school-aged baseball players. Journal of Shoulder and Elbow Surgery. 201906; 28(6):1098-1103.

兼子陽太, 加藤欽志, 猪狩貴弘, 増子遼介, 紺野慎一, 大歳憲一, 加賀孝弘, 沼崎広法, 嶋原智彦, 鈴木秀基, 今野裕樹. 高校野球選手の運動器の疼痛が睡眠に与える影響. 日本臨床スポーツ医学会誌. 201911; 27(4):S193.

研究発表等

〔研究発表〕

猪狩貴弘, 大歳憲一, 兼子陽太, 増子遼介, 佐藤亮平, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 紺野慎一. 成長期野球選手における運動器の痛みとストレス反応の関係. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

猪股洋平, 高橋直人, 遠藤康二郎, 高橋洋子, 立石 琢, 矢吹省司. 運動器慢性痛に対し多職種による入院型集学的痛み治療により奏功した 1 例. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190622; 盛岡.

加賀孝弘, 兼子陽太, 増子遼介, 佐藤亮平, 猪狩貴弘, 宋戸裕章, 紺野慎一. 70 歳以上の上腕骨近位端骨折に対する人工骨頭置換術の治療成績. 第 46 回日本肩関節学会; 20191025-26; 長野.

兼子陽太, 加藤欽志, 猪狩貴弘, 増子遼介, 紺野慎一, 大歳憲一, 加賀孝弘, 沼崎広法, 嶋原智彦, 鈴木秀基, 今野裕樹. 高校野球選手の運動器の疼痛が睡眠に与える影響. 第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

嶋原智彦, 猪狩貴弘, 今野裕樹, 鈴木秀基, 加賀孝弘, 兼子陽太, 加藤欽志, 沼崎広法, 大歳憲一, 紺野慎一. 福島県における高校野球選手に対するサポート 第 3 報. 第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 兼子陽太, 増子遼介, 嶋原智彦, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 紺野慎一. 高校野球選手における尺骨神経脱臼の有病割合と尺骨神経障害との関連. 第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

疼痛医学講座

論文

〔原 著〕

Yabuki S, Ip AKK, Tam CK, Murakami T, Ushida T, Wang JH, Shin HK, Sun WZ, Williamson OD. Evidence-based recommendations on the pharmacological management of osteoarthritis and chronic low back pain: An Asian consensus. Asian Journal of Anesthesiology. 201906; 57(2):37-54.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Tominaga R, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S; DISTO project working group. Reference values of the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis and characteristics of deterioration of QOL: Lumbar Spinal Stenosis Diagnosis Support Tool: DISTO project. Journal of Orthopaedic Science. 201907; 24(4):584-589.

Kawamata M, Iseki M, Kawakami M, Yabuki S, Sasaki T, Ishida M, Nishiyori A, Hida H, Kikuchi S. Efficacy and safety of controlled-release oxycodone for the management of moderate-to-severe chronic low back pain in Japan: results of an enriched enrollment randomized withdrawal study followed by an open-label extension study. Journal of Pain Research. 201901; 12:363-375.

Takahashi N, Takatsuki K, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary pain management program for patients with chronic musculoskeletal pain in Japan: a cohort study. Journal of Pain Research. 201908; 12:2563-2576.

岩崎 稔, 高橋直人, 二瓶健司, 笠原 諭, 矢吹省司. テーマ新時代への挑戦: 日本人にあったチーム医療、集学的治療、慢性痛に対する運動療法の自己管理法. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 201910; 11(3):295-302.

高橋直人, 矢吹省司. 入院による集学的治療におけるリハビリテーション診療の意義. Monthly Book Medical Rehabilitation. 201911; 242:68-76.

高橋直人, 笠原 諭, 矢吹省司. 運動器慢性痛に対する集学的痛み治療 ―入院型ペインマネジメントプログラム―. PAIN RESEARCH. 201903; 34(1):44-56.

高橋直人. 【患者さんが笑顔で過ごせるために あなたが解決! 痛みとしびれ みんなの対応法を一挙公開!】 周術期の痛みとしびれ対策 周術期の看護師のかかわり. 整形外科看護. 201908; 24(8):783-786.

半田隼一, 矢吹省司. 加齢に伴う運動器の変化と理学療法 加齢に伴う腰椎の変化 1. 理学療法. 2019;12:36(12):1129-1138.

著 書・訳 書

矢吹省司. 腰痛症. In: 泉 孝英 編. ガイドライン外来診療 2019. 東京: 日経メディカル開発; 2019. p.267-272.

矢吹省司. 腰痛、背部痛. In: 伴信太郎, 山本和利 編. 内科学書 改訂第 9 版 Vol.1. 東京: 中山書店; 2019. p.442-445.

矢吹省司. 四肢痛. In: 伴信太郎, 山本和利 編. 内科学書 改訂第 9 版 Vol.1. 東京: 中山書店; 2019. p.445-447.

研究発表等

〔研究発表〕

Nikaido T, Otani K, Sekiguchi M, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Characteristics of neuropathic pain due to lumbar spine disorders: Relationship with recognition of pain, psychiatric problems, and HR-QoL. 46th ISSLS Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Takahashi N, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary pain management program for the patients with chronic low back pain Japan. 46th ISSLS Annual Meeting; 20190703-08; Kyoto.

Kobayashi H, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Handa J, Otani K, Yabuki S, Konno S. Surgical outcome of posterior minimally invasive surgery using spinal instruments for pelvic ring injury. 19th Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery; 20190807-11; Suzhou, China.

國島麻実子, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 転移性髄内腫瘍の治療経験—1 例報告—. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

二階堂琢也, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎外科レジストリの成果と今後の課題. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

結城拓也, 大谷晃司, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎砂時計腫術後 15 年で頸椎砂時計腫を発症した 1 例. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

二階堂琢也, 大谷晃司, 関口美穂, 猪狩貴弘, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 地域住民における傍脊柱筋の脂肪変性と腰部脊椎管狭窄との関係—南会津スタディ—. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):545.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 矢吹省司, 紺野慎一. 足 10 秒テストを用いた腰仙椎部疾患における下肢運動機能の定量評価—第 2 報: 術後 5 年フォローアップによる経時的変化の検討—. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手の腰痛—メディカルサポートは有用か—. 第 48 回日本脊椎椎髓病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

二階堂琢也, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎疾患による神経障害性疼痛の特徴—痛みの認知, 心理的問題, QOL との関係—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(2):S122.

大谷晃司, 菊地臣一, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 一般住民における腰部脊柱管狭窄症と腰痛との関係—南会津スタディより—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

小林 洋, 大谷晃司, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 10 秒テストと握力を用いた頸髓症スクリーニングツールの開発—利き手と左右差を用いたスコアリングシステム—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

二階堂琢也, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎疾患による神経障害性疼痛の特徴—痛みの認知, 心理的問題, QOL との関係—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 骨粗鬆症性椎体骨折偽関節に対する手術療法—平成における当科の治療法の返還—. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

猪股洋平, 高橋直人, 遠藤康二郎, 高橋洋子, 立石 琢, 矢吹省司. 運動器慢性痛に対し多職種による入院型集学的痛み治療により奏功した 1 例. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190622; 盛岡.

高橋直人, 久保 均, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 集学的痛み治療を受けた運動器慢性痛患者における MR スペクトロコピーを用いた網羅的解析. 第 41 回日本疼痛学会; 20190712; 名古屋.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 野球選手における腰痛の診断と治療. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

加藤欽志, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 椎間関節性腰痛の診断と治療. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 足 10 秒テストを用いた腰仙椎部疾患における下肢運動機能の定量評価—第 2 報: 術後 5 年フォローアップによる経時的変化の検討—. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手における腰痛調査の結果から. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 慢性腰痛に対する

リエゾンアプローチ. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

高橋直人, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 慢性腰痛に対する集学的痛み治療—入院型ペインマネジメントプログラム後の追跡調査—. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913; 神戸.

高橋直人, 久保 均, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 集学的痛み治療を受けた運動器慢性痛患者における MR スペクトロスコピーを用いた網羅的解析. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017; 横浜.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. アスリートにおける腰椎椎間関節障害の診断. 第 22 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会; 20191128-29; 高松.

戸田 亘, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤浩, 紺野慎一, 矢部博興. 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術集会; 20191128-30; 福島. 臨床神経生理学. 47(5):448.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 紺野慎一. 慢性腰痛の診断と治療—集学的治療の現状と課題—. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術大会; 20191128-29; 福島.

高橋直人, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 運動器慢性痛の誘因の有無が入院型ペインマネジメントプログラムの効果に及ぼす影響. 第 12 回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S62.

岩崎 稔, 高橋直人, 大内美穂, 二瓶健司, 恩田 啓, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 強直性脊椎炎による安静時仙腸関節痛に対し体幹筋力向上トレーニングが奏功した症例. 第 12 回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S106.

二瓶健司, 高橋直人, 松平 浩, 岩崎 稔, 大内美穂, 恩田 啓, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 第 4 腰椎変性すべり症による神経根障害に対し水中運動療法が奏功した一例. 第 12 回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S106.

高橋直人, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 運動器慢性痛の誘因の有無が入院型ペインマネジメントプログラムの効果に及ぼす影響. 第 11 回日本運動器疼痛学会; 20191201; 東京.

〔シンポジウム〕

二階堂琢也, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 福島県における脊椎外科手術レジストリの現状. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台. 東北整形災害外科学会雑誌. 62(1):201.

二階堂琢也, 矢吹省司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 大谷晃司, 紺野慎一. 頸椎疾患に対する脊椎内視鏡と O-arm ナビゲーション併用手術の有用性. 第 68 回東日本整形災害外科学会; 20190905; 東京. 東日本整形災害外科学会雑誌. 31(3):241.

二瓶健司, 高橋直人, 松平 浩, 岩崎 稔, 春山祐樹, 大内美穂, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 慢性腰痛治療に対する多職種アプローチ—慢性腰痛に対する多職種での集学的治療における運動療法の実践—. 第 27 回日本腰痛学会;

20190914; 兵庫.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 増子博文, 矢部博興, 紺野慎一. 疼痛と神経科学 慢性腰痛の診断と治療 集学的アプローチの現状と課題. 第 49 回日本臨床神経生理学会学術集会; 20191128; 福島. 臨床神経生理学. 47(6):349.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 野球選手の脊椎障害に対するメディカルサポート. 第 138 回西日本整形・災害外科学会学術集会; 20191130-1201; 佐賀. 整形外科と災害外科. 68(2):35.

周産期・小児地域医療支援講座

論 文

〔原 著〕

Go H, Ohto H, Nollet KE, Kashiwabara N, Ogasawara K, Chishiki M, Miyazaki K, Sato K, Sato M, Kawasaki Y, Momoi N, Hosoya M. Perinatal Factors Affecting Coagulation Parameters at Birth in Preterm and Term Neonates: A Retrospective Cohort Study. *American Journal of Perinatology*. 201912; 36(14):1464-1470.

Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Abe M; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. The effect of the Great East Japan Earthquake on hypertensive disorders during pregnancy: a study from the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine*. 20190401; doi: 10.1080/14767058.2019.1594763.

Soeda S, Kyozuka H, Kato A, Fukuda T, Isogami H, Wada M, Murata T, Hiraiwa T, Yasuda S, Suzuki D, Yamaguchi A, Hasegawa O, Nomura Y, Jimbo M, Takahashi T, Watanabe T, Mizunuma H, Fujimori K. Establishing a Treatment Algorithm for Puerperal Genital Hematoma Based on the Clinical Findings. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201910; 249(2):135-142.

安田 俊, 水沼英樹. 【妊娠・授乳と骨・カルシウム代謝】妊娠・授乳と骨・カルシウム代謝. *Clinical Calcium*. 201901; 29(1):19-26.

〔症例報告〕

渡邊涼介, 知識美奈, 佐藤賢一, 柏原祥曜, 宮崎恭平, 清水裕美, 小笠原啓, 郷 勇人, 佐藤真紀, 桃井伸緒. 胎児母体間輸血症候群を契機に胎盤内絨毛癌の診断に至った 1 女児例. *日本産婦人科・新生児血液学会誌*. 201905; 29(1):29-30.

地域整形外科支援講座

論 文

〔原 著〕

Kameda T, Zvick J, Vuk M, Sadowska A, Tam WK, Leung VY, Bölskei K, Helyes Z, Applegate LA, Hausmann ON, Klasen J, Krupkova O, Wuertz-Kozak K. Expression and Activity of TRPA1 and TRPV1 in the Intervertebral Disc: Association with Inflammation and Matrix Remodeling. *International Journal of Molecular Sciences*. 201904; 20(7):1767.

Kawasaki Y, Ejiri S, Hakozaki M, Konno S. Impaired Extension of the Digits due to Bilateral Idiopathic Intrinsic Contracture: A Case Report. *Journal of Hand Surgery Asian-Pacific Volume*. 201909; 24(3):383-385.

Kameda T, Ejiri S, Yokota T, Konno S. Restoration of Elbow Flexion with a Pedicled Latissimus Dorsi Myocutaneous Flap to a Brachial Plexus Injury at the Terminal Nerve Level. *Plastic and Reconstructive Surgery*. 201910; 7(10):e2472.

Kaneuchi Y, Sekiguchi M, Kameda T, Kobayashi Y, Konno S. Temporal and Spatial Changes of μ -Opioid Receptors in the Brain, Spinal Cord and Dorsal Root Ganglion in a Rat Lumbar Disc Herniation Model. *Spine*. 201901; 44(2):85-95.

岩津 潤, 笹島功一, 相澤利武, 安永 亨, 江尻莊一, 松澤 岳. 肩峰基部骨折を来した濃化異骨症の1例. *東北整形災害外科学会雑誌*. 201906; 62(1):68-70.

畑下 智, 江尻莊一, 川上亮一, 高橋洋子, 小林義尊, 紺野慎一. 特発性手根管症候群に対する奥津法(1-portal)とChow法(2-portal)の短期治療成績の比較. *日本手外科学会雑誌*. 201901; 35(4):625-628.

畑下 智, 川上亮一, 江尻莊一, 紺野慎一, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑. 四肢の主幹動脈損傷に対する temporary intravascular shunt を用いた治療戦略. *日本マイクロサージャリー学会会誌*. 201903; 32(1):18-24.

研究発表等

〔研究発表〕

亀田拓哉, 江尻莊一, 横田武尊, 紺野慎一. 舟上骨折偽関節に対する遊離腸骨移植と血管柄付き第2中手骨基部移植術(牧野法)の併用によるDISI矯正効果の検討. 第62回日本手外科学会学術集会; 20190418-19; 札幌.

秋山優人, 江尻莊一, 亀田拓哉, 横田武尊, 紺野慎一. 両肘頭の難治性皮膚潰瘍に対して骨切除と局所回転皮弁を行ったWerner症候群の1例. 第116回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

横田武尊, 江尻莊一, 安永 亨, 亀田拓哉, 紺野慎一. 内側開大型高位脛骨骨切り術の感染性偽関節に対して創

外固定器を用いた Masquelet 法を行った 1 例. 第 68 回東日本整形災害外科学会; 20190905-06; 東京.

外傷学講座

論 文

〔原 著〕

Harada S, Teramoto T, Takaki M, Asahara T, Katoh N, Takenaka N, Matsushita T. Ankle joint reconstruction by circular frame external fixator for a severely comminuted and contaminated open tibial pilon fracture (AO 43-C3.3). Case report. Trauma Case Report. 201910; 23:100234.

三宮将典, 衣笠清人, 西井幸信, 高田直樹, 西田一也, 寺本 司. 内側型変形性膝関節症に対する脛骨顆外反骨切り術の 2 年以上の治療成績. JOSKAS. 201903; 44(1):86-87.

西井幸信, 寺本 司, 衣笠清人, 三宮将典. 腓骨外果部の形態と足関節骨性不安定性の検討. JOSKAS. 201904; 44(2):524-525.

松下 隆. 日本版 二次骨折予防のための骨折リエゾンサービス(FLS)クリニカルスタンダード公表 高齢者の脆弱性骨折の課題を克服するために 骨折リエゾンサービス(FLS)の可能性. Therapeutic Research. 201907; 40(7):521-523.

西井幸信, 寺本 司, 衣笠清人, 竹中信之, 西田一也, 浅原智彦, 高木基行, 原田将太. ポリオ後遺症のある内反凹足を伴った変形性足関節症に対する骨切り術による治療. 日本足の外科学会雑誌. 201908; 40(1):326-330.

松下 隆. 骨折の一次予防ならびに二次予防に向けて 脆弱性骨折の適切な治療と二次骨折予防. 日本骨粗鬆症学会雑誌. 201911; 5(4):735-738.

西井幸信, 衣笠清人, 寺本 司, 岡田 博, 藤原麻美. 距骨圧潰に対して創外固定による後足部関節固定を行った 2 例. 日本創外固定・骨延長学会雑誌. 201903; 30:21-29.

〔総説等〕

加藤成隆, 松下 隆. 【整形外傷治療における新基軸(innovation)】(Part2)下肢 盲目的に使用されている SFN(Short Femoral Nail)を駆逐する! 大腿骨転子部骨折治療における OLHS(Oblique Locking Hip Screw)の実力. Bone Joint Nerve. 201907; 9(3):341-346.

〔その他〕

平泉 裕, 新井貞男, 橋口兼久, 池上博泰, 岩瀬嘉志, 小森博達, 松下 隆, 中川照彦, 中村 尚, 志波直人, 高平尚伸, 種市 洋, 土谷一晃, 山縣正庸. 【知れば役立つ整形外科と保険診療の関係】日本整形外科学会

社会保険等委員会の活動について. Orthopaedics. 201907; 32(7):49-55.

竹中信之. 【知れば役立つ整形外科と保険診療の関係】日本骨折治療学会社会保険等委員会の活動について. Orthopaedics. 201907; 32(7):57-59.

大塚和孝, 寺本 司. 【足関節果部骨折の診断と治療の最新アップデート】足関節果部骨折変形癒合・後遺障害に対する治療. 関節外科. 201904; 38(4):420-427.

高木基行, 竹中信之, 松下 隆. 術後感染の治療戦略 骨折治療編 (第 11 回) 大腿骨感染性偽関節に対する骨再建 Bone transport 法. 整形外科 Surgical Technique. 201902; 9(1):105-111.

原田将太, 竹中信之. 若手整形外科医のための創外固定基本テクニック 仮骨延長法の手技 Uni-lateral 型 (単支柱型) 創外固定器を用いた仮骨延長法. 整形外科 Surgical Technique. 201902; 9(1):120-124.

原田将太, 竹中信之. 若手整形外科医のための創外固定基本テクニック 仮骨延長法の手技 Hexapod システムを用いた Ilizarov 法 (仮骨延長変形矯正) の実際. 整形外科 Surgical Technique. 201906; 9(3):370-378.

原田将太, 松下 隆. 【大腿骨転子部骨折 もう怖くない不安定型の手術テクニック】手術法解説 不安定型骨折に対する新しい Sliding Hip Screw オブリーク・ロッキング・ヒップ・スクリューを用いた手術手技. 整形外科 Surgical Technique. 201908; 9(4):438-445.

松下 隆. 【骨粗鬆症診療の進歩: 2019】整形外科医から見た骨粗鬆症における脆弱性骨折の予防と治療の現状. 日本老年医学会雑誌. 201904; 56(2):130-135.

研究発表等

〔研究発表〕

Takaki M, Harada S, Asahara T, Katoh N, Takenaka N, Sakuma H, Saginoya T, Kubota K, Teramoto T, Matsushita T. Optimal SUV cutoff values in 18F-FDG-PET/CT of osteomyelitis aiming for image guided surgery. 20th European Congress of Trauma & Emergency Surgery; 20190505-07; Prague, Czech Republic.

Takenaka N, Otsuka K, Teramoto T, Asahara T, Katoh N, Harada S, Takaki M, Matsushita T. The Lateral Reconstruction of the ankle joint complicated with the Shortening and Deformity of the Distal Fibula and also the instability of the ankle joint related to trauma and Osteochondral Lesion. 20th European Congress of Trauma & Emergency Surgery; 20190505-07; Prague, Czech Republic.

Teramoto T, Takenaka N, Otsuka K, Asahara T, Katoh N, Harada S, Takaki M, Matsushita T. Surgical procedure and usefulness of Distal Tibial Oblique Osteotomy (DTOO) treated for the malunion and the traumatic varus ankle osteoarthritis. 20th European Congress of Trauma & Emergency Surgery; 20190505-07; Prague, Czech Republic.

Matsushita T. SIMPLE, PRECISE & PATIENT-FRIENDLY METHOD FOR LIMB LENGTHENING. 2019 Japan-Taiwan Orthopedic Symposium; 20190516-19; Taipei, Taiwan.

Harada S. Clinical results of the Teramoto Distal Tibial Oblique Osteotomy (DToo) for severe ankle osteoarthritis with varus deformity. L'AFCP 2019; 20190516-18; Rennes, France.

Takenaka N. Traumatic osteoarthritis and the malunion of the ankle joint treated by the Teramoto Distal Tibial Oblique Osteotomy (DToo). L'AFCP 2019; 20190516-18; Rennes, France.

Teramoto T, Harada S, Asahara T, Takenaka N, Nishii Y. The Teramoto distal tibial oblique osteotomy (DToo): surgical technique and applicability for ankle osteoarthritis with varus deformity. L'AFCP 2019; 20190516-18; Rennes, France.

Matsushita T. Chipping Technique for Nonunion and Deformity Correction. OTC FOUNDATION LEADERSHIP FORUM 2019; 20190621; Amsterdam, Netherlands.

Harada S, Teramoto T. Teramoto distal tibial oblique osteotomy (DToo) and tibial condylar valgus osteotomy (TCVO) Surgical technique and applicability for ankle osteoarthritis with varus deformity. 4th Combined Congress of the ASAMI-BR & ILLRS Societies; 20190827-30; Liverpool, UK.

Katoh N. WALKING ABILITY OF ELDERLY PATIENTS IS MAINTAINED BY EARLY WEIGHT BEARING UNDER EXTERNAL FIXATOR IN TIBIA PLATEAU FRACTURE. 4th Combined Congress of the ASAMI-BR & ILLRS Societies; 20190827-30; Liverpool, UK.

Matsushita T. CHIPPING TECHNIQUE FOR NONUNION WITH/WITHOUT DEFORMITY. 4th Combined Congress of the ASAMI-BR & ILLRS Societies; 20190827-30; Liverpool, UK.

Matsushita T. ILIZAROV HIP RECONSTRUCTION USING A UNILATERAL EXTERNAL FIXATOR. 4th Combined Congress of the ASAMI-BR & ILLRS Societies; 20190827-30; Liverpool, UK.

Matsushita T. MATSUSHITA CHIPPING METHOD. 4th Combined Congress of the ASAMI-BR & ILLRS Societies; 20190827-30; Liverpool, UK.

Takenaka N, Takaki M, Katoh N, Harada S, Asahara T, Teramoto T, Matsushita T. NOVEL SEARCHING METHOD OF SUV CUTOFF VALUE OF 18F-FDG PET/CT FOR ACCURATE POSITIONING OF OSTEOMYELITIS. 4th Combined Congress of the ASAMI-BR & ILLRS Societies; 20190827-30; Liverpool, UK.

Teramoto T. DISTAL TIBIA OBLIQUE OSTEOTOMY(DToo) FOR OSTEOARTHRITIS OF ANKLE JOINT. 4th Combined Congress of the ASAMI-BR & ILLRS Societies; 20190827-30; Liverpool, UK.

Teramoto T. TERAMOTO DISTAL TIBIAL OBLIQUE OSTEOTOMY. 4th Combined Congress of the ASAMI-BR & ILLRS Societies; 20190827-30; Liverpool, UK.

Teramoto T. TERAMOTO TIBIAL CONDYLAR VALGUS OSTEOTOMY. 4th Combined Congress of the ASAMI-BR & ILLRS Societies; 20190827-30; Liverpool, UK.

Teramoto T. TIBIAL CONDYLE VALGUS OSTEOTOMY(TCVO) FOR OSTEOARTHRITIS OF KNEE JOINT. 4th Combined Congress of the ASAMI-BR & ILLRS Societies; 20190827-30; Liverpool, UK.

Asahara T, Teramoto T, Harada S, Takaki M, Takenaka N. Distal Tibial Oblique Osteotomy using Anterior approach. 7th TRIENNIAL ASIAN FEDERATION OF FOOT AND ANKLE SURGEONS; 20191011-12; Bangkok, Thailand.

Harada S. The Teramoto distal tibial oblique osteotomy (DToo): surgical technique and applicability for ankle osteoarthritis with varus deformity. 7th TRIENNIAL ASIAN FEDERATION OF FOOT AND ANKLE SURGEONS; 20191011-12; Bangkok, Thailand.

Takenaka N, Teramoto T, Asahara T, Harada S, Katoh N. The Lateral Stabilization of the Ankle Joint Treated by Fibula Reconstruction. 7th TRIENNIAL ASIAN FEDERATION OF FOOT AND ANKLE SURGEONS; 20191011-12; Bangkok, Thailand.

Teramoto T. Surgical techniques and applicability for ankle osteoarthritis with valgus deformity: Teramoto distal tibial oblique osteotomy (DToo), distal tibial intra-articular osteotomy (DTIO). 7th TRIENNIAL ASIAN FEDERATION OF FOOT AND ANKLE SURGEONS; 20191011-12; Bangkok, Thailand.

Takenaka N. The Application and Development of Ilizarov Technology in Japan. 1st "The Road and Belt" International Forum for Limb Deformity Correction and rehabilitation Technique Aids; 20191025-27; Weifang, China.

Teramoto T. Intra-articular Deformity correction of foot and ankle (DToo). 1st "The Road and Belt" International Forum for Limb Deformity Correction and rehabilitation Technique Aids; 20191025-27; Weifang, China.

Teramoto T. Intra-articular Deformity correction of Knee (TCVO). 1st "The Road and Belt" International Forum for Limb Deformity Correction and rehabilitation Technique Aids; 20191025-27; Weifang, China.

高木基行. 上腕骨と大腿骨の新鮮骨折の LIPUS 照射部位に超音波検査でターゲティングを行った症例の治療成績について. 第 22 回超音波骨折治療研究会; 20190119; 東京.

寺本 司. 人工足関節の、理論と、手術法手技の関連と将来の展望. 第 78 回長崎イリザロフ研究会; 20190223; 長崎.

加藤成隆, 高木基行, 原田将太, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. bone transport 中の皮膚トラブルは皮下ワイヤーで防げる. 第 32 回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田.

加藤成隆, 高木基行, 原田将太, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 骨髓炎の治療の再建法—根治的切除と仮骨延長法—. 第 32 回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田.

加藤成隆, 高木基行, 森 圭介, 原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 寺本 司, 松下 隆. 皮膚欠損に対し変形

により閉創しえた下腿開放骨折の1例. 第32回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. Fibrous dysplasia(FD)による高度下肢変形に対し内固定と創外固定を駆使した二期的変形矯正で加療した1例. 第32回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田.

松下 隆. Unilateral Fixator を用いた患者に優しい 精確な骨延長・変形矯正法. 第32回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田.

浅原智彦, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 開放性踵骨・足根関節骨脱臼骨折の治療経験. 第32回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田.

浅原智彦, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 外傷性足関節症に対する骨切り術. 第32回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田.

竹中信之. 変形矯正の考え方と実際 (コンピューター支援骨形態制御術を中心に). 第32回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田.

高木基行, 原田将太, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 外傷後足部短断端に対する断端延長術. 第32回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田.

竹中信之. 高齢者大腿骨近位部骨折早期手術・早期リハの必要性 ―二次骨折予防の重要性―. 第7回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会; 20190310; 福島.

浅原智彦. インプラント周辺骨折. 第8回黒潮整形外傷カンファレンス; 20190330; 高知.

高木基行, 竹中信之, 原田将太, 浅原智彦, 加藤成隆, 鷺野谷利幸, 窪田和雄, 寺本 司, 松下 隆. 四肢骨髓炎に対する四肢 FDG-PET/CT 所見は病理組織学的所見と一致するか. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

寺本 司, 原田将太, 高木基行, 浅原智彦. 外反型変形性足関節症に対する関節内骨切り術と新しい分類法の試み. 第106回長崎整形外科懇話会; 20190608; 長崎.

加藤成隆, 原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. Oblique Locking Hip Screw で固定した大腿骨転子部骨折患者の超早期歩行能力について. 第45回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡.

加藤成隆, 高木基行, 原田将太, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 高齢者脛骨高原骨折では術後早期荷重により歩行能力は維持される. 第45回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 外傷性足関節症に対する足関節周囲骨切り術の臨床成績. 第45回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡.

浅原智彦, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 足関節果部骨折後外傷性関節症に対する手術治療. 第45回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡.

高木基行, 原田将太, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. リスフラン関節脱臼骨折に対する鋼線固定. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡.

寺本 司, 原田将太, 高木基行, 浅原智彦. 小児の成長と進化から考えた歩行時の下肢の回旋. 第 58 回日本小児股関節研究会; 20190628-29; 長崎.

松下 隆. 外傷とロコモティブシンドローム. 第 31 回日本運動器科学会; 20190706-07; 岡山.

原田将太, 森本麻美, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 治療に難渋し複数回手術を要した脛腓骨遠位部粉碎骨折後偽関節の 1 例. 第 25 回日本運動器再建・イリザロフ法研究会; 20190907; 金沢.

浅原智彦, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 幼少期大腿骨遠位部骨折後に生じた大腿骨短縮及び大腿骨遠位関節内変形の一例. 第 25 回日本運動器再建・イリザロフ法研究会; 20190907; 金沢.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 3b 期と 4 期内反型変形性足関節症に対する遠位脛骨斜め骨切り術の臨床成績. 第 44 回日本足の外科学会学術集会; 20190926-27; 札幌.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 内反型変形性足関節症に対する内側設置型 locking plate を用いた遠位脛骨骨切り術の留意点. 第 44 回日本足の外科学会学術集会; 20190926-27; 札幌.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 踵骨骨折変形癒合に合併した下腿三頭筋不全の病態と治療. 第 44 回日本足の外科学会学術集会; 20190926-27; 札幌.

寺本 司, 原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 大塚和孝, 田代宏一郎, 西井幸信, 衣笠清人. 外反型変形性足関節症のタイプ別分類と手術方法との関係. 第 44 回日本足の外科学会学術集会; 20190926-27; 札幌.

浅原智彦, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 前方アプローチによる遠位脛骨斜め骨切り術. 第 44 回日本足の外科学会学術集会; 20190926-27; 札幌.

高木基行, 原田将太, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本 司, 松下 隆. 足関節・足部骨髓炎に対する FDG-PET/CT の有用性. 第 44 回日本足の外科学会学術集会; 20190926-27; 札幌.

高木基行, 竹中信之, 原田将太, 浅原智彦, 加藤成隆, 佐久間秀夫, 鷺野谷利幸, 窪田和雄, 寺本 司, 松下 隆. 骨髓炎病巣範囲決定のための FDG-PET/CT の至適 SUV 値の検討. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

寺本 司. %MA25%から 50%の変形性膝関節症に対する TCVO の注意点. 第 81 回長崎イリザロフ研究会; 20191221; 長崎.

松下 隆. 創外固定の歴史と難治骨折への応用. 第 81 回長崎イリザロフ研究会; 20191221; 佐世保.

寺本 司. 足関節の骨性支持機能の再建方法と新しい分類方法. 第 82 回長崎イリザロフ研究会; 20191228; 長崎.

〔シンポジウム〕

松下 隆. 術直後から全荷重負荷可能なデバイス OLHS (オブリーク) –あなたの手術は全例荷重制限なしで歩行訓練できますか–. 第 7 回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会; 20190308-10; 郡山.

松下 隆. 脆弱性骨折の適切な治療と二次骨折予防. 第 61 回日本老年医学会学術集会; 20190606-07; 仙台.

加藤成隆. FFN-Japan National Hip Fracture Database の必要性. 第 21 回日本骨粗鬆症学会・第 37 回日本骨代謝学会; 20191011-14; 神戸.

〔特別講演〕

松下 隆. 脆弱性骨折治療にはなぜ老年病医との連携が必要なのか. 第 3 回システム加齢医学セミナー; 20190206; 東京.

竹中信之. 難治骨折の診断と治療–イリザロフ法を中心として–. 郡山整形外科医会学術講演会; 20190223; 郡山.

寺本 司. 遠位脛骨斜め骨きり術(DTOO)の基本コンセプト–変形性膝関節症に対する TCVO との比較–. 第 33 回近畿足の外科症例検討会; 20190302; 大阪.

松下 隆. イリザロフ法とチップング法を駆使した難治骨折の治療. 第 30 回兵庫県骨折治療研究会; 20190413; 神戸.

松下 隆. チップング法を駆使した難治骨折の治療. 鹿児島県整形外科セミナー; 20190530; 鹿児島.

松下 隆. 骨粗鬆症に伴う脆弱性骨折の理想的な治療と二次骨折予防. 第 44 回南大阪骨折研究会; 20191005; 大阪.

松下 隆. チップング法による偽関節と変形の治療. 会津整形外科医会学術講演会; 20191030; 会津若松.

松下 隆. 創外固定器との出会いとその難治骨折治療への応用の歴史. 第 10 回秋田県足の外科・創外固定研究会; 20191130; 秋田.

〔その他〕

寺本 司. 変形矯正の基礎. 第 6 回黒潮イリザロフ法セミナー; 20190209; 高知.

竹中信之. 足関節周囲の創外固定法. 第 6 回黒潮イリザロフ法セミナー; 20190209; 高知.

松下 隆. 運動器外傷治療のビジョンとミッション. 第 19 回日本運動器看護学会学術集会; 20190608-09; 横浜.

消化器内視鏡先端医療支援講座

論 文

〔原 著〕

Hikichi T, Kikuchi H, Watanabe K, Nakamura J, Hashimoto M, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Sato Y, Irie H, Ohira H, Obara K. Usefulness of spraying L-menthol for endoscopic border diagnosis of EARLY gastric cancer: Verification by color difference. *Gastrointestinal Endoscopy*. 201906; 89(6):AB162.

Ohfuji S, Furuichi Y, Akahoshi T, Kage M, Obara K, Hshizume M, Matsuura T, Fukushima W, Nakamura Y. Japanese preiodical nationwide epidemiologic survey of aberrant portal hemodynamics. *Hepatology Research*. 2019; 49:890-901.

著 書・訳 書

Obara K. Chapter 20 Endoscopic Treatment of Esophageal Varices: Selection of Treatment Method. In: Obara K editor. *Clinical Investigation of Portal Hypertension*. Singapore: Springer Singapore; 201902. p.221-234.

Obara K. Chapter 21 Endoscopic Treatment of Esophageal Varices: Obara Method. In: Obara K editor. *Clinical Investigation of Portal Hypertension*. Singapore: Springer Singapore; 201902. p.235-244.

Obara K. Chapter 25 Endoscopic Treatment of Esophageal Varices: Consolidation Method Following Ethanolamine Oleate-Aethoxysklerol Combination Therapy. In: Obara K editor. *Clinical Investigation of Portal Hypertension*. Singapore: Springer Singapore; 201902. p.265-274.

Obara K. Chapter 35 Endoscopic Treatment of Gastric Varices: α -Cyanoacrilate Monomer Method. In: Obara K editor. *Clinical Investigation of Portal Hypertension*. Singapore: Springer Singapore; 201902. p.347-357.

Obara K. Chapter 37 Hemodynamics and Treatment of Eptopic Varices. In: Obara K editor. *Clinical Investigation of Portal Hypertension*. Singapore: Springer Singapore; 201902. p.365-379.

スポーツ医学講座

論文

〔原 著〕

Otoshi K, Kikuchi S, Kato K, Kaneko Y, Mashiko R, Sato R, Igari T, Kaga T, Konno S. Sufficient duration of off-season decreases elbow disorders in elementary school-aged baseball players. *Journal of Shoulder and Elbow Surgery*. 201906; 28(6):1098-1103.

園部 樹, 小平俊介, 吉田勝浩, 沼崎広法, 紺野慎一. 大腿骨骨幹部前面に生じた外骨腫に合併した反復性膝蓋骨脱臼の1例. *東北関節研究会会誌*. 201907; 28:3-6.

加賀孝弘, 大歳憲一, 加藤欽志, 増子遼介, 佐藤亮平, 猪狩貴弘, 沼崎広法, 紺野慎一. 陳旧性上腕骨内側上顆下端障害が高校野球選手の肘内側障害の発症に与える影響. *日本臨床スポーツ医学会誌*. 201901; 27(1):41-46.

兼子陽太, 加藤欽志, 猪狩貴弘, 増子遼介, 紺野慎一, 大歳憲一, 加賀孝弘, 沼崎広法, 嶋原智彦, 鈴木秀基, 今野裕樹. 高校野球選手の運動器の疼痛が睡眠に与える影響. *日本臨床スポーツ医学会誌*. 201911; 27(4):S193.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 加藤欽志, 紺野慎一. 【スポーツ障害評価・治療の新たな手法】スポーツ障害の評価 アスリートの心理ストレス その実態と評価法. *臨床スポーツ医学*. 201901; 36(1):48-51.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 加賀孝弘, 穴戸裕章, 紺野慎一, 伊藤恵康, 古島弘三, 古賀龍二. 成長期野球選手における上肢神経障害の有病割合. *臨床整形外科*. 201908; 54(8):805-810.

研究発表等

〔研究発表〕

猪狩貴弘, 大歳憲一, 紺野慎一. 上腕骨近位端骨折遷延治療に対する体外衝撃波治療—1例報告—. 第46回生体電気・物理刺激研究会; 20190309; 福島.

加藤欽志, 大歳憲一, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 紺野慎一. 野球選手における腰椎終末期分離の存在は競技生活に影響するのか? 第48回日本脊椎椎髓病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手の腰痛—メディカルサポートは有用か—. 第48回日本脊椎椎髓病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 兼子陽太, 増子遼介, 佐藤亮平, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 紺野慎一. 成長期野球選手における運動器の痛みとストレス反応の関係. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

渡邊和之, 大歳憲一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手に対するメディカルサポートの有用性の検討. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

吉田勝浩, 小平俊介, 沼崎広法, 紺野慎一. Ramp lesion に対する FasT-Fix を用いた縫合術の治療成績. 第 11 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会; 20190613-15; 札幌.

渡邊和之, 大歳憲一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手に対するメディカルサポートの有用性の検討—足関節捻挫を減らせるか—. 第 45 回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会; 20190830-31; 大阪.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 野球選手における腰痛の診断と治療. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手における腰痛調査の結果から. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

加賀孝弘, 兼子陽太, 増子遼介, 佐藤亮平, 猪狩貴弘, 矢野裕章, 紺野慎一. 70 歳以上の上腕骨近位端骨折に対する人工骨頭置換術の治療成績. 第 46 回日本肩関節学会; 20191025-26; 長野.

加藤欽志, 大歳憲一, 紺野慎一. プロ野球選手における腰椎集末期分離の存在は腰痛による競技離脱を増加させるか? 第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

兼子陽太, 加藤欽志, 猪狩貴弘, 増子遼介, 紺野慎一, 大歳憲一, 加賀孝弘, 沼崎広法, 嶋原智彦, 鈴木秀基, 今野裕樹. 高校野球選手の運動器の疼痛が睡眠に与える影響. 第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

嶋原智彦, 猪狩貴弘, 今野裕樹, 鈴木秀基, 加賀孝弘, 兼子陽太, 加藤欽志, 沼崎広法, 大歳憲一, 紺野慎一. 福島県における高校野球選手に対するサポート 第 3 報. 第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

大戸明文, 嶋原智彦, 三澤辰也, 猪狩貴弘, 今野裕樹, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 大歳憲一, 紺野慎一. 高校野球選手の睡眠障害と生活環境との関係. 第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

猪狩貴弘, 大歳憲一, 兼子陽太, 増子遼介, 嶋原智彦, 加賀孝弘, 加藤欽志, 沼崎広法, 紺野慎一. 高校野球選手における尺骨神経脱臼の有病割合と尺骨神経障害との関連. 第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

渡邊和之, 大歳憲一, 榎村孝憲, 津田清美, 紺野慎一. 小中学生バスケットボール選手に対するメディカルチェック—足関節捻挫の受傷年齢と超音波検査所見の検討. 第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20191116-17; 横浜.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. アスリートにおける腰椎椎間関節障害の診断. 第 22 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会; 20191128-29; 高松.

〔シンポジウム〕

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 野球選手の脊椎障害に対するメディカルサポート. 第 138 回西日本整形・災害外科学会学術集会; 20191130-1201; 佐賀. 整形外科と災害外科. 68(2):35.

外傷再建学講座

論 文

〔原 著〕

畑下 智, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 高橋洋二郎, 新田夢鷹, 川上亮一, 紺野慎一. 踵骨骨折の外側壁腓脛隆に対する bone tamper 整復法. 骨折. 201902; 41(1):224-229.

佐藤俊介, 畑下 智, 伊藤雅之, 川上亮一, 紺野慎一. 足関節果部骨折における Syndesmosis Instability の直視下定量評価法. 骨折. 201906; 41(3):1043-1046.

畑下 智, 江尻莊一, 川上亮一, 高橋洋子, 小林義尊, 紺野慎一. 特発性手根管症候群に対する奥津法(1-portal)と Chow 法(2-portal)の短期治療成績の比較. 日本手外科学会雑誌. 201901; 35(4):625-628.

佐藤俊介, 畑下 智, 伊藤雅之, 川上亮一, 紺野慎一. Variable Angle Locking Hand Plate を使用した手指 PIP 関節背側脱臼骨折の治療—2 例報告—. 日本手外科学会雑誌. 201901; 35(4):729-733.

畑下 智, 川上亮一, 江尻莊一, 紺野慎一, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑. 四肢の主幹動脈損傷に対する temporary intravascular shunt を用いた治療戦略. 日本マイクロサージャリー学会会誌. 201903; 32(1):18-24.

著 書・訳 書

畑下 智, 川上亮一. 第 3 章 総論 膝部の血管解剖と再建法. In: 工藤俊哉 編. 局所皮弁 第 3 巻 下肢・足. 東京: 克誠堂出版; 201904. p.60-63.

畑下 智, 川上亮一. 第 3 章 各論 1 膝蓋部: 腓腹筋弁. In: 工藤俊哉 編. 局所皮弁 第 3 巻 下肢・足. 東京: 克誠堂出版; 201904. p.64-67.

研究発表等

〔研究発表〕

Ito M, Sato T, Shinden Y, Sato S, Mashiko R, Mizuno Y, Suzuki T, Hatashita S. To develop artificial

intelligence to measure the amount of displacement of fractures: we devised a manual method to quantify fracture displacement using 3D CT images. International Society of Orthopaedic Surgery and Traumatology (SICOT) 40th Orthopaedic World Congress; 20191204-07; Muscat, Oman.

伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 畑下 智. 寛骨臼骨折後の人工股関節置換術. 第 49 回日本人工関節学会; 20190215-16; 東京. プログラム・抄録集. 451.

畑下 智, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 高橋洋二郎, 新田夢鷹. 四肢骨折急性期症例に対する初期創外固定と内固定への conversion. 第 32 回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田. プログラム・抄録集. 155.

川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 紺野慎一, 畑下 智. Chipping Corrective Osteotomy の治療経験. 第 32 回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301; 秋田.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋佑, 鈴木敏之, 伊藤雅之, 川上亮一, 紺野慎一. 超高齢者の Pilon 骨折に対する段階的 MATILDA 法—1 例報告—. 第 32 回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田.

伊藤雅之, 畑下 智, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 新田夢鷹. 大腿骨近位部骨折 術前 術後の転位量変化. 第 13 回日本 CAOS 研究会; 20190307-08; 京都.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋佑, 鈴木敏之, 伊藤雅之. 術中に肺塞栓症を発症した Pilon 骨折の 1 例. 第 24 回救急整形外傷シンポジウム(EOTS); 20190322-23; 北谷町.

増子遼介, 伊藤雅之, 畑下 智, 佐藤俊介, 水野洋佑. 踵骨骨折に対し、大本法を施行した症例の検討. 第 24 回救急整形外傷シンポジウム(EOTS); 20190322-23; 北谷町.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋佑, 伊藤雅之, 川上亮一, 紺野慎一. 橈骨遠位端骨折手術後の機能成績には精神医学的問題評価が関係する—BS-POP による検討—. 第 62 回日本手外科学会学術集会; 20190418-19; 札幌. 日本手外科学会雑誌. 36(1): O47-3.

畑下 智, 伊藤雅之, 川上亮一, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 高橋洋二郎, 新田夢鷹, 紺野慎一. 橈骨遠位端骨折後の早期握力回復は可能か? 第 62 回日本手外科学会学術集会; 20190418-19; 札幌. 日本手外科学会雑誌. 36(1):P11-4.

堀金 尚, 佐藤真理子, 渡邊謙治, 畑下 智. 橈骨遠位端骨折術後の早期握力回復に向けたプロトコールの検討. 第 31 回日本ハンドセラピー学会学術集会; 20190419-20; 札幌.

畑下 智, 伊藤雅之, 川上亮一, 朝熊英也, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 紺野慎一. 小児大腿骨骨幹部骨折の牽引治療は回旋変形や過成長に注意する必要がある—牽引群と手術群の比較検討—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

畑下 智, 川上亮一, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑. GustiloIII B/C 下腿開放骨折は、確定的 debridement と orthoplastic approach により適切に治療され得る. 第 33 回日本外傷学会総会学術大会; 20190606-07; 八戸. 日本外傷学会雑誌. 33(2):202.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋祐, 伊藤雅之. 骨短縮を施行した上腕開放骨折 Gustilo IIIC の 1 例. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

増子遼介, 伊藤雅之, 畑下 智, 佐藤俊介, 水野洋祐. 鎖骨骨折に伴う胸郭出口部の腋窩動脈損傷に対する緊急手術の 1 例. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

増子遼介, 伊藤雅之, 畑下 智, 佐藤俊介, 水野洋祐. 大腿骨転子下骨折髓内釘固定時の工夫—スモールプレートによる選考固定について. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡. 骨折. 41(Suppl.):S106.

増子遼介, 伊藤雅之, 畑下 智, 佐藤俊介, 水野洋祐. 踵骨骨折に対し、大本法を施行した症例の検討. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡. 骨折. 41(Suppl.):S125.

水野洋祐, 伊藤雅之, 鈴木敏之, 佐藤俊介, 増子遼介, 畑下 智. 外傷再建センター専属麻酔科医師赴任後の大腿骨近位部骨折に対する治療効果の検討. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡. 骨折. 41(Suppl.):S184.

畑下 智, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋祐, 鈴木敏之, 川上亮一, 朝熊英也. 小児大腿骨骨幹部骨折の長期経過. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡. 骨折. 41(Suppl.):S374.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋祐, 伊藤雅之, 川上亮一, 紺野慎一. 当センターにおける大腿骨複合骨折の治療. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡. 骨折. 41(Suppl.):S386.

川前恵史, 箱崎道之, 山田 仁, 金内洋一, 紺野慎一. 骨端線閉鎖前に大腿骨二次性軟骨肉腫を生じた多発性骨軟骨腫瘍. 第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学会; 20190711-12; 川越.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋祐, 伊藤雅之. ショートディスクッション 1 骨短縮を施行した上腕骨開放骨折 Gustilo IIIC の 1 例. 第 6 回日本重度四肢外傷シンポジウム(JSETS) 20190713-14. 札幌.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋祐, 伊藤雅之. Bennett 骨折後外傷性 CM 関節症に対し、ZipTight®を用いて関節形成を行なった 1 例. 第 33 回福島手外科研究会; 2019101005; 郡山.

平井 亨, 畑下 智, 水野洋祐, 伊藤雅之. 小指 Stener (like) lesion の 1 例. 第 33 回福島手外科研究会; 20191005; 郡山.

渡邊謙治, 畑下 智. 外傷性腕神経叢損傷に対し麻痺肩再建術後の後療法の実験. 第 46 回日本肩関節学会; 20191025-26; 長野.

伊藤雅之, 鈴木敏之, 畑下 智. 災害復興現場から見てきた外傷医療の役割. 第 39 回日本臨床麻酔学会; 20191107-09; 日本臨床麻酔学会誌; 39(6):S172.

畑下 智, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋祐, 菅谷岳広, 平井 亨, 須藤洋輔, 川前恵史, 川上亮一. 足関節・足部外傷治療における、小範囲の軟部組織欠損に対する有茎短趾伸筋弁. 第 46 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20191128-29; 東京. プログラム・抄録集. 144.

佐藤俊介, 畑下 智, 増子遼介, 水野洋佑, 伊藤雅之, 紺野慎一. 超音波エコーによる指動脈中節部横連合技の位置の検討-第2報-. 第46回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20191128-29; 東京.

伊藤雅之, 畑下 智, 新田夢鷹, 水野洋佑, 佐藤 卓. 股関節周囲外傷における臨床研究・基礎研究 ―外傷再建センターの取り組み-. 第13回四国外傷治療研究会; 20191130; 香川.

過年業績

水野洋佑, 伊藤雅之, 増子遼介, 佐藤俊介, 畑下 智. 三次元術前計画が有用であった大腿骨骨折の3例. 第12回日本CAOS研究会; 20180322-23; 大阪.

増子遼介, 伊藤雅之, 畑下 智, 佐藤俊介, 水野洋佑. 関節鏡を併用した烏口突起基部骨折固定と烏口突起の形態学的検討. 第45回日本肩関節学会; 20181019-20; 大阪. 抄録集. 146.

水野洋佑, 伊藤雅之, 増子遼介, 佐藤俊介, 畑下 智, 鈴木敏之, 高橋洋二郎, 新田夢鷹. 大腿骨転子部骨折における術後スライディング量の検討. 第45回日本股関節学会学術集会; 20181026-27; プログラム・抄録集. 464.

〔シンポジウム〕

畑下 智, 川上亮一, 伊藤雅之, 江尻莊一, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 紺野慎一. 四肢外傷の深部感染に対する治療. 日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20190301-02; 秋田. プログラム・抄録集. 114.

畑下 智, 川上亮一, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑. Symposium 1 主要血管損傷 森井分類血管損傷型の上肢主幹動脈損傷は、真の shunt 適応症例は少ない? 第6回日本重度四肢外傷シンポジウム(JSETS); 20190713-14; 札幌.

〔特別講演〕

畑下 智. 当センターの重度四肢外傷治療と外傷後遺障害治療. 第4回会津フォーラム; 20190526; 会津若松.

生体機能イメージング講座

論 文

〔原 著〕

Ishibashi K, Miura Y, Toyohara J, Ishiwata K, Ishii K. Unchanged type 1 metabotropic glutamate receptor availability in patients with Alzheimer's disease: a study using ^{11}C -ITMM positron emission tomography. Neuroimage: Clinical. 201903; 22:101783.

Wagatsuma K, Ishiwata K, Nobuhara F, Koumura I, Kunugi M, Oda K, Miwa K, Toyohara J, Ishii K. Pre-discarded estimation of radioactivated materials in PET cyclotron systems and concrete walls of a cyclotron vault. Medical Physics. 201905; 46(5):2457-2467.

〔総説等〕

Ishiwata K. 4-Borono-2-¹⁸F-fluoro-L-phenylalanine PET for boron neutron capture therapy-oriented diagnosis: Overview of a quarter century of research. Annals of Nuclear Medicine. 201904; 33:223-236.

研究発表等

〔研究発表〕

Mishina M, Suzuki M, Ishii K, Sakata M, Wagatsuma K, Ishibashi K, Toyohara J, Zhang MR, Kimura K, Ishiwata K. Relationship between symptoms and regional density of metabotropic glutamate receptors subtype 1 measured with ¹¹C-ITMM PET in de novo Parkinson's disease. The MDS International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders; 20190922-26; Nice, France.

Sakata M, Wagatsuma K, Tago T, Ishibashi K, Ishii K, Ishiwata K, Toyohara J. Test-retest reliability of adenosine A_{2A} binding in the human brain with ¹¹C-prelabeled and PET. EANM19 Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine; 20191012-16; Barcelona, Spain.

海老沼亮一, 石渡喜一. 低酸素イメージング剤 FRP-170・FMISO のエタノール生理食塩水系 HPLC 分離での製剤化. PET サマーセミナー; 20190823-25; 福島.

廣瀬勝己, 石渡喜一, 鷺野谷利幸, 窪田和雄, 高井良尋. 頸部局所の FOV で撮影された ¹⁸F-FBPA-PET では頭頸部癌 BNCT の腫瘍線量評価にどのパラメータを用いるべきか? 第 16 回日本中性子捕捉療法学会学術集会; 20190907-08; 京都.

坂田宗之, 我妻 慧, 多湖哲郎, 石橋賢士, 石井賢二, 石渡喜一, 豊原 潤. ¹¹C-prelabeled を用いたアデノシン A_{2A} 受容体定量測定の再現性検討. 第 59 回日本核医学会学術総会; 20191101-03; 松山.

多発性硬化症治療学講座

論 文

〔原 著〕

Hillebrand S, Schanda K, Nigritinou M, Tsymala I, Böhm D, Pesch LP, Bauer J, Takai T, Fujihara K, Nakashima I, Misu T, Reindl M, Lassmann H, Bradl M. Circulating AQP4-specific auto-antibodies alone can induce neuromyelitis optica spectrum disorder in the rat. Acta Neuropathologica. 201903; 137(3):467-485.

Palace J, Lin DY, Zeng D, Majed M, Elson L, Hamid S, Messina S, Misu T, Sagen J, Whittam D, Takai Y, Leite MI, Weinshenker B, Cabre P, Jacob A, Nakashima I, Fujihara K, Pittock SJ. Outcome prediction models in AQP4-IgG positive neuromyelitis optica spectrum disorders: tools for clinical practice and drug trial design. *Brain*. 2019; 142(5):1310-1323.

Hino-Fukuyo N, Haginoya K, Takahashi T, Nakashima I, Fujihara K, Takai Y, Akasaka M, Kure S. Long-term outcome of a group of Japanese children with myelin-oligodendrocyte glycoprotein encephalomyelitis without preventive immunosuppressive therapy. *Brain & Development*. 2019; 41(9):790-795.

Fujimori J, Takahashi T, Matsumoto Y, Fujihara K, Takai Y, Misu T, Nakashima I. Two Japanese cases of anti-MOG antibody-associated encephalitis that mimicked neuro-Behçet's disease. *Journal of Neuroimmunology*. 2019; 334:577002.

Cree BAC, Bennett JL, Kim HJ, Weinshenker BG, Pittock SJ, Wingerchuk DM, Fujihara K, Paul F, Cutter GR, Marignier R, Green AJ, Aktas O, Hartung HP, Lublin FD, Drappa J, Barron G, Madani S, Ratchford JN, She D, Cimbora D, Katz E; N-MOMENTUM study investigators. Inebilizumab for the treatment of neuromyelitis optica spectrum disorder (N-MOMENTUM): a double-blind, randomised placebo-controlled phase 2/3 trial. *Lancet*. 2019; 394(10206):1352-1363.

Pittock SJ, Berthele A, Fujihara K, Kim HJ, Levy M, Palace J, Nakashima I, Terzi M, Totolyan N, Viswanathan S, Wang KC, Pace A, Fujita KP, Armstrong R, Wingerchuk DM. Trial of eculizumab in aquaporin-4 positive neuromyelitis optica spectrum disorder. *New England Journal of Medicine*. 2019; 381(7):614-625.

Yamamura T, Kleiter I, Fujihara K, Palace J, Greenberg B, Zakrzewska-Pniewska B, Patti F, Tsai CP, Saiz A, Yamazaki H, Kawata Y, Wright P, De Seze J. Trial of satralizumab in neuromyelitis optica spectrum disorder. *New England Journal of Medicine*. 2019; 381(22):2114-2124.

〔総説等〕

Misu T, Fujihara K. Neuromyelitis optica spectrum and myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-related disseminated encephalomyelitis. *Clinical and Experimental Neuroimmunology*. 2019; 10(1):9-17.

Kuroda H, Nishiyama S, Matsumoto Y, Misu T, Fujihara K, Aoki M. Debate on the treatment of multiple sclerosis: Experience from an intractable multiple sclerosis case with rebound syndrome after fingolimod cessation. *Clinical and Experimental Neuroimmunology*. 2019; 10(S1):59-62.

Fujihara K. Neuromyelitis optica spectrum disorders: still evolving and broadening. *Current Opinion in Neurology*. 2019; 32(3):385-394.

黒田 宙, 藤原一男. 【補体標的治療の現状と展望】視神経脊髄炎. *BRAIN and NERVE : 神経研究の進歩*. 2019; 71(6):573-580.

松本勇貴, 藤原一男. 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 急性散在脳脊髄炎 (ADEM). 日本医事新報. 201906; 4964:42-42.

三須建郎, 藤原一男. 【視神経脊髄炎スペクトル障害(NMO-SD)】NMO-SD の疾患概念. 脳神経内科. 201901; 90(1):1-6.

著 書・訳 書

藤原一男. 多発性硬化症治療薬. In: 福井次矢 監修. Pocket Drugs 2019. 東京: 医学書院; 201901. p.75-80.

研究発表等

〔研究発表〕

福與なおみ, 荻野谷和裕, 高橋利幸, 中島一郎, 藤原一男, 高井良樹, 赤坂真奈美, 呉 繁夫. 再発予防投与を行わなかった抗 MOG 抗体陽性小児疾患における長期予後. 第 61 回日本小児神経学会学術集会; 20190531-0602; 名古屋.

糸谷拓也, 松本勇貴, 久保 仁, 山本悌司, 藤原一男, 西野徳之, 佐久間秀夫, 木村 悟. 5 年間のフィンゴリモド治療中にびまん性大細胞性 B 細胞リンパ腫を発症した一例. 第 60 回日本神経学会学術集会; 20190522-25; 大阪.

糸谷拓也, 金子知香子, 山本悌司, 藤原一男. 複視で発症し、脳幹とその外縁に造影効果を認めた抗 MOG 抗体陽性例. 第 60 回日本神経学会学術集会; 20190522-25; 大阪.

内田信彰, 楠 進, 桑原 聡, 森 雅裕, 清水 潤, 清水優子, 園生雅弘, 田中正美, 中辻裕司, 新野正明, 河内 泉, 野村恭一, 松尾秀徳, 渡邊 修, 松井 真. 多発性硬化症における重症度評価にはどのような尺度を用いるべきか. 第 60 回日本神経学会学術集会; 20190522-25; 大阪.

荒木 学, 藤原一男, 原村昌幸, 寺田悠介, 河田祐一, 山村 隆. MS/NMO 1 Efficacy and safety of satralizumab: double-blind placebo-controlled P2 studies in NMOSD patients. 第 31 回日本神経免疫学会学術集会; 20190926-27; 千葉.

糸谷拓也, 金子知香子, 松本勇貴, 久保 仁, 西野徳之, 佐久間秀夫, 山本悌司, 藤原一男. MS フィンゴリモド導入例におけるリンパ腫合併例の、自験例および他の症例報告の比較. 第 31 回日本神経免疫学会学術集会; 20190926-27; 千葉.

小野紘彦, 三須建郎, 高井良樹, 西村修平, 黒田 宙, 高橋利幸, 中島一郎, 青木正志. 自己免疫性脳炎 抗 MOG 抗体陽性患者における T 細胞反応性に関する検討. 第 31 回日本神経免疫学会学術集会; 20190926-27; 千葉.

金子仁彦, 三須建郎, 黒田 宙, 加藤量広, 板倉裕子, 鈴木靖士, 鈴木博義, 藤盛寿一, 中島一郎, 藤原一男. 急性脳炎・脳炎 NMDA 型および AMPA 型抗グルタミン酸受容抗体陽性脳炎における臨床・画像・病理の比較検討. 第 31 回日本神経免疫学会学術集会; 20190926-27; 千葉.

高井良樹, 三須建郎, 松本勇貴, 生田目知尋, 小野紘彦, 西山修平, 黒田 宙, 藤原一男, 青木正志. MS/NMO 2 視神経脊髄炎中枢組織障害に対する IL-6 の影響に関する病理学的検討. 第 31 回日本神経免疫学会学術集会; 20190926-27; 千葉.

生田目知尋, 三須建郎, 西山修平, 高井良樹, 小野紘彦, 松本勇貴, 高橋利幸, 中島一郎, 藤原一男, 青木正志. 抗 MOG 抗体関連疾患急性期治療後の経時的障害度と予後の検討. 第 31 回日本神経免疫学会学術集会; 20190926-27; 千葉.

藤原一男, ベネット・ジェフェリー, キム・ホージン, ワインシェイカー・ブライアン, ピトック・ショーン, ウインガチャック・ディーン, ポール・フリードマン, カッター・ゲイリー, カッツ・エリゼー, クリー・ブルース. MS/NMO 2 N-Momentum 試験 視神経脊髄炎におけるイネビリズマブのランダム化、プラセボ対照、二重盲検試験. 第 31 回日本神経免疫学会学術集会; 20190926-27; 千葉.

藤盛寿一, 高橋利幸, 松本勇貴, 藤原一男, 高井良樹, 三須建郎, 中島一郎. 臨床ケース 神経ベーチェット病に類似した症例を呈した抗 MOG 抗体陽性脳炎の 2 例. 第 31 回日本神経免疫学会学術集会; 20190926-27; 千葉.

澤井幹樹, 西山和子, 藤原一男, 深澤俊行. 2013 年及び 2019 年の調査による多発性硬化症における就労支援の検討. 第 37 回日本神経治療学会学術集会×第 31 回日本神経免疫学会学術集会; 20191105-07; 横浜.

松本勇貴, 三須建郎, 高井良樹, 西山修平, 小野紘彦, 黒田 宙, 割田 仁, 青木正志, 黒澤和大, 清水洋, 藤原一男. 治療抵抗性の重症抗 MOG 抗体関連疾患に対するリツキシマブの使用経験. 第 37 回日本神経治療学会学術集会×第 31 回日本神経免疫学会学術集会; 20191105-07; 横浜.

〔シンポジウム〕

藤原一男. 補体からみた神経免疫疾患の病態解明と治療の最前線 補体阻害薬は NMOSD 治療を変えることができるのか. 第 60 回日本神経学会学術集会; 20190522-25; 大阪.

藤原一男. アクアポリン研究の最前線、病態生理の理解から新たな診断・治療法の開発まで：アクアポリン 4 と視神経脊髄炎. 第 13 回 In vivo 実験医学シンポジウム; 20191127; 東京.

〔招待講演〕

Fujihara K. The clinical spectrum and prognosis of MOG-Ab associated disease. European Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (ECTRIMS) 7th Focused Workshop: MOG-antibody-associated Disease; 20190307; Athens, Greece.

Fujihara K. NMO Spectrum Disorders. HCP-HCP Preceptorship; 20190616; Montreal, Canada.

Fujihara K. NMOSD: Burden of the disease and challenging cases. Ask The Expert; 20190617; Montreal, Canada.

Fujihara K. Charcot Lecture: NMO/NMOSD and anti-MOG related CNS Demyelinating Diseases. 54th

Canadian Neurological Sciences Federation Congress; 20190618; Montreal, Canada.

Fujihara K. Diagnosis of NMOSD. Symposium of Neuroimmunology; 20190810; Beijing, China.

Fujihara K. Update on NMOSD and MOG-IgG+disease. 5th Neuroimmunology and Neurological Infections Conference (NIC) and China Neuroimmunology Congress; 20190810; Beijing, China.

Fujihara K. The differential diagnosis; NMOSD, MS, and anti-MOG symposium (role of biomarkers in demyelinating diseases). 5th Indian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (ICTRIMS); 20190817; Kolkata, India.

Fujihara K. Spectrum of NMO: new developments and challenges. 5th Indian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (ICTRIMS); 20190818; Kolkata, India.

Fujihara K, Hor JY. Guthy-Jackson Charitable Foundation Symposium: NMOSD: epidemiology update. 20th Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS); 20190821; Sao Paulo, Brazil.

Fujihara K. A possible outcome: New endpoints in clinical trials for MS: remyelination, clinical improvement and more. 20th Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS); 20190821; Sao Paulo, Brazil.

Fujihara K. Neuropathological findings of MOG-antibody-associated disease. 20th Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS); 20190822; Sao Paulo, Brazil.

Fujihara K. Treatment of NMOSD. 20th Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS); 20190823; Sao Paulo, Brazil.

Fujihara K. New Diagnostic Criteria for MS, a way forward. 1st Sri Lankan Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (SLCTRIMS) Congress; 20191005; Colombo, Sri Lanka.

Fujihara K. NMO spectrum disorders: from diagnosis to treatment. 1st Sri Lankan Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (SLCTRIMS) Congress; 20191005; Colombo, Sri Lanka.

Fujihara K. An introduction to CNS inflammatory demyelinating disorders. 1st Sri Lankan Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (SLCTRIMS) Congress; 20191005; Colombo, Sri Lanka.

Fujihara K. An approach to chronic inflammatory optic neuropathy (CRION). 1st Sri Lankan Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (SLCTRIMS) Congress; 20191006; Colombo, Sri Lanka.

Fujihara K. MOG-antibody-associated disease. Tianan Neuroinfection & Neuroimmunology Forum (TNNF) 2019 Chinese Medical Network for Neuroinflammation (CMNN) 2019; 20191019; Beijing, China.

藤原一男. 多発性硬化症と関連疾患：診療に役立つ治療と病態疾患のトピックス. 第38回京都神経フォーラム;

20190405; 京都.

Fujihara K. Demyelinating Disease: MS, NMOSD and MOG-antibody-associated disease. AIMS Neuro Imaging 2019; 20190928; Tokyo.

藤原一男. 視神経脊髄炎と MOG 抗体陽性疾患. 最近の進歩. 第 48 回全国多発性硬化症友の会医療講演会; 20190608; 東京.

Fujihara K. Main Topic 5A: MS AND DEMYELINATING DISORDERS: MS TREATMENT GUIDELINES. IS AN INTERNATIONAL CONSENSUS POSSIBLE? 24th World Congress of Neurology; 20191029; Dubai, UAE.

Fujihara K. NMO and MOG-SD. Istanbul MS Days 2019; 20191102; Istanbul, Turkey.

Fujihara K. Lumpers and splitters in NMOSD: Does it matter? 12th Pan-Asian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (PACTRIMS); 20191115; Singapore.

Fujihara K. From Immunology to Treatment. 27th Annual Meeting of the European Charcot Foundation; 20191122; Baveno, Italy.

Fujihara K. MOG-antibody-associated disease. From immunology to treatment. Japanese Multiple Sclerosis Society International Symposium; 20191203; Tokyo.

Fujihara K. Neuromyelitis Optica, Clinical Aspects of Therapy. 5th Middle-East and North African Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (MENACTRIMS); 20191206; Dubai, UAE.

〔その他〕

藤原一男. 多発性硬化症、視神経脊髄炎と MOG 抗体陽性疾患. 帝人ファーマ大学担当者研修 2019; 20190607; 東京.

藤原一男. NMOSD の診断における最新知見と今後の方向性 (ランチョンセミナー). 第 31 回日本神経免疫学会 学術集会; 20190926-27; 千葉.

藤原一男. 多発性硬化症と PML: 神経感染症専門医・多発性硬化症専門医それぞれの立場から (ランチョンセミナー). 第 24 回日本神経感染症学会学術集会; 20191011-12; 東京.

医療エレクトロニクス研究講座

論文

〔原 著〕

Otsuka A, Jinguji A, Maejima Y, Kasahara Y, Shimomura K, Hidema S, Nishimori K. LGR4 is essential for R-spondin1-mediated suppression of food intake via pro-opiomelanocortin. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*. 201907; 83(7):1336-1342.

Satake S, Shimura T, Ono T, Shimomura K, Takenoshita S, Kono K. Noninvasive continuous blood pressure monitoring using microelectromechanical system technology. *Blood Pressure Monitoring*. 201906; 24(3):155-159.

Maejima Y, Yokota S, O'Hashi R, Aoyama M, Shimomura K. The effect of avertin anesthesia and a mixture of three types of anesthetic agents on food intake and body weight in high fat-induced obese male and female mice. *Experimental Animals*. 201902; 68(1):57-69.

心臓調律制御医学講座

論文

〔原 著〕

Yokokawa T, Ichimura S, Hijioka N, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Suzuki O, Ohno S, Aiba T, Ohtani H, Takeishi Y. Case reports of a c.475G>T, p.E159* lamin A/C mutation with a family history of conduction disorder, dilated cardiomyopathy and sudden cardiac death. *BMC Cardiovascular Disorders*. 2019; 19(1):298.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Kanno Y, Abe S, Misaka T, Yamada S, Kaneshiro T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Circulating acetoacetate is associated with poor prognosis in heart failure patients. *International Journal of Cardiology Heart & Vasculture*. 2019; 25:100432.

Hijioka N, Kamioka M, Matsumoto Y, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical impact of insulin resistance on pulmonary vein isolation outcome in patients with paroxysmal atrial fibrillation. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 2019; 30(4):479-486.

Yamada S, Kaneshiro T, Kamioka M, Onuma H, Yamadera Y, Takeishi Y. Clinical impact of speckle tracking echocardiography for detecting the origin of posterior papillary muscle ventricular arrhythmia. *Europace*. 2019; 21(6):917.

Matsumoto Y, Kaneshiro T, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Yoshihisa A, Ohkawara H, Hikichi T, Suzuki H, Takeishi Y. Predicting factors of transmural thermal injury after cryoballoon pulmonary vein isolation. *Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology*. 2019; 54(2):101-108.

Yamada S, Yoshihisa A, Sato T, Kamioka M, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic significance of premature ventricular complex burden on hospitalized patients with heart failure. *Journal of Arrhythmia*. 2019; 36(1):134-142.

Yokokawa T, Kunii H, Kaneshiro T, Ichimura S, Yoshihisa A, Yashiro-Furuya M, Asano T, Nakazato K, Ishida T, Migita K, Takeishi Y. Regressed coronary ostial stenosis in a young female with Takayasu arteritis: a case report. *BMC Cardiovascular Disorders*. 2019; 19(1):79.

研究発表等

〔研究発表〕

Yamada S, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Clinical significance of premature ventricular complex burden on prognosis in hospitalized patients with heart failure. 40th Annual Heart Rhythm Scientific Sessions; 20190508-11; San Francisco, USA. *Heart Rhythm*. 16(5-suppl):S317.

Yamada S, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Usefulness of speckle tracking echocardiography for detecting the origin of posterior papillary muscle ventricular arrhythmia. 40th Annual Heart Rhythm Scientific Sessions; 20190508-11; San Francisco, USA. *Heart Rhythm*. 16(5-suppl):S45.

Amami K, Hijioka N, Kaneshiro T, Yamada S, Kamioka M, Ishida T, Takeishi Y. A case of atrioventricular reentry tachycardia circuiting between left and right accessory pathway. 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRS 2019); 20191024-27; Bangkok, Thailand.

Yamada S, Yoshihisa A, Hijioka N, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Clinical significance of cardiac arrhythmias on readmission and cardiac death in hospitalized patients with heart failure. 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRS 2019); 20191024-24; Bangkok, Thailand.

Kamioka M, Yoshihisa A, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Combination impact of transcatheter atrial septal defects closure and radiofrequency catheter ablation on atrial fibrillation recurrence through bi-atrial reverse remodeling. 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRS 2019); 20191024-27; Bangkok, Thailand.

Amami K, Hijioka N, Kaneshiro T, Yamada S, Kamioka M, Ishida T, Takeishi Y. Reduction of radiation exposure during catheter ablation by changing the setting of fluoroscopic system. 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRS 2019); 20191024-27; Bangkok, Thailand.

Hijioka N, Kaneshiro T, Matsumoto Y, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Takeishi Y. Association between balloon temperature profile and outcome of pulmonary vein isolation with 2nd-generation cryoballoon.

Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11800.

Hijioka N, Yamada S, Amami K, Kamioka M, Kaneshiro T, Ishida T, Takeishi Y. Differentiation of cardiac amyloidosis from other causes of left ventricular hypertrophy based on holter monitoring. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A14346.

Misaka T, Yoshihisa A, Kono S, Ichijo Y, Oikawa M, Kaneshiro T, Miura I, Yabe H, Ishida T, Takeishi Y. Reduced brain activity is associated with anxiety status and cognitive function in patients with heart failure as measured by near-infrared spectroscopy. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10733.

Hijioka N, Kamioka M, Amami K, Yamada S, Kaneshiro T, Ishida T, Takeishi Y. Visit-to-visit blood pressure variability predicts recurrence of atrial fibrillation in patients with hypertension. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11808.

Yamada S, Yoshihisa A, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Impact of premature ventricular complex burden on re-admission and cardiac death in hospitalized patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

金城貴士, 脇岡奈保子, 松本善幸, 山田慎哉, 上岡正志, 竹石恭知. Temperature profile of cryoballoon reflects the outcome of pulmonary vein isolation with 2nd-generation cryoballoon. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

脇岡奈保子, 上岡正志, 松本善幸, 山田慎哉, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. The utility of multipolar catheter for detection of triggered ventricular premature beat of electrical storm in patients with sub-acute myocardial infarction. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Kaneshiro T, Hijioka N, Matsumoto Y, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Takeishi Y. Association between cryoballoon temperature profile and outcome of pulmonary vein isolation with 2nd-generation cryoballoon. 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会; 20190724-27; 横浜.

Yamada S, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Clinical impact of cardiac arrhythmias on the prognosis of chronic heart failure patient. 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会; 20190724-27; 横浜.

Kamioka M, Hijioka N, Matsumoto Y, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Electrophysiological characteristics of intramural focus in patients with ventricular tachyarrhythmia originating from left ventricular outflow tract. 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会; 20190724-27; 横浜.

Hijioka N, Kamioka M, Kunii H, Kobayashi A, Matsumoto Y, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Ishida T, Takeishi Y. Favorable clinical outcome of a transcatheter atrial septal defect closure following pulmonary vein isolation as a combination therapy. 第 66 回日本不整脈心電学会学術大会; 20190724-27; 横浜.

市村祥平, 國井浩行, 大原妃美佳, 富田湧介, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 進行する心原性ショックに対

して、CTOである腸骨動脈を通してIABPを留置し救命しえたACSの一例。第28回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋。

瀧澤 栞, 國井浩行, 根橋 健, 安藤卓也, 神雄一朗, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 腎動脈瘤に対してVIABAHNステントグラフトを用いて治療した一例。第28回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2019); 20190919-21; 名古屋。

金城貴士, 脇岡奈保子, 山田慎哉, 上岡正志, 竹石恭知. クライオバルーンアブレーションにおける復温相“temperature drop”のdurabilityおよび慢性期効果に対する有用性について。カテーテルアブレーション関連秋季大会 2019; 20191107-09; 金沢。

脇岡奈保子, 金城貴士, 天海一明, 山田慎哉, 上岡正志, 竹石恭知. 左右副伝導路間を巡回する房室回帰性頻脈を認めた1例。カテーテルアブレーション関連秋季大会 2019; 20191107-09; 金沢。

市村祥平, 國井浩行, 大原妃美佳, 富田湧介, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 進行する心原性ショックに対して、CTOである外腸骨動脈を通してIABPを留置し、救命しえたACSの一例。第45回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20190202; 仙台。

瀧澤 栞, 國井浩行, 根橋 健, 安藤卓也, 神雄一朗, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 腎動脈瘤に対してVIABAHNステントグラフトを用いて治療した一例。第45回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20190202; 仙台。

佐久間裕也, 國井浩行, 大原妃美佳, 富田湧介, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 当院における逆行性用イノウエバルーンの使用経験。第45回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20190202; 仙台。

谷 哲矢, 山田慎哉, 金城貴士, 上岡正志, 脇岡奈保子, 及川雅啓, 小林 淳, 中里和彦, 竹石恭知. 2D左室心筋長軸ストレイン解析にて起源同定が可能であった後乳頭筋起源心室性期外収縮の一例。第168回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡。

関根虎之介, 上岡正志, 金城貴士, 富田湧介, 渡邊孝一郎, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 右室流出路起源心室性期外収縮をトリガーとして頻発した非持続性/持続性心室頻拍の一例。第168回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡。

天海一明, 脇岡奈保子, 金城貴士, 山田慎哉, 上岡正志, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 左右副伝導路間を巡回する房室回帰性頻拍を認めた1例。第168回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡。

和田健斗, 義久精臣, 一條靖洋, 三阪智史, 金城貴士, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 心不全患者における脳活動性と不安・抑うつ・認知機能に関する検討。第169回日本循環器学会東北地方会; 20191207; 仙台。

佐久間真悠, 上岡正志, 脇岡奈保子, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 多彩な心房性不整脈を呈した心アミロイドーシスの一例。第169回日本循環器学会東北地方会; 20191207; 仙台。

市村祥平, 大原妃美佳, 富田湧介, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 進行する心原性ショックに対して、CTO

である外腸骨動脈を通して IABP を留置し、救命しえた ACS の一例. 第 9 回豊橋ライブデモンストレーションコース; 20190620-22; 豊橋.

瀧澤 栞, 國井浩行, 根橋 健, 安藤卓也, 神雄一朗, 金城貴士, 石田隆史, 竹石恭知. 腎動脈瘤に対して VIABAHN ステントグラフを用いて治療した一例. 第 9 回豊橋ライブデモンストレーションコース; 20190620-22; 豊橋.

横川哲朗, 市村祥平, 金城貴士, 義久精臣, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 鈴木 理, 大野聖子, 相庭武司, 大谷 弘, 竹石恭知. Cases of a c.475G>T, p.E159* lamin A/C mutation with dilated cardiomyopathy and sudden cardiac death. 第 5 回日本心筋症研究会; 20190713; 札幌.

天海一明, 脇岡奈保子, 金城貴士, 山田慎哉, 上岡正志, 中里和彦, 石田隆史, 紺野慎一, 竹石恭知. 左副伝導路を順伝導し、右副伝導路を逆伝導した房室回帰性頻拍の 1 例. 第 16 回福島不整脈懇話会; 20190718; 福島.

〔特別講演〕

金城貴士. AF 治療のアルゴリズム. DOAC Forum In Fukushima; 20190221; 福島.

金城貴士. クライオアブレーションの適応と合併症への対策. CryoConsole Hands-on And Meeting Program (CHAMP); 20190222; 郡山.

金城貴士. 基調講演：心房細動の治療：カテーテルアブレーションの進歩. 心房細動トータルケアセミナー～発見から QOL 改善までの最速治療～; 20190630; 福島.

金城貴士. 心房細動アブレーションと周術期抗凝固療法の現状. イグザレト WEB カンファランス; 20190912; Web 配信.

金城貴士. 心房細動アブレーションの進歩と抗凝固療法の現状. 安達地区循環器医療連携講演会; 20190920; 二本松.

金城貴士. 心房細動アブレーションの進歩と抗凝固療法の現状. 第 29 回福島内科フォーラム; 20191109; 福島.

金城貴士. ランチョンセミナー：心房細動マネジメントにおけるカテーテルアブレーションの役割. 第 62 回日本脳循環代謝学会学術集会; 20191129-30; 仙台.

金城貴士. 心房細動に伴う抗凝固療法のトピックス. エリキュース エリア WEB セミナー; 20191209; 福島.

心臓病先進治療学講座

論 文

〔原 著〕

Yoshihisa A. Altered gut flora and gut microbiome-derived metabolites in heart failure patients in the compensated and decompensated phases. *Circulation Journal*. 2019; 83(1):30-31.

Yokokawa T, Ichimura S, Hijioka N, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Suzuki O, Ohno S, Aiba T, Ohtani H, Takeishi Y. Case reports of a c.475G>T, p.E159* lamin A/C mutation with a family history of conduction disorder, dilated cardiomyopathy and sudden cardiac death. *BMC Cardiovascular Disorders*. 2019; 19(1):298.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Kanno Y, Abe S, Misaka T, Yamada S, Kaneshiro T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Circulating acetoacetate is associated with poor prognosis in heart failure patients. *International Journal of Cardiology Heart & Vasculture*. 2019; 25:100432.

Hijioka N, Kamioka M, Matsumoto Y, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical impact of insulin resistance on pulmonary vein isolation outcome in patients with paroxysmal atrial fibrillation. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 2019; 30(4):479-486.

Yokokawa T, Sugimoto K, Nakazato K, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Electrocardiographic criteria of right ventricular hypertrophy in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension after balloon pulmonary angioplasty. *Internal Medicine*. 2019; 58(15):2139-2144.

Yoshihisa A, Sato T, Kajimoto K, Sato N, Takeishi Y; Acute Decompensated Heart Failure Syndromes (ATTEND) investigators. Heterogeneous impact of the body mass index on in-hospital mortality in acute heart failure syndromes: An analysis from the ATTEND Registry. *European Heart Journal: Acute Cardiovascular Care*. 2019; 8(7):589-598.

Aimo A, Januzzi JL Jr, Vergaro G, Ripoli A, Latini R, Masson S, Magnoli M, Anand IS, Cohn JN, Tavazzi L, Tognoni G, Gravning J, Ueland T, Nymo SH, Rocca HB, Bayes-Genis A, Lupón J, de Boer RA, Yoshihisa A, Takeishi Y, Egstrup M, Gustafsson I, Gaggin HK, Eggers KM, Huber K, Tentzeris I, Wilson Tang WH, Grodin JL, Passino C, Emdin M. High-sensitivity troponin T, NT-proBNP and glomerular filtration rate: A multimarker strategy for risk stratification in chronic heart failure. *International Journal of Cardiology*. 2019; 277:166-172.

Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Hyponatremia at discharge is associated with adverse prognosis in acute heart failure syndromes with preserved ejection fraction: a report from the JASPER registry. *European Heart Journal: Acute Cardiovascular Care*. 2019; 8(7):623-633.

Sato Y, Yoshihisa A, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Low T3 syndrome is associated with high mortality in hospitalized patients with heart failure. *Journal of Cardiac Failure*. 2019; 25(3):195-203.

Misaka T, Yoshihisa A, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Sugimoto K, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Plasma levels of melatonin in dilated cardiomyopathy. *Journal of Pineal Research*. 2019; 66(4):e12564.

Matsumoto Y, Kaneshiro T, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Yoshihisa A, Ohkawara H, Hikichi T, Suzuki H, Takeishi Y. Predicting factors of transmural thermal injury after cryoballoon pulmonary vein isolation. *Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology*. 2019; 54(2):101-108.

Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Sato Y, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Prior history and incidence of cancer impacts on cardiac prognosis in hospitalized patients with heart failure. *Circulation Journal*. 2019; 83(8):1709-1717.

Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Prognostic impact of chronic obstructive pulmonary disease on adverse prognosis in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction - A report from the JASPER registry. *Journal of Cardiology*. 2019; 73(6):459-465.

Yoshihisa A, Misaka T, Kanno Y, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Takeishi Y. Prognostic impact of restless legs syndrome on patients with heart failure. *International Heart Journal*. 2019; 60(5):1098-1105.

Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Prognostic impact of worsening renal function in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction: A report from the JASPER Registry. *Journal of Cardiac Failure*. 2019; 25(8):631-642.

Yamada S, Yoshihisa A, Sato T, Kamioka M, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic significance of premature ventricular complex burden on hospitalized patients with heart failure. *Journal of Arrhythmia*. 2019; 36(1):134-142.

Yokokawa T, Kunii H, Kaneshiro T, Ichimura S, Yoshihisa A, Yashiro-Furuya M, Asano T, Nakazato K, Ishida T, Migita K, Takeishi Y. Regressed coronary ostial stenosis in a young female with Takayasu arteritis: a case report. *BMC Cardiovascular Disorders*. 2019; 19(1):79.

Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Relation of systolic blood pressure on the following day with post-discharge mortality in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction -A Report from the JASPER Registry-. *International Heart Journal*. 2019; 60(4):876-885.

Aimo A, Januzzi JL Jr, Vergaro G, Clerico A, Latini R, Meessen J, Anand IS, Cohn JN, Gravning J, Ueland T, Nymo SH, Rocca HB, Bayes-Genis A, Lupón J, De Boer RA, Yoshihisa A, Takeishi Y, Egstrup M, Gustafsson I, Gaggin HK, Eggers KM, Huber K, Huber K, Tentzeris I, Ripoli A, Ripoli A, Passino C, Emdin M. Revisiting the obesity paradox in heart failure: Per cent body fat as predictor of biomarkers and outcome. *European Journal of Preventive Cardiology*. 2019; 26(16):1751-1759.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Senescence marker protein 30 deficiency exacerbates pulmonary hypertension in hypoxia-exposed mice. *International Heart Journal*. 2019; 60(6):1430-1434.

Yoshihisa A, Yokokawa T, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Sugimoto K, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Soluble neprilysin does not correlate with prognosis in pulmonary hypertension. *ESC Heart Failure*. 2019; 6(2):291-296.

Nehashi T, Oikawa M, Amami K, Kanno Y, Yokokawa T, Misaka T, Yamada S, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Sporadic cardiac amyloidosis by amyloidogenic transthyretin V122I variant. *International Heart Journal*. 2019; 60(6):1441-1443.

Kiko T, Sato T, Yokokawa T, Misaka T, Takeishi Y. Subacute constrictive pericarditis postcardiac surgery evaluated by ¹⁸F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/magnetic resonance imaging. *Circulation: Cardiovascular Imaging*. 2019; 12(11):e009764.

Yokokawa T, Sugimoto K, Yoshihisa A, Goto T, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The fibrosis-4 index is useful for predicting mortality in patients with pulmonary hypertension due to left heart disease. *International Heart Journal*. 2019; 60(5):1147-1153.

Takiguchi M, Ohira T, Nakano H, Yumiya Y, Yamaki T, Yoshihisa A, Nakazato K, Suzuki H, Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K, Takeishi Y. Trends in the incidence of sudden deaths and heart diseases in Fukushima after the Great East Japan Earthquake. *International Heart Journal*. 2019; 60(6):1253-1258.

Kimishima Y, Yoshihisa A, Kiko T, Yokokawa T, Miyata-Tatsumi M, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Utility of B-type natriuretic peptide for detecting cardiac involvement in immunoglobulin amyloidosis. *International Heart Journal*. 2019; 60(5):1106-1112.

Sato A, Yoshihisa A, Miyata-Tatsumi M, Oikawa M, Kobayashi A, Ishida T, Ohtake T, Takeishi Y. Valvular heart disease as a possible predictor of trastuzumab-induced cardiotoxicity in patients with breast cancer. *Molecular and Clinical Oncology*. 2019; 10(1):37-42.

〔総説等〕

Yoshihisa A, Takeishi Y. Sleep disordered breathing and cardiovascular diseases. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 2019; 26(4):315-327.

Misaka T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Titin in muscular dystrophy and cardiomyopathy: Urinary titin as a novel

marker. Clinica Chimica Acta. 2019; 495:123-128.

三阪智史, 竹石恭知. II. 心筋疾患 23. 膠原病に伴う心筋症. 別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ. 2019; 5:211-214.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. II. 睡眠時無呼吸と生活習慣病: OSA, CSA と冠動脈疾患, 心房細動, 心不全. 呼吸器ジャーナル. 2019; 67(3):448-453.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. XVI. 非薬物療法 心不全における呼吸補助療法. 日本臨床 心不全 (第2版) 中. 2019; 77(増刊 1):567-572.

三阪智史, 竹石恭知. 特集 拡張型心筋症のすべて—遺伝子診断から緩和ケアまで バイオマーカーを使いこなす. 循環器内科. 2019; 85(2):173-178.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. 特集 心不全に対する陽圧呼吸治療の発展の歴史 3. 心不全に対する ASV 治療 (大規模 RCT 以前の報告). 循環制御. 2019; 40(2):82-85.

〔その他〕

Yoshihisa A. Editorial Statistics and Best Reviewers Award for 2018. Circulation Journal. 2019; 83(2):249-251.

義久精臣. 心不全入院患者におけるがんが予後に与える影響. TCROSS NEWS (ウェブサイト). 2019; Available from: <https://www.tcross.co.jp/node/9754>.

著 書・訳 書

義久精臣 (策定編集委員). In: 日本心不全学会 編. 急性・慢性心不全診療ガイドライン かかりつけ医向けガイドランス. 東京: ライフサイエンス出版; 2019. p.1-87.

研究発表等

〔研究発表〕

Yokokawa T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Breath and skin acetone in cardiovascular diseases. 2019 XXIII ISHR World Congress; 20190603-06; Beijing, China.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Minakawa K, Sugimoto K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 2019 XXIII ISHR World Congress; 20190603-06; Beijing, China.

Yamada S, Yoshihisa A, Hijioka N, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Clinical significance of cardiac arrhythmias on readmission and cardiac death in hospitalized patients with heart failure. 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRs 2019); 20191024-24; Bangkok, Thailand.

Kamioka M, Yoshihisa A, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Combination impact of transcatheter atrial septal defects closure and radiofrequency catheter ablation on atrial fibrillation recurrence through bi-atrial reverse remodeling. 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRs 2019); 20191024-27; Bangkok, Thailand.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Kanno Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Acetoacetate is associated with poor prognosis in heart failure patients. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10079.

Sato Y, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Atrial fibrillation is associated with impaired exercise capacity and adverse prognosis in heart failure patients with mid-range ejection fraction. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10199.

Sato Y, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Benzodiazepine is associated with adverse prognosis in heart failure patients with insomnia. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10198.

Sato T, Yoshihisa A, Kanno Y, Ishida T, Takeishi Y. Cardiopulmonary exercise testing as a prognostic indicator in patients with preserved exercise capacity. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10367.

Abe S, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical implications of hepatic hemodynamic evaluation by ultrasonography in patients with heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10769.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical implications of intrarenal hemodynamic evaluation by ultrasonography in patients with heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10799.

Misaka T, Yoshihisa A, Niimura Y, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Sato T, Kobayashi A, Takeishi Y. Clinical utility of pulse-transit-time for continuous blood pressure monitoring in patient with sleep disordered breathing. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10106.

Kanno Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Sato Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Comparisons of clinical features and prognosis of heart failure patients with reduced ejection fraction between Japanese women and men. Scientific

Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A12789.

Ando T, Nakazato K, Kiko T, Shimizu T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Impact of geriatric nutrition risk index on long-term prognosis in patients with acute myocardial infarction. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11305.

Ando T, Nakazato K, Kiko T, Shimizu T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Impact of PRECISE-DAPT score on long-term prognosis in patients with acute myocardial infarction. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11446.

Ando T, Nakazato K, Kiko T, Shimizu T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Impact of prognostic nutritional index on patients with acute myocardial infarction. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A11967.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. Janus activating kinase 2 V617F mutation promotes hypoxia induced pulmonary hypertension in mice. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10084.

Sato Y, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic factors in heart failure patients with cardiac cachexia. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10197.

Misaka T, Yoshihisa A, Kono S, Ichijo Y, Oikawa M, Kaneshiro T, Miura I, Yabe H, Ishida T, Takeishi Y. Reduced brain activity is associated with anxiety status and cognitive function in patients with heart failure as measured by near-infrared spectroscopy. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10733.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Ando T, Kiko T, Shimizu T, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Residual gensini score is associated with long term cardiac mortality in patients with ischemic heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10075.

Abe S, Yoshihisa A, Kimishima Y, Sato Y, Kanno Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. TRACP5b is associated with high mortality in hospitalized patients with heart failure. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. Circulation. 140(Suppl 1):A10789.

Minakawa K, Ueda K, Nakajima O, Yokokawa T, Kimishima Y, Misaka T, Ogawa K, Ikezoe T, Takeishi Y, Ikeda K. Knock-ins of type-2 calr mutants cause myeloproliferative neoplasm (MPN)-like hematopoiesis in mice. 61st ASH Annual Meeting and Exposition; 20191207-10; Orlando, Florida, USA. Blood. 134(Suppl

1):2964.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of circulating cardiomyocyte-specific cell-free DNA in patients with heart failure. Cardiovascular and Metabolic Week 2019: International Society for Heart Research (ISHR), The 36th Annual Meeting of the Japanese Section; 20191214-15; Kobe.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. Cardiovascular and Metabolic Week 2019: International Society for Heart Research (ISHR), The 36th Annual Meeting of the Japanese Section; 20191214-15; Kobe.

Kobayashi A, Oikawa M, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Association between left ventricular septal bulge and bradyarrhythmias in patients with pacemaker implantation. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

横川哲朗, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Associations of soluble neprilysin with cardiac function and outcome in patients with hypertrophic cardiomyopathy. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

佐藤崇匡, 義久精臣, 菅野優紀, 一條靖洋, 石田隆史, 竹石恭知. Cardiopulmonary exercise testing as a prognostic indicator: comparisons between heart failure patients with reduced and preserved exercise capacity. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Kimishima Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Sato Y, Kiko T, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Change in left ventricular ejection fraction and its impact on prognosis in heart failure patients with mid-range ejection fraction. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

一條靖洋, 義久精臣, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Characteristics and outcomes of heart failure patients with mid-range left ventricular ejection fraction. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Kimishima Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Sato Y, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Characteristics and outcomes of recovered left ventricular ejection fraction in heart failure patients with reduced ejection fraction. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

及川雅啓, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Characteristics and outcomes of worsening left ventricular ejection fraction in heart failure patients with preserved ejection fraction. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Endothelin-1 upregulates activin receptor-like kinase-1 (ALK-1) expression through Gi-RhoA dependent pathway in human pulmonary arterial endothelial cells. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Kanno Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Sato Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y. Impact of gastro-intestinal bleeding on the later prognosis in patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Yamada S, Yoshihisa A, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Impact of premature ventricular complex burden on re-admission and cardiac death in hospitalized patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

佐藤 悠, 義久精臣, 君島勇輔, 喜古崇豊, 菅野優紀, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. Low T3 syndrome is associated with high mortality and impaired exercise capacity in hospitalized patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Sato Y, Kanno Y, Takiguchi M, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Plasma levels of melatonin in dilated and hypertrophic cardiomyopathies. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

一條靖洋, 義久精臣, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Prior history and incidence of cancer impacts on cardiac prognosis in hospitalized patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

佐藤 悠, 義久精臣, 及川雅啓, 永井利幸, 吉川 勉, 斎藤能彦, 山本一博, 竹石恭知, 安斉俊久. Prognostic impact of chronic obstructive pulmonary disease on adverse prognosis in heart failure patients with preserved ejection fraction: the JASPER registry. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Oikawa M, Yoshihisa A, Sato Y, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Prognostic impact of moderate mitral regurgitation on heart failure patients with preserved ejection fraction: a report from the JASPER registry. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

菅野優紀, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic impact of periodic leg movements during sleep on patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

三阪智史, 義久精臣, 一條靖洋, 喜古崇豊, 君島勇輔, 佐藤 悠, 菅野優紀, 滝口 舞, 横川哲朗, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic impact of restless legs syndrome on patients with heart failure. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

佐藤 悠, 義久精臣, 及川雅啓, 永井利幸, 吉川 勉, 斎藤能彦, 山本一博, 竹石恭知, 安斉俊久.

Prognostic impact of worsening renal function in heart failure patients with preserved ejection fraction: a report from the JASPER registry. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Oikawa M, Yokokawa T, Misaka T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y.

Red cell distribution width is a predictor of cardiac troponin I elevation after anthracycline treatment. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Sato Y, Yoshihisa A, Oikawa M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Yamamoto K, Takeishi Y, Anzai T. Relation of systolic blood pressure on the following day with mortality in heart failure patients with preserved ejection fraction: JASPER registry. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Sugimoto K, Yoshihisa A, Nakazato K, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Ishida T, Takeishi Y.

Relationship between treatment effect of riociguat and methemoglobin in patients with pulmonary hypertension. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

新村裕子, 義久精臣, 横川哲朗, 三阪智史, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己, 竹石恭知. 睡眠時無呼吸症候群患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性に関する検討. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

小林 淳, 及川雅啓, 義久精臣, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. ペースメーカー植え込み患者における S 字状中隔と徐脈性不整脈の関連性の検討. 日本心エコー図学会第 30 回学術集会; 20190510-12; 松本.

三阪智史, 義久精臣, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 杉本浩一, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. Plasma levels of melatonin in dilated cardiomyopathy. 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会; 20190627-28; 名古屋.

新村裕子, 義久精臣, 横川哲朗, 三阪智史, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己, 竹石恭知. 睡眠時無呼吸症候群患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性に関する検討. 日本睡眠学会第 44 回定期学術集会; 20190627-28; 名古屋.

渡邊秋江, 渡辺祐樹, 高野純一, 久保田智之, 小野洋子, 大井直往, 菅野優紀, 一條靖洋, 佐藤崇匡, 義久精臣, 竹石恭知. サルコペニアと栄養状態に関する検討. 第 25 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会; 20190713-14; 大阪.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第 3 回日本循環器学会基礎研究フォーラム(The 3rd JCS Council Forum on Basic CardioVascular Research); 20190906-08; 東京.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Ishida T, Takeishi Y. Significance of circulating cell-free DNA in patients with heart failure. 第 3 回日本循環器学会基礎研究フォーラム(The 3rd JCS Council Forum on Basic CardioVascular Research); 20190906-08; 東京.

小林 淳, 及川雅啓, 義久精臣, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. ペースメーカー植え込み患者における房室伝導障害とS字状中隔の関連. 第67回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

佐藤崇匡, 義久精臣, 竹石恭知. 運動耐容能が保持された慢性心不全患者における予後予測因子について. 第67回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

義久精臣, 渡邊孝一郎, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 石田隆史, 竹石恭知. 心不全患者におけるがん既往と予後および新規がん罹患に関する検討. 第67回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

及川雅啓, 横川哲朗, 三阪智史, 小林 淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 赤血球容積粒度分布幅によるアントラサイクリン化学療法誘発性トロポニンI値上昇の予測. 第67回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

及川雅啓, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 小林 淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 赤血球容積粒度分布幅によるアントラサイクリン化学療法誘発性心筋障害の予測. 第2回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20190921-22; 旭川.

Okochi S, Oikawa M, Yaegashi D, Kanno Y, Kamioka M, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. A case of cardiac involvement in transthyretin amyloidosis. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Sakuma M, Kobayashi A, Kiko T, Kamioka M, Oikawa M, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. A case of sick sinus syndrome with stretched patent foramen ovale and pulmonary hypertension. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Kobayashi A, Oikawa M, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Association between the anatomical changes and bradyarrhythmias in patients with pacemaker implantation. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Sato T, Yoshihisa A, Kanno Y, Ishida T, Takeishi Y. Cardiopulmonary exercise testing as a prognostic indicator in patients with preserved exercise capacity. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical impact of circulating melatonin in dilated cardiomyopathy. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kiko T, Kimishima Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of restless legs syndrome in heart failure patients. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Kanno Y, Yoshihisa A, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Ishida T, Takeishi Y. Comparisons of prognosis with periodic leg movements during sleep in heart failure patients. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Sugimoto K, Minakawa K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. JAK2 V617F

mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Yoshihisa A, Kimishima Y, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Prior history and incidence of cancer impacts on cardiac prognosis in patients with heart failure. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Oikawa M, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Red blood cell distribution width is a predictor of cardiac troponin I elevation after anthracycline treatment. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Sato Y, Kanno Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Soluble neprilysin is not associated with mortality in patients with pulmonary hypertension. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

和田健斗, 義久精臣, 一條靖洋, 三阪智史, 金城貴士, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 心不全患者における脳活動性と不安・抑うつ・認知機能に関する検討. 第169回日本循環器学会東北地方会; 20191207; 仙台.

三阪智史, 義久精臣, 新村裕子, 横川哲朗, 竹石恭知. 睡眠時無呼吸症候群患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性. 第3回PTT血圧・SAS研究会; 20190615; 東京.

横川哲朗, 市村祥平, 金城貴士, 義久精臣, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 鈴木 理, 大野聖子, 相庭武司, 大谷 弘, 竹石恭知. Cases of a c.475G>T, p.E159* lamin A/C mutation with dilated cardiomyopathy and sudden cardiac death. 第5回日本心筋症研究会; 20190713; 札幌.

三阪智史, 義久精臣, 佐藤 悠, 喜古崇豊, 君島勇輔, 菅野優紀, 横川哲朗, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Urinary N-terminal fragment of titin predicts mortality in patients with dilated cardiomyopathy. 第5回日本心筋症研究会; 20190713; 札幌.

小林 淳, 及川雅啓, 義久精臣, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. 左室流出路圧較差の変化を認めた症候性ヘテロ接合体ファブリー病の一例. 第5回日本心筋症研究会; 20190713; 札幌.

三阪智史, 義久精臣, 竹石恭知. 尿中 Titin N-Fragment は拡張型心筋症患者の予後予測に有用である. 第6回 iHF フォーラム; 20190803-04; 東京.

横川哲朗, 義久精臣, 三阪智史, 及川雅啓, 小林 淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 肥大型心筋症における血中ネプリライシン濃度の検討. 第6回 iHF フォーラム; 20190803-04; 東京.

横川哲朗, 義久精臣, 三阪智史, 石田隆史, 竹石恭知. 超高齢心不全患者の特徴. 脳心血管抗加齢研究会 2019; 20191220-21; 東京. Anti-aging Science. 11(1):62.

君島勇輔, 三阪智史, 横川哲朗, 杉本浩一, 皆川敬治, 石田隆史, 池田和彦, 竹石恭知. JAK2 V617F mutation promotes hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. 第476回福島医学会学術研究会;

20190523; 福島.

大河内諭, 及川雅啓, 八重樫大輝, 菅野優紀, 上岡正志, 義久精臣, 中里和彦, 竹石恭知. トランスサイレチン筋沈着とλ型BJPを認めた心アミロイドーシスの一例. 第9回福島心不全研究会; 20191011; 福島.

〔シンポジウム〕

Misaka T. Cardioprotective role of FKBP8 during pressure overload by preventing accumulation of misfolded proteins and ER - associated apoptosis. 2019 XXIII ISHR World Congress; 20190603-06; Beijing, China.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. 簡易 SAS 診断の現状と展望: 循環器診療における簡易 SAS 診断の意義と特殊性. 日本睡眠学会第44回定期学術集会; 20190627-28; 名古屋.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. 循環器疾患患者の睡眠・睡眠障害: 心不全の睡眠・睡眠障害. 日本睡眠学会第44回定期学術集会; 20190627-28; 名古屋.

義久精臣, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林 淳, 竹石恭知. 会長特別企画 全身を診る・心臓をみる 1 HFpEF 診療における治療ターゲットを再考する: HFpEF 治療ターゲットにおける睡眠呼吸障害について再考する. 第67回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. 会長特別企画 全身を診る・心臓をみる 3 心臓病における睡眠時呼吸動態と治療介入: 心不全に合併する睡眠呼吸障害管理. 第67回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

義久精臣, 三阪智史, 石田隆史, 竹石恭知. 症例から深く学ぶ 5 2次性高血圧症の診断と治療: 睡眠時無呼吸症候群合併高血圧患者における pulse-transit-time 血圧測定の有用性に関する検討. 第67回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

三阪智史, 竹石恭知. 加齢に関連した新しい心不全のメカニズム. 脳心血管抗加齢研究会 2019; 20191220-21; 東京. Anti-aging Science. 11(1):43.

〔特別講演〕

義久精臣. 心房細動の包括的管理—DOAC を生かすための睡眠呼吸障害治療—. 会津医学会学術講演会; 20190418; 会津若松.

義久精臣. 心不全患者における消化管保護の重要性～抗血小板薬服用患者への対応～. GI WEB セミナー; 20190527; 福島.

義久精臣. 急性増悪期の心不全の病態と治療. ふくしま心不全ケア勉強会 2019 年度第1回勉強会; 20190831; 福島.

義久精臣. 講義: 代表的な疾患の診断等について<②循環器疾患>. 令和元年度福島県難病指定医研修; 20190901; 郡山.

義久精臣. ランチョンセミナー：心不全の睡眠呼吸障害管理－過去・現在・未来－. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

義久精臣, 竹石恭知. 教育講演：心不全における陽圧呼吸療法－いま ASV をどう活用すべきか－. 第23回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

〔招待講演〕

義久精臣. 心房細動合併心不全の包括的管理－DOAC を生かす睡眠呼吸障害管理－. 第3回心疾患フォーラム in Nagoya; 20190307; 名古屋.

義久精臣. 基調講演：睡眠障害と生活習慣病・心血管病. Sleep Forum; 20190426; 仙台.

義久精臣. 心不全の睡眠呼吸障害管理－過去・現在・未来－. 第16回 Dream Heart カンファレンス; 20190706; 福岡.

先端癌免疫治療研究講座

論 文

〔原 著〕

Go H, Ohto H, Nollet KE, Kashiwabara N, Ogasawara K, Chishiki M, Miyazaki K, Sato K, Sato M, Kawasaki Y, Momoi N, Hosoya M. Perinatal factors affecting coagulation parameters at birth in preterm and term neonates: A retrospective cohort study. American Journal of Perinatology. 201912; 36(14):1464-1470.

Yamada L, Saito M, Min A, Saito K, Kase K, Onozawa H, Okayama H, Fujita S, Endo H, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. Explore the correlation between ARID1A and ANXA1 expressions in gastric cancer. Annals of Cancer Research and Therapy. 201901; 27(2):46-51.

Shibata M, Mimura K, Shimura T, Kono K, Ohto H, Takenoshita S. IL-17A in oncology. Annals of Cancer Research and Therapy. 201911; 27(2):59-63.

Kikuchi T, Mimura K, Ashizawa M, Okayama H, Endo E, Saito K, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Shimada K, Yoshimura K, Tsunoda T, Kono K. Characterization of tumor-infiltrating immune cells in relation to microbiota in colorectal cancers. Cancer Immunology, Immunotherapy. 201911; 69(1):23-32.

Ohira T, Ohtsuru A, Mifotikses S, Takahashi H, Yasumura S, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ishikawa T, Sakai A, Suzuki S, Yamashita S, Yokoya S, Tanigawa K, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. External Radiation Dose, Obesity, and Risk of Childhood Thyroid Cancer after

the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: The Fukushima Health Management Survey. *Epidemiology*. 201911; 30(6):853-860.

Oe M, Maeda M, Ohira T, Itagaki S, Harigane M, Suzuki Y, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Ohto H. Parental Recognition of Bullying and Associated Factors Among Children After the Fukushima Nuclear Disaster: A 3-Year Follow-Up Study from the Fukushima Health Management Survey. *Frontiers in Psychiatry*. 201905; 10:283.

Nakayama Y, Mimura K, Tamaki T, Shiraishi K, Kua LF, Koh V, Ohmori M, Kimura A, Inoue S, Okayama H, Suzuki Y, Nakazawa T, Ichikawa D, Kono K. Phospho-STAT1 expression as a potential biomarker for anti-PD-1/anti-PD-L1 immunotherapy for breast cancer. *International Journal of Oncology*. 201906; 54(6):2030-2038.

Ogiyama Y, Ito S, Irino M, Hishinuma T, Asano T, Ooyama M, Shimizu H, Nakagawa K, Minegishi M, Osabe T, Ogasawara K, Wada I, Ohto H. Variations of three single nucleotide polymorphisms in *ABCG2* modify Jr^a expression. *International Journal of Blood Transfusion and Immunohematology*. 201910; 9:100047Z02 YO2019.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahasi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki S, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K. Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan, Screened With 2 Rounds of Ultrasonography Within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 201901; 145(1):4-11.

Nakayama Y, Mimura K, Kono K. The mechanism of PD-L1 expression and the development of biomarker of anti-PD-1/anti-PD-L1 monoclonal antibody from the viewpoint of IFN- γ . *Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy*. 201905; 46(5):838-840.

Ashizawa M, Okayama H, Ishigame T, Thar Min AK, Saito K, Ujiie D, Murakami Y, Kikuchi T, Nakayama Y, Noda M, Tada T, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. miRNA-148a-3p Regulates Immunosuppression in DNA Mismatch Repair-Deficient Colorectal Cancer by Targeting PD-L1. *Molecular Cancer Research*. 201906; 17(6):1403-1413.

Shimura T, Shibata M, Gonda K, Murakami Y, Noda M, Tachibana K, Abe N, Ohtake T. Prognostic impact of interleukin-6 and C-reactive protein on patients with breast cancer. *Oncology letters*. 201906; 17(6):5139-5146.

Kikuchi T, Mimura K, Okayama H, Nakayama Y, Saito K, Yamada L, Endo E, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. A subset of patients with MSS/MSI-low-colorectal cancer showed increased CD8(+) TILs together with up-regulated IFN- γ . *Oncology Letters*. 201912; 18(6):5977-5985.

Omae Y, Ito S, Takeuchi M, Isa K, Ogasawara K, Kawabata K, Oda A, Kaito S, Tsuneyama H, Uchikawa M, Wada I, Ohto H, Tokunaga K. Integrative genome analysis identified the KANNO blood group antigen as prion protein. *Transfusion*. 201907; 59(7):2429-2435.

Takeuchi-Baba C, Ito S, Kinjo R, Miyagi H, Yasuda H, Ogasawara K, Ohto H. Production of RBC autoantibody mimicking anti-D specificity following transfusion in a patient with weak D Type 15. *Transfusion*. 201904; 59(4):1190-1195.

中山裕子, 三村耕作, 河野浩二. 【がんにおける PD-L1 分子の発現調節】 IFN- γ の観点からみた PD-L1 発現機構と抗 PD-1/抗 PD-L1 抗体のバイオマーカー開発. *癌と化学療法*. 201905; 46(5):838-840.

〔総説等〕

Kojima Y, Yokoya S, Kurita N, Idaka T, Ishikawa T, Tanaka H, Ezawa Y, Ohto H. Cryptorchidism after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: causation or coincidence? *Fukushima Journal of Medical Science*. 2019; 65(3):76-98.

Ngoma AM, Mutombo PB, Omokoko MD, Mvika ES, Nollet KE, Ohto H. Prevalence and Molecular Epidemiology of Human T-Lymphotropic Virus Type 1 among Women Attending Antenatal Clinics in Sub-Saharan Africa: A Systematic Review and Meta-Analysis. *American Journal of Tropical Medicine and Hygiene*. 201910; 101(4):908-915.

Katsuragi S, Ohto H, Yoshida A, Otake A, Tsuneyama H, Ogasawara K, Isa K, Ikeda T. Anemic Disease of the Newborn with Little Increase in Hemolysis and Erythropoiesis Due to Maternal Anti-Jr^a: A Case Study and Review of the Literature. *Transfusion Medicine Reviews*. 201907; 33(3):183-188.

Ngoma AM, Omokoko MD, Mutombo PB, Mvika ES, Muwonga JM, Nollet KE, Ohto H. Population-based prevalence of human T-lymphotropic virus type I in sub-Saharan Africa: a systematic review and meta-analysis. *Tropical Medicine and International Health*. 201911; 24(11):1277-1290.

Ngoma AM, Omokoko MD, Mutombo PB, Nollet KE, Ohto H. Seroprevalence of human T-lymphotropic virus (HTLV) in blood donors in sub-Saharan Africa: a systematic review and meta-analysis. *Vox Sanguinis*. 201907; 114(5):413-425.

村田強志, 藤森敬也, 大戸 斉. 【新生児黄疸を再び考える】血液型不適合溶血性疾患 血液型不適合による溶血性疾患. *周産期医学*. 201902; 49(2):202-205.

河野浩二, 柴田昌彦. 最終回 連載を終えるにあたって. *消化器外科*. 2019; 42(11):1610-1611.

柴田昌彦. 第1回 “癌と炎症” 概説; 連載の序にかえて. *消化器外科*. 2019; 42(12):1723-1729.

室井一男, 池田和彦, 奥山美樹, 田野崎隆二, 藤原慎一郎, 長村登紀子, 横濱章彦, 大戸 斉, 松下 正. 院内採血の過去, 現状, 将来展望. *日本輸血・細胞治療学会誌*. 201902; 65(1):103-107.

〔その他〕

Okonogi N, Suzuki Y, Sato H, Oike T, Yoshimoto Y, Mimura K, Noda S, Okamoto M, Tamaki T, Morokoshi Y, Hasegawa S, Ohgaki H, Yokoo H, Nakano T. In Reply to Minhas and Tran. *International journal of*

研究発表等

〔研究発表〕

Shibata M, Nakajima T, Mimura K, Shimura T, Kono K, Takenoshita S. MDSC is an important immunosuppressing factor and functionally related with VEGF and IL-17 in patients with gastrointestinal cancer. ESMO Immuno-Oncology Congress; 20191212; Geneva, Switzerland.

志村龍男, 柴田昌彦, 権田憲士, 早瀬 傑, 坂本 渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌予後因子としての Lymphocyte-to-Monocyte Ratio の有用性 : myeloid-derived suppressor cells との関連において. 第 15 回日本消化管学会総会学術集会; 20190201; 佐賀.

皆川敬治, 大戸 斉, 奥山美樹, 藤原実名美, 金森平和, 藤原慎一郎, 室井一男, 森 毅彦, 笠間絹代, 井関 徹, 長村登紀子, 藤井伸治, 芦田隆司, 亀田和明, 諫田淳也, 廣瀬朝生, 高橋 勉, 長井一浩, 田野崎隆二, 池田和彦. 造血細胞輸注に伴う有害事象に関する前向き研究 : 小児および低体重症例解析. 第 114 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20190302; 山形.

渡邊範彦, 樫村 誠, 齋藤絵梨子, 渡部和也, 大戸 斉, 峯岸正好, 須田 滉, 管 桂一, 笹木恵美子, 渡辺隆幸, 塩川秀樹, 山田朋美, 味戸一宏, 木村隆弘, 池田和彦. 福島県合同輸血療法委員会と小規模医療機関の関わり. 第 114 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20190302; 山形.

高橋信久, 望月一弘, 大原喜裕, 小林正悟, 佐野秀樹, 池田和彦, 大戸 斉, 菊田 敦. 小児 T 細胞非除去ハプロ移植後の急性 GVHD 重症化に係わるバイオマーカー. 第 41 回日本造血細胞移植学会総会; 20190307-09; 大阪.

池田和彦, 大戸 斉, 奥山美樹, 藤原実名美, 金森平和, 藤原慎一郎, 室井一男, 森 毅彦, 笠間絹代, 井関 徹, 長村登紀子, 藤井伸治, 芦田隆司, 亀田和明, 諫田淳也, 廣瀬朝生, 高橋 勉, 長井一浩, 皆川敬治, 田野崎隆二. 造血細胞輸注に伴う有害事象に関する前向き研究 : 小児・低体重患者の解析. 第 41 回日本造血細胞移植学会総会; 20190307-09; 大阪.

氏家大輔, 岡山洋和, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 坂本 渉, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 権田憲士, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 柴田昌彦, 河野浩二. Stage II 大腸癌における根治切除後再発予測バイオマーカーの同定. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418; 大阪.

柴田昌彦, 権田憲士, 岩館 学, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 志村龍男, 大竹 徹, 河野浩二, 鈴木眞一, 竹之下誠一. 外科における癌患者の Host Factor 研究の重要性. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418; 大阪.

権田憲士, 柴田昌彦, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 胃癌患者における免疫抑制と予後の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190420; 大阪.

三村耕作, 中山裕子, 氏家大輔, 菊池智弘, 渡辺洋平, 花山寛之, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野

浩二. PD-L1 の発現機構から検討した胃癌における抗 PD-1 抗体の適応について. 第 40 回癌免疫外科研究会; 20190516-17; 金沢.

玉井佳子, 大戸 齊, 北澤淳一. 小児・新生児輸血 未成年者 (1~19 歳) の赤血球同種抗体に関する多施設共同研究. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

高野希美, 川畑絹代, 只野光彦, 菅野喜久子, 志村浩己, 大戸 齊, 池田和彦. 乾式装置による新鮮凍結血漿融解時の凝固因子活性の推移. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20190523-25; 熊本.

藤原実名美, 池田和彦, 大戸 齊, 奥山美樹, 金森平和, 藤原慎一郎, 室井一男, 森 毅彦, 笠間絹代, 井関 徹, 長村登紀子, 藤井伸治, 芦田隆司, 亀田和明, 諫田淳也, 廣瀬朝生, 高橋 勉, 長井一浩, 皆川敬治, 田野崎隆二. 造血細胞輸注に伴う有害事象に関する前向き研究 小児・低体重患者についての解析. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20190523-25; 熊本.

力丸峻也, 高野希美, 大戸 齊, 池田和彦. 新たな乾式装置を使用した新鮮凍結血漿融解時の凝固因子生活の推移. 第 29 回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会; 20190607-08; 名古屋.

中山裕子, 三村耕作, 白石謙介, 井上正行, 中田晴夏, 大森征人, 木村亜矢子, 高橋ひふみ, 國友和善, 中込 博, 中澤匡男, 井上慎吾, 市川大輔. 乳癌における PD-L1 発現機構. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711-13; 東京.

柴田昌彦, 権田憲士, 中島隆宏, 三村耕作, 志村龍男, 河野浩二, 大戸 齊, 竹之下誠一. VEGF と IL-17 の制御を併用した癌免疫療法. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024; 福岡.

大木進司, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 柴田昌彦, 河野浩二. Barrett 食道癌の臨床病理学的特徴と治療戦略. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024; 福岡.

滝口千晶, 大木進司, 加瀬晃志, 山内直人, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 門馬智之, 三村耕作, 柴田昌彦, 河野浩二. 直腸原発 gastrointestinal stromal tumor の 3 切除例. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191025; 福岡.

柴田昌彦, 権田憲士, 中島隆宏, 齋藤元伸, 岩舘 学, 鈴木 聡, 門馬智之, 三村耕作, 志村龍男, 大竹 徹, 河野浩二, 櫻本信一, 山口茂樹, 小山 勇, 竹之下誠一. 癌治療アウトカムからの炎症と宿主要因を考慮する. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191115; 高知.

河野浩二, 藤原俊義, 碓 彰一, 有賀 淳, 玉田耕治, 山口佳之, 奥村晃子, 飯沼久恵, 柴田昌彦, 石原幹也, 三村耕作. 科学的根拠に基づいたがん免疫療法の評価と Publicity (班の活動報告). 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191129; 岡山.

〔シンポジウム〕

三村耕作, 中山裕子, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 胃癌微小環境から検討した胃癌における抗 PD-1 抗体の適応

について（ワークショップ）．第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

柴田昌彦. 消化器発がんのゲノム・エピゲノム異常研究の最前線 特別発言. 第 28 回日本癌病態治療研究会; 20190627; 川越.

三村耕作, 中山裕子, 氏家大輔, 渡辺洋平, 花山寛之, 岡山洋和, 齋藤元信, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. Clinical indication of anti-PD-1 mAb in gastric cancer in terms of the mechanism of PD-L2 expression. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

三村耕作, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田怜央, 氏家大輔, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. Potentiality of combining radiotherapy with immune checkpoint inhibitors (パネルディスカッション)．第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

三村耕作, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 上部消化管癌における複合免疫療法の開発. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山.

〔特別講演〕

柴田昌彦. 免疫ってなに? 市民公開講座; 20191013; 福島.

〔招待講演〕

Mimura K. Immunogenic tumor cell death induced by chemoradiotherapy: a clinical point of view. ESTRO38 (Symposium); 20190426-30; Milano, Italy.

〔その他〕

大原喜裕, 佐野秀樹, 高橋信久, 小林正悟, 望月一弘, 大戸 斉, 池田和彦, 菊田 敦. 初回採取不良のためブレリキサホル併用にて再度抹消血幹細胞採取を施行した小児固形腫瘍の 3 例. 第 41 回日本造血細胞移植学会総会; 20190307-09; 大阪.

渡辺洋平, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 菊池智宏, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 中山裕子, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 胃癌患者における術前好中球／リンパ球比の予後的意義. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

三村耕作. 胃癌における免疫チェックポイント阻害剤の基礎と使用経験. The Latest Gastric Cancer Seminar 2019; 20190604; 仙台.

三村耕作. 胃癌における免疫チェックポイント阻害剤の基礎と使用経験. 空知 Immuno-Oncology 講演会; 20190627; 砂川.

三村耕作. 手の届くようになったがん免疫療法ーがん免疫療法の現状ー. 市民公開講座「がん免疫療法のいま」を知る; 20191013-14; 福島.

神経再生医療学講座

論文

〔原 著〕

Nakatani-Enomoto S, Yamazaki M, Kamimura Y, Abe M, Asano K, Enomoto H, Wake K, Watanabe S, Ugawa Y. Frequency-dependent current perception threshold in healthy Japanese adults. *Bioelectromagnetics*. 201904; 40(3):150-159.

Murakami T, Abe D, Matsumoto H, Tokimura R, Abe M, Tiksnadi A, Kobayashi S, Kaneko C, Urata Y, Nakamura M, Sano A, Ugawa Y. A patient with McLeod syndrome showing involvement of the central sensorimotor tracts for the legs. *BMC Neurology*. 201911; 19(1):301.

Shirota Y, Hanajima R, Ohminami S, Tsutsumi R, Ugawa Y, Terao Y. Supplementary motor area plays a causal role in automatic inhibition of motor responses. *Brain Stimulation*. 201907; 12(4):1020-1026.

Yokota T, Maki T, Nagata T, Murakami T, Ugawa Y, Laakso I, Hirata A, Hontani H. Real-time estimation of electric fields induced by transcranial magnetic stimulation with deep neural networks. *Brain Stimulation*. 201911; 12(6):1500-1507.

Rossini PM, Di Iorio R, Bentivoglio M, Bertini G, Ferreri F, Gerloff C, Ilmoniemi RJ, Miraglia F, Nitsche MA, Pestilli F, Rosanova M, Shirota Y, Tesoriero C, Ugawa Y, Vecchio F, Ziemann U, Hallett M. Methods for analysis of brain connectivity: An IFCN-sponsored review. *Clinical Neurophysiology*. 201910; 130(10):1833-1858.

Terao Y, Tokushige SI, Inomata-Terada S, Fukuda H, Yugeta A, Ugawa Y. Differentiating early Parkinson's disease and multiple system atrophy with parkinsonism by saccade velocity profiles. *Clinical Neurophysiology*. 201912; 130(12):2203-2215.

Hanajima R, Tanaka N, Tsutsumi R, Shirota Y, Shimizu T, Terao Y, Ugawa Y. Effect of caffeine on long-term potentiation-like effects induced by quadripulse transcranial magnetic stimulation. *Experimental Brain Research*. 201903; 237(3):647-651.

Wiratman W, Kobayashi S, Chang FY, Asano K, Ugawa Y. Assessment of Cognitive and Motor Skills in Parkinson's Disease by a Robotic Object Hitting Game. *Frontiers in Neurology*. 201901; 10:19.

Murakami T, Nakatani-Enomoto S, Enomoto H, Takahashi Y, Ugawa Y. A Unique Shape of Brainstem Lesion that Caused Orthostatic Hypotension in Anti-NMDAR Encephalitis. *Internal Medicine*. 201910; 58(19):2861-2864.

Osada T, Ohta S, Ogawa A, Tanaka M, Suda A, Kamagata K, Hori M, Aoki S, Shimo Y, Hattori N, Shimizu T, Enomoto H, Hanajima R, Ugawa Y, Konishi S. An Essential Role of the Intraparietal Sulcus in Response

Inhibition Predicted by Parcellation-Based Network. *Journal of Neuroscience*. 201903; 39(13):2509-2521.

Urata Y, Nakamura M, Sasaki N, Shiokawa N, Nishida Y, Arai K, Hiwatashi H, Yokoyama I, Narumi S, Terayama Y, Murakami T, Ugawa Y, Sakamoto H, Kaneko S, Nakazawa Y, Yamasaki R, Sadashima S, Sakai T, Arai H, Sano A. Novel pathogenic *XK* mutations in McLeod syndrome and interaction between XK protein and chorein. *Neurology. Genetics*. 201906; 5(3):e328.

Shirota Y, Ohminami S, Tsutsumi R, Terao Y, Ugawa Y, Tsuji S, Hanajima R. Increased facilitation of the primary motor cortex in de novo Parkinson's disease. *Parkinsonism & Related Disorders*. 201909; 66:125-129.

Tamura K, Osada T, Ogawa A, Tanaka M, Suda A, Shimo Y, Hattori N, Kamagata K, Hori M, Aoki S, Shimizu T, Enomoto H, Hanajima R, Ugawa Y, Konishi S. MRI-based visualization of rTMS-induced cortical plasticity in the primary motor cortex. *PLOS ONE*. 201910; 14(10):e0224175.

望月仁志, 宇川義一. 神経メカニズムから捉える失調症状. *Japanese Journal of Rehabilitation Medicine : リハビリテーション医学*. 201902; 56(2):88-93.

川口典彦, 寺田清人, 宇川義一. 【精神科で知っておくべきてんかんの知識】てんかん診療ガイドライン 2018 に基づいた診療の考え方. *精神科*. 201912; 35(6):530-535.

松本英之, 宇川義一. 【傍脊柱筋の機能解剖学, 姿勢制御と手術アプローチ】(第3章) 傍脊柱筋の病態 パーキンソン病における姿勢異常. *脊椎脊髄ジャーナル*. 201904; 32(4):419-423.

松本英之, 宇川義一. 【てんかん診療の最前線】てんかんの生理学的発生機序. *日本医師会雑誌*. 201912; 148(9):1703-1706.

牧 豊大, 酒井隆志, Laakso Ilkka, 宇川義一, 村上丈伸, 横田達也, 平田晃正, 本谷秀堅. TMS 検査のための脳MRI 画像からの誘導電流強度の回帰とその推定誤差分散推定. *日本医用画像工学会大会予稿集*. 201907; 38回:485-487.

望月仁志, 宇川義一. 【医薬品副作用学(第3版)下-薬剤の安全使用アップデート】臓器・系統別副作用各論 重大な副作用を中心に 神経・筋骨格系 末梢神経障害. *日本臨床*. 201907; 77(増刊 4):320-325.

溝淵雅広, 宇川義一. 【神経疾患診療ガイドライン update】てんかん診療ガイドライン update. *脳神経内科*. 201907; 91(1):22-29.

望月仁志, 宇川義一. 【ジストニア診療の update】ジストニアの病態の多様性と診断のポイント. *脳神経内科*. 201912; 91(6):721-726.

時村 瞭, 井口正寛, 伊藤英一, 村上丈伸, 宇川義一. 化膿性脳室炎を合併した細菌性髄膜炎における抗菌薬治療 自験例と症例報告の検討. *臨床神経学*. 201903; 59(3):133-138.

松田 希, 小林俊輔, 宇川義一. 絵画制作に没頭したパーキンソン病の1例. *臨床神経心理*. 201912; 30:41-45.

花島律子, 松本英之, 出江紳一, 宇川義一, 緒方勝也, 鬼頭伸輔, 小林正人, 齋藤洋一, 寺尾安生, 中村元昭, 野田賀大, 西田圭一郎, 臨床神経生理学会脳刺激法に関する小委員会. 磁気刺激法の安全性に関するガイドライン (2019 年版) . 臨床神経生理学. 201904; 47(2):126-130.

過年業績

Çan M, Laakso I, Nieminen J, Murakami T, Ugawa Y. Coil model comparison for cerebellar transcranial magnetic stimulation. Biomedical Physics and Engineering Express. 201811; 5:15020.

低侵襲腫瘍制御学講座

論 文

〔原 著〕

Nishikawa M, Honda M, Kimura R, Kobayashi A, Yamaguchi Y, Kobayashi H, Kawamura H, Nakayama Y, Todate Y, Takano Y, Yamaguchi H, Hamada K, Iketani S, Seto I, Seto K. Bacteriological examination of stomach mucosa and periodontal pocket in patients with gastric cancer: A study protocol. Annals of Cancer Research and Therapy. 201901; 27(1):1-3.

Nakayama Y, Kawamura H, Kobayashi H, Todate Y, Takano Y, Matsunaga R, Miyakawa T, Honda M. Development of an assessment tool for laparoscopic colectomy: The protocol of the ASLAC study. Annals of Cancer Research and Therapy. 201901; 27(1):28-30.

Mayanagi S, Kashiwabara K, Honda M, Oba K, Aoyama T, Kanda M, Maeda H, Hamada C, Sadahiro S, Sakamoto J, Maehara Y, Yoshikawa T. Risk factors for paraaortic lymph-node recurrence in colorectal cancer. Annals of Cancer Research and Therapy. 201910; 27(2):52-56.

Kinoshita T, Uyama I, Terashima M, Noshiro H, Nagai E, Obama K, Tamamori Y, Nabae T, Honda M, Abe T. Long-term Outcomes of Laparoscopic Versus Open Surgery for Clinical Stage II/III Gastric Cancer: A Multicenter Cohort Study in Japan (LOC-A Study). Annals of Surgery. 201905; 269(5):887-894.

Hamada K, Kawano K, Yamauchi A, Koyanagi R, Horikawa Y, Nishida S, Shiwa Y, Nishino N, Honda M. Efficacy of Endoscopic Submucosal Dissection of Esophageal Neoplasms under General Anesthesia. Clinical Endoscopy. 201905; 52(3):252-257.

Kodera Y, Yoshida K, Kumamaru H, Kakeji Y, Hiki N, Etoh T, Honda M, Miyata H, Yamashita Y, Seto Y, Kitano S, Konno H. Introducing laparoscopic total gastrectomy for gastric cancer in general practice: a retrospective cohort study based on a nationwide registry database in Japan. Gastric Cancer. 201901; 22(1):202-213.

Honda M, Kumamaru H, Etoh T, Miyata H, Yamashita Y, Yoshida K, Kodera Y, Kakeji Y, Inomata M, Konno H, Seto Y, Kitano S, Watanabe M, Hiki N. Surgical risk and benefits of laparoscopic surgery for elderly patients with gastric cancer: a multicenter prospective cohort study. *Gastric Cancer*. 201907; 22(4):845-852.

Nishikawa M, Honda M, Kimura R, Kobayashi A, Yamaguchi Y, Kobayashi H, Kawamura H, Nakayama Y, Todate Y, Takano Y, Yamaguchi H, Hamada K, Iketani S, Seto I, Seto K. Clinical impact of periodontal disease on postoperative complications in gastrointestinal cancer patients. *International Journal of Clinical Oncology*. 201912; 24(12):1558-1564.

Tanioka H, Honda M, Tanaka C, Morita Y, Ishibashi K, Kato T, Matsuda C, Kataoka M, Satake H, Munemoto Y, Kobayashi K, Takahashi M, Nakata K, Sakamoto J, Oba K, Mishima H. Biweekly S-1 plus oxaliplatin (SOX) reintroduction in previously treated metastatic colorectal cancer patients (ORION 2 study): a phase II study to evaluate the efficacy and safety. *International Journal of Clinical Oncology*. 201907; 24(7):836-841.

Nakayama Y, Iijima T, Wakaume R, Takahashi K, Matsumoto H, Nakano D, Miyaki M, Yamaguchi T. Microsatellite instability is inversely associated with type 2 diabetes mellitus in colorectal cancer. *PLOS ONE*. 201904; 14(4):e0215513.

Kuroguchi T, Honda M, Yamashita K, Hayami M, Okamura A, Imamura Y, Mine S, Watanabe M. Safety and efficacy of preoperative chemotherapy followed by esophagectomy versus upfront surgery for resectable esophageal squamous cell carcinoma. *Surgery Today*. 201902; 49(2):150-157.

Hamada K, Horikawa Y, Koyanagi R, Shiwa Y, Techigawara K, Nishida S, Nakayama Y, Honda M. Usefulness of a multibending endoscope in gastric endoscopic submucosal dissection. *VideoGIE: an official video journal of the American Society for Gastrointestinal Endoscopy*. 201912; 4(12):577-583.

Nishida S, Hamada K, Nishino N, Fukushima D, Koyanagi R, Horikawa Y, Shiwa Y, Saitoh S. Efficacy of long-term rifaximin treatment for hepatic encephalopathy in the Japanese. *World Journal of Hepatology*. 201906; 11(6):531-541.

河村英恭, 本多通孝, 松永理絵, 外館幸敏, 中山祐次郎, 小林拓史, 山口久志, 高野祥直, 阿部 幹, 鈴木伸康, 佐藤 直, 藁谷 暢, 阿左美亜矢佳, 寺西 寧, 村上昌雄. 直腸癌局所再発に対して腫瘍減量および大網充填によるスぺーサー手術後陽子線治療を施行した4例. *癌と化学療法*. 201901; 48(1):79-82.

中山祐次郎, 河村英恭, 小林拓史, 金田晃尚, 外館幸敏, 藁谷 暢, 高野祥直, 本多通孝. 腹腔鏡下手術を施行したMorgagni孔ヘルニアの一例. *福島医学雑誌*. 201908; 69(2):143-147.

堀 創史, 本多通孝, 小林拓史, 外館幸敏, 藁谷 暢, 高野祥直. 胃切除後早期に発症したペラグラの1例. *臨床外科*. 201909; 74(9):1117-1121.

著 書・訳 書

本多通孝. 外科系医師のための臨床研究：手術を評価するアウトカム. 東京：医学書院；201907.

研究発表等

〔研究発表〕

Honda M, Kinoshita T, Uyama I, Ogino T, Tamamori Y, Kubo N, Noshiro H, Nabae T, Tokuunaga M, Obama K, Hisamori S, Yoda Y, Nagai E, Kikuchi K, Ohuchida K, Makuuchi R, Abe T, Terashima M. The impact of laparoscopic gastrectomy on the continuity of adjuvant chemotherapy. 13th International Gastric Cancer Congress(IGCC 2019); 20190508-11; Prague, Czech Republic.

Hori S, Honda M, Kobayashi H, Kawamura H, Matsunaga R, Nakayama Y, Kaneta A, Todate Y, Waragai M, Takano Y. Clinical implication of periodical staging laparoscopy for assessment of chemotherapeutic effects on gastric cancer with CT-negative peritoneal dissemination. 13th International Gastric Cancer Congress (IGCC 2019); 20190508-11; Prague, Czech Republic.

Yamaguchi H, Honda M, Hamada K, Todate Y, Seto I, Suzuki M, Wada H, Murakami M. The effectiveness of proton beam therapy for liver metastatic recurrence in gastric cancer patients. 58th Annual Conference of the Particle Therapy Co-Operative Group (PTCOG58); 20190610-15; Manchester, UK.

Nakayama Y, Kawamura H, Kobayashi H, Todate Y, Takano Y, Honda M. Development of an assessment tool for laparoscopic sigmoidectomy using the Delphi method: The ASLAC Project. 14th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgeon of Asia (ELSA 2019); 20191121-23; Chiang Mai, Thailand.

本多通孝, 隈丸 拓, 衛藤 剛, 猪股雅史, 宮田裕章, 山下裕一, 北野正剛, 今野弘之, 瀬戸泰之, 比企直樹. NCD から見た高齢者に対する腹腔鏡下胃切除術の現状と成績. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

本多通孝, 鈴木伸康, 藁谷 暢, 堀 創史, 小林拓史, 河村英恭, 金田晃尚, 佐瀬善一郎, 高野祥直, 寺西 寧. 市中病院における腹臥位胸腔鏡・腹腔鏡併用食道切除術の導入と成績. 第 73 回日本食道学会学術集会; 20190606-07; 福岡.

外館幸敏, 阿左見亜矢佳, 小鹿山陽介, 鈴木優也, 金田晃尚, 河村英恭, 中山祐次郎, 本多通孝, 高野祥直, 寺西 寧, 赤間孝典, 野水 整. Lynch 症候群を疑い遺伝学的検査を施行した Stage IV 大腸癌の 1 例. 第 25 回日本家族性腫瘍学会学術集会; 20190614-15; 東京.

河村英恭, 本多通孝, 神賀貴大, 滝口光一, 岩尾年康, 山崎 繁, 武藤 淳, 山下直行, 白相 悟, 河野浩二, 佐治重衡. 福島県におけるステージIV期大腸癌の実態調査－院内がん登録と診療録の統合データの利用. 日本がん登録協議会第 28 回学術集会; 20190619-21; 札幌.

山口久志, 本多通孝, 濱田晃市, 瀬戸一郎, 高山香名子, 鈴木志恒, 和田 仁, 菊池泰裕, 村上昌雄. 出血を伴う切除不能進行胃癌に対する止血緩和照射の有用性. 第 140 回日本医学放射線学会北日本地方会; 20190621-22; 青森.

叢 岳, 藤生浩一, 宮元秀昭. 気管分岐部リンパ節転移による左右気管支狭窄にAERO ステンツ 2 本を左右主気管支へ人字状に留置した 1 例. 第 42 回日本呼吸器内視鏡外科学会学術集会; 20190704-05; 東京.

叢 岳, 藤生浩一, 宮元秀昭. 主気管支へ留置した AERO ステンツが気管へ逸脱した時の再留置方法: 軟性気管支鏡を用いた際の対応. 第 42 回日本呼吸器内視鏡外科学会学術集会; 20190704-05; 東京.

濱田晃市, 斎藤 聡, 近藤福雄, 佐久間秀夫. 症例検討会-3 CR3-1 症例. 第 55 回日本肝癌研究会; 20190704-05; 東京.

河村英恭, 本多通孝, 滝口光一, 神賀貴大, 齋藤賢将, 山崎 繁, 岩尾年康, 河野浩二. 切除不能 Stage IV 大腸癌における原発切除と臨床予後の関連: 多施設共同過去起点コホート研究. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

堀 創史, 本多通孝, 小鹿山陽介, 小林拓史, 河村英恭, 松永理絵, 中山祐次郎, 外館幸敏, 藁谷 暢, 高野祥直. 上部消化管領域における局所解剖のポイント. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

本多通孝, 藁谷 暢, 高野祥直, 外館幸敏, 堀 創史, 鈴木伸康, 阿部 幹, 小鹿山陽介, 河村英恭, 寺西 寧. ロボット手術の経験がない市中病院におけるロボット支援下胃切除術導入一臨床試験による安全性評価. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

小林拓史, 本多通孝, 堀 創史, 藁谷 暢, 河村英恭, 金田晃尚, 中山祐次郎, 外館幸敏, 高野祥直, 寺西 寧. 審査腹腔鏡による胃癌腹膜播種に対する化学療法の評価とコンバージョン手術の成績. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190718-19; 東京.

中山祐次郎, 飯島 武, 若梅理香, 高橋慶一, 松本 寛, 中野大輔, 宮木美知子, 河村英恭, 山口達郎. マイクロサテライト不安定性大腸癌と 2 型糖尿病との関連. 臨床遺伝 2019 in Sapporo; 20190802-04; 札幌.

濱田晃市. 下咽頭と食道の診断と治療. 第 25 回福島県消化器病研究会; 20190914; 郡山.

橋本克彦, 東北セプシスレジストリー研究グループ. 重症敗血症における敗血症性「死の 3 徴」合併数と院内全死亡との関連: 東北セプシスレジストリー研究. 第 47 回日本救急医学会総会学術集会; 20191002-04; 東京.

堀 創史, 本多通孝, 小鹿山陽介, 小林拓史, 河村英恭, 中山祐次郎, 外館幸敏, 藁谷 暢, 高野祥直, 寺西 寧. 単施設における胃癌に対するニボルマブの短期治療成績. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

本多通孝, 小林拓史, 藁谷 暢, 堀 創史, 高野祥直, 外館幸敏, 中山祐次郎, 河村英恭, 宮川哲平. 地域医療における Stage IV 胃癌の臨床像と予後. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

河村英恭, 本多通孝, 滝口光一, 神賀貴大, 齋藤賢将, 山崎 繁, 武藤 淳, 白相 悟, 山下直行, 岩尾年康, 佐治重衡, 河野浩二. ステージ IV 期大腸癌における、原発占拠部位と転移様式、予後の関連. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191025-26; 福岡.

小林拓史, 宮川哲平, 河村英恭, 中山祐次郎, 外館幸敏, 山口久志, 叢 岳, 濱田晃市, 小柳亮太, 橋本克

彦, 藁谷 暢, 高野祥直, 本多通孝. CT で検出不能な腹膜播種を有する胃癌患者に対する定期的審査腹腔鏡の臨床的意義. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191025-26; 福岡.

叢 岳. 肺動脈瘤・肺動脈解離の臨床像と治療方針についての考察. 第 11 回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会; 20191025-26; 沖縄.

叢 岳, 本多通孝, 齋藤 洋, 杉村裕志, 野守裕明. 肺区域切除後の肺瘻に対して癒着療法が肺機能温存へおよぼす影響の検討. 第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191030-1102; 京都.

叢 岳, 野守裕明, 三島修治, 中村 央, 杉村裕志. 縦隔気管孔患者の気管孔管理と日常生活維持のための工夫. 第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191030-1102; 京都.

河村英恭, 本多通孝, 外館幸敏, 中山祐次郎, 宮川哲平, 小林拓史, 小鹿山陽介, 鈴木伸康, 佐藤 直, 阿部 幹, 藁谷 暢, 阿左見亜矢佳, 高野祥直, 寺西 寧. 福島県市中病院で行う高校生医療体験セミナー ～福島県で働く医師外科医を増やすために～. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

小林拓史, 本多通孝, 藁谷 暢, 小鹿山陽介, 宮川哲平, 河村英恭, 外館幸敏, 中山祐次郎, 高野祥直. 胃癌患者における術前身体活動量と術後合併症・在院日数との関連. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

中山祐次郎, 小林拓史, 河村英恭, 宮川哲平, 外館幸敏, 本多通孝. 地域外科医療を支えるのはインセンティブか強制か. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

本多通孝, 小鹿山陽介, 山本竜也, 寺西 寧. 新制度だからできる地域医療活性化のためのプログラム作成 新制度賛成の立場から. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

本多通孝, 小林拓史, 中山祐次郎, 河村英恭, 堀 創史, 叢 岳, 外館幸敏, 宮川哲平, 高野祥直, 寺西 寧. 手術と臨床研究の指導体制を両立し地域の外科医療を守る. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

本多通孝, 小林拓史, 中山祐次郎, 河村英恭, 堀 創史, 叢 岳, 外館幸敏, 宮川哲平, 高野祥直, 寺西 寧. 外科医が臨床論文を国際誌に投稿する意義. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

本多通孝, 小林拓史, 藁谷 暢. 胃癌術後サルコペニアの予防プログラムの開発と評価. 第 27 回日本消化器関連学会週間 (JDDW2019) ; 20191121-24; 神戸.

外館幸敏, 本多通孝, 佐藤孝洋, 宮川哲平, 小林拓史, 河村英恭, 阿左見亜矢佳, 中山祐次郎, 藁谷 暢, 鈴木伸康, 高野祥直, 阿部 幹. 当院における pT4b 結腸癌に対する腹腔鏡下手術の安全性と治療成績の検討. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

叢 岳. 胸腔鏡下肺部分切除術後に行う同一肺葉内区域切除術. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-06; 横浜.

中山祐次郎, 宮川哲平, 河村英恭, 小林拓史, 外館幸敏, 高野祥直, 本多通孝. デルファイ法を用いた腹腔鏡

下右半結腸切除術の手技エキスパートコンセンサスーASLAC プロジェクトー. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

堀 創史, 本多通孝, 小林拓史, 河村英恭, 中山祐次郎, 外館幸敏, 藁谷 暢, 高野祥直. ロボット支援下幽門保存胃切除術の短期成績. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

本多通孝, 藁谷 暢, 小林拓史, 堀 創史, 中山祐次郎, 外館幸敏, 河村英恭, 宮川哲平, 高野祥直. びまん浸潤型胃癌に対する腹腔鏡・ロボット支援手術. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

小林拓史, 本多通孝, 藁谷 暢, 宮川哲平, 河村英恭, 外館幸敏, 中山祐次郎, 高野祥直. 市中病院における胃癌に対するロボット支援手術導入の安全性を評価する臨床試験. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191206-07; 横浜.

〔特別講演〕

中山祐次郎. そこにある溝～研究者と臨床家のあいだ～. 第 2 回コクランジャパン学術研究会; 20190615; 東京.

プログレッシブ DOHaD 研究講座

論 文

〔原 著〕

Shibata M, Mimura K, Shimura T, Kono K, Ohto H, Takenoshita S. IL-17A in oncology. *Annals of Cancer Research and Therapy*. 201901; 27(2):59-63.

Satake S, Shimura T, Ono T, Shimomura K, Takenoshita S, Kono K. Noninvasive continuous blood pressure monitoring using microelectromechanical system technology. *Blood Pressure Monitoring*. 201906; 24(3):155-159.

Ishimaru K, Nakajima S, Yu G, Nakamura Y, Nakao A. The Putatively Specific Synthetic REV-ERB Agonist SR9009 Inhibits IgE- and IL-33-Mediated Mast Cell Activation Independently of the Circadian Clock. *International Journal of Molecular Sciences*. 201912; 20(24):6320.

Shimura T, Shibata M, Inoue T, Owada-Ozaki Y, Yamaura T, Muto S, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H. Prognostic impact of serum transthyretin in patients with non-small cell lung cancer. *Molecular and Clinical Oncology*. 201906; 10(6):597-604.

Shimura T, Shibata M, Gonda K, Murakami Y, Noda M, Tachibana K, Abe N, Ohtake T. Prognostic impact of interleukin-6 and C-reactive protein on patients with breast cancer. *Oncology Letters*. 201906; 17(6):5139-5146.

Nakajima S, Ishimaru K, Kobayashi A, Yu G, Nakamura Y, Oh-Oka K, Suzuki-Inoue K, Kono K, Nakao A. Resveratrol inhibits IL-33-mediated mast cell activation by targeting the MK2/3-PI3K/Akt axis. *Scientific Reports*. 2019; 9(1):18423.

Sato N, Shimura T, Kenjo A, Kimura T, Watanabe J, Muto M, Marubashi S. Pancreaticobiliary maljunction diagnosed long after laparotomy in the neonatal period for annular pancreas: report of a case. *Surgical Case Reports*. 2019; 5(1):16.

災害医療支援講座

研究発表等

〔研究発表〕

佐藤友彦, 長谷川貴之, 石堂瑛美, 赤津賢彦. 呼吸器外科手術での傍脊柱管ブロックで、血腫により局所麻酔薬の浸潤範囲を確認できた一例. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会; 20190907; 東京. プログラム, 92.

長谷川貴之, 佐藤友彦, 島田久美, 若原志保, 土田英昭, 赤津賢彦. 帝王切開後に肺動脈塞栓症と診断され、治療中に腹壁血腫による出血性ショックをきたした一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム, 47.

石堂瑛美, 長谷川貴之, 島田久美, 若原志保, 土田英昭, 藤田喜久, 西川光一, 赤津賢彦. 硬膜外カテーテル抜去後に坐骨神経痛が顕在化し、硬膜外血腫との鑑別を要した症例. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会; 20191107; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S246.

肥満・体内炎症解析研究講座

論文

〔原 著〕

Imai R, Yokota S, Horita S, Ueta Y, Maejima Y, Shimomura K. Excitability of oxytocin neurons in paraventricular nucleus is regulated by voltage-gated potassium channels Kv4.2 and Kv4.3. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*. 2019; 83(2):202-211.

Horita S, Kataoka M, Kitamura N, Miyakawa T, Ohtsuka J, Maejima Y, Shimomura K, Nagata K, Shimizu S, Tanokura M. Structural basis of different substrate preferences of two old yellow enzymes from yeasts in the

asymmetric reduction of enone compounds. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*. 201903; 83(3):456-462.

Otsuka A, Jinguji A, Maejima Y, Kasahara Y, Shimomura K, Hidema S, Nishimori K. LGR4 is essential for R-spondin1-mediated suppression of food intake via pro-opiomelanocortin. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*. 201907; 83(7):1336-1342.

Momma T, Gonda K, Akama Y, Endo E, Ujiie D, Fujita S, Maejima Y, Horita S, Shimomura K, Saji S, Kono K, Yashima R, Watanabe F, Sugano K, Nomizu T. MLH1 germline mutation associated with Lynch syndrome in a family followed for more than 45 years. *BMC Medical Genetics*. 201905; 20(1):67.

Gonda K, Yaginuma K, Rokkaku Y, Horita S, Maejima Y, Shimomura K. Association between cognitive impairment patient with solid cancer and insulin resistance. *BMC Research Notes*. 201910; 12(1):705.

Maejima Y, Yokota S, O'Hashi R, Aoyama M, Shimomura K. The effect of avertin anesthesia and a mixture of three types of anesthetic agents on food intake and body weight in high fat-induced obese male and female mice. *Experimental Animals*. 201902; 68(1):57-69.

Aso Y, Kato K, Sakurai S, Kishi H, Shimizu M, Jojima T, Iijima T, Maejima Y, Shimomura K, Usui I. Impact of dapagliflozin, an SGLT2 inhibitor, on serum levels of soluble dipeptidyl peptidase-4 in patients with type 2 diabetes and non-alcoholic fatty liver disease. *International Journal of Clinical Practice*. 201905; 73(5):e13335.

Jojima T, Wakamatsu S, Kase M, Iijima T, Maejima Y, Shimomura K, Kogai T, Tomaru T, Usui I, Aso Y. The SGLT2 Inhibitor Canagliflozin Prevents Carcinogenesis in a Mouse Model of Diabetes and Non-Alcoholic Steatohepatitis-Related Hepatocarcinogenesis: Association with SGLT2 Expression in Hepatocellular Carcinoma. *International Journal of Molecular Sciences*. 201910; 20(20):5237.

Gonda K, Akama Y, Nakamura T, Hashimoto E, Kyoya N, Rokkaku Y, Maejima Y, Horita S, Tachibana K, Abe N, Ohtake T, Shimomura K, Kono K, Saji S, Takenoshita S, Higashihara E. Cluster of differentiation 8 and programmed cell death ligand 1 expression in triple-negative breast cancer combined with autosomal dominant polycystic kidney disease and tuberous sclerosis complex: a case report. *Journal of Medical Case Reports*. 201912; 13(1):381.

Maejima Y, Yokota S, Horita S, Shimomura K. The undeveloped properties of GABA neurons in the ventral tegmental area promote energy intake for growth in juvenile rats. *Scientific Reports*. 201908; 9(1):11848.

Maejima Y, Kato S, Horita S, Ueta Y, Takenoshita S, Kobayashi K, Shimomura K. The hypothalamus to brainstem circuit suppresses late-onset body weight gain. *Scientific Reports*. 201912; 9(1):18360.

運動器骨代謝学講座

論 文

〔原 著〕

Nehashi T, Oikawa M, Amami K, Kanno Y, Yokokawa T, Misaka T, Yamada S, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Sporadic cardiac amyloidosis by amyloidogenic transthyretin V122I variant. *International Heart Journal*. 2019; 60(6):1441-1443.

Mochizuki K, Kawana S, Yamada S, Muramatsu M, Sano H, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Hakozaki M, Yamada H, Hashimoto Y, Kikuta A. Various checkpoint molecules, and tumor-infiltrating lymphocytes in common pediatric solid tumors: Possibilities for novel immunotherapy. *Pediatric Hematology and Oncology*. 201902; 36(1):17-27.

Ohwada T, Sakamoto T, Kanno Y, Yokokawa S, Amami K, Nakazato K, Takeishi Y, Watanabe K. Apolipoprotein B correlates with intra-plaque necrotic core volume in stable coronary artery disease. *PLOS ONE*. 2019; 14(2):e0212539.

嶋崎 睦, 山田 仁, 渡邊一男, 荒 博文, 紺野慎一. 超高齢者に発生した皮下原発組織球肉腫の1例. *臨床整形外科*. 201909; 54(9):955-959.

研究発表等

〔研究発表〕

Amami K, Hijioka N, Kaneshiro T, Yamada S, Kamioka M, Ishida T, Takeishi Y. A case of atrioventricular reentry tachycardia circuiting between left and right accessory pathway. 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRs 2019); 20191024-27; Bangkok, Thailand.

Amami K, Hijioka N, Kaneshiro T, Yamada S, Kamioka M, Ishida T, Takeishi Y. Reduction of radiation exposure during catheter ablation by changing the setting of fluoroscopic system. 12th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRs 2019); 20191024-27; Bangkok, Thailand.

Hijioka N, Yamada S, Amami K, Kamioka M, Kaneshiro T, Ishida T, Takeishi Y. Differentiation of cardiac amyloidosis from other causes of left ventricular hypertrophy based on holter monitoring. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. *Circulation*. 140(Suppl 1):A14346.

Hijioka N, Kamioka M, Amami K, Yamada S, Kaneshiro T, Ishida T, Takeishi Y. Visit-to-visit blood pressure variability predicts recurrence of atrial fibrillation in patients with hypertension. Scientific Sessions of American Heart Association 2019; 20191116-18; Philadelphia, USA. *Circulation*. 140(Suppl 1):A11808.

山田 仁, 大瀧 遥, 風間順一郎, 水沼英樹, 紺野慎一. 福島県北医療圏における骨粗鬆症診療実態. 第40回

東北骨代謝・骨粗鬆症研究会; 20190202; 仙台.

天海一明, 脇岡奈保子, 金城貴士, 山田慎哉, 上岡正志, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 左右副伝導路間を旋回する房室回帰性頻拍を認めた 1 例. 第 168 回日本循環器学会東北地方会; 20190601; 盛岡.

中里和彦, 天海一明, 喜古崇豊, 菅野優紀, 山田慎哉, 及川雅啓, 杉本浩一, 竹石恭知. 治療に難渋している combined post- and pre-capillary PH の一例. 第 4 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20190621-22; 浜松.

箱崎道之, 山田 仁, 川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 金内洋一, 紺野慎一. 病的骨折で発症した大腿骨近位部軟骨肉腫に対する広範切除後の Masquelet 法による骨欠損再建. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628-29; 福岡.

川前恵史, 箱崎道之, 山田 仁, 金内洋一, 紺野慎一. 骨端線閉鎖前に大腿骨二次性軟骨肉腫を生じた多発性骨軟骨腫瘍. 第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学会; 20190711-12; 川越.

田地野崇宏, 渡邊一男, 箱崎道之, 山田 仁, 金内洋一, 紺野慎一. 高齢女性の大腿骨に発生した皮質骨内骨肉腫—1 例報告—. 第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20190711; 川越. 日本整形外科学会雑誌. 93(6):S1433.

箱崎道之, 山田 仁, 川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 金内洋一, 紺野慎一. 病的骨折で発症した大腿骨近位部軟骨肉腫に対する広範切除後の Masquelet 法による骨欠損再建. 第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学会; 20190711-12; 川越.

及川雅啓, 根橋 健, 菅野優紀, 天海一明, 山田慎哉, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 著明な心肥大を呈した V122I 変異によるトランスサイレチン型心アミロイドーシスの一例. 第 5 回日本心筋症研究会; 20190713; 札幌.

天海一明, 脇岡奈保子, 金城貴士, 山田慎哉, 上岡正志, 中里和彦, 石田隆史, 紺野慎一, 竹石恭知. 左副伝導路を順伝導し、右副伝導路を逆伝導した房室回帰性頻拍の 1 例. 第 16 回福島不整脈懇話会; 20190718; 福島.

関根虎之介, 及川雅啓, 根橋 健, 天海一明, 菅野優紀, 山田慎哉, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 著明な心肥大を呈した V122I 変異によるトランスサイレチン型心アミロイドーシスの一例. 第 67 回日本心臓病学会学術集会; 20190913-15; 名古屋.

長谷川美規, 山田 仁, 大谷晃司, 紺野慎一. テリパラチド週 1 回製剤投与における有害事象発生の実態と治療継続への影響. 第 21 回日本骨粗鬆症学会; 20191011; 神戸. 日本骨粗鬆症学会雑誌. 5(2):297.

山田 仁, 大瀧 遙, 風間順一郎, 水沼英樹, 紺野慎一. 臨床研究 Project F 開始前の骨粗鬆症診療実態調査. 第 21 回日本骨粗鬆症学会; 20191011; 神戸.

箱崎道之, 土橋 悠, 山田 仁, 田地野崇宏, 金内洋一, 片平清昭, 今井順一, 渡辺慎哉, 紺野慎一. 希少がんの研究材料—骨・軟部肉腫細胞株と PDX モデルの樹立—患者由来骨・軟部肉腫マウスモデル (PDX モデル) の樹立と網羅的遺伝子発現解析を用いた系統維持. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1820.

箱崎道之, 土橋 悠, 山田 仁, 田地野崇宏, 金内洋一, 片平清昭, 今井順一, 渡辺慎哉, 紺野慎一. 患者由来骨・軟部肉腫マウスモデル (PDX モデル) の樹立と網羅的遺伝子発現解析を用いた系統維持. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

脇岡奈保子, 金城貴士, 天海一明, 山田慎哉, 上岡正志, 竹石恭知. 左右副伝導路間を巡回する房室回帰性頻脈を認めた 1 例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2019; 20191107-09; 金沢.

佐々木信幸, 川上亮一, 山田 仁, 箱崎道之, 利木成広, 小林一貴, 紺野慎一. 弓道選手に対する血管柄付き腓骨移植による部分手関節固定 橈骨遠位部骨肉腫広範切除後の 1 再建例. 第 46 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20191128-29; 東京.

総合科学部門 言語学分野

著 書・訳 書

中山 仁 (編集委員) . In: 井上永幸, 赤野一郎 編. ウィズダム英和辞典 第 4 版. 東京: 三省堂; 201901.

総合科学部門 行動科学分野 (心理学)

研究発表等

〔研究発表〕

三澤文紀. リフレクティング・プロセスを学ぶ人々はどのような言葉でその経験を語るか. 日本家族心理学会第 36 回大会; 20190921; 盛岡. 発表論文集. 68-69.

〔特別講演〕

矢原隆行, 三澤文紀, 末安民生, 西池絵衣子. オープンダイアログとリフレクティング: 日本での展開の可能性を探る. 日本精神保健看護学会教育活動委員会主催研修会; 20190321; 仙台.

三澤文紀. One-Day ワークショップ. RO 研究会; 20190725; 福島.

三澤文紀, 上西 創, 廉 睿隣, 畠山今日子, 布柴靖枝. リフレクティング・プロセス(RP)の伝え方・学び方. 日本家族心理学会第 36 回大会自主企画シンポジウム; 20190921; 盛岡. 発表論文集. 118-119.

総合科学部門 行動科学分野（社会学）

研究発表等

〔研究発表〕

立柳 聡. 계약고의 구조와 기능—지바현（千葉県）동충지역의 사례—（契約講の構造と機能—千葉県東総地域の事例から—）. 東アジアコミュニティ比較研究大会安東大会; 20190923; Andong, Korea. 抄録集. 59-62.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗調査中間報告. 関東村落研究会; 20190105; 旭.

立柳 聡. 陸の孤島の島おこしと若者. 島嶼コミュニティ学会伊豆諸島フォーラム in 三宅島; 20190831; 三宅村. 抄録集. 56.

〔招待講演〕

立柳 聡. 他者と語らい、語りを解釈したり、そこから問うとはどういうことか？ ライフヒストリー・ライフストーリー調査の前提. 教育研修会「質的研究法」第1回; 20190116; 壬生町.

立柳 聡. 今、八丈小島離島体験を振り返る意義. 八丈小島の明日を考える講演会; 20190224; 八丈島.

立柳 聡. 子どもの発達段階・子どもの権利を踏まえた青少年事業のあり方を考える. 平成30年度君津地方社会教育研究会青少年部会第5回研修会; 20190301; 君津.

その他の業績・作品等

立柳 聡. 大韓民国安東市陶山面民俗（契、祖先祭祀、食慣行）調査. 20190922-25. フィールドワーク.

立柳 聡. 山梨県小菅村白沢第7回世帯調査. 20190112. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（節分祭）調査. 20190203. フィールドワーク.

立柳 聡. 東京都北区志茂民俗（志茂熊野神社オビシヤ行事）調査. 20190207. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（オビシヤ行事）調査. 20190210-11. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（祈年祭）調査. 20190216-17. フィールドワーク.

立柳 聡. 東京都八丈町民俗（子ども組・若者組）調査. 20190223-25. フィールドワーク.

立柳 聡. 宮古列島における介護をめぐる地域の共助と文化的背景に関する社会調査. 20190308-11. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（神楽）調査、並びに、匝瑳市民俗調査地選定予備調査. 20190321-22. フィールドワーク.

立柳 聡. 長野県駒ヶ根市赤穂地区民俗調査予備調査. 20190706-07. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（菟祖大神祇園祭）調査. 20190720. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（契約講）調査. 20190803-04. フィールドワーク.

立柳 聡. 東京都三宅村民俗調査予備調査. 20190830-0901. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（先祖祭り）調査. 20190920. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（例大祭）調査. 20191006. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙第5回世帯調査. 20191022. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙第6回世帯調査. 20191102-03. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙第7回世帯調査. 20191109. フィールドワーク.

立柳 聡. 東京都八丈町中之郷民俗（葬送儀礼）調査. 20191210-11. フィールドワーク.

立柳 聡. 東京都北区西ヶ原民俗（七社神社大祓祭茅の輪くぐり）調査. 20191228. フィールドワーク.

総合科学部門 保健情報学・疫学分野

論文

〔原著〕

Nakano H, Ishii K, Goto A, Yasumura S, Ohira T, Fujimori K. Development and implementation of an internet survey to assess community health in the face of a health crisis: Data from the Pregnancy and Birth Survey of the Fukushima Health Management Survey, 2016. International Journal of Environmental Research and Public Health. 201906; 16(11):E1946.

Kobayashi T, Yoshida K, Takebayashi Y, Goto A, Kumagai A, Murakami M. Social identity threats following the Fukushima nuclear accident and its influence on psychological distress. International Journal of Disaster Risk Reduction. 201907; 37:101171.

Goto A, Tsugawa Y, Fujimori K. Factors associated with intention of future pregnancy among women affected by the Fukushima Nuclear Accident: analysis of Fukushima Health Management Survey data from 2012 to 2014. *Journal of Epidemiology*. 201908; 29:308-314.

Akbari F, Machida M, Nakamura H, Nagase K, Goto A, Hara A. Lessons learned for Reducing Out of Pocket Health Payment in Afghanistan: a comparative case study of three Asian countries. *Journal of Global Health Science*. 201912; 1(2):e46.

吉田和樹, 鈴木 友, 佐藤香代子, 杉浦真由美, 後藤あや. 福島県福島市における1歳6ヵ月の子どもをもつ両親の体調 両親ともに体調不良の頻度と背景要因および育児状況との関連. *小児保健研究*. 201909; 78(5):428-436.

渡邊一代, 石井佳世子, 石田久江, 太田 操, 後藤あや. 産後うつ病予防を目的とした妊娠期からの“夫婦の共感性を高めるセッション”の試行 対象者の共感性と精神健康度とセッション評価. *日本健康学会誌*. 201903; 85(2):80-89.

佐藤博子, 佐伯秀久, 後藤あや. 病院・医院に勤務する医師と看護師の皮膚科看護に対する認識. *日本皮膚科学会雑誌*. 201902; 129(2):161-167.

菅野範子, 後藤あや, 佐藤恵子, 川原礼子, 畠山とも子. がん患者の手術療法の意思決定を支援する外来看護師の認識と実践. *日本プライマリ・ケア連合学会誌*. 201906; 42(2):78-84.

太田 操, 服部 桜, 新井昌子, 清水川由美子, 石井佳世子, 後藤あや, 安村誠司, 藤森敬也. 東日本大震災による妊産婦の避難生活とうつ傾向に関する検討. *日本母子看護学会誌*. 201902; 12(2):21-31.

新井猛浩, 後藤あや, 小松美津子, 安村誠司. 福島市における乳幼児を持つ母親の不適切な育児行動とその関連要因. *福島県保健衛生雑誌*. 201903; 33:10-15.

山脇功次, 後藤あや, 佐藤健一, 遠藤智子, 古山綾子, 斎藤恵子, 吉野優子, 山田祐子, 松本珠実, 中島誠子. 東北3県における災害後の保健師活動 現状と課題についてのテキスト解析の試み. *福島県保健衛生雑誌*. 201903; 33:28-33.

〔総説等〕

町田宗仁, 吉田和樹, 弓屋 結, 後藤あや. 原子力災害後の福島県におけるヘルスリテラシー研修: 普及促進のための効果的プログラムの検討. *アイソトープニュース*. 201902; 761:38-41.

小林智之, 吉田和樹, 熊谷敦史, 安井清孝, 後藤あや, 竹林由武, 黒田佑次郎, 末永カツ子, 小宮ひろみ, 村上道夫. 災害関連健康リスクに対するコミュニケーションと協働. *安全工学*. 201912; 58(6):387-393.

後藤あや. ミッドキャリアの今、自分の役割について考えていること. *公衆衛生*. 201908; 83(8):574-575.

吉田和樹, 小林智之, 後藤あや, 竹林由武, 熊谷敦史, 安井清孝, 黒田佑次郎, 末永カツ子, 小宮ひろみ, 前田 香, 村上道夫. 地域住民と健康リスクを考える 東日本大震災後の保健活動の向上を目指したリスクコミ

ユニケーション支援事業. 保健師ジャーナル. 201901; 75(1):54-59.

村上道夫, 後藤あや. 地域にいきる医療人育成 原子力災害後における健康コミュニケーション教育の構築. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):77-83.

佐野 碧, 児山洋平, 黒田佑次郎, 植田紀美子, 後藤あや. 飯舘村での母子保健活動の取組み 養育者を主体とした育児支援ツールの導入について. 福島県保健衛生雑誌. 201903; 33:45-48.

中島理沙子, 後藤あや, 熊谷敦史, 錫谷達夫. ベラルーシ共和国への留学経験: 男女共同参画の国際比較. 福島県保健衛生雑誌. 201903; 33:49-51.

後藤あや, 尾崎米厚, 伊藤慎也, 郡山千早, 坂野晶司, 鈴木貞夫, 鈴木友理子, 高橋美保子, 田中 耕, 横川博英, 吉田都美, 吉村健清, 弓屋 結. 賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート 日本公衆衛生学会 モニタリング・レポート委員会による聴衆参加型シンポジウム. 日本公衆衛生雑誌. 201908; 66(8):391-396.

著 書・訳 書

後藤あや(ワーキンググループ主査). In: 暮らしの手引き作成ワーキンググループ. 暮らしの手引き+(プラス). 東京: 環境省; 201903.

研究発表等

〔研究発表〕

佐野 碧, 児山洋平, 黒田佑次郎, 赤石澤愛, 八代千賀子, 松田久美子, 植田紀美子, 後藤あや. 全村避難後の飯舘村の保健活動における育児支援ツールの開発の過程. 第 89 回日本衛生学会学術総会; 20190201; 名古屋. 日本衛生学雑誌. 74(Suppl):S139.

仙波ゆかり, 齋藤和枝, 渡邊美奈, 鳴原花織, 関 純子, 佐藤紀子, 篠原 伸, 齋藤絵梨子, 渡邊範彦, 樫村 誠, 後藤あや, 峯岸正好. 福島県献血者におけるヘモグロビン値不適格者の分析. 第 114 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20190302; 山形. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(3):671.

渡邊範彦, 樫村 誠, 齋藤絵梨子, 後藤あや, 峯岸正好. 輸血業務の理解には現場経験が必要である 輸血業務に関するアンケート調査結果解析. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20190523; 熊本. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(2):383.

吉井直美, 伊藤ひとみ, 田母神希予, 服部 桜, 清水川由美子, 久保みさえ, 尾形優子, 後藤あや. 特定妊婦スクリーニングによる継続支援の有用性の検証. 福島県保健衛生学会第 48 回; 20190830; 郡山. 福島県保健衛生雑誌. 34:22.

〔シンポジウム〕

後藤あや. 妊産婦に関する調査: 福島における妊娠と育児についての対話. 放射線医学県民健康管理センター主催

国際シンポジウム; 20190114-15; 福島. シンポジウム報告書. 66-69.

〔特別講演〕

後藤あや. 妊娠と育児と地域：記述統計から参加型研究へ. 研究連携セミナー2019&総合科学研究会合同セミナー; 20190214; 福島.

後藤あや. 教育講演 1 地域の Well-Being と育児支援、そして次世代育成. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928-29; 福島. 抄録集. 71.

生命科学部門

論 文

〔原 著〕

Suzuki Y, Hashimoto K, Hoshi K, Ito H, Kariya Y, Miyazaki K, Sato M, Kawasaki Y, Yoshida M, Honda T, Hashimoto Y, Hosoya M. Ratio of Alpha 2-Macroglobulin Levels in Cerebrospinal Fluid and Serum: An Expression of Neuroinflammation in Acute Disseminated Encephalomyelitis. *Pediatric Neurology*. 201909; 98:61-67.

Ohta S, Yoshida T, Kasahara Y, Adachi R, Shibuya Y, Fujiwara M, Sasagawa I. The experience of Secondary Hyperparathyroidism with Etelcalcetide in Hemodialysis Patients: the tolerance and safety after switching from the 25mg of cinacalcet to the 5mg of etelcalcetide. *Therapeutic Research*. 201907; 40(7):581-586.

〔総説等〕

Murakami Y, Saito K, Hashimoto Y. Transferrin metabolism in CSF and its relation to neurological diseases. *Proceedings of the Japan Academy, Series B*. 201912; 95:198-210.

村上友太, 齋藤 清, 高橋浩一, 荒木信夫, 橋本康弘. 髄液バイオマーカーとしての“脳型” トランスフェリン. *自律神経*. 201909; 56(3):109-117.

〔症例報告〕

猪本由紀, 松田 香, 中村倫之助, 中川芳彦, 太田昌一郎, 松成一朗. 血液透析患者に発症した二次性副甲状腺機能亢進症に対して施行した副甲状腺摘除術後に発見された上縦隔内異所性副甲状腺. *泌尿器外科*. 201910; 32(10):1311-1313.

研究発表等

〔研究発表〕

Murakami T, Abe M, Tiksnadi A, Futamura M, Kobayashi N, Hashimoto Y, Ugawa Y. TMS can detect abnormal synaptic plasticity associated with amyloid-beta and Tau pathology in early staged dementia. 3rd International Brain Stimulation Conference; 20190224; Vancouver, Canada. Brain Stimulation. 12(2):398.

Murakami T, Tanji Y, Abe M, Tiksnadi A, Futamura M, Kobayashi N, Kobayashi S, Kanai K, Hashimoto Y, Ugawa Y. TMS can detect abnormal synaptic plasticity associated with amyloid-beta and Tau pathology in early stages dementia. 第60回日本神経学会学術大会; 20190522; 大阪.

〔招待講演〕

Ohta S. Differences between Paraganglioma and Pheochromocytomas in malignant potential, in 80 Japanese patients. PHEO PARA International Conference Connecting: Researchers, Providers, Patients and Families; 20190607; New York, USA.

橋本康弘, 星 京香, 伊藤浩美. “脳型” トランスフェリンは特発性正常圧水頭症の診断及び認知症の予後マーカーとなる. 第37回日本神経治療学会; 20191105-07; 横浜.

基礎看護学部門

論 文

〔原 著〕

Iwasa H, Moriyama N, Kuroda Y, Nakayama C, Orui M, Horiuchi T, Nakayama T, Sugita M, Yasumura S. Recovery from radiation anxiety and posttraumatic growth among community dwellers after the nuclear disaster in Fukushima. Cogent Psychology. 201904; 6(1):1602970.

Kinoshita M, Takeda H, Yamada C, Kumagai T, Kakamu T, Hidaka T, Masuishi Y, Endo S, Hashimoto S, Fukushima T. Characteristics of awareness and behavior of medical staff for prevention of falling accidents among inpatients. Fukushima Journal of Medical Science. 201904; 65(1):13-23.

Nakayama Y, Kato I, Ohkawa T. Sustaining Power of Nurses in a Damaged Hospital During the Great East Japan Earthquake. Journal of Nursing Scholarship. 201905; 51(3):271-280.

佐藤博子, 佐伯秀久, 後藤あや. 病院・医院に勤務する医師と看護師の皮膚科看護に対する認識. 日本皮膚科学会雑誌. 201902; 129(2):161-167.

三浦浅子. がん看護専門看護師活動から考える多職種連携でつむぐ放射線看護. 日本放射線看護学会誌. 201903; 7(1):38-39.

新川哲子, 堀内輝子. シンポジウムⅡ「共同大学院の学びからおりなす放射線看護学—災害被ばく医療科学共同専攻修士生の将来へのビジョン—」. 日本放射線看護学会誌. 201903; 7(1):41-42.

加藤郁子, 佐藤 忠, 田中久美子, 横山郁美, 大川貴子. 精神科病院に勤務する看護師が感じるがん患者の看護ケアに関する困難感. 福島県立医科大学看護学部紀要. 201903; 21:1-12.

〔総説等〕

佐藤博子. 【外用療法の理論と実際】(Part2)外用療法の実際 看護師からみた外用療法の実際. Visual Dermatology. 201904; 18(5):466-470.

〔その他〕

佐藤幸子, 加藤郁子, 大川貴子, 目黒文子, 渡邊美恵子. 看護研究実践応用センター活動報告. 福島県立医科大学看護学部紀要. 201903; 21:25-30.

堀内輝子. モンゴルでのアクションリサーチに参加して: 海外視察. 福島県立医科大学看護学部紀要. 201903; 21:35-36.

著 書・訳 書

古橋知子. 第3章 III 災害を受けた小児と家族への看護. In: 小林京子, 高橋孝雄 編. 新体系看護学全書 小児看護学2 健康障害をもつ小児の看護 第4編. 東京: メヂカルフレンド社; 201912. p.261-267.

研究発表等

〔研究発表〕

Kinoshita M, Horiuchi T, Abe N. Endeavor and Challenges for Medical Safety Promoters to Reduce Fall Accident Prevention of In-Patients. 8th World Congress of Clinical Safety; 20191002-04; Prague, Czech Republic.

三浦浅子, 高瀬佳苗, 小川ひとみ. がん治療後のサバイバーへの学習&交流会の意義について A 病院の院内サロンのアンケート調査より. 第33回日本がん看護学会学術集会; 20190223; 福岡. 日本がん看護学会誌. 33(Suppl):267.

今津陽子, 菅原よしえ, 笠谷美保, 村松真実, 城向富由子, 菅野久美, 三浦浅子, 翁長雪枝, 中信利恵子, 佐藤大介, 山田 希, 風間郁子, 岸田さな江. 【交流集会 SIG 災害がん看護企画】 外来化学療法室での災害対応力を向上するために〜机上シミュレーションの活用〜. 第33回日本がん看護学会学術集会; 20190223; 福岡. 日本がん看護学会誌. 33(Suppl):287.

渡邊美恵子, 三浦浅子, 山本 匠, 高橋美幸, 今野 静. 課題達成型看護倫理研修の成果の分析. 日本臨床倫理

学会第7回年次大会; 20190330; 東京. 臨床倫理. 7(増):120.

佐藤博子. 外用療法とアドヒアランス向上のための指導法. 第118回日本皮膚科学会総会; 20190606; 名古屋. 日本皮膚科学会雑誌. 129(5):983.

田村達弥, 明間正人, 渡邊照子, 大川貴子, 加藤郁子, 佐藤利憲. 精神科病棟看護師のリカバリー志向を高める研修プログラムの効果 (パイロットスタディ). 日本精神保健看護学会第29回学術集会・総会; 20190608; 名古屋. 抄録集. 99.

佐藤博子. アレルギー疾患におけるチーム医療の実践 (メディカルパートナーが教えるコツ) 外用療法の基礎と実際. 第68回日本アレルギー学会学術大会; 20190614; 東京. アレルギー. 68(4-5):334.

三浦浅子, 高瀬佳苗, 富澤あゆみ, 齊藤智子. アメリカのがん治療中および治療後のがんサバイバーへの運動療法について: がん治療後サバイバーシップケアのアメリカ視察研修報告. 第4回日本がんサポーターシップケア学会学術集会; 20190907; 青森.

古溝陽子, 古橋知子, 平野典子, 二丹玲子, 新井昌子, 尾形優子, 渡辺美起子. A県の医療的ケア児を支援する保健・医療・福祉・教育関係者の抱える課題. 第50回日本看護学会－在宅看護－学術集会; 20190913; 宇都宮. 抄録集. 122.

吾妻陽子, 加藤郁子, 木島祐子, 明間正人, 早川一昭, 渡邊照子, 佐藤照美, 児島一行, 大川貴子. 精神科訪問看護コンサルテーション事業の効果 第1報－精神科訪問看護コンサルテーション事業を利用する目的とその反応－. 第50回日本看護学会－在宅看護－学術集会; 20190913; 宇都宮. 抄録集. 133.

木下美佐子, 堀内輝子, 脇屋友美子. 看護基礎教育における災害看護の教育内容の検討－震災後の福島県の看護教員への調査から－. 日本放射線看護学会第8回学術集会; 20190928; 福島. 抄録集. 152.

堀内輝子, 木下美佐子, 脇屋友美子, 佐藤利憲, 安村誠司. 全国の看護基礎教育機関における放射線看護実施施設の特徴と課題 ー東日本大震災前後の比較ー. 日本放射線看護学会第8回学術集会; 20190928; 福島. 抄録集. 153.

川島理恵, 田中啓子, 高瀬佳苗, 一條由夏. 看護学実習での教員の関わりによる学生の経験: デューイの教育論に基づいた考察. 福島医学会第478回学術研究集会; 20191024; 福島.

古橋知子, 鈴木眞一. 甲状腺癌に罹患した小児・若年成人の治療をめぐる意思決定の実態. 第17回日本小児がん看護学会学術集会; 20191115; 広島. 日本小児がん看護学会誌. 14(2):398.

〔シンポジウム〕

木下美佐子, 阿部夏樹, 酒井仁子, 中村みゆき. 医療現場における多様な安全への取り組み 転倒転落予防に向けた各病院の取り組み. 第5回日本医療安全学会学術総会; 20190210; 東京. 抄録集. 62.

福島哲仁, 木下美佐子. メインシンポジウムー原発事故から8年ー すべての人々の Well-Being をめざす放射線看護. 日本放射線看護学会第8回学術集会; 20190928; 福島. 抄録集. 47.

〔特別講演〕

三浦浅子. 教育講演 5 がん化学放射線療法を受ける患者のセルフケア支援—患者の症状マネジメント能力向上に向けた試み—. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190929; 福島. 抄録集. 75.

〔その他〕

堀内輝子, 久米美代子, 大房博江, 矢上紀子. 看護基礎教育における原子力災害の教育について考える —放射線看護の教育内容・教育方法の共有から一歩先へ—. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928; 福島. 抄録集. 102.

療養支援看護学部門

論 文

〔原 著〕

Yokozuka M, Okazaki K, Sakamoto Y, Takahashi K. Relationship between foot morphology and toe muscle strength in female university students. Journal of Physical Therapy Science. 201905; 31(5):457-461.

井上水絵. 婦人科がん外科的閉経後の健康リスクの予防改善を目的とした教育の効果に関する研究. 医療の広場. 201909; 59(9):23-27.

加藤郁子, 佐藤 忠, 田中久美子, 横山郁美, 大川貴子. 精神科病院に勤務する看護師が感じるがん患者の看護ケアに関する困難感. 福島県立医科大学看護学部紀要. 201903; 21:1-12.

〔総説等〕

今津陽子, 菅野久美, 城向富由子. 【災害時のがん看護を考える ～被災地における経験からの提言～】外来化学療法室における災害時の対応力を高める訓練. がん看護. 201903; 24(3):281-283.

井上水絵, 片桐和子, 古溝陽子, 坂本祐子, 山手美和. A 県におけるがん看護実践の向上に向けたがん看護研修実施内容のニーズに関する実態調査. 北日本看護学会誌. 201902; 21(2):65-72.

〔その他〕

菅野久美. “アピアランスケア” 実践活動報告. 福島県立医科大学看護学部紀要. 201903; 21:31-34.

研究発表等

〔研究発表〕

Mori K, Kanno K, Watabe M, Sano Y, Suzuki A. Contents of support activity of nurses who were dispatched to earthquake disaster areas. ICN Congress 2019 Singapore; 20190627; Singapore. Programme. e249.

井上水絵, 片桐和子, 古溝陽子, 坂本祐子, 山手美和. A 県の看護職者のがん看護経験年数と学習ニーズとの関連. 第 33 回日本がん看護学会学術集会; 20190223; 福岡. 日本がん看護学会誌. 33(Suppl):181.

藍原みく, 井上水絵. ストレングスモデルを活用した化学療法を受ける婦人科がん患者の「ストレングス (強み)」と看護援助の考察. 第 33 回日本がん看護学会学術集会; 20190223; 福岡. 日本がん看護学会誌. 33(Suppl):245.

木下美佐子, 堀内輝子, 脇屋友美子. 看護基礎教育における災害看護の教育内容の検討—震災後の福島県の看護教員への調査から—. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928; 福島. 抄録集. 152.

堀内輝子, 木下美佐子, 脇屋友美子, 佐藤利憲, 安村誠司. 全国の看護基礎教育機関における放射線看護実施施設の特徴と課題 —東日本大震災前後の比較—. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928; 福島. 抄録集. 153.

佐々木千佳, 阿久澤智恵子, 小林由起子, 齋藤史子, 今野あかね, 鈴木智子, 松本里加, 千葉今日子, 富田幸江. 履物の選択・履き方・歩行に関する研究の動向. 日本看護学教育学会第 29 回学術集会; 20190803; 京都. 日本看護学教育学会誌. 29(学術集会講演集):198.

高橋恵子. 医療的ケアに関わる保育所看護職の役割. 日本小児看護学会第 29 回学術集会; 20190803; 札幌. 講演集. 197.

佐々木千佳, 角濱春美. 高齢者の入浴時刻の違いによる夜間睡眠の事例検討. 日本看護技術学会第 18 回学術集会; 20190907; 福井. 講演抄録集. 100.

東雲紀子, 李 民純, 大崎瑞恵, 山手美和, 坂本祐子. A 県内看護職の心不全緩和ケアの困難さと研究ニーズ—属性による比較—. 第 23 回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

李 民純, 東雲紀子, 大崎瑞恵, 山手美和, 坂本祐子. A 県内看護職の心不全緩和ケアの困難さと研修ニーズの実態. 第 23 回日本心不全学会学術集会; 20191004-06; 広島.

杉本幸子, 眞島 崇, 大原宏司. 薬局薬剤師に対する薬局で看護職が活動することに関する意識調査. 第 52 回日本薬剤師会学術大会; 20191013; 下関. 講演要旨集. 52:289.

秦 暁子, 高橋香子, 坂本祐子, 和田久美子. 乳幼児期の孫育てをしている祖父母の日常生活の変化とその認識. 第 39 回日本看護科学学会学術集会; 20191130; 金沢. プログラム集. 53.

杉本幸子, 眞島 崇, 大原宏司. 看護職と薬局薬剤師の連携の実際と看護職への要望: 薬局薬剤師へのアンケート調査. 第 9 回日本在宅看護学会; 20191207; 東京.

〔シンポジウム〕

Satoh W, Suyama S, Sakamoto Y, Kamiyama M, Kooka A, Nakamura S, Kawaguchi K, Abe M, Izumi K, Tanaka M. Behavioral Therapy for Frail Elderly with Urinary Incontinence. 17th Urological Association of Asian Congress; 20190807-10; Kuala Lumpur, Malaysia.

佐藤和佳子, 陶山啓子, 坂本祐子, 上山真美, 小岡亜希子, 中村さつき, 川口寛介, 泉キヨ子, 阿部桃子, 田中真莉恵. 排尿誘導の種類と効果—網羅的文献検索から—. 第32回日本老年泌尿器学会; 20190614-15; 旭川.

〔その他〕

今津陽子, 菅原よしえ, 笠谷美保, 村松真実, 城向富由子, 菅野久美, 三浦浅子, 翁長雪枝, 中信利恵子, 佐藤大介, 山田 希, 風間郁子, 岸田さな江. 【交流集会 SIG 災害がん看護企画】 外来化学療法室での災害対応力を向上するために—机上シミュレーションの活用—. 第33回日本がん看護学会学術集会; 20190223; 福岡. 日本がん看護学会誌. 33(Suppl):287.

家族看護学部門

論 文

〔原 著〕

Nakayama Y, Kato I, Ohkawa T. Sustaining Power of Nurses in a Damaged Hospital During the Great East Japan Earthquake. Journal of Nursing Scholarship. 201905; 51(3):271-280.

加藤郁子, 佐藤 忠, 田中久美子, 横山郁美, 大川貴子. 精神科病院に勤務する看護師が感じるがん患者の看護ケアに関する困難感. 福島県立医科大学看護学部紀要. 201903; 21:1-12.

〔総説等〕

井上水絵, 片桐和子, 古溝陽子, 坂本祐子, 山手美和. A県におけるがん看護実践の向上に向けたがん看護研修実施内容のニーズに関する実態調査. 北日本看護学会誌. 201902; 21(2):65-72.

鈴木学爾, 石井佳世子, 鈴木幸恵. A県内の救急外来を受診する子どもと家族の現状と課題、小児救急看護の実際. 福島県立医科大学看護学部紀要. 201903; 21:13-21.

〔その他〕

佐藤幸子, 加藤郁子, 大川貴子, 目黒文子, 渡邊美恵子. 看護研究実践応用センター活動報告. 福島県立医科大学看護学部紀要. 201903; 21:25-30.

研究発表等

〔研究発表〕

宮崎 綾, 渡部千尋, 金澤久美, 新井昌子. NICU 手術室の運用状況と取り組み. 第 30 回福島県小児外科研究会; 20190126; 福島. 福島医学雑誌. 69(2):176.

井上水絵, 片桐和子, 古溝陽子, 坂本祐子, 山手美和. A 県の看護職者のがん看護経験年数と学習ニーズとの関連. 第 33 回日本がん看護学会学術集会; 20190223; 福岡. 日本がん看護学会誌. 33(Suppl):181.

内田知宏, 佐藤利憲, 松田優二, 森本幸子, 相澤 治, 伊勢みゆき, 菅野 希, 堀内美咲, 小野彩香, 加藤大延, 高橋由佳. みやぎこころのデザイン教育実行委員会(SCOPE)のフィデリティ フィデリティ尺度を転用した検討. 第 38 回日本社会精神医学会; 20190228; 東京. 日本社会精神医学会雑誌. 28(3):317.

田村達弥, 明間正人, 渡邊照子, 大川貴子, 加藤郁子, 佐藤利憲. 精神科病棟看護師のリカバリー志向を高める研修プログラムの効果 (パイロットスタディ). 日本精神保健看護学会第 29 回学術集会・総会; 20190608; 名古屋. 抄録集. 99.

吾妻陽子, 加藤郁子, 木島祐子, 明間正人, 早川一昭, 渡邊照子, 佐藤照美, 児島一行, 大川貴子. 精神科訪問看護コンサルテーション事業の効果 第 1 報ー精神科訪問看護コンサルテーション事業を利用する目的とその反応ー. 第 50 回日本看護学会ー在宅看護ー学術集会; 20190913; 宇都宮. 抄録集. 133.

古溝陽子, 古橋知子, 平野典子, 二丹玲子, 新井昌子, 尾形優子, 渡辺美起子. A 県の医療的ケア児を支援する保健・医療・福祉・教育関係者の抱える課題. 第 50 回日本看護学会ー在宅看護ー学術集会; 20190913; 宇都宮. 抄録集. 122.

堀内輝子, 木下美佐子, 脇屋友美子, 佐藤利憲, 安村誠司. 全国の看護基礎教育機関における放射線看護実施施設の特徴と課題 ー東日本大震災前後の比較ー. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928; 福島. 抄録集. 153.

鈴木学爾. 子どもの手術時の保護者同伴手術室入室の文献的動向. 福島医学会第 478 回学術研究集会; 20191024; 福島.

秦 暁子, 高橋香子, 坂本祐子, 和田久美子. 乳幼児期の孫育てをしている祖父母の日常生活の変化とその認識. 第 39 回日本看護科学学会学術集会; 20191130; 金沢. プログラム集. 53.

地域・在宅看護学部門

論文

〔原著〕

Yokozuka M, Okazaki K, Sakamoto Y, Takahashi K. Relationship between foot morphology and toe muscle strength in female university students. Journal of Physical Therapy Science. 201905; 31(5):457-461.

〔総説等〕

丸谷美紀, 原田奈穂子, 高瀬佳苗, 安齋由貴子, 奥田博子, 春山早苗. 文化に即した災害時公衆衛生看護活動の概念整理. 保健医療科学. 201910; 68(4):343-351.

研究発表等

〔研究発表〕

Marutani M, Harada N, Uebayashi M, Anzai Y, Takase K, Okuda H. Culturally sensitive disaster nursing focusing on Pacific Rim island countries: first on Japanese public health nurses. WADDEM Congress on Disaster and Emergency Medicine; 20190507; Brisbane, Australia. Prehospital and Disaster Medicine. 34(Suppl.1):s114.

古戸順子, 遠藤智子, 前田 香, 結城美智子. 東日本大震災・福島原発事故後の福島県内保健師の心身の健康状態（震災6年後の追跡調査から）. 第7回日本公衆衛生看護学会学術集会; 20190126; 宇部. 講演集. 120.

三浦浅子, 高瀬佳苗, 小川ひとみ. がん治療後のサバイバーへの学習&交流会の意義について A 病院の院内サロンのアンケート調査より. 第33回日本がん看護学会学術集会; 20190223; 福岡. 日本がん看護学会誌. 33(Suppl):267.

三浦浅子, 高瀬佳苗, 富澤あゆみ, 齊藤智子. アメリカのがん治療中および治療後のがんサバイバーへの運動療法について: がん治療後サバイバーシップケアのアメリカ視察研修報告. 第4回日本がんサポーターシップケア学会学術集会; 20190907; 青森.

川島理恵, 田中啓子, 高瀬佳苗, 一條由夏. 看護学実習での教員の関わりによる学生の経験: デューイの教育論に基づいた考察. 福島医学会第478回学術研究集会; 20191024; 福島.

秦 暁子, 高橋香子, 坂本祐子, 和田久美子. 乳幼児期の孫育てをしている祖父母の日常生活の変化とその認識. 第39回日本看護科学学会学術集会; 20191130; 金沢. プログラム集. 53.

母性看護学・助産学部門

論文

〔原著〕

太田 操, 服部 桜, 新井昌子, 清水川由美子, 石井佳世子, 後藤あや, 安村誠司, 藤森敬也. 東日本大震災による妊産婦の避難生活とうつ傾向に関する検討. 日本母子看護学会誌. 201902; 12(2):21-31.

渡邊一代, 石井佳世子, 石田久江, 太田 操, 後藤あや. 産後うつ病予防を目的とした妊娠期からの“夫婦の共感性を高めるセッション”の試行 対象者の共感性と精神健康度とセッション評価. 日本健康学会誌. 201903; 85(2):80-89.

〔総説等〕

西郡秀和, 渡邊一代. 【周産期の感染症まるわかり 病態生理&ケア 風疹・梅毒・パルボウイルス etc.知っておくべき最新トピックス】GBS 感染. ペリネイタルケア. 201908; 38(8):767-771.

研究発表等

〔研究発表〕

森美由紀. 母親が自覚する母乳育児継続の力. 第33回日本助産学会学術集会; 20190302; 福岡. 日本助産学会誌. 32(3):346.

附属病院長

論文

〔原著〕

Takahashi N, Hoshi H, Higa A, Hiyama G, Tamura H, Ogawa M, Takagi K, Goda K, Okabe N, Muto S, Suzuki H, Shimomura K, Watanabe S, Takagi M. An In Vitro System for Evaluating Molecular Targeted Drugs Using Lung Patient-Derived Tumor Organoids. Cells. 201905; 8(5):481.

Shimura T, Shibata M, Inoue T, Owada-Ozaki Y, Yamaura T, Muto S, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H. Prognostic impact of serum transthyretin in patients with non-small cell lung cancer. Molecular and Clinical Oncology. 201906; 10(6):597-604.

Furuta M, Sakakibara-Konishi J, Kikuchi H, Yokouchi H, Nishihara H, Minemura H, Harada M, Yamazaki

S, Akie K, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Harada T, Minami Y, Watanabe N, Oizumi S, Suzuki H, Nishimura M, Dosaka-Akita H, Isobe H; Hokkaido Lung Cancer Clinical Study Group. Analysis of DLL3 and ASCL1 in Surgically Resected Small Cell Lung Cancer (HOT1702). *Oncologist*. 2019; 24(11):e1172-e1179.

〔総説等〕

樋口光徳, 鈴木弘行. 【特集】胸部外科手術の基本手技とコツ up to date II. 呼吸器領域 10. 臍胸における開窓術と有茎筋弁・大網充填術. *胸部外科*. 2019; 72(10):854-858.

木村 隆, 横山 斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明. 第119回日本外科学会定期学術集会特別企画(4)「時代にマッチした外科医の育成」4. 外科医となる自信を涵養する外科臨床実習—時代にマッチした外科医のリクルーター—. *日本外科学会雑誌*. 2019; 120(6):713-715.

〔症例報告〕

Fujiu K, Fukaya Y, Kamimoto M, Miyamoto H, Cong Y, Suzuki H. Combined Application of Nivolumab and Intravesical Bacillus Calmette-Guérin Led to Acute-Onset Type 1 Diabetes. *Case Reports in Oncology*. 2019; 12(2):430-433.

Higuchi M, Watanabe M, Endo K, Oshibe I, Soeta N, Saito T, Hojo H, Suzuki H. Wine cup stoma anastomosis after extended sleeve lobectomy for central-type squamous cell lung cancer. *Journal of Cardiothoracic Surgery*. 2019; 14(1):36.

Hasegawa T, Ozaki Y, Inoue T, Watanabe Y, Fukuhara M, Yamaura T, Muto S, Okabe N, Higuchi M, Shio Y, Suzuki H. Nivolumab-related severe thrombocytopenia in a patient with relapsed lung adenocarcinoma: a case report and review of the literature. *Journal of Medical Case Reports*. 2019; 13(1):316.

武藤哲史, 尾崎有紀, 井上卓哉, 山浦 匠, 福原光朗, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 右B¹⁺³転位気管支を伴う右上葉肺癌に対して胸腔鏡下肺葉切除術を行った1例. *気管支学*. 2019; 41(3):293-297.

樋口光徳, 渡部晶之, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 両側後縦隔原発の髄外造血巣の1手術例. *日本呼吸器外科学会雑誌*. 2019; 33(4):413-419.

樋口光徳, 歌野健一, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 術前3D-CTでAdamkiewicz動脈を確認し, 術中に温存し得た後縦隔腫瘍の1例. *日本呼吸器外科学会雑誌*. 2019; 33(6):667-671.

峯 勇人, 岡部直行, 高木玄教, 深井智司, 山口佳子, 鈴木弘行. 重症筋無力症合併硬化性胸腺腫の1切除例. *肺癌*. 2019; 59(5):467-470.

〔その他〕

鈴木弘行. 編集後記. *日本免疫治療学会誌*. 2019; 7:34.

研究発表等

〔研究発表〕

Suzuki H, Inoue T, Takagi H, Watanabe M, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Hasegawa T, Shio Y, Minemura H, Kanazawa K, Ohbuchi K, Fukushima T. Metabolites as mediator for alleviating adverse effects in chemotherapy: A new finding from a recent study of Japanese traditional Kampo medicine, rikkunshito (RKT). 2019 ASCO Annual Meeting; 20190531-0604; Chicago, USA. Journal of Clinical Oncology. 37(15 suppl):e18292.

Takagi H, Zhao S, Muto S, Mine H, Watanabe M, Ozaki Y, Okabe N, Hasegawa T, Shio Y, Aoki M, Tan C, Shimoyama S, Nakamura K, Inano A, Suzuki H. Delta-Like 1 Homolog(DLK1) Expression in Non-Small-Cell Lung Cancer and the Development of Radioimmunotherapy Targeting DLK1. IASLC 2019 World Conference on Lung Cancer; 20190907-10; Barcelona, Spain. Journal of Thoracic Oncology. 14(10, Supplement):S426-S427.

Watanabe M, Higashi T, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Hasegawa T, Shio Y, Sugimoto K, Chiba H, Suzuki H. Characterization of Claudin15 as a New Diagnostic Marker for Malignant Pleural Mesotheliomas. IASLC 2019 World Conference on Lung Cancer; 20190907-10; Barcelona, Spain. Journal of Thoracic Oncology. 14(10, Supplement):S762-S763.

Okabe N, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Muto S, Hasegawa T, Shio Y, Park W, Lopes G, Suzuki H. iSEND Model as a Predictor of Efficacy in Immune Checkpoint Inhibitors for Non-Small Cell Lung Cancer: Fukushima Cohort. IASLC 2019 World Conference on Lung Cancer; 20190907-10; Barcelona, Spain. Journal of Thoracic Oncology. 14(10, Supplement):S935.

高木玄教, 武藤哲史, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. リンパ上皮腫様癌に類似の病理像を呈した肺腫瘍の一切除例. 第 35 回東北肺癌研究談話会; 20190202; 仙台.

高木玄教, 鈴木弘行, 塩 豊, 長谷川剛生, 岡部直行, 武藤哲史, 渡部晶之, 峯 勇人. リンパ上皮腫様癌に類似の病理像を呈した肺腫瘍の一切除例. 第 29 回三地区合同肺癌・呼吸器疾患研究会; 20190406; 郡山.

塩 豊, 高木玄教, 井上卓哉, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 武藤哲史, 長谷川剛生, 鈴木弘行. 治療支援アプリ導入による有用性の検討～肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤による治療開始時における介入試験の概要報告. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌術後再発症例における PD-1/PD-L1 阻害薬の効果予測因子としての iSEND モデルの有用性. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

見城 明, 丸橋 繁, 遠藤俊吾, 鈴木弘行. 外科医の働き方改革: 特定行為研修修了者の活用に向けた課題と対応策. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

山浦 匠, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 肺腺癌切除検体における PD-L1 発現. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

樋口光徳, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 微小肺髄膜細胞様結節(MPMN)における Neurofibromatosis(NF)-2 遺伝子変異の検索. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

武藤哲史, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌における β -catenin の発現と, 樹状細胞・リンパ球の腫瘍浸潤との関係. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

木村 隆, 鈴木眞一, 横山 斉, 河野浩二, 鈴木弘行, 大竹 徹, 丸橋 繁, 田中秀明. 外科医となる自信を涵養する外科臨床実習一時代にマッチした外科医のリクルーター. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

高木玄教, 鈴木弘行, 塩 豊, 長谷川剛生, 岡部直行, 武藤哲史, 井上卓哉, 尾崎有紀, 渡部晶之. 当院での臨床病期 IA 期肺癌における消極的縮小手術の予後因子の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 肺癌術後再発に対する免疫チェックポイント阻害薬投与の検討～効果予測因子 iSEND モデルの検討～. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):O17-3.

樋口光徳, 歌野健一, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 術前 3D-CT で Adamkiewicz 動脈を確認し, 温存し得た後縦隔腫瘍の 1 手術例. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):P25-3.

高木玄教, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 原発性肺癌における Delta-like 1 homolog(DLK1)の臨床的意義. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):P62-1.

武藤哲史, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌における, β -catenin の発現と, 樹状細胞・リンパ球の腫瘍浸潤を介した免疫編集. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):RO1-2.

塩 豊, 渡邊 譲, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦 匠, 松村勇輝, 岡部直行, 武藤哲史, 長谷川剛生, 鈴木弘行. 治療支援アプリの構築および外来への導入により広域な医療圏の診療を補助する試み. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):RO6-2.

渡部晶之, 東 智仁, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 杉本幸太郎, 千葉英樹, 鈴木弘行. 胸膜悪性中皮腫診断における抗 Cldn15 抗体の有用性. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):RO14-3.

峯 勇人, 長谷川剛生, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩 豊, 鈴木弘行. 臍胸手術症例の臨床的検討. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):RO18-1.

長谷川剛生, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩 豊, 鈴木弘行. 左肺尖部

肺癌に対する根治的放射線化学療法後のサルベージ手術. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):RV10-1.

塩 豊, 高木玄教, 渡部晶之, 井上卓哉, 山浦 匠, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 鈴木弘行. 当院における呼吸器外科領域に対するロボット支援下手術導入の経験. 第 30 回内視鏡外科フォーラム in 仙台; 20190518; 仙台.

丸谷慶将, 渡部晶之, 峯 勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. エストロゲンレセプター抗体陽性の肺嚢胞上皮を認めた月経随伴性気胸の一例. 第 103 回日本胸部外科学会東北地方会; 20190608; 仙台.

峯 勇人, 渡部晶之, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 気管支鏡生検検体と手術摘出検体における PD-L1 発現率の比較. 第 103 回日本胸部外科学会東北地方会; 20190608; 仙台.

長谷川剛生, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩 豊, 鈴木弘行. 消化器外科手術歴を有する肺癌切除症例の臨床的検討. 第 28 回日本癌病態治療研究会; 20190627-28; 川越.

高木玄教, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 原発性肺癌における Delta-like 1 homolog(DLK1)の臨床的意義の検討. 第 28 回日本癌病態治療研究会; 20190627-28; 川越.

渡部晶之, 武藤哲史, 高木玄教, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 気管支鏡生検検体と手術摘出検体における PD-L1 発現率の比較. 第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20190704-05; 東京. 気管支学. 41(Suppl):S234.

高木玄教, 趙 松吉, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 栗生木美穂, 稲野彰洋, 鈴木弘行. 原発性肺癌における治療標的としての Delta-like 1 homolog(DLK1)検索. 第 11 回福島県肺癌研究会; 20190720; 郡山. 福島医学雑誌. 69(3):253.

武藤哲史, 山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 二次治療以降における免疫チェックポイント阻害薬の投与経験. 第 11 回福島県肺癌研究会; 20190720; 郡山. 福島医学雑誌. 69(3):254.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. ペンブロリツマブが著効した, 大細胞肺癌の一例. 第 58 回日本肺癌学会東北支部会・第 45 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20190727; 盛岡.

武藤哲史, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌患者の PBMC を用いた、腫瘍浸潤リンパ球数のモニタリング. 第 23 回日本がん免疫学会総会; 20190821-23; 高知.

佐藤宏樹, 岡部直行, 山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 頻回な肺炎を契機に発見された先天性嚢胞状腺腫様形成異常(CCAM)の一切除例. 第 104 回日本胸部外科学会東北地方会; 20190914; 青森.

山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. TBLBで肺扁平上皮癌と診断されたが、術前に腫瘍が自然消退した1例. 第104回日本胸部外科学会東北地方会; 20190914; 青森.

川又崇弘, 樋口光徳, 押部郁朗, 町野 翔, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. Pembrolizumabにて病理学的寛解が得られた進行非小細胞肺癌の1例. 第104回日本胸部外科学会東北地方会; 20190914; 青森.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対するICIによる治療経験: 効果予測因子としてのiSENDモデルの検討. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

渡部晶之, 東 智仁, 峯 勇人, 高木玄教, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 杉本幸太郎, 千葉英樹, 鈴木弘行. 胸膜悪性中皮腫診断における抗Cldn15抗体の有用性. 第57回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 当科における胸腺癌治療の検討. 第72回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191030-1102; 京都.

武藤哲史, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌患者における、末梢血を用いた腫瘍浸潤リンパ球数モニタリング. 第72回日本胸部外科学会定期学術集会; 20191030-1102; 京都.

渡部晶之, 峯 勇人, 高木玄教, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 診断に難渋した肺癌術後気管支断端瘻の一例. 第81回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知. 日本臨床外科学会雑誌. 80(Supplement):S680.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. ペンブロリツマブが著効した、肺大細胞癌の一例. 第81回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知. 日本臨床外科学会雑誌. 80(Supplement):S821.

高木玄教, 趙 松吉, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 松村勇輝, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 粟生木美穂, 稲野彰洋, 鈴木弘行. Delta-like 1 homolog(DLK1)を標的とした治療開発および臨床的意義. 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):52.

長谷川剛生, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩 豊, 鈴木弘行. 局所進行肺癌に対するペンブロリズマブ併用化学療法後サルベージ手術の経験. 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):62.

渡部晶之, 峯 勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. ICI投与後にirAEを認めたため単回投与にて終了した3症例の検討. 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):63.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌1次治療に対する免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法の使用経験. 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会;

20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):64.

武藤哲史, 松石 彬, 山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. β -catenin を発現する非小細胞肺癌における, 樹状細胞・リンパ球の腫瘍内浸潤低下による免疫逃避メカニズム. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):577.

渡部晶之, 東 智仁, 峯 勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 杉本幸太郎, 千葉英樹, 鈴木弘行. 胸膜悪性中皮腫診断における抗 Claudin15 抗体の有用性. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):666.

高木玄教, 趙 松吉, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 栗生木美穂, 稲野彰洋, 鈴木弘行. Delta-like 1 homolog(DLK1)を標的とした治療開発および臨床的意義の検討. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):683.

峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. EGFR 遺伝子変異陽性肺癌においても, TP53 変異陽性例では Tumor Mutation Burden が高い. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):692.

岡部直行, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌 1 次治療における免疫チェックポイント阻害薬と化学療法併用レジメンの検討. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):793.

樋口光徳, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 北條 洋, 山田壮亮, 浦本秀隆, 鈴木弘行. 集学的治療で長期 CR が得られた, 胸膜播種を伴った未分化多型肉腫の 1 例. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):806.

猪俣 頌, 山浦 匠, 穴沢予識, 鈴木弘行. 有害事象により Pembrolizumab 療法を中止した以降も長期奏功を得られている再発非小細胞肺癌 2 例の経験. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):815.

松石 彬, 岡部直行, 山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. Pembrolizumab と Pemetrexed+Platinum 製剤併用療法治療中に副腎不全を発症した 1 例. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):820.

山浦 匠, 猪俣 頌, 穴沢予識, 鈴木弘行. 当院における局所進行非小細胞肺癌に対する Durvalumab の治療成績. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):867.

山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. ニボルマブと局所放射線治療を併用して長期間の病勢制御を得た症例. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪. 肺癌. 59(6):901.

〔シンポジウム〕

長谷川剛生, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩 豊, 鈴木弘行. 消化器外科手術歴を有する非小細胞肺癌手術症例の解析. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪. 日本

呼吸器外科学会雑誌. 33(Suppl):PD3-5.

鈴木弘行. 胸部悪性腫瘍に対する免疫療法の現状と課題. 第 26 回 HAB 研究機構学術年会; 20190620-22; 東京.

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害薬の臨床開発の現状と課題. 第 23 回日本がん免疫学会総会; 20190821-23; 高知.

鈴木弘行, 塩 豊, 長谷川剛生, 松村勇輝, 岡部直行, 武藤哲史, 山浦 匠, 福原光朗, 井上卓哉, 渡部晶之, 尾崎有紀, 高木玄教, 峯 勇人, 山口 光. 腫瘍微小環境から読み解く ICI 併用療法における課題. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):37.

武藤哲史, 山口 光, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩 豊, 鈴木弘行. 肺癌の腫瘍浸潤リンパ球数を PBMC でモニタリングする試み. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山. プログラム・抄録集. 32(suppl):45.

〔特別講演〕

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害剤の将来像. 第 5 回肺がん免疫療法研究会; 20190125; 秋田.

鈴木弘行. 腫瘍免疫研究における基礎と展望. 多摩・相模原 Immuno-Oncology Seminar; 20190201; 東京.

鈴木弘行. 免疫療法による癌治療のパラダイムシフト. 第 24 回頭頸部癌化学療法研究会; 20190301; 東京.

鈴木弘行. 非小細胞肺癌における免疫療法の新展開. 小樽肺がん診療セミナー; 20190314; 小樽.

鈴木弘行. 腫瘍免疫の進歩と今後の課題. 第 45 回 LOGIK 九州肺癌セミナー; 20190406; 福岡.

鈴木弘行. 一般診療医にも知ってもらいたい呼吸器外科疾患. 南相馬市立総合病院第 1 回月例医学勉強会; 20190606; 南相馬.

鈴木弘行. 最新の肺癌治療シーケンス. 仙台肺癌講演会; 20190614; 仙台.

鈴木弘行. がん免疫療法の新展開～コンビネーション治療を考える～. 第 4 回東北腫瘍免疫シンポジウム; 20190622; 仙台.

鈴木弘行. 非小細胞肺癌における免疫療法の進歩. 第 37 回岩手肺癌懇話会; 20190628; 盛岡.

鈴木弘行. 肺癌に対する免疫療法の新展開. 第 24 回三重肺癌キモセラピー研究会; 20190712; 津.

鈴木弘行. 基礎から考える免疫療法の今後の展望. HANSHIN Thoracic Immuno-Oncology Seminar; 20190802; 西宮.

鈴木弘行. 免疫と薬物療法の進歩は肺癌外科治療を変えるか? 第 17 回 FIT 呼吸器外科研究会; 20190928; 金沢.

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害剤と外科治療の進歩. 第34回関東呼吸器研究会 (チェストカンファレンス); 20191002; さいたま.

鈴木弘行. 肺癌治療の新たな潮流～ロボット支援手術と免疫療法の進歩～. 南部徳洲会病院医療講演会; 20191024; 八重瀬町.

鈴木弘行. 肺癌治療の新たな潮流. 会津若松市肺癌講演会; 20191106; 会津若松.

鈴木弘行. 肺がん治療における新たな潮流. Lung Cancer エリア WEB セミナー; 20191212; 浜松(Web 配信).

〔招待講演〕

鈴木弘行. 外科医が知っておきたい腫瘍免疫の知識. 第187回熊本外科集談会; 20190113; 熊本.

鈴木弘行. 腫瘍免疫の進歩と今後の課題. 第1393回千葉医学会 平成30年度第18回千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室例会; 20190209; 千葉.

鈴木弘行. 呼吸器外科医が考える癌免疫療法. 第10回七隈呼吸器外科フォーラム; 20190412; 福岡.

鈴木弘行. がん免疫療法を理解する上で知っておくべき腫瘍免疫の基礎. I-O Next Steps Seminar; 20190511; 東京.

鈴木弘行. III 期非小細胞肺癌治療におけるパラダイムシフト～呼吸器外科から見た PACIFIC レジメンの意義～. 第36回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪.

鈴木弘行. オブジーボの臨床データから紐解く今後の免疫療法の可能性. 第36回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪.

鈴木弘行, 尾崎有紀, 峯 勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 岡部直行, 武藤哲史, 長谷川剛生, 塩 豊. 肺癌における Tumor mutation burden (TMB)の腫瘍微小環境, ゲノム異常との関連. 第28回日本癌病態治療研究会; 20190627-28; 川越.

鈴木弘行. 免疫療法における VEGF 阻害剤のインパクト. 第2回 AIR in Sapporo -Angiogenesis & Immunology Research-; 20190706; 札幌.

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害薬の効果予測バイオマーカー研究の Up to date. J-TAIL 研究 Investigator & coordinator's meeting; 20190727; 盛岡.

鈴木弘行. 免疫と薬物療法の進歩は肺癌外科治療を変えるか? 呼吸器外科医のための肺癌治療 Seminar; 20190914; 東京.

鈴木弘行. 福島から発信する最新の医療. 2019 年度福島学院大学福島駅前キャンパス人材寄付講座; 20191008; 福島.

鈴木弘行. ここまで進歩した肺癌に対する免疫療法. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会市民公開講座; 20191129; 岡山.

〔その他〕

鈴木弘行. 病院長と語ろう！ 令和元年度福島県立医科大学男女共同参画支援室 FMU カフェ; 20191209; 福島.

その他の業績・作品等

鈴木弘行. MSD 株式会社「キイトルーダ®」有害事象記録支援アプリ「KEY+YOU e ダイアリー」監修.

医療安全管理部

論 文

〔原 著〕

松塚 崇, 小原伸樹, 武田治美, 戸澤香織, 佐藤美恵子, 鳥羽 衛, 成田 将, 黒澤 伸, 大内一夫. 3 月に総手術数が増え手術延長数も増える 当院手術部におけるオカレンスレポートの後ろ向き解析. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):121-125.

研究発表等

〔研究発表〕

大内一夫, 武田治美, 鷹木真由美, 戸澤香織, 鳥羽 衛, 成田 将, 長谷川結花, 小司和里, 菅野千代子, 松塚 崇. 薬品有効期限確認についての職員の意識調査. 第 14 回医療の質・安全学会学術集会; 20191129; 京都.

医療情報部

論 文

〔原 著〕

Yamada L, Saito M, Aung Kyi Thar Min, Saito K, Kase K, Onozawa H, Okayama H, Fujita S, Endo H, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. Explore the correlation between ARID1A and ANXA1 expressions in gastric cancer. Annals of Cancer Research and Therapy. 201901; 27(2):46-51.

Momma T, Gonda K, Akama Y, Endo E, Ujiie D, Fujita S, Maejima Y, Horita S, Shimomura K, Saji S, Kono K, Yashima R, Watanabe F, Sugano K, Nomizu T. MLH1 germline mutation associated with Lynch syndrome in a family followed for more than 45 years. BMC Medical Genetics. 201905; 20(1):67.

Hayase S, Yamada L, Ujiie D, Nirei A, Tada T, Hanayama H, Monma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. Clinical usefulness of ramucirumab plus paclitaxel for unresectable and recurrent gastric cancer. Fukushima Journal of Medical Science. 201904; 65(1):6-12.

Sakamoto W, Yamada L, Suzuki O, Kikuchi T, Okayama H, Endo H, Fujita S, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. Microanatomy of inferior mesenteric artery sheath in colorectal cancer surgery. Journal of the Anus, Rectum and Colon. 201910; 3(4):167-174.

Asano T, Sato S, Furuya MY, Takahashi H, Shichishima-Nakamura A, Ohkawara H, Fujiwara T, Gunji N, Hashimoto C, Momma T, Saito M, Nakano H, Watanabe G, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Kobayashi H, Watanabe H, Mouri M, Mashiyama F, Sakuma H, Ohira H, Mori M, Ikezoe T, Migita K. Intestinal Behçet disease associated with myelodysplastic syndrome accompanying trisomy 8 successfully treated with abdominal surgery followed by hematopoietic stem cell transplantation: A case report. Medicine. 201911; 98(46):e17979.

Ashizawa M, Okayama H, Ishigame T, Aung Kyi Thar Min, Saito K, Ujiie D, Murakami Y, Kikuchi T, Nakayama Y, Noda M, Tada T, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. miRNA-148a-3p Regulates Immunosuppression in DNA Mismatch Repair-Deficient Colorectal Cancer by Targeting PD-L1. Molecular Cancer Research. 201906; 17(6):1403-1413.

Kikuchi T, Mimura K, Okayama H, Nakayama Y, Saito K, Yamada L, Endo E, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. A subset of patients with MSS/MSI-low colorectal cancer showed increased CD8(+) TILs together with up-regulated IFN- γ . Oncology Letters. 201912; 18(6):5977-5985.

Ashizawa M, Saito M, Aung Kyi Thar Min, Ujiie D, Saito K, Sato T, Kikuchi T, Okayama H, Fujita S, Endo H, Sakamoto W, Momma T, Ohki S, Goto A, Kono K. Prognostic role of ARID1A negative expression in gastric cancer. Scientific Reports. 201905; 9(1):6769.

藤田正太郎, 門馬智之, 遠藤英成, 加瀬晃志, 氏家大輔, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 坂本 渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 直腸癌術後の直腸腔瘻に対しエストリオール腔錠と腔洗浄にて治癒した1例. 癌と化学療法. 201912; 46(13):2078-2080.

〔症例報告〕

松本拓朗, 大木進司, 門馬智之, 喜古雄一郎, 田崎和洋, 河野浩二. 小網原発 GIST の2例. 日本臨床外科学会雑誌. 201912; 80(12):2175-2182.

研究発表等

〔研究発表〕

Saze Z, Sato T, Ujiie D, Kikuchi T, Tada T, Watanabe Y, Hanayama H, Gonda K, Momma T, Ohki S, Kono K. Efficacy of Double Flaps reconstruction after Proximal gastrectomy -in terms of functional preservation-. 13th International Gastric Cancer Congress 2019 (IGCC 2019); 20190508; Prague, Czech Republic.

Hanayama H, Ohki S, Sato T, Ujiie D, Nirei A, Kikuchi T, Tada T, Watanabe Y, Gonda K, Momma T, Saze Z, Kono K. Prognostic factors in advanced gastric cancer with peritoneal dissemination(P1cy0/1) and intraperitoneal free cancer cells(P0cy1). 13th International Gastric Cancer Congress 2019 (IGCC 2019); 20190508-11; Prague, Czech Republic.

志村龍男, 柴田昌彦, 権田憲士, 早瀬 傑, 坂本 渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌予後因子としての Lymphocyte-to-Monocyte Ratio の有用性 : myeloid-derived suppressor cells との関連において. 第 15 回日本消化管学会総会学術集会; 20190201-03; 佐賀.

Saze Z, Endo E, Ujiie D, Aoto K, Tada T, Watanabe Y, Hanayama H, Gonda K, Momma T, Ohki S, Kono K. Advantages of Double Flap Technique for Proximal Gastrectomy. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190227-0301; 沼津.

Watanabe Y, Endo E, Ujiie D, Nirei A, Aoto K, Tada T, Hanayama H, Saito M, Gonda K, Momma T, Saze Z, Mimura K, Ohki S, Kono K. The significance of preoperative Prognostic Nutrition Index(PNI) in patients with gastric cancer. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190227-0301; 沼津.

東 孝泰, 菊池智宏, 三村耕作, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 遠藤久仁, 坂本 渉, 藤田正太郎, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌における腫瘍浸潤マクロファージ(TAM)の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

今井朝太郎, 氏家大輔, 佐藤孝洋, 加瀬晃志, 遠藤英成, 菊池智宏, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 権田憲士, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 食道癌術後骨格筋転移再発を来した 1 例. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

氏家大輔, 岡山洋和, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 坂本 渉, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 権田憲士, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 柴田昌彦, 河野浩二. Stage II 大腸癌における根治切除後再発予測バイオマーカーの同定. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

遠藤英成, 岡山洋和, 佐藤孝洋, 菊池智宏, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌間質に基づく個別化治療の可能性. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

加瀬晃志, 氏家大輔, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 千田 峻, 菊池智宏, 楡井 東, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 坂本 渉, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. Stage II 大腸癌における脈管侵襲とミスマッチ修復タンパク欠損の意義. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

片方雅紀, 氏家大輔, 遠藤英成, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. EBV 関連胃癌の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

金田晃尚, 佐瀬善一郎, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 松井田元, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬 傑, 権田憲士, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 頭頸部癌に対する遊離空腸再建術の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

菊池智宏, 三村耕作, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 遠藤久仁, 坂本 渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌における MSI status と, PD-L1 発現および CD8 陽性細胞浸潤数の関連. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

齋藤元伸, 芦澤 舞, 佐藤孝洋, 菊池智宏, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. ARID1A 変異胃癌に対する標的治療の可能性. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

佐瀬善一郎, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 噴門側胃切除術における再建による術後栄養状態および機能温存に関する検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

佐藤孝洋, 山田玲央, 菊池智宏, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 下部消化管穿孔の治療成績の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

柴田昌彦, 権田憲士, 岩館 学, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 志村龍男, 大竹 徹, 河野浩二, 鈴木眞一, 竹之下誠一. 外科における癌患者の Host Factor 研究の重要性. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

圓谷秀哲, Aung Kyi Thar Min, 三村耕作, 岡山洋和, 齋藤元伸, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 食道扁平上皮癌における上皮間葉移行 EMT と PD-L1 発現との関連. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

花山寛之, 大木進司, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 権田憲士, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 術前補助化学/化学放射線療法を施行した Stage II/III 食道癌患者においてサルコペニアが術後短期成績に与える影響. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

深井智司, 中山裕子, 三村耕作, 氏家大輔, 遠藤英成, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 胃癌細胞における PD-L2 発現について. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

藤田正太郎, 門馬智之, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 氏家大輔, 青砥慶太, 菊池智宏, 楡井 東, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 岡山洋和, 坂本 渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 結腸・直腸癌に対する FOLFIRI+Ramucirumab 療法を施行した 15 例の検討. 第 119 回日本外科学会

定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

褓主正太郎, 氏家大輔, 佐藤孝洋, 加瀬晃志, 遠藤英成, 菊池智宏, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 権田憲士, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. IgG4 関連疾患に合併した胃癌の 1 例. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

松井田元, 佐瀬善一郎, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 金田晃尚, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬 傑, 権田憲士, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 特発性食道破裂 17 例の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

三村耕作, 中山裕子, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 権田憲士, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 胃癌微小環境から検討した胃癌における抗 PD-1 抗体の適応について. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

門馬智之, 深井智司, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 菊池智宏, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本 渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. PET-MRI を用いた直腸癌, 側方リンパ節転移の診断. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

渡辺洋平, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 氏家大輔, 楡井 東, 菊池智宏, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 中山裕子, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 権田憲士, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 胃癌患者における術前好中球／リンパ球比の予後的意義. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

中山裕子, 三村耕作, 岡山洋和, 齋藤元伸, アウンチーターミン, 齋藤勝治, 氏家大輔, 遠藤英成, 渡辺洋平, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 市川大輔, 河野浩二. 胃癌微小環境における PD-L2 発現について. 第 40 回癌免疫外科研究会; 20190516-17; 金沢.

三村耕作, 中山裕子, 氏家大輔, 菊池智宏, 渡辺洋平, 花山寛之, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. PD-L1 の発現機構から検討した胃癌における抗 PD-1 抗体の適応について. 第 40 回癌免疫外科研究会; 20190516-17; 金沢.

遠藤英成, 多田武志, 氏家大輔, 菊池智宏, 花山寛之, 渡辺洋平, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 食道アカラシアに合併した表在型食道癌の 1 手術例. 第 73 回日本食道学会学術集会; 20190606-07; 福岡.

大木進司, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 佐藤孝洋, 氏家大輔, 楡井 東, 菊池智宏, 渡辺洋平, 門馬智之, 河野浩二. 術前化学療法施行食道癌切除例における予後因子の検討. 第 73 回日本食道学会学術集会; 20190606-07; 福岡.

藤田正太郎, 門馬智之, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 加瀬晃志, 氏家大輔, 菊池智宏, 楡井 東, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 坂本 渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 直腸癌術後の直腸腔瘻に対し、エストリオール腔錠と腔洗浄にて治癒した 1 例. 第 41 回癌局所療法研究会; 20190621; 岡山.

菊池智宏, 三村耕作, 岡山洋和, 中山裕子, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌における MSI status と腫瘍浸潤 CD8 陽性リンパ球数の検討. 第 28 回日本癌病態治療研究会; 20190627-28; 川越.

齋藤元伸, 芦澤 舞, 山田玲央, 菊池智宏, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. ゲノム解析研究を基にした ARID1A 変異消化器癌に対する標的治療の開発. 第 28 回日本癌病態治療研究会; 20190627-28; 川越.

氏家大輔, 齋藤元伸, 菊池智宏, 渡辺洋平, 花山寛之, 中山裕子, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. Microsatellite instability を有する胃癌の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

遠藤英成, 加瀬晃志, 菊池智宏, 岡山洋和, 遠藤久仁, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 手術介入を要した結腸憩室炎症例の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

遠藤久仁, 菊池智宏, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 腹腔鏡補助下直腸切除術時の峽骨盤にかかわる因子の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

大木進司, 千田 峻, 岡山和洋, 藤田正太郎, 坂本 渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. Stage II, III 大腸癌に対する複合バイオマーカーを用いた新規予後予測スコアの開発. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

加瀬晃志, 坂本 渉, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌術後補助療法としての UFT/LV, Capecitabine の完遂率の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

菊池智宏, 岡山洋和, 遠藤久仁, 坂本 渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. Colitic Cancer の手術症例 14 例の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

齋藤元伸, 芦澤 舞, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 胃癌における ARID1A 遺伝子変異の特徴とバイオマーカーとしての有用性. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

佐久間芽衣, 菊池智宏, 三村耕作, 岡山洋和, 齋藤元伸, 藤田正太郎, 坂本 渉, 遠藤久仁, 門馬智之, 河野浩二. pMMR 大腸癌と dMMR 大腸癌における腫瘍浸潤 CD8 細胞と PD-L1 発現の比較検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

佐瀬善一郎, 佐藤孝洋, 氏家大輔, 菊池智宏, 楡井 東, 渡辺洋平, 花山寛之, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 腹腔鏡下噴門側胃切除術における再建方法の変遷とその進歩. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

花山寛之, 大木進司, 佐藤孝洋, 氏家大輔, 楡井 東, 菊池智宏, 渡辺洋平, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当院における胃 GIST に対する LECS の適応に関する検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

藤田正太郎, 門馬智之, 加瀬晃志, 遠藤英成, 岡山洋和, 遠藤久仁, 坂本 渉, 齋藤元伸, 大木進司, 河野浩二. 潰瘍性大腸炎に対する至適手術介入. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

門馬智之, 加瀬晃志, 遠藤英成, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 大木進司, 河野浩二. 大腸全摘・回腸囊肛門吻合後の排便機能の評価. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

渡辺洋平, 氏家大輔, 菊池智宏, 楡井 東, 花山寛之, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 胃癌に対する Nivolumab の治療成績. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717; 東京.

齋藤元伸, 小野澤寿志, 松本拓朗, 芦澤 舞, 菊池智宏, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 竹之下誠一, 河野浩二. 大腸癌の進展と転移における ANXA1 遺伝子の役割. 第 26 回日本がん転移学会学術集会・総会; 20190727; 大阪.

芦澤 舞, 岡山洋和, 石亀輝英, Aung Kyi Thar Min, 齋藤勝治, 中山裕子, 氏家大輔, 野田 勝, 坂本 渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 三村耕作, 河野浩二. dMMR 大腸癌における miR-148a-3p による PDL1 を標的とした免疫抑制状態への制御機構. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

氏家大輔, 岡山洋和, 遠藤英成, 山田玲央, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. Stage II 大腸癌における再発予後予測因子としての KRT17. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

遠田晶生, 氏家大輔, 遠藤英成, 山田玲央, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 食道癌骨格筋転移の 2 例. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

遠藤英成, 加瀬晃志, 仲野 宏, 山田玲央, 氏家大輔, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌における腫瘍血管新生の評価. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

遠藤久仁, 氏家大輔, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 柴田昌彦, 河野浩二. 再発大腸がん治療中、複数の膠原病が発症した 1 例. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

大木進司, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 柴田昌彦, 河野浩二. Barrett 食道癌の臨床病理学的特徴と治療戦略. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

岡山洋和, 遠藤英成, 加瀬晃志, 山田玲央, 山内直人, 氏家大輔, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 坂本 渉, 齋藤元伸, 三村耕作, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 直腸癌の術前放射線化学療法抵抗性を予測するバイオマーカーの作成と検証. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

加瀬晃志, 坂本 渉, 佐藤孝洋, 山内直人, 氏家大輔, 岡山洋和, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 腹壁浸潤を伴う S 状結腸癌に対し腹壁合併ハルトマン術および腹壁再建を行った 1 例. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

片方雅紀, 三村耕作, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 加瀬晃志, 氏家大輔, 青砥慶太, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 胃癌に対する NK 細胞を用いた免疫治療の可能性. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

齋藤元伸, 芦澤 舞, 山田玲央, 遠藤英成, 加瀬晃志, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本 渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. ARID1A 変異胃癌に対する標的治療法の探索と開発. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

佐藤正樹, 氏家大輔, 遠藤英成, 山田玲央, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. IgG4 関連疾患に合併した Barret 食道癌の 1 例. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

坂本 渉, 大木進司, 滝口千晶, 加瀬晃志, 山内直人, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 腹腔鏡補助下低位前方切除術における縫合不全リスク因子解析. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

佐瀬善一郎, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 渡辺洋平, 花山寛之, 小野澤寿志, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. ロボット支援下胃切除術導入期における安全性の検討. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

滝口千晶, 大木進司, 加瀬晃志, 山内直人, 岡山洋和, 坂本 渉, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 門馬智之, 三村耕作, 柴田昌彦, 河野浩二. 直腸原発 gastrointestinal stromal tumor の 3 切除例. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

花山寛之, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 進行食道癌の術前管理における経管栄養が与える影響. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

藤田正太郎, 門馬智之, 佐々木栄作, 加瀬晃志, 山内直人, 岡山洋和, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 大木進司, 佐治重衡, 河野浩二. 結腸・直腸癌に対する FOLFIRI+Aflibercept 療法を施行した 10 例の治療成績. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

松石 彬, 菊池智宏, 三村耕作, 岡山洋和, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 坂本 渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 大腸癌における腫瘍関連マクロファージの分布. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

丸山裕也, 菊池智宏, 三村耕作, 岡山洋和, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 坂本 渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. dMMR/MSI-high 大腸癌患者における CD4, CD8T 細胞の腫瘍への浸潤度. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

門馬智之, 野水 整, 河野浩二, 石岡千加史. 東北家族性腫瘍研究会の活動からみた遺伝性腫. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

三村耕作, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 放射線治療と免疫チェックポイント阻害剤併用療法の可能性. 第 57 回日本癌治療

学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

山内直人, 坂本 渉, 遠藤英成, 加瀬晃志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 3.0T 造影 MRI にて術前に痔瘻癌と診断された 1 例. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

渡辺洋平, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 花山寛之, 小野澤寿志, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 胃癌術後化学療法後の再発における術前 Prognostic Nutritional Index(PNI)の意義. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

芦澤 舞, 齋藤元伸, 山田玲央, Aung Kyi Thar Min, 氏家大輔, 斎藤勝治, 菊池智宏, 岡山洋和, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 坂本 渉, 門馬智之, 大木進司, 後藤明輝, 河野浩二. ARID1A 変異胃癌の分子生物学・臨床病理学的特徴の解析. 第 30 回日本消化器癌発生学会総会; 20191107-08; 横浜.

遠藤英成, 坂本 渉, 加瀬晃志, 仲野 宏, 氏家大輔, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 糖尿病性ケトアシドーシス昏睡に非閉塞性腸管虚血を合併した一例. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

叶多 諒, 坂本 渉, 加瀬晃志, 山内直人, 岡山洋和, 藤田正太郎, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 上行結腸巨大憩室内で発育したゴルフボール様硬便により腸管穿孔をきたした 1 例. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

柴田昌彦, 権田憲士, 中島隆宏, 齋藤元伸, 岩館 学, 鈴木 聡, 門馬智之, 三村耕作, 志村龍男, 大竹徹, 河野浩二, 櫻本信一, 山口茂樹, 小山 勇, 竹之下誠一. 癌治療アウトカムからの炎症と宿主要因を考慮する. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

坂本 渉, 加瀬晃志, 遠藤英成, 岡山洋和, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 古くて新しい手術一経仙骨アプローチによる低位骨盤内手術一. 第 17 回日本消化器外科学会大会(JDDW); 20191121-24; 神戸.

大木進司, 佐瀬善一郎, 仲野 宏, 遠藤英成, 山田玲央, 氏家大輔, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 胸腔鏡下食道切除術における予後予測因子に関する検討. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

佐瀬善一郎, 仲野 宏, 氏家大輔, 渡辺洋平, 花山寛之, 小野澤寿志, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 胃癌に対するロボット支援下胃切除術導入期における安全性の評価. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

花山寛之, 仲野 宏, 遠藤英成, 菅家康之, 氏家大輔, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 高度肥満(BMI41)患者に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の経験. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

〔シンポジウム〕

Mimura K, Nakayama Y, Watanabe Y, Hanayama H, Okayama H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. Clinical indication of anti-PD-1 mAb in gastric cancer in terms of mechanism of PD-L2 expression. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

Okayama H, Endo E, Ujiie D, Kikuchi T, Saito M, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Kono K. Multi-omics approaches towards precision medicine in colorectal cancer. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

河野浩二, 岡山洋和, 三村耕作, 遠藤英成, 芦澤 舞, Aung Kyi Thar Min, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司. 消化管癌における免疫抑制機序と複合免疫療法の開発. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

三村耕作, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 上部消化管癌における複合免疫療法の開発. 第 32 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山.

〔特別講演〕

門馬智之. 大腸がん診療の現状～薬物療法と遺伝性大腸がん～. Lilly CRC Web Conference; 20191031; Web 配信.

〔招待講演〕

門馬智之. 切除不能な消化器がんにおける当科での取り組み. 福島県北胃癌治療懇話会; 20190329; 福島.

門馬智之. 各種ガイドラインを考慮したとうかでの大腸癌診療の現状. 山形市サイラムザ消化器癌講演会; 20191212; 山形.

〔その他〕

門馬智之. エネルギーデバイスの知っておきたい使い方. 消化器外科専門医を目指すセミナー in Fukushima, 2019 冬; 20190222; 郡山.

ふたば救急総合医療支援センター

論 文

〔原 著〕

Suzuki K, Kusunoki S, Tanigawa K, Shime N. Comparison of three video laryngoscopes and direct laryngoscopy for emergency endotracheal intubation: a retrospective cohort study. BMJ Open. 201903; 9(3):e024927.

Kodaira S, Kikuchi T, Hakozaaki M, Konno S. Total knee arthroplasty in Japanese patients aged 80 years or

older. *Clinical Interventions in Aging*. 201904; 14:681-688.

Orth MF, Gerke JS, Knösel T, Altendorf-Hofmann A, Musa J, Alba-Rubio R, Stein S, Hölting TLB, Cidre-Aranaz F, Romero-Pérez L, Dallmayer M, Baldauf MC, Marchetto A, Sannino G, Knott MML, Wehweck F, Ohmura S, Li J, Hakozaiki M, Kirchner T, Dandekar T, Butt E, Grünwald TGP. Functional genomics identifies AMPD2 as a new prognostic marker for undifferentiated pleomorphic sarcoma. *International Journal of Cancer*. 201902; 144(4):859-867.

Kazama S, Kazama JJ, Ando N. Eye diseases in women. *Fukushima Journal of Medical Science*. 201908; 65(2):30-36.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahashi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki SI, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K. Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan, Screened With 2 Rounds of Ultrasonography Within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 201901; 145(1):4-11.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Tominaga R, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S; DISTO project working group. Reference values of the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis and characteristics of deterioration of QOL: Lumbar Spinal Stenosis Diagnosis Support Tool: DISTO project. *Journal of Orthopaedic Science*. 201907; 24(4):584-589.

Mochizuki K, Kawana S, Yamada S, Muramatsu M, Sano H, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Hakozaiki M, Yamada H, Hashimoto Y, Kikuta A. Various checkpoint molecules, and tumor-infiltrating lymphocytes in common pediatric solid tumors: Possibilities for novel immunotherapy. *Pediatric Hematology and Oncology*. 201902; 36(1):17-27.

渡邊和之, 紺野慎一. 【臨床からみた難治性疾患の機序】脊椎手術後疼痛症候群. *ペインクリニック*. 201903; 40(3):327-334.

風間咲美, 谷川攻一, 田勢長一郎. 福島県の原子力発電所事故避難地域に対するふたば救急総合医療支援センターの医療支援活動. *公衆衛生*. 201907; 83(7):560-567.

谷川攻一. 大災害への対応と福島原発事故から学ぶ 危機的状況に備えて. *日本病院会雑誌*. 201901; 66(1):71-82.

〔総説等〕

箱崎道之. 肉腫の研究モデル細胞株と PDX モデル. *医学のあゆみ*. 201910; 271(4):335-339.

箱崎道之. 学会を聞く「第 33 回日本整形外科学会基礎学術集会」. *整形外科*. 201901; 70(1):93-95.

〔症例報告〕

Hakozaki M, Sekine T, Otani K, Konno S. Acute pseudogout lumbar discitis resembling acute pyelonephritis in an elderly woman. Internal Medicine Journal. 201908; 49(8):1048-1050.

Kawasaki Y, Ejiri S, Hakozaki M, Konno S. Impaired extension of the digits due to bilateral idiopathic intrinsic contracture: a case report. Journal of Hand Surgery Asian-Pacific Volume. 201909; 24(3):383-385.

著 書・訳 書

風間咲美. 厳選 45 分授業の防煙教室スライド. 福島: 株式会社プランニング A; 201901.

研究発表等

〔研究発表〕

Kazama S, Tanigawa K, Sakai A, Ohira T, Hayashi Y, Tanaka K, Kazama J. Longitudinal analysis of kidney function possible factors involved after the Great East Japan Earthquake among residents near the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant. International Society of Nephrology World Congress of Nephrology; 20190415; Melbourne, Australia.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Five-year results of lumbar spinal stenosis with degenerative spondylolisthesis treated with decompression alone. 46th The International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Pre-operative evaluation by the Brief Scale for Psychiatric problems in Orthopaedic Patients (BS-POP) relates to poor surgical outcomes of lumbar decompression surgery. 46th The International Society for the Study of the Lumbar Spine; 20190603-07; Kyoto.

Watanabe K, Konno S. Medical support reduced low back pain in juvenile basketball players - five year results -. 40th SICOT Orthopaedic World Congress; 20191204-07; Muscat, Oman.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手の腰痛 メディカルサポートは有用か. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):430.

渡邊和之, 大歳憲一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手に対するメディカルサポートの有用性の検討. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(3):S853.

山田匠希, 小林靖幸, 田崎和洋, 橋本優子, 金内洋一, 箱崎道之, 山田 仁. 心臓転移で確定した脱分化型脂肪肉腫の一例. 第 108 回日本病理学会総会; 20190509-11; 東京. 日本病理学会会誌. 108(1):418.

箱崎道之, 川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 山田 仁, 紺野慎一. 病的骨折で発症した大腿骨近位部軟骨肉腫に対する広範切除後の Masquelet 法による骨欠損再建. 第 45 回日本骨折治療学会; 20190628; 福岡. 骨折.

41(Supplement):S158.

小林 寛, 岡 敬之, 岩田慎太郎, 若松 透, 早川景子, 和佐潤志, 角永茂樹, 箱崎道之, 柳川天志, 筑紫 聡, 米本 司, 田中 栄, 上田孝文. 日本人における軟部肉腫に対するトラベクテジンの有効性と安全性 ―骨軟部肉腫治療研究会(JMOG)多施設共同研究―. 第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20190711; 川越. 日本整形外科学会雑誌. 93(6):S1393.

箱崎道之, 山田 仁, 川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 金内洋一, 紺野慎一. 病的骨折で発症した大腿骨近位部軟骨肉腫に対する広範切除後の Masquelet 法による骨欠損再建. 第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20190711; 川越. 日本整形外科学会雑誌. 93(6):S1413.

田田野崇宏, 渡邊一男, 山田 仁, 箱崎道之, 金内洋一, 紺野慎一. 高齢女性の大腿骨に発生した皮質骨内骨肉腫 ―1 例報告―. 第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20190711; 川越. 日本整形外科学会雑誌. 93(6):S1433.

川前恵史, 箱崎道之, 山田 仁, 金内洋一, 紺野慎一. 骨端線閉鎖前に大腿骨二次性軟骨肉腫を生じた多発性骨軟骨腫症: 1 例報告. 第 52 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20190711; 川越. 日本整形外科学会雑誌. 93(6):S1437.

箱崎道之, 山田 仁, 金内洋一, 長谷川靖, 渡邊一男, 田田野崇宏. 膝関節周囲骨化性病変の 1 例. 第 21 回骨軟部腫瘍サマーセミナー; 20190817; 岡山.

渡邊和之, 大歳憲一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手に対するメディカルサポート 足関節捻挫を減らせるか. 日本整形外科スポーツ医学会; 20190830-31; 大阪. 日本整形外科スポーツ医学会雑誌. 39(4):493.

風間咲美, 谷川攻一, 宮川明美, 児島由利江, 今福晃子, 風間順一郎, 齋藤 清. 福島第一原子力発電所事故後に福島県双葉郡に設立された病院における転倒・転落対策 (優秀ポスター賞受賞). 日本転倒予防学会第 6 回学術集会; 20191006; 新潟.

箱崎道之, 山田匠希, 山田 仁, 金内洋一, 長谷川靖, 岡 佑香, 渡邊一男, 田田野崇宏. 右膝関節周囲骨化性病変. 第 26 回東北地区骨軟部腫瘍研究会; 20191109; 盛岡.

渡邊和之, 大歳憲一, 桎村孝憲, 津田清美, 紺野慎一. 小中学生バスケットボール選手に対するメディカルチェック 足関節捻挫の受傷年齢と超音波検査所見の検討. 第 30 回日本臨床スポーツ医学会; 20191116-17; 横浜. 日本臨床スポーツ医学会誌. 27(4):S183.

佐々木信幸, 川上亮一, 山田 仁, 箱崎道之, 利木成広, 小林一貴, 紺野慎一. 弓道選手に対する血管柄付き腓骨移植による部分手関節固定―橈骨遠位部骨肉腫広範切除後の 1 再建例―. 第 46 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20191128-29; 東京. プログラム・抄録集. 152.

〔シンポジウム〕

島田二郎, 中島成隆, 谷川功一, 田勢長一郎. シンポジウム 1 地域包括ケアシステムと地域災害医療体制のあり方 医療崩壊地域での災害医療体制. 第 24 回日本災害医学会総会・学術集会; 20190318; 鳥取.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. バスケットボールと腰痛—学童期バスケットボール選手における腰痛調査の結果から—. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

箱崎道之, 土橋 悠, 山田 仁, 田地野崇宏, 金内洋一, 片平清昭, 今井順一, 渡辺慎哉, 紺野慎一. 患者由来骨・軟部肉腫マウスモデル (PDX モデル) の樹立と網羅的遺伝子発現解析を用いた系統維持. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1820.

〔特別講演〕

風間咲美. 絶対に折らないぞ！私の骨！ Project F 市民公開講座; 20190707; 郡山.

箱崎道之. 骨腫瘍の診断と治療～画像診断と手術、薬物療法～. 第 21 回 Macnab Memorial Lecture; 20191214; 郡山.

〔その他〕

風間咲美. 防煙教室; 20190118; いわき.

島田二郎, 中島成隆, 塚本宇史. 西日本水害に対するロジスティクスチームの活動 広島に派遣されて. 第 24 回日本災害医学会総会・学術集会; 20190319; 鳥取.

島田二郎, 青木正志, 林 洋克, 岡田浩明, 猿田摩耶, 染谷光一, 菱沼秀一. 全道停電によるロジスティクスチーム被災地支援 地震直接被災地外に派遣されて. 第 24 回日本災害医学会総会・学術集会; 20190320; 鳥取.

島田二郎, 中島成隆. 福島県東北地域において死因が心筋梗塞とされた症例の再検討. 第 47 回日本救急医学会総会・学術会議; 20191003; 東京.

風間咲美, 風間順一郎. 薬物乱用防止教室; 20191003; 喜多方.

風間咲美. 防煙教室; 20191025; 会津若松.

総合内科

論 文

〔原 著〕

小林 奏. 【“ヤブ化”を防ぐ！—外来診療 基本の (き)】 コモンディジェズに対する標準的診療 頭痛. 総合診療. 201909; 29(9):1062-1063.

小林 奏. 【“ヤブ化”を防ぐ！－外来診療 基本の（き）】コモンディジーズに対する標準的診療 めまい. 総合診療. 201909; 29(9):1064-1065.

下谷陽子. 【“ヤブ化”を防ぐ！－外来診療 基本の（き）】コモンディジーズに対する標準的診療 糖尿病. 総合診療. 201909; 29(9):1076-1079.

下谷陽子. 【“ヤブ化”を防ぐ！－外来診療 基本の（き）】コモンディジーズに対する標準的診療 腰痛. 総合診療. 201909; 29(9):1095-1097.

會田哲朗. 【“ヤブ化”を防ぐ！－外来診療 基本の（き）】コモンディジーズに対する標準的診療 腎機能障害. 総合診療. 201909; 29(9):1098-1100.

會田哲朗. 【“ヤブ化”を防ぐ！－外来診療 基本の（き）】コモンディジーズに対する標準的診療 高尿酸血症. 総合診療. 201909; 29(9):1104-1106.

中本洋平. 【“ヤブ化”を防ぐ！－外来診療 基本の（き）】コモンディジーズに対する標準的診療 関節痛. 総合診療. 201909; 29(9):1107-1109.

中本洋平. 【“ヤブ化”を防ぐ！－外来診療 基本の（き）】コモンディジーズに対する標準的診療 下腿浮腫. 総合診療. 201909; 29(9):1110-1111.

小児外科

論 文

〔原 著〕

Kojima Y, Yokoya S, Kurita N, Idaka T, Ishikawa T, Tanaka H, Ezawa Y, Ohto H. Cryptorchidism after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: causation or coincidence? Fukushima Journal of Medical Science. 2019; 65(3):76-98.

Goto Y, Yamashita M, Kakuta K, Mahchino K, Ogata S, Mimori K, Shimizu H, Tanaka H. A single institution experience of Eppikajutsuto for the treatment of lymphatic malformations in children. Journal of Pediatric Surgery. 2019; 54(12):2617-2620.

鈴木政博, 後藤悠大, 清水裕史, 田中秀明. 【手術に必要な画像診断－頭頸部編】嚢胞状リンパ管腫の手術. JOHNS. 2019; 35(12):1720-1724.

木村 隆, 横山 斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明. 外科医となる自信を涵養する外科臨床実習 時代にマッチした外科医のリクルート. 日本外科学会雑誌. 2019; 120(6):713-715.

渡辺詩絵奈, 宮園弥生, 今川和生, 福島紘子, 城戸崇裕, 藤山 聡, 星野雄介, 永藤元道, 梶川大悟, 金井雄, 日高大介, 齋藤 誠, 林 立申, 高橋実穂, 田中秀明, 増本幸二, 須磨崎亮. 生後早期に胃破裂を起こした9番染色体長腕部分トリソミー、X染色体長腕部分モノソミーの1例. 日本新生児成育医学会雑誌. 201906; 31(2):448-453.

〔症例報告〕

Kinoshita H, Ariga H, Shiota J, Sasaki K, Shibukawa Y, Fukuda Y, Nagasawa K, Ogata S, Shimizu H, Yamashita M, Tanaka H. Combined Fundal and Segmental Adenomyomatosis of the Gallbladder in a Child: A Rare Case Report. Case Reports in Pediatrics. 201911; 2019:2659089.

Goto Y, Takioguchi K, Shimizu H, Go H, Tanaka H. Congenital perianal lipoma: a case report and review of the literature. Surgical Case Reports. 2019; 5:199-204.

研究発表等

〔研究発表〕

Goto Y, Yamashita M, Kakuta K, Mahchino K, Ogata S, Mimori K, Shimizu H, Tanaka H. A single institution experience of Eppikajyutsuto for the treatment of lymphatic malformations in children. 52nd Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons (PAPS); 20190310-14; Christchurch, New Zealand.

Goto Y, Yamashita M, Kakuta K, Mahchino K, Ogata S, Mimori K, Shimizu H, Tanaka H. Abdominal wall muscle flap repair for large congenital diaphragmatic hernia: report of three cases. 52nd Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons (PAPS); 20190310-14; Christchurch, New Zealand.

Machino K, Shimizu H, Kakuta K, Endo K, Ogata S, Goto Y, Yamashita M, Tanaka H. Preoperative clinical factors predicting native liver survival in post-Kasai portoenterostomy biliary atresia patients: A retrospective single-institution study. 52nd Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons (PAPS); 20190310-14; Christchurch, New Zealand.

Ogata S, Shimizu H, Machino K, Kakuta K, Mimori K, Goto Y, Yamashita M, Tanaka H. Efficacy of adding metronidazole to single broad-spectrum antibiotics in the initial conservative treatment for intractable appendiceal mass followed by interval appendectomy. 32nd International Symposium on Pediatric Surgical Research-IPSPR 2019; 20190906-08; Fukuoka.

清水裕史, 角田圭一, 町野 翔, 遠藤浩太郎, 尾形誠弥, 後藤悠大, 山下方俊, 田中秀明. 1型糖尿病に対する再生医療: 膵島細胞シートの開発. 第30回福島県小児外科研究会; 20190126; 福島.

清水裕史, 尾形誠弥, 遠藤浩太郎, 山下方俊, 田中秀明. 遊走脾の茎捻転を生じた Williams 症候群の一例. 第30回東北小児肝胆膵消化管研究会; 20190316; 仙台.

高橋 唯, 渡部真裕, 柳沼和史, 齋藤 康, 後藤悠大, 清水裕史, 喜古雄一郎, 陶山和秀, 田中秀明, 細矢

光亮. 乳児劇症肝炎に対し脳死肝移植を施行した1例. 第30回東北小児肝胆膵消化管研究会; 20190316; 仙台.

田中秀明, 後藤悠大, 清水裕史, 見城 明, 桃井伸緒. 先天性門脈大循環シャントに対する絞扼術—当院における2例の経験. 第30回東北小児肝胆膵消化管研究会; 20190316; 仙台.

町野 翔, 角田圭一, 後藤悠大, 清水裕史, 山下方俊, 田中秀明. 葛西術前の臨床データは胆道閉鎖症患者の予後へ影響を与えるか? 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190418-22; 大阪. 抄録集. SF-076-6.

清水裕史, 角田圭一, 町野 翔, 遠藤浩太郎, 尾形誠弥, 後藤悠大, 山下方俊, 田中秀明. 巨大臍帯ヘルニアにおける被覆保護材による臍帯上皮化の有効性. 第5回日本小児へそ研究会; 20190419; 大阪.

清水裕史, 角田圭一, 町野 翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 後藤悠大, 山下方俊, 佐野秀樹, 菊田 敦, 田中秀明. 新生児神経芽腫術後に総胆管狭窄を来した1例. 第13回福島小児血液・腫瘍研究会; 20190511; 福島.

田中秀明, 後藤悠大, 清水裕史, 見城 明, 桃井伸緒. 尾状葉の実質内を走行する門脈大循環シャントに対する絞扼術を施行した1例. 第56回日本小児外科学会学術集会; 20190523-25; 久留米. 日本小児外科学会雑誌. 55(3):508.

後藤悠大, 滝口和暁, 三森浩太郎, 尾形誠弥, 清水裕史, 高木忠之, 見城 明, 田中秀明. 小児重症脾外傷における保存的療法の有用性と外科的介入の必要性. 第56回日本小児外科学会学術集会; 20190523-25; 久留米. 日本小児外科学会雑誌. 55(3):547.

清水裕史, 角田圭一, 町野 翔, 遠藤浩太郎, 尾形誠弥, 後藤悠大, 山下方俊, 田中秀明. 外傷性脾損傷の病態と治療方針. 第56回日本小児外科学会学術集会; 20190523-25; 久留米. 日本小児外科学会雑誌. 55(3):547.

後藤悠大, 滝口和暁, 三森浩太郎, 尾形誠弥, 清水裕史, 高木忠之, 見城 明, 田中秀明. 小児重症脾外傷における保存的療法の有用性と外科的介入の必要性. 第33回日本小児救急医学会学術集会; 20190621-22; さいたま.

町野 翔, 後藤悠大, 滝口和暁, 三森浩太郎, 尾形誠弥, 清水裕史, 大原喜裕, 佐野秀樹, 菊田 敦, 田中秀明. FAPを家族歴に有する一卵性双胎に発症した肝芽腫の症例. 第36回日本小児肝臓研究会; 20190713-14; 京都.

清水裕史, 後藤悠大, 山下方俊, 郷 勇人, 佐藤真紀, 田中秀明. 超低出生体重児に生じた壊死性腸炎の検討. 第55回日本周産期・新生児医学会学術集会; 20190713-15; 松本. 日本周産期・新生児医学会雑誌. 55(2):472.

後藤悠大, 滝口和暁, 三森浩太郎, 清水裕史, 知識美奈, 清水裕美, 小笠原啓, 郷 勇人, 佐藤真紀, 田中秀明. Meconium related ileus に対する腸管内圧モニタリング下注腸療法. 第55回日本周産期・新生児医学会学術集会; 20190713-15; 松本. 日本周産期・新生児医学会雑誌. 55(2):693.

尾形誠弥, 近藤公男, 大澤義弘, 物井綾香, 生井良幸. 原発性小腸軸捻転症の1例. 第178回東北外科集談会; 20190914; 仙台.

田中秀明, 角田圭一, 町野 翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 佐藤晶論, 木村 隆, 見城明, 丸橋 繁. 小児肝移植患者におけるPCR法を用いたhuman herpes virus 6のモニタリング. 第55回日本移

植学会総会; 20191010-12; 広島. 移植. 54:255.

西間木淳, 見城 明, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 後藤悠大, 清水裕史, 田中秀明, 丸橋 繁. 当科における肝移植後 de novo 悪性腫瘍に関する検討. 第55回日本移植学会総会; 20191010-12; 広島.

後藤悠大, 清水裕史, 滝口和暁, 角田圭一, 町野 翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 田中秀明. 小児 Morgagni 孔ヘルニアに対する LPEC 針を用いた単孔式腹腔鏡下手術. 第39回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会; 20191017-18; 大阪.

三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 尾形誠弥, 町野 翔, 角田圭一, 滝口和暁, 田中秀明. 葛西手術時における顕微鏡観察下の適切な肝門部結合組織塊切離ラインの決定. 第39回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会; 20191017-18; 大阪.

Goto Y, Shimizu H, Mimori K, Oohara Y, Sano H, Kikuta A, Tanaka H. Synovial sarcoma of the abdominal wall in a child: A case report. 第61回日本小児血液・がん学会学術集会; 20191114-16; 広島.

Shimizu H, Kakuta K, Machino K, Ogata S, Mimori K, Goto Y, Yamashita M, Sano H, Kikuta A, Tanaka H. Stricture of common bile duct as a late-onset complication after postnatal resection of neuroblastoma: A case report. 第61回日本小児血液・がん学会学術集会; 20191114-16; 広島.

尾形誠弥, 近藤公男, 大澤義弘, 森口 駿, 今村 孝. NEC 保存治療後に回腸・結腸狭窄を来した低出生体重児の1例. 第8回福島県新生児懇話会; 20191123; 福島.

三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 尾形誠弥, 町野 翔, 角田圭一, 田中秀明. 葛西手術後減黄不良例に対する再手術: minimum dissection, minimum re-transection の提言. 第46回日本胆道閉鎖症研究会; 20191130; 広島.

後藤悠大, 清水裕史, 三森浩太郎, 田中秀明. 小児 Morgagni 孔ヘルニアに対する LPEC 針を用いた単孔式腹腔鏡下手術. 第32回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜. 日本内視鏡外科学会雑誌. 24(7):MO322-2.

〔特別講演〕

田中秀明. 先天性胆道拡張症. 第35回日本小児外科学会卒後教育セミナー; 20190525; 福岡.

小児腫瘍内科

論 文

〔原 著〕

Yakushijin K, Ikezoe T, Ohwada C, Kudo K, Okamura H, Goto H, Yabe H, Yasumoto A, Kuwabara H, Fujii S, Kagawa K, Ogata M, Onishi Y, Kohno A, Watamoto K, Uoshima N, Nakamura D, Ota S, Ueda Y, Oyake T, Koike K, Mizuno I, Iida H, Katayama Y, Ago H, Kato K, Okamura A, Kikuta A, Fukuda T. Clinical effects of recombinant thrombomodulin and defibrotide on sinusoidal obstruction syndrome after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Bone Marrow Transplantation*. 201905; 54(5):674-680.

Miller L, Kobayashi S, Pauly M, Lew G, Saxe D, Keller F, Qayed M, Castellino S. Evaluating approaches to enhance survival in children with hypodiploid acute lymphoblastic leukaemia (ALL). *British Journal of Haematology*. 201905; 185(3):613-616.

Tozawa Y, Abdrabou SSMA, Nogawa-Chida N, Nishiuchi R, Ishida T, Suzuki Y, Sano H, Kobayashi R, Kishimoto K, Ohara O, Imai K, Naruto T, Kobayashi K, Ariga T, Yamada M. A deep intronic mutation of c.1166-285T>G in SLC46A1 is shared by four unrelated Japanese patients with hereditary folate malabsorption (HFM). *Clinical Immunology*. 201911; 208:108256.

Hasegawa D, Yoshimoto Y, Kimura S, Kumamoto T, Maeda N, Hara J, Kikuta A, Kada A, Kimura T, Iijima-Yamashita Y, Saito AM, Horibe K, Manabe A, Ogawa C. Bortezomib-containing therapy in Japanese children with relapsed acute lymphoblastic leukemia. *International Journal of Hematology*. 201911; 110(5):627-634.

Okano T, Imai K, Tsujita Y, Mitsui N, Yoshida K, Kamae C, Honma K, Mitsui-Sekinaka K, Sekinaka Y, Kato T, Hanabusa K, Endo E, Takashima T, Hiroki H, Yeh TW, Tanaka K, Nagahori M, Tsuge I, Bando Y, Iwasaki F, Shikama Y, Inoue M, Kimoto T, Moriguchi N, Yuza Y, Kaneko T, Suzuki K, Matsubara T, Maruo Y, Kunitsu T, Waragai T, Sano H, Hashimoto Y, Tasaki K, Suzuki O, Shirakawa T, Kato M, Uchiyama T, Ishimura M, Tauchi T, Yagasaki H, Jou ST, Yu HH, Kanegane H, Kracker S, Durandy A, Kojima D, Muramatsu H, Wada T, Inoue Y, Takada H, Kojima S, Ogawa S, Ohara O, Nonoyama S, Morio T. Hematopoietic stem cell transplantation for progressive combined immunodeficiency and lymphoproliferation in patients with activated phosphatidylinositol-3-OH kinase δ syndrome type 1. *Journal of Allergy and Clinical Immunology*. 201901; 143(1):266-275.

Miyachi M, Tsuchiya K, Hosono A, Ogawa A, Koh K, Kikuta A, Hara J, Teramukai S, Hosoi H. Phase II study of vincristine, actinomycin-D, cyclophosphamide and irinotecan for patients with newly diagnosed low-risk subset B rhabdomyosarcoma: A study protocol. *Medicine*. 201912; 98(52):e18344.

Okuno Y, Murata T, Sato Y, Muramatsu H, Ito Y, Watanabe T, Okuno T, Murakami N, Yoshida K, Sawada A, Inoue M, Kawa K, Seto M, Ohshima K, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Narita Y, Yoshida M, Goshima F, Kawada JI, Nishida T, Kiyoi H, Kato S, Nakamura S, Morishima S, Yoshikawa T, Fujiwara S,

Shimizu N, Isobe Y, Noguchi M, Kikuta A, Iwatsuki K, Takahashi Y, Kojima S, Ogawa S, Kimura H. Defective Epstein-Barr virus in chronic active infection and haematological malignancy. *Nature Microbiology*. 201903; 4(3):404-413. Publisher Correction:544.

Iehara T, Yoneda A, Yokota I, Takahashi H, Teramukai S, Kamijyo T, Nakazawa A, Takimoto T, Kikuta A, Yagyu S, Ikeda H, Nakagawara A, Tajiri T; Japan Childhood Cancer Group Neuroblastoma Committee (JNBSG). Results of a prospective clinical trial JN-L-10 using image-defined risk factors to inform surgical decisions for children with low-risk neuroblastoma disease: A report from the Japan Children's Cancer Group Neuroblastoma Committee. *Pediatric Blood & Cancer*. 201911; 66(11):e27914.

Mochizuki K, Kawana S, Yamada S, Muramatsu M, Sano H, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Hakozaiki M, Yamada H, Hashimoto Y, Kikuta A. Various checkpoint molecules, and tumor-infiltrating lymphocytes in common pediatric solid tumors: Possibilities for novel immunotherapy. *Pediatric Hematology and Oncology*. 201902; 36(1):17-27.

Ishimaru S, Okamoto Y, Imai C, Sakaguchi H, Taki T, Hasegawa D, Cho Y, Kakuda H, Sano H, Manabe A, Imamura T, Kato M, Arakawa Y, Shimonodan H, Sato A, Suenobu S, Inukai T, Watanabe A, Kawano Y, Kikuta A, Horibe K, Ohara A, Koh K. Nationwide survey of pediatric hypodiploid acute lymphoblastic leukemia in Japan. *Pediatrics International*. 201911; 61(11):1103-1108.

Yaginuma K, Watanabe M, Saito Y, Takahashi N, Ohara Y, Kobayashi S, Mochizuki K, Suyama K, Sato M, Sano H, Hashimoto K, Kikuta A, Hosoya M. Pneumorrhachis in children: A report of two cases and review of the literature. *Radiology Case Reports*. 201911; 14(11):1325-1329.

高橋信久, 佐野秀樹, 望月一弘, 小林正悟, 大原喜裕, 古田 実, 菊田 敦. 前房蓄膿を初発症状として診断された小児急性リンパ性白血病の1例. *日本小児血液・がん学会雑誌*. 201904; 56(1):57-60.

研究発表等

〔研究発表〕

Mochizuki K, Kobayashi S, Takahashi N, Sano H, Ohara Y, Mineishi S, Zhang Y, Kikuta A. Ex vivo-activated allogeneic CD4+ T-cells disrupt immunosuppressive tumor microenvironment, and induce host tumor-specific cytotoxic T-cells in mice. 34th Annual Meeting of SITC; 20191109; National Harbor, USA.

高橋信久. 後縦隔原発の再発神経芽腫の男児例. 第51回小児血液腫瘍症例検討会; 20190112; 東京.

大原喜裕, 佐野秀樹, 高橋信久, 小林正悟, 望月一弘, 大戸 斉, 池田和彦, 菊田 敦. 初回採取不良のためのプレリキサホル併用にて再度末梢血幹細胞採取を施行した小児固形腫瘍の3例. 第41回日本造血細胞移植学会総会; 20190308; 大阪. 抄録集. 245.

高橋信久, 望月一弘, 大原喜裕, 小林正悟, 佐野秀樹, 池田和彦, 大戸 斉, 菊田 敦. 小児T細胞非除去ハプロ移植後の急性GVHD重症化に係わるバイオマーカー. 第41回日本造血細胞移植学会総会; 20190309; 大阪. 抄録集. 276.

後藤悠大, 滝口和暁, 三森浩太郎, 尾形誠弥, 清水裕史, 大原喜裕, 佐野秀樹, 菊田 敦, 田中秀明. 家族性大腸腺腫症を家族歴に有する一卵性双胎に発症した肝芽腫の症例 スクリーニングに関する提言. 第 30 回東北小児肝胆脾消化管研究会; 20190316; 仙台. 日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌. 33(2):163.

後藤悠大, 清水裕史, 大原喜裕, 田中秀明, 佐野秀樹, 菊田 敦. 家族性腫瘍性大腸ポリポーシスを家族歴に有する一卵性双胎に発症した肝芽腫の症例. 第 41 回東北小児がん研究会; 20190316; 仙台. 日本小児血液・がん学会雑誌. 56(2):270.

高橋信久, 佐野秀樹, 望月一弘, 小林正悟, 大原喜裕, 菊田 敦, 大戸 齊, 池田和彦. 発症後早期に脳出血を来した慢性骨髄性白血病慢性期の一例. 第 72 回東北小児白血病研究会; 20190413; 仙台.

清水裕史, 角田圭一, 町野 翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 後藤悠大, 山下方俊, 佐野秀樹, 菊田 敦, 田中秀明. 新生児神経芽腫術後に総胆管狭窄を来した 1 例. 第 13 回福島小児血液・腫瘍研究会; 20190511; 福島.

佐野秀樹, 望月一弘, 小林正悟, 大原喜裕, 高橋信久, 菊田 敦. 特発性多中心キャッスルマン病の 1 例. 第 13 回福島小児血液・腫瘍研究会; 20190511; 福島.

高橋信久, 佐野秀樹, 望月一弘, 小林正悟, 大原喜裕, 池田和彦, 大戸 齊, 菊田 敦. 発症後早期に脳出血を来した慢性骨髄性白血病慢性期の 1 例. 第 13 回福島小児血液・腫瘍研究会; 20190511; 福島.

小野 智, 大原喜裕, 川畑絹代, 高野希美, 渡邊万央, 佐々木睦美, 力丸峻也, 皆川敬治, 深津真彦, 高橋裕志, 木村 哲, 大河原浩, 高橋信久, 小林正悟, 佐野秀樹, 池添隆之, 菊田 敦, 池田和彦. プレリキサホル投与とアフエーシス可否の決定における採取前日の末梢血中 CD34 陽性細胞数測定. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20190524; 熊本. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(2):349.

穂積宏俊, 三浦 至, 野崎途也, 刑部有祐, 高橋信久, 菊田 敦, 矢部博興. セフェピムにより急性の精神・行動症状をきたした抗菌薬関連脳症の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190621; 新潟. 精神神経学雑誌. 2019 特別号:S647.

佐野秀樹. 特発性多中心性キャッスルマン病の 1 例. 第 52 回小児血液腫瘍症例検討会; 20190720; 東京.

木村 哲, 大河原浩, 池田和彦, 大戸 齊, 池添隆之, 小川一英, 菊田 敦, 佐野秀樹, 原田佳代, 齋藤俊一, 皆川敬治. 当施設における G-CSF の投与による末梢血幹細胞採取効率の検討. 第 32 回東北 BMT 研究会; 20190727; 仙台.

小林正悟, 佐野秀樹, 望月一弘, 大原喜裕, 高橋信久, 菊田 敦, 池田和彦, 大戸 齊. 同種造血細胞移植後再発小児白血病に対する HLA 半合致移植. 第 32 回東北 BMT 研究会; 20190727; 仙台.

渡邊万央, 高橋沙樹, 力丸峻也, 佐々木睦美, 山田舞衣子, 皆川敬治, 高野希美, 小野 智, 川畑絹代, 高橋信久, 大原喜裕, 小林正悟, 佐野秀樹, 菊田 敦, 池田和彦. 当院におけるヒト体性幹細胞加工製品の使用実績. 第 115 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20190831; 青森. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(6):905.

小野 智, 皆川敬治, 渡邊万央, 川畑絹代, 高橋信久, 大原喜裕, 小林正悟, 望月一弘, 佐野秀樹, 菊田

敦, 池田和彦. HLA-KMR assay を用いた HLA 半合致造血細胞移植後再発症例における患者特異的 HLA 欠失の 1 症例. 第 28 回日本組織適合性学会大会; 20190923; 名古屋. MHC : 日本組織適合性学会誌. 26(2Suppl):114.

城田 淳, 渡邊涼介, 大原喜裕, 細矢光亮, 高橋信久, 小林正悟, 望月一弘, 佐野秀樹, 菊田 敦, 後藤悠大, 清水裕史, 田中秀明. 回盲部腸重積で発症した Burkitt リンパ腫の 1 例. 第 130 回日本小児科学会福島地方会; 20191021; 会津. 日本小児科学会雑誌. 123(7):1192.

渡邊涼介, 大原喜裕, 細矢光亮, 高橋信久, 小林正悟, 望月一弘, 佐野秀樹, 菊田 敦. 化学療法中に体質性黄疸が判明した急性リンパ性白血病の 1 例. 第 130 回日本小児科学会福島地方会; 20191021; 会津. 日本小児科学会雑誌. 123(7):1192-1193.

高橋信久. APDS と鑑別を要した RALD の 1 例. 第 53 回小児血液腫瘍症例検討会; 20191026; 東京.

Hori T, Shimomura Y, Yamada T, Watanabe A, Kikuta A. Analysis of PBNQ (positive but not quantifiable) cases in CCLSG ALL2004. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20191114; 広島. 日本小児血液・がん学会雑誌. 56(4):195.

Goto Y, Shimizu H, Mimori K, Ohara Y, Kobayashi S, Sano H, Kikuta A, Tanaka H. Synovial sarcoma of the abdominal wall in a child: A case report. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20191114; 広島. 日本小児血液・がん学会雑誌. 56(4):224.

Kobayashi S, Sano H, Mochizuki K, Ohara Y, Takahashi N, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Haploidentical stem cell transplantation with low-dose anti-thymocyte globulin enables long-term leukemia-free survival in post-transplant relapsed acute leukemia in children. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20191116; 広島. 日本小児血液・がん学会雑誌. 56(4):255.

Shimizu H, Kakuta K, Machino K, Ogata S, Mimori K, Goto Y, Sano H, Kikuta A, Tanaka H. Stricture of common bile duct as a late-onset complication after postnatal resection of neuroblastoma: A case report. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20191116; 広島. 日本小児血液・がん学会雑誌. 56(4):269.

鈴木哲司, 望月一弘, 高橋信久, 佐野秀樹, 小林正悟, 大原喜裕, 佐藤賢一, 渡部真裕, 桃井伸緒, 菊田 敦. コイル塞栓術及びインターフェロン α 療法にて救命し得た Kasabach-Merritt 症候群の一例. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20191116; 広島. 日本小児血液・がん学会雑誌. 56(4):333.

工藤新吾, 大原喜裕, 佐野秀樹, 望月一弘, 小林正悟, 高橋信久, 山口久志, 村上晶雄, 菊田 敦. 当科における小児がん陽子線治療の病院間連携について. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20191116; 広島. 日本小児血液・がん学会雑誌. 56(4):337.

丹治幸子, 安斎 紀, 菊田 敦. B 病院における高校生の教育支援の現状と課題. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20191115; 広島. 日本小児血液・がん学会雑誌. 56(4):396.

高野峻也, 木村菜央, 大原喜裕, 細矢光亮, 高橋信久, 小林正悟, 望月一弘, 佐野秀樹, 菊田 敦, 鈴木奈緒子, 増山 郁, 佐久間弘子, 滝口和暁, 三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 田中秀明. 異所性胸腺による頸部腫瘤例. 第 132 回日本小児科学会福島地方会; 20191117; いわき.

木村菜央, 大原喜裕, 細矢光亮, 高橋信久, 小林正悟, 望月一弘, 佐野秀樹, 菊田 敦. 帽状腱膜下血腫を契機に診断された軽症型血友病 A. 第 132 回日本小児科学会福島地方会; 20191117; いわき.

佐野秀樹. 再発難治性小児急性白血病に対する T 細胞充満ハプロ移植. Hematopoietic Stem Cell Transplantation Expert Meeting; 20191213; 福島.

小林正悟. T 細胞非除去 HLA 半合致移植の成績. 第 52 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20191221; 福島.

〔シンポジウム〕

Sano H, Kobayashi S, Michizuki K, Kikuta A. T-cell-replete haploidentical stem cell transplantation for children with relapsed or refractory acute leukemia. 第 41 回日本造血細胞移植学会総会; 20190308; 大阪. 抄録集. 143.

〔特別講演〕

菊田 敦. 移植後再発急性白血病に対する再移植. 第 41 回日本造血細胞移植学会総会; 20190308; 大阪. 抄録集. 146.

佐野秀樹. 小児難治性白血病に対するハプロ移植. 第 66 回福島血液研究会; 20190525; 福島.

望月一弘. がん免疫療法の最前線～CAR-T 療法とは～. 会津医学会総会; 20190602; 会津若松.

〔招待講演〕

菊田 敦. SOS 治療薬デフィプロチドの国内開発ストーリー. KYO セミナーデファイテリオ®発売記念講演会; 20191109; 東京.

歯科口腔外科

論 文

〔原 著〕

Hasegawa H, Masui S, Ishihata H, Kaneko T, Ishida D, Endo M, Kanno C, Yamazaki M, Kitabatake T, Utsunomiya S, Izumi K, Sasaki K. Evaluation of a Newly Designed Microperforated Pure Titanium Membrane for Guided Bone Regeneration. International Journal of Oral Maxillofacial Implant. 201903; 34(2):411-422.

Hasegawa H, Kaneko T, Kanno C, Endo M, Akimoto T, Yamazaki M, Kitabatake T, Masui S, Ishihata H,

Izumi K. Evaluation of a Newly Designed Microperforated Titanium Membrane with Beta-Tricalcium Phosphate for Guided Bone Regeneration in Dog Mandibles. International Journal of Oral Maxillofacial Implant. 201909; 34(5):1132-1142.

渡部雄貴, 菅野千敬, 金谷佳明, 北畠健裕, 遠藤 学, 金子哲治, 佐久間知子, 本間英明, 秋本哲男, 長谷川博. 当科における骨吸収抑制薬関連顎骨壊死症例の検討. みちのく歯学会雑誌. 201912; 50(1-2):57-59.

研究発表等

〔研究発表〕

岡田拓朗, 伏見千宙, 増淵達夫, 多田雄一郎, 馬場大輔, 山崎森里生, 田中惇平, 木谷洋輔, 北嶋達也, 三浦弘規. 口腔癌再建術後のカンニューレ交換に関する喉頭所見スコア化の試案. 第37回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会; 20190124-25; 長崎.

金子哲治, 北畠健裕, 菅野千敬, 長谷川博. von Willebrand 病患者に対して再建手術を行った下顎歯肉癌の1例. 第37回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会; 20190124-25; 長崎.

田中惇平, 増淵達夫, 伏見千宙, 山崎森里生. 当センターにおいて遊離前腕皮弁採取部に対し局所陰圧閉鎖療法を行った症例について. 第37回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会; 20190124-25; 長崎.

増淵達夫, 伏見千宙, 山崎森里生, 田中惇平, 田中太郎. エナジーデバイスを用いた無結紮頸部郭清術. 第37回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会; 20190124-25; 長崎.

山崎森里生, 増淵達夫, 伏見千宙, 田中惇平. 当センターにおける上顎歯肉癌の臨床的検討. 第37回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会; 20190124-25; 長崎.

金谷佳明, 柳沼貞之進, 小野愛実, 北畠健裕, 菅野千敬, 遠藤 学, 金子哲治, 佐久間知子, 長谷川博. 骨修飾薬開始前の歯科介入に関する臨床的検討(口外). 第57回特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会・第45回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会; 20190518-19; 弘前.

中山実佳, 小野愛実, 柳沼貞之進, 金谷佳明, 北畠健裕, 遠藤 学, 菅野千敬, 金子哲治, 工藤聖美, 長谷川博. 新規GBR用純チタン製メンブレンの有用性について— β -TCPを用いたin vivoでの評価(口科). 第57回特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会・第45回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会; 20190518-19; 弘前.

柳沼貞之進, 中山実佳, 小野愛実, 北畠健裕, 山崎森里生, 遠藤 学, 菅野千敬, 金子哲治, 工藤聖美, 長谷川博. 新規GBR用純チタン製メンブレンの有効性について—in vivoでのチタンメッシュとの比較(口科). 第57回特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会・第45回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会; 20190518-19; 弘前.

菅野千敬, 金子哲治, 遠藤 学, 長谷川博, 鹿野真人. T3/T4進行舌癌症例における術前多剤動注化学療法の有用性. 第43回日本頭頸部癌学会; 20190613-14; 金沢.

北嶋達也, 柴崎知生, 田中惇平, 山崎森里生, 木谷洋輔, 馬場大輔, 岡田拓朗, 伏見千宙, 増淵達夫, 多田雄一郎, 三浦弘規. 当センターにおける高齢者下咽頭扁平上皮癌の臨床的検討. 第 43 回日本頭頸部癌学会; 20190613-14; 金沢.

柴崎知生, 馬場大輔, 北嶋達也, 田中惇平, 山崎森里生, 木谷洋輔, 岡田拓朗, 伏見千宙, 増淵達夫, 多田雄一郎, 三浦弘規. 下咽頭扁平上皮癌治療後、早期再発症例の検討. 第 43 回日本頭頸部癌学会; 20190613-14; 金沢.

増淵達夫, 三浦弘規, 多田雄一郎, 伏見千宙, 岡田拓朗, 馬場大輔, 木谷洋輔, 山崎森里生, 田中惇平, 北嶋達也, 柴崎知生. 当院における下咽頭扁平上皮癌症例の検討. 第 43 回日本頭頸部癌学会; 20190613-14; 金沢.

山崎森里生, 伏見千宙, 増淵達夫, 多田雄一郎, 岡田拓朗, 馬場大輔, 木谷洋輔, 田中惇平, 北嶋達也, 柴崎知生, 三浦弘規. 可動部舌半側切除術後における摂食・嚥下の臨床的検討. 第 43 回日本頭頸部癌学会; 20190613-14; 金沢.

遠藤 学, 長谷川博, 金子哲治, 菅野千敬, 北畠健裕, 高橋 哲. セレニウム化合物による口腔癌化学療法法の検討. 第 64 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会; 20191025-27; 札幌.

菅野千敬, 金子哲治, 遠藤 学, 北畠健裕, 長谷川博. T3/T4 進行舌癌症例における術前多剤動注化学療法の有効性. 第 64 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会; 20191025-27; 札幌.

北畠健裕, 柳沼貞之進, 菅野千敬, 遠藤 学, 金子哲治, 長谷川博. 舌に生じた紡錘細胞癌の 1 例. 第 64 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会; 20191025-27; 札幌.

柳沼貞之進, 金谷佳明, 北畠健裕, 菅野千敬, 遠藤 学, 金子哲治, 工藤聖美, 佐久間知子, 長谷川博. 口外法により摘出した咬筋内血管腫の 1 例. 第 64 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会; 20191025-27; 札幌.

山崎森里生, 伏見千宙, 田中惇平. 当センターにおける上顎歯肉癌の臨床的検討. 第 64 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会; 20191025-27; 札幌.

渡部雄貴, 菅野千敬, 金谷佳明, 北畠健裕, 遠藤 学, 金子哲治, 佐久間知子, 本間英明, 秋本哲男, 長谷川博. 当科における骨吸収抑制薬関連顎骨壊死症例の検討. 第 72 回東北地区歯科医学会学術大会; 20191130-1201; 秋田.

検査部

論文

〔原著〕

Yamada S, Kaneshiro T, Kamioka M, Onuma H, Yamadera Y, Takeishi Y. Clinical impact of speckle tracking echocardiography for detecting the origin of posterior papillary muscle ventricular arrhythmia. *Europace: European Pacing, Arrhythmias, and Cardiac Electrophysiology*. 201906; 21(6):917.

Tanaka T, Onuma H, Shigihara T, Kimura E, Fukuta Y, Shirasaka N, Moriyama T, Homma Y. Anti-osteoporotic effects of syringic acid and vanilic acid in the extracts of waste beds after mushroom cultivation. *Journal of Bioscience and Bioengineering*. 201911; 128(5):622-629.

高久田美江, 山寺幸雄. 【この1冊で安心! 周術期の生理機能検査丸ごとガイド】臨床検査技師がかかわる生理検査のチーム医療. *Medical Technology*. 201912; 47(13):1304-1306.

高久田美江, 山寺幸雄. ワンポイントアドバイス 12 誘導心電図による上室頻拍の鑑別法. 検査と技術. 201905; 47(5):631-633.

研究発表等

〔研究発表〕

菊地 歩, 黒崎幸子, 保田智香, 渡邊千晶, 櫻井尚子, 兼田享子, 山寺幸雄. 終夜睡眠ポリグラフ検査(PSG)の検査前及び結果説明における当検査科の取り組み. 第68回日本医学検査学会; 20190518-19; 下関.

只野光彦, 遠藤武尊, 嶋田有里, 渡部聖子, 渡辺洋子, 菅野喜久子, 山寺幸雄, 志村浩己. 血液検査におけるパニック値報告. 第68回日本医学検査学会; 20190518-19; 下関.

只野光彦, 遠藤武尊, 木村栄美, 嶋田有里, 渡部聖子, 伊藤真弘, 渡辺洋子, 斎藤洋子, 菅野喜久子, 山寺幸雄, 志村浩己. 血液検査におけるパニック値報告. 第9回日本検査血液学会東北支部総会・学術集会; 20190601; 盛岡.

大橋直人, 佐藤康子, 河合裕美, 鈴木律子, 大矢みどり, 羽田良子, 山寺幸雄, 志村浩己. 当院で経験したアメルバ赤痢の2症例. 第51回福島医学検査学会; 20190601-02; 郡山. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 57(90):25.

岸みゆき, 渡部さゆり, 渡邊千晶, 慶徳克美, 武藤文彦, 黒崎幸子, 松本幸男, 山寺幸雄. セフトリアキソン投与により偽胆石が出現し二次的に胆嚢炎を発症した一例. 第51回福島医学検査学会; 20190601-02; 郡山. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 57(90):26.

早川莉沙, 幕田倫子, 石橋伸治, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. 腹部超音波検査が有用であった先天性胆

道拡張症の1例. 第51回福島医学検査学会; 20190601-02; 郡山. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 57(90):27.

須藤詩乃, 小室和子, 高田佳奈, 丹治麻衣子, 金内あかね, 黒崎幸子, 松本幸男, 山寺幸雄. 心エコー図検査を契機に診断し得た心アミロイドーシスの2症例. 第51回福島医学検査学会; 20190601-02; 郡山. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 57(90):30.

遠藤武尊, 只野光彦, 伊藤真弘, 渡辺洋子, 菅野喜久子, 山寺幸雄, 池添隆之, 志村浩己. 急性硬膜下血腫を伴い末梢血に異常細胞を認めなかった急性前骨髄球性白血病の1症例. 第51回福島医学検査学会; 20190601-02; 郡山. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 57(90):35.

高野由喜子, 大橋一孝, 山寺幸雄, 志村浩己. 福島県立医科大学附属病院検査部における微生物検査の精度管理. 第51回福島医学検査学会; 20190601-02; 郡山. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 57(90):55.

菅野喜久子. CellaVision DM96 を活用した末梢血血液像目視効率化の検討. セラビジョンセミナー in 横浜; 20190616; 横浜.

桑原 崇, 渡部さゆり, 西浦健太, 田尻三千代, 渡邊千晶, 慶徳克美, 黒崎幸子, 山寺幸雄. 結腸結腸型腸重積の発症機転となった若年性ポリープを整復前のUSで指摘できなかった一例. 令和元年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会第8回; 20191005-06; 山形.

嶋田有里, 遠藤武尊, 只野光彦, 伊藤真弘, 渡辺洋子, 菅野喜久子, 山寺幸雄, 風間順一郎. 多発リンパ節腫大の原因検索が契機となり MonoMAC 症候群を診断し得た1症例. 第8回北日本支部医学検査学会; 20191005-06; 山形.

本多敦美, 高久田美江, 京谷美和, 濱上美由紀, 小板橋好江, 相原理恵子, 黒崎幸子, 山寺幸雄. 労作性狭心症の運動療法にCPXの指標が有用であった1症例. 令和元年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会第8回; 20191005-06; 山形.

石橋伸治, 松田美津子, 幕田倫子, 岡井 研, 阿部和道, 山寺幸雄, 志村浩己. Shear Wave で経過観察し得た急性肝炎の2例. 第66回日本臨床検査医学会学術集会; 20191121-24; 岡山.

兼田享子, 渡邊千晶, 櫻井尚子, 黒崎幸子, 山寺幸雄. CPAP 内部 log-AHI の著明な日差変動が診断の契機となった睡眠・覚醒相後退障害の1例. 第27回日本PSG研究会全国大会; 20191207-08; 東京.

〔シンポジウム〕

佐々木義和, 阿部紀和, 宮原涼馬, 中山麻衣, 遠藤さゆり, 山本詩子, 岡崎恵美, 吉田詠子, 山寺幸雄, 伊藤祐子, 志村浩己. 当院(生化学検査室)におけるパニック値報告の手順. 第51回日本臨床検査医学会東北支部総会; 20190727; 仙台.

放射線部

論 文

〔総説等〕

角田和也, 大川原由紀. 動画の画質評価—血管撮影装置における動画の評価. INNERVISION. 201912; 35(1):55-59.

研究発表等

〔研究発表〕

岡 善隆. TLD シートを用いた小照射野の絶対線量検証. 第 32 回高精度放射線外部照射部会学術大会; 20190302; 東京.

岡 善隆. 寡分割照射を理解しやすくする取り組み ～物理線量から生物線量へ～. 第 41 回福島県放射線治療技術研究会; 20190330; 郡山.

長澤陽介. ラジオクロミックフィルムのばらつきを低減させるスキャン方法の検討. 第 41 回福島県放射線治療技術研究会; 20190330; 郡山.

宮岡裕一. 体格を指標とした CBCT の撮影条件推測の取り組み. 第 41 回福島県放射線治療技術研究会; 20190330; 郡山.

高済英彰, 石井士朗, 及川雅啓, 益田淳朗, 山國 遼, 清野真也, 樫 勝幸, 石川寛延, 金澤崇史, 佐藤孝則, 伊藤 浩. Magnetic resonance imaging(MRI)を用いた非侵襲的心筋線維化診断に関する新たな解析手法の提案: Native T1 myocardial mapping の histogram 解析. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190330; 横浜.

石川寛延, 清野真也, 樫 勝幸, 高済英彰, 金澤崇史. Influence of Imaging Parameters in DWI on Distortion due to Eddy Current. 第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会; 20190411-14; 横浜.

石川寛延, 清野真也, 樫 勝幸, 高済英彰, 金澤崇史. Separation of Distortions due to EPI and Eddy Current in DWI and Influence of Distortion Components on DWI. 第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会; 20190411-14; 横浜.

高済英彰, 清野真也, 樫 勝幸, 石川寛延, 金澤崇史, 佐藤孝則. Investigation of T1 Mapping by Myocardial Phantom Using Retrospective Motion Correction (MOCO). 第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会; 20190412; 横浜.

角田和也. 福島県内の血管撮影室におけるプロテクター管理に関するアンケート調査. 第 48 回日本インターベンショナルラジオロジー学会総会; 20190530-0601; 福岡.

長澤陽介. 4D-CBCT の基礎検討. 第 42 回福島県放射線治療技術研究会; 20190601; 郡山.

宮岡裕一. 非接触型 X 線出力アナライザー（ピラニア）を用いた画像照合用の線量測定. 第 42 回福島県放射線治療技術研究会; 20190601; 郡山.

角田和也. 当院における肺動脈回転 DR 撮影の画質評価. 第 32 回福島県臨床画像研究会; 20190608; 福島.

宮岡裕一. 非接触型 X 線出力アナライザーを用いた IGRT の被ばく線量評価. 第 9 回 MIYAGI RT LAB; 20190706; 仙台.

角田和也. 炭酸ガス DSA の撮影条件を変更したときの空間散乱線量率と AK 率の術者立位置での比較. 第 28 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会; 20190919-21; 名古屋.

高済英彰, 石井士朗, 及川雅啓, 山國 遼, 清野真也, 樵 勝幸, 石川寛延, 金澤崇史, 阿部郁明, 伊藤 浩. 肥大型心筋症における Native T1 mapping に関する評価. 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会; 20190920; 熊本.

岡 善隆. 製品改良された組織等価型の熱蛍光薄膜体の基礎的応答特性. 第 9 回東北放射線医療技術学術大会; 20191026-27; 仙台.

角田和也. 炭酸ガス DSA における管電圧と視野サイズの違いが術者立ち位置の空間線量率に及ぼす影響. 第 9 回東北放射線医療技術学術大会; 20191026-27; 仙台.

宮岡裕一. 前立腺 IMRT に用いる CBCT の体格指標と撮影線量と前立腺 SD の関係性. 第 9 回東北放射線医療技術学術大会; 20191026-27; 仙台.

矢部重徳. ハイブリッド手術室における手術寝台のヘッドレストの有無に対する CBCT 画像の基礎検討. 第 9 回東北放射線医療技術学術大会; 20191026-27; 仙台.

長澤陽介, 田巻倫明, 伊藤佑輔, 竹原由佳, 海老潤子, 吉本由哉, 佐藤久志, 鈴木義行. 子宮腔内超音波画像と X 線透視画像を用いた 3 次元画像誘導小線源治療法の開発. 第 32 回日本放射線腫瘍学会学術大会; 20191121-23; 名古屋.

岡 善隆. 頭頸部強度変調放射線治療計画における知識ベースアルゴリズムの有用性に関する検討. 日本放射線腫瘍学会第 32 回学術大会; 20191121-23; 名古屋.

過年業績

矢部重徳. 頭部の骨構造描出が少ない画像における位置照合精度の検討. 第 8 回東北放射線医療技術学術大会; 20181103-04; 盛岡.

〔シンポジウム〕

角田和也. Structural Heart Disease における心臓解剖・病態の理解と Hybrid-OR の活用 Amplatzer. 第 1 回東北 IVR 技術研究会; 20190706; 仙台.

長澤陽介. ソフトウェアを用いた MU 独立検証－臨床運用の提示・評価基準の設定方法－. 第 9 回東北放射線医療技術学会大会; 20191026-27; 仙台.

〔その他〕

長澤陽介. QA 結果を経時的・総合的にみる. 第 2 回ふくしま Varian ハンズオンセミナー; 20190525; 福島.

岡 善隆. 放射線治療概論. 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 東北 2 ブロック; 20190721; 山形.

手術部

論 文

〔原 著〕

Obara S, Noji Y, Hasegawa T, Hanayama C, Oishi R, Murakawa M. A patient with intraoperative awareness history requiring high propofol effect-site concentrations for general anesthesia. JA Clinical Reports. 201911; 5(1):71.

Liou JY, Tsou MY, Obara S, Yu L, Ting CK. Plasma concentration based response surface model predict better than effect-site concentration based model for wake-up time during gastrointestinal endoscopy sedation. Journal of the Formosan Medical Association = Taiwan yi zhi. 201901; 118(1 Pt 2):291-298.

大石理江子, 井石雄三, 今泉 剛, 細野敦之, 大橋 智, 箱崎貴大, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 東日本大震災時に施行されていた腹部大動脈分枝再建術の報告. Cardiovascular Anesthesia. 201908; 23(1):89-92.

小原伸樹. 【2019 のシェヘラザードたち】(第 6 夜) ふぁ～まこ KD 外伝 (気道トラブル編). LiSA. 201904; 26(別冊19 春号):33-37.

松塚 崇, 小原伸樹, 武田治美, 戸澤香織, 佐藤美恵子, 鳥羽 衛, 成田 将, 黒澤 伸, 大内一夫. 3 月に総手術数が増え手術延長数も増える 当院手術部におけるオカレンスレポートの後ろ向き解析. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):121-125.

中野裕子, 大石理江子, 花山千恵, 佐藤 薫, 小原伸樹, 村川雅洋. トラムセットによるワルファリンの作用増強をきたした精巣腫瘍化学療法後上肢痛の 1 症例. ペインクリニック. 201909; 40(9):1219-1222.

〔症例報告〕

Obara S, Kakinouchi K, Honda J, Noji Y, Hanayama C, Murakawa M. Dexmedetomidine administration in a patient with status epilepticus under color density spectral array monitoring. JA Clinical Reports. 201902; 5:12.

Collection: 5(1):26.

Obara S, Noji Y, Hasegawa T, Hanayama C, Oishi R, Murakawa M. A patient with intraoperative awareness history requiring high propofol effect-site concentrations for general anesthesia. *JA Clinical Reports*. 201911; 5:71.

Yoshida K, Noji Y, Ebana H, Imaizumi T, Obara S, Murakawa M. Respiratory depression after intraoperative opioid-containing periarticular multimodal drug injection for total hip and total knee arthroplasty. *Journal of Clinical Anesthesia*. 201905; 54:147-148.

Yoshida K, Isosu T, Imaizumi T, Obara S, Murakawa M. Oxygen Reserve Index (ORi™) as an alarm for oxygenation deterioration in pediatric tracheostomoplasty: a case report. *Pediatric Anesthesia*. 201911; 29(11):1151-1153.

Oishi R, Hasegawa M, Hakozaki T, Obara S, Isosu T, Murakawa M. A exatidão da mensuração não invasiva de hemoglobina total em pacientes gravemente enfermos [The accuracy of noninvasive total hemoglobin measurement in critically ill patients]. *Revista Brasileira de Anestesiologia*. 201909; 69(5):527-528.

長谷川真貴子, 小原伸樹, 大石理江子, 今泉 剛, 江花英朗, 村川雅洋. 肺泡タンパク症患者に早期の全肺洗浄で対処できた ECMO 困難症例. *日本臨床麻酔学会誌*. 201911; 39(7):631-635.

佐藤優紀, 箱崎貴大, 高木麻美, 花山千恵, 小原伸樹, 村川雅洋. デクスメデトミジン投与下の末梢神経ブロックによる重症大動脈弁狭窄症患者の人工骨頭置換術の麻酔管理. *臨床麻酔*. 201906; 43(6):896-898.

著 書・訳 書

Obara S, Egan TD. Chapter2 Pharmacokinetic and Pharmacodynamic Principles for Intravenous Anesthetics. In: Hemmings HC Jr, Egan TD, editors. *Pharmacology and Physiology for Anesthesia*, 2nd Edition. Philadelphia, USA: Elsevier; 2019. p.20-43.

Kim KT, Obara S, Johnson BK. Volume 1: 18. Basic Principles of Pharmacology. In: Gropper MA et al. editors. *Miller's Anesthesia*, 9th Edition. Philadelphia, USA: Elsevier; 2019. p.462-486.

小原伸樹. 術中管理目標 4 POCD 予防に鎮痛は比較的深いほうがよい? ～抗炎症作用の観点からも考える必要があるのですね～. In: 国沢卓之 編. 一歩進んだ麻酔管理～常識は常に真実か?～. 東京: 克誠堂出版; 201905. p.10-12.

小原伸樹. 麻酔薬・鎮痛薬・拮抗薬 5 フルマゼニルの効果 ～えっ!! プロポフォールや吸入麻酔まで?～. In: 国沢卓之 編. 一歩進んだ麻酔管理～常識は常に真実か?～. 東京: 克誠堂出版; 201905. p.13-14.

小原伸樹. 27. 全静脈麻酔(TIVA)、鎮静(MAC). In: 山蔭道明, 廣田和美 監修. 最新主要文献とガイドラインでみる 麻酔科学レビュー2019. 東京: 総合医学社; 201905. p.154-158.

研究発表等

〔研究発表〕

Sato Y, Hanayama C, Oishi R, Imaizumi T, Obara S, Murakawa M. Incidence and risk factors for subcutaneous emphysema in general laparoscopic surgery. THE EUROPEAN ANAESTHESIOLOGY CONGRESS 2019; 20190601-03; Vienna, Austria.

Endo C, Imaizumi T, Oishi R, Obara S, Isosu T, Murakawa M. Use of Vasopressin for The Management of Hypotension During Cesarean Section in A Patient with Severe Pulmonary Hypertension. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191020; Orlando, USA.

Obara S, Noji Y, Ebana H, Oishi R, Nakano Y, Murakawa M. Effect of Updating the Sedline(R) Algorithm on the Patient State Index During General Anesthesia. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191021; Orlando, USA.

Oishi R, Obara S, Honda J, Kurosawa S, Imaizumi T, Murakawa M. A Comparison of the Incidence of Hypotension Between Two Phases in Awake Craniotomy. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191022; Orlando, USA.

Hosono A, Hakozaiki T, Obara S, Murakawa M, Kobayashi D, Hazama A. Effects of Prolonged Propofol Administration on The Messenger RNA Transcript Levels of The Cannabinoid Receptor Type 1 In Rat Brain. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191022; Orlando, USA.

野地善恵, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 超高齢者に対する大動脈弁バルーン拡張術治療術直後の緊急対応の経験. 第 31 回日本老年麻酔学会; 20190202; 東京. プログラム・抄録集. 44.

野地善恵, 眞鍋奈緒美, 本田 潤, 井石雄三, 大石理江子, 箱崎貴大, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 収縮性心外膜炎を疑われていた左総腸骨動脈瘤静脈穿破の一例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. プログラム. 163.

三部徳恵, 江花英朗, 箱崎貴大, 五十洲剛, 黒澤 伸, 村川雅洋, 小原伸樹, 井石雄三, 本田 潤, 細野敦之. 気道管理に難渋した再発性多発軟骨炎による気管気管支軟化症の 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190302; 京都. プログラム. 174.

小原伸樹, 大石理江子, 五十洲剛, 村川雅洋. SedLine®のアルゴリズム改善が全身麻酔患者の Patient State Index に与える影響の検証. 第 23 回日本神経麻酔集中治療学会; 20190316; 奈良. 抄録集. 175.

大石理江子, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 覚醒下頭蓋内腫瘍摘出術における血圧低下の発生頻度. 第 23 回日本神経麻酔集中治療学会; 20190316; 奈良. 抄録集. 178.

大石理江子, 箱崎貴大, 三部徳恵, 小原伸樹, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川雅洋. 上肢の閉塞性動脈硬化症に対し胸鎖乳突筋深部の fascia リリースで血流増加を図った一例. 日本区域麻酔学会第 6 回学術集会; 20190419; 高知. プログラム・抄録集. 242.

箱崎貴大, 野地善恵, 大石理江子, 小原伸樹, 黒澤 伸, 村川雅洋. 開胸術後縦隔炎に対する持続洗浄中の鎮痛として、Retrolaminar block を行った 1 例. 日本区域麻酔学会第 6 回学術集会; 20190420; 高知. プログラム・抄録集. 264.

大石理江子, 本田 潤, 井石雄三, 中野裕子, 小原伸樹, 村川雅洋. 全身麻酔導入時の血圧低下に影響する因子についての検討. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190531; 神戸. 麻酔. 68(増刊):60.

桑名圭祐, 小原伸樹, 田中詩織, 佐藤優紀, 箱崎貴大, 村川雅洋. ファイバースコープ下気管挿管施行時にサヌキエアウェイを使用した 3 例. 第 16 回麻酔科学サマーセミナー; 20190629; 沖縄. プログラム・抄録集. 39.

長谷川貴之, 小原伸樹, 城田さつき, 本田 潤, 大石理江子, 村川雅洋. 気管支鏡挿入で気管狭窄を拡張し、換気困難を改善させた巨大縦隔腫瘍の一例. 日本集中治療医学会第 3 回東北支部学術集会; 20190706; 秋田. プログラム・抄録集. 46.

時村聡子, 小原伸樹, 佐藤優紀, 細野敦之, 箱崎貴大, 村川雅洋. 腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術後に高度肝機能障害を認めた一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 48.

垣野内航, 三部徳恵, 桑名圭祐, 佐藤優紀, 花山千恵, 今泉 剛, 小原伸樹, 黒澤 伸. SLE に続発した肺高血圧症を呈する脳腫瘍患者の MRI 併用開頭腫瘍摘出術の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会; 20191108; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S274.

野地善恵, 今泉 剛, 小原伸樹, 五十洲剛, 黒澤 伸, 村川雅洋. 気道確保困難が予想された甲状腺腫瘍摘出術に際し、全身麻酔導入前に VV-ECMO を施行した一例. 日本蘇生学会第 38 回大会; 20191115; 長崎. 日本蘇生学会雑誌. 38(3):183.

小原伸樹. 企業共催セミナー 明日につながる PK/PD. 第 26 回日本静脈麻酔学会; 20191123; 東京.

田中彩織, 小原伸樹, 今泉 剛, 大石理江子, 五十洲剛, 村川雅洋. 術中覚醒の既往のある患者における全身麻酔の一例. 第 26 回日本静脈麻酔学会; 20191123; 東京.

〔シンポジウム〕

小原伸樹. シンポジウム 2 「実用化したいテクノロジー」麻酔・集中治療とマンマシンインターフェイス. 第 37 回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会; 20191130; 大阪. プログラム・抄録集. 22.

〔招待講演〕

小原伸樹. 薬物動態のいろは. 第 19 回麻酔科学ウィンターセミナー; 20190201; 富良野. プログラム抄録集. 26.

〔その他〕

小原伸樹. 第 12 回周術期管理チームセミナー 3.薬の効く仕組み. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190601; 神戸. 麻酔. 68(増刊):27.

小原伸樹. 共催セミナー Perseus A500 新ソフトウェアを用いた術中肺リクルートメントの症例報告 特殊な状況下における術中肺リクルートメントの臨床経験～肥満患者・腹腔鏡手術・分離肺換気～. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190531; 神戸. 麻酔. 68(増刊):147.

小原伸樹. バトルオンセミナー 新時代の麻酔コクピット 麻酔科医のワークフローに留意した生体情報モニタの設計. 第 16 回麻酔科学サマーセミナー; 20190629; 沖縄. プログラム・抄録集. 25.

小原伸樹. 周術期管理チームセミナー 手術室の効率的な運用. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会; 20190907; 東京.

小原伸樹. 周術期管理チームセミナー 手術室の効率的な運用. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集会; 20190914; 仙台.

集中治療部

論文

〔原著〕

Obara S, Noji Y, Hasegawa T, Hanayama C, Oishi R, Murakawa M. A patient with intraoperative awareness history requiring high propofol effect-site concentrations for general anesthesia. JA Clinical Reports. 201911; 5(1):71.

Liou JY, Tsou MY, Obara S, Yu L, Ting CK. Plasma concentration based response surface model predict better than effect-site concentration based model for wake-up time during gastrointestinal endoscopy sedation. Journal of the Formosan Medical Association = Taiwan yi zhi. 201901; 118(1 Pt 2):291-298.

大石理江子, 井石雄三, 今泉 剛, 細野敦之, 大橋 智, 箱崎貴大, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 東日本大震災時に施行されていた腹部大動脈分枝再建術の報告. Cardiovascular Anesthesia. 201908; 23(1):89-92.

小原伸樹. 【2019 のシェヘラザードたち】(第 6 夜) ふぁ～まこ KD 外伝(気道トラブル編). LiSA. 201904; 26(別冊19 春号):33-37.

松塚 崇, 小原伸樹, 武田治美, 戸澤香織, 佐藤美恵子, 鳥羽 衛, 成田 将, 黒澤 伸, 大内一夫. 3 月に総手術数が増え手術延長数も増える 当院手術部におけるオカレンスレポートの後ろ向き解析. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):121-125.

中野裕子, 大石理江子, 花山千恵, 佐藤 薫, 小原伸樹, 村川雅洋. ترامセットによるワルファリンの作用増強をきたした精巣腫瘍化学療法後上肢痛の 1 症例. ペインクリニック. 201909; 40(9):1219-1222.

島津勇三, 細野敦之, 大槻理恵, 服部尚士, 小西晃生, 菅 桂一. 長時間の腹腔鏡下直腸切断術後に肺水腫を来した2症例. 麻酔. 201901; 68(1):66-69.

Miho E, Iwai-Takano M, Saitoh H, Watanabe T. Acute and chronic effects of mokubito in a patient with heart failure due to severe aortic regurgitation. Fukushima Journal of Medical Science. 201908; 65(2):61-67.

〔症例報告〕

Obara S, Kakinouchi K, Honda J, Noji Y, Hanayama C, Murakawa M. Dexmedetomidine administration in a patient with status epilepticus under color density spectral array monitoring. JA Clinical Reports. 201902; 5:12. Collection: 5(1):26.

Obara S, Noji Y, Hasegawa T, Hanayama C, Oishi R, Murakawa M. A patient with intraoperative awareness history requiring high propofol effect-site concentrations for general anesthesia. JA Clinical Reports. 201911; 5:71.

Yoshida K, Noji Y, Ebana H, Imaizumi T, Obara S, Murakawa M. Respiratory depression after intraoperative opioid-containing periarticular multimodal drug injection for total hip and total knee arthroplasty. Journal of Clinical Anesthesia. 201905; 54:147-148.

Yoshida K, Isosu T, Imaizumi T, Obara S, Murakawa M. Oxygen Reserve Index (ORi™) as an alarm for oxygenation deterioration in pediatric tracheostomoplasty: a case report. Pediatric Anesthesia. 201911; 29(11):1151-1153.

Oishi R, Hasegawa M, Hakozaki T, Obara S, Isosu T, Murakawa M. A exatidão da mensuração não invasiva de hemoglobina total em pacientes gravemente enfermos [The accuracy of noninvasive total hemoglobin measurement in critically ill patients]. Revista Brasileira de Anestesiologia. 201909; 69(5):527-528.

長谷川真貴子, 小原伸樹, 大石理江子, 今泉 剛, 江花英朗, 村川雅洋. 肺胞タンパク症患者に早期の全肺洗浄で対処できた ECMO 困難症例. 日本臨床麻酔学会誌. 201911; 39(7):631-635.

佐藤優紀, 箱崎貴大, 高木麻美, 花山千恵, 小原伸樹, 村川雅洋. デクスメドミジン投与下の末梢神経ブロックによる重症大動脈弁狭窄症患者の人工骨頭置換術の麻酔管理. 臨床麻酔. 201906; 43(6):896-898.

著 書・訳 書

Obara S, Egan TD. Chapter2 Pharmacokinetic and Pharmacodynamic Principles for Intravenous Anesthetics. In: Hemmings HC Jr, Egan TD, editors. Pharmacology and Physiology for Anesthesia, 2nd Edition. Philadelphia, USA: Elsevier; 2019. p.20-43.

Kim KT, Obara S, Johnson BK. Volume 1: 18. Basic Principles of Pharmacology. In: Gropper MA et al. editors. Miller's Anesthesia, 9th Edition. Philadelphia, USA: Elsevier; 2019. p.462-486.

小原伸樹. 術中管理目標 4 POCD 予防に鎮痛は比較的深いほうがよい? ～抗炎症作用の観点からも考える必要があるのですね～. In: 国沢卓之 編. 一歩進んだ麻酔管理～常識は常に真実か?～. 東京: 克誠堂出版; 201905. p.10-12.

小原伸樹. 麻酔薬・鎮痛薬・拮抗薬 5 フルマゼニルの効果 ～えっ!!プロポフォールや吸入麻酔まで?～. In: 国沢卓之 編. 一歩進んだ麻酔管理～常識は常に真実か?～. 東京: 克誠堂出版; 201905. p.13-14.

小原伸樹. 27. 全静脈麻酔(TIVA)、鎮静(MAC). In: 山蔭道明, 廣田和美 監修. 最新主要文献とガイドラインでみる麻酔科学レビュー2019. 東京: 総合医学社; 201905. p.154-158.

研究発表等

〔研究発表〕

Sato Y, Hanayama C, Oishi R, Imaizumi T, Obara S, Murakawa M. Incidence and risk factors for subcutaneous emphysema in general laparoscopic surgery. THE EUROPEAN ANAESTHESIOLOGY CONGRESS 2019; 20190601-03; Vienna, Austria.

Endo C, Imaizumi T, Oishi R, Obara S, Isosu T, Murakawa M. Use of Vasopressin for The Management of Hypotension During Cesarean Section in A Patient with Severe Pulmonary Hypertension. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191020; Orlando, USA.

Obara S, Noji Y, Ebana H, Oishi R, Nakano Y, Murakawa M. Effect of Updating the Sedline(R) Algorithm on the Patient State Index During General Anesthesia. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191021; Orlando, USA.

Oishi R, Obara S, Honda J, Kurosawa S, Imaizumi T, Murakawa M. A Comparison of the Incidence of Hypotension Between Two Phases in Awake Craniotomy. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191022; Orlando, USA.

Hosono A, Hakozaki T, Obara S, Murakawa M, Kobayashi D, Hazama A. Effects of Prolonged Propofol Administration on The Messenger RNA Transcript Levels of The Cannabinoid Receptor Type 1 In Rat Brain. 2019 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists; 20191022; Orlando, USA.

野地善恵, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 超高齢者に対する大動脈弁ノバルーン拡張術治療術直後の緊急対応の経験. 第31回日本老年麻酔学会; 20190202; 東京. プログラム・抄録集. 44.

野地善恵, 眞鍋奈緒美, 本田 潤, 井石雄三, 大石理江子, 箱崎貴大, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 収縮性心外膜炎を疑われていた左総腸胃動脈瘤静脈穿破の一例. 第46回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. プログラム. 163.

三部徳恵, 江花英朗, 箱崎貴大, 五十洲剛, 黒澤 伸, 村川雅洋, 小原伸樹, 井石雄三, 本田 潤, 細野敦之. 気道管理に難渋した再発性多発軟骨炎による気管気管支軟化症の1例. 第46回日本集中治療医学会学術集会; 20190302; 京都. プログラム. 174.

小原伸樹, 大石理江子, 五十洲剛, 村川雅洋. SedLine®のアルゴリズム改善が全身麻酔患者の Patient State Index に与える影響の検証. 第 23 回日本神経麻酔集中治療学会; 20190316; 奈良. 抄録集. 175.

大石理江子, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋. 覚醒下頭蓋内腫瘍摘出術における血圧低下の発生頻度. 第 23 回日本神経麻酔集中治療学会; 20190316; 奈良. 抄録集. 178.

中野裕子, 大石理江子, 三部徳恵, 佐藤 薫, 五十洲剛, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川雅洋. 神経根症状に対しプレガバリンが有用であった結核性脊椎炎の一例. 第 43 回東北ペインクリニック学会; 20190321; 岩手.

五十洲剛, 村川雅洋, 今泉 剛, 野地善恵, 本田 潤, 江花英朗. 小児症例に対する Oxygen Reserve Index(ORi™)のモニタリング. 第 30 回日本臨床モニター学会総会; 20190412; 木更津. 臨床モニター. 30(Supplement):49.

大石理江子, 箱崎貴大, 三部徳恵, 小原伸樹, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川雅洋. 上肢の閉塞性動脈硬化症に対し胸鎖乳突筋深部の fascia リリースで血流増加を図った一例. 日本区域麻酔学会第 6 回学術集会; 20190419; 高知. プログラム・抄録集. 242.

箱崎貴大, 野地善恵, 大石理江子, 小原伸樹, 黒澤 伸, 村川雅洋. 開胸術後縦隔炎に対する持続洗浄中の鎮痛として, Retrolaminar block を行った 1 例. 日本区域麻酔学会第 6 回学術集会; 20190420; 高知. プログラム・抄録集. 264.

大石理江子, 本田 潤, 井石雄三, 中野裕子, 小原伸樹, 村川雅洋. 全身麻酔導入時の血圧低下に影響する因子についての検討. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190531; 神戸. 麻酔. 68(増刊):60.

江花英朗, 長谷川貴之, 田中詩織, 野地善恵, 細野敦之, 黒澤 伸. 特発性脊柱側弯症患者における術後悪心・嘔吐発生の寄与因子についての検討. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190530; 神戸. 麻酔. 68(増刊):120.

桑名圭祐, 小原伸樹, 田中詩織, 佐藤優紀, 箱崎貴大, 村川雅洋. ファイバースコープ下気管挿管施行時にサヌキエアウェイを使用した 3 例. 第 16 回麻酔科学サマーセミナー; 20190629; 沖縄. プログラム・抄録集. 39.

長谷川貴之, 小原伸樹, 城田さつき, 本田 潤, 大石理江子, 村川雅洋. 気管支鏡挿入で気管狭窄を拡張し、換気困難を改善させた巨大縦隔腫瘍の一例. 日本集中治療医学会第 3 回東北支部学術集会; 20190706; 秋田. プログラム・抄録集. 46.

眞鍋奈緒美, 箱崎貴大, 細野敦之, 今泉 剛, 井石雄三, 五十洲剛. ニボルマブ投与により重症筋無力症を発症したが免疫療法により救命できた一症例. 日本集中治療医学会第 3 回東北支部学術集会; 20190706; 秋田. プログラム・抄録集. 50.

遠藤千麻, 大石理江子, 中野裕子, 星野 一, 三部徳恵, 佐藤 薫, 五十洲剛, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川雅洋. 特発性前骨間神経麻痺の 1 例. 日本ペインクリニック学会第 53 回大会; 20190719; 熊本. 日本ペインクリニック学会誌. 26(3):221.

今泉 剛, 桑名圭祐, 江花英朗, 三部徳恵, 五十洲剛, 村川雅洋. 成人アイゼンメンゲル症候群患者に対する

全身麻酔経験. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第9回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 38.

薬師寺たつみ, 井石雄三, 垣野内航, 田中彩織, 野地善恵, 黒澤 伸. BMI46の高度肥満患者に対する脳下垂体手術の麻酔経験. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第9回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 47.

時村聡子, 小原伸樹, 佐藤優紀, 細野敦之, 箱崎貴大, 村川雅洋. 腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術後に高度肝機能障害を認めた一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第9回学術集会; 20190914; 仙台. プログラム. 48.

三部徳恵, 薬師寺たつみ, 佐藤優紀, 遠藤千麻, 黒澤 伸, 村川雅洋. 脊柱起立筋面ブロックの鎮痛効果が実感できた腹部手術3例. 日本臨床麻酔学会第39回大会; 20191108; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S257.

垣野内航, 三部徳恵, 桑名圭祐, 佐藤優紀, 花山千恵, 今泉 剛, 小原伸樹, 黒澤 伸. SLEに続発した肺高血圧症を呈する脳腫瘍患者のMRI 併用開頭腫瘍摘出術の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会第39回大会; 20191108; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S274.

平田日向子, 江花英朗, 薬師寺たつみ, 遠藤千麻, 井石雄三, 中野裕子, 佐藤 薫, 村川雅洋. 胸郭運動と呼吸音の左右差のため、初期段階での鑑別に苦慮したアナフィラキシーショックの一例. 日本臨床麻酔学会第39回大会; 20191107; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S309.

細野敦之, 時村聡子, 田中彩織, 野地善恵, 大石理江子, 箱崎貴大, 五十洲剛. 先天性心疾患の麻酔導入時に誤嚥による窒息を生じた一例. 日本臨床麻酔学会第39回大会; 20191107; 軽井沢. 日本臨床麻酔学会誌. 39(6):S309.

野地善恵, 今泉 剛, 小原伸樹, 五十洲剛, 黒澤 伸, 村川雅洋. 気道確保困難が予想された甲状腺腫摘出術に際し、全身麻酔導入前にVV-ECMOを施行した一例. 日本蘇生学会第38回大会; 20191115; 長崎. 日本蘇生学会雑誌. 38(3):183.

小原伸樹. 企業共催セミナー 明日につながるPK/PD. 第26回日本静脈麻酔学会; 20191123; 東京.

田中彩織, 小原伸樹, 今泉 剛, 大石理江子, 五十洲剛, 村川雅洋. 術中覚醒の既往のある患者における全身麻酔の一例. 第26回日本静脈麻酔学会; 20191123; 東京.

Fujiwara R, Iwai-Takano M, Ohte N. Right and Left Ventricular Dysfunction Relates with Clinical Severity in Patients with Parkinson Disease. 30th Annual ASE Scientific Sessions; 20190621-25; Potland, USA.

Watanabe T, Iwai-Takano M. CH2PEF Score as Modified H2FPEF Score Discriminate High Left Atrial Pressure in Japanese Patients with HFpEF and Sinus Rhythm. 30th Annual ASE Scientific Sessions; 20190621-25; Potland, USA.

Kanazawa K, Iwai-Takano M, Kimura S, Saito Y, Fukatsu M, Kanbayashi H, Ohira T. Blood Concentration of Tacrolimus and Age is Associated with Tacrolimus-Induced Cardiomyopathy after Bone Marrow Transplantation. 第83回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Iwai-Takano M, Takano T, Fujimiya T, Takase S, Yokoyama H. Left Ventricular Mass Index Predicts

Cardiovascular Events in Patients with aortic aneurysm undergoing Endovascular Aortic Repair. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Iwai-Takano M, Fujimiya T, Takase S, Yokoyama H. Reverse Flow into Left Ventricle via Aortic Valve in Late Systole after Endovascular Aortic Repair in Patients with Aortic Aneurysm. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

Fujimiya T, Iwai-Takano M, Igarashi T, Shinjo H, Ishida K, Takase S, Yokoyama H. Late Gadolinium Enhancement Predicts Improvement of Systolic Function after Aortic Valve Replacement in Patients with Severe Aortic Stenosis. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

齋藤寛美, 高野真澄, 渡部朋幸. 洞不全症候群で発症し、成人期～老年期まで心不全症状を呈さない左室緻密化障害の親子例. 第 83 回日本循環器学会学術集会; 20190329-31; 横浜.

金澤晃子, 高野真澄, 石田悟朗, 神山美之, 小松宣夫, 武田寛人, 木村 悟, 神林裕行, 大平哲也. 成人骨髄幹細胞移植後患者におけるタクロリムス血中濃度とタクロリムス誘発性心筋症の関連について. 第 30 回日本心エコー図学会学術集会; 20190510-12; 松本.

高田佳奈, 小室和子, 須藤詩乃, 小松真司, 金内あかね, 金澤晃子, 高野真澄. 急性心膜炎にて発症し、経時的に瘤拡大を来した感染性巨大右冠動脈瘤の 1 例. 第 30 回日本心エコー図学会学術集会; 20190510-12; 松本.

高野真澄, 金澤晃子, 高橋皇基, 丹治雅博. 僧帽弁形成術後における心房性僧帽弁逆流の再発は、左室後壁の内方への bending と僧帽弁後尖の tethering に関連する. 第 30 回日本心エコー図学会学術集会; 20190510-12; 松本.

高野真澄, 藤宮 剛, 石田圭一, 高瀬信弥, 横山 斉. 大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術後患者において、収縮後期に大動脈から左心への逆流血流が存在する. 第 30 回日本心エコー図学会学術集会; 20190510-12; 松本.

丹治麻衣子, 小室和子, 須藤詩乃, 高田佳奈, 金内あかね, 金澤晃子, 高野真澄. 軽度左室壁肥厚を伴う進行性心不全例において野生型 ATTR アミロイドーシスと診断した 1 例. 第 30 回日本心エコー図学会学術集会; 20190510-12; 松本.

渡部朋幸, 高野真澄. H2FPEF スコアは HFpEF 患者の左室充満圧上昇を判別できる. 第 30 回日本心エコー図学会学術集会; 20190510-12; 松本.

藤原理佐子, 高野真澄, 渡邊博之, 大手信之. Alzheimer 病患者において左室拡張障害が存在する. 第 30 回日本心エコー図学会学術集会; 20190510-12; 松本.

藤原理佐子, 高野真澄, 渡邊博之, 大手信之. アルツハイマー病患者において左室機能障害が存在する. 日本超音波医学会第 92 回学術集会; 20190524; 東京.

金澤晃子, 高野真澄, 石田悟朗, 神山美之, 小松宣夫, 武田寛人, 高野智弘, 高橋皇基, 丹治雅博, 大平哲也. 軽度二次性三尖弁逆流は弁輪拡大を伴わない場合においても遠隔期に増悪する. 日本超音波医学会第 92 回学術集会; 20190525; 東京.

金澤晃子, 高野真澄, 石田悟朗, 神山美之, 小松宣夫, 武田寛人, 木村 悟, 大平哲也. 骨髓幹細胞移植後 Tacrolimus 誘発性心筋症発症に Tacrolimus 血中濃度と年齢が関与する. 日本超音波医学会第 92 回学術集会; 20190525; 東京.

高野真澄, 藤宮 剛, 石田圭一, 高野智弘, 高瀬信弥, 横山 齊. 大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術が心血行動態に及ぼす影響. 日本超音波医学会第 92 回学術集会; 20190525; 東京.

渡部朋幸, 高野真澄. H₂FPEF スコアは HFpEF 患者の左室充満圧上昇を判別できる. 日本超音波医学会第 92 回学術集会; 20190526; 東京.

〔シンポジウム〕

五十洲剛. 大胆予測 : 2020 年、気道管理はこう変わる ! Oxygen reserve index を用いた酸素化の工夫. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190530; 神戸. 麻酔. 68(増刊):64.

小原伸樹. シンポジウム 2 「実用化したいテクノロジー」 麻酔・集中治療とマンマシンインターフェイス. 第 37 回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会; 20191130; 大阪. プログラム・抄録集. 22.

〔招待講演〕

小原伸樹. 薬物動態のいろは. 第 19 回麻酔科学ウィンターセミナー; 20190201; 富良野. プログラム抄録集. 26.

高野真澄. 大動脈弁狭窄症の手術適応を考える. 6th 九州心臓弁膜症カンファレンス; 20190518; 長崎.

〔その他〕

小原伸樹. 第 12 回周術期管理チームセミナー 3. 薬の効く仕組み. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190601; 神戸. 麻酔. 68(増刊):27.

箱崎貴大. PBLD 大災害時の手術室危機管理. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190531; 神戸. 麻酔. 68(増刊):106.

小原伸樹. 共催セミナー Perseus A500 新ソフトウェアを用いた術中肺リクルートメントの症例報告 特殊な状況下における術中肺リクルートメントの臨床経験～肥満患者・腹腔鏡手術・分離肺換気～. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会; 20190531; 神戸. 麻酔. 68(増刊):147.

小原伸樹. バトルオンセミナー 新時代の麻酔コクピット 麻酔科医のワークフローに留意した生体情報モニタの設計. 第 16 回麻酔科学サマーセミナー; 20190629; 沖縄. プログラム・抄録集. 25.

小原伸樹. 周術期管理チームセミナー 手術室の効率的な運用. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 59 回合同学術集会; 20190907; 東京.

小原伸樹. 周術期管理チームセミナー 手術室の効率的な運用. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 9 回学術集

総合周産期母子医療センター

論 文

〔原 著〕

Yamaguchi A, Kyojuka H, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Yokoyama T, Sato A, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study Group. Risk of preterm birth, low birthweight and small-for-gestational-age infants in pregnancies with adenomyosis: A cohort study of the Japan Environment and Children's Study. *Acta Obstetrica et Gynecologica Scandinavica*. 201903; 98(3):359-364.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Kashiwabara N, Ogasawara K, Chishiki M, Miyazaki K, Sato K, Sato M, Kawasaki Y, Momoi N, Hosoya M. Perinatal Factors Affecting Coagulation Parameters at Birth in Preterm and Term Neonates: A Retrospective Cohort Study. *American Journal of Perinatology*. 201912; 36(14):1464-1470.

Maeda R, Kawasaki Y, Kume Y, Go H, Suyama K, Hosoya M. Involvement of high mobility group box 1 in the pathogenesis of severe hemolytic uremic syndrome in a murine model. *American Journal of Physiology. Renal Physiology*. 201912; 317(6):F1420-F1429.

Kyojuka H, Yamaguchi A, Suzuki D, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Yokoyama T, Sato A, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Risk factors for placenta accreta spectrum: findings from the Japan environment and Children's study. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 201911; 19(1):447.

Yaginuma K, Watanabe M, Miyazaki K, Ono A, Murai H, Nodera M, Suzuki Y, Suyama K, Kawasaki Y, Hosoya M. Haloperidol-Induced Dystonia due to Sedation for Upper Gastrointestinal Endoscopy: A Pediatric Case Report. *Case Reports in Emergency Medicine*. 201903; 2019:3591258.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Hiraiwa T, Yamaguchi A, Fujimori K. Incisional pyoderma gangrenosum after caesarean section: Two case reports. *Case Reports in Women's Health*. 201907; 23:e00128.

Kyojuka H, Murata T, Sato T, Suzuki S, Yamaguchi A, Fujimori K. Utility of cervical length and quantitative fetal fibronectin for predicting spontaneous preterm delivery among symptomatic nulliparous women. *International Journal of Gynaecology and Obstetrics*. 201906; 145(3):331-336.

Miyazaki K, Hashimoto K, Suyama K, Sato M, Abe Y, Watanabe M, Kanno S, Maeda H, Kawasaki Y, Hosoya M. Maintaining Concentration of Ribavirin in Cerebrospinal Fluid by a New Dosage Method: 3 Cases of Subacute Sclerosing Panencephalitis Treated Using a Subcutaneous Continuous Infusion Pump. *Pediatric Infectious Disease Journal*. 201905; 38(5):496-499.

Suzuki Y, Hashimoto K, Hoshi K, Ito H, Kariya Y, Miyazaki K, Sato M, Kawasaki Y, Yoshida M, Honda T, Hashimoto Y, Hosoya M. Ratio of Alpha 2-Macroglobulin Levels in Cerebrospinal Fluid and Serum: An Expression of Neuroinflammation in Acute Disseminated Encephalomyelitis. *Pediatric Neurology*. 201909; 98:61-67.

Ogasawara K, Honda Y, Maeda H, Sato M, Nakano H, Hosoya M. Corticosteroid Therapy in Neonatal Incontinentia Pigmenti With Asymptomatic Cerebral Lesions. *Pediatric Neurology*. 201910; 99:85-87.

Kawasaki Y, Suyama K, Go H, Hosoya M. Clinical manifestations of respiratory syncytial virus-associated encephalopathy in Fukushima, Japan. *Pediatrics International*. 201908; 61(8):802-806.

Goto Y, Takiguchi K, Shimizu H, Go H, Tanaka H. Congenital perianal lipoma: a case report and review of the literature. *Surgical Case Reports*. 201910; 16(5):199.

Soeda S, Kyojuka H, Kato A, Fukuda T, Isogami H, Wada M, Murata T, Hiraiwa T, Yasuda S, Suzuki D, Yamaguchi A, Hasegawa O, Nomura Y, Jimbo M, Takahashi T, Watanabe T, Mizunuma H, Fujimori K. Establishing a Treatment Algorithm for Puerperal Genital Hematoma Based on the Clinical Findings. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201910; 249(2):135-142.

山口明子, 水沼英樹. ホルモン Q&A 自律神経失調症の既往と GnRH アゴニストの副作用の関係を教えてください. *HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY*. 201912; 26(4):316-317.

増山 郁, 佐藤真紀, 氏家二郎. NICU 卒業生交流キャンプ『すくすくキャンプ』5 年間の活動報告. *日本新生児成育医学会雑誌*. 201902; 31(1):57-60.

〔症例報告〕

渡邊涼介, 知識美奈, 佐藤賢一, 柏原祥曜, 宮崎恭平, 清水裕美, 小笠原啓, 郷 勇人, 佐藤真紀, 桃井伸緒. 胎児母体間輸血症候群を契機に胎盤内絨毛癌の診断に至った 1 女児例. *日本産婦人科・新生児血液学会誌*. 201905; 29(1):29-30.

病理部

研究発表等

〔研究発表〕

村越政仁, 菅野寿也, 山谷幸恵, 赤城美代子, 山田匠希, 村上美美, 鈴木エリ奈, 喜古雄一郎, 鈴木 理, 橋本優子. 胎児胸水細胞診で一過性骨髄造血異常症(TAM)が疑われた一例. 第 39 回福島県臨床細胞学会; 20190929; 郡山.

〔その他〕

濱屋美樹子. 臨床検査の品質と精度管理 病理検査部門での取り組み. 第51回福島医学検査学会; 20190601; 郡山.

内視鏡診療部

論 文

〔原 著〕

Kikuchi H, Hikichi T, Watanabe K, Nakamura J, Hashimoto M, Kato T, Obara K, Ohira H. Effectiveness of L-menthol spray application on lesions for the endoscopic clarification of early gastric cancer: Evaluation by the color difference. *Digestion*. 2019; 10:1-9.

Suzuki H, Takizawa K, Hirasawa T, Takeuchi Y, Ishido K, Hoteya S, Yano T, Tanaka S, Endo M, Nakagawa M, Toyonaga T, Doyama H, Hirasawa K, Matsuda M, Yamamoto H, Fujishiro M, Hashimoto S, Maeda Y, Oyama T, Takenaka R, Yamamoto Y, Naito Y, Michida T, Kobayashi N, Kawahara Y, Hirano M, Jin M, Hori S, Niwa Y, Hikichi T, Shimazu T, Ono H, Tanabe S, Kondo H, Iishi H, Ninomiya M, Oda I; J-WEB/EGC Group. Short-term outcomes of multicenter prospective cohort study of gastric endoscopic resection: 'Real-world evidence' in Japan. *Digestive Endoscopy*. 2019; 31(1):30-39.

Bechara R, Woo M, Hookey L, Chung W, Grimes K, Ikeda H, Onimaru M, Sumi K, Nakamura J, Hata Y, Maruyama S, Gomi K, Shimamura Y, Inoue H. Peroral endoscopic myotomy (POEM) for complex achalasia and the POEM difficulty score. *Digestive Endoscopy*. 2019; 31(2):148-155.

Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M. Circumferential esophageal carcinoma with a localized muscle layer defect that caused perforation during endoscopic submucosal dissection. *Digestive Endoscopy*. 2019; 31(6):e113-e114.

Kato M, Uedo N, Nagahama T, Yao K, Doyama H, Tsuji S, Gotoda T, Kawamura T, Ebi M, Yamamoto K, Akasaka T, Takatori H, Handa O, Akamatsu T, Nishikawa J, Hikichi T, Yamashina T, Imoto A, Kitamura Y, Mikami T, Koike T, Ohara S, Kitamura S, Yamaguchi T, Kinjo T, Inoue T, Suzuki S, Kaneko A, Hirasawa K, Tanaka K, Kotachi T, Miwa K, Toya Y, Kayaba S, Ikehata A, Minami S, Mizukami K, Oya H, Ara N, Fukumoto Y, Komura T, Yoshio T, Morizono R, Yamazaki K, Shimodate Y, Yamanouchi K, Kawata N, Kumagai M, Sato Y, Umeki K, Kawai D, Tanuma T, Kishino M, Konishi J, Sumiyoshi T, Oka S, Kono M, Sakamoto T, Horikawa Y, Ohyauchi M, Hashiguchi K, Waseda Y, Kasai T, Aoyagi H, Oyamada H, Shoji M, Kiyotoki S, Asonuma S, Orikasa S, Akaishi C, Nagami Y, Nakata S, Iida F, Nomura T, Tominaga K, Oka K, Morita Y, Suzuki H, Ozeki K, Kuribayashi S, Akazawa Y, Sasaki S, Mikami T, Miki G, Sano T, Satoh H, Nakamura M, Iwai W, Tawa H, Wada M, Yoshimura D, Hisanaga Y, Shimokawa T, Ishikawa H. Self-study of

the non-extension sign in an e-learning program improves diagnostic accuracy of invasion depth of early gastric cancer. *Endoscopy International Open*. 2019; 7(7):E871-E882.

Watanabe K, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Kikuchi H, Konno N, Takasumi M, Sato Y, Irie H, Obara K, Ohira H. Clinical outcomes and adverse events of endoscopic submucosal dissection for gastric tube cancer after esophagectomy. *Gastroenterology Research and Practice*. 2019; 2019:2836860.

Matsumoto Y, Kaneshiro T, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Yoshihisa A, Ohkawara H, Hikichi T, Suzuki H, Takeishi Y. Predicting factors of transmural thermal injury after cryoballoon pulmonary vein isolation. *Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology*. 2019; 54(2):101-108.

Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Takasumi M, Hikichi T, Ohira H. Non-specific elevation of serum Mac-2 binding protein glycosylation isomer levels in patients with biliary disease. *Molecular and Clinical Oncology*. 2019; 10(1):168-172.

Suzuki R, Takagi T, Hikichi T, Sugimoto M, Konno N, Asama H, Watanabe K, Nakamura J, Marubashi S, Ohira H. An observation study of the prognostic effect of waiting times in the management of pancreatic ductal adenocarcinoma. *Oncology Letters*. 2019; 17(1):587-593.

Takagi T, Sugimoto M, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Hikichi T, Ohira H. Appropriate number of biliary biopsies and endoscopic retrograde cholangiopancreatography sessions for diagnosing biliary tract cancer. *World Journal of Gastrointestinal Endoscopy*. 2019; 11(3):231-238.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Hikichi T, Ohira H. Present state of endoscopic ultrasonography-guided fine needle aspiration for the diagnosis of autoimmune pancreatitis type 1. *World Journal of Meta-Analysis*. 2019; 7:218-223.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Hikichi T, Ohira H. Pancreatic stents to prevent post-endoscopic retrograde cholangiopancreatography pancreatitis: A meta-analysis. *World Journal of Meta-Analysis*. 2019; 7:249-258.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Hikichi T, Ohira H. Prevention of post-endoscopic retrograde cholangiopancreatography pancreatitis using pancreatic stents: A review of efficacy, diameter and length. *World Journal of Meta-Analysis*. 2019; 7:259-268.

川名 聡, 橋本 陽, 持丸友昭, 加藤恒孝, 菊田佳子, 大平俊一郎, 石幡良一, 内海康文. 胃底腺型胃癌の1例. *大原記念財団年報*. 2019; 56:21-29.

〔総説等〕

渡辺 晃, 引地拓人. 胃管癌に対する ESD の工夫. 消化器の臨床. 2019; 22(3):244-248.

引地拓人. 画像診断道場 実はこうだった「胃の潰瘍を呈する粘膜下腫瘍, これ何?」. 日本医事新報. 2019; 4948:1-2.

引地拓人. 画像診断道場 実はこうだった「この食道潰瘍の診断は?」. 日本医事新報. 2019; 4955:1-2.

引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽. 化学放射線療法あるいは放射線療法後の局所遺残再発食道癌に対する光線力学的療法(PDT)の実例. 光アライアンス. 2019; 30:10-14.

〔症例報告〕

Watahiki Y, Hikichi T, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Hashimoto M, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Sato Y, Irie H, Ohira H. A case of inflammatory fibroid polyp of the stomach with an “Erect penis like appearance” successfully removed by endoscopic submucosal dissection. Clinical Journal of Gastroenterology. 2019; 12(3):279-284.

Kawashima K, Fujiwara T, Katakura K, Gunji N, Yokokawa A, Sakamoto A, Hikichi T, Kono K, Ohira H. Anisakiasis in the small intestine with excessive bleeding that was difficult to diagnose endoscopically. Internal Medicine. 2019; 58:63-66.

〔その他〕

引地拓人, 橋本 陽, 中村 純, 小野尚子, 小原勝敏. 最前線の消化器内視鏡 拾い上げと精査・治療. FUJI FILM SEMINAR REPORT. 2019.

引地拓人. 内視鏡診療部が, きぼう棟 4 階東に移設しました. 福島医大病院ニュースレター. 2019. 第 48 号:3.

引地拓人. Topic1, 内視鏡診療部からのお知らせ 内視鏡診療部が移設しました!! 福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター 患サポ通信. 2019; 第 70 号.

著 書・訳 書

引地拓人, 高住美香, 中村 純, 橋本 陽, 加藤恒孝. 胃 腫瘍性疾患 胃神経原性腫瘍. In: 消化管症候群 (第 3 版) I ―その他の消化管疾患を含めて― (日本臨床別冊 領域別症候群シリーズ No.9). 東京: 日本臨床社; 2019. p.328-331.

研究発表等

〔研究発表〕

Hikichi T, Kikuchi H, Watanabe K, Nakamura J, Hashimoto M, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Konno N, Sato Y, Irie H, Ohira H, Obara K. Usefulness of splaying L-menthol for endoscopic border diagnosis of early

gastric cancer: verification by color difference. DDW2019; 20190518-21; San Diego, USA.

橋本 陽, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 高住美香, 高木忠之, 鈴木 玲, 大平弘正. DOAC 服用者における胃 ESD 後出血の検討〜ワルファリン服用者との比較〜. 第 15 回日本消化管学会総会学術集会; 20190201-03; 佐賀.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 引地拓人, 大平弘正. 悪性胆管狭窄に対する内視鏡的 stent in stent メタリックステント留置困難の予測因子の検討. 第 162 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190208; 仙台.

紺野直紀, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 大平弘正. 内視鏡的乳頭切開術で診断しえた非露出型乳頭部癌の 1 例. 第 162 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190208; 仙台.

鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 入江大樹, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 小原勝敏, 引地拓人, 大平弘正. 膵癌悪性十二指腸狭窄に伴う胆管炎に対して内視鏡的胆管・十二指腸ステント留置が有効であった一例. 第 162 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190208; 仙台.

石崎優斗, 郡司直彦, 片倉響子, 藤原達雄, 舟窪 彰, 引地拓人, 大平弘正. 妊娠を契機に増悪した潰瘍性大腸炎の一例. 第 206 回日本消化器病学会東北支部例会; 20190209; 仙台.

和田 淳, 渡辺 晃, 引地拓人, 中村 純, 橋本 陽, 佐藤雄紀, 高住美香, 舟窪 彰, 小嶋祐紀, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 化学療法が奏功し自宅退院が可能となった呼吸不全を呈した胃癌の 1 例. 第 206 回日本消化器病学会東北支部例会; 20190209; 仙台.

Hanayama H, Saze Z, Endo E, Ujiie D, Nirei A, Aoto K, Tada T, Watanabe Y, Gonda K, Hikichi T, Ohki S, Kono K. Laparoscopy and endoscopy cooperative surgery for gastric GISTs in our hospital. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190227-0301; 沼津.

橋本 陽, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 高木忠之, 鈴木 玲, 小原勝敏, 大平弘正. ESD を施行された尿管侵襲陽性粘膜内胃癌の臨床的特徴と予後. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190227-0301; 沼津.

渡辺 晃, 引地拓人, 中村 純, 橋本 陽, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 入江大樹, 舟窪 彰, 大平弘正. 診断から 6 か月以降に ESD を施行された早期胃癌症例の検討. 第 91 回日本胃癌学会総会; 20190227-0301; 沼津.

中村 純. 画像強調を使用した上部消化管内視鏡診療. FUJIFILM MEDICAL SEMINAR 2019; 20190406; 福島.

橋本 陽, 引地拓人, 中村 純, 渡辺 晃, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 高住美香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法(PDT)の現状. FUJIFILM MEDICAL SEMINAR 2019; 20190406; 福島.

中村 純. 福島市の対策型胃がん内視鏡検診の現状—H. pylori 除菌治療の最近の話題を含めて—. 第 8 回胃がん撲滅フォーラム; 20190417; 福島.

中村 純, 引地拓人, 大平弘正. 福島市と川俣町における対策型胃がん検診の現状と将来展望. 第 105 回日本消化器病学会総会; 20190509-11; 金沢.

橋本 陽, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 高住美香, 佐藤雄紀, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 胃 GIST に対する EUS-FNA の現状と手技の工夫. 第 105 回日本消化器病学会総会; 20190509-11; 金沢.

佐藤雄紀, 鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 入江大樹, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 高住美香, 橋本 陽, 小原勝敏, 大平弘正. 膵神経内分泌腫瘍(PanNENs)に対する EUS-FNA の検討. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190531-0602; 東京.

鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 入江大樹, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本 陽, 引地拓人, 大平弘正. 膵癌術前 EUS-FNA の安全性について再考する. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190531-0602; 東京.

中村 純, 引地拓人, 大平弘正. 福島市における対策型胃がん内視鏡検診の現状と新たな取り組み. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190531-0602; 東京.

中村 純, 引地拓人, 渡辺 晃, 橋本 陽, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術(POEM)の有用性と安全性. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190531-0602; 東京.

石崎優斗, 郡司直彦, 片倉響子, 鬼澤道夫, 浅野智之, 佐藤秀三, 引地拓人, 大平弘正. アダリムマブ投与後に高安動脈炎の合併が明らかになったクローン病の一例. 第 207 回日本消化器病学会東北支部例会; 20190705; 秋田.

橋本長一郎, 郡司直彦, 片倉響子, 鬼澤道夫, 加藤恒孝, 引地拓人, 大平弘正. 関節炎を伴った高齢発症潰瘍性大腸炎の一例. 第 207 回日本消化器病学会東北支部例会; 20190705; 秋田.

加藤恒孝, 引地拓人, 高木忠之, 片倉響子, 鬼澤道夫, 鈴木 玲, 中村 純, 郡司直彦, 杉本 充, 橋本 陽, 入江大樹, 大平弘正, 志村浩己. DOAC 服用者の消化器内視鏡診療におけるフィブリンモノマー複合体測定の意義. 第 163 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190706; 秋田.

中村 純, 引地拓人, 橋本 陽, 小原勝敏, 大平弘正. 胃・十二指腸潰瘍出血症例の臨床的特徴の検討. 第 163 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190706; 秋田.

橋本 陽, 引地拓人, 中村 純, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 高住美香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法(PDT)の現状. 第 163 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190706; 秋田.

入江大樹, 鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 引地拓人, 大平弘正. 膵癌に対する gemcitabine+nab-paclitaxel 併用療法の間質性肺炎疾患に関する後方視的検討. 第 50 回日本膵臓学会大会; 20190712-13; 東京.

紺野直紀, 鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 橋本陽, 大平弘正. 膵頭部領域癌の術前における遷延性閉塞性黄疸の検討. 第 50 回日本膵臓学会大会; 20190712-13; 東京.

鈴木 玲, 高木忠之, 杉本 充, 紺野直紀, 入江大樹, 引地拓人, 大平弘正. 切除不能膵癌における膵消化酵素補充療法の治療成績. 第 50 回日本膵臓学会大会; 20190712-13; 東京.

橋本 陽. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法(PDT)の現状. 第 366 回福島消化器病研究会; 20190726; 福島.

入江大樹, 高木忠之, 引地拓人, 鈴木 玲, 中村 純, 渡辺 晃, 杉本 充, 紺野直紀, 加藤恒孝, 大平弘正, 小原勝敏. 先天性胆道閉鎖症術後の門脈圧亢進症による食道胃静脈瘤に対し内視鏡治療を繰り返した一例. 第 26 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20190912-13; 下関.

加藤恒孝, 引地拓人, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 中村 純, 橋本 陽, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 食道静脈瘤診断におけるゼリー充填法を用いた EUS の実態. 第 26 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20190912-13; 下関.

高木忠之, 引地拓人, 鈴木 玲, 杉本 充, 中村 純, 入江大樹, 加藤恒孝, 橋本 陽, 藤田将史, 小原勝敏, 大平弘正. AT III 製剤を用いた門脈血栓治療の現状. 第 26 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20190912-13; 下関.

加藤恒孝, 引地拓人, 高木忠之, 鈴木 玲, 中村 純, 杉本 充, 橋本 陽, 入江大樹, 大平弘正, 小原勝敏. 食道胃静脈瘤に対する内視鏡治療における有害事象の検討. 第 3 回東北門脈圧亢進症研究会; 20190928; 福島.

中村 純, 引地拓人, 橋本 陽, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 高住美香, 加藤恒孝, 入江大樹, 大平弘正. 高齢者の食道アカラシアに対し経口内視鏡的筋層切開術(POEM)が有用であった 1 例. 第 30 回日本老年医学会東北地方会; 20191005; 山形.

橋本 陽, 引地拓人, 中村 純, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 高住美香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法(PDT)の現状. 第 39 回福島県食道癌胃癌研究会; 20191019; 福島.

引地拓人, 中村 純, 橋本 陽, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 入江大樹, 武藤 学. JCOG 消化器内視鏡グループの食道癌関連研究の紹介. 第 39 回福島県食道癌胃癌研究会; 20191019; 福島.

加藤恒孝, 引地拓人, 高木忠之, 鈴木 玲, 中村 純, 杉本 充, 橋本 陽, 入江大樹, 大平弘正, 小原勝敏. 食道静脈瘤診断におけるゼリー充填法を用いた EUS の実際. 第 23 回福島超音波内視鏡研究会; 20191026; 福島.

橋本 陽, 引地拓人, 中村 純, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 高住美香, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法(PDT)の現状. JDDW2019; 20191121; 神戸.

中村 純, 引地拓人, 大平弘正. 福島市における対策型胃がん内視鏡検診の現状と取り組み. JDDW2019; 20191122; 神戸.

中村 純, 引地拓人, 大平弘正. 食道・胃 ESD 時の穿孔に対するトラブルシューティング. JDDW2019; 20191123; 神戸.

〔シンポジウム〕

中村 純, 引地拓人, 大平弘正. 福島市と川俣町における対策型胃がん検診の現状と将来展望. 第 15 回日本消化管学会総会学術集会; 20190201-03; 佐賀.

渡辺 晃, 引地拓人, 中村 純, 橋本 陽, 大平弘正. 併存疾患の治療を優先後に ESD を施行された早期胃癌症例の検討. 第 162 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190208; 仙台.

中村 純, 引地拓人, 渡辺 晃, 橋本 陽, 大平弘正. 食道アカラシアに対する経口内視鏡下筋層切開術 (POEM) の有用性と安全性. 第 206 回日本消化器病学会東北支部例会; 20190209; 仙台.

橋本 陽, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 大平弘正. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法(PDT)の現状. 第 206 回日本消化器病学会東北支部例会; 20190209; 仙台.

橋本 陽, 引地拓人, 渡辺 晃, 中村 純, 菊地 眸, 高木忠之, 鈴木 玲, 杉本 充, 紺野直紀, 高住美香, 佐藤雄紀, 入江大樹, 小原勝敏, 大平弘正. 胃粘膜下腫瘍に対する EUS-FNA および LECS の現状. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190531-0602; 東京.

〔特別講演〕

Hikichi T. EIS for esophageal varices. “Endoscopic injection sclerotherapy (EIS) treatment of esophagogastric varices” Hands on training course 2019 Mongolia; 20190723; Ulaanbaatar, Mongolia.

Nakamura J. Patient management before and after EIS. Endoscopic injection sclerotherapy (EIS) treatment of esophagogastric varices” Hands on training course 2019 Mongolia, Mongolian Society of Interventional GI Endoscopy and Mongolian Gastroenterology Association; 20190723; Ulaanbaatar, Mongolia.

引地拓人. 早期胃がんは治ります！治します！～内視鏡でみつけて、お腹に傷をつけずに切除を～. 福島県立医科大学・福島民友新聞社連携協定事業「健康講座 in 福島」連続講座「がん」シリーズ①; 20190126; 福島.

引地拓人. 上部消化管疾患に対する内視鏡治療の最新の話～食道癌に対する ESD 後狭窄予防・CRT 後の PDT をふくめて～. 第 24 回山形県頭頸部・食道・胃疾患研究会; 20190216; 山形.

引地拓人. 福島市における対策型胃がん内視鏡検診の現状と課題および内視鏡治療のトピックス～内視鏡検診導入から 21 年の歩み～. 函館渡島消化器疾患検討会; 20190306; 函館.

引地拓人. 上部消化管内視鏡検査の撮り方の基本～最近の話題として人工知能(AI)を含めて～. 平成 30 年度胃がん検診内視鏡検査従事者講習会; 20190309; 南相馬.

引地 拓人. 消化器治療内視鏡におけるメディカルスタッフの役割～内視鏡技師に望むこと～. 第 82 回日本消化器内視鏡技師学会; 20190531; 東京.

引地 拓人. 食道胃静脈瘤に対する内視鏡治療の基本手技～内視鏡治療を優先する立場から～. 第 8 回中国門脈圧亢進症研究会; 20190614; 米子.

引地 拓人. 消化器内視鏡診療に関わるメディカルスタッフの職種別の役割の現況～全国 76 施設からのアンケート結果の報告～. 第 32 回福島県消化器内視鏡技師研究会; 20190824; 福島.

引地 拓人. 上部消化管疾患に対する内視鏡治療の最近の話題～胃癌に対する ESD の困難例への対応を含めて～. 日本消化器内視鏡学会茨城県部会第 31 回研究会; 20190906; つくば.

引地 拓人. 上部消化管内視鏡検査の撮り方の基本～福島市胃がん内視鏡検診の現状. 安達医師会講演会; 20190926; 二本松.

引地 拓人. 若手医師に知ってほしい上部消化管内視鏡治療手技の導入から普及までの苦労話～ESD/EUS-FNA から POEM/PDT～. 第 8 回 SAPPORO ESD/EMR TECHNICAL FORUM; 20191005; 札幌.

引地 拓人. 上部消化管出血に対する内視鏡治療. 福島赤十字病院講演会; 20191018; 福島.

引地 拓人. 抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療時の対応ならびに消化管出血予防策. Joint Meeting in Iwaki～消化器内科・循環器内科の視点から～; 20191111; いわき.

引地 拓人. アンケート調査からみた消化器内視鏡診療に関わるメディカルスタッフの職種別の業務の現状～L-メントール製剤ならびにエロピキシパットの有用性をまじえて～. 第 4 回内視鏡検査・周術期管理の標準化に向けた研究会; 20191124; 神戸.

引地 拓人. 見逃し胃癌やピロリ陰性胃癌からみた内視鏡観察のコツと注意点. GI FORUM 2019; 20191128; 東京.

引地 拓人. 上部消化管腫瘍に対する内視鏡治療の最前線～JCOG 消化器内視鏡グループの現状を含めて～. 第 40 回山形県消化器治療内視鏡研究会; 20191207; 山形.

引地 拓人. 上部消化管内視鏡検査の撮り方の基本～福島市対策型胃がん内視鏡検診の現状と課題を含めて～. 令和元年度胃内視鏡検査読影従事者講習会 in 福島; 20191221; 福島.

〔招待講演〕

中村 純. 慢性便秘症の診療. 持田製薬社内勉強会; 20190520; 福島.

中村 純. 県北エリアにおける胃がん検診の現状と課題. タケキャブ錠発売 4 周年記念講演会; 20190611; 福島.

引地 拓人. 消化器内視鏡の治療手技. 株式会社タスク動物実験セミナー; 20190831; 郡山.

引地拓人. 慢性便秘症治療ガイドラインに対する私見. マイラン EPD 合同会社社外講師勉強会; 20191017; 福島.

〔その他〕

引地拓人. 食道がん. ミル・シル・マナブ福島ドクターズTV Vol. 99; 20191116; テレビ放映.

引地拓人. 消化器内視鏡でここまでできる！会津学鳳高校講義. 会津学鳳高校講義; 20191220; 会津若松.

臨床腫瘍センター

論 文

〔原 著〕

Ashizawa M, Okayama H, Ishigame T, Aung Kyi Thar Min, Saito K, Ujiie D, Murakami Y, Kikuchi T, Nakayama Y, Noda M, Tada T, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. microRNA-148a-3p regulates immunosuppression in DNA mismatch repair-deficient colorectal cancer by targeting PD-L1. *Molecular Cancer Research*. 201906; 17(6):1403-1413.

Kanke Y, Saito M, Abe N, Saito K, Goto A, Ohtake T, Murakami Y, Kono K. Expression profile of CADM1 and CADM4 in triple negative breast cancer with primary systemic therapy. *Oncology Letters*. 201901; 17(1):921-926.

Shimura T, Shibata M, Gonda K, Murakami Y, Noda M, Tachibana K, Abe N, Ohtake T. Prognostic impact of interleukin-6 and C-reactive protein on patients with breast cancer. *Oncology Letters*. 201906; 17(6):5139-5146.

星 信大, 阿部直子, 立花和之進, 野田 勝, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 阿部貞彦, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 同時性両側性神経内分泌型非浸潤性乳管癌の 1 例. *癌と化学療法*. 201912; 46(13):2222-2224.

〔症例報告〕

Momma T, Gonda K, Akama Y, Endo E, Ujiie D, Fujita S, Maejima Y, Horita S, Shimomura K, Saji S, Kono K, Yashima R, Watanabe F, Sugano K, Nomizu T. MLH1 germline mutation associated with Lynch syndrome in a family followed for more than 45 years. *BMC Medical Genetics*. 201905; 20(1):67.

Gonda K, Akama Y, Nakamura T, Hashimoto E, Kyoya N, Rokkaku Y, Maejima Y, Horita S, Tachibana K, Abe N, Ohtake T, Shimomura K, Kono K, Saji S, Takenoshita S, Higashihara E. Cluster of differentiation 8 and programmed cell death ligand 1 expression in triple-negative breast cancer combined with autosomal dominant polycystic kidney disease and tuberous sclerosis complex: a case report. *Journal of Medical Case Reports*. 201912; 13(1):381.

研究発表等

〔研究発表〕

村上祐子, 阿部宣子, 作山美郷, 仲野 宏, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 被包型乳頭状癌の2例. 第10回DCIS研究会; 20190126; 長崎.

〔特別講演〕

村上祐子. 乳がんと予防、早期発見の重要性. 福島県 学生がん予防サポーター養成セミナー; 20190930; 会津若松.

臨床工学センター

研究発表等

〔研究発表〕

平野麻衣, 福原真喜, 佐々木紀尚, 福原之博, 出羽 仁. 医療スタッフに帯電した静電気によりエラーが発生した医療機器の一例と対策. 福島県臨床工学技士会平成30年度学術大会; 20190428; 福島.

清野泰司, 樋口 治, 阿部勇飛, 半澤 翔, 石川祐樹, 福原真喜, 佐々木紀尚, 荒 宏樹, 遠藤綾子, 佐藤 梓, 福原之博, 佐藤貴美絵, 三浦 晋, 出羽 仁. 完全皮下植込み型除細動器の症例を経験して. 第29回日本臨床工学会; 20190518; 岩手.

福原之博, 今野秀胤, 福原真喜, 佐々木紀尚, 清野泰司, 荒 宏樹, 佐藤 梓, 佐藤貴美絵, 出羽 仁. 当院における ECMO 離脱に関する考察～111 症例を経験して～. 第29回日本臨床工学会; 20190519; 岩手.

荒 宏樹, 齋藤聖羅, 今野秀胤, 佐々木紀尚, 清野泰司, 佐藤 梓, 福原之博, 佐藤貴美絵, 出羽 仁. カテコラミン誘発性多形成心室頻拍疑いの患者に対しての ECMO の検討. 38 回日本体外循環技術医学会東北地方会学術大会; 20190706; 宮城.

福原之博, 吉田京香, 今野秀胤, 福原真喜, 佐々木紀尚, 清野泰司, 荒 宏樹, 佐藤 梓, 佐藤貴美絵, 出羽 仁. 植込み型補助人工心臓の機器教育に難渋した一症例. 38 回日本体外循環技術医学会東北地方会学術大会; 20190706; 宮城.

樋口 治, 阿部勇飛, 半澤 翔, 石川祐樹, 福原真喜, 佐々木紀尚, 清野泰司, 荒 宏樹, 遠藤綾子, 佐藤 梓, 福原之博, 佐藤貴美絵, 三浦 晋, 出羽 仁. PMT によりペーシングモードの変更を余儀なくされた1例. 第6回北海道・東北臨床工学会; 20191020; 山形.

〔その他〕

佐々木紀尚, 仙石貴文, 半澤 翔, 清野泰司, 荒 宏樹, 福原之博, 佐藤貴美絵, 出羽 仁. 手術室業務の効果
果を数値にする～当院のダヴィンチ手術について～. 第 29 回日本臨床工学会; 20190519; 岩手.

荒 宏樹. ECMO 管理を検討する. 東北 CE 集中治療研究会 ECMO 管理を考える; 20190825; 宮城.

痛み緩和医療センター

論文

〔原 著〕

Kato D, Suto T, Obata H, Saito S. Spinal activation of tropomyosin receptor kinase-B recovers the impaired
endogenous analgesia in neuropathic pain rats. *Anesthesia and Analgesia*. 201908; 129(2):587-586.

Suto T, Kato D, Obata H, Saito S. Tropomyosin receptor kinase B receptor activation in the locus coeruleus
restores impairment of endogenous analgesia at a late stage following nerve injury in rats. *Journal of Pain*.
201905; 20(5):600-609.

〔総説等〕

Hayashida K, Obata H. Strategies to treat chronic pain and strengthen impaired descending noradrenergic
inhibitory system. *International Journal of Molecular Sciences*. 201902; 20(4):822.

研究発表等

〔研究発表〕

Hiroki T, Suto T, Ohta J, Saito S, Obata H. The plasticity of spinal γ -aminobutyric acid interneurons reduces
analgesic effects of morphine in neuropathic pain. *Society for Neuroscience Annual Meeting 2019*; 20191020;
Chicago, USA.

Ohta J, Suto T, Hiroki T, Obata H. Loss of endogenous analgesia leads to delayed recovery from incisional pain
in a rat model of chronic neuropathic pain. *Society for Neuroscience Annual Meeting 2019*; 20191022; Chicago,
USA.

大石理江子, 箱崎貴大, 三部徳恵, 小幡伸樹, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川雅洋. 上肢の閉塞性動脈硬化症に対
し、胸鎖乳突筋深部の Fascia リリースで血流増加を測った一例. 日本区域麻酔科学会第 6 回学術集会; 20190419;
高知.

遠藤千麻, 大石理江子, 中野裕子, 星野 一, 三部徳恵, 佐藤 薫, 五十洲剛, 黒澤 伸, 小幡英章, 村川

雅洋. 特発性前骨間神経麻痺の一例. 日本ペインクリニック学会第 53 回大会; 20190719; 熊本.

星野 一, 小幡英章. ラット神経障害性疼痛モデルを用いた NaSSA および SNRI の青斑核における鎮痛効果の検討. 日本ペインクリニック学会第 53 回大会; 20190720; 熊本.

宮本 梓, 小幡英章, 藤田 尚, 鈴木英雄, 廣木忠直, 齋藤 繁. 慢性腰痛に対する 1 泊 2 日の慢性痛リハビリテーションプログラムの 1 年成績について. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会; 20191108; 軽井沢町.

〔シンポジウム〕

小幡英章. ファシアの急性痛・慢性痛への関与と慢性痛治療の問題点. 第 124 回日本解剖学会; 20190327; 新潟.

小幡英章. 内因性鎮痛と慢性痛. 第 13 回日本緩和医療薬学会; 20190601; 千葉.

小幡英章. 疼痛感作のメカニズム. 日本ペインクリニック学会第 53 回大会; 20190719; 熊本.

小幡英章. 神経障害性疼痛の機序と治療. 日本ペインクリニック学会第 53 回大会; 20190719; 熊本.

小幡英章. カルシウムチャネル $\alpha 2 \delta$ リガンド. 日本ペインクリニック学会第 53 回大会; 20190720; 熊本.

小幡英章. 遷延性術後痛と内因性鎮痛／中枢性感作. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会; 20191107; 軽井沢町.

〔その他〕

小幡英章. 周術期に区域麻酔を行うことの意義 ―区域麻酔とアウトカム―. 日本区域麻酔科学会第 6 回学術集会; 20190419; 高知.

小幡英章. 多職種で進める手術室の安全で効率的な運営 ―安全で効率的な手術室運営を行うために―. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会; 20191108; 軽井沢町.

脳疾患センター

論 文

〔原 著〕

Nakatani-Enomoto S, Yamazaki M, Kamimura Y, Abe M, Asano K, Enomoto H, Wake K, Watanabe S, Ugawa Y. Frequency-dependent current perception threshold in healthy Japanese adults. Bioelectromagnetics. 201904; 40(3):150-159.

Murakami T, Abe D, Matsumoto H, Tokimura R, Abe M, Tiksnadi A, Kobayashi S, Kaneko C, Urata Y,

Nakamura M, Sano A, Ugawa Y. A patient with McLeod syndrome showing involvement of the central sensorimotor tracts for the legs. BMC Neurology. 2019; 19(1):301.

Nakashima T, Kojima T, Hatano N, Takasu S, Fuse Y, Seki Y. Long-Term Effects on Preventing Stroke after Endovascular Treatment or Bypass Surgery for Intracranial Arterial Stenosis. Journal of Stroke & Cerebrovascular Diseases. 2019; 28(4):1107-1112.

高澤英嗣, 阿部十也, 飯塚 伯, 設楽 仁, 高岸憲二, 筑田博隆, 花川 隆. 脊椎疾患のニューロイメージングの近未来 脳・頸髄同時計測 fMRI 法を用いたヒト皮質脊髄路の神経機能調整システムの検討. 日本整形外科学会雑誌. 2019; 93(7):460-465.

研究発表等

〔研究発表〕

Kojima T, Sato N, Oinuma M, Horiuchi K, Ichikawa T, Oda K, Maeda T, Saito K. Mechanical Thrombectomy for Acute Ischemic Stroke in Anticoagulated Patients. 15th Congress of World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology; 2019; Naples, Italy.

小島隆生, 佐藤直樹, 生沼雅博, 堀内一臣, 市川 剛, 織田恵子, 前田卓哉, 齋藤 清. 抗凝固療法中患者への脳梗塞急性期機械的血栓回収療法. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 78 回学術総会; 2019; 大阪.

小島隆生, 佐藤直樹, 生沼雅博, 堀内一臣, 市川 剛, 織田恵子, 前田卓哉, 佐久間潤, 齋藤 清. 脳梗塞急性期機械的血栓回収療法の普及: 福島県における実践と検討. 第 35 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会; 2019; 福岡.

〔特別講演〕

小島隆生. 脳主幹動脈急性期閉塞に対する診療の現状. 福島県北脳心連携の会; 2019; 福島.

小島隆生. 脳動脈瘤治療の実践と抑えておきたいポイント. 第 3 回 Fukushima Neuro IVR Seminar; 2019; 福島.

臨床研究教育推進部

論 文

〔原 著〕

Fukuhara S, Kurita N, Wakita T, Green J, Shibagaki Y. A scale for measuring Health-Related Hope: its development and psychometric testing. Annals of Clinical Epidemiology. 2019; 1(3):102-119.

Kanda M, Koike M, Tanaka C, Kobayashi D, Hattori N, Hayashi M, Yamada S, Omae K, Fujiwara M, Kodera Y. Modified Systemic Inflammation Score is Useful for Risk Stratification After Radical Resection of Squamous Cell Carcinoma of the Esophagus. *Annals of Surgical Oncology*. 2019; 26(13):4773-4781.

Kanda M, Koike M, Tanaka C, Kobayashi D, Hayashi M, Yamada S, Omae K, Kodera Y. Risk Prediction of Postoperative Pneumonia After Subtotal Esophagectomy Based on Preoperative Serum Cholinesterase Concentrations. *Annals of Surgical Oncology*. 2019; 26(11):3718-3726.

Endo M, Kanda M, Sawaki K, Shimizu D, Tanaka C, Kobayashi D, Hattori N, Hayashi M, Yamada S, Koike M, Omae K, Kodera Y. Tissue Expression of Melanoma-associated Antigen A6 and Clinical Characteristics of Gastric Cancer. *Anticancer Research*. 2019; 39(11):5903-5910.

Sawaki K, Kanda M, Umeda S, Miwa T, Tanaka C, Kobayashi D, Hayashi M, Yamada S, Nakayama G, Omae K, Koike M, Kodera Y. Level of Melanotransferrin in Tissue and Sera Serves as a Prognostic Marker of Gastric Cancer. *Anticancer Research*. 2019; 39(11):6125-6133.

Omae K, Kataoka Y, Tsujimoto Y, Tsutsumi Y, Yamamoto Y, Fukuhara S, Furukawa TA. Publication statuses of clinical trials supporting FDA-approved immune checkpoint inhibitors: a meta-epidemiological investigation. *BMC Cancer*. 2019; 19(1):998.

Tanaka M, Nishiwaki H, Kado H, Doi Y, Ihoriya C, Omae K, Tamagaki K. Impact of salt taste dysfunction on interdialytic weight gain for hemodialysis patients: a cross-sectional study. *BMC Nephrology*. 2019; 20(1):121.

Kanda M, Koike M, Tanaka C, Kobayashi D, Hayashi M, Yamada S, Nakayama G, Omae K, Kodera Y. Feasibility of subtotal esophagectomy with systematic lymphadenectomy in selected elderly patients with esophageal cancer: a propensity score matching analysis. *BMC Surgery*. 2019; 19(1):143.

Japanese Society of Nephrology (Kurita N et al.). Essential points from Evidence-based Clinical Practice Guidelines for Chronic Kidney Disease 2018. *Clinical and Experimental Nephrology*. 2019; 23(1):1-15.

Niihata K, Nishiwaki H, Kurita N, Okada H, Maruyama S, Narita I, Shibagaki Y, Nakaya I. Variations in actual practice patterns and their deviations from the clinical practice guidelines for nephrotic syndrome in Japan: certified nephrologists' questionnaire survey. *Clinical and Experimental Nephrology*. 2019; 23(11):1288-1297.

Yazawa M, Omae K, Shibagaki Y, Inaba M, Tsuruya K, Kurita N. The effect of transportation modality to dialysis facilities on health-related quality of life among hemodialysis patients: results from the Japanese Dialysis Outcomes and Practice Pattern Study. *Clinical Kidney Journal*. 2019; 13(4):640-646.

Wada O, Kurita N, Kamitani T, Nakano N, Mizuno K. Influence of the severity of knee osteoarthritis on the association between leg muscle mass and quadriceps strength: the SPSS-OK study. *Clinical Rheumatology*. 2019; 38(3):719-725.

Kojima Y, Yokoya S, Kurita N, Idaka T, Ishikawa T, Tanaka H, Ezawa Y, Ohto H. Cryptorchidism after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: causation or coincidence? *Fukushima Journal of Medical Science*. 2019; 65(3):76-98.

Kurita N. Association of the Great East Japan Earthquake and the Daiichi Nuclear Disaster in Fukushima City, Japan, With Birth Rates. *JAMA Network Open*. 2019; 2(1):e187455.

Iida H, Kurita N, Takahashi S, Sasaki S, Nishiwaki H, Omae K, Yajima N, Fukuma S, Hasegawa T, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Salt intake and body weight correlate with higher blood pressure in the very elderly population: The Sukagawa study. *Journal of Clinical Hypertension*. 2019; 21(7):942-949.

Kurita N, Kamitani T, Wada O, Shintani A, Mizuno K. Disentangling Associations Between Serum Muscle Biomarkers and Sarcopenia in the Presence of Pain and Inflammation Among Patients With Osteoarthritis: The SPSS-OK Study. *Journal of Clinical Rheumatology*. 2019; 25(6):e20190806; doi: 10.1097/RHU.0000000000001156.

Kurita N, Wakita T, Kamitani T, Wada O, Mizuno K. SARC-F Validation and SARC-F+EBM Derivation in Musculoskeletal Disease: The SPSS-OK Study. *Journal of Nutrition, Health and Aging*. 2019; 23(8):732-738.

Omae K, Yamamoto Y, Kurita N, Takeshima T, Naganuma T, Takahashi S, Ohnishi T, Ito F, Yoshioka T, Fukuhara S. Gait speed and overactive bladder in the healthy community-dwelling super elderly: The Sukagawa Study. *Neurourology and Urodynamics*. 2019; 38(8):2324-2332.

Asada S, Yoshida K, Fukuma S, Nomura T, Wada M, Onishi Y, Kurita N, Fukagawa M, Fukuhara S, Akizawa T. Effectiveness of cinacalcet treatment for secondary hyperparathyroidism on hospitalization: Results from the MBD-5D study. *PLOS ONE*. 2019; 14(5):e0216399.

Ito F, Tsutsumi Y, Shinohara K, Fukuhara S, Kurita N. Vehicle configurations associated with anatomical-specific severe injuries resulting from traffic collisions. *PLOS ONE*. 2019; 14(10):e0223388.

栗田 宜明. 福島リポート (第 30 回) 東日本大震災・原発事故の臨床疫学 数字の一人歩きにご注意! 日本医事新報. 2019; 4975:54-59.

大前 憲史. 【CKD 患者におけるがん化学療法—透析患者を中心に】がん薬物療法の特性 分子標的薬 mTOR 阻害薬. 臨床透析. 2019; 35(7):790-797.

研究発表等

〔研究発表〕

Omae K, Kataoka Y, Tsujimoto Y, Tsutsumi Y, Fukuhara S, Furukawa TA. Publication statuses of clinical trials supporting immune checkpoint inhibitors recently approved by the United States Food and Drug Administration: A meta-epidemiological investigation. *ASCO-SITC Clinical Immuno-Oncology Symposium*; 2019; San Francisco, USA. *Journal of Clinical Oncology*. 37(8 Suppl.):89.

Omae K, Yamamoto Y, Kurita N, Takeshima T, Naganuma T, Takahashi S, Ohnishi T, Ito F, Yoshioka T, Fukuhara S. Gait Speed, but Neither Muscle Mass nor Strength, Were Associated with Overactive Bladder in Community-Dwelling Elderly Adults: The Sukagawa Study. 39th Congress of the Society Internationale d'Urologie; 20191017-20; Athens, Greece.

Iida H, Kurita N, Wakita T, Suzuki T, Yazawa M, Ishibashi Y, Kawarazaki H, Shibagaki Y. Acceptance measured as psychological flexibility protecting against depression among different severities of chronic kidney disease. ASN Kidney Week 2019; 20191105-10; Washington, DC, USA.

Kurita N, Hayashino Y. Determinants of urinary c-megalin among a large cohort of diabetes: albuminuria, reduced kidney function, and demographic factor. ASN Kidney Week 2019; 20191105-10; Washington, DC, USA.

大前憲史, 栗田宜明, 竹島太郎, 長沼 透, 高橋 世, 大西剛史, 吉岡貴史, 赤井畑秀則, 大槻和之, 小島祥敬, 福原俊一. ADL の自立した健康高齢者における過活動膀胱罹患指標としての身体的フレイル測定の意義: 地域住民の健康医療データベースを用いた分析的横断研究. 第 26 回日本排尿機能学会; 20190912-14; 東京.

大前憲史. これでもう査読依頼もこわくない! チェックリストを用いた系統的査読のすすめ ―観察研究編―. 日本臨床疫学会第 3 回年次学術大会; 20190929; 福岡.

性差医療センター

論 文

〔原 著〕

小林智之, 吉田和樹, 熊谷敦史, 安井清孝, 後藤あや, 竹林由武, 黒田佑次郎, 末永カツ子, 小宮ひろみ, 村上道夫. 災害関連健康リスクに対するコミュニケーションと協働. 安全工学. 201912; 58(6):387-393.

添田 周, 小宮ひろみ, 三瀧忠道, 藤森敬也. 難治性尖圭コンジローマに漢方薬が有効であったアラジール症候群の 1 例. 産婦人科漢方研究のあゆみ. 201905; 36:90-93.

坪 敏仁, 宇仁田明奈, 古田大河, 鈴木雅雄, 上野孝治, 鈴木朋子, 秋葉秀一郎, 小宮ひろみ, 佐橋佳郎, 三瀧忠道. 桂枝去芍薬加皂莢湯を用いた湯液治療と鍼治療が有用であったびまん性汎細気管支炎の 1 症例. 日本東洋医学雑誌. 201904; 70(2):99-105.

坪 敏仁, 上野孝治, 鈴木朋子, 秋葉秀一郎, 佐橋佳郎, 小宮ひろみ, 三瀧忠道. 福島県立医科大学会津医療センターにおける烏頭含有方剤使用例の解析. 日本東洋医学雑誌. 201910; 70(4):324-332.

吉田和樹, 小林智之, 後藤あや, 竹林由武, 熊谷敦史, 安井清孝, 黒田佑次郎, 末永カツ子, 小宮ひろみ,

前田 香, 村上道夫. 地域住民と健康リスクを考える 東日本大震災後の保健活動の向上を目指したリスクコミュニケーション支援事業. 保健師ジャーナル. 201901; 75(1):54-59.

〔総説等〕

小宮ひろみ. 【漢方医学の妙諦を探る】漢方医学が得意とする婦人科症状 その発症メカニズムと治療効果 冷え. HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY. 201912; 26(4):291-296.

小宮ひろみ, 三瀧忠道. 働く女性の更年期と漢方. Progress in Medicine. 201911; 39(11):1125-1128.

研究発表等

〔研究発表〕

大野雄康, 後藤あや, 前島裕子, 丸山育子, 鈴木朋子, 色摩弥生, 小宮ひろみ. 公立医科大学における Work-life conflict, 男女差別の認知とそれらの関連. 第 12 回日本性差医学・医療学会学術集会. 20190120; さいたま.

Ohara M, Yamaguchi A, Suzuki S, Suganuma R, Takahashi T, Mizunuma H, Komiya H, Fujimori K. Effect of metformin on androgen receptor expression in endometrial epithelial/stromal cell lines. 第 71 回日本産科婦人科学会; 20190412-14; 名古屋.

小宮ひろみ, 海老潤子, 中島 大, 中野裕子, 三瀧忠道. 併存する陰虚証治療後に標治が奏功した 2 症例. 第 70 回日本東洋医学会学術総会; 20190628-30; 東京.

菅藤美由紀, 菅沼亮太, 込山真貴子, 野口香里, 菊地瑛子, 小宮ひろみ, 高橋俊文, 水沼英樹, 藤森敬也. 当院における妊孕性温存療法の現状について. 第 22 回福島リプロダクション研究会; 20190914; 福島.

高橋俊文, 大越千弘, 大原未希, 菅沼亮太, 小宮ひろみ, 水沼英樹, 藤森敬也. 脳幹部腫瘍を合併し初経遅延と視床下部性無月経を呈した不妊症患者の治療経験. 第 22 回福島リプロダクション研究会; 20190914; 福島.

和田茉莉奈, 高橋俊文, 小島 学, 植田牧子, 遠藤雄大, 古川茂宣, 小宮ひろみ, 藤森敬也. 当科で経験した完全型アンドロゲン不応症 2 症例の検討. 第 27 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会・第 39 回日本内分泌学会東北地方会; 20191019; 福島.

臨床研究センター

論文

〔原 著〕

菅野範子, 後藤あや, 佐藤恵子, 川原礼子, 畠山とも子. がん患者の手術療法の意思決定を支援する外来看護師の認識と実践. 日本プライマリ・ケア連合学会誌. 201906; 42(2):78-84.

研究発表等

〔研究発表〕

菅野範子, 阿部敏江, 小早川雅男. 臨床研究法に基づく研究のための教育研修の取り組みと課題. 第10回日本臨床試験学会学術集会; 20190125-26; 東京. プログラム・抄録集. 143.

薬剤部

論文

〔原 著〕

Horikoshi S, Miura I, Ichinose M, Yamamoto S, Ito M, Watanabe K, Kanno-Nozaki K, Kaneko H, Yabe H. Low- and high-dose aripiprazole augmentation and plasma levels of homovanillic acid in major depressive disorder: A randomized, open-label study. Human Psychopharmacology. 201905; 34(3):e2696.

河野晴一, 和泉啓司郎, 町田幸枝, 星 正弘, 三川武彦, 湯浅風人, 金澤 一, 小池勇一, 渡邊哲也. 薬物の膜透過性に及ぼす基剤中の薬物溶解性の影響. 日本病院薬剤師会雑誌. 201903; 55(3):301-305.

研究発表等

〔研究発表〕

横山和博, 油井 優, 斎藤恭一, 佐藤真澄, 鈴木優佳, 仲村 究, 金光敬二, 和泉啓司郎. TAZ/PIPC と VCM の併用による腎機能への影響について. 第67回日本化学療法学会総会; 20190509-11; 東京.

菅野奈緒美, 穴戸琴美, 和泉啓司郎, 鈴木 敦, 三川武彦. 麻薬処方量の推移と影響する要因について. 第13回日本緩和医療薬学会年会; 20190531-0602; 千葉.

山本ちひろ, 渡辺研弥, 三浦 至, 三川武彦, 矢部博興, 和泉啓司郎. 統合失調症患者における入退院時の抗

精神病薬剤数増減と抗精神病薬投与量変化の関係. 日本病院薬剤師会東北ブロック第9回学術大会; 20190601; 秋田.

阿部裕也, 石井重亮, 香野仁美, 加藤晶子, 高橋智子, 大槻美智子, 和泉啓司郎. チームで取り組む糖尿病教室. 第78回福島臨床薬学研究会; 20191002; 福島.

渡辺研弥, 野崎啓子, 三浦 至, 森田直希, 陣野大輔, 山本ちひろ, 浅野太志, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 落合晴香, 伊藤雅史, 堀越 翔, 金子春香, 和泉啓司郎, 矢部博興. クロザピン血漿中濃度高値での治療中にけいれん発作が出現した治療抵抗性統合失調症の一例. 第29回日本臨床精神神経薬理学会・第49回日本神経精神薬理学会合同年会; 20191011; 福岡.

一瀬瑞絵, 三浦 至, 浅野太志, 山本慎之助, 伊藤雅史, 堀越 翔, 金子春香, 渡辺研弥, 山本ちひろ, 野崎啓子, 矢部博興. 急性期統合失調症における brexpiprazole の有効性. 第29回日本臨床精神神経薬理学会・第49回日本神経精神薬理学会合同年会; 20191011-12; 福岡.

堀越 翔, 三浦 至, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 伊藤雅史, 浅野太志, 山本ちひろ, 渡辺研弥, 野崎啓子, 金子春香, 矢部博興. 慢性期統合失調症患者の抗精神病薬の減量による認知機能・モノアミン代謝産物への影響について. 第29回日本臨床精神神経薬理学会・第49回日本神経精神薬理学会合同年会; 20191011-12; 福岡.

大沼杏理, 藁谷美保, 峯 晴香, 渡辺研弥, 石井重亮, 五十嵐暁子, 大竹理子, 和泉啓司郎. 病棟薬剤師による薬学的介入に関する実態調査. 第24回福島県薬剤師学術大会; 20191027; 郡山.

石井重亮, 阿部裕也, 渡辺研弥, 富永友美, 河野聡子, 大槻美智子, 和泉啓司郎. 当院における病棟薬剤師のインスリン療法への関わりについて. 第15回福島県糖尿病看護研究会; 20191117; 郡山.

嶋崎 翔, 和泉啓司郎, 下村健寿, 三坂真元. ナドロールの尿中排泄量を指標とするトランスポーターを介した薬物相互作用評価. 第40回日本臨床薬理学会学術総会; 20191204-06; 東京.

〔シンポジウム〕

佐藤真澄, 横田容子, 渡辺研弥, 石井重亮, 鈴木優佳, 五十嵐暁子, 三川武彦, 鳥羽 衛, 村田強志, 経塚 標, 山口明子, 藤森敬也, 和泉啓司郎. MFICU 担当薬剤師の役割～当院における周産期領域での薬剤師の関わり～. 日本病院薬剤師会東北ブロック第9回学術大会・第74回医薬品相互作用研究会シンポジウム合同開催; 20190601-02; 秋田.

〔特別講演〕

渡辺研弥. 精神科領域疾患における薬剤管理指導. 第12回県北地区薬薬連携研究会; 20190827; 福島.

〔その他〕

横山由佳. 高齢者糖尿病患者のインスリン療養支援. 糖尿病療養指導セミナー in 郡山; 20191120; 郡山.

総合科学教育研究センター 人文社会科学系領域

論文

〔原 著〕

本多創史. ワイズマン遺伝学説と断種手術 海野幸徳の選択 (上). 生物学史研究. 201911; 99:1-9.

研究発表等

〔研究発表〕

本多創史. 自然科学主義—優生学と日本近代. 一橋大学大学院言語社会研究科韓国学研究センター・延世大学校近代韓国学研究所 HK+事業団 第1回国際学術シンポジウム 人文学研究の知的基盤省察と東アジア学—近代学問と知識人—; 20190622; 東京. 報告書. p.124-131.

立柳 聡. 계약고의 구조와 기능—지바현 (千葉縣) 동충지역의 사례— (契約講の構造と機能—千葉県東総地域の事例から—). 東アジアコミュニティ比較研究大会安東大会; 20190923; Andong, Korea. 抄録集. 59-62.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗調査中間報告. 関東村落研究会; 20190105; 旭.

立柳 聡. 陸の孤島の島おこしと若者. 島嶼コミュニティ学会伊豆諸島フォーラム in 三宅島; 20190831; 三宅村. 抄録集. 56.

三澤文紀. リフレクティング・プロセスを学ぶ人々はどのような言葉でその経験を語るか. 日本家族心理学会第36回大会; 20190921; 盛岡. 発表論文集. 68-69.

〔特別講演〕

矢原隆行, 三澤文紀, 末安民生, 西池絵衣子. オープンダイアログとリフレクティング: 日本での展開の可能性を探る. 日本精神保健看護学会教育活動委員会主催研修会; 20190321; 仙台.

三澤文紀. One-Day ワークショップ. RO 研究会; 20190725; 福島.

三澤文紀, 上西 創, 廉 睿隣, 畠山今日子, 布柴靖枝. リフレクティング・プロセス(RP)の伝え方・学び方. 日本家族心理学会第36回大会自主企画シンポジウム; 20190921; 盛岡. 発表論文集. 118-119.

〔招待講演〕

立柳 聡. 他者と語らい、語りを解釈したり、そこから問うとはどういうことか? ライフヒストリー・ライフストーリー調査の前提. 教育研修会「質的研究法」第1回; 20190116; 壬生町.

立柳 聡. 今、八丈小島離島体験を振り返る意義. 八丈小島の明日を考える講演会; 20190224; 八丈島.

立柳 聡. 子どもの発達段階・子どもの権利を踏まえた青少年事業のあり方を考える. 平成 30 年度君津地方社会教育研究会青少年部会第 5 回研修会; 20190301; 君津.

その他の業績・作品等

立柳 聡. 大韓民国安東市陶山面民俗（契、祖先祭祀、食慣行）調査. 20190922-25. フィールドワーク.

立柳 聡. 山梨県小菅村白沢第 7 回世帯調査. 20190112. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（節分祭）調査. 20190203. フィールドワーク.

立柳 聡. 東京都北区志茂民俗（志茂熊野神社オビシヤ行事）調査. 20190207. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（オビシヤ行事）調査. 20190210-11. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（祈年祭）調査. 20190216-17. フィールドワーク.

立柳 聡. 東京都八丈町民俗（子ども組・若者組）調査. 20190223-25. フィールドワーク.

立柳 聡. 宮古列島における介護をめぐる地域の共助と文化的背景に関する社会調査. 20190308-11. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（神楽）調査、並びに、匝瑳市民俗調査地選定予備調査. 20190321-22. フィールドワーク.

立柳 聡. 長野県駒ヶ根市赤穂地区民俗調査予備調査. 20190706-07. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（薬祖大神祇園祭）調査. 20190720. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（契約講）調査. 20190803-04. フィールドワーク.

立柳 聡. 東京都三宅村民俗調査予備調査. 20190830-0901. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（先祖祭り）調査. 20190920. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙民俗（例大祭）調査. 20191006. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙第 5 回世帯調査. 20191022. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙第 6 回世帯調査. 20191102-03. フィールドワーク.

立柳 聡. 千葉県旭市清和乙第 7 回世帯調査. 20191109. フィールドワーク.

立柳 聡. 東京都八丈町中之郷民俗（葬送儀礼）調査. 20191210-11. フィールドワーク.

立柳 聡. 東京都北区西ヶ原民俗（七社神社大祓祭茅の輪くぐり）調査. 20191228. フィールドワーク.

総合科学教育研究センター 自然科学系領域

論 文

〔原 著〕

Taniguchi N, Kitayama K. Dihydrosulfenylation of Alkynes by Thiols Using a Nickel Catalyst through a Radical Process. *Asian Journal of Organic Chemistry*. 201908; 8(8):1468-1471.

Nakahara A, Takagi K, Sorimachi A, Katata G, Matsuda K. Enhancement of dry deposition of PM_{2.5} nitrate in a cool-temperate forest. *Atmospheric Environment*. 201909; 212:136-141.

Omori Y, Sorimachi A, Gun-Aajav M, Enkhgerel N, Munkherdene G, Oyunbolor G, Shajbalidir A, Palam E, Yamada C. Gamma dose rate distribution in the Unegt subbasin, a uranium deposit area in Dornogobi Province, southeastern Mongolia. *Environmental Science and Pollution Research International*. 201909; 26:33494-33506.

Kobayashi T, Yoshida K, Takebayashi Y, Goto A, Kumagai A, Murakami M. Social identity threats following the Fukushima nuclear accident and its influence on psychological distress. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 201907; 37:101171.

Nakano H, Ishii K, Goto A, Yasumura S, Ohira T, Fujimori K. Development and implementation of an internet survey to assess community health in the face of a health crisis: Data from the Pregnancy and Birth Survey of the Fukushima Health Management Survey, 2016. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 201906; 16(11):E1946.

Goto A, Tsugawa Y, Fujimori K. Factors associated with intention of future pregnancy among women affected by the Fukushima Nuclear Accident: analysis of Fukushima Health Management Survey data from 2012 to 2014. *Journal of Epidemiology*. 201908; 29:308-314.

Akbari F, Machida M, Nakamura H, Nagase K, Goto A, Hara A. Lessons learned for Reducing Out of Pocket Health Payment in Afghanistan: a comparative case study of three Asian countries. *Journal of Global Health Science*. 201912; 1(2):e46.

Sari D, Hiraki K, Nakano T, Hagiwara M, Nozue Y, Kusakawa T, Hori A, Yamamoto A, Watanabe I, Ishii Y. Magnetic study of the lower critical field of organic superconductor λ -(BETS)₂GaCl₄. *Materials Science*

Forum. 201901; 966 MSF:296-301.

Sorimachi A, Tokonami S, Omori Y, Janik M, Iwaoka K, Ishikawa T, Sun Q. Characteristics of indoor radon and thoron concentrations in cave dwellings in Gansu Province, China. Radiation Protection Dosimetry. 201910; 184:457-462.

Omori Y, Inoue S, Otsuka T, Nagamatsu Y, Sorimachi A, Ishikawa T. Reduction in ambient gamma dose rate from radiocesium due to snow cover. Radiation Protection Dosimetry. 201910; 184:510-513.

吉田和樹, 鈴木 友, 佐藤香代子, 杉浦真由美, 後藤あや. 福島県福島市における1歳6ヵ月の子どもをもつ両親の体調 両親ともに体調不良の頻度と背景要因および育児状況との関連. 小児保健研究. 201909; 78(5):428-436.

渡邊一代, 石井佳世子, 石田久江, 太田 操, 後藤あや. 産後うつ病予防を目的とした妊娠期からの“夫婦の共感性を高めるセッション”の試行 対象者の共感性と精神健康度とセッション評価. 日本健康学会誌. 201903; 85(2):80-89.

佐藤博子, 佐伯秀久, 後藤あや. 病院・医院に勤務する医師と看護師の皮膚科看護に対する認識. 日本皮膚科学会雑誌. 201902; 129(2):161-167.

菅野範子, 後藤あや, 佐藤恵子, 川原礼子, 畠山とも子. がん患者の手術療法の意思決定を支援する外来看護師の認識と実践. 日本プライマリ・ケア連合学会誌. 201906; 42(2):78-84.

太田 操, 服部 桜, 新井昌子, 清水川由美子, 石井佳世子, 後藤あや, 安村誠司, 藤森敬也. 東日本大震災による妊産婦の避難生活とうつ傾向に関する検討. 日本母子看護学会誌. 201902; 12(2):21-31.

新井猛浩, 後藤あや, 小松美津子, 安村誠司. 福島市における乳幼児を持つ母親の不適切な育児行動とその関連要因. 福島県保健衛生雑誌. 201903; 33:10-15.

山脇功次, 後藤あや, 佐藤健一, 遠藤智子, 古山綾子, 斎藤恵子, 吉野優子, 山田祐子, 松本珠実, 中島誠子. 東北3県における災害後の保健師活動 現状と課題についてのテキスト解析の試み. 福島県保健衛生雑誌. 201903; 33:28-33.

Taniguchi N. Copper-Catalyzed Monochalcogenation of Terminal Alkyne Using Dichalcogenide Compound via Cleavage of the Dichalcogenide Bond. 福島県立医科大学総合科学教育研究センター紀要. 201910; 8:36-44.

〔総説等〕

町田宗仁, 吉田和樹, 弓屋 結, 後藤あや. 原子力災害後の福島県におけるヘルスリテラシー研修: 普及促進のための効果的プログラムの検討. アイソトープニュース. 201902; 761:38-41.

小林智之, 吉田和樹, 熊谷敦史, 安井清孝, 後藤あや, 竹林由武, 黒田佑次郎, 末永カツ子, 小宮ひろみ, 村上道夫. 災害関連健康リスクに対するコミュニケーションと協働. 安全工学. 201912; 58(6):387-393.

後藤あや. ミッドキャリアの今、自分の役割について考えていること. 公衆衛生. 201908; 83(8):574-575.

吉田和樹, 小林智之, 後藤あや, 竹林由武, 熊谷敦史, 安井清孝, 黒田佑次郎, 末永カツ子, 小宮ひろみ, 前田 香, 村上道夫. 地域住民と健康リスクを考える 東日本大震災後の保健活動の向上を目指したリスクコミュニケーション支援事業. 保健師ジャーナル. 201901; 75(1):54-59.

村上道夫, 後藤あや. 地域にいきる医療人育成 原子力災害後における健康コミュニケーション教育の構築. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):77-83.

佐野 碧, 児山洋平, 黒田佑次郎, 植田紀美子, 後藤あや. 飯舘村での母子保健活動の取組み 養育者を主体とした育児支援ツールの導入について. 福島県保健衛生雑誌. 201903; 33:45-48.

中島理沙子, 後藤あや, 熊谷敦史, 錫谷達夫. ベラルーシ共和国への留学経験: 男女共同参画の国際比較. 福島県保健衛生雑誌. 201903; 33:49-51.

後藤あや, 尾崎米厚, 伊藤慎也, 郡山千早, 坂野晶司, 鈴木貞夫, 鈴木友理子, 高橋美保子, 田中 耕, 横川博英, 吉田都美, 吉村健清, 弓屋 結. 賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート 日本公衆衛生学会モニタリング・レポート委員会による聴衆参加型シンポジウム. 日本公衆衛生雑誌. 201908; 66(8):391-396.

〔その他〕

Taniguchi N, Kitayama K. Zn-catalyzed dihydrosulfenylation of alkynes using thiols (Proceeding of 28th ISOCS). Phosphorus, Sulfur, and Silicon and the Related Elements. 201907; 194(7):739-741.

著 書・訳 書

後藤あや (ワーキンググループ主査). In: 暮らしの手引き作成ワーキンググループ. 暮らしの手引き+ (プラス). 東京: 環境省; 201903.

反町篤行 (分担執筆). In: 大気環境学会 編. 大気環境の事典. 東京: 朝倉書店; 201909.

研究発表等

〔研究発表〕

Taniguchi N, Kitayama K. Convenient Synthesis of Dithioacetals via Metal-Catalyzed Dihydrosulfenylation of Alkynes by Thiols. 20th International Symposium on Organometallic Chemistry Directed Towards Organic Synthesis; 20190721-25; Heidelberg, Germany. Abstract. 341.

佐野 碧, 児山洋平, 黒田佑次郎, 赤石澤愛, 八代千賀子, 松田久美子, 植田紀美子, 後藤あや. 全村避難後の飯舘村の保健活動における育児支援ツールの開発の過程. 第 89 回日本衛生学会学術総会; 20190201; 名古屋. 日本衛生学雑誌. 74(Suppl):S139.

仙波ゆかり, 齋藤和枝, 渡邊美奈, 鳴原花織, 関 純子, 佐藤紀子, 篠原 伸, 齋藤絵梨子, 渡邊範彦, 樫村 誠, 後藤あや, 峯岸正好. 福島県献血者におけるヘモグロビン値不適格者の分析. 第 114 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20190302; 山形. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(3):671.

谷口暢一, 北山健司. ニッケル触媒によるアルキンとチオールからのジチオアセタールの合成. 第 99 日本化学会春季年会; 20190316-19; 神戸. 講演要旨集(DVD-ROM). 3H5-04.

渡邊範彦, 樫村 誠, 齋藤絵梨子, 後藤あや, 峯岸正好. 輸血業務の理解には現場経験が必要である. 輸血業務に関するアンケート調査結果解析. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20190523; 熊本. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(2):383.

谷口暢一. チオスルホナートをを用いた非対称ジスルフィドとスルフェンアミドの合成. 第 30 回万有仙台シンポジウム; 20190629; 仙台. アブストラクト. 54.

吉井直美, 伊藤ひとみ, 田母神希予, 服部 桜, 清水川由美子, 久保みさえ, 尾形優子, 後藤あや. 特定妊婦スクリーニングによる継続支援の有用性の検証. 福島県保健衛生学会第 48 回; 20190830; 郡山. 福島県保健衛生雑誌. 34:22.

谷口暢一. 酸化的条件下におけるコバルト触媒を用いたアルキンの立体選択的ヨードスルホニル化. 第 66 回有機金属化学討論会; 20190914-16; 東京. Abstracts. 90.

井上椋太, 山口高志, 野口 泉, 反町篤行, 松田和秀. EANET フィルターパック法における NH_4NO_3 粒子のアーティファクト補正法の開発. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

井上椋太, 山口高志, 野口 泉, 反町篤行, 松田和秀. EANET フィルターパック法の窒素成分測定精度の評価と乾性沈着量推定に与える影響. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

笠原健太, 反町篤行, 堅田元喜, 松田和秀. 緩和渦集積法を用いた東京郊外の森林における硝酸ガスフラックスの季節変化. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

笠原健太, 反町篤行, 堅田元喜, 松田和秀. 森林における硝酸ガスの沈着速度抵抗モデルの検証. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

反町篤行, 松田和秀, 和田龍一, 堅田元喜, 高木健太郎. 森林におけるエアロゾル個数濃度の鉛直分布測定. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

反町篤行, 北 和之, 南光太郎, 保坂健太郎, 堅田元喜, 五十嵐康人. 緩和渦集積法を用いたバイオエアロゾルフラックスの測定. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

南光太郎, 堅田元喜, 北 和之, 反町篤行, 保坂健太郎. 多層陸面モデルを用いた真菌胞子の森林上空への乱流輸送過程の解析. 第 60 回大気環境学会年会; 20190918-20; 東京.

和田龍一, 松見 豊, 高梨 聡, 深山貴文, 望月智貴, 谷 晃, 米村正一郎, 植山雅仁, 高木健太郎, 堅田元喜, 中野隆志, 反町篤行. 富士山麓森林におけるオゾンフラックスの季節変化とその要因の解明. 第 60 回大気

環境学会年会; 20190918-20; 東京.

谷口暢一, 北山健司. 金属触媒によるラジカル反応を経由したアルキンのジヒドロスルフェニル化. 第116回有機合成シンポジウム; 20191031-1101; 東京. 講演予稿集. 40.

中野尚治, 和田龍一, 松見 豊, 高梨 聡, 深山貴文, 小南裕志, 望月智貴, 谷 晃, 米村正一郎, 植山雅仁, 高木健太郎, 堅田元喜, 中野隆志, 反町篤行. 富士吉田アカマツ林におけるオゾンフラックスの季節変化. 日本農業気象学会北陸支部・関東支部 2019 年度合同例会; 20191122; 東京.

Hasan MM, Janik M, Sorimachi A, Imoto T. Characterization of indoor radon/thoron for common houses in Bangladesh. 日本保健物理学会第 52 回研究発表会; 20191205-07; 仙台.

大森康孝, 反町篤行, Gun-Aajav M, Enkhgerel N, Munkherdene G, Oyunbolor G, Shajbalidir A, Palam E, 山田智恵里. モンゴル国ドルノゴビ県のウラン鉱床分布域における大地放射線調査. 日本保健物理学会第 52 回研究発表会; 20191205-07; 仙台.

反町篤行. エアロゾル粒子とラドン壊変生成物の粒径分布の関係. 日本保健物理学会第 52 回研究発表会; 20191205-07; 仙台.

反町篤行, Sahoo SK, 大森康孝. ラドンをを用いた屋内換気率の推定方法の検討. 日本保健物理学会第 52 回研究発表会; 20191205-07; 仙台.

〔シンポジウム〕

後藤あや. 妊産婦に関する調査：福島における妊娠と育児についての対話. 放射線医学県民健康管理センター主催国際シンポジウム; 20190114-15; 福島. シンポジウム報告書. 66-69.

〔特別講演〕

後藤あや. 妊娠と育児と地域：記述統計から参加型研究へ. 研究連携セミナー2019&総合科学研究会合同セミナー; 20190214; 福島.

後藤あや. 教育講演 1 地域の Well-Being と育児支援、そして次世代育成. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928-29; 福島. 抄録集. 71.

医療人育成・支援センター

論文

〔原 著〕

Tang Z, Chen Y, Liu SH, Kobayashi T, Chen W. Continuous Cuffless Blood Pressure Estimation Based on Pulse Transit Time: A New Evaluation with Invasive BP Reference. 2019 IEEE 10th International Conference on Awareness Science and Technology, iCAST 2019 - Proceedings. 201910; 1-5.

Aoki S, Doi S, Horiuchi S, Takagaki K, Kawamura A, Umeno R, Fujita M, Kitagawa N, Sakano Y. Mediating effect of environmental rewards on the relation between goal-directed behaviour and anhedonia. *Current Psychology*. 201906; doi: 10.1007/s12144-019-00312-y.

Hakozaki M, Sekine T, Otani K, Konno S. Acute pseudogout lumbar discitis resembling acute pyelonephritis in an elderly woman. *Internal Medicine Journal*. 201908; 49(8):1048-1050.

Kamitani T, Yamamoto Y, Kurita N, Yamazaki S, Fukuma S, Otani K, Sekiguchi M, Onishi Y, Takegami M, Ono R, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. Longitudinal Association Between Subjective Fatigue and Future Falls in Community-Dwelling Older Adults: The Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). *Journal of Aging and Health*. 201901; 31(1):67-84.

Kamitani T, Yamamoto Y, Fukuma S, Ikenoue T, Kimachi M, Shimizu S, Yamamoto S, Otani K, Onishi Y, Takegami M, Ono R, Yamazaki S, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. Association Between the Discrepancy in Self-Reported and Performance-Based Physical Functioning Levels and Risk of Future Falls Among Community-Dwelling Older Adults: The Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). *Journal of the American Medical Directors Association*. 201902; 20(2):195-200.e1.

Akaihashi M, Shikama Y, Matsumoto Y, Ono T, Kimura J, Hosoya M. Glucocorticoids attenuate the sensitivity of glucocorticoid-resistant lymphoid cells to doxorubicin via reduction in OCTN2. *Journal of Cellular Biochemistry*. 201909; 459(1-2):49-59.

Kato T, Inose H, Ichimura S, Tokuhashi Y, Nakamura H, Hoshino M, Togawa D, Hirano T, Haro H, Ohba T, Tsuji T, Sato K, Sasao Y, Takahata M, Otani K, Momoshima S, Tateishi U, Tomita M, Takemasa R, Yuasa M, Hirai T, Yoshii T, Okawa A. Comparison of Rigid and Soft-Brace Treatments for Acute Osteoporotic Vertebral Compression Fracture: A Prospective, Randomized, Multicenter Study. *Journal of Clinical Medicine*. 201902; 8(2):198.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Tominaga R, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S; DISTO project working group. Reference values of the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis and characteristics of deterioration of QOL: Lumbar Spinal Stenosis Diagnosis Support Tool: DISTO project. *Journal of Orthopaedic Science*. 201907; 24(4):584-589.

Murata S, Ono R, Omata J, Endo T, Otani K. Coexistence of Chronic Musculoskeletal Pain and Depressive Symptoms and Their Combined and Individual Effects on Onset of Disability in Older Adults: A Cohort Study. *Journal of the American Medical Directors Association*. 201910; 20(10):1263-1267.

Kamitani T, Yamamoto Y, Fukuma S, Ikenoue T, Kimachi M, Shimizu S, Yamamoto S, Otani K, Sekiguchi M, Onishi Y, Takegami M, Ono R, Yamazaki S, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. Association Between the Discrepancy in Self-Reported and Performance-Based Physical Functioning Levels and Risk of Future Falls Among Community-Dwelling Older Adults: The Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). *Journal of the American Medical Directors Association*. 201902; 20(2):195-200.

Kimachi K, Kimachi M, Takegami M, Ono R, Yamazaki S, Goto Y, Onishi Y, Sekiguchi M, Otani K, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Level of Low Back Pain-Related Disability is Associated with Risk of Subsequent Falls in an Older Population: Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). *Pain Medicine*. 201912; 20(12):2377-2384.

青木俊太郎, 岩野 卓, 高垣耕企, 高野裕太, 坂野雄二. うつ病に対する行動活性化の作用機序に関する研究動向. *行動科学*. 201902; 57(2):1-8.

成瀬麻夕, 堀内 聡, 青木俊太郎, 井上 猛, 坂野雄二. 双極性障害患者の Perceived Criticism が 6 か月後の抑うつ症状および躁症状に与える影響. *精神医学*. 201904; 61(4):471-480.

入江智也, 河村麻果, 青木俊太郎, 横光健吾, 坂野雄二. 大学生の精神的健康に及ぼす集団アクセプタンス&コミットメント・セラピー(G-ACT)の効果—非無作為化パイロット試験—. *認知行動療法研究*. 201901; 45(1):1-12.

青木俊太郎, 高垣耕企, 河村麻果, 北川信樹, 福原祐佳子, 藤田雅彦, 佐々木竜二, 坂野雄二. 行動活性化による抑うつ気分及び興味・喜びの喪失と行動的要因の改善の関係性. *認知療法研究*. 201902; 12(1):36-45.

〔総説等〕

大谷晃司. 福島県全体の臨床医学教育力アップに向けた取り組み. *福島医学雑誌*. 201904; 69(1):43-49.

色摩（亀岡）弥生. 医学部高学年における TBL (Team-based Learning)の導入とアクティブラーニングについて. *福島医学雑誌*. 201904; 69(1):59-66.

大谷晃司. 新専門医制度について—総論—. *福島県立医科大学医学部同窓会報 光が丘*. 201902; 48:43-48.

〔その他〕

菅原亜紀子, 諸井陽子, 小林 元, 大谷晃司, 石川和信. 医学生の医学用語に対する認知と理解の習熟過程. *医学教育*. 201912; 50(6):563-567.

色摩（亀岡）弥生, 刑部有祐, 大谷晃司. 医学生のアンプロフェッショナルな行動を防ぐための特別授業の報告：飲酒と性暴力. *福島医学雑誌*. 201904; 69(1):19-30.

著 書・訳 書

青木俊太郎. 12-14 メタアナリシス, 12-21 バイアス. In: 日本認知行動療法学会. 認知行動療法事典. 東京: 丸善出版; 201909.

大谷晃司. 心理的なストレスが症状を悪化させて治りを遅くすると医師が警告. In: 脊柱管狭窄症を自分で治す最強辞典. 東京: マキノ出版; 201909. p.102-107.

大谷晃司. 頸椎 頸椎椎間板ヘルニア. In: 紺野慎一 編. 整形外科 日常診療のエッセンス 脊椎. 東京: メジカルビュー社; 201902. p.134-143.

大谷晃司. 腰部脊柱管狭窄症. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 編. 今日の治療指針 私はこう治療している 2019 年版. 東京: 医学書院; 201901. p.1146-1148.

研究発表等

〔研究発表〕

Ono R, Murata S, Omata J, Endo T, Otani K. The impact of locomotive disorders on social frailty in community-dwelling elderly: a 1-year prospective cohort study. World Confederation for Physical Therapy Congress; 20190510-13; Geneva, Switzerland.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Kikuchi S, Konno S. Association between core stability and low back pain in high-school baseball players. 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Kikuchi S, Konno S. Development and enlargement of ossification of the ligamentum flavum in the thoraco-lumbar spine in Asian professional baseball players: comparison with age- and sex-matched control subjects. 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayash H, Kikuchi S, Konno S. Lumbar spine facet joint osteoarthritis in professional athletes. 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Quantitative evaluation of motor function of the lower extremity using the foot tapping test: Part2. Five-year follow-up. 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Nikaido T, Otani K, Sekiguchi M, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Characteristics of neuropathic pain due to lumbar spine disorders: Relationship with recognition of pain, psychiatric problems and HR-QoL. 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual

Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Nikaido T, Otani K, Sekiguchi M, Igari T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Relationship between degenerative changes in paraspinal muscles and lumbar spinal stenosis in the community. 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Otani K, Kikuchi S, Nikaido T, Yabuki S, Konno S. Cross-sectional and one-year follow-up study for the relationship between lumbar spinal stenosis and low back pain in the community. 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Otani K, Kikuchi S, Nikaido T, Konno S. Does Dural Sac Cross-sectional Area (DCSA) predict the presence of subjective LSS Symptom for six-year follow-up? 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Otani K, Kikuchi S, Nikaido T, Konno S. Does magnitude of dural tube compression induce fall? - A prospective one-year follow-up in the community -. 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Five-year results of lumbar spinal stenosis with degenerative spondylolisthesis treated with decompression alone. 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Pre-operative evaluation by the Brief Scale for Psychiatric problems in Orthopaedic Patients (BS-POP) relates to poor surgical outcomes of lumbar decompression surgery. 46th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Kobayashi H, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Handa J, Otani K, Yabuki S, Konno S. Surgical outcome of posterior minimum invasive surgery using spinal instruments for pelvic ring injury. 19th Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery; 20190807-11; Suzhou, China.

Ishikawa K, Kobayashi G, Igarashi H, Sugawara A, Naka T, Abe Y. Building a nationwide medical teachers' network engaging in simulation-based education. AMEE 2019; 20190828; Vienna, Austria. Abstract book. 1722.

Toda W, Matsumoto J, Itagaki S, Ohnishi T, Ito H, Ishii S, Shiga T, Matsuyamoto T, Aoki S, Miura I, Yabe H. The relationship between white matter integrity and tendency of ADHD: a preliminary study. 32nd ECNP CONGRESS; 20190907-10; Copenhagen, Denmark.

Ono R, Murata S, Uchida K, Omata J, Endo T, Otani K. The reciprocal relationship between locomotive disorders and social frailty in community-dwelling elderly: 2 years cohort study. 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress; 20191023-27; Taipei, Taiwan.

二階堂琢也, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 福島県における脊椎外科手術レジストリの現状. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台. 東北整形災害外科学会雑誌. 62(1):201.

草野敬悟, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 幼児環軸関節亜脱臼の治療経験—一例報告—. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台. 東北整形災害外科学会雑誌. 62(1):204.

國島麻実子, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 転移性髄内腫瘍の治療経験—1 例報告—. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台. 東北整形災害外科学会雑誌. 62(1):204-205.

結城拓也, 大谷晃司, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎砂時計腫術後 15 年で頸椎砂時計腫を発症した 1 例. 第 29 回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台. 東北整形災害外科学会雑誌. 62(1):205.

青木俊太郎, 土井理美, 高垣耕企, 河村麻果, 北川信樹, 矢部博興, 坂野雄二. 気分障害患者の不安によって生じる生活機能障害—価値に向かう行動の媒介効果—. 第 11 回日本不安症学会大会; 20190301-02; 岐阜.

高野裕太, 青木俊太郎, 坂野雄二. Clinical Perfectionism が不安症状を強める過程—ネットワーク分析を用いた検討—. 第 11 回日本不安症学会大会; 20190301-02; 岐阜.

Tominaga R, Otani K, Iwabuchi M, Kikuchi S, Shirado O, Konno S. Association between spino-pelvic alignment and QOL in community-dwelling adults - The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study (LOHAS) -. 第 22 回脊椎と神経を語る会(SGNS); 20190309-11; 東京.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手の腰痛—メディカルサポートは有用か—. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):430.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 紺野慎一. 野球選手における腰椎終末期分離の存在は競技生活に影響するか? 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):432.

大瀧 遥, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. MRI による頸椎椎間板変性の各種評価法の比較. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):544.

二階堂琢也, 大谷晃司, 関口美穂, 猪狩貴弘, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 地域住民における傍脊柱筋の脂肪変性と腰部脊柱管狭窄との関係—南会津スタディー—. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):545.

大谷晃司, 二階堂琢也, 菊地臣一, 紺野慎一. 地域住民における腰部脊柱管狭窄の実態—硬膜管の横断面積は 10 年後の腰部脊柱管狭窄症状の存在を予測できるか. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):547.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 矢吹省司, 紺野慎一. 足 10 秒テストを用いた、腰

仙椎部疾患における下肢運動機能の定量評価—第2報：術後5年フォローアップによる経時的変化の検討—。第48回日本脊椎椎病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):610.

大谷晃司, 二階堂琢也, 菊地臣一, 紺野慎一. 腰部部硬膜管面積と転倒との関係—縦断研究—. 第48回日本脊椎椎病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research 10(3):612.

二階堂琢也, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎疾患による神経障害性疼痛の特徴—痛みの認知、心理的問題、QOLとの関係—. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190509; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(2):S122.

小林 洋, 大谷晃司, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 10秒テストと握力を用いた頸髄症スクリーニングツールの開発—利き手と左右差を用いたスコアリングシステム—. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190511; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(3):S505.

大瀧 遥, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. MRIによる頸椎椎間板変性の評価—各種評価法の比較—. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190511; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(3):S698.

大谷晃司, 菊地臣一, 紺野慎一. ロコモティブシンドロームの経年的変化. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190511; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(3):S809.

森本忠嗣, 前田和政, 平田寛人, 寺島嘉紀, 宮腰尚久, 大谷晃司, 寒竹 司, 中村英一郎, 信藤真理, 園畑素樹, 馬渡正明. 感染性心内膜炎を合併した化膿性脊椎炎の特徴. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190512; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(3):S1059.

大瀧 遥, 渡邊剛広, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. Comparison of Various Evaluation Methods of Cervical Intervertebral Disc Degeneration by Magnetic Resonance Imaging -Minami Aizu Study-. NEST; 20190525; 福島.

小野 玲, 村田峻輔, 内田一彰, 小俣純一, 遠藤達矢, 大谷晃司. 地域在住後期高齢者においてソーシャルフレイルと認知機能低下は腎機能低下と関連するか? 第31回日本老年学会総会; 20190606-08; 仙台. 日本老年医学会雑誌. 56(suppl):116-117.

青木俊太郎, 横倉俊也, 上田由桂, 菊地 潤, 志賀可奈子, 大西真央, 石山あかね, 本谷 亮, 土屋垣内晶, 矢部博興. 福島県立医科大学神経精神医学講座の研究—認知行動療法(CBT)研究. 第115回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟.

河野創一, 菅野和子, 浅野太志, 青木俊太郎, 藤原達雄, 阿部和道, 高橋敦史, 義久精臣, 三浦 至, 矢部博興. 福島県立医科大学神経精神医学講座の研究—光トポグラフィー(NIRS)研究. 第115回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟.

戸田 亘, 松本純弥, 板垣俊太郎, 大西 隆, 伊藤 浩, 石井士朗, 志賀哲也, 松本貴智, 青木俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 自閉スペクトラム症の傾向と白質線維束における関連解析の試み. 第115回日本精神神経学会学術総会; 20190620-22; 新潟.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 骨粗鬆症性椎体骨折偽関節に対する手術療法—平成における当科の治療法の変遷—. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡. 東北整形外科学会雑誌. 63(1):82.

Otaki H, Otani K, Sekiguchi M, Watanabe T, Konno S. Comparison of Various Evaluation Methods of Cervical Intervertebral Disc Degeneration by Magnetic Resonance Imaging. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡. 東北整形外科学会雑誌. 63(1):93-94.

石川圭佑, 半田隼一, 二階堂琢也, 渡邊和之, 笹島功一, 相沢利武, 大谷晃司. 腰部脊柱管狭窄症における認知症が術後疼痛と機能に与える影響について. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡. 東北整形外科学会雑誌. 63(1):127.

大瀧 遥, 渡邊剛広, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. MRI による頸椎椎間板変性の評価 —南会津スタディー. 整形外科痛みを語る会; 20190720; 山口.

坂本信雄, 唐 尊一, 色摩弥生, 大谷晃司. 臨床実習へのモデル・コア・カリキュラムの活用と自己評価表の導入—国際認証受審に向けた本学の取り組み—. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190726; 京都. 医学教育. 50(suppl.):94.

諸井陽子, 色摩弥生, 安井清孝, 青木俊太郎, 千葉靖子, 坂本信雄, 唐 尊一, 末永博紀, 大谷晃司. 医学部におけるチーム基盤型学習(TBL)の導入に関する全国調査. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190726-27; 京都. 医学教育. 50(suppl.):111.

安井清孝, 色摩弥生, 坂本信雄, 青木俊太郎, 諸井陽子, 末永博紀, 唐 尊一, 千葉靖子, 大谷晃司. 鑑別疾患想起能力に対する症候論講義と TBL 授業の比較. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190726-27; 京都. 医学教育. 50(suppl.):112.

青木俊太郎, 竹林由武, 色摩弥生, 大谷晃司. コミュニケーション講義が医学生のコミュニケーションを行う自信に与える影響. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190727; 京都. 医学教育. 50(suppl.):114.

新津順也, 大山伊吹, 鈴木禄貴, 岡村悠里, 秋本愛美, 江角 愛, 川島 萌, 桜井睦美, 鈴木早也香, 増田千晴, 加賀谷豊, 大谷晃司. 福島県立医科大学と東北大学医学科の比較—災害教育の変遷—. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190726-27; 京都. 医学教育. 50(Suppl.):161.

色摩弥生, 青木俊太郎, 坂本信雄, 末永博紀, 唐 尊一, 千葉靖子, 諸井陽子, 安井清孝, 大谷晃司. 早期臨床体験実習のバックヤード見学が学生に与える影響. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190727; 京都. 医学教育. 50(suppl.):198.

青木俊太郎, 色摩弥生, 安井清孝, 諸井陽子, 坂本信雄, 末永博紀, 唐 尊一, 千葉靖子, 大谷晃司. SP 参加型医療面接実習での学生の自己効力感に対するフィードバックの影響. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190726-27; 京都. 医学教育. 50(suppl.):223.

神田正樹, 木下瑠菜, 楯 和馬, 小野将寛, 古矢野々香, 垣野内景, 大谷晃司, 挟間章博. 大学入学前の人体と健康教育に関する分析および教科書間の比較. 第 51 回日本医学教育学会大会; 20190726-27; 京都. 医学教育.

50(Suppl):248.

陳内彩音, 河村麻果, 青木俊太郎, 藤田雅彦. 閉塞性睡眠時無呼吸患者の肥満に対する集団認知行動療法の長期予後の検討. 第 19 回日本認知療法・認知行動療法学会; 20190830-0901; 東京.

河村麻果, 入江智也, 本谷 亮, 青木俊太郎, 坂野雄二. CBT におけるアライアンス向上を促すためのセラピストの訓練要素に関する展望. 日本認知・行動療法学会第 45 回大会; 20190901; 名古屋.

大瀧 遥, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. MRI による腰椎椎間板変性分類法と頸椎椎間板変性分類法の頸椎における比較. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 野球選手における腰痛の診断と治療. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

加藤欽志, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 椎間関節性腰痛の診断と治療. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 足 10 秒テストを用いた、腰仙椎部疾患における下肢運動機能の定量評価—第 2 報: 術後 5 年フォローアップによる経時的変化の検討—. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸. Journal of Spine Research. 10(3):610.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 慢性腰痛に対するリエゾンアプローチ. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. バスケットボールと腰痛—学童期バスケットボール選手における腰痛調査の結果から—. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

青木俊太郎, 戸田 亘, 大谷晃司, 本谷 亮, 横倉俊也, 松本純弥, 志賀可奈子, 七海隆之, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 疼痛性障害に対する集団行動活性化療法. 第 10 回福島運動器疼痛セミナー; 20190921; 福島.

長谷川美規, 山田 仁, 大谷晃司, 紺野慎一. テリパラチド週 1 回製剤投与における有害事象発生の実態と治療継続への影響. 第 21 回日本骨粗鬆症学会; 20191011; 神戸. 日本骨粗鬆症学会雑誌. 5(2):297.

大瀧 遥, 渡邊剛広, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. 頸椎椎間板変性の MRI による評価と疼痛. 福島運動器疼痛セミナー; 20191012; 福島.

大瀧 遥, 渡邊剛広, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. 頸椎椎間板変性の MRI による各種評価法の再現性の比較. 第 34 回日本整形外科基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1646.

富永亮司, 大谷晃司, 岩渕真澄, 菊地臣一, 白土 修, 紺野慎一. 一般地域住民における脊椎・骨盤矢状面アライメントと QOL の関連性の検討. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1727.

平井 亨, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. 地域住民における頸髄圧迫と臨床症状の疫学調査. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(8):S1727.

青木俊太郎, 成瀬麻夕, 堀内 聡, 松本貴智, 上田由桂, 三浦 至, 矢部博興. うつ病患者の抑うつスキーマと家族からの批判の関係性. 第73回東北精神神経学会総会; 20191027; 秋田.

内田一彰, 村田峻輔, 遠藤達矢, 小俣純一, 大谷晃司, 小野 玲. 地域在住高齢者における4年間のロコモティブシンドロームの縦断的变化. 第6回日本サルコペニア・フレイル学会; 20191109-10; 新潟.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. アスリートにおける腰椎椎間関節障害の診断. 第22回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会; 20191128-29; 高松.

青木俊太郎, 戸田 亘, 菅野和子, 大谷晃司, 本谷 亮, 横倉俊也, 松本純弥, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 疼痛性障害に対する集団行動活性化の「痛み度」の変化に関する予備調査. 第49回日本臨床神経生理学会学術大会; 20191128-30; 福島.

高橋雄一, 星野 大, 刑部有祐, 吉田久美, 松本貴智, 青田美穂, 今野 嶺, 藤井進也, 青木俊太郎, 菅野和子, 各務竹康, 森 湧平, 和田知紘, 志賀哲也, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 三浦 至, 大井直往, 福島哲仁, 矢部博興. 統合失調症に対するリズム改善プログラムがミスマッチ陰性電位に及ぼす影響. 第49回日本臨床神経生理学会学術大会; 20191128-30; 福島.

戸田 亘, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤浩, 紺野慎一, 矢部博興. 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化. 第49回日本臨床神経生理学会学術集会; 20191128-30; 福島. 臨床神経生理学. 47(5):448.

青木俊太郎, 竹林由武, 色摩弥生, 大谷晃司. 医学生が非言語的コミュニケーションを自己理解するためのビデオフィードバックプログラム. 第14回東北シミュレーション医学医療教育研究会大会; 20191207; 福島.

過年業績

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Dural tear during endoscopic posterior lumbar decompression surgery. PSMISS 2018; 20180719; Kaohsiung, Taiwan.

富永亮司, 矢吹省司, 兼子陽太, 小林 洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 大谷晃司, 紺野慎一. 多発椎体骨折を契機に発見された続発性骨粗鬆症の1例. 第39回東北骨代謝・骨粗鬆症研究会; 20180203; 仙台.

加藤欽志, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 富永亮司, 紺野慎一. 椎間関節性腰痛の病態と診断のポイント. 腰痛シンポジウム; 20180303; 東京.

内村 啓, 渡邊和之, 富永亮司, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 椎骨動脈走行異常による頸髄症-1例報告-. 第115回東北整形災害外科学会; 20180427; 青森. 東北整形災害外科学会雑誌. 62(1):149.

富永亮司, 矢吹省司, 兼子陽太, 小林 洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 大谷晃司, 紺野慎一. 多発椎体骨折を契機に発見された続発性骨粗鬆症の1例. 第115回東北整形災害外科学会; 20180427; 青森. 東北整形災害外科学会雑誌. 62(1):173.

平井 亨, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一. 地域住民における頸髄圧迫と臨床症状との関係. 第16回整形外科痛みを語る会; 20180623; 三重.

小林 洋, 二階堂琢也, 富永亮司, 加藤欽志, 渡邊和之, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 胸椎化膿性脊椎炎に対する胸腔鏡を用いた低襲前方固定術—2例報告—. 第6回 Japan Association of Spine Surgeons with Ambition; 20180804; 東京.

加藤欽志, 大歳憲一, 沼崎広法, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 加賀孝弘, 猪狩貴弘, 金内洋一, 増子遼介, 兼子陽太, 紺野慎一. 高校野球選手の腰痛と下肢タイトネー前向きコホートによる検討—. 第26回日本腰痛学会; 20181026; 静岡.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 紺野慎一. 慢性腰痛に対する集学的治療の現状—診療科間連携と地域連携における課題—. 第26回日本腰痛学会; 20181026; 静岡.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 紺野慎一. 慢性腰痛に対するリエゾンアプローチの実践. 第26回日本腰痛学会; 20181026; 静岡.

二階堂琢也, 矢吹省司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 紺野慎一. 頸椎疾患における脊椎内視鏡とO-armナビゲーション併用手術の有用性. 第21回日本低襲脊椎外科学会学術集会; 20181129; 東京. 東日本整形災害外科学会雑誌. 31(3):241.

〔シンポジウム〕

二階堂琢也, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎外科レジストリの成果と今後の課題. 第29回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台. 東北整形災害外科学会雑誌. 62(1):201.

大谷晃司, 菊地臣一, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 一般住民における腰部脊柱管狭窄症と腰痛との関係—南会津スタディより—. 第92回日本整形外科学会学術総会; 20190510; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(2):309.

諸井陽子, 色摩弥生. 開設10周年を迎えた福島県立医科大学スキルラボの利用拡大と運営の工夫. 第13回東北シミュレーション医学教育研究会; 20190525; 山形.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 骨粗鬆症性椎体骨折偽関節に対する手術療法—平成における当科の治療法の変遷—. 第116回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

甲田宗良, 成瀬麻夕(企画, 話題提供), 松本 昇(話題提供), 青木俊太郎(司会), 中村 亨(指定討論). 双極性障害の認知・行動病理のメカニズムとその治療 3—ポジティブ感情の調整過程に焦点を当てて—. 日本認知・行動療法学会第45回大会; 20190831; 名古屋.

青木俊太郎（企画，司会），山本竜也，神原広平，金澤潤一郎（話題提供者）．抑うつが多様性に認知行動療法をどのように活用するか？ 日本認知・行動療法学会第 45 回大会；20190831；名古屋．

二階堂琢也，矢吹省司，大谷晃司，増子博文，矢部博興，紺野慎一．疼痛と神経科学 慢性腰痛の診断と治療 集学的アプローチの現状と課題．第 49 回日本臨床神経生理学会学術集会；20191128；福島．臨床神経生理学．47(6):349．

矢吹省司，牛田亨宏（座長），松本純弥，二階堂琢也，青木俊太郎（シンポジスト）．疼痛と神経科学．第 49 回日本臨床神経生理学会学術大会；20191128-30；福島．

加藤欽志，大歳憲一，矢吹省司，大谷晃司，二階堂琢也，渡邊和之，小林 洋，半田隼一，紺野慎一．野球選手の脊椎障害に対するメディカルサポート．第 138 回西日本整形・災害外科学会学術集会；20191130-1201；佐賀．整形外科と災害外科．68(2):35．

〔特別講演〕

大谷晃司．高齢者運動器疼痛の治療－骨粗鬆症から慢性疼痛まで－．第 77 回八事整形会；20190314；名古屋．

大谷晃司．運動器難治性疼痛治療の考え方とその実際．運動器疼痛治療 WEB セミナー2019；20190320；Web 配信．

色摩弥生．大学教員にとっての研究 ～医学研究と教育研究の経験から～．福島医学会第 476 回学術研究集会；20190523；福島．

大谷晃司．難治性運動器疼痛治療の実際：リエゾン診療を通じて学んだこと．第 17 回埼玉整形外科トピック・リエゾンセミナー；20191031；さいたま．

大谷晃司．非特異的腰痛への対応の試み．日本カイロプラクティック科学学会第 10 回学術大会；20191104；東京．

〔招待講演〕

大谷晃司．慢性腰痛の治療戦略～TV の症例を再提示する～．第 10 回道南疼痛研究会学術講演会；20190618；函館．

大谷晃司．医師教育の動向について(1)：総論．第 1 回一般社団法人福島県医療福祉関連教育施設協議会教育研修会；20191221；郡山．

色摩弥生．医師教育の動向について(2)：アクティブラーニング．第 1 回一般社団法人福島県医療福祉関連教育施設協議会教育研修会；20191221；郡山．

〔その他〕

大谷晃司．臨床研修医指導医講習会 タスクフォース；20190112-13；福島．

大谷晃司. 福島県の医師定着への取り組みー現状と目指すべき方向性ー. 臨床研修医指導医講習会; 20190113; 福島.

大谷晃司. 福島県の医療の現状について. 平成 30 年度福島県地域医療を考える懇談会 (合同ガイダンス); 20190215; 福島.

大谷晃司. 医師養成に関する最近の話題. 卒後臨床研修管理委員会 (拡大); 20190311; 福島.

大谷晃司. 平成 31 年度臨床研修医オリエンテーション. 福島医大附属病院臨床研修医オリエンテーション; 20190401; 福島.

大谷晃司. 福島県臨床研修病院ネットワークとは? 福島県新臨床研修医合同オリエンテーション; 20190406; 猪苗代町.

大谷晃司. 6 年生への説明会. 福島医大修学資金受給者説明会; 20190517; 福島.

大谷晃司. 福島県における臨床研修. 福島県臨床研修病院ネットワークガイダンス 2019 in 福島; 20190531; 福島.

大谷晃司. 学部教育・医師養成に関する話題提供. 卒後臨床研修管理委員会 (拡大); 20190531; 福島.

大谷晃司. 医学部臨床教育の流れ. 令和元年度一般社団法人福島県立医科大学光が丘協議会定時評議員会; 20190607; 福島.

大谷晃司. 医学部臨床教育の流れ. 指導医セミナー; 20190607; 福島.

大谷晃司. 卒後臨床研修についてー概論と医大病院プログラムー. 令和元年度マッチング説明会; 20190614; 福島.

大谷晃司. 医師への道: 医師国家試験と卒後臨床研修. 福島医大医学部後援会; 20190621; 福島.

大谷晃司. 福島県の臨床研修についてー福島県臨床研修病院ネットワークー. 福島県臨床研修病院ネットワークガイダンス in 東京 2019; 20190629; 東京.

大谷晃司. 臨床研修と専門研修の方向性. 福島県立医科大学医学部後援会; 20190629; 東京.

大谷晃司. 4 年生への説明会. 福島医大修学資金受給者説明会; 20190711; 福島.

大谷晃司. 5 年生への説明会. 福島医大修学資金受給者説明会; 20190718; 福島.

大谷晃司. 未来の医療を担う皆さんへー福島県の医療の現状と皆さんへの期待ー. メディカルセミナー (福島県教育委員会主催); 20190727; 福島.

大谷晃司. 地域医療体験研修 須賀川コース. 引率教員; 20190729-31; 須賀川.

青木俊太郎. 地域医療体験研修 小野コース 1. 引率教員; 20190731-0802; 小野町.

大谷晃司, 末永博紀. 地域医療体験研修 白河コース. 引率教員; 20190731-0802; 白河.

坂本信雄. 地域医療体験研修 藤田コース. 引率教員; 20190805-07; 伊達.

末永博紀. 地域医療体験研修 いわきコース 1. 引率教員; 20190807-09; いわき.

青木俊太郎. 地域医療体験研修 いわきコース 2. 引率教員; 20190821-23; いわき.

坂本信雄, 青木俊太郎. 地域医療体験研修 南会津コース 1. 引率教員; 20190826-28; 南会津町.

大谷晃司, 末永博紀. 地域医療体験研修 小野コース 2. 引率教員; 20190828-30; 小野町.

大谷晃司. 地域医療体験研修 相双コース. 引率教員; 20190924-26; 相馬.

青木俊太郎, 末永博紀. 地域医療体験研修 いわきコース 3. 引率教員; 20190925-27; いわき.

大谷晃司. 学部教育・医師養成に関する話題提供. 卒後臨床研修管理委員会 (拡大); 20190927; 福島.

大谷晃司. 福島県立医科大学医学部 4 年生との未来を語る会シンポジウム BSL ってなんだろう? (企画、司会). 福島県立医科大学医学部 4 年生との未来を語る会; 20191011; 福島.

大谷晃司. 臨床研修医指導医講習会 タスクフォース; 20191026-27; 福島.

大谷晃司. 福島県の医師定着への取り組みー現状と目指すべき方向性ー. 臨床研修医指導医講習会; 20191027; 福島.

大谷晃司. ふくしまの地域医療を学ぶオータムセミナー2019 (企画、司会); 20191109-10; 郡山.

大谷晃司. 臨床医学教育に関する話題. 指導医セミナー (南相馬市立総合病院); 20191119; 南相馬.

大谷晃司. 臨床医学教育に関する話題. 指導医セミナー (福島赤十字病院); 20191120; 福島.

大谷晃司. 臨床医学教育に関する話題. 指導医セミナー (いわき市医療センター); 20191126; いわき.

大谷晃司. 臨床医学教育に関する話題. 指導医セミナー (竹田総合病院); 20191205; 会津若松.

大谷晃司. 臨床医学教育に関する話題. 指導医セミナー (総合南東北病院); 20191225; 郡山.

諸井陽子, 青木俊太郎, 安井清孝, 坂本信雄, 安田 恵, 末永博紀, マハム スタンヨン, 唐 尊一, 色摩 弥生, 大谷晃司. 医療コミュニケーション教育に貢献する模擬患者の新規養成の報告. 第 14 回東北シミュレーション医学教育研究会; 20191207; 福島. プログラム・抄録集. 15.

看護師特定行為研修センター

論文

〔原著〕

Soeda S, Watanabe T, Nomura S, Kojima M, Furukawa S, Endo H, Saze Z, Ozeki T, Nishiyama H, Kenjo A, Takahashi T, Yamada H, Fujimori K,. Surgical management of recurrent gynecological cancer: Complete resection is the key to longer survival. *European Journal of Gynaecological Oncology*. 201901; 40(1):28-35.

Fujita M, Okai K, Hayashi M, Abe K, Takahashi A, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S, Hashimoto Y, Ohira H. Huge Hepatocellular Carcinoma Treated with Radical Hepatectomy after Drug-eluting Bead Transarterial Chemoembolization. *Internal Medicine*. 201904; 58(8):1103-1110.

Sato N, Shimura T, Kenjo A, Kimura T, Watanabe J, Muto M, Marubashi S. Pancreaticobiliary maljunction diagnosed long after laparotomy in the neonatal period for annular pancreas: report of a case. *Surgical Case Reports*. 201902; 5(1):16.

石亀輝英, 木村 隆, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 高リスク UGT1A1 遺伝子多型を有する治癒切除不能膵癌に対し FOLFIRINOX 療法を施行した 2 例. *癌と化学療法*. 201904; 46(4):754-756.

見城 明, 丸橋 繁. 肝腫瘍および肝機能診断の進歩. *日本外科学会雑誌*. 201905; 120(3):347-349.

佐藤 哲, 見城 明, 吉田宗平, 菊池節夫, 津浦幸夫, 丸橋 繁. 軸捻転による腸閉塞で発見された小腸 GIST の 1 例. *福島医学雑誌*. 201904; 69(1):13-18.

研究発表等

〔研究発表〕

Ishigame T, Nishimagi A, Suzushino S, Muto M, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Strategy for advanced laparoscopic hepatectomy (ALH): an initial experience of three ALH cases. 7th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association(A-PHPBA2019); 20190904-07; Seoul, Korea.

佐藤直哉, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 術前胆道ドレナージと術後早期腹腔内感染症について. 第 53 回東北膵臓研究会; 20190208; 仙台.

鈴志野聖子, 月田茂之, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 当科における局所進行切除不能膵癌に対する conversion surgery についての検討. 第 53 回東北膵臓研究会; 20190208; 仙台.

小船戸康英, 町野 翔, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 転移性膵癌 4 症例の検討. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会; 20190209; 仙台.

月田茂之, 小船戸康英, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腸回転異常を伴った膵癌に対し膵全摘術を施行した 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会; 20190209; 仙台.

武藤 亮, 小船戸康英, 月田茂之, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腎細胞癌胆嚢転移に対して胆嚢摘出術を施行した 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会; 20190209; 仙台.

岡田 良, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝癌・肝切除の取り組みについて. 生活習慣病と消化器疾患フォーラム; 20190215; 福島.

石亀輝英, 月田茂之, 岡田 良, 見城 明, 丸橋 繁. 肝胆膵外科領域における遺伝子組み換えトロンボモジュリンの有用性に関する検討. 第 55 回日本腹部救急医学会総会; 20190307-08; 仙台.

岡田 良, 石亀輝英, 月田茂之, 見城 明, 丸橋 繁. 肝動脈塞栓術後に腹腔鏡下肝切除術を施行した破裂肝細胞癌の 2 例. 第 55 回日本腹部救急医学会総会; 20190307-08; 仙台.

月田茂之, 岡田 良, 石亀輝英, 見城 明, 丸橋 繁. EST 後十二指腸穿孔により生じた後腹膜膿瘍に 1 例. 第 55 回日本腹部救急医学会総会; 20190307-08; 仙台.

楡井 東, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 脂肪由来幹細胞(ADSC)および膵島細胞の積層化シート移植の効果. 第 46 回日本膵・膵島移植研究会; 20190308-09; 名古屋.

月田茂之, 小船戸康英, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 低用量 CDDP の長期投与により、著明な抗腫瘍効果を示した再発 MiNEN の 1 例. 第 52 回制癌剤適応研究会; 20190315; 神戸.

田中秀明, 後藤悠大, 清水裕史, 見城 明, 桃井伸緒. 先天性門脈大循環シャントに対する絞扼術一当院における 2 例の経験. 第 30 回東北小児肝胆膵消化管研究会; 20190316; 仙台.

石亀輝英, 木村 隆, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 丸橋 繁. 胆嚢癌縮小手術の功罪に関する検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 河野浩二, 丸橋 繁. インスリンノーマ手術における術中インスリン値・血糖値モニタリング. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

見城 明, 丸橋 繁, 遠藤俊吾, 鈴木弘行. 外科医にとっての働き方改革とは (特別企画) . 第 119 回日本外科

学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

佐藤直哉, 岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 膵癌に対する術前化学放射線治療の忍容性と安全性に関する検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

武藤 亮, 木村 隆, 月田茂之, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 膵頭十二指腸切除術後における晩期胆道合併症の危険因子解析. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

鈴志野聖子, 佐藤直哉, 月田茂之, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 当科における局所進行切除不能膵癌に対する Conversion surgery 実施 4 例の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

石亀輝英, 木村 隆, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. AIS コーディングに基づく腹部外傷アウトカム評価の検討. 日本臨床外科学会第 6 回福島県支部学術集会東北支部会; 20190427; 福島.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. IPMN における至適術式の検討. 日本臨床外科学会第 6 回福島県支部学術集会東北支部会; 20190427; 福島.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 西間木淳, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. WHO 分類改訂により診断・治療方針を再考した膵神経内分泌腫瘍の一例. 第 11 回 Tohoku-NET WORK; 20190518; 仙台.

田中秀明, 後藤悠大, 清水裕史, 見城 明, 桃井伸緒. 尾状葉の実質内を走行する門脈大循環シャントに対する絞扼術を施行した 1 例. 第 56 回日本小児外科学会学術集会; 20190523-25; 久留米. 日本小児外科学会雑誌. 55(3):508.

後藤悠大, 滝口和暁, 三森浩太郎, 尾形誠弥, 清水裕史, 高木忠之, 見城 明, 田中秀明. 小児重症膵外傷における保存的療法の有用性と外科的介入の必要性. 第 56 回日本小児外科学会学術集会; 20190523-25; 久留米. 日本小児外科学会雑誌. 55(3):547.

及川 孔, 後藤悠大, 滝口和暁, 三森浩太郎, 清水裕史, 高木忠之, 見城 明, 田中秀明. 腹腔鏡下ドレナージ術により膵温存が可能であった主膵管損傷を伴う小児膵外傷の 1 例. 第 92 回日本小児外科学会東北地方会; 20190608; 仙台.

Ishigame T, Kimura T, Tsukita S, Suzushino S, Muto M, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Clinical Significance of Assessment on Lymphatic and Blood Vessel invasion in Ampullary Cancer. 第 31 回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Kakuta K, Sato N, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. A case of teicoplanin-induced hemophagocytic syndrome after pancreaticoduodenectomy. 第 31

回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Kenjo A, Tsukita S, Suzushino S, Muto M, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Shimura T, Marubashi S. Treatment Outcomes for Patients with Recurrent Intrahepatic Cholangiocarcinoma. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Kimura T, Tsukita S, Suzushino S, Muto M, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. A Simple and Low-cost Surgery Training Simulator for Pancreaticojejunostomy. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Kofunato Y, Kimura T, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. The size of mural nodule is associated with malignant alteration and lymph node metastasis in IPMN. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Muto M, Kimura T, Tsukida S, Suzushino S, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Treatment strategy for type III pancreatic injury; 3 case reports of children. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Sato N, Muto M, Suzushino S, Tsukida S, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Optimal range of lymph node dissection for pancreatic neuroendocrine tumor. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Sato N, Kimura T, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Muto M, Suzushino S, Tsukida S, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Comparison of diagnostic performance in detecting liver fibrosis between MR elastography and novel serum fibrosis markers. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Suzushino S, Sato N, Tsukida S, Muto M, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Evaluation of real-time ICG clearance meter for predicting postoperative liver dysfunction after major hepatectomy. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

Tsukida S, Kofunato Y, Suzushino S, Muto M, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. An adult case of pancreatectomy for pancreatic cancer with intestinal malrotation. 第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会; 20190613-15; 高松.

後藤悠大, 滝口和暁, 三森浩太郎, 尾形誠弥, 清水裕史, 高木忠之, 見城 明, 田中秀明. 小児重症膵外傷における保存的療法の有用性と外科的介入の必要性. 第33回日本小児救急医学会学術集会; 20190621-22; さいたま.

木村 隆, 佐藤直哉, 見城 明, 岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 志村龍男, 丸橋 繁. 切除可能膵癌に対する術前放射線化学療法の免疫学的側面の検討. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

見城 明, 佐藤直哉, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 丸橋 繁. 生体肝移植後の胆道合併症の低減に向けた Open-up 法の有用性に関する検討. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

後藤悠大, 滝口和暁, 三森浩太郎, 尾形誠弥, 清水裕史, 高木忠之, 見城 明, 田中秀明. 小児重症脾外傷における保存的療法の有用性と外科的介入の必要性. 第 33 回日本小児救急医学会学術集会; 20190621-22; さいたま.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝内胆管癌の予後予測マーカーとしての Lymphocyte-to-Monocyte Ratio の有用性. 第 55 回日本肝癌研究会; 20190704-05; 東京.

鈴志野聖子, 佐藤直哉, 武藤 亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 当科における pStage I の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

月田茂之, 岡田 良, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 脾頭十二指腸切除術後の栄養管理における高力価バンクレリパーゼ製剤の有用性. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

武藤 亮, 木村 隆, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝細胞癌に対する肝切除における 1mm 以下の切除断端距離と術後再発に関する解析. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

西間木淳, 見城 明, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 丸橋 繁. 生体肝移植術後 de novo 膀胱・食道異時性重複癌の 1 例. 第 37 回日本肝移植学会; 20190725-26; 京都.

武藤 亮, 木村 隆, 西間木淳, 鈴志野聖子, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下肝外胆管切除術を実施した先天性胆道拡張症の 2 例. 第 55 回日本胆道学会学術集会; 20191003-04; 名古屋.

岡田 良, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 脾移植後に生じたグラフト血栓症に対して保存的治療を行った症例. 第 55 回日本移植学会総会; 20191010-12; 広島.

田中秀明, 角田圭一, 町野 翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 佐藤晶論, 木村 隆, 見城 明, 丸橋 繁. 小児肝移植患者における PCR 法を用いた human herpes virus 6 のモニタリング. 第 55 回日本移植学会総会; 20191010-12; 広島. 移植. 54:255.

西間木淳, 見城 明, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 後藤悠大, 清水裕史, 田中秀明, 丸橋 繁. 当科における肝移植後 de novo 悪性腫瘍に関する検討. 第 55 回日本移植学会総会; 20191010-12; 広島.

岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴志野聖子, 西間木淳, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 脾全摘術の治療成績. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191024-26; 福岡.

小船戸康英, 木村 隆, 塩 功貴, 滝口千晶, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. BR/UR 脾癌に対する治療戦略および治療成績. 第 32 回東北脾・胆道癌研究会; 20191102; 仙台.

鈴木野聖子, 小島戸康英, 西間木淳, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 外傷性主膵管損傷による膵液瘻にて重症膵炎を発症し緊急手術にて救命しえた一例. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

松石 彬, 小島戸康英, 見城 明, 西間木淳, 月田茂之, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 志村龍男, 丸橋 繁. エタノール注入法が有効であった有症状の難治性腹腔内嚢胞の一例. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

石亀輝英, 木村 隆, 月田茂之, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小島戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 切除不能膵癌に対する FOLFIRINOX 療法および GnP 療法の意義. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

岡田 良, 石亀輝英, 小島戸康英, 佐藤直哉, 武藤 亮, 鈴木野聖子, 月田茂之, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下肝切除術において術前フレイルが術後栄養状態に与える影響. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

小島戸康英, 木村 隆, 西間木淳, 月田茂之, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. Lymphocyte-to-Monocyte Ratio を用いた肝内胆管癌の予後予測. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

月田茂之, 小島戸康英, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 膵癌根治切除後症例における早期再発予測マーカーの検討. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

武藤 亮, 小島戸康英, 月田茂之, 鈴木野聖子, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腎細胞癌胆嚢転移に対して胆嚢摘出術を施行した 1 例. JDDW2019 KOBE; 20191121-24; 神戸.

石亀輝英, 岡田 良, 西間木淳, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小島戸康英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. EUS-FNA で診断された若年男性の膵 solid-pseudopapillary neoplasm の 1 例. 第 11 回膵臓内視鏡外科研究会; 20191204; 横浜.

岡田 良, 西間木淳, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小島戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下分流入手術を行った肝動脈走行異常を伴った成人先天性胆道拡張症の 1 例. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

西間木淳, 小島戸康英, 木村 隆, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝嚢胞に対し ICG を用いた腹腔鏡下開窓術及び大網充填術が有効であった 1 例. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191205-07; 横浜.

〔シンポジウム〕

丸橋 繁, 木村 隆, 見城 明. 我が国における肝移植の現状と課題. 日本消化器病学会東北支部第 206 回例会;

20190209; 仙台.

佐藤直哉, 岡田 良, 石亀輝英, 小船戸康英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 肝胆脾外科手術における術中偶発する血行障害・再建について. 第55回日本腹部救急医学会総会; 20190307-08; 仙台.

石亀輝英, 木村 隆, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 岡田 良, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 非大腸癌肝転移に対する肝切除の現状とその意義. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

丸橋 繁, 見城 明, 木村 隆, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田 良, 志村龍男, 江口英利, 永野浩昭. 肝移植における挑戦と達成: 肝移植術後死亡リスク因子の検討と, 術後成績の向上をめざした手術手技の工夫. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717-19; 東京.

丸橋 繁, 木村 隆, 見城 明. 肝細胞癌に対する肝移植の腫瘍条件の再考: ミラノ基準からの適応拡大の是非. 第81回日本臨床外科学会総会; 20191114-16; 高知.

岡田 良, 西間木淳, 鈴木野聖子, 武藤 亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村 隆, 見城 明, 志村龍男, 丸橋 繁. 腹腔鏡下肝切除における若手外科医執刀に向けての取り組み. 第13回肝臓内視鏡外科研究会; 20191205-07; 横浜.

医療研究推進センター

論 文

〔原 著〕

Ujiie M, Terada M, Kobayakawa M, Ohmagari N. Clinical trial with unlicensed yellow fever vaccine in Japan. Journal of Travel Medicine. 201909; 26(6):tay151.

寺田麻里, 小早川雅男, 大津 洋, 齋藤 翔, 北川 明, 泉 和生, 渡邊裕司. 臨床研究の推進及び円滑化を目的としたひな形作成に関する取り組み NIH-FDA Clinical Trial Protocol Template と日本の規制に合わせた検討. 臨床薬理. 201907; 50(4):183-196.

稲野彰洋. 第3回日本臨床薬理学会 北海道・東北地方会を終えて. 臨床薬理. 201909; 50(5):239-241.

研究発表等

〔研究発表〕

Takagi H, Zhao S, Muto S, Mine H, Watanabe M, Ozaki Y, Okabe N, Hasegawa T, Shio Y, Aoki M, Tan C, Shimoyama S, Nakamura K, Inano A, Suzuki H. Delta-like 1 homolog(DLK1) expression in non-small-cell lung cancer and the development of radioimmunotherapy targeting DLK1. IASLC 20th World Conference on

Lung Cancer (WCLC 2019); 20190907-10; Barcelona, Spain.

荻原琢男, 加藤多佳子, 井戸田陽子, 小池麻里子, 関 稜浩, 江崎慎人, 白神和代, 稲野彰洋. アルギン酸含有麵の食後血糖値抑制作用とそのメカニズムの検討. 第 29 回日本医療薬学会年会; 20191102-04; 福岡.

横田 崇, 叶 隆, 大高なつ美, 佐藤友美, 豊沢聖子, 白石省吾, 菊地美和子, 稲井理衣, 稲野彰洋. 研究倫理審査委員会による研究対象者相談窓口の設置. 第 40 回日本臨床薬理学会年会; 20191204-06; 東京.

高木玄教, 趙 松吉, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 稲野彰洋, 鈴木弘行. Delta-like 1 homolog(DLK1)を標的とした治療開発および臨床的意義の検討. 日本肺癌学会; 20191206-08; 大阪.

〔シンポジウム〕

稲野彰洋. 生命倫理審査と臨床薬理学 薬剤師・薬学から臨床薬理にかかわってきた立場で. 第 40 回日本臨床薬理学会年会. 第 40 回日本臨床薬理学会年会; 20191204-06; 東京.

稲野彰洋. 臨床研究倫理 30 年の歩み: 平成が令和に残した課題とは オーバービュー: 30 年の歩みをどう見るか? 第 40 回日本臨床薬理学会年会; 20191204-06; 東京.

〔特別講演〕

稲野彰洋. 指定講演 211At による α 線治療、RIT の可能性. 第 3 回日本臨床薬理学会 北海道・東北地方会; 20190608; 福島.

〔その他〕

稲野彰洋. 大会長. 第 3 回日本臨床薬理学会 北海道・東北地方会; 20190608; 福島.

放射線医学県民健康管理センター

論 文

〔原 著〕

Ohkubo Y, Sekido T, Nishio SI, Sekido K, Kitahara J, Suzuki S, Komatsu M. Loss of μ -crystallin causes PPAR γ activation and obesity in high-fat diet-fed mice. Biochemical and Biophysical Research Communications. 201901; 508(3):914-920.

Tsuji T, Yamamoto K, Yamasaki K, Hayashi F, Momoki C, Yasui Y, Ohfuji S, Fukushima W, Habu D. Lower dietary variety is a relevant factor for malnutrition in older Japanese home-care recipients: a cross-sectional study. BMC Geriatrics. 201907; 19(1):197.

Umesawa M, Sairenchi T, Haruyama Y, Nagao M, Kobashi G. Association between hypertension and hearing impairment in health check-ups among Japanese workers: a cross-sectional study. *BMJ Open*. 201904; 9(4):e028392.

Umesawa M, Hara M, Sairenchi T, Nagao M, Haruyama Y, Kobashi G. Relationships between dipstick proteinuria and risk of hearing impairment among Japanese workers: a prospective cohort study. *BMJ Open*. 201911; 9(11):e028767.

Ohira T, Ohtsuru A, Midorikawa S, Takahashi H, Yasumura S, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ishikawa T, Sakai A, Suzuki S, Yamashita S, Yokoya S, Tanigawa K, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. External Radiation Dose, Obesity, and Risk of Childhood Thyroid Cancer After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: The Fukushima Health Management Survey. *Epidemiology*. 201911; 30(6):853-860.

Oe M, Maeda M, Ohira T, Itagaki S, Harigane M, Suzuki Y, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Ohto H. Parental Recognition of Bullying and Associated Factors Among Children After the Fukushima Nuclear Disaster: A 3-Year Follow-Up Study from the Fukushima Health Management Survey. *Frontiers in Psychiatry*. 201905; 10:283.

Takiguchi M, Ohira T, Nakano H, Yumiya Y, Yamaki T, Yoshihisa A, Nakazato K, Suzuki H, Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K, Takeishi Y. Trends in the incidence of sudden deaths and heart diseases in Fukushima after the Great East Japan Earthquake. *International Heart Journal*. 201911; 60(6):1253-1258.

Nakano H, Ishii K, Goto A, Yasumura S, Ohira T, Fujimori K. Development and implementation of an internet survey to assess community health in the face of a health crisis: Data from the Pregnancy and Birth Survey of the Fukushima Health Management Survey, 2016. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 201906; 16(11):1946.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahashi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki SI, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K. Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan, Screened With 2 Rounds of Ultrasonography Within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 201901; 145(1):4-11.

Okada C, Imano H, Yamagishi K, Cui R, Umesawa M, Maruyama K, Muraki I, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Sankai T, Okada T, Kiyama M, Kitamura A, Iso H, Sato S, Koyama I, Nakamura M, Nagao M, Ohira T, Saito I, Ikeda A, Tanigawa T. Dietary intake of energy and nutrients from breakfast and risk of stroke in the Japanese population: The circulatory risk in communities study (CIRCS). *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 201901; 26(2):145-153.

Maruyama K, Eshak E, Kinuta M, Nagao M, Cui R, Imano H, Ohira T, Iso H. Association between Vitamin B group supplementation with changes in % flow mediated dilatation and plasma homocysteine levels: A randomized controlled trial. *Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition*. 201901; 64(3):243-249.

Iwasa H, Takebayashi Y, Suzuki Y, Yagi A, Zhang W, Harigane M, Maeda M, Ohira T, Yabe H, Yasumura S; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Psychometric evaluation of the simplified Japanese version of the Athens Insomnia scale: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Sleep Research*. 201904; 28(2):e12771.

Shirai K, Yoshizawa N, Takebayashi Y, Murakami M. Modeling reconstruction-related behavior and evaluation of influences of major information sources. *PLOS ONE*. 2019; 14(8):e0221561.

Murakami M, Takebayashi Y, Tsubokura M. Lower Psychological Distress Levels among Returnees Compared with Evacuees after the Fukushima Nuclear Accident. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201901; 247(1):13-17.

Ueda Y, Murakami M, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Orui M, Yasumura S, Ohira T. Risk factors for problem drinking among evacuees in Fukushima following the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201908; 248(4):239-252.

Takaoka N, Sairenchi T, Irie F, Matsushita M, Nagao M, Umesawa M, Haruyama Y, Watanabe H, Yamagishi K, Iso H, Kobashi G, Ota H. High Hematocrit Levels Are Associated with Risk of Cardiovascular Mortality among Middle-Aged Japanese Women: The Ibaraki Prefectural Health Study (IPHS). *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201909; 249(1):65-73.

引土達雄, 柳楽明子, 前川暁子, 辻井弘美, 若松亜希子, 水木理恵, 奥山眞紀子. 里親養育不調の危機とその回避のプロセス—医療機関における里子・里親支援のあり方の検討の試み—. *小児の精神と神経*. 201910; 59(3):253-264.

渡邊一代, 石井佳世子, 石田久江, 太田 操, 後藤あや. 産後うつ病予防を目的とした妊娠期からの“夫婦の共感性を高めるセッション”の試行 対象者の共感性と精神健康度とセッション評価. *日本健康学会誌*. 201903; 85(2):80-89.

太田 操, 服部 桜, 新井昌子, 清水川由美子, 石井佳世子, 後藤あや, 安村誠司, 藤森敬也. 東日本大震災による妊産婦の避難生活とうつ傾向に関する検討. *日本母子看護学会誌*. 201902; 12(2):21-31.

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の現状報告. *乳腺甲状腺超音波医学*. 201901; 8(1):3-7.

鈴木学爾, 石井佳世子, 鈴木幸恵. A 県内の救急外来を受診する子どもと家族の現状と課題、小児救急看護の実際. *福島県立医科大学看護学部紀要*. 201903; 21:13-21.

〔総説等〕

Kojima Y, Yokoya S, Kurita N, Idaka T, Ishikawa T, Tanaka H, Ezawa Y, Ohto H. Cryptorchidism after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: Causation or coincidence? *Fukushima Journal of Medical Science*. 2019; 65(3):76-98.

著 書・訳 書

Maeda M, Lyamzina Y, Ito A. The Psychosocial Consequences of the Fukushima Disaster: What Are We Suffering From? In: Steinhäuser G, Koizumi A, Shozugawa K, editors. Nuclear Emergencies: A Holistic Approach to Preparedness and Response. Singapore: Springer; 2019. p.63-75.

安村誠司 編著. 福島原発事故における公衆衛生課題とその対応－甲状腺検査と保健活動－. 東京: 日本公衆衛生協会; 2019.

研究発表等

〔研究発表〕

Ohba T, Lyamzina Y, Goto A, Nakano H, Murakami M, Kuroda Y, Miyazaki M, Kumagai A, Ohira T, Liutsko L, Sarukhan A, Tanigawa K, Cardis E. SHAMISEN-SINGS project: Review of mobile phone application for citizen health and well-being assessment following the Fukushima accident. 3rd International Symposium of the Network-Type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20190113; Fukushima.

Murakami M. Discussion - suggestion & summarization. Consultancy Meeting on STS Education Support on Return in the Context of Low-dose Radiation; 20190116-17; Fukushima.

Murakami M. Perspective for book chapters. Technical Meeting on Communication on Low-Dose Radiation - the Role of Science, Technology and Society; 20190528-30; Fukushima.

Ohba T, Lyamzina Y, Goto A, Murakami M, Nakano H, Kuroda Y, Miyazaki M, Kumagai A, Ohira T, Liutsko L, Sarukhan A, Tanigawa K, Cardis E. Development of a mobile phone application for interactive support of residents returning after a nuclear accident. RICOMET 2019; 20190701; Barcelona, Spain.

Nollet KE. Generations to Guide and Borders to Bridge: The Evolution of Radiation (Disaster) Education in Japan. 2019 RITN Workshop - Crisis in Context: Minding the Gaps in Medical Preparedness for a Rad/Nuke Incident; 20190730-31; Arlington, USA.

Shimura H, Matsuzuka T, Suzuki S, Suzuki S, Iwadata M, Midorikawa S, Ohtsuru A, Yokoya S, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K. Management of thyroid nodules in children and adolescents based on the Japanese guidelines for thyroid nodules: The Fukushima Health Management Survey. 89th Annual Meeting of the American Thyroid Association; 20191030-1104; Chicago, USA.

Murakami M. Radiation risk perception and risk communication activities after the Fukushima nuclear disaster. IAEA Consultancy Meeting: Science, Technology and Society (STS) Communication of Low-Dose Radiation -- The Way Forward --; 20191211-12; Vienna.

Murakami M, Osuga K. Perspective for book chapters. IAEA Consultancy Meeting: Science, Technology and

Society (STS) Communication of Low-Dose Radiation -- The Way Forward --; 20191211-12; Vienna.

Nollet KE. Generations to Guide and Borders to Bridge: The Evolution of Radiation (Disaster) Education in Japan. IAEA Consultancy Meeting: Science, Technology and Society (STS) Communication of Low-Dose Radiation -- The Way Forward --; 20191211-12; Austria, Vienna.

廣川空美, 大平哲也, 長尾匡則, 永吉真子, 梶浦 貢, 今野弘規, 北村明彦, 木山昌彦, 岡田武夫, 磯 博康. 唾液中コルチゾール値の変動における職位、仕事のストレスとの関連. 第 29 回日本疫学会学術総会; 20190131-0201; 東京.

Nollet K, 鈴木裕恵, 佐々木睦美, 池田和彦. 医学教育変革における輸血教育と災害経験伝達の取り組み. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本. 日本輸血細胞治療学会誌. 65(2):384.

ノレット ケネス, 鈴木裕恵, 佐々木睦美, 池田和彦. 災害経験を次世代へ伝える 医学部学生実習の取り組み. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20190523-25; 熊本.

針金まゆみ, 中原 純. シルバー人材センターにおける就業ストレスに影響する要因 パネルデータを用いた潜在成長曲線モデルより. 日本老年社会学会第 61 回大会; 20190607-08; 仙台. 老年社会科学. 41(2):204.

江口依里, 大平哲也, 舟久保徳美, 中野裕紀, 林 史和, 前田正治, 安村誠司, 鈴木友理子, 矢部博興, 神谷研二. 東日本大震災後の生活習慣病に与える笑いの影響. 第 68 回東北公衆衛生学会; 20190726; 盛岡.

石井佳世子, 渡邊一代, 津富 宏, 太田 操, 柴田 俊, 佐々木美恵, 後藤あや. 妊娠中からの育児支援プログラム研修 (もうすぐ赤ちゃんがやってくる) の育児支援団体による評価変化. 第 68 回東北公衆衛生学会; 20190726; 盛岡.

佐藤綾子, 坂上敏江, 高橋智里, 黒須由美子, 大石 学, 堀越裕子, 岩館 学, 鈴木 聡, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 福島県甲状腺超音波検査サポートの評価結果とその改善点. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005-06; 福島.

高橋智里, 黒須由美子, 西山翔子, 佐藤綾子, 長嶺夏希, 山谷幸恵, 坂上敏江, 佐藤吉子, 鈴木英明, 堀越裕子, 大石 学, 鈴木 聡, 岩館 学, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 超音波診断装置におけるプローブの経時的変化. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005-06; 福島.

西山翔子, 高橋智里, 黒須由美子, 佐藤吉子, 長嶺夏希, 坂上敏江, 佐藤綾子, 山谷幸恵, 鈴木英明, 堀越裕子, 大石 学, 鈴木 聡, 岩館 学, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 超音波診断装置におけるプローブ間差と機器間差の検討. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005-06; 福島.

志村浩己, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木 聡, 岩館 学, 緑川早苗, 大津留晶, 横谷 進, 大平哲也, 安村誠司, 大戸 斉, 鈴木眞一, 神谷研二. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の二次検査における穿刺吸引細胞診の実施率の解析. 第 62 回日本甲状腺学会学術集会; 20191010-12; 前橋.

安村誠司, 大平哲也, 坂井 晃, 高橋敦史, 後藤紗織, 桃井真帆, 針金まゆみ, 堀越直子, 前田正治, 矢部博興, 岩佐 一, 鈴木友理子, 神谷研二. 東日本大震災時に避難区域等に居住の高齢者の 6 年後の健康状態 福

島「県民健康調査」. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):251.

堀越直子, 前田正治, 岩佐 一, 桃井真帆, 及川祐一, 音地美穂, 柏崎佑哉, 針金まゆみ, 矢部博興, 安村誠司. 福島県県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」電話支援の有用性. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別附録):513.

岡崎可奈子, 高橋敦史, 大平哲也, 中野裕紀, 林 史和, 坂井 晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災直後の避難区域住民のメタボリックシンドロームに関連する心理社会的要因. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023; 高知.

長尾匡則, 春山康夫, 小橋 元, 磯 博康, 大平哲也. 食事の東洋医学的性質を評価する為に必要な食品の選択に関する検討. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知.

江口依里, 大平哲也, 舟久保徳美, 中野裕紀, 林 史和, 前田正治, 安村誠司, 鈴木友里子, 矢部博興, 荻野景規, 神谷研二. 東日本大震災後の笑いの頻度と生活習慣病及び循環器疾患との関連. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191024; 高知.

中野裕紀, 林 史和, 岡崎可奈子, 長尾匡則, 吉田知克, 弓屋 結, 梅澤光政, 小橋 元, 大平哲也, 安村誠司, 神谷研二. 福島県脳卒中発症登録に関する報告: 東日本大震災の影響. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191024; 高知.

米城 陽, 長尾匡則, 中野裕紀, 村上道夫, 大平哲也. 心理状態と音楽嗜好に関する横断研究. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191024; 高知.

林 史和, 大平哲也, 中野裕紀, 岡崎可奈子, 針金まゆみ, 安村誠司, 前田正治, 高橋敦史, 矢部博興, 鈴木友里子, 神谷研二. 東日本大震災後の骨折の頻度に関連する危険因子についての検討: 福島県県民健康調査. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191025; 高知.

中野裕紀, 後藤あや, 石井佳世子, 森美由紀, 藤森敬也, 大平哲也, 安村誠司, 鈴木孝太, 神谷研二. 妊産婦における妊娠中から出産までの喫煙状況の変化との関連: 福島県県民健康調査妊産婦に関する調査. 第 13 回日本禁煙学会学術総会; 20191103; 山形.

河野恭彦, 服部隆利, 山口一郎, 横山須美, 中野裕紀, 佐藤紀子, 工藤ひろみ, 野村直希, 迫田晃弘, 内藤航, 黒田佑次郎, 吉田浩子. 福島事故後に住民に提供された資料の分析とその評価方法の検討〜SG1 の取り組み. 日本保健物理学会第 52 回研究発表会; 20191206; 仙台.

水木理恵, 藤原武男. Childhood Trauma Questionnaire-short form (CTQ-J)の妥当性の検証. 日本子ども虐待防止学会第 25 回学術集会ひょうご大会; 20191222; 神戸.

〔シンポジウム〕

Murakami M. Radiation risk perception and cooperative wisdom among stakeholders. The International Symposium of Radiation Medical Science Center of Fukushima Medical University: Build Back Better - from the World to Fukushima, from Fukushima to the World; 20190114-15; Fukushima.

Shimura H. Current Status of Thyroid Ultrasound Examination. The International Symposium of Radiation Medical Science Center of Fukushima Medical University: Build Back Better - from the World to Fukushima, from Fukushima to the World; 20190114-15; Fukushima.

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」のこれまでの歩みとこれからの課題. 第92回日本内分泌学会学術総会; 20190509-11; 仙台.

〔招待講演〕

Nollet KE. Health and Human Services, Hell and High Water: Japan's 3-11 Earthquake, Tsunami, and Nuclear Crisis. OGA Seminar Series; 20190729; Washington, DC, USA.

Maeda M. Intervention for suicide prevention in disaster area. 16th Asia-Pacific Telephone Counseling Conference; 20191025; Okayama.

Maeda M. Mental health issues after the Fukushima disaster. 20th Anniversary Memorial Symposium: Hyogo Disaster Mental Health Center; 20191107; Kobe.

ノレット ケネス. Health Care in Hell and High Water: Responding to Japan's Earthquake, Tsunami, and Nuclear Crisis. 福島医学会第478回学術研究集会; 20191024; 福島.

その他の業績・作品等

Nollet KE. 放射線医学県民健康管理センター「県民健康調査」検討委員会 県民健康調査実施状況・結果 英訳公開. 20130401-継続中. Available from: <http://kenko-kanri.jp/en/health-survey/document/>

健康増進センター

論文

〔原著〕

Nyamasege C, Kimani-Murage E, Wanjohi M, Kaindi D, Ma E, Fukushima M, Wagatsuma Y. Determinants of low birth weight in the context of maternal nutrition education in urban informal settlements, Kenya. Journal of Developmental Origins of Health and Disease. 201904; 10(2):237-245.

大津留晶, 緑川早苗, 熊谷敦史, 安井清孝, 大葉 隆, 千葉靖子, 宮崎 真, 佐藤久志, 長谷川有史, 津山尚宏, 坂井 晃, 石川徹夫. 放射線健康リスク科学教育の医学教育における潮流と本学での取り組み. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):85-94.

研究発表等

〔研究発表〕

Ma E, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yasumura S, Kamiya K. Stability of dietary pattern in Fukushima residents after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima Health Management Survey 2011-2013. World Nutrition Conference 2019; 20190225-26; Prague, Czech Republic.

Ma E, Takahashi H. Changes of suicide rates in Fukushima and neighbor prefectures after the Great East Japan Earthquake. 第29回日本疫学会学術総会; 20190130; 東京.

甲状腺・内分泌センター

論文

〔原著〕

Isojima T, Yokoya S. The value of anthropometric indices for childhood obesity in Japan. *Annals of Human Biology*. 201907; 46(4):293-297.

Ohira T, Ohtsuru A, Midorikawa S, Takahashi H, Yasumura S, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ishikawa T, Sakai A, Suzuki S, Yamashita S, Yokoya S, Tanigawa K, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. External Radiation Dose, Obesity, and Risk of Childhood Thyroid Cancer after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: The Fukushima Health Management Survey. *Epidemiology*. 201911; 30(6):853-860.

Yokoya S, Iwadata M, Shimura H, Suzuki S, Matsuzuka T, Suzuki S, Murono S, Yasumura S, Kamiya K, Hashimoto Y, Suzuki SI. Investigation of thyroid cancer cases that were not detected in the Thyroid Ultrasound Examination program of the Fukushima Health Management Survey but diagnosed at Fukushima Medical University Hospital. *Fukushima Journal of Medical Science*. 201912; 65(3):122-127.

Kojima Y, Yokoya S, Kurita N, Idaka T, Ishikawa T, Tanaka H, Ezawa Y, Ohto H. Cryptorchidism after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: causation or coincidence? *Fukushima Journal of Medical Science*. 201912; 65(3):76-98.

Ohtsuru A, Midorikawa S, Ohira T, Suzuki S, Takahashi H, Murakami M, Shimura H, Matsuzuka T, Yasumura S, Suzuki SI, Yokoya S, Hashimoto Y, Sakai A, Ohto H, Yamashita S, Tanigawa K, Kamiya K. Incidence of Thyroid Cancer Among Children and Young Adults in Fukushima, Japan, Screened With 2 Rounds of Ultrasonography Within 5 Years of the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *JAMA Otolaryngology - Head & Neck Surgery*. 201901; 145(1):4-11.

阪口博政, 渡邊 亮, 横谷 進, 荒井 耕. 政策医療の定義と採算性改善手段についての認識 小児医療を主な対象としたアンケート調査の計量テキスト分析. 国際医療福祉大学学会誌. 201908; 24(2):26-36.

横谷 進, 遠藤高明. 成長ホルモン治療の有効性と安全性 ノルディトロピン国内使用 30 年を経過して. 新薬と臨床. 201910; 68(10):1238-1253.

羽二生邦彦, 田中敏章, 堀川玲子, 横谷 進, 長谷川奉延. 特発性成長ホルモン分泌不全性低身長症における成長ホルモン療法の成人身長を規定する要因. 成長科学協会研究年報. 201910; 42:14-23.

安藏 慎, 島津 章, 勝又規行, 立花克彦, 肥塚直美, 堀川玲子, 横谷 進, 望月貴博, 田中敏章. 成長ホルモン及び IGF-1 測定に関する研究 ECLIA 法による新規 IGF-1 測定の検討 (第 2 報). 成長科学協会研究年報. 201910; 42:39-44.

横谷 進. 安定ヨウ素剤に関する説明文書の改正と管理指針の改訂. 日本甲状腺学会雑誌. 201910; 10(2):127-130.

研究発表等

〔研究発表〕

志村浩己, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木 聡, 岩舘 学, 緑川早苗, 大津留晶, 横谷 進, 大平哲也, 安村誠司, 大戸 斉, 鈴木眞一, 神谷研二. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の二次検査における穿刺吸引細胞診の実施率の解析. 第 62 回日本甲状腺学会学術集会; 20191011; 前橋. 日本内分泌学会雑誌. 95(4):1337.

曾根田瞬, 田中敏章, 伊藤善也, 加藤則子, 佐藤亨至, 立花克彦, 横谷 進, 長谷川奉延, 村田光範, 磯島豪, 吉井啓介, 井ノ口美香子, 篠田謙一, 高井省三. 思春期開始年齢別にみた健常男子の前思春期から思春期における骨年齢の経時的変化. 第 30 回日本成長学会学術集会; 20191116; 東京. 日本成長学会雑誌. 25(2):76.

田中敏章, 曾根田瞬, 加藤則子, 伊藤善也, 佐藤亨至, 立花克彦, 横谷 進, 長谷川奉延, 村田光範, 磯島豪, 吉井啓介, 井ノ口美香子, 篠田謙一, 高井省三. 健常男子における思春期の成長率の検討: 思春期年齢群別のピーク成長率と暦年齢、骨年齢との関係. 第 30 回日本成長学会学術集会; 20191116; 東京. 日本成長学会雑誌. 25(2):77.

加藤則子, 田中敏章, 伊藤善也, 佐藤亨至, 立花克彦, 横谷 進, 長谷川奉延, 村田光範, 磯島 豪, 吉井啓介, 井ノ口美香子, 篠田謙一, 高井省三. 肥満小児の身長発育に関する検討. 第 30 回日本成長学会学術集会; 20191116; 東京. 日本成長学会雑誌. 25(2):78.

〔招待講演〕

横谷 進. 福島第一原子力発電所事故と甲状腺がん. 第 6 回日本シニア小児科医連盟会議; 20190419; 金沢.

〔その他〕

横谷 進. (座長) 一般演題口演 7: 甲状腺 1. 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190509; 仙台.

横谷 進. (座長) 学会賞受賞講演：小児内分泌関連疾患の臨床および分子遺伝学的研究. 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190510; 仙台.

横谷 進. (座長) 特別シンポジウム 福島県における甲状腺検診の現況、課題と今後. 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190510; 仙台.

横谷 進. (座長) 妊娠と甲状腺機能異常. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191006; 福島.

横谷 進. (座長) 特別講演 広島の実験を福島へ、放射線発がんリスクと小児甲状腺がん. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20191115; 広島.

横谷 進. (座長) 指定講演 GH だけではない いつかは出会うトランジション. 第 29 回臨床内分泌代謝 Update in Kochi; 20191129; 高知.

先端臨床研究センター

論 文

〔原 著〕

Aoki M, Odani A, Ogawa K. Development of radiolabeled bis(zinc(II)-dipicolylamine) complexes for cell death imaging. *Annals of Nuclear Medicine*. 201905; 33(5):317-325.

Murata T, Aikawa M, Saito M, Ukon N, Komori Y, Haba H, Takács S. Production cross sections of Mo, Nb and Zr radioisotopes from α -induced reaction on ^{nat}Zr . *Applied Radiation and Isotopes*. 201902; 144:47-53.

Saito M, Aikawa M, Sakaguchi M, Ukon N, Komori Y, Haba H. Production cross sections of ytterbium and thulium radioisotopes in alpha-induced nuclear reactions on natural erbium. *Applied Radiation and Isotopes*. 201912; 154:108874.

Zhao S, Yu W, Ukon N, Tan C, Nishijima KI, Shimizu Y, Higashikawa K, Shiga T, Yamashita H, Tamaki N, Kuge Y. Elimination of tumor hypoxia by eribulin demonstrated by ^{18}F -FMISO hypoxia imaging in human tumor xenograft models. *EJNMMI Research*. 201906; 9(1):51.

Watanabe S, Shiga T, Hirata K, Magota K, Okamoto S, Toyonaga T, Higashikawa K, Yasui H, Kobayashi J, Nishijima KI, Iseki K, Matsumoto H, Kuge Y, Tamaki N. Biodistribution and radiation dosimetry of the novel hypoxia PET probe ^{18}F DiFA and comparison with ^{18}F FMISO. *EJNMMI Research*. 201907; 9(1):60.

Ishii S, Miyajima M, Suenaga H, Sugawara S, Nemoto A, Ukon N, Nambu T, Kubo H, Oriuchi N, Ito H. Detectability of Malignant Lesions by Whole-Body Magnetic Resonance Imaging Using Whole-Body Integrated

Positron Emission Tomography/Magnetic Resonance Imaging. Journal of Computer Assisted Tomography. 201907; 43(4):664-670.

Manabe O, Kroenke M, Aikawa T, Murayama A, Naya M, Masuda A, Oyama-Manabe N, Hirata K, Watanabe S, Shiga T, Katoh C, Tamaki N. Volume-based glucose metabolic analysis of FDG PET/CT: The optimum threshold and conditions to suppress physiological myocardial uptake. Journal of Nuclear Cardiology. 201906; 26(3):909-918.

Shimizu Y, Zhao S, Yasui H, Nishijima KI, Matsumoto H, Shiga T, Tamaki N, Ogawa M, Kuge Y. A Novel PET Probe "[¹⁸F]DiFA" Accumulates in Hypoxic Region via Glutathione Conjugation Following Reductive Metabolism. Molecular Imaging and Biology. 201902; 21(1):122-129.

Saito M, Aikawa M, Murata T, Ukon N, Komori Y, Haba H, Takács S. Activation cross sections of alpha-induced reactions on natural ytterbium up to 50 MeV. Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms. 201908; 453:15-21.

Murata T, Aikawa M, Saito M, Haba H, Komori Y, Ukon N, Takács S, Ditrói F. Excitation function measurement for zirconium-89 and niobium-90 production using alpha-induced reactions on yttrium-89. Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms. 201911; 458:21-27.

Takács S, Aikawa M, Saito M, Murata T, Ukon N, Komori Y, Haba H. Activation cross sections of alpha particle-induced reactions on natural hafnium up to 50 MeV. Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms. 201911; 459:50-58.

Nakata N, Kiri M, Okumura Y, Zhao S, Nishijima KI, Shiga T, Tamaki N, Kuge Y, Matsumoto H. Comparative evaluation of [¹⁸F]DiFA and its analogs as novel hypoxia positron emission tomography and [¹⁸F]FMISO as the standard. Nuclear Medicine and Biology. 201903; 70:39-45.

Kobayashi M, Kato T, Washiyama K, Ihara M, Mizutani A, Nishi K, Flores LG 2nd, Nishii R, Kawai K. The pharmacological properties of 3-arm or 4-arm DOTA constructs for conjugation to α -melanocyte-stimulating hormone analogues for melanoma imaging. PLOS ONE. 201903; 14(3):e0213397.

平田健司, 川内敬介, 小林健太郎, 志賀 哲. 核医学における AI 研究の動向. BIO Clinica. 201903; 34(3):336-342.

平田健司, 藤後 廉, 小川貴弘, 長谷山美紀, 志賀 哲. 【人工知能が医療を変える！医療分野における AI 研究開発最前線 2019】領域別・画像診断における AI 研究開発の最前線 その他 核医学におけるディープラーニングを用いた画像診断、画像処理. INNERVISION. 201906; 34(7):60-63.

石井士朗, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 末永博紀, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 宮嶋正之, 長谷川靖, 橋本直人, 伊藤 浩. 造影 CT で偶然発見された肺血栓塞栓症症例の検討. Japanese Journal of Radiology. 201902; 37(Suppl.):3.

志賀 哲, 玉木長良. 【先進医療の現況と展望—先進医療制度の今後の展望】 11C 標識メチオニンをを用いたポジトロン断層撮影による診断. カレントセラピー. 201902; 37(2):156-160.

小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 赤谷憲一, 藤巻秀樹, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 長谷川靖, 石井士朗, 織内 昇, 伊藤 浩. MIBG が集積した GIST 症例の検討. 核医学. 201907; 56(1):100.

菅原茂耕, 石井士朗, 末永博紀, 藤巻秀樹, 黒岩大地, 関野啓史, 伊藤 浩, 織内 昇. Ra223 治療における骨 SPECT を用いた評価法の検討. 核医学. 201910; 56(Suppl.):S147.

伊藤 浩, 久保 均, 高橋和弘, 西嶋剣一, 粟生木美穂, 右近直之, 根本彩香, 佐藤良信, 菅原茂耕, 石井士朗. O-15 標識ガスおよび統合型 PET/MRI 装置を用いた脳循環代謝諸量の測定. 核医学. 201910; 56(Suppl.):S161.

石井士朗, 渡邊宏剛, 山國 遼, 箱崎元晴, 末永博紀, 菅原茂耕, 藤巻秀樹, 黒岩大地, 関野啓史, 織内昇, 伊藤 浩. 副甲状腺 Tc-99mMIBI シンチグラフィ偽陰性所見の検討. 核医学. 201910; 56(Suppl.):S168.

箱崎元晴, 伊藤 浩, 石井士朗, 菅原茂耕, 末永博紀, 黒岩大地, 関野啓史, 久保 均, 村上丈伸, 阿部十也, 金井数明. PET/MRI を用いた脳グルコース代謝画像計測における減弱補正および体動補正の検討. 核医学. 201910; 56(Suppl.):S175.

久保 均, 根本彩香, 右近直之, 石井士朗, 菅原茂耕, 伊藤 浩. PET/MRI 装置の原理と検査法. 計測と制御. 201907; 58(7):535-540.

平田健司, 古家 翔, 真鍋 治, 孫田恵一, 小林健太郎, 渡邊史郎, 豊永拓哉, 玉木長良, 志賀 哲. FDG PET-CT の腫瘍領域教師データを半自動的に作成するアルゴリズムの提案と性能評価. 日本医用画像工学会大会予稿集. 201907; 38 回:648-650.

松石 彬, 岩館 学, 松本佳子, 鈴木 聡, 長谷川翔, 水沼 廣, 中野恵一, 菅原茂耕, 萱野大樹, 織内昇, 鈴木眞一. 当科における甲状腺分化癌に対する放射性ヨウ素内用療法. 日本内分泌外科学会雑誌. 201909; 36(Suppl.3):S353.

深井智司, 松本佳子, 大河内千代, 中野恵一, 鈴木 聡, 岩館 学, 水沼 廣, 菅原茂耕, 萱野大樹, 織内昇, 鈴木眞一. 当科における甲状腺分化癌に対する放射性ヨウ素内用療法の経験. 日本内分泌学会雑誌. 201904; 95(1):478.

永津弘太郎, 右近直之, 山田崇裕, 細野 眞. 外国における放射線安全管理の事例について —スウェーデン・ヨーテボリ大学の例. 日本放射線安全管理学会誌. 201911; 18(2):36-40.

岩館 学, 鈴木 聡, 松本佳子, 長谷川翔, 中野恵一, 水沼 廣, 菅原茂耕, 萱野大樹, 織内 昇, 鈴木眞一. バセドウ病の手術適応 放射性ヨウ素治療施設におけるバセドウ病手術の検討. 日本臨床外科学会雑誌. 201910; 80(増刊):422.

伊藤 浩, 久保 均, 高橋和弘, 西嶋剣一, 粟生木美穂, 右近直之, 根本彩香, 佐藤良信, 菅原茂耕, 石井

士朗. PET/MRI 装置および O-15 標識ガスを用いた脳血流量、脳血液量、脳酸素摂取率、脳酸素消費量の測定. 脳循環代謝. 201911; 31(1):103.

箱崎元晴, 伊藤 浩, 石井士朗, 菅原茂耕, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 山國 遼, 末永博紀, 藤巻秀樹, 黒岩大地, 関野啓史, 久保 均, 村上丈伸, 阿部十成, 金井数明. [F-18]FDG-PET/MRI を用いた脳糖代謝画像の計測における減弱補正および体動補正の検討. 脳循環代謝. 201911; 31(1):140.

村橋範浩, 安部崇重, 松本隆児, 大澤崇宏, 吉永恵一郎, 志賀 哲, 畑中佳奈子, 松野吉宏, 篠原信雄. 後腹膜パラガングリオーマに対する集学的治療後、WDHA 症候群(Water diarrhea, Hypokalemia, Achlorhydria)を呈した 1 例. 泌尿器科紀要. 201907; 65(7):277-282.

平田健司, 鈴木江り子, 志賀 哲. Deep learning を用いた核医学画像解析. 放射線生物研究. 201903; 54(1):28-42.

岡本祥三, 志賀 哲, 久下裕司. 【前立腺癌の画像診断 update】PSMA-PET の前立腺癌の診断・治療における有用性と、予想される MRI との使い分け. 臨床画像. 201905; 35(5):577-587.

平田健司, 真鍋 治, 志賀 哲. 【FDG-PET の最近の進歩とこれからの展開】PET に対する texture 解析 生物学的視点から臨床使用における問題点まで. 臨床画像. 201908; 35(8):909-917.

戸田 亘, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤浩, 紺野慎一, 矢部博興. 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化. 臨床神経生理学. 201910; 47(5):448.

安部崇重, 村橋範浩, 吉永恵一郎, 志賀 哲, 篠原信雄. 【希少癌に備える一いざという時のための基礎知識】悪性褐色細胞腫. 臨床泌尿器科. 201910; 73(11):794-798.

〔総説等〕

織内 昇. 我が国の Theranostics の現状 現行の核医学治療における画像の役割と新規治療開発への展開. 臨床放射線. 201912; 64(13):1505-1511.

〔研究報告書〕

Ukon N, Zhao S, Washiyama K, Oriuchi N, Aoki M, Tan C, Shimoyama S, Nishijima K, Kubo H, Takahashi K, Ito H. Biodistribution and Dosimetry of Free ^{211}At and Meta-[^{211}At]astatobenzylguanidine (MABG) in Normal Mice. Journal of Medical Imaging and Radiation Sciences. 201903; 50(1, Suppl):S18-S19.

著 書・訳 書

織内 昇. RI 標識医薬品の臨床の現状と展望. In: 熊谷 泉 監修. 次世代医薬品開発に向けた抗体工学の最前線《普及版》. 東京: シーエムシー出版; 201909. p.171-175.

研究発表等

〔研究発表〕

Nolen J, Musutapha B, Gott M, de Kruijff R, Song J, Gampa R, Greene J, Zhu S, Rotsch D, Brown MA, Chen CT, Washiyama K, Sampathkumaran U, Winter R. Development of ^{211}At Production via Continuous Extraction of ^{211}Rn . 11th International Symposium on Targeted Alpha-Therapy (TAT11); 20190401; Ottawa, Canada.

Ukon N, Zhao S, Washiyama K, Oriuchi N, Aoki M, Tan C, Nishijima K, Kubo H, Takahashi K, Ito H. Biodistribution and dosimetry of Free and meta- ^{211}At -astatobenzylguanidine (MABG) in normal mice. 11th International Symposium on Targeted Alpha-Therapy (TAT11); 20190401; Ottawa, Canada.

Washiyama K, Oda T, Sasaki S, Aoki M, Guerra Gomez FL, Taniguchi M, Nishijima K, Takahashi K. At- ^{211}At production using the CYPRIS MP-30. 11th International Symposium on Targeted Alpha-Therapy (TAT11); 20190401; Ottawa, Canada.

Aoki M, Minegishi K, Nishijima K, Suzuki H, Sasaki S, Washiyama K, Zhao S, Nagatsu K, Zhang M, Takahashi K. Synthesis of ^{211}At -MABG Using Remote-controlled Synthesizer and Quality Evaluation. ISRS 2019; 20190526; Beijing, China.

Yoshinaga K, Zhao S, Washino K, Aoki M, Nishijima K, Shimoyama S, Ukon N, Tan C, Washiyama K, Takahashi K, Ito H, Higashi T. Possibility of ^{123}I -meta-iodobenzylguanidine (^{123}I -MIBG) as companion diagnostic drug for therapeutic alpha-emitting meta- ^{211}At -astato-benzylguanidine (^{211}At -MABG). 66th Society of Nuclear Medicine Annual Meeting (SNMMI 2019); 20190622; Anaheim, USA.

Tan C, Zhao S, Ukon N, Shimoyama S, Aoki M, Horita S, Imai R, Maejima Y, Takenoshita S, Shimomura K. Evaluation of the potential of organ glucose metabolism by ^{18}F -FDG accumulation with insulin loading in older mice compared with younger normal mice. 66th Society of Nuclear Medicine Annual Meeting (SNMMI 2019); 20190623; Anaheim, USA.

Takagi H, Zhao S, Muto S, Mine H, Watanabe M, Ozaki Y, Okabe N, Hasegawa T, Shio Y, Aoki M, Tan C, Shimoyama S, Nakamura K, Inano A, Suzuki H. Delta-like 1 homolog (DLK1) expression in non-small-cell lung cancer and the development of radioimmunotherapy targeting DLK1. World Conference on Lung Cancer (WCLC 2019); 20190907; Barcelona, Spain.

Oriuchi N, Zhao S, Aoki M, Tan C, Sugawara S, Nishijima K, Shimoyama S, Washiyama K, Takahashi K, Ikezoe T, Ito H. Radiolabeling and biodistribution in the tumor xenograft of ^{211}At -labeled anti-CXCR4 antibody for cancer stem cell targeted alpha-particle therapy. 32nd Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine; 20191012-16; Barcelona, Spain.

Ukon N, Zhao S, Yoshinaga K, Washino K, Aoki M, Nishijima K, Shimoyama S, Tan C, Washiyama K, Oriuchi N, Takahashi K, Higashi T, Ito H. Similarities and differences of dosimetry between meta-

[²¹¹At]astatobenzylguanidine (²¹¹At-MABG) and meta-[¹²³I]iodobenzylguanidine (¹²³I-MIBG) as companion diagnostic drug. 32nd Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine; 20191012-16; Barcelona, Spain.

Washiyama K, Aoki M, Joho T, Ukon N, Nishijima K, Takahashi K, Zhao S, Oriuchi N. An effort to diagnostic and therapeutic nuclear medicine at Fukushima Medical University using two medical cyclotrons. International Symposium on Trends in Radiopharmaceuticals (ISTR 2019); 20191028; Vienna, Austria.

粟生木美穂, 峯岸克之, 西嶋剣一, 鈴木 寿, 佐々木茂範, 鷺山幸信, 趙 松吉, 永津弘太郎, 張 明榮, 高橋和弘. 遠隔操作可能な合成装置を用いた [²¹¹At]MABG の合成とその品質評価. 日本薬学会第 139 年会; 20190320-23; 千葉.

柳沼佑基, 伊藤 浩, 石井士朗, 長谷川靖, 関野啓史, 黒岩大地, 菅原茂耕, 藤巻秀樹, 末永博紀, 箱崎元晴, 山國 遼, 渡邊宏剛. 偶発的に発見されたフィリピン出身者の日本住血吸虫症の 2 例. 第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20191018-20; 愛知. 抄録集. 55 回:S478.

石井士朗, 小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼歩那美, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 末永博紀, 黒岩大地, 菅原茂耕, 藤巻秀樹, 関野啓史, 長谷川靖, 伊藤 浩. 心アミロイドーシスの CT 所見の検討. 第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20191018-20; 愛知. 抄録集. 55 回:S495.

末永博紀, 石井士朗, 小檜山歩那美, 蛭田まほり, 柳沼佑基, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國 遼, 藤巻秀樹, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 長谷川靖, 織内 昇, 伊藤 浩. GI-BONE を用いた SPECT 単体機における骨 SPECT 画像の定量値データベースの作成. 第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20191018-20; 愛知. 抄録集. 55 回:S503.

菅原茂耕, 柳沼佑基, 渡邊剛宏, 箱崎元晴, 末永博紀, 黒岩大地, 関野啓史, 長谷川靖, 石井士朗, 伊藤 浩, 織内 昇. Evaluation the usefulness of the bone SPECT in the Ra223 chloride therapy. 第 59 回日本核医学学会総会; 20191101-03; 松山.

粟生木美穂, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 城寶大輝, 下山彩希, 右近直之, 趙 松吉, 鷺野弘明, 高橋和弘, 伊藤 浩, 東 達也. [²¹¹At]MABG の薄層クロマトグラフィー手順の探索. 第 59 回日本核医学会学術総会; 20191102; 松山.

織内 昇, 趙 松吉, 粟生木美穂, 譚 成博, 菅原茂耕, 西嶋剣一, 下山彩希, 鷺山幸信, 高橋和弘, 池添隆之, 伊藤 浩. ²¹¹At 標識抗 CXCR4 抗体の腫瘍移植マウスにおける体内分布. 第 59 回日本核医学会学術総会; 20191102; 松山.

吉永恵一郎, 趙 松吉, 粟生木美穂, 右近直之, 下山彩希, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 鷺野弘明, 高橋和弘, 東 達也, 伊藤 浩. ²¹¹At-MABG 吸収線量評価におけるコンパニオン診断薬 ¹²³I-MIBG の活用. 第 59 回日本核医学会学術総会; 20191102; 松山.

鷺野弘明, 趙 松吉, 粟生木美穂, 右近直之, 下山彩希, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 吉永恵一郎, 高橋和弘, 東 達也, 伊藤 浩. 正常マウスにおける ²¹¹At-MABG の薬物動態と代謝産物の予備的評価. 第 59 回日本核医学会学術総会; 20191102; 松山.

高木玄教, 趙 松吉, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 長谷川生, 塩 豊, 粟生木美穂, 稲野彰洋, 鈴木弘行. Delta-like 1 homolog(DLK-1)を標的とした治療開発および臨床的意義の検討. 第 60 回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪.

右近直之, 趙 松吉, 鷺山幸信, 織内 昇, 粟生木美穂, 西嶋剣一, 譚 成博, 下山彩希, 久保 均, 高橋和弘, 伊藤 浩. 小動物用 SPECT 装置を用いた ^{211}At による画像化の基礎検討. 第 14 回日本分子イメージング学会学術集会; 201090503-24; 札幌.

右近直之, 趙 松吉, 鷺山幸信, 織内 昇, 粟生木美穂, 西嶋剣一, 譚 成博, 下山彩希, 久保 均, 高橋和弘, 伊藤 浩. ^{211}At の画像化への挑戦. 第 15 回小動物インビボイメージング研究会; 20190727; 金沢.

趙 松吉, 吉永恵一郎, 右近直之, 粟生木美穂, 下山彩希, 譚 成博, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 久保 均, 高橋和弘, 鷺野弘明, 東 達也, 伊藤 浩. 正常マウスにおけるフリーアスタチン $^{211}(\text{At})$ と ^{211}At -MABG の体内動態: ^{123}I -MIBG との比較. 第 15 回小動物インビボイメージング研究会; 20190727; 金沢.

青井景都, 新 裕貴, 川崎康平, 東 美里, 鷺山幸信, 西中一郎, 羽場宏光, 森 大輝, Yang Wang, 横山明彦. Rn-211/At-211 ジェネレータシステムに必要な ^{207}Po 除去法の検討. 日本放射化学会第 63 回討論会; 20190924-26; いわき.

川崎康平, 新 裕貴, 青井景都, 東 美里, 鷺山幸信, 西中一郎, 横山明彦. ラドンの気相回収法とイオン液体抽出による Rn-At ジェネレーターシステムの開発. 日本放射化学会第 63 回討論会; 20190924-26; いわき.

趙 松吉, 吉永恵一郎, 粟生木美穂, 右近直之, 下山彩希, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 鷺野弘明, 高橋和弘, 東達也, 伊藤 浩. 正常マウスにおける ^{123}I -MIBG と ^{211}At -MABG 体内動態の評価. 第 59 回日本核医学会学術総会; 20191101-03; 松山.

〔シンポジウム〕

鷺山幸信. 有効射程 $100\mu\text{m}$ の核弾頭を用いた DDS. 理研シンポジウム エンジニアネットワーク・ワークショップ 精密武装抗体の合成と機能評価; 20190304; 東京.

Oriuchi N. Clinical Application and Development of Theranostics using Novel Targeted Radionuclide Therapy in Japan. 第 78 回日本医学放射線学会総会; 20190411-14; 横浜.

鷺山幸信. アルファ放射体を用いた標的アイソトープ治療(TRT). 第 117 回日本医学物理学会学術大会; 20190411-14; 横浜.

織内 昇. Present status of TAT development at Fukushima Medical University. TAT Workshop in Japan; 20190608; 東京.

鷺山幸信. History of radioisotope therapy. TAT Workshop in Japan; 20190608; 東京.

鷺山幸信. Outcome of TAT11. TAT Workshop in Japan; 20190608; 東京.

高木玄教, 趙 松吉, 武藤哲史, 峯 勇人, 渡部晶之, 松村勇輝, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩 豊, 栗生木美穂, 稲野彰洋, 鈴木弘行. Delta-like 1 homolog (DLK-1)を標的とした治療開発および臨床的意義. 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20191128-29; 岡山.

〔特別講演〕

織内 昇. I-131 による内用療法の現状と新規治療の発展. 第75回日本放射線技術学会総会学術大会; 20190411-14; 横浜.

織内 昇. PET-MRI の最前線 ―臨床における有用性と技術的な課題―. 第36回日本核医学技術学会関東地方会; 20190512; 長野.

鷲山幸信. アルファ放射体を用いた内用療法への取り組み. 第3回日本核医学会分科会放射性薬品科学研究会／第19回放射性医薬品・画像診断薬研究会; 20191130; 岡山.

〔招待講演〕

Oriuchi N. Theranostics in Japan and current status of Fukushima Medical University. Theranostics World Congress 2019; 20190301-03; Jeju, Korea.

Washiyama K. An effort to diagnostic and therapeutic nuclear medicine at Fukushima Medical University towards the clinical trials. KIRAMS International Symposium on Theranostics: Radioisotopes and Clinical Practice; 20191107; Seoul, South Korea.

Washiyama K. Development and challenges of alpha-emitting radiopharmaceuticals. 2019 The 6th Korean Radiopharmaceutical Society Autumn Symposium; 20191108; Seoul, South Korea.

〔その他〕

Washiyama K. Manufacturing and supply of the alpha-emitting radionuclide Astatine-211 in Japan. Technical Meeting on: Production of Alpha Emitters and Radiopharmaceuticals (Ac-225, Bi-213); 20191209-13; Vienna, Austria.

織内 昇. α 線核種による治療開発と PET の役割. 第90回日本核医学会関東甲信越地方会; 20190126; 東京.

鷲山幸信. 標的アルファ線治療の動静について. 第10回アルファ放射体実験室利用研究会; 20190215; 仙台.

織内 昇. RI 内用療法の原理と実際. 第19回日本核医学会春季大会; 20190427-28; 東京.

西嶋剣一. 先進医療 B 用 C-11-メチオニン製造の総括. 第19回日本核医学春季大会; 20190427-28; 東京.

鷲山幸信. アルファ線核種製造の国内外における動向について. PET サマーセミナー2019 in 福島; 20190823-25; 福島.

鷲山幸信, 山村朝雄, 吉本光喜, 吉井幸恵. ICP-MS を用いたアイソトープ溶液の品質保証と薬物標識法への還元. 東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター 2019 年度大洗アルファ合同研究会; 20191003-5; 仙台.

医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター

論 文

〔原 著〕

Takahashi N, Hoshi H, Higa A, Hiyama G, Tamura H, Ogawa M, Takagi K, Goda K, Okabe N, Muto S, Suzuki H, Shimomura K, Watanabe S, Takagi M. An In Vitro System for Evaluating Molecular Targeted Drugs Using Lung Patient-Derived Tumor Organoids. *Cells*. 201905; 8(5):481.

Arata Y, Watanabe A, Motosugi R, Iemura SI, Natsume T, Mukai K, Taguchi T, Hirayama S, Hamazaki J, Murata S. FAM48A mediates compensatory autophagy induced by proteasome impairment. *Genes to Cells*. 201908; 24(8):559-568.

Negishi H, Endo N, Nakajima Y, Nishiyama T, Tabunoki Y, Nishio J, Koshiba R, Matsuda A, Matsuki K, Okamura T, Negishi-Koga T, Ichinohe T, Takemura S, Ishiwata H, Iemura SI, Natsume T, Abe T, Kiyonari H, Doi T, Hangai S, Yanai H, Fujio K, Yamamoto K, Taniguchi T. Identification of U11snRNA as an endogenous agonist of TLR7-mediated immune pathogenesis. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*. 201911; 116(47):23653-23661.

〔その他〕

土橋 悠, 岡田 綾, 山本裕子, 樋口はづき, 長谷川久美子, 小澤和典, 渡辺慎哉, 片平清昭. 複合型免疫不全マウスを用いた PDX モデルの作製. *実験動物技術*. 201912; 54(2):55-62.

片平清昭, 土橋 悠, 小澤和典, 渡辺慎哉. PDX (Patient-derived xenograft)モデル作製のための実験施設. *実験動物技術*. 201912; 54(2):63-70.

著 書・訳 書

比嘉亜里砂, 高木基樹. 福島 PDO®を用いた抗がん剤の評価. In: 佐々木博己 編. 実験医学別冊: 患者由来がんモデルを用いたがん研究実践ガイド. 東京: 羊土社; 201910. p.124-131.

土橋 悠, 片平清昭. 福島 PDX コレクション. In: 佐々木博己 編. 患者由来がんモデルを用いたがん研究実践ガイド. 東京: 羊土社; 201910. p.236-243.

研究発表等

〔研究発表〕

小澤和典, 土橋 悠, 片平清昭, 渡辺慎哉. PDX(Patient-derived tumor xenograft)モデル作製における X-SCID ラットの有用性. 第 66 回日本実験動物学会総会; 20190515-17; 福岡.

若林佑太郎, 寺内由希, 石川公輔, 小林雄太, 渡辺慎哉, 仙波憲太郎. 小胞体ストレスに誘導される新規 lncRNA に関する発現解析. 第 21 回日本 RNA 学会年会; 20190717-19; 東京.

高木基樹. An in vitro system for evaluating molecular targeted drugs using patient-derived tumor organoids. 国立がん研究センター研究所 講演会: 患者由来がんモデルへ基礎研究から臨床応用まで; 20190801; 東京.

高橋信彦, 星 裕孝, 比嘉亜里砂, 檜山 源, 多村博澄, 小川真由, 高木浩輔, 合田和史, 渡辺慎哉, 高木基樹. がん組織由来培養細胞 F-PDO を用いた分子標的薬の評価. 国立がん研究センター研究所 講演会: 患者由来がんモデルへ基礎研究から臨床応用まで; 20190801; 東京.

多村博澄, 比嘉亜里砂, 星 裕孝, 檜山 源, 高橋信彦, 今井順一, 渡辺慎哉, 高木基樹. 福島事業で樹立したがん組織由来培養細胞塊 F-PDO. 国立がん研究センター研究所 講演会: 患者由来がんモデルへ基礎研究から臨床応用まで; 20190801; 東京.

土橋 悠, 小澤和典, 片平清昭, 渡辺慎哉. 固形腫瘍系 PDX(Patient-derived xenograft)マウス作製過程における評価法について. 第 53 回日本実験動物技術者協会総会 in 松山; 20191024-26; 松山. 講演要旨集. 102.

杉山 崇, 石原弘也, 小川真由, 高木浩輔, 高橋信彦, 星 裕孝, 高木基樹, 合田和史. 3D 細胞解析プラットフォームを用いた薬剤評価系の開発. 第 10 回スクリーニング学研究会; 20191122; 東京.

高橋信彦, 星 裕孝, 比嘉亜里砂, 檜山 源, 多村博澄, 小川真由, 高木浩輔, 合田和史, 渡辺慎哉, 高木基樹. がん組織由来培養細胞塊 F-PDO を用いた抗がん剤スクリーニングのための 3 次元解析. 第 10 回スクリーニング学研究会; 20191122; 東京.

檜山 源, 多村博澄, 星 裕孝, 高橋信彦, 今井純一, 渡辺慎哉, 高木基樹. 薬剤感受性試験における患者由来オルガノイドモデルの比較. 第 10 回スクリーニング学研究会; 20191122; 東京.

星 裕孝, 檜山 源, 今井順一, 渡辺慎哉, 高木基樹. タンパク質マイクロアレイの創薬研究への活用. 第 10 回スクリーニング学研究会; 20191122; 東京.

若林佑太郎, 寺内由希, 石川公輔, 曾 超, 小林雄太, 浜田道昭, 渡辺慎哉, 仙波憲太郎. 小胞体ストレスに誘導される lncESIT に関する発現・機能解析. 第 42 回日本分子生物学会年会; 20191203-06; 福岡.

ふくしま子ども・女性医療支援センター

論 文

〔原 著〕

Soeda S, Furukawa S, Sato T, Ueda M, Kamo N, Endo Y, Kojima M, Nomura S, Kataoka M, Fujita S, Endo H, Takahashi T, Watanabe T, Yamada H, Fujimori K. Pelvic Exenteration as Potential Cure and Symptom Relief in Advanced and Recurrent Gynaecological Cancer. *Anticancer Research*. 201910; 39(10):5631-5637.

Ota K, Sato K, Ogasawara J, Takahashi T, Mizunuma H, Tanaka M. Safe and easy technique for the laparoscopic application of Seprafilm® in gynecologic surgery. *Asian Journal of Endoscopic Surgery*. 2019; 12:242-245.

Nishigori H, Obara T, Nishigori T, Ishikuro M, Sakurai K, Hoshiai T, Saito M, Fujiwara I, Arima T, Nakai K, Kuriyama S, Mano N, Metoki H, Yaegashi N; Japan Environment & Children's Study Group. Preconception folic acid supplementation use and the occurrence of neural tube defects in Japan: A nationwide birth cohort study of the Japan Environment and Children's Study. *Congenital Anomalies*. 201907; 59(4):110-117.

Zhu D, Chung HF, Pandeya N, Dobson AJ, Hardy R, Kuh D, Brunner EJ, Bruinsma F, Giles GG, Demakakos P, Lee JS, Mizunuma H, Hayashi K, Adami HO, Weiderpass E, Mishra GD. Premenopausal cardiovascular disease and age at natural menopause: a pooled analysis of over 170,000 women. *European Journal of Epidemiology*. 201903; 34(3):235-246.

Iwama N, Metoki H, Nishigori H, Mizuno S, Takahashi F, Tanaka K, Watanabe Z, Saito M, Sakurai K, Ishikuro M, Obara T, Tatsuta N, Nishijima I, Sugiyama T, Fujiwara I, Kuriyama S, Arima T, Nakai K, Yaegashi N; Japan Environment & Children's Study Group. Association between alcohol consumption during pregnancy and hypertensive disorders of pregnancy in Japan: the Japan Environment and Children's Study. *Hypertension Research*. 201901; 42(1):85-94.

Tanaka K, Nishigori H, Watanabe Z, Iwama N, Satoh M, Murakami T, Hamada H, Hoshiai T, Saito M, Mizuno S, Sakurai K, Ishikuro M, Obara T, Tatsuta N, Fujiwara I, Kuriyama S, Arima T, Nakai K, Yaegashi N, Metoki H; Japan Environment & Children's Study Group. Higher prevalence of hypertensive disorders of pregnancy in women who smoke: the Japan environment and children's study. *Hypertension Research*. 201904; 42(4):558-566.

Yumura Y, Tsujimura A, Okada H, Ota K, Kitazawa M, Suzuki T, Kakinuma T, Watanabe C, Takae S, Suzuki N, Iwamoto T. Recognition and attitudes of Japanese hematologists on sperm banking before chemotherapy: present status from nationwide questionnaire survey. *International Journal of Clinical Oncology*. 201901; 24(1):94-102.

Watanabe Z, Nishigori H, Tanoue K, Tanaka K, Iwama N, Satoh M, Murakami T, Nishigori T, Mizuno S,

Sakurai K, Ishikuro M, Obara T, Tatsuta N, Saito M, Tachibana M, Fujiwara I, Arima T, Takeda T, Kuriyama S, Nakai K, Yaegashi N, Metoki H; Japan Environment & Children's Study Group. Preconception dysmenorrhea as a risk factor for psychological distress in pregnancy: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Affective Disorders*. 2019; 245:475-483.

Takagi K, Iwama N, Metoki H, Uchikura Y, Matsubara Y, Matsubara K, Nishigori H, Saito M, Fujiwara I, Sakurai K, Kuriyama S, Arima T, Nakai K, Yaegashi N, Sugiyama T; Japan Environment, Children's Study Group. Paternal height has an impact on birth weight of their offspring in a Japanese population: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 2019; 10(5):542-554.

Katanoda K, Noda M, Goto A, Mizunuma H, Lee JS, Hayashi K. Being underweight in adolescence is independently associated with adult-onset diabetes among women: The Japan Nurses' Health Study. *Journal of Diabetes Investigation*. 2019; 10:827-836.

Iwama N, Metoki H, Nishigori H, Mizuno S, Takahashi F, Tanaka K, Watanabe Z, Saito M, Sakurai K, Ishikuro M, Obara T, Tatsuta N, Nishijima I, Sugiyama T, Fujiwara I, Kuriyama S, Arima T, Nakai K, Yaegashi N; Japan Environment & Children's Study Group. Blood pressure changes during twin pregnancies: the Japan Environment and Children's Study. *Journal of Hypertension*. 2019; 37(1):206-215.

Tanoue K, Nishigori H, Watanabe Z, Tanaka K, Sakurai K, Mizuno S, Ishikuro M, Obara T, Tachibana M, Hoshiai T, Saito M, Sugawara J, Tatsuta N, Fujiwara I, Kuriyama S, Arima T, Nakai K, Yaegashi N, Metoki H. Interannual Changes in the Prevalence of Intimate Partner Violence Against Pregnant Women in Miyagi Prefecture After the Great East Japan Earthquake: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Interpersonal Violence*. 2019; 34(10):3117-3131; doi: 10.1177/0886260519881517.

Nishigori H, Obara T, Nishigori T, Metoki H, Mizuno S, Ishikuro M, Sakurai K, Hamada H, Watanabe Z, Hoshiai T, Arima T, Nakai K, Kuriyama S, Yaegashi N; Miyagi Regional Center of Japan Environment & Children's Study Group. The prevalence and risk factors for postpartum depression symptoms of fathers at one and 6 months postpartum: an adjunct study of the Japan Environment & Children's Study. *Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine*. 2019; 37(1):206-215.

Otsuki K, Ando S, Nishi T, Jimbo M. Transvaginal cervicoisthmic cerclage for patients with extremely high-risk history of preterm delivery. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 2019; 45(2):454-460.

Zhu D, Chung HF, Dobson AJ, Pandeya N, Giles GG, Bruinsma F, Brunner EJ, Kuh D, Hardy R, Avis NE, Gold EB, Derby CA, Matthews KA, Cade JE, Greenwood DC, Demakakos P, Brown DE, Sievert LL, Anderson D, Hayashi K, Lee JS, Mizunuma H, Tillin T, Simonsen MK, Adami HO, Weiderpass E, Mishra GD. Age at natural menopause and risk of incident cardiovascular disease: a pooled analysis of individual patient data. *Lancet. Public Health*. 2019; 4(11):e553-e564.

Ishikawa T, Obara T, Jin K, Nishigori H, Miyakoda K, Suzuka M, Ikeda-Sakai Y, Akazawa M, Nakasato N, Yaegashi N, Kuriyama S, Mano N. Examination of the prescription of antiepileptic drugs to prenatal and postpartum women in Japan from a health administrative database. *Pharmacoepidemiology and Drug Safety*.

201906; 28(6):804-811.

Hattori H, Kitamura A, Takahashi F, Kobayashi N, Sato A, Miyauchi N, Nishigori H, Mizuno S, Sakurai K, Ishikuro M, Obara T, Tatsuta N, Nishijima I, Fujiwara I, Kuriyama S, Metoki H, Yaegashi N, Nakai K, Arima T; Japan Environment and Children's Study Group. The risk of secondary sex ratio imbalance and increased monozygotic twinning after blastocyst transfer: data from the Japan Environment and Children's Study. *Reproductive Biology and Endocrinology*. 201902; 17(1):27.

Soeda S, Kyojuka H, Kato A, Fukuda T, Isogami H, Wada M, Murata T, Hiraiwa T, Yasuda S, Suzuki D, Yamaguchi A, Hasegawa O, Nomura Y, Jimbo M, Takahashi T, Watanabe T, Mizunuma H, Fujimori K. Establishing a Treatment Algorithm for Puerperal Genital Hematoma Based on the Clinical Findings. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201910; 249(2):135-142.

山口明子, 水沼英樹. ホルモン Q&A 自律神経失調症の既往と GnRH アゴニストの副作用の関係を教えてください. *HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY*. 201912; 26(4):316-317.

高橋俊文. 【不妊治療とプレシジョンメディシン】調節卵巣刺激の個別化. *Precision Medicine*. 2019; 2(14):1340-1343.

太田邦明, 鈴木大輔, 高橋俊文, 水沼英樹. 【AGEs と女性医療】AGEs と不育症. *White*. 201911; 7(2):137-142.

太田邦明, 高橋俊文, 水沼英樹. 【新時代に入ったがん・生殖医療】がん・生殖医療の現状と今後の展望 がん・生殖医療のための生殖補助医療技術の進歩. *産科と婦人科*. 201904; 86(4):431-437.

太田邦明, 鈴木大輔, 高橋俊文, 水沼英樹. 【“いつかはママに…”を応援する プレコンセプションケア】栄養代謝とプレコンセプションケア. *産婦人科の実践*. 201909; 68(10):1215-1221.

那須美智子, 内山心美, 神保正利, 塩谷茉智子, 小暮剛太, 遠武孝祐, 前田雄岳, 小松玲奈, 西 健, 安藤 智, 大槻克文. 円錐切除術後の子宮頸管狭窄が一因と考えられた付属器膿瘍に対して CT ガイド下穿刺が有用であった 1 例. *東京産科婦人科学会誌*. 201901; 68(1):31-36.

小暮剛太, 対馬杏奈, 那須美智子, 遠武孝祐, 前田雄岳, 小松玲奈, 西 健, 内山心美, 安藤 智, 神保正利, 大槻克文. 子宮内容除去術後に発症した子宮動静脈奇形に対して子宮動脈塞栓術を施行した 1 例. *東京産科婦人科学会誌*. 201907; 68(3):387-392.

西郡秀和, 濱田洋実. 妊婦健診での超音波スクリーニングにおける妊婦週数ごとのチェックポイントは？ (1) 母体、(2) 胎児の通常超音波検査、(3) 胎児の形態異常にわけて考える. *日本医事新報*. 201908; 4975:47.

志賀友美, 西郡秀和. 産科医として、周産期メンタルヘルスケアと体制構築に向けたポイントは？ 助産師を巻き込んだ上で仲間を集め、身近なところから活動を開始する. *日本医事新報*. 201909; 4978:56-57.

太田邦明. 妊孕性改善と生児獲得を目指した preconception care 生殖医学における新規栄養代謝バイオマーカーを基盤とした妊孕性改善の試み Preconception care のエビデンスの確立に向けて. *日本産科婦人科学会雑誌*.

201909; 71(9):1783-1792.

勝島由利子, 横山浩之, 勝島史夫. 小児科一次クリニックにおける ADHD 小児 400 例の患者背景の検討. 日本小児科医会会報. 201910; 58:141-145.

鈴木大輔, 高橋俊文, 遠藤雄大, 平岩 幹, 野村真司, 小島 学, 経塚 標, 鈴木 聡, 添田 周, 渡辺尚文, 水沼英樹, 藤森敬也. 子宮動脈塞栓術後の晩期合併症により腹腔鏡下子宮全摘術を施行した 3 症例. 福島医学雑誌. 201912; 68(3):177-183.

神保正利. 【助産師必携 母体・胎児・新生児の生理と病態 早わかり図解】(第 V 部) 分娩の生理 (第 2 章) 分娩の 3 要素 分娩の 3 要素のメカニズム. ペリネイタルケア. 201907; 2019 夏季増刊:164-166.

神保正利. 【助産師必携 母体・胎児・新生児の生理と病態 早わかり図解】(第 V 部) 分娩の生理 (第 2 章) 分娩の 3 要素 微弱陣痛・過強陣痛. ペリネイタルケア. 201907; 2019 夏季増刊:167-170.

西郡秀和, 菊地紗耶. 【助産師必携 母体・胎児・新生児の生理と病態 早わかり図解】(第 VI 部) 産褥期の生理 (第 3 章) 産褥期のメンタルヘルス 心理的变化のメカニズム. ペリネイタルケア. 201907; 2019 夏季増刊:206-209.

西郡秀和, 菊地紗耶. 【助産師必携 母体・胎児・新生児の生理と病態 早わかり図解】(第 VI 部) 産褥期の生理 (第 3 章) 産褥期のメンタルヘルス 産後うつ病/マタニティーブルーズ. ペリネイタルケア. 201907; 2019 夏季増刊:210-213.

西郡秀和, 渡邊一代. 【周産期の感染症まるわかり 病態生理&ケア 風疹・梅毒・パルボウイルス etc.知っておくべき最新トピックス】GBS 感染. ペリネイタルケア. 201908; 38(8):767-771.

横山浩之. 子どもの行動異常を保育・幼児教育で予防しよう 発達からみる気づきのポイント. 保育と保健. 201901; 25(1):66-68.

高橋俊文. 【卵巣刺激・排卵誘発のすべて—どんな症例に、どのように行うのか】無排卵・機能性不妊に対する卵巣刺激 クロミフェン・メトホルミン. 臨床婦人科産科. 201907; 73(7):637-642.

西郡秀和. 【基本手術手技の習得・指導ガイド—専攻医修了要件をどのように満たすか?】産科手術関連手技 子宮内容除去術. 臨床婦人科産科. 201911; 73(11):1083-1089.

高橋俊文. 【基本手術手技の習得・指導ガイド—専攻医終了要件をどのように満たすか?】生殖医療関連手技 子宮卵管造影, 子宮鏡, 採卵・胚移植. 臨床婦人科産科. 201911; 73(11):1144-1152.

〔症例報告〕

Takehara I, Takahashi T, Ota K, Ohta N, Mizunuma H, Nagase S. Trichorionic triamniotic triplets after single embryo transfer: A case series and literature review. International Journal of Women's Health and Reproduction Sciences. 201907; 7(3):408-411.

Suzuki S, Takahashi T, Ota K, Nishimura K, Fukase M, Watanabe N, Matsukawa J, Matsuo K, Kawagoe J, Mizunuma H, Nagase S. Successful laparoscopic treatment of an abdominal pregnancy implanted in the utero-ovarian ligament: a case report of a rare form of ectopic pregnancy. *Journal of Obstetrics and Gynaecology*. 201905; 39(4):579-580.

著 書・訳 書

高橋俊文. Chapter3 生殖の病態（不妊症） 1 不妊症概論. In: 鈴木秋悦, 久保晴海 編. 新 不妊ケア ABC. 東京: 医歯薬出版; 201903. p.63-68.

高橋俊文. 高プロラクチン血症. In: 柴原浩章 編. 不妊症・不育症診療 その伝承とエビデンス. 東京: 中外医学社; 201911. p.157-161.

研究発表等

〔研究発表〕

Takahashi T, Takehara I, Ota K, Mizunuma H, Nagase S. Predictive factors for dizygotic twin pregnancies after single embryo transfer: a retrospective analysis of a large-scale nationwide database study. 35th Annual Meeting ESHRE; 20190623-26; Vienna, Austria.

Ota K, Takahashi T, Mizunuma H, Kaw-Kim J. Impact of MTHFR C677T polymorphism on the levels of vitamin D and homocysteine and NK cell cytotoxicity in women with recurrent pregnancy losses. 35th Annual Meeting ESHRE; 20190623-26; Vienna, Austria.

Ota K, Takahashi T, Kaw-Kim J. Vitamin D insufficiency is the risk factor for hyperhomocysteinemia derived from MTHFR C677T gene polymorphism in women with recurrent pregnancy losses. ASRM 2019 Scientific Congress & Expo; 20191012-16; Philadelphia, USA.

Takahashi T, Ota K. Predictive factors for oocyte retrieval failure in treatment cycles with assisted reproductive technology: a retrospective cohort study using the nation-wide ART registry of Japan. ASRM 2019 Scientific Congress & Expo; 20191012-16; Philadelphia, USA.

高橋俊文, 古川茂宣, 小島 学, 野村真司, 太田邦明, 添田 周, 渡邊尚文, 水沼英樹, 藤森敬也. 子宮体癌に対する腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術—導入から保険診療申請・その後の軌跡—. 第8回ふくしま産婦人科内視鏡研究会; 20190303; 須賀川.

Soeda S, Kyojuka H, Hiraiwa T, Murata T, Yamaguchi A, Takahashi T, Watanabe T, Fujimori K. The evaluation of the treatment strategy for puerperal genital haematoma to establish the optimal and reliable treatment algorithm considering the condition of the patients. 第71回日本産科婦人科学会; 20190412-14; 名古屋.

Ohara M, Yamaguchi A, Suzuki S, Suganuma R, Takahashi T, Mizunuma H, Komiya H, Fujimori K. Effect

of metformin on androgen receptor expression in endometrial epithelial/stromal cell lines. 第 71 回日本産科婦人科学会; 20190412-14; 名古屋.

Kojima M, Soeda S, Nomura S, Furukawa S, Watanabe T, Kamo Norihito, Ueda M, Watanabe T, Jimbo M, Takahashi T, Mizunuma H, Chiba H, Fujimori K. The high expression of claudin-6 is a poor prognostic factor in uterine endometrial cancer. 第 71 回日本産科婦人科学会; 20190412-14; 名古屋.

高橋俊文, 横山良仁, 熊谷 仁, 寺田幸弘, 八重樫伸生, 永瀬 智, 藤森敬也. 東日本大震災が生殖補助医療の治療成績に与える影響に関する研究—ART 登録を用いた横断研究—. 第 71 回日本産科婦人科学会; 20190412-14; 名古屋.

福田冬馬, 鴻池由大, 大越千弘, 和田茉莉奈, 大和田垂矢, 加茂矩士, 村田強志, 経塚 標, 山口明子, 藤森敬也, 西郡秀和, 神保正利, 高橋俊文, 水沼英樹. 既往早産妊婦に対する weekly 17 alpha-hydroxyprogesterone caproate 投与効果の検討. 平成 31 年度福島県産婦人科学会春期学術集会; 20190421; 福島.

藤森実杜, 白岩 彩, 福田冬馬, 植田牧子, 加茂矩士, 遠藤雄大, 小島 学, 野村真司, 古川成宣, 添田周, 渡辺尚文, 藤森敬也, 西郡秀和, 神保正利, 高橋俊文, 水沼英樹. 当院で staging laparotomy を施行した宗教的預血拒否の卵巣癌の 1 例. 平成 31 年度福島県産婦人科学会春期学術集会; 20190421; 福島.

高橋俊文, 太田邦明, 水沼英樹, 藤森敬也. 緊急避妊薬レボノルゲストレル内服後の卵管妊娠の 1 例. 第 92 回日本内分泌学会; 20190509-11; 仙台. 日本内分泌学会雑誌. 95(1):427.

高橋俊文. ART 時代の不妊治療から見てきた生殖医療の新知見. 米沢市・東西置賜合同産婦人科集談会; 20190515; 米沢.

高橋俊文. 小児・AYA がん患者におけるがん生殖補助医療の実践. 2019 年度第 2 回臨床腫瘍セミナー; 20190521; 福島.

高橋俊文. ライフステージからみたヘルスケア 一般臨床医に知っていて欲しい生殖の知識. 第 233 回両沼郡医師会研修会; 20190613; 会津坂下町.

灘本圭子, 西原卓志, 勇 史行, 太田邦明, 井上朋子, 森本義晴. 終末糖化産物(AGEs)の蓄積は生殖補助医療の治療成績に影響する. 第 19 回日本抗加齢医学会総会; 20190614-16; 横浜. プログラム・抄録集. 216.

高橋俊文. 生殖医療における患者と医療者のヘルスリテラシー. 第 147 回東北連合産婦人科学会; 20190615; 山形.

神保正利, 安藤 智, 増田美香子, 宮坂尚幸, 中林正雄. 助産師を対象とした分娩時異常出血対応シミュレーション教育について. 第 55 回日本周産期・新生児医学会; 20190713-15; 松本. 日本周産期・新生児医学会雑誌. 55(2):436.

高橋俊文. 生殖医療における内視鏡下手術の立ち位置—その手術本当に必要ですか?—. 第 145 回山形県集談会; 20190907; 酒田.

太田邦明, 高橋俊文. 「がん・生殖医療」と生殖外科の調和を目指して<ワークショップ: がん・生殖医療—卵

巣組織凍結・融解移植の具現化を目指して>. 第 59 回日本産婦人科内視鏡学会; 20190912-14; 京都. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌. 35(Suppl.I):45.

若木 優, 太田邦明, 鈴木りか, 高橋俊文. 子宮奇形を伴わない 14 歳女性に発症した若年子宮内膜症嚢胞の 1 例～子宮内膜症の発症機序を再考する～. 第 59 回日本産婦人科内視鏡学会; 20190912-14; 京都. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌. 35(Suppl.I):175.

加茂矩士, 高橋俊文, 佐藤 哲, 小島 学, 野村真司, 古川茂宣, 太田邦明, 添田 周, 渡邊尚文, 水沼英樹, 藤森敬也. 卵管周囲の平滑筋細胞の異常増殖が原因と考えられた 14 歳に発症した卵管留水症の 1 例. 第 59 回日本産婦人科内視鏡学会; 20190912-14; 京都. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌. 35(Suppl.I):192.

古川茂宣, 添田 周, 白岩 彩, 植田牧子, 加茂矩士, 遠藤雄大, 小島 学, 太田邦明, 渡邊尚文, 高橋俊文, 藤森敬也. 腹腔鏡下卵巣授動術を施行した若年者の支給原発 Ewing 肉腫の 1 症例. 第 59 回日本産婦人科内視鏡学会; 20190912-14; 京都. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌. 35(Suppl.I):209.

白岩 彩, 古川茂宣, 藤森実杜, 福田冬馬, 植田牧子, 遠藤雄大, 小島 学, 添田 周, 渡邊尚文, 小野澤寿志, 太田邦明, 高橋俊文, 藤森敬也. 腹腔鏡下に診断・治療し得た子宮広間膜ヘルニアの 1 例. 第 59 回日本産婦人科内視鏡学会; 20190912-14; 京都. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌. 35(Suppl.I):221.

大越千弘, 太田邦明, 植田牧子, 加茂矩士, 白岩 彩, 遠藤雄大, 小島 学, 古川茂宣, 添田 周, 高橋俊文. 採卵後の卵巣出血に対して、腹腔鏡下に診断・止血を行った 1 例. 第 59 回日本産婦人科内視鏡学会; 20190912-14; 京都. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌. 35(Suppl.I):222.

植田牧子, 古川茂宣, 遠藤雄大, 小島 学, 添田 周, 渡邊尚文, 高橋俊文, 藤森敬也. 腹腔鏡下子宮全摘術後に臍膿瘍を生じた 1 例. 第 59 回日本産婦人科内視鏡学会; 20190912-14; 京都.

菅藤美由紀, 菅沼亮太, 込山真貴子, 野口香里, 菊地瑛子, 小宮ひろみ, 高橋俊文, 水沼英樹, 藤森敬也. 当院における妊孕性温存療法の現状について. 第 22 回福島リプロダクション研究会; 20190914; 福島.

菅沼亮太, 和田茉莉奈, 大越千弘, 大原未希, 高橋俊文, 水沼英樹, 藤森敬也. 子宮鏡下子宮内膜ポリープ切除前の Dienogest の使用経験について. 第 22 回福島リプロダクション研究会; 20190914; 福島.

高橋俊文, 大越千弘, 大原未希, 菅沼亮太, 小宮ひろみ, 水沼英樹, 藤森敬也. 脳幹部腫瘍を合併し初経遅延と視床下部性無月経を呈した不妊症患者の治療経験. 第 22 回福島リプロダクション研究会; 20190914; 福島.

村田強志, 経塚 標, 福田冬馬, 目黒啓予, 山口明子, 神保正利, 西郡秀和, 藤森敬也. 当院における SLE 合併妊娠における周産期予後の検討. 第 40 回日本妊娠高血圧学会; 20190921-22; 浦和.

神保正利, 山崎信世, 米山万里枝, 齋藤益子. 助産師を対象とした分娩時異常出血対応シミュレーション教育. 2019 年度東京母性衛生学会チーム医療推進助産師研修; 20190922-23; 東京.

鴻地由大, 村田強志, 大越千弘, 和田茉莉奈, 加茂矩士, 菅野垂矢, 経塚 標, 山口明子, 神保正利, 藤森敬也. 子宮内容除去術後に発症した子宮動脈奇形に対して子宮動脈塞栓術を施行した 1 例. 第 67 回北日本産科婦人科学会; 20190928-29; 福井. プログラム・抄録集. 54.

小島 学, 添田 周, 古川茂宣, 鴻地由大, 白岩 彩, 福田冬馬, 植田牧子, 遠藤雄大, 渡邊尚文, 藤森敬也, 神保正利, 西郡秀和, 高橋俊文, 水沼英樹, 片岡征雄. 膣内遺物を原因として膀胱陰嚢、巨大結石を発症した1例の治療経験～我々はこうして巨大結石を摘出した～. 第67回北日本産科婦人科学会; 20190928-29; 福井. プログラム・抄録集. 77.

和田美里奈, 高橋俊文, 小島 学, 植田牧子, 遠藤雄大, 古川茂宣, 小宮ひろみ, 藤森敬也. 当科で経験した完全型アンドロゲン不応症2症例の検討. 第27回特定非営利活動法人東北内分泌研究会・第39回日本内分泌学会東北地方会; 20191019; 福島.

白岩 彩, 太田邦明, 大原未希, 菅沼亮太, 高橋俊文, 水沼英樹, 藤森敬也. 採卵後の腹腔内出血に対して腹腔鏡下に止血した1例. 第64回日本生殖医学会; 20191107-08; 神戸. 日本生殖医学会雑誌. 64(4):287.

山下聡子, 山田 聡, 加藤恵一, 大野基晴, 瀬川智也, 中岡義晴, 戸屋真由美, 河内谷敏, 佐藤芳昭, 高橋俊文, 竹内茂人, 野見山真理, 田畑知沙, 藤原敏博, 岡本純英, 河村寿宏, 川越 淳, 山田満穂, 佐藤雄一, 杉山カール, 池本裕子, 落合阿沙子, 黒田恵司. 日本における単一胚移植後の品胎及び四胎123症例の検討. 第64回日本生殖医学会; 20191107-08; 神戸.

〔シンポジウム〕

高橋俊文. 卵子の加齢による卵子の質の低下の分子機構. 第26回大阪母子医療センターシンポジウム 基礎研究におけるセレンディピティと臨床への応用; 20190206; 和泉.

太田邦明. 妊孕性改善と生児獲得を目指した preconception care 生殖医学における新規栄養代謝バイオマーカーを基盤とした妊孕性改善の試み—Preconception care のエビデンスの確立に向けて—. 第71回日本産科婦人科学会学術講演会; 20190413; 名古屋. 日本産科婦人科学会雑誌. 71(臨増):S20-S23.

西郡秀和. シンポジウム 周産期メンタルヘルスにおける大規模コホート研究の構築に向けて 周産期医学の立場からコホート研究に迫る. 第16回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会. 20191027; 千葉. 抄録集. 38.

太田邦明, 高橋俊文, 吉田仁秋, 水沼英樹. 統合医療をエビデンス化する<シンポジウム: 生殖医療における統合医療>. 第64回日本生殖医学会; 20191107-08; 神戸. 日本生殖医学会雑誌. 64(4):244.

〔招待講演〕

横山浩之. 発達障害臨床のビットフォール. 第12回みやこ小児神経臨床懇話会; 20190615; 京都.

横山浩之. 発達障害診療の勘どころ. 第5回日本小児神経学会サテライトセミナー; 20190630; 高知.

西郡秀和. わが国における妊婦の葉酸摂取と児の神経管閉鎖障害について—エコチル調査からの知見—. 第43回日本女性栄養・代謝学会学術集会; 20190905; 神戸. プログラム・抄録集. 41.

横山浩之. 子育て支援から子どもの行動異常を予防しよう. 子育て支援フォーラム in 千葉; 20190921; 千葉.

西郡秀和. どうしたら産後うつ病を減らせるか? 2019 年度中国・四国地区母子保健事業研修会; 20191029; 徳島.

横山浩之. 知的障害. 第 49 回日本小児神経学会 小児神経学セミナー; 20191116-17; 幕張.

臨床研究イノベーションセンター

論 文

〔原 著〕

Kurita N, Akizawa T, Fukuhara S. Vitality Measured as Self-reported Energy Level and Clinical Outcomes in Hemodialysis Patients: The Japanese Dialysis Outcomes and Practice Pattern Study (J-DOPPS). *American Journal of Kidney Diseases*. 201904; 73(4):486-495.

Takahashi S, Ojima T, Kondo K, Shimizu S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Social participation and the combination of future needs for long-term care and mortality among older Japanese people: a prospective cohort study from the Aichi Gerontological Evaluation Study (AGES). *BMJ Open*. 201911; 9(11):e030500.

Kataoka Y, Ikegaki S, Kato D, Takada T, Tsujimoto Y, Sasaki S, Takahashi S. Scholarly Activity Support Systems in Internal Medicine Residency Programs: A National Representative Survey in Japan. *Internal Medicine*. 201907; 58(13):1859-1864.

Aoki T, Yamamoto Y, Ikenoue T, Fukuhara S. Factors associated with patient preferences towards deprescribing: a survey of adult patients on prescribed medications. *International Journal of Clinical Pharmacy*. 201904; 41(2):531-537.

Iida H, Kurita N, Takahashi S, Sasaki S, Nishiwaki H, Omae K, Yajima N, Fukuma S, Hasegawa T, Fukuhara S, Kobayashi S, Niihata K, Naganuma T, Tominaga R. Salt intake and body weight correlate with higher blood pressure in the very elderly population: The Sukagawa study. *Journal of Clinical Hypertension*. 201907; 21(7):942-949.

Matsumura S, Watanabe K, Fukuhara S. The association between physician's affiliation and patients' adherence to their antihypertensive medication and pharmaceutical knowledge. *Journal of General and Family Medicine*. 201901; 20(1):19-24.

Kamitani T, Yamamoto Y, Fukuma S, Ikenoue T, Kimachi M, Shimizu S, Yamamoto S, Otani K, Sekiguchi M, Onishi Y, Takegami M, Ono R, Yamazaki S, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. Association Between the Discrepancy in Self-Reported and Performance-Based Physical Functioning Levels and Risk of Future Falls Among Community-Dwelling Older Adults: The Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). *Journal of the American Medical Directors Association*. 201902; 20(2):195-200.e1.

Omae K, Yamamoto Y, Kurita N, Takeshima T, Naganuma T, Takahashi S, Ohnishi T, Ito F, Yoshioka T, Fukuhara S. Gait speed and overactive bladder in the healthy community-dwelling super elderly: The Sukagawa Study. *Neurourology and Urodynamics*. 2019; 38(8):2324-2332.

Kimachi K, Kimachi M, Takegami M, Ono R, Yamazaki S, Goto Y, Onishi Y, Sekiguchi M, Otani K, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Level of Low Back Pain-Related Disability is Associated with Risk of Subsequent Falls in an Older Population: Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). *Pain Medicine*. 2019; 20(12):2377-2384.

Miyashita J, Yamamoto Y, Shimizu S, Aoki T, Azuma T, Takada T, Hayashi M, Kimachi M, Ikenoue T, Fukuma S, Fukuhara S. Association between social networks and discussions regarding advance care planning among Japanese older adults. *PLOS ONE*. 2019; 14(3):e0213894.

Matsuoka Y, Ikenoue T, Hata N, Taguri M, Itaya T, Ariyoshi K, Fukuhara S, Yamamoto Y. Hospitals' extracorporeal cardiopulmonary resuscitation capabilities and outcomes in out-of-hospital cardiac arrest: A population-based study. *Resuscitation*. 2019; 136:85-92.

熊澤淳史, 福間真悟. 優れた臨床研究は、あなたの診療現場から生まれる 総合診療医のための臨床研究実践講座 (第 11 回) 診断法の評価研究の具体例 臨床現場で生まれた診断精度研究、発案から論文投稿までの道のり. *Gノート*. 2019; 6(1):141-147.

〔その他〕

Yasuda S, Tsutsumi Y, Tsuchiya A, Togo M, Furukawa A, Ishigami K, Osone J, Tsujimoto Y, Takahashi S. Simple average is not appropriate for understanding the results of previous studies. *Acute Medicine & Surgery*. 2019; 6(3):325-326.

大学健康管理センター

論 文

〔原 著〕

Oe M, Maeda M, Ohira T, Itagaki S, Harigane M, Suzuki Y, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Ohto H. Parental Recognition of Bullying and Associated Factors Among Children After the Fukushima Nuclear Disaster: A 3-Year Follow-Up Study from the Fukushima Health Management Survey. *Frontiers in Psychiatry*. 2019; 10:283.

Itagaki S, Wada T, Yokokura S, Ise Y, Sato A, Matsumoto T, Mashiko H, Niwa SI, Yabe H. Study of developmental disorders among newborns in Fukushima City after the Great East Japan Earthquake and nuclear power plant accident: an adjunct study of the Fukushima Regional Center of the Japan Environmental

and Children's Study (JECS). Fukushima Journal of Medical Science. 201904; 65(1):1-5. Erratum: 65(2):68-69.

研究発表等

〔研究発表〕

板垣俊太郎, 松本貴智, 伊瀬陽子, 佐藤亜希子, 横倉俊也, 和田知紘, 浅野太志, 増子博文, 矢部博興. 多彩な身体疾患を抱えて食行動異常を繰り返した回避制限性食物摂取障害の長期経過例. 第88回日本心身医学会東北地方会; 20190223; 仙台.

板垣俊太郎. 職場におけるストレスマネジメント. 安全運転管理福島事業主会 研修会; 20190227; 福島.

板垣俊太郎, 浅野太志, 和田知紘, 横倉俊也, 伊瀬陽子, 佐藤亜希子, 松本貴智, 増子博文, 矢部博興. グアンファシンにより多剤併用療法を解消出来た発達障害の一例. 第60回日本児童青年精神医学会総会; 20191205-07; 宜野湾.

〔シンポジウム〕

板垣俊太郎, 戸田 亘, 松本純弥, 大西 隆, 伊藤 浩, 志賀哲也, 松本貴智, 青木俊太郎, 三浦 至, 矢部博興. 発達障害における Mismatch Negativity(MMN)と脳画像解析の統合の試み. 第49回日本臨床神経生理学学会学術大会; 20191128-30; 福島.

新医療系学部設置準備室

論 文

〔原 著〕

Iokawa K, Hasegawa K, Ishikawa T. Usefulness of the Daily Life Performance Transfer Sheet in care management of people with stroke. American Journal of Occupational Therapy. 201906; 73(4):7304205080p1-7304205080p7.

Yabuki S, Ip AKK, Tam CK, Murakami T, Ushida T, Wang JH, Shin HK, Sun WZ, Williamson OD. Evidence-based recommendations on the pharmacological management of osteoarthritis and chronic low back pain: An Asian consensus. Asian Journal of Anesthesiology. 201906; 57(2):37-54.

Iokawa K, Sone T, Fujita T, Tsukada T, Kaneda M, Hasegawa K. Clinical indicators and thresholds for determining discharge destination from acute stroke ward. Asian Journal of Occupational Therapy. 201904; 15(1):27-35.

Furukawa M, Wang X, Ohkawara H, Fukatsu M, Alkebsi L, Takahashi H, Harada-Shirado K, Shichishima-

Nakamura A, Kimura S, Ogawa K, Ikezoe T. A critical role of the Gas6-Mer axis in endothelial dysfunction contributing to TA-TMA associated with GVHD. *Blood Advances*. 2019; 3(14):2128-2143.

Takayama K, Kato T, Nakamura T, Azami Y, Ono T, Suzuki M, Takada A, Yamaguchi H, Seto I, Nakasato T, Wada H, Kikuchi Y, Mitsudo K, Fuwa N, Murakami M. Proton beam therapy combined with intra-arterial infusion chemotherapy for stage IV adenoid cystic carcinoma of the base of the tongue. *Cancers*. 201909; 11(10):1413.

Fujita T, Yamamoto Y, Yamane K, Tsuchiya K, Ohira Y, Otsuki K, Iokawa K. Abdominal muscle strength and recovery of upper extremity function in stroke patients: a study using propensity score matching. *Disability and Rehabilitation*. 20191224; doi: 10.1080/09638288.2019.1706104.

Uemura M, Hayashi F, Ishioka K, Ihara K, Yasuda K, Okazaki K, Omata J, Suzutani T, Hirakawa Y, Chiang C, Aoyama A, Ohira T. Obesity and mental health improvement following nutritional education focusing on gut microbiota composition in Japanese women: a randomised controlled trial. *European Journal of Nutrition*. 201912; 58(8):3291-3302.

Hayashi F, Sanpei M, Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Yasumura S, Nakajima S, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Changes in the mental health status of adolescents following the Fukushima Daiichi nuclear accident and related factors: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Affective Disorders*. 201909; 260:432-439.

Yokozuka M, Miki C, Suzuki M, Katsura R. Association between toe flexor strength and activity levels in community-dwelling Japanese older women. *Journal of Aging and Physical Activity*. 201911; 28(3):360-364.

Murata S, Ono R, Omata J, Endo T, Otani K. Coexistence of Chronic Musculoskeletal Pain and Depressive Symptoms and Their Combined and Individual Effects on Onset of Disability in Older Adults: A Cohort Study. *Journal of the American Medical Directors Association*. 201910; 20(10):1263-1267.e3.

Fukuda A, Lin PP, Ichikawa N, Matsubara K. Estimation of Primary Radiation Output for Wide-Beam Computed Tomography Scanner. *Journal of Applied Clinical Medical Physics*. 201904; 20(6):152-159.

Nakayama K, Wakamatsu K, Fujii H, Shinzaki S, Takamatsu S, Kitazume S, Kamada Y, Takehara T, Taniguchi N, Miyoshi E. Core fucose is essential glycosylation for CD14-dependent Toll-like receptor 4 and Toll-like receptor 2 signalling in macrophages. *Journal of Biochemistry*. 201903; 165(3):227-237.

Ishii S, Miyajima M, Suenaga H, Sugawara S, Nemoto A, Ukon N, Nambu T, Kubo H, Oriuchi N, Ito H. Detectability of Malignant Lesions by Whole-Body Magnetic Resonance Imaging Using Whole-Body Integrated Positron Emission Tomography/Magnetic Resonance Imaging. *Journal of Computer Assisted Tomography*. 201907; 43(4):664-670.

Yanagihara K, Matsumoto T, Aoki N, Sato J, Wakamura T, Kiyota H, Tateda K, Hanaki H, Ohsaki Y, Fujiuchi S, Takahashi M, Akiba Y, Masunaga S, Takeuchi K, Takeda H, Miki M, Kumagai T, Takahashi H, Utagawa M, Nishiya H, Kawakami S, Ishigaki S, Kobayasi N, Takasaki J, Mezaki K, Iwata S, Katouno Y,

Inose R, Niki Y, Kawana A, Fujikura Y, Kudo M, Hirano T, Yamamoto M, Miyazawa N, Tsukada H, Aso S, Yamamoto Y, Iinuma Y, Mikamo H, Yamagishi Y, Nakamura A, Ohashi M, Kawabata A, Sugaki Y, Seki M, Hamaguchi S, Toyokawa M, Kakeya H, Fujikawa Y, Mitsuno N, Ukimura A, Miyara T, Hayasi M, Mikasa K, Kasahara K, Koizumi A, Korohashi N, Matumoto T, Yosimura Y, Katanami Y, Takesue Y, Wada Y, Sugimoto K, Yamamoto T, Kuwabara M, Doi M, Simizu S, Tokuyasu H, Hino S, Negayama K, Mukae H, Kawanami T, Yatera K, Fujita M, Kadota J, Hiramatsu K, Aoki Y, Magarifuchi H, Oho M, Morinaga Y, Suga M, Muranaka H, Fujita J, Higa F, Tateyama M. Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the surveillance committee of Japanese Society of Chemotherapy, the Japanese Association for Infectious Diseases, and the Japanese Society for clinical microbiology in 2014: General view of the pathogens' antibacterial susceptibility. *Journal of Infection and Chemotherapy*. 201909; 25(9):657-668.

Takahashi N, Kinoshita T, Ohmura T, Toyoshima H. Evaluation of an automated method for detection of early Alzheimer's disease in computed tomography images. *Journal of Medical Imaging and Health Informatics*. 201905; 9(4):819-823.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Tominaga R, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S; DISTO project working group. Reference values of the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis and characteristics of deterioration of QOL: Lumbar Spinal Stenosis Diagnosis Support Tool: DISTO project. *Journal of Orthopaedic Science*. 201907; 24(4):584-589.

Kawamata M, Iseki M, Kawakami M, Yabuki S, Sasaki T, Ishida M, Nishiyori A, Hida H, Kikuchi S. Efficacy and safety of controlled-release oxycodone for the management of moderate-to-severe chronic low back pain in Japan: results of an enriched enrollment randomized withdrawal study followed by an open-label extension study. *Journal of Pain Research*. 201901; 12:363-375.

Takahashi N, Takatsuki K, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary pain management program for patients with chronic musculoskeletal pain in Japan: a cohort study. *Journal of Pain Research*. 201908; 12:2563-2576.

Fujita T, Sato A, Narita A, Sone T, Iokawa K, Tsuchiya K, Yamane K, Yamamoto Y, Ohira Y, Otsuki K. Use of a multilayer perceptron to create a prediction model for dressing independence in a small sample at a single facility. *Journal of Physical Therapy Science*. 201901; 31(1):69-74.

Yokozuka M, Okazaki K, Sakamoto Y, Takahashi K. Relationship between foot morphology and toe muscle strength in female university students. *Journal of Physical Therapy Science*. 201905; 31(5):457-461.

Fujita T, Iokawa K, Sone T, Yamane K, Yamamoto Y, Ohira Y, Otsuki K. Effects of the interaction among motor functions on self-care in individuals with stroke. *Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases*. 201911; 28(11):104387.

Kadoya N, Abe Y, Kajikawa T, Ito K, Yamamoto T, Umezawa R, Chiba T, Katsuta Y, Takayama Y, Kato T, Kikuchi Y, Jingu K. Automated noncoplanar treatment planning strategy in stereotactic radiosurgery of multiple cranial metastases: HyperArc and CyberKnife dose distributions. *Medical Dosimetry*. 201902; 44(4):394-400.

Takahashi N, Kinoshita T, Ohmura T, Matsubara K, Lee Y, Kato M, Toyoshima H. Computerized identification of early ischemic changes in acute stroke in noncontrast CT using deep learning. Proceedings of SPIE Medical Imaging 2019: Computer-Aided Diagnosis. 201903; 10950:109503A.

Masaki K, Terashima S, Endo H, Komori S, Kato T. The method of obtaining point kernels for use in the convolution dose calculation in radiation therapy. Proceedings of the 25th EGS Users' Meeting in Japan (KEK Proceedings 2018-13). 201903; 11-18.

Yokozuka M, Miki C, Kurogo H, Kobayashi T, Nagai M, Katsura R. Foot characteristics and falls among community-dwelling independent elderly women who can walk outdoors. Progress in Rehabilitation Medicine. 201910; 4: doi: 10.2490/prm.20190017.

Moriyama N, Iwasa H, Orui M, Kuroda Y, Ono M, Okazaki K, Takamura M, Sato N, Yasumura S. Efficacy of group intervention involving physical activity on subjective well-being of elderly returnees after evacuation following the Great East Japan Earthquake. Psychogeriatrics. 201905; 19(3):246-254.

Tanaka T, Matsubara K, Fukuda A, Kobayashi S. Estimation of Hp(3) to the eye lens of interventional radiologists - Relation between the eye lens dose and radiologist's height. Radiation Protection Dosimetry. 201912; 187(4):409-417.

Kato T, Arai K, Sagara T, Kato R, Yamazaki Y, Oyama S. Patient-specific quality assurance for proton depth dose distribution using a multi-layer ionization chamber in a single-ring wobbling method. Radiological Physics and Technology. 201907; 12(3):305-311.

Iokawa K, Sone T, Fujita T, Tsukada T, Kaneda M, Hasegawa K. Functional and cognitive variables predicting successful use of chopsticks or a spoon by the paretic upper extremity in patients following stroke: a cross-sectional study. Topics in Stroke Rehabilitation. 201901; 26(1):1-5.

Sakuda K, Kanekiyo K, Taniguchi N, Kitazume S. The Role of Branched O-Mannosyl Glycan in Demyelination. Trends in Glycoscience and Glycotechnology. 201905; 31(180):E77-E85.

岩崎 稔, 高橋直人, 二瓶健司, 笠原 諭, 矢吹省司. テーマ新時代への挑戦: 日本人にあったチーム医療、集学的治療、慢性痛に対する運動療法の自己管理法. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 201910; 11(3):295-302.

高橋直人, 矢吹省司. 入院による集学的治療におけるリハビリテーション診療の意義. Monthly Book Medical Rehabilitation. 201911; 242:68-76.

高橋直人, 笠原 諭, 矢吹省司. 運動器慢性痛に対する集学的痛み治療 ―入院型ペインマネジメントプログラム―. PAIN RESEARCH. 201903; 34(1):44-56.

高橋規之. ディープラーニングツール DIGITS 基本編. 医用画像情報学会雑誌. 201906; 36(2):50-52.

松山江里, 李 鎔範, 高橋規之, 蔡 篤儀. ウェーブレット係数を用いた CNN による CT 画像の肺がんの組織型分類. 医用画像情報学会雑誌. 201906; 36(2):64-71.

富士佳弘, 岡崎可奈子, 中野裕紀, 章 雯, 上村真由, 広崎真弓, 大平哲也, 磯 博康. 東日本大震災後の仮設住宅生活者に対する社会参加型の身体活動介入が不活動の高齢者に及ぼす効果に関する予備的検討. 運動疫学研究. 201909; 21(2):104-112.

久保 均, 根本彩香, 右近直之, 石井士朗, 菅原茂耕, 伊藤 浩. PET/MRI 装置の原理と検査法. 計測と制御. 201907; 58(7):535-540.

小俣純一. 【もうあれこれ買わないためにまとめた THE 整形外科ナーステキスト あらゆる疾患・治療・ケアを完全網羅! 上肢・脊椎】(1 章) 上肢・脊椎の解剖 上肢全体. 整形外科看護. 201911; 2019 秋季増刊:010-015.

小俣純一. 【もうあれこれ買わないためにまとめた THE 整形外科ナーステキスト あらゆる疾患・治療・ケアを完全網羅! 上肢・脊椎】(1 章) 上肢・脊椎の解剖 肩関節. 整形外科看護. 201911; 2019 秋季増刊:016-017.

小俣純一. 【もうあれこれ買わないためにまとめた THE 整形外科ナーステキスト あらゆる疾患・治療・ケアを完全網羅! 上肢・脊椎】(1 章) 上肢・脊椎の解剖 肘関節. 整形外科看護. 201911; 2019 秋季増刊:018-019.

小俣純一. 【もうあれこれ買わないためにまとめた THE 整形外科ナーステキスト あらゆる疾患・治療・ケアを完全網羅! 上肢・脊椎】(1 章) 上肢・脊椎の解剖 手指・手関節. 整形外科看護. 201911; 2019 秋季増刊:020-023.

小俣純一. 【もうあれこれ買わないためにまとめた THE 整形外科ナーステキスト あらゆる疾患・治療・ケアを完全網羅! 上肢・脊椎】(1 章) 上肢・脊椎の解剖 脊椎. 整形外科看護. 201911; 2019 秋季増刊:024-033.

佐藤主汰, 伊藤俊一, 小俣純一, 遠藤達矢, 三浦拓也, 岩渕真澄, 白土 修. 成人脊柱変形患者の歩行能力には, 動的脊柱アライメントが影響する. 東北理学療法学. 201910; 31:33-39.

齋藤泰智, 高橋一人, 小笠原愛美, 中河知里, 佐藤多嘉之, 作田泰宏, 森川知世, 加藤有希美, 高屋絵美梨, 秋田隆司. HPC モードを用いた造血前駆細胞および造血器腫瘍細胞検出能の検証. 日本検査血液学会雑誌. 201907; 20(2):207-215.

嶋崎寛子, 川又寛徳, 谷村厚子, 石代敏拓, 小林法一. 活動と参加に焦点を当てた作業療法プログラムが再建期の被災高齢者に及ぼす影響に関する予備的研究. 日本保健科学学会誌. 201912; 22(3):110-118.

市川 尚, 松原孝祐, 福田篤志. Spectral Shaping Filter を搭載した血管撮影装置における被曝線量および画質の評価. 日本放射線技術学会誌. 201901; 75(1):13-23.

林 拓磨, 福田篤志. 自作血管狭窄モデルを用いた 3D・TOF・MRA による頭部用ステント内評価. 日本放射線技術学会雑誌. 201908; 75(8):747-754.

加藤雅人, 土橋 卓, 加藤貴弘, 加藤亮平, 真崎敬大, 新井一弘, 小森慎也, 小山 翔, 遠藤浩光, 和田 仁, 村上昌雄, 武田 賢. Field matching 法を用いた食道がん陽子線治療における matchline profile に関する検

討 一呼吸性移動が及ぼす影響とその対策について. 日本放射線技術学会誌. 201912; 75(12):1383-1393.

宮安孝行, 藤村一郎, 鈴木淳平, 小倉圭史, 田代雅実, 田中善啓, 大保 勇, 赤木憲明, 五十嵐隆元, 坂下恵治. 外傷全身 CT 撮影における被ばく線量(CTDIvol と DLP)の国内実態調査. 日本臨床救急医学会雑誌. 201910; 22(5):715-722.

三橋拓平, 亀川拓真, 秋濱裕貴, 澄川幸志, 田中 真, 加藤拓彦. 入退院時における心不全患者の心理的状态と関連する因子の検討. 保健科学研究. 201903; 9(2):1-9.

半田隼一, 矢吹省司. 加齢に伴う運動器の変化と理学療法 加齢に伴う腰椎の変化 1. 理学療法. 201912; 36(12):1129-1138.

三浦拓也, 佐藤圭汰, 小俣純一, 遠藤達矢, 岩渕真澄, 白土 修, 伊藤俊一. 腰部脊柱管狭窄症患者の下肢痛の強さは, 歩行時における脊椎, 骨盤, 股関節の動的 alignment と関連する. 理学療法学. 201908; 46(Suppl.1):1-M-2-8.

佐藤圭汰, 小俣純一, 遠藤達矢, 三浦拓也, 岩渕真澄, 白土 修, 伊藤俊一. 成人脊柱変形患者の歩行持久性に静的・動的脊柱アライメントはどちらが影響するか? 理学療法学. 201908; 46(Suppl.1):1-O-12-2.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 小俣純一, 三浦拓也, 佐藤圭汰, 白土 修. 腰痛を呈する成人脊柱変形に対する運動療法の効果 介入後 3 ヶ月の短期成績. 理学療法学. 201908; 46(Suppl.1):2-P-C-1-4.

成田大一, 渡邊誠二, 高橋一人, 千葉智博, 野見山早苗, 加治屋健太郎, 下田 浩. リンパ学の明日を探る～循環器領域 ヒトリンパ管の顕微解剖学再考. リンパ学. 201906; 42(1):25-27.

〔総説等〕

廣瀬勝己, 加藤貴弘, 高井良尋. ホウ素中性子捕捉療法の最新動向. INNERVISION. 201911; 34(11):49-52.

Kato T. Current status of dosimetry tools for clinical proton beams. Radiation Environment and Medicine. 201909; 8(2):59-69.

〔症例報告〕

川又寛徳, 井口知也. 介護老人保健施設における補完的な作業のマネジメント. 作業行動研究. 201901; 22(2・3):90-97.

石川哲也, 川又寛徳. 退職後に趣味を見いだせないまま脳挫傷を受傷した高齢男性の余暇活動支援. 作業行動研究. 201901; 22(2・3):98-104.

根本恵里, 五百川和明, 芳賀裕子, 二瓶健司, 小林 亨. 椎骨・脳底動脈閉塞に伴う多発性脳梗塞の重度障害事例に対する作業療法の実践. 作業療法. 201912; 38(6):691-697.

佐久間由香, 五百川和明, 藤田貴昭, 山本優一, 甲斐龍幸. 化学療法誘発性末梢神経障害による異常感覚を呈

した悪性リンパ腫患者に対する作業療法—理容師としての復職を目指した症例. 作業療法. 201912; 38(6):698-705.

〔研究報告書〕

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 小俣純一, 遠藤達矢, 三浦拓也, 岩渕真澄, 白土 修. 腰痛を有する成人脊柱変形患者の SRS-22 下位項目と身体機能・脊柱アライメントの関係. 東北理学療法学. 201910; 31:40-47.

著 書・訳 書

高橋規之. 第3章 DIGITS を使った深層学習と医用画像処理. In: 藤田広志 監修, 福岡大輔 編. 医療 AI とディープラーニングシリーズ 標準 医用画像のためのディープラーニング入門編一. 東京: オーム社; 201904. p.97-153.

矢吹省司. 腰痛症. In: 泉 孝英 編. ガイドライン外来診療 2019. 東京: 日経メディカル開発; 2019. p.267-272.

山田 孝, 井口知也, 本家寿洋, 川又寛徳 訳. 第20章 認知症の人々への人間作業モデルの適用、第21章 精神疾患をもつ人々への人間作業モデルの適用. In: Renée R Taylor 編著, 山田 孝 監訳. キールホフナーの人間作業モデル 理論と応用 改訂第5版. 東京: 協同医書出版社; 201906 p.402-442.

川又寛徳. 作業を用いた健康への貢献. In: 重森健太, 横井賀津志 編. 地域リハビリテーション学 第2版 . 東京: 羊土社; 201903. p.254-262.

矢吹省司. 腰痛、背部痛. In: 伴信太郎, 山本和利 編. 内科学書 改訂第9版 Vol.1. 東京: 中山書店; 2019. p.442-445.

矢吹省司. 四肢痛. In: 伴信太郎, 山本和利 編. 内科学書 改訂第9版 Vol.1. 東京: 中山書店; 2019. p.445-447.

研究発表等

〔研究発表〕

Takahashi N, Kinoshita T, Ohmura T, Matsuyama E, Toyoshima H. Computerized identification of early ischemic changes in acute stroke in noncontrast CT using deep learning. SPIE2019 Medical Imaging; 20190216-21; San Diego, USA.

Ichikawa N, Fukuda A, Kamei T, Hattori Y, Tanaka T, Matsubara K. Evaluation of Eye Lens Doses in Transcatheter Arterial Chemo Embolization. KIMES2019 35th Korea International Medical & Hospital Equipment Show; 20190314; Seoul, Korea.

Shinohara Y, Takahashi N, Lee Y, Ohmura T, Umetsu A, Kinoshita F, Kuya K, Kato A, Kinoshita T. Deep learning-assisted diagnosis of hyperdense MCA sign in acute ischemic stroke. ASNR 57th Annual Meeting; 20190518-23; Boston, USA.

Nikaido T, Otani K, Sekiguchi M, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S.

Characteristics of neuropathic pain due to lumbar spine disorders: Relationship with recognition of pain, psychiatric problems, and HR-QoL. 46th ISSLS Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Sato K, Ito T, Tominaga R, Endo T, Omata J, Miura T, Iwabuchi M, Shirado O. Dynamic spinal alignment can influence on continuous walkable distance in the patients with adult spinal deformity. ISSLS2019 46th Annual Meeting; 20190603; Kyoto.

Kato T, Sagara T, Yamazaki Y, Kato M, Oyama S, Murakami M. Feasibility study of thermoluminescence sheet-type dosimeter for in vivo dosimetry in passive scattering proton therapy. 58th Annual Conference of the Particle Therapy Co-operative Group; 20190610-15; Manchester, UK.

Kato T, Hirose K, Arai K, Motoyanagi T, Harada T, Shimokomaki R, Takeuchi A, Kato R, Tanaka H, Mitsumoto T, Yajima S, Takai Y. Design and construction of an accelerator-based boron neutron capture therapy facility (AB-BNCT) with multiple treatment rooms at the Southern Tohoku BNCT Research Center. 58th Annual Conference of the Particle Therapy Co-operative Group; 20190610-15; Manchester, UK.

Takahashi N, Kinoshita T, Shinohara Y, Ohmura T. Development of automated estimation of disproportionately enlarged subarachnoid space in head CT. Computer Assisted Radiology and Surgery CARS2019; 20190617; Rennes, France.

Takahashi N, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary pain management program for the patients with chronic low back pain Japan. 46th ISSLS Annual Meeting; 20190703-08; Kyoto.

Kato T, Sagara T, Yamazaki Y, Kato M, Oyama S. Fundamental study of thermoluminescence sheet-type dosimeter for in vivo dosimetry in passive scattering proton therapy. 61th Annual Meeting & Exhibition of the American Association of Physicists in Medicine; 20190714-18; San Antonio, USA.

Kobayashi H, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Handa J, Otani K, Yabuki S, Konno S. Surgical outcome of posterior minimum invasive surgery using spinal instruments for pelvic ring injury. 19th Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery; 20190807-11; Suzhou, China.

國島麻実子, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 転移性髄内腫瘍の治療経験—1例報告—. 第29回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

二階堂琢也, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎外科レジストリの成果と今後の課題. 第29回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

結城拓也, 大谷晃司, 渡邊和之, 小林 洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎砂時計腫術後15年で頸椎砂時計腫を発症した1例. 第29回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

篠原祐樹, 高橋規之, 李 鎔範, 大村知己, 梅津篤司, 木下富美子, 木下俊文. 深層学習を用いた頭部単純CTにおける hyperdense MCA sign の検出. 第48回日本神経放射線学会; 20190214-16; 久留米.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 佐藤圭汰, 小俣純一, 岩渕真澄, 白土 修. 成人脊柱変形の術前リハビリテーションは

術後成績に影響をおよぼすか. 第 9 回日本成人脊柱変形学会; 20190302; 東京.

大橋拓朗, 藤田貴昭, 佐藤淳史, 大橋悠司, 木皿悠太, 山根和広, 山本優一, 曾根稔雅, 五百川和明. 多層パーセプトロンを用いた ADL 予後予測モデルの精度とサンプル数の関係. 第 44 回日本脳卒中学会学術集会; 20190322; 横浜.

大橋悠司, 藤田貴昭, 佐藤淳史, 木皿悠太, 大橋拓朗, 山根和広, 山本優一, 曾根稔雅, 五百川和明. 脳卒中患者の歩行の自立に必要な下肢機能—決定木による分析. 第 44 回日本脳卒中学会学術集会; 20190322; 横浜.

木皿悠太, 藤田貴昭, 佐藤淳史, 大橋拓朗, 大橋悠司, 山根和広, 山本優一, 曾根稔雅, 五百川和明. トイレ動作の自立に必要なバランスの経時的変化. 第 44 回日本脳卒中学会学術集会; 20190322; 横浜.

高橋一人, 渡邊誠二, 成田大一, 松崎典弥, 下田 浩. 細胞外マトリクス及び微小循環系を内含する三次元人工ヒト皮膚モデルの開発. 第 124 回日本解剖学会総会全国学術集会; 20190327-29; 新潟.

金沢雄大, 李 鎔範, 長谷川晃, 高橋規之, 高橋直也. 頭部 CT 画像における眼窩外耳孔線に沿った断面自動再構成法の性能評価. 第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会(JRC2019); 20190411-14; 横浜.

坂元健太郎, 加藤 守, 高橋規之, 千田浩一, 笠松 武, 小野寺敏彦, 渥美博人. 冠動脈形成術における患者被ばく線量の評価. 第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会(JRC2019); 20190411-14; 横浜.

高橋規之, 篠原祐樹, 木下俊文, 大村知己, 松原佳亮, 李 鎔範, 豊嶋英仁. ディープラーニングによる単純 CT における急性期脳梗塞早期虚血サインの自動検出: 神経放射線診断医との比較. 第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会(JRC2019); 20190411-14; 横浜.

Shinohara Y, Takahashi N, Lee Y, Ohmura T, Umetsu A, Kinoshita F, Kuya K, Kato A, Kinoshita T. Deep learning-assisted diagnosis of hyperdense MCA sign in acute ischemic stroke: comparison with readers' performance. 第 78 回日本医学放射線学会総会(JRC2019); 20190411-14; 横浜.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 佐藤圭汰, 小俣純一, 富永亮司, 岩淵真澄, 白土 修. 股関節屈曲拘縮は成人脊柱変形の sagittal imbalance に強く影響を及ぼす. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 矢吹省司, 紺野慎一. 足 10 秒テストを用いた腰仙椎部疾患における下肢運動機能の定量評価—第 2 報: 術後 5 年フォローアップによる経時的変化の検討. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 遠藤達矢, 小俣純一, 三浦拓也, 岩淵真澄, 白土 修. 成人脊柱変形患者の連続歩行可能距離に及ぼす動的脊柱アライメントの影響. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

二階堂琢也, 大谷晃司, 関口美穂, 猪狩貴弘, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 地域住民における傍脊柱筋の脂肪変性と腰部脊柱管狭窄との関係—南会津スタディ. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜. Journal of Spine Research. 10(3):545.

三浦拓也, 伊藤俊一, 佐藤圭汰, 小俣純一, 遠藤達矢, 岩淵真澄, 白土 修. 腰部脊柱管狭窄症患者の下肢痛

強度と歩行時における動的脊柱アライメントとの関連性. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手の腰痛—メディカルサポートは有用か—. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

二階堂琢也, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎疾患による神経障害性疼痛の特徴—痛みの認知, 心理的問題, QOL との関係—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 93(2):S122.

大谷晃司, 菊地臣一, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 一般住民における腰部脊柱管狭窄症と腰痛との関係—南会津スタディより—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

小林 洋, 大谷晃司, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 10 秒テストと握力を用いた頸髄症スクリーニングツールの開発—利き手と左右差を用いたスコアリングシステム—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

二階堂琢也, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎疾患による神経障害性疼痛の特徴—痛みの認知, 心理的問題, QOL との関係—. 第 92 回日本整形外科学会学術総会; 20190509-12; 横浜.

田代雅実, 永井千恵. 可搬型 FPD を用いた撮影ガイド下中心静脈カテーテル挿入術における被ばく線量および画質評価. 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190530; 和歌山.

川又寛徳, 石橋 裕, 井口知也. わが国における高齢者のヘルスリテラシーに関する文献レビュー. 第 29 回日本作業行動学会学術集会; 20190608-09; 大阪.

阿部良知, 加藤亮平, 小松俊介, 太田裕樹, 真崎敬大, 大内久夫, 遠藤浩光, 加藤貴弘, 佐藤園美, 菊池泰裕. サイバーナイフによる多発腫瘍に対する治療時間の短縮効果の検討. 第 28 回日本定位放射線治療学会; 20190614; 新潟.

真崎敬大, 小森慎也, 遠藤浩光, 阿部良知, 新井一弘, 太田裕樹, 島田星良, 中野渡優志, 廣垣智也, 加藤貴弘. 非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療における線量計算精度の検証. 第 28 回日本定位放射線治療学会; 20190614; 新潟.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 骨粗鬆症性椎体骨折偽関節に対する手術療法—平成における当科の治療法の変遷—. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

猪股洋平, 高橋直人, 遠藤康二郎, 高橋洋子, 立石 琢, 矢吹省司. 運動器慢性痛に対し多職種による入院型集学的痛み治療により奏功した 1 例. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190622; 盛岡.

藤田貴昭, 五百川和明, 佐藤惇史, 山根和広, 山本優一. 脳卒中患者のセルフケアと上肢機能およびバランス

機能の関連性は経時的に変化する. 第 29 回東北作業療法学会; 20190622; 山形.

佐藤圭汰, 岩渕真澄, 伊藤俊一, 小俣純一, 遠藤達矢, 白土 修. 成人脊柱変形患者の歩行時姿勢不良には脊椎伸展可動域と股関節伸展筋力が影響する. 第 3 回会津骨粗鬆症連携フォーラム; 20190628; 会津若松.

半谷智辰, 遠藤達矢, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. 成人脊柱変形患者の歩行時姿勢異常には脊椎伸展可動域と股関節伸展筋力が影響する. 第 31 回日本運動器科学会; 20190706-07; 岡山.

高橋直人, 久保 均, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 集学的痛み治療を受けた運動器慢性痛患者における MR スペクトロコピーを用いた網羅的解析. 第 41 回日本疼痛学会; 20190712; 名古屋.

堀越裕子, 勝田新一郎, 藤倉佑光, 志村浩己, 挾間彰博, 清水 強, 白井厚治. ニカルジピン投与に対する弾性動脈と筋性動脈における PWV および Beta の応答の比較検討—ウサギを用いた実験的検討—. 第 51 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20190712; 京都.

坂本和樹, 大関雄太, 三橋佑平. 当院における再入院心不全患者の特徴. 第 25 回日本心臓リハビリテーション学会; 20190713; 大阪.

木村 哲, 大河原浩, 皆川敬治, 川畑絹代, 森 博隆, 深津真彦, 高橋裕志, 原田佳代, 佐野秀樹, 小川一英, 大戸 斉, 菊田 敦, Kenneth E Nollet, 池田和彦, 池添隆之. G-CSF の投与方法による末梢血幹細胞採取効率の検討. 第 32 回東北 BMT 研究会; 20190727; 仙台.

真崎敬大, 阿部良知, 相良達彦, 遠藤浩光, 太田裕樹, 小松俊介, 小森慎也, 加藤亮平, 大内久夫, 加藤貴弘. 定位放射線治療装置サイバーナイフの装置内シミュレーションによる線源情報取得の試み. 第 26 回 EGS 研究会; 20190806; つくば.

根本恵里, 五百川和明, 芳賀裕子, 二瓶健司, 小林 亨. 椎骨脳底動脈閉塞に伴う多発性梗塞患者に生じた安静座位時の急激で粗大な体動. 第 53 回日本作業療法学会; 20190906-08; 福岡.

藤田貴昭, 山根和広, 山本優一, 土屋謙仕, 五百川和明. 腹筋力は麻痺側上肢機能改善と関連する一傾向スコアを用いた分析—. 第 53 回日本作業療法学会; 20190906-08; 福岡.

山根和広, 藤田貴昭, 五百川和明, 山本優一. 回復期リハビリテーション病棟の脳卒中患者における決定木を用いた転帰先の予測. 第 53 回日本作業療法学会; 20190906-08; 福岡.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 半谷智辰, 小俣純一, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. 腰部背筋に対するストレッチングの効果発現に必要な最小試行回数; 剪断波エラストグラフィを用いた筋弾性率の定量的検討. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913; 神戸.

高橋直人, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 慢性腰痛に対する集学的痛み治療—入院型ペインマネジメントプログラム後の追跡調査—. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913; 神戸.

三浦拓也, 伊藤俊一, 佐藤圭汰, 小俣純一, 遠藤達矢, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. 腰部脊柱管狭窄症患者の下肢痛には体幹・股関節伸展筋力と動的脊柱アライメントが影響する. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913; 神

戸.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 野球選手における腰痛の診断と治療. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

加藤欽志, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 椎間関節性腰痛の診断と治療. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

小林 洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 足 10 秒テストを用いた腰仙椎部疾患における下肢運動機能の定量評価—第 2 報: 術後 5 年フォローアップによる経時的変化の検討. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 小俣純一, 遠藤達矢, 三浦拓也, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. 成人脊柱変形患者の QOL 評価における歩行負荷試験の有用性. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 小俣純一, 遠藤達矢, 三浦拓也, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. 成人脊柱変形患者の三次元歩行動作解析—脊椎伸展可動域制限と股関節伸展筋力低下は歩行時の脊柱アライメント異常を招く. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 慢性腰痛に対するリエゾンアプローチ. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

渡邊和之, 大歳憲一, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 学童期バスケットボール選手における腰痛調査の結果から. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

岡崎可奈子, 平野雄三, 岸波麻美, 本間一成, 兼田 航. 福島県理学療法士会公益事業局活動報告「介護職員の包括的腰痛予防講習会」の現状と課題. 第 37 回東北理学療法学会学術大会; 20190914-15; 福島.

森山信彰, 小俣純一, 佐藤竜太, 岡崎可奈子, 安村誠司. 福島県内の復興公営住宅に居住する高齢者を対象とした運動教室介入プログラムが精神的健康度に与える効果—クラスターランダム化比較試験—. 第 37 回東北理学療法学会学術大会; 20190914-15; 福島.

三浦里織, 豊川真弘, 小川一英, 三阪智史, 義久精臣, 竹石恭知, 笠原浩二, 山本正雅, 北爪しのぶ. アミロイドβ前駆体タンパク質 770 は血小板活性化マーカーとして有用か? 第 92 回生化学会大会; 20190918-20; 横浜.

深津真彦, 大河原浩, 森 博隆, 佐野隆浩, 原田佳代, 高橋裕志, 七島晶子, 木村 哲, 八巻尚洋, 小川一英, 竹石恭知, 池添隆之. 心不全合併 AL アミロイドーシスに対する自家造血幹細胞移植併用大量化学療法により著明な心機能の改善を得た 1 例. 第 2 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20190921; 旭川.

高橋智里, 黒須由美子, 西山翔子, 佐藤綾子, 長嶺夏希, 山谷幸恵, 坂上敏江, 佐藤吉子, 鈴木英明, 堀越裕子, 大石 学, 鈴木 聡, 岩館 学, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木真一, 志村浩己. 超音波診断装置におけるプローブの経時的変化. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005; 福島.

西山翔子, 高橋智里, 黒須由美子, 佐藤吉子, 長嶺夏希, 坂上敏江, 佐藤綾子, 山谷幸恵, 鈴木英明, 堀越裕子, 大石 学, 鈴木 聡, 岩館 学, 松塚 崇, 鈴木 悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 超音波診断装置におけるプローブ間差と機器間差の検討. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20191005; 福島.

深津真彦, 木村 哲, 原田佳代, 森 博隆, 佐野隆浩, 高橋裕志, 七島晶子, 大河原浩, 添田智子, 小川一英, 池添隆之. ステロイド抵抗性、抗 DNA 抗体陽性の筋炎を合併した慢性 GVHD の 1 例. 第 81 回日本血液学会学術集会; 20191011; 東京.

古川未希, 王 新濤, 大河原浩, 深津真彦, Alkebsi Lobna, 小川一英, 池添隆之. ARDS の新規治療ターゲット: Gas6-Mer シグナル. 第 81 回日本血液学会学術集会; 20191011; 東京.

高橋直人, 久保 均, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 集学的痛み治療を受けた運動器慢性痛患者における MR スペクトロスコピーを用いた網羅的解析. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017; 横浜.

大村知己, 高橋規之, 李 鎔範, 佐々木文昭, 大阪 肇. CT における画質とテクスチャ特徴の関連性に関する基礎的検証. 第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会; 20191017-19; 大阪.

三浦里織, 川又寛徳, 北爪しのぶ, 三橋祐平, 堀越裕子, 田中善信, 五百川和明, 豊川真弘, 小川一英, 矢吹省司. 医師・臨床検査技師・作業療法士が連携した認知症予防に関する健康教室. 第 9 回日本認知症予防学会学術集会; 20191018; 名古屋.

中野裕紀, 林 史和, 岡崎可奈子, 長尾匡則, 吉田知克, 弓屋 結, 梅澤光政, 小橋 元, 大平哲也, 安村誠司, 神谷研二. 福島県脳卒中発症登録に関する報告: 東日本大震災の影響. 高住美香第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別):306.

岡崎可奈子, 高橋敦史, 大平哲也, 前田正治, 矢部博興, 中野裕紀, 林 史和, 長尾匡則, 坂井 晃, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災直後の避難区域住民のメタボリックシンドロームに関連する心理社会的要因. 高住美香第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別):338.

林 史和, 大平哲也, 中野裕紀, 岡崎可奈子, 針金まゆみ, 安村誠司, 前田正治, 高橋敦史, 矢部博興, 鈴木友里子, 神谷研二. 東日本大震災後の骨折の頻度に関連する危険因子についての検討: 福島県県民健康調査. 高住美香第 78 回日本公衆衛生学会総会; 20191023-25; 高知. 日本公衆衛生雑誌. 66(10 特別):429.

加藤亮平, 加藤貴弘, 廣瀬勝己, 竹内瑛彦, 本柳智章, 新井一弘, 原田崇臣, 高井良尋. ホウ素中性子捕捉療法における異なるモンテカルロコードで計算した線量分布の比較. 第 9 回東北放射線医療技術学術大会; 20191026-27; 仙台.

佐藤啓樹, 池田知広, 真崎敬大, 原田崇臣, 成田優輝, 加藤雅人, 松本拓也, 鈴木正樹, 横田克二, 齋藤二央, 加藤貴弘. ハイドロゲルスペーサを用いた前立腺癌陽子線治療における前立腺位置変位の評価. 第 9 回東北放射線医療技術学術大会; 20191026-27; 仙台.

成田優輝, 池田知広, 武政公大, 原田崇臣, 山崎雄平, 加藤雅人, 小山 翔, 松本拓也, 鈴木正樹, 横田克二, 加藤貴弘. 膵臓癌に対する同時ブースト法を用いた陽子線治療における腸管内容物の変化が及ぼす影響. 第 9 回東北放射線医療技術学術大会; 20191026-27; 仙台.

真崎敬大, 阿部良知, 太田裕樹, 遠藤浩光, 小松俊介, 小森慎也, 加藤亮平, 相良達彦, 大内久夫, 加藤貴弘. 実臨床を想定した不均質ファントムにおけるサイバーナイフ線量計算アルゴリズムの精度検証. 第9回東北放射線医療技術学会大会; 20191026-27; 仙台.

深津真彦, 森 博隆, 原田佳代, 木村 哲, 佐野隆浩, 高橋裕志, 大河原浩, 田崎和洋, 橋本優子, 小川一英, 池添隆之. Aggressive な臨床経過を示した MYC 転座を有するマンツル細胞リンパ腫 blastoid variant の1例. 悪性リンパ腫(M.L.)研究会; 20191102; 郡山.

秋山俊一, 加藤正隆, 遠藤浩光, 加藤雅人, 鍵谷 勝, 本柳智章, 松本拓也, 新井一弘, 加藤貴弘. 改正 RI 法に伴う当グループの放射線障害予防規程改訂に関する取り組み. 令和元年度福島県放射線技師会学会大会; 20191110; 郡山.

本間優一, 並木久太郎, 菅家和也, 三瓶 司, 岡 善隆, 加藤貴弘. 福島県の訪問による出力線量の外部評価の取り組み. 令和元年度福島県放射線技師会学会大会; 20191110; 郡山.

栗田 恵, 藤田貴昭, 山根和広, 山本優一, 曾根稔雅, 五百川和明. 脳卒中患者の歩行自立に対する麻痺側膝伸筋筋力と深部感覚の交互作用の影響. 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学会; 20191115-17; 静岡.

藤田貴昭, 山本優一, 山根和広, 土屋謙仕, 五百川和明. 回復期リハビリテーション病棟入院時の麻痺側上肢機能と腹筋力の水準の組み合わせはその後の麻痺側上肢機能の改善と関連する. 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学会; 20191115-17; 静岡.

真崎敬大, 太田裕樹, 阿部良知, 小森慎也, 新井一弘, 遠藤浩光, 加藤貴弘. Deep learning を用いた骨盤内臓器の自動輪郭描出と前立腺癌 VMAT 自動治療計画への応用. 日本放射線腫瘍学会第32回学会大会; 20191121-23; 名古屋.

成田優輝, 加藤貴弘, 小野 崇, 相良達彦, 小山 翔, 小森慎也, 新井一弘, 阿部良知, 真崎敬大, 和田 仁, 菊池泰裕, 村上昌雄. 上顎洞癌陽子線治療における至適再計画時期に関する検討. 日本放射線腫瘍学会第32回学会大会; 20191121-23; 名古屋.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. アスリートにおける腰椎椎間関節障害の診断. 第22回日本低侵襲脊椎外科学会学会大会; 20191128-29; 高松.

戸田 亘, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤浩, 紺野慎一, 矢部博興. 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化. 第49回日本臨床神経生理学会学会大会; 20191128-30; 福島. 臨床神経生理学. 47(5):448.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 紺野慎一. 慢性腰痛の診断と治療—集学的治療の現状と課題—. 第49回日本臨床神経生理学会学会大会; 20191128-29; 福島.

高橋直人, 高槻 梢, 笠原 諭, 矢吹省司. 運動器慢性痛の誘因の有無が入院型ペインマネジメントプログラムの効果に及ぼす影響. 第12回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S62.

岩崎 稔, 高橋直人, 大内美穂, 二瓶健司, 恩田 啓, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 強直性脊椎炎による安静時仙腸関節痛に対し体幹筋力向上トレーニングが奏功した症例. 第12回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S106.

二瓶健司, 高橋直人, 松平 浩, 岩崎 稔, 大内美穂, 恩田 啓, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 第4腰椎変性すべり症による神経根障害に対し水中運動療法の奏功した一例. 第12回日本運動器疼痛学会; 20191130; 兵庫. 日本運動器疼痛学会誌. 11(4):S106.

〔シンポジウム〕

二階堂琢也, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 福島県における脊椎外科手術レジストリの現状. 第29回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台. 東北整形災害外科学会雑誌. 62(1):201.

豊川真弘. Clostridioides difficile 感染症の細菌学的検査診断法. 第30回日本臨床微生物学会学術集会; 20190201-03; 東京.

豊川真弘. ESBL 産生菌の検査法. 第93回日本感染症学会学術集会; 20190406; 名古屋.

高橋規之. DIGITS で始める深層学習と画像研究. 第75回日本放射線技術学会総会学術大会(JRC2019); 20190411-14; 横浜.

二階堂琢也, 矢吹省司, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 半田隼一, 大谷晃司, 紺野慎一. 頸椎疾患に対する脊椎内視鏡と O-arm ナビゲーション併用手術の有用性. 第68回東日本整形災害外科学会; 20190905; 東京. 東日本整形災害外科学会雑誌. 31(3):241.

二瓶健司, 高橋直人, 松平 浩, 岩崎 稔, 春山祐樹, 大内美穂, 遠藤康二郎, 矢吹省司. 慢性腰痛治療に対する多職種アプローチ 慢性腰痛に対する多職種での集学的治療における運動療法の実践. 第27回日本腰痛学会; 20190914; 兵庫.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 増子博文, 矢部博興, 紺野慎一. 疼痛と神経科学 慢性腰痛の診断と治療 集学的アプローチの現状と課題. 第49回日本臨床神経生理学会学術集会; 20191128; 福島. 臨床神経生理学. 47(6):349.

加藤欽志, 大歳憲一, 矢吹省司, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 小林 洋, 半田隼一, 紺野慎一. 野球選手の脊椎障害に対するメディカルサポート. 第138回西日本整形・災害外科学会学術集会; 20191130-1201; 佐賀. 整形外科と災害外科. 68(2):35.

〔特別講演〕

加藤貴弘. BNCT 治療物理. 第7回放射線治療・物理学セミナー; 20190324; 仙台.

〔その他〕

豊川真弘. 感染症遺伝子検査の有用性と課題. 山形県臨床検査技師会染色体・遺伝子部門研修会; 20190727; 山形.

豊川真弘. 微生物検査を上手く活用するためには. 公立刈田総合病院 感染対策講習会; 20191010; 刈田.

会津医療センター 総合内科学講座

論 文

〔原 著〕

山中克郎. 【チーム適々齋塾！ベテラン達が教える外来診療の知恵袋】キーワードで攻めるしびれ. G ノート. 201910; 6(7):1095-1101.

山中克郎. 【一般臨床医のための貧血診療 これだけ】貧血の基本、病歴、身体所見、検査 病歴からどのように貧血を疑うか. 診断と治療. 201905; 107(5):529-532.

山中克郎. 【一般外来で診断できたら「えっへん！」な疾患 38】反復性過眠症、Kleine-Levin 症候群. 総合診療. 201905; 29(5):540.

濱口杉大, 南郷栄秀, 山中克郎. 【“ヤブ化”を防ぐ！ー外来診療 基本の(き)】総論 “ヤブ化”しないために私たちはどうしてきたか ヤブ化を防ぐ 10 の方法. 総合診療. 201909; 29(9):1050-1058.

山中克郎. 【“ヤブ化”を防ぐ！ー外来診療 基本の(き)】コモンディジーズに対する標準的診療 認知症. 総合診療. 201909; 29(9):1060-1061.

坪 敏仁, 上野孝治, 鈴木朋子, 秋葉秀一郎, 佐橋佳郎, 小宮ひろみ, 三猪忠道. 福島県立医科大学会津医療センターにおける烏頭含有方剤使用例の解析. 日本東洋医学雑誌. 201910; 70(4):324-332.

山中克郎. 【内科と救急医療～現場のピットフォールと診療スキル～】救急医療現場の診療スキルを活かす 疾病救急での臨床推論（診断プロセス、red flag sign 等）さまざまな情報収集による救急疾患の診断. 日本内科学会雑誌. 201912; 108(12):2454-2459.

富田重博, 栗城 実, 江川雅巳, 石橋克之, 伊藤信雄, 松井遵一郎, 酒井一吉. B 型肝炎ワクチン接種後に頸部リンパ節炎を認めた 1 例. 福島県農村医学会雑誌. 201903; 59(1):23-25.

〔症例報告〕

坪 敏仁, 宇仁田明奈, 古田大河, 鈴木雅雄, 上野孝治, 鈴木朋子, 秋葉秀一郎, 小宮ひろみ, 佐橋佳郎, 三猪忠道. 桂枝去芍薬加皂莢湯を用いた湯液治療と鍼治療が有用であったびまん性汎細気管支炎の 1 症例. 日本東洋医学雑誌. 201904; 70(2):99-105.

研究発表等

〔研究発表〕

上野孝治, 鈴木啓二, 宗像源之, 酒井一吉. 総合内科で経験した抗好中球細胞質抗体(ANCA)陽性症例の検討. 第116回日本内科学会総会・講演会; 20190427; 名古屋.

上野孝治, 宗像源之, 酒井一吉, 鈴木啓二. 成人ステイル病の境界領域における漢方の可能性. 第70回日本東洋医学会総会; 20190629; 東京.

会津医療センター 漢方医学講座

論文

〔原著〕

Yamaji T, Yamashita A, Wakui H, Azushima K, Uneda K, Fujikawa Y, Haku S, Kobayashi R, Ohki K, Haruhara K, Kinguchi S, Ishii T, Yamada T, Urate S, Suzuki T, Abe E, Tanaka S, Kamimura D, Ishigami T, Toya Y, Takahashi H, Tamura K. Angiotensin II type 1 receptor-associated protein deficiency attenuates sirtuin1 expression in an immortalised human renal proximal tubule cell line. Scientific Reports. 201911; 9(1):16550.

畝田一司, 長谷川浩司, 三瀧忠道. 日常診療における漢方医学的アプローチ(No.1) フレイル 高血圧、糖尿病、CKD を例に. Clinic Magazine. 201911; 46(11):20-26.

鈴木雅雄. 鍼灸の‘心’と‘技’がEBMの先にあるもの. 全日本鍼灸学会雑誌. 201902; 69(1):1.

Tamura K, Uneda K, Kobayashi R, Azushima K, Ohsawa M, Masuda S, Haku S, Ohki K, Haruhara K, Kinguchi S, Yamaji T, Yamada T, Yamashita A, Wakui H. Functional Role of ATRAP, a Novel Receptor Binding Protein, in the Regulation of Renal Sodium Handling and Blood Pressure. 日本海水学会誌. 201904; 73(2):54-58.

坪 敏仁, 上野孝治, 鈴木朋子, 秋葉秀一郎, 佐橋佳郎, 小宮ひろみ, 三瀧忠道. 福島県立医科大学会津医療センターにおける烏頭含有方剤使用例の解析. 日本東洋医学雑誌. 201910; 70(4):324-332.

〔総説等〕

三瀧忠道. 生薬の組み合わせはどのように決めるのか. HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY. 201912; 26(4):25-29.

小宮ひろみ, 三瀧忠道. 働く女性の更年期と漢方. Progress in Medicine. 201911; 39(11):1125-1128.

斎藤拓朗, 添田暢俊, 押部郁朗, 樋口光徳, 町野 翔, 三瀧忠道. 腹部救急領域の救急疾患に対する漢方治療. 漢方と最新治療. 201905; 218(2):165-172.

〔症例報告〕

添田 周, 小宮ひろみ, 三瀧忠道, 藤森敬也. 難治性尖圭コンジローマに漢方薬が有効であったアラジール症候群の1例. 産婦人科漢方研究のあゆみ. 201905; 36:90-93.

坪 敏仁, 宇仁田明奈, 古田大河, 鈴木雅雄, 上野孝治, 鈴木朋子, 秋葉秀一郎, 小宮ひろみ, 佐橋佳郎, 三瀧忠道. 桂枝去芍薬加皂莢湯を用いた湯液治療と鍼治療が有用であったびまん性汎細気管支炎の1症例. 日本東洋医学雑誌. 201904; 70(2):99-105.

鈴木朋子, 伊関千書, 佐橋佳郎, 三瀧忠道. 白朮附子湯が奏効した一症例. 日本東洋医学雑誌. 201904; 70(2):130-135.

土倉潤一郎, 徳丸佳代, 村井政史, 矢野博美, 犬塚 央, 貝沼茂三郎, 田原英一, 三瀧忠道. 赤丸料により減少したコントロール不良な癌性腹水の一例. 日本東洋医学雑誌. 201904; 70(2):136-140.

〔研究報告書〕

Kinguchi S, Wakui H, Azushima K, Haruhara K, Koguchi T, Ohki K, Uneda K, Matsuda M, Haku S, Yamaji T, Yamada T, Kobayashi R, Minegishi S, Ishigami T, Yamashita A, Fujikawa T, Tamura K. Effects of ATRAP in Renal Proximal Tubules on Angiotensin-Dependent Hypertension. Journal of the American Heart Association. 201904; 8(8):e012395.

Azushima K, Uneda K, Wakui H, Ohki K, Haruhara K, Kobayashi R, Haku S, Kinguchi S, Yamaji T, Minegishi S, Ishigami T, Yamashita A, Tamura K. Effects of rikkunshito on renal fibrosis and inflammation in angiotensin II-infused mice. Scientific Reports. 201904; 9(1):6201.

〔その他〕

三瀧忠道. 【ブラタナス】「手当」の大切さ. 日本医事新報. 201904; 4955:3.

研究発表等

〔研究発表〕

鈴木朋子, 齋藤美和子, 三瀧忠道, 棟方 充, 新妻一直. 漢方薬による薬剤性肺障害の検討. 第116回日本内科学会講演会; 20190428; 名古屋. 日本内科雑誌. 108(Suppl.):273.

金子聡一郎, 堀部 豪, 菊池友和, 木津正義, 鈴木雅雄, 南波利宗, 藤田洋輔, 八重樫寛子. 鍼灸臨床研究トレーニング 第3の因子(交絡)を考えよう～それって本当に鍼の効果?～. 第68回全日本鍼灸学会学術大会; 20190510; 名古屋.

金岡知彦, 大上尚仁, 平塚梨奈, 春原須美玲, 角田剛一朗, 花岡正哲, 金口 翔, 大城光二, 畠田一司, 小林 竜, 涌井広道, 戸谷義幸, 田村功一. 横浜市立大学附属病院腎臓・高血圧内科における入院患者データベース構築の取り組み. 第8回日本高血圧学会臨床高血圧フォーラム; 20190511; 久留米. プログラム・抄録集. 175.

竹之内陽子, 大城光二, 大上尚仁, 平塚梨奈, 春原須美玲, 花岡正哲, 小林 竜, 畠田一司, 金岡知彦, 涌井広道, 戸谷義幸, 田村功一. 迅速 ATCH 負荷試験により診断に至った原発性アルドステロン症の1例. 第8回日本高血圧学会臨床高血圧フォーラム; 20190511; 久留米. プログラム・抄録集. 179.

鈴木雅雄, 福井基成. COPD 患者の退院支援における鍼治療の1症例. 令和元年度公益社団法人全日本鍼灸学会東北支部第21回学術集会; 20190616; 仙台.

畠田一司, 小豆島健護, 涌井広道, 大城光二, 春原浩太郎, 小林 竜, 金口 翔, 山地孝弘, 浦手進吾, 田村功一. 漢方薬「六君子湯」による腎保護効果の検討. 第62回日本腎臓医学会学術総会; 20190623; 名古屋. 日本腎臓学会誌. 61(3):404.

小宮ひろみ, 海老潤子, 中島 大, 中野裕子, 三瀧忠道. 併存する陰虚証治療後に標治が奏功した2症例. 第70回日本東洋医学会学術総会; 20190628-30; 東京.

花岡正哲, 小林 竜, 春原須美玲, 大上尚仁, 平塚梨奈, 大城光二, 畠田一司, 金岡知彦, 涌井広道, 戸谷義幸, 田村功一. めまいを有する維持血液透析患者に腹膜透析を併用した1例. 第64回日本透析医学会学術集会; 20190630; 横浜. 日本透析医学会雑誌. 52(Suppl.1):797.

久保堅司, 江口哲也, 秋葉秀一郎, 小林大輔, 三瀧忠道, 渡辺 均, 星 佳織, 野田正浩, 五十嵐裕二, 岡崎圭毅, 永田 修, 信濃卓郎. 土壌の物理性とオタネニンジン生育との関係と資材施用による物理性改善効果の解析. 第248回日本作物学会講演会; 20190925-26; 鳥取. 要旨集. 8.

金口 翔, 涌井広道, 小豆島健護, 春原浩太郎, 高口知之, 大城光二, 畠田一司, 白 善雅, 山地孝弘, 山田貴之, 小林 竜, 石上友章, 山下暁朗, 藤川哲也, 田村功一. 腎近位尿細管 AT1 受容体結合因子がアンジオテンシン依存症高血圧に及ぼす影響. 第42回日本高血圧学会総会; 20191025; 東京. プログラム・抄録集. 200.

齋藤龍史, 秋葉秀一郎, 三瀧忠道. 附子湯が奏効した発作性片側頭痛の一例. 第35回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20191027; 山形.

〔シンポジウム〕

小田口浩, 花輪壽彦, 並木隆雄, 嶋田 豊, 村松慎一, 新井 信, 三瀧忠道, 柴原直利. 標準化シンポジウム「漢方診療法の標準化について」. 第70回日本東洋医学会学術総会; 20190628-30; 東京.

高山 真, 安斎圭一, 島 仁, 岩崎 雅, 川村 強, 片寄 大, 中永士師明, 中村東一郎, 三瀧忠道. 漢方医学教育の現状と課題 東北の漢方教育の現状. 第70回日本東洋医学会学術総会; 20190628-30; 東京. 日本東洋医学雑誌. 70(別冊):83.

〔特別講演〕

鈴木雅雄. 鍼灸治療と息切れについて. 日本東洋医学会 関西支部 三県合同教育講演会; 20190203; 大阪.

三猪忠道. 大学施設の漢方と図書分類. 第 35 回福島県医療機関図書室協議会定例会; 20190621; 会津若松. 会報きびたき. 29:3-6.

鈴木雅雄. はじめての鍼灸の体験. 2019 年度日本東洋医学会福島県部会; 20190721; 郡山.

三猪忠道. 腹診を考える 腹診の解説と実技演習. 2019 年度日本東洋医学会福島県部会; 20190721; 郡山.

三猪忠道. 漢方医学教育を取り巻く現状と福島医大における試み. 第 27 回日本東洋医学会関東甲信越支部新潟県部会総会・講演会; 20190922; 新潟. 講演要旨集. 16-17.

加用拓己. 緩和ケアにおける鍼灸治療の果たす役割. 全日本鍼灸学会東北支部認定講座; 20190929; 盛岡.

三猪忠道. 漢方を取り巻く状況と卒前教育への取組. 第 45 回日本東洋医学会九州支部学術集会; 20191117; 佐賀.

〔その他〕

三猪忠道. 腹痛と下痢の漢方. 平成 30 年度福島県立医科大学東洋医学研究会ふくしま東洋医学交流会⑤; 20190123; 福島.

三猪忠道. 倦怠感に対する漢方. 平成 30 年度福島県立医科大学東洋医学研究会ふくしま東洋医学交流会⑥; 20190327; 福島.

三猪忠道. 腹痛と下痢の漢方②. 令和元年度福島県立医科大学東洋医学研究会 ふくしま東洋医学交流会①; 20190522; 福島.

三猪忠道. 不定愁訴の漢方. 令和元年度福島県立医科大学東洋医学研究会 ふくしま東洋医学交流会②; 20190724; 福島.

鈴木雅雄. COPD・呼吸器の鍼灸治療. 福島県鍼灸師会 サマーセミナー; 20190726; 会津若松.

鈴木雅雄. 本当に楽しい鍼灸と中医学 病院鍼灸だからこそ必要な医学. TCMA 夏大会 2019; 20190811; 東京.

鈴木雅雄. 鍼灸治療と呼吸リハビリテーション. 第 15 回呼吸リハビリテーション講習会; 20190824; 大阪.

三猪忠道. 腹診実技. 令和元年度福島県立医科大学東洋医学研究会 ふくしま東洋医学交流会③; 20190925; 福島.

三猪忠道. 診察の実際 腹診実習を中心に. 千葉大学東洋医学研究会 令和元年度自由講座; 20191017; 柏.

鈴木雅雄, 加用拓己. はりで生活の張りをもたせる ～養生方の秘訣教えます～. 桧枝岐村健康支援; 20191017; 桧枝岐村.

三猪忠道. 女性のための漢方. 令和元年度福島県立医科大学東洋医学研究会 ふくしま東洋医学交流会④;
20191127; 福島.

会津医療センター 循環器内科学講座

研究発表等

〔研究発表〕

阿部有司, 宮下知優, 安藤武文, 山田善康, 小倉康志, 北條真利, 星野弘尊, 玉川和亮, 鶴谷善夫. クライオ
バルーンによる心房細動アブレーション時の非肺静脈起源心房細動症例についての検討. 日本不整脈心電学会カテ
ーテルアブレーション関連秋季大会 2019; 20191108; 金沢.

〔特別講演〕

鶴谷善夫. 糖尿病合併の心不全治療について. AIZU Diabetes & Cardiology Web 講演会～糖尿病合併症を考える
～; 20191121; 会津若松 (Web 配信) .

〔その他〕

鶴谷善夫. 心房細動アブレーション～当院の治療の現状について～. 会津医学会 Stroke Network Meeting 2019;
20191010; 会津若松.

鶴谷善夫. 心房細動を知って、健康長寿を目指しましょう！ 福島県民健康セミナー; 20191124; 会津若松.

会津医療センター 血液内科学講座

論 文

〔総説等〕

大田雅嗣. 高齢者の貧血の特徴とその治療. 血液内科. 201909; 79(3):327-332.

大田雅嗣. 高齢者白血病治療の問題点. 内科. 201910; 124(4):2137-2141.

鈴木 学, 池田翔平, 助川真純, 角田三郎, 大田雅嗣. ベンダムスチン・リツキシマブ療法を受けた低悪性度
NHL または MCL 患者に発現した皮膚反応の危険因子の検討. 福島医学雑誌. 201912; 69(3):244.

〔症例報告〕

池田翔平, 助川真純, 角田三郎, 大田雅嗣, 北條 洋. 当科で経験した血球貪食症候群 18 症例 EBV との関連性の検討. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):107.

研究発表等

〔研究発表〕

池田翔平. 造血器腫瘍における両側大腿骨髄 MRI の有用性. 第 81 回日本血液学会学術集会; 20191011-12; 東京.

助川真純. 高齢化社会での MDS の実態 : 福島県会津地方での検討. 第 81 回日本血液学会学術集会; 20191011-12; 東京.

根本雄飛, 三宅真里世, 長谷川浩司, 本田和也, 池田翔平, 助川真澄, 角田三郎, 大田雅嗣, 橋本重厚. 骨髓異形成症候群を合併した先端巨大症の 1 例. 第 27 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会・第 39 回日本内分泌学会東北地方会; 20191019; 福島.

羽金重喜, 角田三郎, 大田雅嗣. トポイソメラーゼ II 阻害薬化学療法中の再発性リンパ腫患者に生じた重症ヘルペス感染. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 384 回例会・第 117 回福島臨床皮膚科集談会; 20191123; 郡山.

会津医療センター 消化器内科学講座

論 文

〔原 著〕

Yamabe A, Irisawa A, Bhutani MS, Sato A, Maki T, Takasaki Y, Yoshida Y, Yamamoto S, Shibukawa G. Validity of Endoscopic Ultrasound Findings of Chronic Pancreatitis: Evaluation from the Viewpoint of Disease Risk Factors. Digestion. 20191204; doi: 10.1159/000504780.

Igarashi R, Irisawa A, Bhutani MS, Cazacu IM, Shibukawa G, Sato A, Yamabe A, Maki T, Yoshida Y, Yamamoto S, Ikeda T, Hojo H. The Feasibility and Histological Diagnostic Accuracy of Novel Menghini Needle (EUS Sonopsy CY™) for Endoscopic Ultrasound-Guided Fine-Needle Aspiration Biopsy of Solid Pancreatic Masses: A Prospective Crossover Study Comparing Standard Biopsy Needles. Gastroenterology Research and Practice. 201910; 2019 eCollection:5810653.

Masamune A, Nabeshima T, Kikuta K, Hamada S, Nakano E, Kume K, Kanno A, Sato A, Tachibana Y, Inatomi O, Yamamoto S, Ikeura T, Futagami S, Taguchi M, Hanada K, Shimizu K, Kageoka M, Saito T, Eguchi T, Kubota K, Takenaka M, Mima A, Irisawa A, Ito T, Andoh A, Inui K, Takeyama Y, Yamaue H,

Okazaki K, Shimosegawa T. Prospective study of early chronic pancreatitis diagnosed based on the Japanese diagnostic criteria. *Journal of Gastroenterology*. 2019; 54(10):928-935.

Takasaki Y, Irisawa A, Shibukawa G, Sato A, Abe Y, Yamabe A, Arakawa N, Maki T, Yoshida Y, Igarashi R, Yamamoto S, Ikeda T. New endoscopic ultrasonography criteria for malignant lymphadenopathy based on interrater agreement. *PLOS ONE*. 2019; 14(2): e0212427.

著 書・訳 書

Irisawa A, Shibukawa G, Sato A, Yamabe A. The role of endoscopic ultrasonography for esophagogastric varices. In: Obara K editor. *Clinical Investigation of Portal Hypertension*. Singapore: Springer; 2019. p.103-114.

研究発表等

〔研究発表〕

佐藤 愛, 澁川悟朗, 中島勇貴, 吉田栄継, 牧 匠. 消化器疾患の診断と治療戦略 肝胆膵の部 胆管結石が原因と考えられた閉塞性黄疸及び胆管炎における EUS と ERCP の同日施行の意義. 日本消化器病学会東北支部例会 206 回; 20190209; 仙台. プログラム・抄録集. 52.

山元勝悟, 澁川悟朗, 佐藤 愛, 中島勇貴, 吉田栄継, 牧 匠, 山部茜子, 池田恒彦. CDDP+VP-16 が著効した食道 NEC の 1 例. 日本消化器病学会東北支部例会 206 回; 20190209; 宮城県. プログラム・抄録集. 84.

浅倉由香, 澁川悟朗, 佐藤 愛, 中島勇貴, 吉田吉継, 牧 匠, 山元勝悟, 遠藤俊吾, 五十畑則之. 診断に苦慮した大量腹水の 1 例. 日本消化器病学会東北支部例会 206 回; 20190209; 宮城県. プログラム・抄録集. 92.

佐藤 愛, 入澤篤志, 澁川悟朗. 胆膵領域における elasticity imaging の役割 早期慢性膵炎における EUS 所見の意義 EUS-elastography による検討. 日本超音波医学会第 92 回学術集会; 20190524-26; 東京. 超音波医学. 46(Suppl.):S336.

中島勇貴, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 根本鉄太郎, 五十畑則之, 澁川悟朗, 遠藤俊吾, 富樫一智. 大腸 ESD 困難の予測因子についての検討. 第 43 回福島県消化器治療内視鏡研究会; 20190622; 福島.

佐藤 愛, 入澤篤志, 澁川悟朗, 中島勇貴, 吉田栄継, 牧 匠, 山元勝悟. 飲酒継続中の慢性膵炎症例の長期予後について. 第 50 回日本膵臓学会大会; 20190712-13; 東京. 膵臓. 34(3):A164.

牧 匠, 澁川悟朗, 竹中一央, 中島勇貴, 舟窪 彰, 吉田栄継, 山元勝悟, 入澤篤志. GCS 併用療法により CR が得られた切除不能肝門部胆管癌の一例. 第 55 回日本胆道学会学術集会; 20191003-04; 名古屋. 胆道. 33(3):648.

佐藤 愛, 入澤篤志, 澁川悟朗, 中島勇貴, 吉田栄継, 牧 匠, 山元勝悟, 池田恒彦. 慢性膵炎症例における断酒例と飲酒継続例の長期予後の差異について. 第 61 回日本消化器病学会大会 JDDW2019 KOBE; 20191101-03;

神戸. 日本消化器病学会雑誌. 116(Suppl.):A860.

〔招待講演〕

澁川悟朗. (胃 ESD 後治療と) 胃がん検診のススメ～内視鏡撮影法を中心に～. 喜多方消化器内視鏡診断セミナー; 20190624; 喜多方.

澁川悟朗. 全部見せます！超音波内視鏡ガイド下胃静脈瘤コイルリング！！ 第 23 回福島県超音波内視鏡研究会; 20191026; 福島.

〔その他〕

舟窪 彰, 澁川悟朗, 竹中一央, 中島勇貴, 吉田栄継, 山元勝悟, 佐藤 愛. AT III 製剤で加療した門脈塞栓症の 2 例. 第 3 回東北門脈圧亢進症研究会; 20190928; 福島. 抄録集. 3.

会津医療センター 糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座

論 文

〔原 著〕

Akehi Y, Yanase T, Motonaga R, Umakoshi H, Tsuiki M, Takeda Y, Yoneda T, Kurihara I, Itoh H, Katabami T, Ichijo T, Wada N, Shibayama Y, Yoshimoto T, Ashida K, Ogawa Y, Kawashima J, Sone M, Inagaki N, Takahashi K, Fujita M, Watanabe M, Matsuda Y, Kobayashi H, Shibata H, Kamemura K, Otsuki M, Fujii Y, Yamamoto K, Ogo A, Okamura S, Miyauchi S, Fukuoka T, Izawa S, Hashimoto S, Yamada M, Yoshikawa Y, Kai T, Suzuki T, Kawamura T, Naruse M; Japan Primary Aldosteronism Study Group. High Prevalence of Diabetes in Patients With Primary Aldosteronism (PA) Associated With Subclinical Hypercortisolism and Prediabetes More Prevalent in Bilateral Than Unilateral PA: A Large, Multicenter Cohort Study in Japan. Diabetes Care. 201905; 42(5):938-945.

Satoh H, Ohira T, Nagai M, Hosoya M, Sakai A, Yasumura S, Ohtsuru A, Kawasaki Y, Suzuki H, Takahashi A, Sugiura Y, Shishido H, Hayashi Y, Takahashi H, Kobashi G, Ozasa K, Hashimoto S, Ohto H, Abe M, Kamiya K. Evacuation is a risk factor for diabetes development among evacuees of the Great East Japan earthquake: A 4-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Diabetes and Metabolism. 201906; 45(3):312-315.

Kawashima A, Sone M, Inagaki N, Takeda Y, Itoh H, Kurihara I, Umakoshi H, Ichijo T, Katabami T, Wada N, Ogawa Y, Kawashima J, Fujita M, Miyauchi S, Okamura S, Fukuoka T, Yanase T, Izawa S, Yoshikawa Y, Hashimoto S, Yamada M, Kai T, Suzuki T, Naruse M. Renal impairment is closely associated with plasma aldosterone concentration in patients with primary aldosteronism. European Journal of Endocrinology. 201909; 181(3):339-350.

Kinoshita M, Takeda H, Yamada C, Kumagai T, Kakamu T, Hidaka T, Masuishi Y, Endo S, Hashimoto S, Fukushima T. Characteristics of awareness and behavior of medical staff for prevention of falling accidents among inpatients. Fukushima Journal of Medical Science. 201904; 65(1):13-23.

Ohno Y, Sone M, Inagaki N, Takeda Y, Kurihara I, Tsuiki M, Ichijo T, Wada N, Katabami T, Ogawa Y, Okamura S, Fukuoka T, Kai T, Izawa S, Yoshikawa Y, Hashimoto S, Yamada M, Chiba Y, Naruse M; JPAS/JRAS Study. Latent autonomous cortisol secretion from apparently non-functioning adrenal tumor in non-lateralized hyperaldosteronism. Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism. 201910; 104(10):4382-4389.

畝田一司, 長谷川浩司, 三猪忠道. 日常診療における漢方医学的アプローチ(No.1) フレイル 高血圧、糖尿病、CKD を例に. Clinic Magazine. 201911; 46(11):20-26.

中村伸理子, 有賀 徹, 寶金清博, 嘉山孝正, 橋本重厚, 堤 晴彦, 中島 勸, 岩瀬博太郎, 米村滋人, 櫻井 淳, 三木 保, 吉田謙一, 大嶽浩司, 小林弘幸, 坂本哲也, 大磯義一郎, 中島和江, 水谷 渉, 全国医学部長病院長会議大学病院の医療事故対策委員会. 大学病院の医療事故調査制度への対応 本院と分院の支援状況. 日本医師会雑誌. 201906; 148(3):487-491.

研究発表等

〔研究発表〕

本田和也. 尿異常スクリーニングと腎代替療法選択～かかりつけ医の先生方から紹介いただき専門医が果たす役割 (CKD 紹介スキーム) ～. 会津医学会学術講演会～会津エリアの腎臓を守る～; 20190530; 会津若松.

Hashimoto S, Inomata R, Honda K, Hasegawa K. Potential of the selfcare activities for the resilient diabetic care management: Effect of patient-friendly continuous glucose monitoring system introduction on selfcare activities of patient with diabetes mellitus. 第 27 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会・第 39 回日本内分泌学会東北地方会; 20191019; 福島.

小林有里, 本田和也, 長谷川浩司, 橋本重厚. パパパニブ使用を契機に副甲状腺機能亢進症が増悪した血液透析患者の 1 例. 第 27 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会・第 39 回日本内分泌学会東北地方会; 20191019; 福島.

根本雄飛, 長谷川浩司, 本田和也, 橋本重厚. 長時間作用型 GLP-1 受容体作動薬が著効した認知症を伴う血糖コントロール不良の高齢 2 型糖尿病の 2 例. 第 27 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会・第 39 回日本内分泌学会東北地方会; 20191019; 福島.

根本雄飛, 三宅真里世, 長谷川浩司, 本田和也, 池田翔平, 助川真澄, 角田三郎, 大田雅嗣, 橋本重厚. 骨髄異形成症候群を合併した先端巨大症の 1 例. 第 27 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会・第 39 回日本内分泌学会東北地方会; 20191019; 福島.

橋本重厚, 柿沼秀秋, 橋本 樹, 佐久間秀夫. 術後も低酸素血症が持続する先天性三尖弁閉鎖に合併したパラグングリオーマの 1 例. 第 27 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会・第 39 回日本内分泌学会東北地方会;

20191019; 福島.

橋本重厚, 永井雅人, 大平哲也, 細矢光亮, 安村誠司, 林 義満, 佐藤博亮, 鈴木 均, 坂井 晃, 小橋元, 小笹昇太郎, 大津留晶, 神谷研二, 大戸 斉. 福島県「県民健康管理調査」東日本大震災における避難による心理的・社会的背景が血中尿酸レベルに及ぼす影響. 第 42 回日本高血圧学会総会; 20191025; 東京.

長谷川浩司, 本田和也, 橋本重厚. インスリン再導入後に治療後神経障害の発症が疑われた 1 例. 日本糖尿病学会第 57 回東北地方会; 20191102; 仙台.

長谷川浩司. 糖尿病重症化予防プログラムについて. 第 12 回 AMC-DMNET; 20191111; 会津若松.

齋藤拓朗, 大井川百合, 橋本重厚, 歌野健一, 歌野有香, 目黒昭夫. 電子カルテと画像検査確認チェックリストを用いた診断報告書の見落とし防止の取り組みと効果. 第 14 回医療の質・安全学会学術集会; 20191129-30; 京都. 医療の質・安全学会誌. 14(抄録):450.

〔特別講演〕

本田和也. CKD 診療について. 会津医学会学術講演会; 20190410; 会津若松.

本田和也. 会津医療圏での CKD 診断と治療を踏まえた病診連携のあり方. 喜多方医師会学術講演会; 20190927; 喜多方.

橋本重厚. 糖尿病治療における会津地区の諸問題と解決策の提案. 第 91 回会津糖尿病懇話会; 20191107; 会津若松.

橋本重厚. 生命予後改善を見据えた糖尿病治療戦略. AIZU Diabetes & Cardiology Web 講演会～糖尿病合併症を考える～; 20191121; 会津若松 (Web 配信) .

橋本重厚. 2 型糖尿病治療の現状と課題. 喜多方の糖尿病治療を考える会; 20191126; 喜多方.

〔その他〕

橋本重厚. I 型糖尿病の診断と治療. アステラス製薬社内研修会; 20190118; 福島.

橋本重厚. 症例と治療薬. 大日本住友製薬社内研修会; 20190219; 会津若松.

本田和也. 透析関連医薬品症例. 大塚製薬株式会社社内研修会; 20190220; 会津若松.

橋本重厚. 地方医療における内分泌専門医の役割と存在意義. 第 92 回日本内分泌学会学術総会; 20190509; 仙台.

橋本重厚. Opening Remarks. 会津医学会 糖尿病学術講演会; 20190528; 会津若松.

橋本重厚. CKD 重症化予防における地域連携の重要性. 会津医学会学術講演会～会津エリアの腎臓を守る～; 20190530; 会津若松.

橋本重厚. 糖尿病における循環器疾患予防には血糖・血圧・脂質の総合的管理が必須である. 第 111 回会津循環器病懇話会; 20190607; 会津若松.

橋本重厚. Closing Remarks. 会津医学会学術講演会; 20190705; 会津若松.

橋本重厚. 電解質検査について. 会津医学会学術講演会～難治性高血圧を考える～; 20190912; 会津若松.

会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座

論 文

〔原 著〕

坪 敏仁, 宇仁田明奈, 古田大河, 鈴木雅雄, 上野孝治, 鈴木朋子, 秋葉秀一郎, 小宮ひろみ, 佐橋佳郎, 三猪忠道. 桂枝去芍薬加皂莢湯を用いた湯液治療と鍼治療が有用であったびまん性汎細気管支炎の 1 症例. 日本東洋医学雑誌. 201904; 70(2):99-105.

鈴木朋子, 伊関千書, 佐橋佳郎, 三猪忠道. 白朮附子湯が奏効した一症例. 日本東洋医学雑誌. 201904; 70(2):130-135.

坪 敏仁, 上野孝治, 鈴木朋子, 秋葉秀一郎, 佐橋佳郎, 小宮ひろみ, 三猪忠道. 福島県立医科大学会津医療センターにおける烏頭含有方剤使用例の解析. 日本東洋医学雑誌. 201910; 70(4):324-332.

研究発表等

〔研究発表〕

力丸真美, 齋藤美和子, 鈴木朋子, 棟方 充, 新妻一直. メソトレキセート関連リンパ増殖性疾患に EB ウィルスの関与が疑われた一例. 第 59 回日本呼吸器学会学術講演会; 20190413; 東京.

鈴木朋子, 齋藤美和子, 三猪忠道, 棟方 充, 新妻一直. 漢方薬による薬剤性肺障害の検討. 第 116 回日本内科学会講演会; 20190428; 名古屋.

齋藤美和子, 鈴木朋子, 小泉達彦, 新妻一直. 福島県立医科大学会津医療センターにおける高齢者肺結核患者の画像所見についての検討. 第 94 回日本結核病学会総会; 20190607; 大分.

鈴木朋子, 齋藤美和子, 小泉達彦, 新妻一直. 会津医療センターにおける高齢者結核の臨床像についての検討. 第 94 回日本結核病学会総会; 20190608; 大分.

佐藤雄翔, 小泉達彦, 鈴木朋子, 齋藤美和子, 新妻一直. 野球の打球による打撲が契機と思われる動静脈瘤が

ら発祥した敗血症性肺塞栓症の1例. 第109回日本呼吸器学会東北地方会・第139回日本結核病学会東北支部学会; 20190914; 青森.

三宅真里世, 小泉達彦, 鈴木朋子, 齋藤美和子, 新妻一直, 北條 洋. 副鼻腔炎後、加湿器肺を呈した1例. 第109回日本呼吸器学会東北地方会・第139回日本結核病学会東北支部学会; 20190914; 青森.

〔特別講演〕

鈴木朋子. 会津医療センターにおける漢方診療の実際. 第12回 KAMPO Clinical Conference; 20190514; 東京.

鈴木朋子. 高齢者医療における漢方薬の役割. スキルアップ KAMPO 学術講演会; 20190704; 毛呂山町.

鈴木朋子. 高齢者呼吸器診療における漢方薬の役割. 第34回西横浜喘息・COPD 懇話会; 20191101; 横浜.

〔その他〕

新妻一直. COPD の診断方法とガイドラインに基づいた治療方針について. 会津医学会学術講演会; 20190729; 会津若松.

会津医療センター 精神医学講座

論 文

〔原 著〕

Ohnishi T, Balan S, Toyoshima M, Maekawa M, Ohba H, Watanabe A, Iwayama Y, Fujita Y, Tan Y, Hisano Y, Shimamoto-Mitsuyama C, Nozaki Y, Esaki K, Nagaoka A, Matsumoto J, Hino M, Mataga N, Hayashi-Takagi A, Hashimoto K, Kunii Y, Kakita A, Yabe H, Yoshikawa T. Investigation of betaine as a novel psychotherapeutic for schizophrenia. *EBioMedicine*. 201907; 45:432-446.

Ide M, Ohnishi T, Toyoshima M, Balan S, Maekawa M, Shimamoto-Mitsuyama C, Iwayama Y, Ohba H, Watanabe A, Ishii T, Shibuya N, Kimura Y, Hisano Y, Murata Y, Hara T, Morikawa M, Hashimoto K, Nozaki Y, Toyota T, Wada Y, Tanaka Y, Kato T, Nishi A, Fujisawa S, Okano H, Itokawa M, Hirokawa N, Kunii Y, Kakita A, Yabe H, Iwamoto K, Meno K, Katagiri T, Dean B, Uchida K, Kimura H, Yoshikawa T. Excess hydrogen sulfide and polysulfides production underlies a schizophrenia pathophysiology. *EMBO Molecular Medicine*. 201912; 11(12):e10695.

Kobayashi R, Hayashi H, Kawakatsu S, Okamura N, Yoshioka M, Otani K. Assessment of Amyloid Deposition in Patients With Probable REM Sleep Behavior Disorder as a Prodromal Symptom of Dementia With Lewy Bodies Using PiB-PET. *Frontiers in Neurology*. 201906; 10:671.

Ito M, Kunii Y, Horikoshi S, Miura I, Itagaki S, Shiga T, Yabe H. Young patient with treatment-resistant schizophrenia drastically improved by combination of clozapine and maintenance electroconvulsive therapy: a case report. *International Medical Case Reports Journal*. 201906; 12:185-188.

Tanaka H, Kawakatsu S, Toyoshima Y, Miura T, Mezaki N, Mano A, Sanpei K, Kobayashi R, Hayashi H, Otani K, Ikeuchi T, Onodera O, Kakita A, Takahashi H. Globular glial tauopathy Type II: Clinicopathological study of two autopsy cases. *Neuropathology*. 201904; 39(2):111-119.

Matsuda H, Yokoyama K, Sato N, Ito K, Nemoto K, Oba H, Hanyu H, Kanetaka H, Mizumura S, Kitamura S, Shinotoh H, Shimada H, Suhara T, Terada H, Nakatsuka T, Kawakatsu S, Hayashi H, Asada T, Ono T, Goto T, Shigemori K. Differentiation Between Dementia With Lewy Bodies And Alzheimer's Disease Using Voxel-Based Morphometry Of Structural MRI: A Multicenter Study. *Neuropsychiatric disease and treatment*. 201909; 15:2715-2722.

Horikoshi S, Shiga T, Hoshino H, Ochiai H, Kanno-Nozaki K, Kanno K, Kaneko H, Kunii Y, Miura I, Yabe H. The Relationship between Mismatch Negativity and the COMT Val108/158Met Genotype in Schizophrenia. *Neuropsychobiology*. 2019; 77(4):192-196.

Ono CT, Yu Z, Kikuchi Y, Kunii Y, Hino M, Matsumoto J, Nagaoka A, Ito J, Iwasaki Y, Hagihara H, Miyakawa T, Yoshida M, Saito Y, Niwa SI, Yabe H, Kakita A, Tomita H. Minimal amount of tissue-based pH measurement to improve quality control in neuropsychiatric postmortem brain studies. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. 201909; 73(9):566-573.

Kobayashi R, Hayashi H, Tokairin T, Kawakatsu S, Otani K. Suicide as a result of stereotypic behaviour in a case with semantic dementia. *Psychogeriatrics*. 201901; 19(1):80-82.

Kunii Y, Hino M, Matsumoto J, Nagaoka A, Nawa H, Kakita A, Akatsu H, Hashizume Y, Yabe H. Differential protein expression of DARPP-32 versus Calcineurin in the prefrontal cortex and nucleus accumbens in schizophrenia and bipolar disorder. *Scientific Reports*. 201910; 9(1):14877.

川勝 忍, 小林良太, 林 博史. bvFTD の多様性: 臨床・画像・病理から. *Dementia Japan*. 201910; 33(4):499.

小林良太, 林 博史, 川勝 忍, 吉岡正訓, 岡村信行, 大谷浩一. prodromal DLB における PiB-PET を用いたアミロイド沈着の評価. *Dementia Japan*. 201910; 33(4):527.

川勝 忍, 宮川明美, 小林良太, 林 博史. 【前頭葉－健常と異常－】前頭葉と変性疾患. *脳神経内科*. 201905; 90(5):559-567.

川勝 忍, 小林良太, 林 博史, 大谷浩一, 佐々木哲也, 渋谷 譲. 【認知症の診断・治療・診療実践－最新のトレンドとこつを伝授する－】診断学 認知症診断のトレンドとこつ 複合病理の診断の仕方. *老年精神医学雑誌*. 201902; 30(増刊 I):73-83.

林 博史, 小林良太, 川勝 忍, 大谷浩一. 早発性と晩発性アルツハイマー型認知症における脳 MRI と脳血流 SPECT の有用性 Pittsburgh compound B (PiB) 陽性例における検討. *老年精神医学雑誌*. 201906; 30(増刊 II):184.

〔総説等〕

國井泰人. 死後脳マルチオミクス・プロファイルに基づく統合失調症病態の構成的理解. 細胞. 201912; 51(14):733-736.

國井泰人. 精神疾患死後脳研究の実際. 日本生物学的精神医学会誌. 201912; 30(4):163-167.

〔症例報告〕

小林良太, 川勝 忍, 林 博史, 岡村信行, 大谷浩一. 若年発症と高齢発症の初期意味障害型進行性失語の神経心理学的・神経放射線学的所見 1年間の経過比較. 神経心理学. 201912; 35(4):238-248.

〔その他〕

川勝 忍, 小林良太, 林 博史. 認知症非専門医のための認知症診療の基本 おさえておきたい認知症画像診断の基礎 CT、MRI から SPECT 検査まで. 精神神経学雑誌. 201906; 2019 特別号:S565.

小林良太, 川勝 忍, 林 博史, 大谷浩一. 運動ニューロン疾患を伴う前頭側頭葉変性症におけるドーパミン神経機能異常 DAT-SPECT を用いた検討. 精神神経学雑誌. 201906; 2019 特別号:S623.

研究発表等

〔研究発表〕

泉 竜太, 國井泰人, 渡邊千明, 長岡敦子, 日野瑞城, 矢部博興. 福島精神疾患ブレインバンクにおける自殺予防の取り組み. 第 14 回日本統合失調症学会; 20190419; 札幌.

長岡敦子, 鈴木喜明, 鈴木 悟, 角田耕也, 國井泰人, 矢部博興. 統合失調症の加療中に両側声帯麻痺を来した 2 例について. 第 14 回日本統合失調症学会; 20190420; 札幌.

丹羽真一, 國井泰人, 星野 大. 統合失調症の社会認知機能の包括的検査バッテリーABCD の成績と社会機能との関連. 第 14 回日本統合失調症学会; 20190420; 札幌.

平井志伸, 新井 誠, 三輪秀樹, 國井泰人, 日野瑞城, 長岡敦子, 矢部博興, 岡戸晴生. 栄養環境と遺伝的要因の組み合わせにより生じる新たな統合失調症モデルマウスの作製とその発症機序の解析. 第 14 回日本統合失調症学会; 20190420; 札幌.

泉 竜太, 松本純弥, 國井泰人, 戸田 亘, 石井士朗, 伊藤 浩, 三浦 至, 矢部博興. 解離性健忘における脳血流 SPECT 画像の 3D-SRT 解析における検討: ケースシリーズ. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620; 新潟.

丹羽真一, 前田正治, 星野 大, 國井泰人, 竹林由武. 福島県における震災関連自殺予防の手掛かりを求めて. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620; 新潟.

湯川尊行, 岩倉百合子, 武井延之, 斎藤摩美, 渡部雄一郎, 豊岡和彦, 五十嵐道弘, 新里和弘, 大島健一, 國井泰人, 矢部博興, 松本純弥, 和田 明, 日野瑞城, 入谷修司, 丹羽真一, 竹内亮子, 高橋 均, 柿田明美, 染矢俊幸, 那波宏之. 統合失調症患者における脳内コンドロイチン硫酸鎖の変化. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620; 新潟.

國井泰人, 長岡敦子, 泉 竜太, 日野瑞城, 矢部博興. 福島県立医科大学神経精神医学講座の研究死後脳研究. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-21; 新潟.

渡辺亮平, 河上 緒, 入谷修司, 横田 修, 寺田整司, 國井泰人, 大島健一, 齊藤祐子, 新井哲明, 村山繁雄. 日本神経病理学会の活動概要. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190620-21; 新潟.

坂井美和子, 渡部雄一郎, 染矢俊幸, 荒木一明, 澁谷雅子, 新里和弘, 大島健一, 國井泰人, 矢部博興, 松本純弥, 和田 明, 日野瑞城, 橋本健志, 菱本明豊, 北村 登, 入谷修司, 白川 治, 前田 潔, 宮下哲典, 丹羽真一, 高橋 均, 柿田明美, 桑野良三, 那波宏之. 統合失調症患者の脳内ゲノムにおけるコピー数変異の評価. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190621; 新潟.

丹羽真一, 國井泰人, 星野 大. 統合失調症の社会認知機能の包括的検査バッテリーABCD の成績と社会機能との関連. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190621; 新潟.

堀越 翔, 國井泰人, 松本純弥, 平尾美枝子, 後藤大介, 三浦 至, 矢部博興. 抗認知症薬の 6 ヶ月後の治療反応性はその後の転帰に影響するか. 第 115 回日本精神神経学会学術総会; 20190621; 新潟.

國井泰人. ヒト研究—精神疾患死後脳研究の実際—. 第 40 回日本生物学的精神医学会 若手研究者育成プログラム交流会; 20190622; 新潟.

岩倉百合子, 原 範和, 川原玲香, 外山英和, 稲葉洋芳, 小林雄太郎, 北山栄子, 柿田明美, 高橋 均, 國井泰人, 日野瑞城, 矢部博興, 池内 健, 喜田 聡, 那波宏之. 統合失調症とそのモデル動物における聴覚皮質過活動の分子プロファイル. NEURO2019; 20190726; 新潟.

川勝 忍, 小林良太, 林 博史. アミロイド PET 陰性の Logopenic 型進行性失語様症状を呈した 1 例. 第 43 回日本神経心理学会総会; 20190826-27; 新潟. プログラム・予稿集. 63.

小林良太, 川勝 忍, 林 博史, 大谷浩一. 左側頭型アルツハイマー病の症候学的特徴. 第 43 回日本神経心理学会総会; 20190826-27; 新潟. プログラム・予稿集. 63.

國井泰人. 死後脳マルチオミクス・プロファイルに基づく統合失調症病態の構成的理解. マルチスケール精神病態 第 2 回領域会議; 20190831; 熱海.

西郷佳世. 欲望の対象としての身体性：女性であることと、その身体をもつこと. 日本精神病理学会第 42 回大会; 20191011-12; 東京.

川勝 忍, 鈴木匡子. 神経心理と神経病理クロストーク by 川勝×鈴木：動画・画像・病理でみる神経精神医学のだいご味. 第 24 回日本神経精神医学会; 20191025-26; 山形.

西郷佳世. 開放性仮説と認知神経科学モデルに基づく、部分的感覚遮断によるシャルル・ボネ症候群の一例. 第 24 回日本神経精神医学会学会集; 20191025-26; 山形.

坂本和貴, 小林良太, 森岡大智, 横井香代子, 大高美貴, 岡田おゆき, 川勝 忍, 大谷浩一, 篠田淳男, 平山和美. 視床中脳梗塞後に幻視、幻聴、幻触が同時に起こった一例. 第 24 回日本神経精神医学会学会集; 20191025-26; 山形. プログラム・予稿集. 34.

星野 大, 國井泰人, 丹羽真一. 統合失調症の社会認知機能、社会機能と自己認知機能の関連—ABCD を用いて. 第 10 回東北精神保健福祉学会; 20191027; 秋田.

國井泰人. 死後脳リソースを活用した統合失調症における代謝・ダイナミクス制御関連分子の解析. 2019 年度・融合脳 発達障害・統合失調症チーム進捗報告会; 20191110; 東京.

矢部博興, 國井泰人. 福島地区の精神疾患拠点の構築. 2019 年度・融合脳 リソース・倫理チーム進捗報告会; 20191118; 東京.

〔シンポジウム〕

國井泰人. 統合失調症における死後脳研究. 第 49 回日本臨床神経生理学会; 20191128; 福島.

〔特別講演〕

國井泰人. 精神疾患ブレインバンクと死後脳研究. 第 2 回福島県統合失調症研究会; 20190124; 郡山.

國井泰人. エビデンスからみた LAI 治療～なぜエビリファイ LAI ではないのか. 学術講演会; 20190130; 会津若松.

國井泰人. 双極性障害の理解とその対応について. ふくしま心のケアセンター会津出張所研修会; 20190226; 会津若松.

國井泰人. 東日本大震災と福島第一原子力発電所事故後のメンタルヘルスの現状と展望. 東北精神神経学会平成 30 年度第 2 回生涯教育研修会; 20190302; 盛岡.

國井泰人. 統合失調症は減少し軽症化したのか. リカバリーを目指した包括的な統合失調症治療を考える会; 20190307; 福島.

國井泰人. うつ病/SAD の薬物療法 UP TO DATE—会津医療センターの経験から. 県南地区うつ病治療 Meeting; 20190829; 白河.

國井泰人. 統合失調症の現在地点～統合失調症は変容したのか. 第 17 回会津地域統合失調症研究会; 20191002; 会津若松.

國井泰人. 統合失調症の現在地点～統合失調症は変容したのか. 2019 年度第 2 回 年輪の会 (品川区精神障害者

当事者会) 研修会; 20191027; 東京.

國井泰人. 東日本大震災と福島第一原子力発電所事故後のメンタルヘルス. 2019 年度第 2 回 年輪の会 (品川区精神障害者当事者会) 研修会; 20191027; 東京.

國井泰人. 統合失調症の現在地点～統合失調症は変容したのか. 精神科治療懇話会; 20191102; 熊本.

國井泰人. うつ病について. 令和元年度家族のためのうつ病教室; 20191105; 南会津町.

國井泰人. 最近の統合失調症の病態と治療. リカバリーを目指した包括的な統合失調症治療を考える会; 20191121; 福島.

会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

論 文

〔原 著〕

Nemoto D, Suzuki S, Mori H, Katsuki S, Iwaki T, Aizawa M, Takeuchi Y, Uraoka T, Matsuda T, Fujita T, Hewett DG, Togashi K. Inhibitory effect of lidocaine on colonic spasm during colonoscopy: A multicenter double-blind, randomized controlled trial. *Digestive Endoscopy*. 201903; 31(2):173-179.

Aizawa M, Utano K, Tsunoda T, Ichii O, Kato T, Miyakura Y, Saka M, Nemoto D, Isohata N, Endo S, Ejiri Y, Lefor AK, Togashi K. Delayed hemorrhage after cold and hot snare resection of colorectal polyps: a multicenter randomized trial (interim analysis). *Endoscopy International Open*. 201909; 7(9):E1123-E1129.

Utano K, Takayanagi D, Nagata K, Aizawa M, Endo S, Nemoto T, Nemoto D, Isohata N, Lefor AK, Togashi K. A novel volume-reduced CT colonography regimen using hypertonic laxative (polyethylene glycol with ascorbic acid): randomized controlled trial. *European Radiology*. 201910; 29(10):5236-5246.

Guo Z, Zhu X, Li Q, Nemoto D, Takayanagi D, Aizawa M, Isohata N, Utano K, Kumamoto K, Endo S, Togashi K. Automatic polyp recognition from Colonoscopy images based on bag of visual words. *International Journal of Applied Science and Engineering*. 201901; 16(1):69-81.

Esaki M, Matsumoto T, Ohmiya N, Washio E, Morishita T, Sakamoto K, Abe H, Yamamoto S, Kinjo T, Togashi K, Watanabe K, Hirai F, Nakamura M, Nouda S, Ashizuka S, Omori T, Kochi S, Yanai S, Fuyuno Y, Hirano A, Umeno J, Kitazono T, Kinjo F, Watanabe M, Matsui T, Suzuki Y. Capsule endoscopy findings for the diagnosis of Crohn's disease: a nationwide case-control study. *Journal of Gastroenterology*. 201903; 54(3):249-260.

Maeda C, Endo S, Mori Y, Mukai S, Hidaka E, Ishida F, Kudo S. The ability of positron emission tomography /computed to detect synchronous colonic cancers in patients with obstructive colorectal cancer. *Molecular and*

Clinical Oncology. 2019; 10(4):425-429.

渡部晶之, 齋藤拓朗, 添田暢俊, 押部郁朗, 樋口光徳, 根本鉄太郎, 歌野健一, 五十畑則之, 高柳大輔, 遠藤俊吾, 角田三郎, 大田雅嗣. 下部胆管癌に対する膵頭十二指腸切除術後に後天性血友病を併発した一例. Japanese Journal of Acute Care Surgery. 201901; 8(2):221-226.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 術前化学療法後に経肛門的局所切除を行い病理学的完全奏効を確認した直腸癌の1例. 癌と化学療法. 201901; 46(1):130-132.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. FOLFOXIRI+Bevacizumabにより完全奏効が得られた進行大腸癌の2症例. 癌と化学療法. 201912; 46(13):2410-2412.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 高柳大輔, 根本鉄太郎. 完全内蔵逆位症に併存した直腸癌に対し腹腔鏡下低位前方切除術を行った1例. 日本外科系連合学会誌. 201904; 44(2):280-285.

樋口光徳, 歌野健一, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 術前3D-CTでAdamkiewicz動脈を確認し, 術中に温存し得た後縦隔腫瘍の1例. 日本呼吸器外科学会雑誌. 2019; 33(6):667-671.

三上鉄平, 永田浩一, 伊山 篤, 高橋則晃, 歌野健一, 遠藤俊吾, 富樫一智, 齋藤 博, 松田尚久. 大腸CT検査は腸管洗浄剤を使用せずに施行することが可能か? Dry変法の有用性に関する検討. 日本消化器がん検診学会雑誌. 201905; 57(3):356-366.

清水徳人, 松岡正樹, 伊奈純平, 高橋則晃, 歌野健一, 遠藤俊吾, 富樫一智, 松田尚久, 齋藤 博, 永田浩一. 大腸CT検査における女性受診者の男性スタッフに対する容認性—パイロットスタディー. 日本消化器がん検診学会雑誌. 201907; 57(4):581-587.

安田貴明, 永田浩一, 高林 健, 平山眞章, 遠藤俊吾, 野崎良一, 金澤英紀, 藤原正則, 清水徳人, 岩月建麿, 岩野晃明, 齋藤 博. 大腸CT検査の撮影条件に関して: 実態全国調査からの報告. 日本消化器がん検診学会雑誌. 201909; 57(5):695-703.

松井田元, 土屋貴男, 齋藤敬弘, 大谷 聡, 伊東藤男, 三浦純一. 内視鏡治療により治癒し得た魚骨によるS状結腸穿通の1例. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):161-166.

〔総説等〕

Togashi K. Applications of artificial intelligence to endoscopy practice: The view from Japan Digestive Disease Week 2018. Digestive Endoscopy. 201905; 31(3):270-272.

永田浩一, 歌野健一, 遠藤俊吾, 富樫一智, 松田尚久, 齋藤 豊. 手技の解説 大腸CT検査(CT colonography)読影の基本とコツ (動画付き). Gastroenterological Endoscopy. 201906; 61(6):1256-1263.

歌野健一, 根本大樹, 愛澤正人, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 大腸CT検査における読影法—最新動向

も含めて. INNERVISION. 201912; 34(1):40-42.

富樫一智. 【内視鏡検査と AI】大腸内視鏡領域における AI 診断 富士フィルム関連. Precision Medicine. 201903; 2(3):218-221.

歌野健一, 根本大樹, 愛澤正人, 根本鉄太郎, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 【これからの CT コロノグラフィ〜失敗からの脱却〜】読影の失敗とその対策. Rad Fan. 201906; 17(8):52-54.

吉田直久, 朱 欣, 根本大樹, 山本博徳, 伊藤義人. 【AI が切り拓く医療の未来】Artificial Intelligence による Computer-Aided Diagnosis を用いた大腸内視鏡診療への期待. 京都府立医科大学雑誌. 201906; 128(6):421-429.

歌野健一, 根本大樹, 愛澤正人, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 【CT colonography 2019—今日までの進歩と現状, そして大腸がん検診への展開】大腸 CT 検査の進歩, 現状と今後の展望. 臨床消化器内科. 201902; 34(3):239-244.

木島茂喜, 歌野健一, 佐々木崇洋, 金澤英紀, 藤井裕之, 杉本英治. 【CT colonography 2019—今日までの進歩と現状, そして大腸がん検診への展開】CT colonography 機器・技術の最前線. 臨床消化器内科. 201902; 34(3):253-257.

富樫一智, 歌野健一, 愛澤正人, 根本大樹, 五十畑則之, 遠藤俊吾. 【CT colonography 2019—今日までの進歩と現状, そして大腸がん検診への展開】CT colonography の診断限界 表面型病変の検討から. 臨床消化器内科. 201902; 34(3):311-317.

研究発表等

〔研究発表〕

Aizawa M, Utano K, Nemoto D, Isohata N, Nemoto T, Endo S, Hewett DG, Togashi K. Delayed hemorrhage after cold snare polypectomy in patients receiving antithrombotic therapy: an observational study of 2152 patients. DDW2019; 20190519; San Diego, USA. Gastrointestinal Endoscopy. 89(6):AB87.

Katsuki S, Nemoto D, Suzuki S, Mori H, Iwaki T, Lefor AK, Aizawa M, Takeuchi Y, et al. Inhibitory effect of saline dispersion on colonic spasm during colonoscopy: a post-hoc analysis. DDW2019; 20190520; San Diego, USA. Gastrointestinal Endoscopy. 89(6):AB419.

Zhu X, Nemoto D, Wang Y, Li Q, Aizawa M, Utano K, Isohata N, Endo S. A machine-Learning algorithm can detect diminutive colorectal polyps: a reading test comparing recognition with human endoscopists. DDW2019; 20190521; San Diego, USA. Gastrointestinal Endoscopy. 89(6):AB625.

Zhu X, Nemoto D, Mizuno T, Nakajima Y, Utano K, Aizawa M, Takazawa T, Sagara Y. Identification of deeply invasive colorectal cancer on non-magnified endoscopic images using artificial intelligence. DDW2019; 20190521; San Diego, USA. Gastrointestinal Endoscopy. 89(6):AB657.

Enomoto T, Endo S, Takayasu K, Fujimoto T, Otsuka H, Egashira H, Koizumi K, Ebi M, Kawamura T, Saida Y. Comparison of long term outcome of the colonic stent versus transanal drainage tube and emergency surgery for left-sided obstructive colorectal cancer: A retrospective multi-center observational study. 27th United European Gastroenterology (UEG) Week 2019; 20191021; Barcelona, Spain.

Nemoto T, Endo S, Isohata N, Takayanagi D, Hoshi N, Nemoto D, Aizawa M, Utano K, Togashi K. High-dose Barium Impaction Therapy for Colonic Diverticular Bleeding. 14th Japan-Bolivia International Symposium on Medicine and Gastroenterology; 20191024; Santa Cruz, Bolivia.

愛澤正人, 根本大樹, 歌野健一, 根本鉄太郎, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 漢方薬によると考えられる腸間膜静脈硬化症の1例. 第206回日本消化器病学会東北支部例会; 20190209; 仙台. プログラム抄録集. 92.

根本鉄太郎, 五十畑則之, 高柳大輔, 遠藤俊吾. 回腸双孔式人工肛門の肛門側に発色した一過性型虚血性腸炎の1例. 大阪府; 20190223; 大阪. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌. 35(1):241.

松井田元, 郡司崇志, 遠藤豪一, 今野 修. 胃全摘 Roux-en-Y 再建術後早期に捻転により Y 脚吻合部口側空腸の完全閉塞をきたした1例. 第91回日本胃癌学会総会; 20190228; 沼津. 日本胃癌学会総会. 91:453.

根本鉄太郎, 五十畑則之, 高柳大輔, 遠藤俊吾. 直腸憩室炎の1例. 第55回日本腹部救急医学会総会; 20190307; 仙台. 日本腹部救急医学会誌. 39(2):383.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 富樫一智, 押部郁朗, 遠藤浩太郎, 添田暢俊, 齋藤拓朗. Stage II/III 大腸癌における末梢血好中球／リンパ球比(NLR)の検討. 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190418; 大阪. 抄録集. PS-001-6.

高柳大輔, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 富樫一智, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 樋口光徳, 齋藤拓朗. 治癒切除不能・進行再発大腸癌の化学療法における骨格筋量減少の意義. 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190419; 大阪. 抄録集. PS-128-6.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 高柳大輔, 根本鉄太郎, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 樋口光徳, 富樫一智, 齋藤拓朗. Conversion を目指した切除不能大腸癌に対する FOLFOXIRI+Bevacizumab 療法の経験. 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190419; 大阪. 抄録集. PS-130-7.

齋藤拓朗, 添田暢俊, 樋口光徳, 押部郁朗, 遠藤浩太郎, 五十畑則之, 高柳大輔, 遠藤俊吾. 中心静脈カテーテルの穿刺・挿入・留置に伴う安全対策と効果. 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190420; 大阪. 抄録集. SF-097-2.

松井田元, 佐瀬善一郎, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 金田晃尚, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬 傑, 権田憲士, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 特発性食道破裂17例の検討. 第119回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

根本雄飛, 牧 匠, 五十畑則之, 遠藤俊吾. 内視鏡的整備後2ヶ月で再発した横行結腸軸捻転症の1例. 第6回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20190427; 福島. 抄録集. 15.

遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 高柳大輔, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当院での大腸癌術後の補助化学療法の実状. 第 6 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20190427; 福島. 抄録集. 17.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 富樫一智, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 切除不能大腸癌に対する化学療法中の好中球/リンパ球比の経時的変化の意義. 第 6 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20190427; 福島. 抄録集. 18.

町野 翔, 添田暢俊, 押部郁朗, 樋口光徳, 竹重俊幸, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 齋藤拓朗. まれなヘルニア内容物であった非還納性大腿ヘルニアの 2 例. 第 6 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20190427; 福島. 抄録集. 29.

愛澤正人, 根本大樹, 歌野健一, 富樫一智. チオプリン製剤投与中の炎症性腸疾患患者における 6-チオグアニンヌクレオチド血中濃度と平均赤血球容積・白血球数の関連性. 第 105 回日本消化器病学会総会; 20190509; 金沢. プログラム・抄録集. 6.

根本大樹, 愛澤正人, 富樫一智. 人工知能(AI)による Sessile Serrated Adenoma/Polyp の診断. 第 105 回日本消化器病学会総会; 20190509; 金沢. 抄録集. A157.

根本鉄太郎, 根本大樹, 五十畑則之, 愛澤正人, 歌野健一, 遠藤俊吾, 富樫一智. LST 顆粒型由来と考えられる横行結腸癌を伴う Lynch 症候群疑いの 1 例. 第 1 回がんゲノム医療時代における Lynch 症候群研究会学術集会; 20190511; 金沢.

添田暢俊, 押部郁朗, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 齋藤拓朗. TAPP におけるメッシュ背外側めくり上向きを予防する固定手技の工夫. 第 30 回内視鏡外科フォーラム in 仙台; 20190518; 仙台. 講演抄録集. 18.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. ハルトマン手術後の腹腔鏡下人工肛門閉鎖術の 1 例. 第 30 回内視鏡外科フォーラム in 仙台; 20190518; 仙台. 講演抄録集. 63.

松井田元, 郡司崇志, 遠藤豪一, 今野 修. 当院における定形化に向けた腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術 (TAPP 法) の導入および短期治療成績. 第 30 回内視鏡外科フォーラム in 仙台; 20190518; 仙台.

中島勇貴, 根本大樹, 歌野健一, 林 芳和, 竹澤敬人, 相良裕一, 愛澤正人, 澁川悟朗, 山本博徳, 富樫一智. 人工知能による大腸 T1b 癌の通常非拡大内視鏡診断の試み. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190531; 東京.

根本大樹, 愛澤正人, 富樫一智. 虫垂内進展盲腸腫瘍に対する ESD. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190531; 東京.

愛澤正人, 歌野健一, 根本大樹, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 富樫一智. 抗血栓療法中の cold snare polypectomy : 2152 例における症例対照研究. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190601; 東京.

根本大樹, 愛澤正人, 富樫一智, 根本鉄太郎, 歌野健一, 五十畑則之, 中島勇貴, 遠藤俊吾. 大腸 ESD における「牽引法を併用したポケット法」ポケット開放時の工夫. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会; 20190602; 東京.

永田浩一，遠藤俊吾，齋藤 博. 多施設データにおける大腸 CT 検査の陽性率、内視鏡受診率、および陽性適中率からみた精密検査法としての大腸 CT 検査の役割と課題. 第 58 回日本消化器がん検診学会総会; 20190608; 岡山. 日本消化器がん検診学会雑誌. 57(3):498.

根本鉄太郎，歌野健一，遠藤俊吾，根本大樹，愛澤正人，五十畑則之，富樫一智. 85 歳以上の超高齢者に対する大腸 CT 検査. 第 58 回日本消化器がん検診学会総会; 20190608; 岡山. 日本消化器がん検診学会雑誌. 57(3):517.

松井田元，郡司崇志，遠藤豪一，今野 修. 腹腔鏡補助下に切除した経口避妊薬に起因した上腸間膜静脈血栓症による回腸壊死の 1 例. 第 44 回日本外科系連合学会学術集会; 20190620; 金沢. 日本外科系連合学会誌. 44(3):594.

根本鉄太郎，遠藤俊吾，五十畑則之，根本大樹，愛澤正人，歌野健一，富樫一智，遠藤浩太郎，押部郁朗，添田暢俊，齋藤拓朗. FOLFOXIRI+Bmab により完全奏効が得られた進行大腸癌の 2 例. 第 41 回日本癌局所療法研究会; 20190621; 岡山. プログラム. 10.

根本大樹，愛澤正人，歌野健一，根本鉄太郎，星 信大，五十畑則之，遠藤俊吾，北條 洋，富樫一智. 直腸 NET の治療成績からみた検討：脈管侵襲は再発の危険因子か？ 第 91 回大腸癌研究会; 20190705; 東京. 抄録集. 86.

歌野健一，愛澤正人，根本大樹，根本鉄太郎，星 信大，五十畑則之，遠藤俊吾，富樫一智. 神経内分泌腫瘍におけるソマトスタチン受容体シンチグラフィーによる転移巣診断および肝転移巣に対する肝動脈塞栓術：3 例の経験. 第 91 回大腸癌研究会; 20190705; 東京. 抄録集. 89.

根本大樹，歌野健一，愛澤正人，根本鉄太郎，富樫一智. 大腸憩室出血に対するバリウム充填療法の経験. 第 163 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20190706; 秋田. 抄録集. 1.

根本鉄太郎，遠藤俊吾，五十畑則之，高柳大輔，富樫一智，押部郁朗，遠藤浩太郎，添田暢俊，齋藤拓朗. 切除不能進行・再発大腸癌の化学療法における好中球リンパ球比と骨格筋量の経時的な変化について. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190717; 東京. デジタル抄録集. 143.

添田暢俊，遠藤浩太郎，押部郁朗，樋口光徳，竹重俊幸，五十畑則之，遠藤俊吾，齋藤拓朗. 当院における再発鼠径部ヘルニア手術症例の検討. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190718; 東京. デジタル抄録集. 264.

松井田元，郡司崇志，遠藤豪一，今野 修. 当院にて経験した盲腸軸捻転症の 4 例. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190718; 東京.

五十畑則之，遠藤俊吾，高柳大輔，根本鉄太郎，富樫一智，遠藤浩太郎，押部郁朗，添田暢俊，齋藤拓朗. 治癒切除困難な大腸癌に対する術前化学療法と Conversion Surgery の成績. 第 74 回日本消化器外科学会総会; 20190719; 東京. デジタル抄録集. 53-54.

愛澤正人，根本大樹，歌野健一，富樫一智. 東京山手メディカルセンターにおけるシクロスポリンの使用経験. 第 41 回福島県炎症性腸疾患研究; 20191005; 郡山.

根本大樹，愛澤正人，中島勇貴，根本鉄太郎，歌野健一，五十畑則之，遠藤俊吾，富樫一智. 大腸 pT1 癌に

対する内視鏡治療後のサーベイランス：単施設における検討. 第 74 回日本大腸肛門病学会総会; 20191012; 東京. 日本大腸肛門病学会誌. 72(9):A50.

愛澤正人, 歌野健一, 根本大樹, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 富樫一智. Cold snare polypectomy 後の遅発性出血の危険因子：2152 例における観察研究. 第 74 回日本大腸肛門病学会総会; 20191011; 東京. 日本大腸肛門病学会誌. 72(9):A61.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 根本鉄太郎, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 術前化学療法としての FOLFOXIRI+Bevacizumab 療法の評価. 第 74 回日本大腸肛門病学会総会; 20191012; 東京. 日本大腸肛門病学会誌. 72(9):A75.

三宅真里世, 根本大樹, 佐藤雄翔, 勝木伸一, 林 芳和, 相良裕一, 愛澤正人, 山本博徳, 富樫一智. 白色光非拡大内視鏡画像による大腸 pT1b 癌の AI 診断 研修医・専攻医・熟練医との比較検討. 第 74 回日本大腸肛門病学会総会; 20191011; 東京. 日本大腸肛門病学会誌. 72(9):A257.

佐藤雄翔, 根本大樹, 三宅真里世, 愛澤正人, 歌野健一, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. ex vivo 読影試験における大腸ポリープの発見能：内視鏡医は AI に勝てるか？ 第 74 回日本大腸肛門病学会総会; 20191011; 東京. 日本大腸肛門病学会誌. 72(9):A259.

大木岳志, 遠藤俊吾, 大塚秀男, 那須啓一, 齋藤修治, 大田勝也, 木村俊久, 岡村 修, 榎本俊行, 斉田芳久. 閉塞性大腸癌に対する減圧法による長期予後. 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191116; 高知. 日本臨床外科学会誌. 80(増):542.

富樫一智, 根本大樹, 林 芳和. 白色光非拡大内視鏡画像による大腸 pT1b 癌の AI 診断. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019); 20191121; 神戸.

根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 根本鉄太郎, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. AI による大腸ポリープの検出 内視鏡医が認識できない病変の特徴とは？ 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019); 20191122; 神戸.

齋藤拓朗, 大井川百合, 橋本重厚, 歌野健一, 歌野有香, 目黒昭夫. 電子カルテと画像検査確認チェックリストを用いた診断報告書の見落とし防止の取り組みと効果. 第 14 回医療の質・安全学会学術集会; 20191129-30; 京都. 医療の質・安全学会誌. 14(抄録):450.

松井田元, 郡司崇志, 大須賀文彦, 遠藤豪一, 今野 修. 当院における TAPP 法の手術手技と短期成績；再発・合併症を起こさないために導入初期から取り組んでいること. 第 12 回東北ヘルニア研究会; 20191130; 盛岡. 講演抄録集. 33.

松井田元, 大須賀文彦, 郡司崇志, 遠藤豪一. 腸重責を契機に発見された多発性小腸悪性リンパ腫を術前診断し腹腔鏡補助下手術を行った 1 例. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191206; 横浜. 日本内視鏡外科学会雑誌. 24(7):MO153-156.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 大腸憩室症に対する腹腔鏡手術症例の検討. 第 32 回日本内視鏡外科学会総会; 20191207; 横浜. 日本内視鏡外科学会雑誌. 24(7):SF104-3.

〔シンポジウム〕

遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 根本鉄太郎. 当院で行っている Diverting stoma 造設・閉鎖術の標準化. 第 36 回日本ストーマ排泄リハビリテーション学会総会; 20190223; 大阪. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌. 35(1):97.

遠藤俊吾, 牛込允則, 榎本俊行, 隅田頼信, 浅井 哲, 那須啓一, 大木岳志, 加藤博之, 神山篤史, 五十畑則之, 斉田芳久. 閉塞性大腸癌に対する減圧法別の治療成績—多施設共同研究. 第 55 回日本腹部救急医学会総会; 20190308; 仙台. 日本腹部救急医学会雑誌. 39(2):320.

〔特別講演〕

歌野健一. 大腸がん和大腸 CT の現状. 第 32 回福島県臨床画像研究会; 20190608; 福島.

遠藤俊吾. 大腸癌後方ラインの治療戦略. 山陰大腸癌研究会 in 出雲; 20190725; 出雲.

五十畑則之. 外科医が求める大腸 CT 検査. 第 7 回東北消化管 CT 技術研究会; 20190907; 仙台.

富樫一智. 臨床研究はおもしろい!! 観察研究から最新の AI 研究まで. 第 20 回自治医科大学消化器内科学教室同門会特別講演; 20190908; 宇都宮.

五十畑則之. EBM に基づく大腸ステント留置術. 第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019); 20191121; 神戸.

〔その他〕

金田晃尚, 佐瀬善一郎, 佐藤孝洋, 遠藤英成, 松井田元, 氏家大輔, 楡井 東, 青砥慶太, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬 傑, 権田憲士, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 頭頸部癌に対する遊離空腸再建術の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 根本鉄太郎, 星 信大. 当院における内痔核手術について—ALTA 併用療法、抗血栓療法施行症例の検討—. 東北 ALTA 治療実践セミナー; 20190824; 仙台.

会津医療センター 外科学講座

論 文

〔原 著〕

Fujiyama N, Satoh S, Saito M, Numakura K, Inoue T, Yamamoto R, Saito T, Kanda S, Narita S, Mitobe Y, Habuchi T. Impact of persistent preformed and de novo donor-specific antibodies detected at 1 year after kidney transplantation on long-term graft survival in Japan: a retrospective study. Clinical and Experimental

Nephrology. 201912; 23(12):1398-1406.

Higuchi M, Watanabe M, Endo K, Oshibe I, Soeta N, Saito T, Hojo H, Suzuki H. Wine cup stoma anastomosis after extended sleeve lobectomy for central-type squamous cell lung cancer. Journal of Cardiothoracic Surgery. 201902; 14(1):36.

Hasegawa T, Ozaki Y, Inoue T, Watanabe Y, Fukuhara M, Yamaura T, Muto S, Okabe N, Higuchi M, Shio Y, Suzuki H. Nivolumab-related severe thrombocytopenia in patient with relapsed lung adenocarcinoma: a case report and review of the literature. Journal of Medical Case Reports. 201910; 13(1):316.

渡部晶之, 齋藤拓朗, 添田暢俊, 押部郁朗, 樋口光徳, 根本鉄太郎, 歌野健一, 五十畑則之, 高柳大輔, 遠藤俊吾, 角田三郎, 大田雅嗣. 下部胆管癌に対する膵頭十二指腸切除術後に後天性血友病を併発した一例. Japanese Journal of Acute Care Surgery. 201901; 8(2):221-226.

齋藤拓朗, 添田暢俊, 押部郁朗, 樋口光徳, 町野 翔, 三猪忠道. 【救急医療と漢方】腹部救急領域の救急疾患に対する漢方治療. 漢方と最新治療. 201905; 28(2):165-172.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 術前化学療法後に経肛門的局所切除を行い病理学的完全奏効を確認した直腸癌の1例. 癌と化学療法. 201901; 46(1):130-132.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. FOLFOXIRI+Bevacizumabにより完全奏効が得られた進行大腸癌の2症例. 癌と化学療法. 201912; 46(13):2410-2412.

樋口光徳, 鈴木弘行. 胸部外科手術の基本手技とコツ up to date II 呼吸器領域 10. 膿胸における開窓術と有茎筋弁・大網充填術. 胸部外科. 2019; 72(10):854-858.

樋口光徳, 渡部晶之, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 両側後縦隔原発の髄外造血巣の1手術例. 日本呼吸器外科学会雑誌. 2019; 33(4):413-419.

樋口光徳, 歌野健一, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 術前3D-CTでAdamkiewicz動脈を確認し、術中に温存し得た後縦隔腫瘍の1例. 日本呼吸器外科学会雑誌. 201909; 33(6):667-671.

〔その他〕

Saito T. Development of an educational model for surgical simulation by porcine organs using new preservation solution. Impact. 201903; 2019(2):24-26.

研究発表等

〔研究発表〕

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 富樫一智, 押部郁朗, 遠藤浩太郎, 添田暢俊, 齋藤拓朗.

Stage II/III 大腸癌における末梢血好中球／リンパ球比(NLR)の検討. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418; 大阪. 抄録集. PS-001-6.

高柳大輔, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 富樫一智, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 樋口光徳, 齋藤拓朗. 治癒切除不能・進行再発大腸癌の化学療法における骨格筋量減少の意義. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190419; 大阪. 抄録集. PS-128-6.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 高柳大輔, 根本鉄太郎, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 樋口光徳, 富樫一智, 齋藤拓朗. Conversion を目指した切除不能大腸癌に対する FOLFOXIRI+Bevacizumab 療法の経験. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190419; 大阪. 抄録集. PS-130-7.

齋藤拓朗, 添田暢俊, 樋口光徳, 押部郁朗, 遠藤浩太郎, 五十畑則之, 高柳大輔, 遠藤俊吾. 中心静脈カテーテルの穿刺・挿入・留置に伴う安全対策と効果. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190420; 大阪. 抄録集. SF-097-2.

樋口光徳, 歌野健一, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 微小肺髄膜細胞様結節(MPMN)における Neurofibromatosis(NF)-2 遺伝子変異の検索. 第 119 回日本外科学会定期学術集会; 20190418-20; 大阪.

遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 高柳大輔, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当院での大腸癌術後の補助化学療法の現状. 第 6 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20190427; 福島. 抄録集. 17.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 富樫一智, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 切除不能大腸癌に対する化学療法中の好中球／リンパ球比の経時的変化の意義. 第 6 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20190427; 福島. 抄録集. 18.

町野翔, 添田暢俊, 押部郁朗, 樋口光徳, 竹重俊幸, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 齋藤拓朗. まれなヘルニア内容物であった非還納性大腿ヘルニアの 2 例. 第 6 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20190427; 福島. 抄録集. 29.

樋口光徳, 歌野健一, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 術前 3D-CT で Adamkiewicz 動脈を確認し、温存し得た後縦隔腫瘍の 1 手術例. 第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20190516-17; 大阪.

添田暢俊, 押部郁朗, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 齋藤拓朗. TAPP におけるメッシュ背外側めくり上りを予防する固定手技の工夫. 第 30 回内視鏡外科フォーラム in 仙台; 20190518; 仙台. 講演抄録集. 18.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. ハルトマン手術後の腹腔鏡下人工肛門閉鎖術の 1 例. 第 30 回内視鏡外科フォーラム in 仙台; 20190518; 仙台. 講演抄録集. 63.

添田暢俊, 押部郁朗, 齋藤拓朗. TAPP におけるメッシュ背外側の新しい安全な固定手技. 第 17 回日本ヘルニア学会学術集会ヘルニアを科学する; 20190524; 四日市.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. FOLFOXIRI+Bmab により完全奏効が得られた進行大腸癌の 2 例. 第 41 回日本癌局所療

法研究会; 20190621; 岡山. プログラム. 10.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 富樫一智, 押部郁朗, 遠藤浩太郎, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 切除不能進行・再発大腸癌の化学療法における好中球／リンパ球比と骨格筋量の経時的な変化について. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190717; 東京. デジタル抄録集. 143.

添田暢俊, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 樋口光徳, 竹重俊幸, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 齋藤拓朗. 当院における再発鼠径部ヘルニア手術症例の検討. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190718; 東京. デジタル抄録集. 264.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 高柳大輔, 根本鉄太郎, 富樫一智, 遠藤浩太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 治癒切除困難な大腸癌に対する術前化学療法と Conversion Surgery の成績. 第74回日本消化器外科学会総会; 20190719; 東京. デジタル抄録集. 53-54.

川又崇弘, 樋口光徳, 押部郁朗, 町野 翔, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. Pembrolizumab にて病理学的寛解が得られた進行非小細胞肺癌の1例. 第104回日本胸部外科学会東北地方会; 20190914; 青森.

齋藤拓朗, 大井川百合, 橋本重厚, 歌野健一, 歌野有香, 目黒昭夫. 電子カルテと画像検査確認チェックリストを用いた診断報告書の見落とし防止の取り組みと効果. 第14回医療の質・安全学会学術集会; 20191129-30; 京都. 医療の質・安全学会誌. 14(抄録):450.

添田暢俊, 押部郁朗, 齋藤拓朗. 福島での Cadaver を用いた腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術手技セミナー開催報告. 第12回東北ヘルニア研究会; 20191130; 盛岡.

根本鉄太郎, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 高柳大輔, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 大腸憩室症に対する腹腔鏡手術症例の検討. 第32回日本内視鏡外科学会総会; 20191207; 横浜. 日本内視鏡外科学会雑誌. 24(7):103-104.

樋口光徳, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 北條 洋, 山田壮亮, 浦本秀隆, 鈴木弘行. 集学的治療で長期CRが得られた、胸膜播種を伴った未分化多型肉腫の1例. 第60回日本肺癌学会学術集会; 20191206-08; 大阪.

〔その他〕

竹重俊幸. Opening Remarks. がん治療のトータルケアを考える; 20190930; 会津若松.

会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座

論 文

〔原 著〕

Iida H, Kurita N, Takahashi S, Sasaki S, Nishiwaki H, Omae K, Yajima N, Fukuma S, Hasegawa T, Fukuhara S, Kobayashi S, Niihata K, Naganuma T, Tominaga R. Salt intake and body weight correlate with

higher blood pressure in the very elderly population: The Sukagawa study. *Journal of Clinical Hypertension*. 201907; 21(7):942-949.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Tominaga R, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S; DISTO project working group. Reference values of the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis and characteristics of deterioration of QOL: Lumbar Spinal Stenosis Diagnosis Support Tool: DISTO project. *Journal of Orthopaedic Science*. 201907; 24(4):584-589.

Otoshi K, Kikuchi S, Kato K, Kaneko Y, Mashiko R, Sato R, Igari T, Kaga T, Konno S. Sufficient duration of off-season decreases elbow disorders in elementary school-aged baseball players. *Journal of Shoulder and Elbow Surgery*. 201906; 28(6):1098-1103.

Komatsu J, Sato K, Iwabuchi M, Fukuda H, Kusano K, Kaneko K, Shirado O. Recovery of paraplegia following postoperative epidural hematomas in lumbar canal stenosis surgery by closed kinetic chain (CKC) exercises: A case report. *Medicine*. 201905; 98(20):e15670.

岩橋成寿, 國井啓子, 牛来彩子, 富永亮司, 安永 亨. 要介護5の妻を介護中に全身痛を訴えた高齢者の1例. いわき市医療センター医報. 201909; 40(1):32-36.

畑下 智, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑, 高橋洋二郎, 新田夢鷹, 川上亮一, 紺野慎一. 踵骨骨折の外側壁腓骨に対する bone tamper 整復法. 骨折. 201902; 41(1):224-229.

岩淵真澄, 白土 修. 【脊椎疾患・関節疾患による慢性疼痛治療 update】脊椎疾患による慢性疼痛の理学療法「腰みがき」の実践法. 整形・災害外科. 201910; 62(11):1345-1352.

菅野朋史, 目黒昭夫, 佐藤大樹, 白土 修, 岩淵真澄, 福田宏成. 低線量CT撮影を応用したXLIF術前CT造影検査の仰臥位・側臥位の解剖学的臓器位置比較. 全国自治体病院協議会雑誌. 201903; 58(3):376-380.

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 小俣純一, 遠藤達矢, 三浦拓也, 岩淵真澄, 白土 修. 成人脊柱変形患者の歩行能力には, 動的脊柱アライメントが影響する. 東北理学療法学. 201910; 31:33-39.

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 小俣純一, 遠藤達矢, 三浦拓也, 岩淵真澄, 白土 修. 腰痛を有する成人脊柱変形患者のSRS-22下位項目と身体機能・脊柱アライメントの関係. 東北理学療法学. 201910; 31:40-47.

畑下 智, 川上亮一, 江尻莊一, 紺野慎一, 伊藤雅之, 佐藤俊介, 増子遼介, 水野洋佑. 四肢の主幹動脈損傷に対するtemporary intravascular shuntを用いた治療戦略. 日本マイクロサージャリー学会会誌. 201903; 32(1):18-24.

福田宏成, 白土 修, 岩淵真澄. 脊椎硬膜外血腫により腰下肢痛を伴わない対麻痺を呈したCharcot 脊椎の1例. 日本脊髄障害医学会雑誌. 201905; 32(1):54-57.

加賀孝弘, 大歳憲一, 加藤欽志, 増子遼介, 佐藤亮平, 猪狩貴弘, 沼崎広法, 紺野慎一. 陳旧性上腕骨内側上顆下端障害が高校野球選手の肘内側障害の発症に与える影響. 日本臨床スポーツ医学会誌. 201901; 27(1):41-46.

〔その他〕

白土 修 監修. “動療法の疑問に答える” 慢性腰痛への効果的な運動の実際. RE-MOVE (日本イーライリリー／塩野義製薬). 201901; No.4:12-15.

白土 修. 腰痛診療ガイドライン 2019 座談会 腰痛診療ガイドライン改訂版を読み解くー有効性と安全性を総合的に評価した薬物療法へー. 日経メディカル. 201912; 48(12 月特別編集号):22-25.

三浦拓也, 佐藤圭汰, 小俣純一, 遠藤達矢, 岩渕真澄, 白土 修, 伊藤俊一. 腰部脊柱管狭窄症患者の下肢痛の強さは, 歩行時における脊椎, 骨盤, 股関節の動的 alignment と関連する. 理学療法学. 201908; 46(Suppl.1):1-M-2-8.

佐藤圭汰, 小俣純一, 遠藤達矢, 三浦拓也, 岩渕真澄, 白土 修, 伊藤俊一. 成人脊柱変形患者の歩行持久性に静的・動的脊柱アライメントはどちらが影響するか? 理学療法学. 201908; 46(Suppl.1):1-O-12-2.

著 書・訳 書

白土 修. 7 側弯症装具. In: 日本義肢装具学会 監修. 装具学 第 4 版. 東京: 医歯薬出版; 201901. p.138-147.

岩渕真澄. III 疾患別治療法、脊椎 (全体)、胸椎の外傷. In: 紺野慎一. 日常診療のエッセンス 脊椎. 東京: メディカルレビュー社; 201903. p.94-100.

白土 修 監修. In: 日本整形外科学会／日本腰痛学会. 腰痛診療ガイドライン 2019. 東京: 日本整形外科学会, 日本腰痛学会; 201905.

白土 修 監修. 腰痛診療ガイドラインを紐解くー慢性腰痛における薬物療法へー. 東京: 日本イーライリリー; 201906.

白土 修 監修. In: Care Net 企画・制作. Web マンガ マンガで学ぶ腰痛診療ガイドライン 2019 第 1 回: 腰痛診療の現状とガイドライン改訂の経緯. 東京: 塩野義製薬; 201910.

白土 修 監修. In: Care Net 企画・制作. Web マンガ マンガで学ぶ腰痛診療ガイドライン 2019 第 2 回: 腰痛の治療概論. 東京: 塩野義製薬; 201910.

白土 修 監修. In: Care Net 企画・制作. Web マンガ マンガで学ぶ腰痛診療ガイドライン 2019 第 3 回: 慢性腰痛における薬物療法. 東京: 塩野義製薬; 201911.

研究発表等

〔研究発表〕

Endo T, Ito T, Iwabuchi M, Shirado O. Can Preoperative Rehabilitation Improve the Surgical Outcome in the

Patients with Adult Spinal Deformity? A retrospective cohort study. ISSLS2019 46th Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Endo T, Ito T, Iwabuchi M, Shirado O. A Comparative Study between SRS-22 and SJ-27 to Evaluate Surgical Outcome in the Japanese Patients with Adolescent Idiopathic Scoliosis; Are there any cultural and social differences. ISSLS 2019 46th Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Iwabuchi M, Fukuda H, Tominaga R, Hanyu Y, Shirado O. Can Minimally Invasive Spinal Fusion Surgery Provide the Better Surgical Outcome than Conventional One in the Treatment of Degenerative Lumbar Spinal Diseases? A minimum of one-year follow-up study. ISSLS 2019 46th Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

Sato K, Ito T, Tominaga R, Endo T, Omata J, Miura T, Iwabuchi M, Shirado O. Dynamic spinal alignment can influence on continuous walkable distance in the patients with adult spinal deformity. ISSLS 2019 46th Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

波入雄大, 岩渕真澄, 福田宏成, 富永亮司, 白土 修. 環椎弓低形成を伴う環軸関節亜脱臼により頸髄症を呈した1例. 第29回東北脊椎外科研究会; 20190126; 仙台.

波入雄大, 岩渕真澄, 富永亮司, 高橋洋二郎, 猪股洋平, 田口浩子, 白土 修. 腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内注射療法: コンドリアーゼの使用経験. 会津整形外科医会学術講演会; 20190222; 会津若松.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 佐藤圭汰, 小俣純一, 岩渕真澄, 白土 修. 成人脊柱変形の術前リハビリテーションは術後成績に影響をおよぼすか. 第9回日本成人脊柱変形学会; 20190302; 東京.

Tominaga R, Otani K, Iwabuchi M, Kikuchi S, Shirado O, Konno S. Association between Spine-pelvic Alignment and QOL in Community dwelling Adults - The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study(LOHAS) -. 22nd Annual Meeting of the Study Group of Nerve and Spine (SGNS); 20190309-10; 東京.

岩渕真澄, 福田宏成, 富永亮司, 波入雄大, 白土 修. 腰部脊柱管狭窄症に対する後方アプローチ椎体間固定術の手術成績は低侵襲法と従来法で差が無い. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 佐藤圭汰, 小俣純一, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. 股関節屈曲拘縮は成人脊柱変形の sagittal imbalance に強く影響を及ぼす. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 遠藤達矢, 小俣純一, 三浦拓也, 岩渕真澄, 白土 修. 成人脊柱変形患者の連続歩行可能距離に及ぼす動的脊柱アライメントの影響. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

白土 修. 腰痛患者に対する包括的治療; 新旧の腰痛診療ガイドラインを参考に. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

三浦拓也, 伊藤俊一, 佐藤圭汰, 小俣純一, 遠藤達矢, 岩渕真澄, 白土 修. 腰部脊柱管狭窄症患者の下肢痛強度と歩行時における動的脊柱アライメントとの関連性. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20190418-20; 横浜.

岩渕真澄. 骨粗鬆症性骨折の予防と治療. 第9回光が丘会津会; 20190426; 会津若松.

波入雄大, 岩渕真澄, 富永亮司, 高橋洋二郎, 猪股洋平, 田口浩子, 白土 修. 腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内注射療法: コンドリナーゼの使用経験. 第42回福島脊椎脊髄疾患研究会; 20190427; 郡山.

猪股洋平, 富永亮司, 高橋洋二郎, 波入雄大, 田口浩子, 岩渕真澄, 白土 修. 化膿性環軸関節炎の経験; 疼痛対策も含めて. 会津整形外科医会学術講演会; 20190612; 会津若松.

白土 修, 遠藤達矢, 伊藤俊一. 腰部障害に対するリハビリテーション医療; 運動機能からの考察. 第56回日本リハビリテーション医学会; 20190612-16; 神戸.

佐藤圭汰, 岩渕真澄, 伊藤俊一, 小俣純一, 遠藤達矢, 白土 修. 成人脊柱変形患者の歩行時姿勢不良には脊椎伸展可動域と股関節伸展筋力が影響する. 第3回会津骨粗鬆症連携フォーラム; 20190628; 会津若松.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 半谷智辰, 岩渕真澄, 白土 修. ロコモティブシンドロームを有する高齢者に対する運動負荷時の姿勢がロコモ度改善に与える影響. 第31回日本運動器科学会; 20190706-07; 岡山.

白土 修, 遠藤達矢, 半谷智辰, 岩渕真澄, 伊藤俊一. 地域在住高齢者に対する教室を通じたロコモティブシンドローム対策ーロコモと認知機能を含む多角的な視点からの介護予防ー. 第31回日本運動器科学会; 20190706-07; 岡山.

芳賀久美, 半谷智辰, 白土 修. 転倒既往を有する高リスク患者の入院中の転倒に影響を及ぼす因子. 第31回日本運動器科学会; 20190706-07; 岡山.

半谷智辰, 遠藤達矢, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. ストレッチングは筋弾性率を改善させる. 第31回日本運動器科学会; 20190706-07; 岡山.

半谷智辰, 遠藤達矢, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. 成人脊柱変形患者の歩行時姿勢異常には脊椎伸展可動域と股関節伸展筋力が影響する. 第31回日本運動器科学会; 20190706-07; 岡山.

岩渕真澄. 骨粗鬆症に対する運動療法の効果とポイント〜ロコモと脊柱後弯変形の関連を含めて〜. 会津医科歯科連携の会; 20190712; 会津若松.

白土 修. 術後血腫・神経合併症“知っているだけで差がつく知識とテクニック”. 北大脊椎脊髄外科セミナー 2019; 20190719-20; 札幌.

半谷智辰, 大黒一司, 王 治文, 白土 修. 作業環境が肩こりに及ぼす影響. 第53回日本作業療法学会; 20190906-08; 福岡.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 半谷智辰, 小俣純一, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. 腰部背筋に対するストレッチングの効果発現に必要な最小試行回数; 剪断波エラストグラフィを用いた筋弾性率の定量的検討. 第27回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 小俣純一, 遠藤達矢, 三浦拓也, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. 成人脊柱変形患者の QOL 評価における歩行負荷試験の有用性. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 小俣純一, 遠藤達矢, 三浦拓也, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. 成人脊柱変形患者の三次元歩行動作解析—脊椎伸展可動域制限と股関節伸展筋力低下は歩行時の脊柱アライメント異常を招く. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

三浦拓也, 伊藤俊一, 佐藤圭汰, 小俣純一, 遠藤達矢, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土 修. 腰部脊柱管狭窄症患者の下肢痛には体幹・股関節伸展筋力と動的脊柱アライメントが影響する. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

波入雄大, 岩渕真澄, 富永亮司, 高橋洋二郎, 猪股洋平, 田口浩子, 白土 修. 腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内注射療法—コンドリナーゼの使用経験. 第 8 回会津脊椎脊髄疾患研究会; 20190927; 会津若松.

富永亮司, 大谷晃司, 岩渕真澄, 菊地臣一, 白土 修, 紺野慎一. 一般地域住民における脊柱・骨盤矢状面アライメントと QOL の関連性の検討. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

猪股洋平, 波入雄大, 岩渕真澄, 白土 修. 化膿性環軸関節炎 2 例の経験. 第 54 回日本脊髄障害医学会; 20191031-1101; 秋田.

波入雄大, 白土 修, 岩渕真澄, 猪股洋平. 環椎後弓低形成を伴う環軸関節亜脱臼により頸髄症を呈した一例. 第 54 回日本脊髄障害医学会; 20191031-1101; 秋田.

平田 海, 白土 修, 阿部真典, 木川卓也, 遠藤達矢, 岩渕真澄. 思春期突発性側彎症に対する新しい装具の効果; 高いコンプライアンスは良い治療成績につながる. 第 53 回日本側彎症学会学術集会; 20191108-09; 高崎.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 白土 修. ロコモ度と運動器の痛みある部位との関連. 第 12 回日本運動器疼痛学会; 20191130-1201; 東京.

〔シンポジウム〕

白土 修 (座長). シンポジウム 3 : 成人脊柱変形に対する非手術療法のエビデンス. 第 9 回日本成人脊柱変形学会; 20190302; 東京.

白土 修 (座長). シンポジウム 6 : 腰痛診療ガイドライン. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

〔その他〕

Galbusera F, Osamu Shirado O (Chairs). Special Poster Session. ISSLS 2019 46th Annual Meeting; 20190603-07; Kyoto.

白土 修 (座長). 第 9 回光が丘会津会. 第 9 回光が丘会津会; 20190426; 会津若松.

白土 修 (座長). 慢性腰痛の病態と治療. 会津慢性腰痛セミナー; 20190524; 会津若松.

白土 修（座長）．橈骨遠位端骨折の積極的保存療法 ―その症例、ホントに手術は必要ですか？―．会津整形外科医会学術講演会; 20190612; 会津若松.

岩渕真澄（座長）．Case Report Award セッション 3. 第 116 回東北整形災害外科学会; 20190621-22; 盛岡.

岩渕真澄（座長）．多職種連携、地域連携で取り組む脆弱性骨折予防 ―骨折によるねたきりゼロを目指して―．第 3 回会津骨粗鬆症連携フォーラム; 20190628; 会津若松.

白土 修（座長）．教育講演 3 最近の脊椎疾患に対する治療戦略. 第 31 回日本運動器科学会; 20190706-07; 岡山.

岩渕真澄（座長）．特別講演. 会津医科歯科連携の会; 20190712; 会津若松.

白土 修（座長）．1. 腰仙椎 “知っているだけで差がつく知識とテクニック”．北大脊椎脊髄外科セミナー 2019; 20190719-20; 札幌.

岩渕真澄（座長）．一般演題 9：診断. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

白土 修（座長）．イブニングセミナー1. 第 27 回日本腰痛学会; 20190913-14; 神戸.

白土 修（座長）．成人脊柱変形に伴う疼痛の診断と治療. 第 8 回会津脊椎脊髄疾患研究会; 20190927; 会津若松.

白土 修（座長）．近未来における運動器の再生医療―疼痛と麻痺の克服に向けて―．第 5 回会津リハビリテーション・フォーラム; 20191002; 会津若松.

岩渕真澄（座長）．画像解析 1 脊椎. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

白土 修（座長）．バイオメカニクス 1 脊椎. 第 34 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20191017-18; 横浜.

白土 修（座長）．骨粗鬆症骨折手術. 第 54 回日本脊髄障害医学会; 20191031-1101; 秋田.

白土 修（座長）．脊椎固定術の長期成績. 第 28 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会; 20191115-16; つくば.

会津医療センター 耳鼻咽喉科学講座

論 文

〔原 著〕

鈴木雪恵, 今泉光雅, 鈴木輝久, 馬場陽子, 山田奈保子, 原田 綾, 大槻好史, 菊地大介, 小川 洋. 福島県における人工内耳・補聴器装用児の中学校での学習環境の実態調査 平成 24 年と平成 29 年の比較. *Audiology Japan*. 2019; 62(5):387.

小川 洋. 【耳鼻咽喉科医が頻用する内服・外用薬一選び方・上手な使い方】耳疾患 外耳炎・外耳道湿疹に対する内服・点耳液の使い方. *ENTON*. 2019; 231:6-13.

小川 洋. 【耳鼻咽喉科領域の外傷をマスターする】外傷性外リンパ嚢. *JOHNS*. 2019; 35(5):555-558.

小川 洋. 【救急・当直マニュアルいざというときの対応法】症状からみた鑑別診断 耳痛/耳漏. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2019; 91(5):48-52.

小川 洋, 山内智彦, 小針健大, 小野美穂, 横山秀二, 野本美香. 鼻副鼻腔領域におけるコーンビーム CT の活用. 耳鼻咽喉科展望. 2019; 62(4):154-161.

小川 洋. サーフアーズイヤー [私の治療]. 日本医事新報. 2019; 4973:51.

小川 洋. 小児の難聴とウイルス感染 サイトメガロウイルス. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 2019; 122(4):471.

山内智彦, 横山秀二, 小川 洋. *Aspergillus oryzae* による鼻副鼻腔炎例. 日本鼻科学会会誌. 2019; 58(1):33-37.

小野美穂, 松塚 崇, 黒田令子, 小川 洋, 室野重之. 耳管開放症疑い例に対するルゴールジェル注入療法. 福島医学雑誌. 2019; 69(3):189-195.

〔症例報告〕

小針健大, 小川 洋, 横山秀二. Bezold 腫瘍に進展した成人急性乳様突起炎の 1 例. 耳鼻咽喉科臨床 補冊. 2019; 154:122.

〔その他〕

小川 洋. 頭頸部領域 CBCT を使いこなす. 耳鼻咽喉科臨床 補冊. 2019; 154:50.

著 書・訳 書

小川 洋. 耳鼻咽喉科疾患 鼓膜炎. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2019 年版 私

はこう治療している. 東京: 医学書院; 201901. p.1546-1547.

研究発表等

〔研究発表〕

Suzuki T, Imaizumi M, Kikuchi D, Sato K, Murono S. Creating a pathway using the larynx is the last resort for oral intake in a hypopharyngeal cancer patient with severe complication. 99th Annual Meeting of the American Broncho-Esophagological Association; 20190501-03; Austin, USA.

小針健大, 松塚 崇, 鈴木政博, 川瀬友貴, 横山秀二, 小川 洋, 室野重之. 口腔癌センチネルリンパ節ナビゲーション頸部郭清術における微小転移の定義の試みー本学での研究についてー. 第 29 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会; 20190124; 仙台.

松塚 崇, 上村裕和, 吉本世一, 三浦弘規, 塩谷彰浩, 菅澤 正, 本間明宏, 横山純吉, 塚原清彰, 吉崎智一, 小針健大, 室野重之, 長谷川泰久. センチネルリンパ節ナビゲーション頸部郭清術における口腔癌のリンパ節転移巣の大きさの検討. 第 29 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会; 20190124; 仙台.

小針健大, 小川 洋, 横山秀二, 小野美穂. 声門閉鎖術を施行し良好な経過を得た 3 症例. 第 132 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20190324; 福島.

小針健大, 小川 洋, 横山秀二. Bezold 膿瘍に進展した成人急性乳様突起炎の 1 例. 第 81 回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会; 20190627-28; 名古屋.

鈴木俊彦, 野本美香, 鈴木 亮, 佐藤廣仁, 多田靖宏, 室野重之. 骨髓異形成症候群による血小板減少を合併し急速に増大した上顎洞血腫の 1 例. 第 81 回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会; 20190627-28; 名古屋.

鈴木俊彦, 野本美香, 佐藤廣仁, 鈴木 亮, 室野重之. 内視鏡下に摘出した Glomangiopericytoma の 1 例. 第 58 回日本鼻科学会総会・学術講演会; 20191003-05; 東京.

小針健大, 小川 洋, 横山秀二, 小野美穂. Bezold 膿瘍に進展した成人急性乳様突起炎の 1 例. 第 133 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20191027; 福島.

横山秀二, 小川 洋, 小針健大, 小野美穂. 頸椎手術後の経過中に急激な呼吸困難にて発症した Forestier 病の 1 例. 第 71 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20191129; 宇都宮.

〔特別講演〕

小川 洋. CBCT で何がわかるのかー耳・鼻の画像を中心にー. 第 1 回愛媛県耳鼻咽喉科 3D 断層画像研究会; 20190316; 松山.

〔その他〕

岡田賢司, 小川 洋, 守本倫子, 桎尾明憲. 小児の難聴とウイルス感染. 第 120 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学

術講演会; 20190510; 大阪.

小川 洋. アレルギー疾患関連. 久光製薬株式会社医薬情報担当者教育研修会; 20190530; 会津若松.

小川 洋. ランチョンセミナー2 頭頸部領域 CBCT を使いこなす. 第 81 回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会; 20190627; 名古屋.

会津医療センター 臨床医学部門

論 文

〔原 著〕

Igarashi R, Irisawa A, Bhutani MS, Cazacu IM, Shibukawa G, Sato A, Yamabe A, Maki T, Yoshida Y, Yamamoto S, Ikeda T, Hojo H. The Feasibility and Histological Diagnostic Accuracy of Novel Menghini Needle (EUS Sonopsy CY™) for Endoscopic Ultrasound-Guided Fine-Needle Aspiration Biopsy of Solid Pancreatic Masses: A Prospective Crossover Study Comparing Standard Biopsy Needles. Gastroenterology Research and Practice. 201910; 2019 eCollection:5810653.

Higuchi M, Watanabe M, Endo K, Oshibe I, Soeta N, Saito T, Hojo H, Suzuki H. Wine cup stoma anastomosis after extended sleeve lobectomy for central-type squamous cell lung cancer. Journal of Cardiothoracic Surgery. 201902; 14(1):36.

研究発表等

〔研究発表〕

齋藤拓朗, 大井川百合, 橋本重厚, 歌野健一, 歌野有香, 目黒昭夫. 電子カルテと画像検査確認チェックリストを用いた診断報告書の見落とし防止の取り組みと効果. 第 14 回医療の質・安全学会学術集会; 20191129-30; 京都. 医療の質・安全学会誌. 14(抄録):450.

Ⅱ 受賞學術賞一覧

常任顧問

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	The International Society for the Study of the Lumbar Spine	ISSLS Wiltse Lifetime Achievement Award		Kikuchi S
2019	厚生労働省	社会保険診療報酬支払基金関係功績者厚生労働大臣表彰		菊地臣一
2019	第34回日本整形外科学会基礎学術集会	感謝状	特別講演4「腰痛の危機 我が国の整形外科は乗り切れるか」	菊地臣一

解剖・組織学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本解剖学会	平成30年度日本解剖学会 奨励賞	メンブレントラフィックの機能と形態	植村武文

システム神経科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	一般社団法人福島県臨床検査技師会	学術奨励賞		遠藤由美子

病態制御薬理医学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本麻酔科学会第66回学術集会	最優秀演題賞 (救急・ICU) 日本麻酔科学会第66回学術集会	Toll like receptor 4 signal 特異的阻害剤, TAK-242 はマウスにおいて敗血症誘発性骨格筋萎縮を改善する	大野雄康, 前島裕子, 堀田彰一郎, 下村健寿, 井上茂亮, 小谷穰治

公衆衛生学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	一般社団法人日本疫学会	日本疫学会 功労賞	第28回日本疫学会学術総会会長 功労賞	安村誠司
2019	公益社団法人日本理学療法士協会東北ブロック協議会	第37回東北理学療法学術大会 学会賞 (優秀賞・新人賞)	福島県内の復興公営住宅に居住する高齢者を対象とした運動教室型介入プログラムが精神的健康度に与える効果ークラスターランダム化比較試験ー	森山信彰, 小俣純一, 佐藤竜太, 岡崎可奈子, 安村誠司

疫学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本公衆衛生学会	第78回日本公衆衛生学会総会 ポスター賞	東日本大震災後の骨折の頻度に関連する危険因子についての検討：福島県県民健康調査	林 史和, 大平哲也, 中野裕紀, 岡崎可奈子, 針金まゆみ, 安村誠司, 前田正治, 高橋敦史, 矢部博興, 鈴木友里子, 神谷研二

放射線物理化学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	公益社団法人大気環境学会	大気環境学会論文賞（ノート・速報部門）	デニューダ・緩和渦集積法を用いたフラックス観測による東京郊外の森林におけるPM _{2.5} 硝酸塩および硝酸ガスの沈着速度	坂本泰一，中原聡仁，高橋章，反町篤行，堅田元喜，松田和秀

循環器内科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	Circulation Journal	Circulation Journal Best Reviewers Award for 2018		義久精臣
2019	ISHR2019	Travel Award	Sympathetic nervous remodeling in the intermediolateral nucleus after myocardial infarction via BDNF-TrkB axis	及川雅啓
2019	ISHR2019	Travel Award	Cardioprotective role of FKBP8 during pressure overload by preventing accumulation of misfolded proteins and ER-associated apoptosis	三阪智史
2019	ISHR2019	Travel Award	Breath and skin acetone in cardiovascular diseases	横川哲朗
2019	The 3rd JCS Council Forum on Basic CardioVascular Research	Poster Award	Crucial role of NLRP3 inflammasome in a mouse model of Kawasaki disease	安齋文弥

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	第168回日本循環器学会 東北地方会	Young Investigator's Award (YIA) 症例発表 部門 優秀賞	2D 左室心筋長軸ストレイン解析にて起源同定が 可能であった後乳頭筋起源心室性期外収縮の一例	谷 哲矢
2019	第168回日本循環器学会 東北地方会	Young Investigator's Award (YIA) 研究発表 部門 最優秀賞	心臓カテーテル検査による放射線被ばくのDNA 損 傷とサイトカイン発現に及ぼす影響－患者と術者 における検討	八重樫大輝
2019	第169回日本循環器学会 東北地方会	Young Investigator's Award (YIA) 研究発表 部門 最優秀賞	心不全患者における脳活動性と不安・抑うつ・認 知機能に関する検討	和田健斗
2019	福島県立医科大学	2018年度医学部優秀教員表彰	BSL部門	循環器内科
2019	第29回日本心臓核医学会 総会・学術大会	Beautiful Image Competition大賞	¹⁸ F-FDG PET/MRIを用いて僧帽弁置換術後の亜急性 収縮性心膜炎を診断し得た1例	喜古崇豊
2019	日本循環器学会	第7回Travel Award Women Cardiologist (JCS/TAWC)	Visit-to-visit blood pressure variability predicts recurrence of atrial fibrillation in patients with hypertension	脇岡奈保子

血液内科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	福島県立医科大学	平成30年度 福島県立医科大学附属病院 治験 実施者表彰		大河原浩
2019	第127回日本血液学会東北地方会	最優秀演題賞	末梢血幹細胞移植により寛解を得られている骨髄 異形成症候群とベーチェット病の一例	高橋裕志

消化器内科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	福島医学会	平成30年度福島医学会賞	自己免疫性肝炎から脂肪肝そして福島	高橋敦史
2019	福島医学会	平成30年度福島医学会学術奨励賞	口腔・腸内細菌叢と非侵襲的診断法を用いた慢性 肝疾患の病態解析	阿部和道
2019	日本公衆衛生学会	第78回日本公衆衛生学会総会 ポスター賞	東日本大震災後の骨折の頻度に関連する危険因子 についての検討：福島県県民健康調査	林 史和，大平哲也，中野 裕紀，岡崎可奈子，針金ま ゆみ，安村誠司，前田正 治，高橋敦史，矢部博興， 鈴木友里子，神谷研二

リウマチ膠原病内科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本リウマチ学会	第63回日本リウマチ学会総会・学術集会 JCR 2019 ICW Excellent Abstract Award	Autoinflammation and autoimmunity in Adult-onset Still's disease (AOSD): the relationship between HLA-Class II and MEFV genes in AOSD	藤田雄也, 古川 宏, 天目純平, 古谷牧子, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 小林浩子, 鈴木英二, 渡辺浩志, 古賀智裕, 清水俊匡, 植木幸孝, 江口勝美, 土屋尚之, 川上 純, 右田清志
2019	第29回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会	第29回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会 若手リウマチ医奨励賞	SLEの疾患活動性・臓器障害を反映するbiomarkerの探索	松岡直紀, 天目純平, 藤田雄也, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志
2019	日本内科学会	初期研修医指導者賞	意識障害と膀胱直腸障害を呈したIgG4関連疾患の1例	浅野智之

消化管外科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本外科学会	日本外科学会 第3回（平成30年）Best Reviewer Award		河野浩二
2019	日本癌治療学会	日本癌治療学会 ESMO Asia 2019 Travel Grant		遠藤英成
2019	日本癌治療学会	第57回日本癌治療学会学術集会 最優秀演題賞	ARID1A変異胃癌に対する標的治療法の探索と開発	齋藤元伸
2019	福島県医師会	令和元年度福島県医師会 医学奨励賞	miRNA-148a-3p Regulates Immunosuppression in DNA Mismatch Repair-Deficient Colorectal Cancer by Targeting PD-L1	芦澤 舞
2019	日本消化器癌発生学会	第30回日本消化器癌発生学会総会 研究奨励賞	胃癌発生に関与するCDX2とIL-6/STAT3シグナルの検討	山田玲央
2019	日本バイオセラピー学会	第32回日本バイオセラピー学会 学会奨励賞	腫瘍微小環境に着目したMSI-H大腸癌予後不良群の同定	遠藤英成

整形外科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	第41回日本疼痛学会	優秀論文賞	運動器慢性痛に対する集学的痛み治療：入院型ペインマネジメントプログラム	高橋直人, 笠原 諭, 矢吹省司

眼科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	公益財団法人日本眼科学会	第73回日本臨床眼科学会学術展示優秀賞	ポリリーブ状脈絡膜血管症に対するラニビズマブ硝子体注射併用光線力学的療法の5年成績	新竹広晃

泌尿器科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会	第9回福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会賞	Infrarenal high intra-abdominal testis: fusion of T2-weighted and diffusion-weighted magnetic resonance images and pathological findings	星 誠二
2019	福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会	第9回福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会賞	Overriding TKI resistance of renal cell carcinoma by combination therapy with IL-6 receptor blockade	石橋 啓
2019	日本泌尿器科学会総会	第107回日本泌尿器科学会総会賞	内皮型NOS uncouplingに対する下部尿路生体反応の解明とそれを標的とした下部尿路機能障害の新規予防薬開発にむけた基礎的研究	赤井畑秀則, 小名木彰史, 秦 淳也, 細井隆之

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本泌尿器科学会東北地方会	第259回日本泌尿器科学会東北地方会優秀演題賞	多発骨転移を契機に発見された後天性嚢胞随伴小径腎細胞癌の一例	本田瑠璃子, 小川総一郎, 小名木彰史, 丹治 亮, 松岡香菜子, 星 誠二, 胡口智之, 秦 淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬
2019	日本アンドロロジー学会	日本アンドロロジー学会第38回学術大会学会賞	46, XY先天性副腎リポイド過形成症: 精巣内テストステロン合成に着目した病態の考察	松岡香菜子, 佐藤雄一, 小名木彰史, 丹治 亮, 本田瑠璃子, 星 誠二, 胡口智之, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 羽賀宣博, 石橋 啓, 小島祥敬
2019	日本小児泌尿器科学会	第28回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会学会賞	急性弛緩性脊髄炎を起因とし排尿筋低活動から排尿筋過活動への移行を呈した下部尿路機能障害の1例	本田 (滝浪) 瑠璃子, 佐藤雄一, 松岡香菜子, 星 誠二, 胡口智之, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬
2019	日本排尿機能学会	第26回日本排尿機能学会河邊賞	Benign prostatic enlargement affects vesical adaptation response to diuresis in men with overactive bladder	Matsuoka Kanako, Akaihata Hidenori, Imai Hitomi, Matsuoka Yuta, Yoshida Yuki, Meguro Satoru, Onagi Akifumi, Tanji Ryo, Honda Ruriko, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Ogawa Soichiro, Kataoka Masao, Haga Nobuhiro, Kojima Yoshiyuki

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本泌尿器科学会東北地方会	第260回日本泌尿器科学会東北地方会優秀演題賞	常染色体優性遺伝多発腎嚢胞と結節性硬化症を合併した両側性腎癌の一例	目黒 了，片岡政雄，今井仁美，松岡優太，吉田祐樹，本田瑠璃子，松岡香菜子，星 誠二，秦 淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，小川総一郎，羽賀宣博，小島祥敬

神経精神医学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本薬物脳波学会	2019年度日本薬物脳波学会奨励賞	統合失調症者の聴覚自動識別機能に対するオキシトシン点鼻薬の効果	落合晴香，菅野和子，星野大，和田知紘，刑部有祐，堀越 翔，志賀哲也，三浦至，矢部博興
2019	日本公衆衛生学会	第78回日本公衆衛生学会総会 ポスター賞	東日本大震災後の骨折の頻度に関連する危険因子についての検討：福島県県民健康調査	林 史和，大平哲也，中野裕紀，岡崎可奈子，針金まゆみ，安村誠司，前田正治，高橋敦史，矢部博興，鈴木友里子，神谷研二
2019	第49回日本臨床神経生理学学会	第49回日本臨床神経生理学学会 優秀演題賞	統合失調症患者における言語音連続刺激の欠落部位がミスマッチ陰性電位に与える影響	森 湧平，星野 大，志賀哲也，菅野和子，野崎途也，刑部有祐，和田知紘，高橋雄一，板垣俊太郎，松岡貴志，矢部博興

臨床検査医学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本臨床検査医学会東北支部	石戸谷豊賞		大花 昇

災害こころの医学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	福島県精神医学会	第30回福島県精神医学会学術大会 熊代賞最優秀賞（メディカルスタッフ部門）	災害時の女性支援者特有のストレス	瀬藤乃理子
2019	日本公衆衛生学会	第78回日本公衆衛生学会総会 ポスター賞	東日本大震災後の骨折の頻度に関連する危険因子についての検討：福島県県民健康調査	林 史和，大平哲也，中野裕紀，岡崎可奈子，針金まゆみ，安村誠司，前田正治，高橋敦史，矢部博興，鈴木友里子，神谷研二

自然科学講座 先端化学分野

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	福島県立医科大学	平成30年度福島県立医科大学優秀教員表彰		谷口暢一

肺高血圧先進医療学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	ISHR2019	Travel Award	Breath and skin acetone in cardiovascular diseases	横川哲朗

疼痛医学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	第41回日本疼痛学会	優秀論文賞	運動器慢性痛に対する集学的痛み治療：入院型ペインマネジメントプログラム	高橋直人，笠原 諭，矢吹省司

心臓病先進治療学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	Circulation Journal	Circulation Journal Best Reviewers Award for 2018		義久精臣
2019	ISHR2019	Travel Award	Cardioprotective role of FKBP8 during pressure overload by preventing accumulation of misfolded proteins and ER-associated apoptosis	三阪智史

低侵襲腫瘍制御学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	認定特定非営利活動法人 日本がん登録協議会第28 回学術集会	令和元年度最優秀ポスター賞	福島県におけるステージIV期大腸癌の実態調査－ 院内がん登録と診療録の統合データの利用	河村英恭

看護学部 総合科学部門 保健情報学・疫学分野

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	ベトナム・アンザン省人 民委員会	社会経済発展への貢献		JICA草の根事業

地域・在宅看護学部門

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	第7回日本公衆衛生看護 学会学術集会	第7回日本公衆衛生看護学会研究報告優秀演題 賞	東日本大震災・福島原発事故後の福島県内保健師 の心身の健康状態（震災6年後の追跡調査から）	古戸順子，遠藤智子，前田 香，結城美智子

ふたば救急総合医療支援センター

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本転倒予防学会	優秀ポスター賞	福島第一原子力発電所事故後に福島県双葉郡に設 立された病院における転倒・転落対策	風間咲美
2019	自治医科大学医学部同窓 会「医燈会」	第3回医燈会地域医療奨励賞（研究部門）		箱崎道之

小児外科

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本小児外科学会	2019年日本小児外科学会総会ビデオセッション 優秀演題作品賞	尾状葉の実質内を走行する門脈大循環シャントに 対する絞扼術を施行した1例	田中秀明, 後藤悠大, 清水 裕史, 見城 明, 桃井伸緒

検査部

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本臨床検査医学会	第50回日本臨床検査医学会東北支部総会 学術 奨励賞	左室駆出率の保たれた心不全におけるglobal longitudinal strainを用いた左室仕事量定量化 の検討	大沼秀知, 大森 拓, 櫻井 裕子, 杉浦早希, 別所由 梨, 杉浦英美喜, 藤本直 紀, 杉本匡史, 土肥 薫, 伊藤正明, 松田美津子, 山 寺幸雄, 伊藤祐子, 志村浩 己
2019	一般社団法人 福島県臨 床検査技師会	福島医学検査学会学術賞	当院の血液検査項目におけるJCCLS共用基準範囲 導入に向けての検討	遠藤武尊, 菅野喜久子, 木 村栄美, 嶋田有里, 渡部聖 子, 伊藤真弘, 渡辺洋子, 山寺幸雄, 伊藤祐子, 志村 浩己

臨床研究教育推進部

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本排尿機能学会	第26回日本排尿機能学会学会賞 発表部門：臨床研究	ADLの自立した健康高齢者における過活動膀胱罹患指標としての身体的フレイル測定の意義：地域住民の健康医療データベースを用いた分析的横断研究	大前憲史，竹島太郎，長沼透，高橋 世，大西剛史，伊藤文人，吉岡貴史，福原俊一，栗田宜明，赤井畑秀則，小島祥敬，大槻和之
2019	日本臨床疫学学会	第3回年次学術大会 専門家優秀賞	尿中バイオマーカーc-megalinは、糖尿病性腎臓病における腎障害を反映するか？：実臨床糖尿病コホートにおけるtwo part model解析	栗田宜明，木下真紀，岡村真太郎，藤村真輝，黒澤健太郎，櫻町 惟，高野季代子，北谷真子，辻井 悟，林野泰明

総合科学教育研究センター 自然科学系領域

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	福島県立医科大学	平成30年度福島県立医科大学優秀教員表彰		谷口暢一
2019	ベトナム・アンザン省人民委員会	社会経済発展への貢献		JICA草の根事業
2019	公益社団法人大気環境学会	大気環境学会論文賞（ノート・速報部門）	デニューダ・緩和渦集積法を用いたフラックス観測による東京郊外の森林におけるPM _{2.5} 硝酸塩および硝酸ガスの沈着速度	坂本泰一，中原聡仁，高橋章，反町篤行，堅田元喜，松田和秀

医療人育成・支援センター

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	第116回東北整形災害外科学会	第116回東北整形災害外科学会 若手英語セッション第2位	Comparison of various Evaluation Methods of Cervical Intervertebral Disc Degeneration by Magnetic Resonance Imageing	Otaki H, Otani K, Sekiguchi M, Watanabe T, Konno S
2019	第51回日本医学教育学会大会	学生ポスターセッション優秀賞	大学入学前の人体と健康教育に関する分析および教科書間の比較	神田正樹, 木下瑠菜, 楯和馬, 小野将寛, 古矢野々香, 垣野内景, 大谷晃司, 挟間章博

放射線医学県民健康管理センター

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	日本公衆衛生学会	第78回日本公衆衛生学会総会 ポスター賞	東日本大震災後の骨折の頻度に関連する危険因子についての検討：福島県県民健康調査	林 史和, 大平哲也, 中野裕紀, 岡崎可奈子, 針金まゆみ, 安村誠司, 前田正治, 高橋敦史, 矢部博興, 鈴木友里子, 神谷研二

新医療系学部設置準備室

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	第75回日本放射線技術学会総会学術大会	CyPos賞銀賞	ディープラーニングによる単純CTにおける急性期脳梗塞早期虚血サインの自動検出：神経放射線診断医との比較	高橋規之，他
2019	第75回日本放射線技術学会総会学術大会	CyPos賞銅賞		高橋規之，他
2019	第41回日本疼痛学会	優秀論文賞	運動器慢性痛に対する集学的痛み治療：入院型ペインマネジメントプログラム	高橋直人，笠原 諭，矢吹省司

会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2019	第74回日本大腸肛門病学会	第74回日本大腸肛門病学会 研修医セッション最優秀賞	ex vivo試験における大腸ポリープの発見能：研修医はAIに勝てるのか？	佐藤雄翔，根本大樹，愛澤正人，歌野健一，五十畑則之，遠藤俊吾，富樫一智

Ⅲ 受託・共同研究・補助等実績一覧

平成 31 年・令和元年度受託・共同研究・補助等実績一覧

理事長 635

医学部

神経解剖・発生学講座..... 635

解剖・組織学講座..... 636

細胞統合生理学講座..... 637

システム神経科学講座..... 638

生化学講座..... 638

免疫学講座..... 639

病態制御薬理医学講座..... 640

微生物学講座..... 641

基礎病理学講座..... 642

衛生学・予防医学講座..... 643

公衆衛生学講座..... 644

放射線生命科学講座..... 647

疫学講座..... 648

放射線物理化学講座..... 652

健康リスクコミュニケーション学講座..... 652

循環器内科学講座..... 654

血液内科学講座..... 657

消化器内科学講座..... 658

リウマチ膠原病内科学講座..... 659

腎臓高血圧内科学講座..... 660

糖尿病内分泌代謝内科学講座..... 661

脳神経内科学講座..... 661

呼吸器内科学講座..... 662

消化管外科学講座..... 665

肝胆膵・移植外科学講座..... 667

呼吸器外科学講座..... 668

乳腺外科学講座..... 671

心臓血管外科学講座..... 672

外科研修支援担当..... 672

脳神経外科学講座..... 673

整形外科科学講座..... 673

形成外科学講座..... 675

産科婦人科学講座..... 675

小児科学講座..... 676

眼科学講座..... 678

泌尿器科学講座..... 678

耳鼻咽喉科学講座..... 681

神経精神医学講座..... 682

放射線医学講座..... 683

麻酔科学講座..... 684

救急医療学講座..... 685

病理病態診断学講座..... 685

臨床検査医学講座..... 686

感染制御医学講座..... 686

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部..... 687

地域・家庭医療学講座..... 688

放射線健康管理学講座..... 688

甲状腺内分泌学講座..... 690

災害こころの医学講座..... 691

放射線腫瘍学講座..... 692

腫瘍内科学講座..... 693

放射線災害医療学講座..... 693

リハビリテーション医学講座／

リハビリテーションセンター..... 694

自然科学講座 先端化学分野..... 694

自然科学講座 分子細胞生物学分野..... 694

自然科学講座 数理物質科学分野..... 695

生体情報伝達研究所 生体物質研究部門..... 695

生体情報伝達研究所 細胞科学研究部門..... 696

生体情報伝達研究所 生体機能研究部門..... 696

放射性同位元素研究施設..... 699

実験動物研究施設.....	699
災害公衆衛生看護学講座.....	700
国際被ばく公衆衛生看護学講座.....	700
地域産婦人科支援講座.....	700
白河総合診療アカデミー.....	700
肺高血圧先進医療学講座.....	701
生活習慣病・慢性腎臓病(CKD)病態治療学講座.....	701
疼痛医学講座.....	701
周産期・小児地域医療支援講座.....	702
生体機能イメージング講座.....	702
多発性硬化症治療学講座.....	702
心臓病先進治療学講座.....	702
先端癌免疫治療研究講座.....	703
神経再生医療学講座.....	704
低侵襲腫瘍制御学講座.....	704
プログレッシブ DOHaD 研究講座.....	704
災害医療支援講座.....	705
肥満・体内炎症解析研究講座.....	705

看護学部

総合科学部門 言語学分野.....	705
総合科学部門 行動科学分野（心理学）.....	706
総合科学部門 行動科学分野（社会学）.....	706
総合科学部門 保健情報学・疫学分野.....	706
生命科学部門.....	707
基礎看護学部.....	708
療養支援看護学部.....	709
家族看護学部.....	710
地域・在宅看護学部.....	710
母性看護学・助産学部.....	711

附属病院, 他

附属病院長.....	711

医療情報部.....	713
ふたば救急総合医療支援センター.....	713
小児腫瘍内科.....	713
歯科口腔外科.....	714
集中治療部.....	715
総合周産期母子医療センター.....	715
臨床腫瘍センター.....	715
痛み緩和医療センター.....	715
脳疾患センター.....	716
臨床研究教育推進部.....	717
総合科学教育研究センター 人文社会科学系領域.....	717
総合科学教育研究センター 自然科学系領域.....	718
医療人育成・支援センター.....	720
看護師特定行為研修センター.....	721
医療研究推進センター.....	722
放射線医学県民健康管理センター.....	722
健康増進センター.....	723
先端臨床研究センター.....	724
ふくしま子ども・女性医療支援センター.....	727
臨床研究イノベーションセンター.....	728
新医療系学部設置準備室.....	728
助産師養成課程設置準備室.....	730

会津医療センター

漢方医学講座.....	730
糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座.....	731
感染症・呼吸器内科学講座.....	731
精神医学講座.....	731
小腸・大腸・肛門科学講座.....	732
外科学講座.....	733
整形外科・脊椎外科学講座.....	733
耳鼻咽喉科学講座.....	733
臨床医学部門.....	733

理事長

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	胆管癌におけるバイオマーカーとしてのGalectin-3核内移行メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村龍男	竹之下誠一

神経解剖・発生学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	鳥類の僧帽筋を支配する運動神経の発生機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	八木沼洋行	向笠勝貴，本間俊作，渡邊裕二
平成31・令和元	補助・助成	小脳における新規神経回路の同定とその生理機能の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	橋本光広	
平成31・令和元	補助・助成	頸に前肢が形成されない分子基盤の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	向笠勝貴	

解剖・組織学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	核内構造変化から読み解く新たなクラミジア感染制御機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木倫毅	
平成31・令和元	補助・助成	オートファジーにおける隔離膜伸長過程の多角的な微細構造解析	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	田村直輝	
平成31・令和元	補助・助成	Establishing a framework for EGFR attenuation through structure-guided targeting of GGA2	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	Bokhove M	
平成31・令和元	学内共同研究	癌細胞増殖を制御するクラスリンアダプター依存性分解カスケード	特定研究助成	武田科学振興財団	和栗 聡	和田郁夫, 丸橋 繁, 河野浩二, 大竹 徹, 池添隆之, 小川一英, 鈴木弘行, 橋本優子
平成31・令和元	学内共同研究	細胞増殖因子の定常発現を制御する新機構: クラスリンアダプター依存性分解カスケード	研究助成	藤井節郎記念大阪基礎医学研究奨励会	和栗 聡	植村武文

細胞統合生理学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	膜電位測定技術を用いた凍結卵・加齢卵評価システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三宅将生	
平成31・ 令和元	補助・助成	iPS細胞を利用した杯細胞過形成機構の解明に関する研究	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	吉江 進	
平成31・ 令和元	補助・助成	iPS細胞とたばこ煙を利用した杯細胞過形成機構の解明に関する研究	公益財団法人喫煙科学研究財団 若手研究助成金	公益財団法人喫煙科学研究財団	吉江 進	
平成31・ 令和元	補助・助成	iPS細胞を利用した気道リモデリングに伴う杯細胞過形成機構の解明	公益財団法人武田科学振興財団 医学系研究奨励金	公益財団法人武田科学振興財団	吉江 進	
平成31・ 令和元	補助・助成	脈波伝播速度測定装置およびその方法の開発	日本医療研究開発機構(AMED)「橋渡し研究戦略的推進プログラム」事業 京都大学拠点	京都大学	勝田新一郎	石黒 隆, 義久精臣, 堀越裕子, 和合治幸
平成31・ 令和元	補助・助成	薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発 「オタネニンジン」の生産拡大のための技術開発」	委託プロジェクト研究	農林水産省	三瀨忠道	鈴木雅雄, 鈴木朋子, 佐橋佳郎, 挾間章博, 小林大輔
平成31・ 令和元	国内共同研究	御種人参を主とした医薬農連携による生薬地産地消プログラム		農研機構 東北農業研究センター 福島拠点	三瀨忠道	鈴木雅雄, 鈴木朋子, 佐橋佳郎, 挾間章博, 信濃卓郎, 松波寿弥, 久保堅司, 小林大輔

システム神経科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	個体関係認知の神経基盤とそのトランスカルチャー比較	科学研究費助成事業／新学術領域研究（研究領域提案型）	日本学術振興会	岡本正博	
平成31・令和元	補助・助成	統合失調症モデル動物におけるセロトニン5-HT2A受容体イメージング	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	浄土英一	鈴木喜明
平成31・令和元	補助・助成	社会的環境下での自信に関する神経基盤の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤原寿理	
平成31・令和元	補助・助成	記憶の記銘と想起を司るラット海馬の神経メカニズム	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中園智晶	
平成31・令和元	補助・助成	化粧がもたらす社会的効用 ― その神経基盤を探る	コスメトロジー研究振興財団助成金	公益財団法人コスメトロジー研究振興財団	藤原寿理	

生化学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	非小細胞肺がん細胞の増悪進展におけるRor1-Rifシグナルの機能	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西田 満	
平成31・令和元	補助・助成	β 4インテグリンによる薬剤耐性機構の解明とその克服	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	荻谷慶喜	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	体位性頻脈症候群と髄液漏出症を区別する診断マーカーの探索および迅速測定法の開発	科学研究費助成事業／奨励研究	日本学術振興会	星 京香	
平成31・令和元	国際共同研究	がん細胞浸潤におけるゴルジ体内タンパク質輸送の分子機構	二国間交流事業共同研究／オープンパートナーシップ	Harvard Medical School	西田 満	Victor W Hsu

免疫学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	第二経路の補体因子MASP-3の活性化機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関根英治	町田 豪, 林 学
平成31・令和元	補助・助成	SLEの自己抗体産生における脾臓Marginal zone-B細胞の役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	町田 豪	
平成31・令和元	補助・助成	眼内補体因子および関連蛋白計測による加齢黄斑変性発症機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石龍鉄樹	関根英治, 大口泰治, 小島彰, 菅野幸紀
平成31・令和元	補助・助成	前立腺肥大症における自己免疫応答と微生物感染によるインフラマソーム制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小島祥敬	秦 淳也, 錫谷達夫, 関根英治, 羽賀宣博, 赤井畑秀則, 石橋 啓
平成31・令和元	補助・助成	加齢黄斑変性における補体因子MASP-1/3の役割と、新規補体阻害薬の治療効果	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	大森智子	

病態制御薬理医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	サルコペニア／フレイルにおける脳 KATPチャネルの関与と治療基盤の確立	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	下村健寿	
平成31・ 令和元	補助・助成	オキシトシン分泌能回復による抗肥満 作用の検討と肥満治療応用基盤の確立	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	前島裕子	下村健寿
平成31・ 令和元	補助・助成	オキシトシン受容体の脳神経科学的エ ビデンスに基づく新規アゴニストの探 索	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	日出間志寿	長由扶子
平成31・ 令和元	補助・助成	食事性フラボノイドによる消化管吸収 制御を介した薬物相互作用の臨床的意 義	科学研究費助成事業／若手研 究(B)	日本学術振興会	三坂眞元	
平成31・ 令和元	補助・助成	NF- κ B経路の抑制に着目した敗血症性 筋萎縮の新規薬物治療	科学研究費助成事業／若手研 究	日本学術振興会	大野雄康	
平成31・ 令和元 (平成30-)	補助・助成	分子腫瘍学・構造生物学・理論化学・ 臨床医学の融合による「がんの悪性進 展促進因子HPF4に対するドラッグデザ イン研究」	創薬基盤推進研究事業 革新的 創薬関連の技術開発課題 創薬 ターゲットに対するドラッグ デザイン研究	日本医療研究開 発機構(AMED)	原田 浩	堀田彰一郎
平成31・ 令和元	補助・助成	杜仲葉エキスのニュートリキネティク スおよび薬食相互作用に関する臨床薬 理的検討	第14回研究助成	日本杜仲研究会	三坂眞元	下村健寿

微生物学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	先天性サイトメガロウイルス感染による聴覚障害の予防対策確立に向けた基礎研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	錫谷達夫	小林敬広, 宮崎 希, 石岡賢, 小川 洋, 腰塚哲朗
平成31・ 令和元	補助・助成	サイトメガロウイルスの感染細胞指向性をエピジェネティックに型判別する方法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石岡 賢	生田和史
平成31・ 令和元	補助・助成	前立腺肥大症における自己免疫応答と微生物感染によるインフラマソーム制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小島祥敬	秦 淳也, 錫谷達夫, 関根英治, 羽賀宣博, 赤井畑秀則, 石橋 啓
平成31・ 令和元	補助・助成	味噌由来エクオール産生菌の同定と前立腺肥大症に対するエクオールの作用機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	宮崎 希	
平成31・ 令和元	補助・助成	乳癌に影響する新規要因としてサイトメガロウイルスと免疫やホルモンの相互作用の検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤祐子	
平成31・ 令和元	補助・助成	臍帯血由来造血幹細胞を用いたCMV感染症メカニズム解明のための新規アプローチ	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	小林敬広	
平成31・ 令和元	補助・助成	母子感染によるリスク評価や予防法を含む母子保健体制構築と技術開発研究	成育疾患克服等総合研究事業—BIRTHDAY	日本医療研究開発機構(AMED)	藤井知行	錫谷達夫

基礎病理学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	過剰な細胞間接着シグナルによるがんの悪性形質促進機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	千葉英樹	杉本幸太郎, 柏木維人, 齋藤明
平成31・令和元	補助・助成	異なるクローディン分子種を発現するがん細胞集団の相互作用とその意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	富川直樹	
平成31・令和元	補助・助成	タイト結合分子による腸上皮幹細胞の新規運命決定機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田中瑞子	千葉英樹, 東 智仁
平成31・令和元	補助・助成	カエル初期胚上皮細胞を用いた収縮環と細胞間接着のアクチン細胞骨格制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	東 智仁	
平成31・令和元	補助・助成	卵巣癌におけるクローディン発現の臨床病理学的・生物学的意義	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	小島 学	
平成31・令和元	補助・助成	タイト結合分子オクルディンを標的とした新規C型肝炎阻害薬の作用機序解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	齋藤 明	
平成31・令和元	補助・助成	タイト結合新生に着目したネフローゼ症候群の病態解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	吉岡淳子	
平成31・令和元	補助・助成	新規のシグナル伝達経路による乳癌および婦人科癌の悪性形質制御機構	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	杉本幸太郎	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	糖尿病性腎症における糸球体ポドサイト代謝変化のライブイメージングによる解析	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	菅野雄耶	
平成31・令和元	補助・助成	フォルミン分子による上皮細胞の細胞間接着と収縮環の制御機構	医学系研究助成	公益財団法人武田科学振興財団	東 智仁	
平成31・令和元	補助・助成	新規のエストロゲン受容体活性化機構とがんの細胞制御	研究奨励金	公益財団法人上原記念生命科学財団	杉本幸太郎	

衛生学・予防医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	天災・人災複合による故郷喪失者への心理支援モデル開発：縦断的混合研究法アプローチ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	日高友郎	鈴木祐子
平成31・令和元	補助・助成	地域包括ケアシステムにおける高齢者の終末期を支える看取りケアモデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小野光美	神田秀幸，他
平成31・令和元	補助・助成	転倒転落防止に向けた医療従事者のノンテクニカルスキルに関する教育プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木下美佐子	堀内照子
平成31・令和元	補助・助成	日米共通の基準を用いた、病院の経営危機予測モデルの開発と国際比較	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坪井 聡	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	ウェイトバイアス尺度の日本語版の作成とそれを用いた効果的な減量指導法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤翔太	
平成31・ 令和元	補助・助成	眠りを見守る睡眠負債評価法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	増石有佑	
平成31・ 令和元	補助・助成	福島県の吃音問題の解決に向けたアクションリサーチ	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	森 弥生	
平成31・ 令和元	補助・助成	飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の効果的な介入方法の開発に関する研究	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究	厚生労働省	尾崎米厚	神田秀幸，他
平成31・ 令和元	国内共同研究	放射性廃棄物の中間貯蔵施設整備により故郷を喪失する住民に対する心理支援に向けたニーズ調査研究	三菱財団社会福祉事業・研究助成	公益財団法人三菱財団	日高友郎	鈴木祐子，各務竹康，福島哲仁，黒田真理子

公衆衛生学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	放射線による健康影響に関する情報をもたらす健康不安の実態とその介入方策の評価	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	安村誠司	大類真嗣，中山健夫，渡邊清高，坪倉正治，中山千尋
平成31・ 令和元	補助・助成	複合災害被害者のレジリエンス獲得：多層的多面的指標による解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸 斉	安村誠司，村上道夫，前田正治，藤森敬也，中島聡美，桃井真帆，大類真嗣，竹林 唯，伊藤亜希子

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得：多層的多面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸 斉	安村誠司，前田正治，桃井真帆，瀬藤乃理子，竹林 唯，堀越直子，佐藤秀樹
平成31・令和元	補助・助成	原発事故後の福島の科学的事実に関する「誤解」の実態と人々の価値観との関連の検証	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	中山千尋	
平成31・令和元	補助・助成	災害避難高齢者の身体活動を変える「知覚された環境」とヘルスプロモーションへの応用	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	森山信彰	
平成31・令和元	補助・助成	高齢者における認知機能低下抑制を目指した多面的な「認知の予備力」測定尺度の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岩佐 一	吉田祐子
平成31・令和元	補助・助成	男性の育児参加の推進に関する研究～父親の育児参加を阻む心理的障壁の解明と支援策の構築	2019年度前川ヒトづくり財団研究助成	公益財団法人前川ヒトづくり財団	岩佐 一	石井佳世子，吉田祐子
平成31・令和元	国内共同研究	放射線災害に関するメディア情報による福島県民の健康影響不安の実態と放射線情報リテラシーの向上	令和元年度放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	安村誠司	
平成31・令和元	国内共同研究	広島県、長崎県とその他の道府県のがん罹患および死亡率のトレンド解析	令和元年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	松田智大	安村誠司

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究	放射線被爆と背景因子が血液凝固に与える影響についての検討	令和元年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	今田恒夫	安村誠司
平成31・令和元	国内共同研究	福島県内の妊娠の動向資料を利用した東日本大震災が妊娠・出産に及ぼした影響に関する検討	令和元年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	祖父江友孝	安村誠司
平成31・令和元	国内共同研究	福島原子力発電所事故後の一般住民におけるメディアの利用と放射線不安	令和元年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	深澤舞子	安村誠司
平成31・令和元	国内共同研究	福島第一原子力発電所事故後の避難・帰還の有無によるリスク認知の比較研究	令和元年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	西川佳孝	安村誠司
平成31・令和元	出資金による受託研究	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）	子どもの健康と環境に関する全国調査 福島ユニットセンター	環境省	橋本浩一	安村誠司
平成31・令和元	その他	被災地域における生涯を通じた健康支援システムの構築とその効果の検討について	放射線の健康影響に係る研究調査事業	環境省	安村誠司	

放射線生命科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	α線核種によるがん治療の線量評価に基づく正常細胞障害の解明に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	織内 昇	阿部 悠, 趙 松吉, 西嶋剣一, 右近直之, 伊藤 浩, 長谷川有史
平成31・令和元	補助・助成	デザインされた誘発Dicによる微小核／クロモトリプシス形成過程の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	津山尚宏	阿部 悠, 柳 亜希, 坂井 晃
平成31・令和元	補助・助成	特定部位へのDSB誘導系を用いた染色体転座優先機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	阿部 悠	
平成31・令和元	補助・助成	正常Bリンパ球由来iPS細胞を用いた多発性骨髄腫の発生机序の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	柳 亜希	
平成31・令和元	補助・助成	正常Bリンパ球由来iPS細胞を用いた多発性骨髄腫の腫瘍起源異常Bリンパ球の解明	日本血液学会研究助成事業	日本血液学会	坂井 晃	
平成31・令和元	国内共同研究	正常Bリンパ球由来iPS細胞を用いた多発性骨髄腫の腫瘍起源異常Bリンパ球の解明	令和元年度トライアングルプロジェクト研究費	放射線災害・医科学研究拠点	坂井 晃	
平成31・令和元	国内共同研究	染色体異常頻度に影響を与える分子の解明	令和元年度トライアングルプロジェクト研究費	放射線災害・医科学研究拠点	阿部 悠	
平成31・令和元	国内共同研究	染色体異常誘発過程への低線量放射線影響の解析	令和元年度トライアングルプロジェクト研究費	放射線災害・医科学研究拠点	津山尚宏	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究	福島県における小児甲状腺がん発症者の末梢血リンパ球を用いた転座型染色体解析による生物学的線量評価	令和元年度トライアングルプロジェクト研究費	放射線災害・医科学研究拠点	坂井 晃	
平成31・令和元	学内共同研究	福島県における小児甲状腺がん発症者の末梢血リンパ球を用いた転座型染色体解析による生物学的線量評価	令和元年度戦略的学内研究推進事業	福島県立医科大学	坂井 晃	鈴木慎一, 細矢光亮, 石川徹夫, 大平哲也, 津山尚宏, 阿部悠, 柳 亜希

疫学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	脳卒中発症に及ぼす身体心理社会的因子の寄与率の時代変遷についての疫学研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大平哲也	木山昌彦, 山岸良匡, 岡田武夫, 今野弘規
平成31・令和元	補助・助成	日米共通の基準を用いた、病院の経営危機予測モデルの開発と国際比較	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坪井 聡	
平成31・令和元	補助・助成	東日本大震災後の避難生活によるフレイル発生に影響する要因の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡崎可奈子	大平哲也, 林 史和
平成31・令和元	補助・助成	福島県の脳卒中医療における地域格差と予後に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐久間潤	大平哲也, 中野裕紀, 弓屋結, 小島隆生
平成31・令和元	補助・助成	悪性中皮腫リスクバイオマーカーとして がん抑制因子BAP1活性検査の実用化研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊藤達男	長岡憲次郎, 江口依里, 荻野景規, 大内田守

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	心理的健康と腸内細菌叢の相互連関についての疫学研究	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	大平哲也	木山昌彦, 今野弘規, 山岸良匡
平成31・令和元	補助・助成	笑いプログラムがフレイル対策・予防に及ぼす効果についての前向きコホート・介入研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	舟久保徳美	
平成31・令和元	補助・助成	脳卒中発症リスク要因としての長期避難生活が及ぼす影響に関する疫学研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中野裕紀	
平成31・令和元	補助・助成	中国医学の観点を取り入れた食事調査法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	長尾匡則	
平成31・令和元	補助・助成	大規模災害後のポジティブな心理的因子と生活習慣病との関連に関する疫学及び介入研究	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	江口依里	
平成31・令和元	補助・助成	医療生協協同組合が運営する一病院が経営危機から立ち直ることができた要因の同定と、将来の経営安定化に必要な課題の検討	2019年度生協総研賞・第17回助成事業	生協総合研究所	坪井 聡	
平成31・令和元	国内共同研究	健康行動に影響する身体・心理・社会的健康リスク要因変化の評価研究	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	田淵貴大	大平哲也
平成31・令和元	国内共同研究	東日本大震災後4年間の肥満の推移と生活習慣との関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	上村真由	大平哲也

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究	震災後の生活習慣が健診所見とその後の変化に及ぼす影響：小児～青年期における検討	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	山岸良匡	大平哲也
平成31・令和元	国内共同研究	震災遺族における放射線災害の心身の健康状態への影響に関する研究	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	田中英三郎	大平哲也
平成31・令和元	国内共同研究	放射線災害後の生活習慣や心理社会的因子とその後の循環器疾患発症との関連	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	佐能俊紀	大平哲也，江口依里
平成31・令和元	国内共同研究	福島県内の避難区域住民におけるトラウマ反応及び精神的不調と循環器疾患との関連	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	手塚一秀	大平哲也
平成31・令和元	国内共同研究	体格とPTSD症状およびうつ症状との関連：県民健康調査	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	永井雅人	大平哲也
平成31・令和元	国内共同研究	放射線災害後の笑い等のポジティブな因子と生活習慣病発症との関連	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	江口依里	大平哲也
平成31・令和元	国内共同研究	出産経験と震災後のストレス耐性との関連	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	安川純代	大平哲也，江口依里
平成31・令和元	国内共同研究	放射線災害における歯科領域への健康影響および将来の生活習慣病との関連	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	坪井綾香	大平哲也，江口依里

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究	放射線災害が福島県小児の肥満に及ぼす影響についての要因分析	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	菖蒲川由郷	大平哲也
平成31・令和元	国内共同研究	小学児童における睡眠状態とメンタルヘルスとの関連	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	谷川 武	大平哲也
平成31・令和元	国内共同研究	震災前後における生活・経済状況の変化と循環器疾患との関連：福島県県民健康調査	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	野田 愛	大平哲也
平成31・令和元	国内共同研究	大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術および人工血管置換術が心血機能に及ぼす影響に関する研究		フクダ電子南東北販売（株）	横山 斉	高野真澄
平成31・令和元	学内共同研究	社会心理的ストレスと肥満・糖・脂質代謝異常との相互関連	戦略的学内研究推進事業	福島県立医科大学	大平哲也	島袋充生，伊藤 浩
平成31・令和元	出資金による受託研究	委託研究 福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究	放射線の健康影響に係る研究調査事業	環境省	祖父江友孝	今野弘規，大平哲也，平原史樹，松田智大，瀧本哲也，高橋秀人

放射線物理化学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	降水によるエアロゾル発現現象：大気－森林相互作用の新展開	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	五十嵐康人	反町篤行，他8名
平成31・令和元	補助・助成	福島第一原発事故で放出された放射性セシウムの大気再飛散と大気植生間の循環の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北 和之	反町篤行，他3名
平成31・令和元	補助・助成	大気ラドンは地震をとらえているのか？：大気と地中の同時測定による検証	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	大森康孝	
平成31・令和元	国際共同研究	チェルノブイリ災害後の環境管理支援技術の確立	地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)	科学技術振興機構(JST)	難波謙二	反町篤行，他19名
平成31・令和元	国内共同研究	ラドン・トロン拡散型測定器に使用される子孫核種除去フィルタのトロン浸透率	2019年度放射性物質環境動態・環境および生物への影響に関する学際共同研究 若手共同研究	弘前大学	大森康孝	

健康リスクコミュニケーション学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究	大規模環境汚染に対する合理性・持続可能性を包括した環境修復フレームワークの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	保高徹生	村上道夫
平成31・令和元	補助・助成	日本版複雑性悲嘆療法(J-CGT)の開発とその有効性に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	中島聡美	竹林由武，他

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	ヘルスリテラシースキルの次世代への伝達メカニズムの可視化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤あや	熊谷敦史, 村上道夫, 植田紀美子
平成31・令和元	補助・助成	強迫症に対する予後改善パッケージプログラムの開発と効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小林由季	竹林由武, 他
平成31・令和元	補助・助成	複合災害被害者のレジリエンス獲得：多層的多面的指標による解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸 斉	安村誠司, 村上道夫, 前田正治, 藤森敬也, 中島聡美, 桃井真帆, 大類真嗣, 竹林 唯, 伊藤亜希子
平成31・令和元	補助・助成	原発事故による複合リスクの評価と諸対策の費用効果分析	科学研究費助成事業／若手研究(A)	日本学術振興会	村上道夫	
平成31・令和元	補助・助成	ウェルビーイング療法による生活機能回復：残遺症状を呈する感情障害患者への臨床試験	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	竹林由武	
平成31・令和元	補助・助成	小規模な臨床試験に適用可能な患者報告式アウトカムの反応シフトの検出手法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	竹林由武	
平成31・令和元	補助・助成	幸福余命指標を用いた帰還と被ばくのトレードオフ評価	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	村上道夫	竹林由武
平成31・令和元	補助・助成	地域文化摩擦発生状況における協働的まちづくり：集団相互依存観によるバッファー効果	科学研究費助成事業／特別研究員奨励費	日本学術振興会	特別研究員 小林智之	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	日本学術振興会	後藤あや	岡部聡子，郡山千早，村上道夫，弓屋 結
平成31・ 令和元	補助・助成	総合的自殺対策に資する公的ミクロデータの統合的探索的政策形成支援モデルの開発	革新的自殺研究推進プログラム公募研究課題／行政施策の企画立案及び効率的な推進のための研究	自殺総合対策推進センター	久保田貴文	竹林由武，岡 檀，岡本 基
平成31・ 令和元	国内共同研究	リスクコミュニケーション活動の効果評価指標の体系化と効果検証の実践	環境省放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）	環境省	村上道夫	
平成31・ 令和元	国内共同研究	食品に含まれる放射性物質への態度と行動に関する研究	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	竹田宜人，村上道夫	

循環器内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	クローン性造血に着目した心不全に対する新しい治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	竹石恭知	
平成31・ 令和元	補助・助成	肺高血圧症と脂質代謝異常の接点-治療標的・バイオマーカーとしてのMT1-MMP	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	杉本浩一	
平成31・ 令和元	補助・助成	放射線治療にともなう心血管疾患の分子病態の解明と予知-DNA損傷の視点から	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石田隆史	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	心不全患者における新しい体液量評価法を用いた診療体制の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤崇匡	
平成31・ 令和元	補助・助成	バイオマーカーと形態診断モデル ティーによる肺高血圧症の診断と治療 効果判定法の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中里和彦	
平成31・ 令和元	補助・助成	¹³ N-ammonia PET/MRIによるTAVI前後での 心筋血流評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	喜古崇豊	
平成31・ 令和元	補助・助成	髄外造血に注目したJAK2 V617F変異に 伴う肺高血圧症のメカニズムの解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	君島勇輔	
平成31・ 令和元	補助・助成	免疫チェックポイント阻害剤による心 不全発症機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	清水竹史	
平成31・ 令和元	補助・助成	DNA損傷と炎症から見た心血管画像診 断・インターベンションによる放射線 被曝の影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	脇岡奈保子	
平成31・ 令和元	補助・助成	選択的小胞体分解（ERファジー）に着 目した心不全における細胞内品質管理 の意義	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	三阪智史	
平成31・ 令和元	補助・助成	Calreticulin(CALR)変異による骨髄増 殖性疾患に合併した肺高血圧症の分子 メカニズム解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	横川哲朗	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	特発性心筋症に関する調査研究	厚生労働省難治性疾患克服研究事業 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患政策研究	厚生労働省	竹石恭知	
平成31・令和元	補助・助成	拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究	難治性疾患実用化研究事業	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)	竹石恭知	
平成31・令和元	補助・助成	緊急被ばくに対する再生医療体制の確立	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医科学研究拠点 トライアングルプロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医科学研究拠点	石田隆史, 竹石恭知	
平成31・令和元	補助・助成	医療放射線被ばくの人体影響評価	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医科学研究拠点 トライアングルプロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医科学研究拠点	竹石恭知, 石田隆史	
平成31・令和元	補助・助成	左室収縮の保持された心不全におけるフレイル対策および腹腔臓器機能に関する検討	公立大学法人福島県立医科大学 令和元年度研究支援事業 (育成研究)	公立大学法人福島県立医科大学	義久精臣	
平成31・令和元	補助・助成	器質的心疾患に伴う心室頻拍アブレーションにおける焼灼巣評価の新たな指標の検討	公立大学法人福島県立医科大学 令和元年度研究支援事業 (育成研究)	公立大学法人福島県立医科大学	松本善幸	
平成31・令和元	補助・助成	腹部血管超音波検査による心不全患者の臓器うつ血／低灌流の非侵襲的計測法の開発及びその予後予測能の検討	公立大学法人福島県立医科大学 令和元年度研究支援事業 (育成研究)	公立大学法人福島県立医科大学	一條靖洋	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	肺高血圧症の分子機序の解明と新規治療戦略	平成29年度 一般財団法人 藤井節郎記念 大阪基礎医学 研究奨励会 研究助成	一般財団法人 藤井節郎記念 大阪基礎医学研 究奨励会	竹石恭知	

血液内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	TM変異体による新規血管内皮保護薬の 開発	科学研究費助成事業／基盤研 究(B)	日本学術振興会	池添隆之	
平成31・ 令和元	補助・助成	骨髄異形成症候群における無効造血環 境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	色摩弥生	橋本優子，池添隆之
平成31・ 令和元	補助・助成	トロンボモジュリン由来ペプチドによ る特発性肺線維症の新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	王 新涛	池添隆之
平成31・ 令和元	補助・助成	ヒストンを標的とする移植後合併症の 早期診断マーカーと治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	原田佳代	池添隆之
平成31・ 令和元	補助・助成	造血幹細胞移植後の免疫システムにお けるGas6の役割	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	大河原浩	小川一英，池添隆之，池田和彦
平成31・ 令和元	補助・助成	同種移植関連微小血管障害症の病態解 明：Gas6-TAMシグナルの意義	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	小川一英	大河原浩，池添隆之

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍の病態進展におけるドライバー変異とヒストン修飾因子異常の相互的役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	池田和彦	大河原浩, 橋本優子
平成31・令和元	補助・助成	造血管腫瘍治療における敗血症性ARDS/ALIの新たな治療戦略とバイオマーカー	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	古川未希	
平成31・令和元	補助・助成	移植関連内皮症候群の病態解明と治療法の開発	一般社団法人日本血液学会 2018年度日本血液学会研究助成事業	一般社団法人日本血液学会	池添隆之	
平成31・令和元	補助・助成	移植関連血栓性微小血管障害症の病態解明：新規治療標的及びバイオマーカーの探索		公益財団法人先進医薬研究振興財団	大河原浩	
平成31・令和元	補助・助成	放射線障害に起因する移植後合併症の予防法の開発	平成30年度広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同放射線災害・医科学研究拠点	池添隆之	

消化器内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	ユビキチン修飾による腸管恒常性維持機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	鬼澤道夫	渡辺 守
平成31・令和元	補助・助成	エクオールは非アルコール性脂肪性肝疾患の発症・治療の鍵となるのか？	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高橋敦史	藤田将史

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	自己免疫性肝炎におけるエクソソームの網羅的解析と病態への関与	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大平弘正	
平成31・令和元	補助・助成	非アルコール性脂肪肝疾患の病態におけるレクチン経路、第二経路の影響の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	林 学	
平成31・令和元	補助・助成	MIC-1は胆管癌診療を変えるか？	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	杉本 充	
平成31・令和元	補助・助成	炎症性腸疾患における補体の影響の解明と新規抗補体薬の有効性	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	高住美香	

リウマチ膠原病内科科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	トルコと日本の自己炎症疾患発症責任分子複合体を活性化する生体・環境因子の比較調査	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	増本純也	右田清志, 他
平成31・令和元	補助・助成	自己炎症バイオマーカーによるリウマチ性疾患の新たな分類と治療法の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	右田清志	浦野 健, 川上 純
平成31・令和元	補助・助成	家族性地中海熱の「早期診断」と「精密医療の実現」に向けたバイオマーカーの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川上 純	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	科学研究費助成事業／難治性疾患等政策研究事業	厚生労働省	西小森隆太	右田清志，他
平成31・令和元	補助・助成	家族性地中海熱(FMF)インフラマソームシグナル伝達異常をゲノム創薬で解決する開発研究	難治性疾患実用化研究事業／希少難治性疾患に対する画期的な医薬品医療機器等の実用化に関する研究 薬事承認を目指すシーズ探索研究（ステップ0）	日本医療研究開発機構(AMED)	川上 純	右田清志，他
平成31・令和元	補助・助成	シーズ探索研究から発展する家族性地中海熱(FMF)に対するトシリズマブの医師主導治験	難治性疾患実用化研究事業／希少難治性疾患に対する画期的な医薬品医療機器等の実用化に関する研究 医師主導治験（ステップ2）	日本医療研究開発機構(AMED)	川上 純	右田清志，他
平成31・令和元	補助・助成	IgG4はIgG4関連疾患の病因となりうるか	令和元年度研究支援事業 育成研究	公立大学法人福島県立医科大学	渡辺浩志	
平成31・令和元	補助・助成	パイリンインフラマソームによる自己炎症の分子機構解明	令和元年度研究支援事業 育成研究	公立大学法人福島県立医科大学	浅野智之	
平成31・令和元	国内共同研究	IL-1 β 産生過程におけるバリシチニブと他のJAK阻害剤によるJAK-STAT阻害効果に関する比較検討		日本イーライリリー株式会社	右田清志	

腎臓高血圧内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	尿細管傷害に着目したネフローゼ症候群の非侵襲的診断法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中島 彩	

糖尿病内分泌代謝内科学講座

年度		研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	食行動と糖尿病：脳腸関連機序の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	工藤明宏	島袋充生, 旭 浩一
平成31・令和元	補助・助成	空腹時低血糖カテゴリーにおける新規糖尿病発症のメカニズム	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	尾形絵美	島袋充生, 旭 浩一
平成31・令和元	補助・助成	若年ニコチン暴露がもたらす時を超えた食行動変化：報酬系を介した脳内分子メカニズム	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	山崎 聡	

脳神経内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	筋萎縮性側索硬化症のイオンチャネル障害と小分子恒常性異常に関する生理学的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	金井数明	
平成31・令和元	補助・助成	不均一反復磁気刺激法の長期効果と脳機能連関：正常者と薬剤抵抗性てんかん患者の比較	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	榎本 雪	
平成31・令和元	補助・助成	末梢神経疾患における骨格筋マルチパラメトリックイメージング法の臨床応用の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	松田 希	久保 均
平成31・令和元	補助・助成	スモンに関する調査研究	厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服事業	厚生労働省	久留 聡	松田 希, 他

呼吸器内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	ホモシステイン誘導小胞体ストレスは慢性閉塞性肺疾患の病態に関与しているか？	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柴田陽光	黒谷玲子，井上純人
平成31・令和元	補助・助成	薬剤性及び放射線肺障害の新規バイオマーカー探索による肺がん個別化治療の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	谷野功典	海老名雅仁，二階堂雄文，柴田陽光
平成31・令和元	補助・助成	呼気硫化水素を用いた気管支喘息の難治化および増悪予測の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	齋藤純平	
平成31・令和元	補助・助成	喘息におけるneurturinの臨床的役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤 俊	鈴木康仁
平成31・令和元	補助・助成	呼気一酸化窒素日内変動測定 of 喘息増悪抑制における有用性	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	植松 学	
平成31・令和元	国際共同研究	間質性肺炎急性増悪における予後規定因子の検討		Nordic Bioscience	谷野功典	Jannie Marie Bülow Sand, Diana Julie Leeming
平成31・令和元	国際共同研究	NOVELTY試験		アストラゼネカ		齋藤純平
平成31・令和元	国内共同研究	咳嗽モニタリングシステムの開発		会津大学	齋藤純平	コンスタンティン・マルコフ

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	国内共同研究	自己免疫性肺胞蛋白症の遺伝素因に関する研究		愛知医科大学, 他	谷野功典	山口悦郎, 他
平成31・ 令和元	国内共同研究	肺胞蛋白症、遺伝性間質性肺疾患に関する研究：重症難治化要因とその克服		愛知医科大学, 他	谷野功典	井上義一, 他
平成31・ 令和元	国内共同研究	特発性肺線維症に対するニンテダニブ効果予測バイオマーカーの前向き解析		久留米大学, 他	星野友昭	
平成31・ 令和元	国内共同研究	特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究(NEJ030) 集積症例を対象とした、遺伝素因に関連するバイオマーカーの研究(NEJ036A)		自治医科大学, 他	萩原弘一	
平成31・ 令和元	国内共同研究	胸部CT画像による多発性筋炎／皮膚筋炎の間質性肺炎の病型分類と予後予測		千葉大学	池田 啓	谷野功典
平成31・ 令和元	国内共同研究	指定難病疾患レジストリーの活用 ― 東日本大震災被災地域における自己免疫性肺胞蛋白症患者の全数調査		新潟大学, 他	田中崇裕, 中田光, 他	谷野功典
平成31・ 令和元	国内共同研究	肺の傷害・修復におけるmidkineの役割の検討		名古屋大学	谷野功典	門松健治
平成31・ 令和元	国内共同研究	多発性筋炎／皮膚筋炎合併間質性肺炎の予後予測因子の同定		日本医科大学, 他	谷野功典	桑名正隆, 他

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究	特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究		神奈川県立循環器呼吸器病センター	小倉高志	谷野功典
平成31・令和元	国内共同研究	肺結核再発要因に関する前向き調査研究		結核予防会結核研究所	谷野功典	
平成31・令和元	国内共同研究	結核治療中に伴う薬疹の実態調査		結核予防会結核研究所	谷野功典	
平成31・令和元	国内共同研究	多剤耐性結核症の登録に伴う研究		結核療法研究協議会	吉山 崇	谷野功典
平成31・令和元	国内共同研究	日本における閉塞性肺疾患のフェノタイプ及びエンドタイプを評価することを目的とした前向きコホート研究(the TRAIT study)		国立病院機構東京病院	鈴川真穂	柴田陽光, 齋藤純平
平成31・令和元	国内共同研究	表現型別のぜん息増悪因子の同定と長期予後の解析	第12期環境保健調査研究	環境再生保全機構	長瀬洋之	齋藤純平
平成31・令和元	学内共同研究	動画対応フラットパネルディテクタによる胸部X線動態撮影による肺機能画像診断の臨床研究 救急領域への応用			島田二郎	谷野功典
平成31・令和元	その他	24時間咳嗽モニタリング検査を用いた喘息の診断・管理への応用		ノバルティスファーマ	齋藤純平	

消化管外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	大腸癌における抗癌剤耐性に関する薬剤トランスポーターの役割の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	門馬智之	齋藤元伸
平成31・令和元	補助・助成	Wnt/ β -cateninシグナルを標的としたトリプルネガティブ乳癌の化学予防	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大竹 徹	岡山洋和, 立花和之進, 齋藤元伸
平成31・令和元	補助・助成	IL-6/STAT3シグナルを介するCDX2の胃癌発生への関与の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	齋藤元伸	
平成31・令和元	補助・助成	新規癌治療ターゲットとしてのペーアレスチン経路の可能性	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坂本 渉	岡山洋和
平成31・令和元	補助・助成	甲状腺癌幹細胞を標的とした新たな治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	早瀬 傑	岩館 学, 鈴木眞一
平成31・令和元	補助・助成	乳癌における抗PD-1/抗PD-L1抗体の治療適応	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中山裕子	
平成31・令和元	補助・助成	大腸癌間質トランスクリプトミクスを応用した個別的微小環境戦略の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大木進司	岡山洋和, 遠藤英成
平成31・令和元	補助・助成	大腸癌のゲノム・エピゲノム異常による短縮型癌関連糖鎖誘導と免疫抑制機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡山洋和	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	消化管癌に対するANXA1を用いた抗がん剤耐性出現モニタリング	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小野澤寿志	齋藤元伸
平成31・令和元	補助・助成	血液・組織検体のEMTモニタリングによるStageII・III食道癌個別化医療の試み	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤田正太郎	大木進司, 岡山洋和, 河野浩二
平成31・令和元	補助・助成	がん患者エフェクター細胞を用いた脱フコシル化抗体のADCC活性解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中島隆宏	河野浩二
平成31・令和元	補助・助成	消化器癌におけるPDL1発現機構の解明と免疫チェックポイント阻害療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	河野浩二	中島隆宏
平成31・令和元	補助・助成	食道扁平上皮癌に対する放射線照射＋Nivolumab併用療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	河野浩二	三村耕作
平成31・令和元	補助・助成	ミスマッチ修復欠損・BRAF変異型大腸癌におけるフコース転移酵素発現異常の意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	野田 勝	岡山洋和, 門馬智之, 坂本 渉
平成31・令和元	補助・助成	再発胃癌患者に対する放射線治療と抗PD-1抗体併用療法の腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木義行	田巻倫明, 河野浩二, 三村耕作

肝胆膵・移植外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	肝組織由来スフェロイド(LTOSs)を用いた複合型肝細胞シートの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	丸橋 繁	武藤 亮, 鈴志野聖子, 石亀輝英, 清水裕史, 佐藤直哉
平成31・令和元	補助・助成	拡張現実(AR)技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村 隆	佐瀬善一郎, 斎藤拓朗, 丸橋繁, 見城 明
平成31・令和元	補助・助成	医療の質に及ぼすがん診療ガイドラインの実施状況と診療環境の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤満一	丸橋 繁, 宮田裕章
平成31・令和元	補助・助成	脂肪由来間葉系幹細胞と肝細胞による積層化シートの作製	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	鈴志野聖子	
平成31・令和元	補助・助成	脂肪由来幹細胞(ADSC)に積層化した膵島細胞シート移植技術の確立	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	楡井 東	
平成31・令和元	補助・助成	スーパーアパタイトナノ粒子法を用いたmiRNAによる胆道癌治療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	武藤 亮	
平成31・令和元	補助・助成	膵癌におけるクラスリンアダプターの発現解析と新規治療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	武藤 亮	
平成31・令和元	補助・助成	がんの医療提供体制および医療品質の国際比較：高齢者がん医療の質向上に向けた医療体制の整備	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 がん対策推進総合研究	厚生労働省	丸橋 繁	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	質の高い消化器がん診療の均てん化を目指した、専門医制度の評価・育成プログラム構築システムの開発	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 がん対策推進総合研究	厚生労働省	今野弘之	丸橋 繁, 他
平成31・令和元	補助・助成	NCDを活用した医療提供体制の構築に関する研究	厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野 地域医療基盤開発推進研究	厚生労働省	宮田裕章	丸橋 繁, 他
平成31・令和元	補助・助成	肝内の免疫性微小環境に着目した肝細胞癌切除後の再発機序の解明	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	見城 明	
平成31・令和元	補助・助成	癌と好中球～担癌患者好中球の腫瘍進展メカニズムの解明～	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	渡邊淳一郎	
平成31・令和元	補助・助成	膵・胆道悪性腫瘍の個別化に役立つ新規分子マーカーの検索とその機能的意義の解明	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	小船戸康英	

呼吸器外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	非小細胞肺癌に対するNeo-antigenを標的とした新たな複合免疫療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木弘行	
平成31・令和元	補助・助成	センシングデバイスによる画期的な肺野微小病変同定法の新規開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	長谷川剛生	井上卓哉, 鈴木弘行, 塩 豊, 武藤哲史

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	コンピューターアシストを利用した、肺癌リンパ節転移の新たな画像評価法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	星野実加	鈴木弘行, 塩 豊
平成31・令和元	補助・助成	電気泳動による新しい免疫応答マーカーの開発 (T細胞受容体クローナリティアッセイ)	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村清仁	鈴木弘行, 長井俊彦
平成31・令和元	補助・助成	免疫チェックポイント阻害薬の効果予測因子としての腸内フローラの研究	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	尾崎(大和田)有紀	
平成31・令和元	補助・助成	網羅的遺伝子発現解析技術を用いたKRAS変異肺癌における新規バイオマーカーの探索	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	山浦 匠	
平成31・令和元	補助・助成	MonoTrapを用いた生体揮発性有機物(VOC)による肺癌診断の試み	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	井上卓哉	
平成31・令和元	補助・助成	非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬耐性メカニズムの解明とその克服	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	武藤哲史	
平成31・令和元	補助・助成	小細胞肺癌に対するNOTCHシグナリングを標的とした新規免疫放射線療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	高木玄教	
平成31・令和元	補助・助成	タイト結合分子に着目した悪性中皮腫の新規診断・治療標的の同定	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	渡部晶之	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	胸部悪性腫瘍免疫・手術と免疫状態・希少癌の基礎研究	アカデミック・コントリビューション	ファイザー株式会社	鈴木弘行	
平成31・令和元	国内共同研究	ニボルマブの薬効等と薬物の体内動態に関する研究		株式会社カイオム・バイオサイエンス	鈴木弘行	
平成31・令和元	国内共同研究	樹状細胞ワクチン療法の有効性及び安全性の評価手法の研究		テラ株式会社	鈴木弘行	
平成31・令和元	国内共同研究	EGFR遺伝子変異陽性術後再発非小細胞肺癌がん患者に対するアファチニブの治療効果と末梢血循環および腫瘍内浸潤CD4+ CD62LlowエフェクターメモリーT細胞の評価を行う前向き観察研究		日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	鈴木弘行	武藤哲史, 他
平成31・令和元	国内共同研究	肺癌検診におけるAI実用化に向けた研究		みずほ情報総研株式会社	鈴木弘行	樋口光徳, 他
平成31・令和元	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌患者を対象としたニボルマブの有効性と安全性の検討—メディカルチャートレビューによる日本のリアルワールドデータの後方視的観察研究—		メビックス株式会社	鈴木弘行	
平成31・令和元	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発非小細胞肺癌患者に対するアテゾリズマブの多施設共同前向き観察研究(J-TAIL)		メビックス株式会社	鈴木弘行	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発非小細胞肺癌患者に対するアテゾリズマブの多施設共同前向き観察研究(J-TAIL)におけるバイオマーカー探索研究		メビックス株式会社	岡部直行	
平成31・令和元	その他	EGFRチロシンキナーゼ阻害薬未投与非小細胞肺癌症例におけるC797S遺伝子変異の探索		アストラゼネカ株式会社	鈴木弘行	

乳腺外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	Wnt/ β -cateninシグナルを標的としたトリプルネガティブ乳癌の化学予防	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大竹 徹	岡山洋和, 立花和之進, 齋藤元伸
平成31・令和元	補助・助成	ミスマッチ修復欠損・BRAF変異型大腸癌におけるフコース転移酵素発現異常の意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	野田 勝	岡山洋和, 門馬智之, 坂本 渉
平成31・令和元	国内共同研究	TAP-144-SR(3M)の閉経前乳癌患者に対する術後補助療法に関する比較試験終了後の追跡調査	受託研究費	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	紅林淳一	大竹 徹, 他
平成31・令和元	国内共同研究	エストロゲン受容体陽性、上皮成長因子受容体2型(HER2)陰性乳癌に対するテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム(S-1)術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験	委託研究費	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	大竹 徹	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究	遺伝子発現解析技術を活用した個別がん医療の実現と抗がん剤開発の加速（第二期）	福島医薬品関連産業支援拠点化事業	福島県	大竹 徹	
平成31・令和元	国内共同研究	遺伝子発現解析技術を活用した個別がん医療の実現と抗がん剤開発の加速（第三期）	福島医薬品関連産業支援拠点化事業	福島県	大竹 徹	

心臓血管外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究	大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術および人工血管置換術が心臓機能に及ぼす影響に関する研究		フクダ電子南東北販売（株）	横山 斉	高野真澄

外科研修支援担当

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	拡張現実(AR)技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村 隆	佐瀬善一郎，斎藤拓朗，丸橋繁，見城 明

脳神経外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	レーザー光源による手術顕微鏡の新しい機能開発：脳血流量2次元表示と絶対値の測定	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	斎藤 清	佐藤 拓, 佐久間潤
平成31・令和元	補助・助成	神経皮膚症候群に関する診療科横断的検討による科学的根拠に基づいた診療指針の確立	厚生労働科学研究費助成事業 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等政策研究事業	厚生労働省	錦織千佳子	斎藤 清, 他
平成31・令和元	補助・助成	超高速定量画像MRFを用いた非侵襲的脳腫瘍診断システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤 拓	藤井正純, 岩楯兼尚
平成31・令和元	補助・助成	脳腫瘍の神経伝導と硬さ因子の解明：機能温存と安全性の高い手術法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	岩楯兼尚	
平成31・令和元	補助・助成	福島県の脳卒中医療における地域格差と予後に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐久間潤	大平哲也, 中野裕紀, 弓屋結, 小島隆生
平成31・令和元	学内共同研究	レーザー光源を用いた革新的神経内視鏡手術法の開発	内視鏡医学研究振興財団研究助成	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団	佐藤 拓	蛭田 亮

整形外科科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	ラット腰椎椎間板ヘルニアモデルへの社会的敗北ストレス負荷が及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	紺野慎一	関口美穂

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明（LOHAS研究）	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂	竹上未紗，大谷晃司，小野玲，紺野慎一，福原俊一
平成31・令和元	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司	関口美穂，小野 玲，紺野慎一
平成31・令和元	補助・助成	PETによる脳脊髄ミクログリアイメージングによって慢性痛を可視化する研究	科学研究費助成事業／挑戦的研究（萌芽）	日本学術振興会	小幡英章	宿里充穂，織内 昇，紺野慎一，加藤孝一
平成31・令和元	補助・助成	選択的神経ブロックによる個別化リハビリテーションと治療効果の定量化を重視した凍結肩の集学的診療ガイドラインの開発	慢性の痛み解明研究事業 肩関節周囲炎の病態に応じた治療法の有効性評価に関する研究	日本医療研究開発機構(AMED)	山内正憲	紺野慎一
平成31・令和元	国内共同研究		平成31年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業	厚生労働省	矢吹省司	
平成31・令和元	国内共同研究	慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	令和元年度厚生労働行政推進調査事業（慢性の痛み政策研究事業）	厚生労働省	矢吹省司	
平成31・令和元	国内共同研究	人工股関節の安定性向上の手技の開発			青田恵郎	
平成31・令和元	企業からの受託研究	人工股関節全置換術の従来法（後方アプローチ又はERP法）とDirect Superior Approach(DSA)の手術情報、術後画像評価及び臨床転帰の比較		日本ストライカー	青田恵郎	山岸栄紀，大橋寛憲，荒 文博，佐藤法義，高野純一

形成外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	乳房再建への現実的な応用を見据えた脂肪由来幹細胞の安定した増殖法の確立	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	北村成紀	小山明彦, 千葉茂樹, 富川直樹, 杉本幸太郎, 穂積あゆみ

産科婦人科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	複合災害被害者のレジリエンス獲得：多層的多面的指標による解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸 斉	安村誠司, 村上道夫, 前田正治, 藤森敬也, 中島聡美, 桃井真帆, 大類真嗣, 竹林 唯, 伊藤亜希子
平成31・令和元	補助・助成	卵細胞質内精子注入法に特化した精子選択法・精子評価法の確立と治療前診断への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅沼亮太	高橋俊文
平成31・令和元	補助・助成	化学療法による腫瘍微小環境変化を標的とした卵巣癌治療開発の基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	添田 周	阿久津英憲
平成31・令和元	補助・助成	多嚢胞性卵巣症候群におけるメトホルミンの子宮内膜に対する直接作用機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	大原美希	
平成31・令和元	補助・助成	メタボローム解析を用いた妊娠高血圧症候群の発症予測の検討	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	経塚 標	
平成31・令和元	補助・助成	卵巣癌におけるクローディン発現の臨床病理学的・生物学的意義	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	小島 学	

小児科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	インフルエンザ新規治療戦略及びウイルス感染細胞アポトーシス制御に関する基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤晶論	橋本浩一，細矢光亮
平成31・令和元	補助・助成	ヒト脳血管内皮細胞を用いたタイト結合動的評価によるウイルス関連脳症病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	細矢光亮	川崎幸彦，橋本浩一
平成31・令和元	補助・助成	新生児慢性肺疾患におけるmiR-21の役割解明と臨床応用に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	郷 勇人	桃井伸緒，橋本浩一
平成31・令和元	補助・助成	RSV感染症克服のための出生時母児血によるRSV各中和エピトープ抗体価の質的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	橋本浩一	川崎幸彦，細矢光亮，藤森敬也
平成31・令和元	補助・助成	子どもはいかに出生コホート調査参加意識を形成しインフォームド・アセントに至るのか	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤晶子	橋本浩一，本田純久
平成31・令和元	補助・助成	癌免疫微小環境における腫瘍特異的細胞傷害性T細胞誘導メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	望月一弘	菊田 敦，佐野秀樹，小林正悟，高橋信久，郷 勇人
平成31・令和元	補助・助成	T細胞非除去HLA半合致移植後の生着症候群に係る新規バイオマーカーの同定	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	大原喜裕	
平成31・令和元	補助・助成	Neurovascular Unitに着目した血管内皮細胞障害動的評価系の構築	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	宮崎恭平	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	難治性致死性疾患である亜急性硬化性全脳炎への治療法開発のための基礎的研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	前田 創	
平成31・令和元	補助・助成	溶血性尿毒症症候群発症後の硬化性腎病変進展への危険因子とその制御システム解析	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	久米庸平	
平成31・令和元	補助・助成	グルココルチコイドの血管透過性調整に関わる機序の解明と臨床応用への検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	知識美奈	
平成31・令和元	補助・助成	メカニカルストレスが胎児マウス肺に与える影響についての分子生物学的検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	柏原祥曜	
平成31・令和元	補助・助成	Ab Initio遺伝子軌道法を用いた新生児疾患関連遺伝子ネットワークの同定	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	柳沼和史	
平成31・令和元	補助・助成	microRNA/HMGB1シグナリングに着目した溶血性尿毒症症候群の治療法開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	前田 亮	

眼科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	眼内補体因子および関連蛋白計測による加齢黄斑変性発症機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石龍鉄樹	関根英治, 大口泰治, 小島彰, 菅野幸紀
平成31・令和元	補助・助成	577nm閾値下レーザー至適凝固条件設定のための探索的研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	笠井暁仁	
平成31・令和元	補助・助成	眼内補体古典経路、レクチン経路と加齢黄斑変性発症との関連の検討	研究助成	日本アルコン(株)	石龍鉄樹	大口泰治
平成31・令和元	補助・助成	3Dプリンターを用いた脈絡膜血管モデルによる脈絡膜循環の観察	研究助成	日本アルコン(株)	石龍鉄樹	菅野幸紀
平成31・令和元	補助・助成	網膜静脈分枝閉塞症に対する補体因子の関与と網膜保護への応用	研究助成	ノバルティスファーマ(株)	石龍鉄樹	小島 彰
平成31・令和元	国内共同研究	血管新生加齢黄斑変性症における補体因子活性化機序の解明	研究助成	バイエル薬品(株)	石龍鉄樹	大口泰治

泌尿器科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	前立腺肥大症における自己免疫応答と微生物感染によるインフラマソーム制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小島祥敬	秦 淳也, 錫谷達夫, 関根英治, 羽賀宣博, 赤井畑秀則, 石橋 啓

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	尿中マイクロバイオーム解析による下部尿路症状の病態解明と治療ターゲットの探索	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	相川 健	小島祥敬, 石橋 啓, 秦 淳也
平成31・令和元	補助・助成	NOS uncouplingを標的とした新規過活動膀胱治療薬開発にむけた基礎研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	赤井畑秀則	秦 淳也, 小島祥敬, 石橋 啓
平成31・令和元	補助・助成	尺度開発に基づく低活動膀胱の新たな診断法の確立と地域への応用：予防介入を目指して	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大前憲史	福原俊一, 小島祥敬, 脇田貴文, 栗田宜明
平成31・令和元	補助・助成	腎癌による免疫代謝改変の制御を利用した新たな治療戦略に向けた基礎的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石橋 啓	小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄
平成31・令和元	補助・助成	ISYNA1による細胞内ミオイノシトール合成制御からの腎細胞癌抑制機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	胡口智之	
平成31・令和元	補助・助成	前立腺肥大症における自己抗原認識による補体活性化機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	秦 淳也	
平成31・令和元	補助・助成	次世代シーケンサーを用いた病原体侵入に起因する前立腺肥大症発症機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	滝浪(本田)瑠璃子	
平成31・令和元	補助・助成	SGLT2糖輸送経路に着目したAR抑制による前立腺癌増殖抑制機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	星 誠二	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	リゾリン脂質に着目した膀胱癌再発・進展メカニズムの解明と新規治療の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	片岡政雄	
平成31・令和元	補助・助成	性分化・性成熟疾患の診療ガイドライン作成に向けたエビデンス創出	診療に直結するエビデンス創出研究	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED), 国立成育医療研究センター	深見真紀	小島祥敬
平成31・令和元	補助・助成	前立腺肥大症発生過程における補体活性化機構及びインフラマソーム調節機構の解明	第18回AKUA (Ashahi Kasei pharma Urological Academy) 研究助成	旭化成ファーマ株式会社	羽賀宣博	
平成31・令和元	国内共同研究	ゲノムワイド関連解析による尿道下裂、停留精巣発症関連遺伝子の探索		東京大学医科学研究所	小島祥敬	
平成31・令和元	学内共同研究	前立腺肥大症における細胞増殖ネットワーク制御機構の包括的解明と創薬開発に向けた基礎的研究	戦略的学内連携研究推進事業	福島県立医科大学	小島祥敬	
平成31・令和元	学内共同研究	エクオールのエストロゲン作用を介した大豆イソフラボンの前立腺肥大症予防への応用	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	佐藤雄一	
平成31・令和元	学内共同研究	前立腺肥大症発症過程におけるリポクオリティ調節機能の解明	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	羽賀宣博	

耳鼻咽喉科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の原因となる難病の診療向上に向けた、疾患横断的な全国多施設レジストリ研究	令和元年度難治性疾患実用化研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	松永達雄	今泉光雅
平成31・令和元	補助・助成	HPV関連中咽頭癌の高転移性をHPV E5シグナル伝達から解明する	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	室野重之	
平成31・令和元	補助・助成	組織工学的手法を用いた新規人工気管の開発と生理的気管上皮再生機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	多田靖宏	竹澤俊明
平成31・令和元	補助・助成	扁桃組織におけるmultifocalなヒトパピローマウイルス感染に関する研究	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	鈴木俊彦	
平成31・令和元	補助・助成	宿主リン酸化酵素阻害による喉頭乳頭腫の新規治療の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	川瀬友貴	
平成31・令和元	学内共同研究	新たな分子生物学的手法を用いた耳下腺腫瘍の悪性診断への研究開発	研究支援事業／育成研究	公立大学法人福島県立医科大学	鈴木政博	
平成31・令和元	学内共同研究	放射線治療に伴う口腔粘膜炎に対する最適な治療タイミングの研究	研究支援事業／育成研究	公立大学法人福島県立医科大学	仲江川雄太	
平成31・令和元	学内共同研究	ANCA関連血管炎性中耳炎の病態解明に関する研究	研究支援事業／育成研究	公立大学法人福島県立医科大学	大槻好史	

神経精神医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	コホート・生体試料支援プラットフォーム	科学研究費助成事業／新学術領域研究（研究領域提案型）『学術研究支援基盤形成』	日本学術振興会	今井浩三	矢部博興
平成31・令和元	補助・助成	統合失調症早期発見のためのMMNの時間統合研究と原発事故影響の生理学的検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	矢部博興	志賀哲也
平成31・令和元	補助・助成	オキシトシンが統合失調症の臨床症状・社会行動障害に与える影響についての検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦 至	矢部博興
平成31・令和元	補助・助成	簡易客観的精神機能検査による「うつ病エピソード」の型分類は治療計画立案に有用か？	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	丹羽真一	
平成31・令和元	補助・助成	統合失調症死後脳におけるPro to Glu経路の分子プロファイル解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	國井泰人	日野瑞城
平成31・令和元	補助・助成	プロジェクトリターン2017:原発事故後に避難した精神科入院患者の帰還支援の試み	科学研究費助成事業／挑戦的研究（萌芽）	日本学術振興会	後藤大介	國井泰人，矢部博興
平成31・令和元	補助・助成	統合失調症へのオキシトシン点鼻薬による自動的聴覚識別機能への効果	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	志賀哲也	
平成31・令和元	補助・助成	心因性疼痛の治療と認知機能障害の関連	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	松本純弥	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	統合失調症死後脳におけるプロリン代謝経路内分子の発現解析	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	長岡敦子	
平成31・令和元	補助・助成	日本ブレインバンクネットの構築	脳科学研究政略推進プログラム／臨床と基礎研究の連携強化による精神・神経疾患の克服（融合脳）／リソースの整備・普及のための研究	日本医療研究開発機構 (AMED)	齋藤祐子	矢部博興
平成31・令和元	補助・助成	福島地区の精神疾患拠点の構築	革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	日本医療研究開発機構 (AMED)	矢部博興	
平成31・令和元	国内共同研究	統合失調症患者を対象とした抗精神病薬の抗うつ作用の検討：ランダム化比較試験の系統的レビューとメタ解析		大日本住友製薬	三浦 至	
平成31・令和元	学内共同研究	成人期注意欠陥多動性障害の診断用バイオマーカーの開発：マルチモーダルアプローチ	特定研究助成	福島県立医科大学	矢部博興	板垣俊太郎

放射線医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	α 線核種によるがん治療の線量評価に基づく正常細胞障害の解明に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	織内 昇	阿部 悠, 趙 松吉, 西嶋剣一, 右近直之, 伊藤 浩, 長谷川有史

麻酔科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	術後せん妄と脳内神経伝達物質受容体発現に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	村川雅洋	
平成31・令和元	補助・助成	全身麻酔薬が抗がん剤による免疫抑制に与える影響とその機序の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	黒澤 伸	
平成31・令和元	補助・助成	内因性鎮痛の減弱と脳・脊髄ミクログリアの活性化は遷延性術後痛の指標となるか？	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中野裕子	
平成31・令和元	補助・助成	褐色脂肪細胞及びベージュ脂肪細胞の個体差が周術期体温に及ぼす影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	井石雄三	
平成31・令和元	補助・助成	急性呼吸窮迫症候群(ARDS)における酸素ナノバブル経静脈投与の有効性の検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	吉田圭佑	
平成31・令和元	補助・助成	局所麻酔薬の複数同時使用時の中毒閾値に関する研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	野地善恵	
平成31・令和元	補助・助成	中脳辺縁系ドーパミン神経系の減弱は慢性痛および注意欠陥多動性障害と関連があるか？	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	本田 潤	

救急医療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	低酸素脳症および中毒性肝障害の組織・細胞応答メカニズムの解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊関 憲	後藤 薫
平成31・令和元	補助・助成	長鎖非コードRNA(lncRNA)の機能制御による新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦正幸	関亦明子, 伊関 憲
平成31・令和元	補助・助成	発達期の脳の臨界期とGABA調節因子の役割：麻酔薬の鎮静と毒性作用の解明に向けて	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西川光一	

病理病態診断学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	悪性リンパ腫における糖鎖とイムノグロブリンシグナル伝達との関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木 理	
平成31・令和元	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍の病態進展におけるドライバ変異とヒストン修飾因子異常の相互的役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	池田和彦	大河原浩, 橋本優子
平成31・令和元	補助・助成	骨髄異形成症候群における無効造血環境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生	橋本優子, 池添隆之

臨床検査医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	妊婦からのB群溶血性レンサ球菌（GBS）の検出－全自動遺伝子解析装置への応用－	科学研究費助成事業／基盤研究（C）	日本学術振興会	三浦里織	豊川真弘，志村浩己
平成31・令和元	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲術前遺伝子検査法の開発と甲状腺癌リスク評価法の確立	科学研究費助成事業／基盤研究（C）	日本学術振興会	志村浩己	岩舘 学，松本佳子，鈴木聡，伊藤祐子，鈴木眞一
平成31・令和元	補助・助成	RGS5遺伝子の甲状腺癌抑制効果解明による新規癌リスク評価検査の開発	科学研究費助成事業／若手研究（B）	日本学術振興会	伊藤祐子	
平成31・令和元	企業からの受託研究	GBS増菌培地の有用性評価及び検査の簡略化・効率化の検討	受託研究	極東製薬工業株式会社	志村浩己	

感染制御医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	原発避難区域を含む福島県内全域のダニ媒介性感染症の調査と新たな診断手法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究（C）	日本学術振興会	金光敬二	門馬直太，仲村 究，壁谷昌彦
平成31・令和元	補助・助成	プロバイオティクスを用いた放射線性腸管粘膜障害の改善と敗血症発症抑制効果の検討	科学研究費助成事業／基盤研究（C）	日本学術振興会	仲村 究	金光敬二
平成31・令和元	企業からの受託研究	C.Difficile遺伝子検出試薬の臨床性能評価		株式会社ミズホメディー		

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍の病態進展におけるドライバ変異とヒストン修飾因子異常の相互的役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	池田和彦	大河原浩, 橋本優子
平成31・令和元	補助・助成	造血幹細胞移植後の免疫システムにおけるGas6の役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大河原浩	小川一英, 池添隆之, 池田和彦
平成31・令和元	補助・助成	放射線治療が行われた扁平上皮癌患者における腫瘍免疫学的解析と治療効果との相関	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田巻倫明	鈴木義行, 三村耕作, 小此木範之
平成31・令和元	補助・助成	再発胃癌患者に対する放射線治療と抗PD-1抗体併用療法の腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木義行	田巻倫明, 河野浩二, 三村耕作
平成31・令和元	補助・助成	クローン性造血に着目した心不全に対する新しい治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	竹石恭知	三阪智史, 横川哲朗, 池田和彦
平成31・令和元	補助・助成	食道扁平上皮癌に対する放射線照射＋Nivolumab併用療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	河野浩二	三村耕作
平成31・令和元	補助・助成	乳癌におけるT細胞を用いた免疫細胞療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三村耕作	中山裕子, 井上慎吾, 大森征人
平成31・令和元	補助・助成	輸血医療の安全性向上のためのデータ構築研究	厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究	厚生労働省	浜口 功	北澤淳一（研究分担者）

地域・家庭医療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	家庭医・総合診療専門医のケアは何かどう違うのか？：質評価のための指標探索研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	葛西龍樹	菅家智史
平成31・令和元	国内共同研究	不確実性下の医療：情報と合理的意思決定の分析	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	井伊雅子	原 千秋，葛西龍樹

放射線健康管理学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	原子力災害時の汚染傷病者受入れの放射線管理に関する指針の提案	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	長谷川有史	大葉 隆，佐藤久志，保田浩志，井山慶大，佐藤健一
平成31・令和元	補助・助成	食事誘導性概日ペースメーカー理論を応用した生活習慣病の一次予防戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大津留晶	緑川早苗
平成31・令和元	補助・助成	若年者の甲状腺スクリーニングがメンタルヘルスに及ぼす影響とその要因分析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	緑川早苗	大津留晶
平成31・令和元	補助・助成	ヘルスリテランススキルの次世代への伝達メカニズムの可視化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤あや	熊谷敦史，村上道夫，植田紀美子
平成31・令和元	国際共同研究	Nuclear emergency situations-Improvement of medical and surveillance- Stakeholder Involvement Generating Sciences after nuclear emergencies	Euratom CONCERT No.662287	European Concerted Programme on Radiation Protection Research	Cardis E	Ohba T

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国際共同研究	Communication on Low-Dose Radiation - the Role of Science, Technology and Society	IAEA Project NA39	International Atomic Energy Agency	Abdel-Wahab M	Ohba T
平成31・令和元	国際共同研究	Cross-cultural study of information needs and organizational approaches on diabetes issues of population in Gomel and Fukushima	2019年度放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	Gomel State Medical University	Anastasiya Sachkouskaya	熊谷敦史
平成31・令和元	国内共同研究	実現可能なテイラーメイド放射線健康不安対策の提案	平成30年度放射線健康管理・健康不安対策事業 放射線の健康影響に係る研究調査事業	環境省	長谷川有史	大葉 隆
平成31・令和元	国内共同研究	リスクコミュニケーション活動の効果評価指標の体系化と効果検証の実践	平成30年度放射線健康管理・健康不安対策事業 放射線の健康影響に係る研究調査事業	環境省	村上道夫	熊谷敦史
平成31・令和元	国内共同研究	リスクコミュニケーション及び情報発信に関する研究 帰還住民を持続的に支援可能なアプリケーションの開発	平成31年度放射線健康管理・健康不安対策事業 放射線の健康影響に係る研究調査事業	環境省	後藤あや	熊谷敦史, 大葉 隆, 他
平成31・令和元	国内共同研究	大気拡散シミュレーションによる時間空間放射能データベースを用いた避難行動パターン毎の初期線量評価	平成31年度放射線健康管理・健康不安対策事業 放射線の健康影響に係る研究調査事業	環境省	鈴木 元	大葉 隆
平成31・令和元	国内共同研究	河川環境汚染モニタリングを通じたリスクコミュニケーションの試み	放射線災害・医科学研究拠点 トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	仲井邦彦	大葉 隆

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究	原発事故後における健康とWell-beingのモニタリングへの市民参加の効果に関する研究	放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	谷川攻一，長谷川有史	大葉 隆
平成31・令和元	国内共同研究	原子力災害における次世代への放射線防護に関する防災教育の在り方	東北大学災害科学国際研究所共同研究プロジェクト（特定プロジェクト研究）	東北大学	大葉 隆	
平成31・令和元	学内共同研究	放射線災害における健康影響と健康リスク評価研究分野 福島県内のホールボディカウンター装置の経年変化（劣化）における6年間の多施設連携調査とその精度管理法の提案	福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 拠点プロジェクト研究	福島県立医科大学	大葉 隆	

甲状腺内分泌学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	小児甲状腺がんにおける情報提供と相談支援の体制構築のための研究	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 がん対策推進総合研究	厚生労働省	鈴木眞一	岩舘 学，鈴木 聡，鈴木 悟，志村浩己，山下俊一，光武範吏
平成31・令和元	補助・助成	事故後に発見された小児若年者甲状腺疾患のメカニズムに関する研究	放射線健康管理・健康不安対策事業 放射線の健康影響に係る研究調査事業	環境省	鈴木眞一	岩舘 学，鈴木 聡，松本佳子，志村浩己，鈴木 悟，松塚崇，山下俊一，光武範吏，石川徹夫，大平哲也，山谷幸恵，関野瑞希
平成31・令和元	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲術前遺伝子検査法の開発と甲状腺癌リスク評価法の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村浩己	岩舘 学，松本佳子，鈴木 聡，伊藤祐子，鈴木眞一

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	iPS細胞からの新規甲状腺、副甲状腺モデル細胞の樹立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木 悟	横内裕二, 中村 泉, 大河内千代
平成31・令和元	補助・助成	甲状腺癌幹細胞を標的とした新たな治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	早瀬 傑	岩舘 学, 鈴木眞一
平成31・令和元	補助・助成	小児・若年者甲状腺癌の長期フォローアップ体制の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	古橋知子	菊田 敦, 鈴木眞一, 鈴木 悟

災害こころの医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	複合災害被害者のレジリエンス獲得：多層的多面的指標による解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸 斉	安村誠司, 村上道夫, 前田正治, 藤森敬也, 中島聡美, 桃井真帆, 大類真嗣, 竹林 唯, 伊藤亜希子
平成31・令和元	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得：多層的多面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸 斉	安村誠司, 前田正治, 桃井真帆, 瀬藤乃理子, 竹林 唯, 堀越直子, 佐藤秀樹
平成31・令和元	補助・助成	共感性疲労予防プログラムによるストレス低減効果の検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	瀬藤乃理子	坂口幸弘, 片桐祥雅, 福森崇貴
平成31・令和元	補助・助成	注意の範囲に基づく反すうの持続過程の検討	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	佐藤秀樹	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究	極限状態で高次脳認知機能を維持するための基幹脳活性化法の開発と臨床応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	片桐祥雅	川原靖弘, 瀬藤乃理子
平成31・令和元	国内共同研究	認知症家族・離婚家族のもつあいまいな喪失における家族支援プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	黒川雅代子	青木 聡, 瀬藤乃理子

放射線腫瘍学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	がん重粒子線治療の高度化と治療個別化の為に基礎的・臨床的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	中野隆史	鈴木義行, 田巻倫明, 他
平成31・令和元	補助・助成	放射線治療にともなう心血管疾患の分子病態の解明と予知-DNA損傷の視点から	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石田隆史	石田万里, 鈴木義行
平成31・令和元	補助・助成	放射線治療が行われた扁平上皮癌患者における腫瘍免疫学的解析と治療効果との相関	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田巻倫明	鈴木義行, 三村耕作, 小此木範之
平成31・令和元	補助・助成	再発胃癌患者に対する放射線治療と抗PD-1抗体併用療法の腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木義行	田巻倫明, 河野浩二, 三村耕作
平成31・令和元	補助・助成	原子力災害時の汚染傷病者受入れの放射線管理に関する指針の提案	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	長谷川有史	大葉 隆, 佐藤久志, 保田浩志, 井山慶大, 佐藤健一
平成31・令和元	学内共同研究	急性放射線障害に対するヒト胎盤系間葉細胞治療の非臨床有効性検証研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	稲野彰洋	織内 昇, 鈴木義行, 長谷川有史, 原 孝光, 添田義行

腫瘍内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	ホルモン受容体陽性乳癌におけるHER3の分解制御因子の解明と治療効果との相関性	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐治重衡	
平成31・令和元	補助・助成	StageIV乳癌に対する予後の改善を目指した標準治療の確立に関する研究	革新的がん医療実用化研究事業 領域5-1 局所進行がん及び進行・再発がんに対する予後の改善を目指した治療法確立のための臨床試験	日本医療研究開発機構(AMED)	枝園忠彦	佐治重衡
平成31・令和元	補助・助成	高齢者HER2陽性進行乳癌に対するT-DM1療法とペルツズマブ＋トラスツズマブ＋ドセタキセル療法のランダム化比較第III相試験	革新的がん医療実用化研究事業 領域6-3 高齢者のがんに関する臨床研究	日本医療研究開発機構(AMED)	田村研治	佐治重衡
平成31・令和元	補助・助成	3学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」に関する教育と正しい情報伝達に関する研究	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 がん対策推進総合研究	厚生労働省	田村研治	佐治重衡
平成31・令和元	補助・助成	低酸素下乳がんにおけるERBB制御と放射線応答	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	谷本圭司	佐治重衡

放射線災害医療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	原子力災害時の汚染傷病者受入れの放射線管理に関する指針の提案	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	長谷川有史	大葉 隆, 佐藤久志, 保田浩志, 井山慶大, 佐藤健一
平成31・令和元	補助・助成	急性放射線障害に対するヒト胎盤系間葉細胞治療の非臨床有効性検証研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	稲野彰洋	織内 昇, 鈴木義行, 長谷川有史, 原 孝光, 添田義行

リハビリテーション医学講座／リハビリテーションセンター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	福島県（特に浜通り地域）でのロコモ検診とロコモ体操研修会の開催	ロコモ推進活動助成金	一般社団法人日本運動器科学会	大井直往	

自然科学講座 先端化学分野

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	電気泳動による新しい免疫応答マーカーの開発（T細胞受容体クローナリティアッセイ）	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村清仁	鈴木弘行，長井俊彦
平成31・令和元	補助・助成	有機イオウ化合物に関する研究	奨学寄附金	株式会社ダイセル	谷口暢一	
平成31・令和元	補助・助成	金属触媒の π 酸性性を利用した不飽和炭素－炭素結合への位置選択的硫黄置換基の導入	研究助成	公益財団法人日本化学研究会	谷口暢一	

自然科学講座 分子細胞生物学分野

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	<i>Candida</i> 属における抗菌薬耐性機序の解明：フラボヘモグロビンの新たな役割	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	五十嵐城太郎	

自然科学講座 数理物質科学分野

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	2バンド系1次元伝導体におけるバンド間相互作用による特異な電子相の系統的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	開 康一	松浦弘泰, 石井康之

生体物質研究部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	ミトコンドリアに内在する長鎖非コードRNAの同定と機能解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本間 好	
平成31・令和元	補助・助成	代謝性活性酸素種による黒質アストログリア細胞活性化機構の解明とその制御物質の同定	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小椋正人	
平成31・令和元	補助・助成	ミトコンドリアに着目した多能性幹細胞からの視細胞の新規高純化培養法の開発	科学研究費助成事業／挑戦的萌芽研究	日本学術振興会	森藤 暁	本間美和子
平成31・令和元	補助・助成	クロマグロ等の養殖魚の品質ならびに健康性評価指標としてのコラーゲン代謝の解析	2019年度学術奨励金	一般財団法人東和食品研究振興会	田中照佳	
平成31・令和元	企業からの受託研究	プレニルオキシキノリンカルボン酸誘導体によるアストロサイト活性化制御機構の解明と創薬応用	若手研究者共創型Prism	大日本住友製薬	小椋正人	

細胞科学研究部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	受精の配偶子融合マシナリーの包括的解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	井上直和	
平成31・令和元	補助・助成	細胞質内分子流動に関わる内膜微小揺動の発生機序とその生理作用の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	和田郁夫	
平成31・令和元	補助・助成	IZUM01-JUNOで制御される配偶子間膜融合	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	齋藤貴子	

生体機能研究部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	先端モデル動物支援プラットフォーム	科学研究費助成事業／新学術領域研究（研究領域提案型） 「学術研究支援基盤形成」	日本学術振興会	今井浩三	小林和人，他
平成31・令和元	補助・助成	刺激弁別の学習フェーズにおける線条体細胞タイプ特異的な神経活動の可視化	科学研究費助成事業／新学術領域研究（研究領域提案型）	日本学術振興会	小林和人	
平成31・令和元	補助・助成	意志力を生み出す脂質分子と現代の食環境による破綻	科学研究費助成事業／新学術領域研究（研究領域提案型）	日本学術振興会	酒寄信幸	
平成31・令和元	補助・助成	行動適応を担う脳神経回路の機能シフト機構	科学研究費助成事業／新学術領域研究（研究領域提案型）	日本学術振興会	小林和人	尾上浩隆，小池康晴，磯村宜和，藤山文乃，渡邊大，伊佐正，筒井健一郎，相澤秀紀

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	領野・入力特異的な皮質線条体経路を介する行動制御の神経回路メカニズム	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小林和人	西澤佳代, 瀬戸川将, 加藤成樹
平成31・令和元	補助・助成	行動選択に関与する視床－線条体インフォメーションフロー	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	深堀良二	
平成31・令和元	補助・助成	腹側被蓋野ドーパミンニューロンの活動と目標指向行動の動機づけの因果的関係	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	井口善生	
平成31・令和元	補助・助成	知覚運動学習中に線条体の局所領域間で生じる機能変化と情報表現の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	瀬戸川将	
平成31・令和元	補助・助成	必須脂肪酸摂取の偏りに伴うドーパミン神経回路の変容と不安行動	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	酒寄信幸	
平成31・令和元	補助・助成	環境に依存して行動を制御する線条体直接路・間接路の機能の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	西澤佳代	
平成31・令和元	補助・助成	新規化学遺伝学ツールによる脳機能回復戦略の研究	科学研究費助成事業／挑戦的研究（萌芽）	日本学術振興会	小林和人	
平成31・令和元	補助・助成	脂肪酸摂取の偏りによって生得的に確立される嗜好品過剰摂取の脳内メカニズム	科学研究費助成事業／特別研究員奨励費	日本学術振興会	特別研究員 酒寄信幸	
平成31・令和元	補助・助成	熟達した運動パフォーマンスの基盤となる神経機構の解明	科学研究費助成事業／特別研究員奨励費	日本学術振興会	特別研究員 瀬戸川将	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	マーマセツト脳機能研究に最適化した経路選択的操作とその基盤となる回路構造解析技術の開発	脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	日本医療研究開発機構 (AMED)	小林和人	
平成31・令和元	補助・助成	不安障害・うつ様情動系行動を自律するための扁桃体出入力系神経路特異的な機能制御の試み	内藤記念科学奨励金・研究助成	公益法人内藤記念科学振興財団	加藤成樹	
平成31・令和元	補助・助成	局所神経回路の機能制御による行動解析	研究奨励金（研究助成）	公益財団法人上原記念生命科学財団	加藤成樹	
平成31・令和元	補助・助成	神経回路の遺伝学的操作による脳神経系の生理機能と病態メカニズムの解明	平成29年度研究助成	一般財団法人藤井節郎記念大阪基礎医学研究奨励会	小林和人	
平成31・令和元	補助・助成	大脳基底核ループを形成する局所神経回路の機能制御と行動生理学的解析	医学系研究奨励 ＜精神・神経・脳領域＞	公益財団法人武田科学振興財団	加藤成樹	
平成31・令和元	補助・助成	脳機能ネットワーク解明のための多重経シナプス標識システムの開発	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	加藤成樹	
平成31・令和元	企業からの受託研究	香気および味覚による嗜好性の認知と好き嫌いを生む神経基盤の解明	公益財団法人ロッテ財団奨励研究助成 (A)	公益財団法人ロッテ財団	加藤成樹	

放射性同位元素研究施設

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	長鎖非コードRNA(lncRNA)の機能制御による新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦正幸	関亦明子, 伊関 憲
平成31・令和元	補助・助成	がん支持療法創出を目指した可視化・数値化可能な光る耳下腺培養細胞系の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦明子	関亦正幸

実験動物研究施設

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	腸内マイクロバイオームによるTfh細胞サブセットの挙動変化と免疫老化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川田耕司	
平成31・令和元	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司	関口美穂, 小野 玲, 紺野慎一
平成31・令和元	補助・助成	ラット腰椎椎間板ヘルニアモデルへの社会的敗北ストレス負荷が及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	紺野慎一	関口美穂
平成31・令和元	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明 (LOHAS研究)	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂	竹上未紗, 大谷晃司, 小野 玲, 紺野慎一, 福原俊一

災害公衆衛生看護学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永カツ子	堀内輝子, 木下美佐子, 高橋香子, 片桐和子, 山田智恵里
平成31・令和元	補助・助成	専門知とモノ作り実践知を融合した集落復興支援構築：放射線測定調査の社会的応用	科学研究費助成事業／特別研究員奨励費	日本学術振興会	林 剛平	

国際被ばく公衆衛生看護学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永カツ子	堀内輝子, 木下美佐子, 高橋香子, 片桐和子, 山田智恵里

地域産婦人科支援講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	卵巣癌におけるクローディン発現の臨床病理学的・生物学的意義	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	小島 学	

白河総合診療アカデミー

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	日本の高齢者の「人生の最終段階を見据えた話し合い」促進プログラム開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	宮下 淳	福原俊一, 山本洋介, 清水さやか

肺高血圧先進医療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	肺高血圧症と脂質代謝異常の接点-治療標的・バイオマーカーとしてのMT1-MMP	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	杉本浩一	
平成31・令和元	補助・助成	Calreticulin(CALR)変異による骨髄増殖性疾患に合併した肺高血圧症の分子メカニズム解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	横川哲朗	

生活習慣病・慢性腎臓病(CKD)病態治療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	食行動と糖尿病：脳腸相関機序の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	工藤明宏	島袋充生, 旭 浩一
平成31・令和元	補助・助成	空腹時低血糖カテゴリーにおける新規糖尿病発症のメカニズム	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	尾形絵美	島袋充生, 旭 浩一

疼痛医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究		平成31年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業	厚生労働省	矢吹省司	
平成31・令和元	国内共同研究	慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	令和元年度厚生労働行政推進調査事業（慢性の痛み政策研究事業）	厚生労働省	矢吹省司	

周産期・小児地域医療支援講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	新生児慢性肺疾患におけるmiR-21の役割解明と臨床応用に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	郷 勇人	桃井伸緒, 橋本浩一

生体機能イメージング講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	サクセシフルBNCT・陽子線治療へのPET診断法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	石渡喜一	鷲野谷利幸, 高井良尋, 廣瀬勝己, 村上昌雄, 平塚純一, 佐藤まり子

多発性硬化症治療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク(MOG)抗体関連神経疾患の臨床・病態解析	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	藤原一男	

心臓病先進治療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	選択的小胞体分解(ERファジー)に着目した心不全における細胞内品質管理の意義	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	三阪智史	
平成31・令和元	補助・助成	左室収縮の保持された心不全におけるフレイル対策および腹腔臓器機能に関する検討	公立大学法人福島県立医科大学 令和元年度研究支援事業(育成研究)	公立大学法人福島県立医科大学	義久精臣	

先端癌免疫治療研究講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	乳癌におけるT細胞を用いた免疫細胞療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三村耕作	中山裕子, 井上慎吾, 大森征人
平成31・令和元	補助・助成	放射線治療が行われた扁平上皮癌患者における腫瘍免疫学的解析と治療効果との相関	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田巻倫明	鈴木義行, 三村耕作, 小此木範之
平成31・令和元	補助・助成	再発胃癌患者に対する放射線治療と抗PD-1抗体併用療法の腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木義行	田巻倫明, 河野浩二, 三村耕作
平成31・令和元	補助・助成	食道扁平上皮癌に対する放射線照射＋Nivolumab併用療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	河野浩二	三村耕作
平成31・令和元	出資金による受託研究	固形がんに対する包括的癌免疫療法の開発	放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点本部	大戸 斉	一戸辰夫, 河野浩二, 鈴木弘行, 鈴木義行, 齋藤 清

神経再生医療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	機能的ネットワーク病態への介入	科学研究費助成事業／新学術領域研究（研究領域提案型）	日本学術振興会	宇川義一	花島律子
平成31・令和元	国内共同研究	新規非侵襲的脳刺激が拓くネオ・リハビリテーションとそのシステム脳科学的解明	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	美馬達哉	宇川義一，他
平成31・令和元	補助・助成	運動失調症の医療基盤に関する調査研究班	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等政策研究（難治性疾患政策研究）	厚生労働省	水澤英洋	宇川義一，他

低侵襲腫瘍制御学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	直腸癌術後の予防的骨盤内ドレーンとPelvic sepsisの関連調査	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	河村英恭	

プログレッシブDOHaD研究講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	胆管癌におけるバイオマーカーとしてのGalectin-3核内移行メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村龍男	竹之下誠一
平成31・令和元	補助・助成	乳癌におけるT細胞を用いた免疫細胞療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三村耕作	中山裕子，井上慎吾，大森征人

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	脂肪組織マクロファージがマスト細胞の活性および代謝に与える影響の解析	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中嶋正太郎	

災害医療支援講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	発達期の脳の臨界期とGABA調節因子の役割：麻酔薬の鎮静と毒性作用の解明に向けて	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西川光一	

肥満・体内炎症解析研究講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	オキシトシン分泌能回復による抗肥満作用の検討と肥満治療応用基盤の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	前島裕子	下村健寿

看護学部

総合科学部門 言語学分野

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	英語の関係詞節の発話解釈に関する意味的・語用論的原理の記述的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中山 仁	

総合科学部門 行動科学分野（心理学）

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	看護学生が日常的に個人利用可能な心理学的ストレス低減方法に関する基礎的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三澤文紀	
平成31・令和元	補助・助成	地域における精神障害者家族に対するリフレクティングを用いた実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大川貴子	安保寛明, 三澤文紀, 矢原隆行

総合科学部門 行動科学分野（社会学）

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	子ども・若者支援における専門性の構築ー「社会教育的支援」の比較研究を踏まえてー	科学研究費補助金／基盤研究(B)	日本学術振興会	生田周二	大串隆吉, 大村 恵, 川野麻衣子, 立柳 聡, 津富 宏, 中田周作, 藤田美香, 他
平成31・令和元	その他	八丈島の民俗と社会構造に関する研究	開拓的島嶼コミュニティ研究支援	島嶼コミュニティ学会	立柳 聡	

総合科学部門 保健情報学・疫学分野

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	育児支援団体の特性に応じてカスタマイズ可能な介入プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子	後藤あや, 平山 操, 柴田俊一, 津富 宏, 佐々木美恵, 渡邊一代
平成31・令和元	補助・助成	ヘルスリテラシースキルの次世代への伝達メカニズムの可視化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤あや	熊谷敦史, 村上道夫, 植田紀美子

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	日本学術振興会	後藤あや	岡部聡子，郡山千早，村上道夫，弓屋 結
平成31・令和元	国際共同研究	Phase III：南部における科学的根拠に基づく患者中心の保健医療サービス向上：大学と医師会の連携イニシアチブ	JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）	国際協力機構（JICA）	後藤あや	
平成31・令和元	国内共同研究	帰還住民を持続的に支援可能なアプリケーションの開発	環境省放射線健康管理・健康不安対策事業	環境省	後藤あや	谷川攻一，他10名

生命科学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	髄液産生マーカーの迅速測定キットの開発	平成31年度橋渡し研究戦略的推進プログラム（シーズA）	京都大学	本多たかし	橋本康弘
平成31・令和元	補助・助成	脳脊髄液減少症の病態生理と診断法の開発	障害者対策総合研究開発事業 神経・筋疾患分野	日本医療研究開発機構（AMED）	荒木信夫	橋本康弘
平成31・令和元	その他	膵がん関連疾患のスクリーニング方法の開発	共同研究費	アルプスアルパイン株式会社	大平弘正	橋本康弘
平成31・令和元	その他	グリオーマの体外診断薬の開発	共同研究費	東洋紡株式会社	藤井正純	橋本康弘

基礎看護学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	転倒転落防止に向けた医療従事者のノンテクニカルスキルに関する教育プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木下美佐子	堀内輝子，阿部夏樹
平成31・令和元	補助・助成	小児・若年者甲状腺癌の長期フォローアップ体制の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	古橋知子	菊田 敦，鈴木眞一，鈴木 悟
平成31・令和元	補助・助成	がん併発の精神疾患患者ケアに関する精神看護がん看護協働コンサルテーションの効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤郁子	
平成31・令和元	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永カツ子	堀内輝子，木下美佐子，高橋香子，片桐和子，山田智恵里
平成31・令和元	補助・助成	2型糖尿病患者を抱える家族への看護実践力向上プログラムの開発	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	林 紋美	

療養支援看護学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	高齢心不全患者と家族のAging in Placeを支える心不全緩和ケアの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坂本祐子	山手美和, 大崎瑞恵
平成31・令和元	補助・助成	高齢糖尿病患者への外来看護実践に関する質指標の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	齋藤史子	結城美智子, 鄭 佳紅, 坂本祐子
平成31・令和元	補助・助成	乳がん患者と家族ががんと共に生き家族として成長していく軌跡を支える看護ケアの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	山手美和	
平成31・令和元	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永カツ子	堀内輝子, 木下美佐子, 高橋香子, 片桐和子, 山田智恵里
平成31・令和元	補助・助成	在宅看護における死後の処置の実態とケアの見直しに向けた取り組み	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	佐藤郁美	
平成31・令和元	国内共同研究	高齢者排尿誘導ガイドライン（日本モデル）の開発と多職種連携有効活用の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	佐藤和佳子	泉キヨ子, 坂本祐子, 中村五月, 陶山啓子, 小岡亜希, 川口寛介, 阿部桃子, 上山真美
平成31・令和元	国内共同研究	がん薬物療法における災害看護実践シミュレーション教育の実装化	令和元年度研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	菅野久美	今津陽子

家族看護学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	地域における精神障害者家族に対するリフレクティングを用いた実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大川貴子	安保寛明, 三澤文紀, 矢原隆行
平成31・令和元	補助・助成	教育現場における遺児支援の構築に向けた介入ツールの開発と検証に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤利憲	
平成31・令和元	補助・助成	精神科病棟看護師のリカバリー志向を高める研修プログラムの効果	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	田村達弥	

地域・在宅看護学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	国内共同研究	環太平洋島嶼国における地域文化に即した全人的災害時保健活動モデルの構築に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	丸谷美紀	高瀬佳苗, 原田菜穂子, 奥田博子, 安齋由貴子, 上林美保子, 春山早苗
平成31・令和元	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永カツ子	堀内輝子, 木下美佐子, 高橋香子, 片桐和子, 山田智恵里
平成31・令和元	国内共同研究	文化に即した外国人介護職の健康支援に関する研究	ファイザーヘルスリサーチ振興財団	国立保健医療科学院	丸谷美紀	高瀬佳苗, 大島隆代, 石川志麻, 小尾栄子, 二見 茜, 上里 彰仁

母性看護学・助産学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	育児支援団体の特性に応じてカスタマイズ可能な介入プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子	後藤あや，平山 操，柴田俊一，津富 宏，佐々木美恵，渡邊一代
平成31・令和元	国内共同研究	助産師が捉える母乳育児継続へつながる母親の持つ力	看護学部共同研究費		森美由紀	紺野 愛，高橋幸恵，草野祐香利，太田 操

附属病院長

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	非小細胞肺癌に対するNeo-antigenを標的とした新たな複合免疫療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木弘行	
平成31・令和元	補助・助成	センシングデバイスによる画期的な肺野微小病変同定法の新規開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	長谷川剛生	井上卓哉，鈴木弘行，塩 豊，武藤哲史
平成31・令和元	補助・助成	コンピューターアシストを利用した、肺癌リンパ節転移の新たな画像評価法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	星野実加	鈴木弘行，塩 豊
平成31・令和元	補助・助成	電気泳動による新しい免疫応答マーカーの開発（T細胞受容体クローナリティアッセイ）	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村清仁	鈴木弘行，長井俊彦
平成31・令和元	補助・助成	胸部悪性腫瘍免疫・手術と免疫状態・希少癌の基礎研究	アカデミック・コントリビューション	ファイザー株式会社	鈴木弘行	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	国内共同研究	ニボルマブの薬効等と薬物の体内動態に関する研究		株式会社カイオム・バイオサイエンス	鈴木弘行	
平成31・ 令和元	国内共同研究	樹状細胞ワクチン療法の有効性及び安全性の評価手法の研究		テラ株式会社	鈴木弘行	
平成31・ 令和元	国内共同研究	EGFR遺伝子変異陽性術後再発非小細胞肺癌患者に対するアファチニブの治療効果と末梢血循環および腫瘍内浸潤CD4+ CD62LlowエフェクターメモリーT細胞の評価を行う前向き観察研究		日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	鈴木弘行	武藤哲史，他
平成31・ 令和元	国内共同研究	肺癌検診におけるAI実用化に向けた研究		みずほ情報総研株式会社	鈴木弘行	樋口光徳，他
平成31・ 令和元	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌患者を対象としたニボルマブの有効性と安全性の検討－メディカルチャートレビューによる日本のリアルワールドデータの後方視的観察研究－		メビックス株式会社	鈴木弘行	
平成31・ 令和元	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発非小細胞肺癌患者に対するアテゾリズマブの多施設共同前向き観察研究(J-TAIL)		メビックス株式会社	鈴木弘行	
平成31・ 令和元	その他	EGFRチロシンキナーゼ阻害薬未投与非小細胞肺癌症例におけるC797S遺伝子変異の探索		アストラゼネカ株式会社	鈴木弘行	

医療情報部

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	大腸癌における抗癌剤耐性に関する薬剤トランスポーターの役割の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	門馬智之	齋藤元伸

ふたば救急総合医療支援センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	「パネル組立型ER」の開発		神田産業株式会社	島田二郎	
平成31・令和元	出資金による受託研究	生体センサーより取得した生体情報などを利用した研究		ウツエバルブサービス株式会社	島田二郎	

小児腫瘍内科

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	癌免疫微小環境における腫瘍特異的細胞傷害性T細胞誘導メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	望月一弘	菊田 敦, 佐野秀樹, 小林正悟, 高橋信久, 郷 勇人
平成31・令和元	補助・助成	小児・若年者甲状腺癌の長期フォローアップ体制の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	古橋知子	菊田 敦, 鈴木眞一, 鈴木 悟
平成31・令和元	補助・助成	小児およびAYA世代の横紋筋肉腫およびユーイング肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	革新的がん医療実用化研究事業	日本医療研究開発機構(AMED)	細井 創	佐野秀樹, 他

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	小児がんレジストリーを用いた転移性肝芽腫に対する薬剤開発戦略としての国際共同臨床試験	臨床研究・治験推進研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	檜山英三	菊田 敦, 他
平成31・令和元	補助・助成	小児難治性白血病に対するT細胞非除去ハプロ移植後の移植片対宿主病発症及び重症化に係るバイオマーカーの同定	日本白血病研究基金研究助成事業 一般研究費 (日本白血病研究基金臨床医学特別賞)	公益信託 日本白血病研究基金	望月一弘	
平成31・令和元	出資金による受託研究	International Study for Treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010 (IntReALL SR 2010) 第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第III相国際共同臨床研究	受託研究費	国立病院機構 名古屋医療センター	豊田秀実	菊田 敦, 他
平成31・令和元	企業からの受託研究	国内の小児血友病A患者を対象とした遺伝子組換え血液凝固第VIII因子Fc融合タンパク質 (rFVIIIIFc) 製剤の有用性を検討する多施設観察研究 (Fc Adolescent and Children Treatment study (FACTs))		サノフィ株式会社		菊田 敦, 他
平成31・令和元	学内共同研究	がん免疫逃避におけるMHC分子消失メカニズムの解明	研究支援事業/育成研究	公立大学法人福島県立医科大学	小林正悟	

歯科口腔外科

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	間葉系幹細胞の運命を左右する新規細胞接着シグナル	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	金子哲治	

集中治療部

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	褐色脂肪細胞及びページュ脂肪細胞の個体差が周術期体温に及ぼす影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	井石雄三	

総合周産期母子医療センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	新生児慢性肺疾患におけるmiR-21の役割解明と臨床応用に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	郷 勇人	桃井伸緒, 橋本浩一

臨床腫瘍センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	クローディングナルによる乳癌の悪性形質増強機構	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	村上祐子	

痛み緩和医療センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	社会心理的ストレスが内因性鎮痛系の機能不全を引き起こす機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小幡英章	林田健一郎, 山中章弘
平成31・令和元	補助・助成	神経障害後の脳脊髄内伝達物質の鎮痛作用機序と下行性抑制系の経時的変化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	星野 一	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	社会的心理ストレスによる神経障害性疼痛治療薬の鎮痛効果減弱機序についての研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	林田健一郎	小幡英章
平成31・令和元	補助・助成	PETによる脳脊髄ミクログリアイメージングによって慢性痛を可視化する研究	科学研究費助成事業／挑戦的研究（萌芽）	日本学術振興会	小幡英章	宿里充穂，織内 昇，紺野慎一，加藤孝一
平成31・令和元	国内共同研究	慢性疼痛モデルラットの青斑核再活性化における神経栄養因子の関与		日本イーライリリー株式会社	小幡英章	
平成31・令和元	その他	神経障害性疼痛治療薬の臨床評価ガイドラインの策定に関する研究	医薬品等規制調和・評価研究事業	日本医療研究開発機構(AMED)，自治医科大学	竹下克志	小幡英章

脳疾患センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	記憶の痕跡を可視化する可塑性イメージング技術の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	阿部十也	
平成31・令和元	補助・助成	福島県の脳卒中医療における地域格差と予後に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐久間潤	大平哲也，中野裕紀，弓屋結，小島隆生

臨床研究教育推進部

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	IT社会の医療情報が医療トラストに与えるメカニズムの解明:若年膠原病を対象として	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	栗田宜明	脇田貴文, 矢嶋宣幸
平成31・令和元	補助・助成	尺度開発に基づく低活動膀胱の新たな診断法の確立と地域への応用:予防介入を目指して	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大前憲史	福原俊一, 小島祥敬, 脇田貴文, 栗田宜明
平成31・令和元	補助・助成	慢性疾患での受容段階スケールの開発と実用化:受容ーホーブーセルフケアの機序解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	栗田宜明	
平成31・令和元	補助・助成	腎部分切除術における遠隔虚血プレコンディショニングを用いた術後腎機能低下予防の検討	若手医療者による臨床研究助成	認定NPO法人健康医療評価研究機構	大前憲史	

総合科学教育研究センター 人文社会科学系領域

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	子ども・若者支援における専門性の構築ー「社会教育的支援」の比較研究を踏まえてー	科学研究費補助金／基盤研究(B)	日本学術振興会	生田周二	大串隆吉, 大村 恵, 川野麻衣子, 立柳 聡, 津富 宏, 中田周作, 藤田美香, 他
平成31・令和元	補助・助成	地域における精神障害者家族に対するリフレクティングを用いた実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大川貴子	安保寛明, 三澤文紀, 矢原隆行

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	看護学生が日常的に個人利用可能な心理学的ストレス低減方法に関する基礎的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三澤文紀	
平成31・令和元	補助・助成	欧米優生学説の成立の背景と日本社会への輸入の際の取捨選択に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本多創史	
平成31・令和元	その他	八丈島の民俗と社会構造に関する研究	開拓的島嶼コミュニティ研究支援	島嶼コミュニティ学会	立柳 聡	

総合科学教育研究センター 自然科学系領域

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	降水によるエアロゾル発生現象：大気－森林相互作用の新展開	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	五十嵐康人	反町篤行，他8名
平成31・令和元	補助・助成	福島第一原発事故で放出された放射性セシウムの大気再飛散と大気植生間の循環の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北 和之	反町篤行，他3名
平成31・令和元	補助・助成	育児支援団体の特性に応じてカスタマイズ可能な介入プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子	後藤あや，平山 操，柴田俊一，津富 宏，佐々木美恵，渡邊一代
平成31・令和元	補助・助成	d電子と π 電子が共存する擬二次元有機伝導体の磁性研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井康之	開 康一

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	現存被ばく状況における住民参加型リスクアセスメントのモデル構築と社会実装	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	黒田佑次郎	
平成31・令和元	補助・助成	ヘルスリテラシースキルの次世代への伝達メカニズムの可視化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤あや	熊谷敦史, 村上道夫, 植田紀美子
平成31・令和元	補助・助成	2バンド系1次元伝導体におけるバンド間相互作用による特異な電子相の系統的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	開 康一	松浦弘泰, 石井康之
平成31・令和元	補助・助成	放射線被ばくと糖尿病の二重ストレスの生体影響解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦富智	有吉健太郎
平成31・令和元	補助・助成	福島県浪江町に生息するプラナリアを用いた低線量放射線の影響調査	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	有吉健太郎	
平成31・令和元	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	日本学術振興会	後藤あや	岡部聡子, 郡山千早, 村上道夫, 弓屋 結
平成31・令和元	補助・助成	有機イオウ化合物に関する研究	奨学寄附金	株式会社ダイセル	谷口暢一	
平成31・令和元	補助・助成	金属触媒の π 酸性性を利用した不飽和炭素－炭素結合への位置選択的硫黄置換基の導入	研究助成	公益財団法人日本化学研究会	谷口暢一	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	RNA編集酵素ADAR1の関与するDNA修復機構の解明	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	有吉健太郎	
平成31・令和元	補助・助成	放射線被ばくマウスの組織・臓器における染色体異常解析	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	有吉健太郎	
平成31・令和元	国際共同研究	Phase III: 南部における科学的根拠に基づく患者中心の保健医療サービス向上: 大学と医師会の連携イニシアチブ	JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）	国際協力機構（JICA）	後藤あや	
平成31・令和元	国際共同研究	チェルノブイリ災害後の環境管理支援技術の確立	地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）	科学技術振興機構（JST）	難波謙二	反町篤行，他19名
平成31・令和元	国内共同研究	帰還住民を持続的に支援可能なアプリケーションの開発	環境省放射線健康管理・健康不安対策事業	環境省	後藤あや	谷川攻一，他10名

医療人育成・支援センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	医学生・医療人のためのソーシャルメディア利用に関する教育プログラム開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	諸井陽子	石川和信，小林 元
平成31・令和元	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司	関口美穂，小野 玲，紺野慎一
平成31・令和元	補助・助成	骨髄異形成症候群における無効造血環境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生	橋本優子，池添隆之

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明（LOHAS研究）	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂	竹上未紗，大谷晃司，小野玲，紺野慎一，福原俊一
平成31・令和元	補助・助成	医師に求められるプロフェッショナルリズムを醸成する地域体験実習の構築	科学研究費助成事業／挑戦的研究（萌芽）	日本学術振興会	安田 恵	色摩弥生，大谷晃司，坂本信雄
平成31・令和元	補助・助成	疼痛性障害に対する行動活性化療法の脳画像評価と治療効果予測因子の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	青木俊太郎	
平成31・令和元	補助・助成	地域の運動教室に対する前向き介入研究：特にロコモティブシンドロームと認知機能に注目して	日本整形外科学会学術プロジェクト	日本整形外科学会	大谷晃司	紺野慎一，関口美穂
平成31・令和元	補助・助成	豪雪地域の高齢者身体活動における座位行動時間短縮に関する探索的研究	福島県立病院医学研究補助金	福島県	小林一貴	佐久間洋太，佐藤俊樹，大谷晃司

看護師特定行為研修センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	拡張現実(AR)技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村 隆	佐瀬善一郎，斎藤拓朗，丸橋繁，見城 明
平成31・令和元	補助・助成	肝内の免疫性微小環境に着目した肝細胞癌切除後の再発機序の解明	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	見城 明	

医療研究推進センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	急性放射線障害に対するヒト胎盤系間葉細胞治療の非臨床有効性検証研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	稲野彰洋	織内 昇, 鈴木義行, 長谷川有史, 原 孝光, 添田義行

放射線医学県民健康管理センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	複合災害被害者のレジリエンス獲得：多層的多面的指標による解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸 斉	安村誠司, 村上道夫, 前田正治, 藤森敬也, 中島聡美, 桃井真帆, 大類真嗣, 竹林 唯, 伊藤亜希子
平成31・令和元	補助・助成	小児・若年者甲状腺癌の長期フォローアップ体制の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	古橋知子	菊田 敦, 鈴木真一, 鈴木 悟
平成31・令和元	補助・助成	育児支援団体の特性に応じてカスタマイズ可能な介入プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子	後藤あや, 平山 操, 柴田俊一, 津富 宏, 佐々木美恵, 渡邊一代
平成31・令和元	補助・助成	福島県の脳卒中医療における地域格差と予後に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐久間潤	大平哲也, 中野裕紀, 弓屋結, 小島隆生
平成31・令和元	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得：多層的多面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸 斉	安村誠司, 前田正治, 桃井真帆, 瀬藤乃理子, 竹林 唯, 堀越直子, 佐藤秀樹
平成31・令和元	補助・助成	iPS細胞からの新規甲状腺、副甲状腺モデル細胞の樹立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木 悟	横内裕二, 中村 泉, 大河内千代

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	東日本大震災後の避難生活によるフレイル発生に影響する要因の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡崎可奈子	大平哲也, 林 史和
平成31・令和元	補助・助成	受援力向上と減災：災害時に誰かに助けてもらうためのツール「DARECA」の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	針金まゆみ	
平成31・令和元	補助・助成	脳卒中発症リスク要因としての長期避難生活が及ぼす影響に関する疫学研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中野裕紀	
平成31・令和元	補助・助成	中国医学の観点を取り入れた食事調査法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	長尾匡則	
平成31・令和元	補助・助成	固形がんに対する包括的癌免疫療法の開発	放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同放射線災害・医科学研究拠点	大戸 斉	一戸辰夫, 河野浩二, 鈴木弘行, 鈴木義行, 齋藤 清

健康増進センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	日本学術振興会	後藤あや	岡部聡子, 郡山千早, 村上道夫, 弓屋 結
平成31・令和元	国内共同研究	福島県の脳卒中医療における地域格差と予後に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐久間潤	大平哲也, 中野裕紀, 弓屋結, 小島隆生

先端臨床研究センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	進行消化器癌に対するα線核種内照射療法による治療戦略の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	絹谷清剛	久保 均, 富永英之, 萱野大樹, 伊藤 浩, 小川数馬, 村山敏典, 吉村健一, 稲野彰洋, 織内 昇, 栗林義和, 若林大志, 今井康人, 鷺山幸信
平成31・ 令和元	補助・助成	体内動態を制御したAt-211標識アミノ酸による汎用的α線治療法の創出	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	花岡宏史	鈴木博元, 織内 昇, 渡部直史, 渡辺茂樹
平成31・ 令和元	補助・助成	短寿命α線医薬品製造工程における被ばくを抑制するロボティック精製・標識技術の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	和田洋一郎	小泉憲裕, 小木曾公尚, 織内昇, 杉山 暁, 羽場宏光, 久下裕司
平成31・ 令和元	補助・助成	低酸素腫瘍に対する新たな治療戦略の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	志賀 哲	安井博宣, 竹内 啓, 久下裕司, 趙 松吉
平成31・ 令和元	補助・助成	α線核種によるがん治療の線量評価に基づく正常細胞障害の解明に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	織内 昇	阿部 悠, 趙 松吉, 西嶋剣一, 右近直之, 伊藤 浩, 長谷川有史
平成31・ 令和元	補助・助成	低酸素分子イメージングに基づく新しい口腔癌治療戦略の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北川善政	竹内康人, 大賀則孝, 佐藤 淳, 犬伏正幸, 趙 松吉, 志賀哲
平成31・ 令和元	補助・助成	急性放射線障害に対するヒト胎盤系間葉細胞治療の非臨床有効性検証研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	稲野彰洋	織内 昇, 鈴木義行, 長谷川有史, 原 孝光, 添田義行

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	PETでの網内系・センチネルリンパ節描出のためのGa-68 colloidの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高橋和弘	松坂陽至
平成31・ 令和元	補助・助成	血管新生因子PD-ECGFを標的とした新規At-211標識治療用放射性薬剤の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西嶋剣一	東川 桂, 栗生木美穂, 久下裕司, 趙 松吉
平成31・ 令和元	補助・助成	個別化医療を志向したがんを選択的なチミジンホスホリラーゼイメージング技術の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	秋澤宏行	宿里充穂, 久下裕司, 趙 松吉, 尾江 悟, 水野雄貴
平成31・ 令和元	補助・助成	アスタチン・ジェネレーターシステム構築のための放射性ラドンの化学	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横山明彦	鷲山幸信
平成31・ 令和元	補助・助成	核医学用Ge/Gaジェネレーターの科学教育への新展開-高校・大学教養・市民教育へ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	葉袋佳孝	永津弘太郎, 鷲山幸信
平成31・ 令和元	補助・助成	PETによる脳脊髄ミクログリアイメージングによって慢性痛を可視化する研究	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	小幡英章	宿里充穂, 織内 昇, 紺野慎一, 加藤孝一
平成31・ 令和元	補助・助成	分子イメージングとモンテカルロ計算を用いた ²¹¹ At標識化合物の組織吸収線量評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	右近直之	
平成31・ 令和元	補助・助成	物質の三態を制御したRn/Atジェネレータの開発とα線内用療法への展開	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	日本学術振興会	鷲山幸信	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	アルファ線放出核種内用療法による難治がん治療薬の開発	革新的がん医療実用化研究事業 領域3-1 革新的がん診断・治療薬の実用化に向けた非臨床試験	日本医療研究開発機構 (AMED)	鷲山幸信	織内 昇, 高橋和弘, 趙 松吉, 稲野彰洋
平成31・ 令和元	国内共同研究	高齢動物の糖代謝機能低下に対する漢方薬の改善作用	共同研究	株式会社ツムラ	下村健寿	趙 松吉
平成31・ 令和元	学内共同研究	14C標識薬物を用いた早期探索臨床試験プラットフォームの開発・実証研究	平成30年度戦略的学内研究推進事業	福島県立医科大学	立花和之進	大竹 徹, 河野浩二, 阿部宣子, 野田 勝, 趙 松吉
平成31・ 令和元	出資金による受託研究	低LETと高LETのRI内用治療が正常組織機能に及ぼす影響に関する基礎研究	放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	趙 松吉	工藤 崇
平成31・ 令和元	出資金による受託研究	α線放出核種アスタチン(211At)標識抗CD33抗体による急性骨髄性白血病の治療効果および正常組織への影響に関する基礎的研究	放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	趙 松吉	井手口怜子
平成31・ 令和元	出資金による受託研究	がん低酸素を標的とした核医学診断・治療法の開発	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	志水陽一, 趙松吉	

ふくしま子ども・女性医療支援センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	補助・助成	卵細胞質内精子注入法に特化した精子選択法・精子評価法の確立と治療前診断への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅沼亮太	高橋俊文
平成31・ 令和元	補助・助成	子宮内膜症女性の心血管系疾患発症に対する先制医療の可能性－臨床疫学的アプローチ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	水沼英樹	高橋俊文
平成31・ 令和元	補助・助成	発達障害や虐待による行動異常の悪化を予防する、切れ目のない支援を支える手法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横山浩之	小林淳子, 富澤弥生
平成31・ 令和元	補助・助成	ビッグデータ解析を用いた不妊患者における臨床決断支援システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木大輔	高橋俊文
平成31・ 令和元	補助・助成	妊婦の医薬品使用と児の先天奇形発症に関連する環境・遺伝要因の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西郡秀和	小原 拓, 栗山進一
平成31・ 令和元	補助・助成	産婦人科診療における地域格差の定量的検討－医療ビッグデータとGISを用いた解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高橋俊文	太田邦明

臨床研究イノベーションセンター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	日本の高齢者の「人生の最終段階を見据えた話し合い」促進プログラム開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	宮下 淳	福原俊一，山本洋介，清水さやか
平成31・令和元	補助・助成	尺度開発に基づく低活動膀胱の新たな診断法の確立と地域への応用：予防介入を目指して	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大前憲史	福原俊一，小島祥敬，脇田貴文，栗田宜明
平成31・令和元	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明（LOHAS研究）	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂	竹上未紗，大谷晃司，小野玲，紺野慎一，福原俊一

新医療系学部設置準備室

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	高齢者の介護施設・在宅における咳嗽補助法の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊橋光二	
平成31・令和元	補助・助成	末梢神経疾患における骨格筋マルチパラメトリックイメージング法の臨床応用の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	松田 希	久保 均
平成31・令和元	補助・助成	造血幹細胞移植後の免疫システムにおけるGas6の役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大河原浩	小川一英，池添隆之，池田和彦
平成31・令和元	補助・助成	脳卒中者のIADL支援を推進する革新的予後予測モデルの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	五百川和明	藤田貴昭，曾根稔雅

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	同種移植関連微小血管障害症の病態解明：Gas6-TAMシグナルの意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川一英	大河原浩，池添隆之
平成31・令和元	補助・助成	妊婦からのB群溶血性レンサ球菌(GBS)の検出－全自動遺伝子解析装置への応用－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦里織	豊川真弘，志村浩己
平成31・令和元	補助・助成	加速器BNCTシステムの包括的かつ実用的なQAプログラムの確立に向けた研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤貴弘	高井良尋，廣瀬勝己
平成31・令和元	補助・助成	東日本大震災後の避難生活によるフレイル発生に影響する要因の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡崎可奈子	大平哲也，林 史和
平成31・令和元	補助・助成	脊椎疾患に対する新たな腰背部体幹筋の筋持久力評価の基礎研究	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	小俣純一	
平成31・令和元	補助・助成	X線CT装置におけるビーム幅に影響しない出力測定法の開発と評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	福田篤志	
平成31・令和元	補助・助成	地域高齢者の作業に関するヘルスリテラシー尺度の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	川又寛徳	
平成31・令和元	国内共同研究		平成31年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業	厚生労働省	矢吹省司	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	国内共同研究	慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	令和元年度厚生労働行政推進調査事業（慢性の痛み政策研究事業）	厚生労働省	矢吹省司	
平成31・ 令和元	国内共同研究	CT撮影における多段階線量評価法の開発と評価	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	松原孝祐	福田篤志

助産師養成課程設置準備室

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	国内共同研究	母乳育児継続へつながる母親の持つ力に関する研究－助産師の視点から－	看護学部共同研究費		森美由紀	紺野 愛, 高橋幸恵, 草野祐香利, 太田 操

会津医療センター 漢方医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・ 令和元	国内共同研究	薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発 オタネニンジンの生産拡大のための技術開発	農林水産省委託プロジェクト研究	千葉大学, 農研機構東北農研, 農研機構中央農研	三瀧忠道	狭間章博, 鈴木朋子, 鈴木雅雄, 小林大輔, 秋葉秀一郎, 佐橋佳郎
平成31・ 令和元	国内共同研究	漢方医学的所見と漢方処方の関連を検証する前向き観察研究		学校法人北里研究所	小田口浩	村松慎一, 並木隆雄, 新井信, 嶋田 豊, 柴原直利, 三瀧忠道

会津医療センター 糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	高齢者生活・健康情報の自動収集・分析フィードバックの効果：社会・人間特性複合評価	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	伊藤謙治	顧 秀珠, 橋本重厚

会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	唾液による不顕性誤嚥とIPF急性増悪との関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木朋子	新妻一直, 齋藤美和子
平成31・令和元	国内共同研究	薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発 オタネニンジンの生産拡大のための技術開発	農林水産省委託プロジェクト研究	千葉大学, 農研機構東北農研, 農研機構中央農研	三瀨忠道	狭間章博, 鈴木朋子, 鈴木雅雄, 小林大輔, 秋葉秀一郎, 佐橋佳郎

会津医療センター 精神医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	死後脳マルチオミクス・プロファイルに基づく統合失調症病態の構成的理解	科学研究費助成事業／新学術領域研究（研究領域提案型）	日本学術振興会	國井泰人	
平成31・令和元	補助・助成	統合失調症死後脳におけるPro to Glu経路の分子プロファイル解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	國井泰人	日野瑞城
平成31・令和元	補助・助成	簡易客観的精神機能検査による「うつ病エピソード」の型分類は治療計画立案に有用か？	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	丹羽真一	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	プロジェクトリターン2017:原発事故後に避難した精神科入院患者の帰還支援の試み	科学研究費助成事業／挑戦的研究（萌芽）	日本学術振興会	後藤大介	矢部博興（分担）、國井泰人（分担）、安西信雄、各務竹康、日高友郎
平成31・令和元	補助・助成	発達障害・統合失調症等の克服に関する研究「細胞内代謝・ダイナミクス制御から切り拓く発達障害・統合失調症の病理の解明・新規治療法の開発」	脳科学研究戦略推進プログラム『臨床と基礎研究の連携強化による精神・神経疾患の克服（融合脳）』	日本医療研究開発機構(AMED)	國井泰人	
平成31・令和元	補助・助成	発達障害・統合失調症等の克服に関する研究「死後脳リソースを活用した統合失調症における代謝・ダイナミクス制御関連分子の解析」	脳科学研究戦略推進プログラム『臨床と基礎研究の連携強化による精神・神経疾患の克服（融合脳）』	日本医療研究開発機構(AMED)	國井泰人	
平成31・令和元	補助・助成	脳ゲノム情報解析による精神疾患関連神経回路の同定と機能解明	脳科学研究戦略推進プログラム『革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト（革新脳）』	熊本大学、理化学研究所	岩本和也	國井泰人、加藤忠史
平成31・令和元	国内共同研究	精神疾患死後脳の分子プロファイル解析	平成31年度新潟大学脳研究所共同利用・共同研究	新潟大学脳研究所	國井泰人	柿田明美、矢部博興、丹羽真一、和田 明、松本純弥、日野瑞城、那波宏之、高橋 均

会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	深層学習による大腸鋸歯状病変の自動検出解析装置の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	富樫一智	歌野健一、朱 欣

会津医療センター 外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	拡張現実(AR)技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村 隆	佐瀬善一郎, 齋藤拓朗, 丸橋繁, 見城 明

会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	地域在住高齢者の身体機能低下から中長期の健康アウトカムを予測する研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	富永亮司	

会津医療センター 耳鼻咽喉科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	先天性サイトメガロウイルス感染による聴覚障害の予防対策確立に向けた基礎研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	錫谷達夫	小林敬広, 宮崎 希, 石岡賢, 小川 洋, 腰塚哲朗
平成31・令和元	補助・助成	頭頸部癌におけるセンチネルリンパ節の微小転移に関する実態調査	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	小針健大	

会津医療センター 臨床医学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
平成31・令和元	補助・助成	小児およびAYA世代の横紋筋肉腫およびユーイング肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	日本医療研究開発機構(革新的がん医療実用化研究事業)	日本医療研究開発機構(AMED)	細井 創	北條 洋, 佐野秀樹

IV 知的財産権の設定の登録一覧

解剖・組織学講座／医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	渡辺慎哉, 今井順一, 多村博澄, 鈴木智也, 和栗 聡, 寺島大介	組織細切器及び組織細切方法	特開2019-024330	2019年2月

基礎病理学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	千葉英樹, 杉本幸太郎	細胞培養補助剤	特開2019-031486 W0/2019/027034	2019年2月 2019年7月

血液内科学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学, 旭化成ファーマ株式会社	池添隆之, 本田剛一	新規ポリペプチド及びその用途	特開2019-031486 W0/2019/027034	2019年2月 2019年7月

リウマチ膠原病内科学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	国立大学法人長崎大学, 公立大学法人福島県立医科大学	古賀智裕, 川上 純, 佐藤俊太郎, 右田清志	ステイル病と敗血症との鑑別用バイオマーカー	特開2019-190976 W0/2019/208542	2019年10月

消化管外科学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	岡山洋和, 野田 勝, 河野浩二	大腸がんの予後バイオマーカー	W0/2019/049829	2019年3月

脳神経外科学講座／生命科学部門／新医療系学部準備室

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	国立研究開発法人理化学研究所, 公立大学法人福島県立医科大学	北爪しのぶ, 作田香子, 谷口直之, 橋本康弘, 本多たかし, 齋藤清, 藤井正純	多発性硬化症マーカー	W0/2019/163838	2019年2月

医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学, 株式会社ニッポンジーン, 株式会社メディックローム	渡辺慎哉, 高木基樹, 比嘉亜里砂, 星 裕孝, 今井順一, 伊藤恵美, 酒井夕佳, 富樫玲子, 松倉 進	薬剤の心毒性評価方法及びそのための試薬又はキット	特開2019-017356	2019年2月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	渡辺慎哉, 渡邊尚文, 藤森敬也, 今井順一, 伊藤恵美, 富樫玲子, 松倉 進	卵巣癌組織型鑑別方法	特開2019-076068	2019年5月

福島県立医科大学業績集

平成 31 年・令和元年

印刷発行 令和 3 年 3 月 19 日

編集発行 福島県立医科大学附属学術情報センター
福島市光が丘 1 番地
TEL 024(547)1684

印刷 株式会社 阿 部 紙 工
福島市庄野字柿場 1 の 11
電話代表 024(593)5111